資料２－１

日野市
子どもの生活実態調査結果報告書

令和８年３月

日　野　市

目　次

Ⅰ　調査の概要 1
　1　調査の目的 1
　2　実施概要 1
　3　調査結果の表示方法 1
　4　生活困難について 2

Ⅱ　調査結果 6
　1　小学生本人 6
　2　中学生本人 132
　3　16～17 歳本人 251
　4　小学生保護者 365
　5　中学生保護者 513
　6　16～17 歳保護者 656

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

「日野市子どもの貧困対策に関する基本方針」の策定を進めるにあたり、子育て家庭や子ども本人の生活状況、ならびに市民の施策に対するご意見・ご要望を把握し、そのニーズや意向を計画に反映させるため、アンケート調査を実施いたしました。

2　実施概要

調査票	調査対象	調査方法	調査実施時期	配布数	回収数	回収率
小学生本人	市内在住（市外学校に通う子どもも含む）の小学５年生	学校配布・郵送配布／学校回収・郵送回収（WEB 回答可）	令和７年９月 22 日～令和７年 10 月 24 日	1,624 通	801 通	49.3%
中学生本人	市内在住（市外学校に通う子どもも含む）の中学２年生	学校配布／学校回収	令和７年９月 22 日～令和７年 10 月 24 日	1,628 通	665 通	40.8%
16-17 歳本人	市内在住（市外学校に通う子どもも含む）の 16-17 歳の子ども本人	郵送配布	令和７年９月 22 日～令和７年 10 月 24 日	1,646 通	347 通	21.1%
小学生保護者	市内在住（市外学校に通う子どもも含む）の小学５年生の保護者	学校配布・郵送配布／学校回収・郵送回収（WEB 回答可）	令和７年９月 22 日～令和７年 10 月 24 日	1,624 通	853 通	52.5%
中学生保護者	市内在住（市外学校に通う子どもも含む）の中学２年生の保護者	学校配布／学校回収	令和７年９月 22 日～令和７年 10 月 24 日	1,628 通	728 通	44.7%
16-17 歳保護者	市内在住（市外学校に通う子どもも含む）の 16-17 歳の子どもの保護者	郵送回収（WEB 回答可）	令和７年９月 22 日～令和７年 10 月 24 日	1,646 通	393 通	23.9%

3　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。

・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。

・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

・回答者数が１桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が１桁の場合は、コメントを差し控えています。

４　生活困難について

本報告書では、生活困難を抱える子どもの状況を３つの要素で分類します。

① 低所得
② 家計の逼迫（ひっぱく）
③ 子どもの体験や所有物の欠如

「①低所得」は、先進諸国の貧困の測定に最も一般的に用いられ、厚生労働省も用いている指標です。しかし、本調査は、記入式の質問調査であることから、把握できる世帯所得の精緻度が限られています。そこで、所得データを補充するために、「②家計の逼迫」「③子どもの体験や所有物の欠如」に用いられている物質的はく奪指標を用いています。

物質的はく奪指標は、所得データによる貧困率と一緒に用いることで、貧困の測定の精緻化が可能であることが、欧州連合などを始めとする国内外の研究により判明しています。

以下にそれぞれの指標の詳細な定義を示します。

①　低所得

「低所得」は、世帯所得（勤労収入、事業収入等＋社会保障給付）を、世帯人数の平方根で割り算した値（＝等価世帯所得）が、厚生労働省「令和５年国民生活基礎調査」から算出される基準※未満の世帯と定義します。

なお、低所得世帯の割合は、世帯所得の把握の方法や、可処分所得ではなく当初所得を用いている点などの違いがあるため、厚生労働省「令和５年国民生活基礎調査」にて公表されている「子どもの貧困率」（11.5%）とは比較できません。

※基準…厚生労働省「国民生活基礎調査」（令和５年）の世帯所得の中央値 405 万円を、平均世帯人数 2.23 人の平方根で除した値の 50%である、135.6 万円

②　家計の逼迫（ひっぱく）

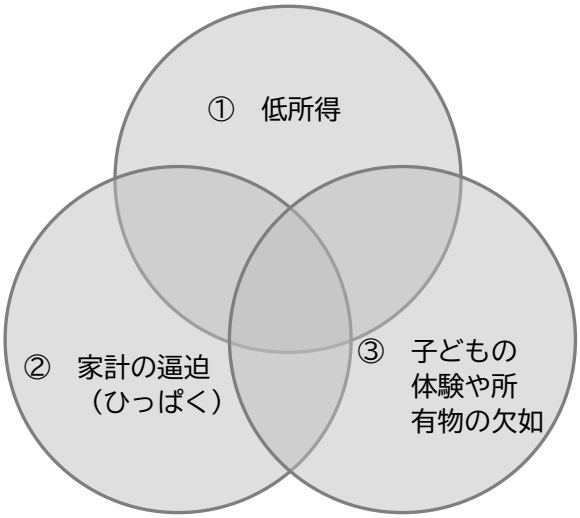
「家計の逼迫（ひっぱく）」は、経済的な制約を子どもに課し、生活水準を低下させるだけでなく、親の心理的なゆとりや、心身的健康状態の悪化を通して子どもに悪影響をもたらす可能性があると言われています。

そこで、家計の逼迫を、家計の中で大きな比重を占め、これらの欠乏により基本的な生活水準を保つことが難しいと考えられる公共料金や食料・衣類の費用が捻出できない状況と定義します。

具体的には、保護者調査（問 33・34）において過去１年間に経済的な理由で電気・ガス・水道等のた料金の滞納があったか、また、過去１年間に「家族が必要とする食料が買えなかった経験」、「家族が必要とする衣類が買えなかった経験」があったかの５つの項目のうち１つ以上が該当する場合を「家計の逼迫」があると定義します。

③　子どもの体験や所有物の欠如

子ども自身の体験や所有物の欠如といった生活困難を表し、具体的には、保護者調査（問 28・35・36）において、過去１年間「海水浴に行く」「博物館・科学館・美術館などに行く」「キャンプやバーベキューなどに行く」「スポーツ観戦や劇場、映画館などに行く」「遊園地やテーマパークに行く」「毎月お小遣いを渡す」「毎年新しい洋服・靴を買う」「習い事（音楽・スポーツ・習字など）に通わせる」「学習塾に通わせる」「お誕生日のお祝いをする」「１年に１回は家族旅行にいく」「クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげる」ことが経済的な理由でできない、または「子どもの年齢に合った本」「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」「子どもが自宅で宿題をすることができる場所」が経済的な理由のために世帯にないといった全 15 項目です。これらの項目のうち３項目以上に該当している場合、「子どもの体験や所有物の欠如」の状態にあると定義します。



生活困難層	貧困層＋周辺層
貧困層	２つ以上の要素に該当
周辺層	いずれか１つの要素に該当
一般層	いずれの要素にも該当しない

なお、令和２年から始まった新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、過去１年間においては感染防止のためにこれらの活動・体験を行えなかった子どもがいますが、ここでは「経済的な理由」でこれらを欠如している場合のみを含めることにより、新型コロナウイルス感染症による影響を除いています。

【生活困難度の状況】

以下、本調査に回答した子ども本人における生活困難度の分布を記載します。なお、子ども本人の生活困難度は、その保護者の生活困難度と同一のものとしています（本調査は調査対象の世帯ごとに ID を割り振り、同一世帯の子ども本人と保護者の回答を紐づけて分析しています）。

※保護者が「①　低所得」「②　家計の逼迫（ひっぱく）」「③　子どもの体験や所有物の欠如」を判定するための設問のいずれかに回答していない場合、あるいは、子どもの本人のみが回答し、その保護者が回答していない場合は、子ども本人の生活困難度が判定不能となります。本調査では、生活困難度が判定できなかった場合を「無回答」として分類しています。

・小学５年生

【無回答を含む】

区分	件数	割合（%）
一般層	361	45.1
周辺層	44	5.5
貧困層	22	2.7
無回答	374	46.7
合計	801	100.0

【無回答を除く】

区分	件数	割合（%）
一般層	361	84.5
周辺層	44	10.3
貧困層	22	5.2
合計	427	100.0

・中学２年生

【無回答を含む】

区分	件数	割合（%）
一般層	170	25.6
周辺層	37	5.6
貧困層	16	2.4
無回答	442	66.5
合計	665	100.0

【無回答を除く】

区分	件数	割合（%）
一般層	170	76.2
周辺層	37	16.6
貧困層	16	7.2
合計	223	100.0

・16-17 歳

【無回答を含む】

区分	件数	割合（%）
一般層	128	36.9
周辺層	32	9.2
貧困層	17	4.9
無回答	170	49.0
合計	347	100.0

【無回答を除く】

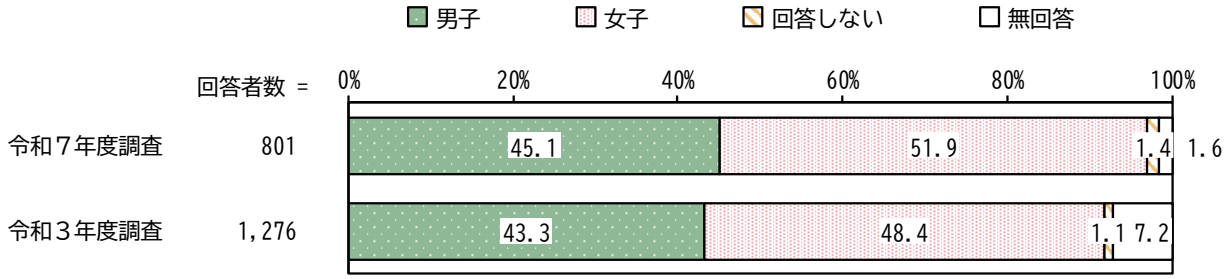
区分	件数	割合（%）
一般層	128	72.3
周辺層	32	18.1
貧困層	17	9.6
合計	177	100.0

Ⅱ　調査結果

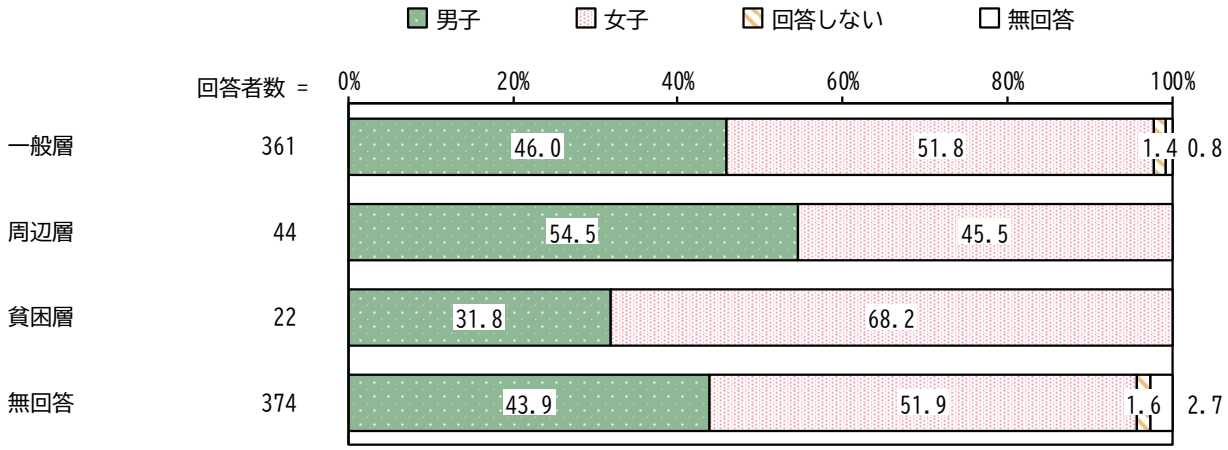
1　小学生本人

問１　あなたの性別を教えてください。（１つに○）

「男子」の割合が 45.1%、「女子」の割合が 51.9%となっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】
生活困難度別にみると、貧困層で「女子」の割合が高くなっています。



問３　あなたのお住まいの地区はどこですか。（１つに○）

「日野」の割合が 13.9%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、「日野」の割合が減少しています。

単位：%

区分	回答者数（件）	旭が丘	新井	石田	大坂上	落川	上田	川辺堀之内	栄町	新町	神明	高幡	多摩平	豊田	西平山
全　体	801	4.9	2.5	1.0	1.9	2.5	0.7	2.2	2.6	3.1	2.1	1.5	9.4	6.1	3.4
令和７年度調査	801	4.9	2.5	1.0	1.9	2.5	0.7	2.2	2.6	3.1	2.1	1.5	9.4	6.1	3.4
令和３年度調査	1,276	5.4	1.3	1.6	1.6	2.2	0.5	1.1	2.9	2.7	2.4	1.9	8.4	4.2	3.0

区分	東豊田	東平山	日野	日野台	日野本町	平山	富士町	程久保	万願寺	三沢	南平	宮	百草	無回答
全　体	5.1	2.5	13.9	3.0	4.0	2.7	0.6	3.0	4.9	5.2	7.0	0.4	2.1	1.6
令和７年度調査	5.1	2.5	13.9	3.0	4.0	2.7	0.6	3.0	4.9	5.2	7.0	0.4	2.1	1.6
令和３年度調査	4.9	2.0	19.0	2.6	3.4	2.4	1.3	2.4	4.1	3.1	5.2	0.0	2.8	7.5

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「日野台」の割合が高く、「多摩平」の割合が低くなっています。

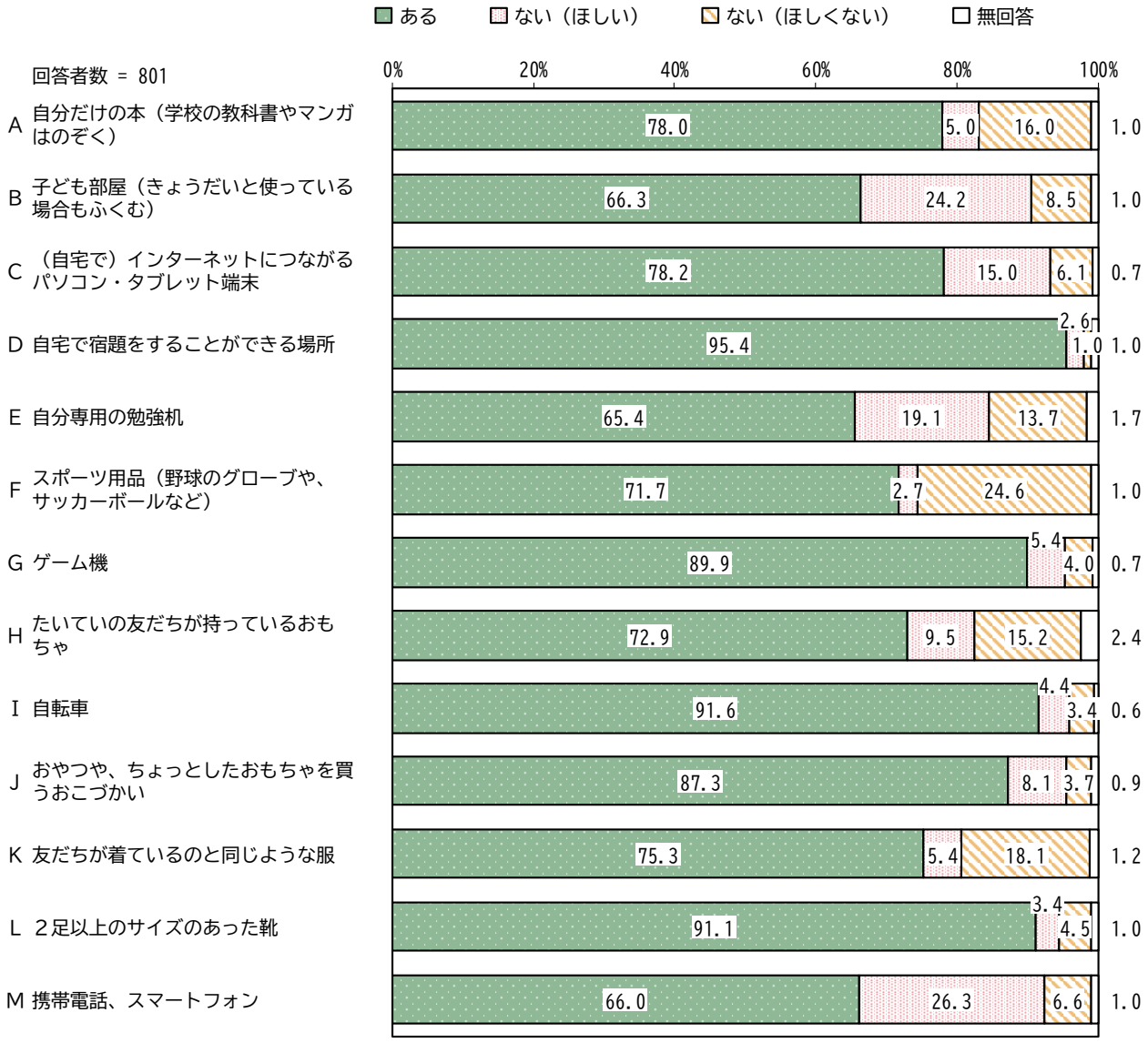
単位：%

区分	回答者数（件）	旭が丘	新井	石田	大坂上	落川	上田	川辺堀之内	栄町	新町	神明	高幡	多摩平	豊田	西平山
全　体	801	4.9	2.5	1.0	1.9	2.5	0.7	2.2	2.6	3.1	2.1	1.5	9.4	6.1	3.4
一般層	361	6.4	1.7	1.4	1.4	2.2	0.8	2.5	2.5	2.8	2.8	1.1	10.0	6.1	3.9
周辺層	44	4.5	4.5	2.3	2.3	2.3	2.3	0.0	0.0	4.5	2.3	2.3	6.8	0.0	2.3
貧困層	22	4.5	0.0	0.0	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	4.5	0.0	4.5
無回答	374	3.5	3.2	0.5	2.1	2.7	0.5	2.4	3.2	3.5	1.3	1.9	9.4	7.2	2.9

区分	東豊田	東平山	日野	日野台	日野本町	平山	富士町	程久保	万願寺	三沢	南平	宮	百草	無回答
全　体	5.1	2.5	13.9	3.0	4.0	2.7	0.6	3.0	4.9	5.2	7.0	0.4	2.1	1.6
一般層	6.1	1.7	10.5	3.0	4.7	2.5	1.4	3.3	5.5	5.3	7.8	0.3	2.5	0.0
周辺層	2.3	2.3	22.7	4.5	4.5	2.3	0.0	0.0	9.1	2.3	11.4	0.0	0.0	2.3
貧困層	0.0	0.0	18.2	13.6	4.5	4.5	0.0	0.0	9.1	4.5	4.5	0.0	13.6	0.0
無回答	4.8	3.5	15.8	2.1	3.2	2.9	0.0	3.2	3.5	5.6	5.9	0.5	1.3	3.2

問４　あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。ある場合には「ある」に○をつけてください。ない場合には、それがほしいものであれば「ほしい」、いらないと思うものであれば「ほしくない」に○をつけてください。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

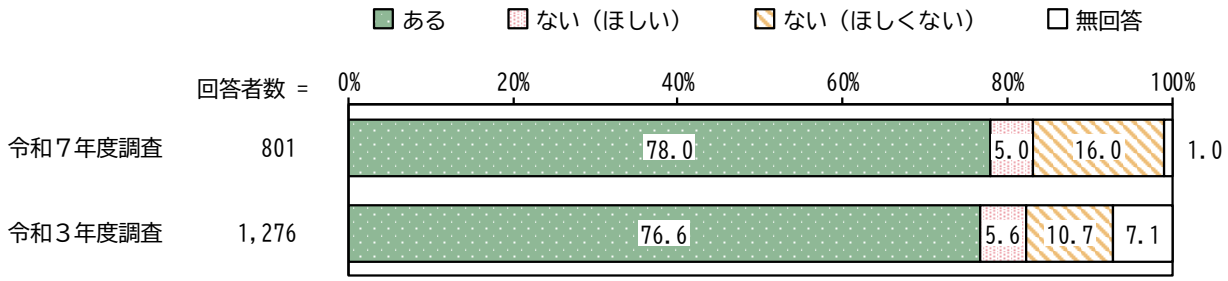
『Ｄ　自宅で宿題をすることができる場所』で「ある」が、『Ｍ　携帯電話、スマートフォン』で「ない（ほしい）」が、『Ｆ　スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）』で「ない（ほしくない）」が高くなっています。



A　自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）

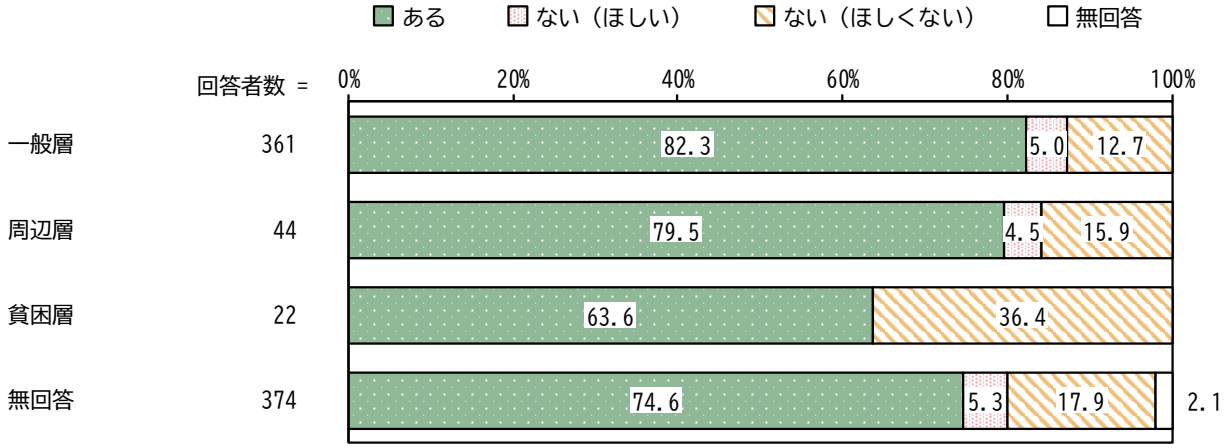
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ない（ほしくない）」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

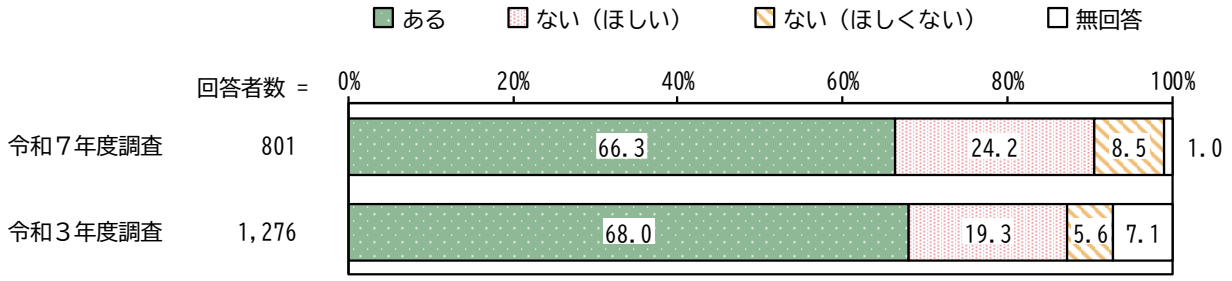
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「ない（ほしくない）」の割合が高く、「ある」の割合が低くなっています。



B　子ども部屋（きょうだいと使っている場合もふくむ）

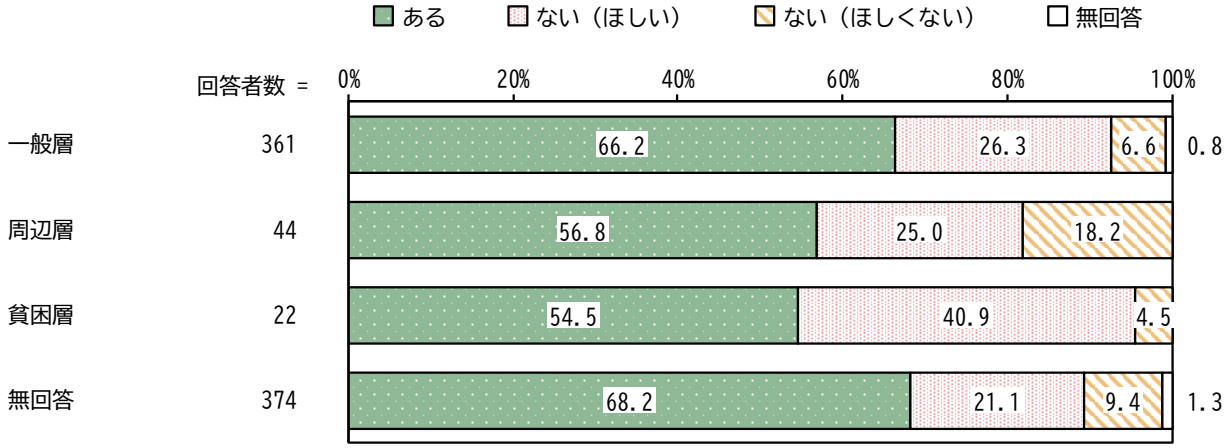
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

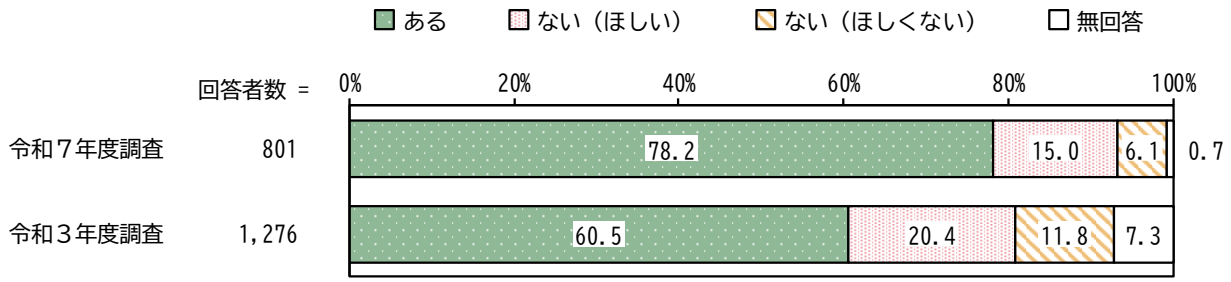
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「ある」の割合が高くなっています。また、貧困層で「ない（ほしい）」の割合が高くなっています。



C　（自宅で）インターネットにつながるパソコン・タブレット端末

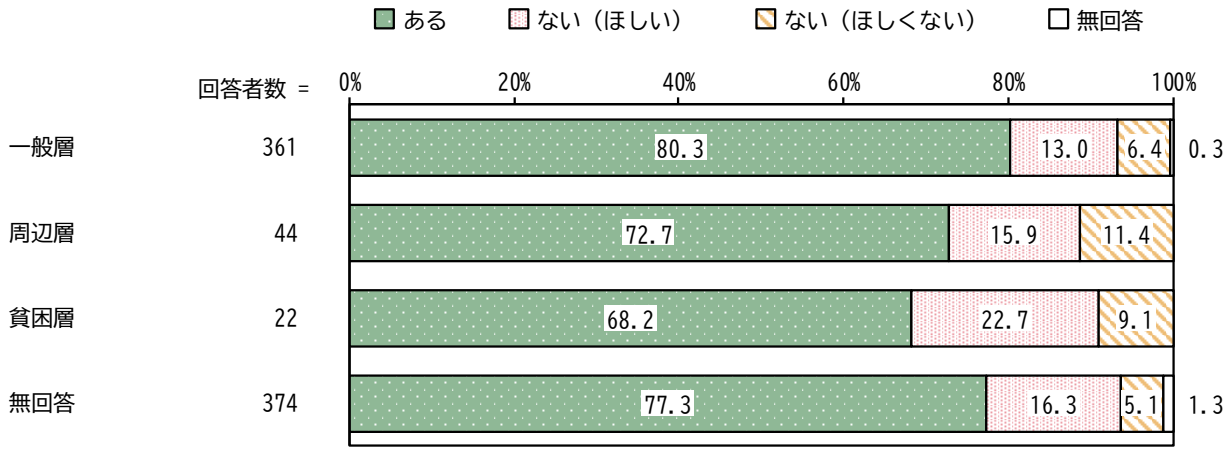
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。一方、「ない（ほしい）」「ない（ほしくない）」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

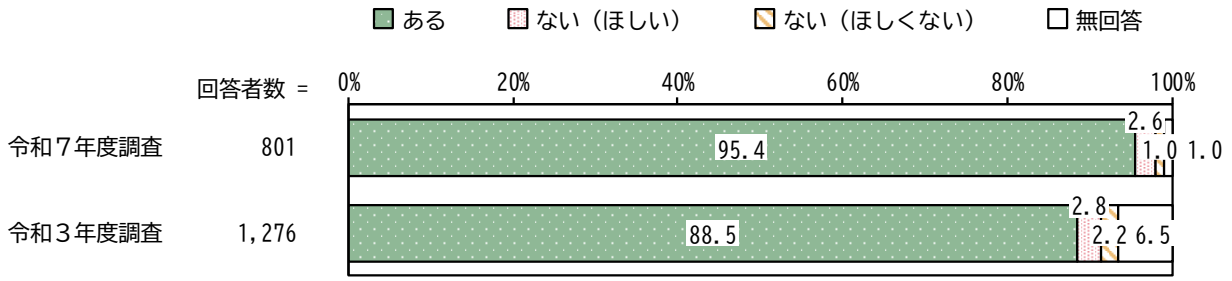
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「ない（ほしい）」の割合が高く、「ある」の割合が低くなっています。



D　自宅で宿題をすることができる場所

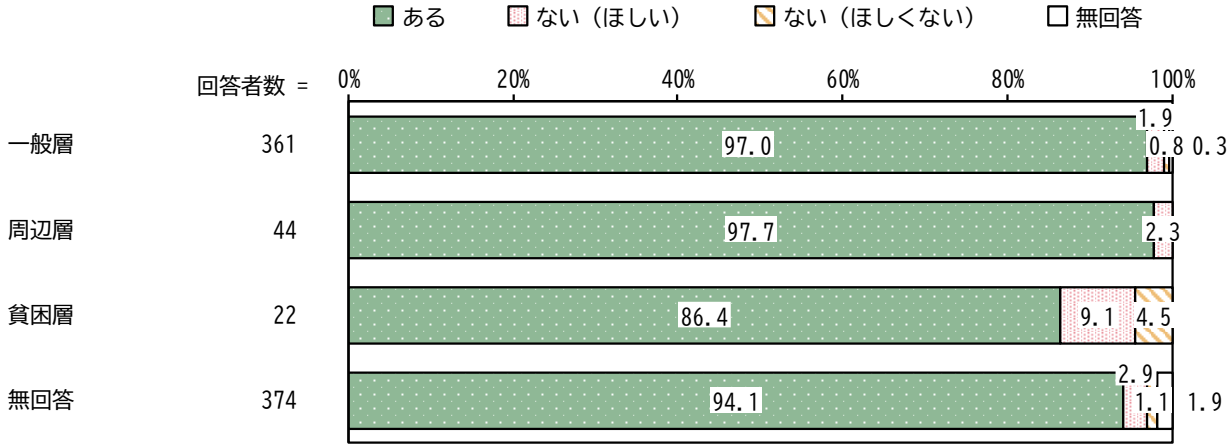
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

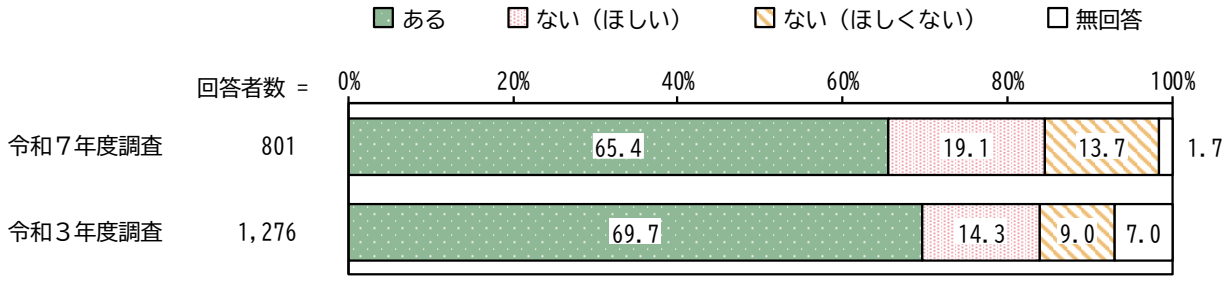
生活困難度別にみると、貧困層で「ない（ほしい）」の割合が高く、「ある」の割合が低くなっています。



E　自分専用の勉強机

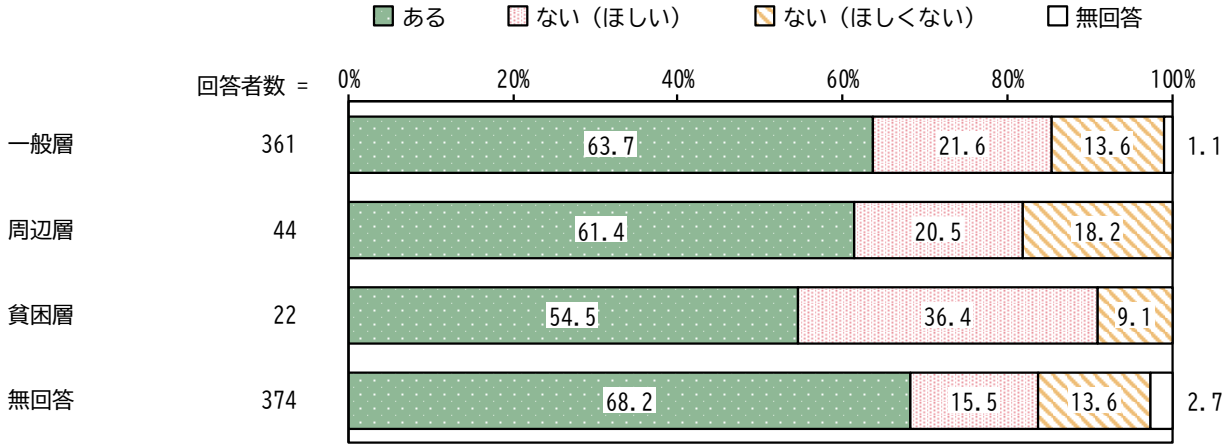
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

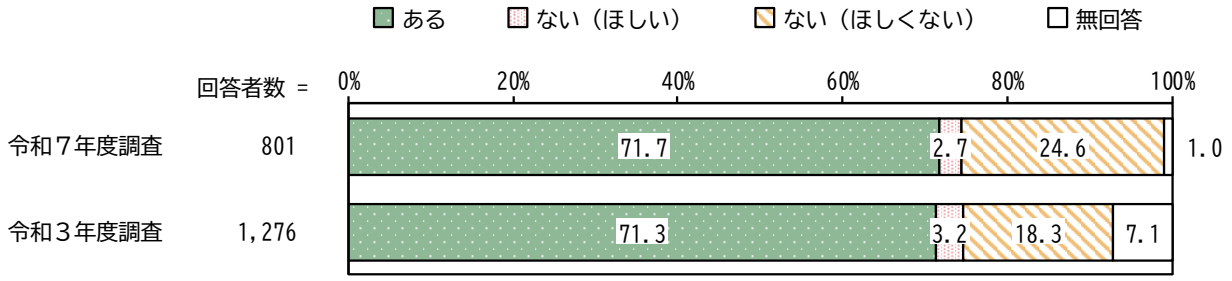
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「ある」の割合が高くなっています。また、貧困層で「ない（ほしい）」の割合が高くなっています。



F　スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）

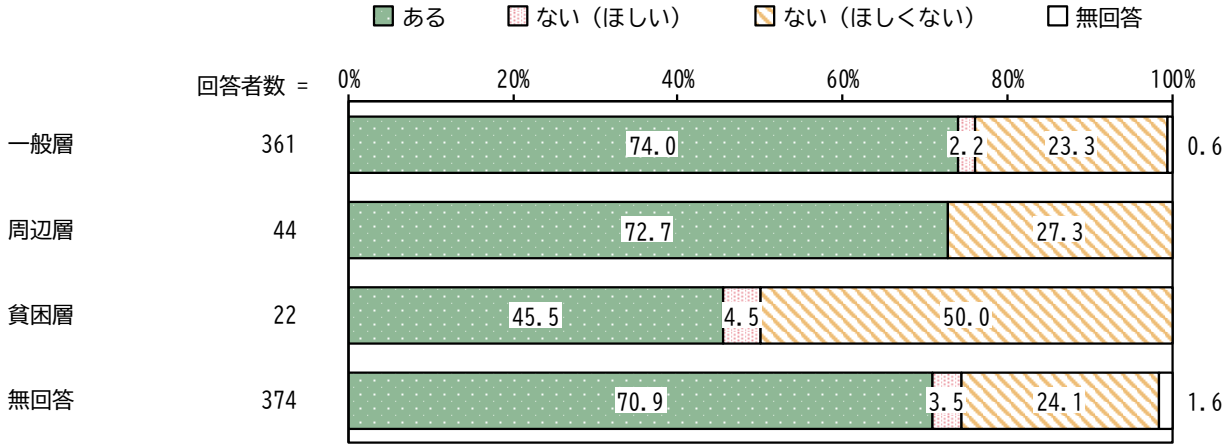
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ない（ほしくない）」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

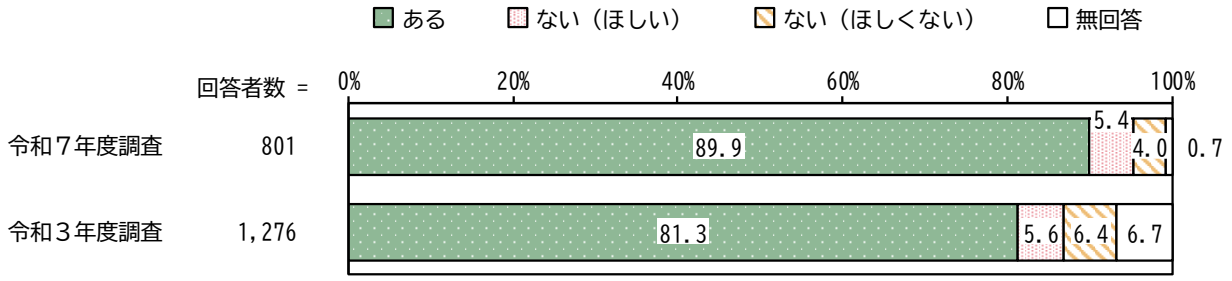
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「ない（ほしくない）」の割合が高く、「ある」の割合が低くなっています。



G　ゲーム機

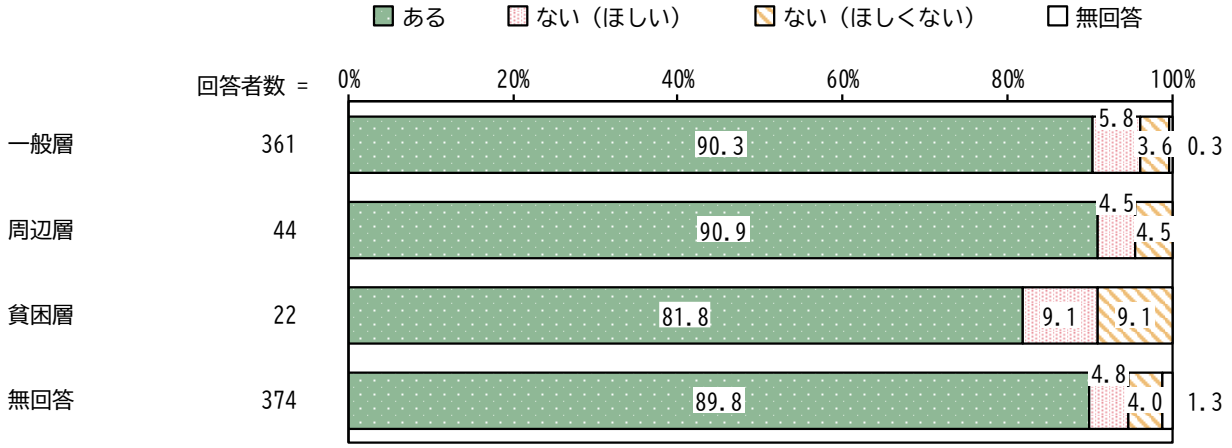
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

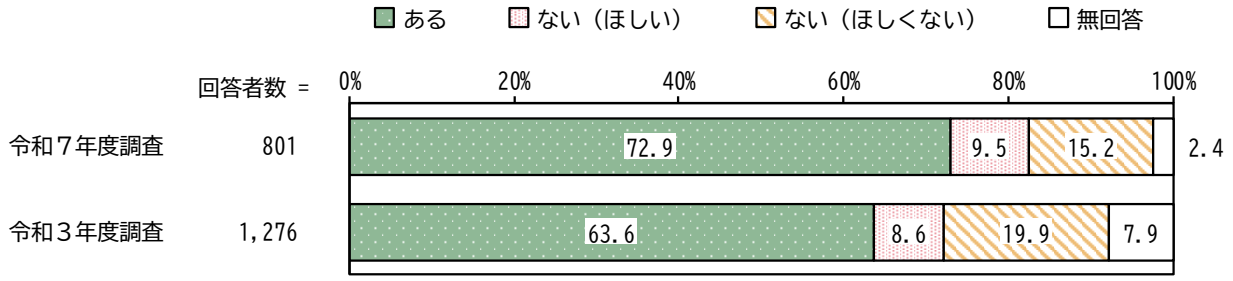
生活困難度別にみると、貧困層で「ない（ほしくない）」の割合が高く、「ある」の割合が低くなっています。



H　たいていの友だちが持っているおもちゃ

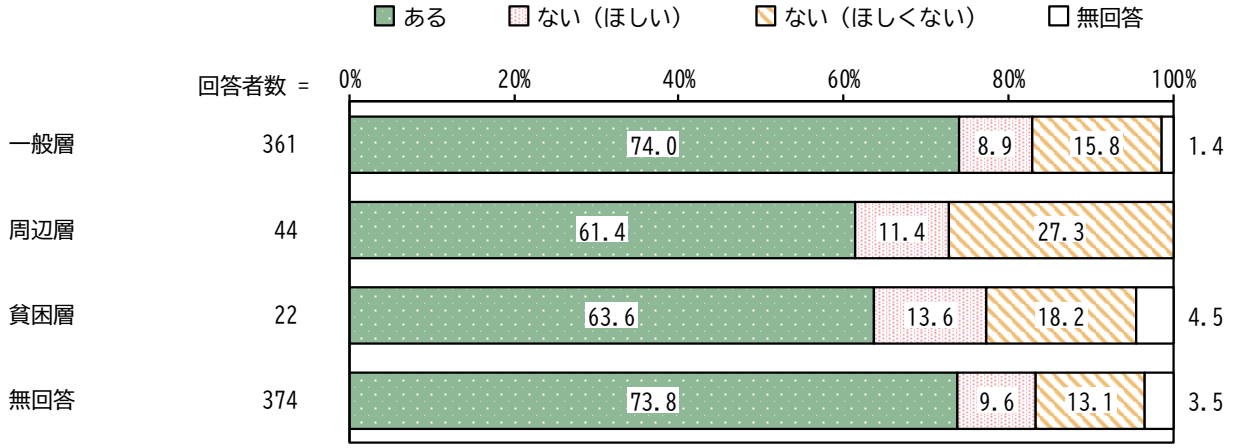
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

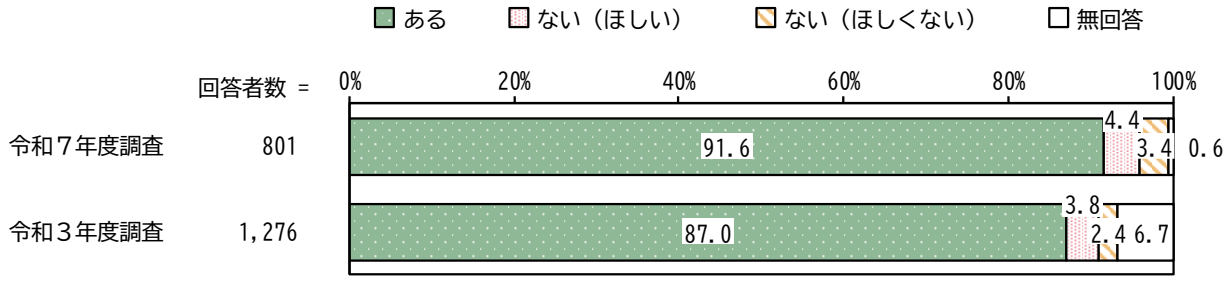
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「ない（ほしい）」の割合が高くなっています。また、周辺層で「ない（ほしくない）」の割合が高く、「ある」の割合が低くなっています。



Ⅰ　自転車

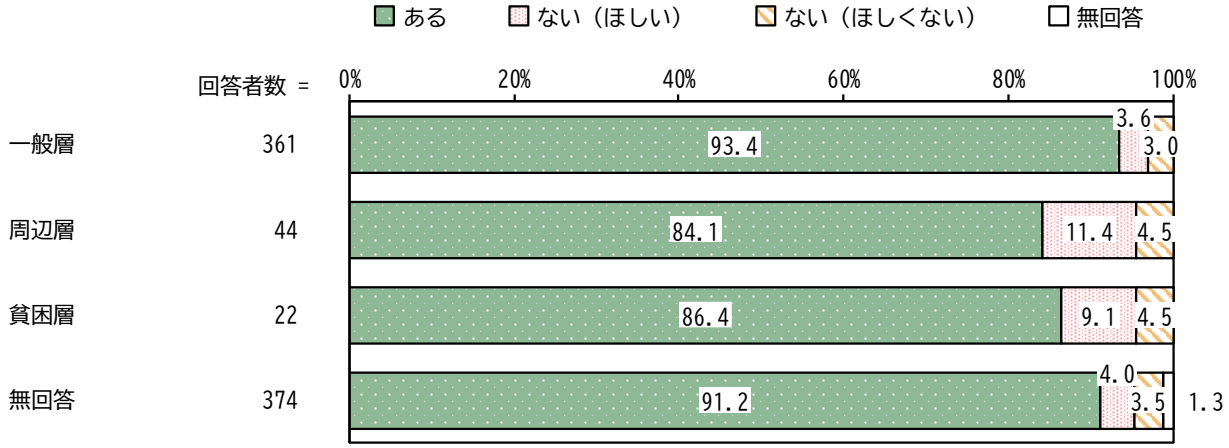
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

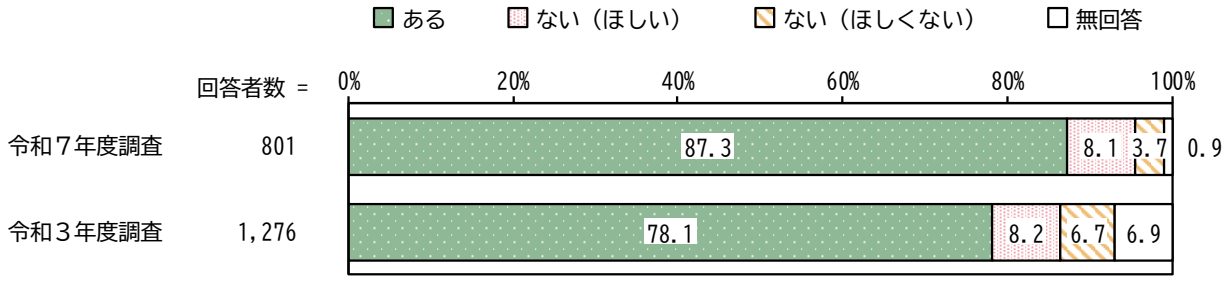
生活困難度別にみると、周辺層で「ない（ほしい）」の割合が高く、周辺層、貧困層で「ある」の割合が低くなっています。



J　おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい

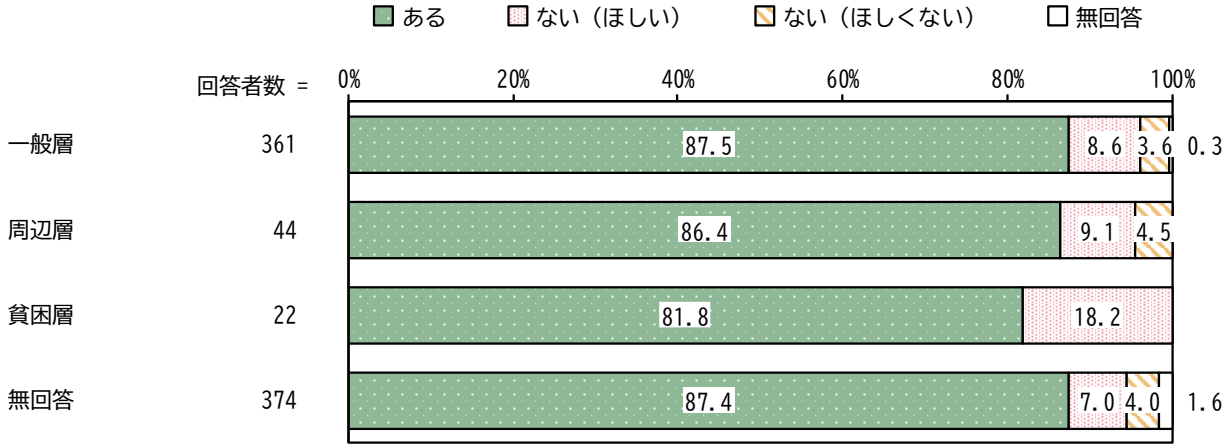
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

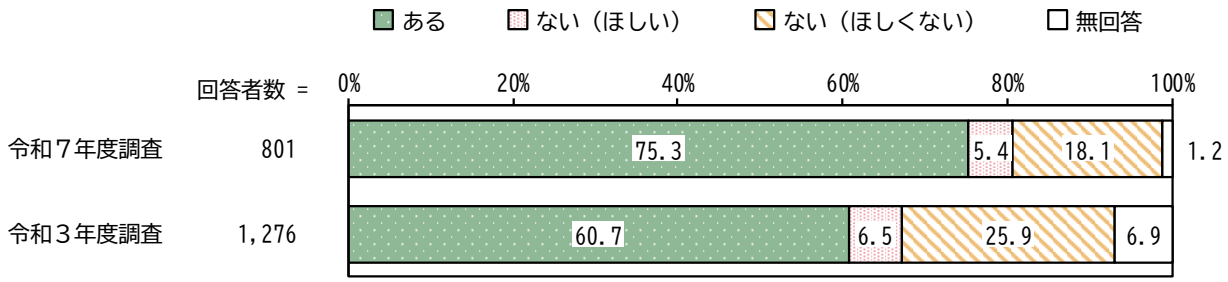
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「ない（ほしい）」の割合が高く、「ある」の割合が低くなっています。



K　友だちが着ているのと同じような服

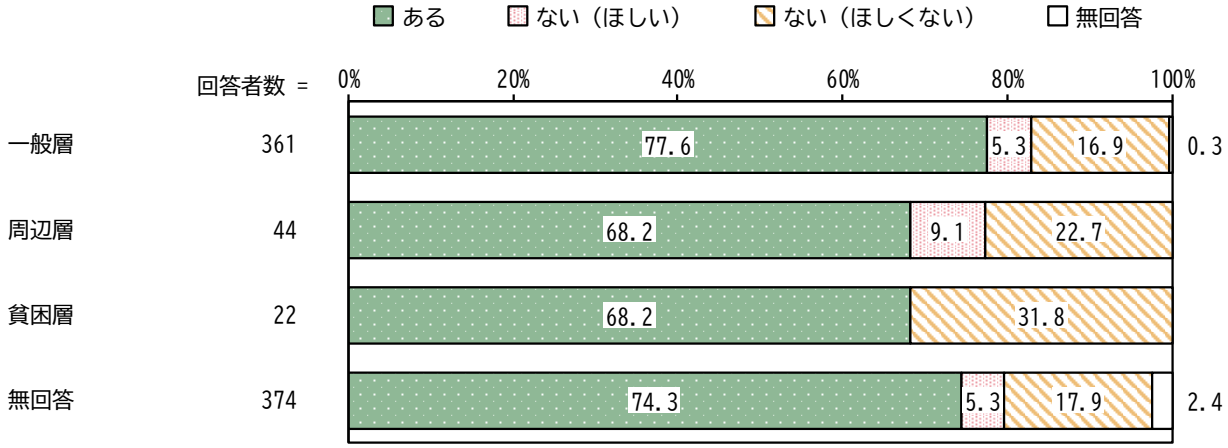
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。一方、「ない（ほしくない）」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

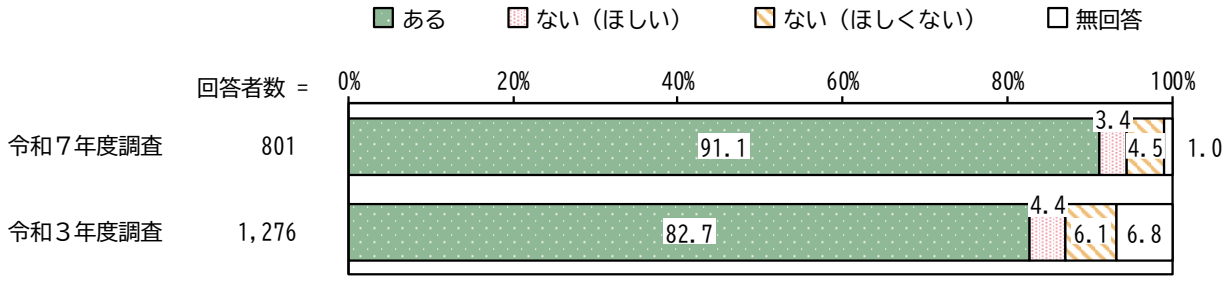
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「ない（ほしくない）」の割合が高くなっています。



L　２足以上のサイズのあった靴

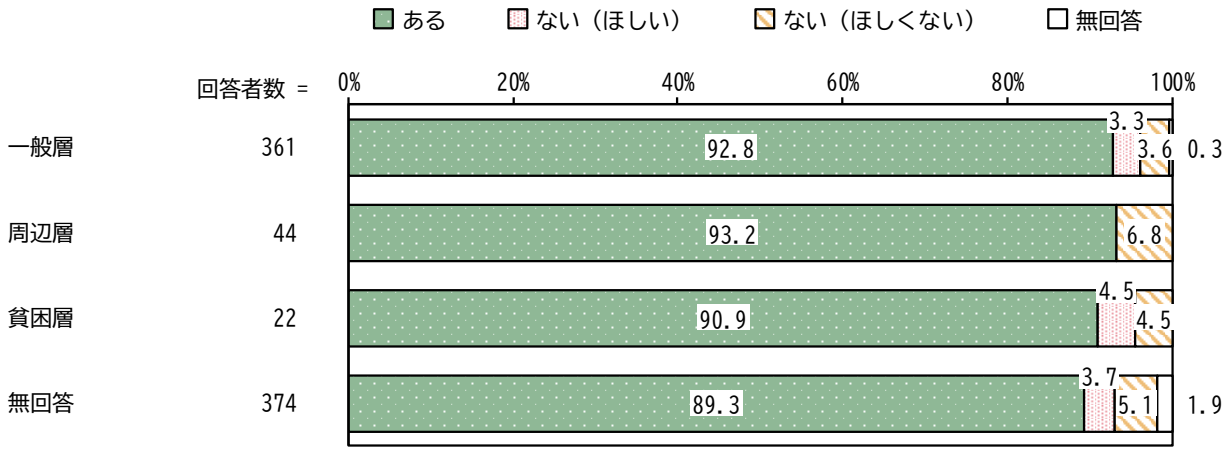
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

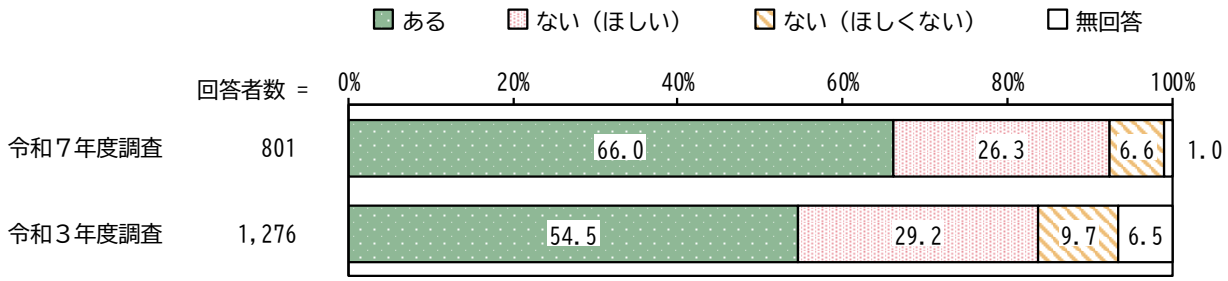
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



M　携帯電話、スマートフォン

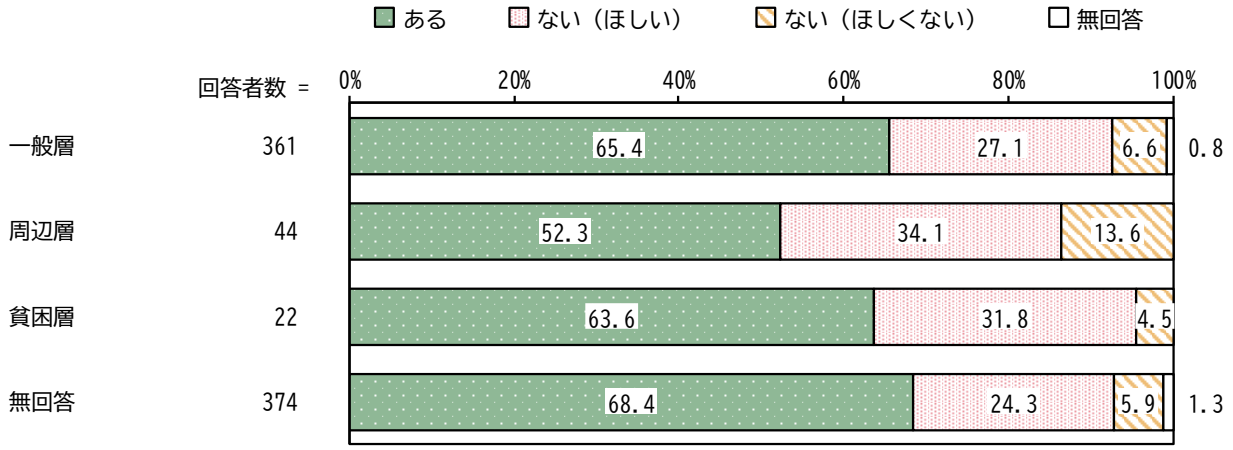
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

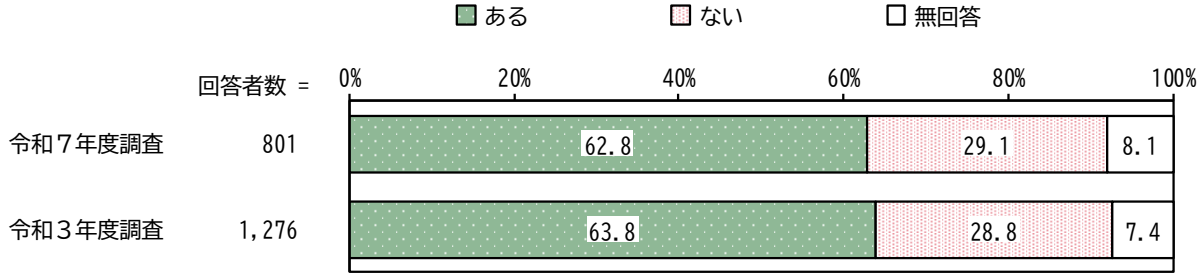
生活困難度別にみると、周辺層、貧困層で「ない（ほしい）」、周辺層で「ない（ほしくない）」の割合が高くなっています。



問５　あなたは、将来の夢がありますか。（１つに○）

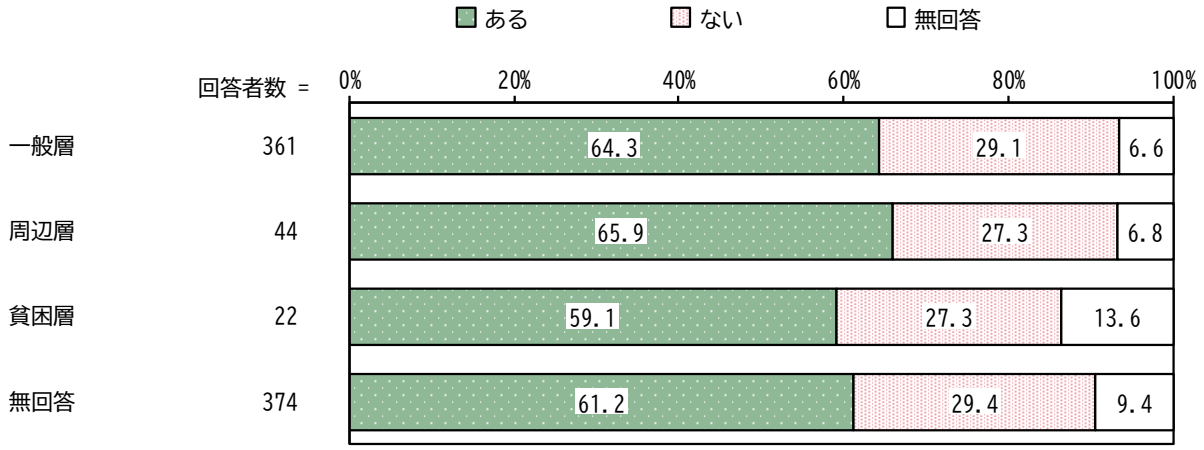
「ある」の割合が 62.8%、「ない」の割合が 29.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



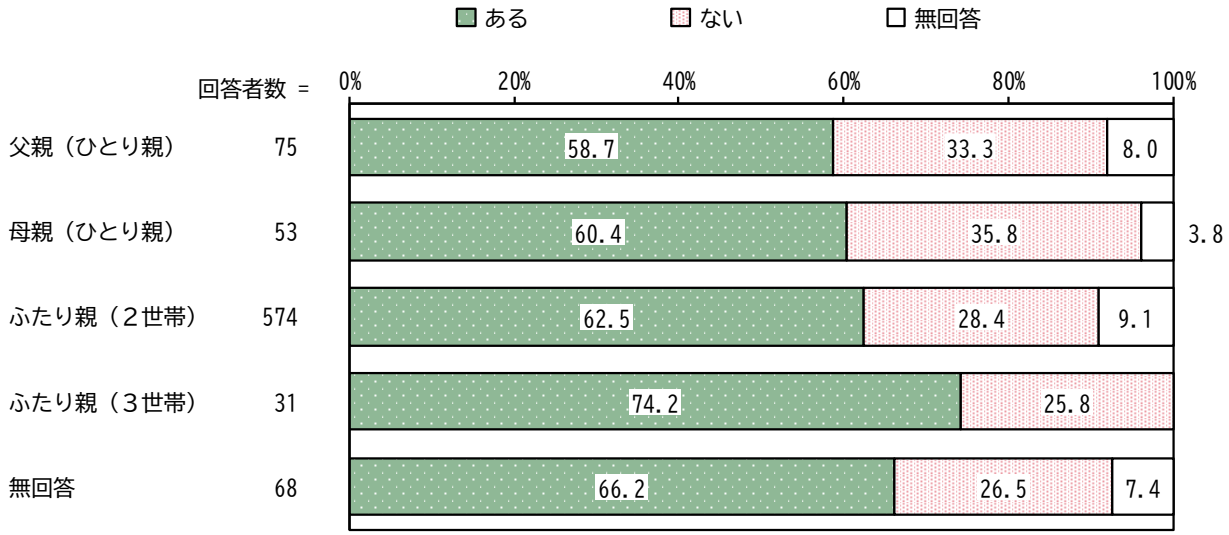
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「ある」の割合が高くなっています。



問５で将来の夢が「ある」と答えた人にお聞きします。

問５－１　その夢は何ですか。下の枠の中に書いてください。

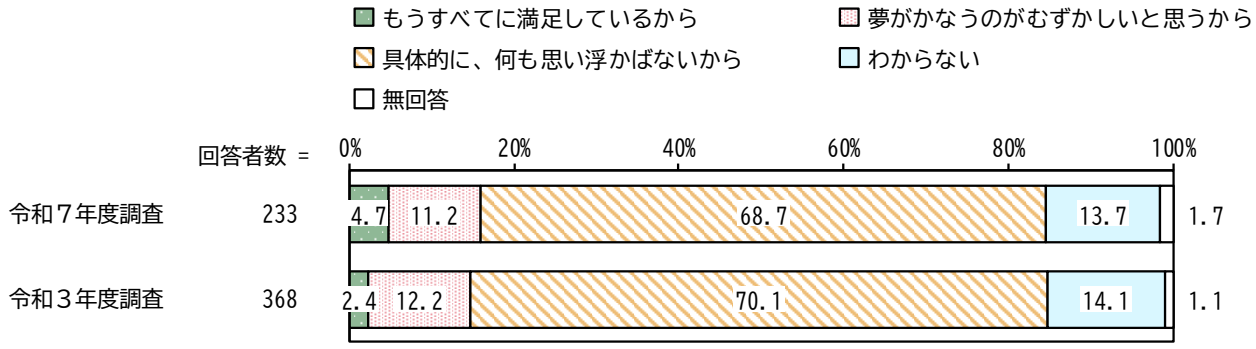
大きく分けて二つの傾向が見られ、一つ目は具体的な職業名を挙げる傾向であり、その中でも特に「サッカー選手」や「プロ野球選手」などのスポーツ選手、「パティシエ」などの飲食業、「保育士」などの教育関連、さらには「イラストレーター」といったクリエイティブ職や「YouTuber」「ゲームを作る人」などのデジタル関連の職業に多数の意見が集まっている一方で、二つ目は特定の職業名に限定せず、「友達といっしょにくらす」「お金持ち」「人を助ける仕事」「平和にくらす」といった、自身の理想とする生活様式や他者との関わり方を将来の夢として掲げる傾向となっています。

問５で将来の夢が「ない」と答えた人にお聞きします。

問５－２　夢がない理由は何ですか。（１つに○）

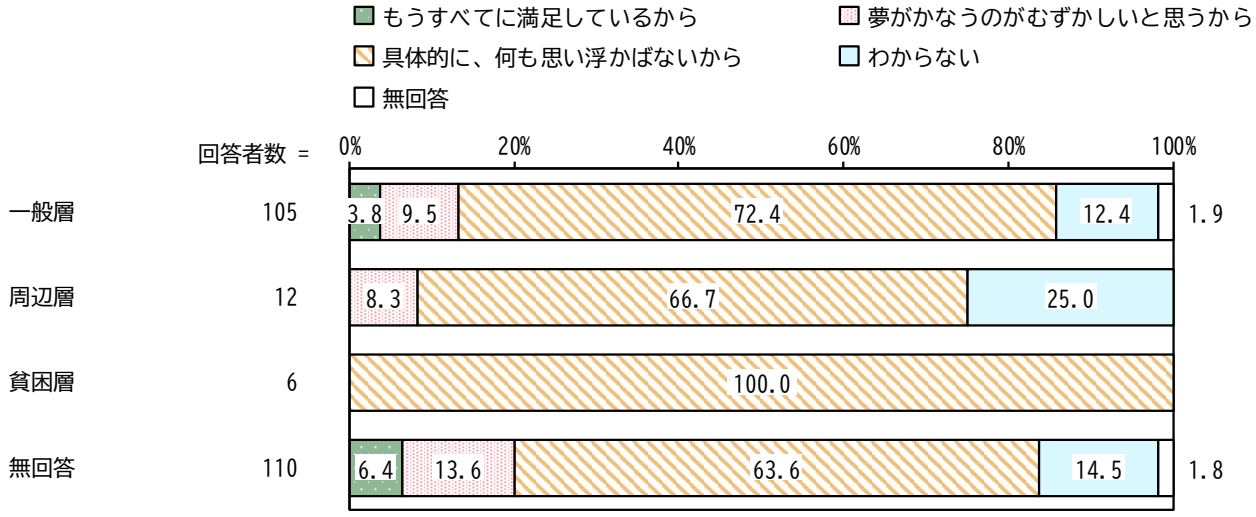
「もうすべてに満足しているから」の割合が 4.7%、「夢がかなうのがむずかしいと思うから」の割合が 11.2%、「具体的に、何も思い浮かばないから」の割合が 68.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

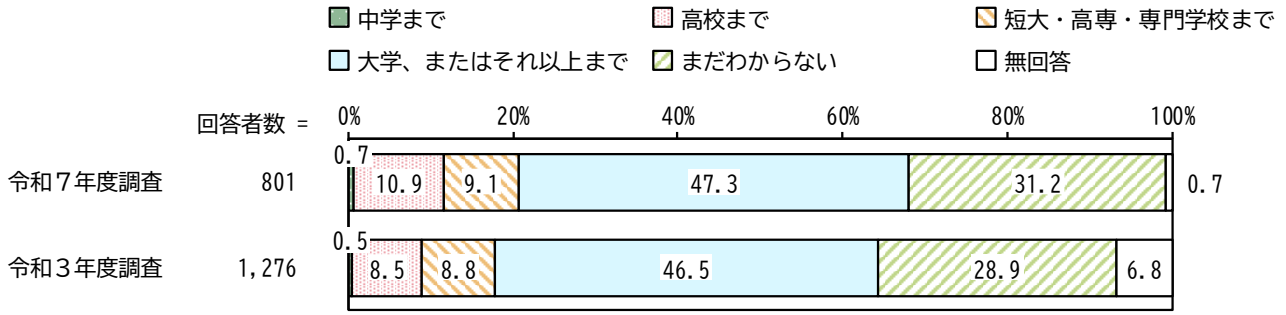
生活困難度別にみると、周辺層から貧困層まで困難度が大きいほど「具体的に、何も思い浮かばないから」の割合が高くなっています。また、一般層で「具体的に、何も思い浮かばないから」の割合が高くなっています。



問６　あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。あなたの考えにもっとも近いものに○をつけてください。（１つに○）

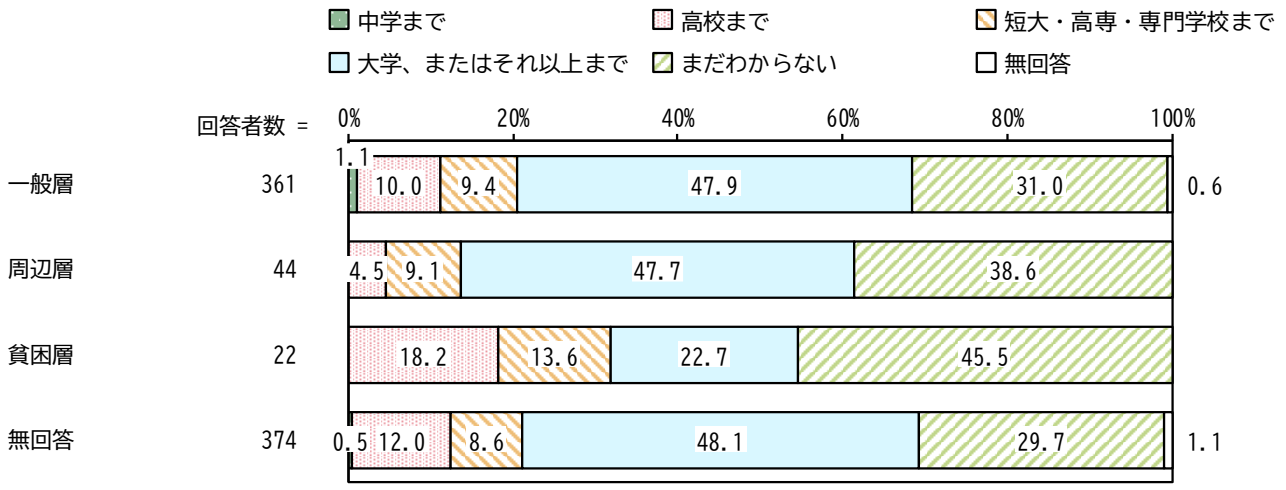
「大学、またはそれ以上まで」の割合が 47.3%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が 31.2%、「高校まで」の割合が 10.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「まだわからない」の割合が高く、「大学、またはそれ以上まで」の割合が低くなっています。

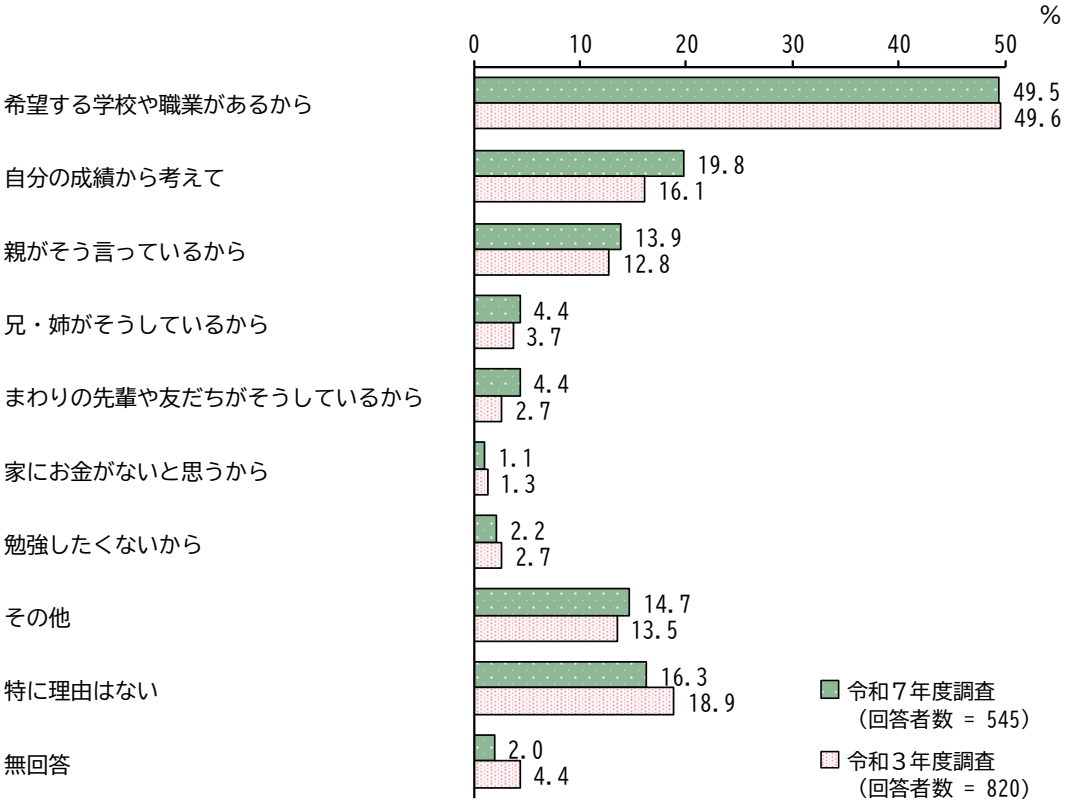


問６で「中学まで」～「またはそれ以上まで」と答えた人にお聞きします。

問６－１　なぜそれを選んだのか、その理由を答えてください。
（あてはまる番号すべてに○）

「希望する学校や職業があるから」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」の割合が 19.8%、「親がそう言っているから」の割合が 13.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

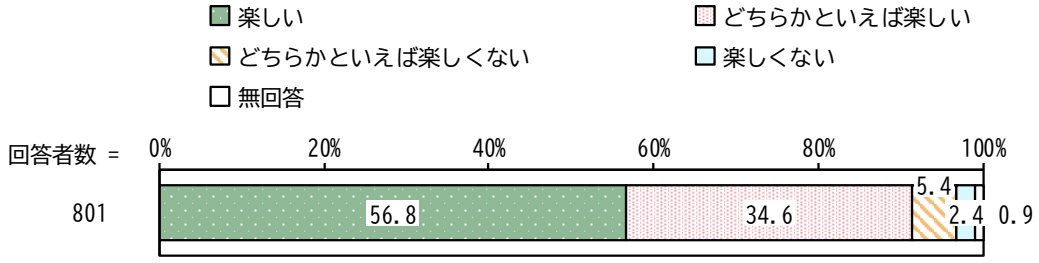
生活困難度別にみると、貧困層で「希望する学校や職業があるから」「自分の成績から考えて」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友だちがそうしているから	家にお金がないと思うから	勉強したくないから	その他	特に理由はない	無回答
全　体	545	49.5	19.8	13.9	4.4	4.4	1.1	2.2	14.7	16.3	2.0
一般層	247	54.3	23.9	15.4	4.9	4.9	2.0	2.8	10.9	15.8	0.0
周辺層	27	44.4	22.2	0.0	7.4	0.0	0.0	3.7	29.6	14.8	0.0
貧困層	12	58.3	25.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
無回答	259	45.2	15.4	14.3	3.5	4.6	0.4	1.5	16.6	17.0	4.2

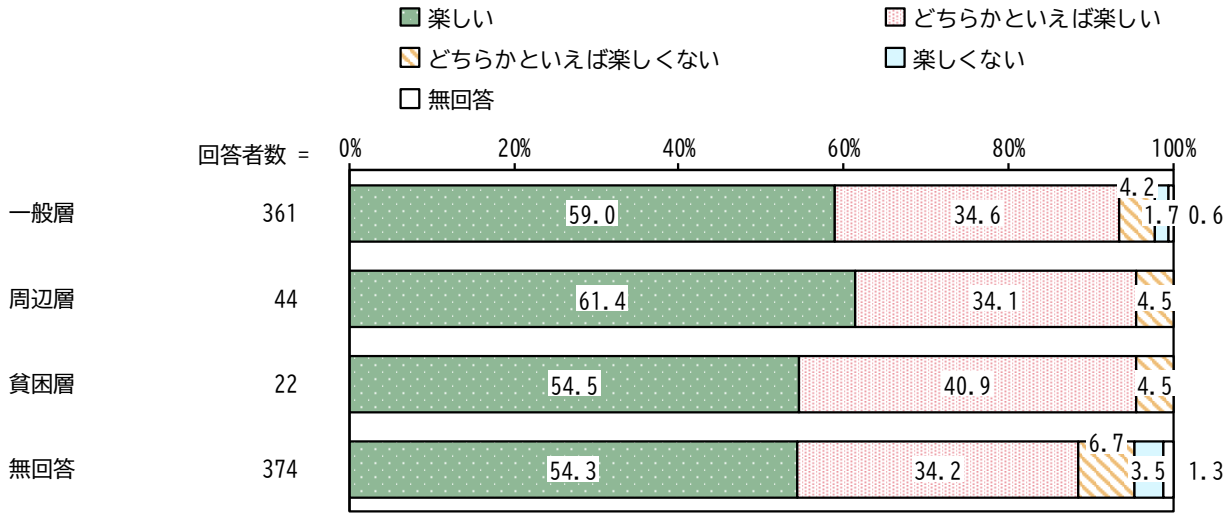
問７　あなたは、学校にいる時間が楽しいですか。（１つに○）

「楽しい」「どちらかといえば楽しい」を合わせた“楽しい”の割合が 91.4%、「どちらかといえば楽しくない」「楽しくない」を合わせた“楽しくない”の割合が 7.8%となっています。



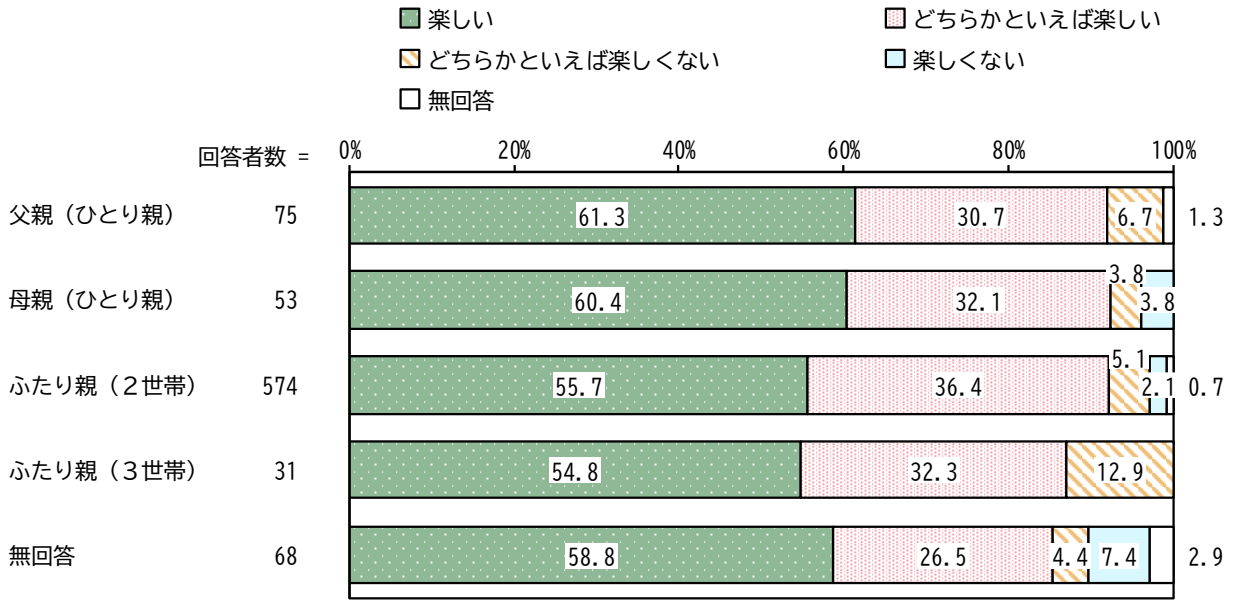
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「どちらかといえば楽しい」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

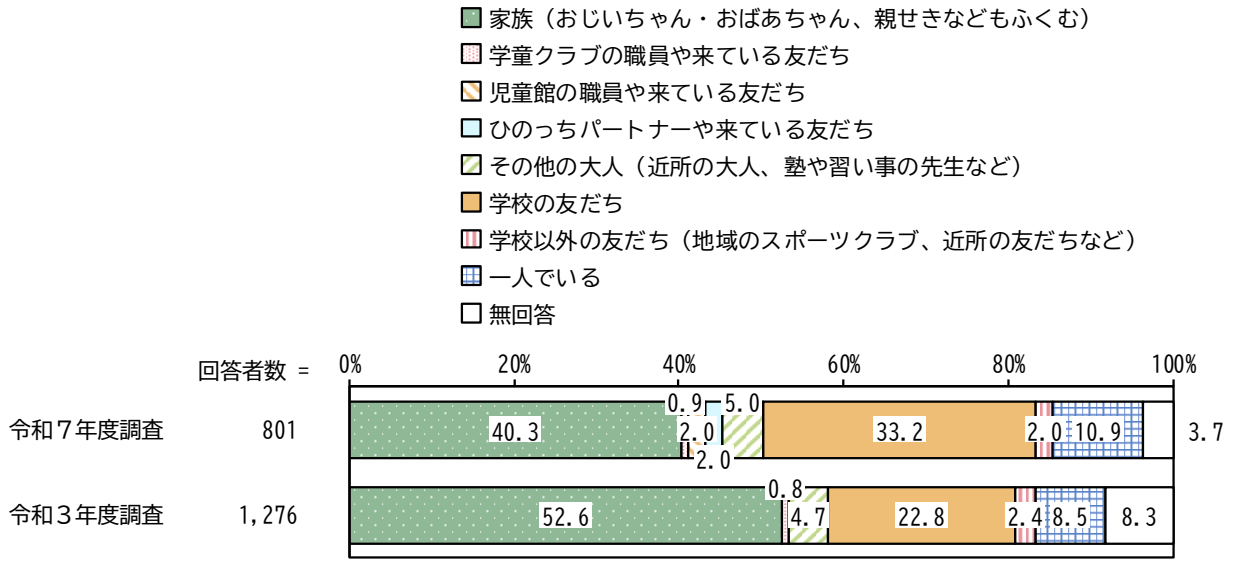
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で“楽しくない”の割合が高くなっています。



問８　あなたは、平日（学校へ行く日）の放課後（夕方６時くらいまで）はだれと過ごしますか。一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。（１つに○）

「家族（おじいちゃん・おばあちゃん、親せきなどもふくむ）」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「学校の友だち」の割合が 33.2%、「一人でいる」の割合が 10.9%となっています。

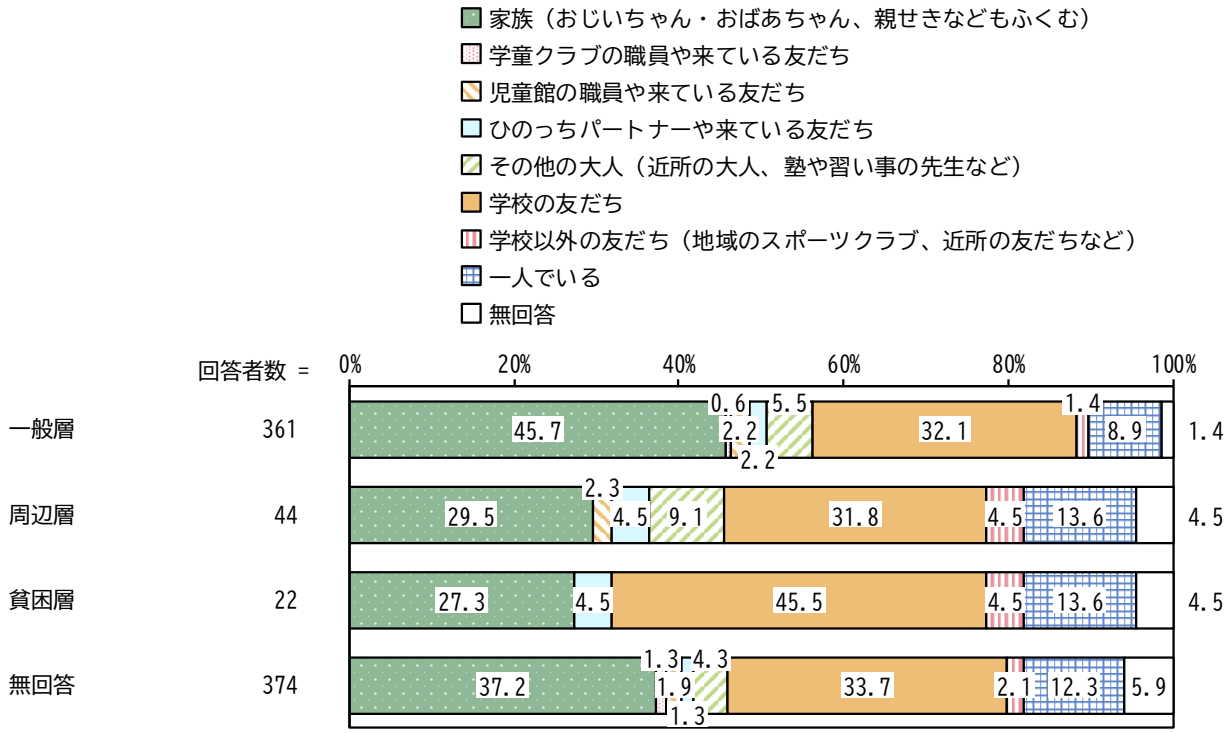
令和３年度調査と比較すると、「学校の友だち」の割合が増加しています。一方、「家族（おじいちゃん・おばあちゃん、親せきなどもふくむ）」の割合が減少しています。



※令和３年度調査では、「学童クラブの職員や来ている友だち」が「学童クラブ、その他の施設の職員や施設に来ている児童」となっており、「児童館の職員や来ている友だち」、「ひのっちパートナーや来ている友だち」がありませんでした。

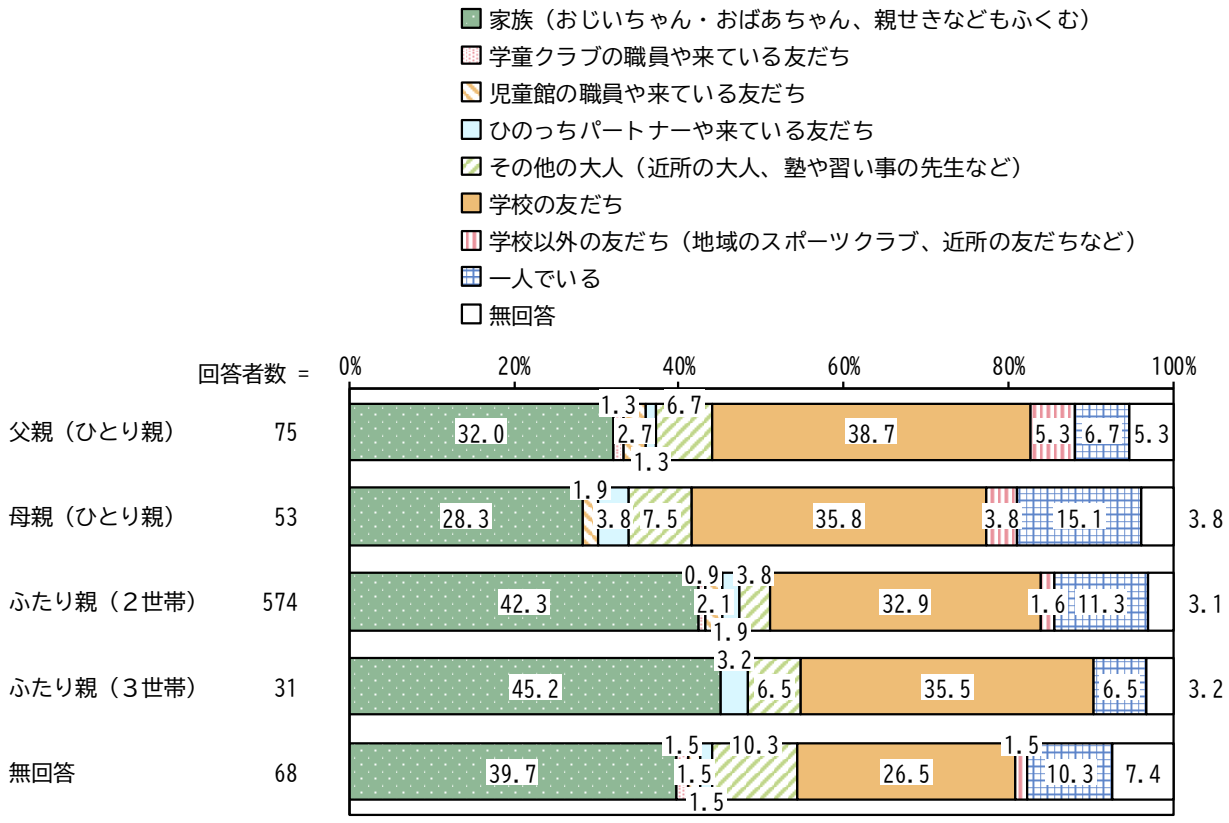
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「家族（おじいちゃん・おばあちゃん、親せきなどもふくむ）」の割合が高くなっています。また、貧困層で「学校の友だち」の割合が高くなっています。



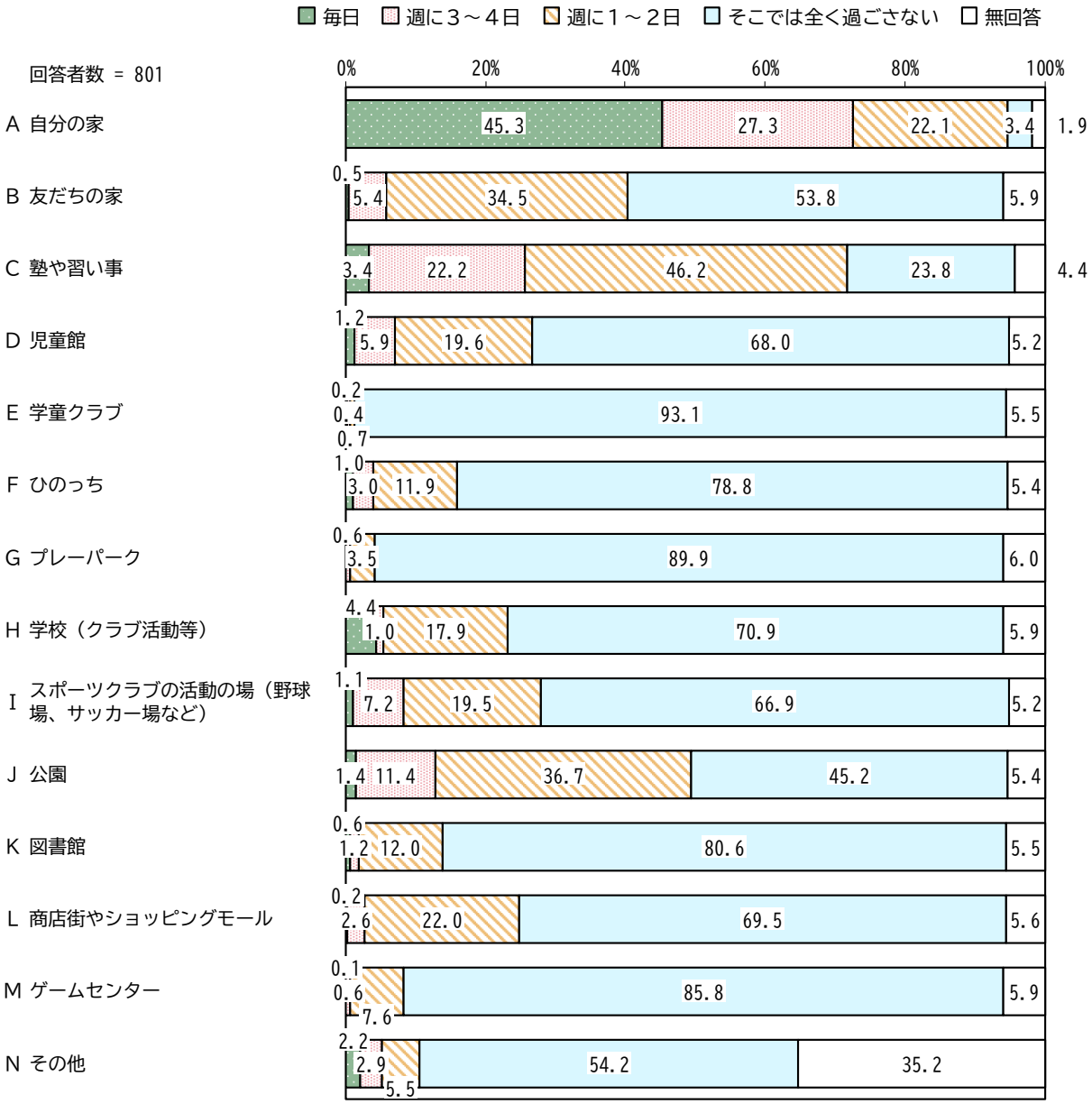
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で「学校の友だち」の割合が高く、母親（ひとり親）で「家族（おじいちゃん・おばあちゃん、親せきなどもふくむ）」の割合が低くなっています。



問９　あなたは、平日（学校へ行く日）の放課後（夕方６時くらいまで）、どこで過ごしますか。１週間のうち、そこで過ごすおおよその日数に○をつけてください。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

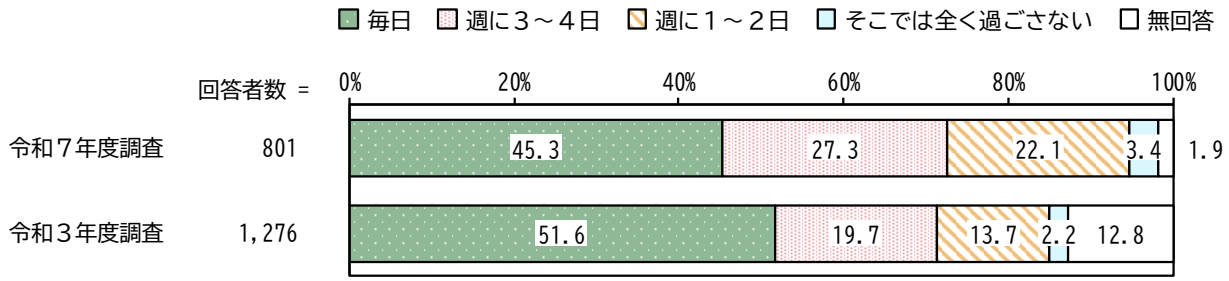
『Ａ　自分の家』で「毎日」「週に３～４日」が、『Ｃ　塾や習い事』で「週に１～２日」が、『Ｅ　学童クラブ』で「そこでは全く過ごさない」が高くなっています。



A　自分の家

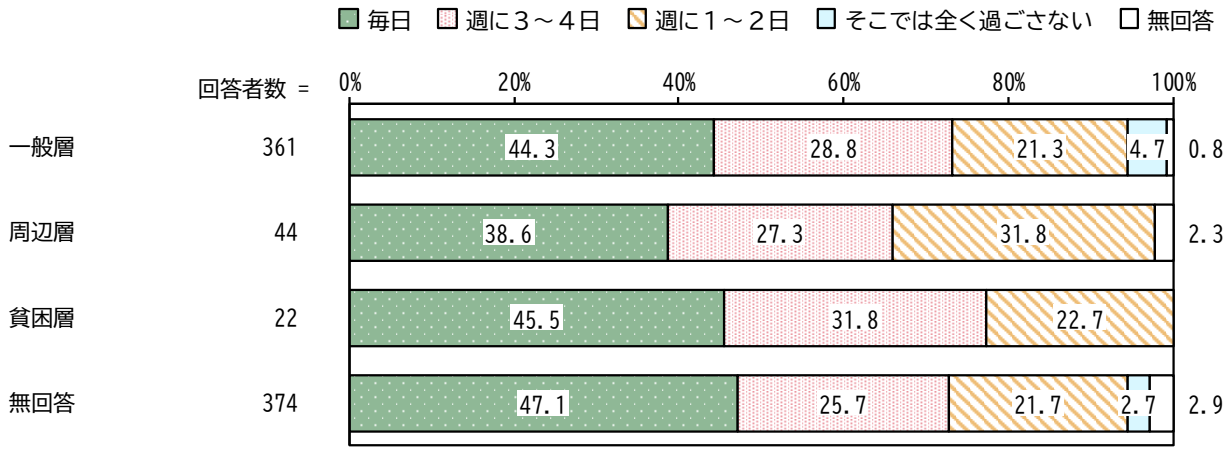
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「週に３～４日」「週に１～２日」の割合が増加しています。一方、「毎日」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

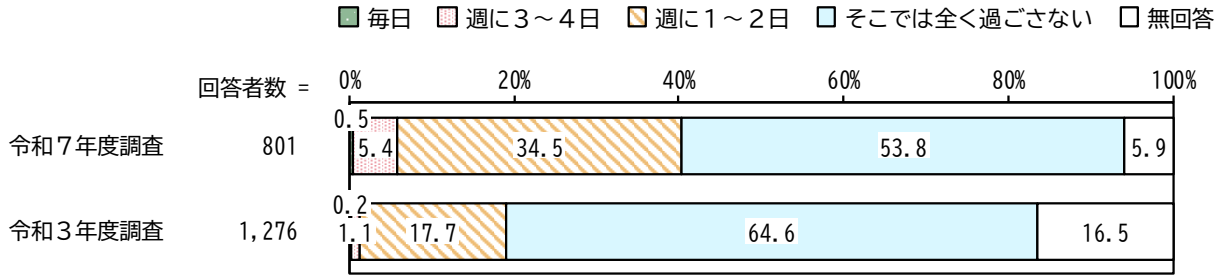
生活困難度別にみると、周辺層で「週に１～２日」の割合が高く、「毎日」の割合が低くなっています。



B　友だちの家

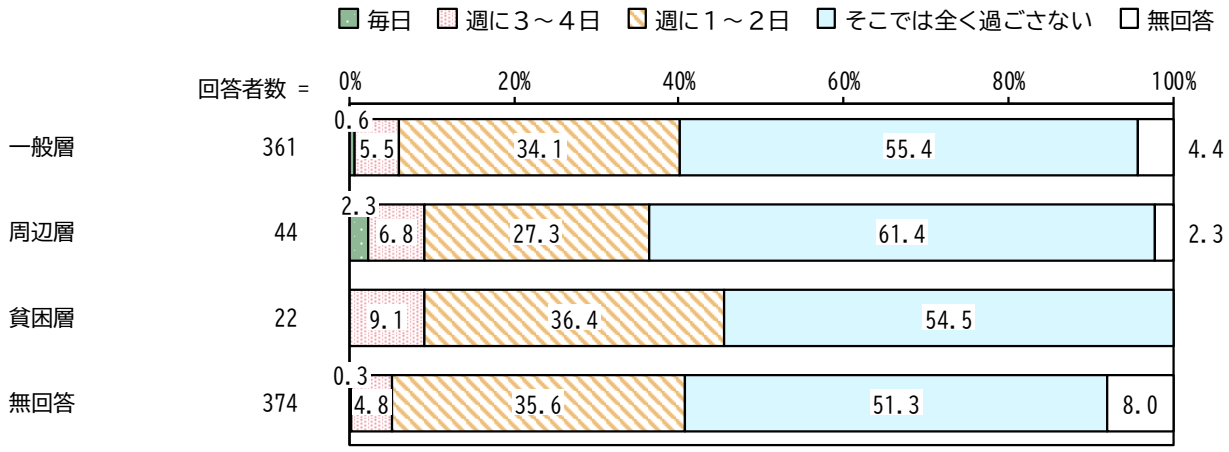
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「週に１～２日」の割合が増加しています。一方、「そこでは全く過ごさない」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

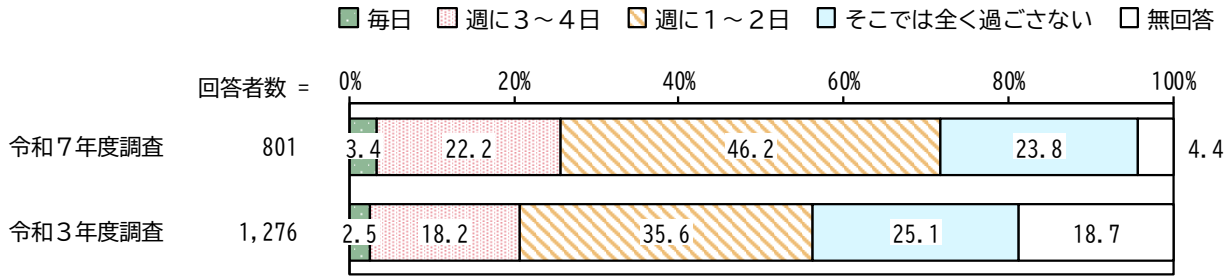
生活困難度別にみると、周辺層で「そこでは全く過ごさない」の割合が高く、「週に１～２日」の割合が低くなっています。



C　塾や習い事

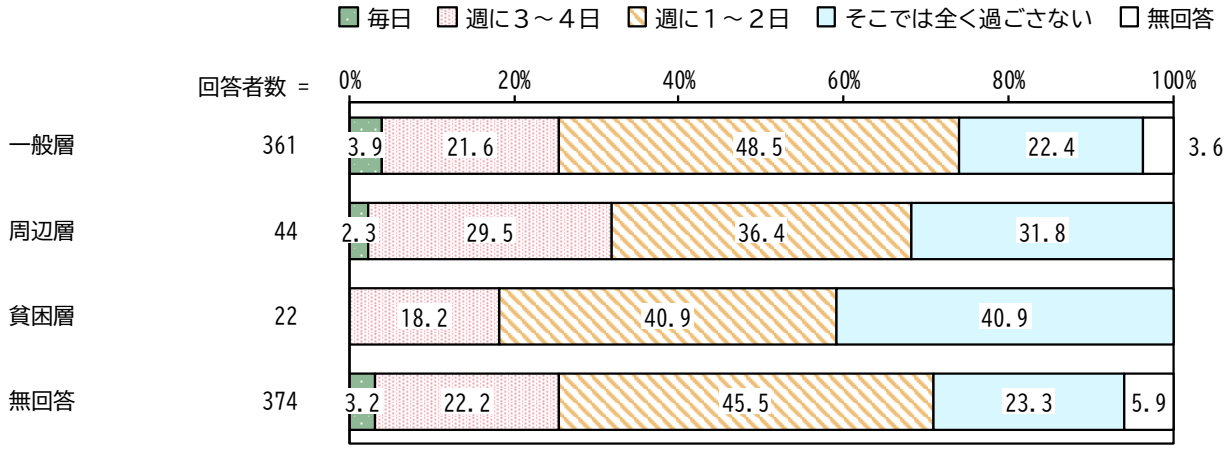
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「週に１～２日」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

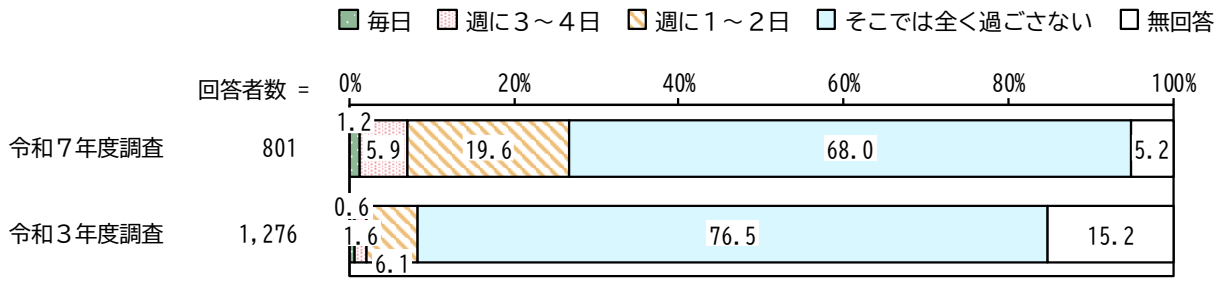
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「そこでは全く過ごさない」の割合が高くなっています。



D　児童館

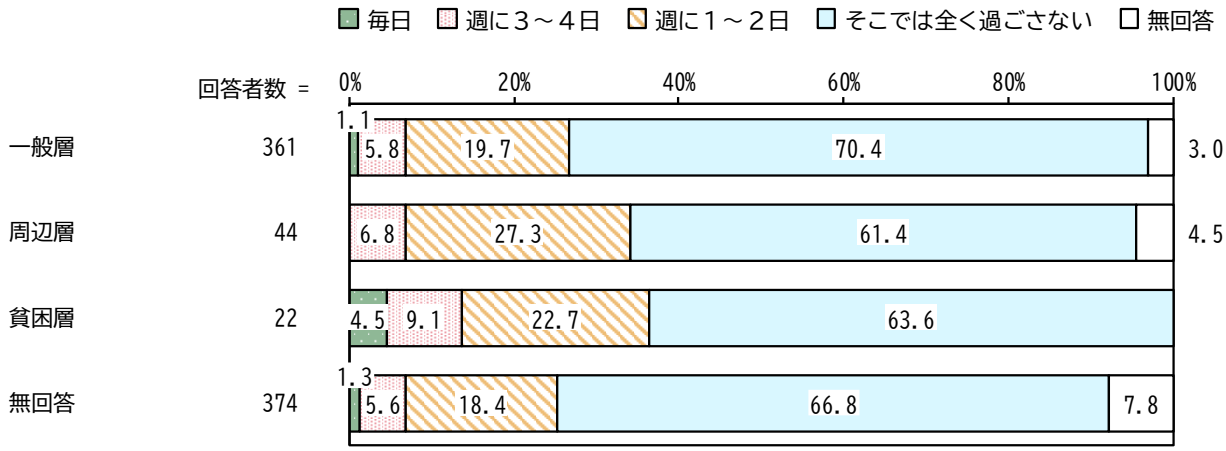
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「週に１～２日」の割合が増加しています。一方、「そこでは全く過ごさない」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

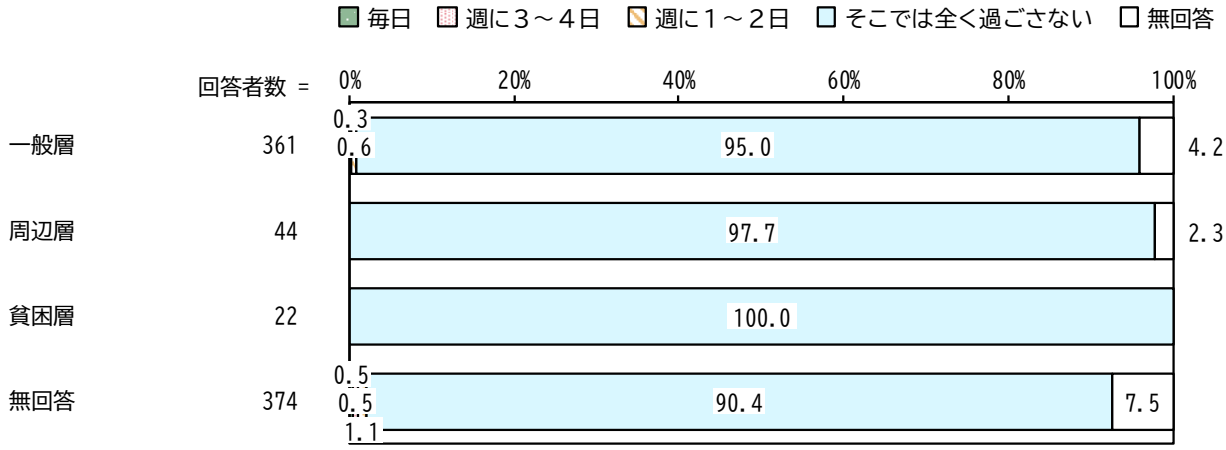
生活困難度別にみると、周辺層で「週に１～２日」の割合が高く、「そこでは全く過ごさない」の割合が低くなっています。



E　学童クラブ

【生活困難度別】

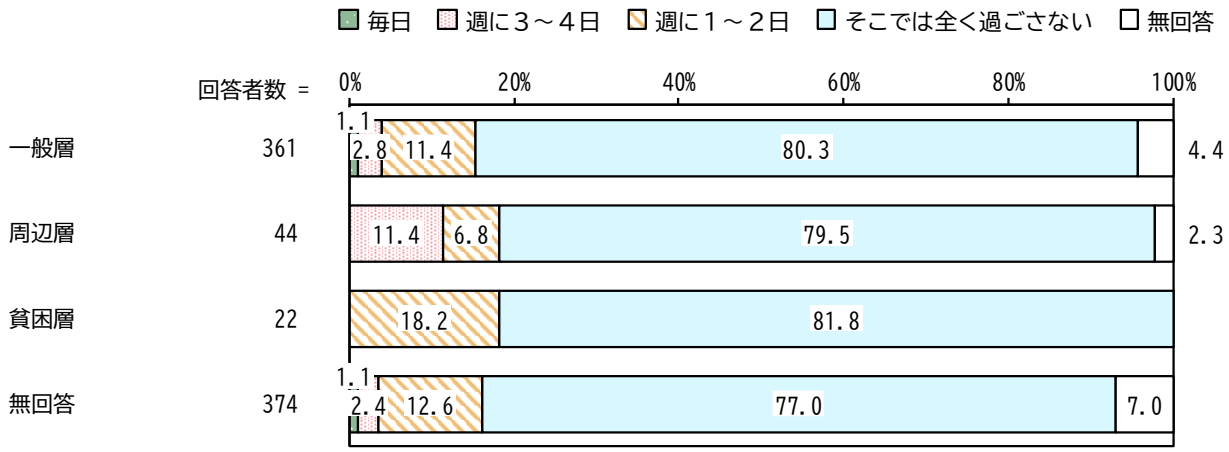
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「そこでは全く過ごさない」の割合が高くなっています。



F　ひのっち

【生活困難度別】

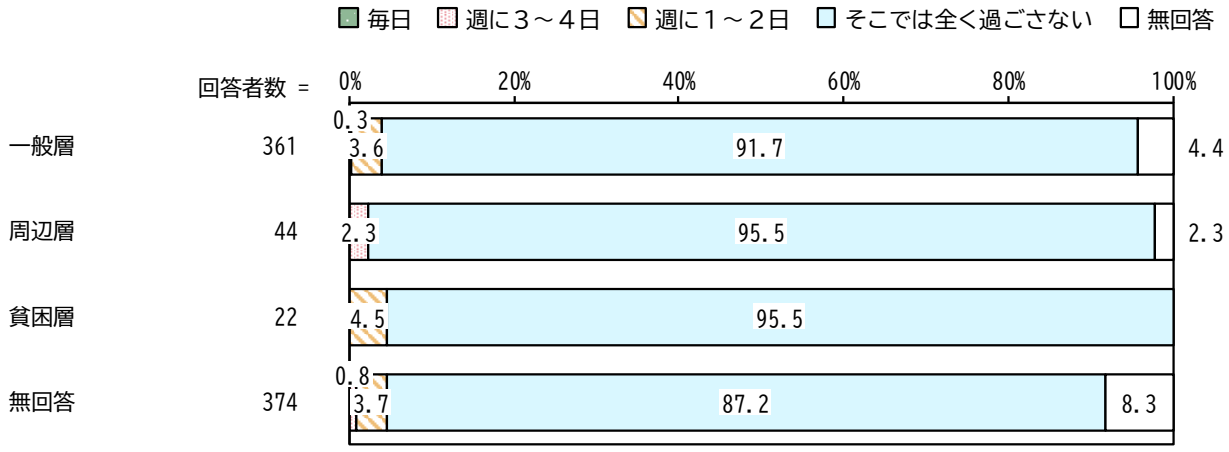
生活困難度別にみると、周辺層で「週に３～４日」、貧困層で「週に１～２日」の割合が高くなっています。



G　プレーパーク

【生活困難度別】

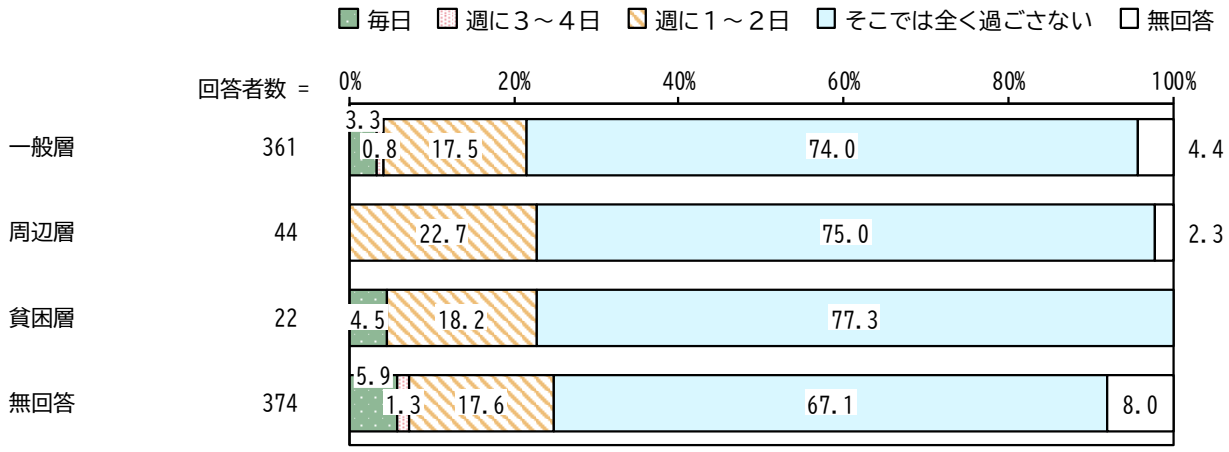
生活困難度別にみると、周辺層、貧困層で「そこでは全く過ごさない」の割合が高くなっています。



H　学校（クラブ活動等）

【生活困難度別】

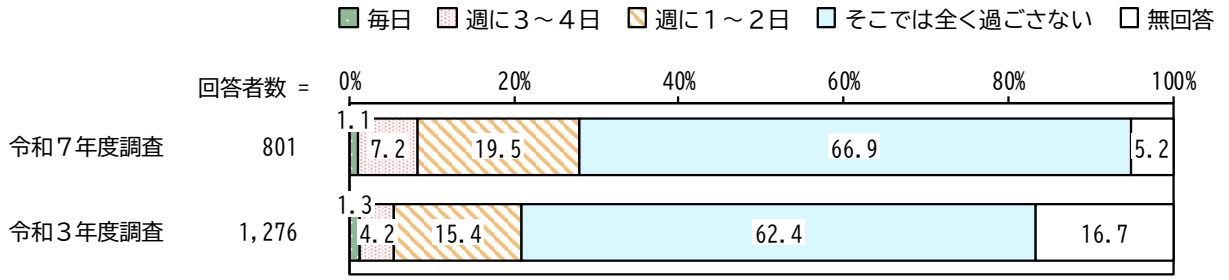
生活困難度別にみると、貧困層で「そこでは全く過ごさない」の割合が高くなっています。



I　スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）

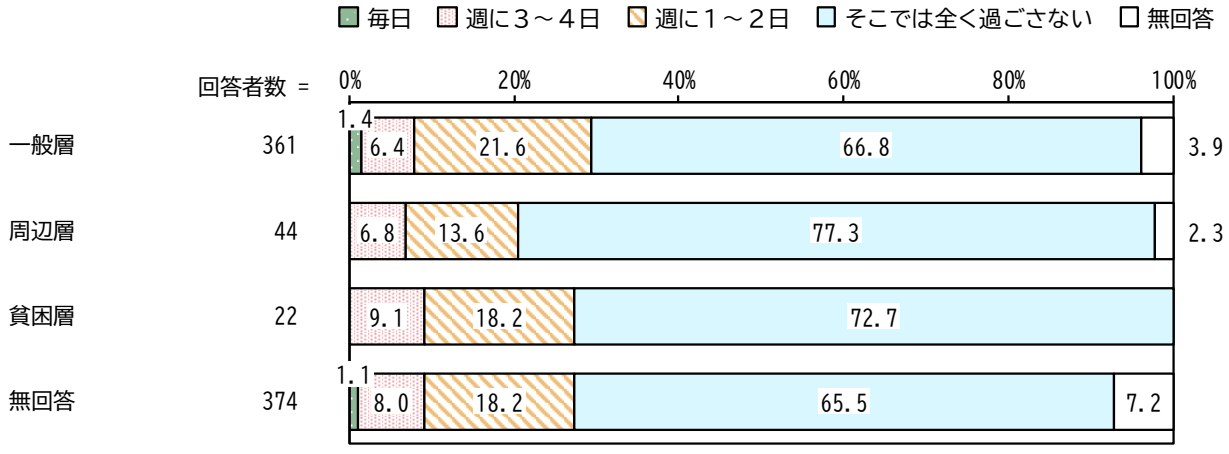
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

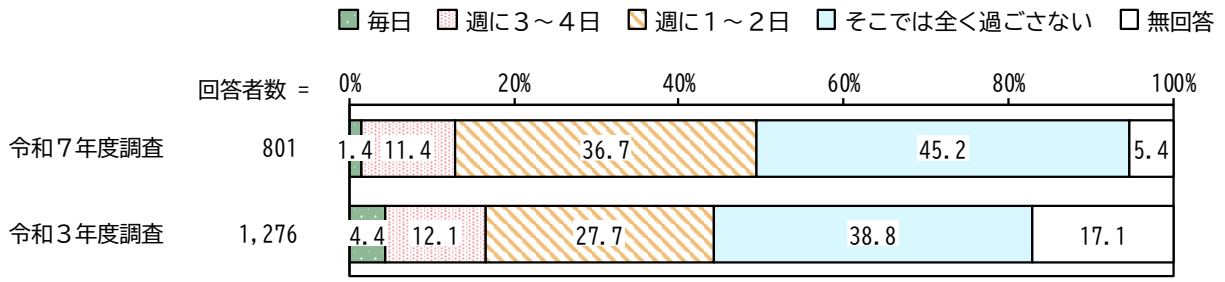
生活困難度別にみると、周辺層で「そこでは全く過ごさない」の割合が高くなっています。



J　公園

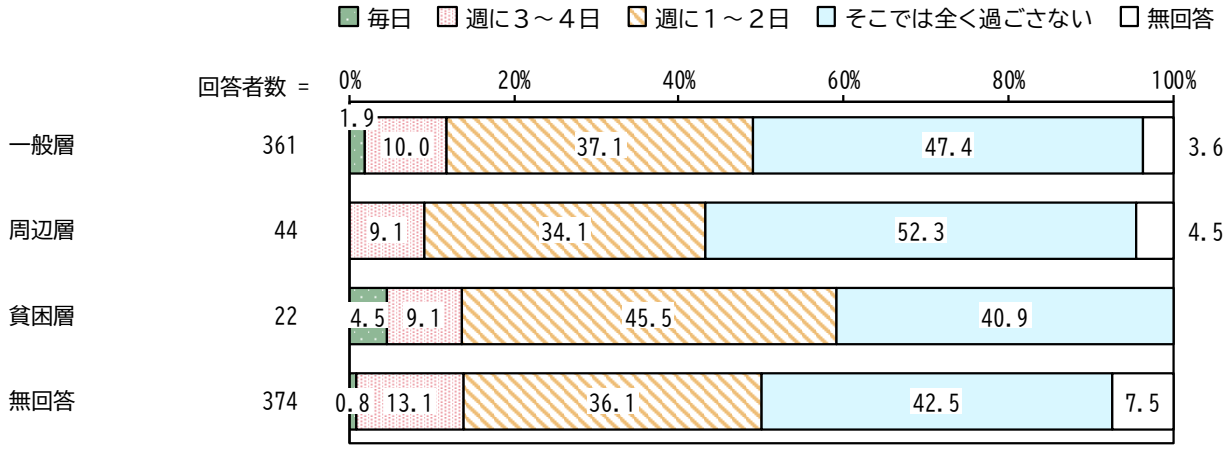
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「週に１～２日」「そこでは全く過ごさない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

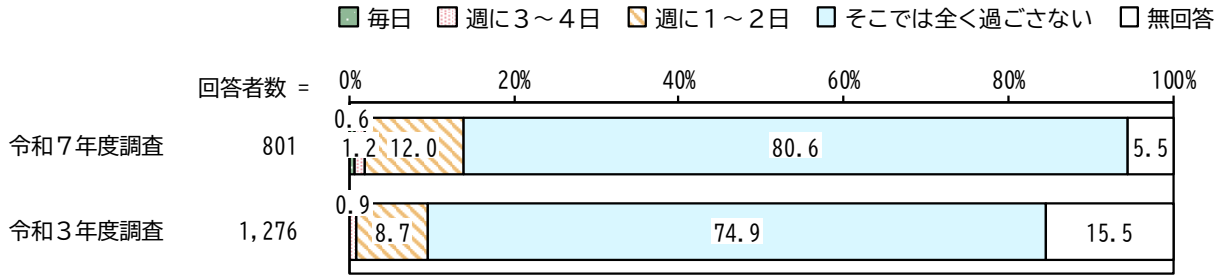
生活困難度別にみると、貧困層で「週に１～２日」、周辺層で「そこでは全く過ごさない」の割合が高くなっています。



K　図書館

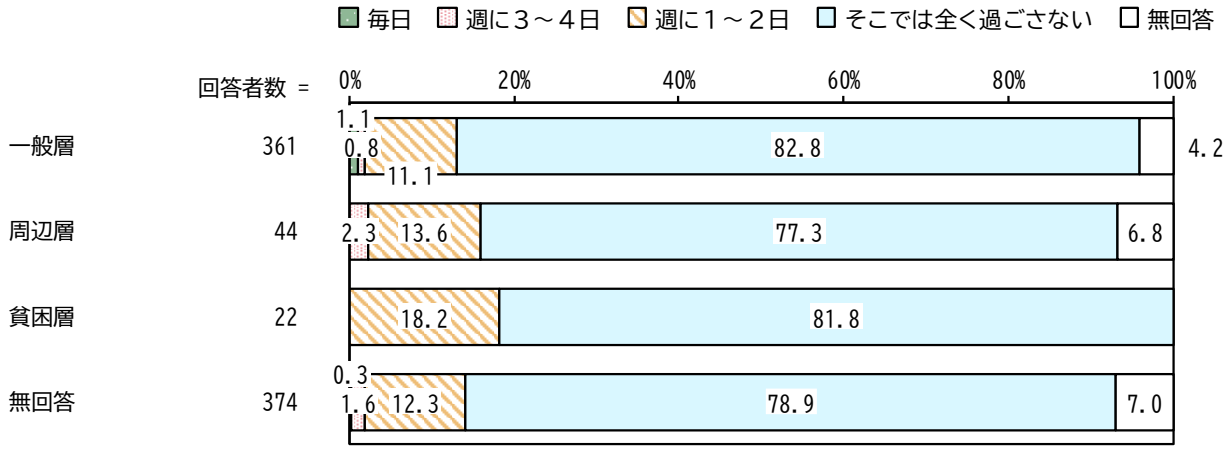
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そこでは全く過ごさない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

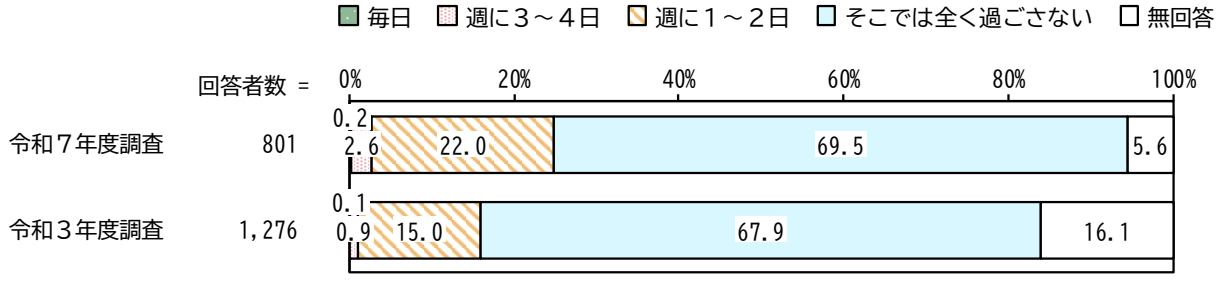
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「週に１～２日」の割合が高くなっています。



L　商店街やショッピングモール

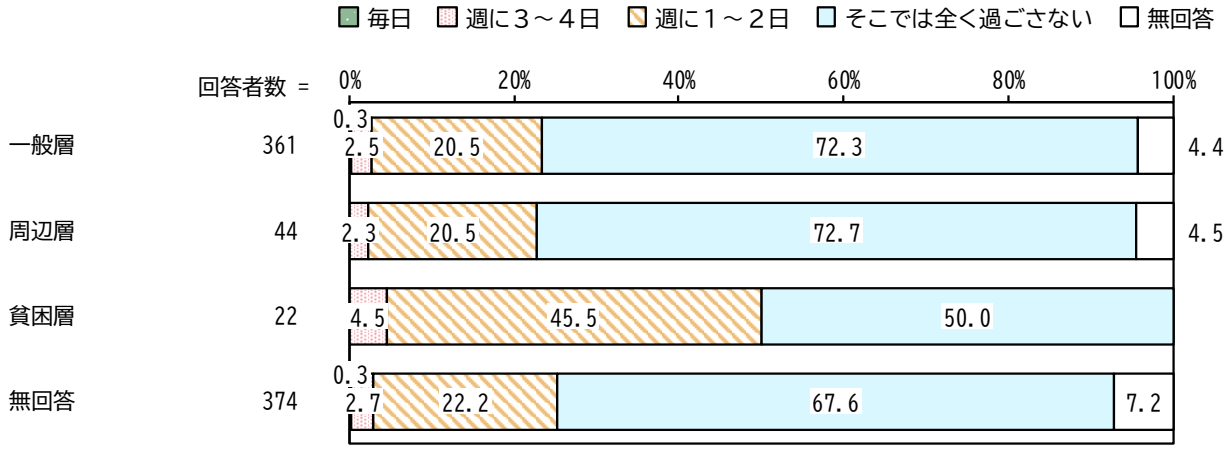
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「週に１～２日」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

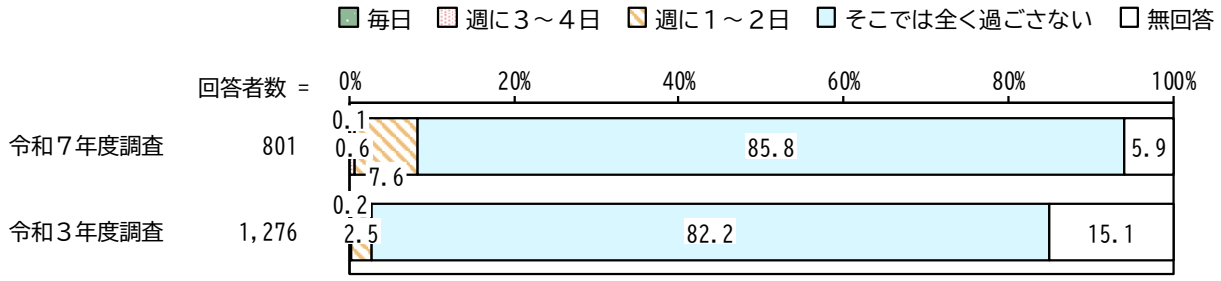
生活困難度別にみると、貧困層で「週に１～２日」の割合が高く、「そこでは全く過ごさない」の割合が低くなっています。



M　ゲームセンター

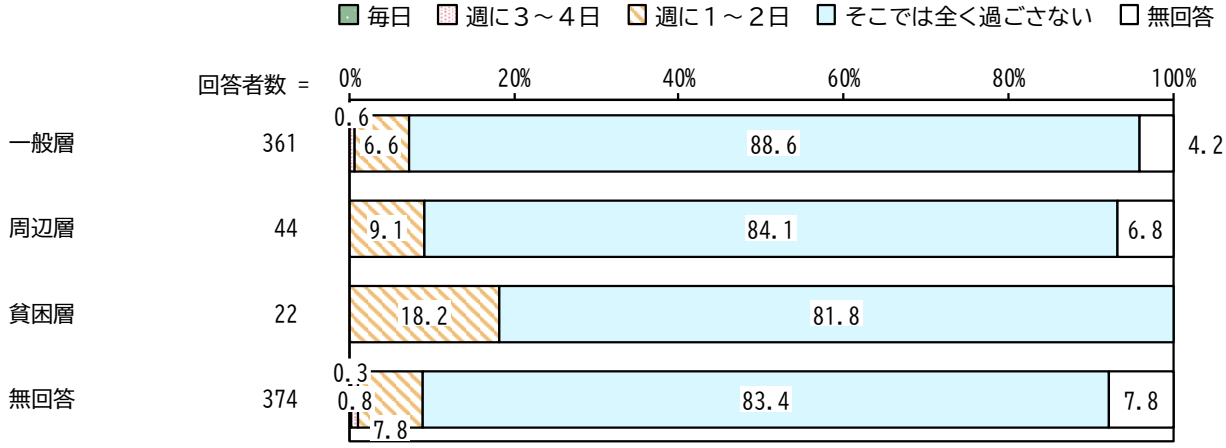
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「週に１～２日」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

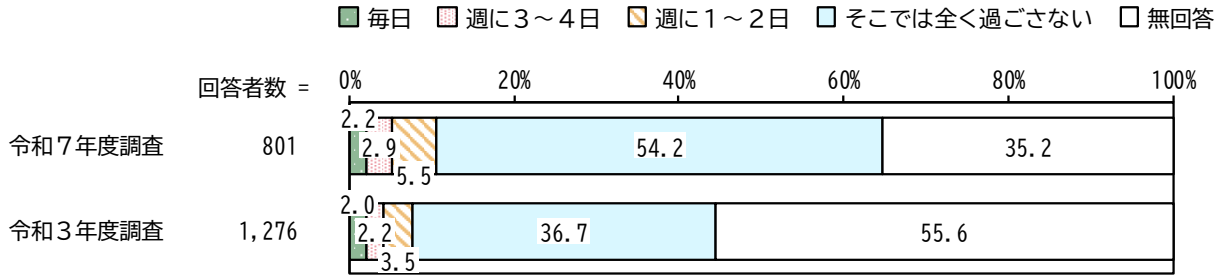
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「週に１～２日」の割合が高く、「そこでは全く過ごさない」の割合が低くなっています。



N　その他

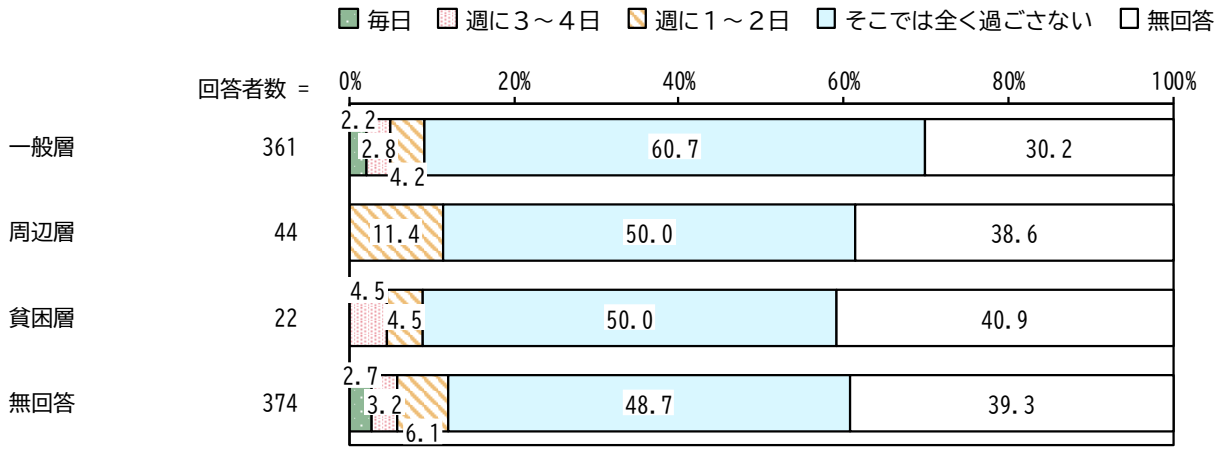
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そこでは全く過ごさない」の割合が増加しています。



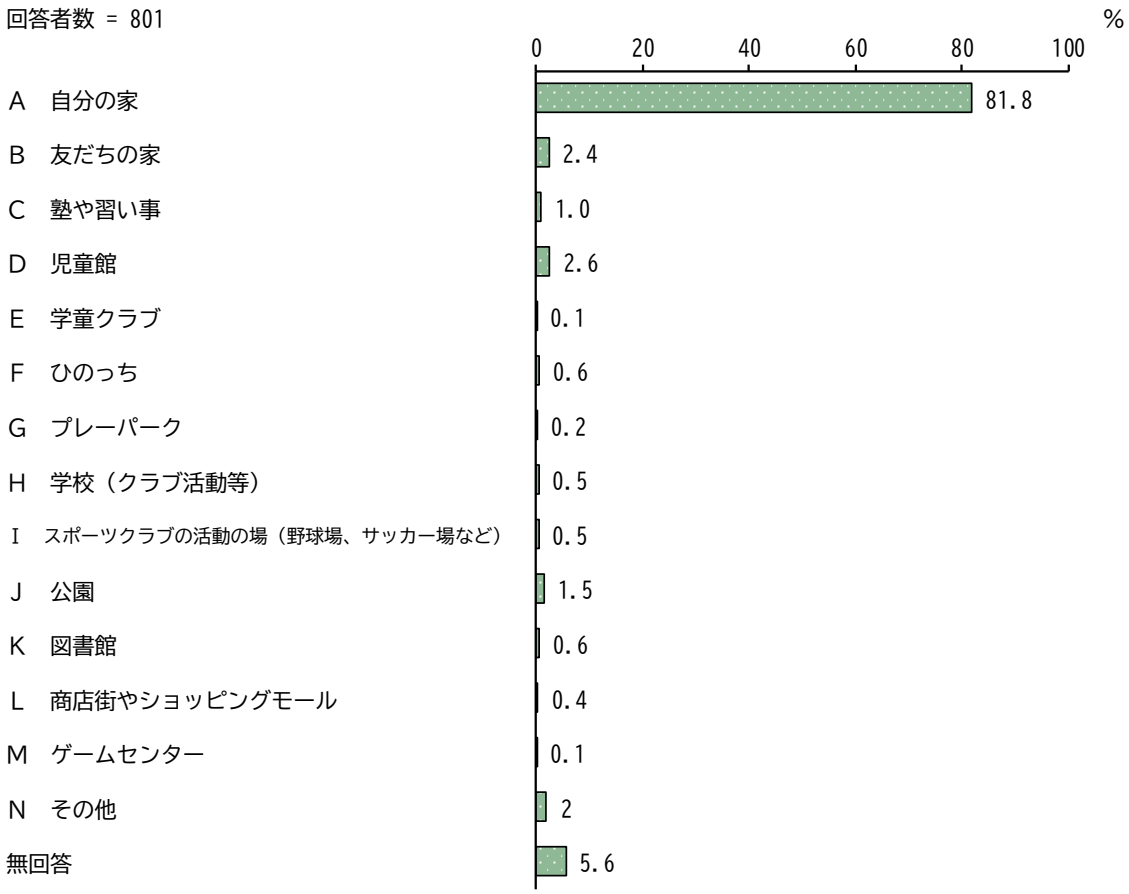
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「週に１～２日」、一般層で「そこでは全く過ごさない」の割合が高くなっています。



問10　問９のＡ～Ｎの場所の中で、あなたが一番ほっとできる居場所はどこですか。１つだけ選んで、その記号をカッコの中に書いてください。Ａ～Ｎにほっとできる居場所がない場合は「ほっとできる居場所はＡ～Ｎ以外」、ほっとできる居場所がない場合は、「ほっとできる居場所はない」に○をつけてください。

「Ａ　自分の家」の割合が 81.8%と最も高くなっています。



【生活困難度別】

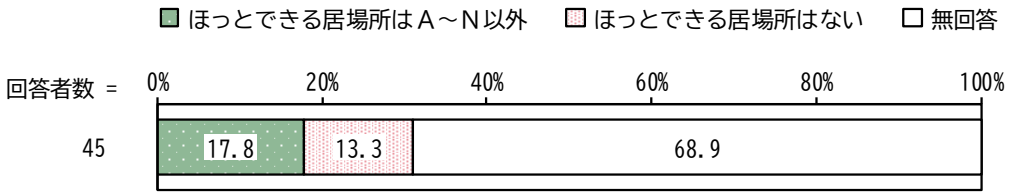
生活困難度別にみると、貧困層で「H　学校（クラブ活動等）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	A 自分の家	B 友だちの家	C 塾や習い事	D 児童館	E 学童クラブ	F ひのっち	G プレーパーク	H 学校（クラブ活動等）	I スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）	J 公園	K 図書館	L 商店街やショッピングモール	M ゲームセンター	N その他	無回答
全　体	801	81.8	2.4	1.0	2.6	0.1	0.6	0.2	0.5	0.5	1.5	0.6	0.4	0.1	2.0	5.6
一般層	361	85.3	1.7	1.4	3.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.6	1.7	0.6	0.3	0.0	1.1	3.6
周辺層	44	84.1	4.5	2.3	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	2.3	2.3	0.0
貧困層	22	81.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1
無回答	374	78.1	2.9	0.5	2.7	0.3	0.5	0.3	0.5	0.5	1.6	0.8	0.3	0.0	2.9	8.0

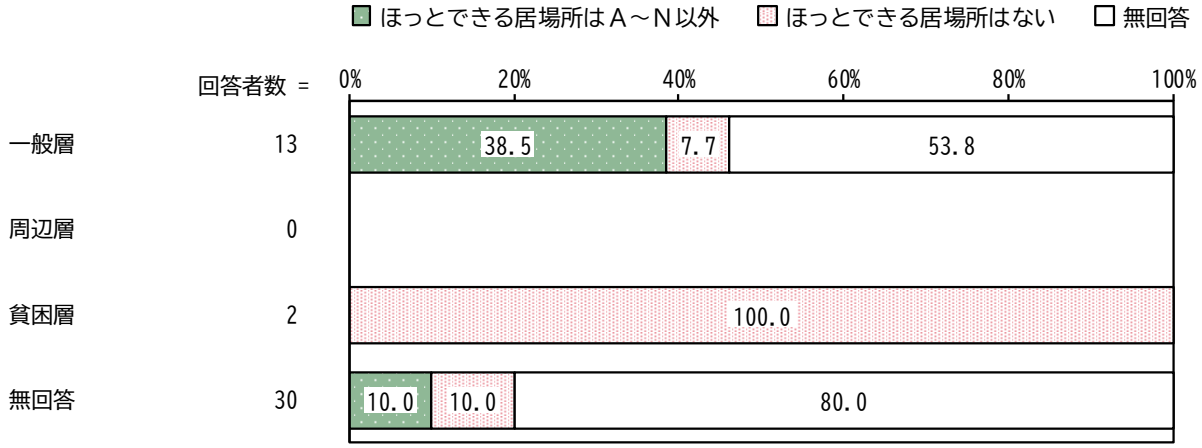
A～Nの中からどれも選べない場合（どちらかに○）

「ほっとできる居場所はA～N以外」の割合が17.8%、「ほっとできる居場所はない」の割合が13.3%となっています。



【生活困難度別】

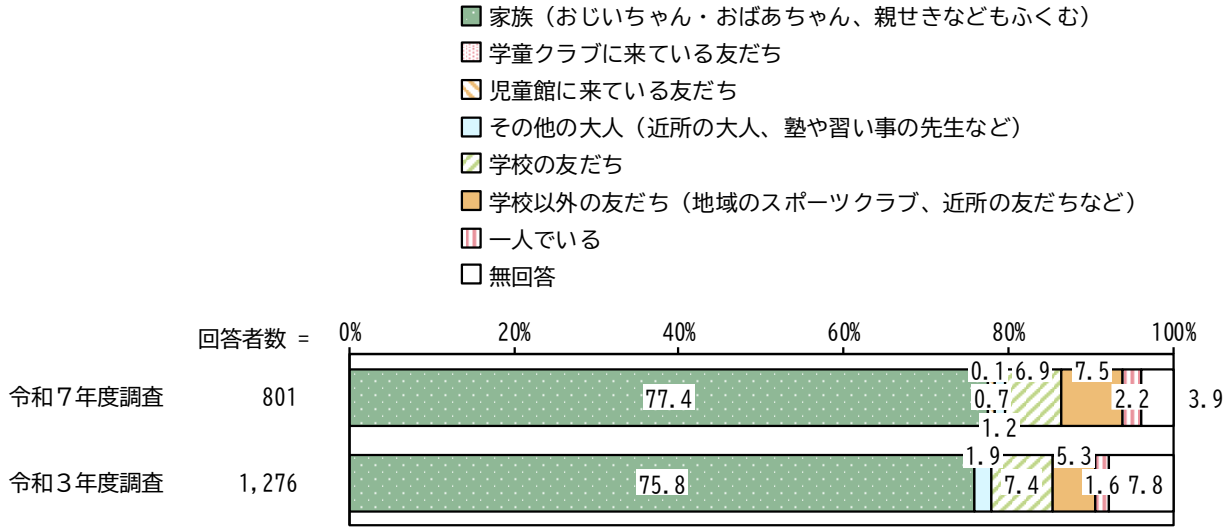
有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



問 11　あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後はだれと過ごしますか。一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。（１つに○）

「家族（おじいちゃん・おばあちゃん、親せきなどもふくむ）」の割合が 77.4%と最も高くなっています。

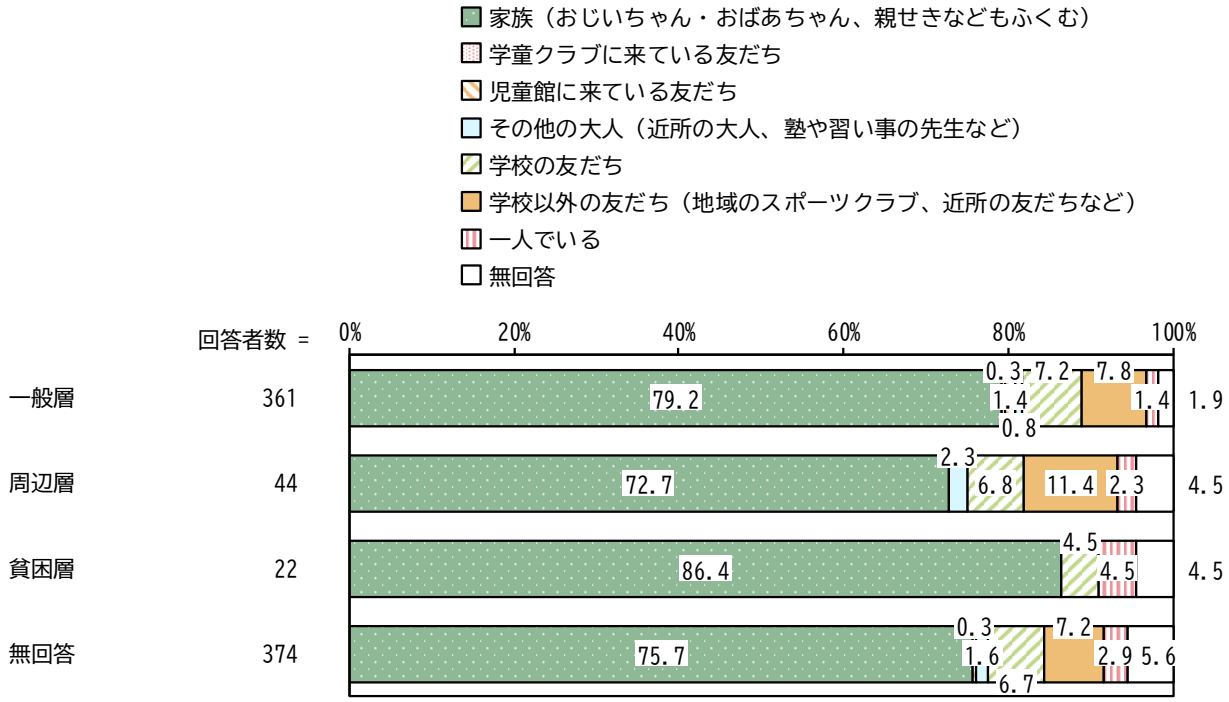
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和３年度調査では、「学童クラブに来ている友だち」と「児童館に来ている友だち」が「学童クラブ、その他の施設の職員や施設に来ている児童」となっていました。

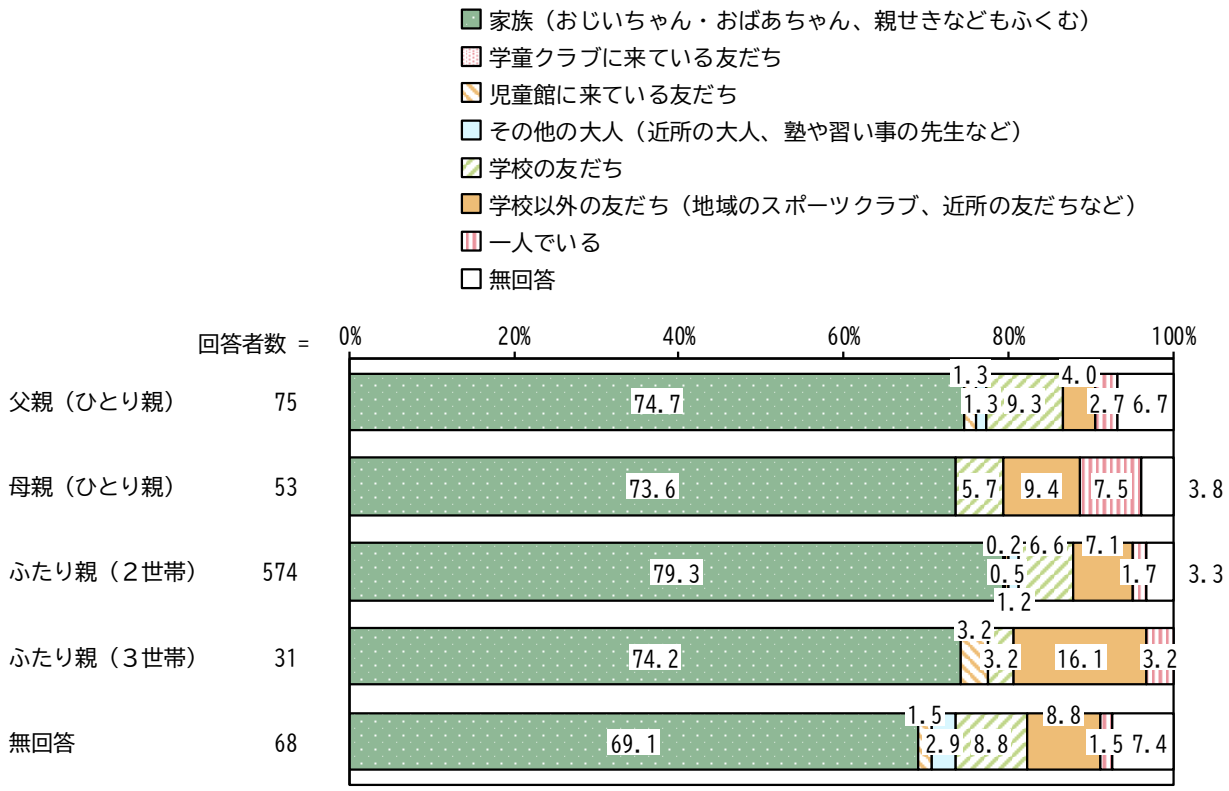
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「家族（おじいちゃん・おばあちゃん、親せきなどもふくむ）」の割合が高くなっています。



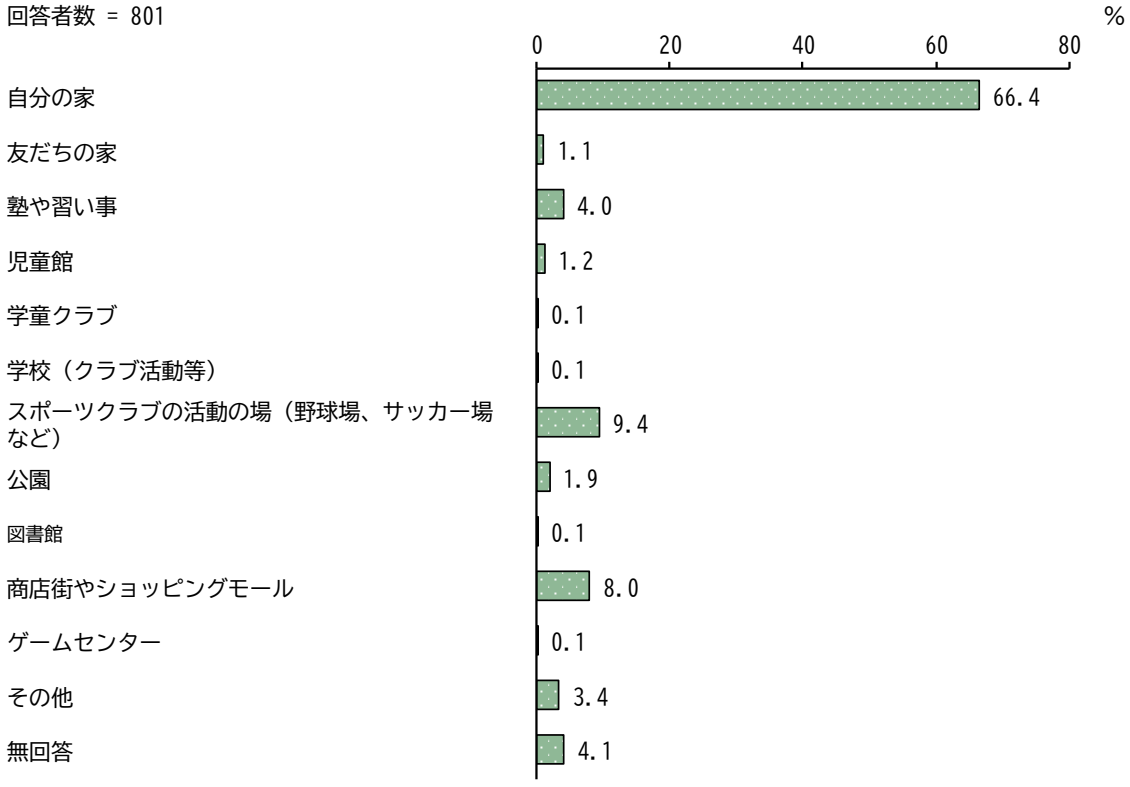
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「学校以外の友だち（地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど)」、母親（ひとり親）で「一人でいる」の割合が高くなっています。



問 12　あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後、どこで過ごしますか。一番多く過ごす場所に○をつけてください（１つに○）

「自分の家」の割合が 66.4%と最も高くなっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「商店街やショッピングモール」の割合が高くなっています。また、貧困層で「自分の家」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自分の家	友だちの家	塾や習い事	児童館	学童クラブ	学校（クラブ活動等）
全　体	801	66.4	1.1	4.0	1.2	0.1	0.1
一般層	361	68.1	0.8	2.8	1.9	0.0	0.3
周辺層	44	61.4	2.3	11.4	0.0	0.0	0.0
貧困層	22	77.3	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0
無回答	374	64.7	1.3	4.3	0.8	0.3	0.0

区分	スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）	公園	図書館	商店街やショッピングモール	ゲームセンター	その他	無回答
全　体	9.4	1.9	0.1	8.0	0.1	3.4	4.1
一般層	10.0	2.5	0.3	7.2	0.3	3.6	2.2
周辺層	11.4	0.0	0.0	11.4	0.0	0.0	2.3
貧困層	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0
無回答	9.1	1.6	0.0	7.8	0.0	3.7	6.4

【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「商店街やショッピングモール」の割合が高く、ふたり親（３世帯）で「自分の家」、父親（ひとり親）で「スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など)」の割合が低くなっています。

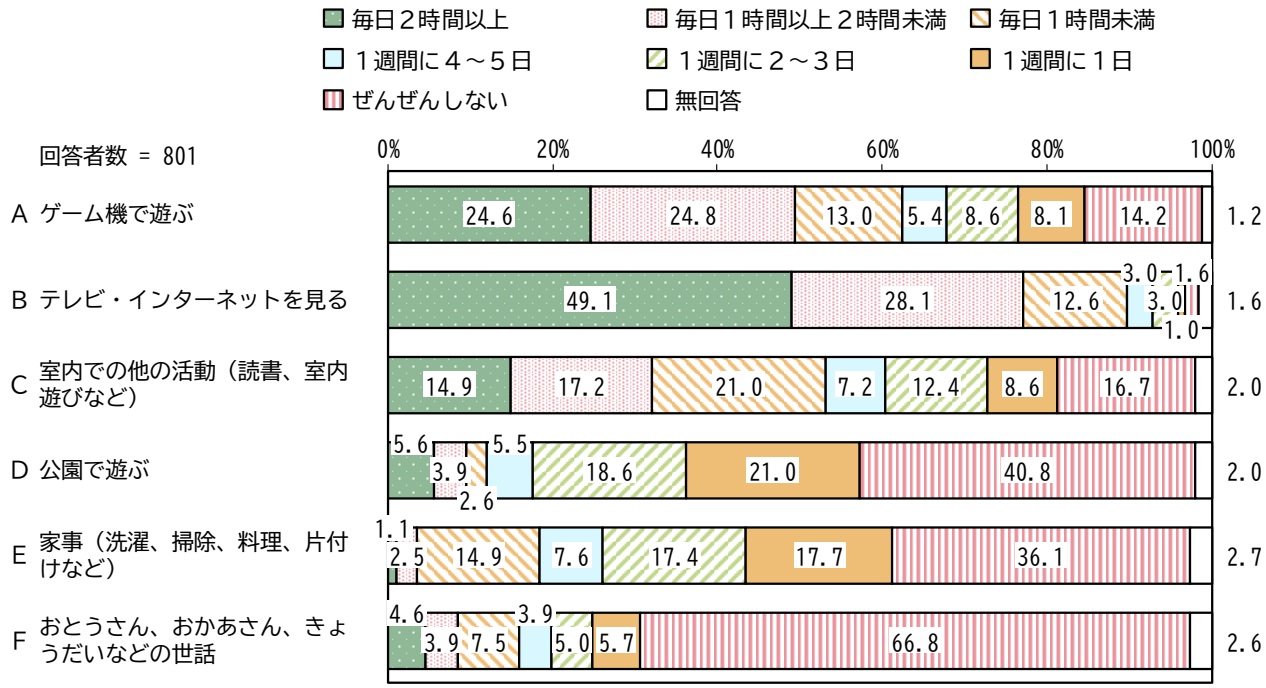
単位：％

区分	回答者数（件）	自分の家	友だちの家	塾や習い事	児童館	学童クラブ	学校（クラブ活動等）
全　体	801	66.4	1.1	4.0	1.2	0.1	0.1
父親（ひとり親）	75	70.7	1.3	2.7	2.7	0.0	0.0
母親（ひとり親）	53	69.8	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0
ふたり親（２世帯）	574	66.7	1.0	4.4	0.9	0.2	0.2
ふたり親（３世帯）	31	61.3	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0
無回答	68	58.8	2.9	2.9	2.9	0.0	0.0

区分	スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）	公園	図書館	商店街やショッピングモール	ゲームセンター	その他	無回答
全　体	9.4	1.9	0.1	8.0	0.1	3.4	4.1
父親（ひとり親）	4.0	0.0	0.0	5.3	0.0	4.0	9.3
母親（ひとり親）	11.3	0.0	0.0	7.5	0.0	3.8	1.9
ふたり親（２世帯）	9.4	2.1	0.2	7.7	0.2	3.7	3.5
ふたり親（３世帯）	12.9	3.2	0.0	16.1	0.0	0.0	3.2
無回答	11.8	2.9	0.0	10.3	0.0	1.5	5.9

問 13　あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

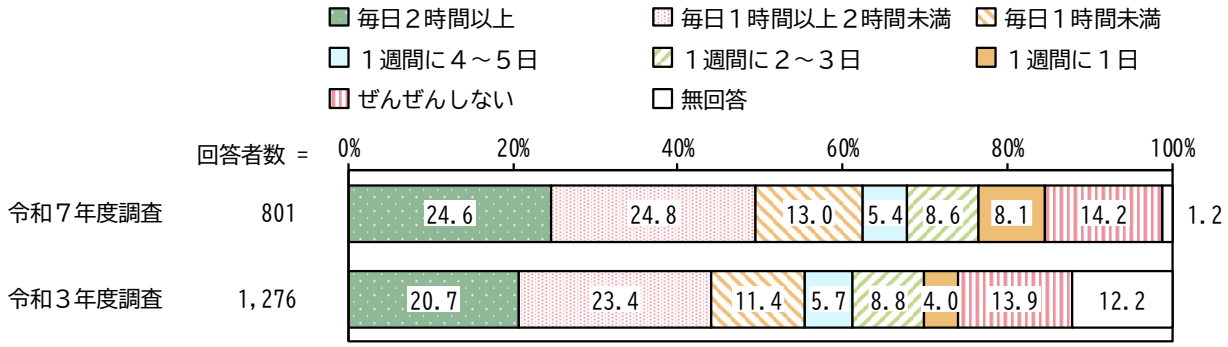
『B　テレビ・インターネットを見る』で「毎日２時間以上」「毎日１時間以上２時間未満」が、『C　室内での他の活動（読書、室内遊びなど）』で「毎日１時間未満」が、『E　家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）』で「１週間に４～５日」が、『D　公園で遊ぶ』で「１週間に２～３日」「１週間に１日」が、『F　おとうさん、おかあさん、きょうだいなどの世話』で「ぜんぜんしない」が高くなっています。



A　ゲーム機で遊ぶ

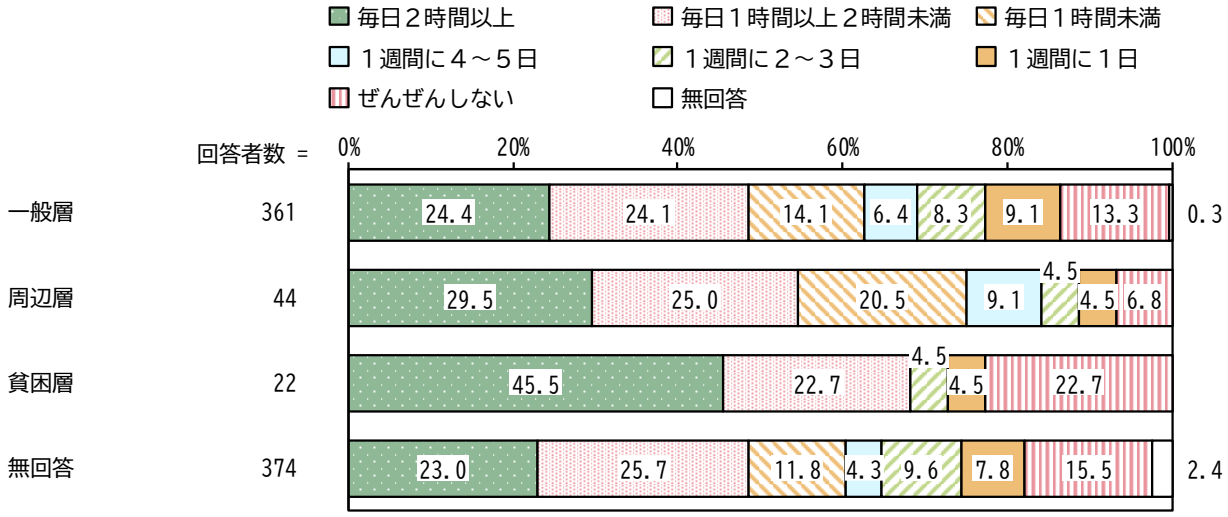
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

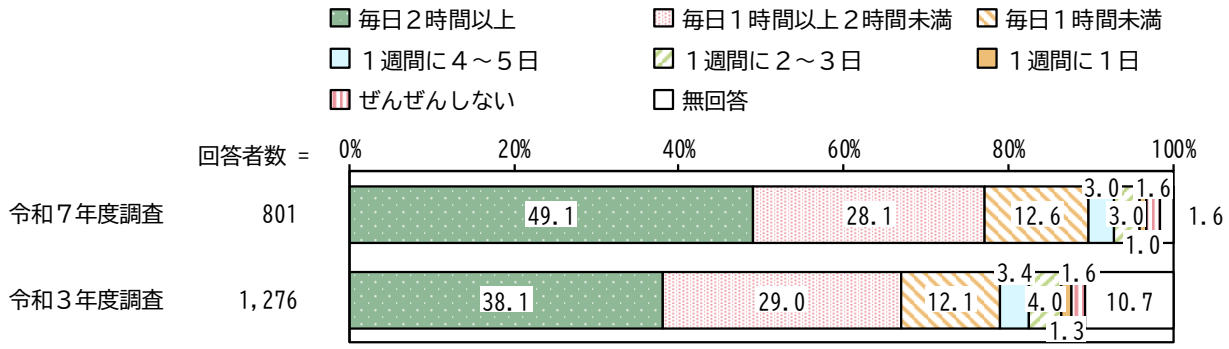
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど“毎日１時間以上”の割合が高くなっています。また、貧困層で「毎日２時間以上」の割合が高くなっています。



B　テレビ・インターネットを見る

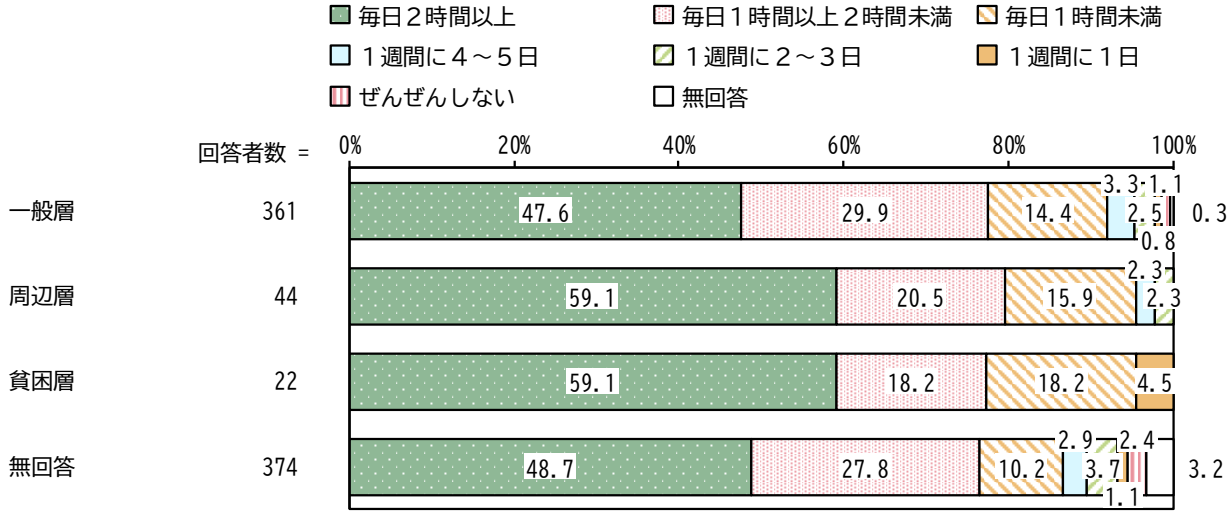
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「毎日２時間以上」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

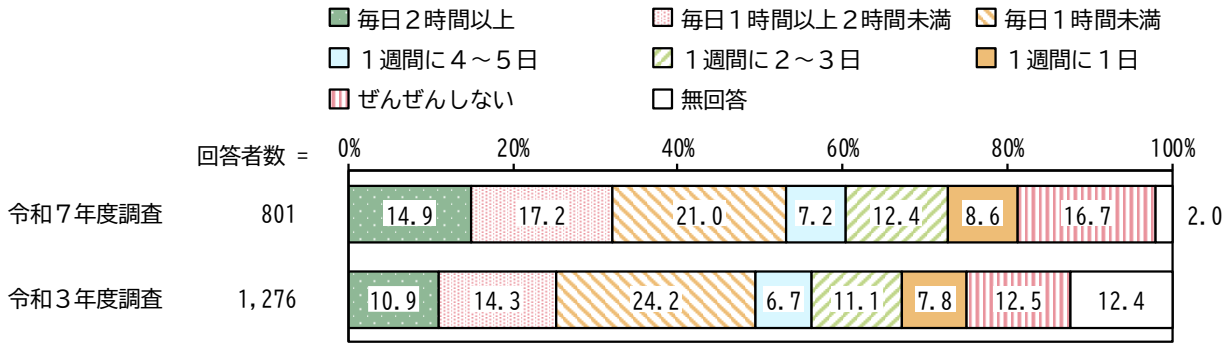
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「毎日１時間以上２時間未満」の割合が高くなっています。また、周辺層、貧困層で「毎日２時間以上」の割合が高くなっています。



C　室内での他の活動（読書、室内遊びなど）

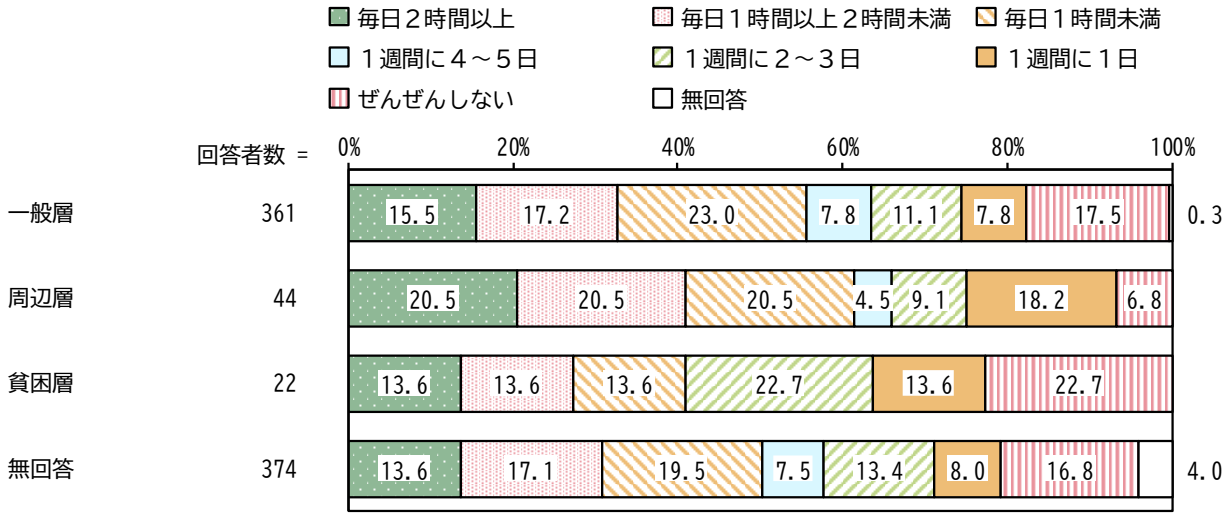
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

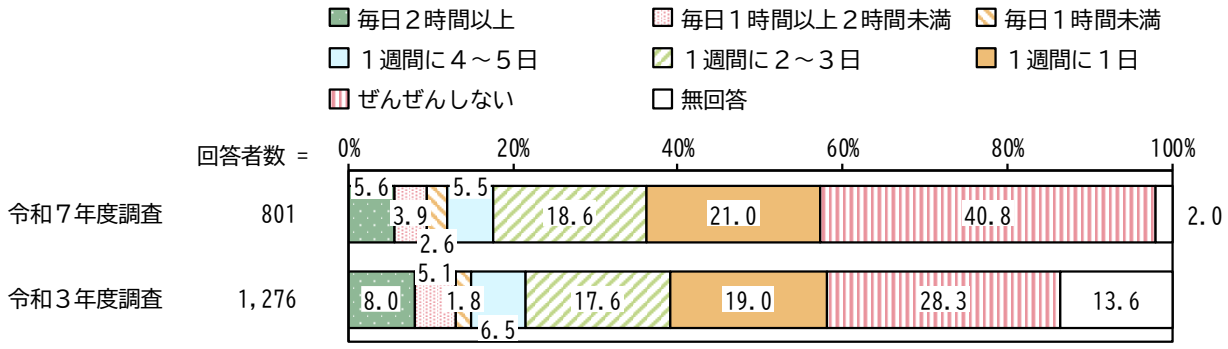
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「毎日１時間未満」の割合が高くなっています。また、貧困層で「１週間に２～３日」の割合が高くなっています。



D　公園で遊ぶ

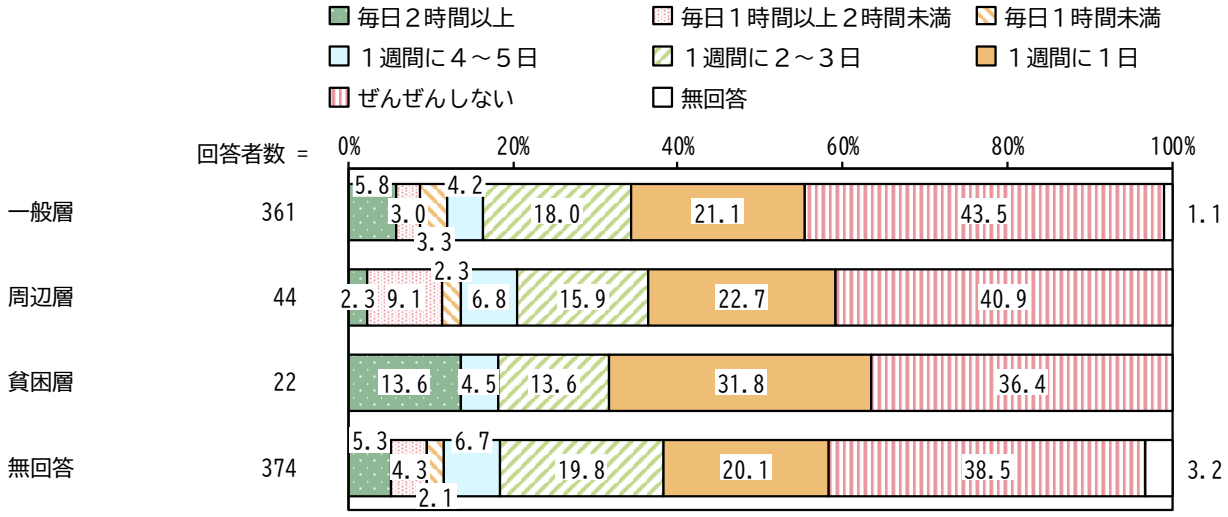
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ぜんぜんしない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

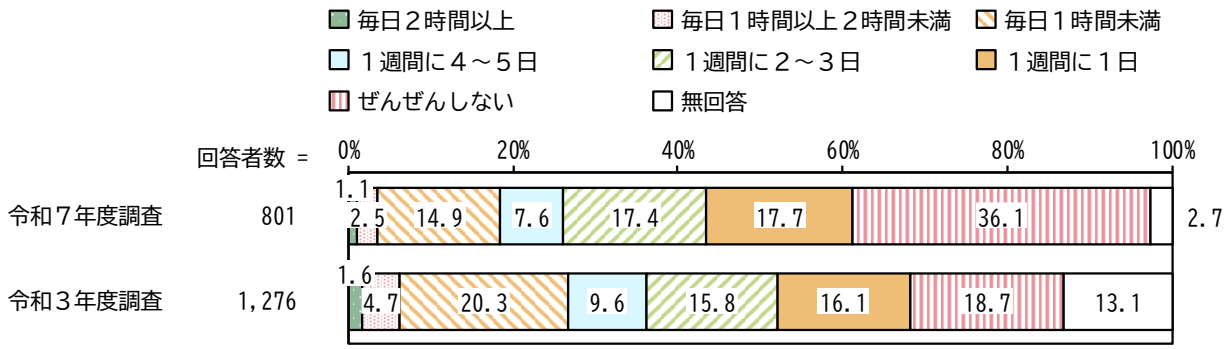
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど“毎日１時間以上”の割合が高くなっています。また、貧困層で「１週間に１日」の割合が高くなっています。



E　家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）

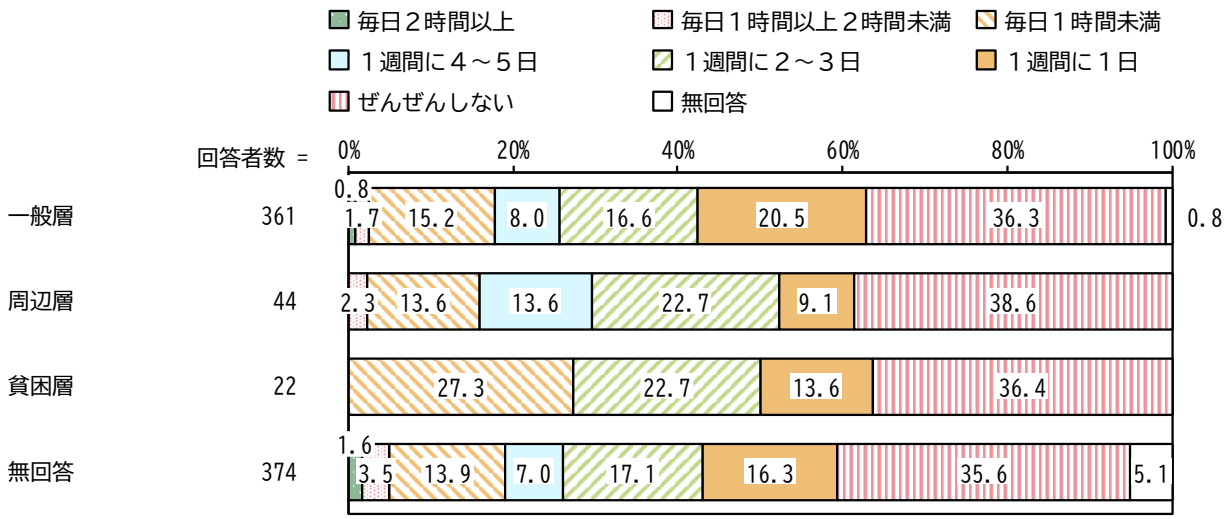
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ぜんぜんしない」の割合が増加しています。一方、「毎日１時間未満」の割合が減少しています。



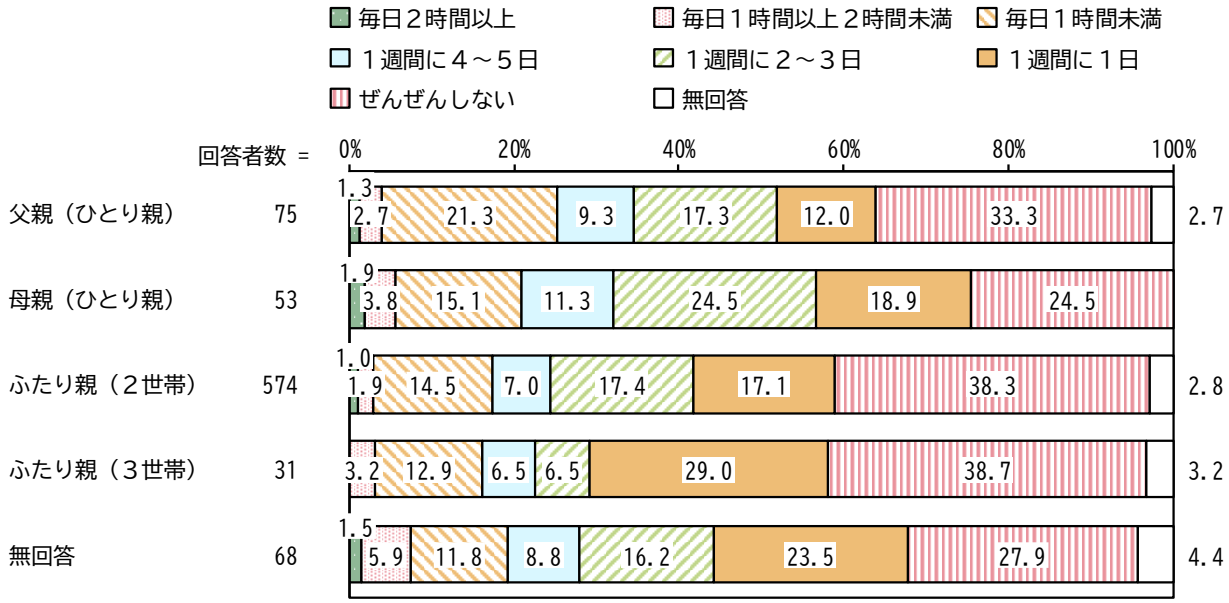
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「毎日１時間未満」、周辺層で「１週間に４～５日」、周辺層、貧困層で「１週間に２～３日」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

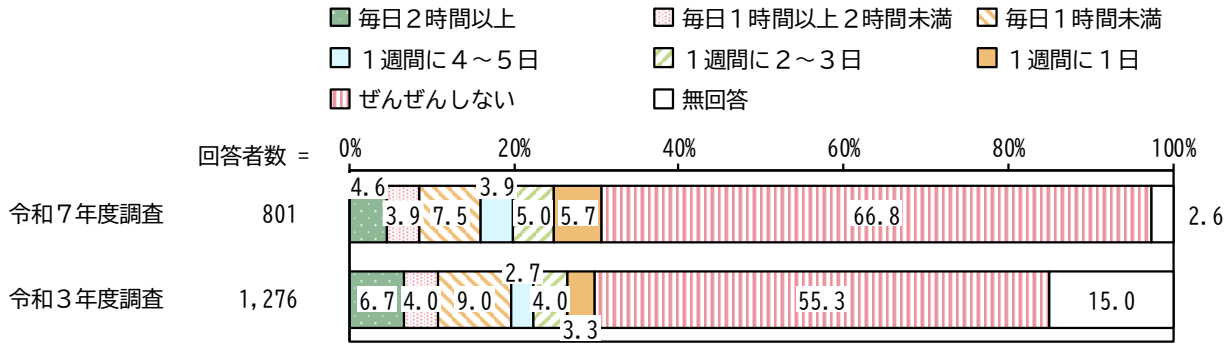
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「ぜんぜんしない」の割合が低くなっています。



F　おとうさん、おかあさん、きょうだいなどの世話

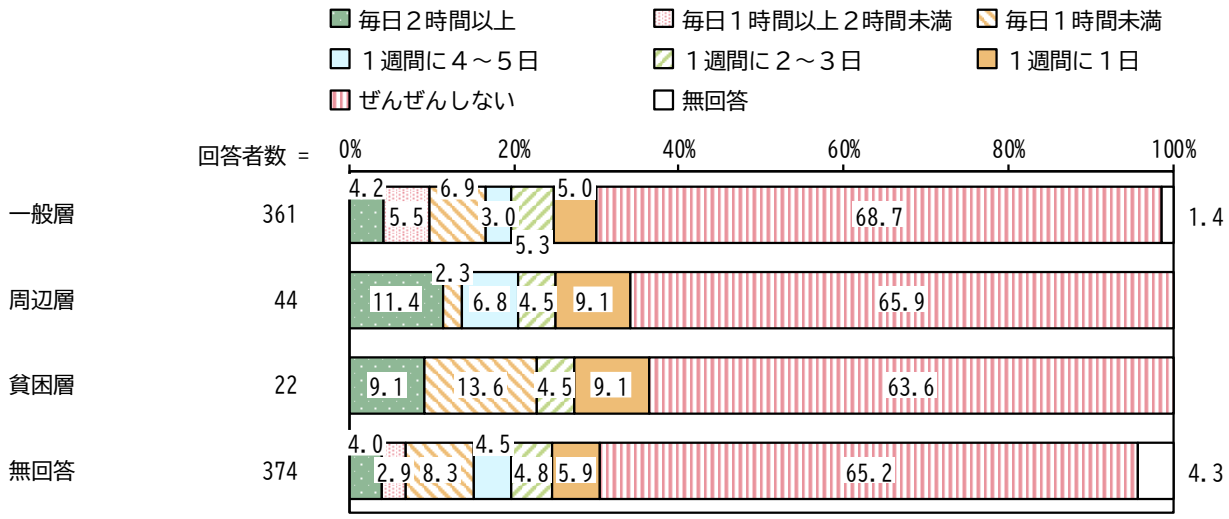
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ぜんぜんしない」の割合が増加しています。



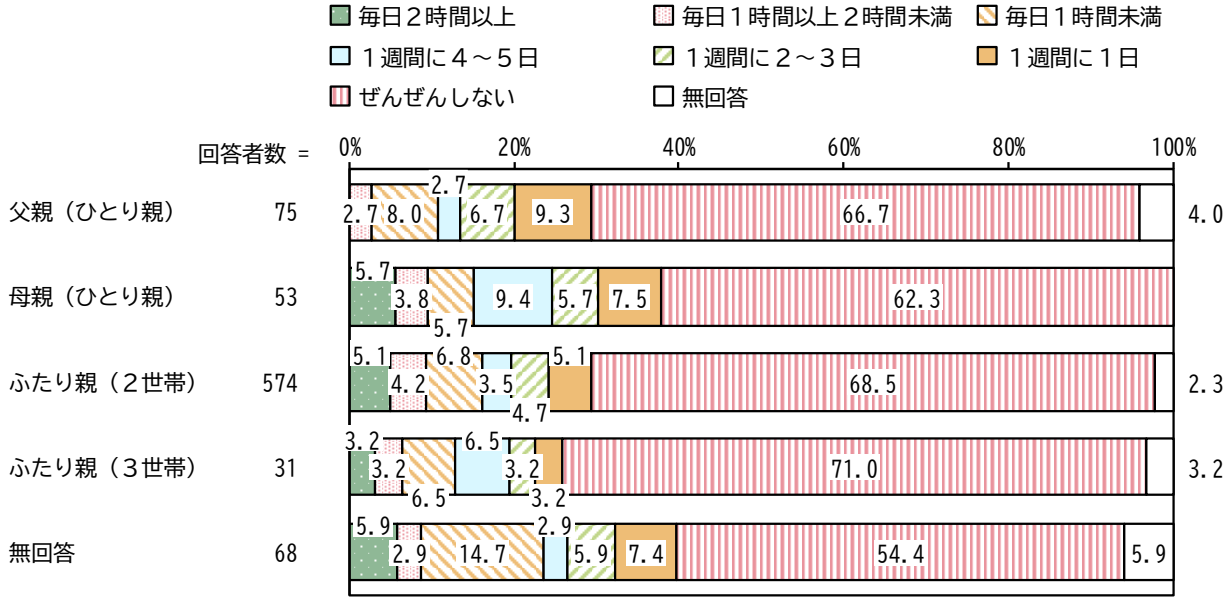
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「ぜんぜんしない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

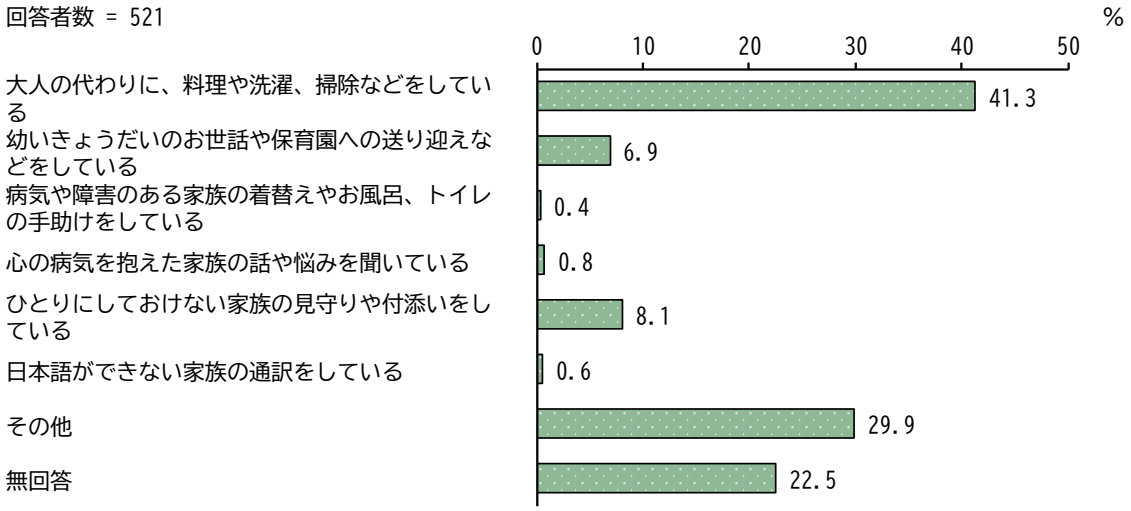
世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で“毎日１時間以上”の割合が低くなっています。



問 13 の「E　家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど)」「F　おとうさん、おかあさん、きょうだいなどの世話」で「毎日２時間以上」～「１週間に１日」のいずれかに○をつけた人にお聞きします。

問 13－１　家事や家族のお世話は、どのようなことをしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

「大人の代わりに、料理や洗濯、掃除などをしている」の割合が 41.3%と最も高くなっています。



【生活困難度別】

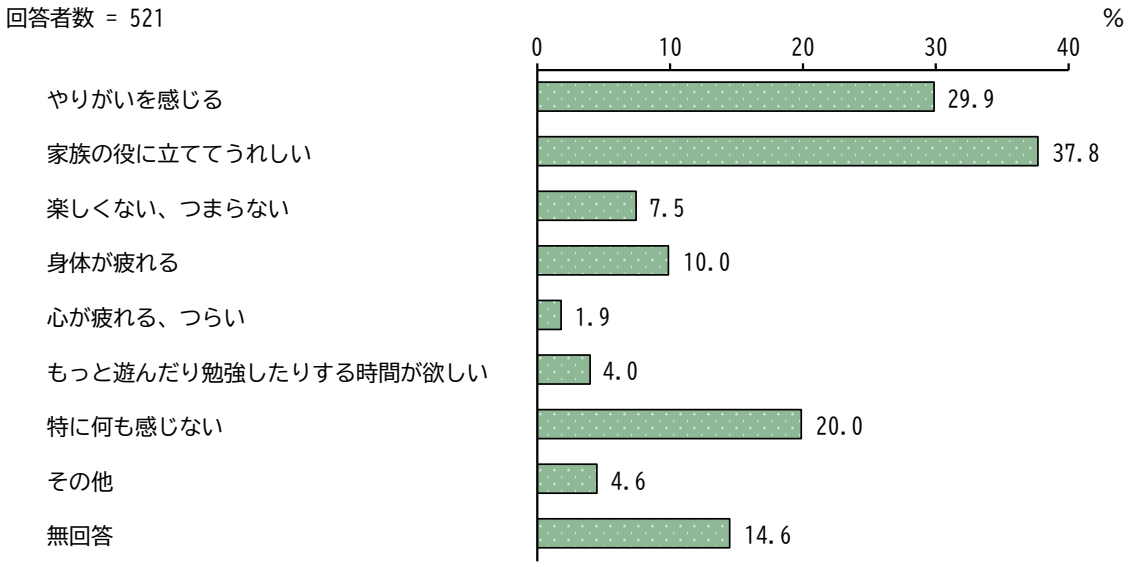
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「大人の代わりに、料理や洗濯、掃除などをしている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	大人の代わりに、料理や洗濯、掃除などをしている	幼いきょうだいのお世話や保育園への送り迎えなどをしている	病気や障害のある家族の着替えやお風呂、トイレの手助けをしている	心の病気を抱えた家族の話や悩みを聞いている	ひとりにしておけない家族の見守りや付添いをしている	日本語ができない家族の通訳をしている	その他	無回答
全　体	521	41.3	6.9	0.4	0.8	8.1	0.6	29.9	22.5
一般層	240	45.8	8.8	0.0	1.3	9.6	0.8	28.3	18.8
周辺層	29	44.8	0.0	0.0	0.0	13.8	3.4	24.1	20.7
貧困層	16	37.5	6.3	6.3	0.0	12.5	0.0	37.5	12.5
無回答	236	36.4	5.9	0.4	0.4	5.5	0.0	31.8	27.1

問 13－２　家事や家族のお世話について、どのように感じていますか。（あてはまる番号すべてに○）

「家族の役に立ててうれしい」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「やりがいを感じる」の割合が 29.9%、「特に何も感じない」の割合が 20.0%となっています。



【生活困難度別】

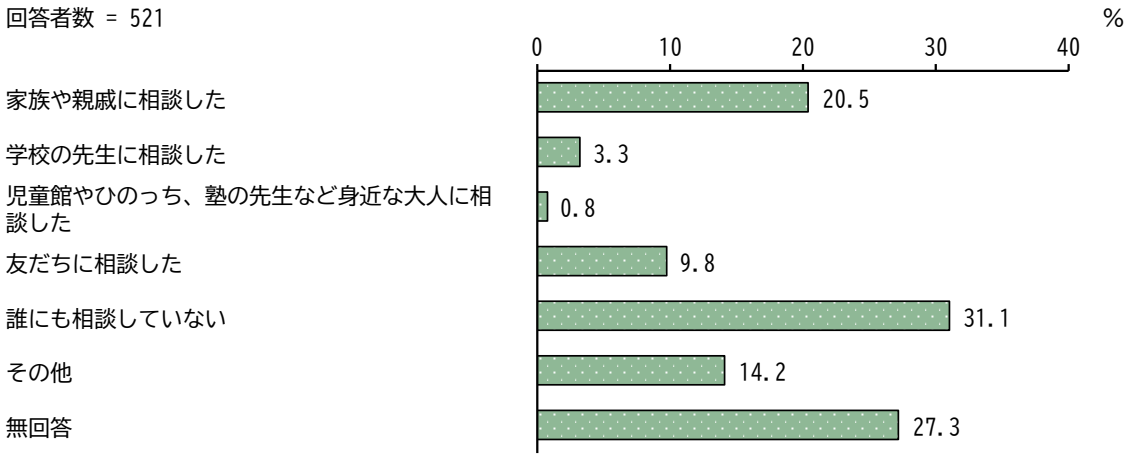
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「家族の役に立ててうれしい」「身体が疲れる」の割合が高く、「特に何も感じない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	やりがいを感じる	家族の役に立ててうれしい	楽しくない、つまらない	身体が疲れる	心が疲れる、つらい	もっと遊んだり勉強したりする時間が欲しい	特に何も感じない	その他	無回答
全　体	521	29.9	37.8	7.5	10.0	1.9	4.0	20.0	4.6	14.6
一般層	240	34.2	38.8	7.9	11.3	1.3	3.8	17.1	4.6	13.3
周辺層	29	34.5	37.9	3.4	6.9	0.0	3.4	17.2	13.8	10.3
貧困層	16	6.3	25.0	18.8	0.0	0.0	6.3	50.0	6.3	12.5
無回答	236	26.7	37.7	6.8	9.7	3.0	4.2	21.2	3.4	16.5

問 13－３　お世話を必要としている家族のことや、自分がお世話をしていて困ったことを誰かに相談したことはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「誰にも相談していない」の割合が 31.1%と最も高く、次いで「家族や親戚に相談した」の割合が 20.5%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「誰にも相談していない」の割合が高くなっています。

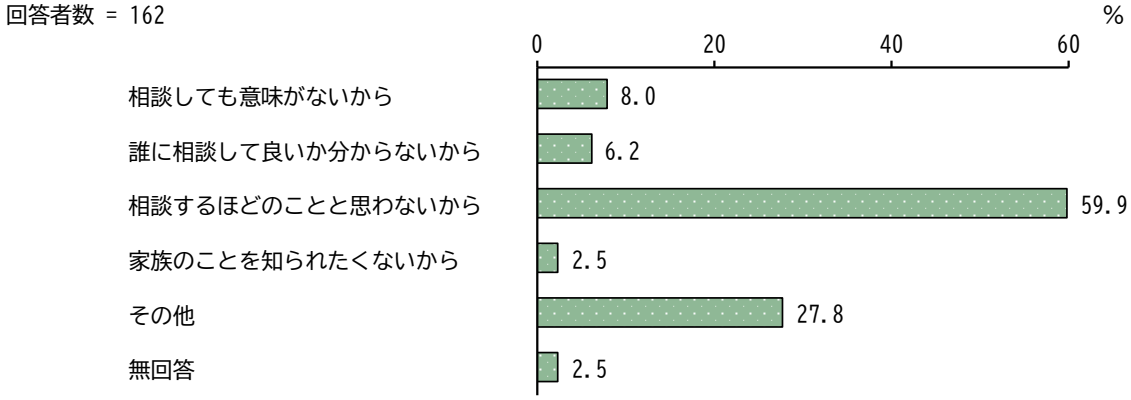
単位：%

区分	回答者数（件）	家族や親戚に相談した	学校の先生に相談した	児童館やひのっち、塾の先生など身近な大人に相談した	友だちに相談した	誰にも相談していない	その他	無回答
全　体	521	20.5	3.3	0.8	9.8	31.1	14.2	27.3
一般層	240	23.8	2.9	0.8	9.2	29.6	12.9	27.1
周辺層	29	10.3	0.0	0.0	0.0	48.3	20.7	20.7
貧困層	16	12.5	0.0	0.0	6.3	31.3	18.8	31.3
無回答	236	19.1	4.2	0.8	11.9	30.5	14.4	28.0

問 13－３で「誰にも相談していない」に○をつけた人にお聞きします。

問 13－３－１　相談していない理由はなぜですか。（あてはまる番号すべてに○）

「相談するほどのことと思わないから」の割合が 59.9%と最も高くなっています。



【生活困難度別】

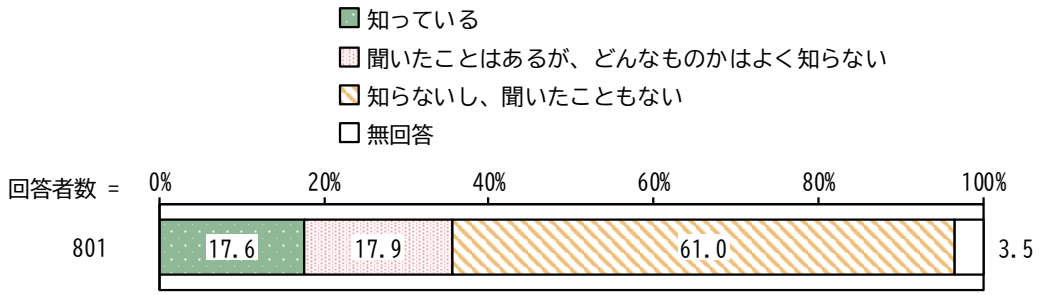
生活困難度別にみると、周辺層から貧困層まで困難度が大きいほど「相談しても意味がないから」「家族のことを知られたくないから」の割合が高く、「相談するほどのことと思わないから」の割合が低くなっています。また、一般層で「誰に相談して良いか分からないから」の割合が高く、周辺層で「相談するほどのことと思わないから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	相談しても意味がないから	誰に相談して良いか分からないから	相談するほどのことと思わないから	家族のことを知られたくないから	その他	無回答
全　体	162	8.0	6.2	59.9	2.5	27.8	2.5
一般層	71	9.9	5.6	62.0	1.4	25.4	1.4
周辺層	14	7.1	0.0	85.7	0.0	7.1	0.0
貧困層	5	20.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0
無回答	72	5.6	8.3	54.2	2.8	34.7	4.2

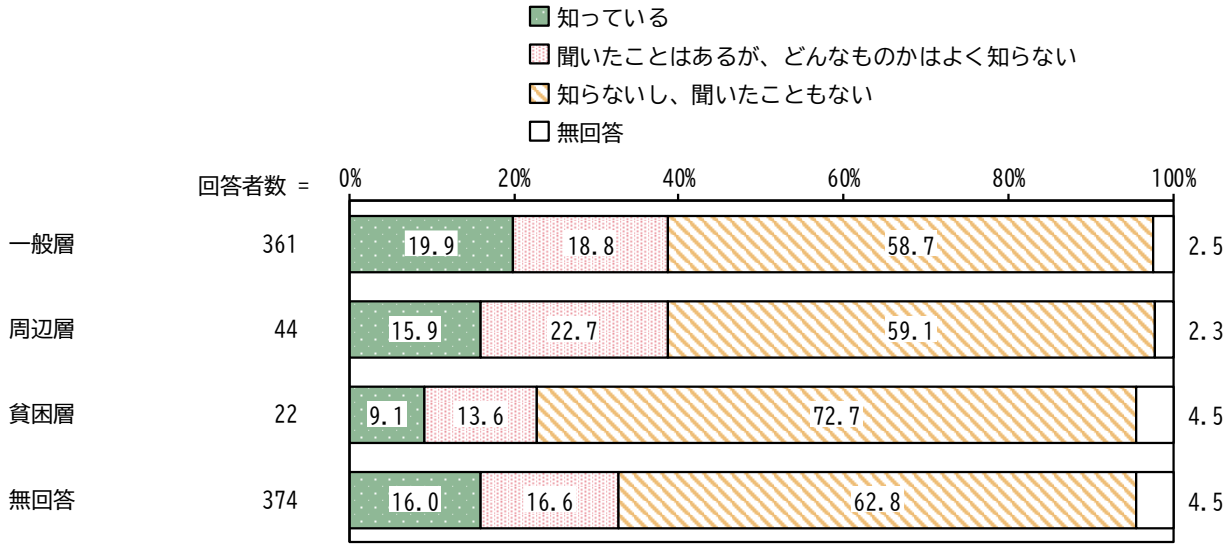
問 14　「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。（１つに○）

「知っている」の割合が 17.6%、「聞いたことはあるが、どんなものかはよく知らない」の割合が 17.9%、「知らないし、聞いたこともない」の割合が 61.0%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「知らないし、聞いたこともない」の割合が高く、「知っている」の割合が低くなっています。

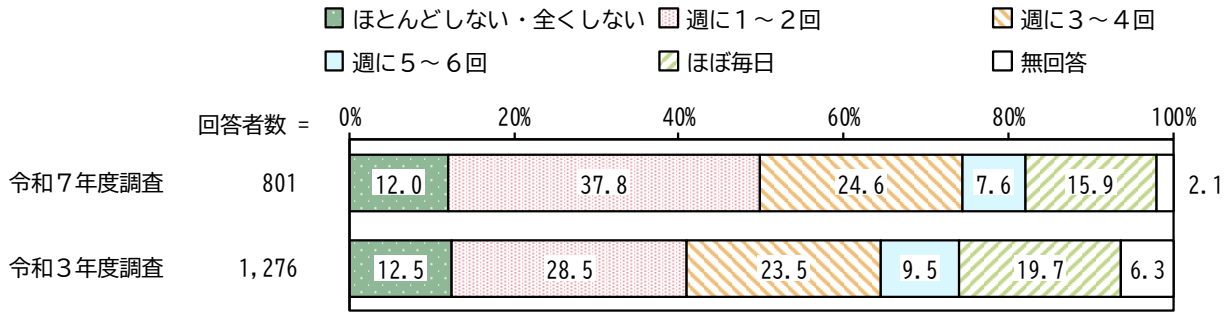


問 15　あなたは、30 分以上からだを動かす遊びや習い事を１週間でどれくらいしますか。（１つに○）

※学校の昼休みのことはのぞいて、学校の外でのことを教えてください。

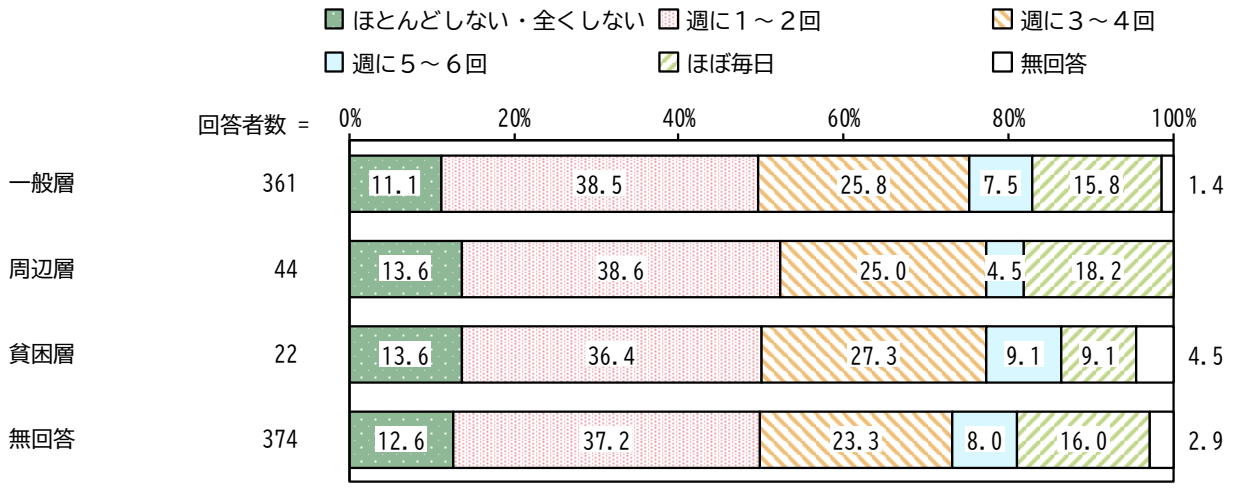
「週に１～２回」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「週に３～４回」の割合が 24.6%、「ほぼ毎日」の割合が 15.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「週に１～２回」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「ほぼ毎日」の割合が低くなっています。

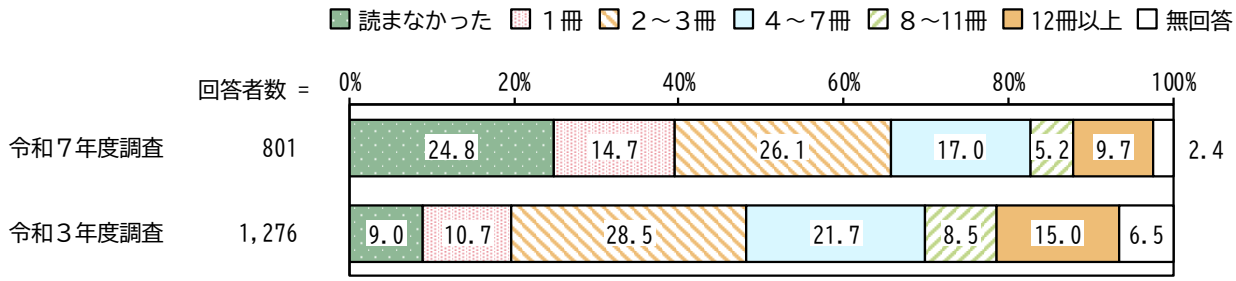


問 16　あなたは、この１か月の間に本を何冊くらい読みましたか。（１つに○）

※マンガは含まない冊数で回答してください。

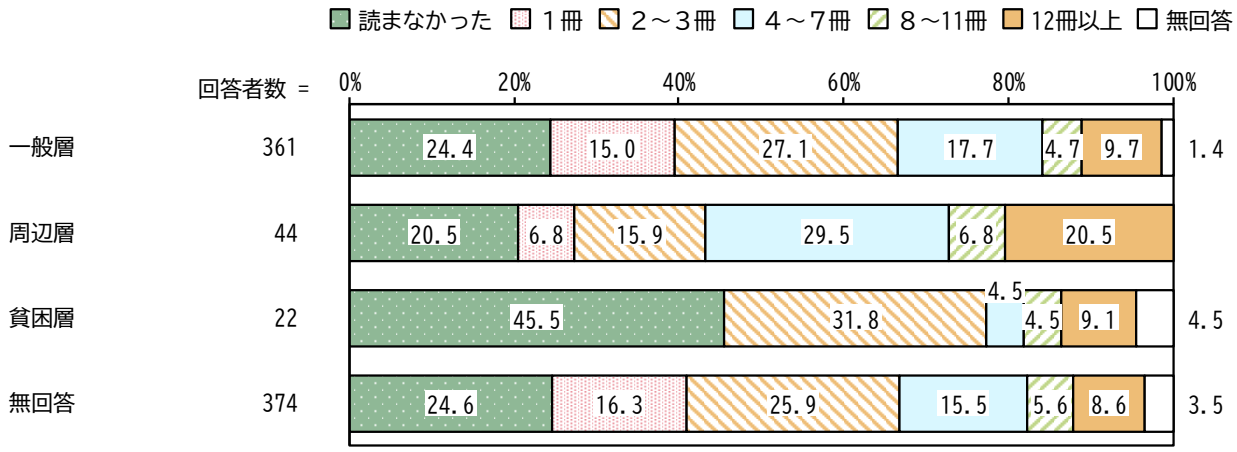
「２～３冊」の割合が 26.1%と最も高く、次いで「読まなかった」の割合が 24.8%、「４～７冊」の割合が 17.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「読まなかった」の割合が増加しています。一方、「12 冊以上」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

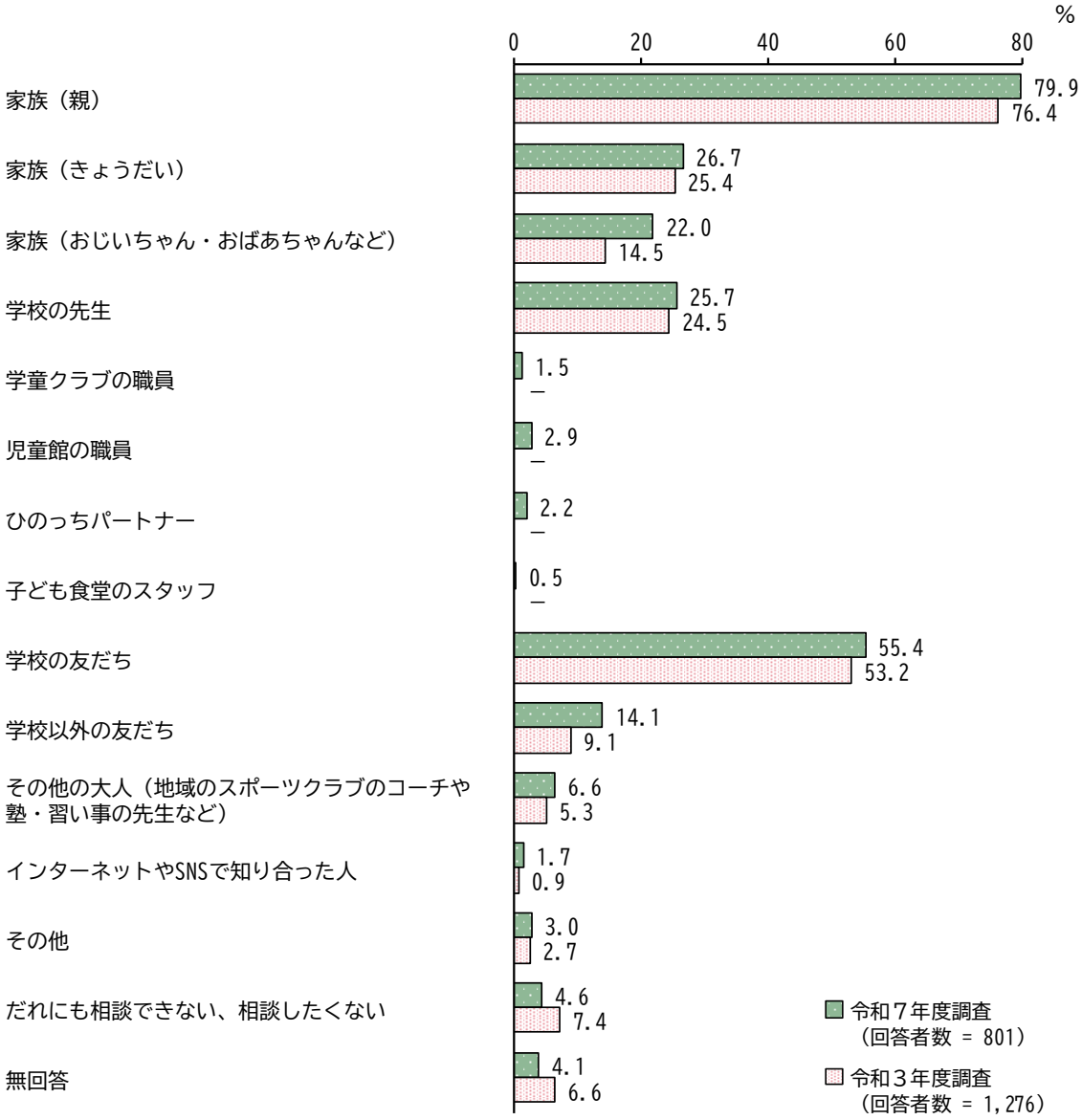
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「１冊」の割合が高くなっています。また、貧困層で「読まなかった」、周辺層で「４～７冊」の割合が高く、周辺層で「２～３冊」の割合が低くなっています。



問 17　あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことがあるとき、話したり相談したりできると思う人は誰ですか。電話、メール、LINE も「話した」と考えて答えてください。（あてはまる番号すべてに○）

「家族（親）」の割合が 79.9%と最も高く、次いで「学校の友だち」の割合が 55.4%、「家族（きょうだい）」の割合が 26.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「家族（おじいちゃん・おばあちゃんなど）」の割合が増加しています。



※令和３年度調査では、「学童クラブの職員」と「児童館の職員」が「児童館（学童クラブもふくむ）の先生」となっており、「ひのっちパートナー」、「子ども食堂のスタッフ」がありませんでした。

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「学校の先生」の割合が高くなっています。

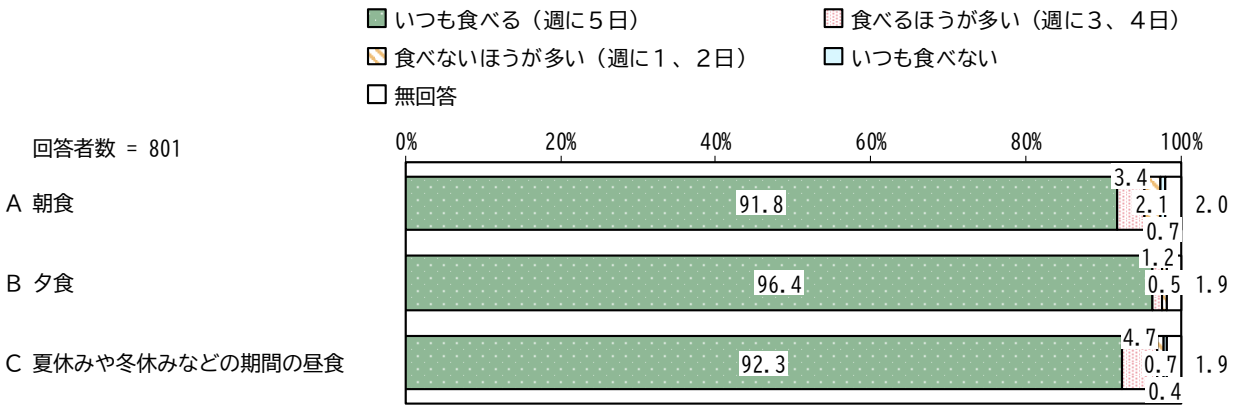
単位：％

区分	回答者数（件）	家族（親）	家族（きょうだい）	家族（おじいちゃん・おばあちゃんなど）	学校の先生	学童クラブの職員	児童館の職員	ひのっちパートナー
全　体	801	79.9	26.7	22.0	25.7	1.5	2.9	2.2
一般層	361	82.8	28.5	25.8	28.5	1.9	3.3	2.2
周辺層	44	77.3	20.5	15.9	27.3	0.0	4.5	9.1
貧困層	22	77.3	31.8	18.2	22.7	0.0	0.0	0.0
無回答	374	77.5	25.4	19.3	23.0	1.3	2.4	1.6

区分	子ども食堂のスタッフ	学校の友だち	学校以外の友だち	その他の大人（地域のスポーツクラブのコーチや塾・習い事の先生など）	インターネットや SNS で知り合った人	その他	だれにも相談できない、相談したくない	無回答
全　体	0.5	55.4	14.1	6.6	1.7	3.0	4.6	4.1
一般層	0.6	57.9	15.8	6.9	1.4	2.2	4.4	2.8
周辺層	0.0	45.5	11.4	6.8	0.0	6.8	6.8	4.5
貧困層	0.0	54.5	18.2	9.1	9.1	0.0	4.5	9.1
無回答	0.5	54.3	12.6	6.1	1.9	3.5	4.5	5.1

問 18　あなたは平日の食事を週にどのくらいしていますか。※給食を数えないで回答してください。（それぞれについて、あてはまる番号１つに○）

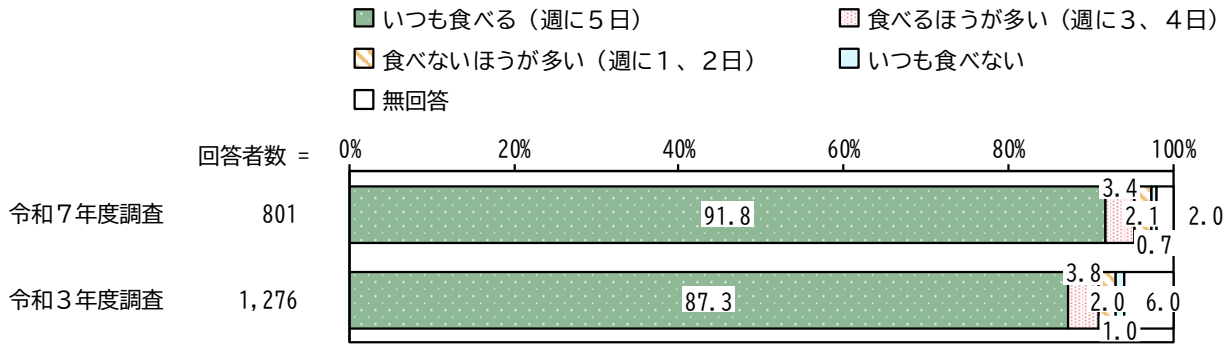
『B　夕食』で「いつも食べる（週に５日）」が、『C　夏休みや冬休みなどの期間の昼食』で「食べるほうが多い（週に３、４日）」が、『A　朝食』で「食べないほうが多い（週に１、２日）」「いつも食べない」が高くなっています。



A　朝食

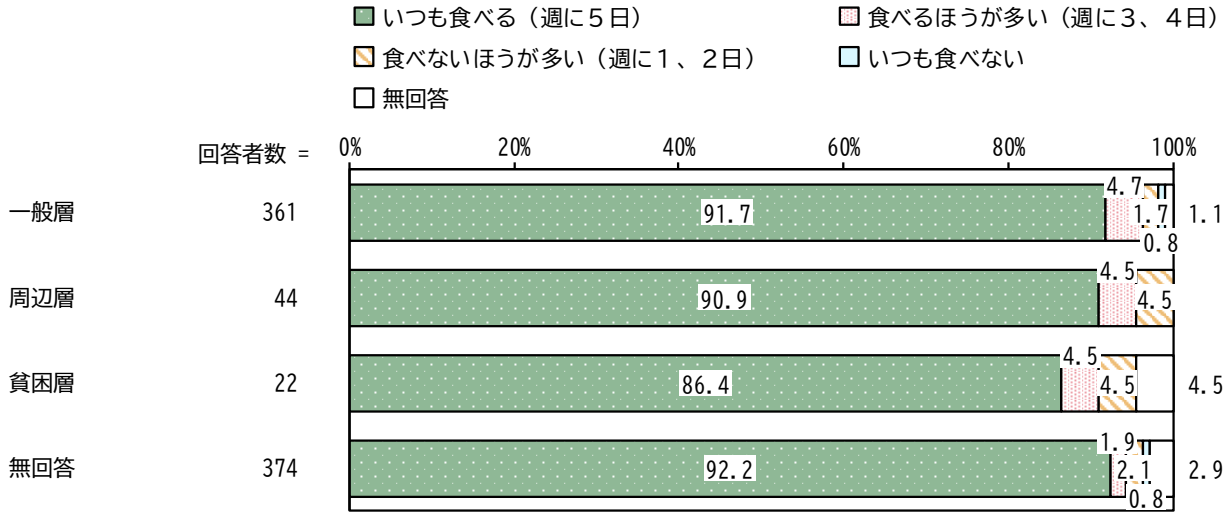
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



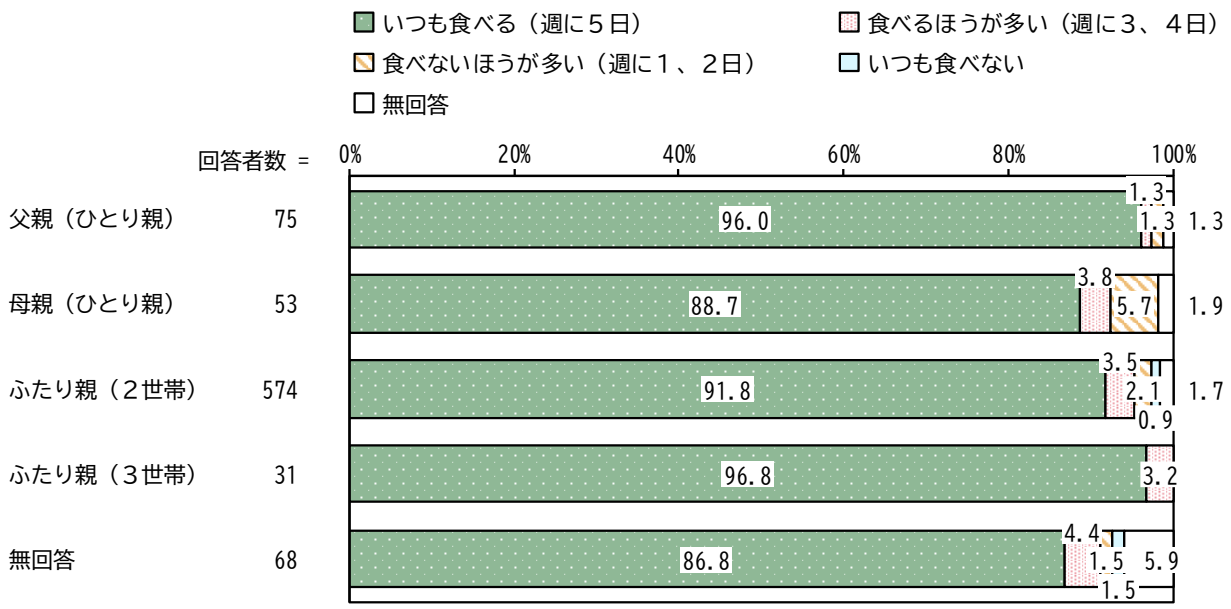
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「いつも食べる（週に５日）」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

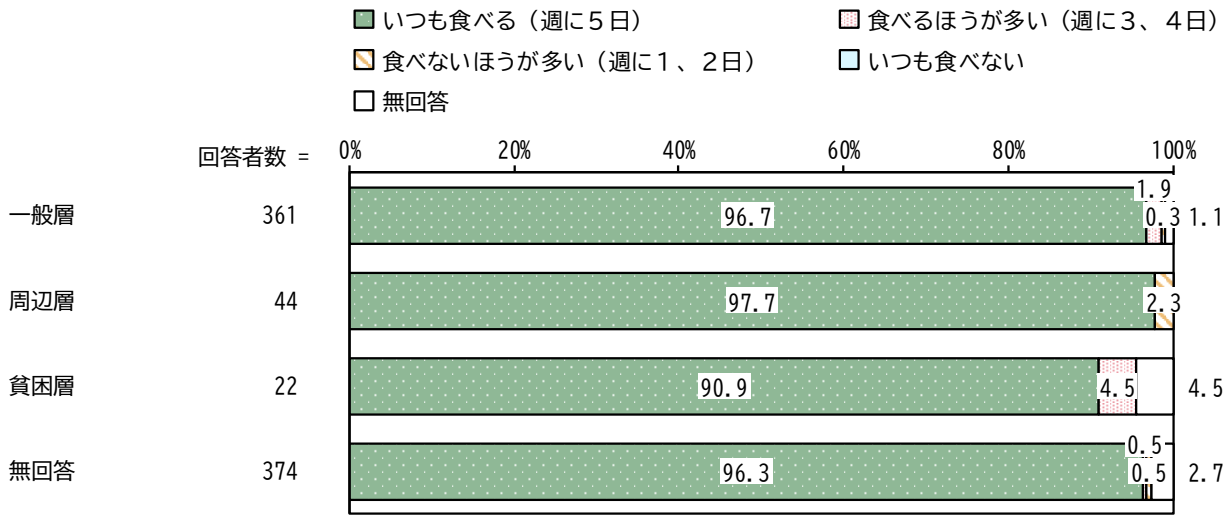
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「いつも食べる（週に５日）」の割合が高くなっています。



B　夕食

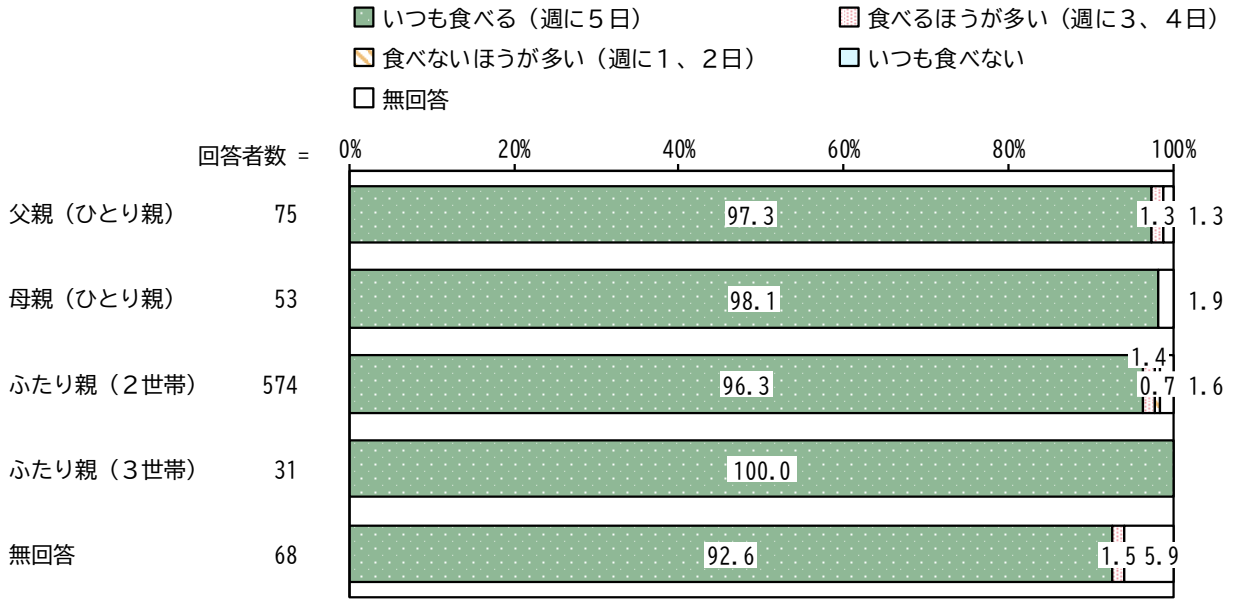
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「いつも食べる（週に５日）」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

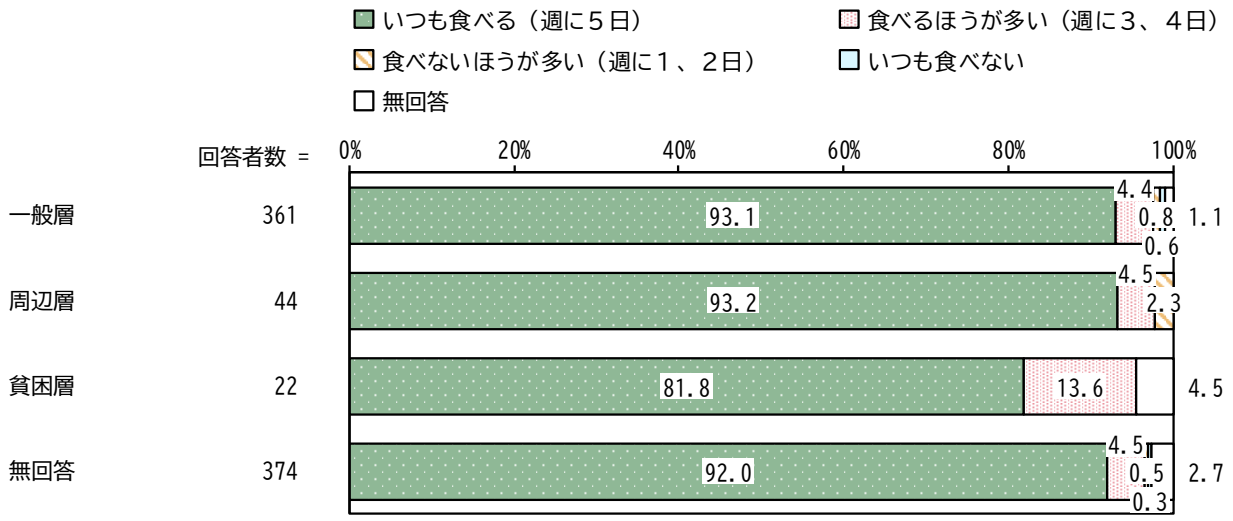
世帯分類別にみると、大きな差はみられません。



C　夏休みや冬休みなどの期間の昼食

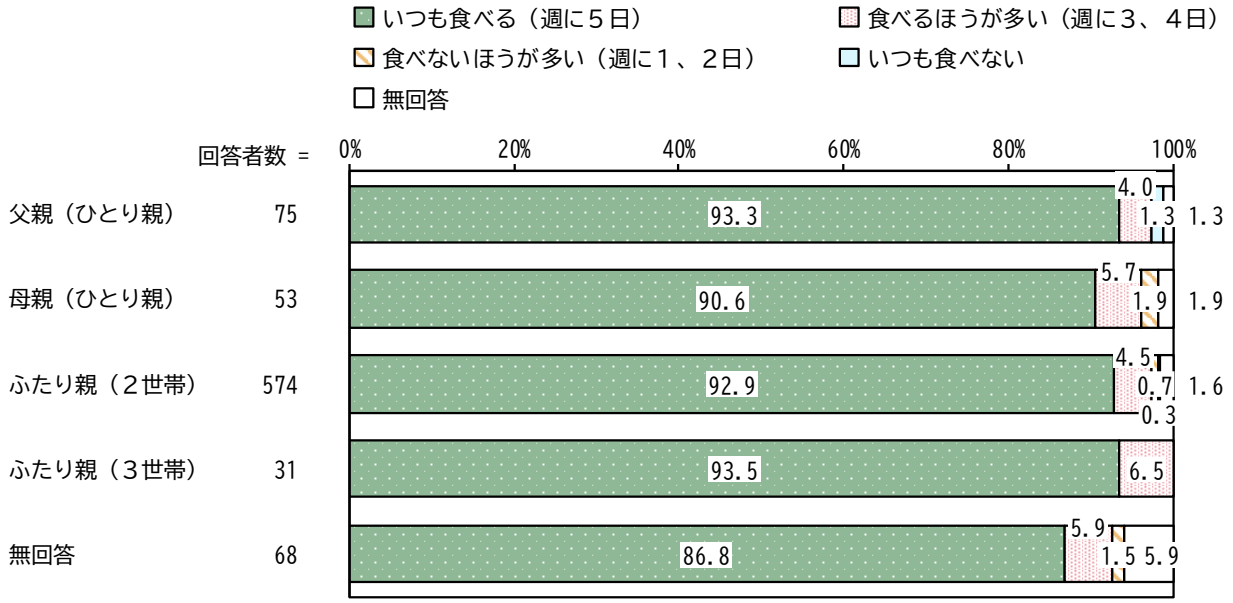
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「食べるほうが多い（週に３、４日）」の割合が高くなっています。また、貧困層で「いつも食べる（週に５日）」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

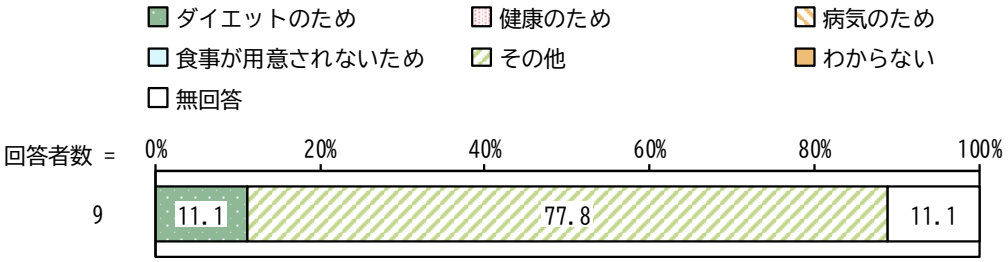
世帯分類別にみると、大きな差はみられません。



問 18 で「いつも食べない」と答えた人にお聞きします。

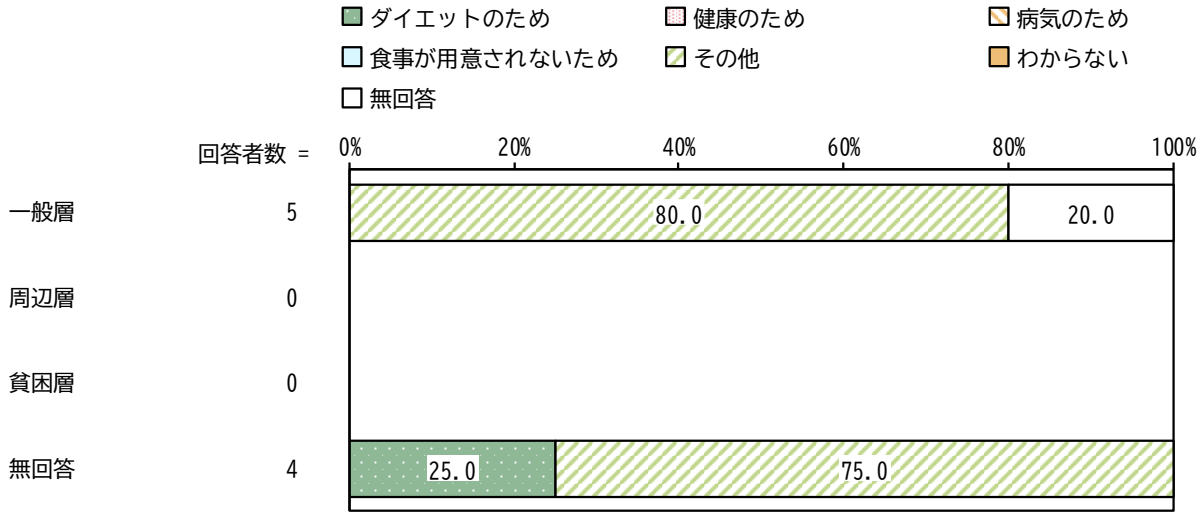
問 18－１　食べない理由は何ですか。（１つに○）

「ダイエットのため」が１件となっています。



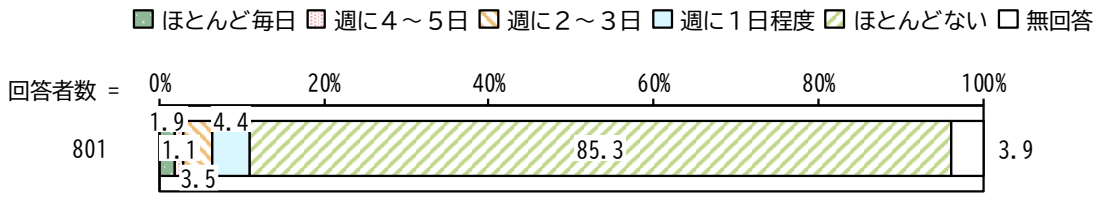
【生活困難度別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



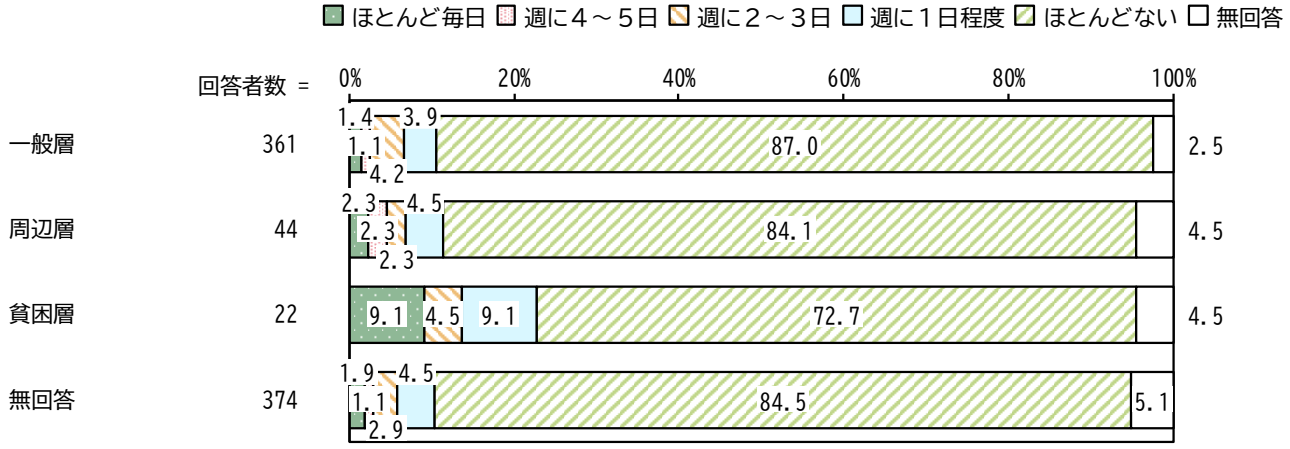
問 19　あなたは、夕食を子どもだけで食べることがありますか。（１つに○）

「ほとんどない」の割合が 85.3%と最も高くなっています。



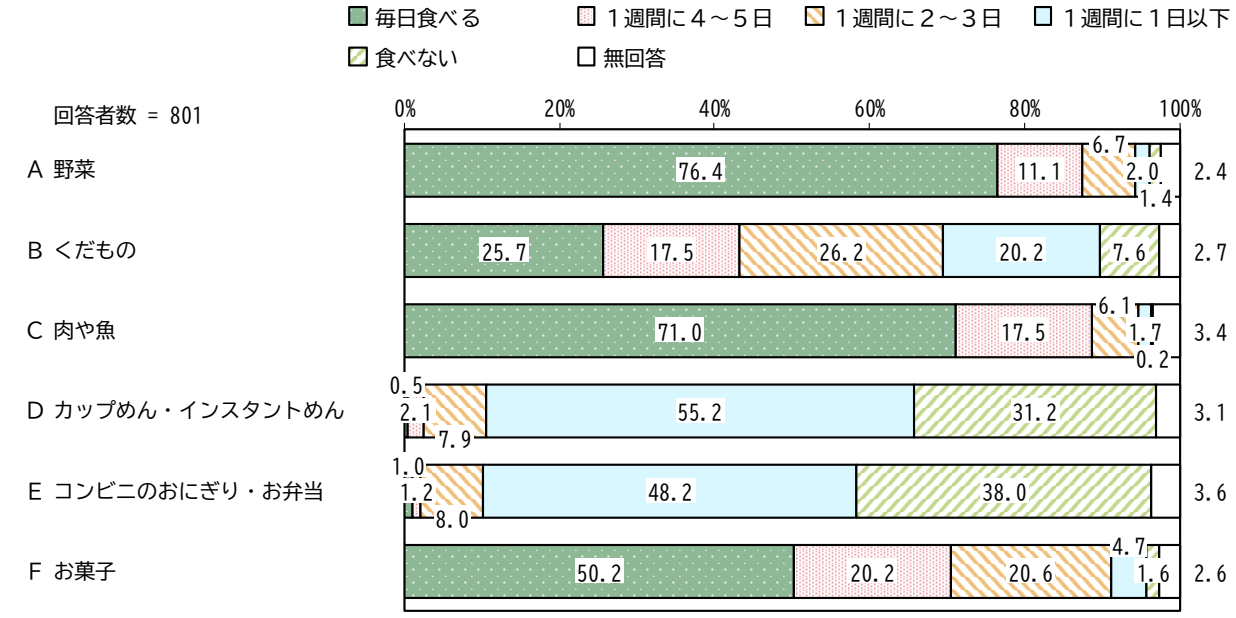
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「ほとんどない」の割合が低くなっています。



問 20　あなたは、給食をのぞいて、以下の食べ物をどれくらい食べますか。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

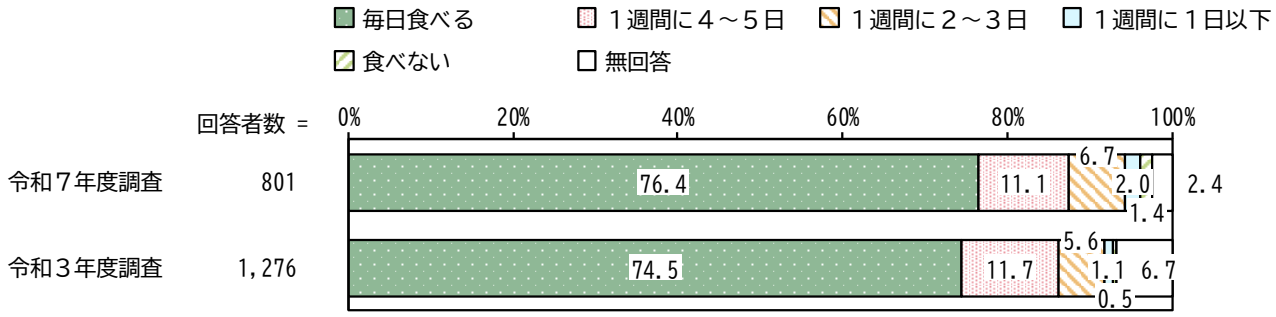
『A　野菜』で「毎日食べる」が、『F　お菓子』で「１週間に４～５日」が、『B　くだもの』で「１週間に２～３日」が、『D　カップめん・インスタントめん』で「１週間に１日以下」が、『E　コンビニのおにぎり・お弁当』で「食べない」が高くなっています。



A　野菜

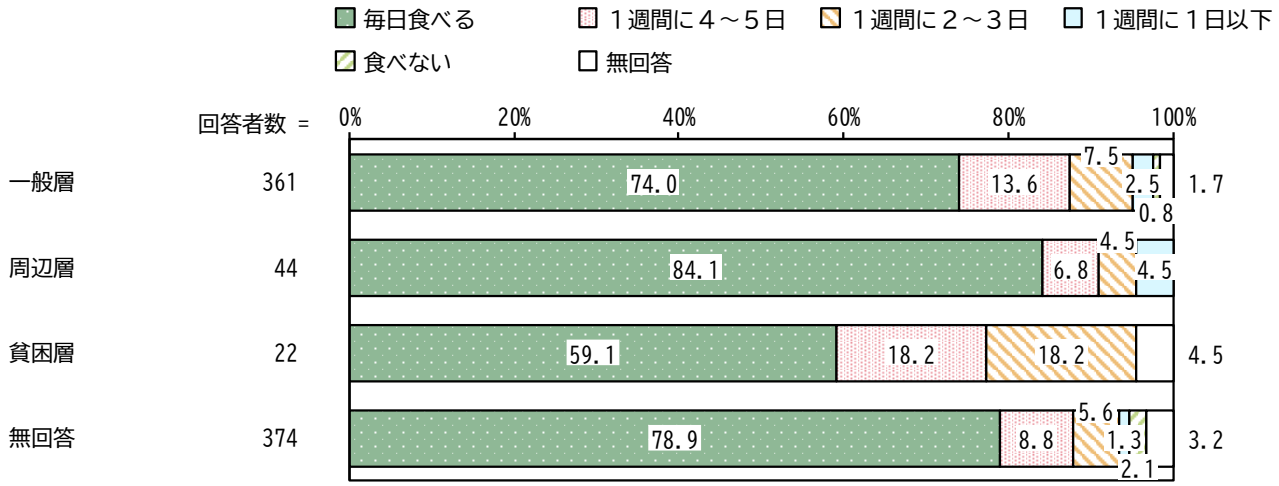
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

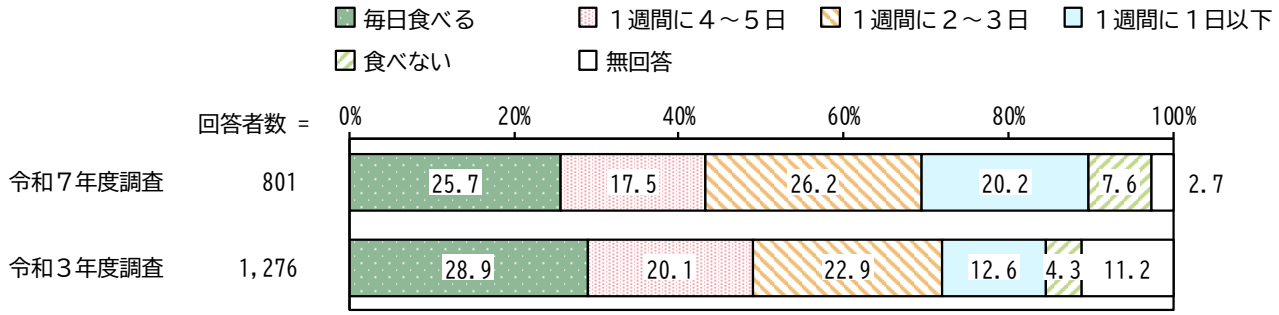
生活困難度別にみると、貧困層で「毎日食べる」の割合が低くなっています。



B　くだもの

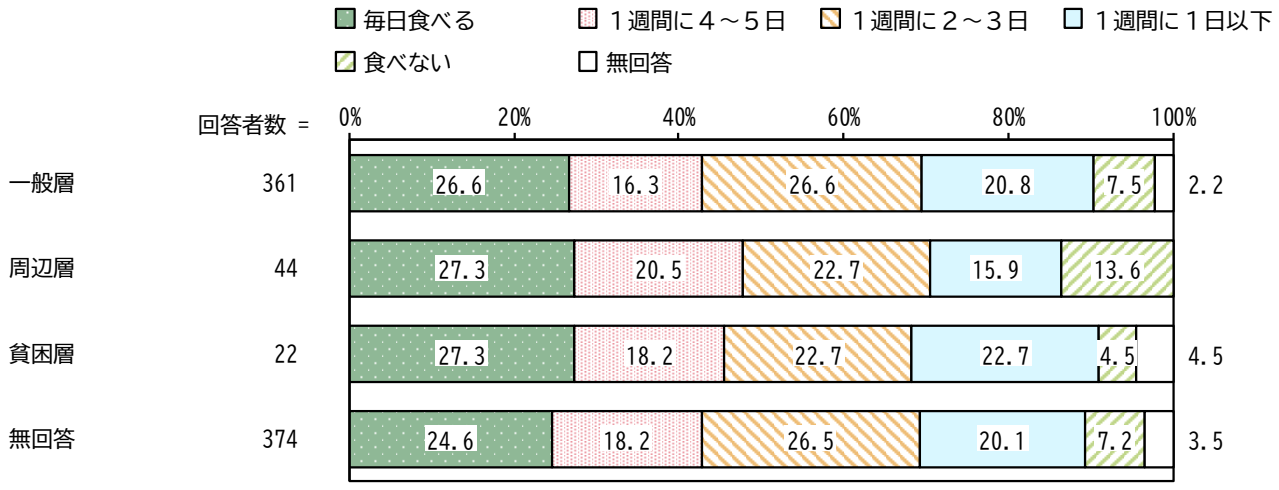
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「１週間に１日以下」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

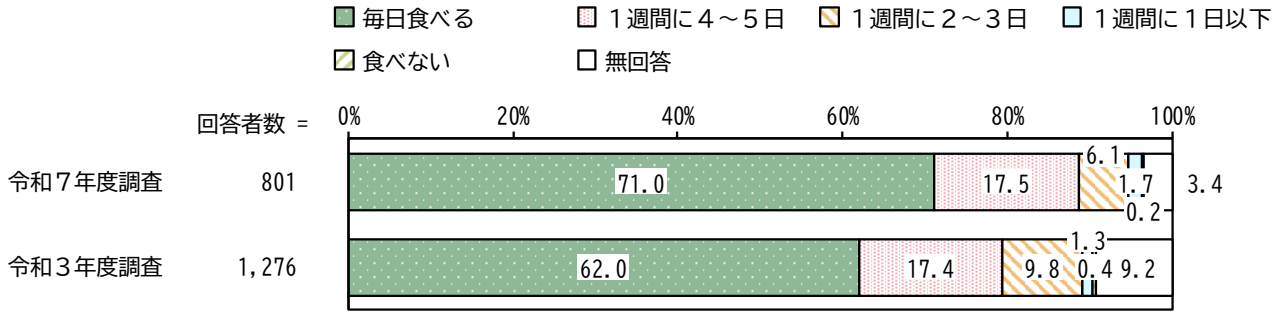
生活困難度別にみると、周辺層で「食べない」の割合が高くなっています。



C　肉や魚

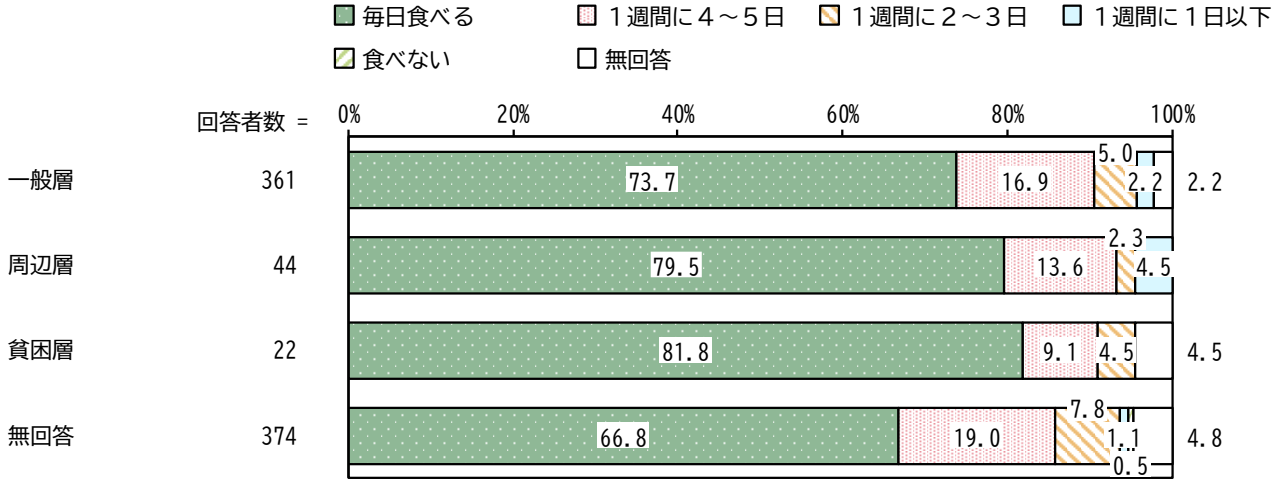
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「毎日食べる」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

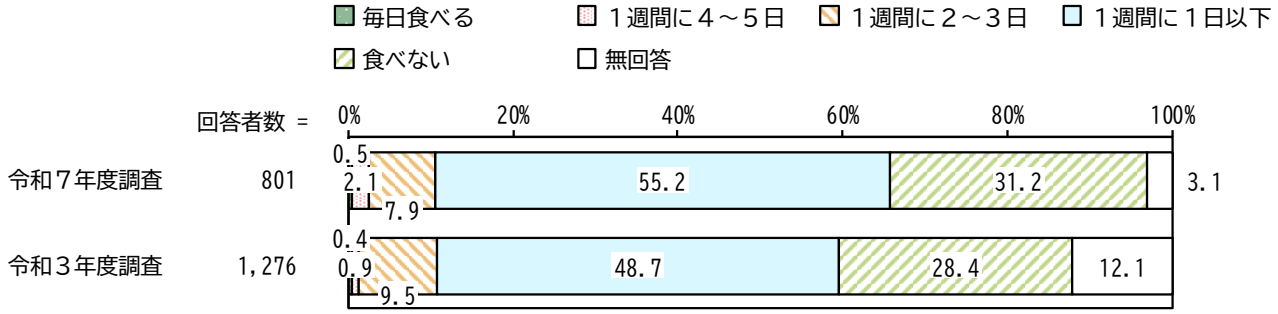
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「毎日食べる」の割合が高くなっています。



D　カップめん・インスタントめん

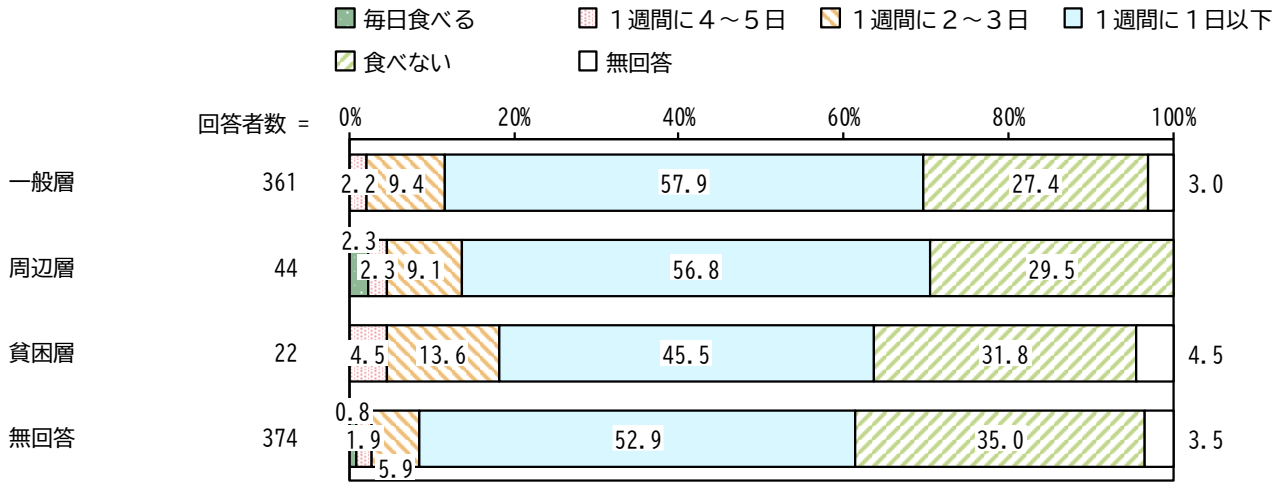
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「１週間に１日以下」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

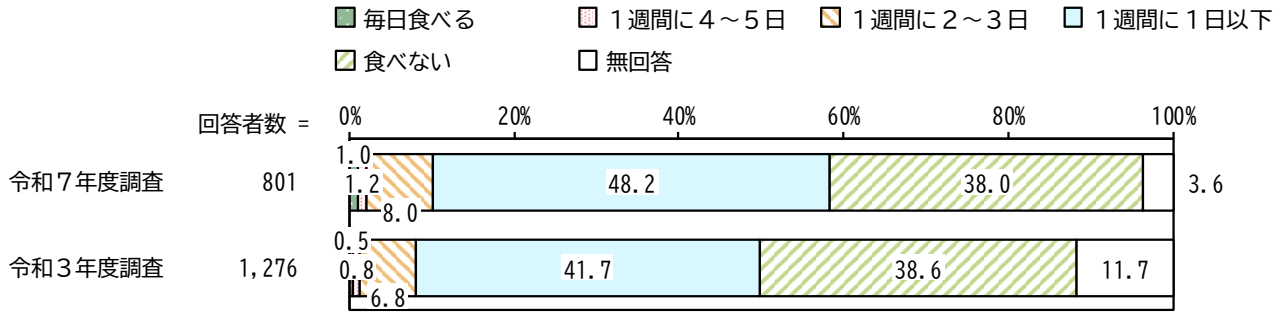
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「食べない」の割合が高くなっています。



E　コンビニのおにぎり・お弁当

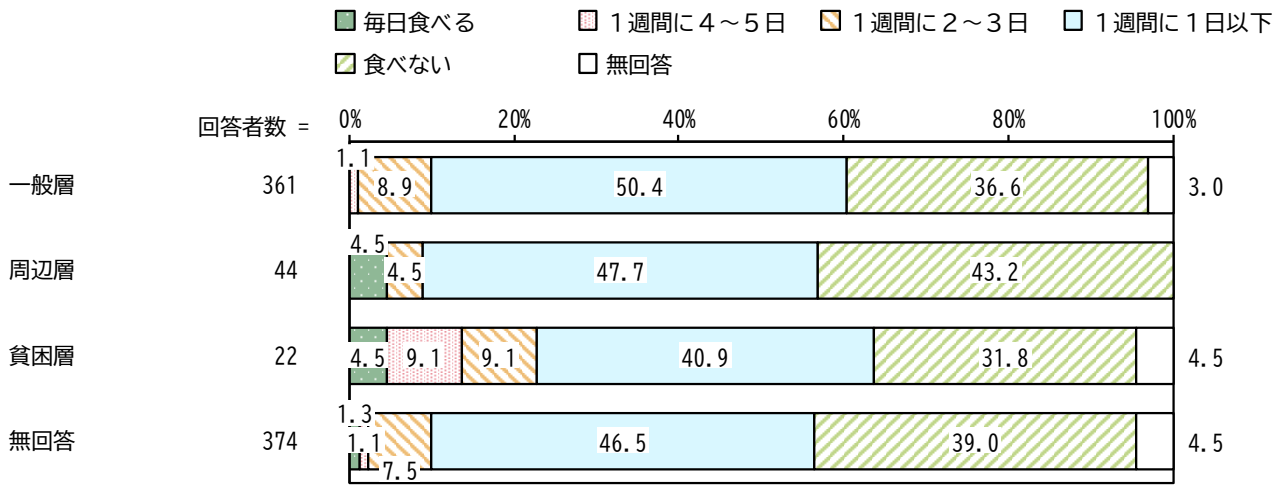
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「１週間に１日以下」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

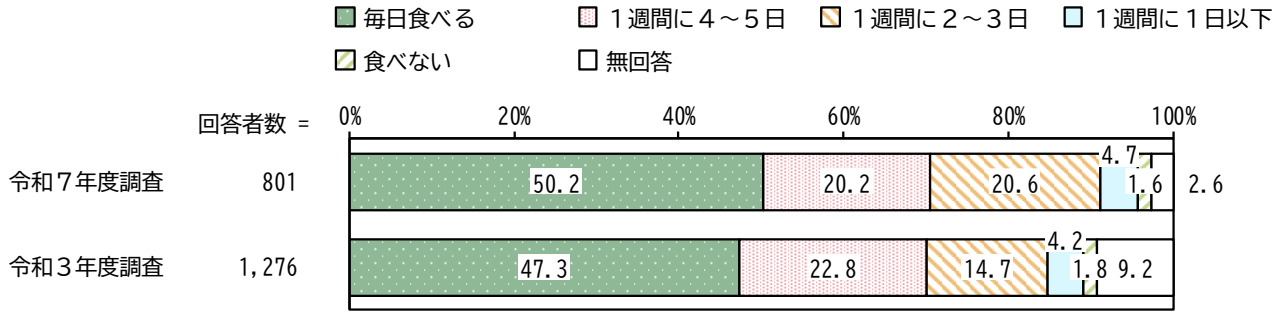
生活困難度別にみると、周辺層で「食べない」の割合が高くなっています。



F　お菓子

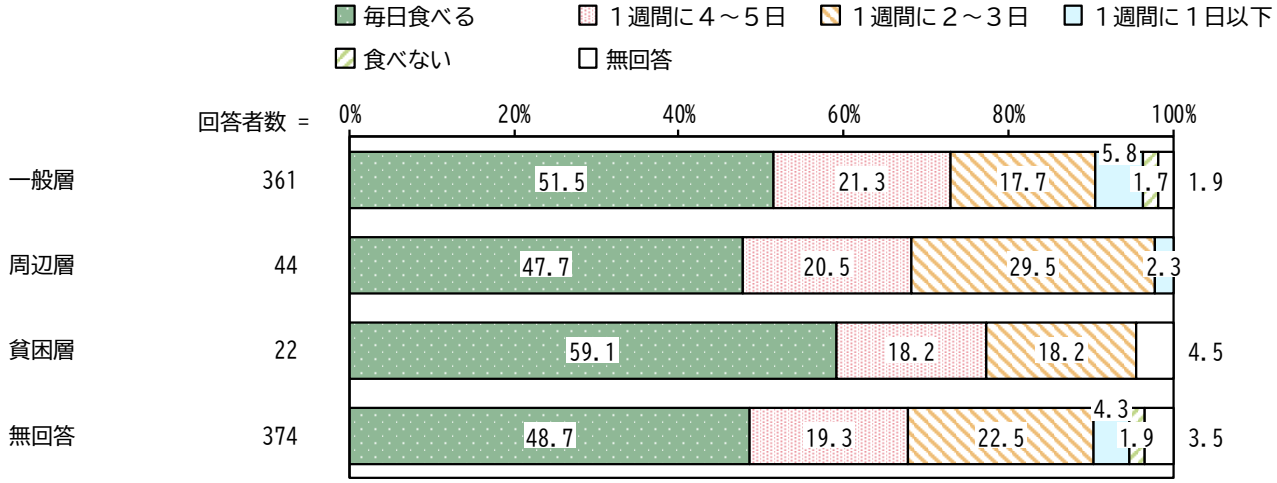
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「１週間に２～３日」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

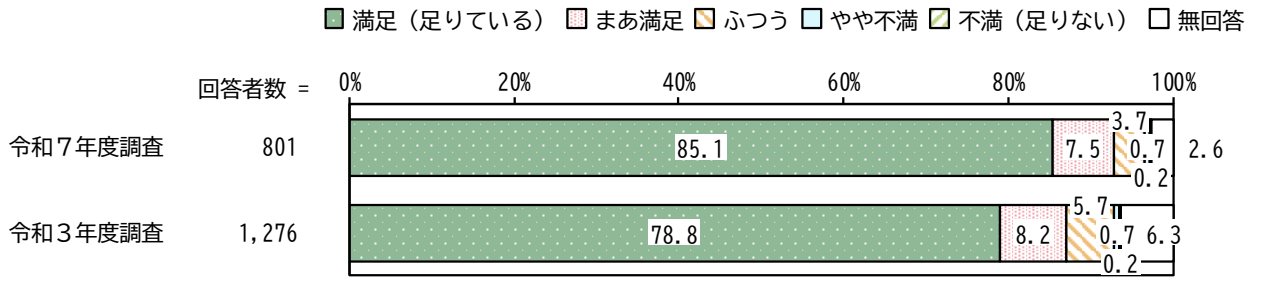
生活困難度別にみると、貧困層で「毎日食べる」の割合が高くなっています。



問 21　あなたは、給食をのぞいた、家などでの食事の量について満足していますか。
（１つに○）

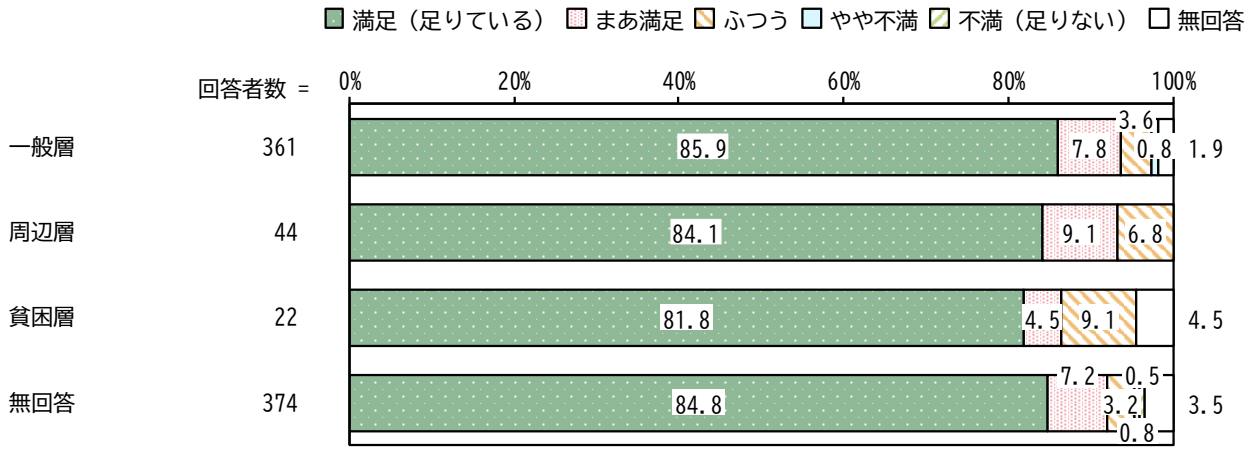
「満足（足りている）」「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が 92.6%、「やや不満」「不満（足りない）」を合わせた“不満”の割合が 0.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、“満足”の割合が増加しています。



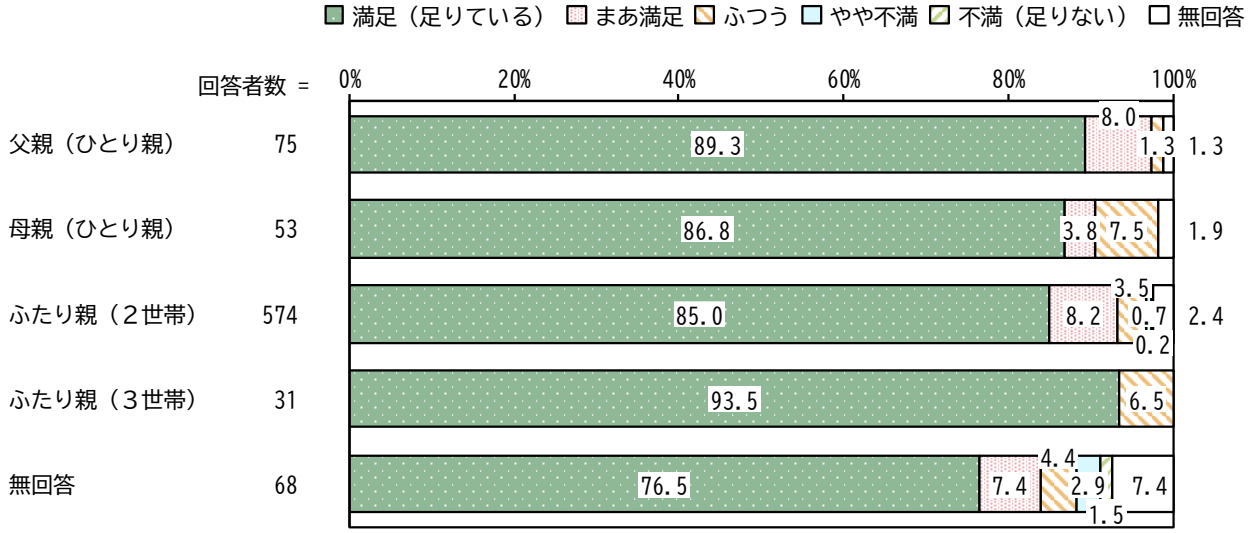
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど“満足”の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

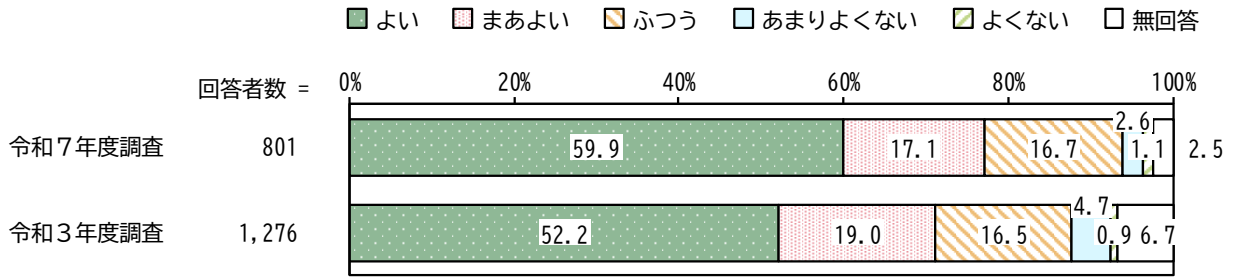
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「満足（足りている)」の割合が高くなっています。



問 22　あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。（１つに○）

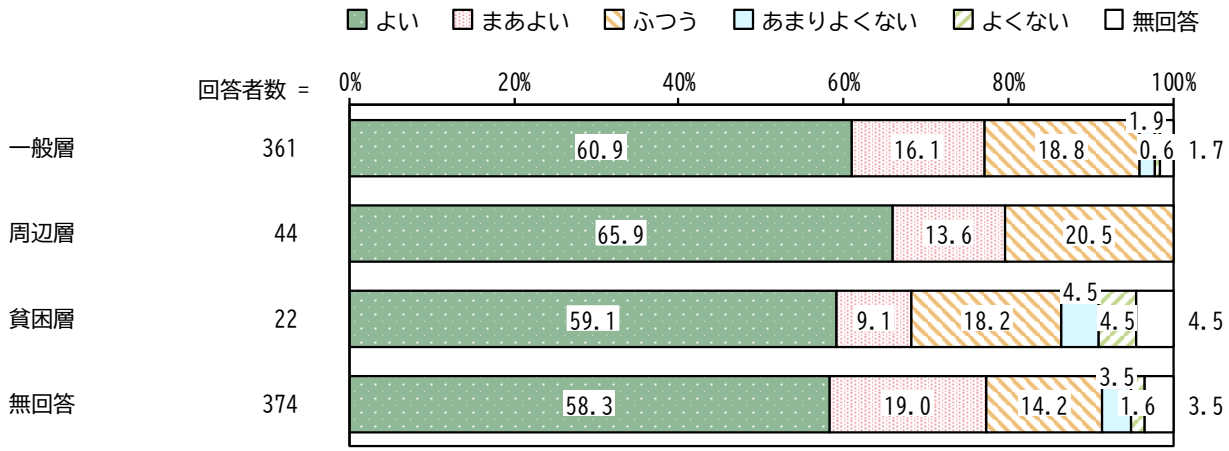
「よい」「まあよい」を合わせた“よい”の割合が 77.0%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”の割合が 3.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、“よい”の割合が増加しています。



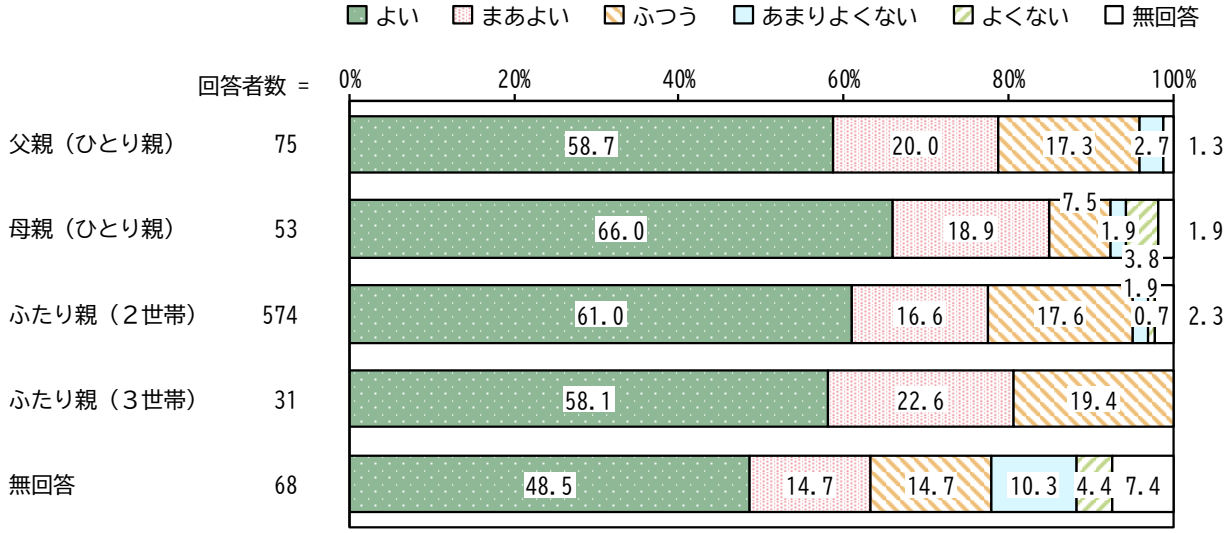
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「まあよい」の割合が高くなっています。



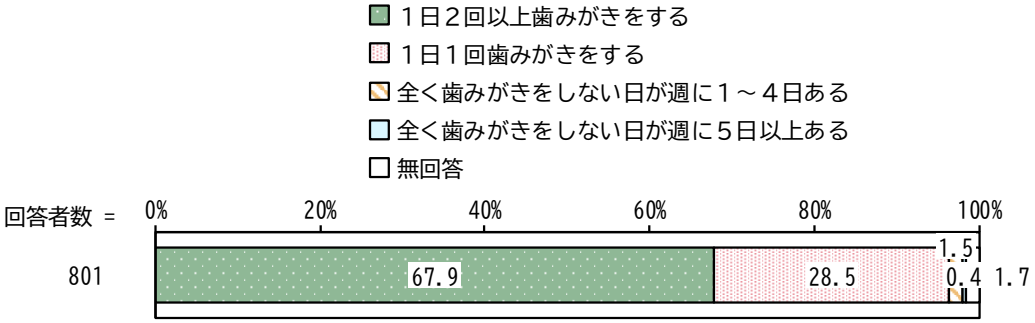
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で“よい”の割合が高くなっています。



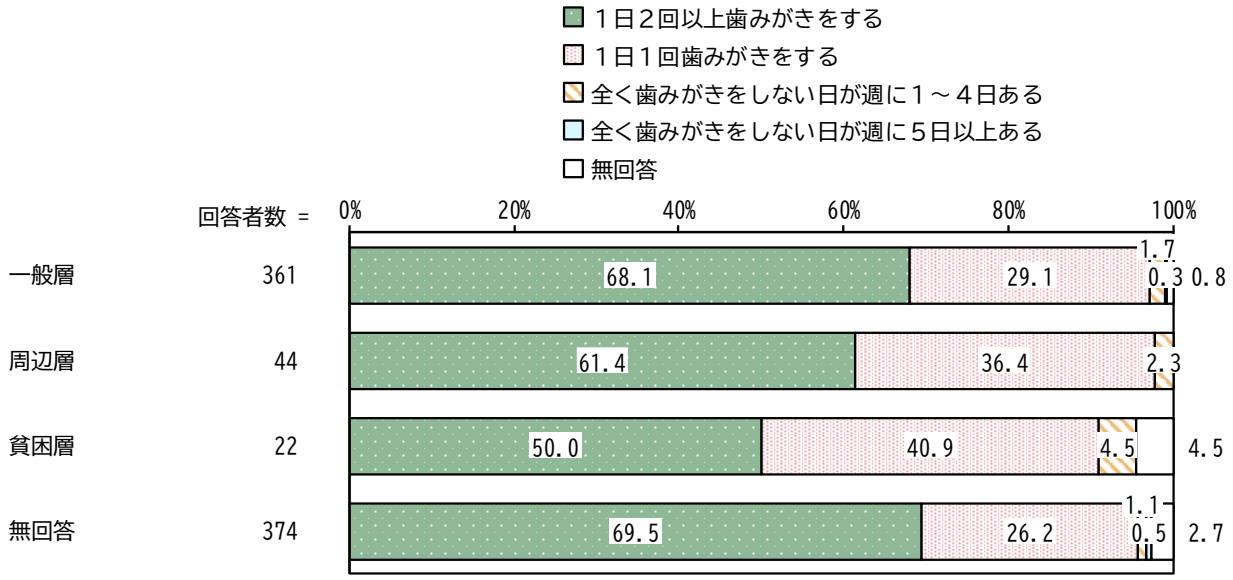
問 23　あなたは、歯みがきをどのくらいしますか。（１つに○）

「１日２回以上歯みがきをする」の割合が 67.9%と最も高く、次いで「１日１回歯みがきをする」の割合が 28.5%となっています。



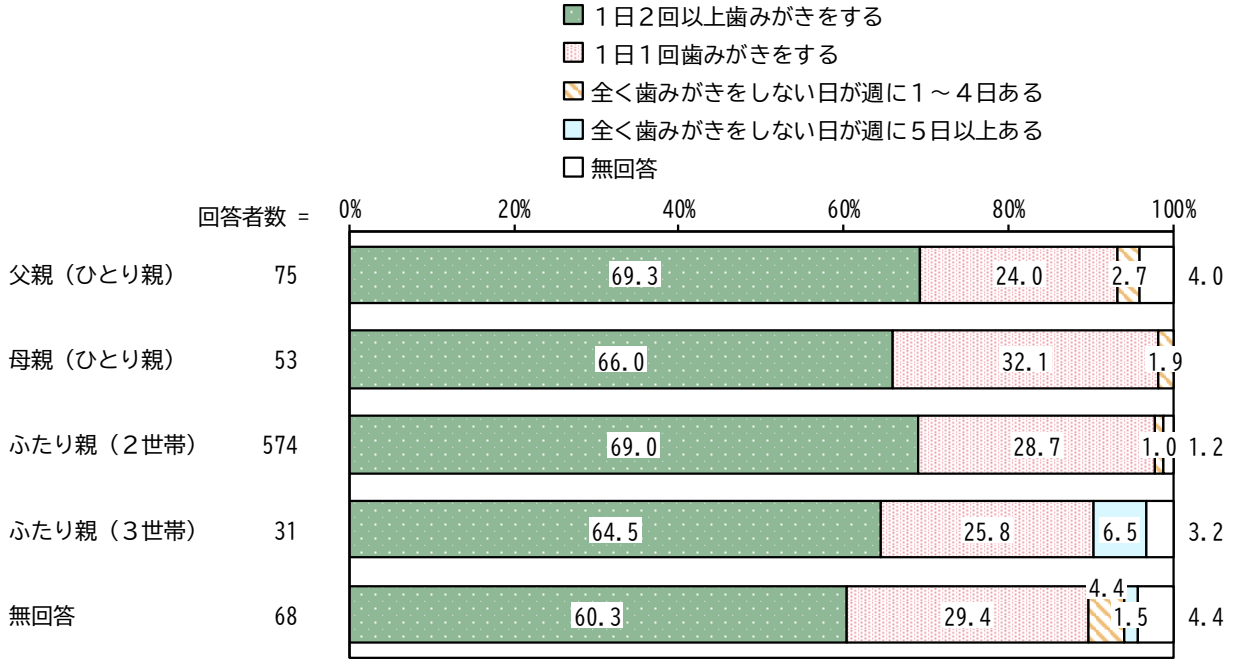
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「１日１回歯みがきをする」の割合が高く、「１日２回以上歯みがきをする」の割合が低くなっています。



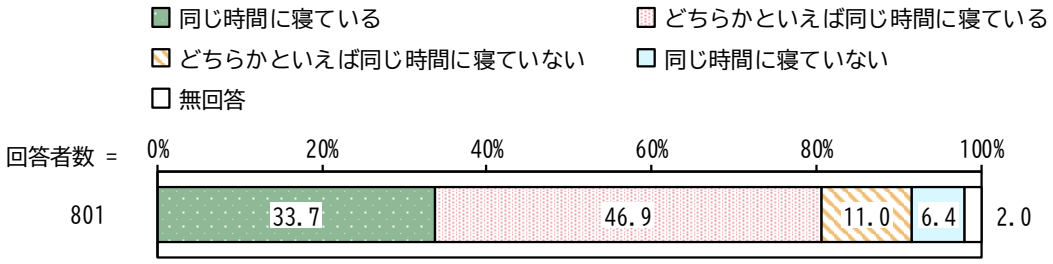
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「全く歯みがきをしない日が週に５日以上ある」の割合が高くなっています。



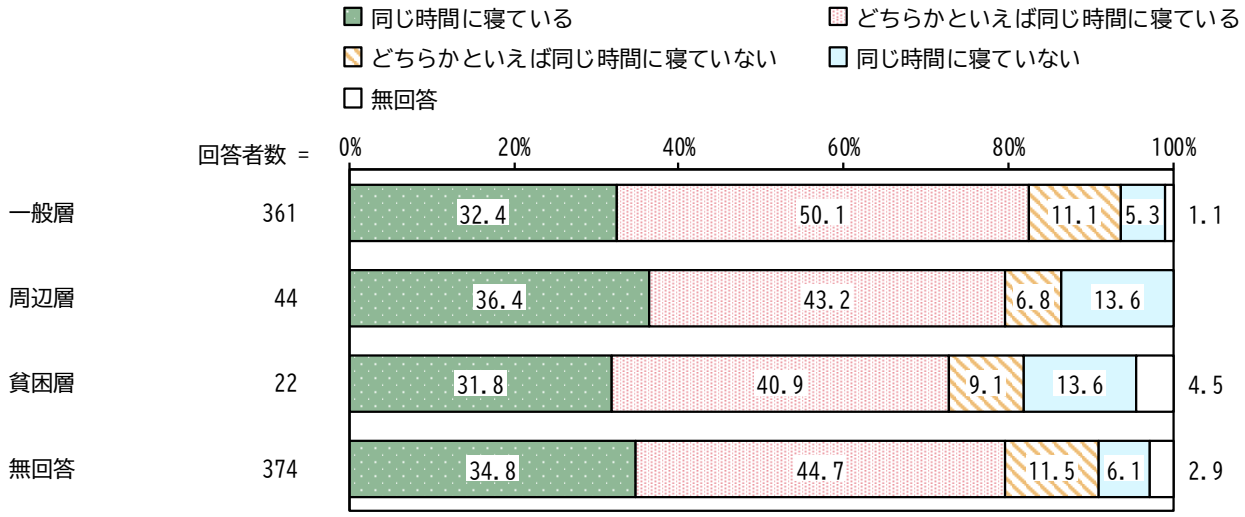
問 24　あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。（１つに○）

「同じ時間に寝ている」「どちらかといえば同じ時間に寝ている」を合わせた“同じ時間に寝ている”の割合が 80.6%、「どちらかといえば同じ時間に寝ていない」「同じ時間に寝ていない」を合わせた“同じ時間に寝ていない”の割合が 17.4%となっています。



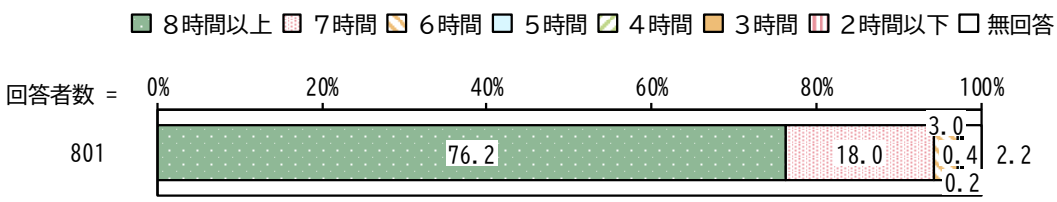
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど“同じ時間に寝ていない”の割合が高くなっています。



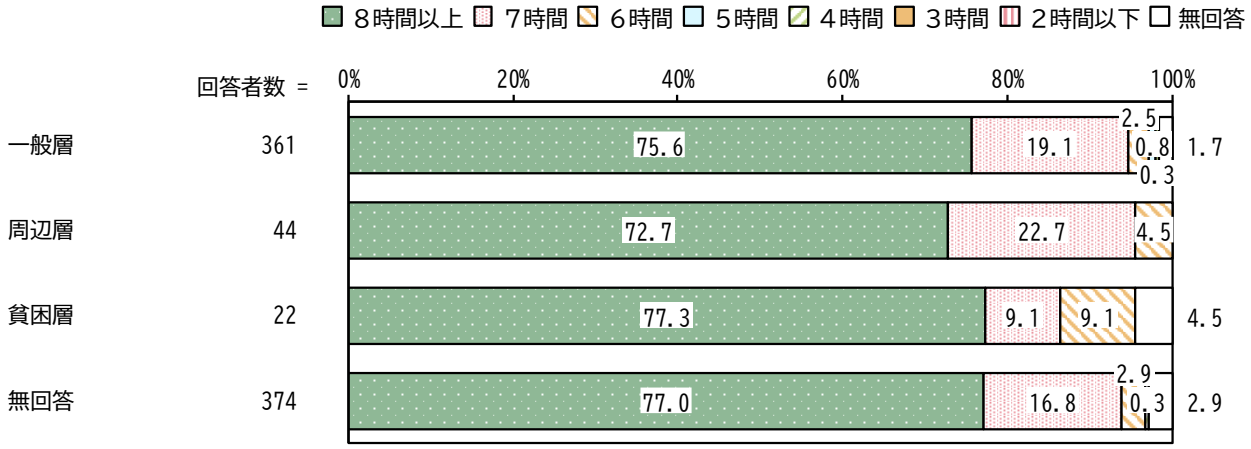
問 25　あなたは、平均して、平日（学校に行く日）は何時間の睡眠をとっていますか。
（１つに○）

「４時間」「３時間」「２時間以下」を合わせた“４時間以下”の割合が 0.2%となっています。



【生活困難度別】

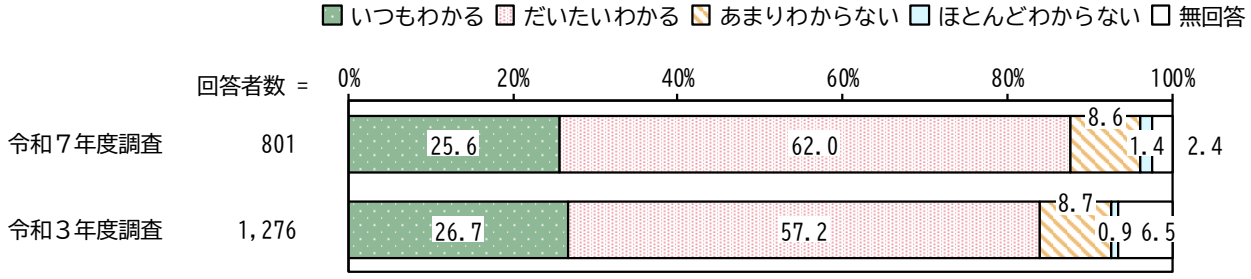
生活困難度別にみると、貧困層で「６時間」の割合が高く、「７時間」の割合が低くなっています。



問 26　あなたは、学校の授業でわからないことがありますか。（１つに○）

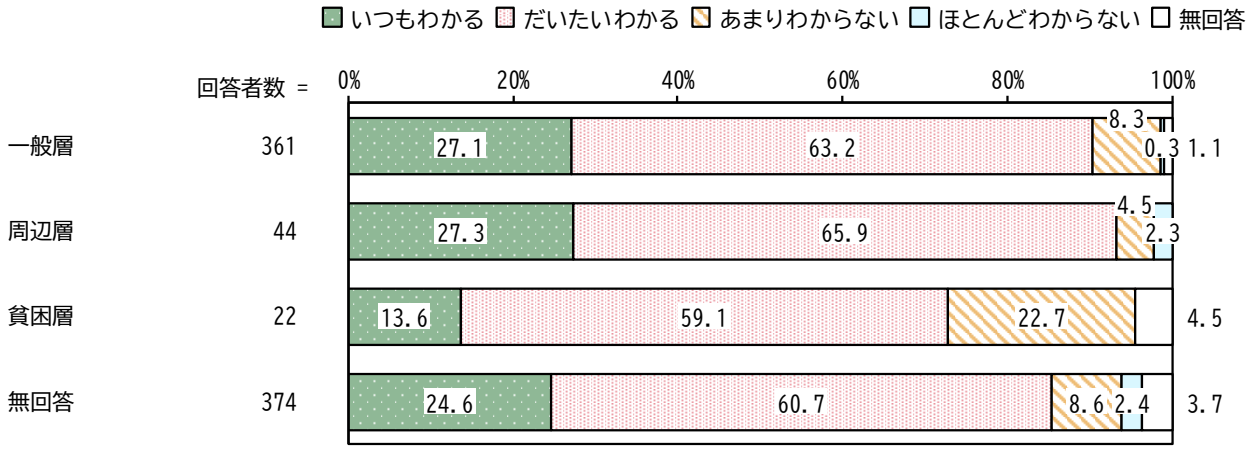
「いつもわかる」「だいたいわかる」を合わせた“わかる”の割合が 87.6%、「あまりわからない」「ほとんどわからない」を合わせた“わからない”の割合が 10.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



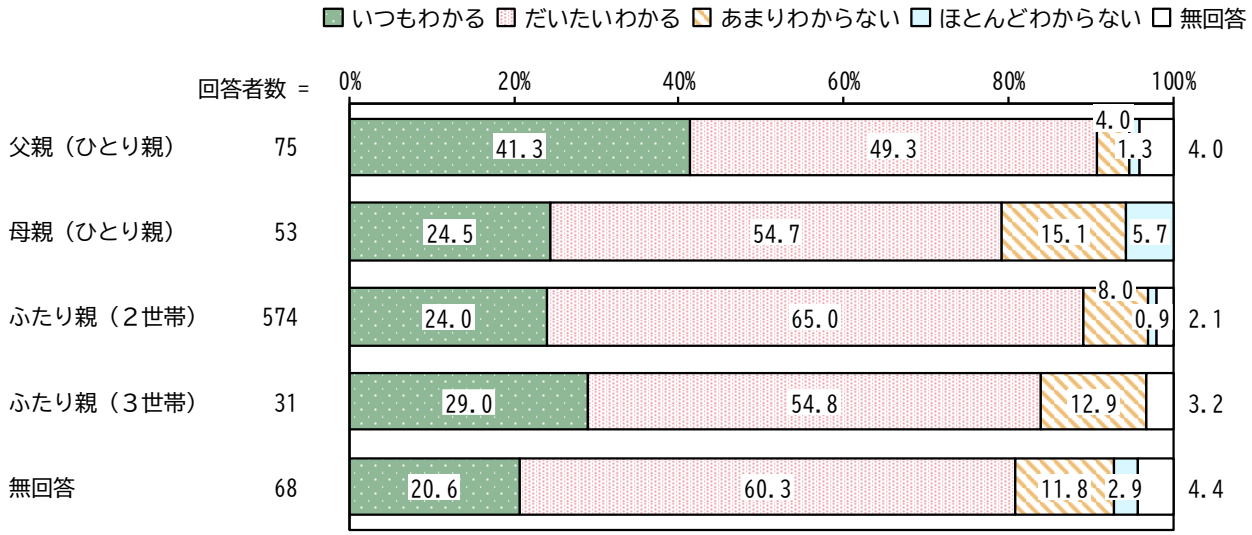
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で“わからない”の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で“わからない”の割合が高くなっています。

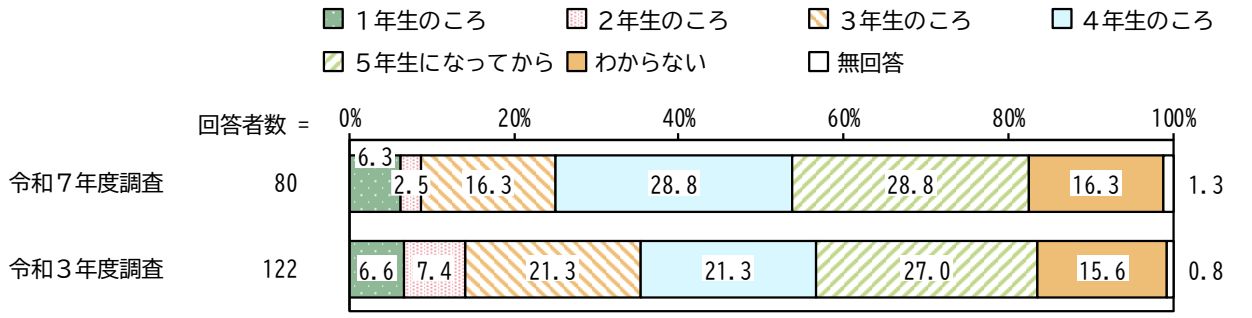


問 26 で学校の授業が「あまりわからない」、または「ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

問 26－１　いつごろから、授業がわからなくなりましたか。（１つに○）

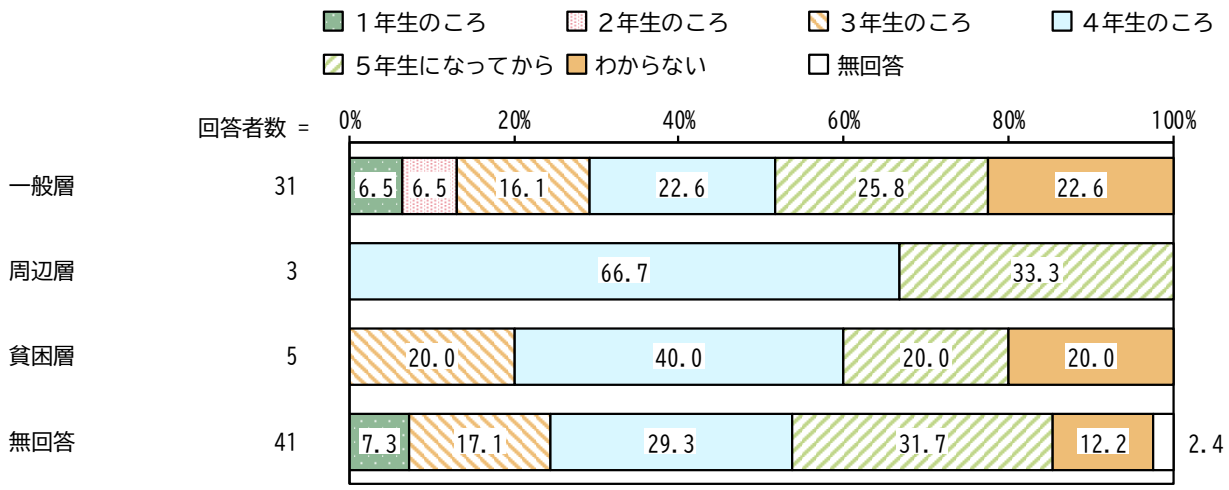
「４年生のころ」、「５年生になってから」の割合が 28.8%と最も高く、次いで「３年生のころ」の割合が 16.3%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「４年生のころ」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

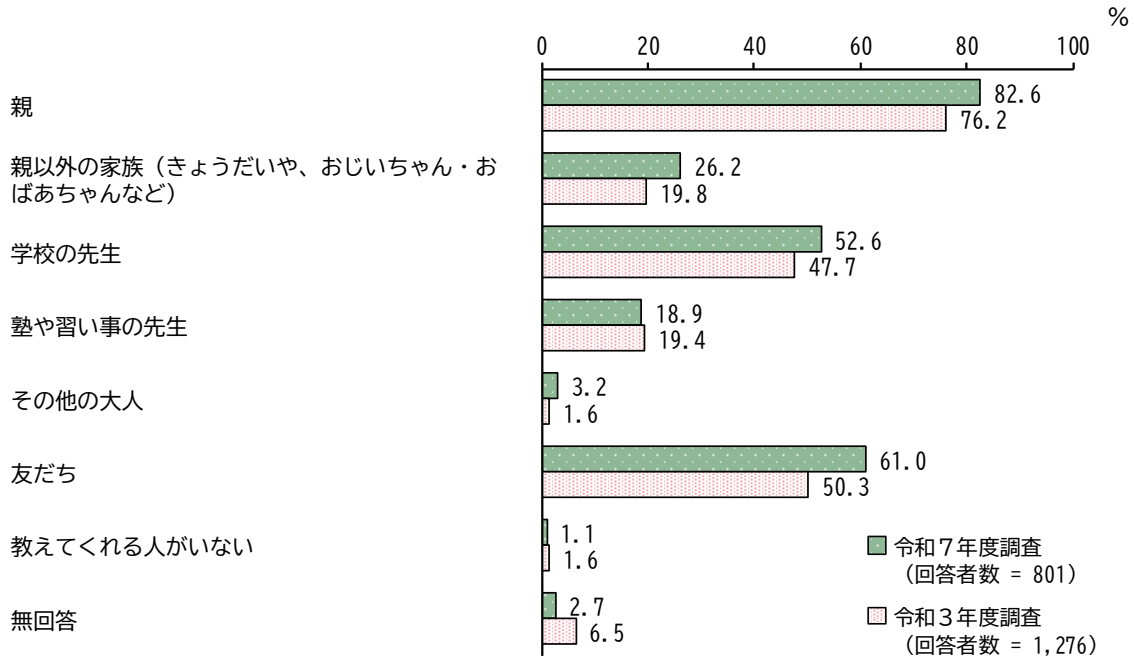
生活困難度別にみると、貧困層から周辺層まで困難度が小さいほど「４年生のころ」「５年生になってから」の割合が高く、「３年生のころ」の割合が低くなっています。



問 27　勉強がわからないときに、聞ける人は誰ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「親」の割合が 82.6%と最も高く、次いで「友だち」の割合が 61.0%、「学校の先生」の割合が 52.6%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「親」「親以外の家族（きょうだいや、おじいちゃん・おばあちゃんなど）」「友だち」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「塾や習い事の先生」「友だち」の割合が高くなっています。また、貧困層で「学校の先生」の割合が高くなっています。

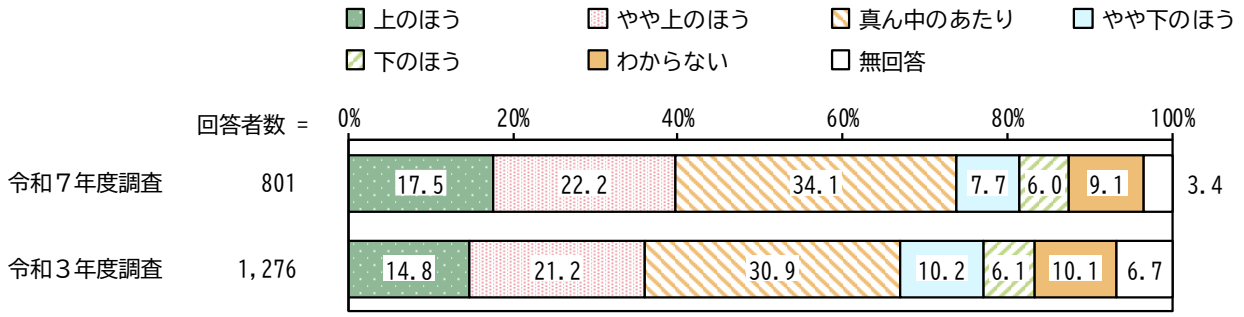
単位：％

区分	回答者数（件）	親	親以外の家族（きょうだいや、おじいちゃん・おばあちゃんなど）	学校の先生	塾や習い事の先生	その他の大人	友だち	教えてくれる人がいない	無回答
全　体	801	82.6	26.2	52.6	18.9	3.2	61.0	1.1	2.7
一般層	361	83.4	26.9	55.7	20.5	2.5	64.3	1.1	1.7
周辺層	44	88.6	29.5	43.2	18.2	2.3	52.3	0.0	0.0
貧困層	22	77.3	4.5	63.6	9.1	0.0	45.5	4.5	4.5
無回答	374	81.6	26.5	50.0	17.9	4.3	59.9	1.1	4.0

問 28　あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。（１つに○）

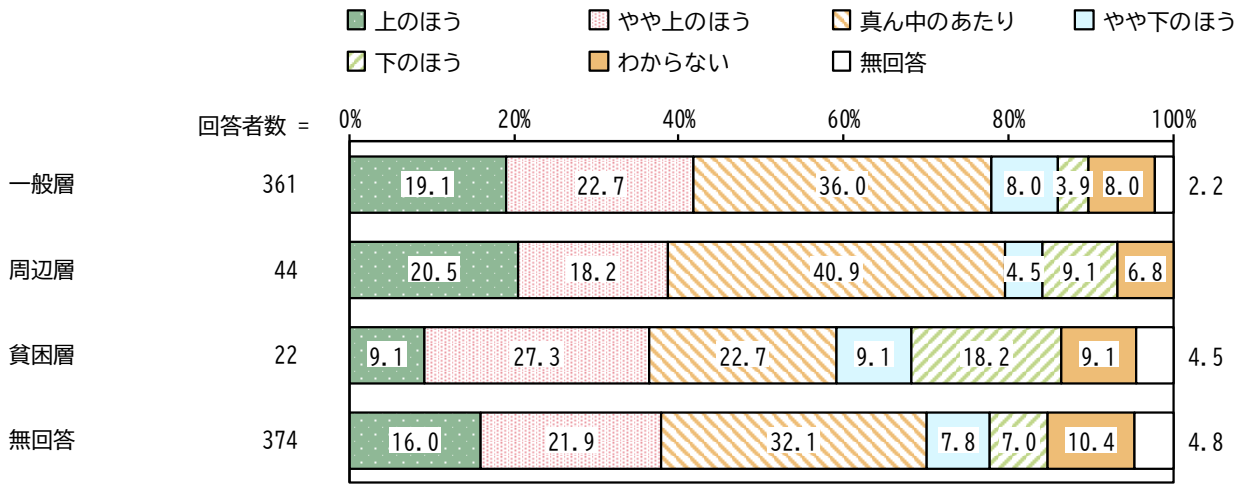
「上のほう」「やや上のほう」を合わせた“上のほう”の割合が 39.7%、「やや下のほう」「下のほう」を合わせた“下のほう”の割合が 13.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

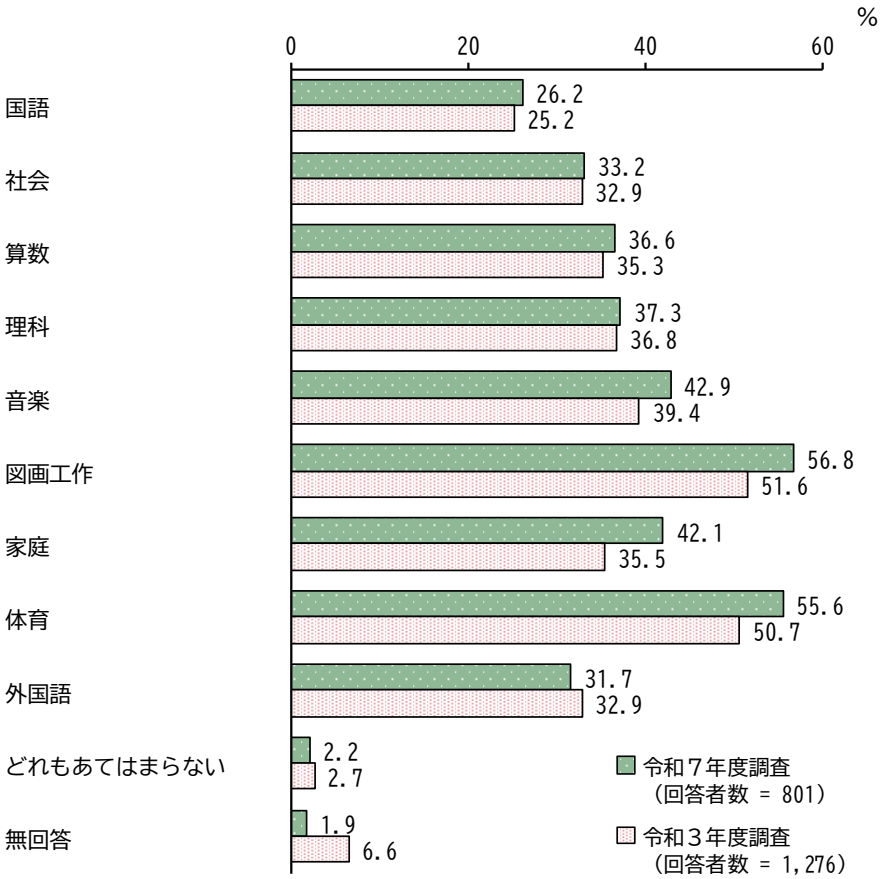
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど“下のほう”の割合が高くなっています。また、貧困層で「真ん中のあたり」の割合が低くなっています。



問 29　あなたの得意な教科は、どれですか。（あてはまる番号すべてに〇）

「図画工作」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「体育」の割合が 55.6%、「音楽」の割合が 42.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「図画工作」「家庭」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「音楽」の割合が高く、「図画工作」の割合が低くなっています。

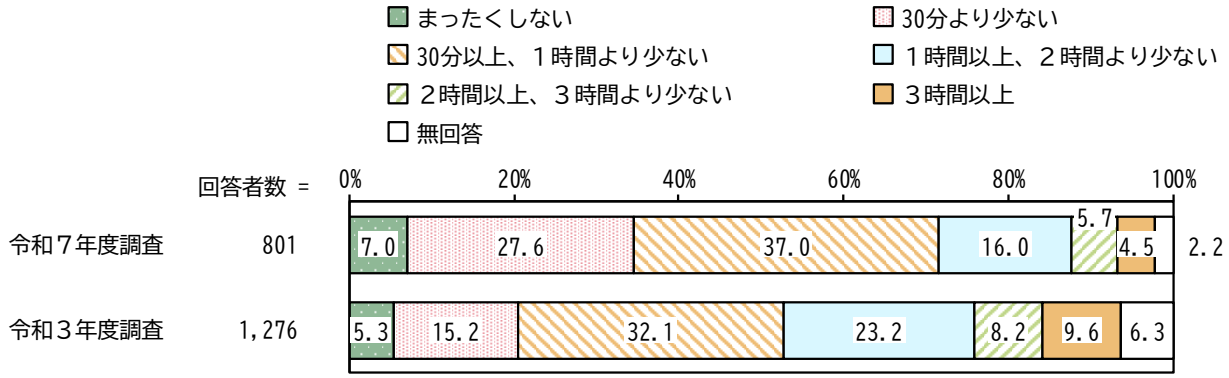
単位：％

区分	回答者数（件）	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語	どれもあてはまらない	無回答
全　体	801	26.2	33.2	36.6	37.3	42.9	56.8	42.1	55.6	31.7	2.2	1.9
一般層	361	23.5	33.0	37.7	40.4	42.4	59.3	43.2	51.5	34.1	2.2	1.1
周辺層	44	29.5	27.3	43.2	34.1	52.3	56.8	34.1	63.6	27.3	0.0	0.0
貧困層	22	18.2	27.3	31.8	36.4	63.6	54.5	45.5	45.5	27.3	4.5	4.5
無回答	374	28.9	34.5	35.0	34.8	41.2	54.5	41.7	59.1	30.2	2.4	2.7

問 30　あなたは、ふだん（月～金曜日）学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。１日あたりの勉強時間を教えてください。（１つに○）

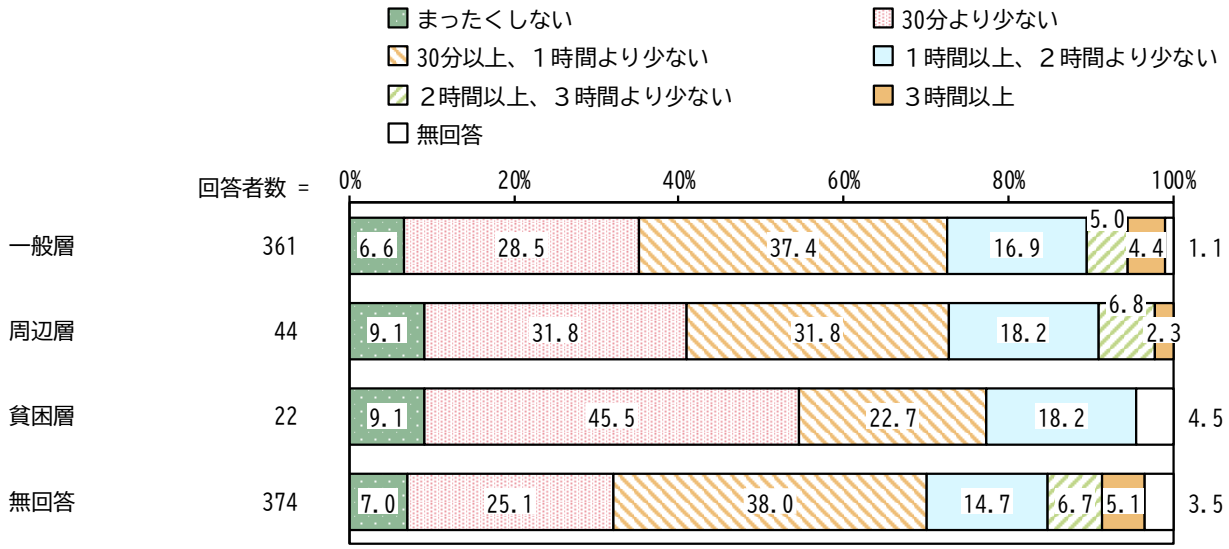
「30 分以上、１時間より少ない」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「30 分より少ない」の割合が 27.6%、「１時間以上、２時間より少ない」の割合が 16.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「30 分より少ない」の割合が増加しています。一方、「１時間以上、２時間より少ない」「３時間以上」の割合が減少しています。



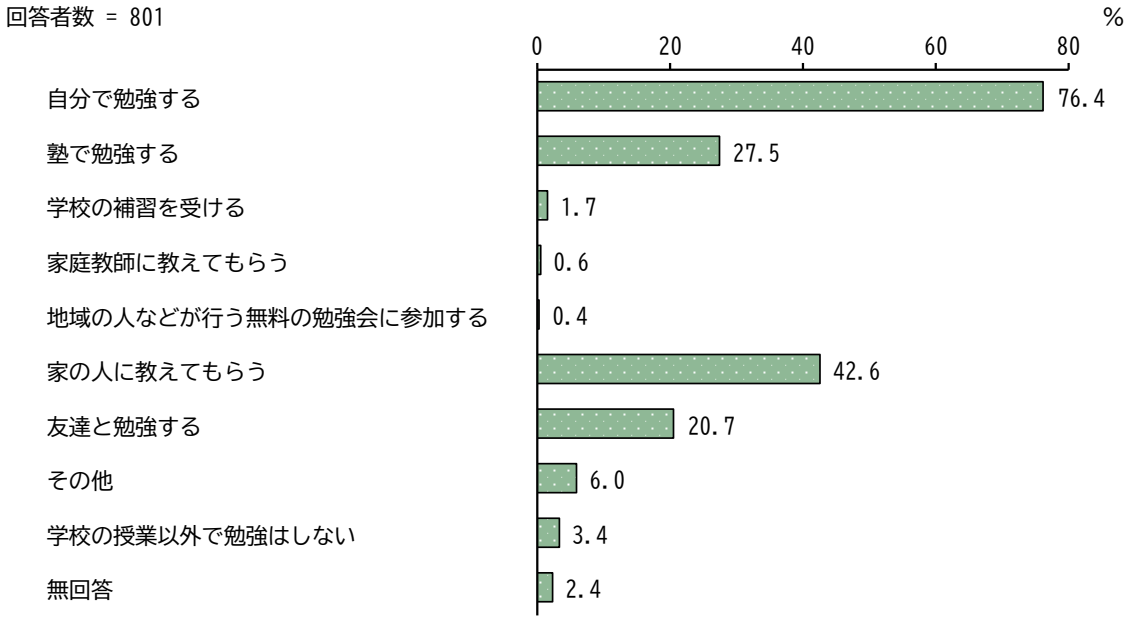
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「30 分より少ない」の割合が高く、「30 分以上、１時間より少ない」の割合が低くなっています。



問 31　あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の宿題もふくみます。月曜日から金曜日のことについてお答えください。
（「自分で勉強する」～「その他」については、あてはまる番号すべてに○）

「自分で勉強する」の割合が 76.4%と最も高く、次いで「家の人に教えてもらう」の割合が 42.6%、「塾で勉強する」の割合が 27.5%となっています。



【生活困難度別】

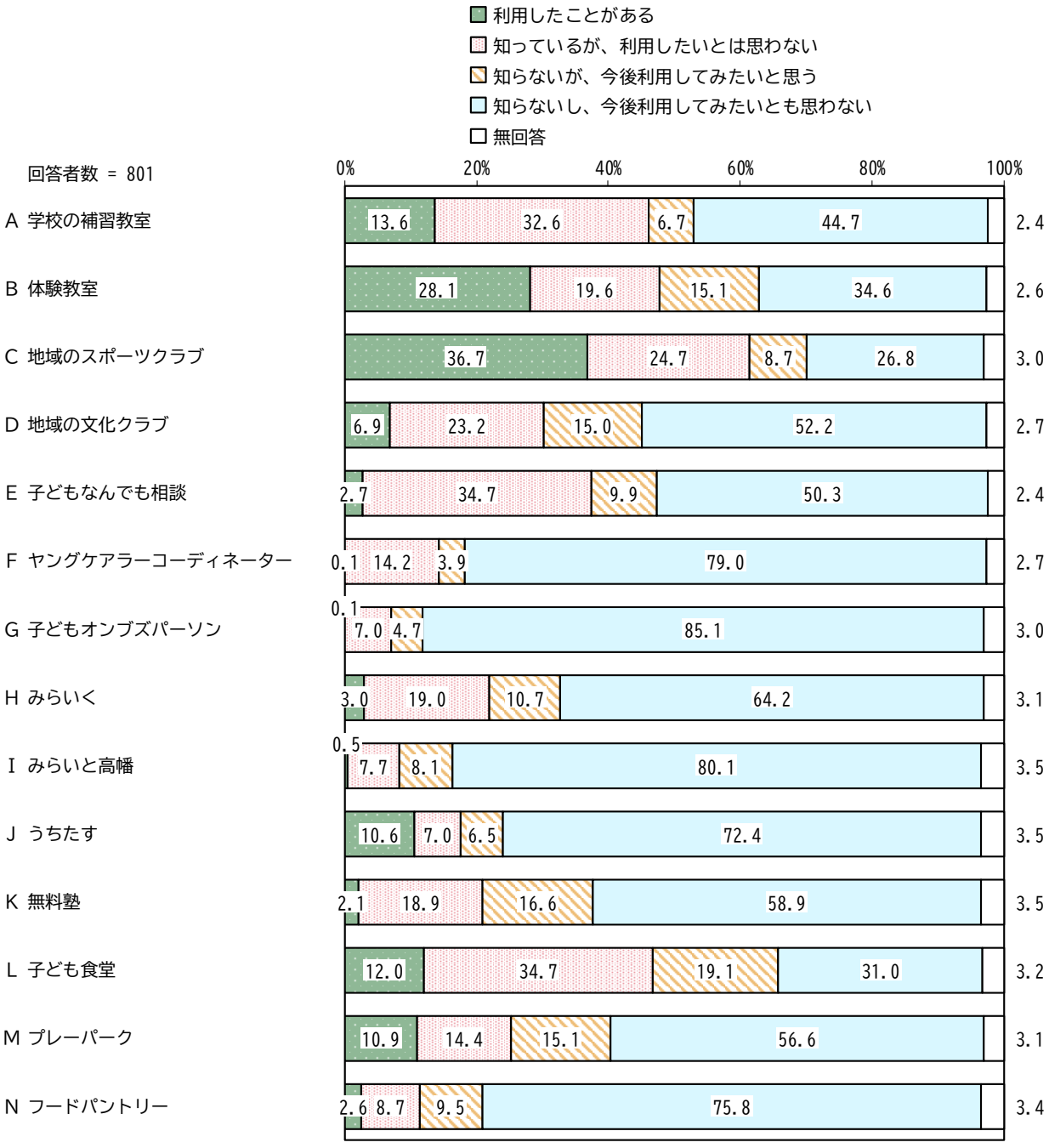
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「塾で勉強する」の割合が高くなっています。また、周辺層で「自分で勉強する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自分で勉強する	塾で勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	その他	学校の授業以外で勉強はしない	無回答
全　体	801	76.4	27.5	1.7	0.6	0.4	42.6	20.7	6.0	3.4	2.4
一般層	361	75.9	27.7	1.4	1.4	0.6	45.2	18.3	5.8	2.2	1.1
周辺層	44	88.6	20.5	2.3	0.0	0.0	29.5	15.9	9.1	4.5	0.0
貧困層	22	63.6	13.6	4.5	0.0	4.5	31.8	27.3	13.6	9.1	4.5
無回答	374	76.2	28.9	1.9	0.0	0.0	42.2	23.3	5.3	4.0	3.7

問 32　下記の事業で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

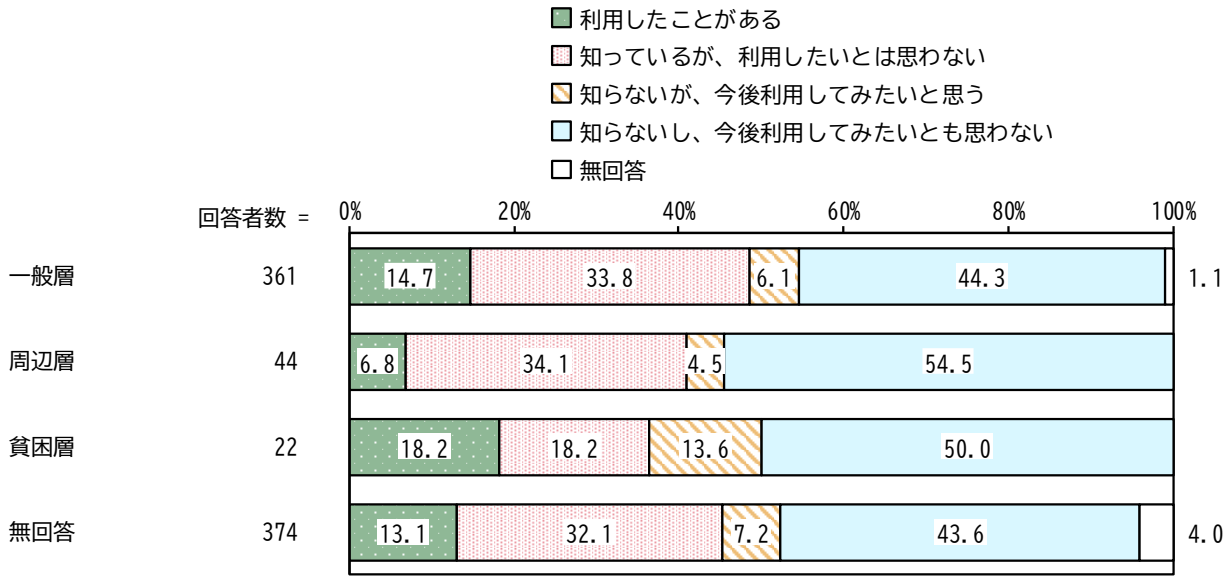
『C　地域のスポーツクラブ』で「利用したことがある」が、『E　子どもなんでも相談』『L　子ども食堂』で「知っているが、利用したいとは思わない」が、『L　子ども食堂』で「知らないが、今後利用してみたいと思う」が、『G　子どもオンブズパーソン』で「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」が高くなっています。



A　学校の補習教室

【生活困難度別】

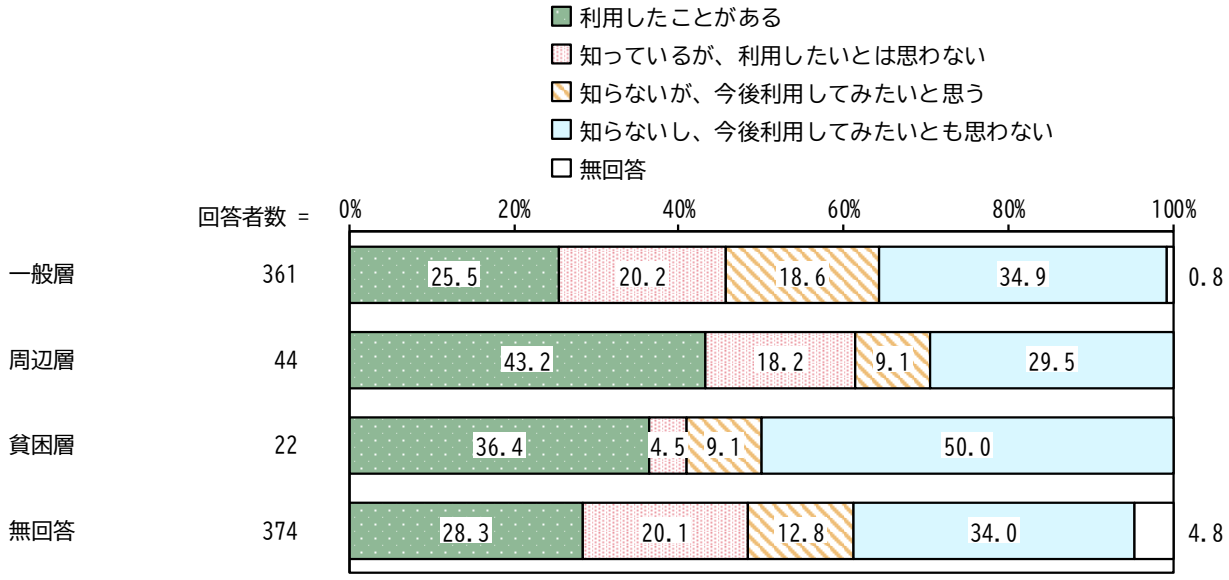
生活困難度別にみると、貧困層で「知らないが、今後利用してみたいと思う」、周辺層で「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が高くなっています。



B　体験教室

【生活困難度別】

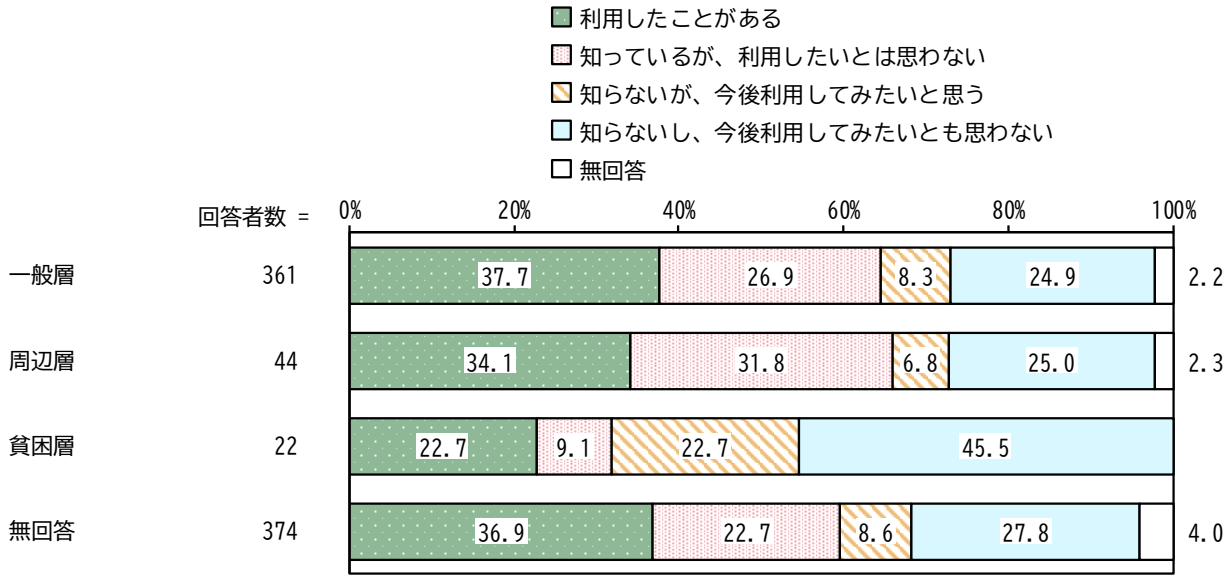
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「知っているが、利用したいとは思わない」の割合が高くなっています。また、周辺層で「利用したことがある」、貧困層で「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が高くなっています。



C　地域のスポーツクラブ

【生活困難度別】

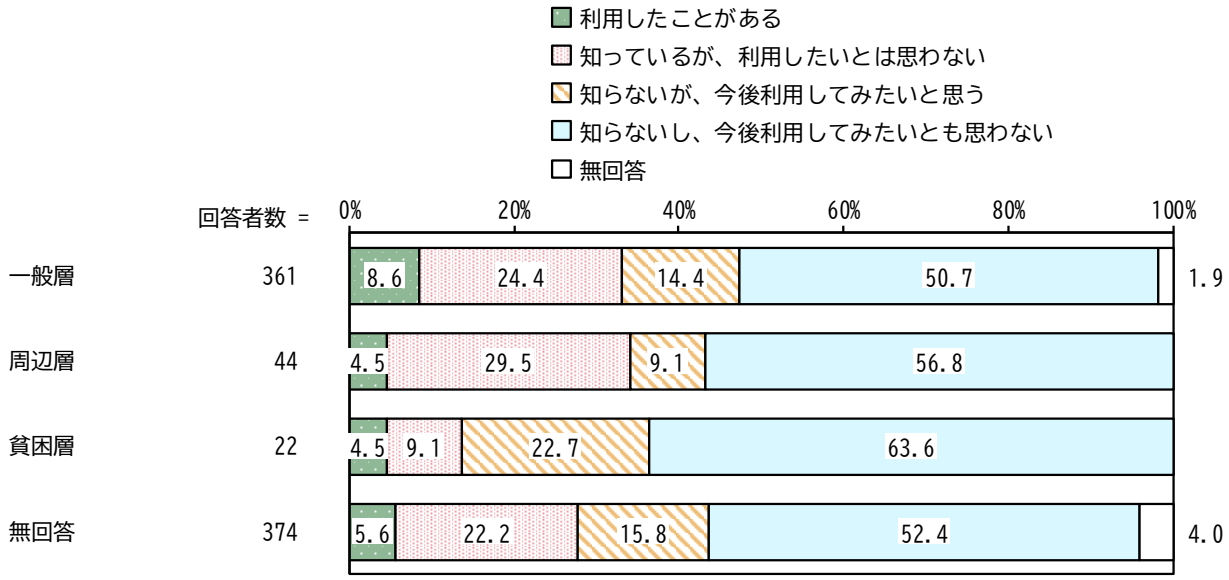
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が高く、「利用したことがある」の割合が低くなっています。また、貧困層で「知っているが、利用したいとは思わない」の割合が低くなっています。



D　地域の文化クラブ

【生活困難度別】

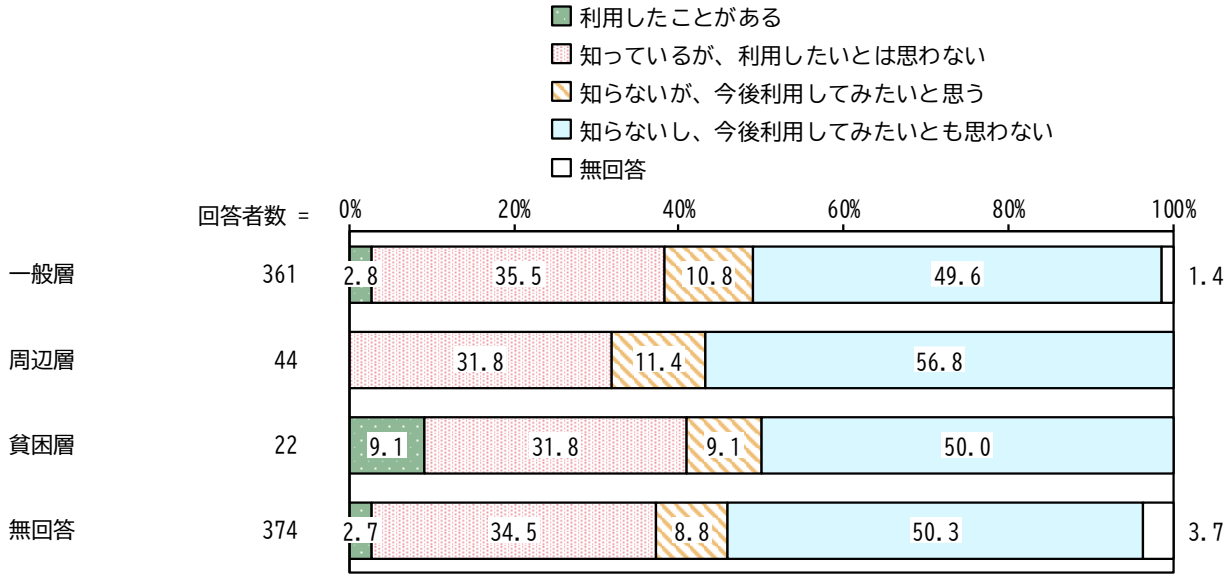
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が高くなっています。また、貧困層で「知っているが、利用したいとは思わない」の割合が低くなっています。



E　子どもなんでも相談

【生活困難度別】

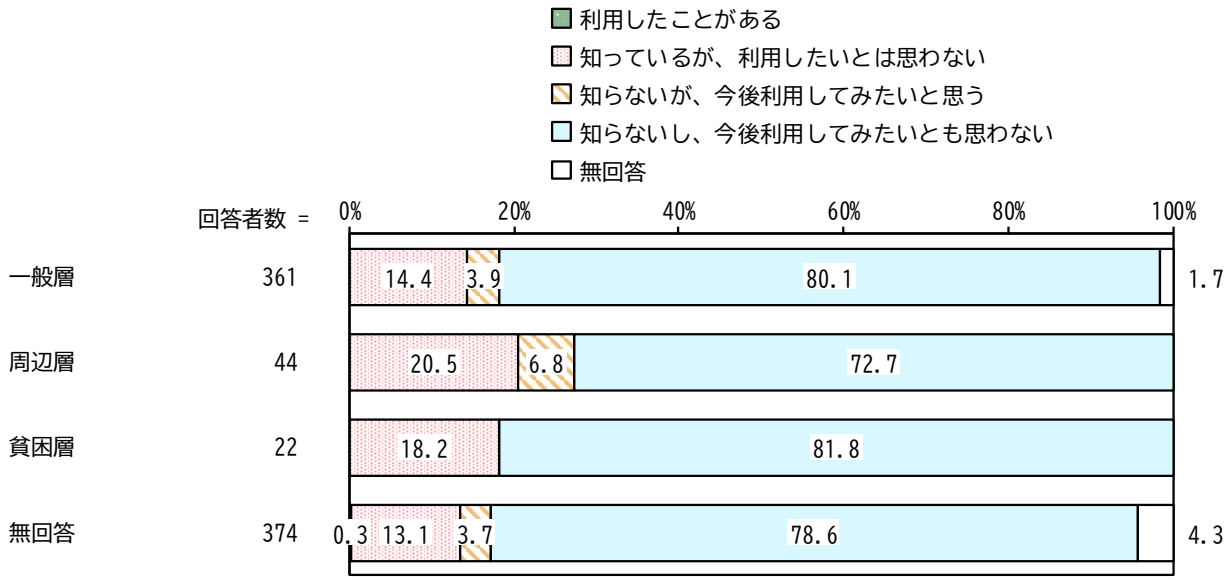
生活困難度別にみると、貧困層で「利用したことがある」、周辺層で「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が高くなっています。



F　ヤングケアラーコーディネーター

【生活困難度別】

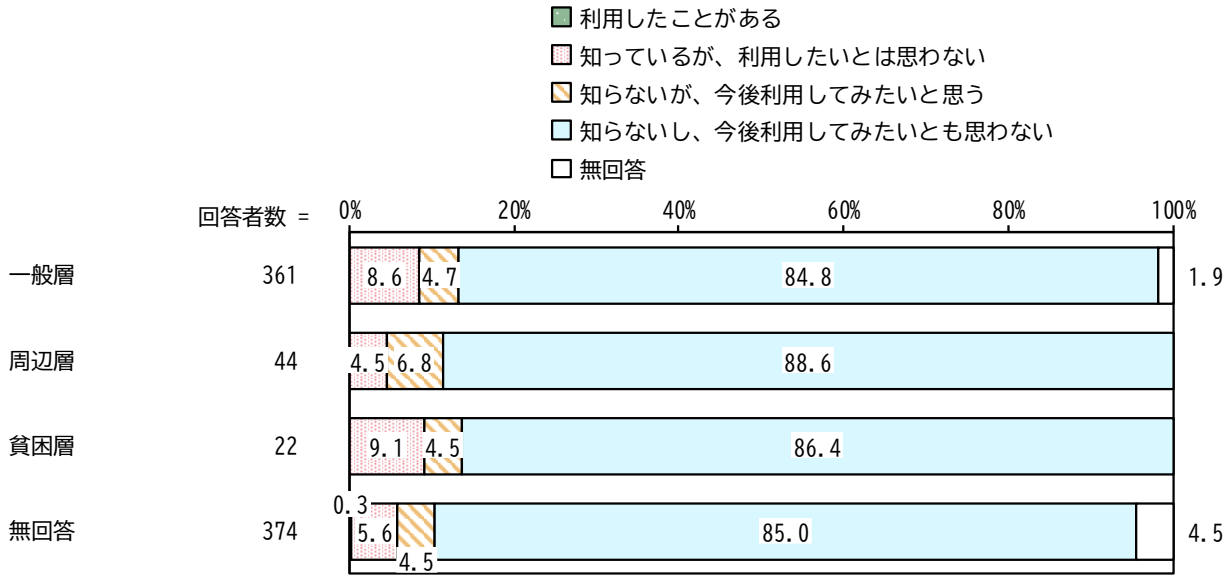
生活困難度別にみると、周辺層で「知っているが、利用したいとは思わない」の割合が高く、「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が低くなっています。



G　子どもオンブズパーソン

【生活困難度別】

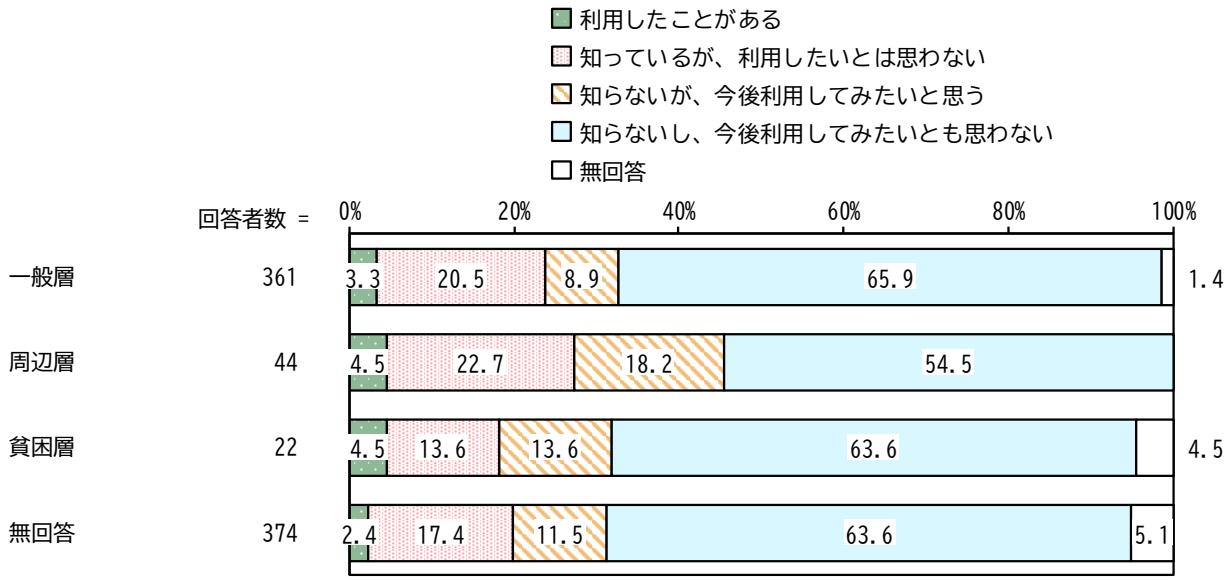
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



H　みらいく

【生活困難度別】

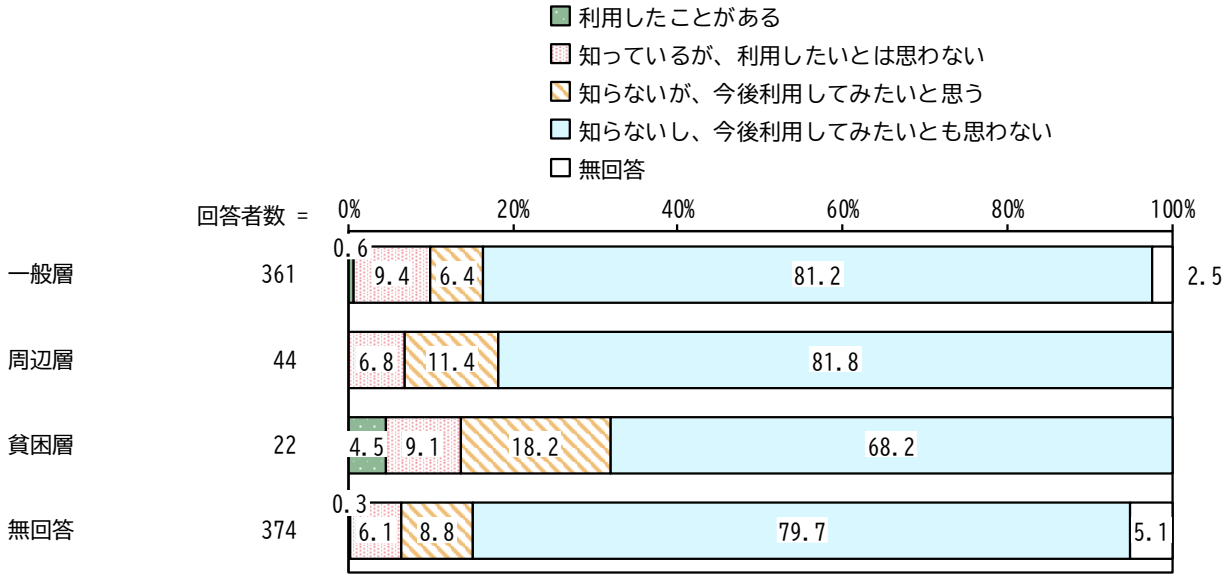
生活困難度別にみると、周辺層で「知らないが、今後利用してみたいと思う」の割合が高く、貧困層で「知っているが、利用したいとは思わない」、周辺層で「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が低くなっています。



Ⅰ　みらいと高幡

【生活困難度別】

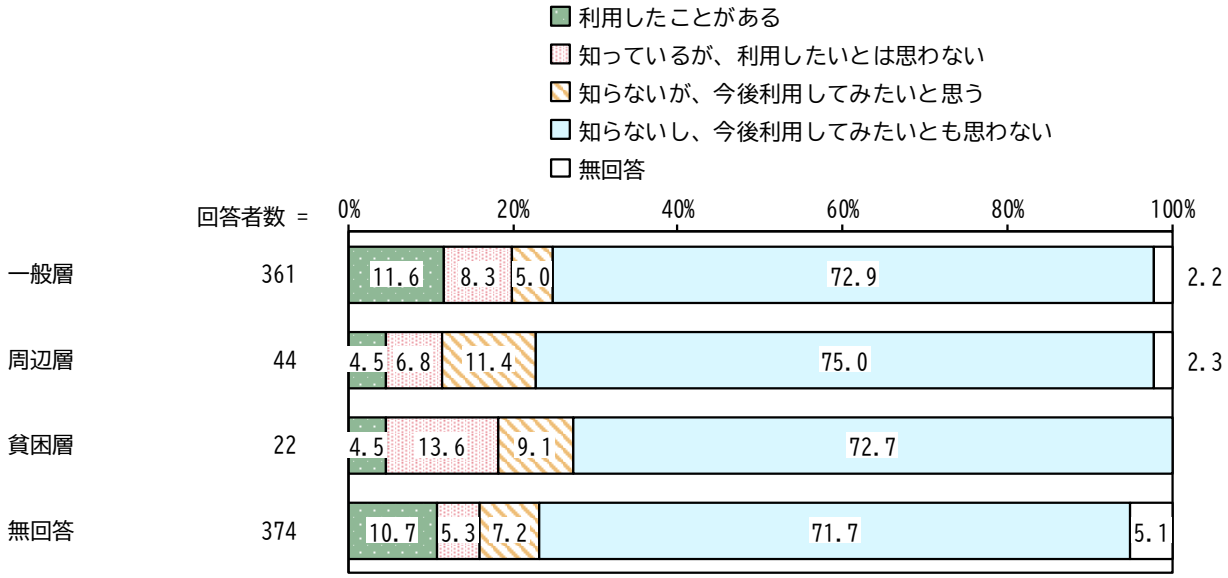
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「知らないが、今後利用してみたいと思う」の割合が高くなっています。また、貧困層で「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が低くなっています。



Ｊ　うちたす

【生活困難度別】

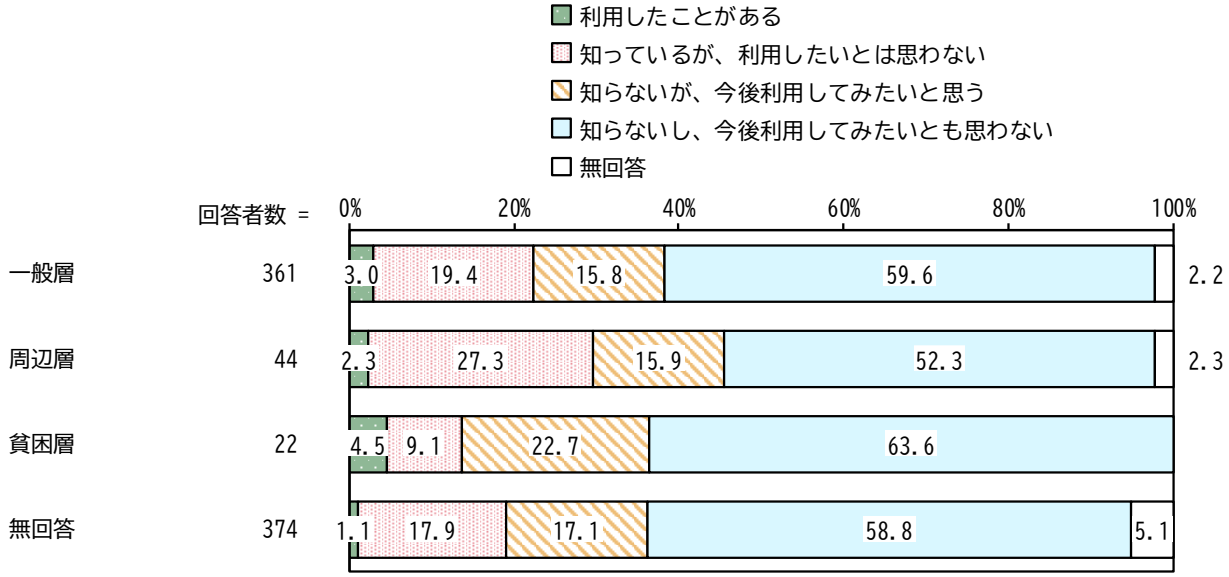
生活困難度別にみると、貧困層で「知っているが、利用したいとは思わない」の割合が高く、周辺層、貧困層で「利用したことがある」の割合が低くなっています。



K　無料塾

【生活困難度別】

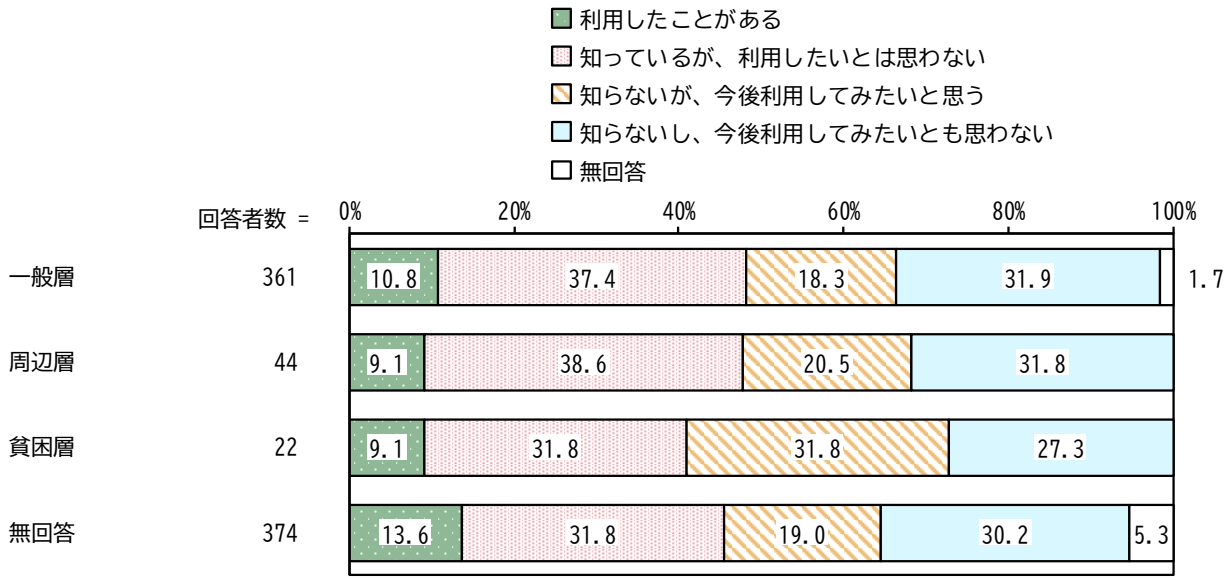
　生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「知らないが、今後利用してみたいと思う」の割合が高くなっています。



L　子ども食堂

【生活困難度別】

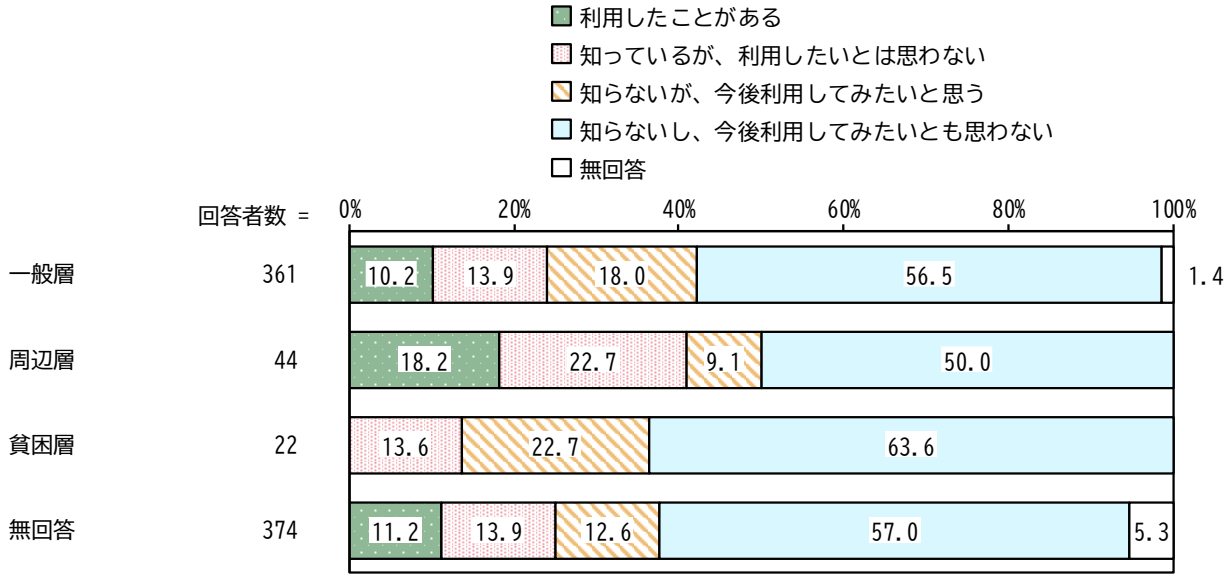
　生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「知らないが、今後利用してみたいと思う」の割合が高く、「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が低くなっています。



M　プレーパーク

【生活困難度別】

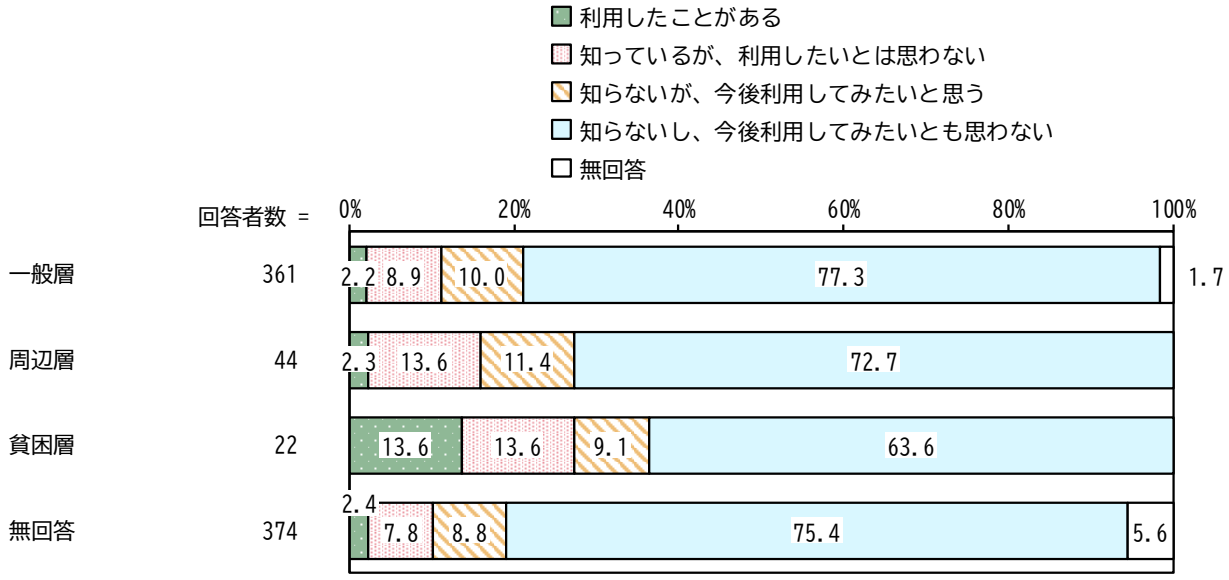
生活困難度別にみると、周辺層で「利用したことがある」「知っているが、利用したいとは思わない」、貧困層で「知らないが、今後利用してみたいと思う」「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が高くなっています。



N　フードパントリー

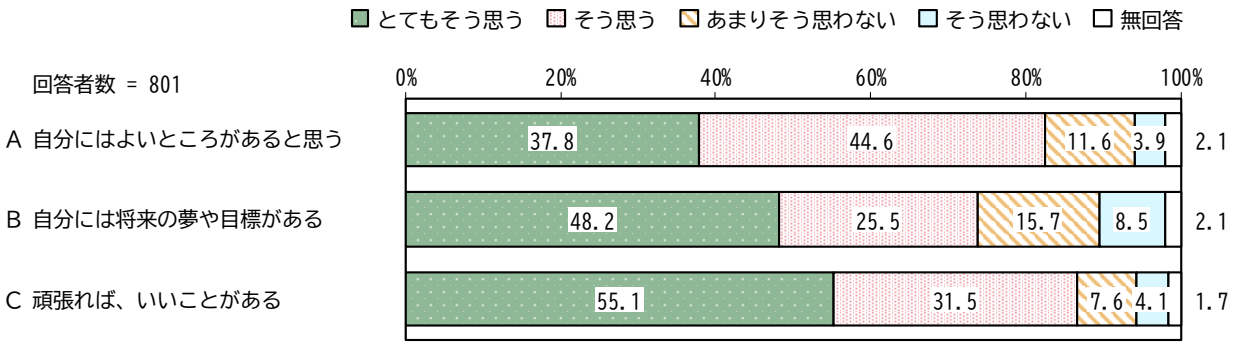
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したことがある」の割合が高く、「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が低くなっています。



問 33　あなたは、自分のことについてどう思いますか。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

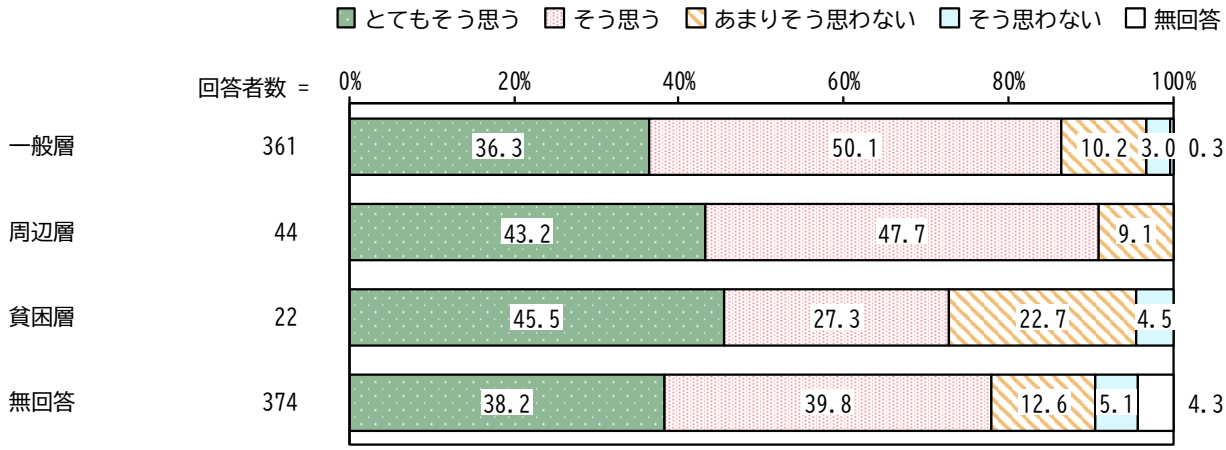
『C　頑張れば、いいことがある』で「とてもそう思う」が、『A　自分にはよいところがあると思う』で「そう思う」が、『B　自分には将来の夢や目標がある』で「あまりそう思わない」「そう思わない」が高くなっています。



A　自分にはよいところがあると思う

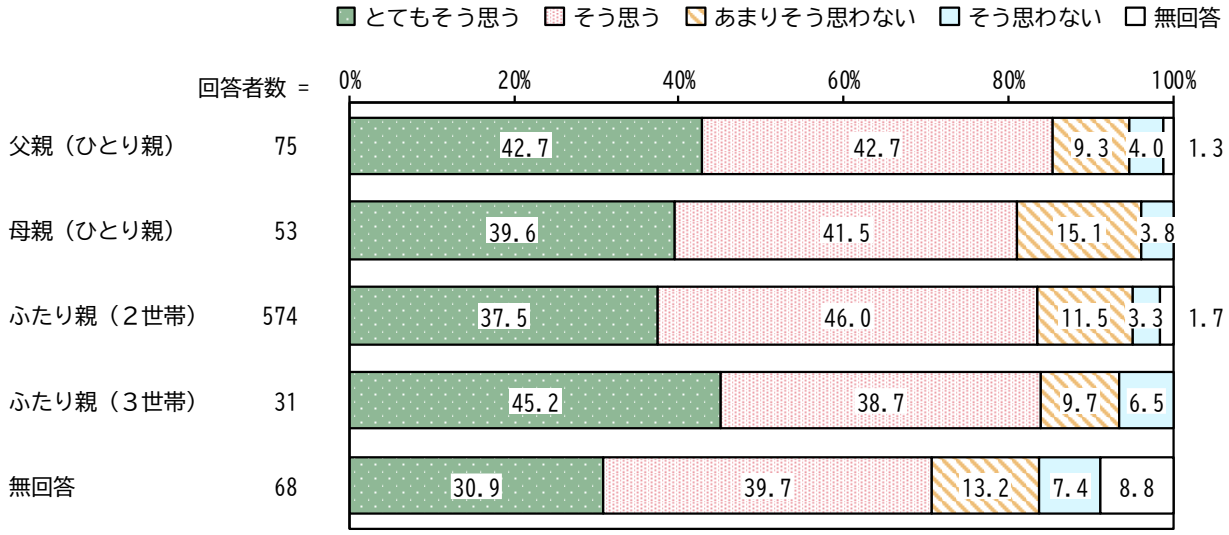
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「とてもそう思う」の割合が高く、「そう思う」の割合が低くなっています。また、貧困層で「あまりそう思わない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

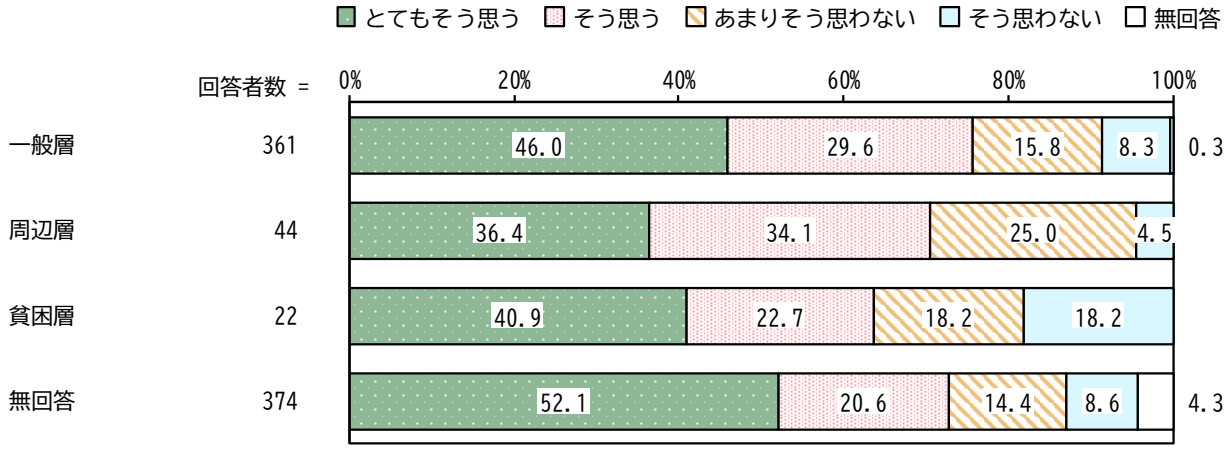
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「とてもそう思う」の割合が高く、「そう思う」の割合が低くなっています。



B　自分には将来の夢や目標がある

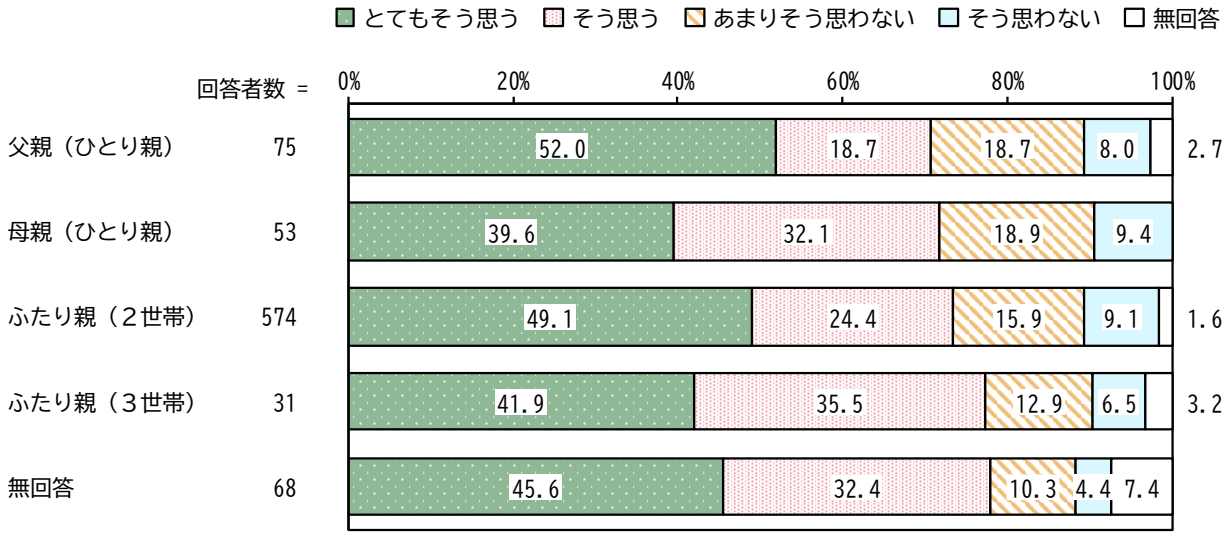
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど“そう思わない”の割合が高くなっています。また、周辺層で「とてもそう思う」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

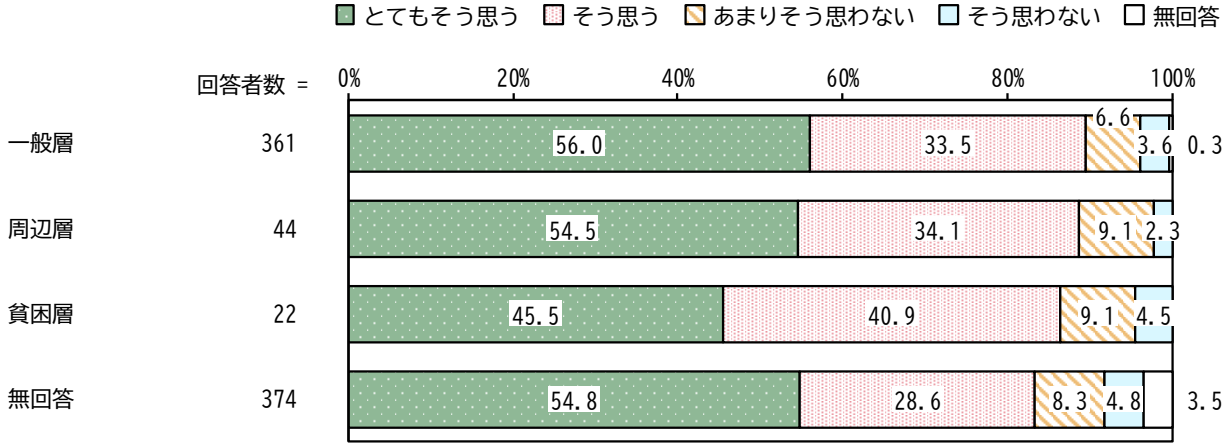
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「そう思う」の割合が高くなっています。



C　頑張れば、いいことがある

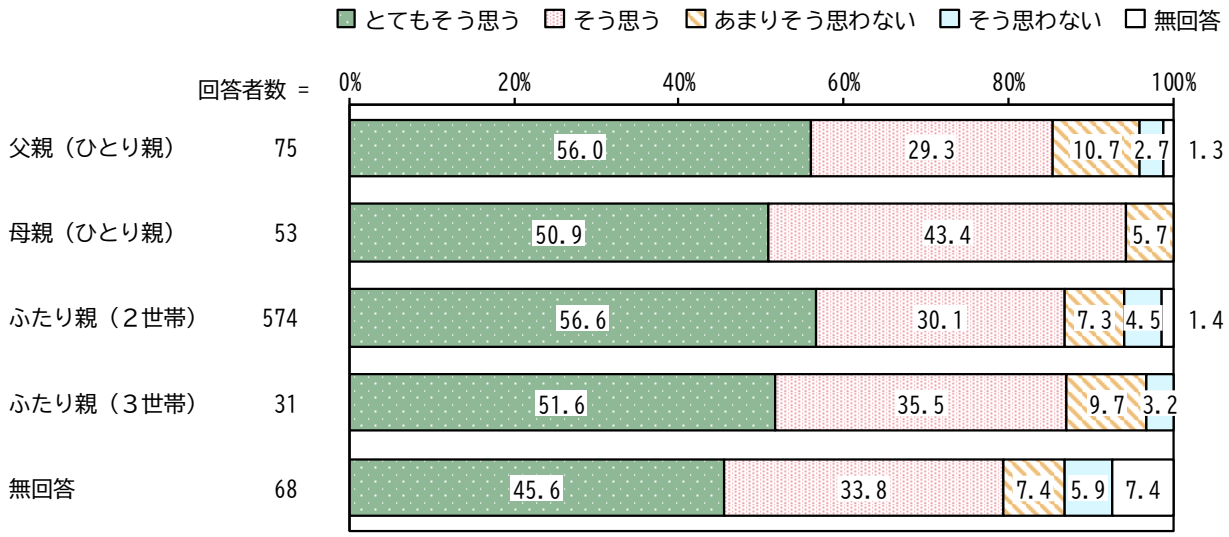
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「そう思う」の割合が高く、「とてもそう思う」の割合が低くなっています。



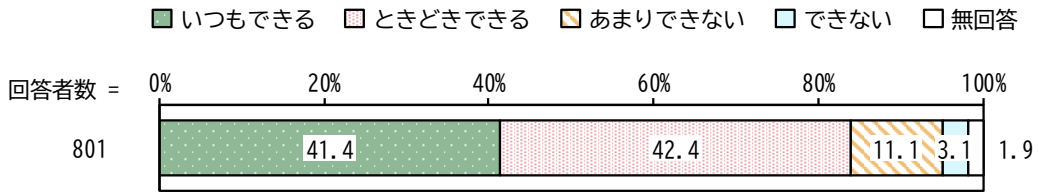
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で“そう思う”の割合が高くなっています。



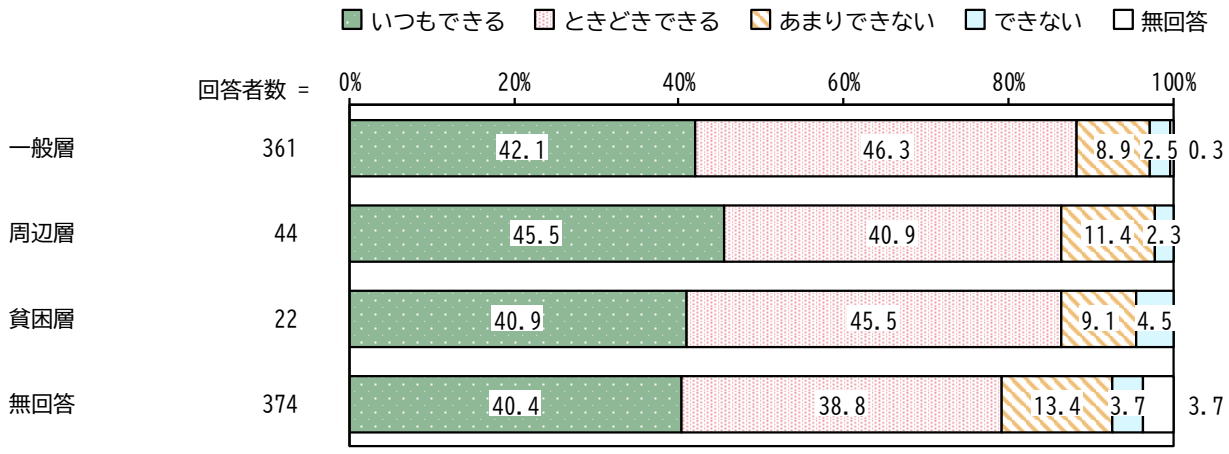
問 34　困ったことやいやなことがあったとき、自分のきもちをおちつかせることができますか。（１つに○）

「いつもできる」「ときどきできる」を合わせた“できる”の割合が 83.8%、「あまりできない」「できない」を合わせた“できない”の割合が 14.2%となっています。



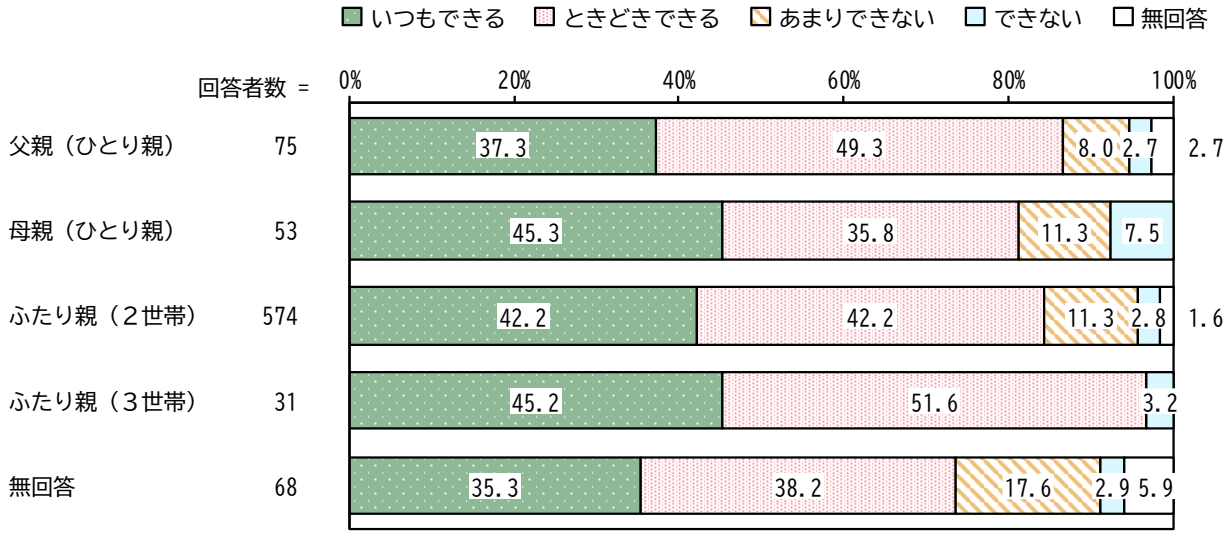
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



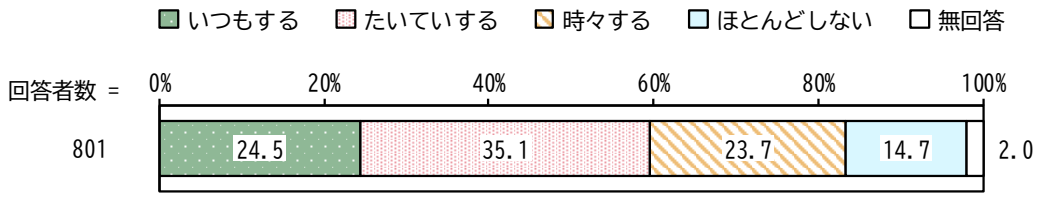
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で“できる”の割合が高くなっています。



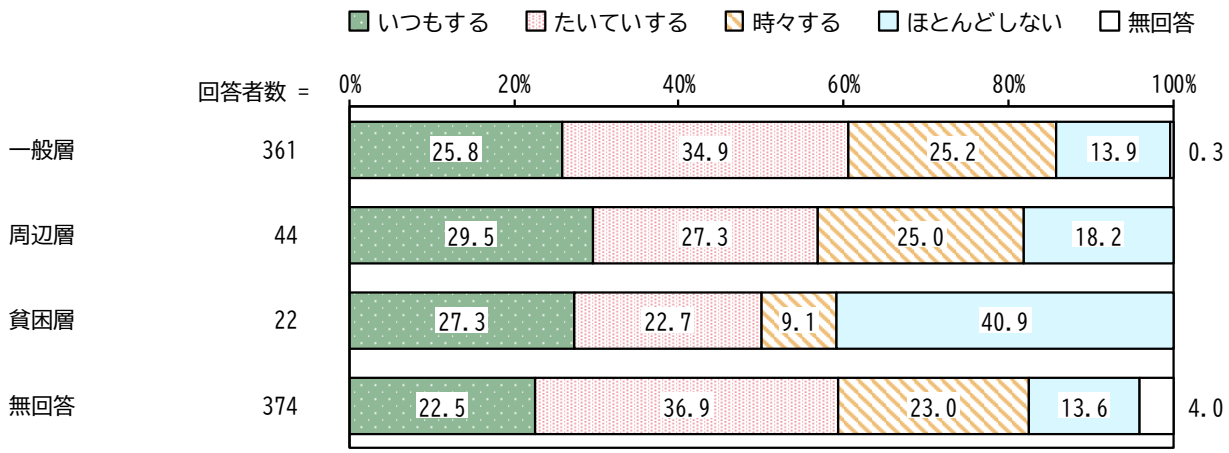
問 35　困ったときは周りの人に相談していますか。（１つに○）

「たいていする」の割合が 35.1%と最も高く、次いで「いつもする」の割合が 24.5%、「時々する」の割合が 23.7%となっています。



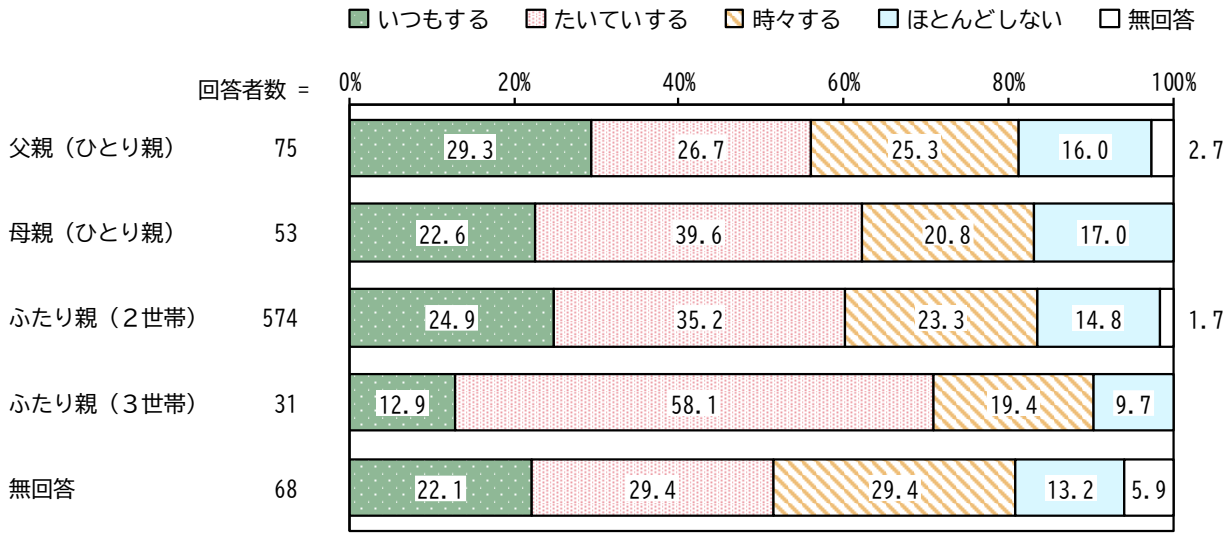
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「たいていする」「時々する」の割合が高く、「ほとんどしない」の割合が低くなっています。



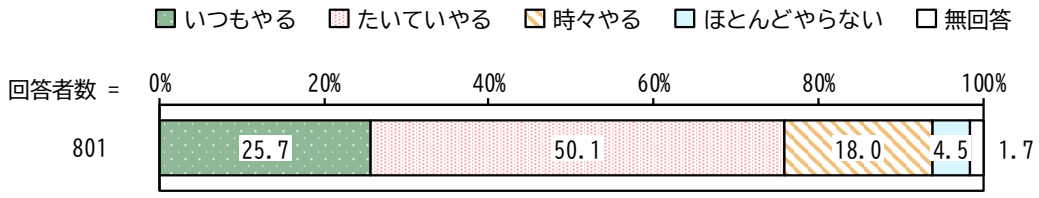
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「たいていする」の割合が高く、「いつもする」の割合が低くなっています。



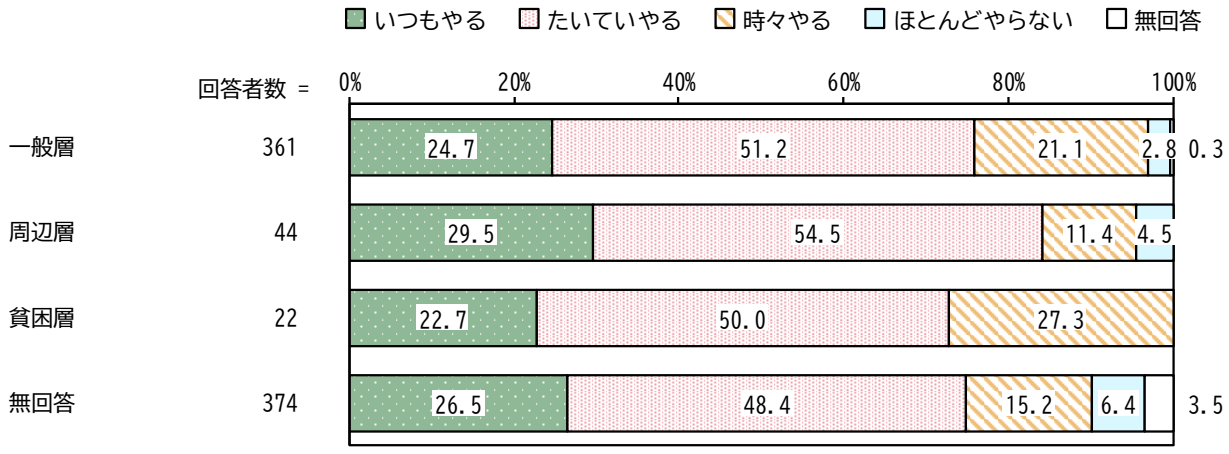
問 36　むずかしかったり、なかなかできないことでも、さいごまであきらめずにやりますか。（１つに○）

「たいていやる」の割合が 50.1%と最も高く、次いで「いつもやる」の割合が 25.7%、「時々やる」の割合が 18.0%となっています。



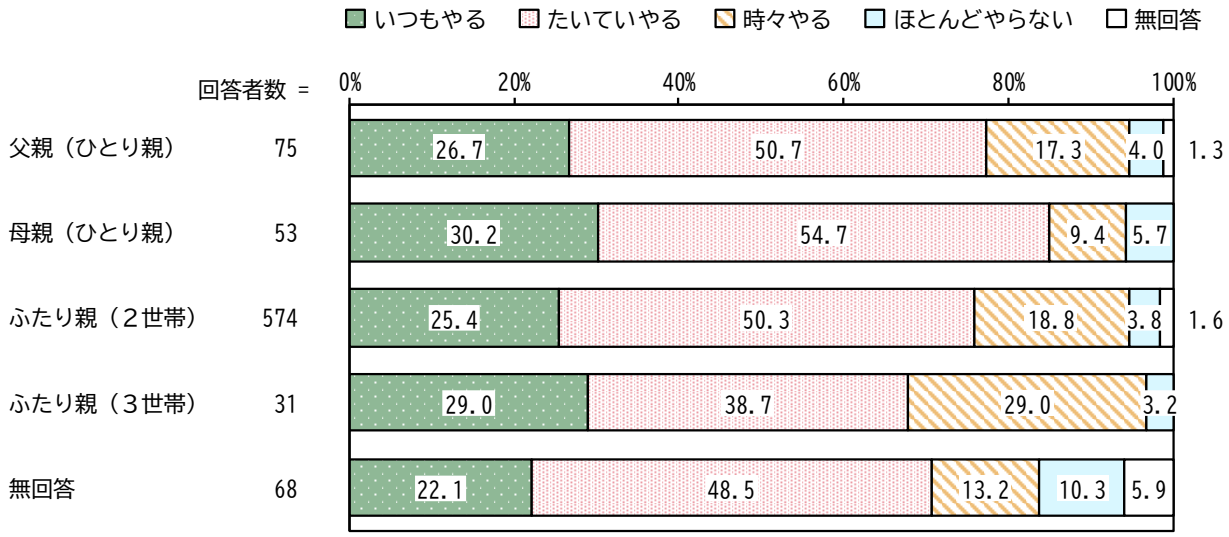
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「時々やる」の割合が高くなっています。



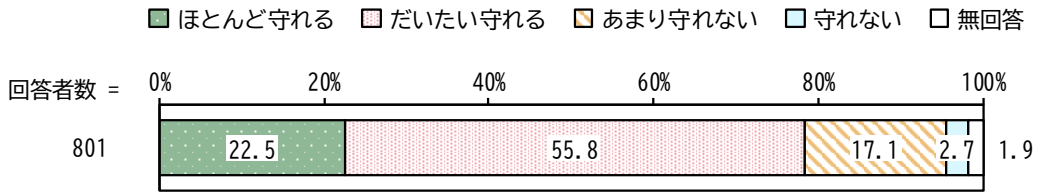
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「時々やる」の割合が高く、「たいていやる」の割合が低くなっています。



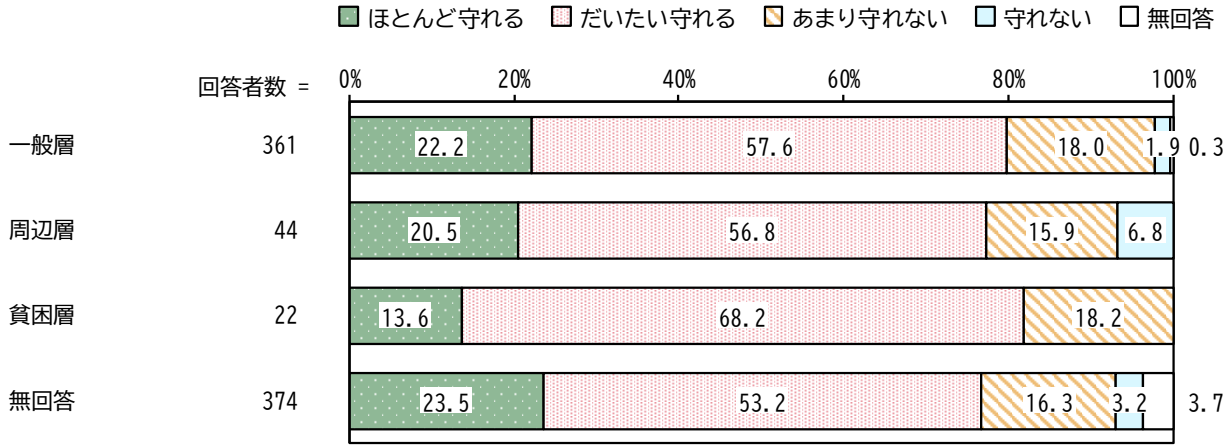
問 37　自分でたてた目標や約束を、さいごまで守れますか。（１つに○）

「ほとんど守れる」「だいたい守れる」を合わせた“守れる”の割合が 78.3%、「あまり守れない」「守れない」を合わせた“守れない”の割合が 19.8%となっています。



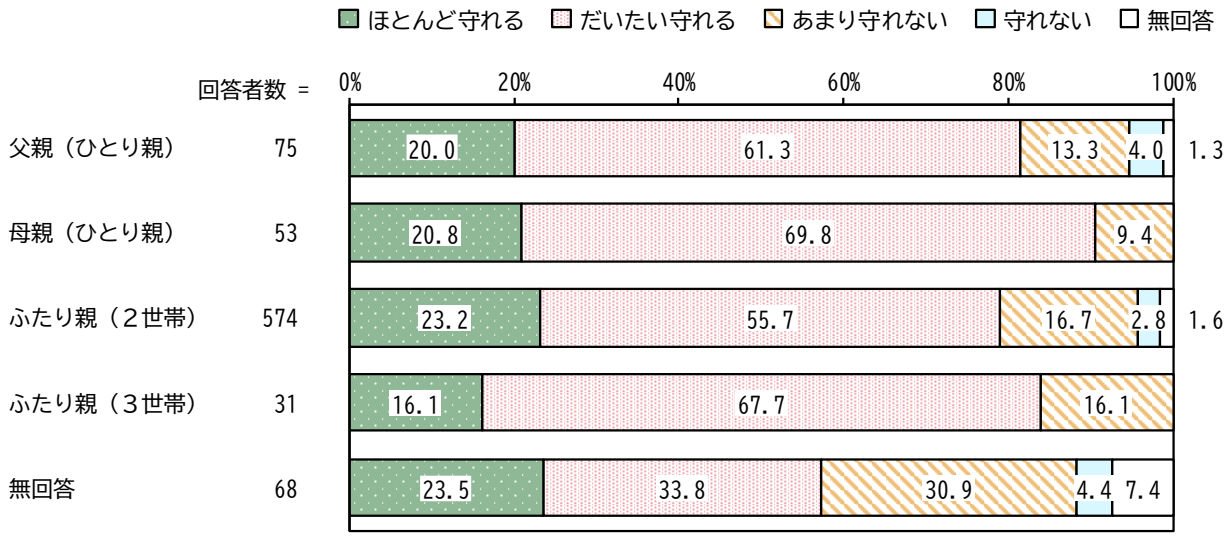
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「ほとんど守れる」の割合が高くなっています。また、貧困層で「だいたい守れる」の割合が高くなっています。



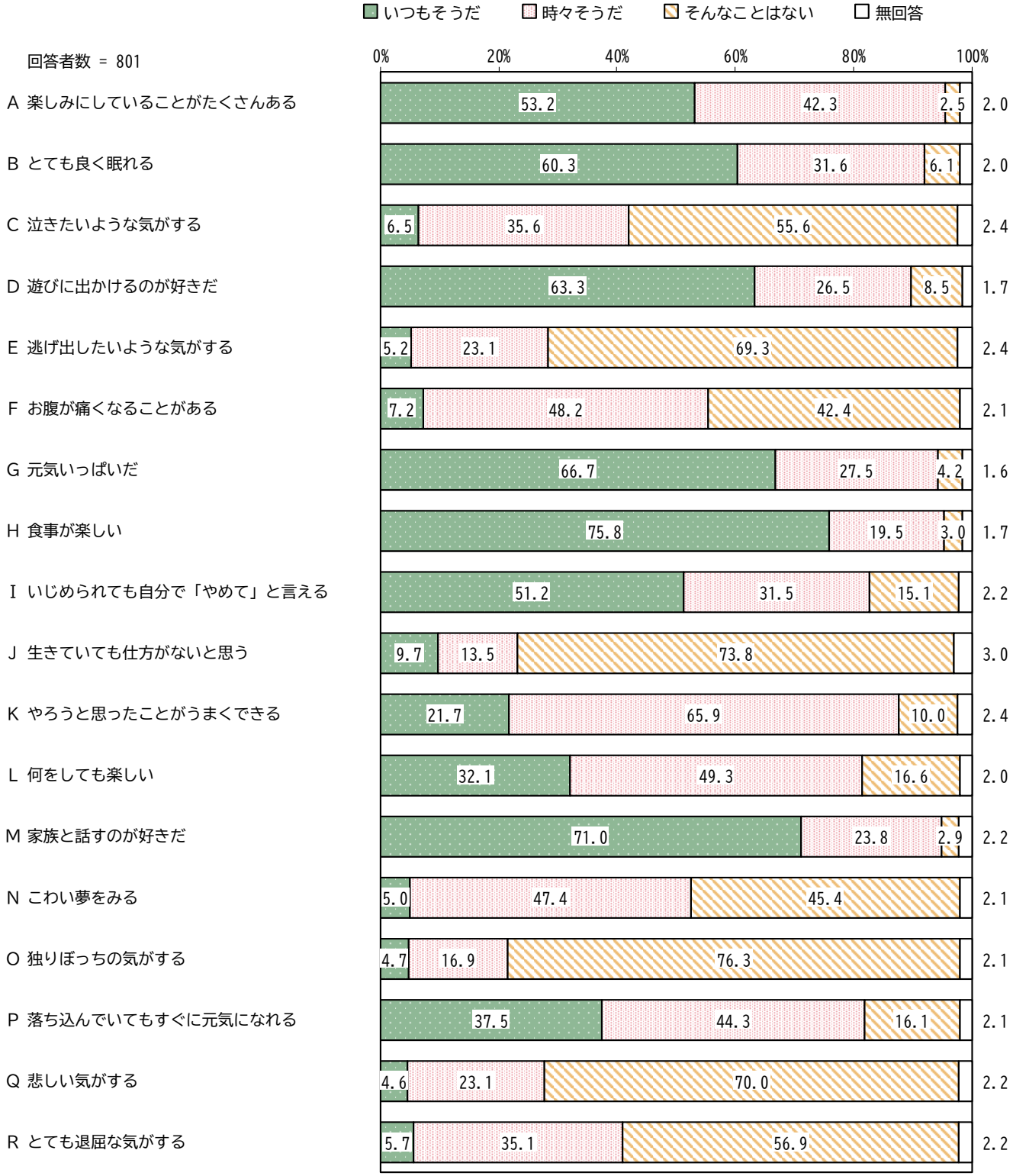
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で“守れる”の割合が高くなっています。



問 38　わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんがこの１週間、どんな気持ちだったか、あてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに答えてください。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

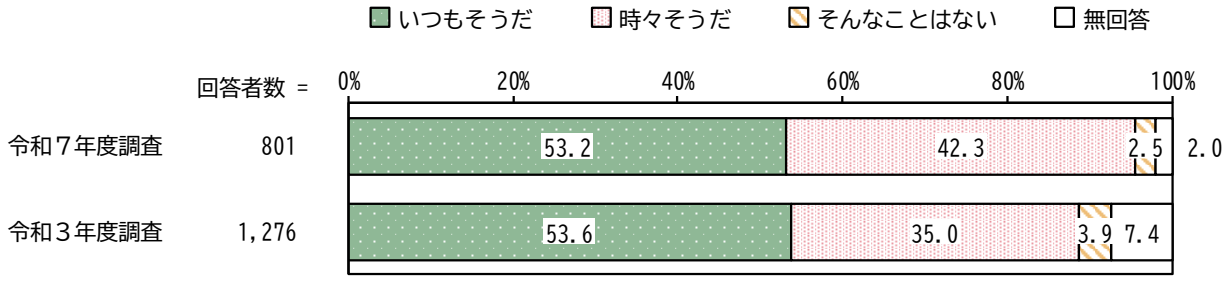
『H　食事が楽しい』で「いつもそうだ」が、『K　やろうと思ったことがうまくできる』で「時々そうだ」が、『O　独りぼっちの気がする』で「そんなことはない」が高くなっています。



A　楽しみにしていることがたくさんある

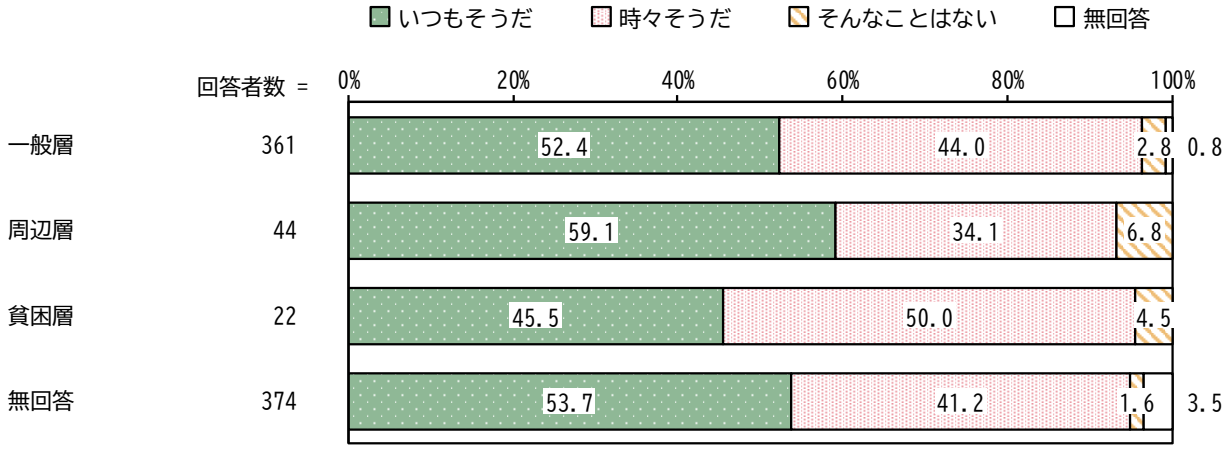
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「時々そうだ」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

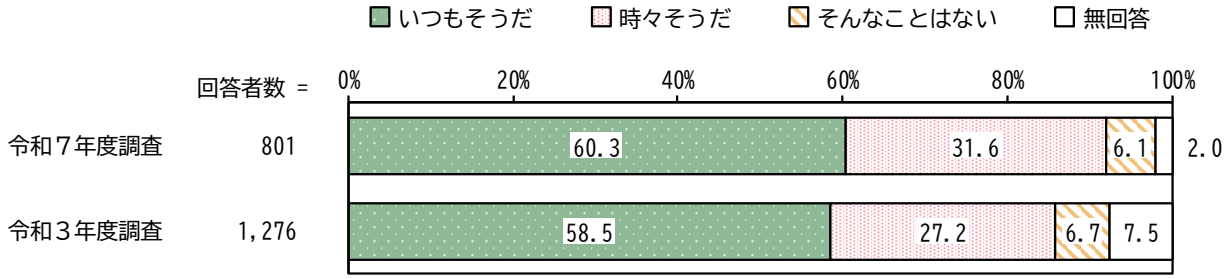
生活困難度別にみると、周辺層で「いつもそうだ」、貧困層で「時々そうだ」の割合が高くなっています。



B　とても良く眠れる

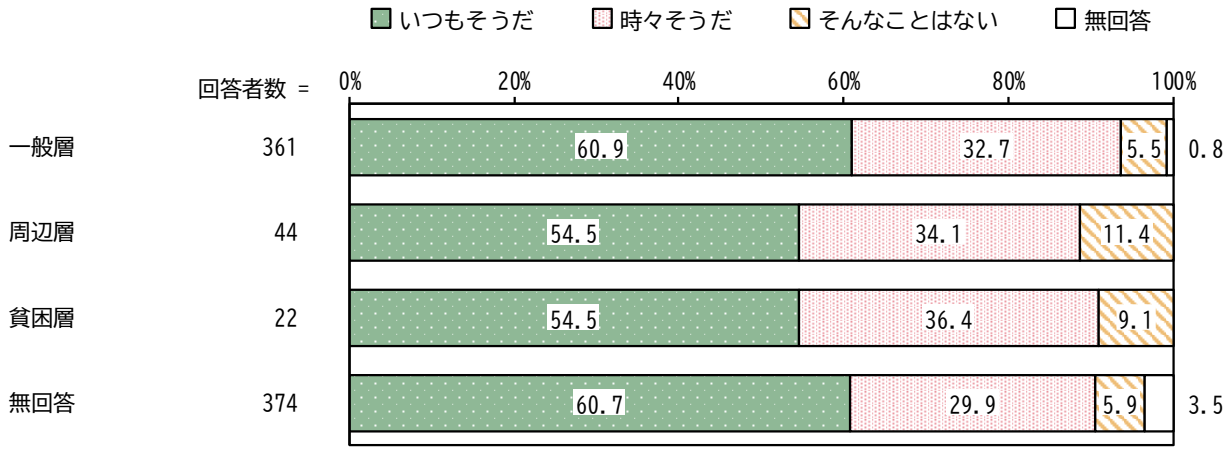
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

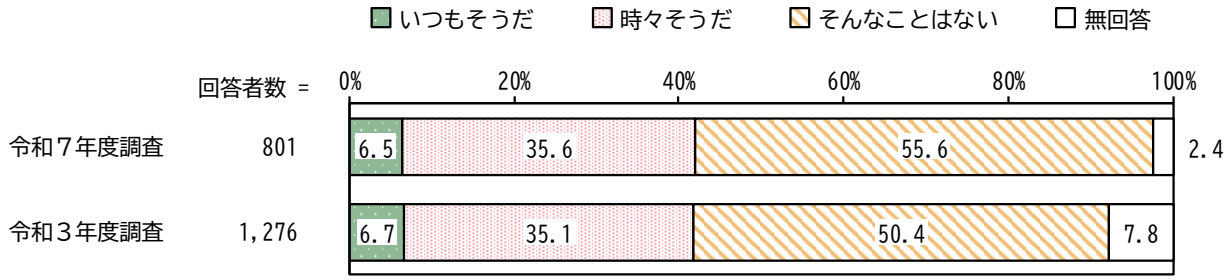
生活困難度別にみると、周辺層で「そんなことはない」の割合が高く、周辺層、貧困層で「いつもそうだ」の割合が低くなっています。



C　泣きたいような気がする

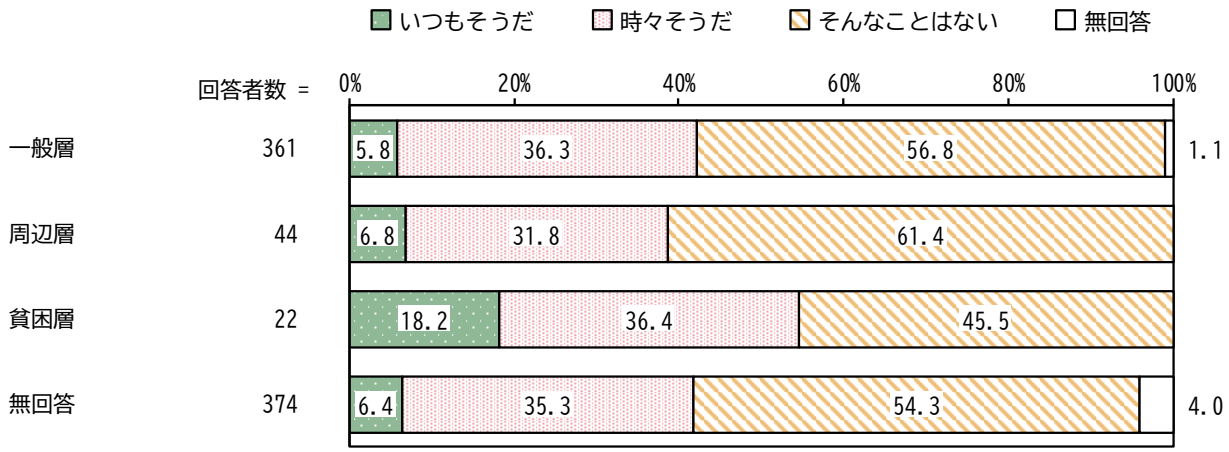
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そんなことはない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

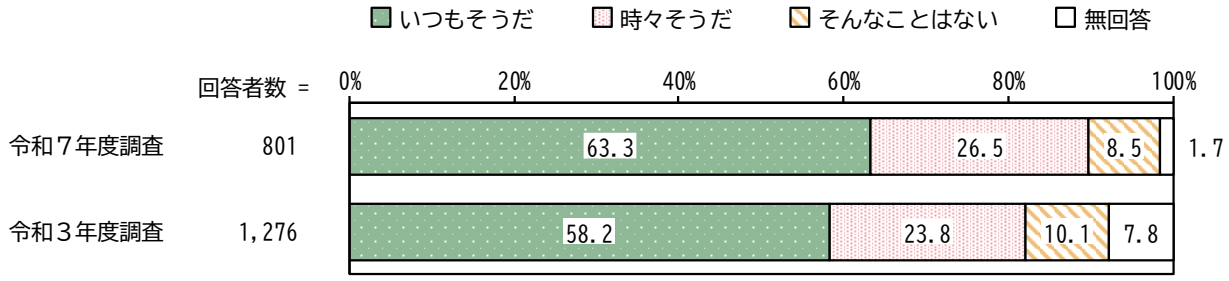
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いつもそうだ」の割合が高くなっています。また、貧困層で「そんなことはない」の割合が低くなっています。



D　遊びに出かけるのが好きだ

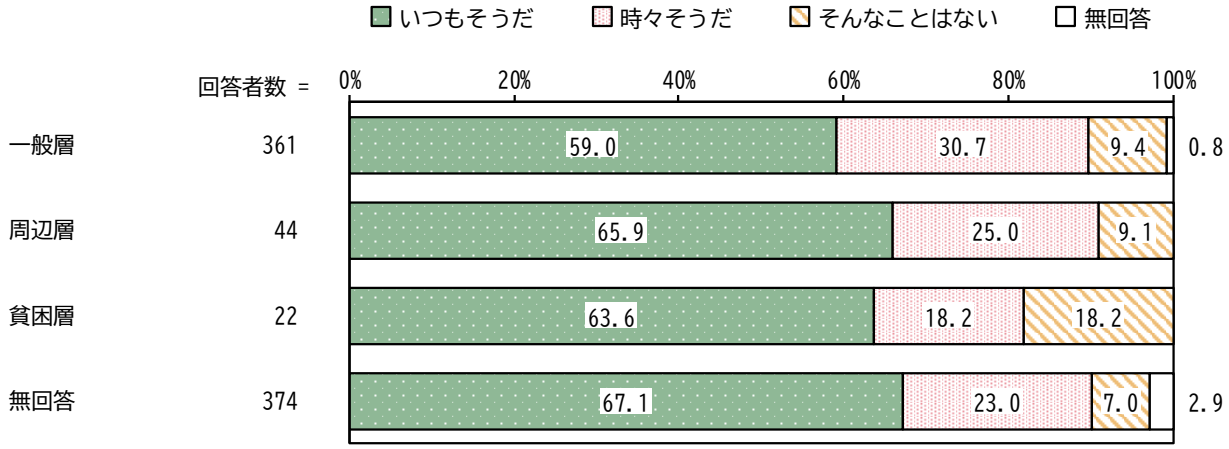
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「いつもそうだ」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

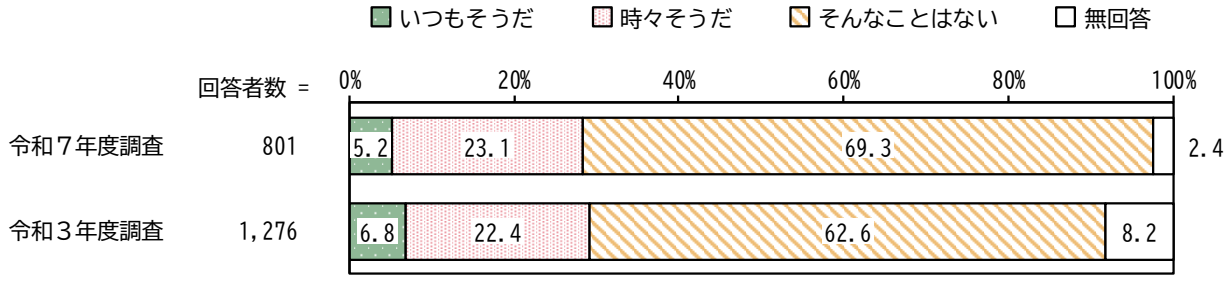
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「時々そうだ」の割合が高くなっています。



E　逃げ出したいような気がする

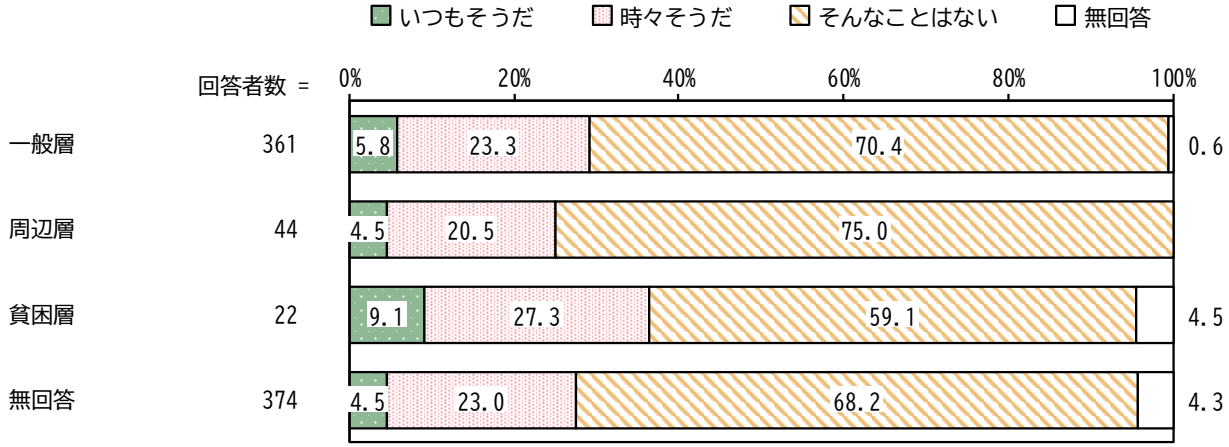
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そんなことはない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

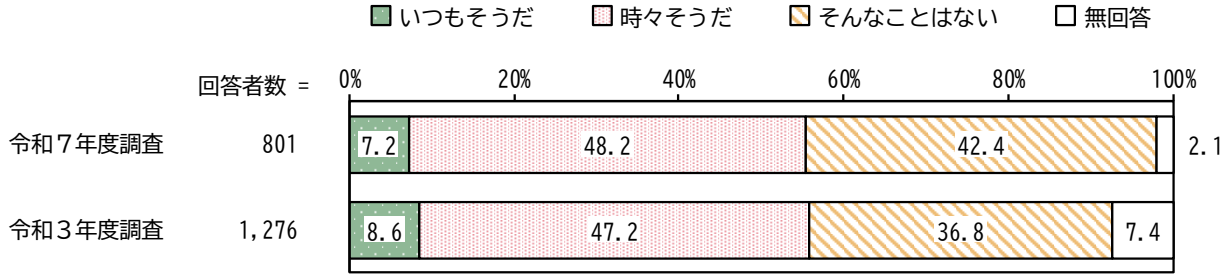
生活困難度別にみると、周辺層で「そんなことはない」の割合が高くなっています。



F　お腹が痛くなることがある

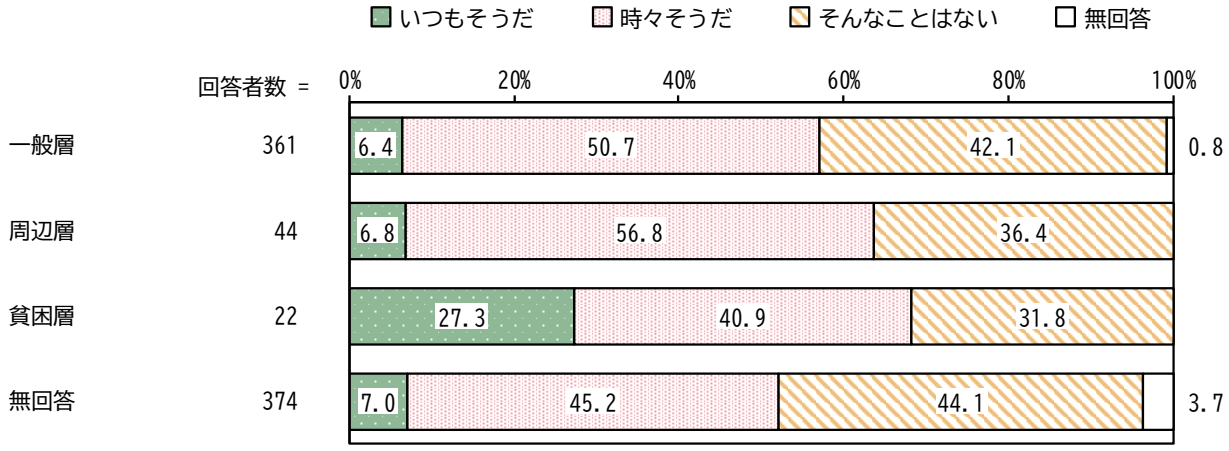
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そんなことはない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

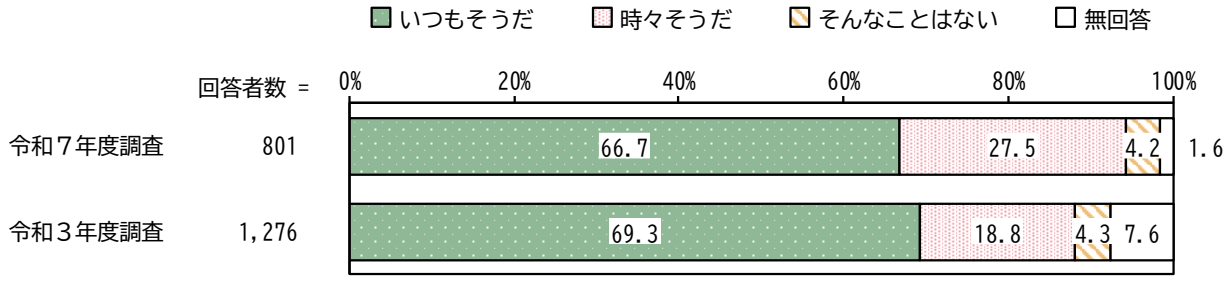
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いつもそうだ」の割合が高く、「そんなことはない」の割合が低くなっています。



G　元気いっぱいだ

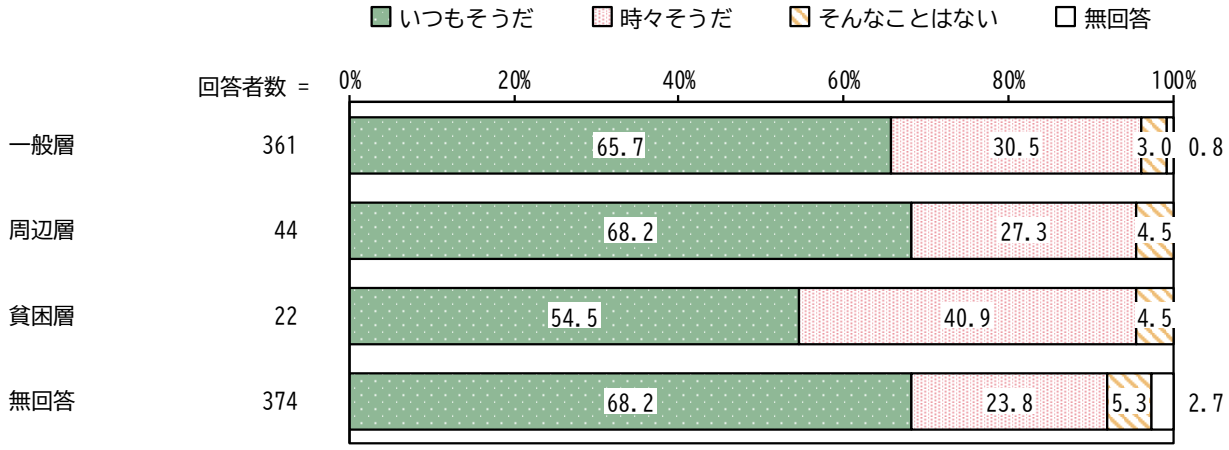
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「時々そうだ」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

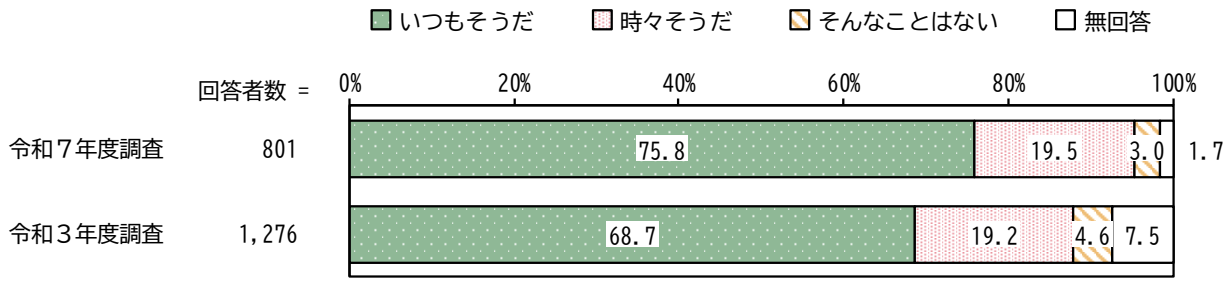
生活困難度別にみると、貧困層で「時々そうだ」の割合が高く、「いつもそうだ」の割合が低くなっています。



H　食事が楽しい

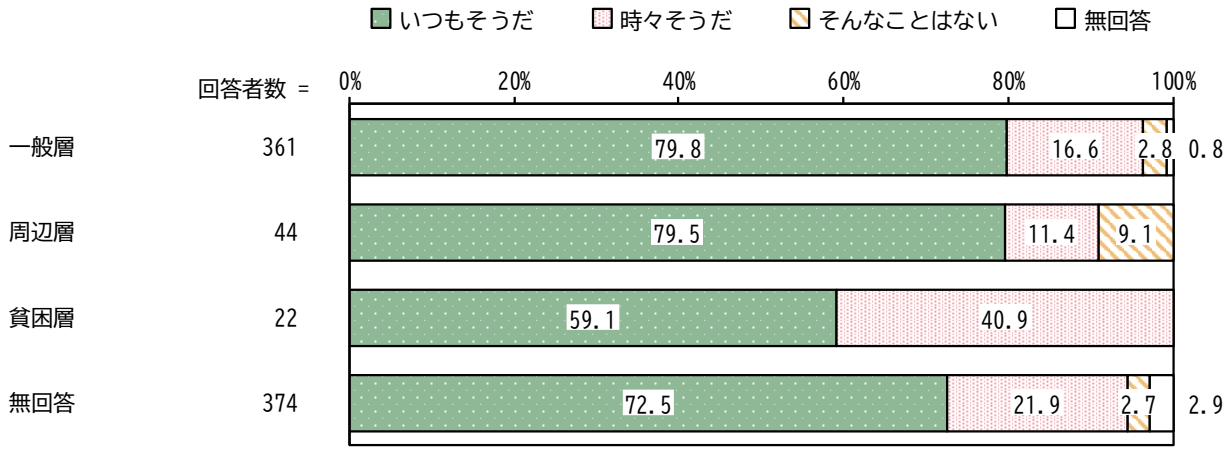
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「いつもそうだ」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

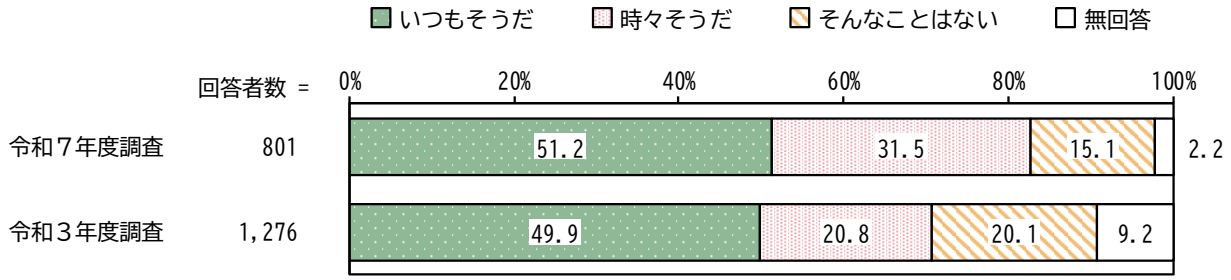
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「いつもそうだ」の割合が高くなっています。また、貧困層で「時々そうだ」の割合が高くなっています。



Ⅰ　いじめられても自分で「やめて」と言える

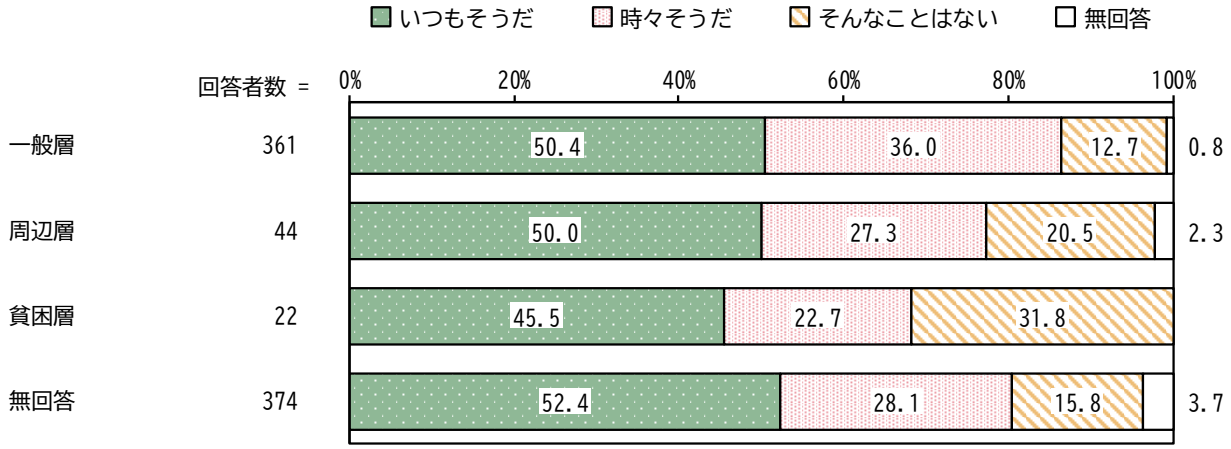
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「時々そうだ」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

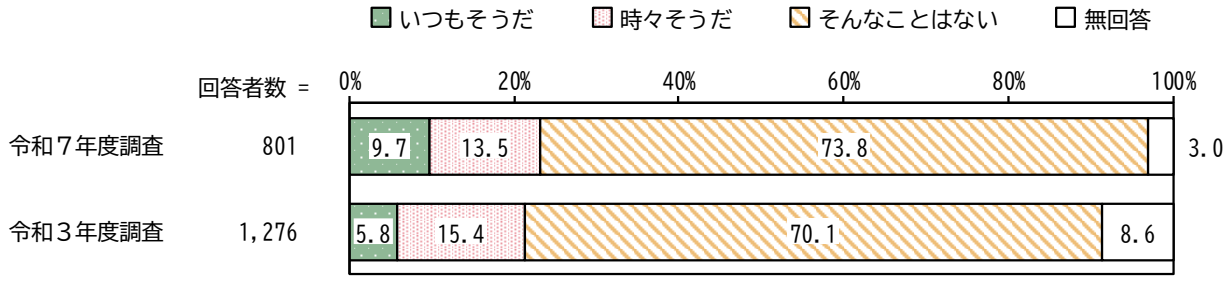
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「いつもそうだ」「時々そうだ」の割合が高く、「そんなことはない」の割合が低くなっています。



J　生きていても仕方がないと思う

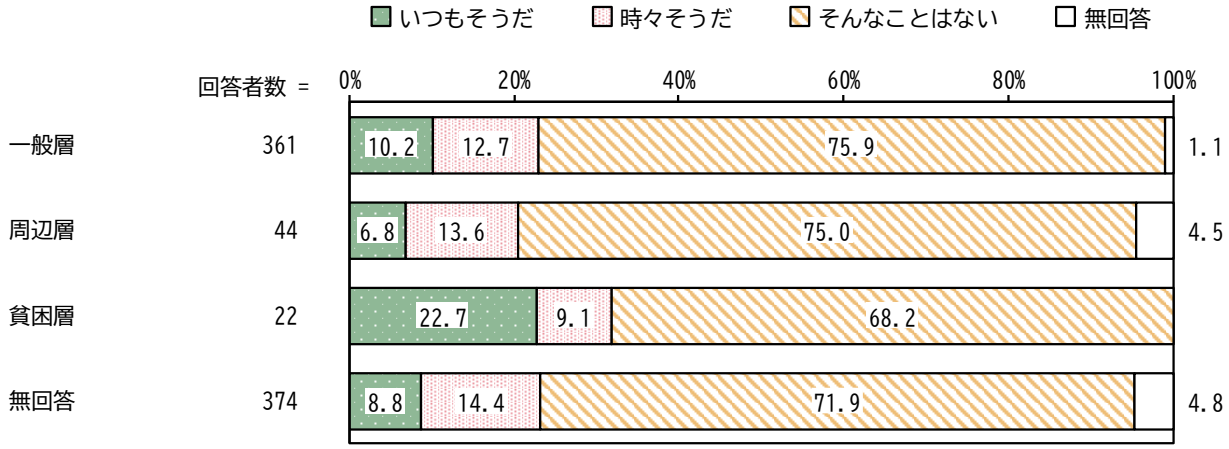
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

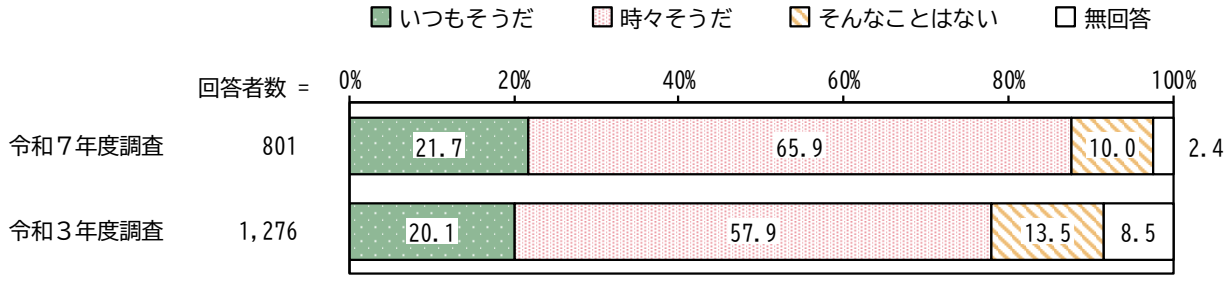
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「そんなことはない」の割合が高くなっています。



K　やろうと思ったことがうまくできる

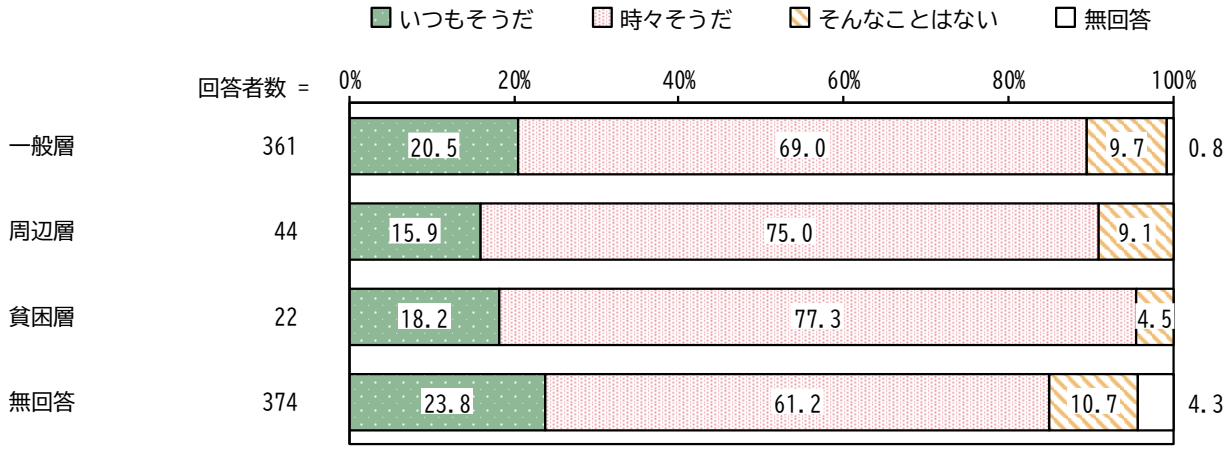
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「時々そうだ」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

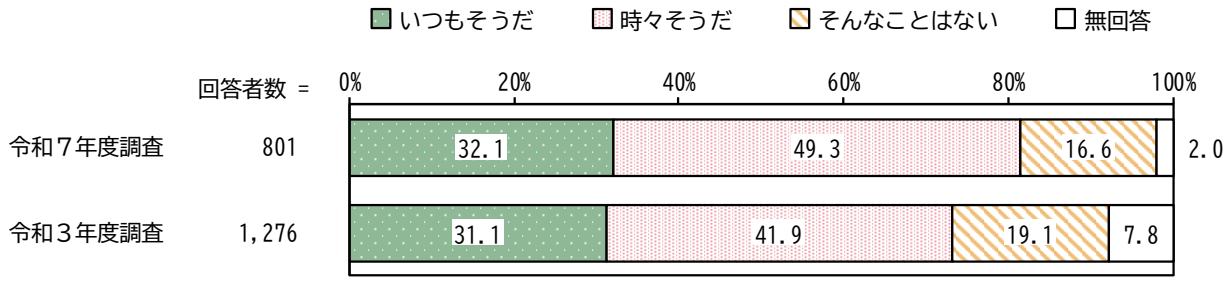
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「時々そうだ」の割合が高くなっています。



L　何をしても楽しい

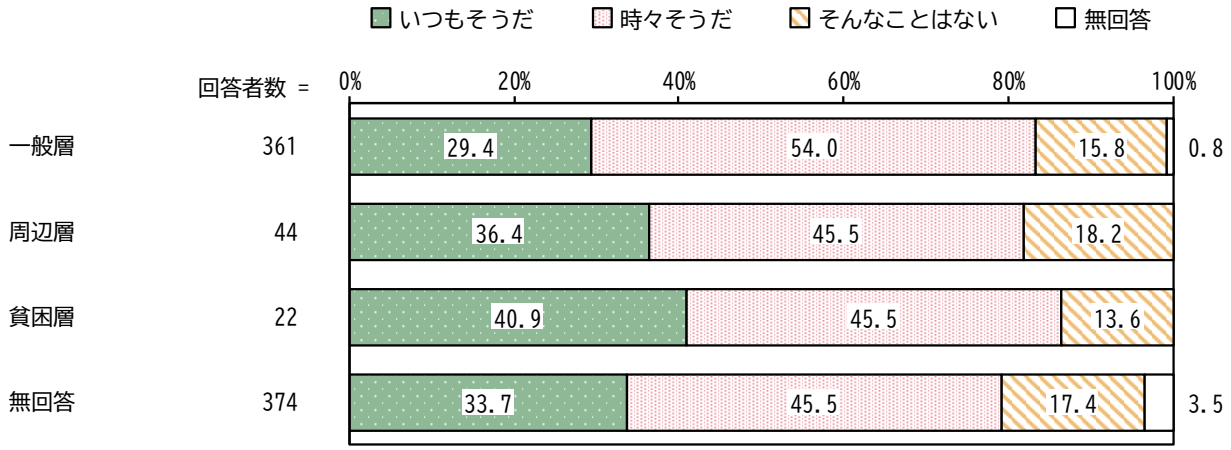
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「時々そうだ」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

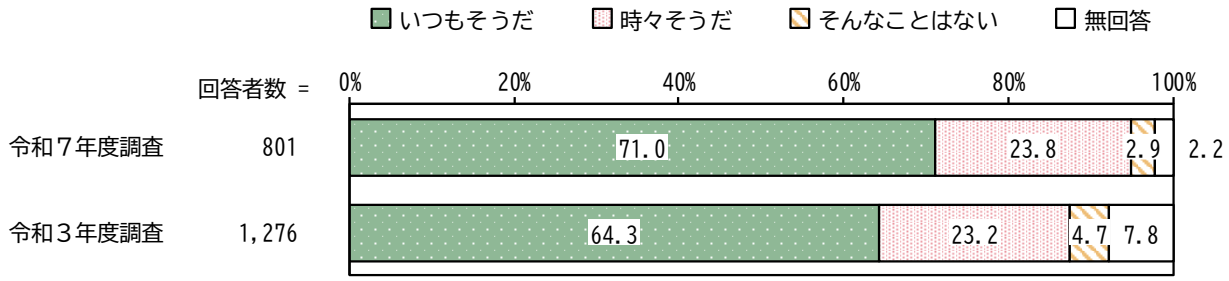
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いつもそうだ」の割合が高くなっています。



M　家族と話すのが好きだ

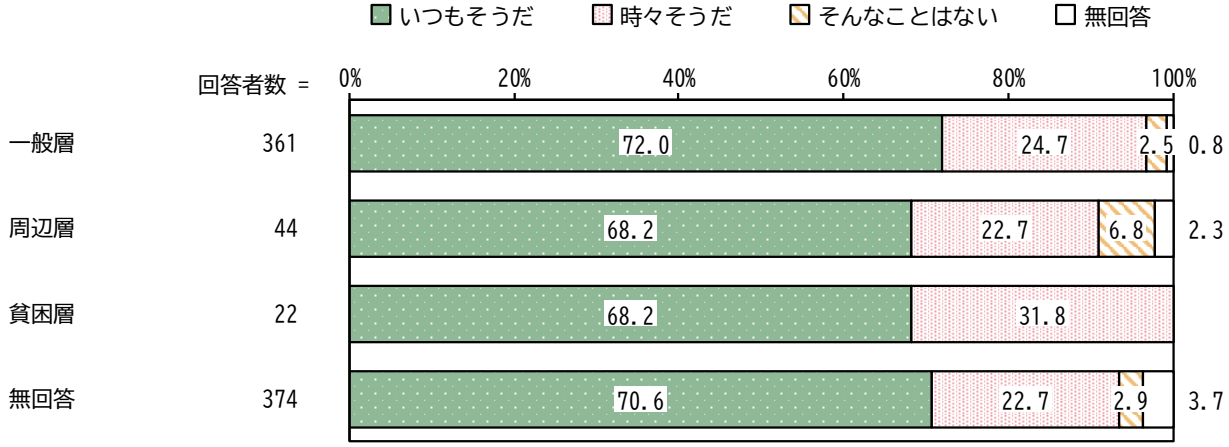
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「いつもそうだ」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

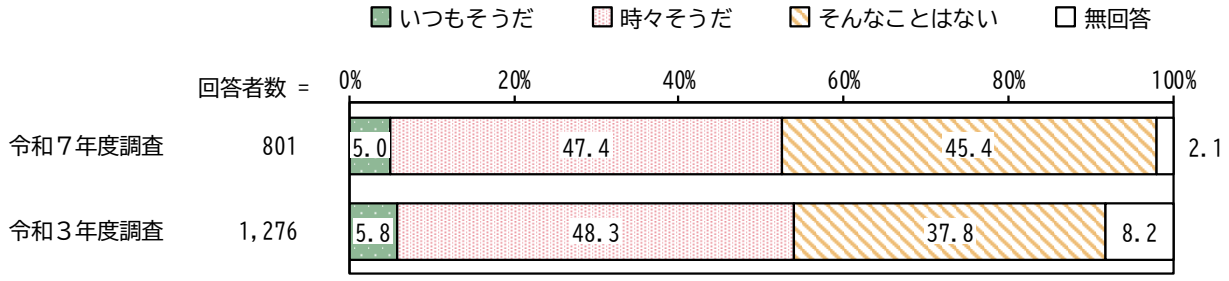
生活困難度別にみると、貧困層で「時々そうだ」の割合が高くなっています。



N　こわい夢をみる

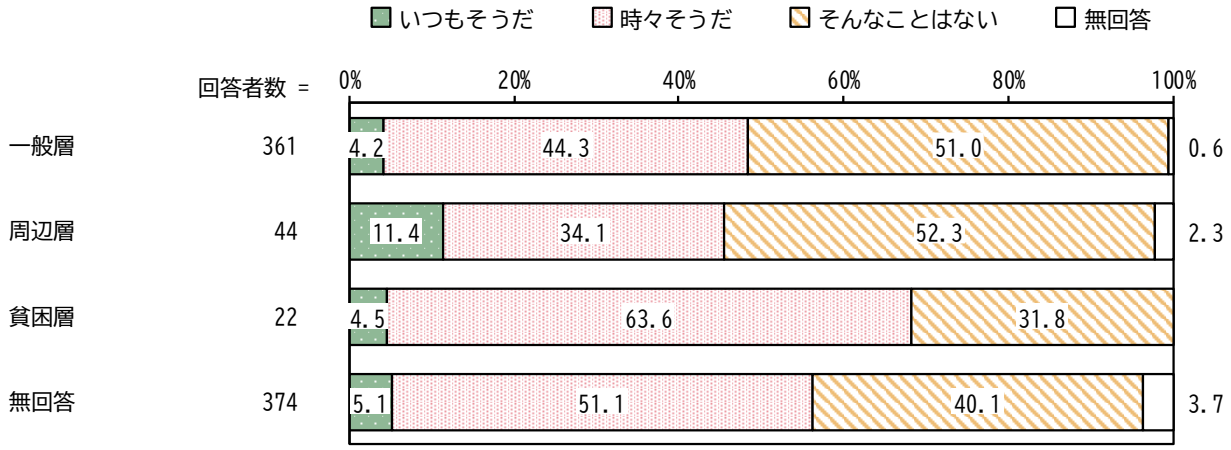
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そんなことはない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

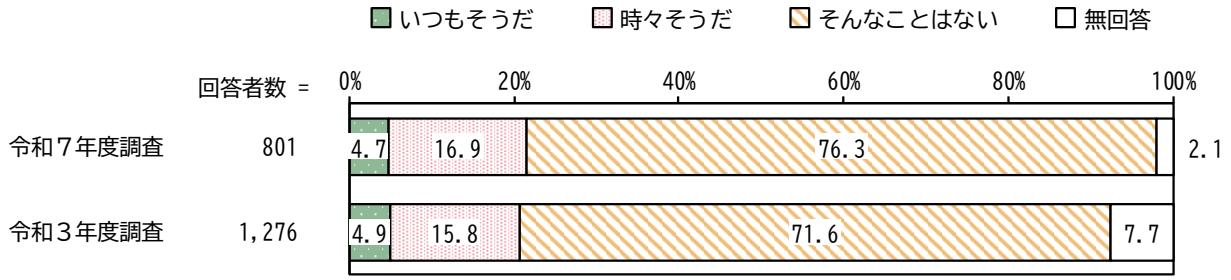
生活困難度別にみると、貧困層で「時々そうだ」の割合が高く、「そんなことはない」の割合が低くなっています。



O　独りぼっちの気がする

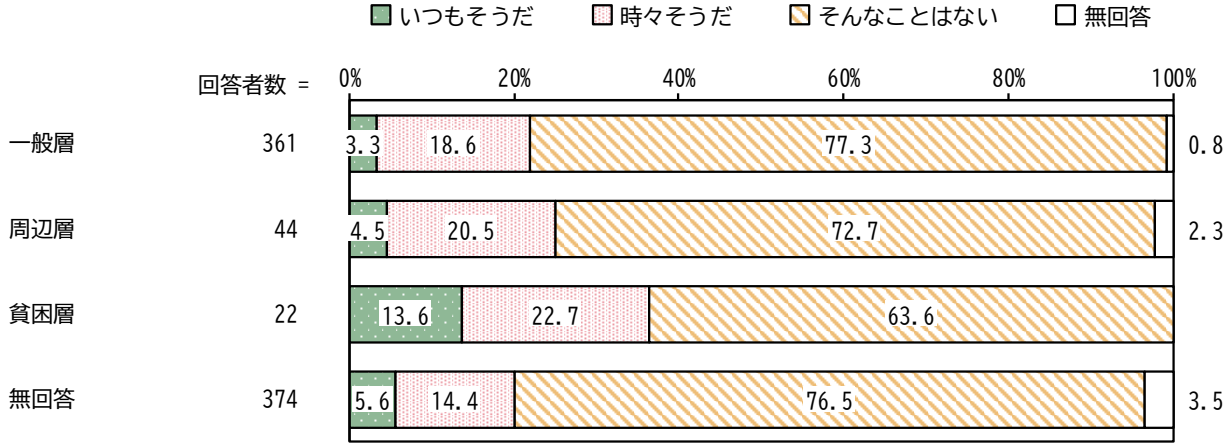
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

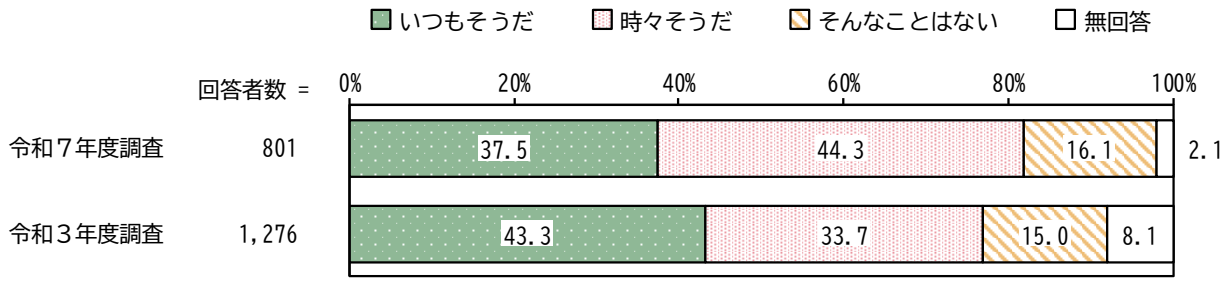
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いつもそうだ」「時々そうだ」の割合が高く、「そんなことはない」の割合が低くなっています。



P　落ち込んでいてもすぐに元気になれる

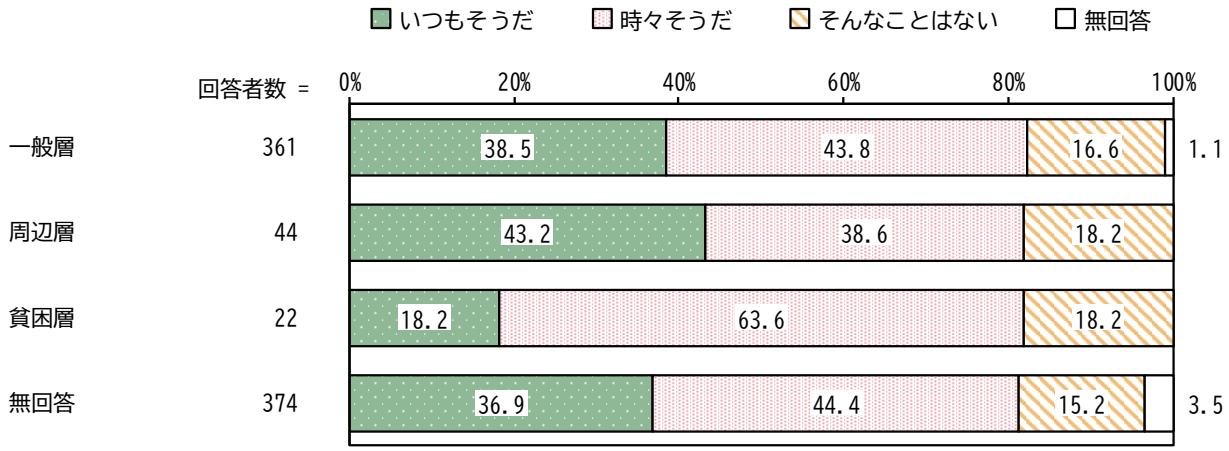
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「時々そうだ」の割合が増加しています。一方、「いつもそうだ」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

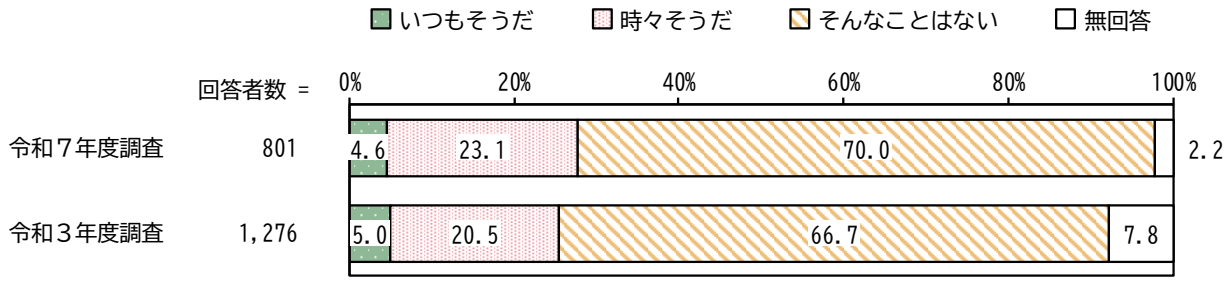
生活困難度別にみると、貧困層で「時々そうだ」の割合が高く、「いつもそうだ」の割合が低くなっています。



Q　悲しい気がする

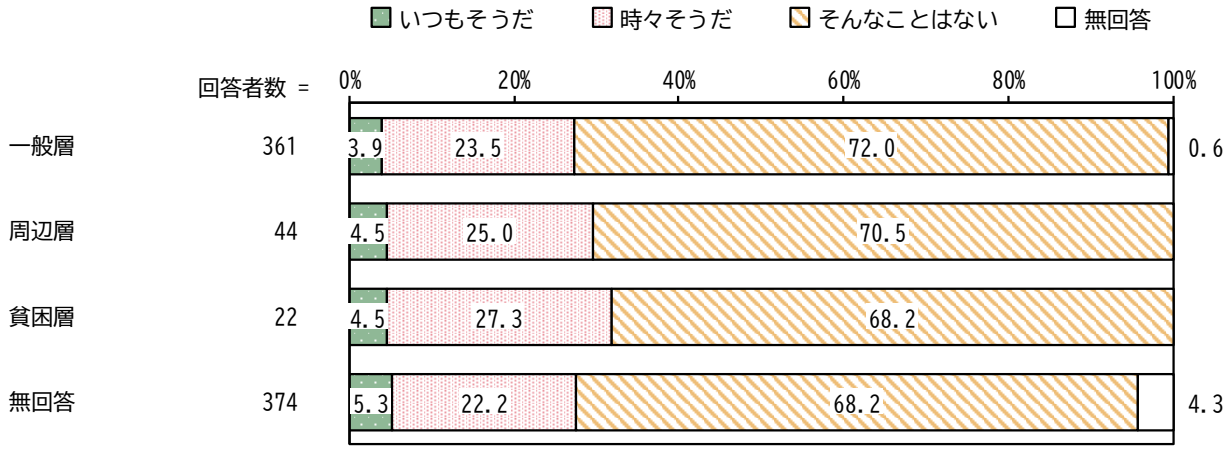
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

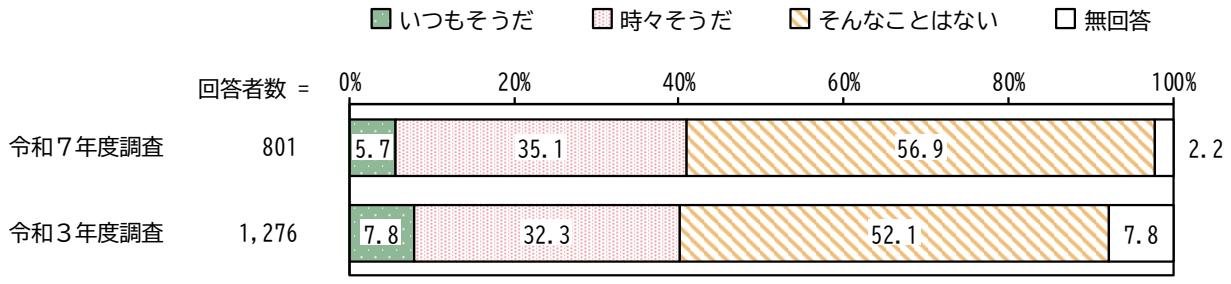
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



R　とても退屈な気がする

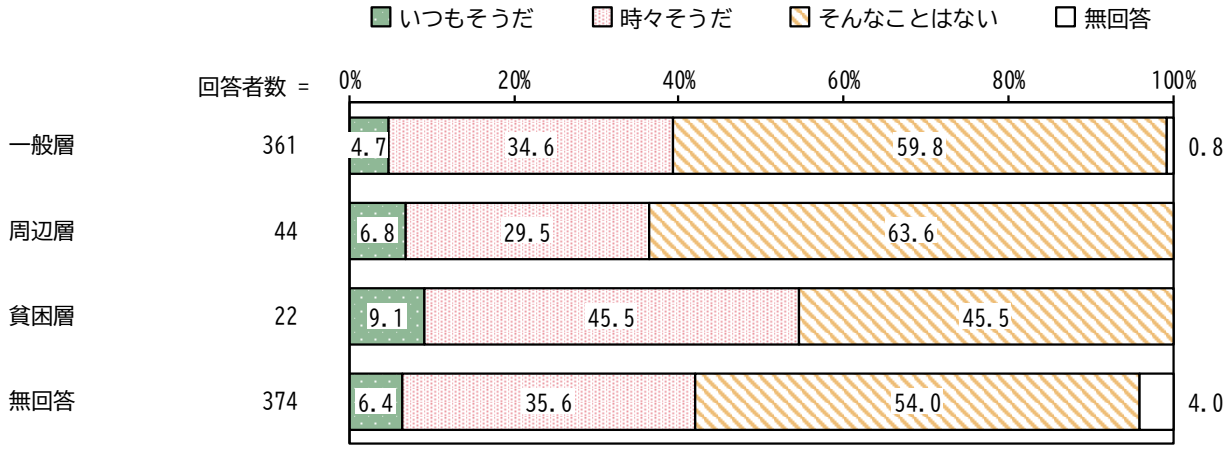
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



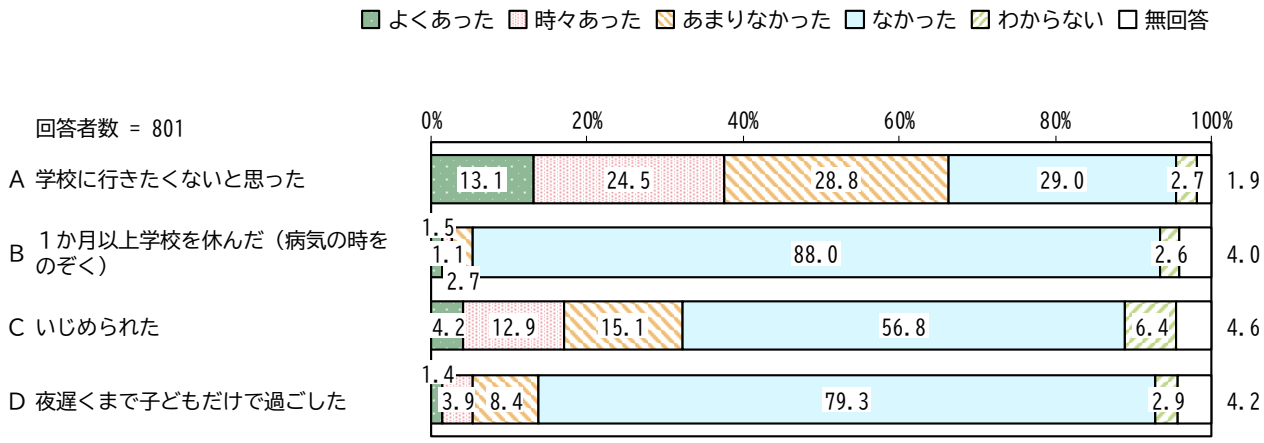
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「時々そうだ」の割合が高く、「そんなことはない」の割合が低くなっています。



問 39　あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

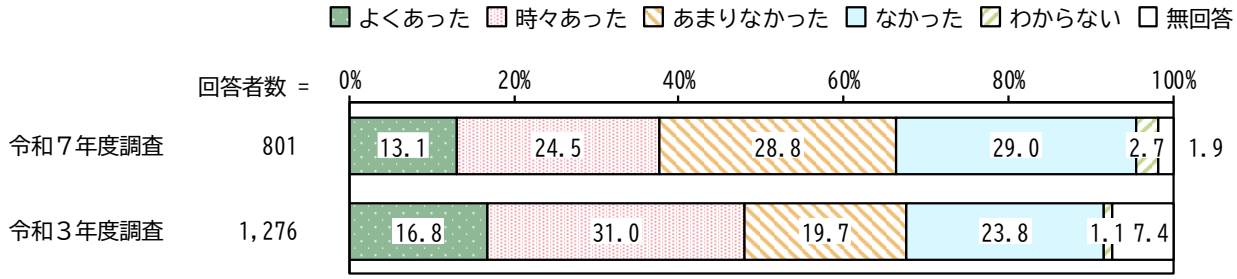
『A　学校に行きたくないと思った』で「よくあった」「時々あった」「あまりなかった」が、『B　１か月以上学校を休んだ（病気の時をのぞく）』で「なかった」が、『C　いじめられた』で「わからない」が高くなっています。



A　学校に行きたくないと思った

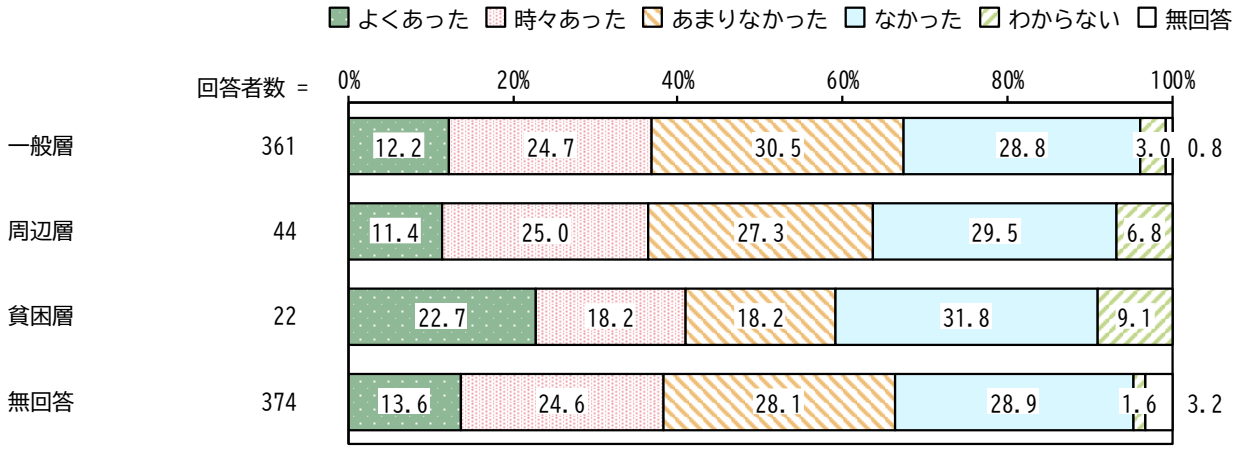
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「あまりなかった」「なかった」の割合が増加しています。一方、「時々あった」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

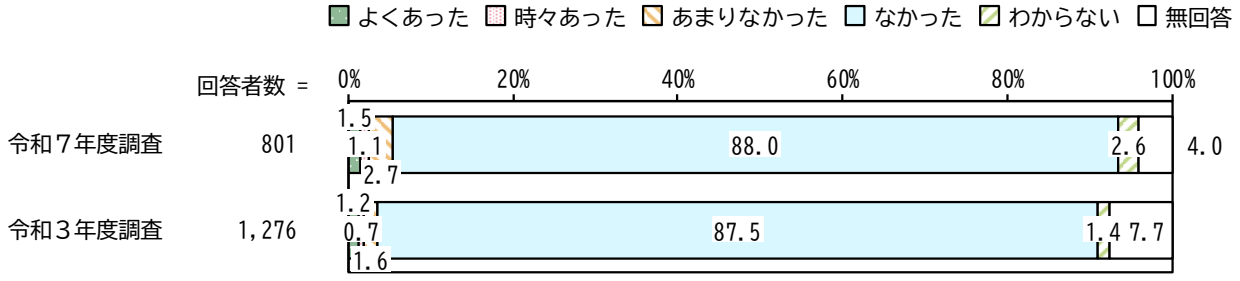
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「あまりなかった」の割合が高くなっています。



B　１か月以上学校を休んだ（病気の時をのぞく）

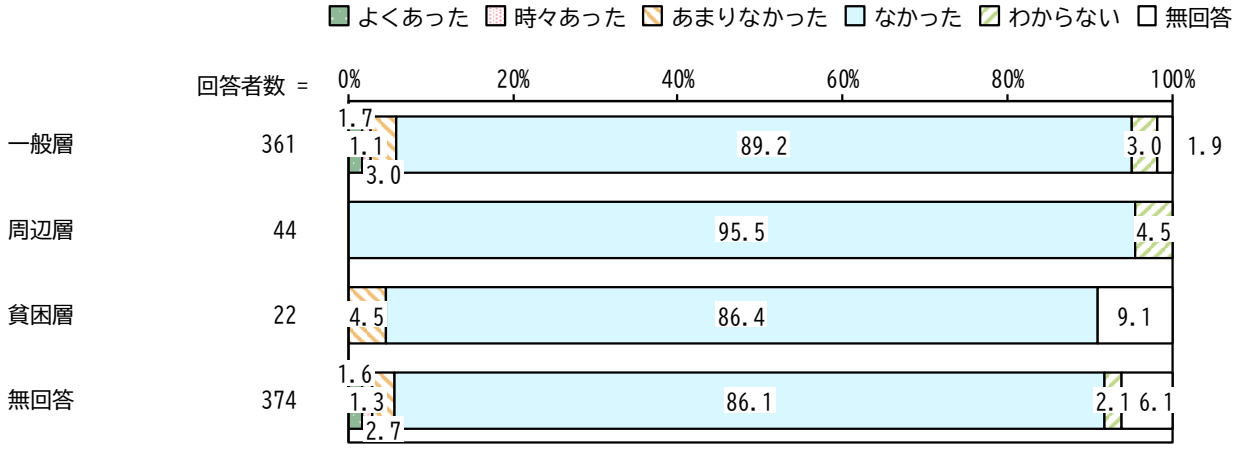
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

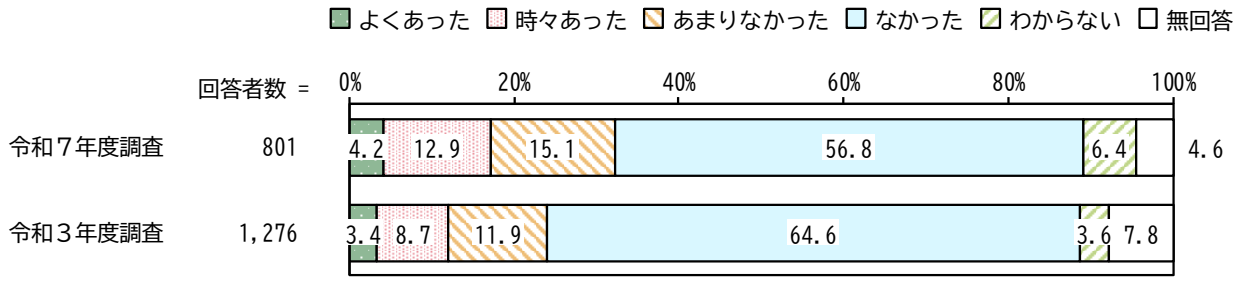
生活困難度別にみると、周辺層で「なかった」の割合が高くなっています。



C　いじめられた

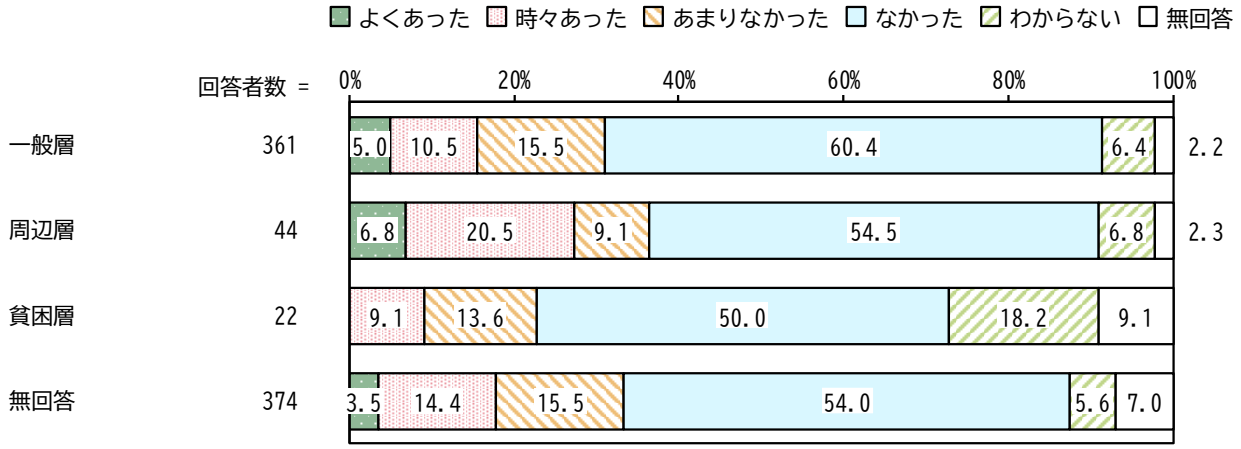
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「なかった」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

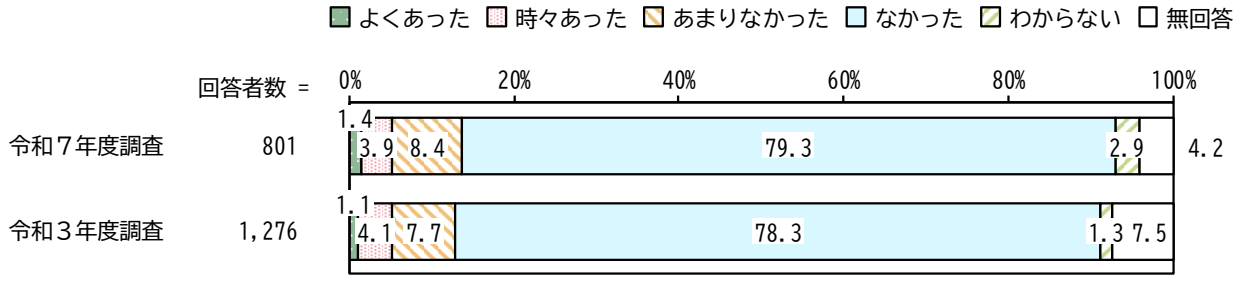
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「なかった」の割合が高くなっています。



D　夜遅くまで子どもだけで過ごした

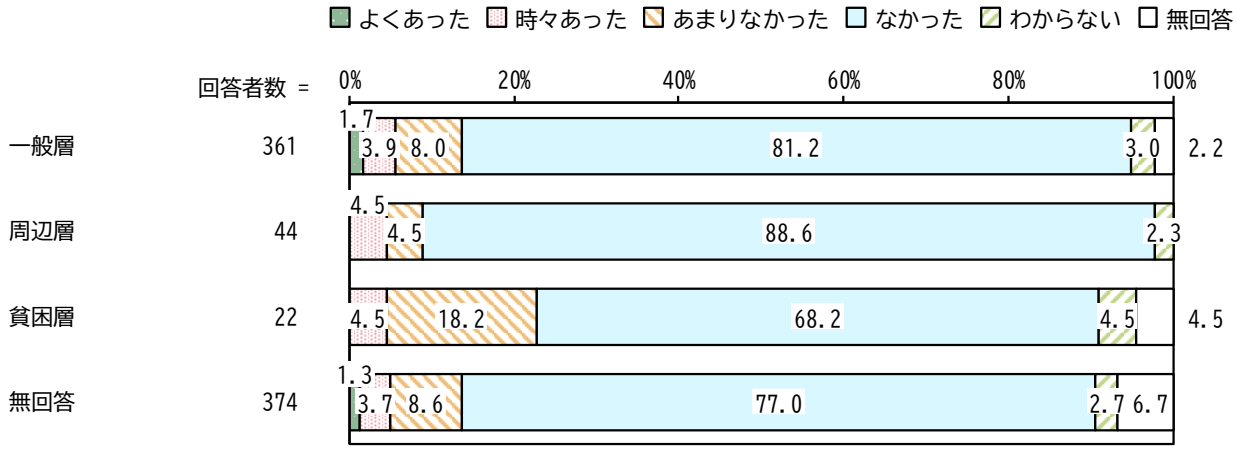
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「あまりなかった」、周辺層で「なかった」の割合が高くなっています。



問 39 で「A　学校に行きたくないと思った」について「よくあった」、または「時々あった」と答えた人にお聞きします。

問 39－１　その理由はどうしてですか。

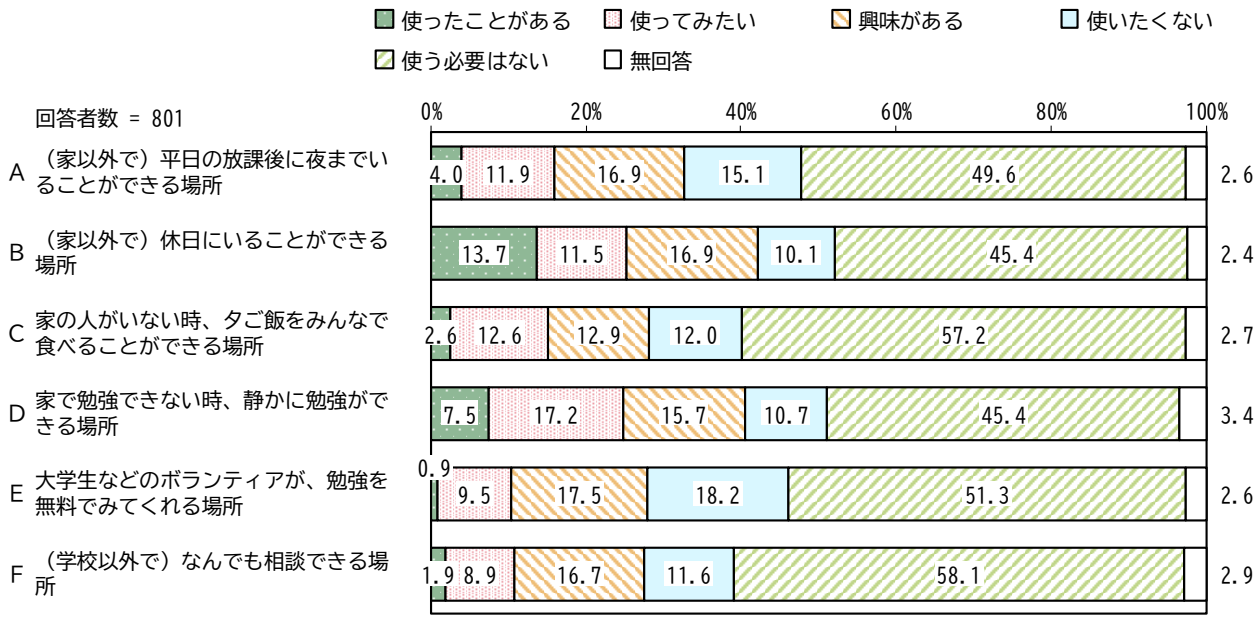
大きく分けて三つの傾向が見られ、一つ目は「めんどくさい」「疲れた」「眠い」「だるい」「おなかが痛い」といった日々の心身の疲労や体調不良など登校に対する気力の低下を理由として挙げる傾向であり、二つ目は「いじめられた」「友達関係がうまくいかない」「悪口を言われた」「仲間はずれにされた」「クラスがうるさい」といった同級生との対人トラブルや教室内の人間関係の悩みを理由とする傾向、そして三つ目は「勉強が嫌い」「苦手な授業がある」「先生が怒るのが怖い」「担任と合わない」といった学習内容への苦手意識や教員に対する不満を理由とする傾向となっています。

問 40　あなたには、今なやんでいることや心配なこと、こまっていること、だれかに相談したいと思っていることがありますか。

大多数の回答者が「ない」「特になし」と回答しており現在抱えている悩みや相談事は特に存在しないという傾向が圧倒的多数を占める一方で、具体的な悩みを記述している回答の中では「悪口を言われた」「嫌がらせをされる」「いじめられる」「わざとぶつかってくる」といった同級生との対人トラブルや人間関係に関する悩みが最も多く見受けられ、それに次いで「授業についていけるか心配」「算数が苦手」「テストの点数が悪い」といった学習面や成績に対する不安、さらには「先生が理由を聞かずに怒る」「先生の態度が違う」「クラスがうるさい」といった教員や学級環境に対する不満などを抱えている傾向となっています。

問 41　あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

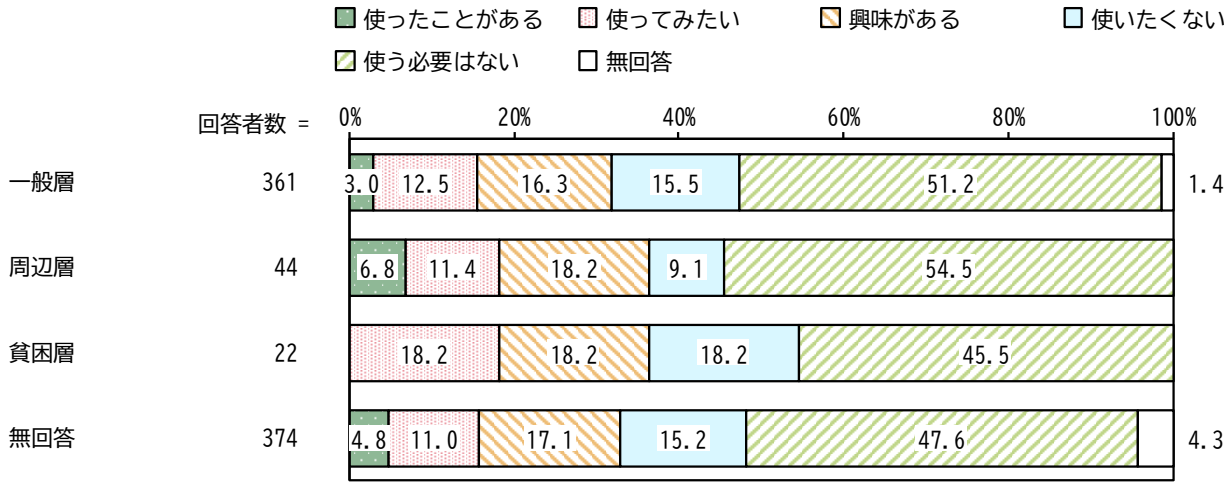
『Ｂ　（家以外で）休日にいることができる場所』で「使ったことがある」が、『Ｄ　家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所』で「使ってみたい」が、『Ｅ　大学生などのボランティアが、勉強を無料でみてくれる場所』で「興味がある」「使いたくない」が、『Ｆ　（学校以外で）なんでも相談できる場所』で「使う必要はない」が高くなっています。



Ａ　（家以外で）平日の放課後に夜までいることができる場所

【生活困難度別】

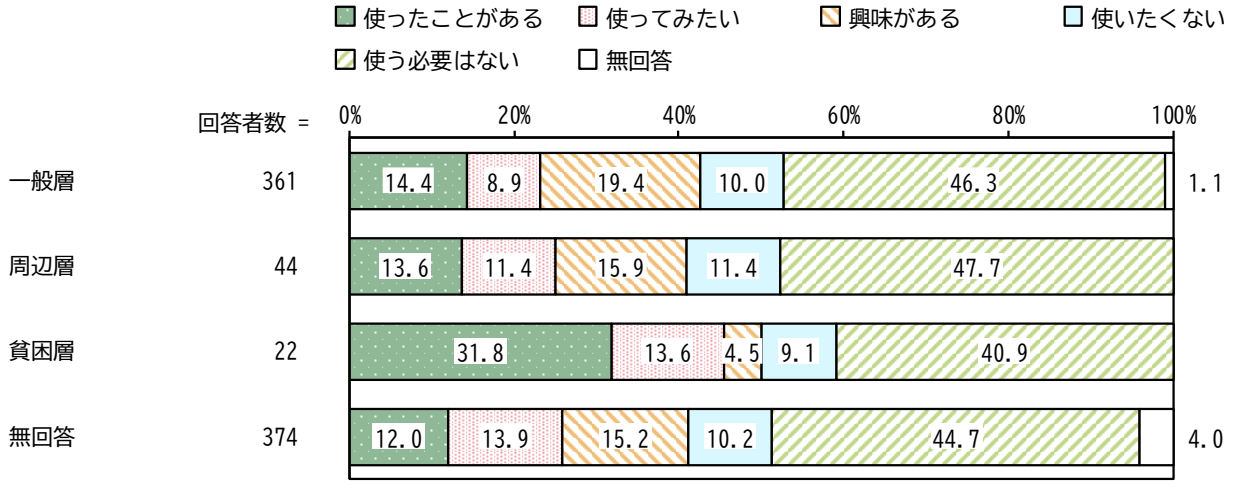
生活困難度別にみると、貧困層で「使ってみたい」の割合が高く、周辺層で「使いたくない」の割合が低くなっています。



B　（家以外で）休日にいることができる場所

【生活困難度別】

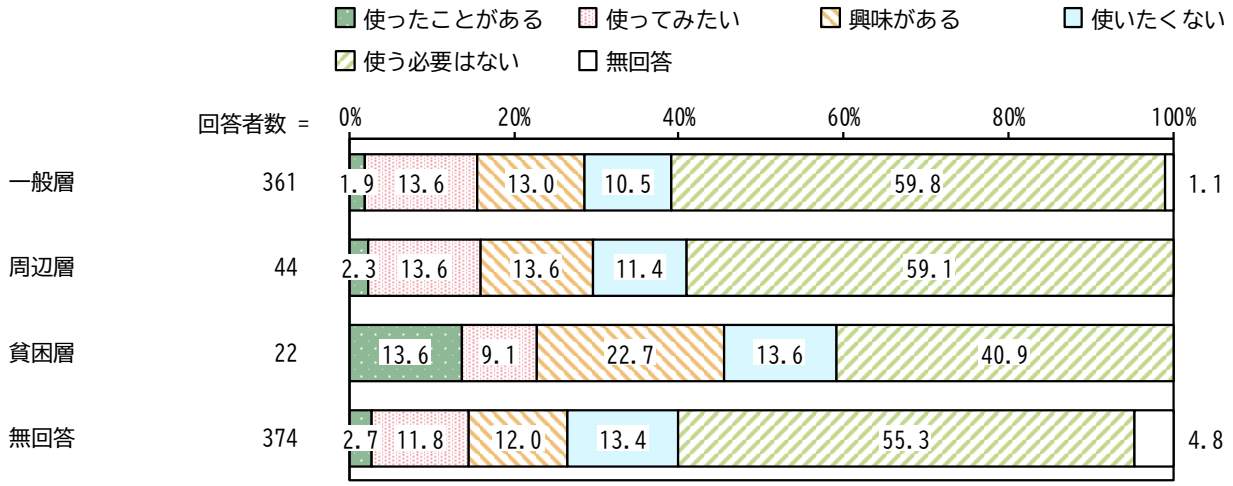
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「使ってみたい」の割合が高く、「興味がある」の割合が低くなっています。また、貧困層で「使ったことがある」の割合が高くなっています。



C　家の人がいない時、夕ご飯をみんなで食べることができる場所

【生活困難度別】

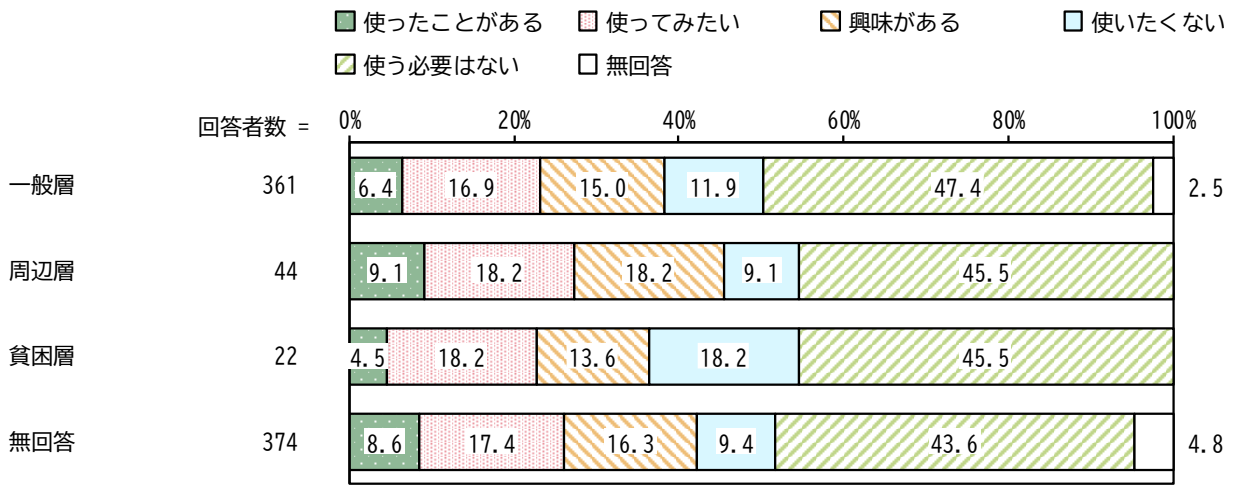
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「使ったことがある」「興味がある」の割合が高く、「使う必要はない」の割合が低くなっています。



D　家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所

【生活困難度別】

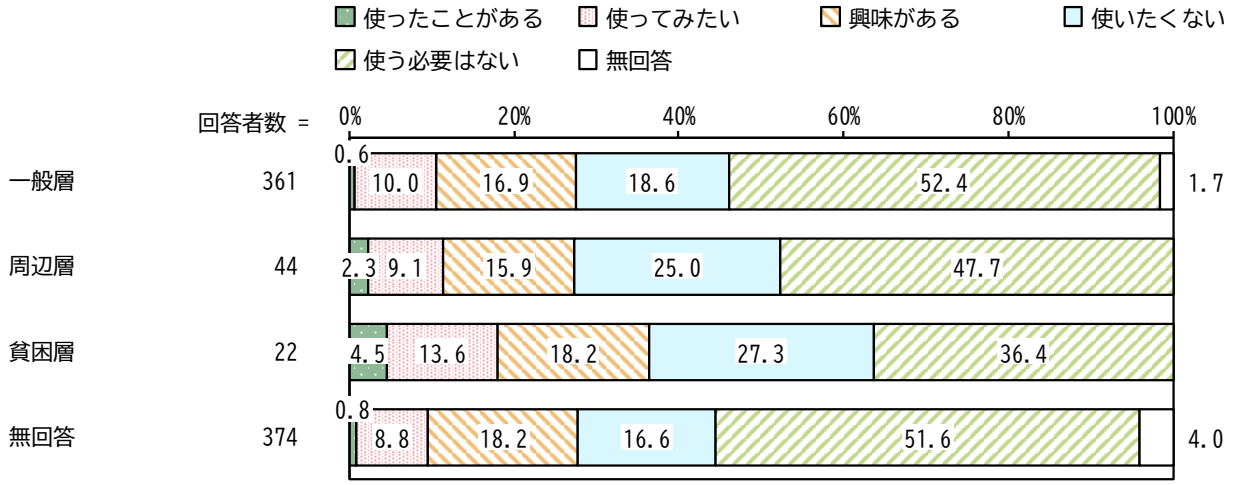
生活困難度別にみると、貧困層で「使いたくない」の割合が高くなっています。



E　大学生などのボランティアが、勉強を無料でみてくれる場所

【生活困難度別】

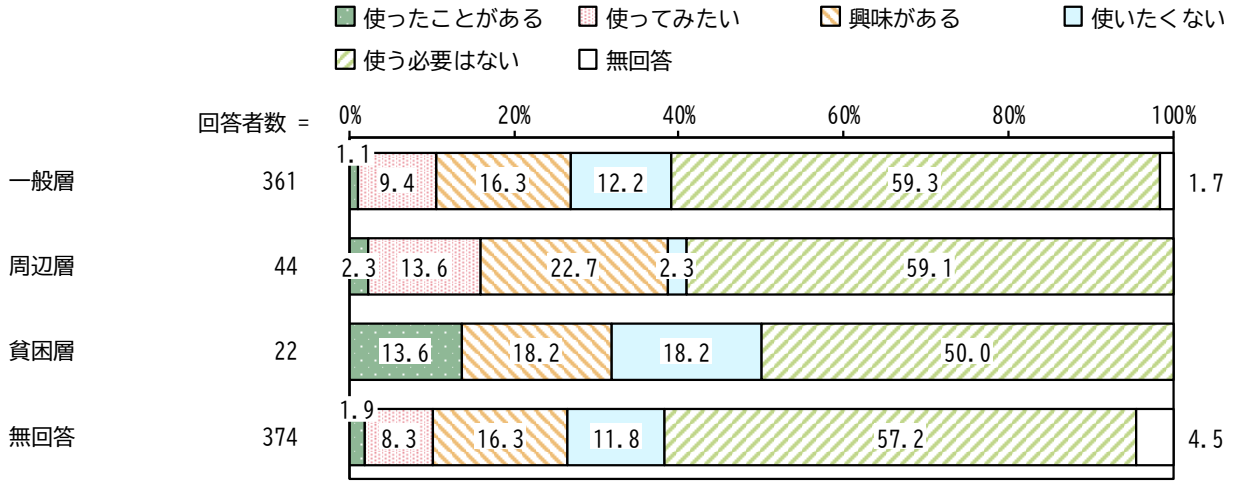
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「使いたくない」の割合が高く、「使う必要はない」の割合が低くなっています。



F　（学校以外で）なんでも相談できる場所

【生活困難度別】

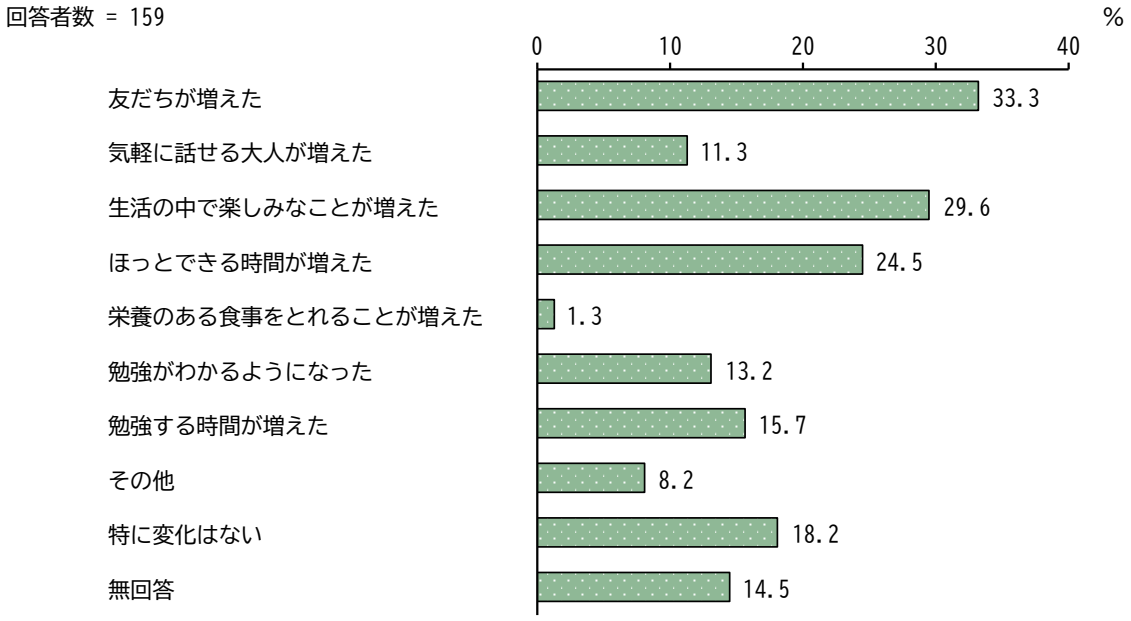
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「使ったことがある」の割合が高く、「使う必要はない」の割合が低くなっています。



問 41 で１つでも「使ったことがある」と答えた方にお聞きします。

問 41－１　そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。
（あてはまる番号すべてに○）

「友だちが増えた」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」の割合が 29.6%、「ほっとできる時間が増えた」の割合が 24.5%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層から貧困層まで困難度が大きいほど「生活の中で楽しみなことが増えた」「ほっとできる時間が増えた」「栄養のある食事をとれることが増えた」の割合が高く、「勉強がわかるようになった」「勉強する時間が増えた」の割合が低く、一般層から周辺層まで困難度が大きいほど「友だちが増えた」「気軽に話せる大人が増えた」の割合が高くなっています。

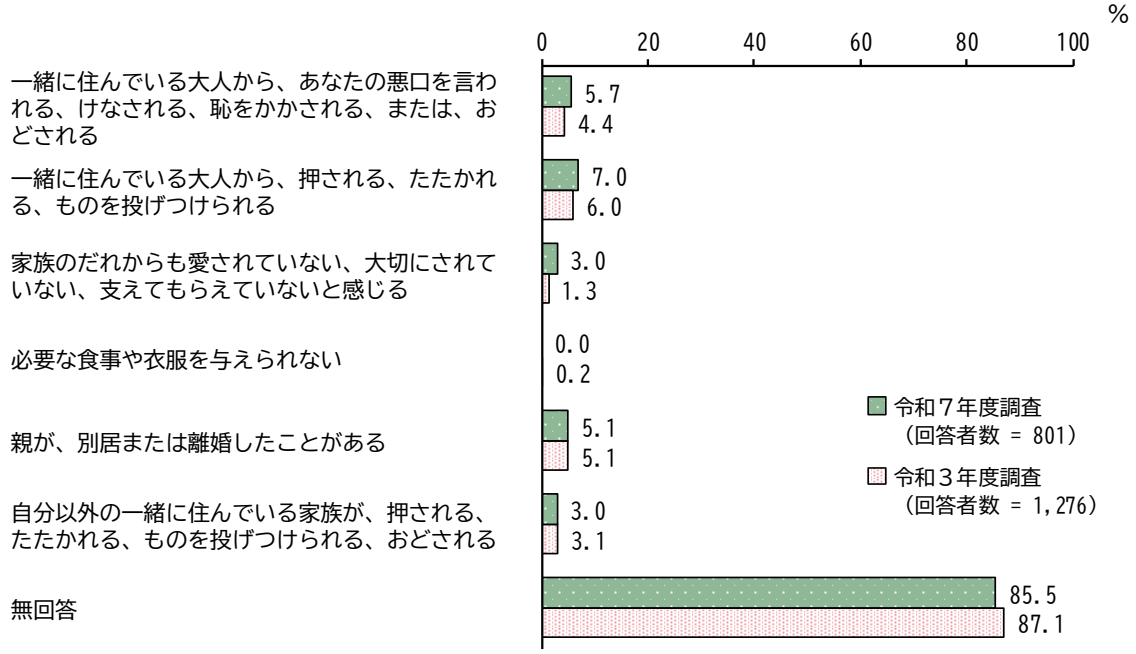
単位：%

区分	回答者数（件）	友だちが増えた	気軽に話せる大人が増えた	生活の中で楽しみなことが増えた	ほっとできる時間が増えた	栄養のある食事をとれることが増えた	勉強がわかるようになった	勉強する時間が増えた	その他	特に変化はない	無回答
全　体	159	33.3	11.3	29.6	24.5	1.3	13.2	15.7	8.2	18.2	14.5
一般層	71	29.6	8.5	29.6	23.9	0.0	12.7	15.5	7.0	12.7	21.1
周辺層	9	33.3	11.1	22.2	22.2	0.0	22.2	22.2	0.0	11.1	22.2
貧困層	9	33.3	11.1	55.6	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2
無回答	70	37.1	14.3	27.1	24.3	1.4	12.9	15.7	10.0	25.7	5.7

問 42　あなたは今までに、次のようなことがありましたか。（あてはまる番号すべてに○）

「一緒に住んでいる大人から、押される、たたかれる、ものを投げつけられる」の割合が 7.0%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「親が、別居または離婚したことがある」の割合が高くなっています。

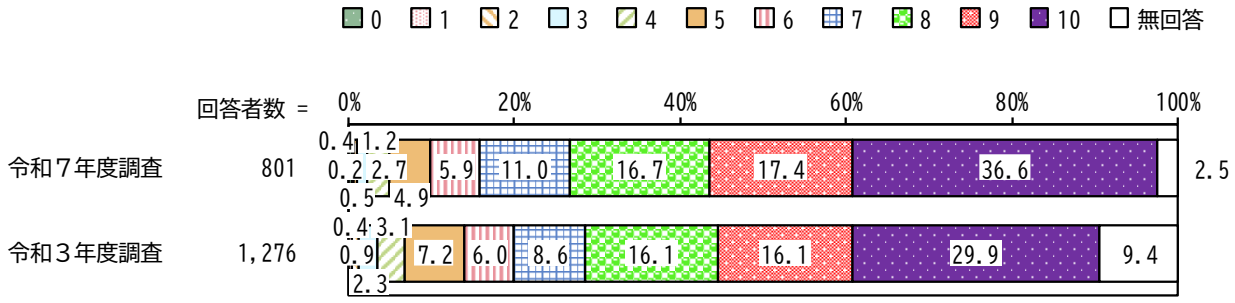
単位：%

区分	回答者数（件）	一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言われる、けなされる、恥をかかされる、または、おどされる	一緒に住んでいる大人から、押される、たたかれる、ものを投げつけられる	家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じる	必要な食事や衣服を与えられない	親が、別居または離婚したことがある	自分以外の一緒に住んでいる家族が、押される、たたかれる、ものを投げつけられる、おどされる	無回答
全　体	801	5.7	7.0	3.0	0.0	5.1	3.0	85.5
一般層	361	5.8	6.4	3.6	0.0	3.3	1.9	86.7
周辺層	44	6.8	9.1	2.3	0.0	4.5	2.3	86.4
貧困層	22	9.1	9.1	4.5	0.0	31.8	0.0	63.6
無回答	374	5.3	7.2	2.4	0.0	5.3	4.3	85.6

問 43　この１年を振り返って、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を０点とすると、何点くらいになると思いますか。０～10 の数字から１つだけ選んでください。（１つに○）

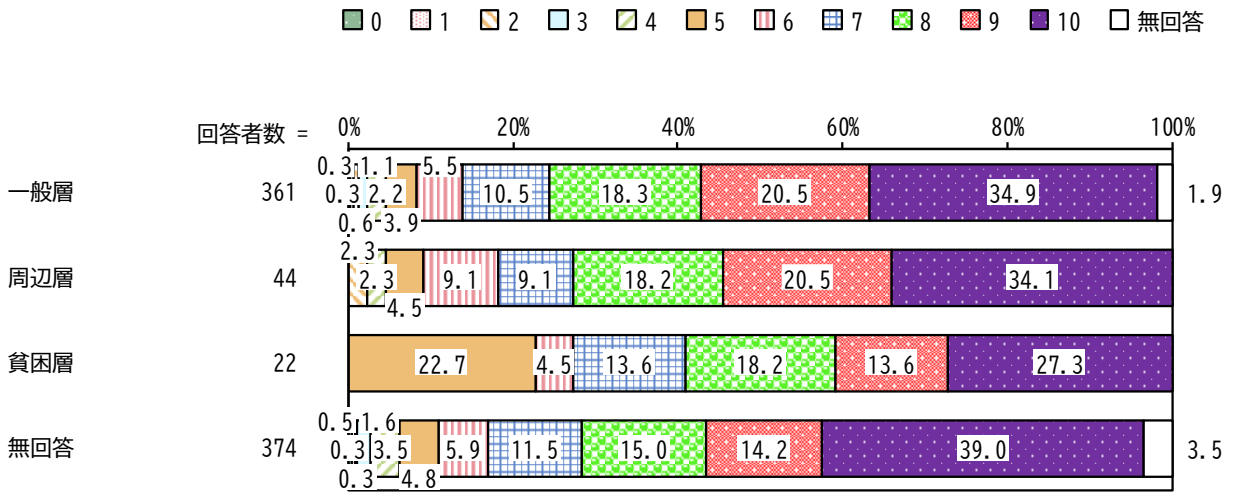
「10」の割合が 36.6%と最も高く、次いで「9」の割合が 17.4%、「8」の割合が 16.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「10」の割合が増加しています。



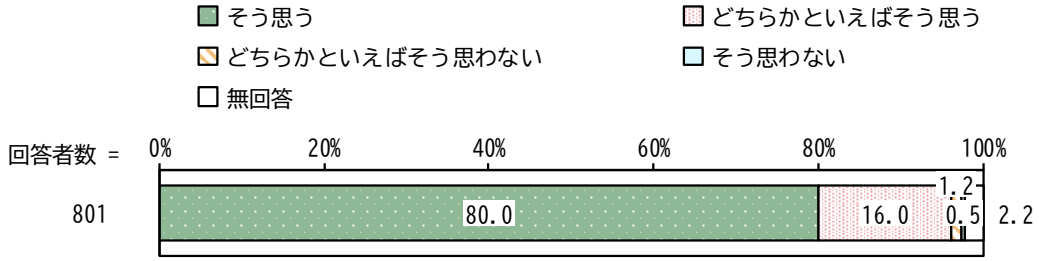
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「5」の割合が高く、「10」の割合が低くなっています。



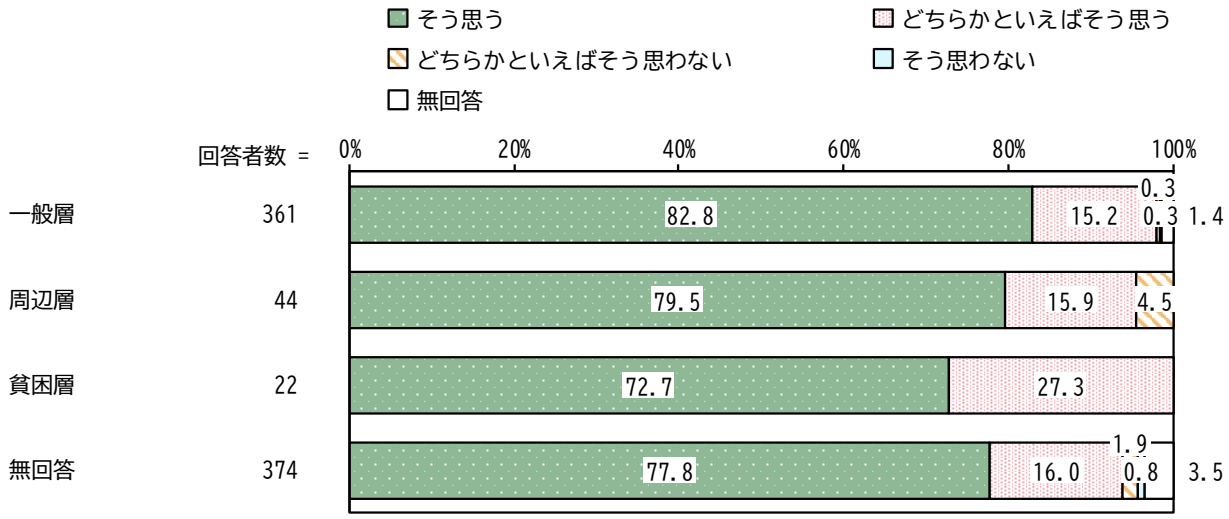
問 44　あなたは、自分の命が守られ安心して暮らしていると思いますか。（１つに○）

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 96.0%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 1.7%となっています。



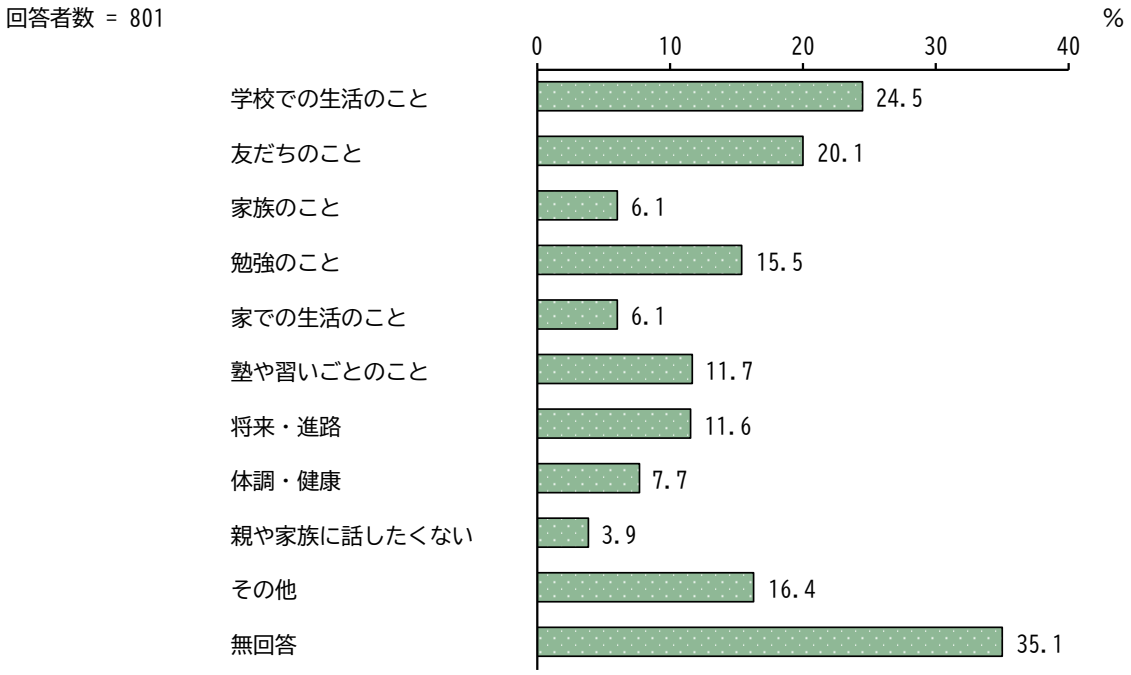
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「どちらかといえばそう思う」の割合が高く、「そう思う」の割合が低くなっています。



問 45　あなたは、親や家族の人がもっとあなたの意見を聞いてほしいと思うことはありますか。また、それはどのようなことですか。（あてはまる番号すべてに○）

「学校での生活のこと」の割合が 24.5%と最も高く、次いで「友だちのこと」の割合が 20.1%、「勉強のこと」の割合が 15.5%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「友だちのこと」「塾や習いごとのこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	学校での生活のこと	友だちのこと	家族のこと	勉強のこと	家での生活のこと	塾や習いごとのこと	将来・進路	体調・健康	親や家族に話したくない	その他	無回答
全　体	801	24.5	20.1	6.1	15.5	6.1	11.7	11.6	7.7	3.9	16.4	35.1
一般層	361	25.5	20.2	6.1	14.1	5.0	11.1	11.1	7.2	5.0	17.2	33.0
周辺層	44	31.8	25.0	4.5	18.2	6.8	11.4	15.9	6.8	9.1	11.4	34.1
貧困層	22	27.3	27.3	0.0	9.1	0.0	18.2	4.5	4.5	9.1	22.7	22.7
無回答	374	22.5	19.0	6.7	16.8	7.5	12.0	12.0	8.6	1.9	15.8	38.0

【世帯分類別】

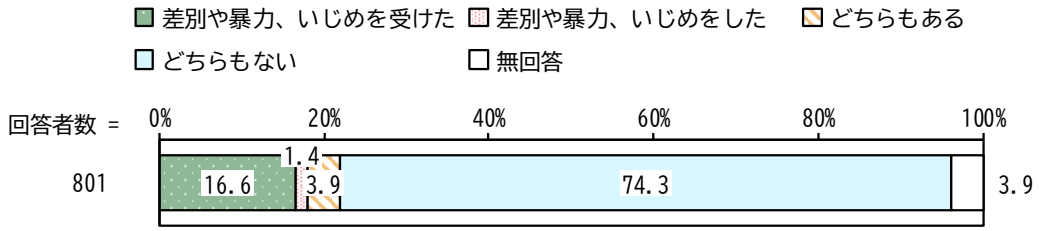
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「学校での生活のこと」「塾や習いごとのこと」、父親（ひとり親）で「将来・進路」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	学校での生活のこと	友だちのこと	家族のこと	勉強のこと	家での生活のこと	塾や習いごとのこと	将来・進路	体調・健康	親や家族に話したくない	その他	無回答
全　体	801	24.5	20.1	6.1	15.5	6.1	11.7	11.6	7.7	3.9	16.4	35.1
父親（ひとり親）	75	21.3	14.7	6.7	14.7	5.3	13.3	17.3	10.7	2.7	18.7	34.7
母親（ひとり親）	53	32.1	24.5	3.8	11.3	1.9	18.9	5.7	3.8	3.8	22.6	26.4
ふたり親（２世帯）	574	24.4	20.9	6.6	16.0	6.8	10.8	11.5	7.7	4.0	15.7	35.4
ふたり親（３世帯）	31	29.0	19.4	3.2	9.7	3.2	6.5	3.2	6.5	0.0	16.1	41.9
無回答	68	20.6	16.2	4.4	17.6	5.9	14.7	14.7	8.8	5.9	14.7	36.8

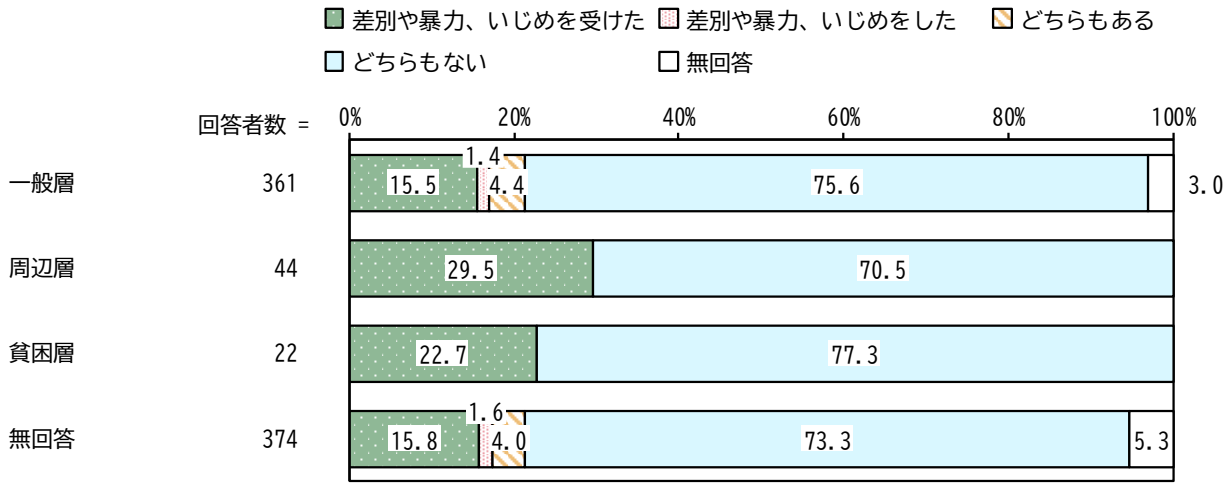
問 46　あなたは、差別・暴力・いじめを受けたことがありますか。また、したことがありますか。（１つに○）

「どちらもない」の割合が 74.3%と最も高く、次いで「差別や暴力、いじめを受けた」の割合が 16.6%となっています。



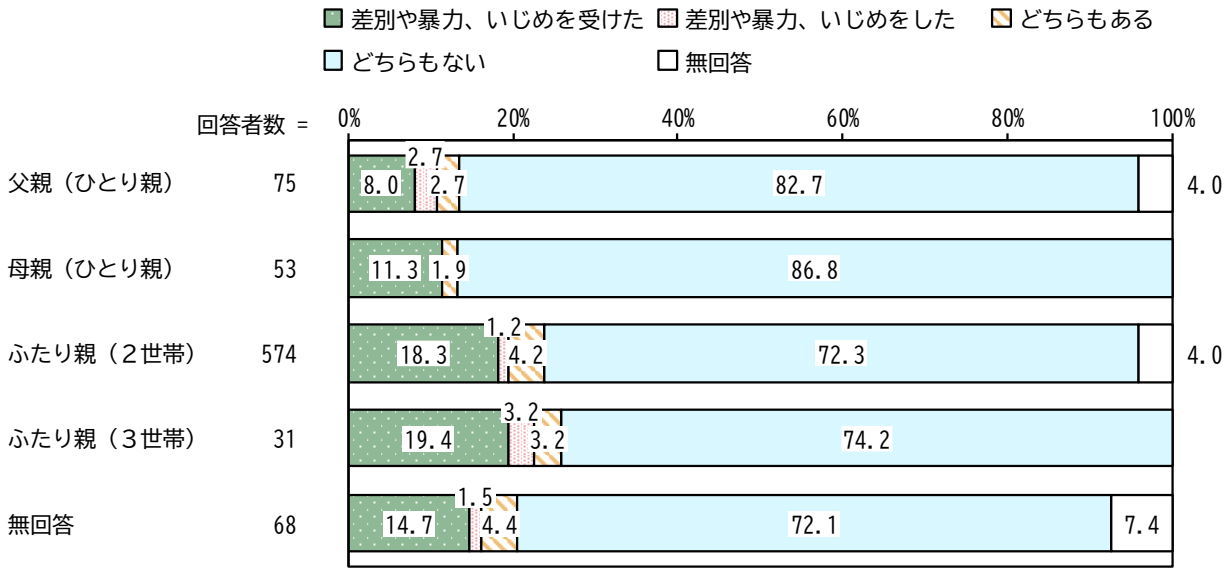
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「差別や暴力、いじめを受けた」の割合が高くなっています。



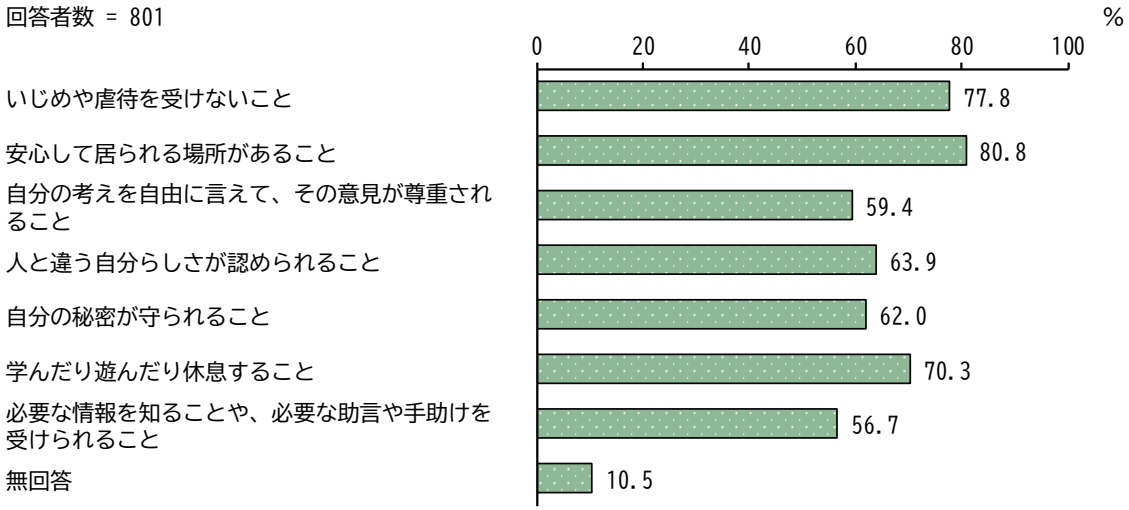
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「どちらもない」の割合が高くなっています。



問 47　子どもの権利の中で知っているものはどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

「安心して居られる場所があること」の割合が 80.8%と最も高く、次いで「いじめや虐待を受けないこと」の割合が 77.8%、「学んだり遊んだり休息すること」の割合が 70.3%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「学んだり遊んだり休息すること」「必要な情報を知ることや、必要な助言や手助けを受けられること」の割合が高く、「自分の考えを自由に言えて、その意見が尊重されること」「人と違う自分らしさが認められること」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	いじめや虐待を受けないこと	安心して居られる場所があること	自分の考えを自由に言えて、その意見が尊重されること	人と違う自分らしさが認められること	自分の秘密が守られること	学んだり遊んだり休息すること	必要な情報を知ることや、必要な助言や手助けを受けられること	無回答
全　体	801	77.8	80.8	59.4	63.9	62.0	70.3	56.7	10.5
一般層	361	79.8	82.3	61.8	68.4	64.5	70.9	57.1	9.7
周辺層	44	77.3	81.8	56.8	61.4	65.9	75.0	59.1	6.8
貧困層	22	77.3	86.4	50.0	59.1	59.1	77.3	68.2	4.5
無回答	374	75.9	78.9	58.0	60.2	59.4	68.7	55.3	12.0

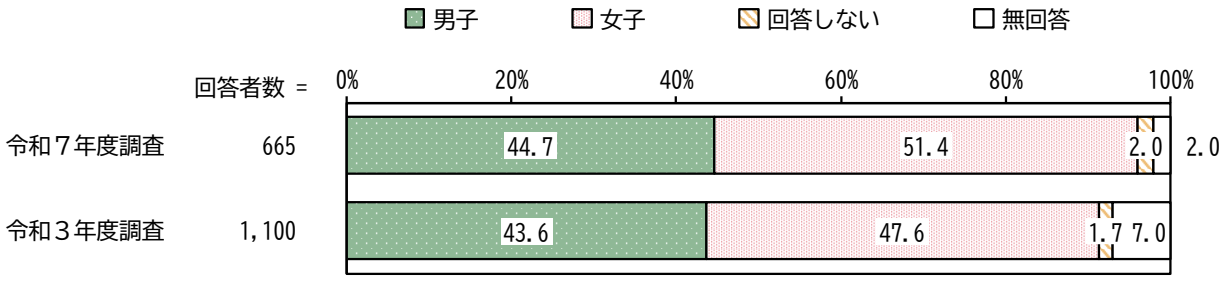
問 48　日野市になんでも要望できるとすれば、どのようなことを要望しますか。どのようなことでもよいので、書いてください。

※別冊　自由記述結果報告書

2　中学生本人

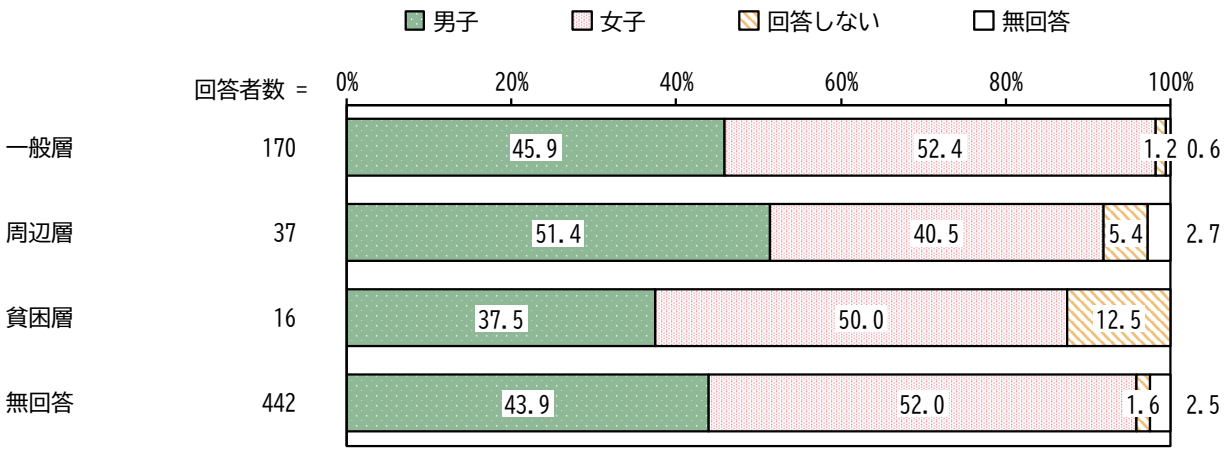
問１　あなたの性別を教えてください。（１つに○）

「男子」の割合が 44.7%、「女子」の割合が 51.4%となっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



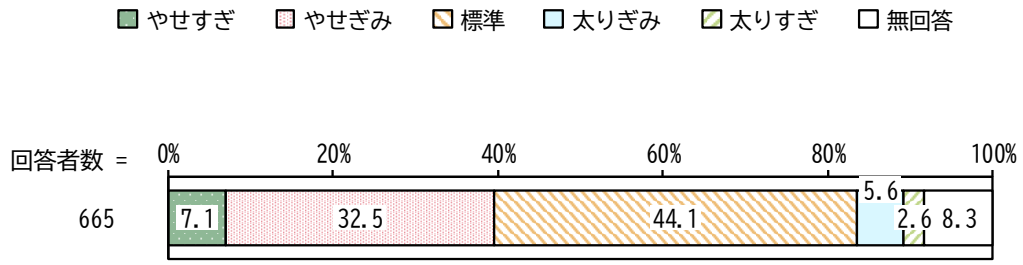
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「女子」の割合が低くなっています。



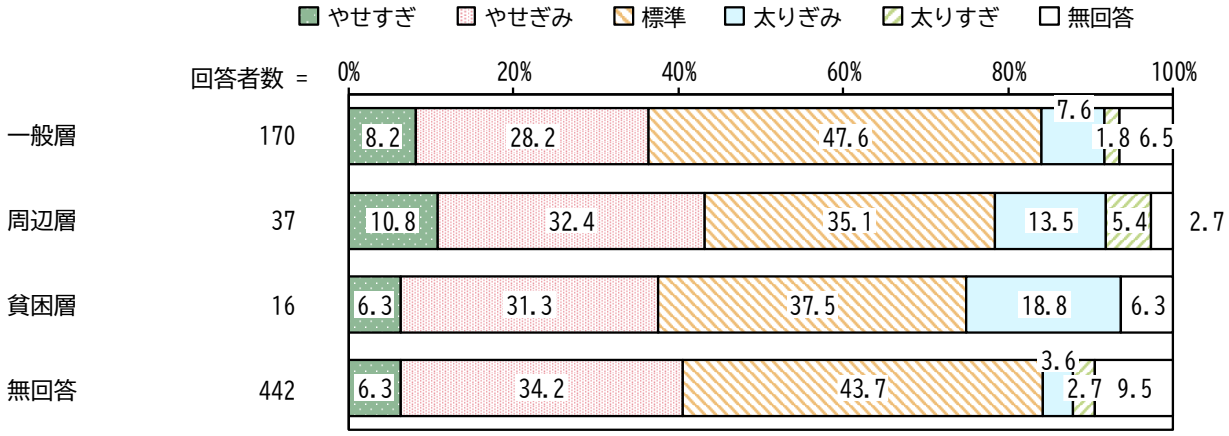
問２　あなたの身長・体重を教えてください。（カッコの中に数字で答えてください）
（ローレル指数）

「標準」の割合が 44.1%、次いで「やせぎみ」の割合が 32.5%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど、「太りぎみ」の割合が高くなっています。



問３　あなたのお住まいの地区はどこですか。（１つに○）

「日野」の割合が 17.3%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	旭が丘	新井	石田	大坂上	落川	上田	川辺堀之内	栄町	新町	神明	高幡	多摩平	豊田	西平山
令和７年度調査	665	5.0	2.3	2.1	1.4	1.8	1.1	1.2	1.7	2.9	2.3	1.1	9.5	7.1	2.9
令和３年度調査	1,100	6.3	0.8	1.5	2.1	2.4	0.9	1.4	1.7	3.6	2.6	1.8	7.8	4.2	2.5

区分	東豊田	東平山	日野	日野台	日野本町	平山	富士町	程久保	万願寺	三沢	南平	宮	百草	無回答
令和７年度調査	4.5	2.7	17.3	3.9	2.3	3.5	1.4	2.9	4.5	4.1	6.6	0.2	2.3	2.1
令和３年度調査	3.7	1.0	17.4	3.5	0.7	4.2	2.9	1.5	4.1	4.2	7.0	0.1	2.7	7.4

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「新町」「豊田」「東豊田」「日野台」、周辺層で「西平山」の割合が高くなっています。

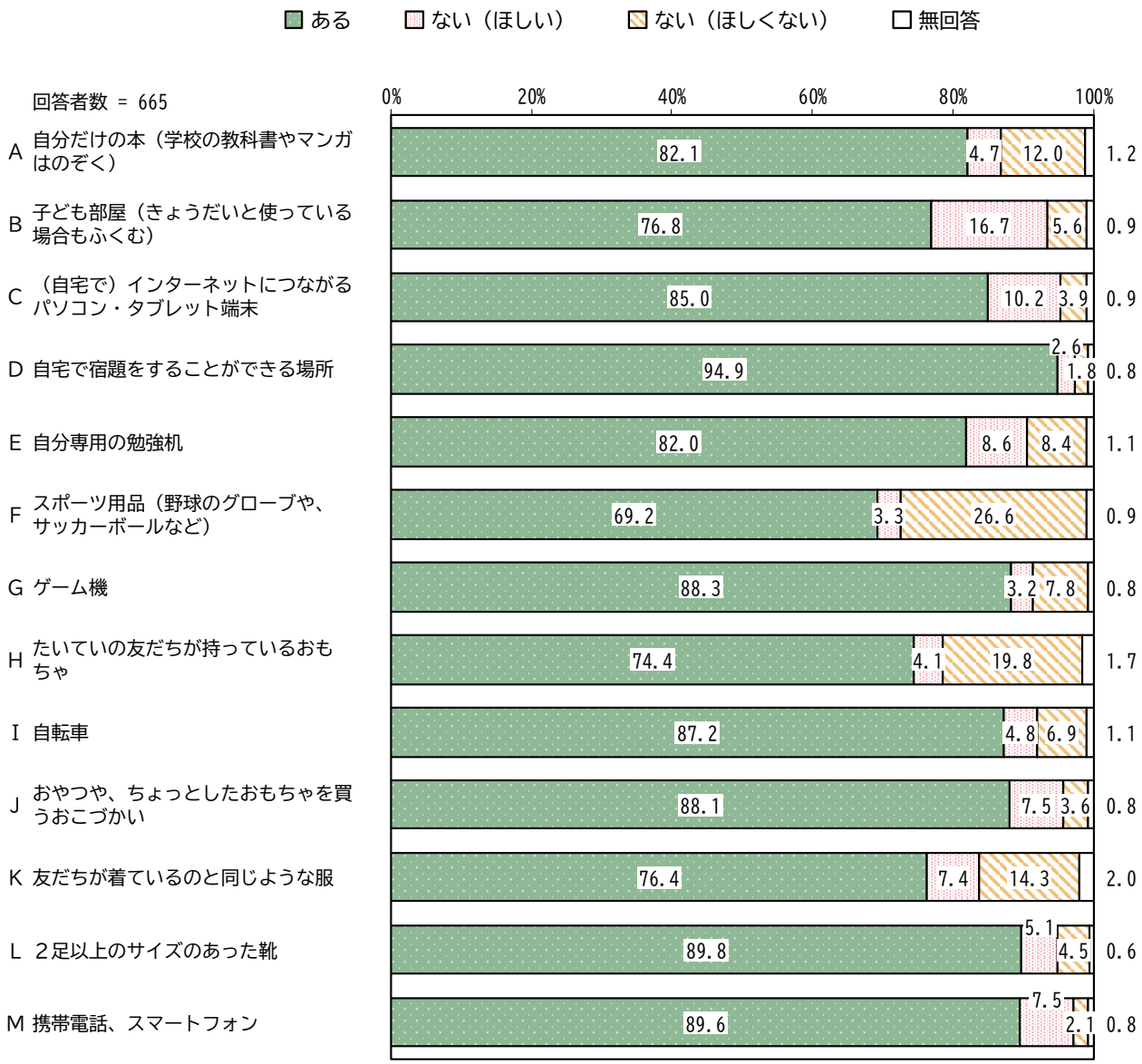
単位：%

区分	回答者数（件）	旭が丘	新井	石田	大坂上	落川	上田	川辺堀之内	栄町	新町	神明	高幡	多摩平	豊田	西平山
全　体	665	5.0	2.3	2.1	1.4	1.8	1.1	1.2	1.7	2.9	2.3	1.1	9.5	7.1	2.9
一般層	170	5.9	2.9	2.4	1.8	1.2	1.2	1.2	2.9	2.9	1.2	0.6	10.0	8.8	1.8
周辺層	37	5.4	0.0	2.7	5.4	2.7	2.7	2.7	0.0	2.7	2.7	0.0	5.4	2.7	13.5
貧困層	16	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0
無回答	442	4.8	2.3	2.0	0.9	2.0	0.9	1.1	1.4	2.5	2.5	1.4	10.0	6.6	2.5

区分	東豊田	東平山	日野	日野台	日野本町	平山	富士町	程久保	万願寺	三沢	南平	宮	百草	無回答
全　体	4.5	2.7	17.3	3.9	2.3	3.5	1.4	2.9	4.5	4.1	6.6	0.2	2.3	2.1
一般層	1.2	1.8	17.6	4.1	2.9	2.9	1.8	2.4	5.3	2.9	8.8	0.6	2.4	0.6
周辺層	5.4	2.7	10.8	2.7	0.0	2.7	0.0	0.0	5.4	5.4	10.8	0.0	2.7	2.7
貧困層	12.5	6.3	18.8	12.5	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	5.4	2.9	17.6	3.6	2.3	3.8	1.4	3.2	4.1	4.3	5.7	0.0	2.3	2.7

問４　あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。ある場合には「ある」に○をつけてください。ない場合には、それがほしいものであれば「ほしい」、いらないと思うものであれば「ほしくない」に○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

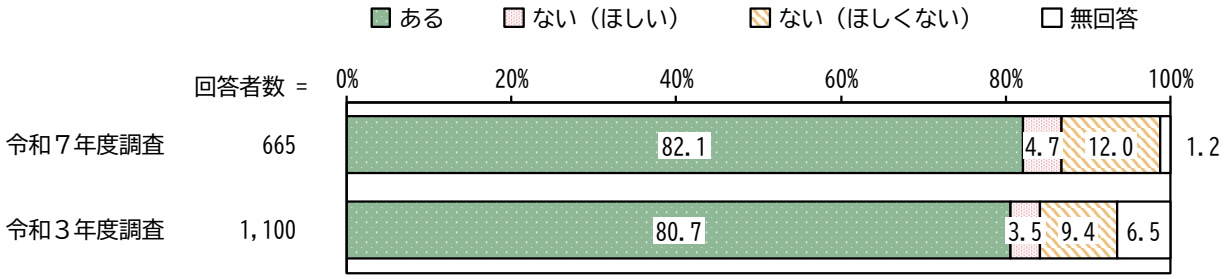
『Ｄ　自宅で宿題をすることができる場所』で「ある」が、『Ｂ　子ども部屋（きょうだいと使っている場合もふくむ)』で「ない（ほしい)」が、『Ｆ　スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど)』で「ない（ほしくない)」が高くなっています。



A　自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）

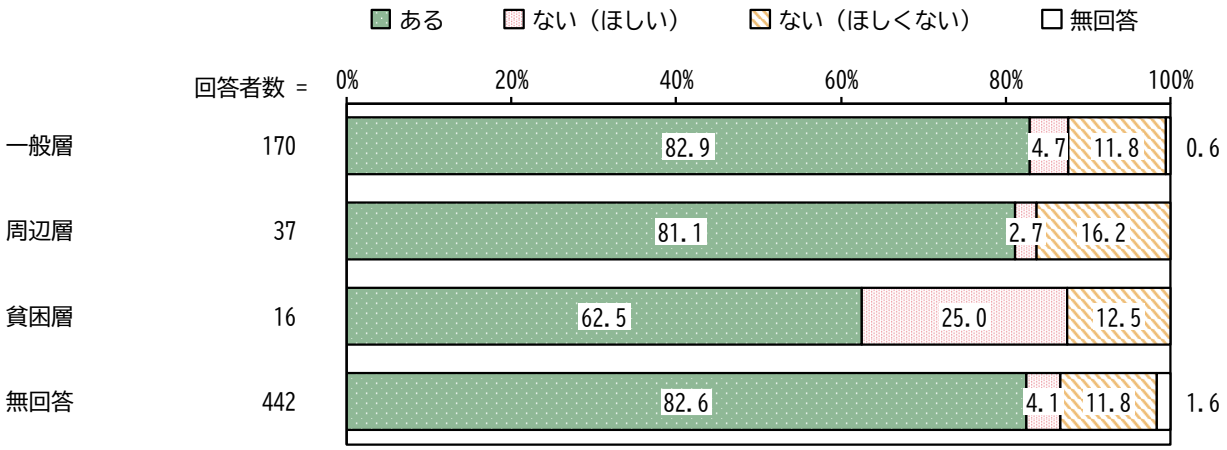
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

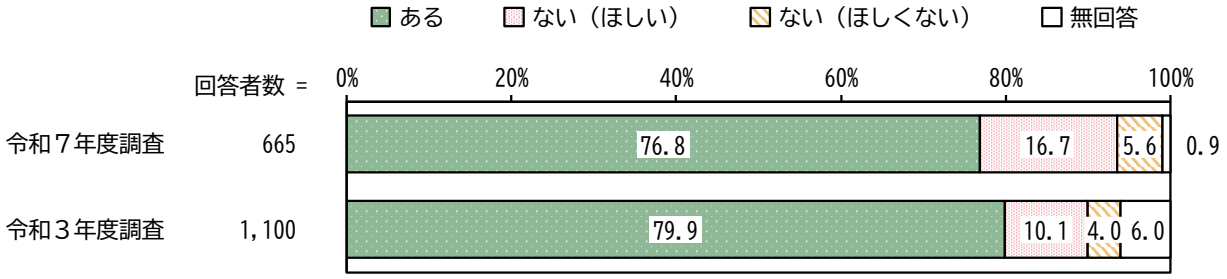
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「ある」の割合が高くなっています。



B　子ども部屋（きょうだいと使っている場合もふくむ）

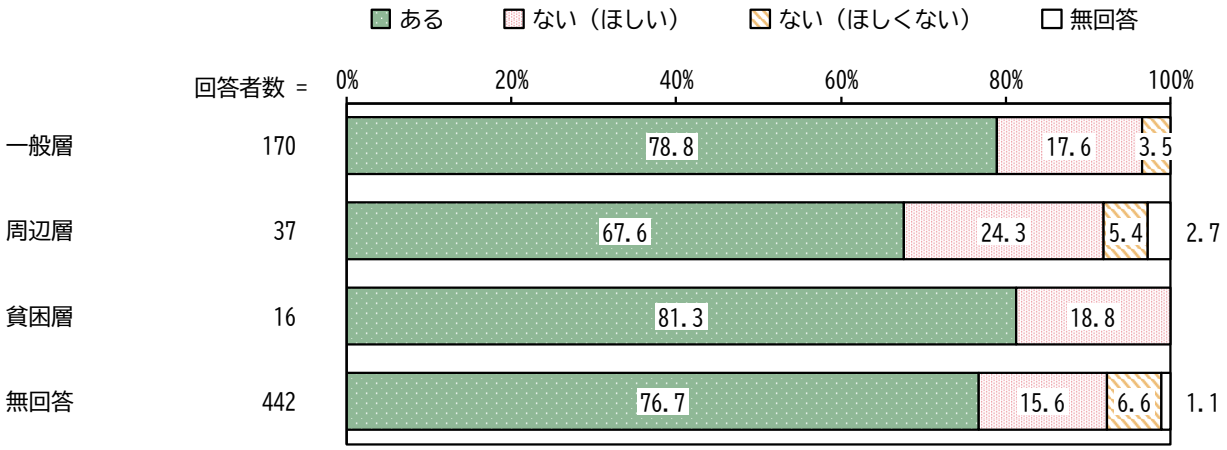
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ない（ほしい）」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

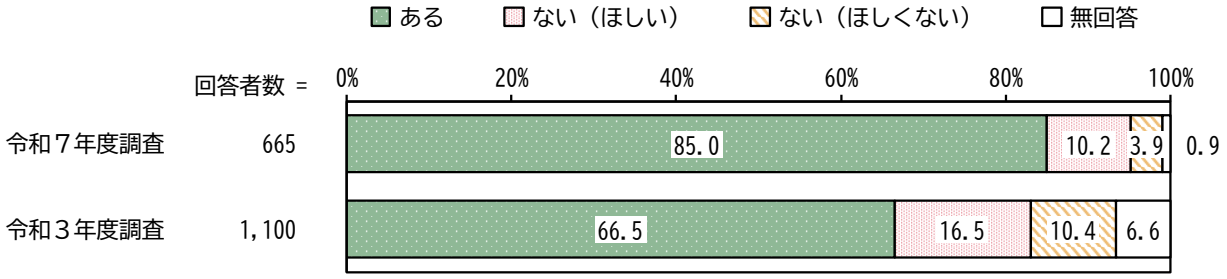
生活困難度別にみると、周辺層で「ない（ほしい）」の割合が高く、「ある」の割合が低くなっています。



C　（自宅で）インターネットにつながるパソコン・タブレット端末

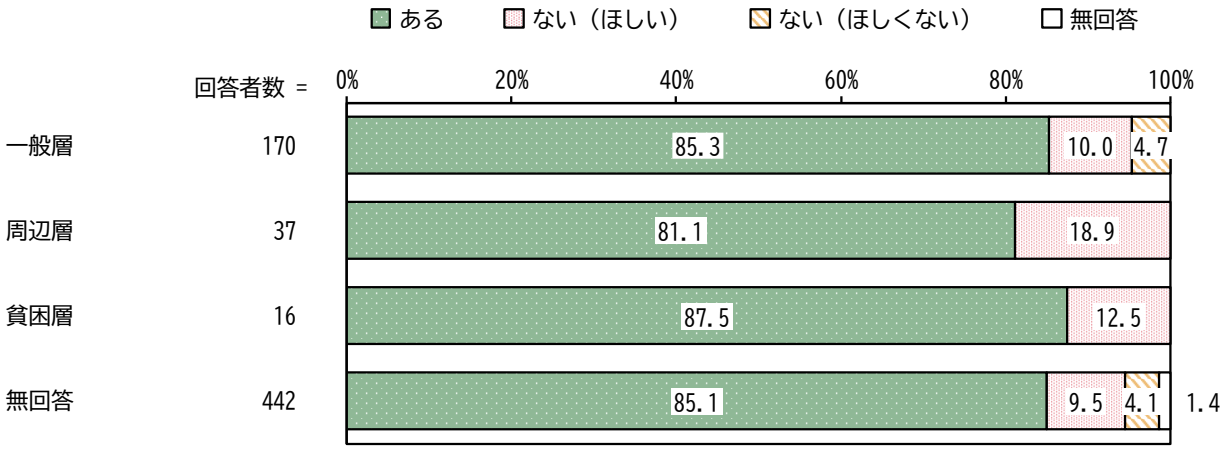
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。一方、「ない（ほしい）」「ない（ほしくない）」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

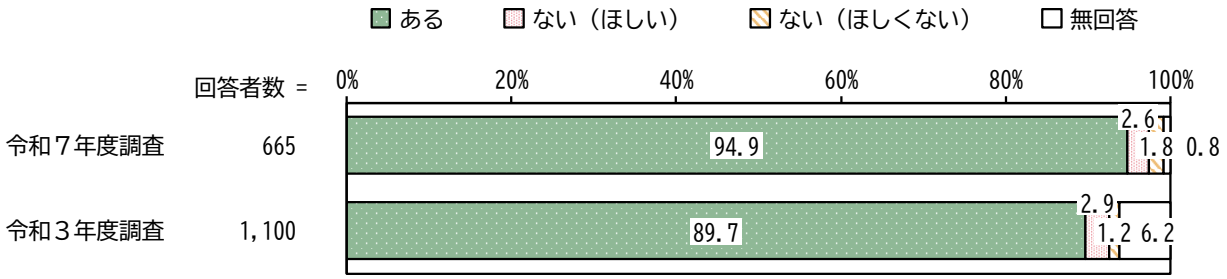
生活困難度別にみると、周辺層で「ない（ほしい）」の割合が高くなっています。



D　自宅で宿題をすることができる場所

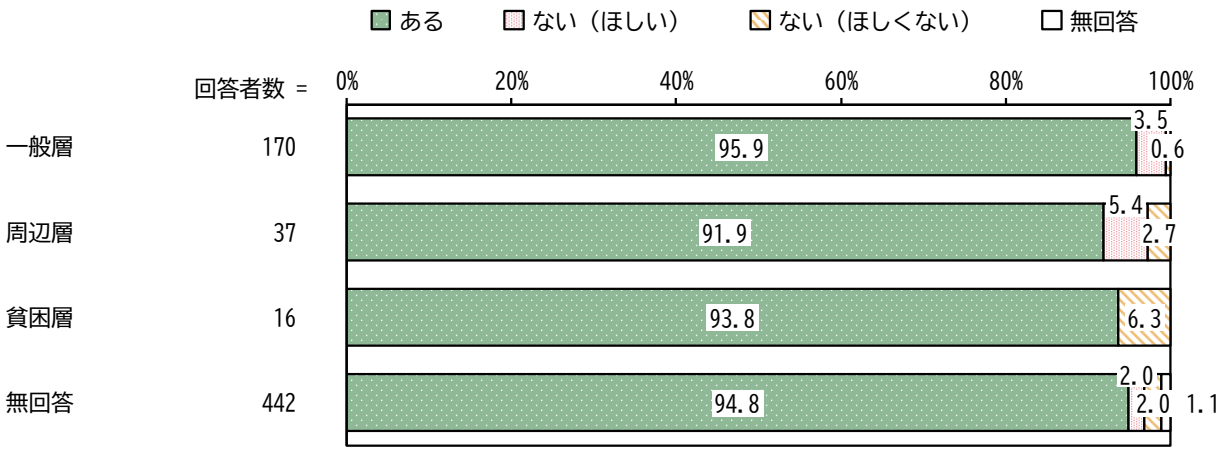
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

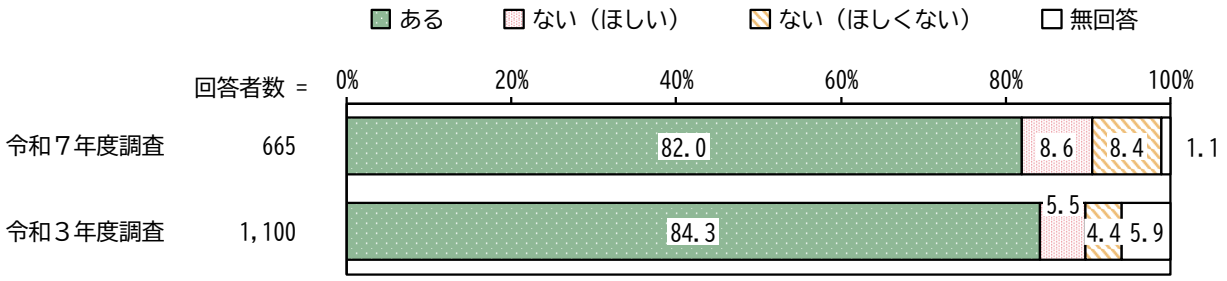
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



E　自分専用の勉強机

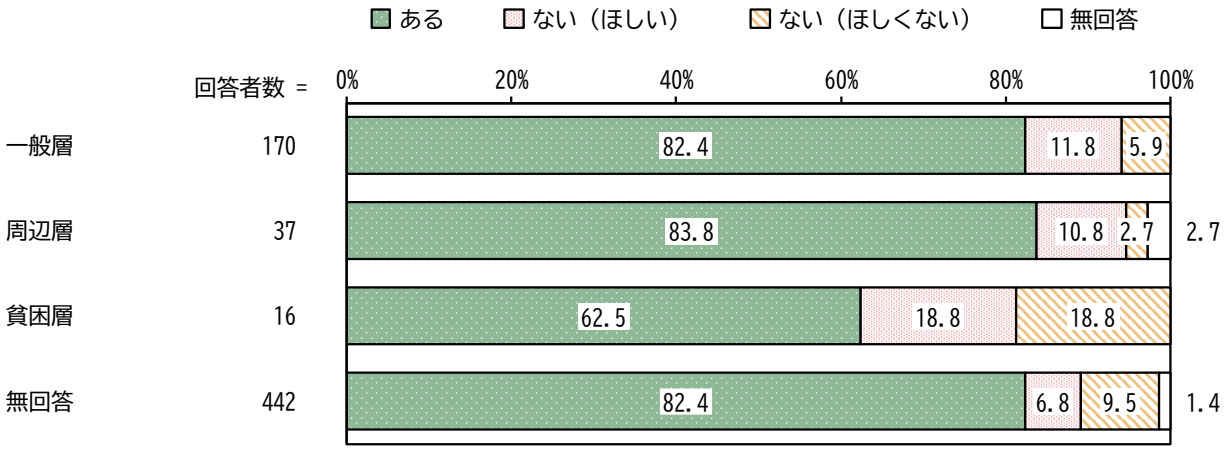
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

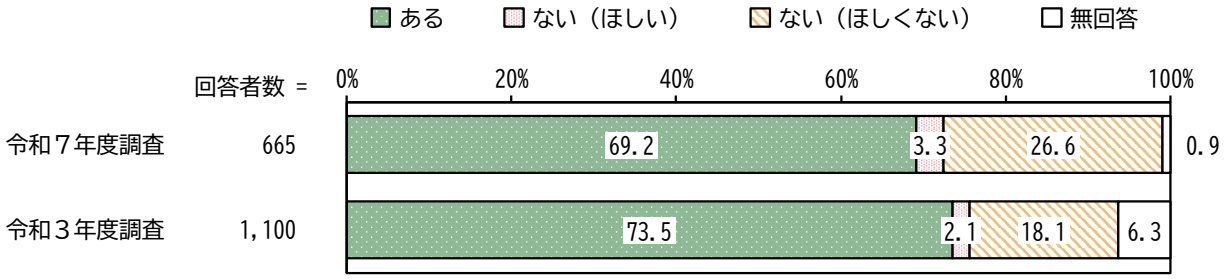
生活困難度別にみると、貧困層で「ない（ほしい）」「ない（ほしくない）」の割合が高くなっています。



F　スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）

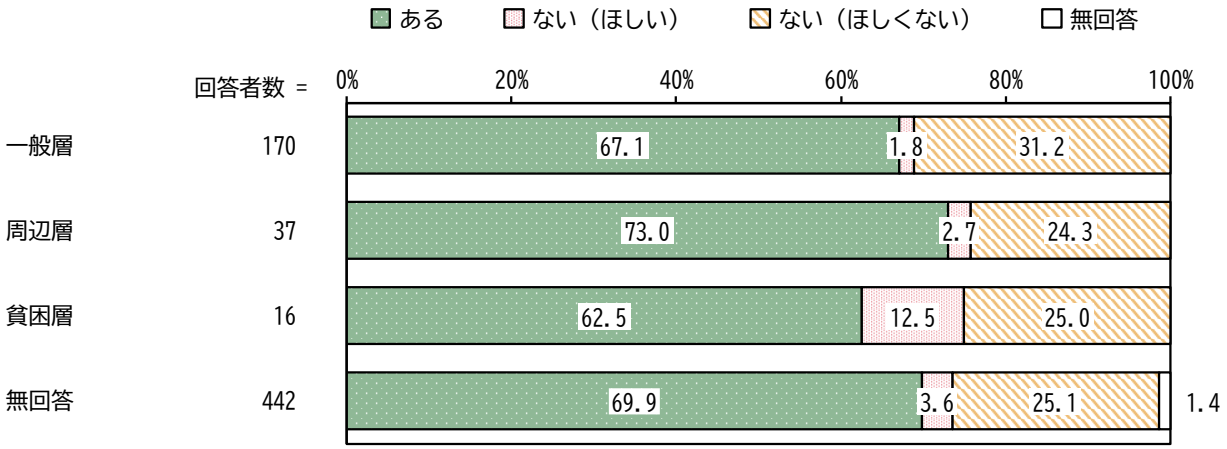
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ない（ほしくない）」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

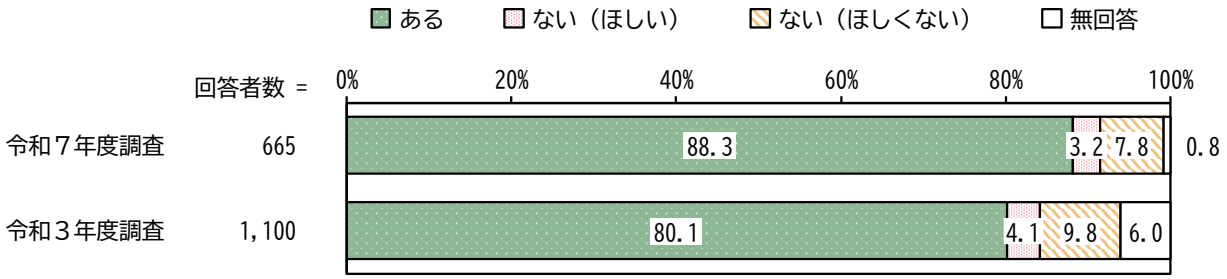
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「ない（ほしい）」の割合が高くなっています。



G　ゲーム機

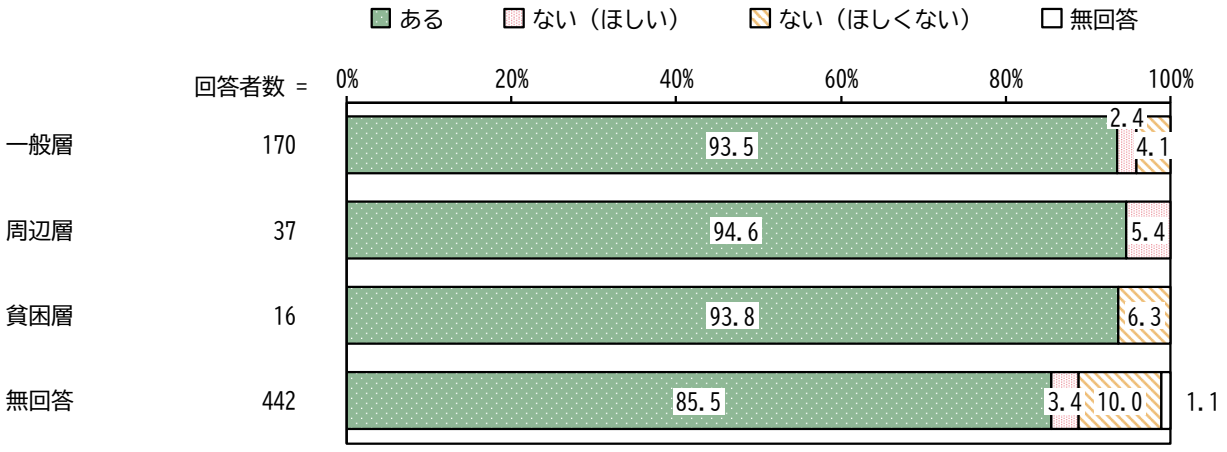
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

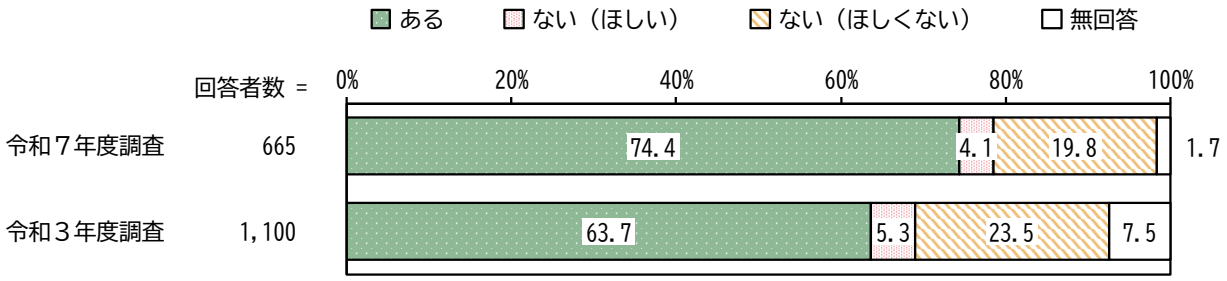
生活困難度別にみると、一般層、周辺層、貧困層で「ある」の割合が高くなっています。



H　たいていの友だちが持っているおもちゃ

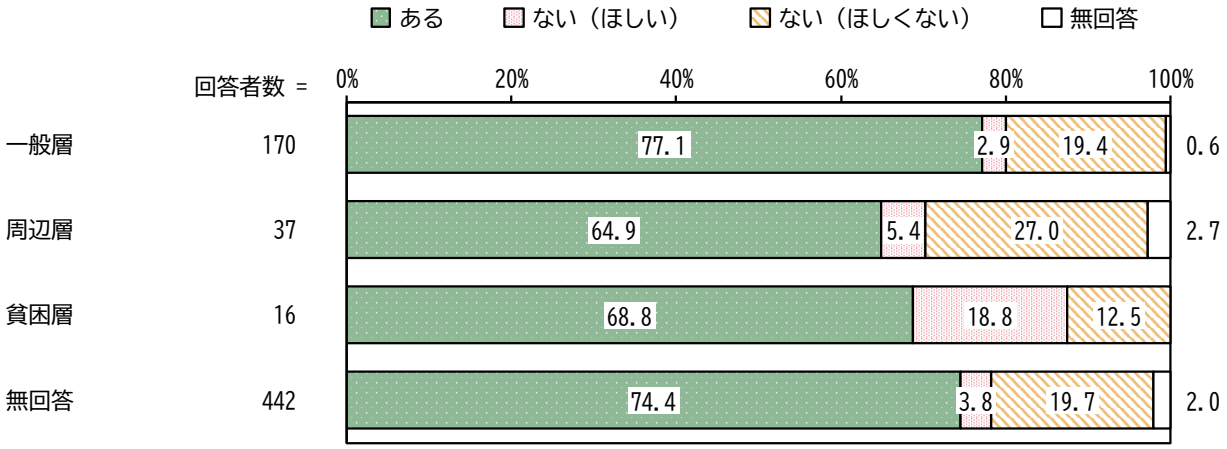
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

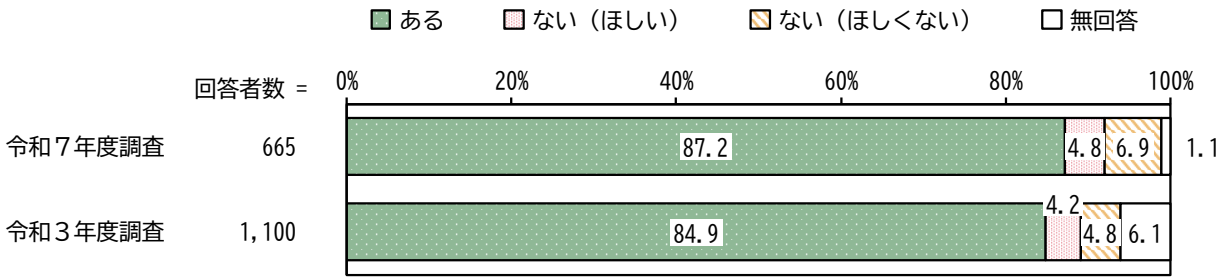
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「ない（ほしい）」の割合が高くなっています。



I　自転車

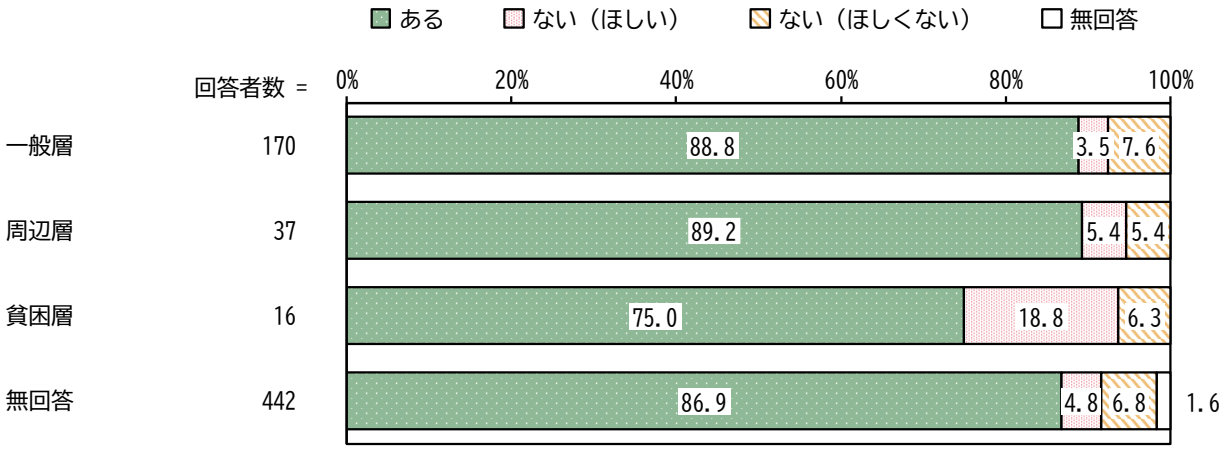
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

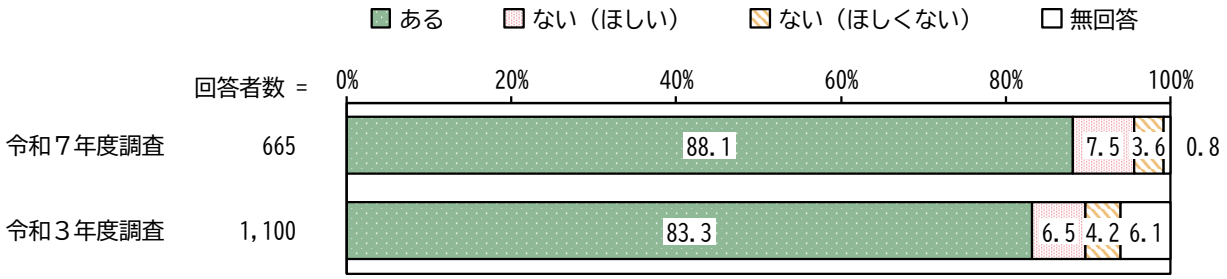
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「ない（ほしい）」の割合が高くなっています。



J　おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい

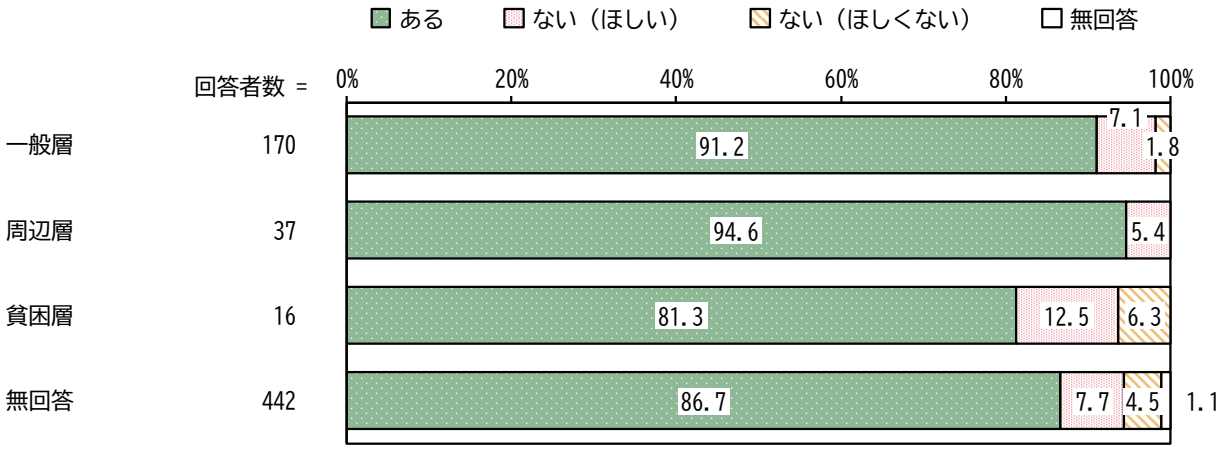
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

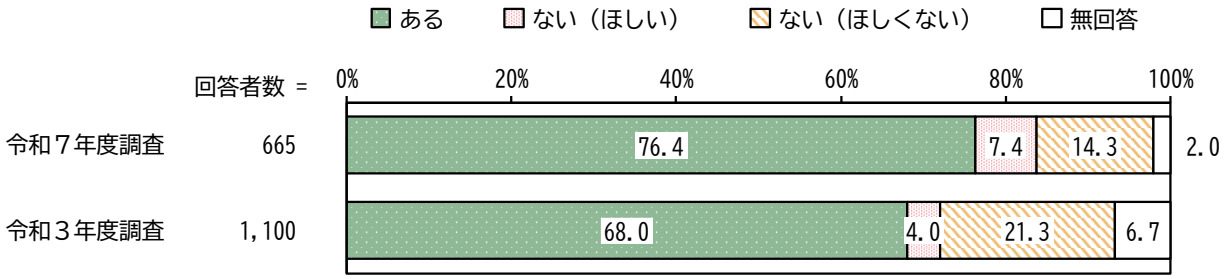
生活困難度別にみると、周辺層で「ある」、貧困層で「ない（ほしい）」の割合が高くなっています。



K　友だちが着ているのと同じような服

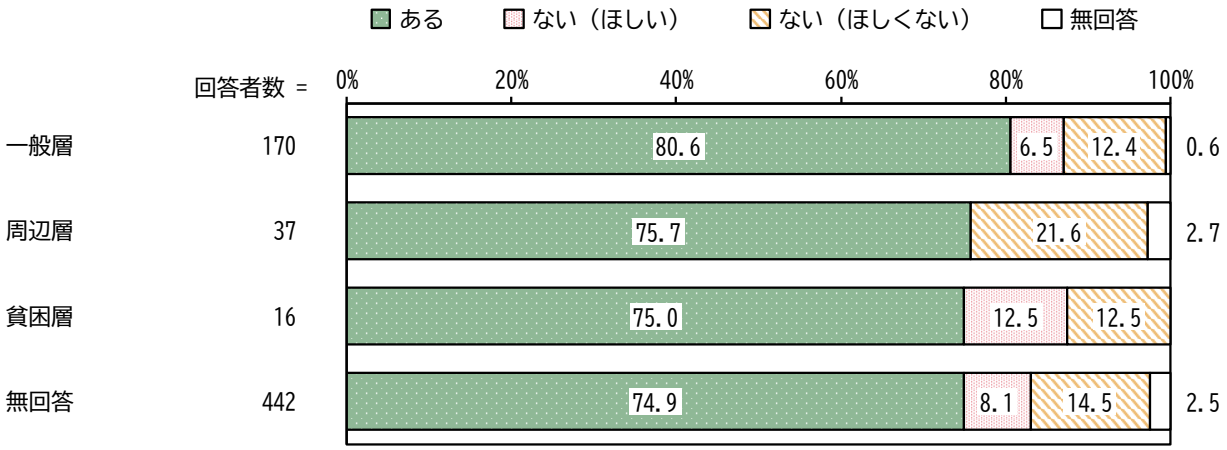
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。一方、「ない（ほしくない）」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

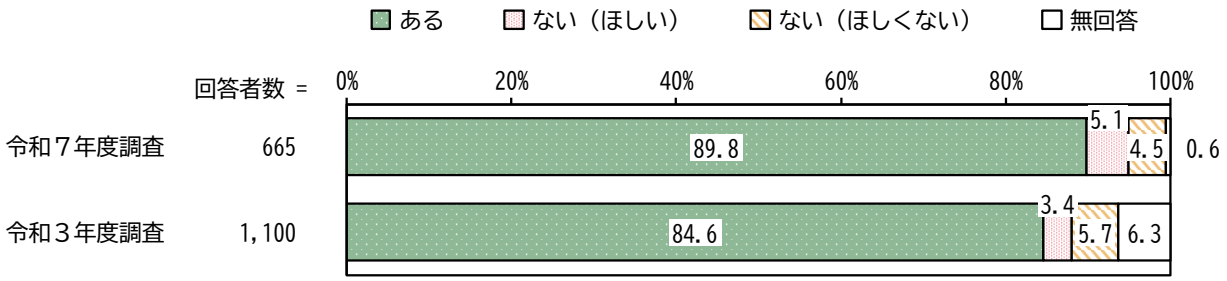
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「ある」の割合が高くなっています。



L　２足以上のサイズのあった靴

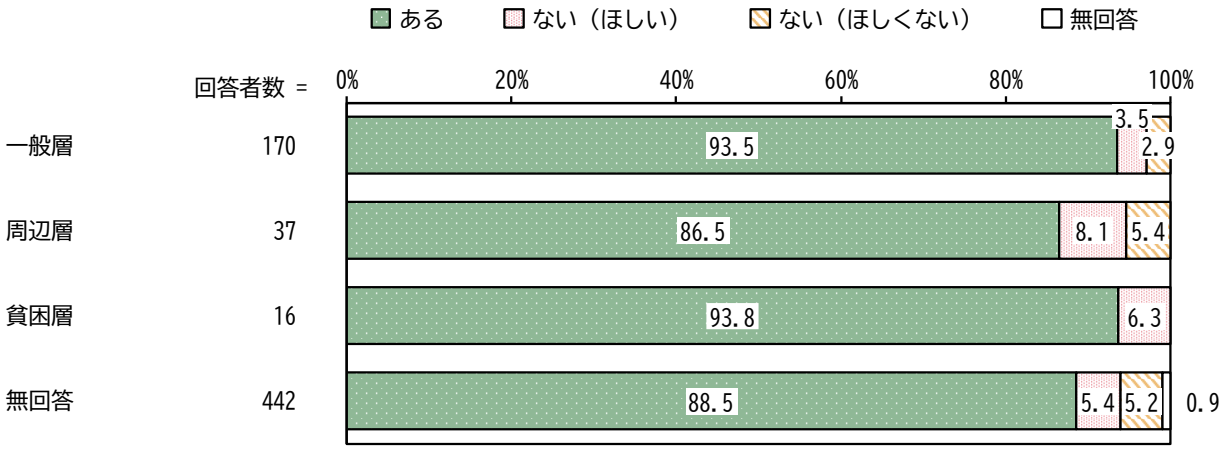
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

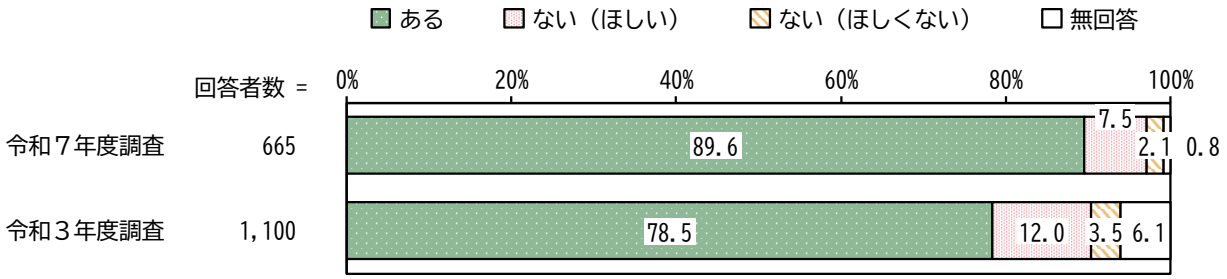
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



M　携帯電話、スマートフォン

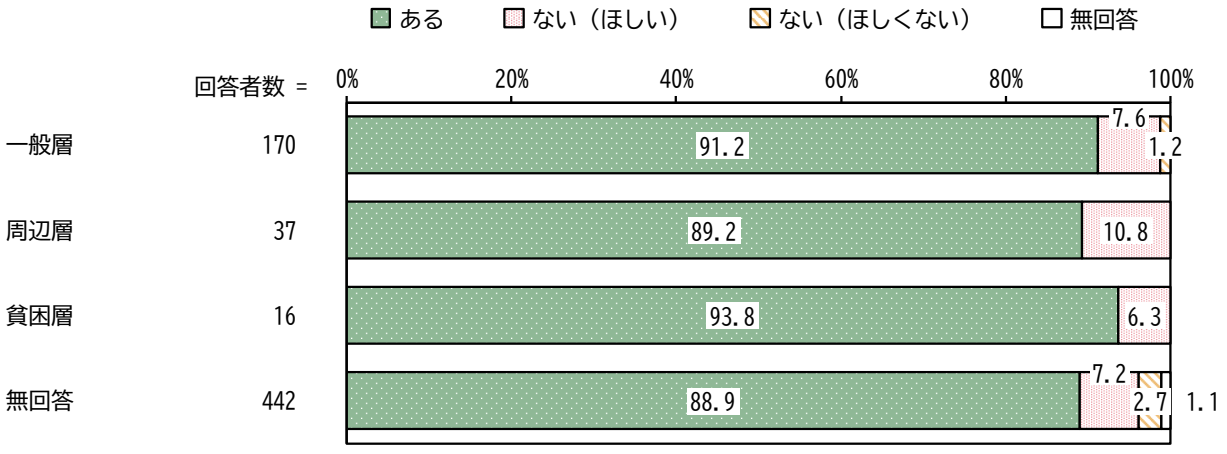
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。



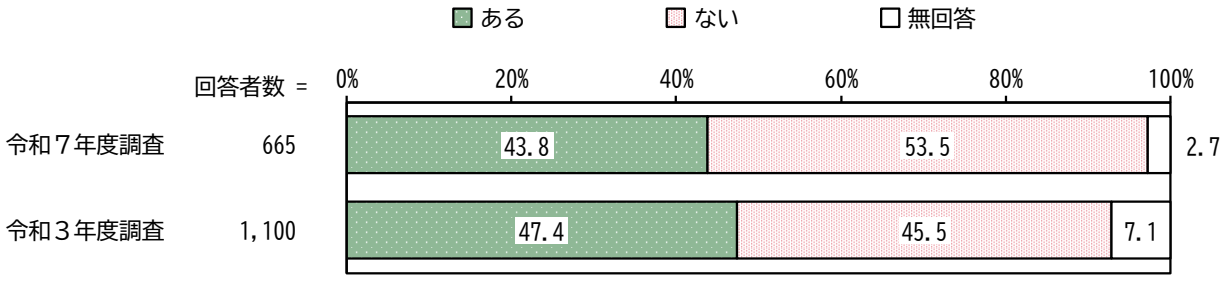
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、大きな差はみられません。

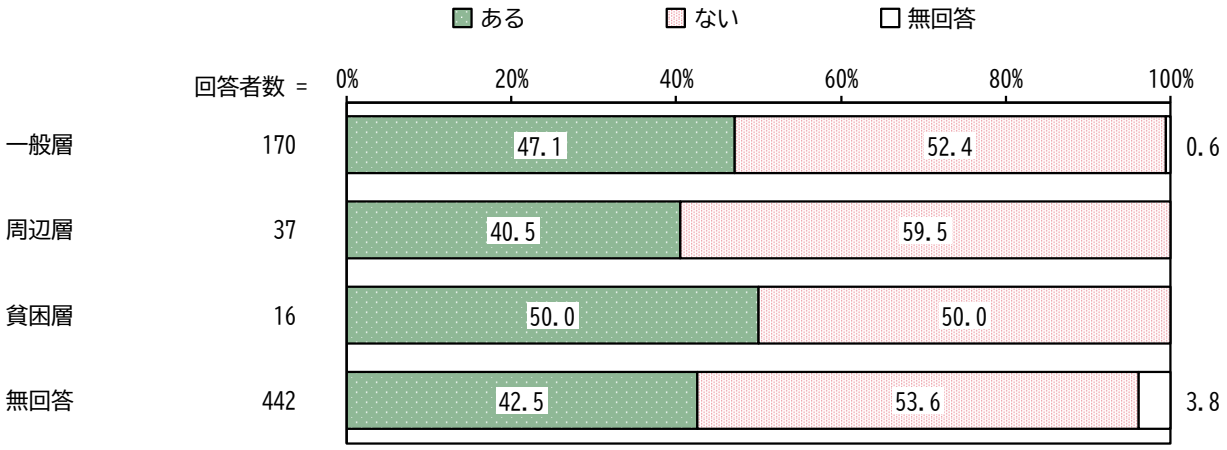


問５　あなたは、将来の夢がありますか。（１つに○）

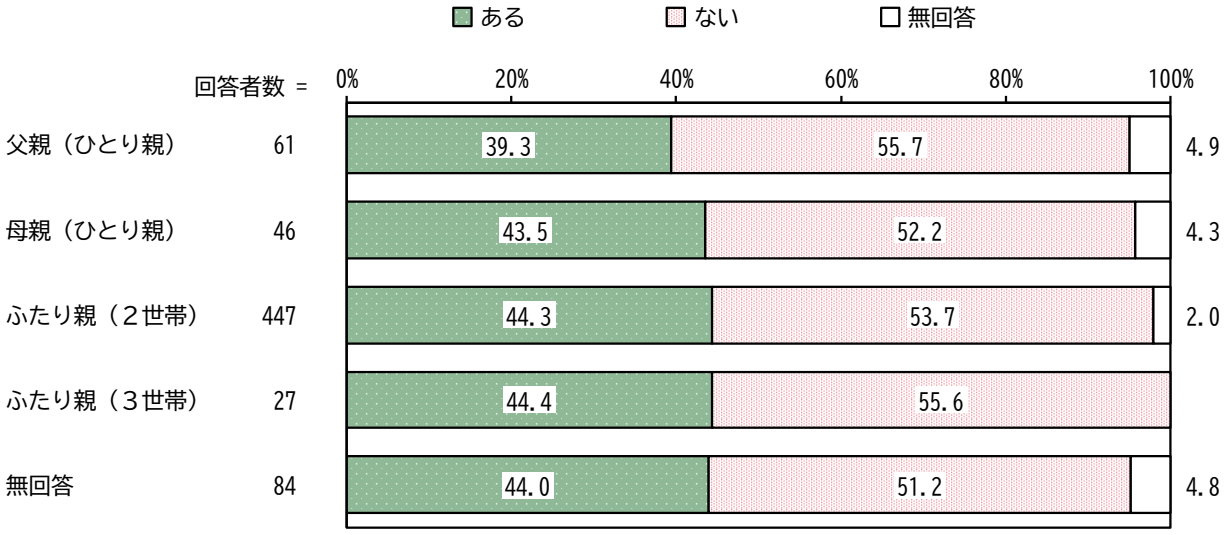
「ある」の割合が 43.8%、「ない」の割合が 53.5%となっています。
令和３年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】
生活困難度別にみると、貧困層で「ある」、周辺層で「ない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】
世帯分類別にみると、大きな差はみられません。



問５で将来の夢が「ある」と答えた人にお聞きします。

問５－１　その夢は何ですか。下の枠の中に書いてください。

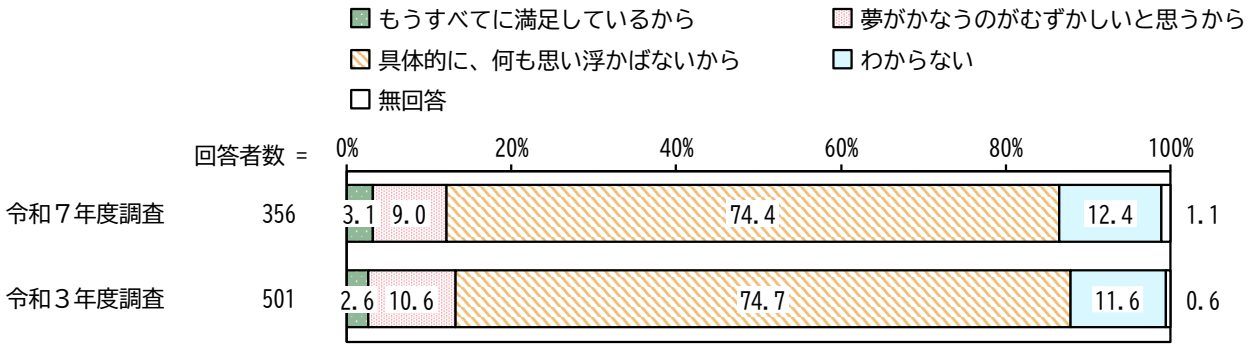
大きく分けて二つの傾向が見られ、一つ目は具体的な職業名を挙げる傾向であり、その中でも特に「サッカー選手」や「野球選手」などのスポーツ選手、「保育士」や「学校の先生」などの教育・保育関連、「医者」や「看護師」といった医療系、「イラストレーター」や「漫画家」などのクリエイティブ職、「パティシエ」や「料理人」などの飲食業、「美容師」などに多数の意見が集まっている一方で、二つ目は特定の職業に限定せず、「お金持ちになる」「外国に住む」「人の役に立つ」「平和に過ごす」「幸せになりたい」といった、自身の理想とする生活様式や他者との関わり方を将来の夢として掲げる傾向となっています。

問５で将来の夢が「ない」と答えた人にお聞きします。

問５－２　夢がない理由は何ですか。（１つに○）

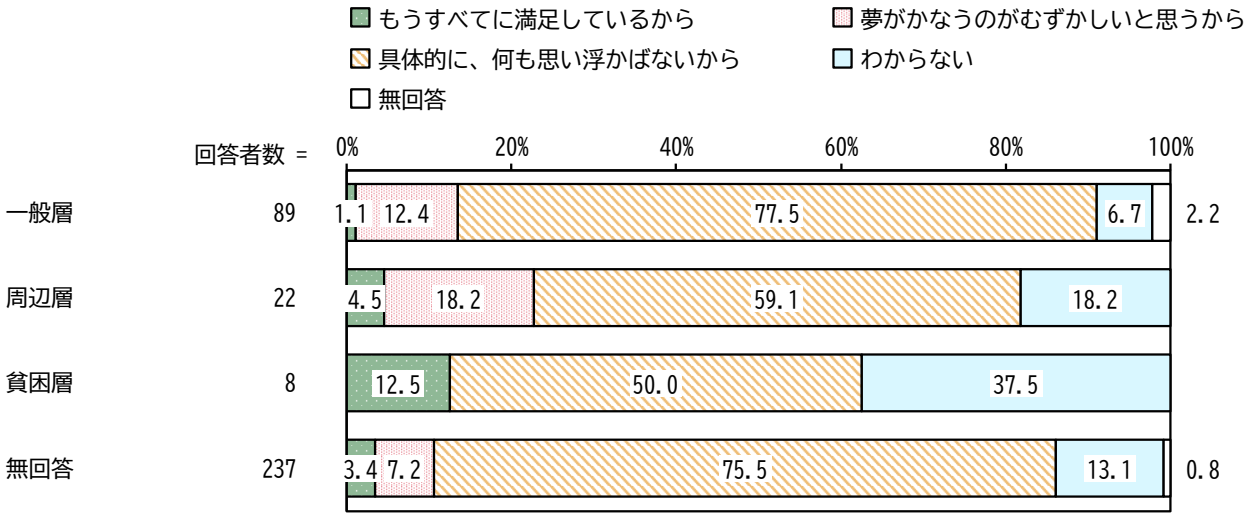
「もうすべてに満足しているから」の割合が 3.1%、「夢がかなうのがむずかしいと思うから」の割合が 9.0%、「具体的に、何も思い浮かばないから」の割合が 74.4%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

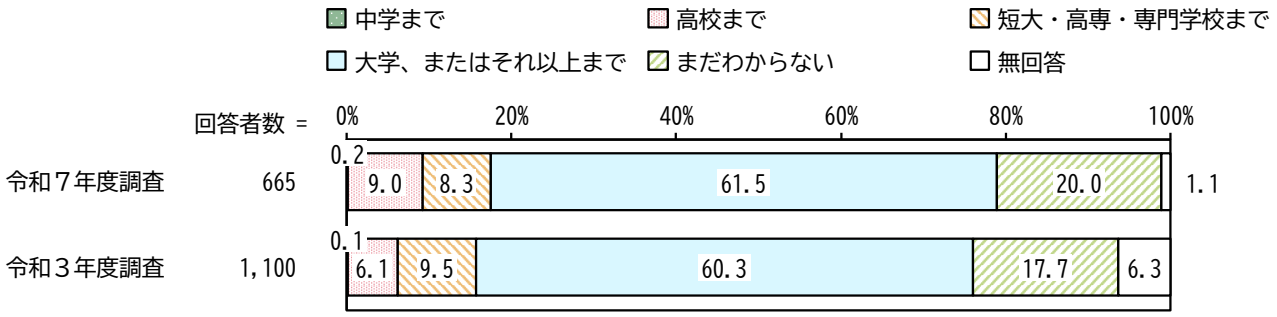
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「もうすべてに満足しているから」の割合が高く、「具体的に、何も思い浮かばないから」の割合が低くなっています。また、一般層で「具体的に、何も思い浮かばないから」の割合が高く、周辺層で「夢がかなうのがむずかしいと思うから」の割合が高くなっています。



問６　あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。あなたの考えにもっとも近いものに○をつけてください。（１つに○）

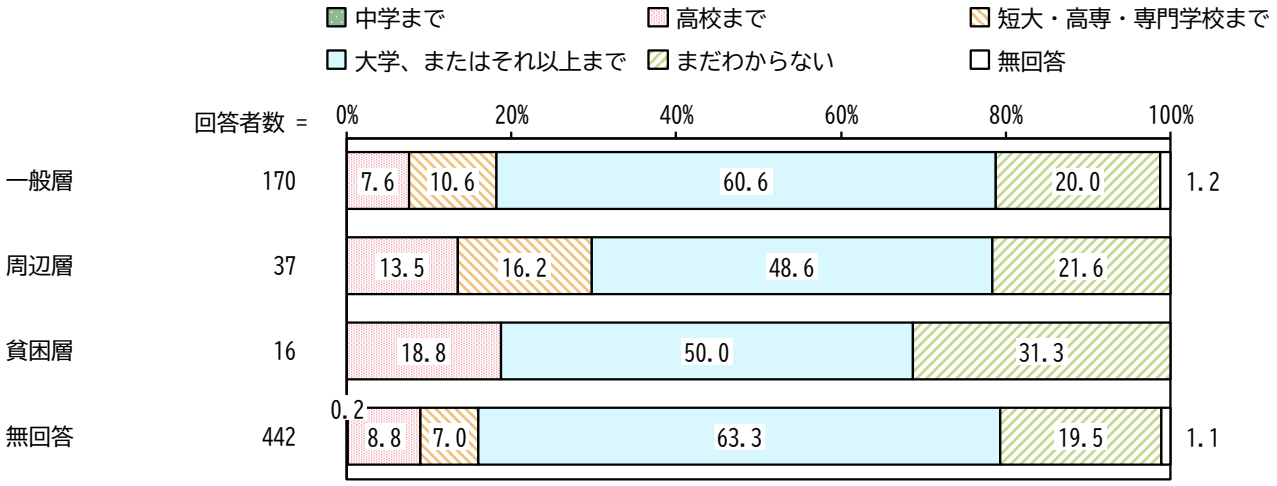
「大学、またはそれ以上まで」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が 20.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「高校まで」「まだわからない」の割合が高くなっています。また、周辺層で「大学、またはそれ以上まで」の割合が低くなっています。

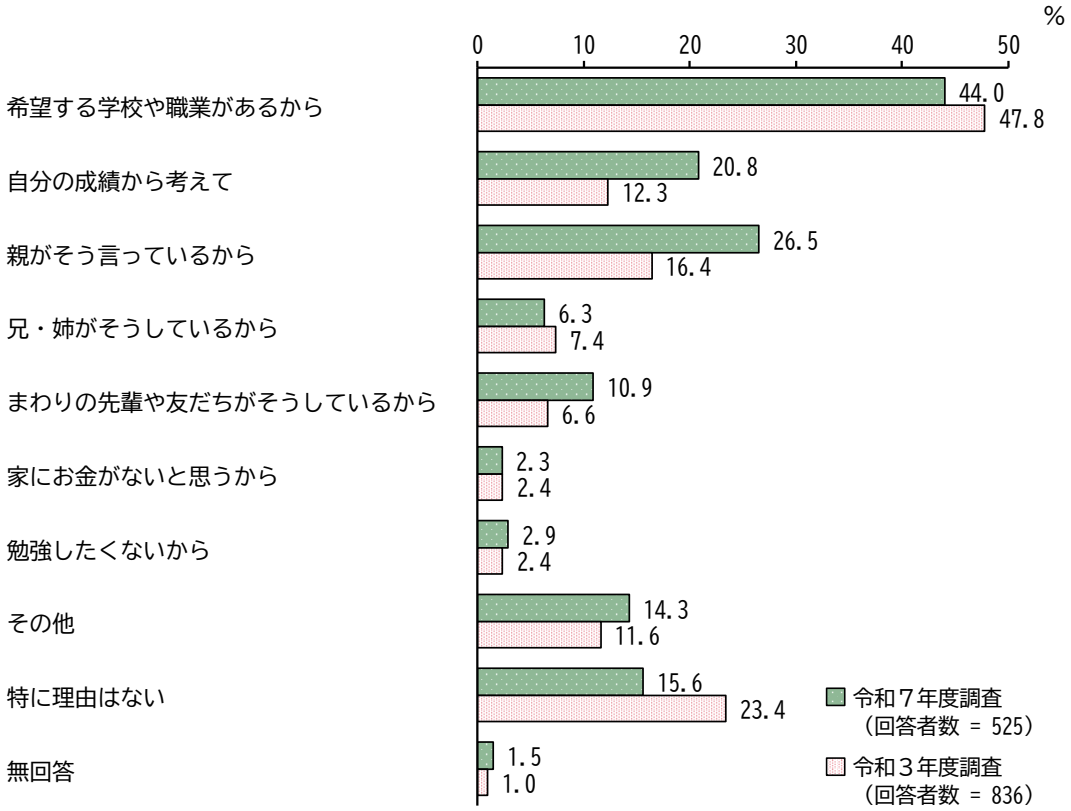


問６で「中学まで」～「大学、またはそれ以上まで」と答えた人にお聞きします。

問６－１　なぜそれを選んだのか、その理由を答えてください。
（あてはまる番号すべてに○）

「希望する学校や職業があるから」の割合が 44.0%と最も高く、次いで「親がそう言っているから」の割合が 26.5%、「自分の成績から考えて」の割合が 20.8%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「自分の成績から考えて」「親がそう言っているから」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

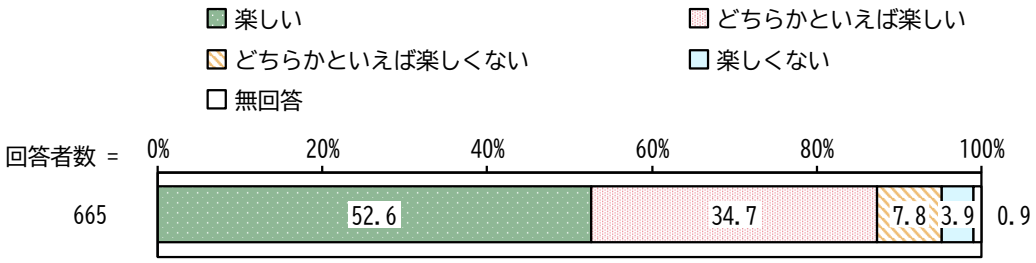
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「自分の成績から考えて」「まわりの先輩や友だちがそうしているから」の割合が高く、「希望する学校や職業があるから」の割合が低くなっています。また、周辺層で「親がそう言っているから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友だちがそうしているから	家にお金がないと思うから	勉強したくないから	その他	特に理由はない	無回答
全　体	525	44.0	20.8	26.5	6.3	10.9	2.3	2.9	14.3	15.6	1.5
一般層	134	46.3	24.6	28.4	5.2	10.4	3.0	1.5	15.7	13.4	2.2
周辺層	29	48.3	24.1	41.4	13.8	3.4	10.3	6.9	3.4	13.8	3.4
貧困層	11	54.5	9.1	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2	0.0
無回答	351	42.5	19.4	24.5	6.3	12.0	1.4	3.1	14.8	16.5	1.1

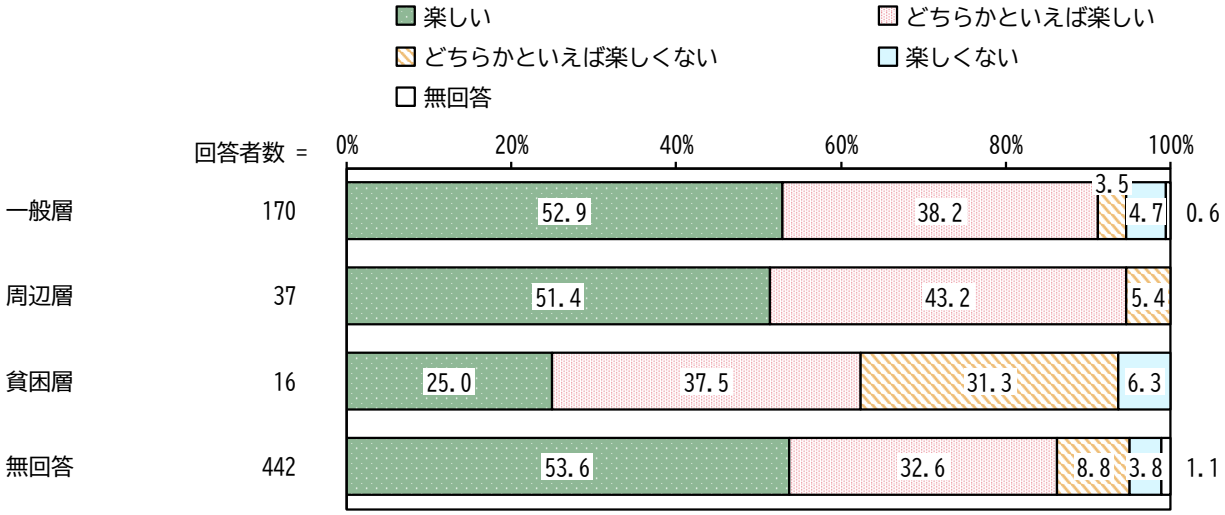
問７　あなたは、学校にいる時間が楽しいですか。（１つに○）

「楽しい」「どちらかといえば楽しい」を合わせた“楽しい”の割合が 87.3%、「どちらかといえば楽しくない」「楽しくない」を合わせた“楽しくない”の割合が 11.7%となっています。



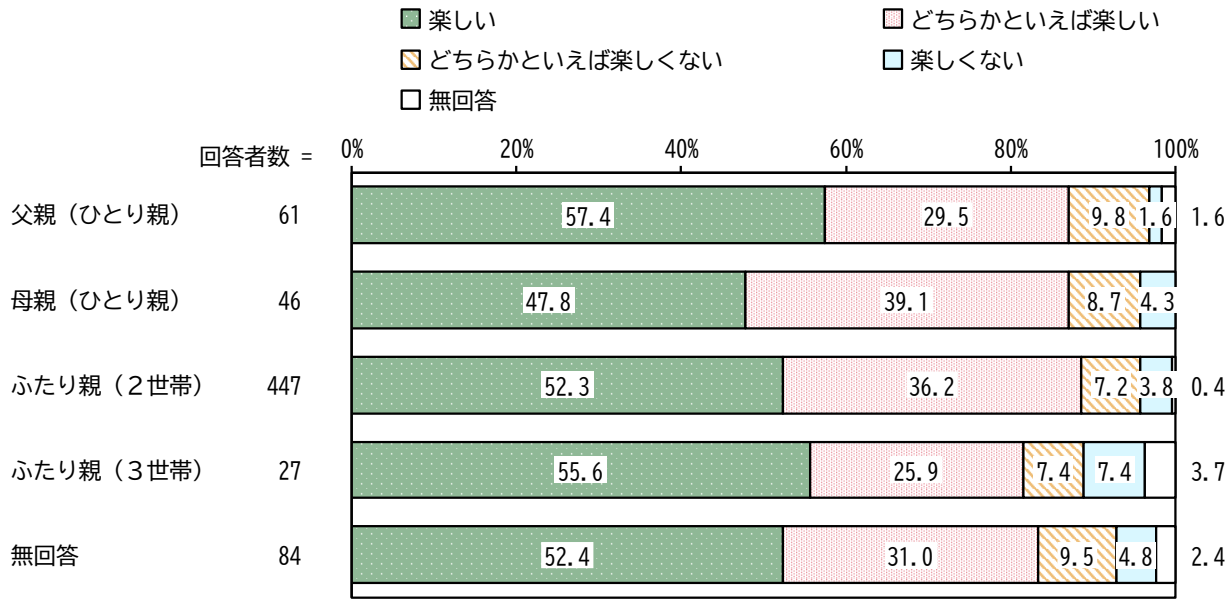
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「どちらかといえば楽しくない」の割合が高く、「楽しい」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

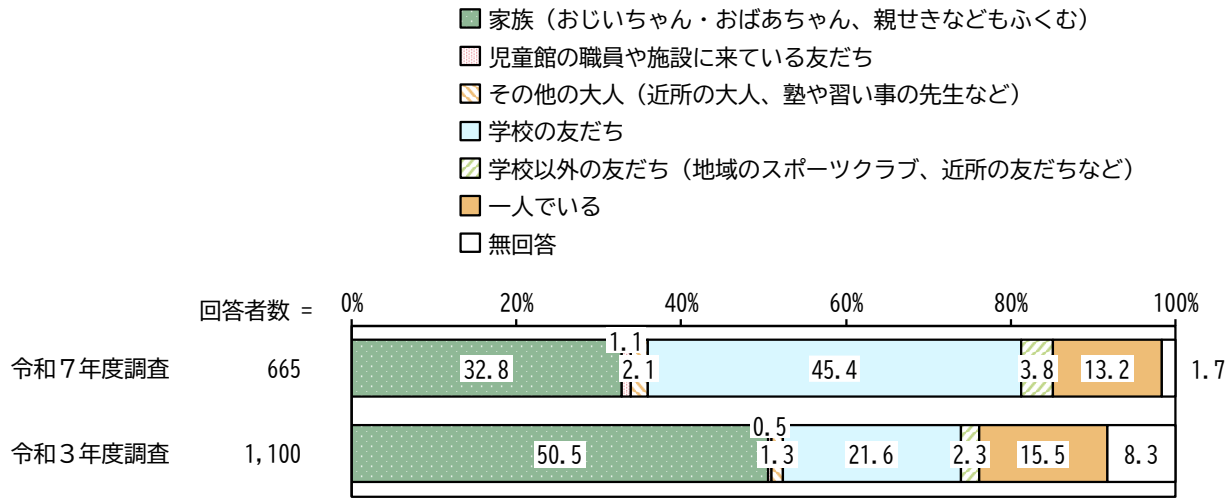
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で“楽しい”の割合が低くなっています。



問８　あなたは、平日（学校へ行く日）の放課後（夕方６時くらいまで）はだれと過ごしますか。一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。（１つに○）

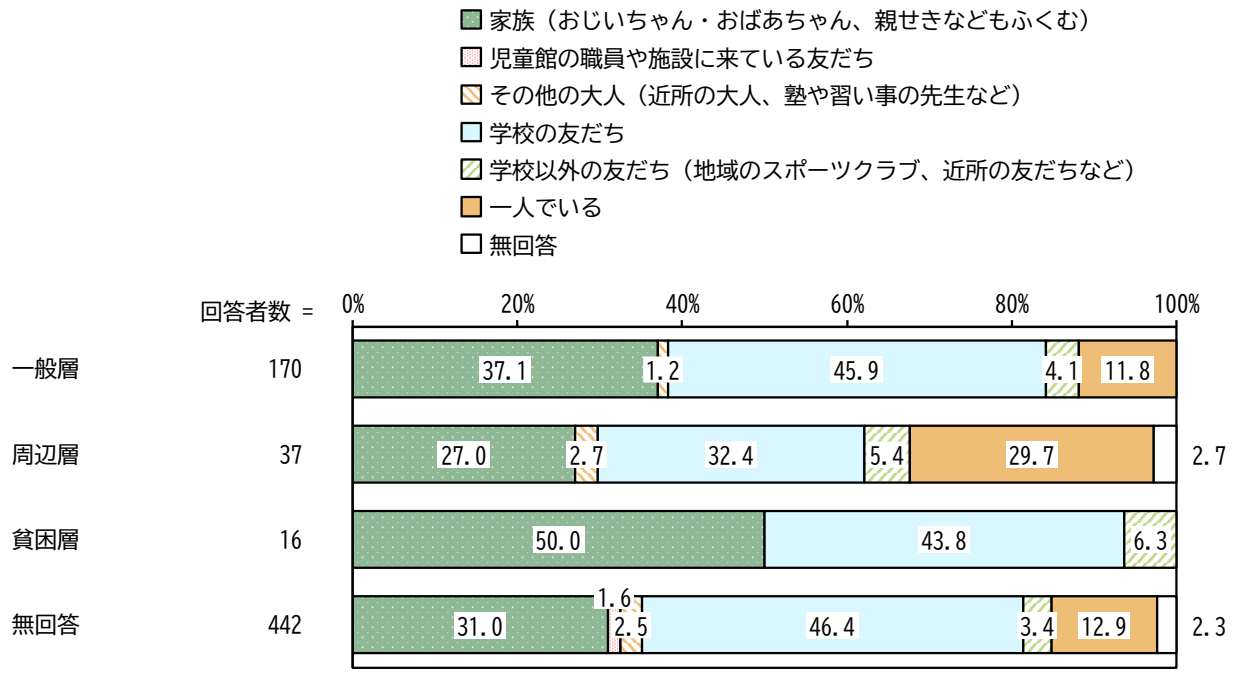
「学校の友だち」の割合が 45.4%と最も高く、次いで「家族（おじいちゃん・おばあちゃん、親せきなどもふくむ）」の割合が 32.8%、「一人でいる」の割合が 13.2%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「学校の友だち」の割合が増加しています。一方、「家族（おじいちゃん・おばあちゃん、親せきなどもふくむ）」の割合が減少しています。



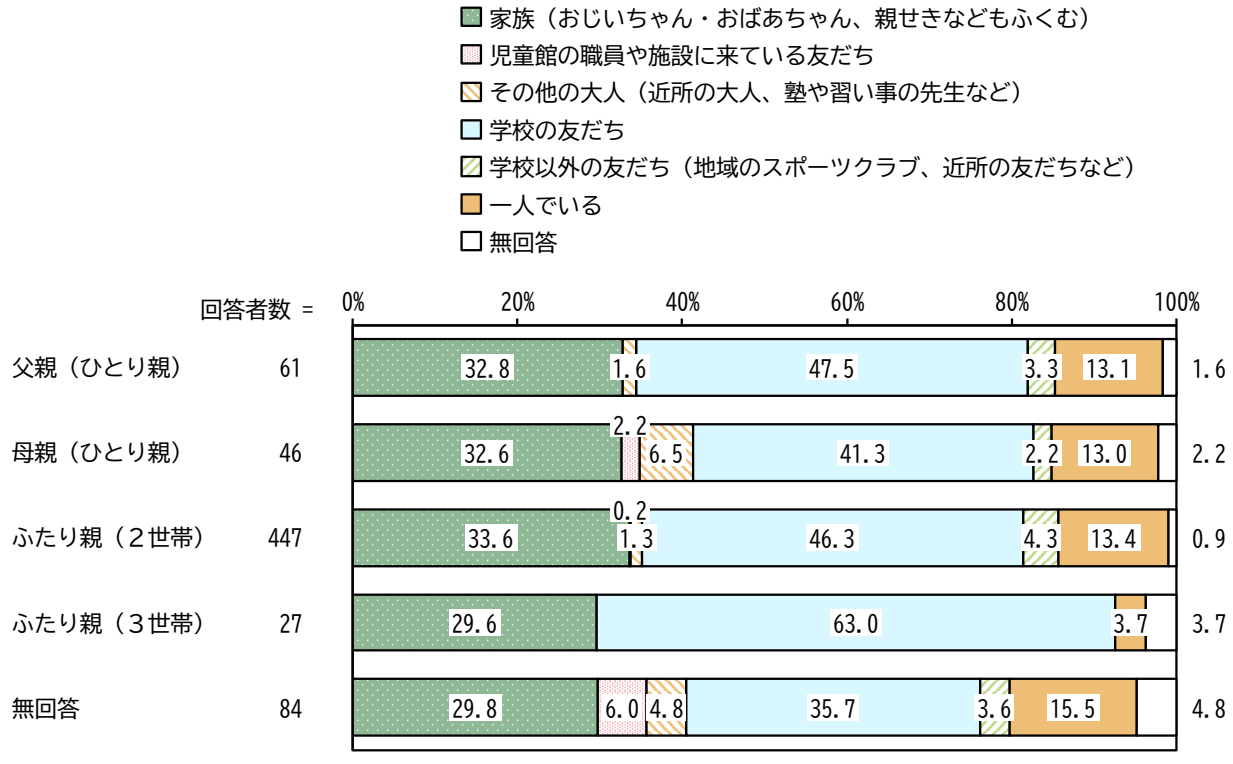
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「家族（おじいちゃん・おばあちゃん、親せきなどもふくむ)」、周辺層で「一人でいる」の割合が高く、周辺層で「学校の友だち」の割合が低くなっています。



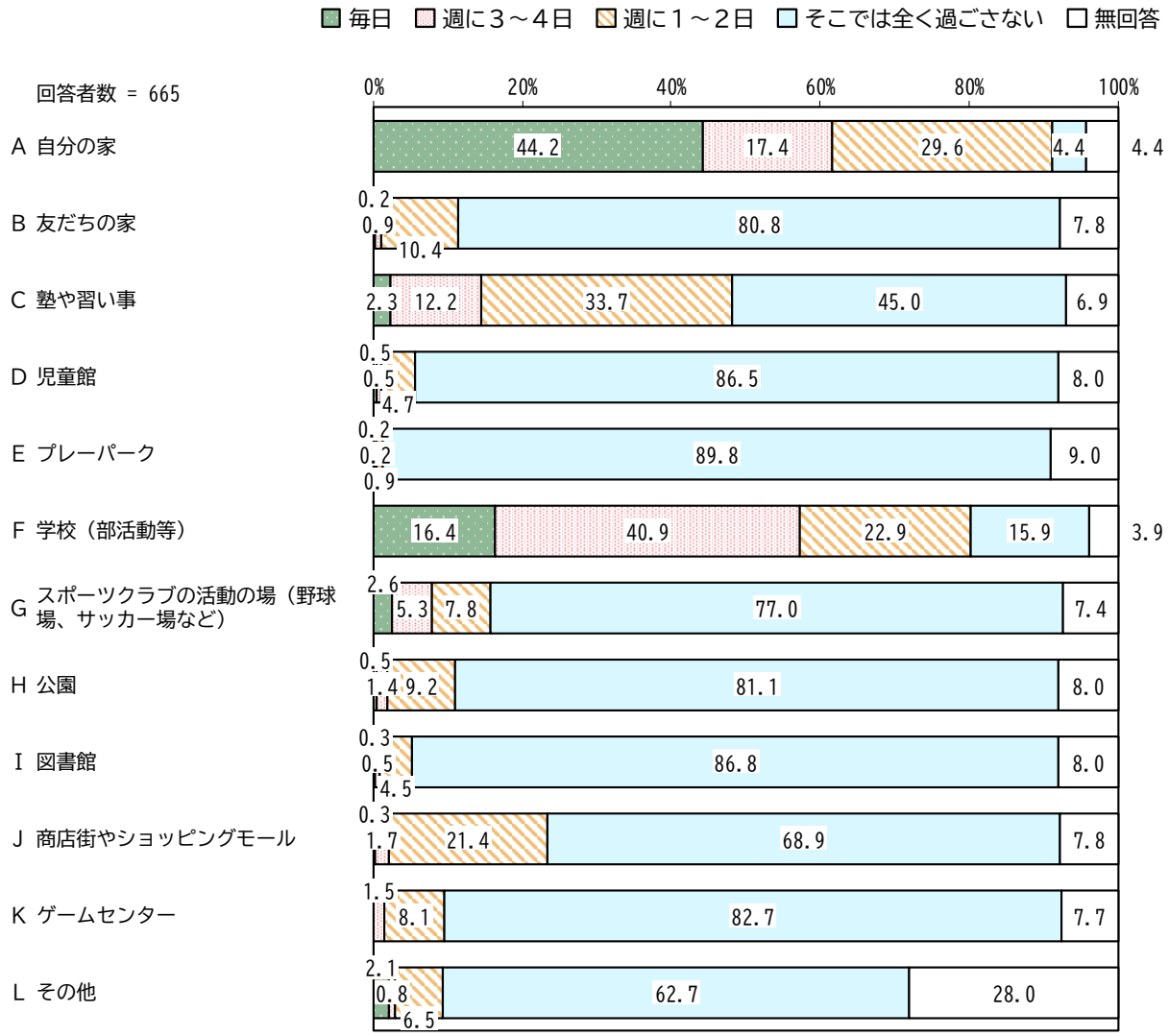
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「学校の友だち」の割合が高く、「一人でいる」の割合が低くなっています。



問９　あなたは、平日（学校へ行く日）の放課後（夕方６時くらいまで）、どこで過ごしますか。１週間のうち、そこで過ごすおおよその日数に○をつけてください。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

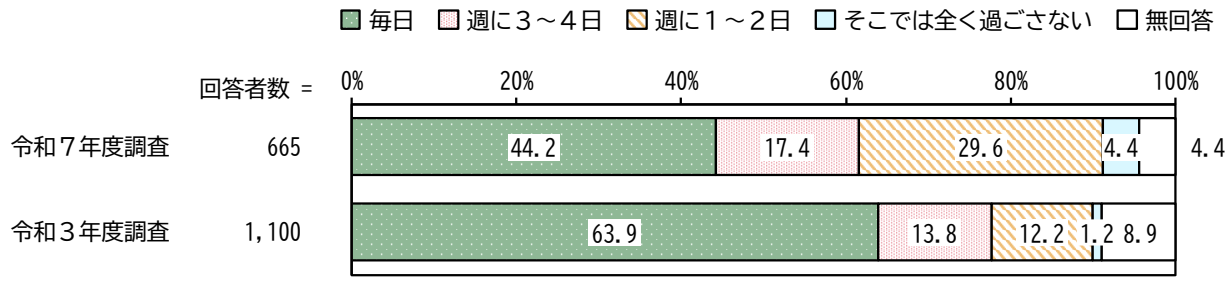
『Ａ　自分の家』で「毎日」が、『Ｆ　学校（部活動等）』で「週に３～４日」が、『Ｃ　塾や習い事』で「週に１～２日」が、『Ｅ　プレーパーク』で「そこでは全く過ごさない」が高くなっています。



A　自分の家

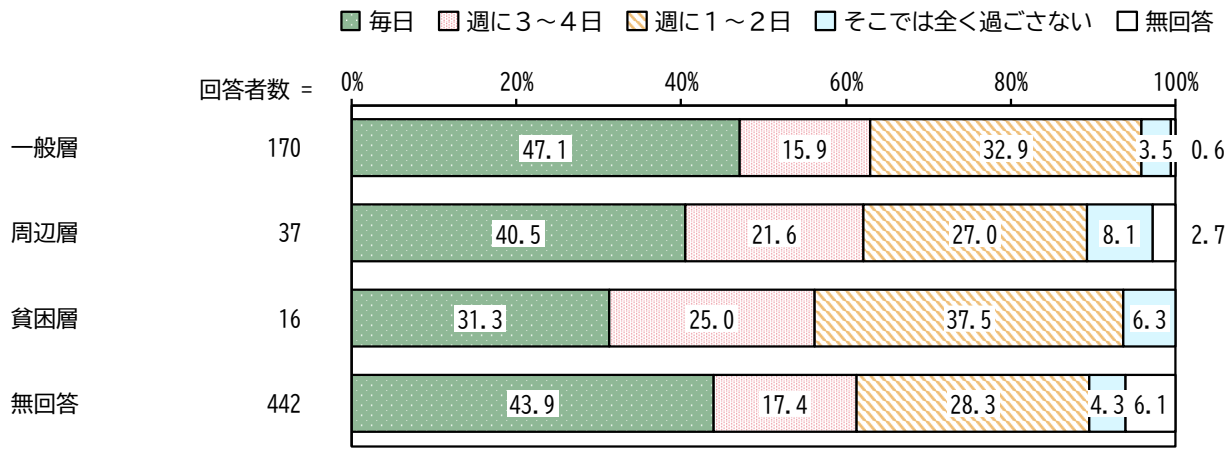
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「週に１～２日」の割合が増加しています。一方、「毎日」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

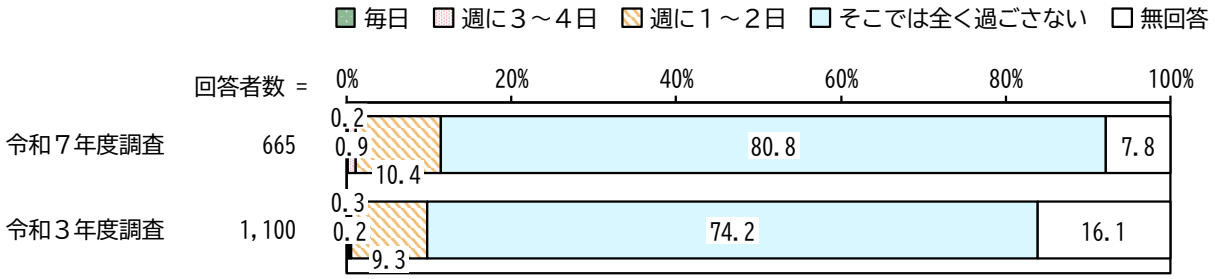
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「週に３～４日」の割合が高く、「毎日」の割合が低くなっています。



B　友だちの家

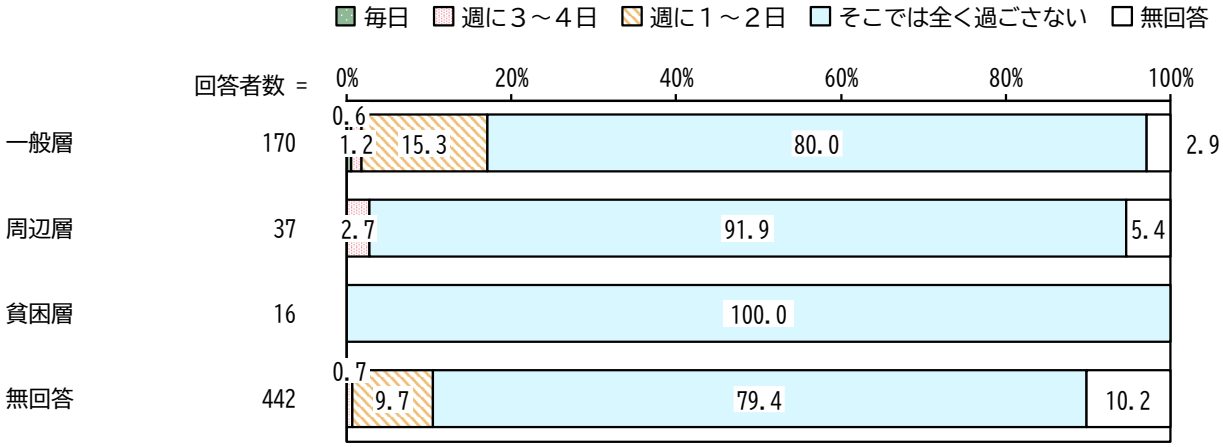
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そこでは全く過ごさない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

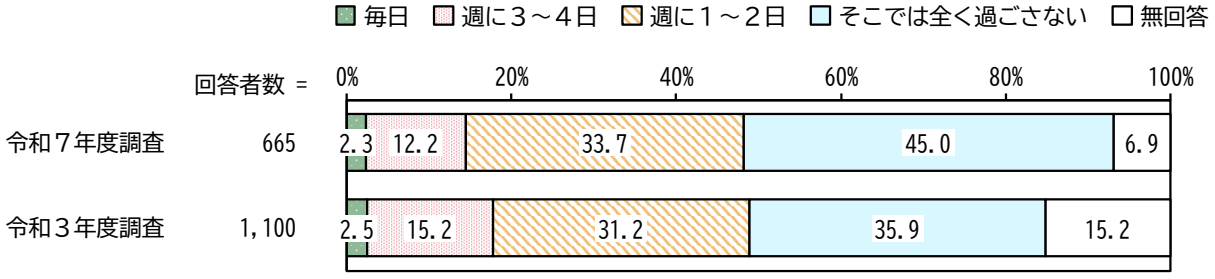
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「そこでは全く過ごさない」の割合が高くなっています。



C　塾や習い事

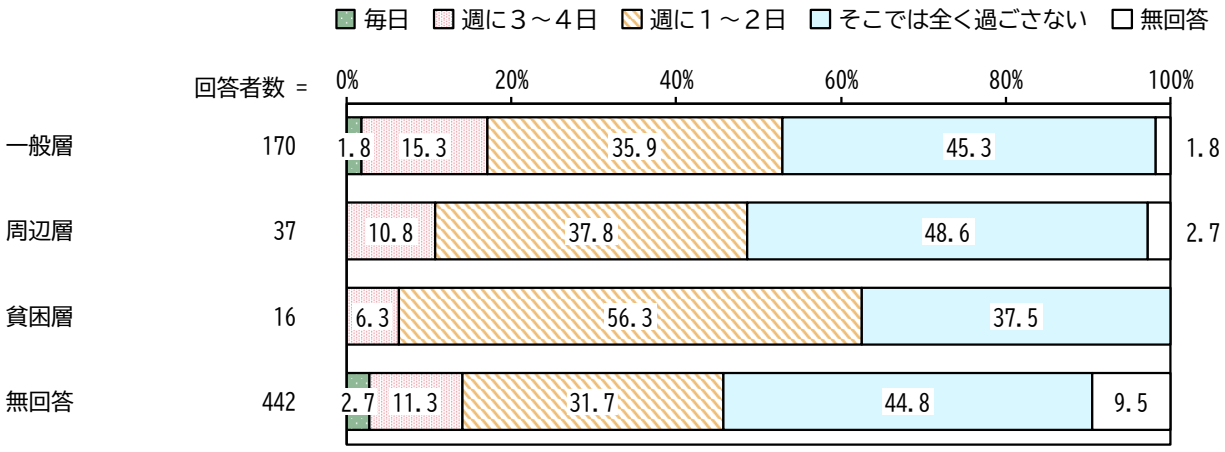
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そこでは全く過ごさない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

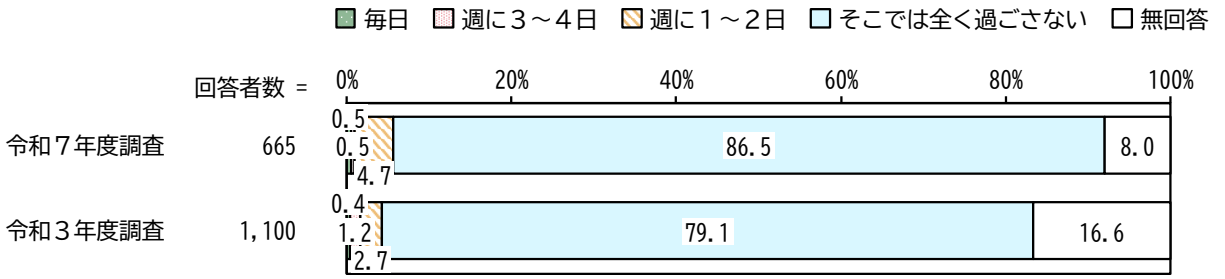
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「週に１～２日」の割合が高く、「週に３～４日」の割合が低くなっています。



D　児童館

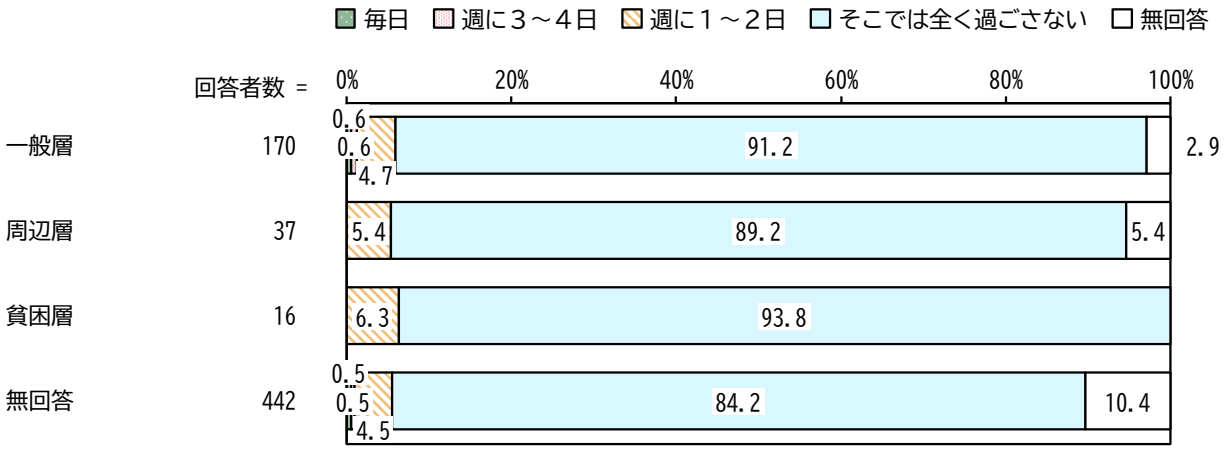
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そこでは全く過ごさない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

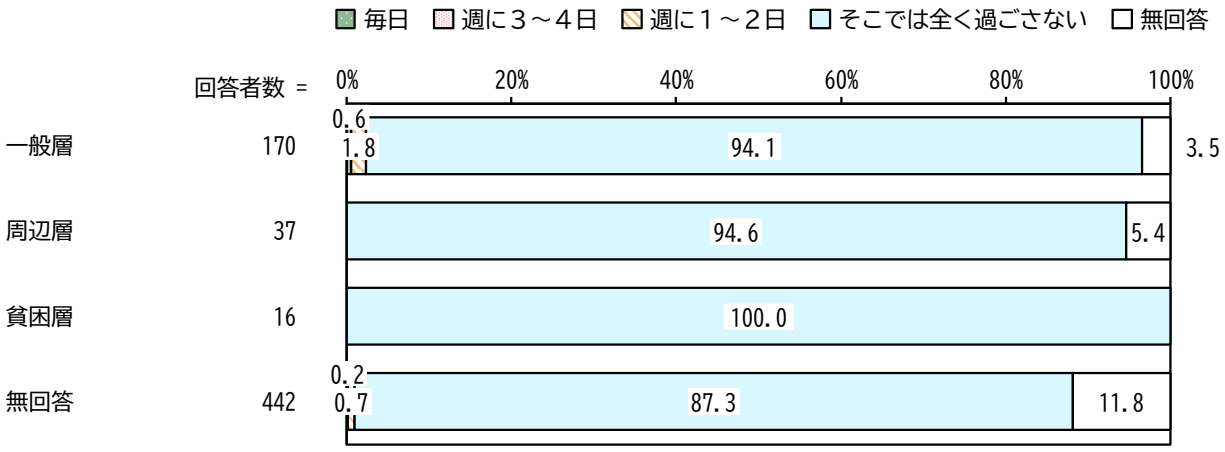
生活困難度別にみると、貧困層で「そこでは全く過ごさない」の割合が高くなっています。



E　プレーパーク

【生活困難度別】

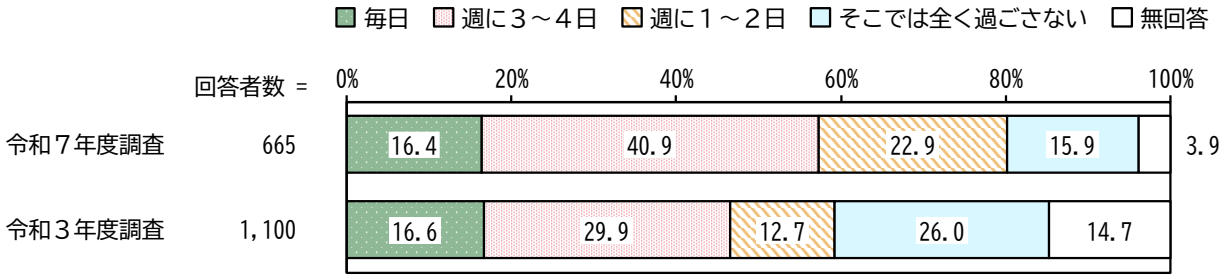
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「そこでは全く過ごさない」の割合が高くなっています。



F　学校（部活動等）

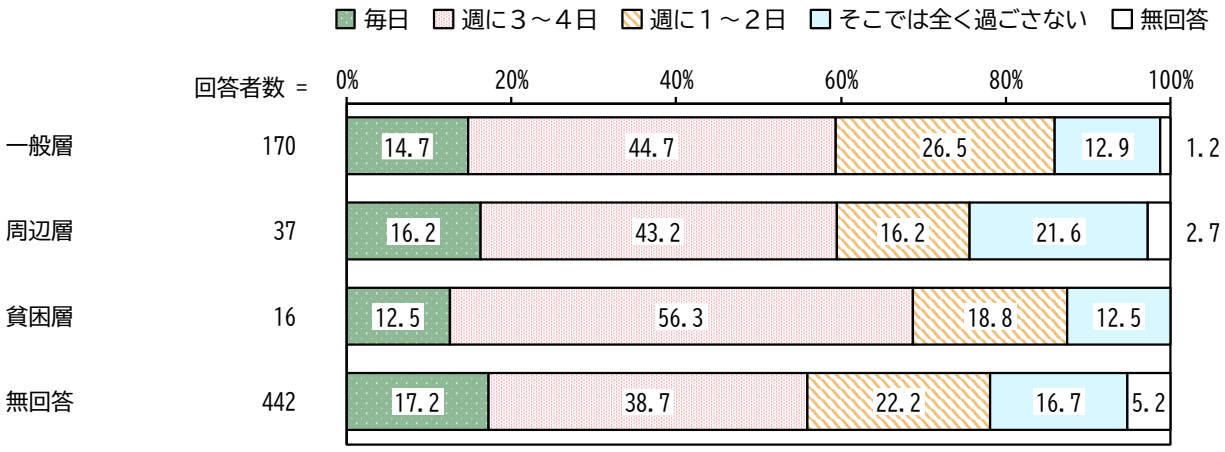
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「週に３～４日」「週に１～２日」の割合が増加しています。一方、「そこでは全く過ごさない」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

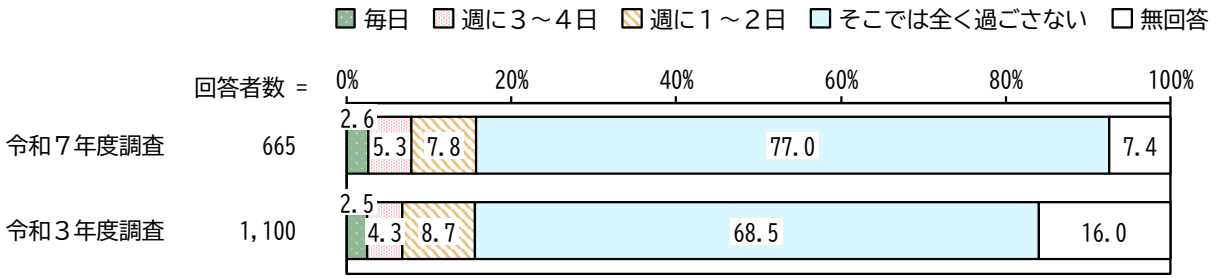
生活困難度別にみると、貧困層で「週に３～４日」、周辺層で「そこでは全く過ごさない」の割合が高くなっています。



G　スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）

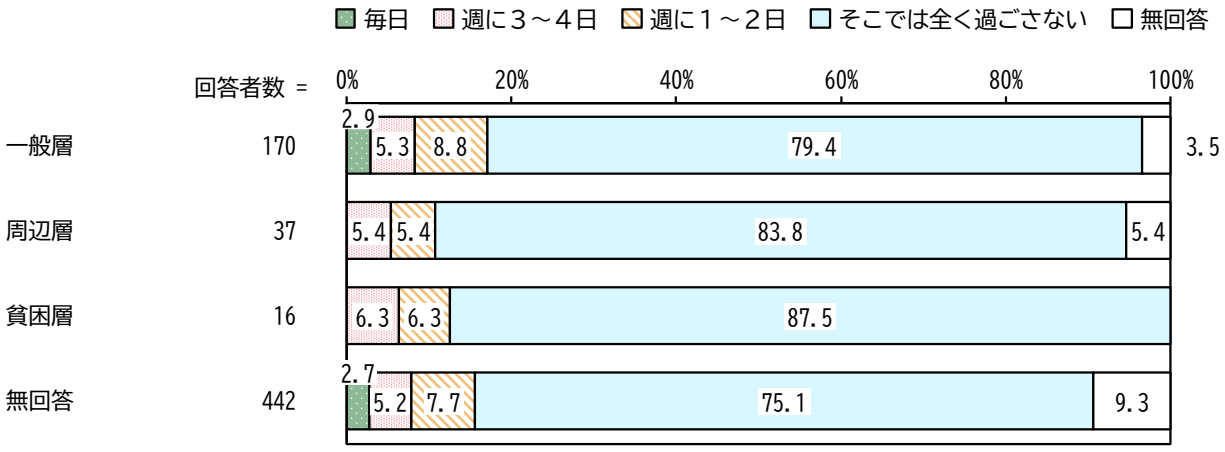
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そこでは全く過ごさない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

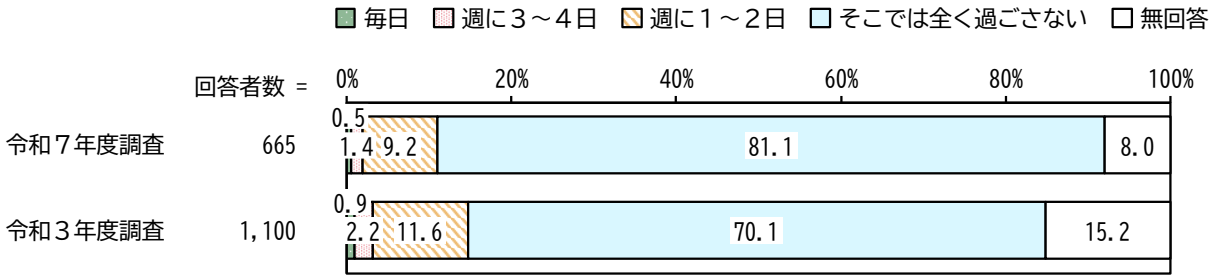
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「そこでは全く過ごさない」の割合が高くなっています。



H　公園

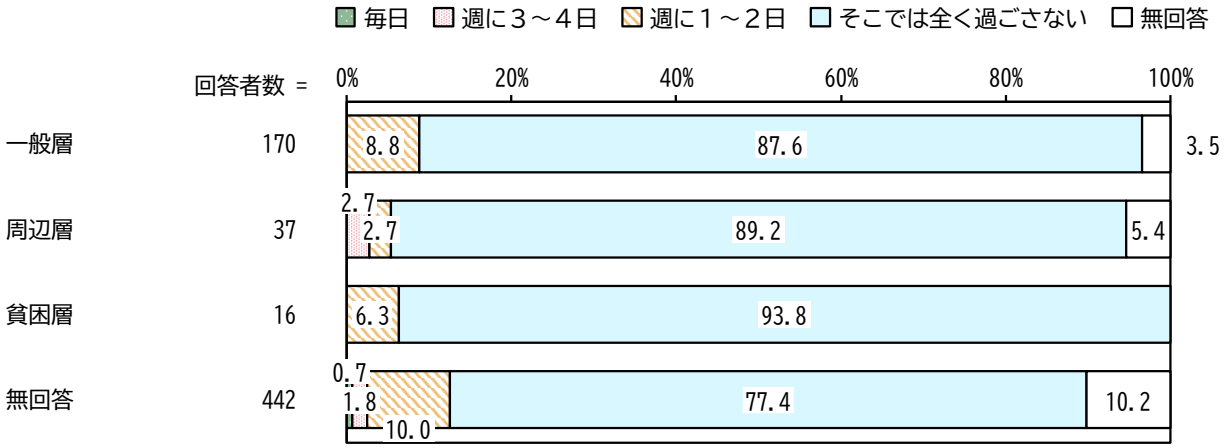
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そこでは全く過ごさない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

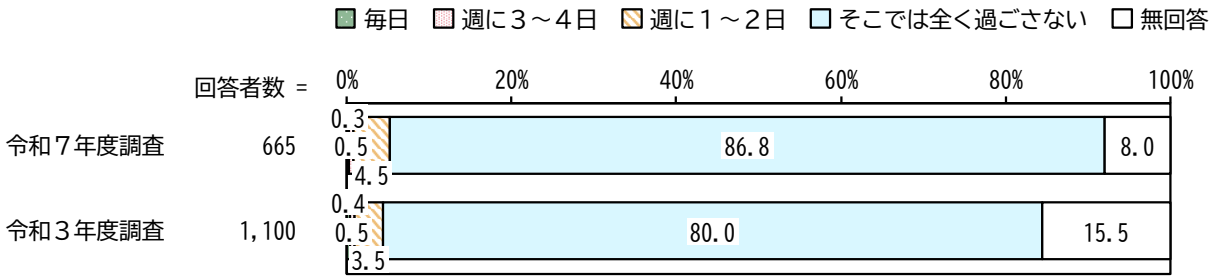
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「そこでは全く過ごさない」の割合が高くなっています。



Ⅰ　図書館

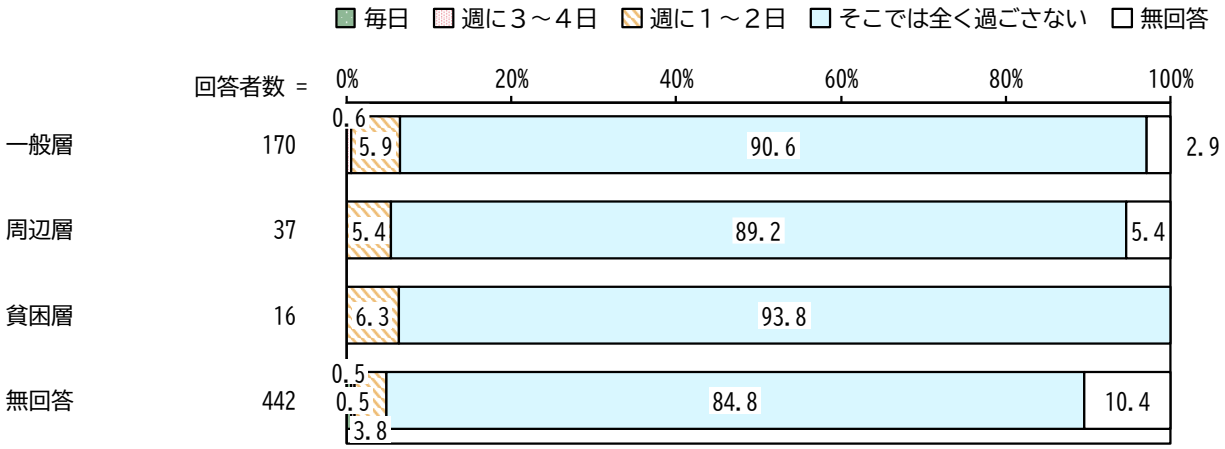
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そこでは全く過ごさない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

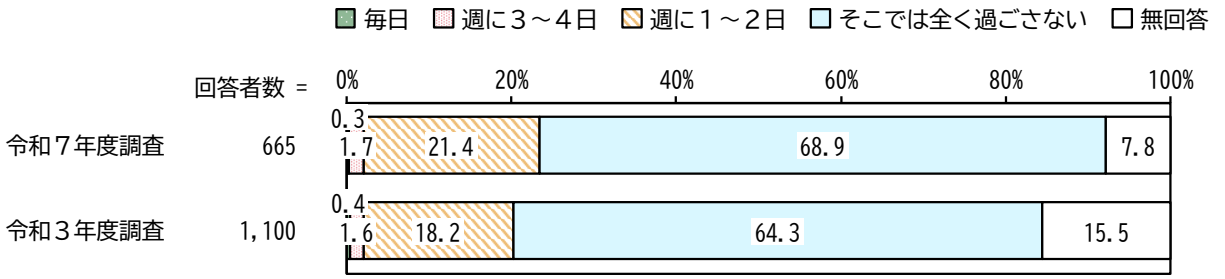
生活困難度別にみると、貧困層で「そこでは全く過ごさない」の割合が高くなっています。



J　商店街やショッピングモール

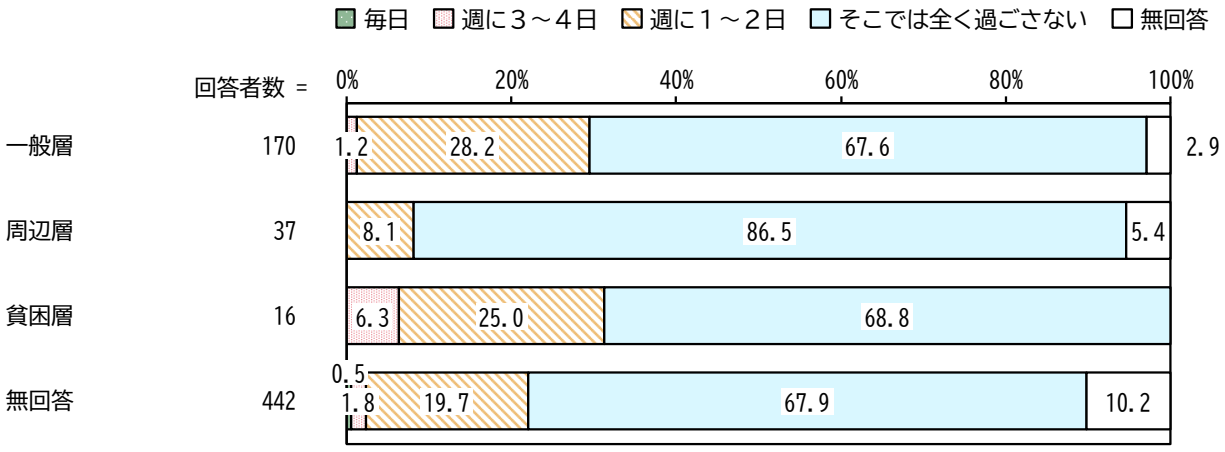
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

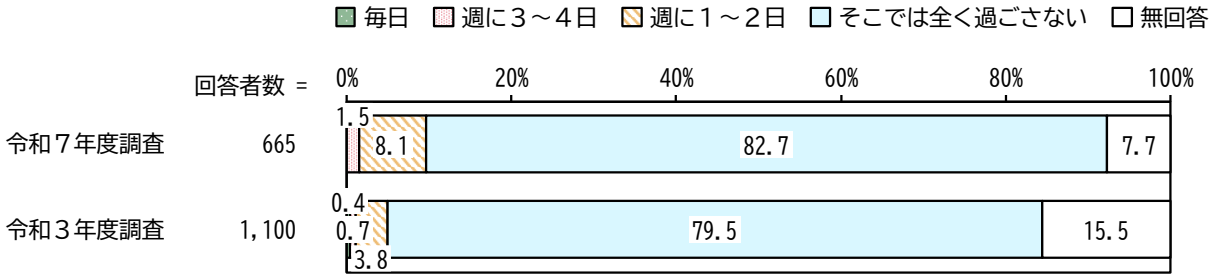
生活困難度別にみると、周辺層で「そこでは全く過ごさない」の割合が高く、「週に１～２日」の割合が低くなっています。



K　ゲームセンター

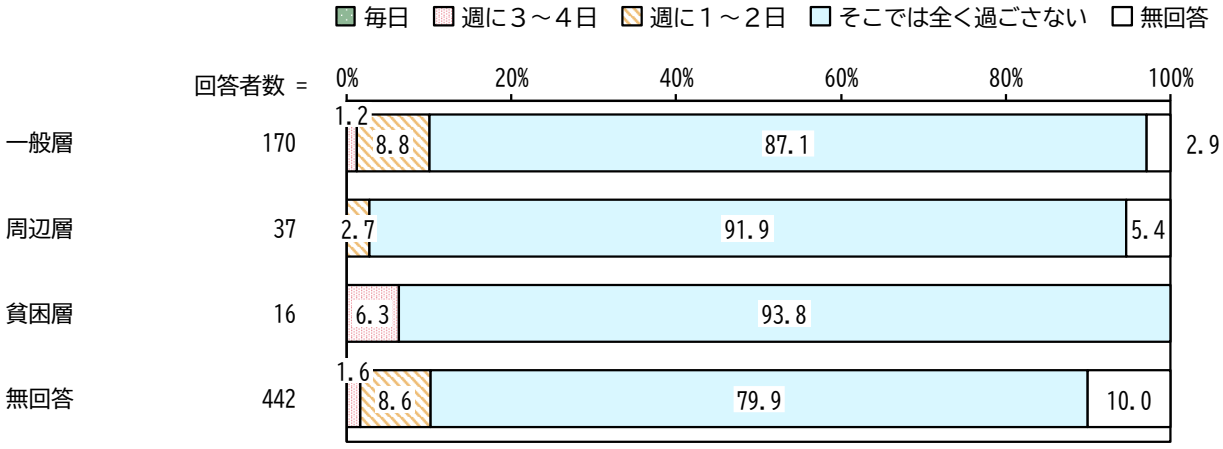
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

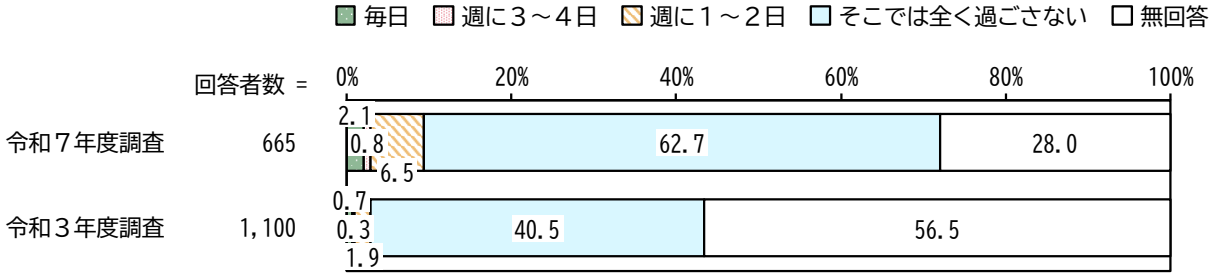
生活困難度別にみると、周辺層、貧困層で「そこでは全く過ごさない」の割合が高くなっています。



L　その他

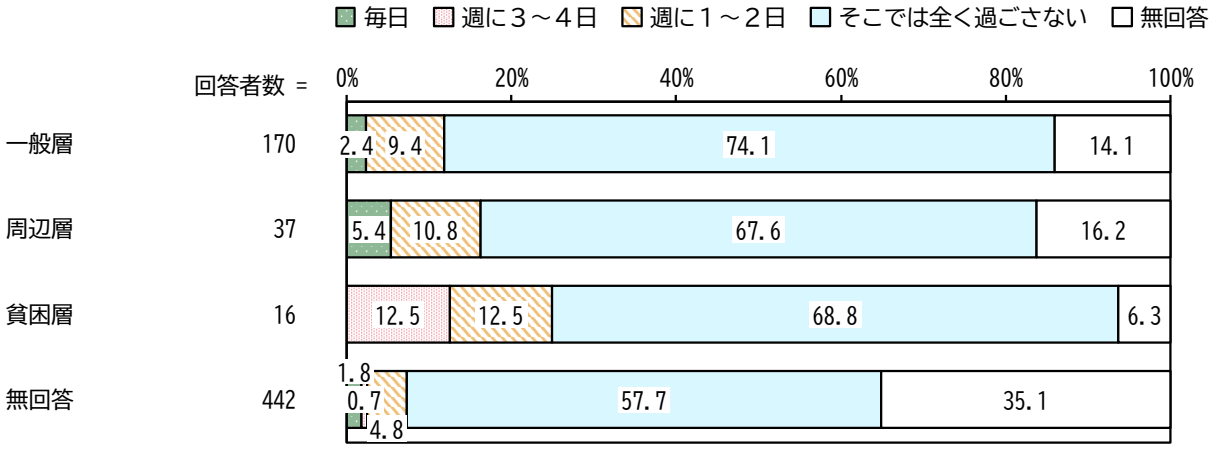
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そこでは全く過ごさない」の割合が増加しています。



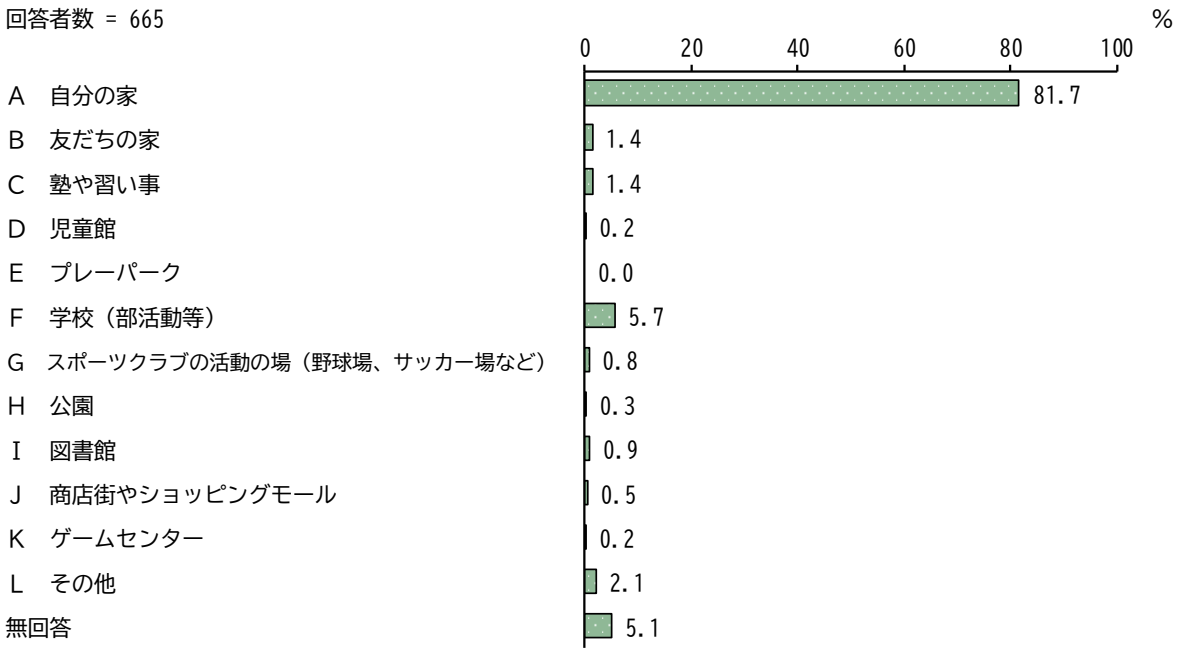
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「週に３～４日」、一般層で「そこでは全く過ごさない」の割合が高くなっています。



問10　問９のＡ～Ｌの場所の中で、あなたが一番ほっとできる居場所はどこですか。１つだけ選んで、その記号をカッコの中に書いてください。Ａ～Ｌにほっとできる居場所がない場合は「ほっとできる居場所はＡ～Ｌ以外」、ほっとできる居場所がない場合は、「ほっとできる居場所はない」に○をつけてください。

「Ａ　自分の家」の割合が 81.7%と最も高くなっています。



【生活困難度別】

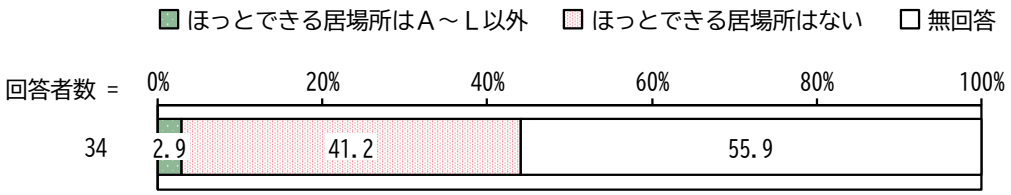
生活困難度別にみると、貧困層で「A　自分の家」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	A 自分の家	B 友だちの家	C 塾や習い事	D 児童館	E プレーパーク	F 学校（部活動等）	G スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）	H 公園	I 図書館	J 商店街やショッピングモール	K ゲームセンター	L その他	無回答
全　体	665	81.7	1.4	1.4	0.2	0.0	5.7	0.8	0.3	0.9	0.5	0.2	2.1	5.1
一般層	170	82.9	1.2	1.2	0.6	0.0	6.5	1.2	0.6	0.6	0.0	0.0	2.9	2.4
周辺層	37	81.1	5.4	2.7	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	2.7	2.7
貧困層	16	87.5	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
無回答	442	81.0	1.1	1.1	0.0	0.0	5.9	0.7	0.2	0.9	0.7	0.2	1.8	6.3

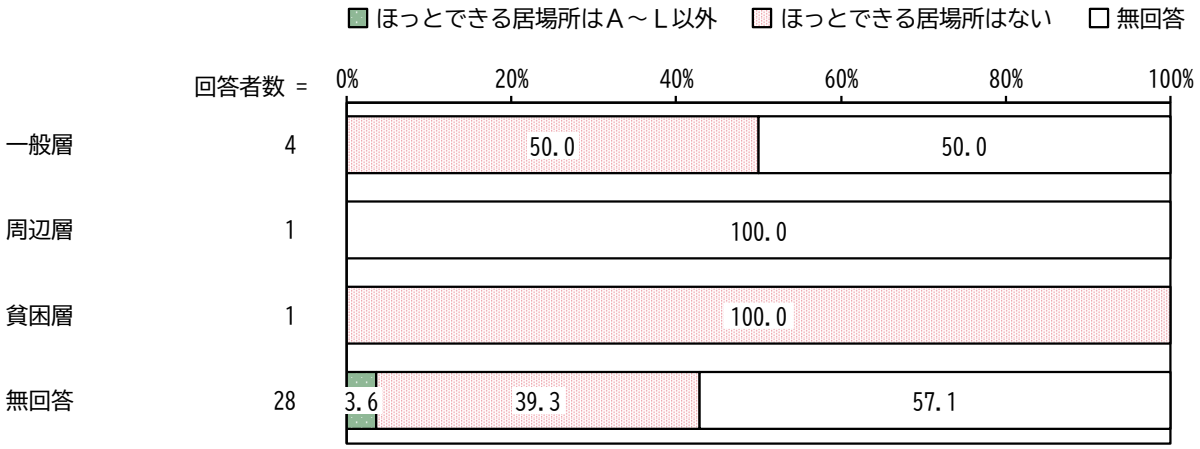
A～Lの中からどれも選べない場合（どちらかに○）

「ほっとできる居場所はA～L以外」の割合が2.9%、「ほっとできる居場所はない」の割合が41.2%となっています。



【生活困難度別】

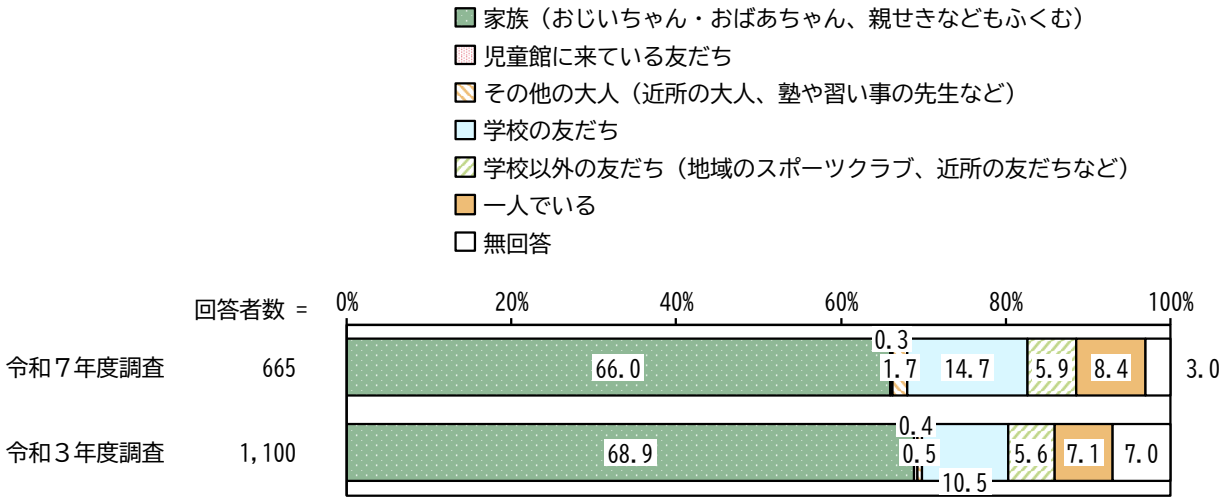
有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



問 11　あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後はだれと過ごしますか。一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。（１つに○）

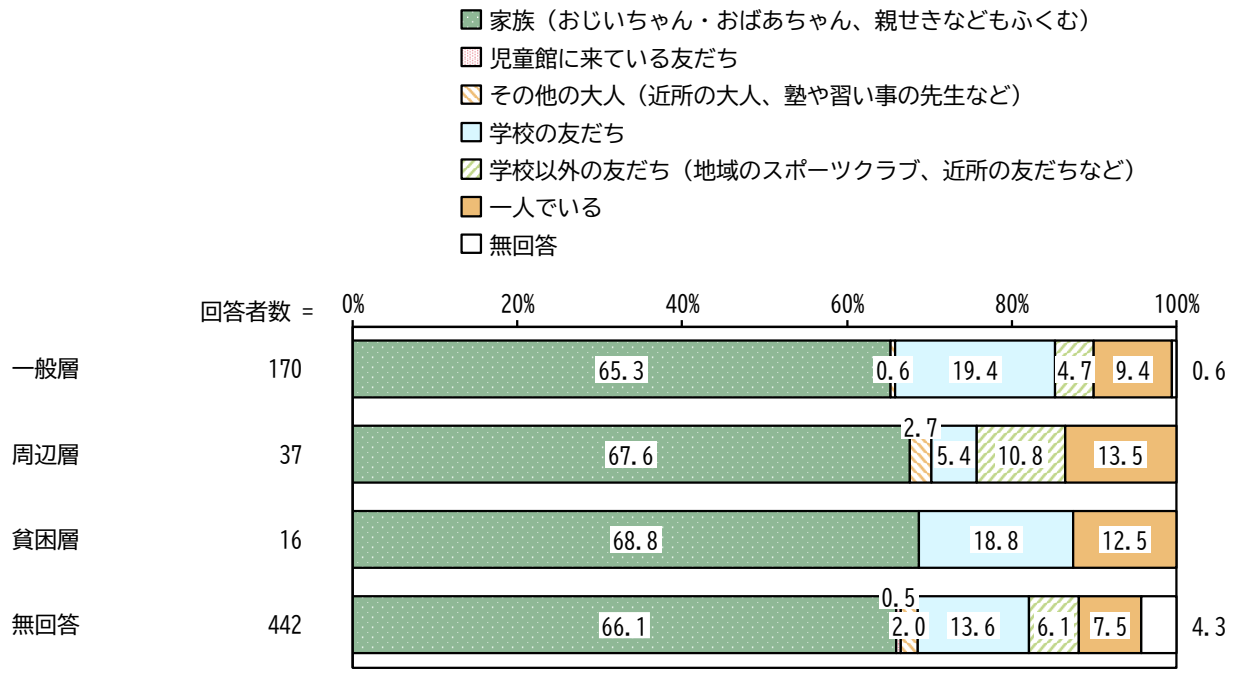
「家族（おじいちゃん・おばあちゃん、親せきなどもふくむ）」の割合が 66.0%と最も高く、次いで「学校の友だち」の割合が 14.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



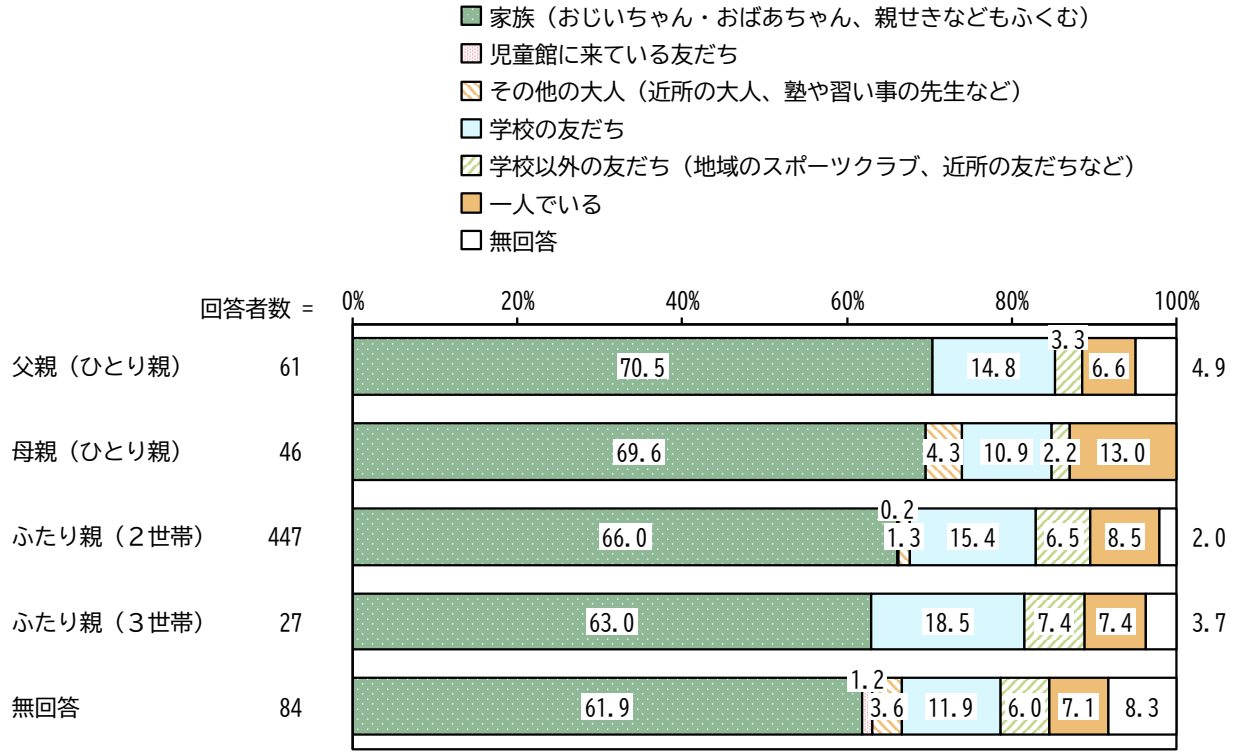
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「一人でいる」の割合が高く、「学校の友だち」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

世帯分類別にみると、大きな差はみられません。



問 12　あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後、どこで過ごしますか。一番多く過ごす場所に○をつけてください（１つに○）

「自分の家」の割合が 73.1%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	自分の家	友だちの家	塾や習い事	児童館	学校（クラブ活動等）	スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）	公園	図書館	商店街やショッピングモール	ゲームセンター	その他	無回答
令和７年度調査	665	73.1	2.1	1.8	0.8	4.4	5.4	1.1	0.2	7.2	0.5	1.4	2.3
令和３年度調査	1,100	73.5	0.5	2.2	0.6	1.0	5.9	3.3	0.2	4.5	0.5	0.8	6.9

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「自分の家」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	自分の家	友だちの家	塾や習い事	児童館	学校（クラブ活動等）	スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）	公園	図書館	商店街やショッピングモール	ゲームセンター	その他	無回答
全　体	665	73.1	2.1	1.8	0.8	4.4	5.4	1.1	0.2	7.2	0.5	1.4	2.3
一般層	170	73.5	2.9	0.6	0.6	5.9	6.5	0.6	0.0	5.9	1.8	0.6	1.2
周辺層	37	75.7	2.7	2.7	0.0	5.4	5.4	0.0	0.0	8.1	0.0	0.0	0.0
貧困層	16	81.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0
無回答	442	72.4	1.8	2.3	0.9	3.8	5.2	1.1	0.2	7.7	0.0	1.6	2.9

【世帯分類別】

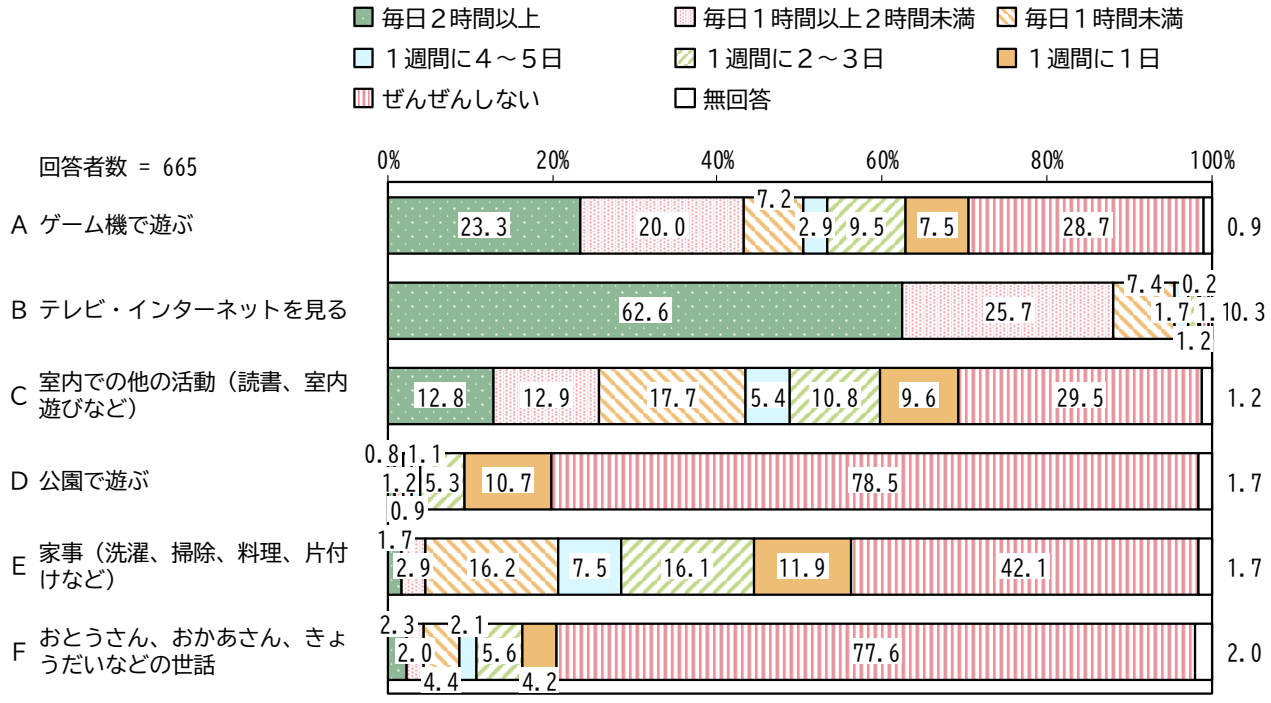
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「自分の家」、父親（ひとり親）で「商店街やショッピングモール」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自分の家	友だちの家	塾や習い事	児童館	学校（クラブ活動等）	スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）	公園	図書館	商店街やショッピングモール	ゲームセンター	その他	無回答
全　体	665	73.1	2.1	1.8	0.8	4.4	5.4	1.1	0.2	7.2	0.5	1.4	2.3
父親（ひとり親）	61	72.1	1.6	0.0	0.0	4.9	3.3	0.0	0.0	14.8	0.0	0.0	3.3
母親（ひとり親）	46	78.3	4.3	4.3	0.0	4.3	2.2	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0
ふたり親（２世帯）	447	73.6	2.2	2.0	1.1	4.9	6.3	0.7	0.0	5.8	0.7	0.9	1.8
ふたり親（３世帯）	27	74.1	0.0	0.0	0.0	3.7	7.4	3.7	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
無回答	84	67.9	1.2	1.2	0.0	1.2	3.6	3.6	1.2	8.3	0.0	6.0	6.0

問 13　あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

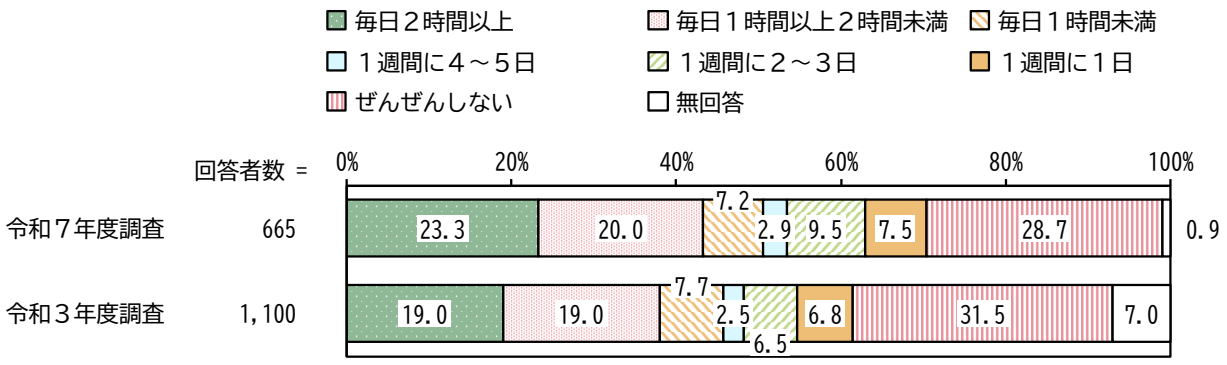
『B　テレビ・インターネットを見る』で「毎日２時間以上」「毎日１時間以上２時間未満」が、『C　室内での他の活動（読書、室内遊びなど）』で「毎日１時間未満」が、『E　家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）』で「１週間に４～５日」「１週間に２～３日」「１週間に１日」が、『D　公園で遊ぶ』で「ぜんぜんしない」が高くなっています。



A　ゲーム機で遊ぶ

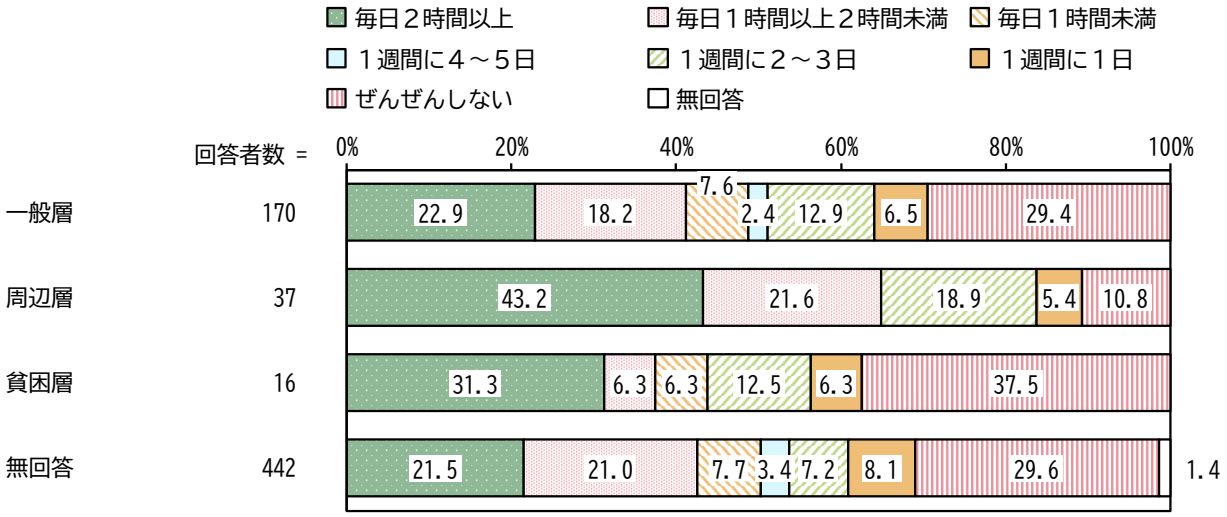
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

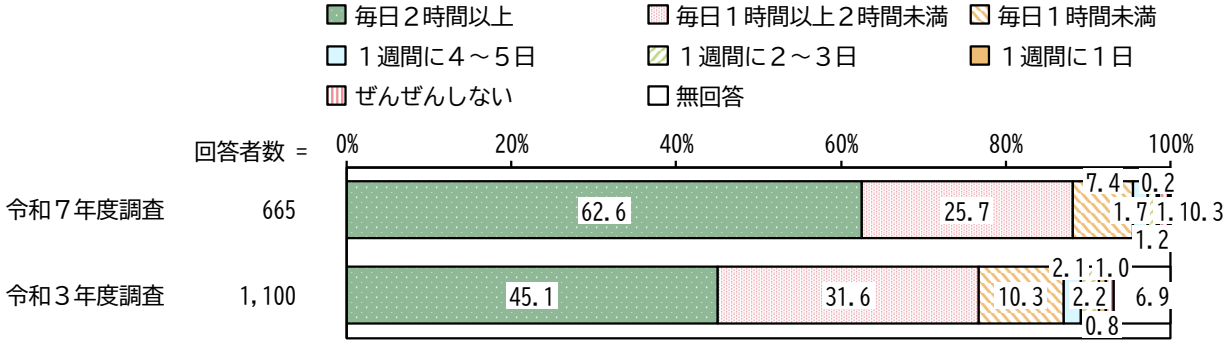
生活困難度別にみると、周辺層で“１時間以上”の割合が高くなっています。



B　テレビ・インターネットを見る

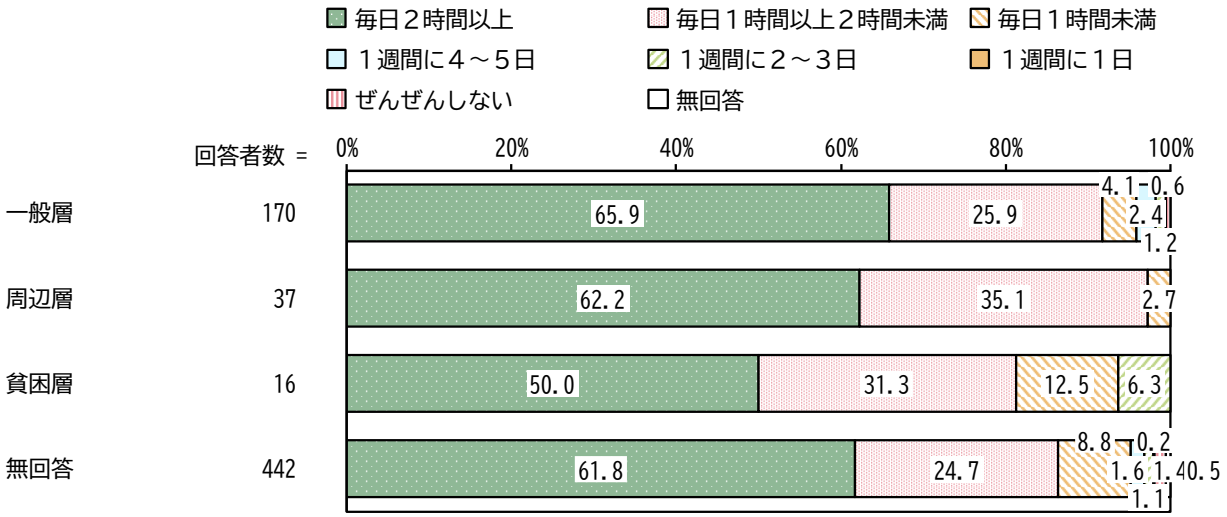
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「毎日２時間以上」の割合が増加しています。一方、「毎日１時間以上２時間未満」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

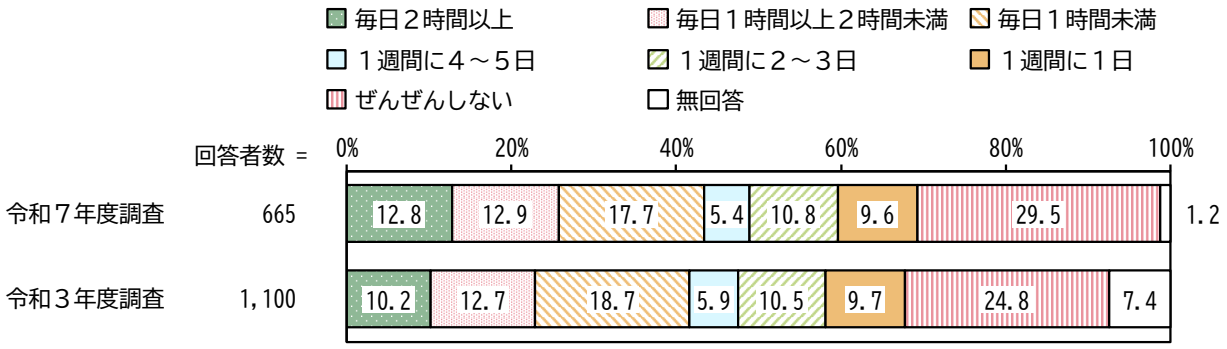
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「毎日２時間以上」の割合が高くなっています。



C　室内での他の活動（読書、室内遊びなど）

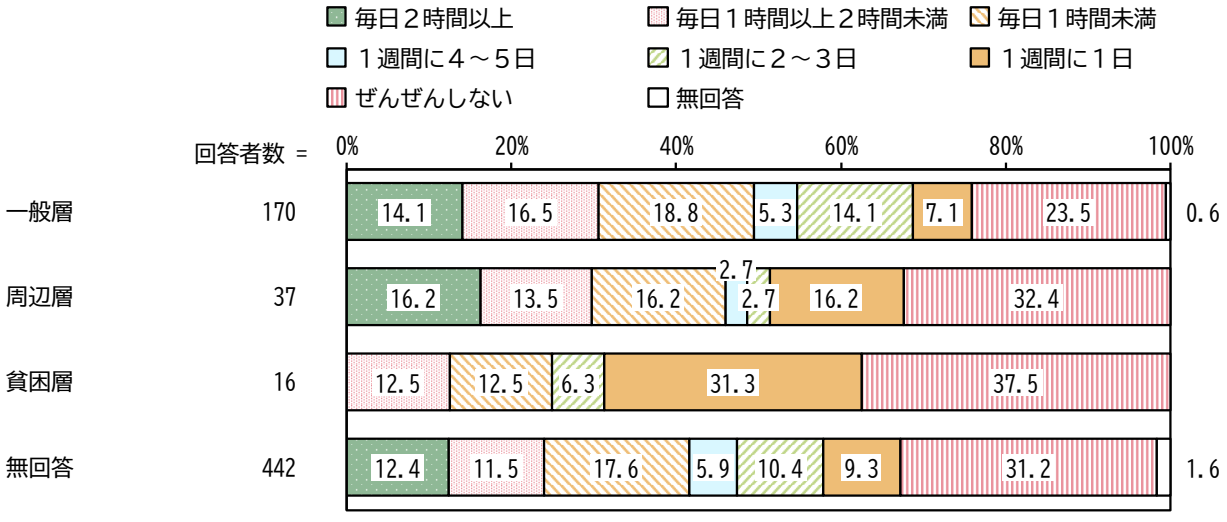
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

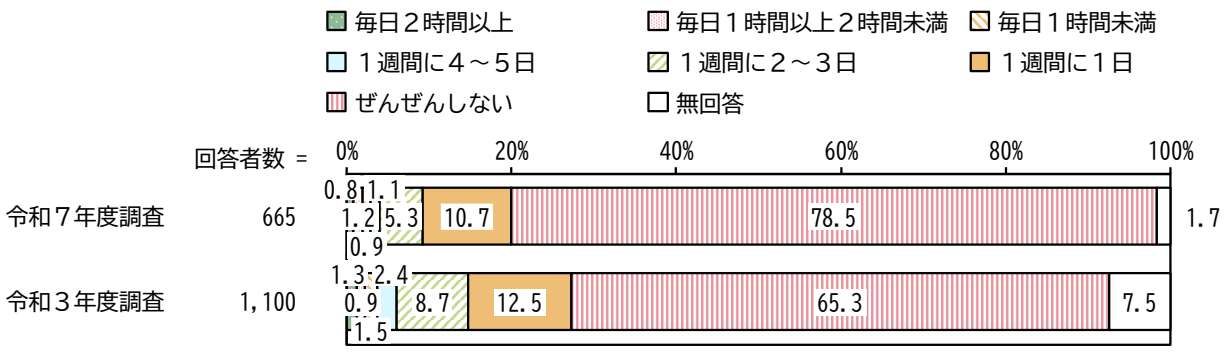
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「ぜんぜんしない」の割合が高くなっています。



D　公園で遊ぶ

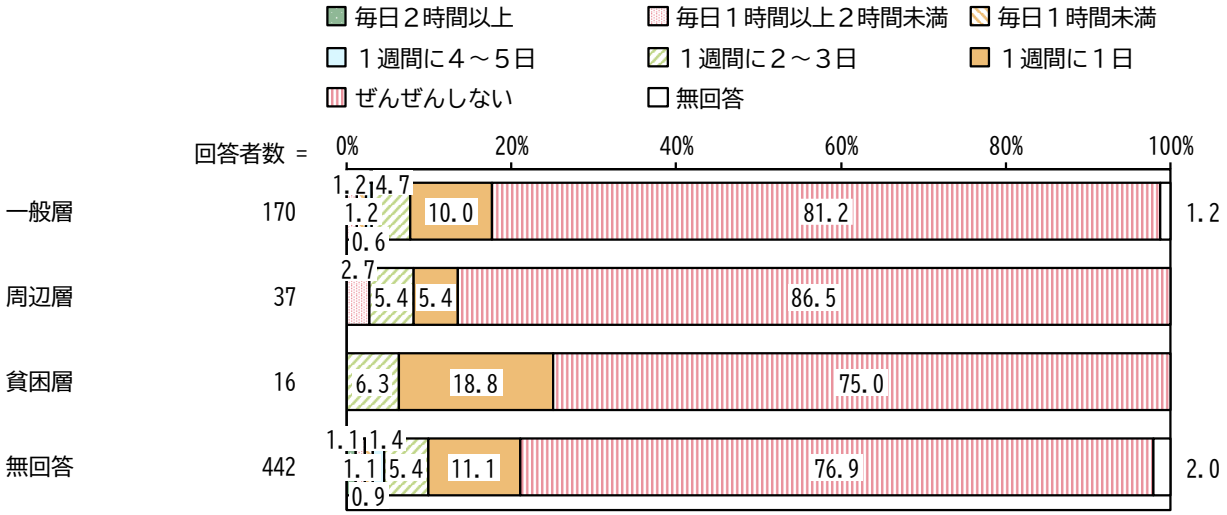
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ぜんぜんしない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

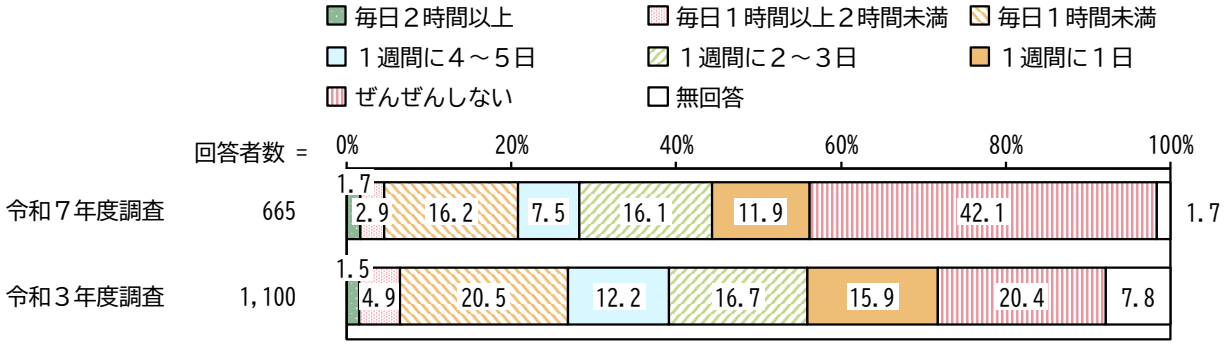
生活困難度別にみると、周辺層で「ぜんぜんしない」の割合が高くなっています。



E　家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）

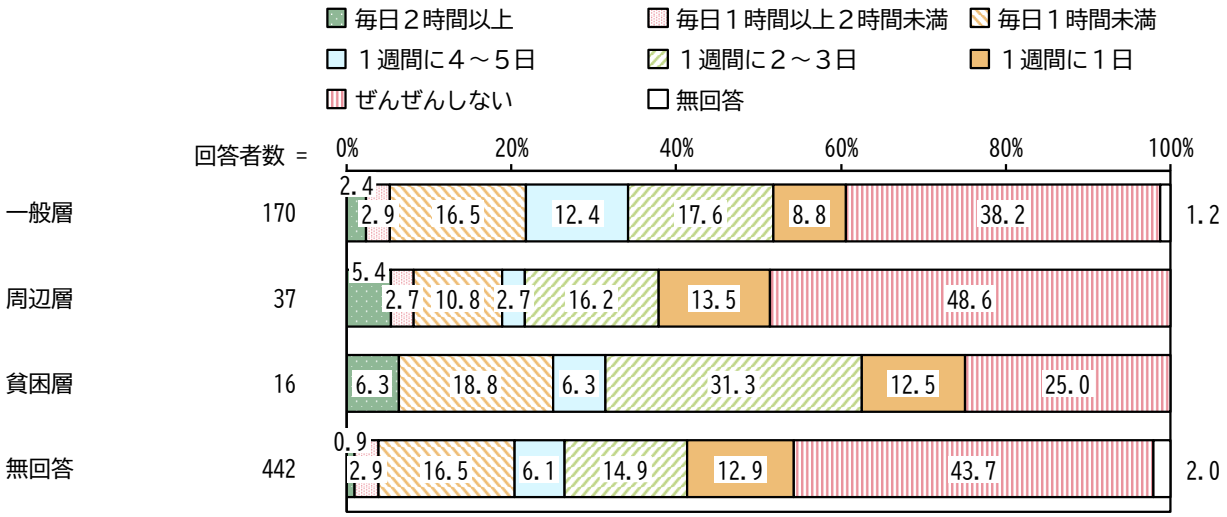
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ぜんぜんしない」の割合が増加しています。



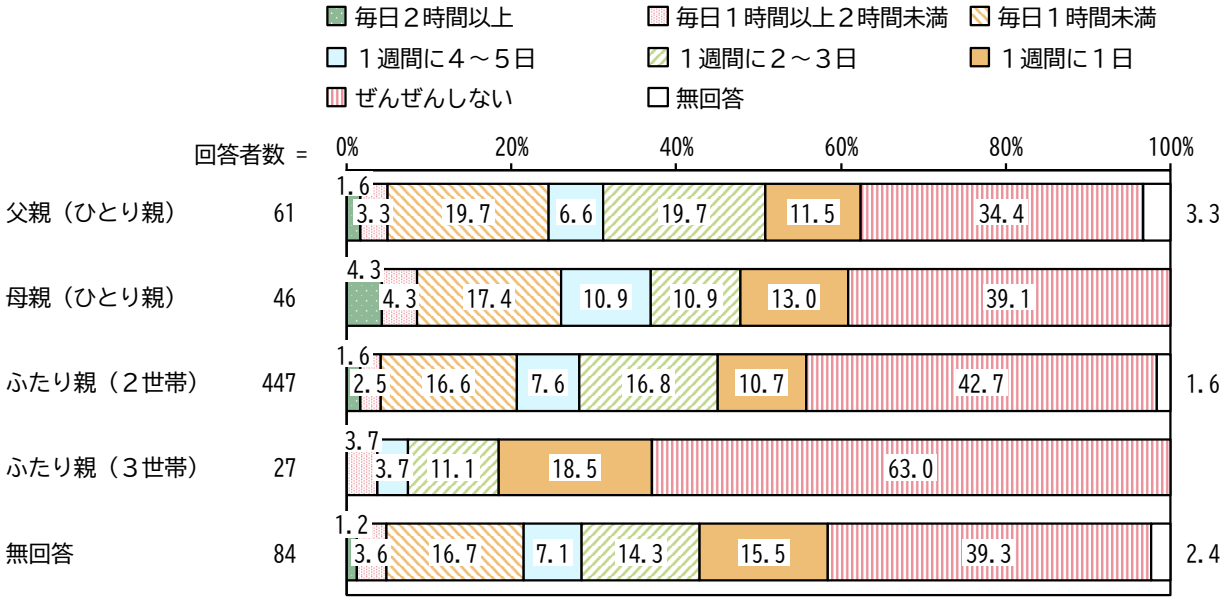
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「ぜんぜんしない」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

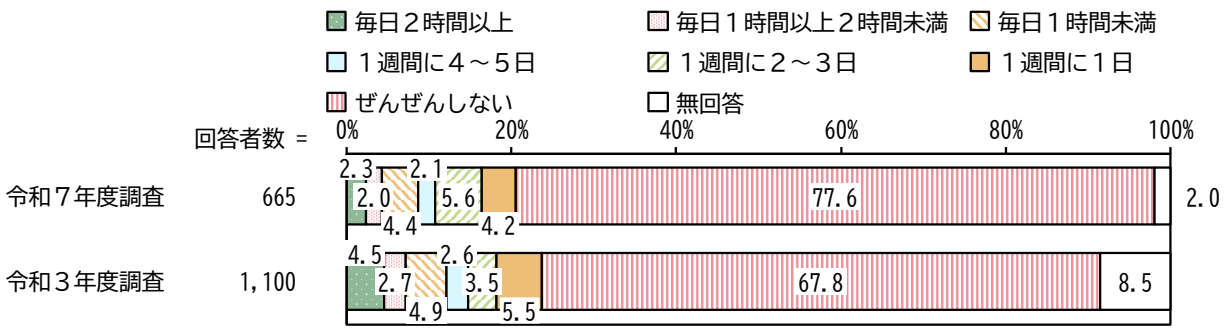
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「ぜんぜんしない」の割合が高くなっています。



F　おとうさん、おかあさん、きょうだいなどの世話

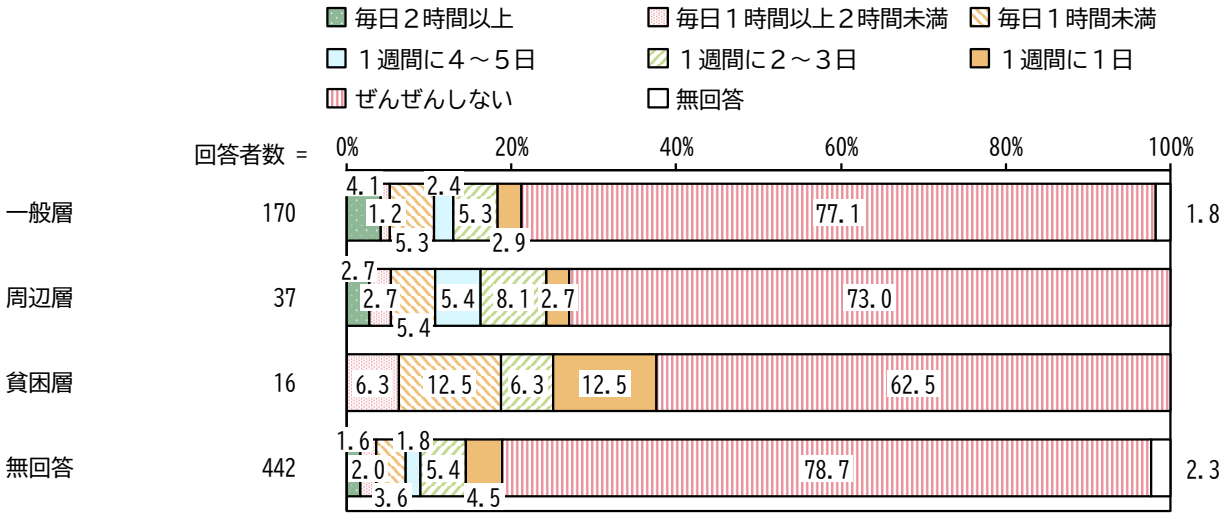
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ぜんぜんしない」の割合が増加しています。



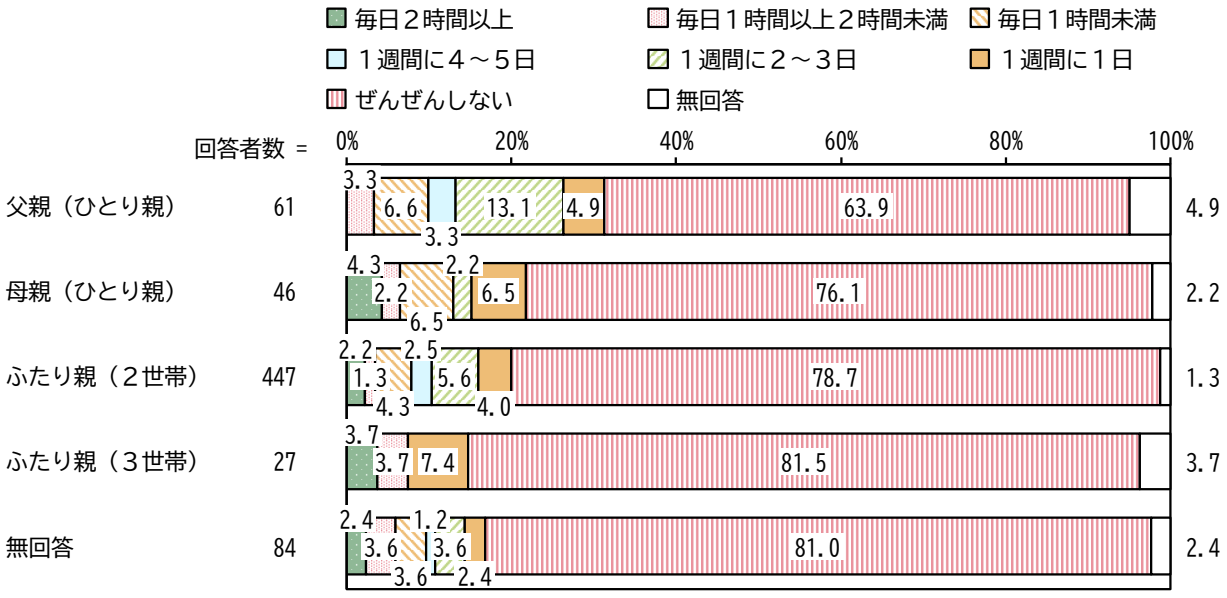
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「ぜんぜんしない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

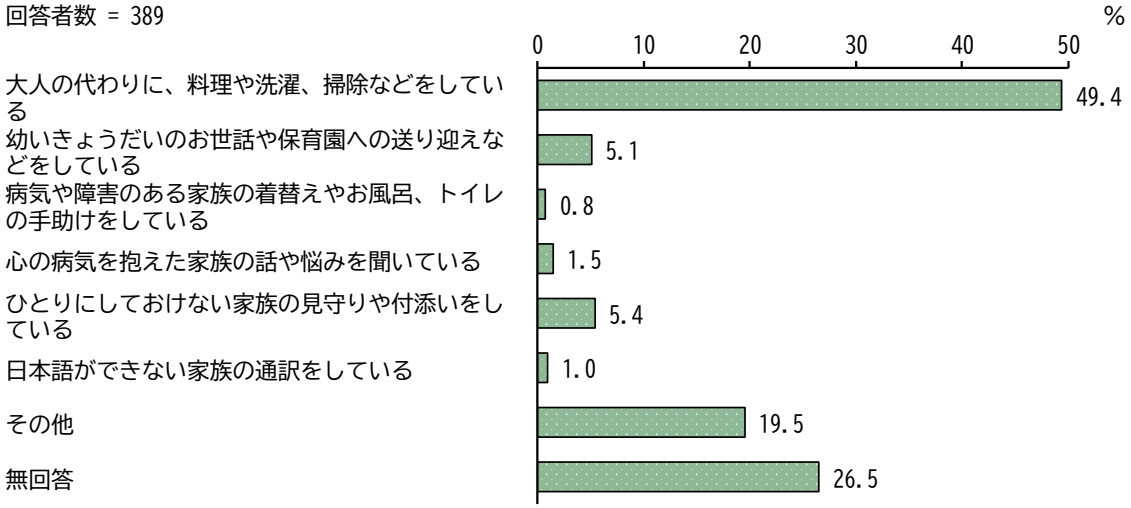
世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で「ぜんぜんしない」の割合が低くなっています。



問 13 の「E　家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど)」「F　おとうさん、おかあさん、きょうだいなどの世話」で「毎日２時間以上」～「１週間に１日」のいずれかに○をつけた人にお聞きします。

問 13－１　家事や家族のお世話は、どのようなことをしていますか。
（あてはまる番号すべてに○）

「大人の代わりに、料理や洗濯、掃除などをしている」の割合が 49.4%と最も高くなっています。



【生活困難度別】

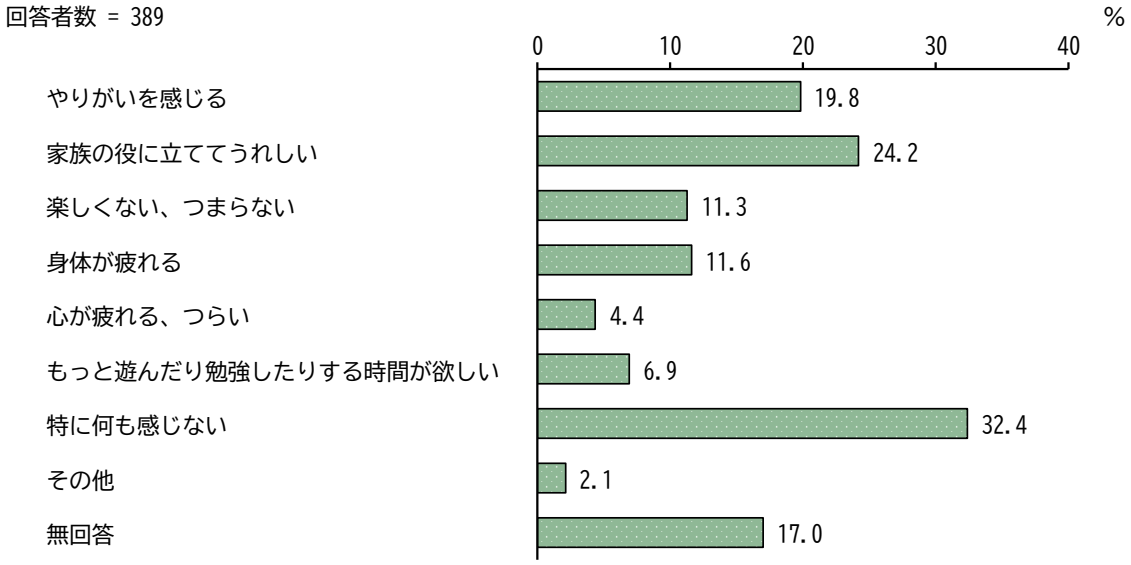
生活困難度別にみると、周辺層で「大人の代わりに、料理や洗濯、掃除などをしている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	大人の代わりに、料理や洗濯、掃除などをしている	幼いきょうだいのお世話や保育園への送り迎えなどをしている	病気や障害のある家族の着替えやお風呂、トイレの手助けをしている	心の病気を抱えた家族の話や悩みを聞いている	ひとりにしておけない家族の見守りや付添いをしている	日本語ができない家族の通訳をしている	その他	無回答
全　体	389	49.4	5.1	0.8	1.5	5.4	1.0	19.5	26.5
一般層	108	39.8	2.8	0.9	0.9	9.3	1.9	20.4	32.4
周辺層	21	57.1	9.5	4.8	4.8	9.5	4.8	4.8	23.8
貧困層	13	53.8	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	30.8
無回答	247	52.6	5.7	0.4	1.6	3.6	0.4	20.6	23.9

問 13－２　家事や家族のお世話について、どのように感じていますか。
（あてはまる番号すべてに○）

「特に何も感じない」の割合が 32.4%と最も高く、次いで「家族の役に立ててうれしい」の割合が 24.2%、「やりがいを感じる」の割合が 19.8%となっています。



【生活困難度別】

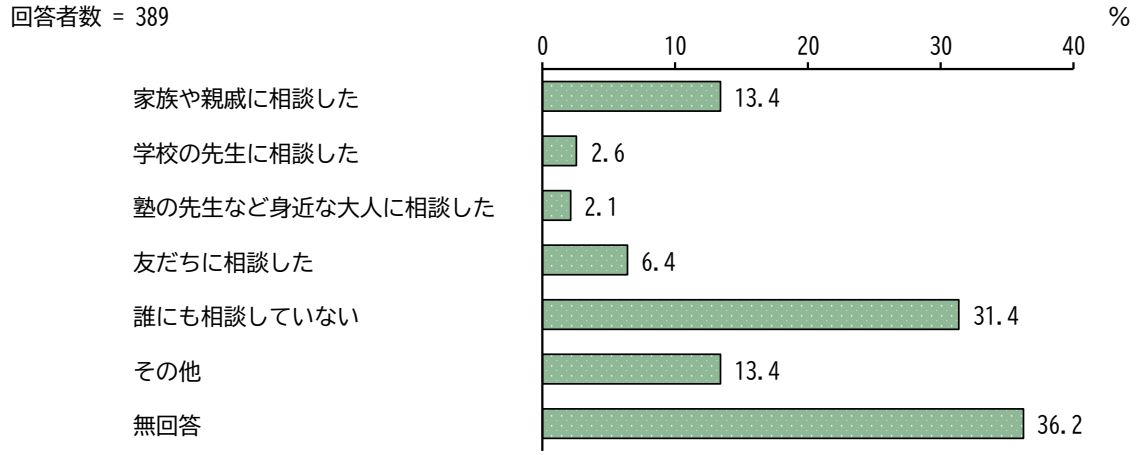
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「家族の役に立ててうれしい」「身体が疲れる」「もっと遊んだり勉強したりする時間が欲しい」の割合が高く、「特に何も感じない」の割合が低くなっています。また、周辺層で「楽しくない、つまらない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	やりがいを感じる	家族の役に立ててうれしい	楽しくない、つまらない	身体が疲れる	心が疲れる、つらい	もっと遊んだり勉強したりする時間が欲しい	特に何も感じない	その他	無回答
全　体	389	19.8	24.2	11.3	11.6	4.4	6.9	32.4	2.1	17.0
一般層	108	18.5	21.3	9.3	10.2	4.6	3.7	34.3	0.9	23.1
周辺層	21	19.0	23.8	28.6	14.3	0.0	9.5	33.3	0.0	9.5
貧困層	13	7.7	38.5	15.4	15.4	7.7	23.1	7.7	0.0	15.4
無回答	247	21.1	24.7	10.5	11.7	4.5	7.3	32.8	2.8	15.0

問 13－３　お世話を必要としている家族のことや、自分がお世話をしていて困ったことを誰かに相談したことはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「誰にも相談していない」の割合が 31.4%と最も高く、次いで「家族や親戚に相談した」の割合が 13.4%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「友だちに相談した」、貧困層で「誰にも相談していない」の割合が高くなっています。

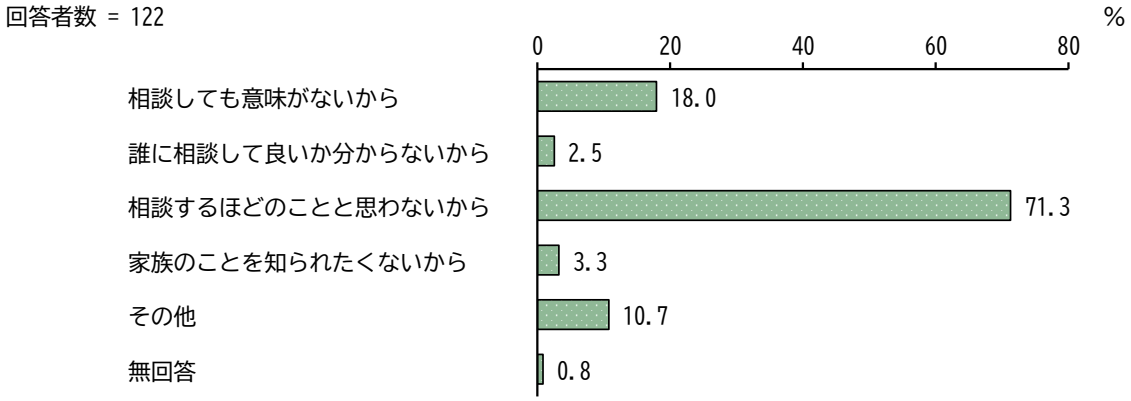
単位：%

区分	回答者数（件）	家族や親戚に相談した	学校の先生に相談した	塾の先生など身近な大人に相談した	友だちに相談した	誰にも相談していない	その他	無回答
全　体	389	13.4	2.6	2.1	6.4	31.4	13.4	36.2
一般層	108	14.8	0.9	0.9	2.8	23.1	16.7	43.5
周辺層	21	4.8	0.0	4.8	14.3	28.6	9.5	38.1
貧困層	13	15.4	0.0	0.0	7.7	38.5	15.4	23.1
無回答	247	13.4	3.6	2.4	7.3	34.8	12.1	33.6

問 13－３で「誰にも相談していない」に○をつけた人にお聞きします。

問 13－３－１　相談していない理由はなぜですか。（あてはまる番号すべてに○）

「相談するほどのことと思わないから」の割合が 71.3%と最も高く、次いで「相談しても意味がないから」の割合が 18.0%となっています。



【生活困難度別】

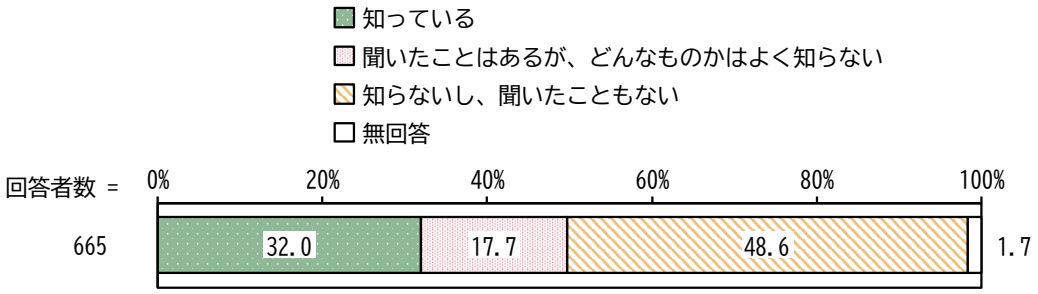
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談しても意味がないから」の割合が高く、「相談するほどのことと思わないから」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	相談しても意味がないから	誰に相談して良いか分からないから	相談するほどのことと思わないから	家族のことを知られたくないから	その他	無回答
全　体	122	18.0	2.5	71.3	3.3	10.7	0.8
一般層	25	12.0	4.0	80.0	8.0	0.0	4.0
周辺層	6	16.7	0.0	50.0	0.0	33.3	0.0
貧困層	5	40.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0
無回答	86	18.6	2.3	72.1	2.3	11.6	0.0

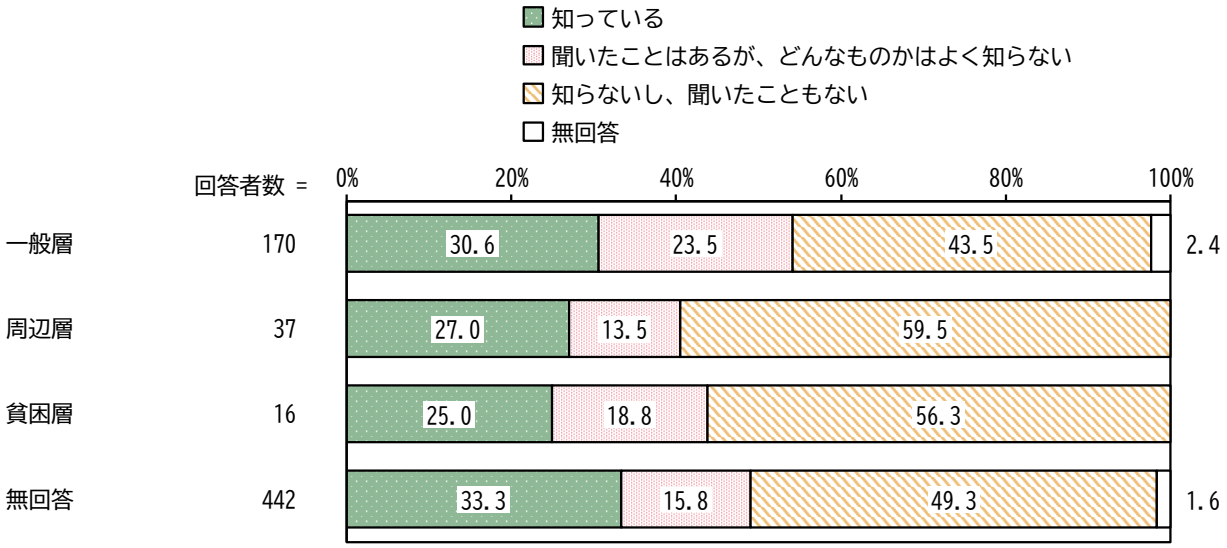
問 14　「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。（１つに○）

「知っている」の割合が 32.0%、「聞いたことはあるが、どんなものかはよく知らない」の割合が 17.7%、「知らないし、聞いたこともない」の割合が 48.6%となっています。



【生活困難度別】

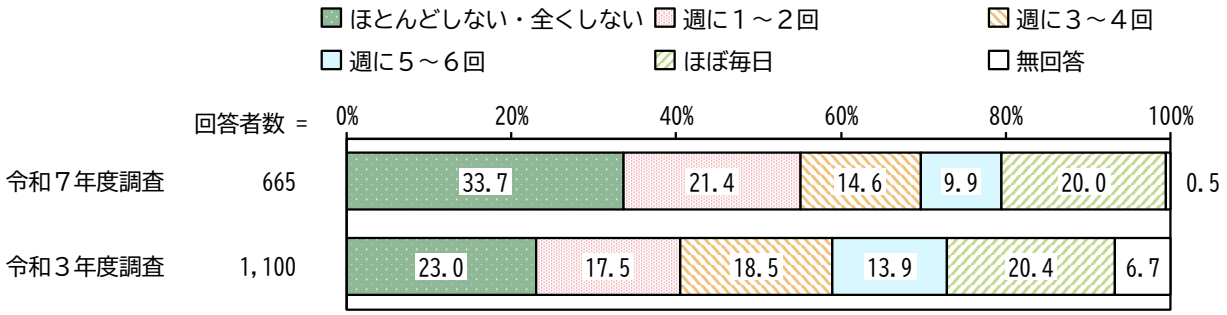
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「知っている」の割合が高くなっています。また、周辺層で「知らないし、聞いたこともない」の割合が高くなっています。



問 15　あなたは、30 分以上からだを動かす遊びや習い事を１週間でどれくらいしますか。
（１つに○）
※学校の昼休みのことはのぞいて、学校の外でのことを教えてください。

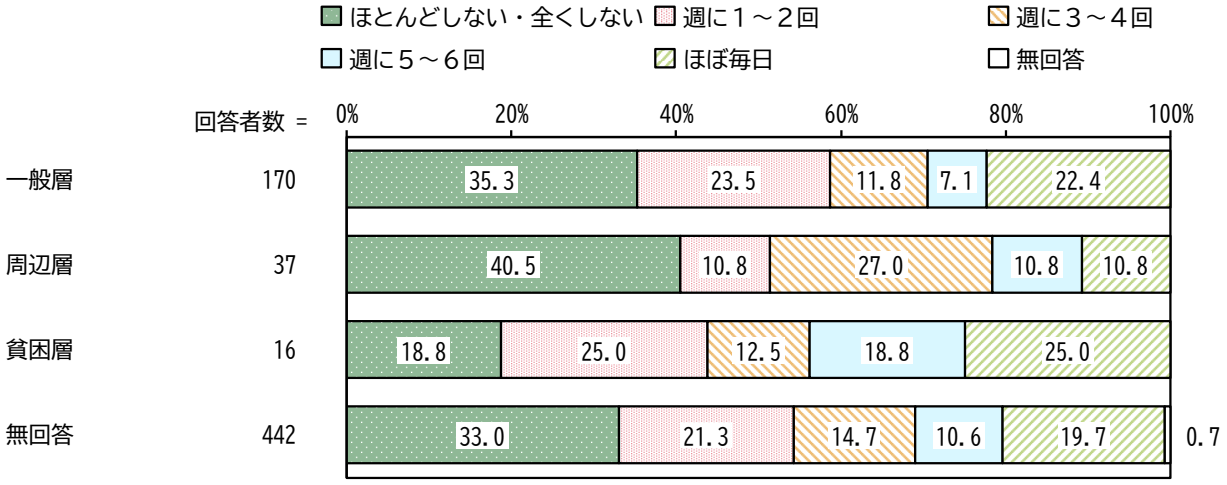
「ほとんどしない･全くしない」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「週に１～２回」の割合が 21.4%、「ほぼ毎日」の割合が 20.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「ほとんどしない・全くしない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

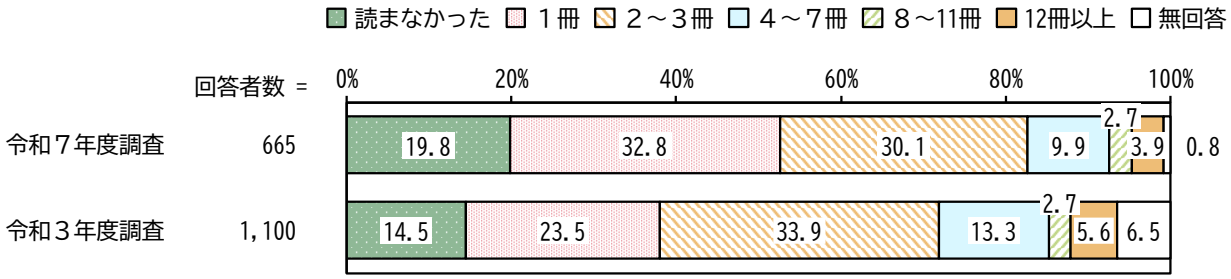
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「週に５～６回」の割合が高くなっています。また、周辺層で「週に３～４回」の割合が高く、「週に１～２回」の割合が低くなっています。



問 16　あなたは、この１か月の間に本を何冊くらい読みましたか。（１つに○）
※漫画は含まない冊数で回答してください。

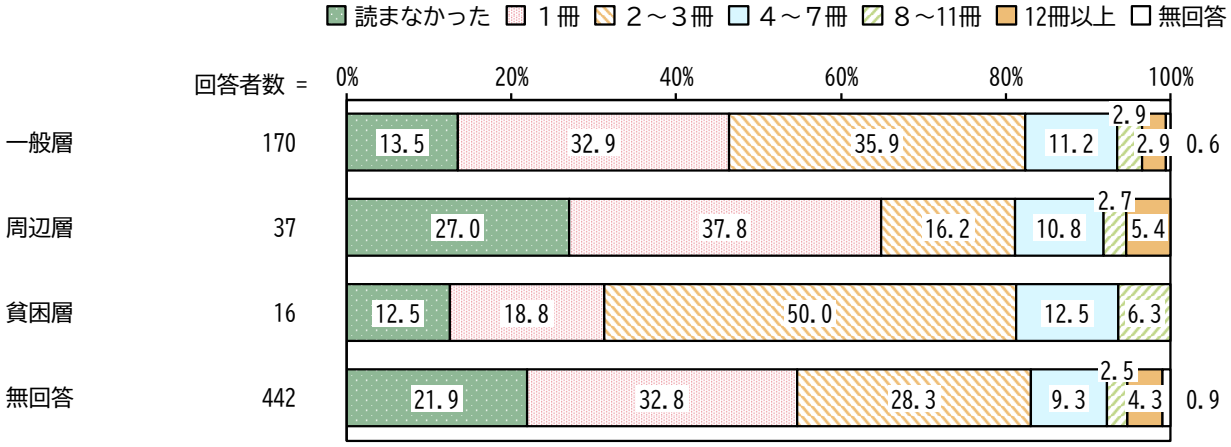
「１冊」の割合が 32.8%と最も高く、次いで「２～３冊」の割合が 30.1%、「読まなかった」の割合が 19.8%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「読まなかった」「１冊」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

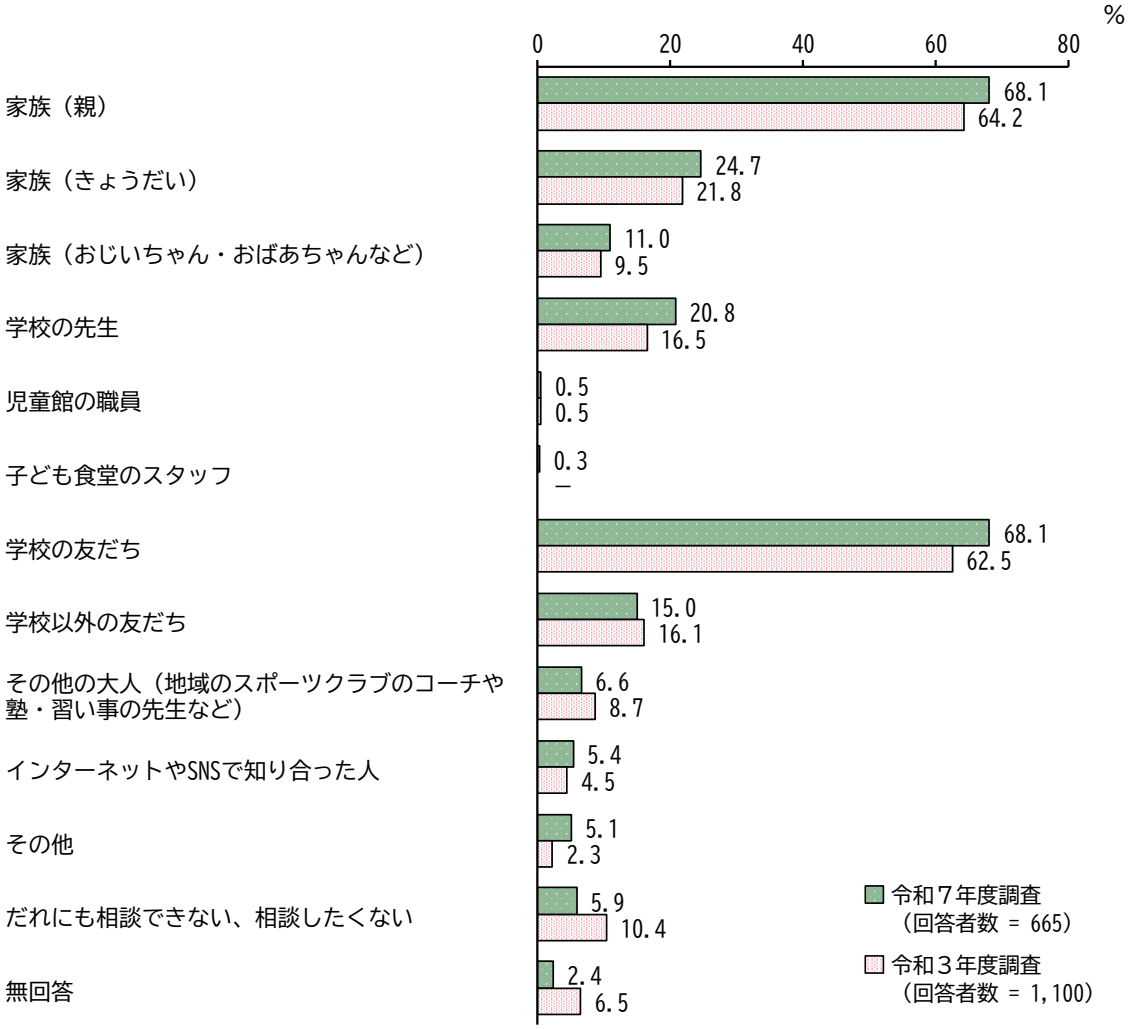
生活困難度別にみると、周辺層で「読まなかった」、一般層、貧困層で“１冊以上”の割合が高くなっています。



問 17　あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことがあるとき、話したり相談したりできると思う人は誰ですか。電話、メール、LINE も「話した」と考えて答えてください。（あてはまる番号すべてに○）

「家族（親）」、「学校の友だち」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「家族（きょうだい）」の割合が 24.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「学校の友だち」の割合が増加しています。



※令和３年度調査では、「子ども食堂のスタッフ」がありませんでした。

【生活困難度別】

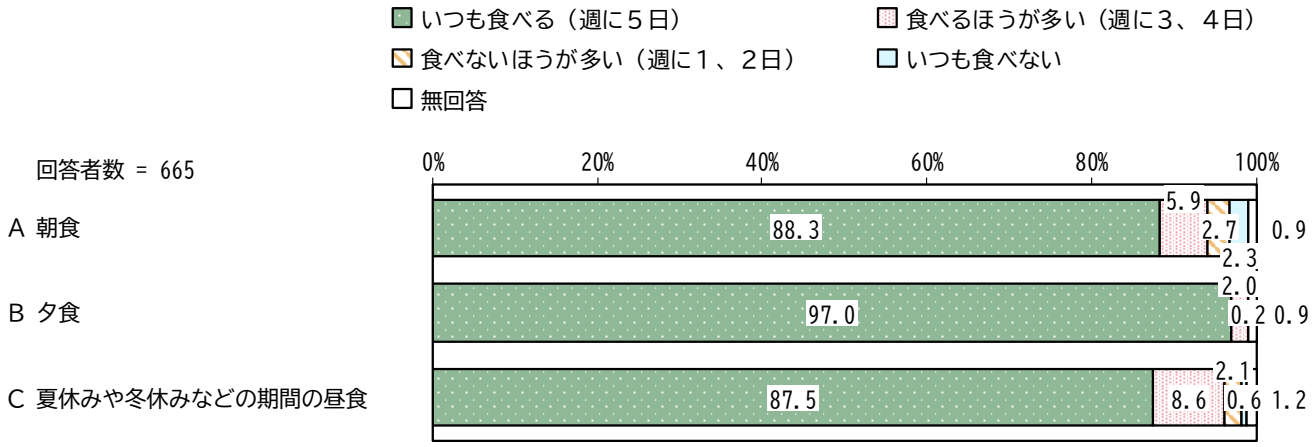
生活困難度別にみると、一般層、貧困層で「家族（きょうだい）」、貧困層で「子ども食堂のスタッフ」「インターネットや SNS で知り合った人」「だれにも相談できない、相談したくない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	家族（親）	家族（きょうだい）	家族（おじいちゃん・おばあちゃんなど）	学校の先生	児童館の職員	子ども食堂のスタッフ	学校の友だち	学校以外の友だち	その他の大人（地域のスポーツクラブのコーチや塾・習い事の先生など）	インターネットや SNS で知り合った人	その他	だれにも相談できない、相談したくない	無回答
全　体	665	68.1	24.7	11.0	20.8	0.5	0.3	68.1	15.0	6.6	5.4	5.1	5.9	2.4
一般層	170	69.4	30.6	11.2	23.5	0.0	0.6	64.7	14.1	8.8	6.5	3.5	6.5	0.0
周辺層	37	70.3	13.5	2.7	16.2	0.0	0.0	56.8	18.9	10.8	5.4	0.0	10.8	0.0
貧困層	16	68.8	31.3	6.3	18.8	0.0	6.3	43.8	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0
無回答	442	67.4	23.1	11.8	20.1	0.7	0.0	71.3	15.2	5.7	4.8	6.3	5.0	3.6

問 18　あなたは平日の食事を週にどのくらいしていますか。※給食を数えないで回答してください。（それぞれについて、あてはまる番号１つに○）

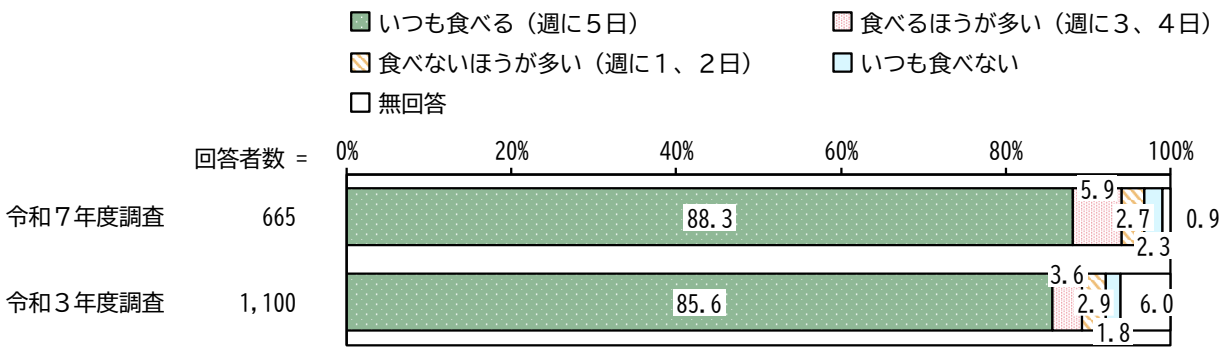
『B　夕食』で「いつも食べる（週に５日）」が、『C　夏休みや冬休みなどの期間の昼食』で「食べるほうが多い（週に３、４日）」が、『A　朝食』で「食べないほうが多い（週に１、２日）」「いつも食べない」が高くなっています。



A　朝食

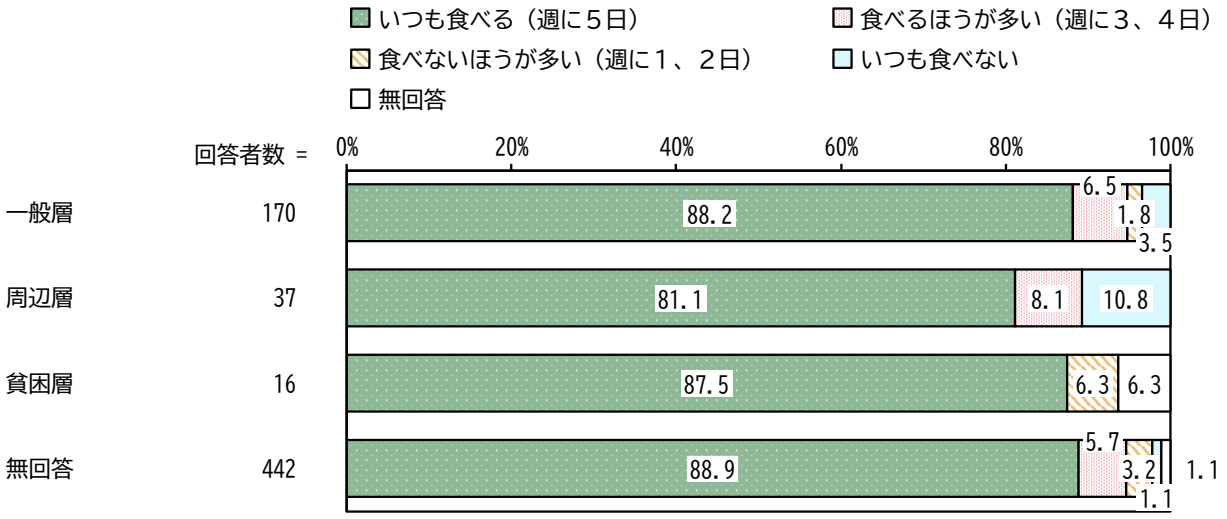
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



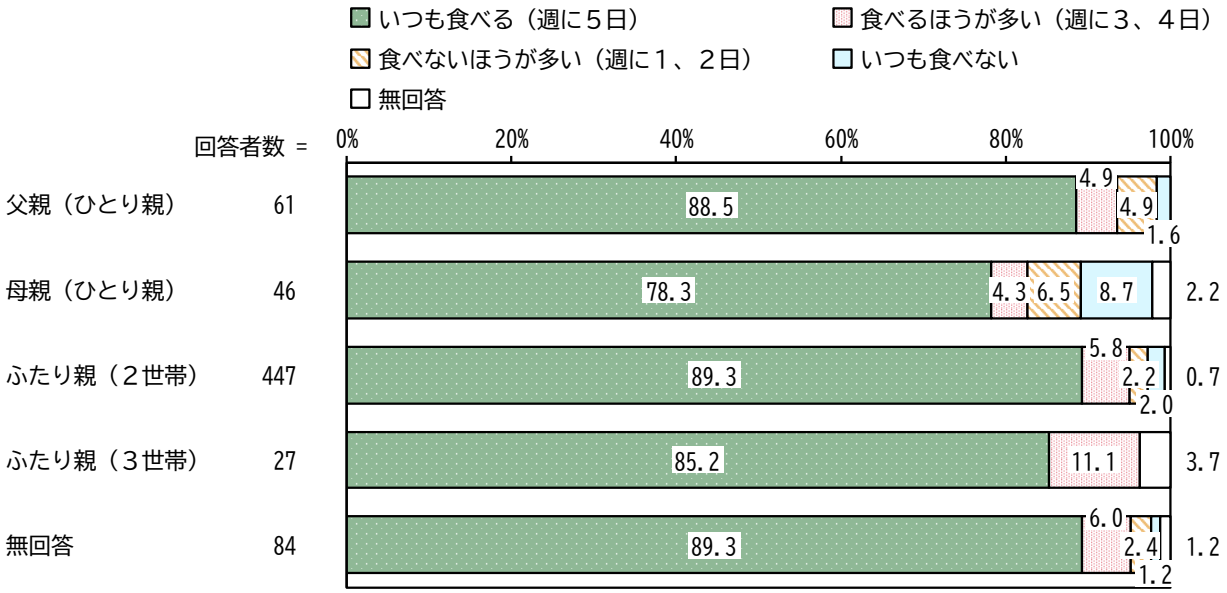
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「いつも食べない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

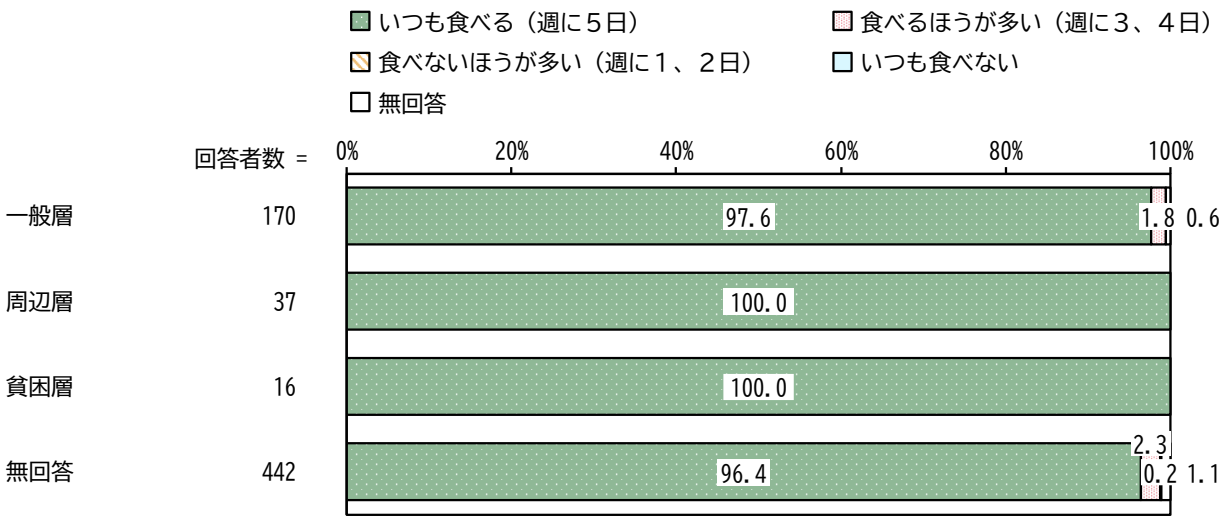
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「いつも食べる（週に５日）」の割合が低くなっています。



B　夕食

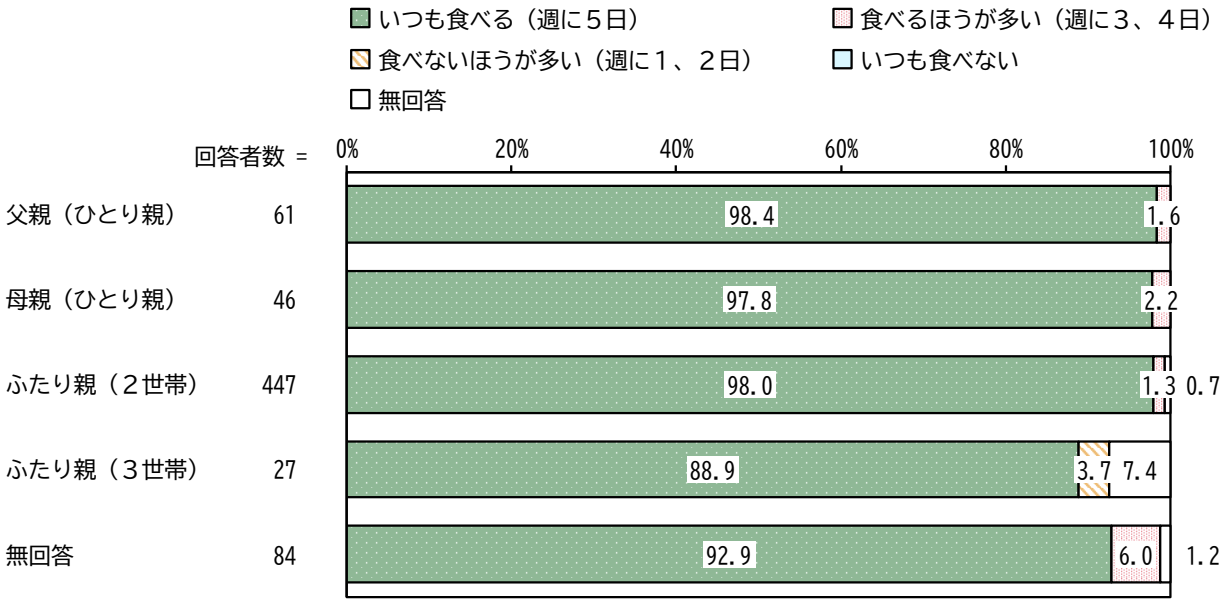
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



【世帯分類別】

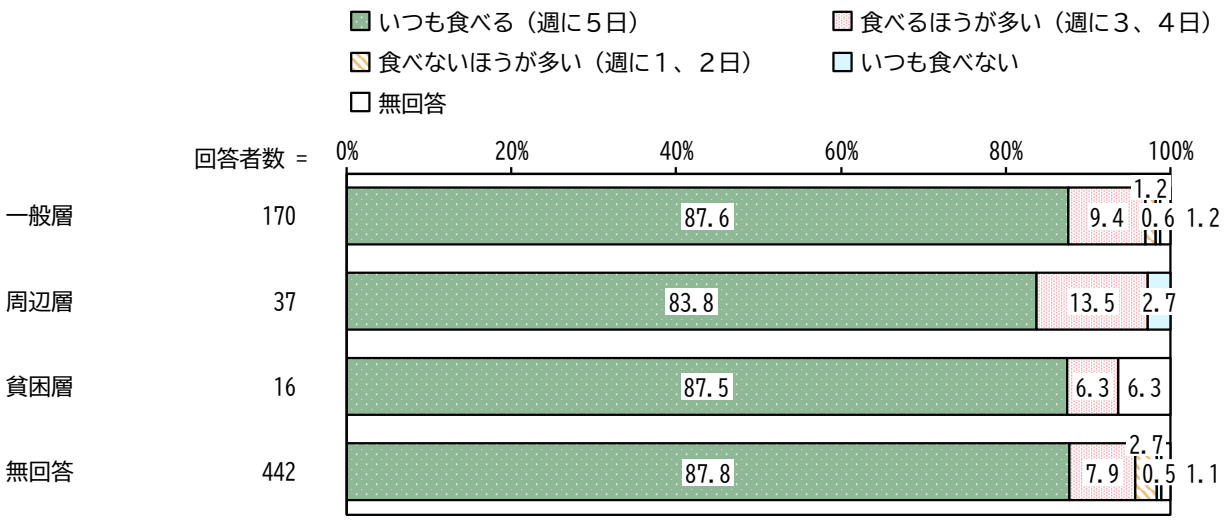
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「いつも食べる（週に５日）」の割合が低くなっています。



C　夏休みや冬休みなどの期間の昼食

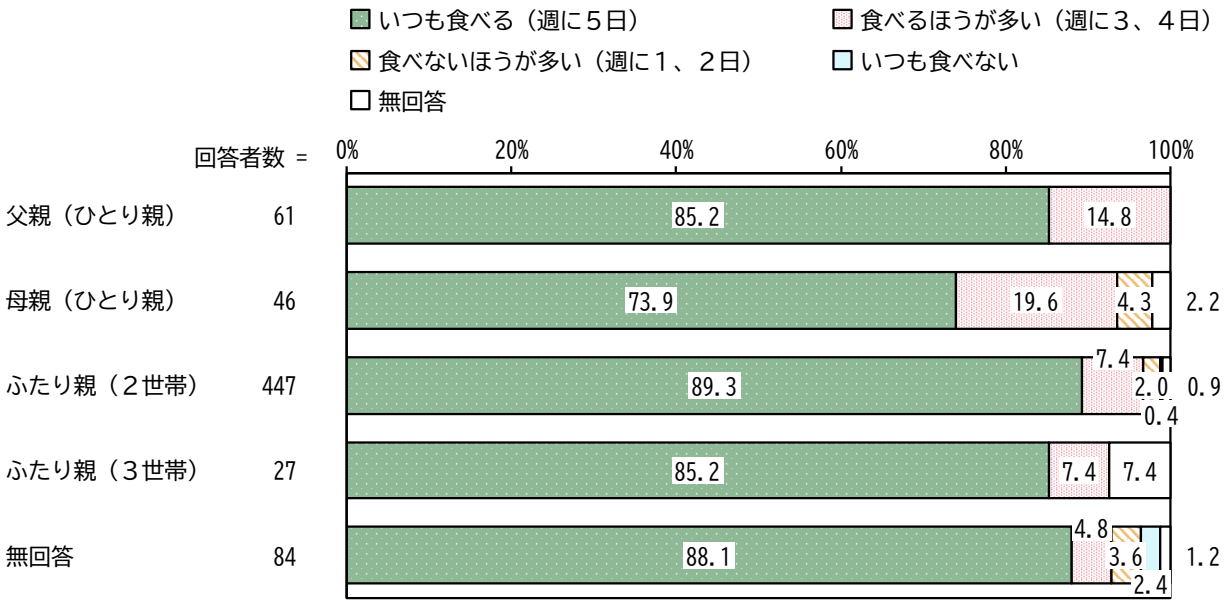
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



【世帯分類別】

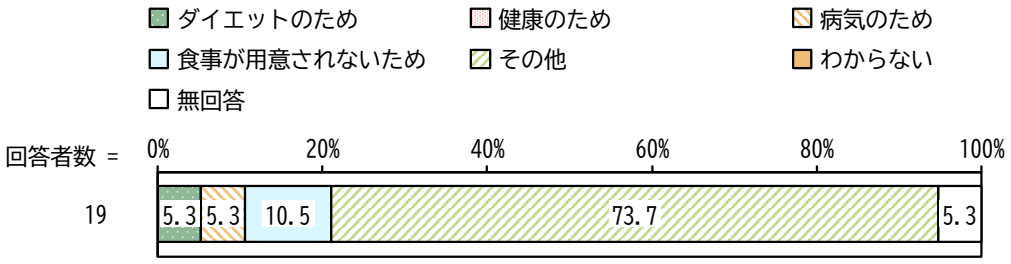
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「いつも食べる（週に５日）」の割合が低くなっています。



問 18 で「いつも食べない」と答えた人にお聞きします。

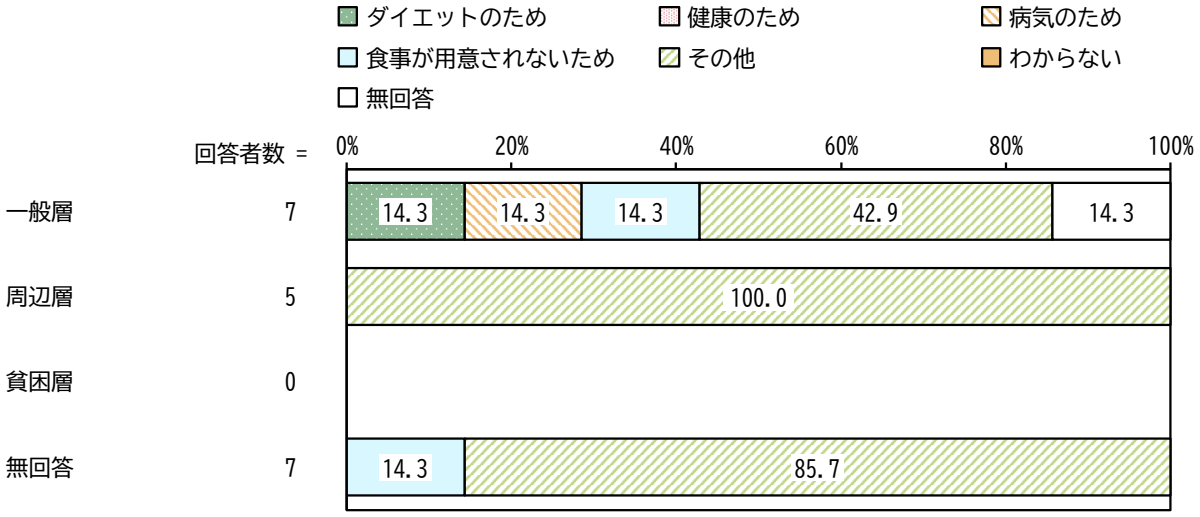
問 18－１　食べない理由は何ですか。（１つに○）

「食事が用意されないため」の割合が 10.5%と最も高くなっています。



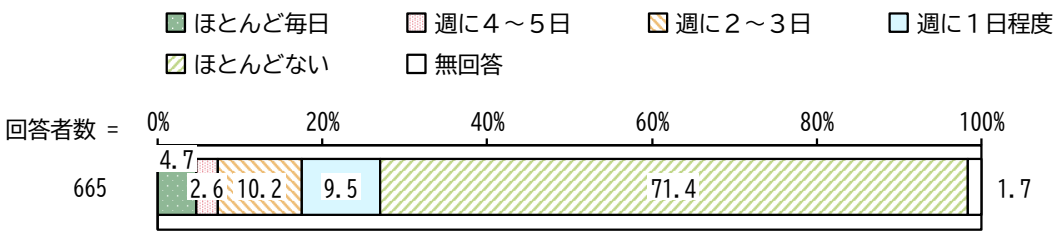
【生活困難度別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



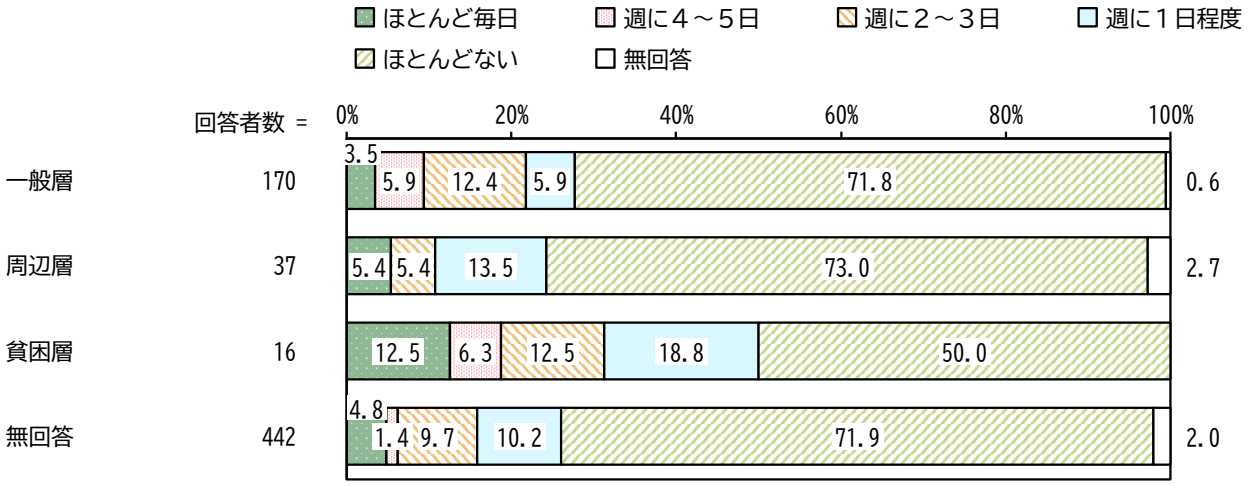
問 19　あなたは、夕食を子どもだけで食べることがありますか。（１つに○）

「ほとんどない」の割合が 71.4%と最も高く、次いで「週に２～３日」の割合が 10.2%となっています。



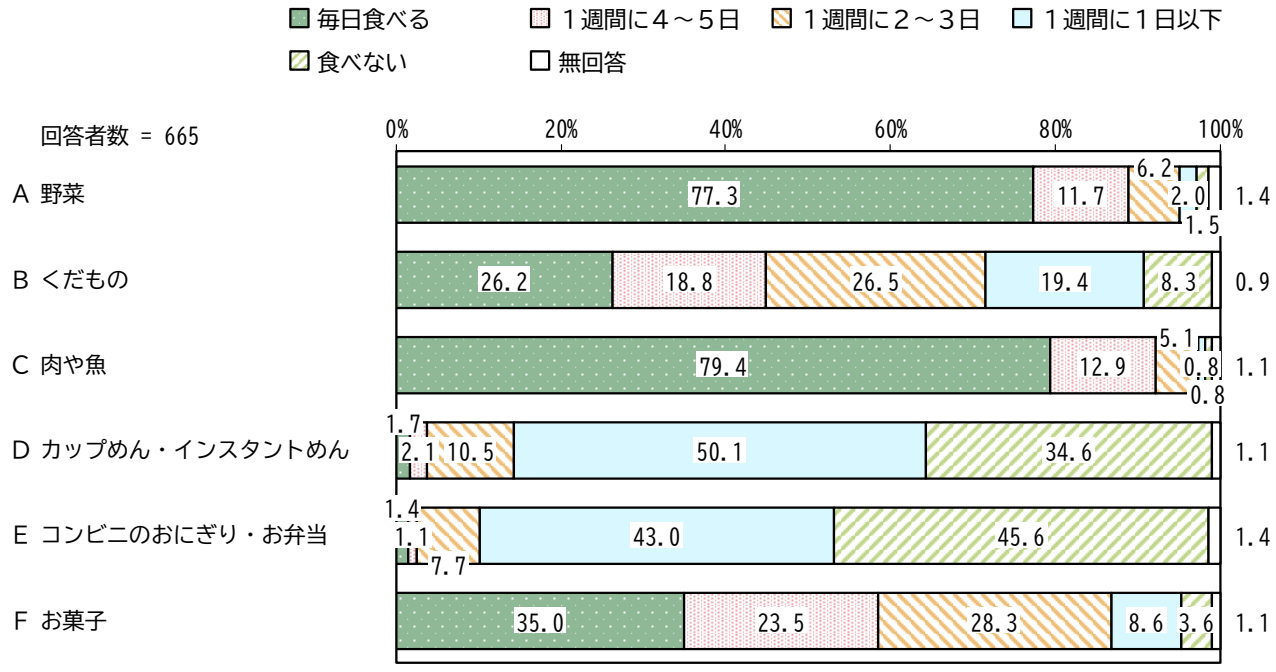
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。



問 20　あなたは、給食をのぞいて、以下の食べ物をどれくらい食べますか。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

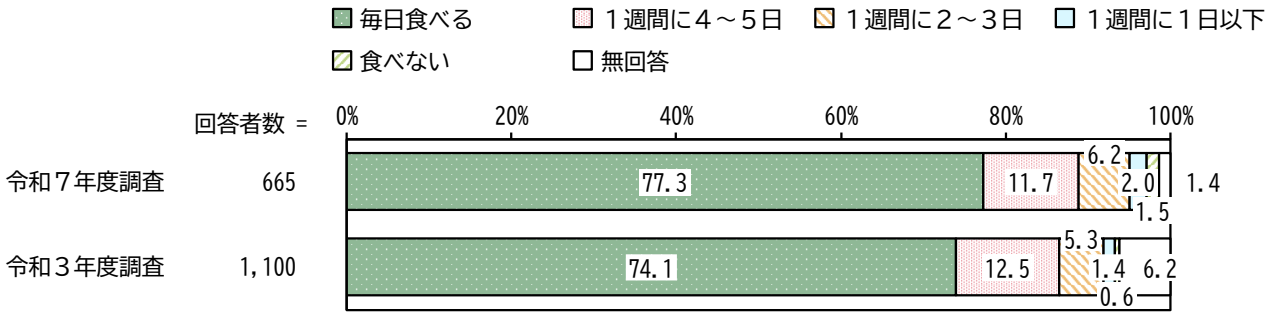
『C　肉や魚』で「毎日食べる」が、『F　お菓子』で「１週間に４～５日」「１週間に２～３日」が、『D　カップめん・インスタントめん』で「１週間に１日以下」が、『E　コンビニのおにぎり・お弁当』で「食べない」が高くなっています。



A　野菜

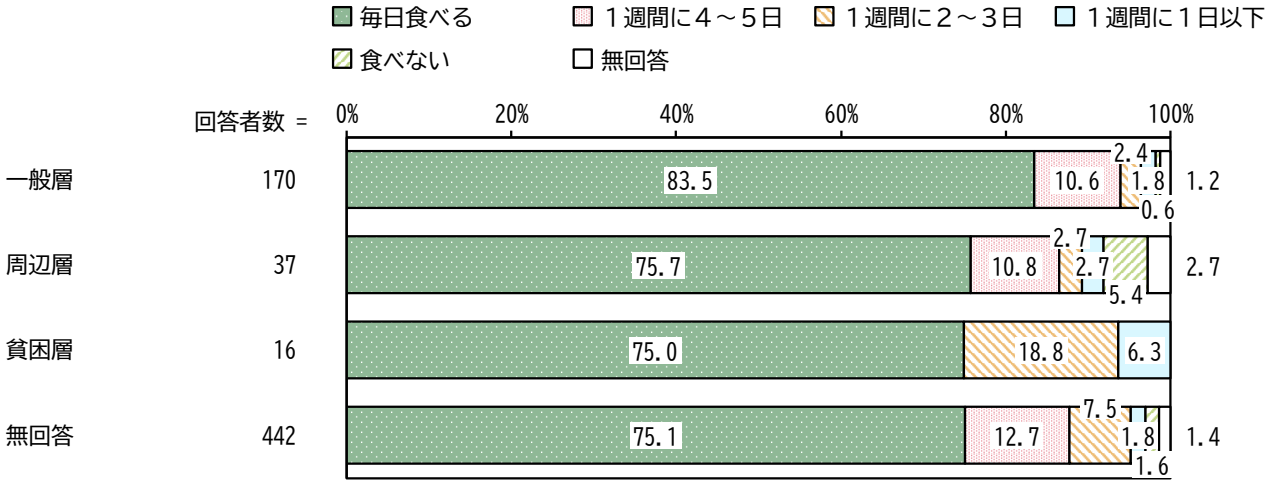
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

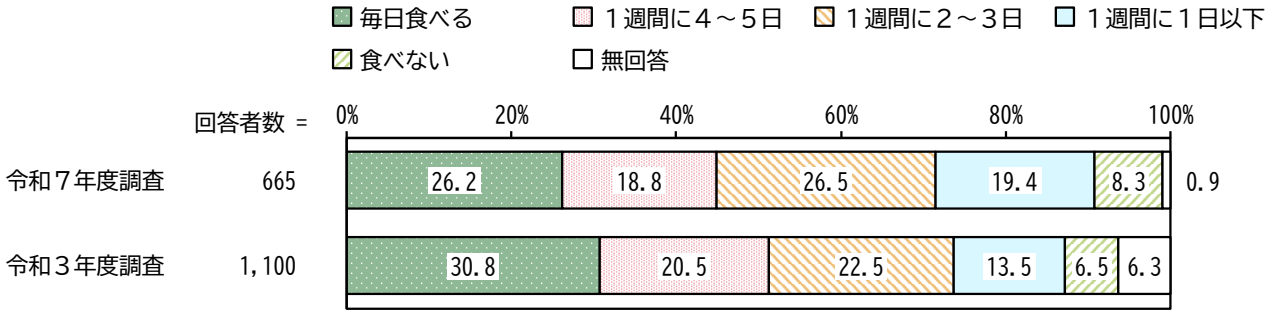
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「毎日食べる」の割合が高くなっています。



B　くだもの

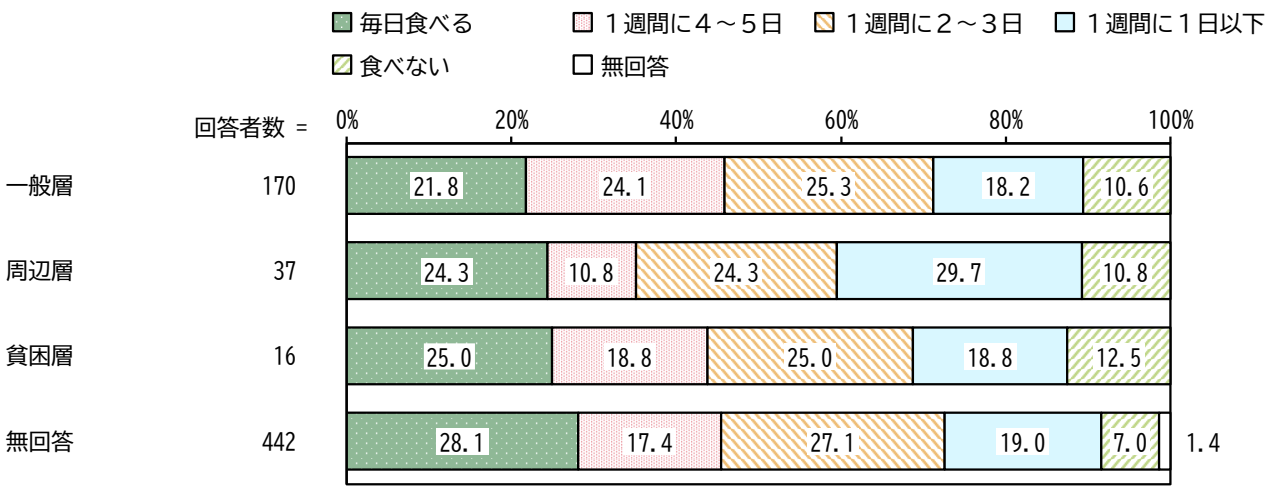
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「１週間に１日以下」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

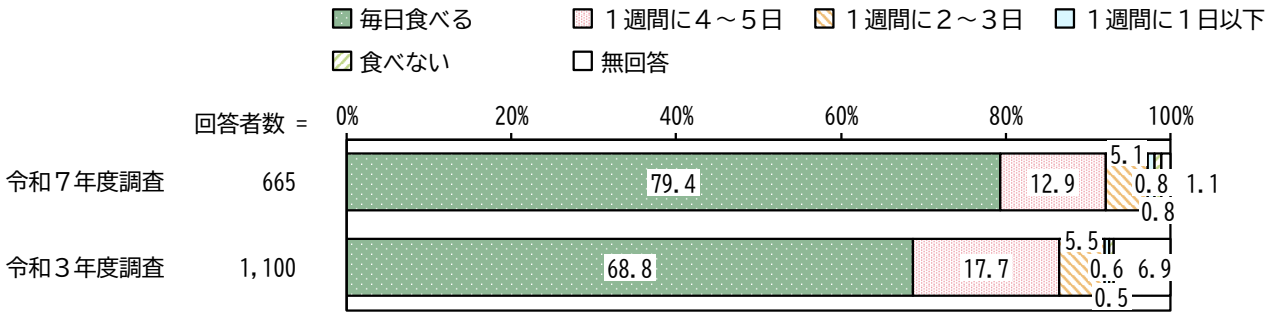
生活困難度別にみると、一般層で「１週間に４～５日」、周辺層で「１週間に１日以下」の割合が高くなっています。



C　肉や魚

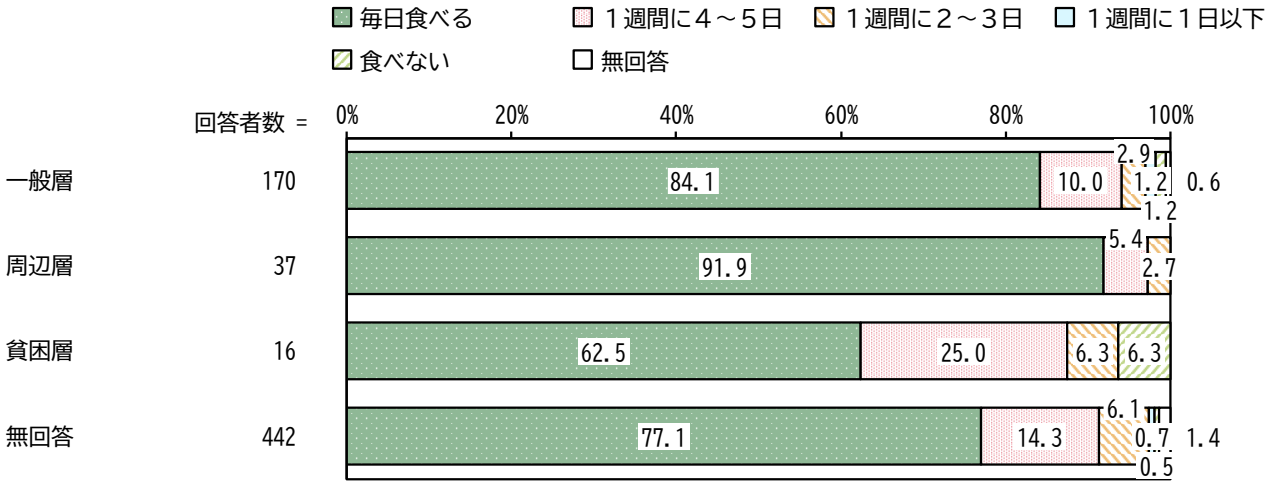
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「毎日食べる」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

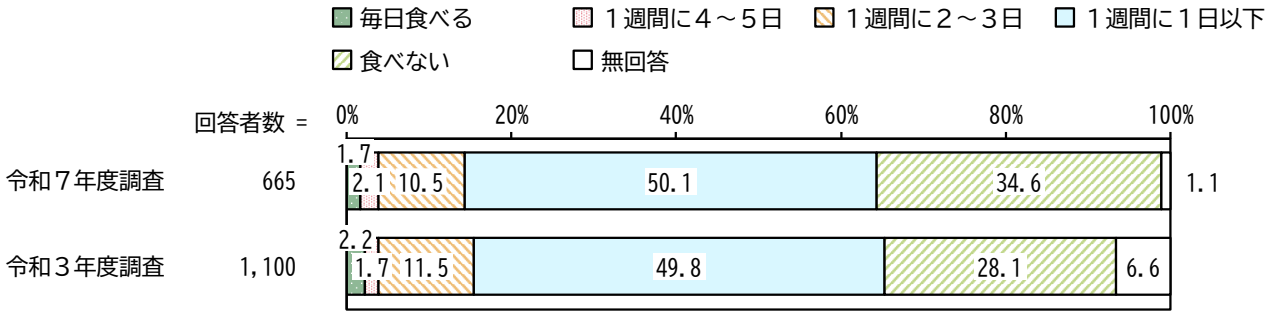
生活困難度別にみると、周辺層で「毎日食べる」の割合が高くなっています。



D　カップめん・インスタントめん

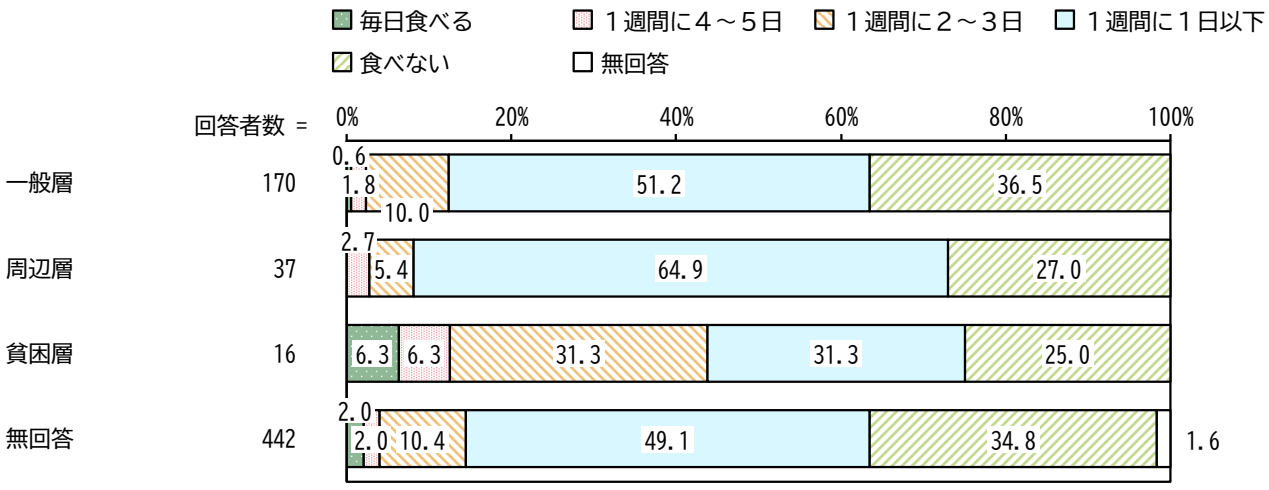
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「食べない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

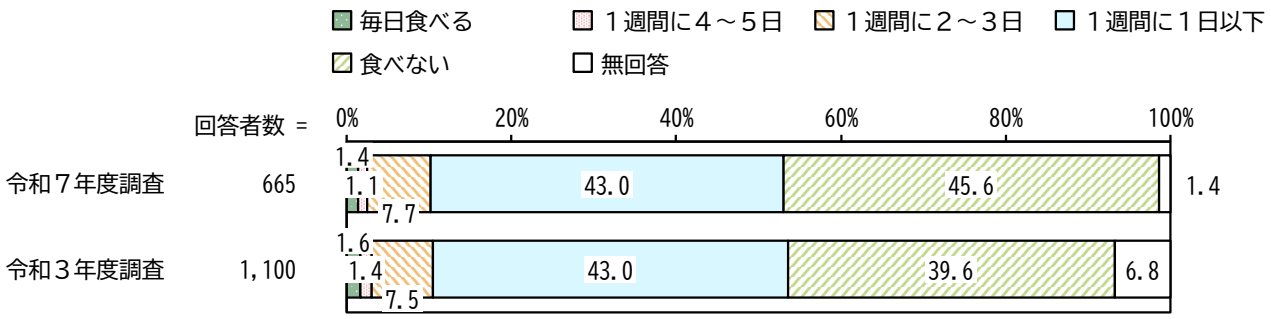
生活困難度別にみると、周辺層、貧困層で「食べない」の割合が低くなっています。



E　コンビニのおにぎり・お弁当

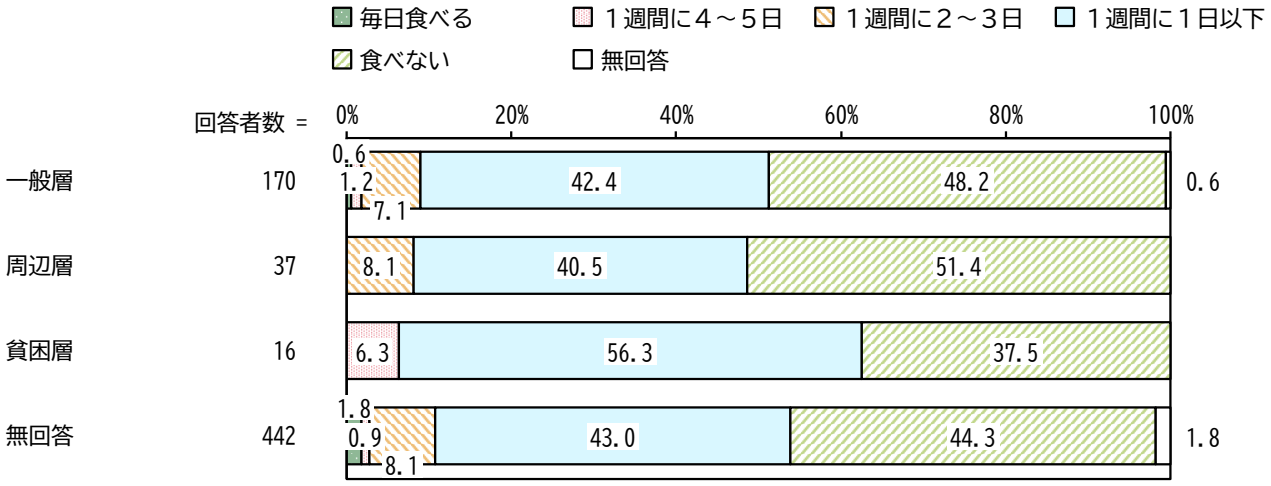
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「食べない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

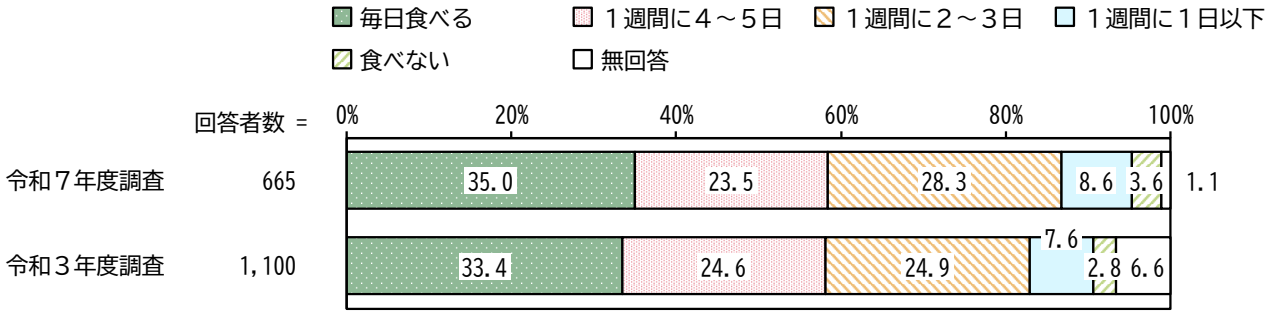
生活困難度別にみると、周辺層で「食べない」の割合が高くなっています。



F　お菓子

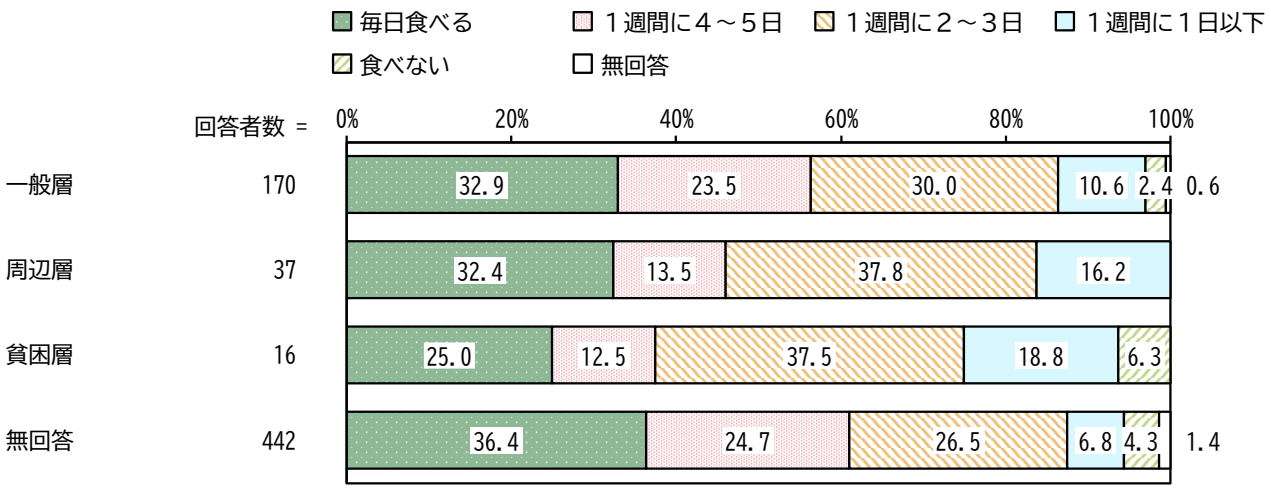
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

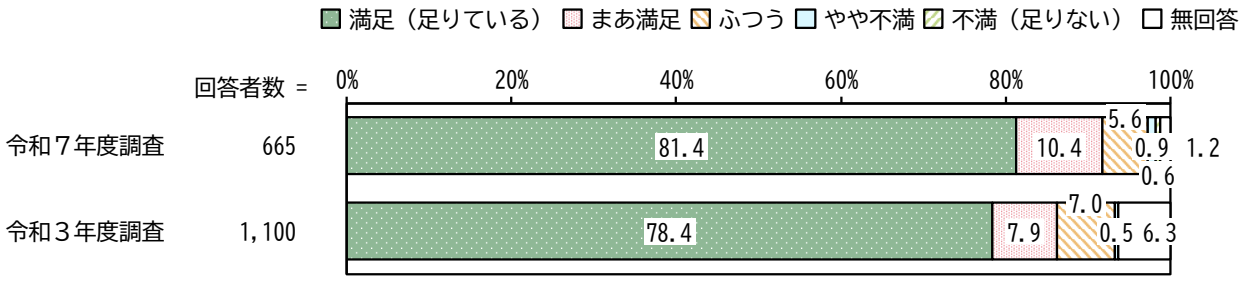
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「毎日食べる」の割合が高くなっています。また、周辺層で「１週間に４～５日」の割合が低くなっています。



問 21　あなたは、給食をのぞいた、家などでの食事の量について満足していますか。
（１つに○）

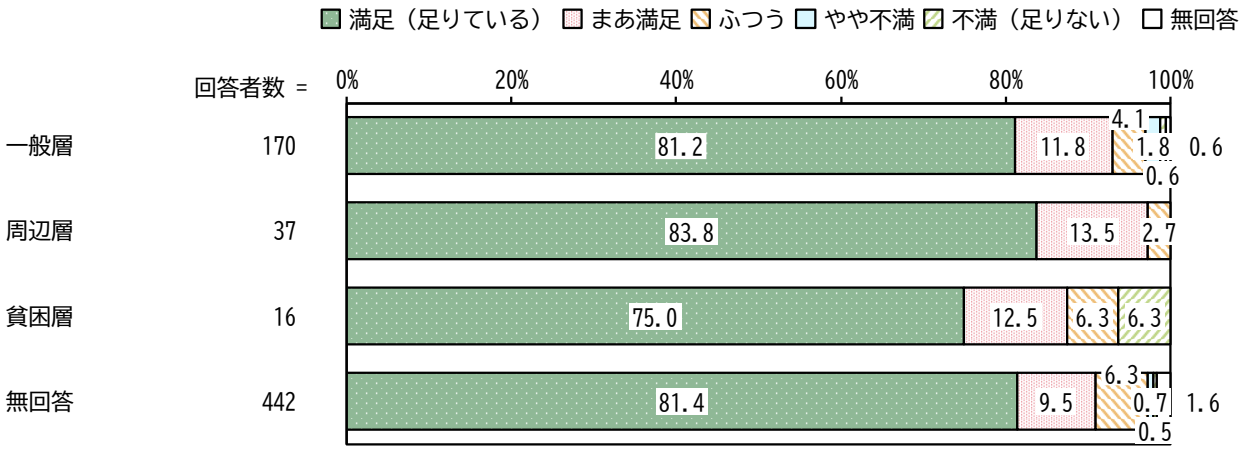
「満足（足りている）」「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が 91.8%、「やや不満」「不満（足りない）」を合わせた“不満”の割合が 1.5%となっています。

令和３年度調査と比較すると、“満足”の割合が増加しています。



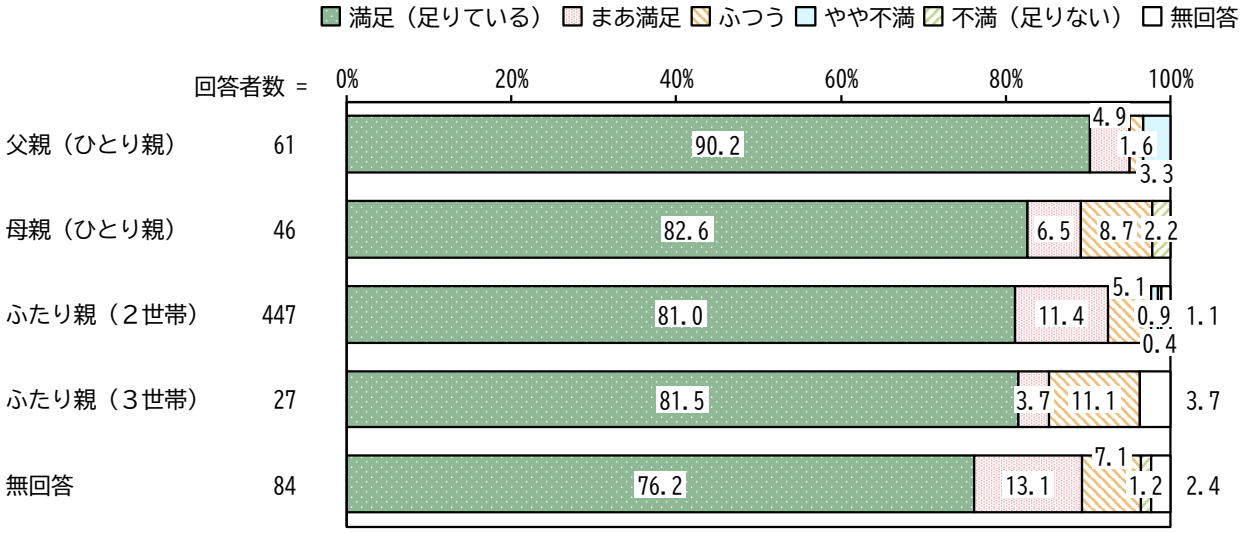
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で“満足”の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

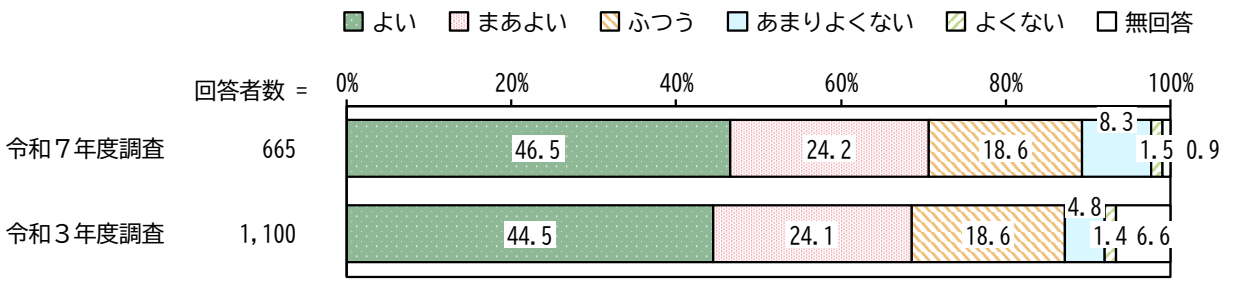
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で“満足”の割合が低くなっています。



問 22　あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。（１つに○）

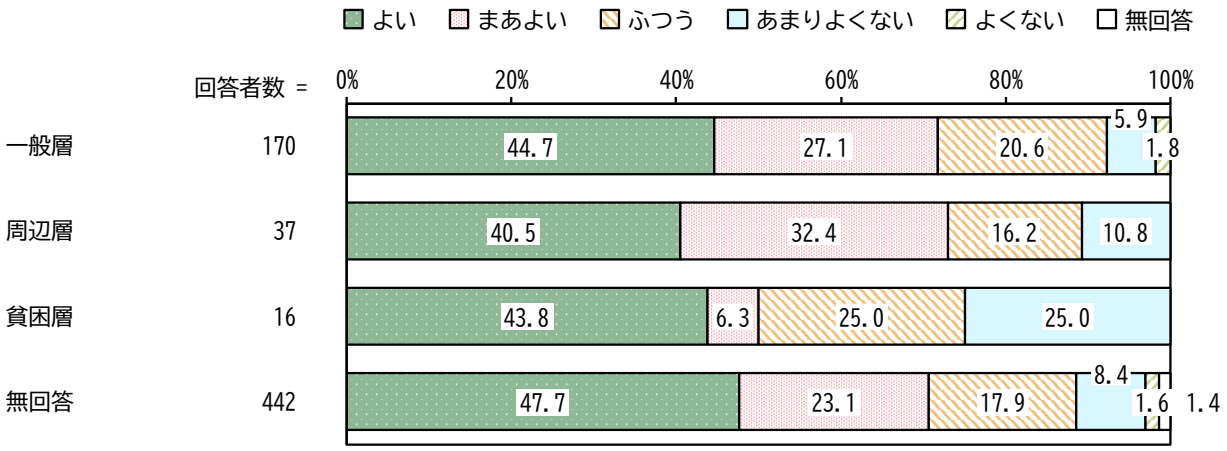
「よい」「まあよい」を合わせた“よい”の割合が 70.7%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”の割合が 9.8%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



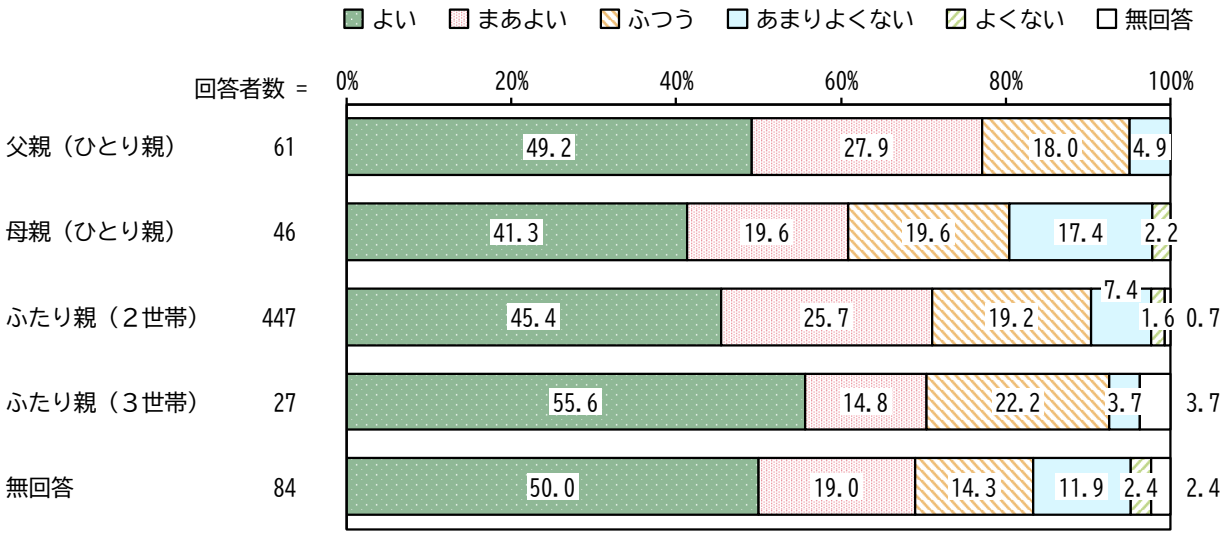
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど“よくない”の割合が高くなっています。



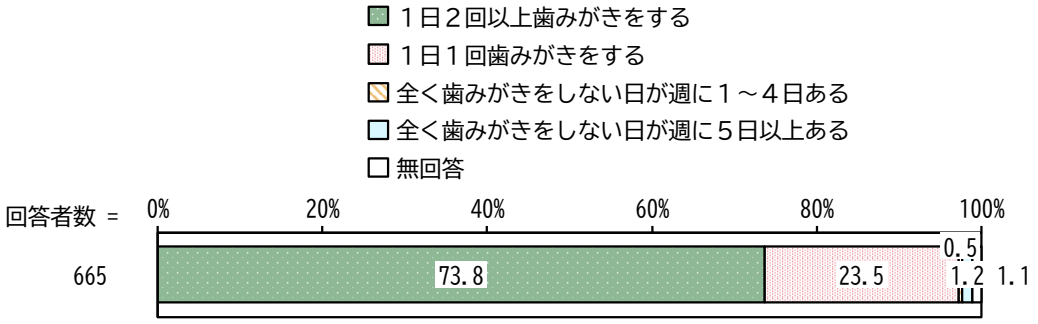
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で“よい”、母親（ひとり親）で“よくない”の割合が高くなっています。



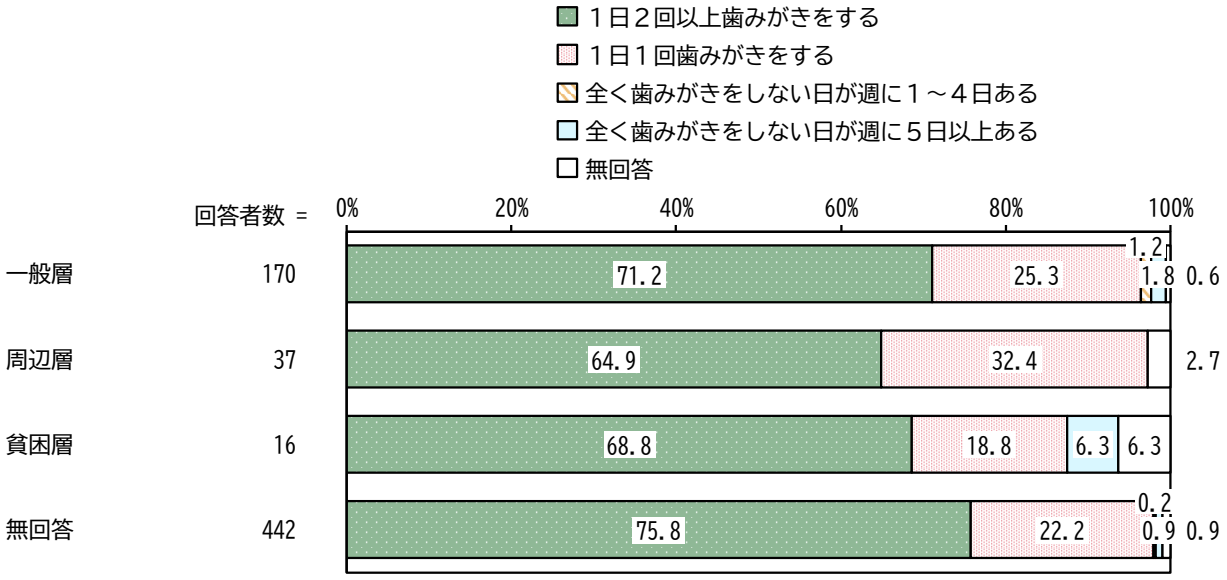
問 23　あなたは、歯みがきをどのくらいしますか。（１つに○）

「１日２回以上歯みがきをする」の割合が 73.8%と最も高く、次いで「１日１回歯みがきをする」の割合が 23.5%となっています。



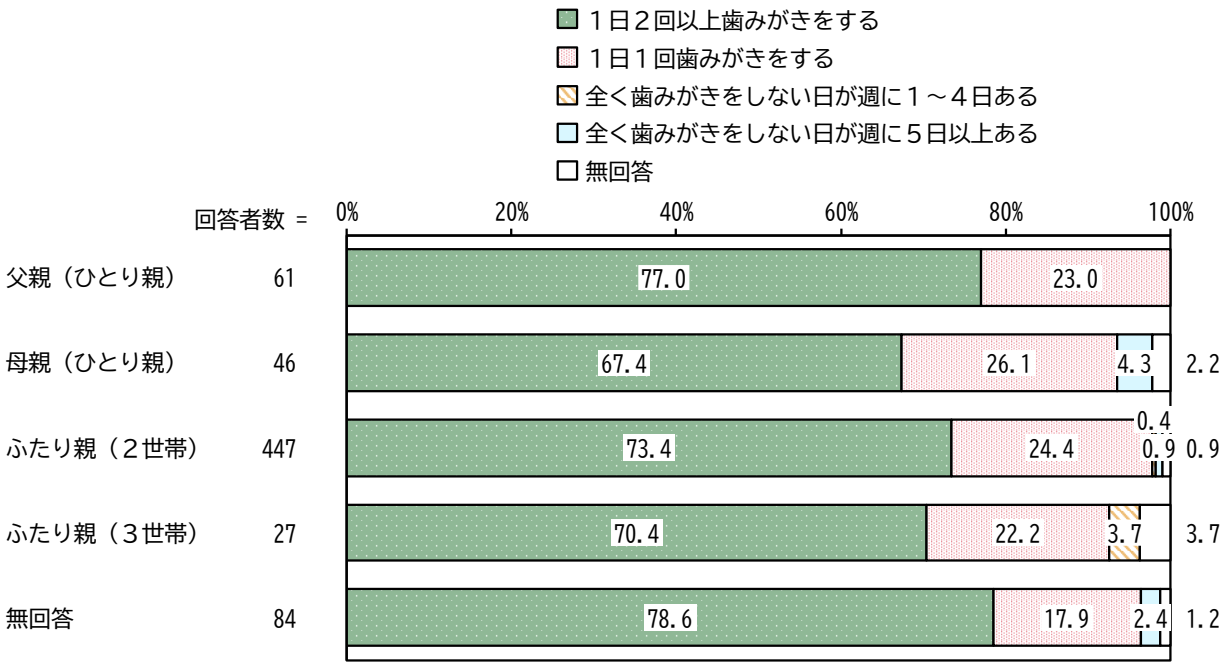
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「１日１回歯みがきをする」、貧困層で「全く歯みがきをしない日が週に５日以上ある」の割合が高くなっています。



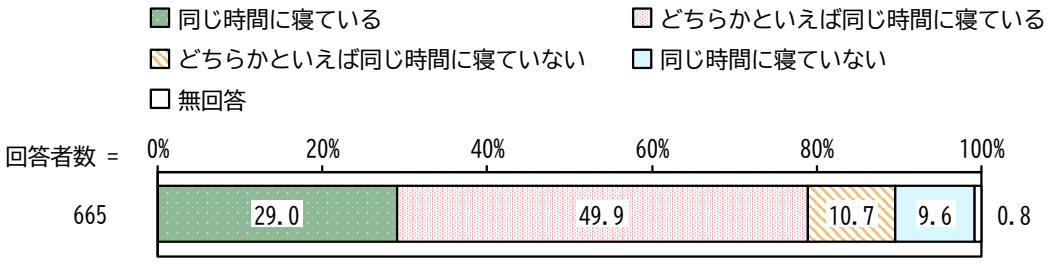
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「１日２回以上歯みがきをする」の割合が低くなっています。



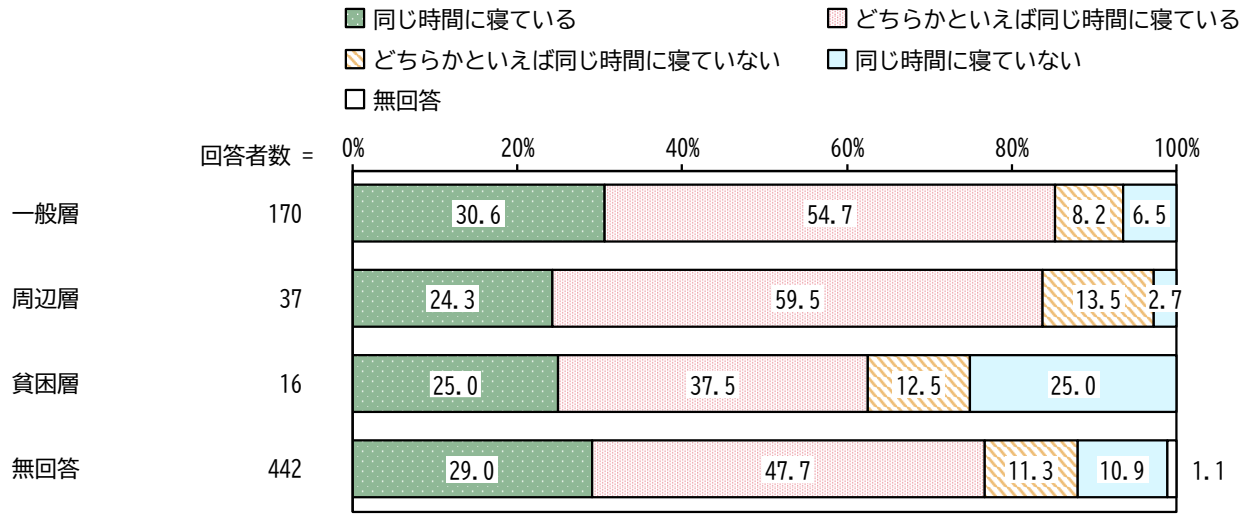
問 24　あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。（１つに○）

「同じ時間に寝ている」「どちらかといえば同じ時間に寝ている」を合わせた“同じ時間に寝ている”の割合が 78.9%、「どちらかといえば同じ時間に寝ていない」「同じ時間に寝ていない」を合わせた“同じ時間に寝ていない”の割合が 20.3%となっています。



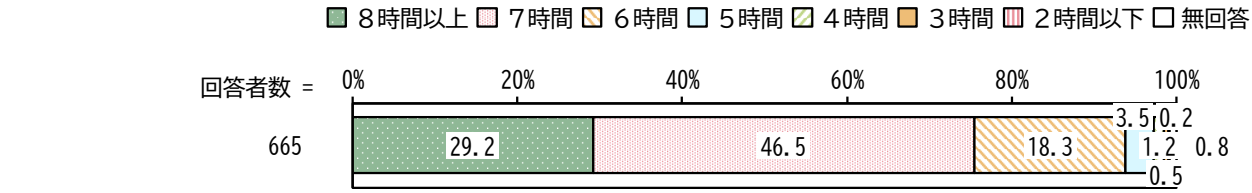
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど“同じ時間に寝ていない”の割合が高くなっています。



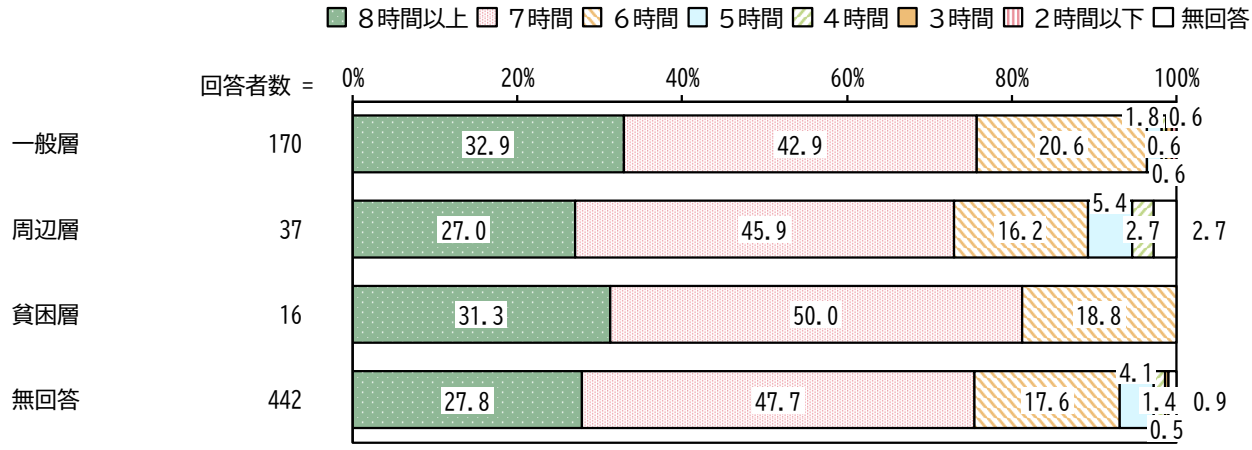
問 25　あなたは、平均して、平日（学校に行く日）は何時間の睡眠をとっていますか。
（１つに○）

「７時間」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「８時間以上」の割合が 29.2%、「６時間」の割合が 18.3%となっています。



【生活困難度別】

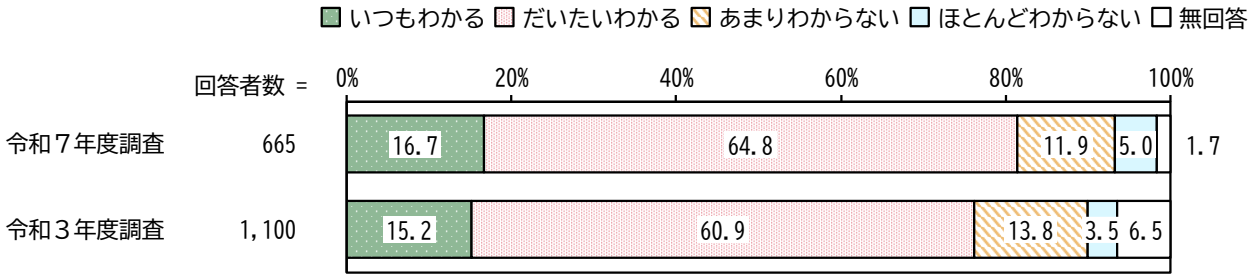
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「７時間」の割合が高くなっています。



問 26　あなたは、学校の授業でわからないことがありますか。（１つに○）

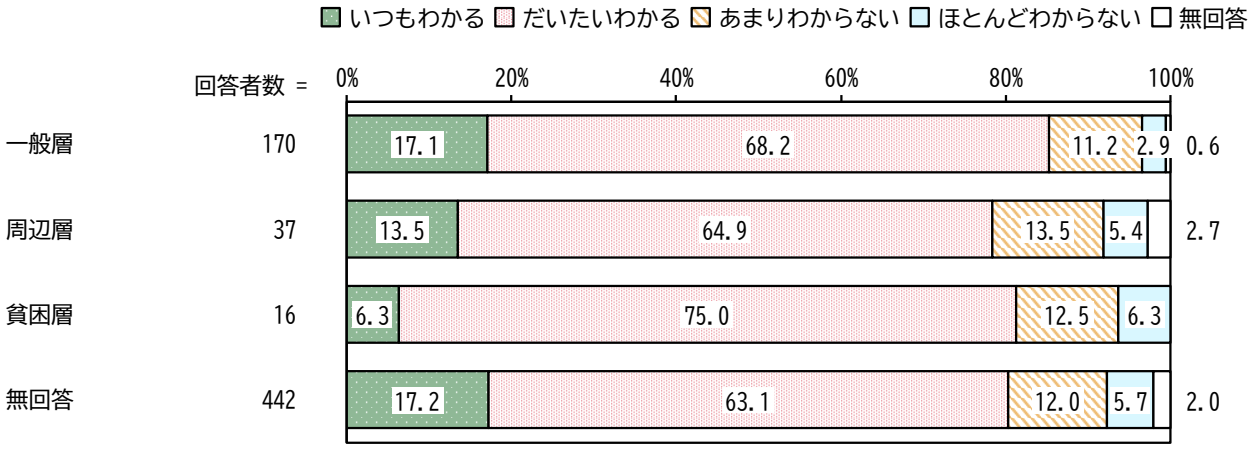
「いつもわかる」「だいたいわかる」を合わせた“わかる”の割合が 81.5%、「あまりわからない」「ほとんどわからない」を合わせた“わからない”の割合が 16.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、“わかる”の割合が増加しています。



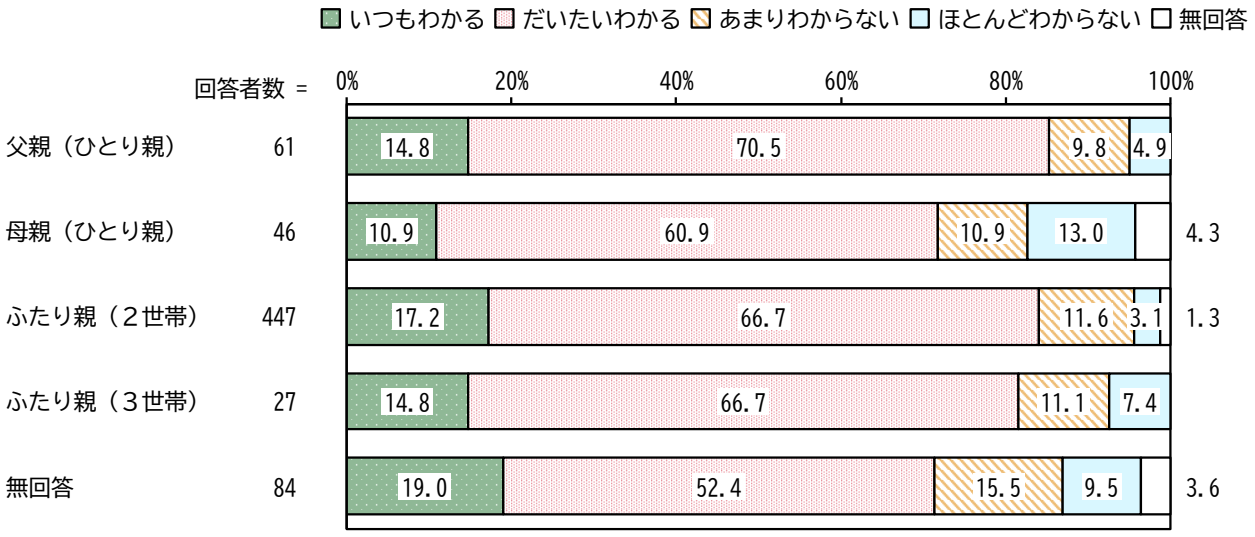
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「いつもわかる」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で“わからない”の割合が高くなっています。

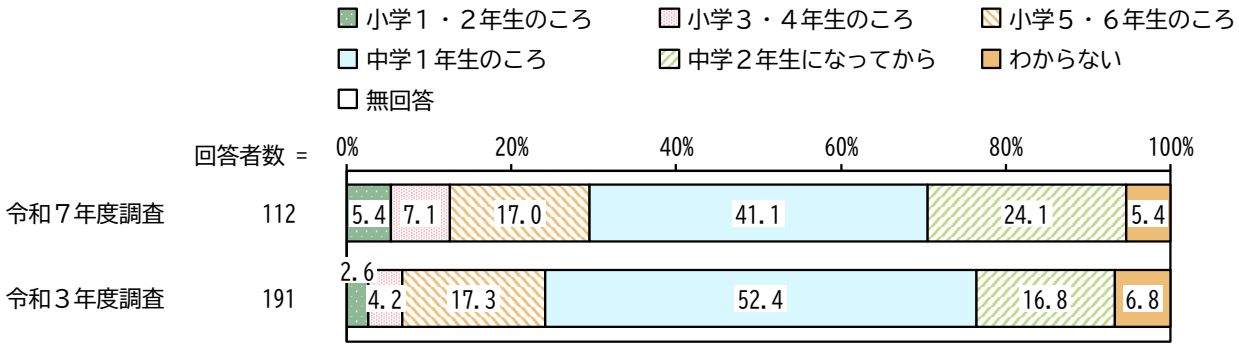


問 26 で学校の授業が「あまりわからない」、または「ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

問 26－１　いつごろから、授業がわからなくなりましたか。（１つに○）

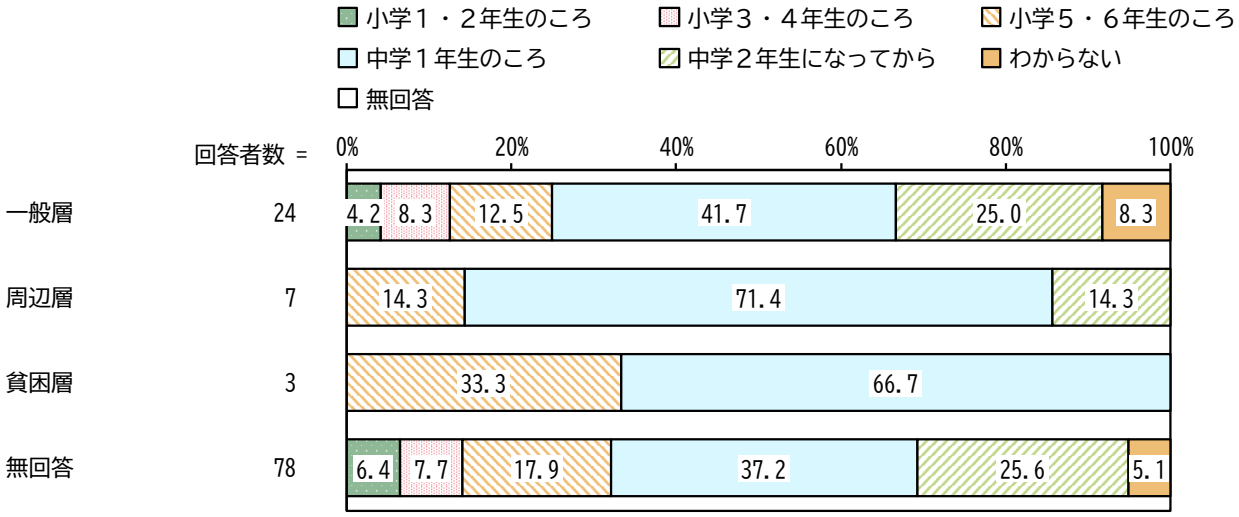
「中学１年生のころ」の割合が 41.1%と最も高く、次いで「中学２年生になってから」の割合が 24.1%、「小学５・６年生のころ」の割合が 17.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「中学２年生になってから」の割合が増加しています。一方、「中学１年生のころ」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

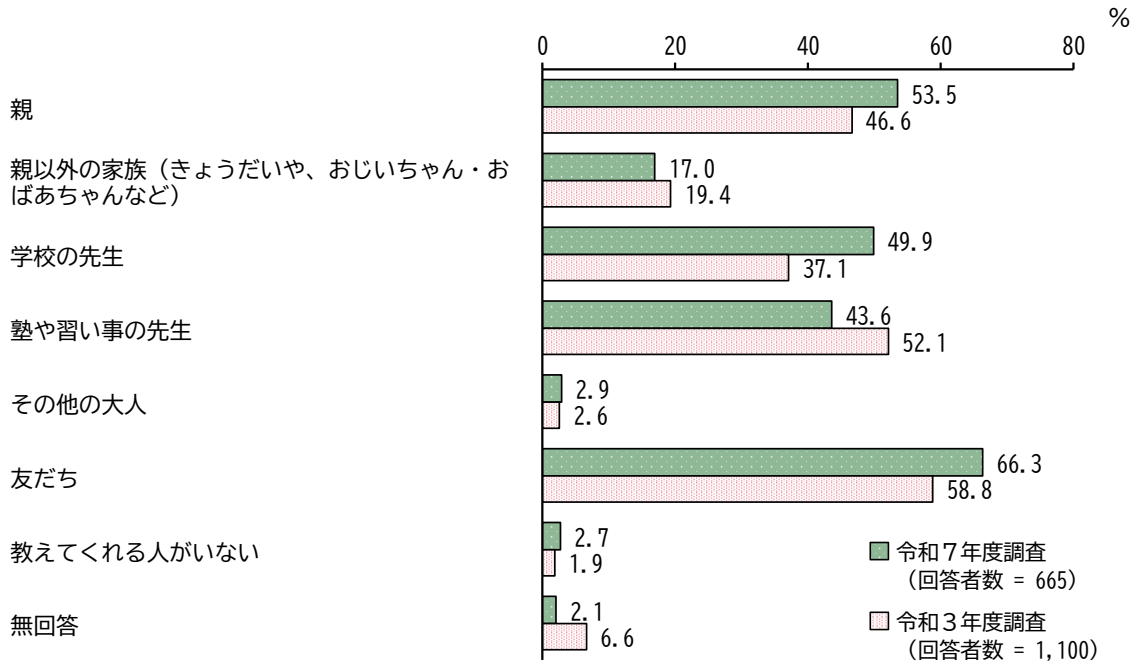
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「小学５・６年生のころ」の割合が高く、「中学２年生になってから」の割合が低く、貧困層から周辺層まで困難度が小さいほど「中学１年生のころ」の割合が高くなっています。



問 27　勉強がわからないときに、聞ける人は誰ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「友だち」の割合が 66.3%と最も高く、次いで「親」の割合が 53.5%、「学校の先生」の割合が 49.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「親」「学校の先生」「友だち」の割合が増加しています。一方、「塾や習い事の先生」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「学校の先生」の割合が高くなっています。

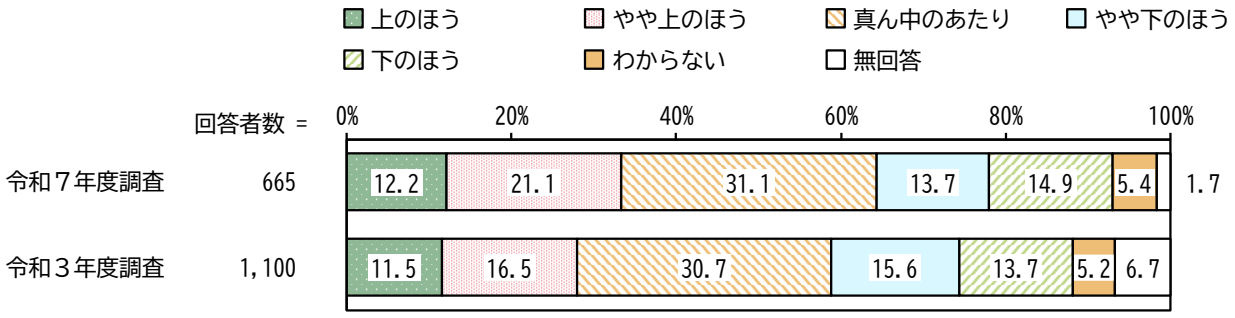
単位：%

区分	回答者数（件）	親	親以外の家族（きょうだいや、おじいちゃん・おばあちゃんなど）	学校の先生	塾や習い事の先生	その他の大人	友だち	教えてくれる人がいない	無回答
全　体	665	53.5	17.0	49.9	43.6	2.9	66.3	2.7	2.1
一般層	170	59.4	17.6	51.8	43.5	2.4	66.5	2.9	0.6
周辺層	37	51.4	10.8	45.9	21.6	5.4	75.7	2.7	2.7
貧困層	16	62.5	12.5	31.3	43.8	6.3	68.8	0.0	0.0
無回答	442	51.1	17.4	50.2	45.5	2.7	65.4	2.7	2.7

問 28　あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。（１つに○）

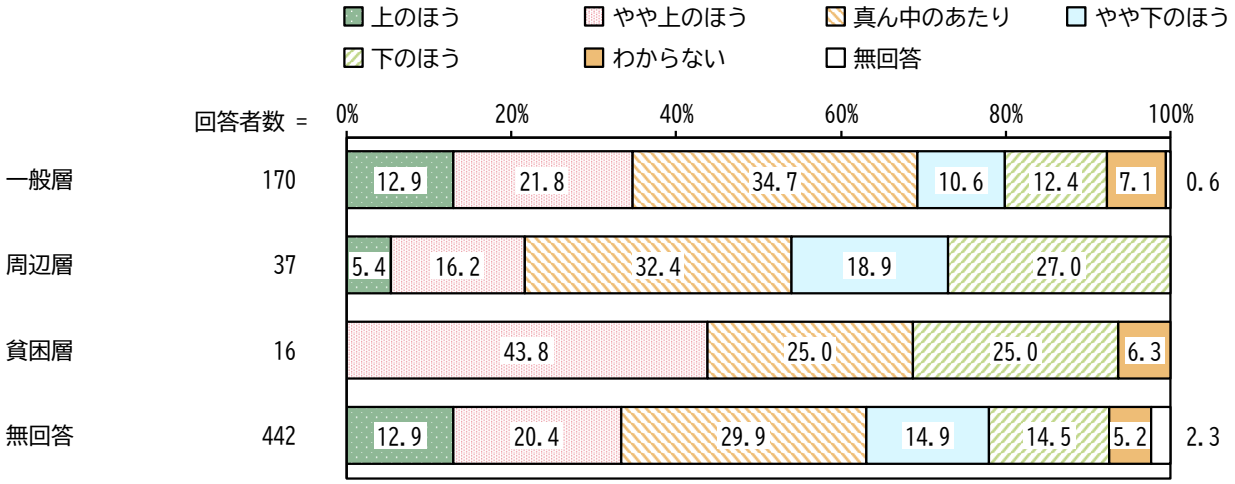
「上のほう」「やや上のほう」を合わせた“上のほう”の割合が 33.3%、「やや下のほう」「下のほう」を合わせた“下のほう”の割合が 28.6%となっています。

令和３年度調査と比較すると、“上のほう”の割合が増加しています。



【生活困難度別】

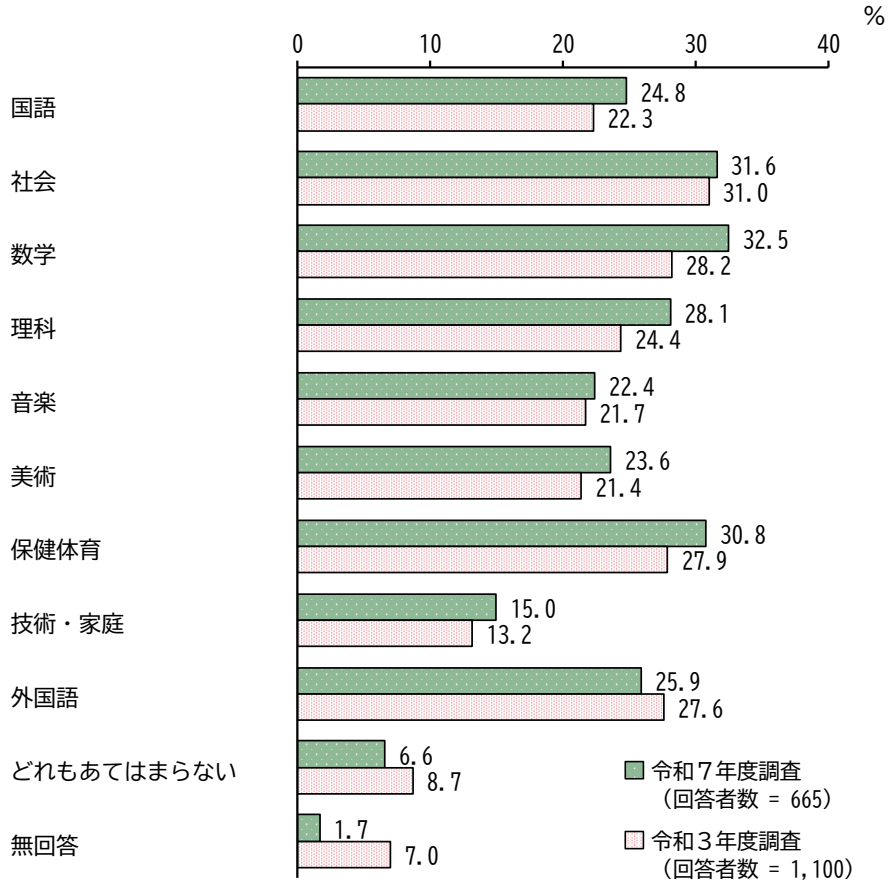
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「上のほう」「真ん中のあたり」の割合が高くなっています。また、周辺層で「下のほう」の割合が高くなっています。



問 29　あなたの得意な教科は、どれですか。（あてはまる番号すべてに○）

「数学」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「社会」の割合が 31.6%、「保健体育」の割合が 30.8%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和３年度調査では、「外国語」が「英語」となっていました。

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「社会」「音楽」の割合が高く、「国語」の割合が低くなっています。

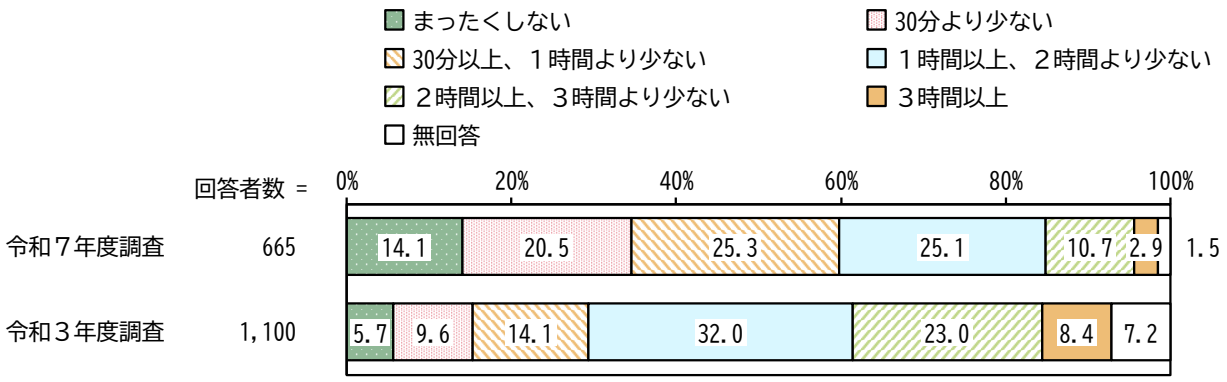
単位：%

区分	回答者数（件）	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語	どれもあてはまらない	無回答
全　体	665	24.8	31.6	32.5	28.1	22.4	23.6	30.8	15.0	25.9	6.6	1.7
一般層	170	22.9	35.3	32.9	30.6	24.7	25.3	28.2	15.3	31.2	5.3	0.6
周辺層	37	27.0	35.1	29.7	35.1	18.9	18.9	27.0	16.2	18.9	13.5	0.0
貧困層	16	31.3	18.8	43.8	31.3	18.8	31.3	31.3	18.8	25.0	6.3	0.0
無回答	442	25.1	30.3	32.1	26.5	21.9	23.1	32.1	14.7	24.4	6.6	2.3

問 30　あなたは、ふだん（月～金曜日）学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。１日あたりの勉強時間を教えてください。（１つに○）

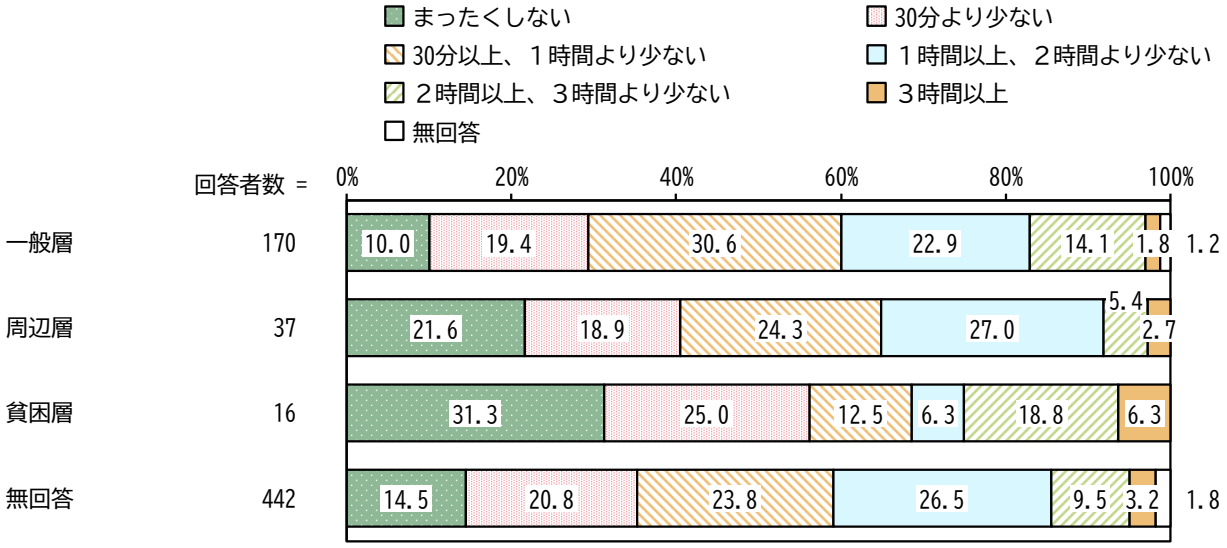
「30 分以上、１時間より少ない」の割合が 25.3%と最も高く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」の割合が 25.1%、「30 分より少ない」の割合が 20.5%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「まったくしない」「30 分より少ない」「30 分以上、１時間より少ない」の割合が増加しています。一方、「１時間以上、２時間より少ない」「２時間以上、３時間より少ない」「３時間以上」の割合が減少しています。



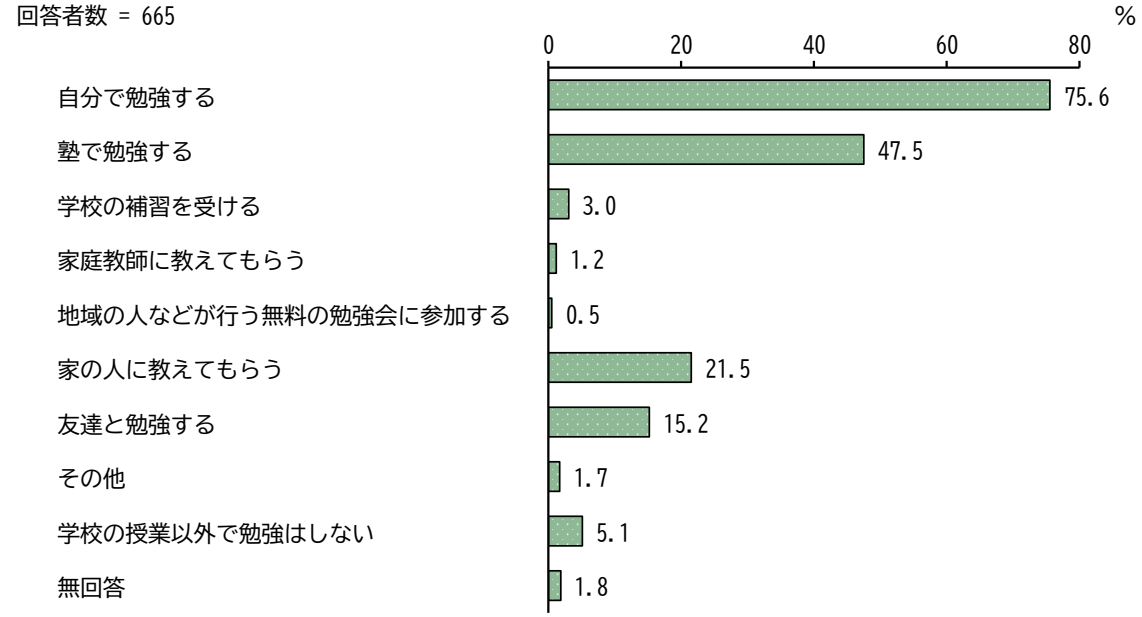
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「まったくしない」の割合が高くなっています。



問 31　あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
勉強には学校の宿題もふくみます。月曜日から金曜日のことについてお答えください。
（「自分で勉強する」～「その他」については、あてはまる番号すべてに○）

「自分で勉強する」の割合が 75.6%と最も高く、次いで「塾で勉強する」の割合が 47.5%、「家の人に教えてもらう」の割合が 21.5%となっています。



【生活困難度別】

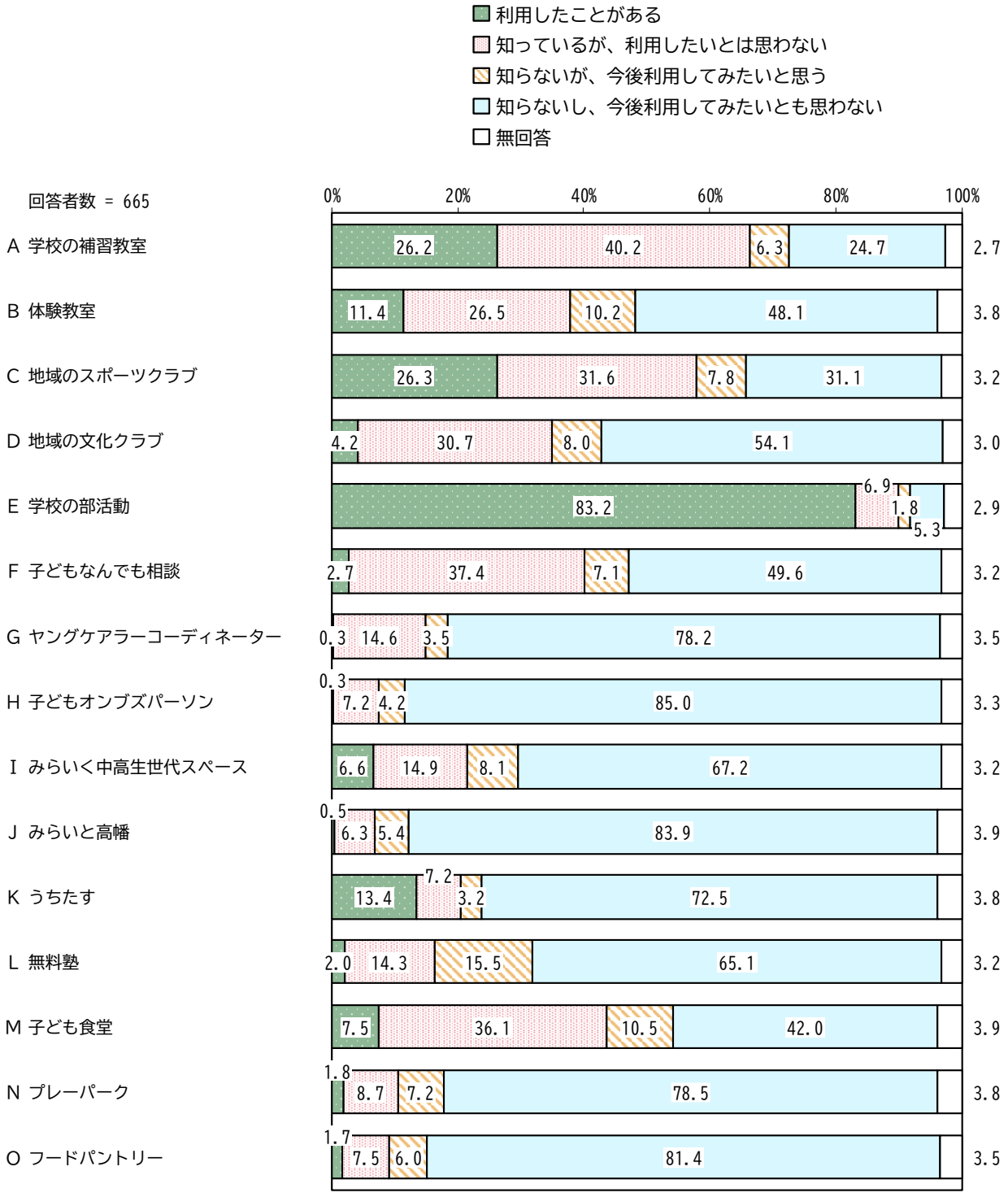
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「自分で勉強する」「塾で勉強する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	自分で勉強する	塾で勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	その他	学校の授業以外で勉強はしない	無回答
全　体	665	75.6	47.5	3.0	1.2	0.5	21.5	15.2	1.7	5.1	1.8
一般層	170	82.4	47.1	2.9	0.6	0.0	24.7	12.4	1.8	3.5	0.6
周辺層	37	78.4	40.5	0.0	0.0	0.0	24.3	21.6	2.7	5.4	0.0
貧困層	16	43.8	37.5	0.0	0.0	6.3	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0
無回答	442	74.0	48.6	3.4	1.6	0.5	20.8	15.8	1.6	5.0	2.5

問 32　下記の事業で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

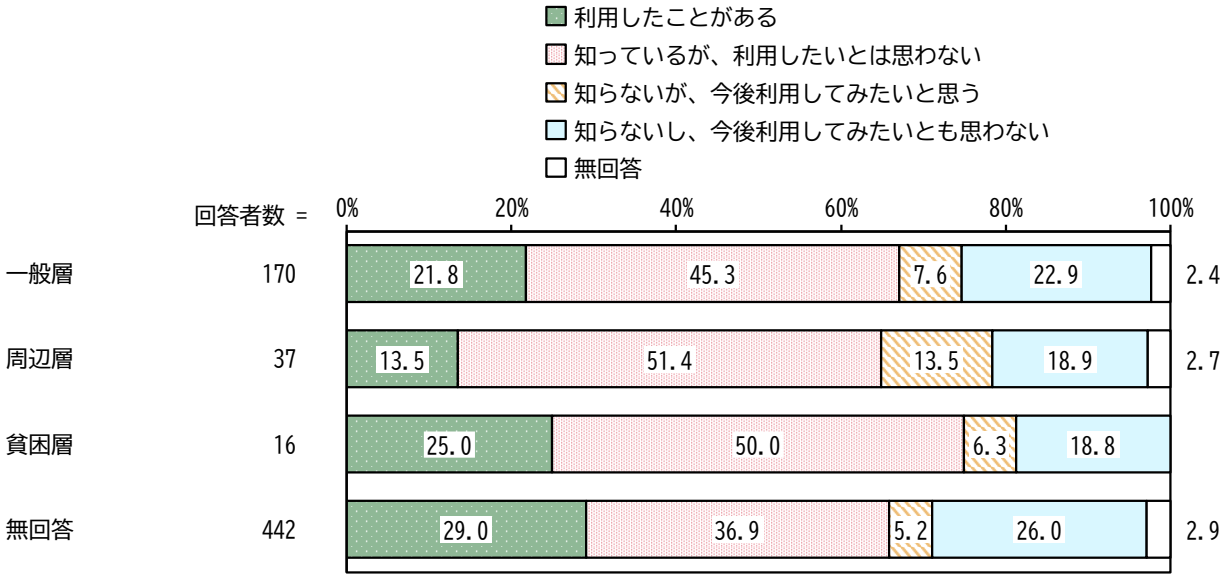
『Ｅ　学校の部活動』で「利用したことがある」が、『Ａ　学校の補習教室』で「知っているが、利用したいとは思わない」が、『Ｌ　無料塾』で「知らないが、今後利用してみたいと思う」が、『Ｈ　子どもオンブズパーソン』で「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」が高くなっています。



A　学校の補習教室

【生活困難度別】

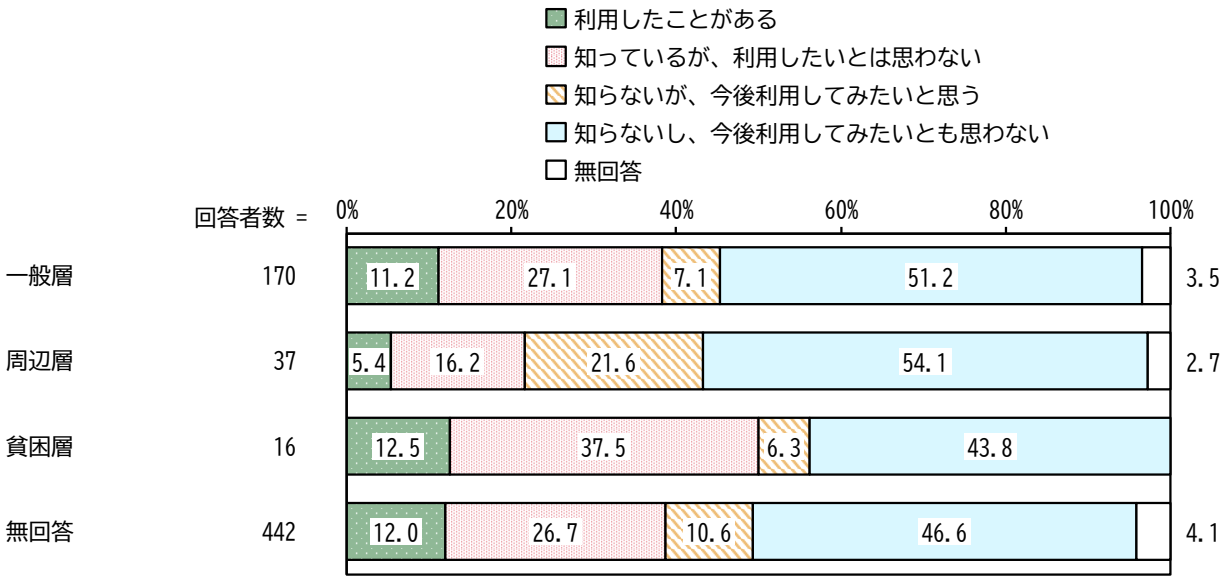
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が高くなっています。また、周辺層で「知っているが、利用したいとは思わない」の割合が高く、「利用したことがある」の割合が低くなっています。



B　体験教室

【生活困難度別】

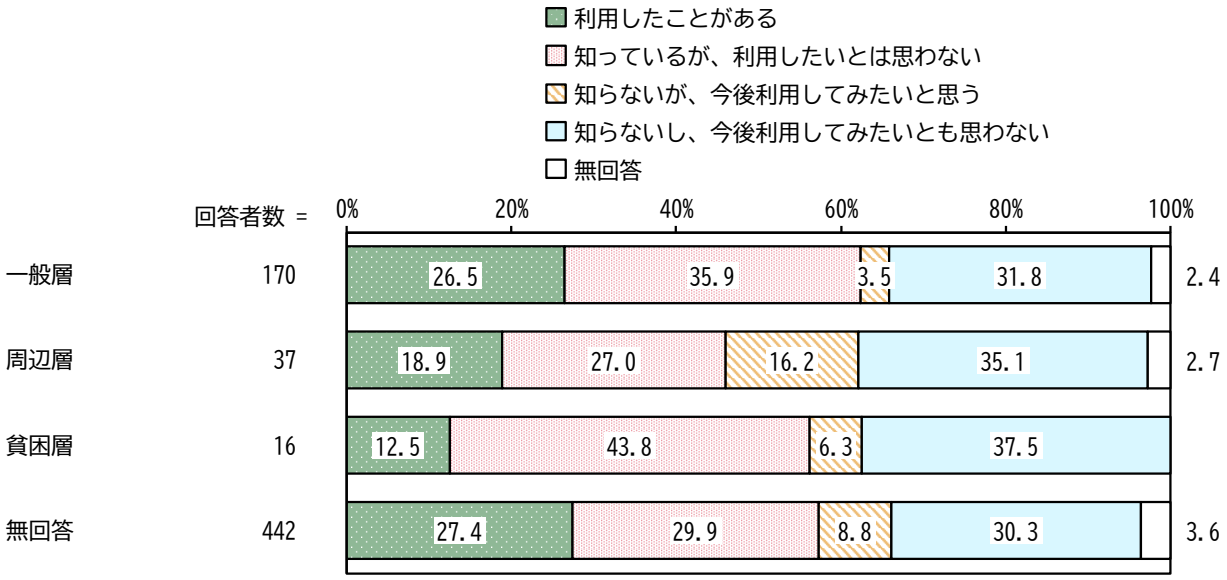
生活困難度別にみると、貧困層で「知っているが、利用したいとは思わない」、周辺層で「知らないが、今後利用してみたいと思う」の割合が高くなっています。



C　地域のスポーツクラブ

【生活困難度別】

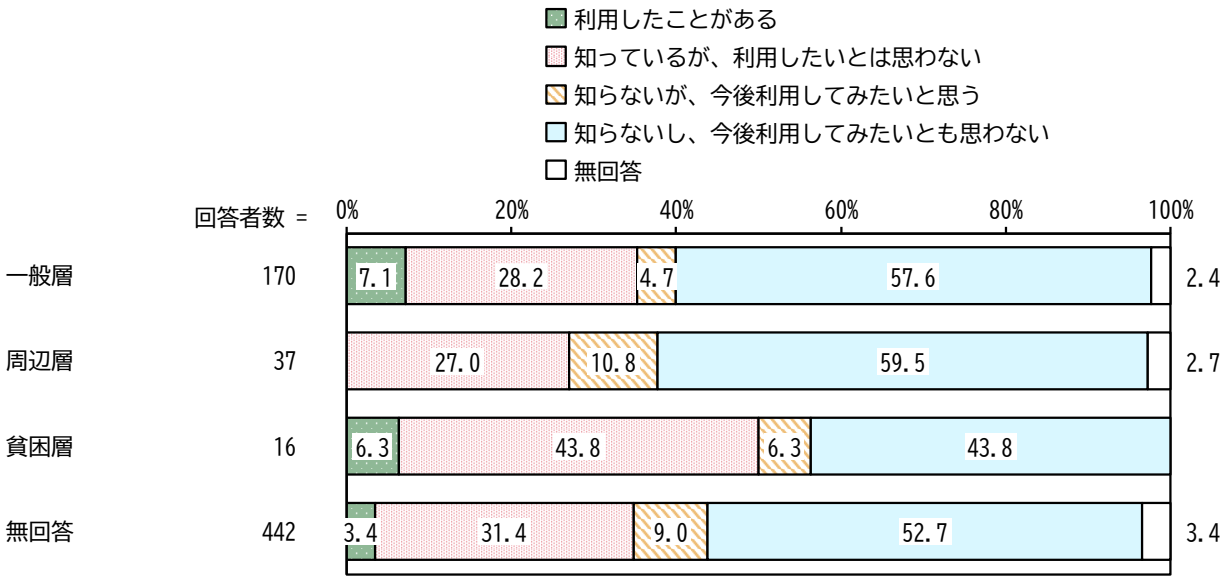
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が高く、「利用したことがある」の割合が低くなっています。



D　地域の文化クラブ

【生活困難度別】

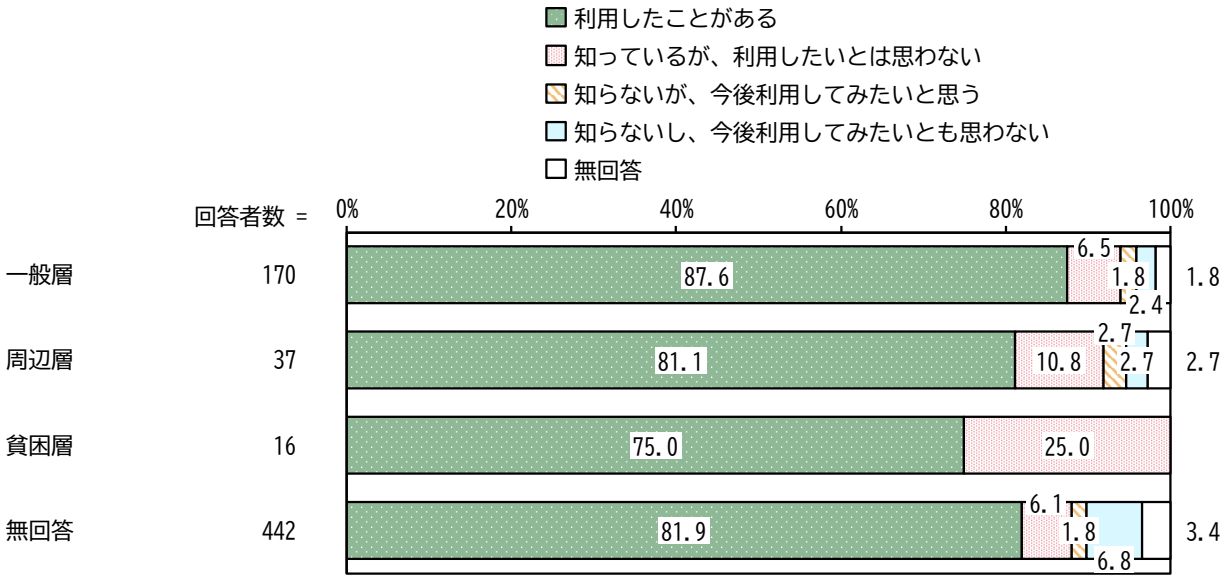
生活困難度別にみると、貧困層で「知っているが、利用したいとは思わない」の割合が高く、「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が低くなっています。



E　学校の部活動

【生活困難度別】

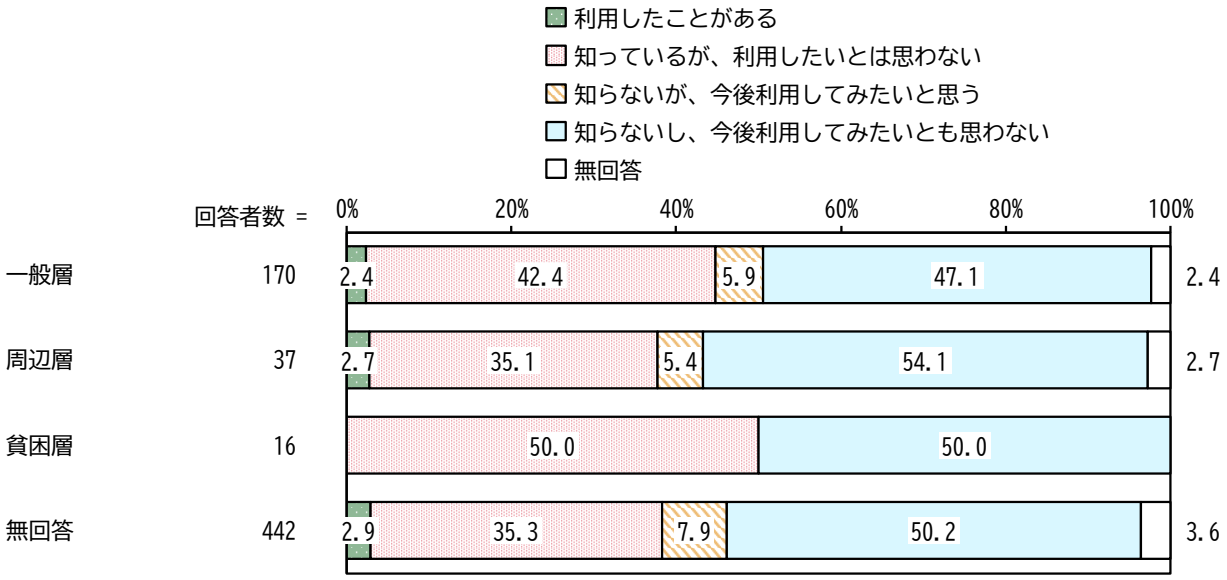
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「知っているが、利用したいとは思わない」の割合が高く、「利用したことがある」の割合が低くなっています。



F　子どもなんでも相談

【生活困難度別】

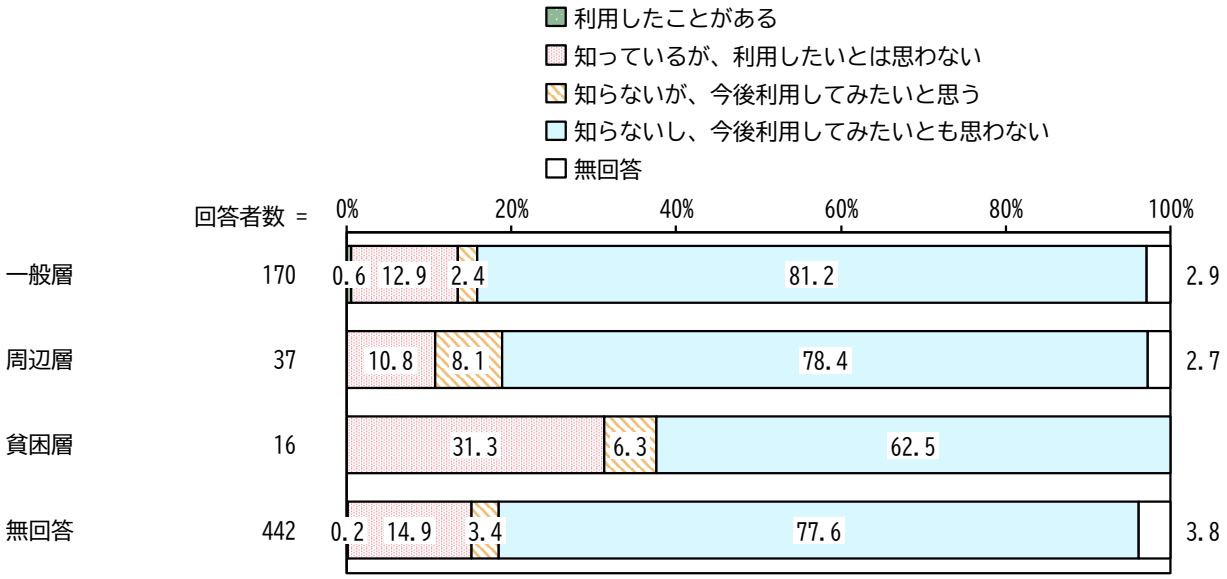
生活困難度別にみると、貧困層で「知っているが、利用したいとは思わない」の割合が高くなっています。



G　ヤングケアラーコーディネーター

【生活困難度別】

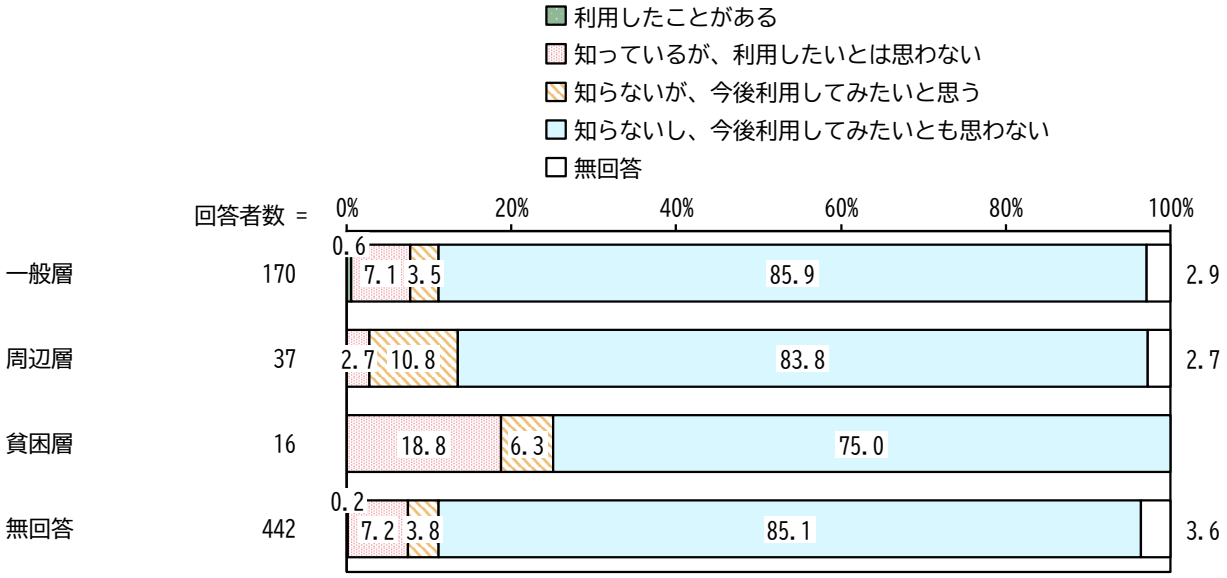
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が高くなっています。



H　子どもオンブズパーソン

【生活困難度別】

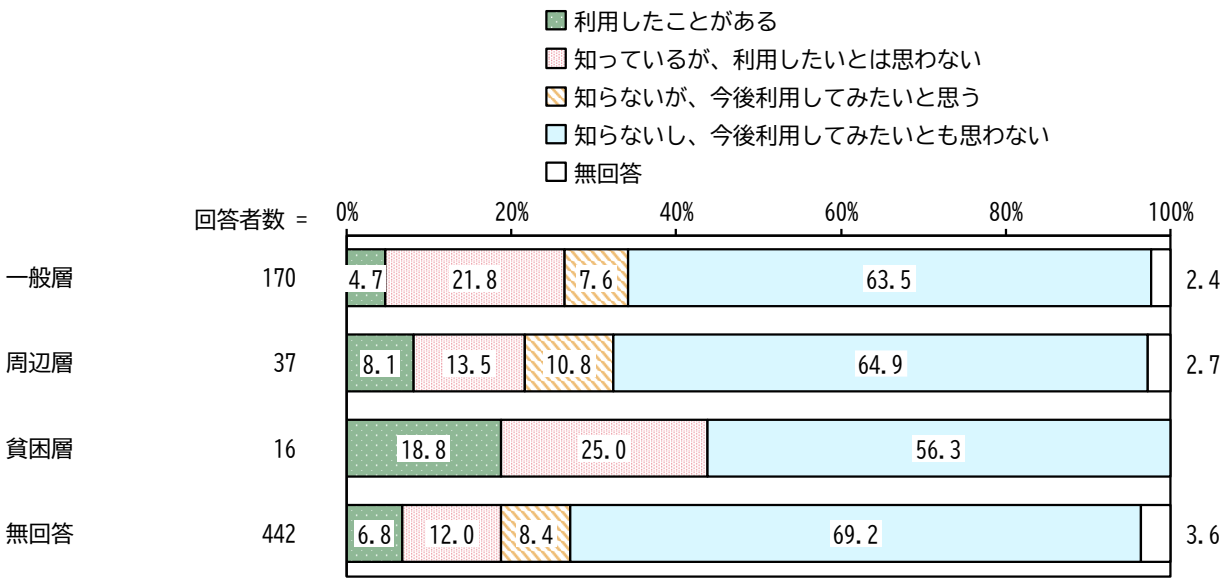
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が高くなっています。



I　みらいく中高生世代スペース

【生活困難度別】

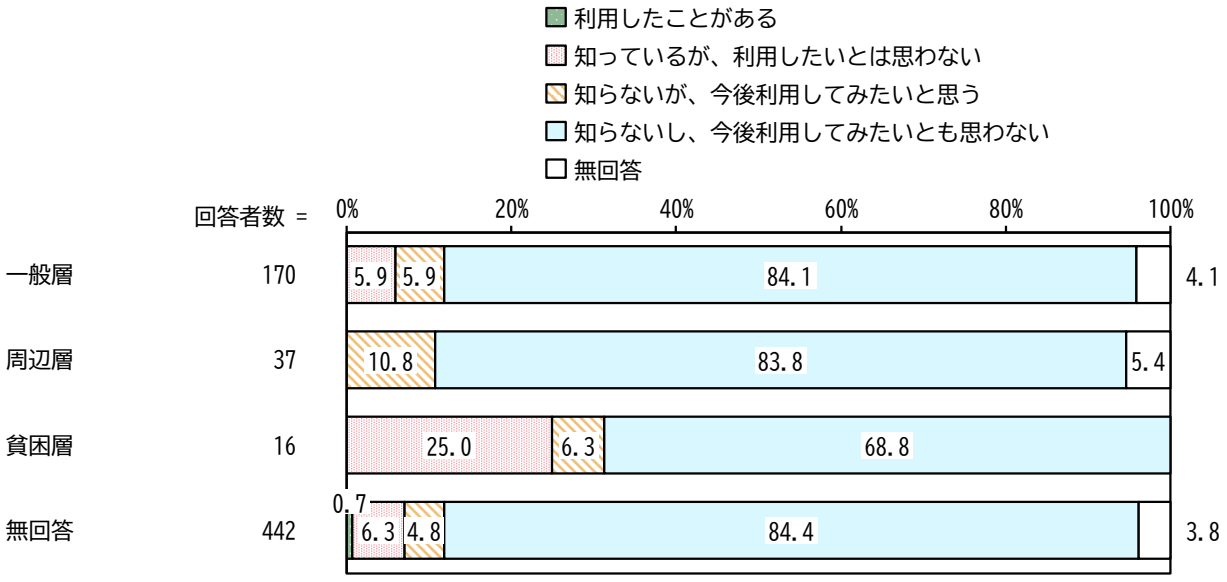
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したことがある」の割合が高くなっています。



J　みらいと高幡

【生活困難度別】

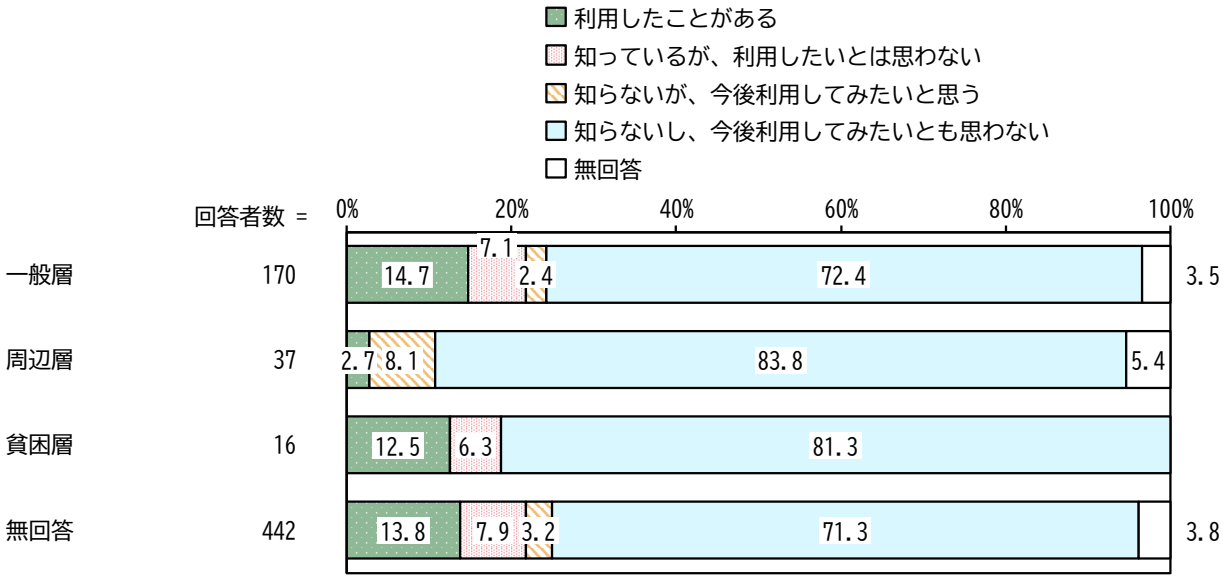
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が高くなっています。



K　うちたす

【生活困難度別】

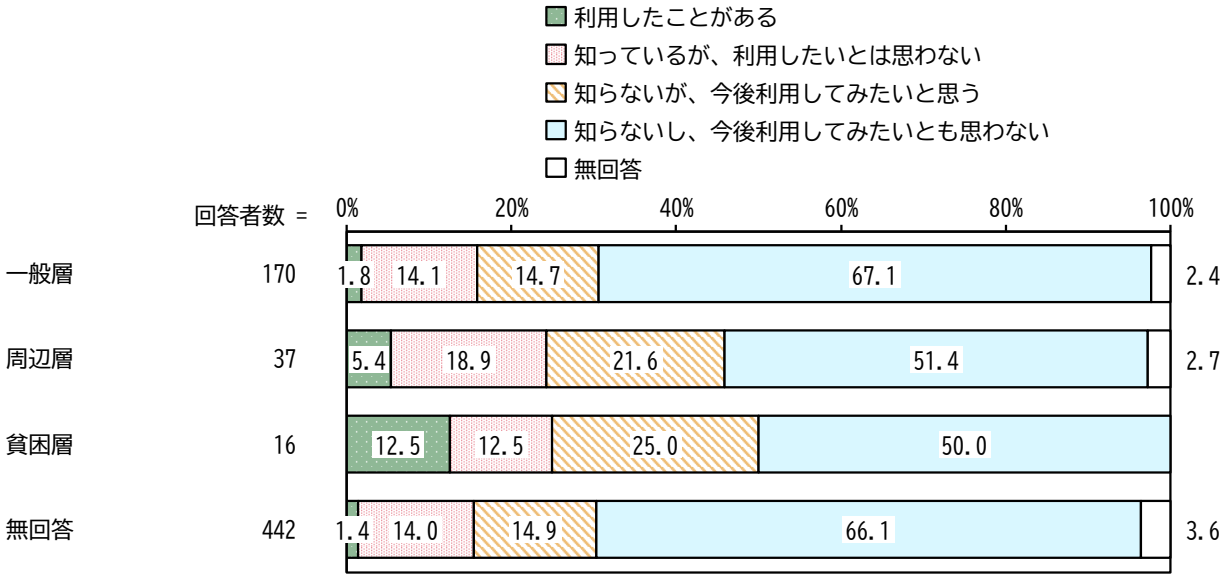
生活困難度別にみると、周辺層で「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が高く、「利用したことがある」の割合が低くなっています。



L　無料塾

【生活困難度別】

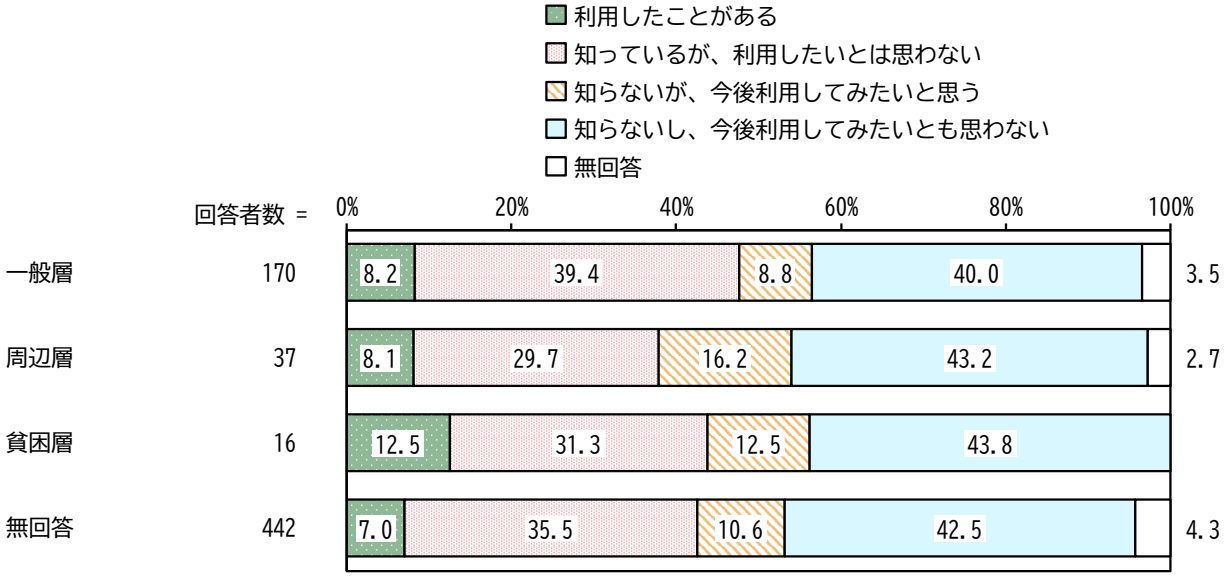
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したことがある」「知らないが、今後利用してみたいと思う」の割合が高く、「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が低くなっています。



M　子ども食堂

【生活困難度別】

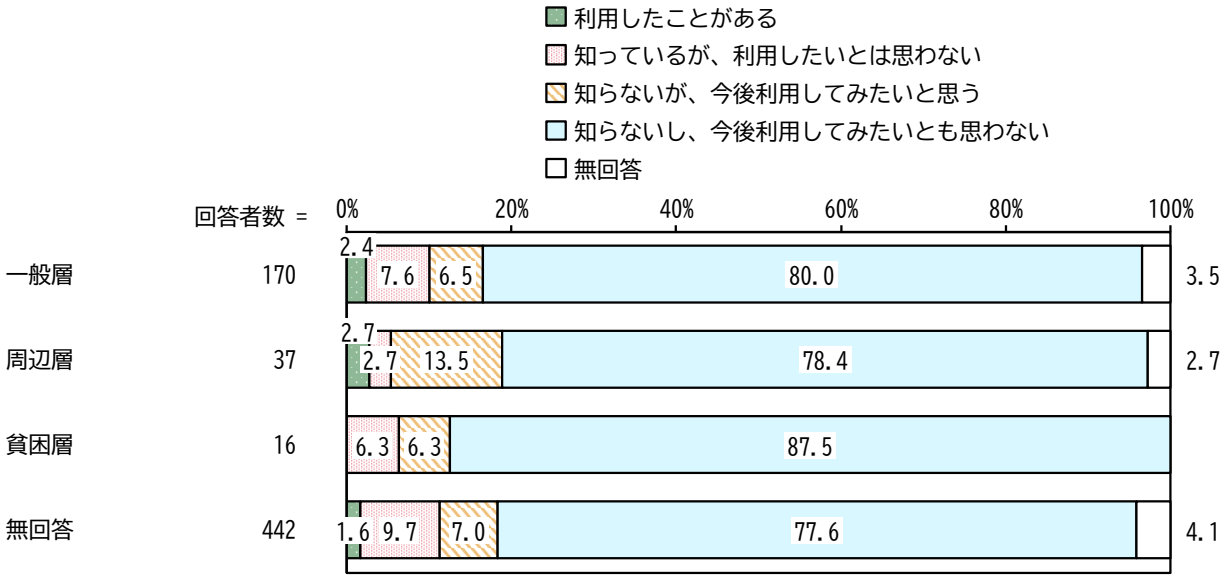
生活困難度別にみると、貧困層で「利用したことがある」、周辺層で「知らないが、今後利用してみたいと思う」の割合が高くなっています。



N　プレーパーク

【生活困難度別】

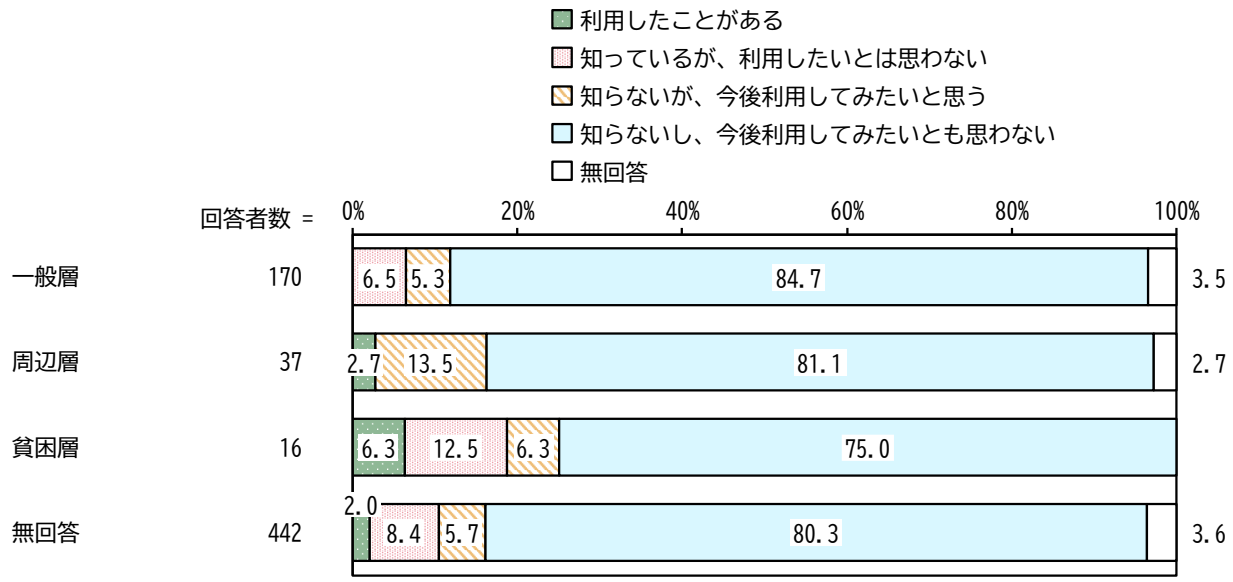
生活困難度別にみると、周辺層で「知らないが、今後利用してみたいと思う」、貧困層で「知らないし、今後利用してみたいとも思わない」の割合が高くなっています。



○　フードパントリー

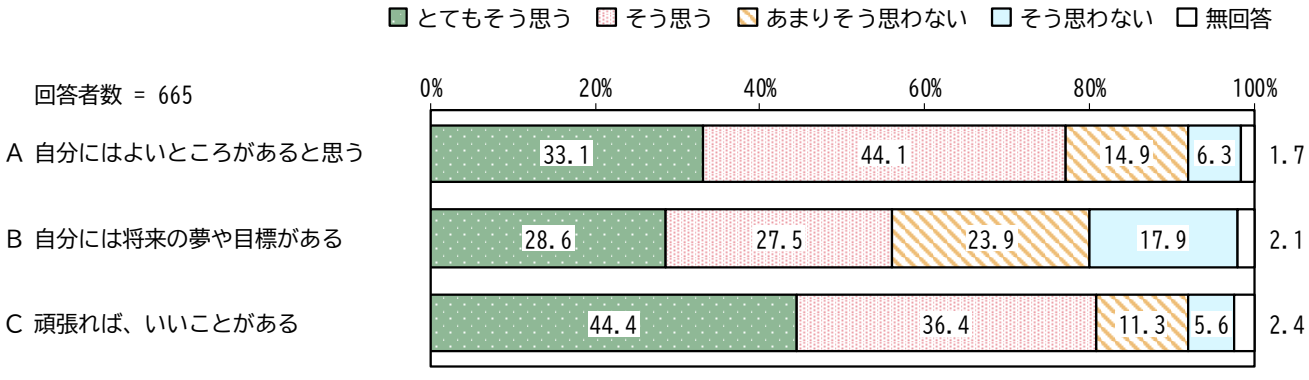
【生活困難度別】

　生活困難度別にみると、貧困層で「知っているが、利用したいとは思わない」、周辺層で「知らないが、今後利用してみたいと思う」の割合が高くなっています。



問 33　あなたは、自分のことについてどう思いますか。
　　それぞれ、あてはまる番号１つに○）

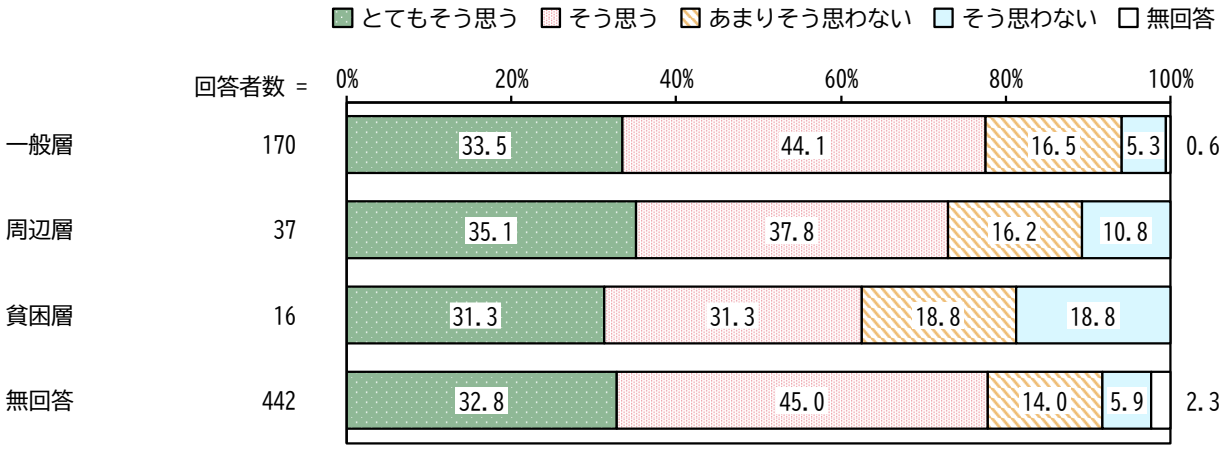
　『C　頑張れば、いいことがある』で「とてもそう思う」が、『A　自分にはよいところがあると思う』で「そう思う」が、『B　自分には将来の夢や目標がある』で「あまりそう思わない」「そう思わない」が高くなっています。



A　自分にはよいところがあると思う

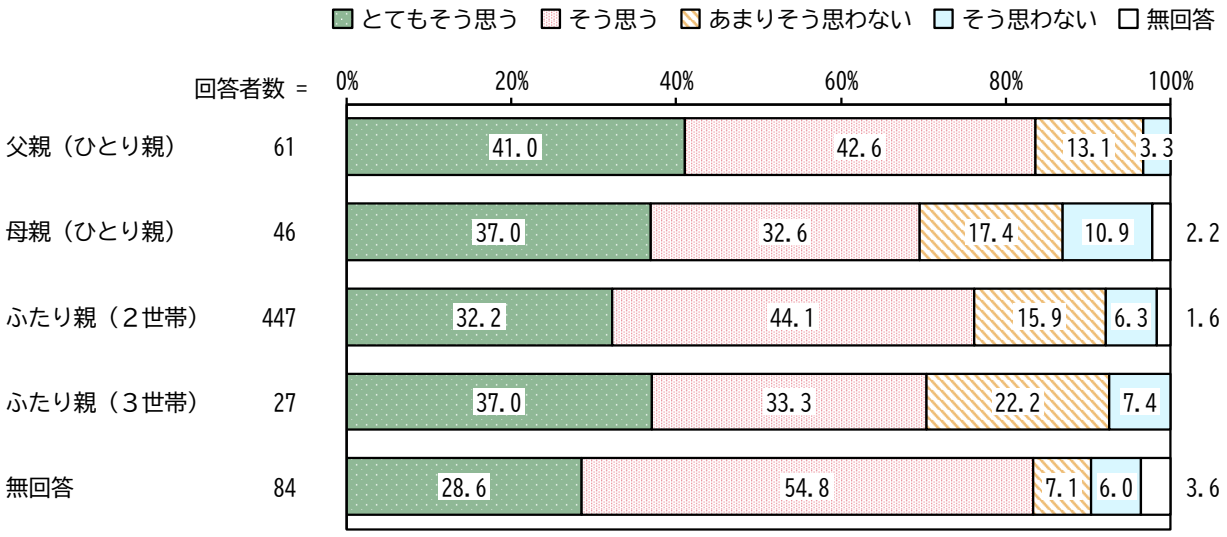
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど“そう思わない”の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

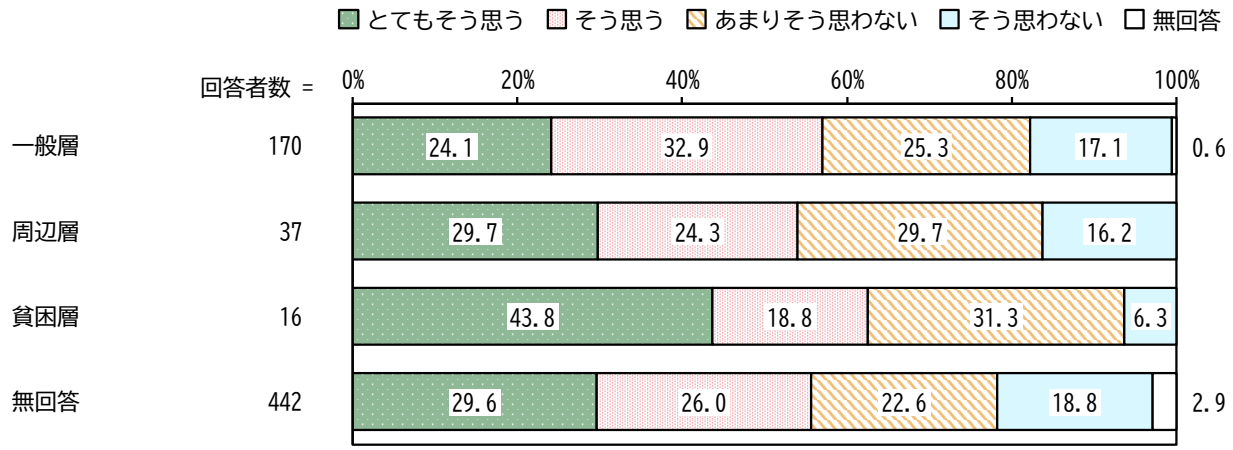
世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で“そう思う”、母親（ひとり親）、ふたり親（３世帯）で“そう思わない”の割合が高くなっています。



B　自分には将来の夢や目標がある

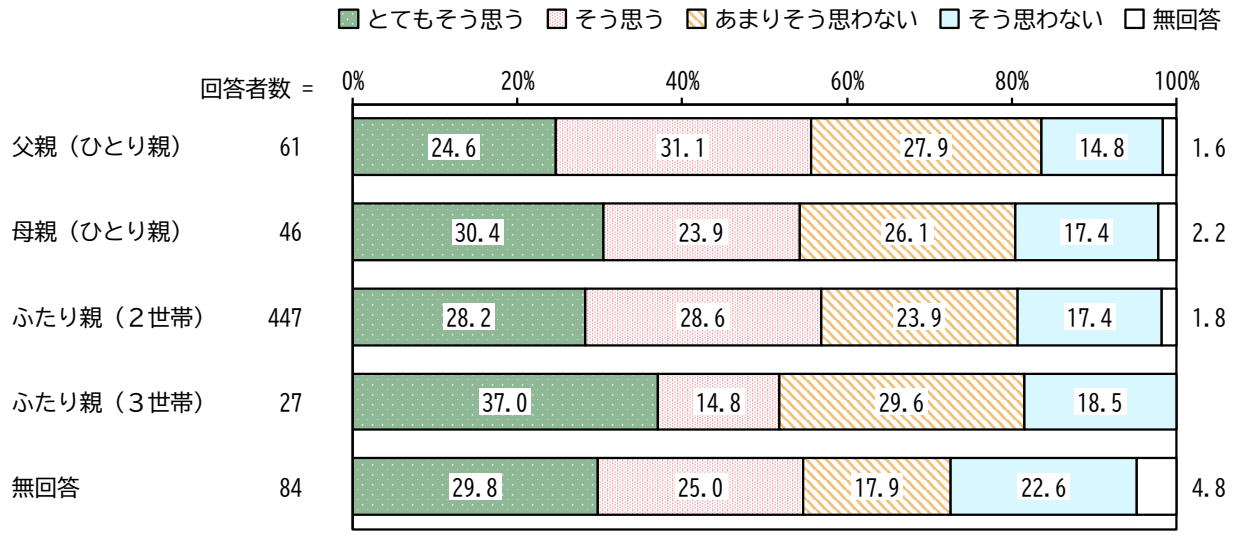
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「とてもそう思う」「あまりそう思わない」の割合が高く、「そう思う」「そう思わない」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

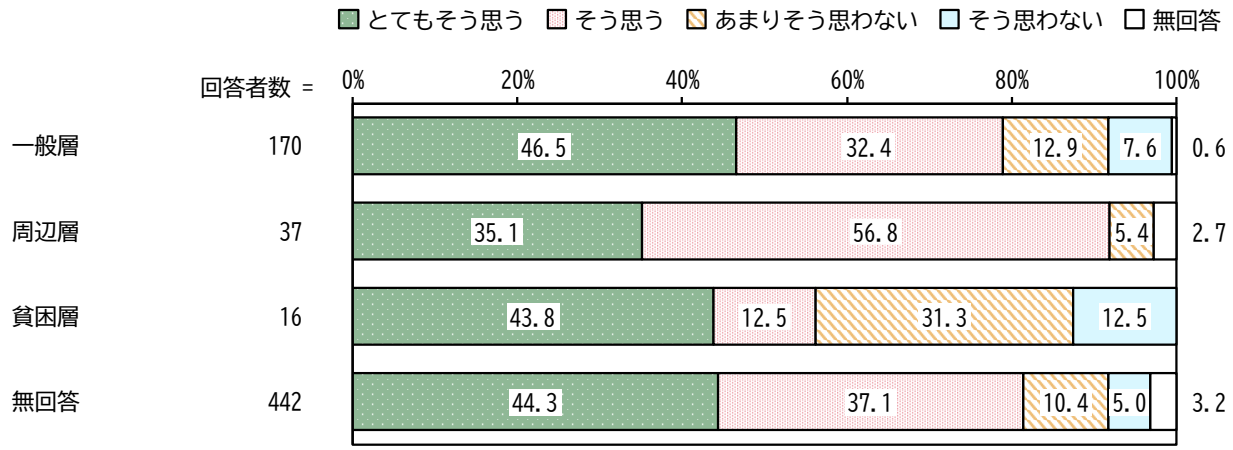
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で“そう思わない”の割合が高くなっています。



C　頑張れば、いいことがある

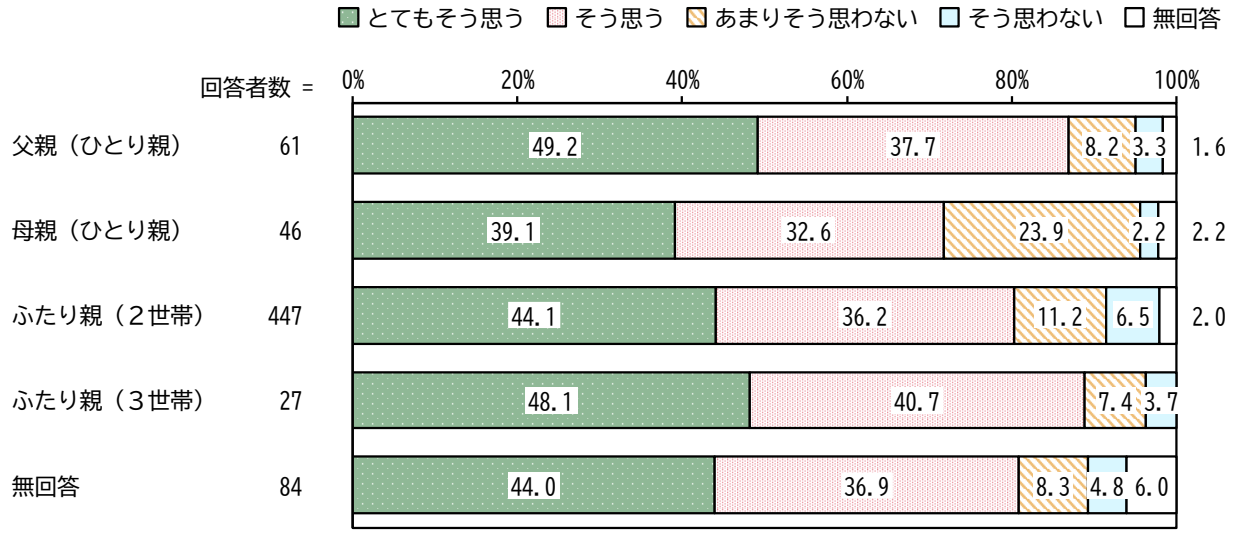
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で“そう思う”、貧困層で“そう思わない”の割合が高くなっています。



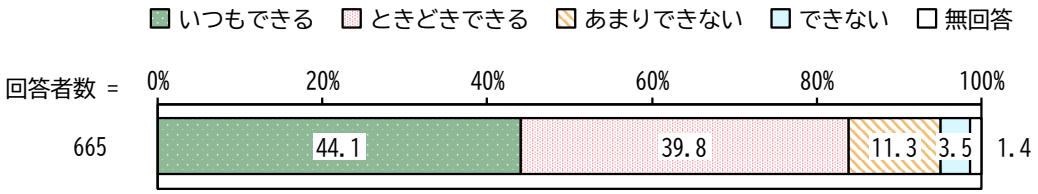
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、父親（ひとり親）、ふたり親（３世帯）で“そう思う”、母親（ひとり親）で“そう思わない”の割合が高くなっています。



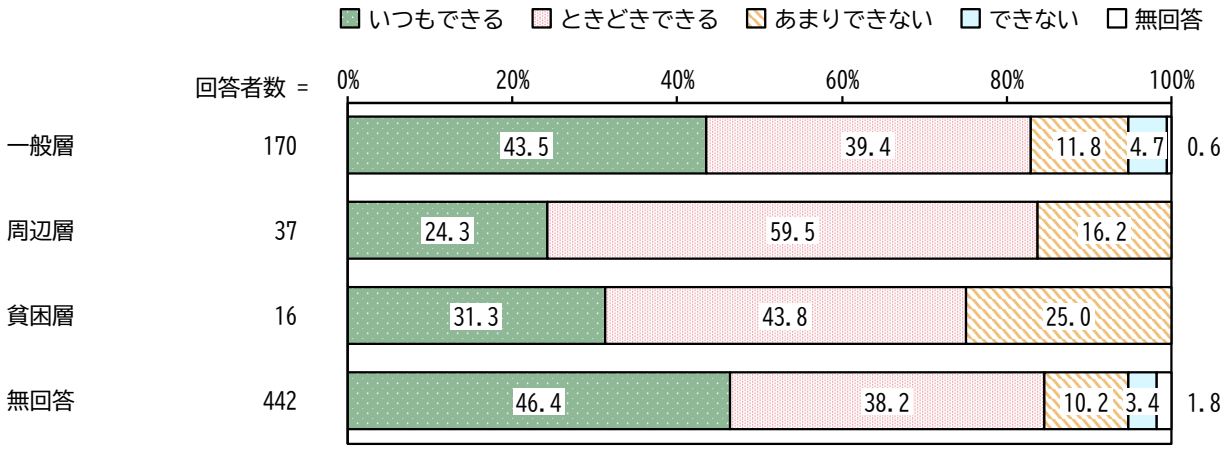
問 34　困ったことやいやなことがあったとき、自分のきもちをおちつかせることができますか。（１つに○）

「いつもできる」「ときどきできる」を合わせた“できる”の割合が 83.9%、「あまりできない」「できない」を合わせた“できない”の割合が 14.8%となっています。



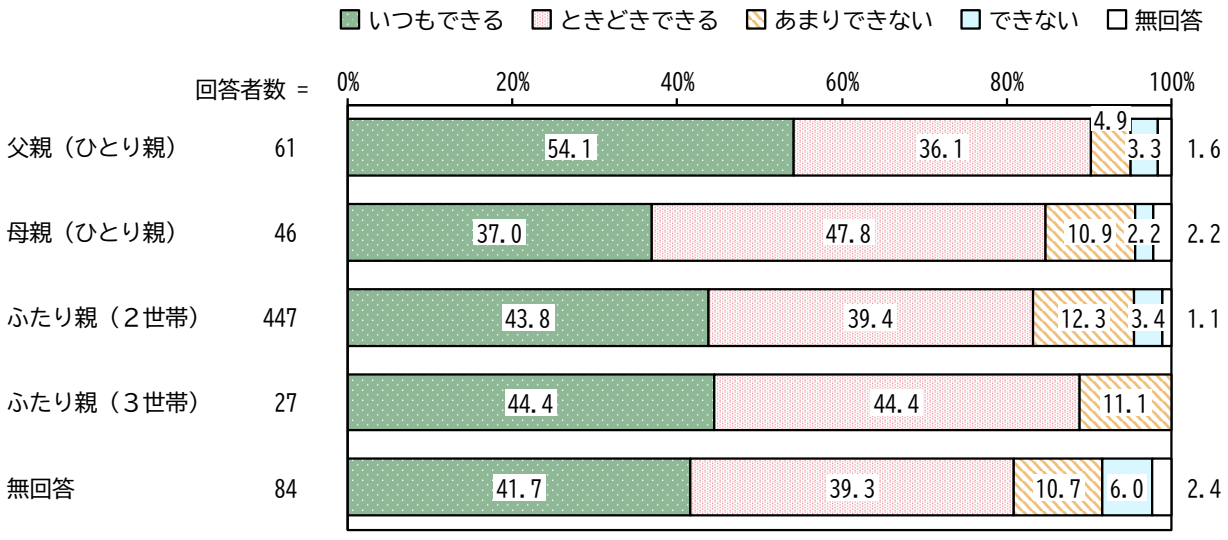
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「あまりできない」の割合が高くなっています。また、周辺層で「ときどきできる」の割合が高く、「いつもできる」の割合が低くなっています。



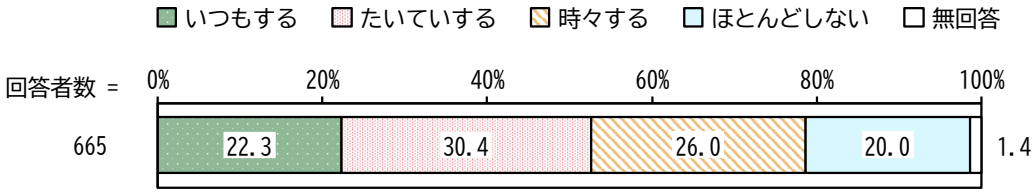
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で“できる”の割合が高くなっています。



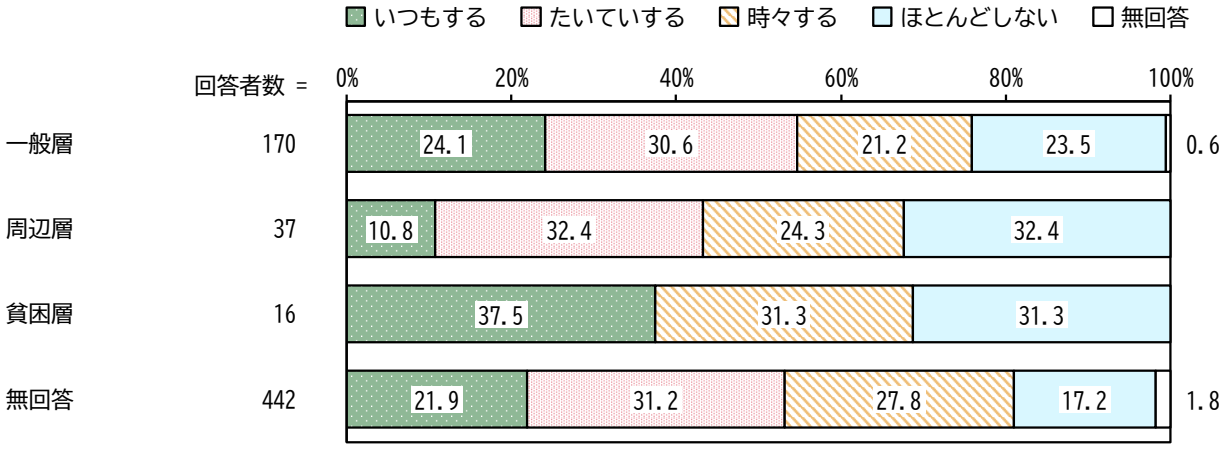
問 35　困ったときは周りの人に相談していますか。（１つに○）

「たいていする」の割合が 30.4%と最も高く、次いで「時々する」の割合が 26.0%、「いつもする」の割合が 22.3%となっています。



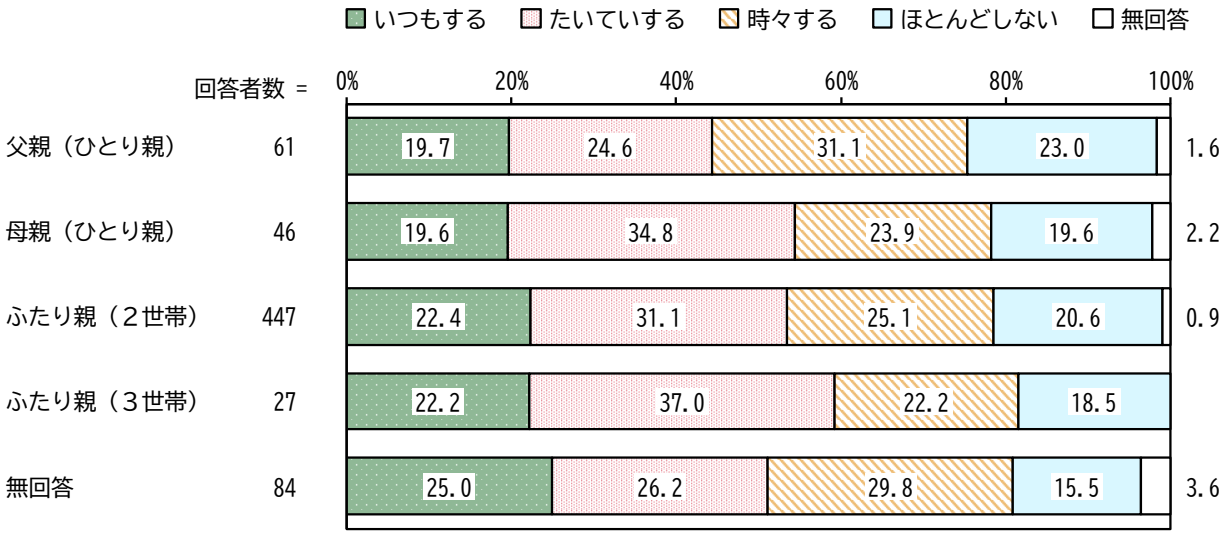
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「時々する」の割合が高くなっています。また、周辺層で「ほとんどしない」の割合が高くなっています。



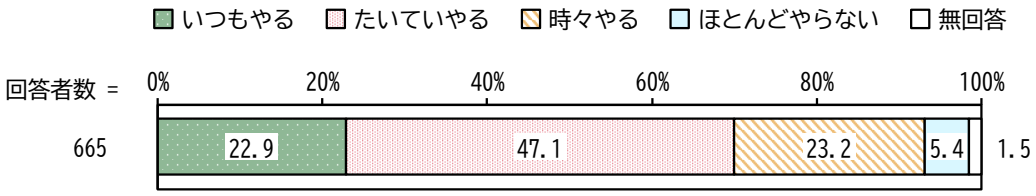
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「たいていする」、父親（ひとり親）で「時々する」の割合が高くなっています。



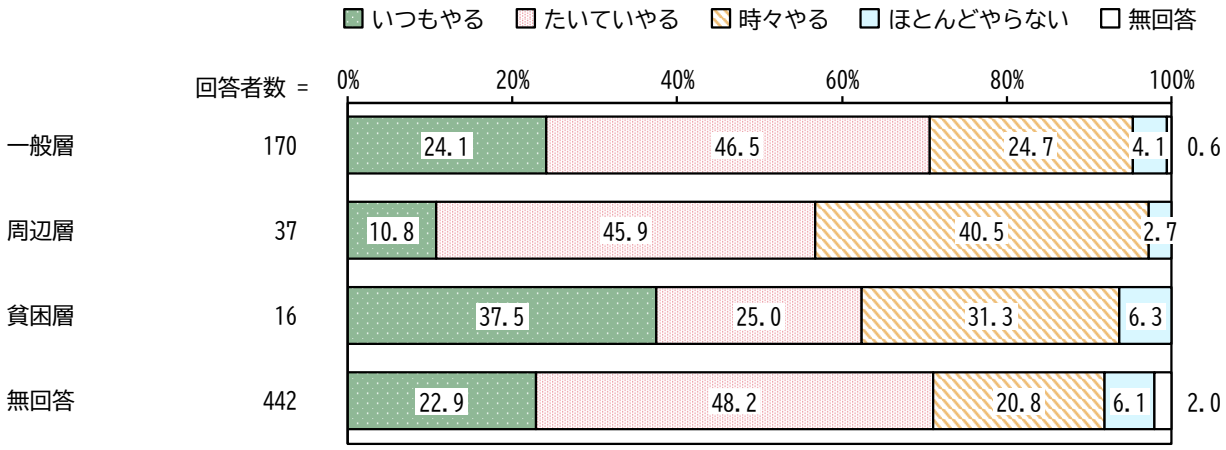
問 36　むずかしかったり、なかなかできないことでも、さいごまであきらめずにやりますか。（１つに○）

「たいていやる」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「時々やる」の割合が 23.2%、「いつもやる」の割合が 22.9%となっています。



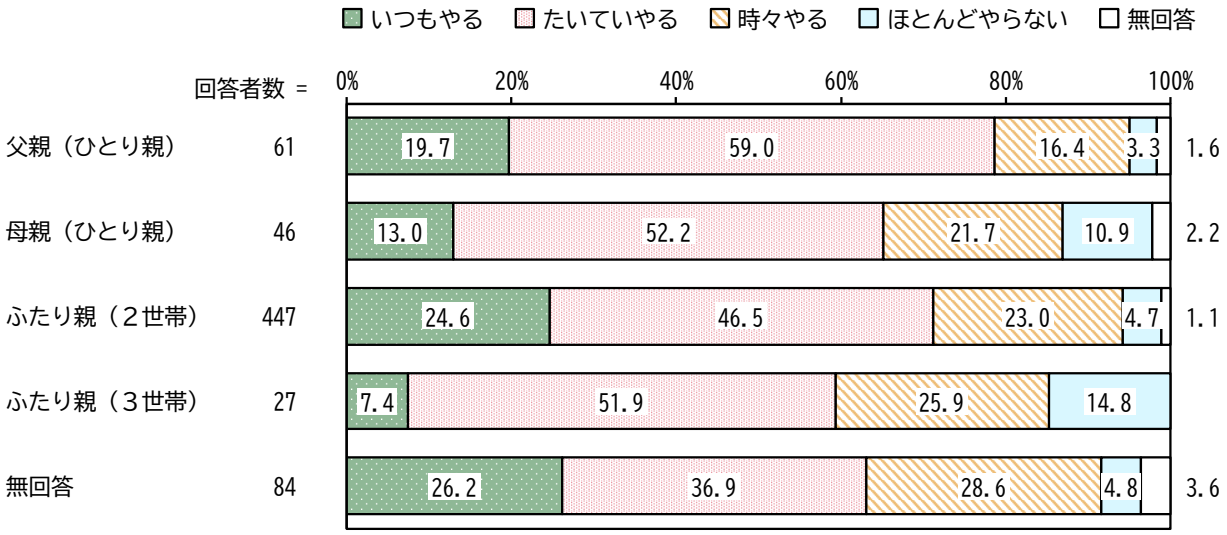
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「たいていやる」の割合が高くなっています。また、周辺層で「時々やる」の割合が高くなっています。



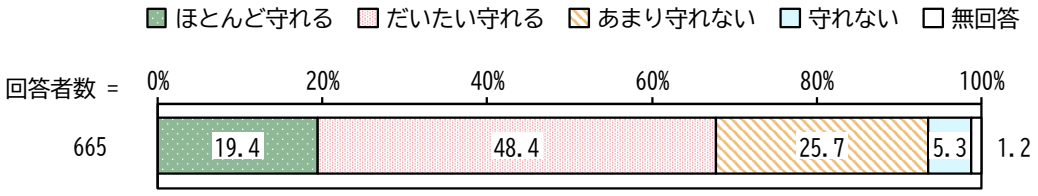
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で「たいていやる」の割合が高く、ふたり親（３世帯）で「いつもやる」の割合が低くなっています。



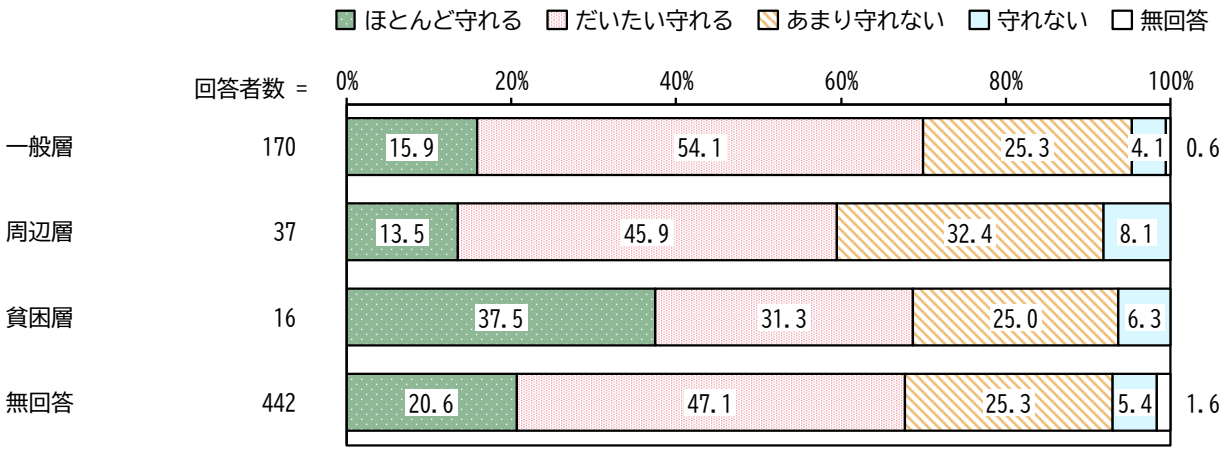
問 37　自分でたてた目標や約束を、さいごまで守れますか。（１つに○）

「だいたい守れる」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「あまり守れない」の割合が 25.7%、「ほとんど守れる」の割合が 19.4%となっています。



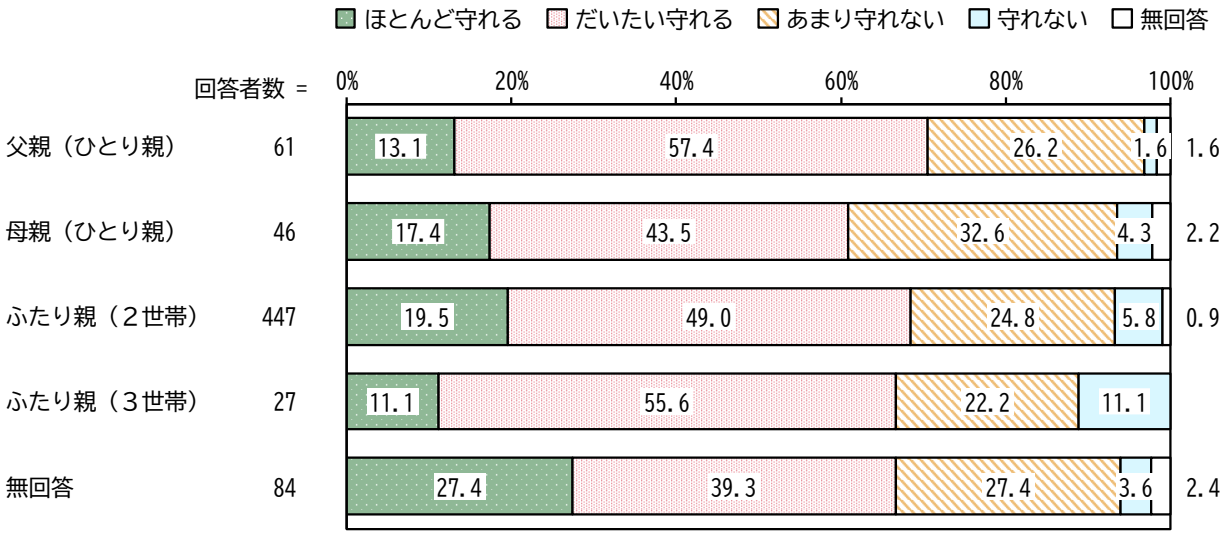
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「だいたい守れる」の割合が高くなっています。



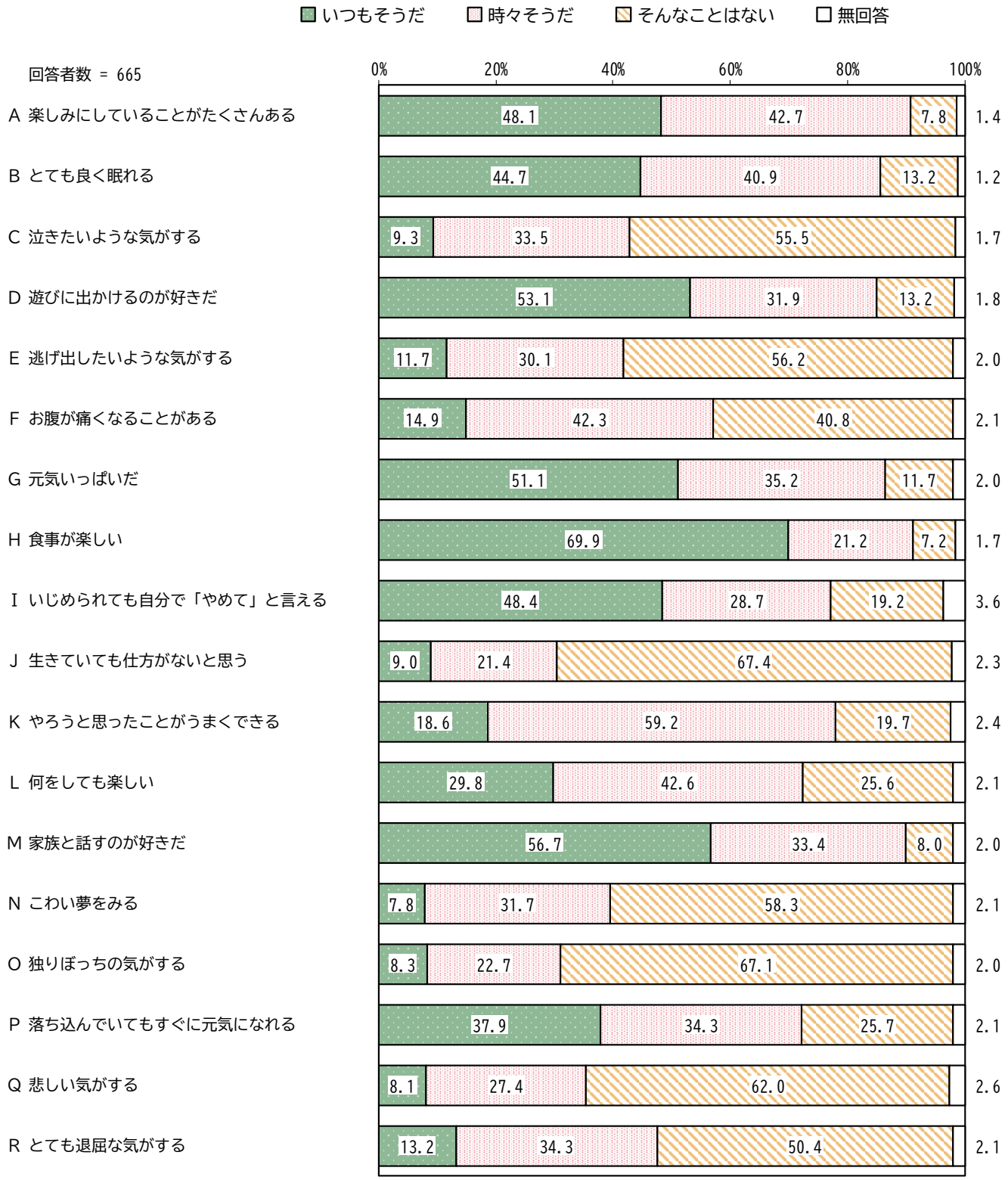
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、父親（ひとり親）、ふたり親（３世帯）で「だいたい守れる」、母親（ひとり親）で「あまり守れない」、ふたり親（３世帯）で「守れない」の割合が高くなっています。



問 38　わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。みなさんがこの１週間、どんな気持ちだったか、あてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに答えてください。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

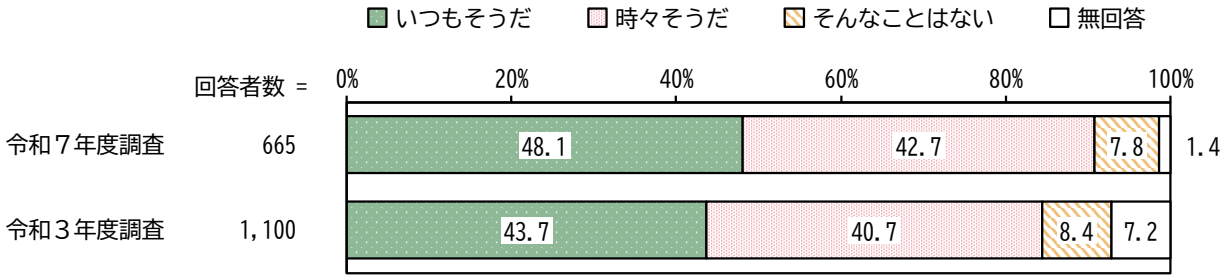
『H　食事が楽しい』で「いつもそうだ」が、『K　やろうと思ったことがうまくできる』で「時々そうだ」が、『J　生きていても仕方がないと思う』で「そんなことはない」が高くなっています。



A　楽しみにしていることがたくさんある

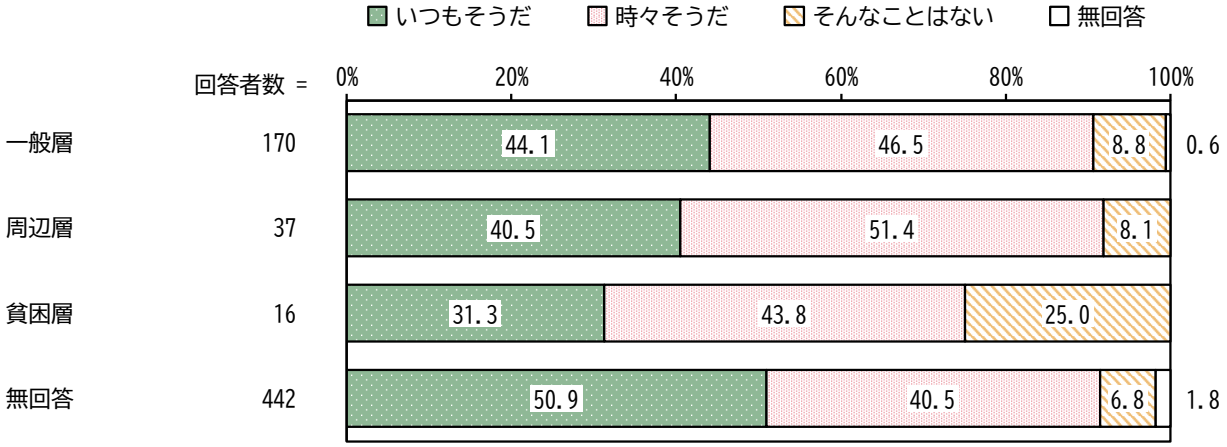
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

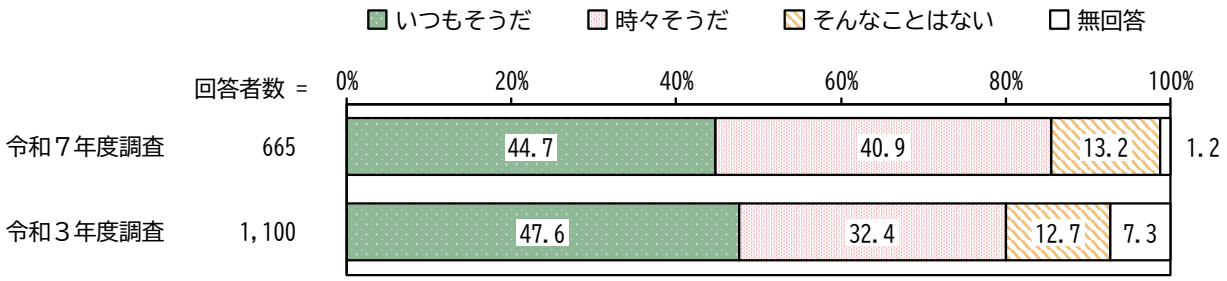
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「いつもそうだ」の割合が高くなっています。



B　とても良く眠れる

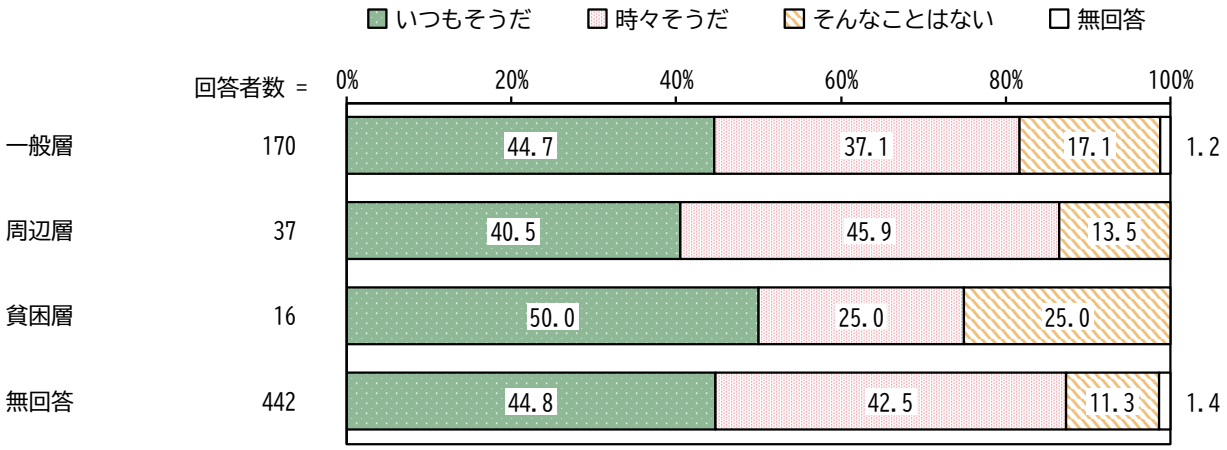
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「時々そうだ」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

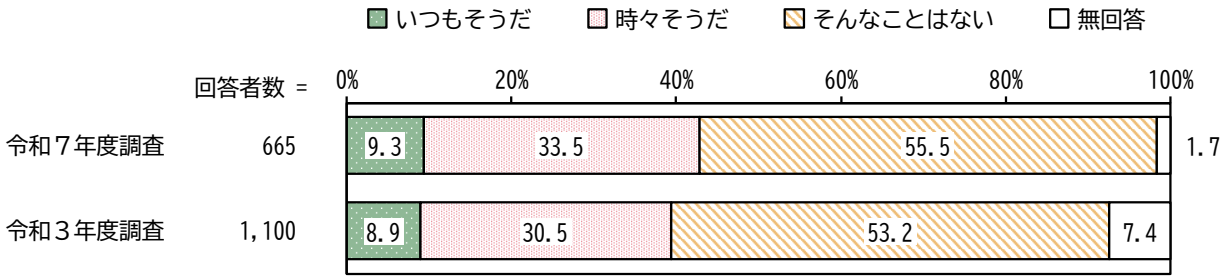
生活困難度別にみると、貧困層で「そんなことはない」の割合が高く、「時々そうだ」の割合が低くなっています。



C　泣きたいような気がする

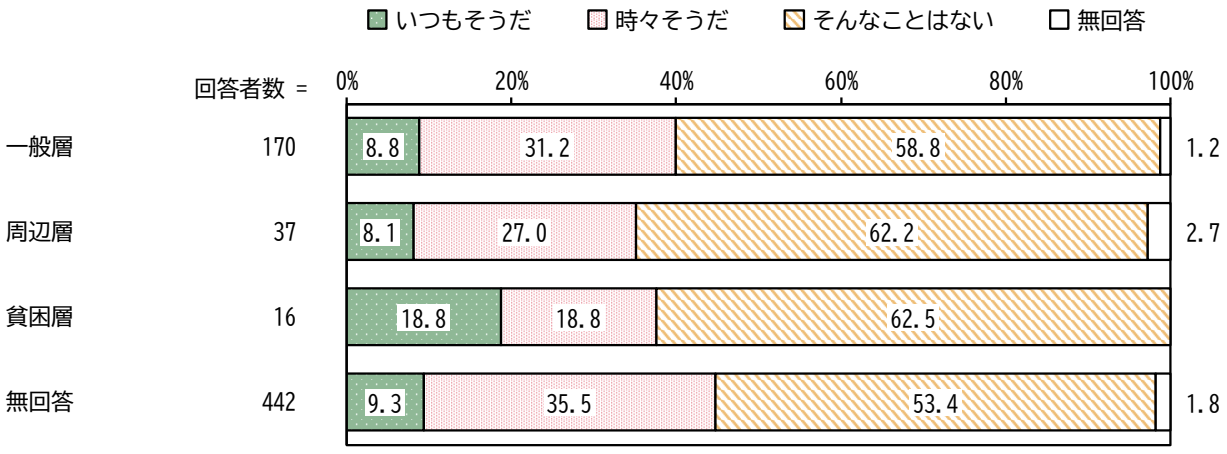
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

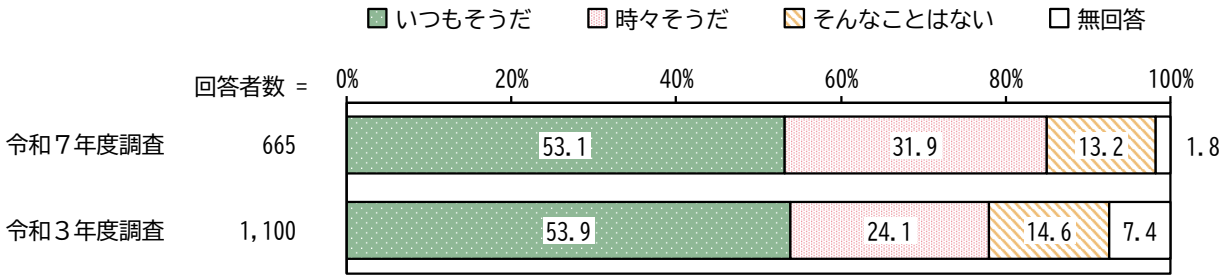
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「時々そうだ」の割合が高くなっています。



D　遊びに出かけるのが好きだ

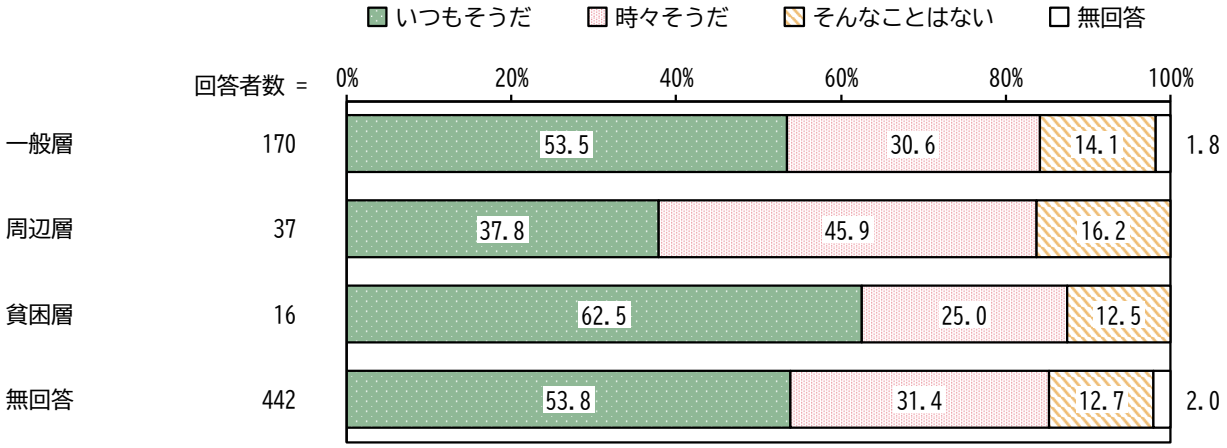
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「時々そうだ」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

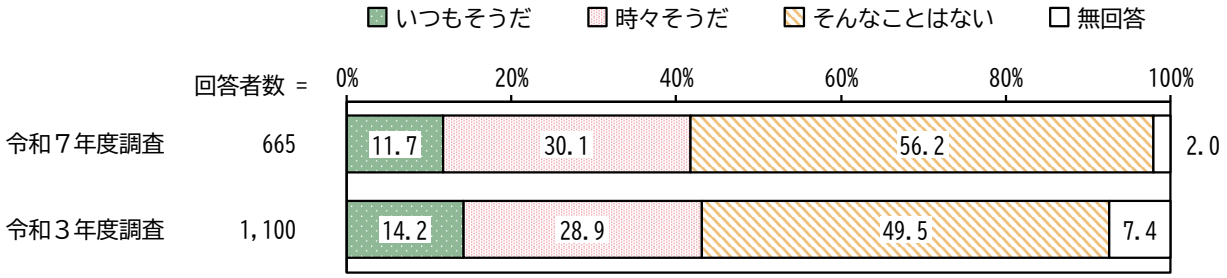
生活困難度別にみると、周辺層で「時々そうだ」の割合が高く、「いつもそうだ」の割合が低くなっています。



E　逃げ出したいような気がする

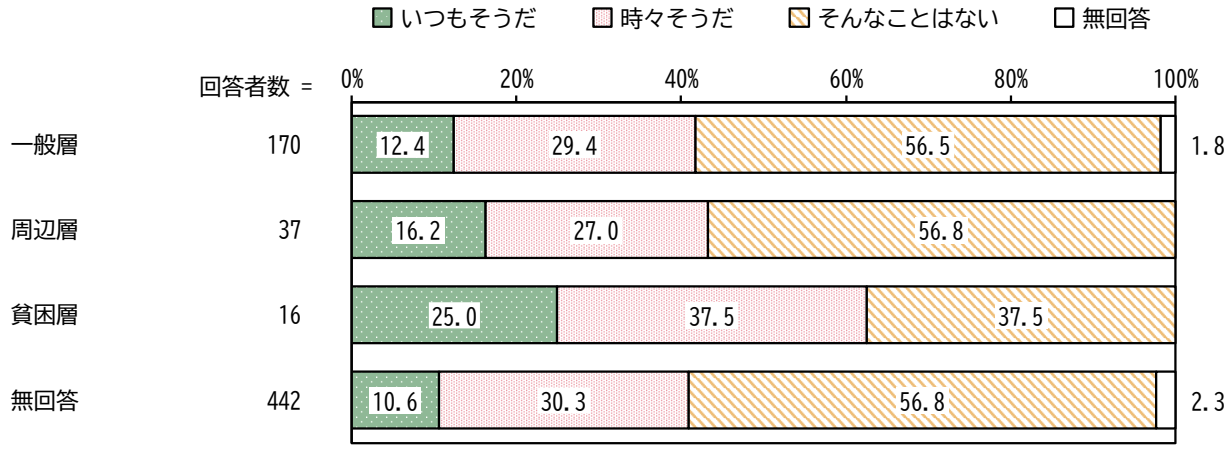
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そんなことはない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

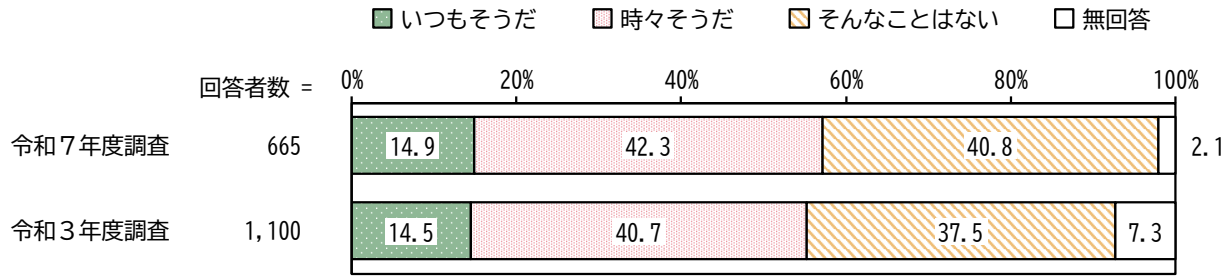
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いつもそうだ」の割合が高くなっています。



F　お腹が痛くなることがある

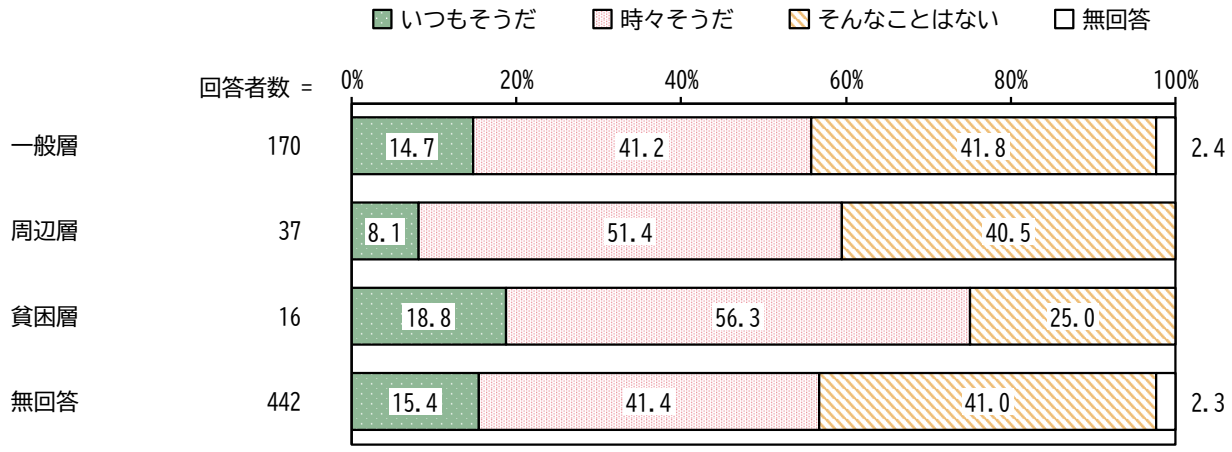
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

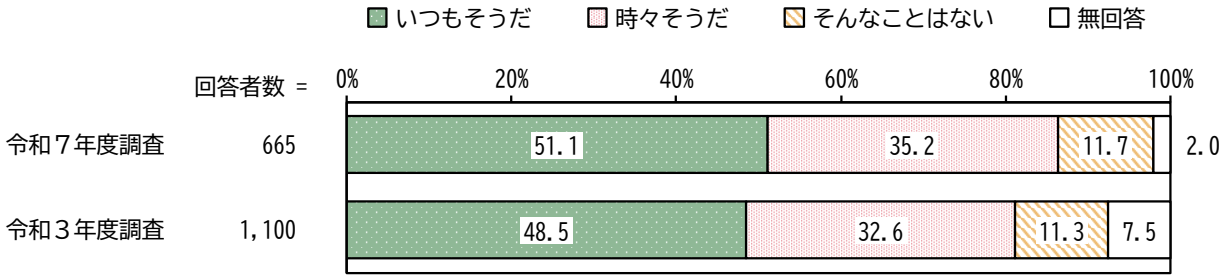
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「時々そうだ」の割合が高く、「そんなことはない」の割合が低くなっています。



G　元気いっぱいだ

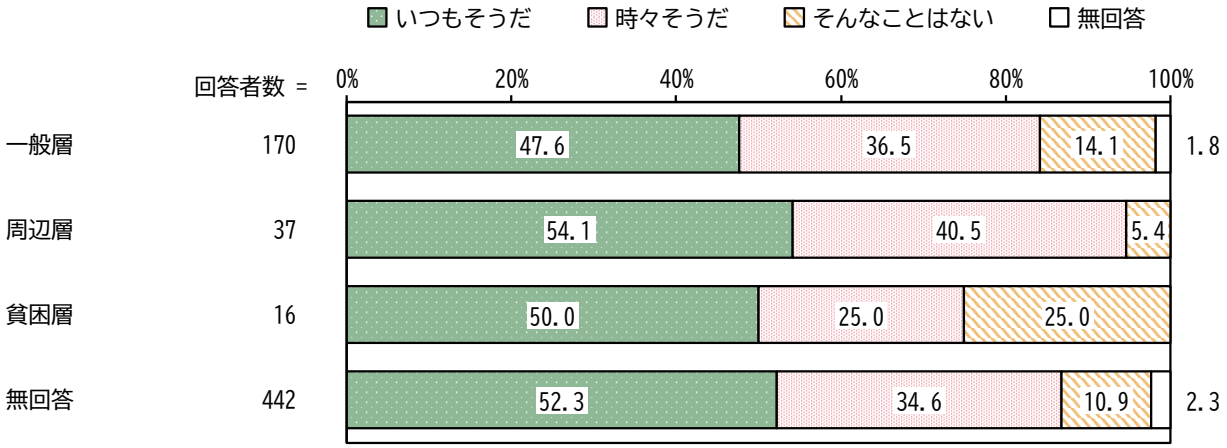
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

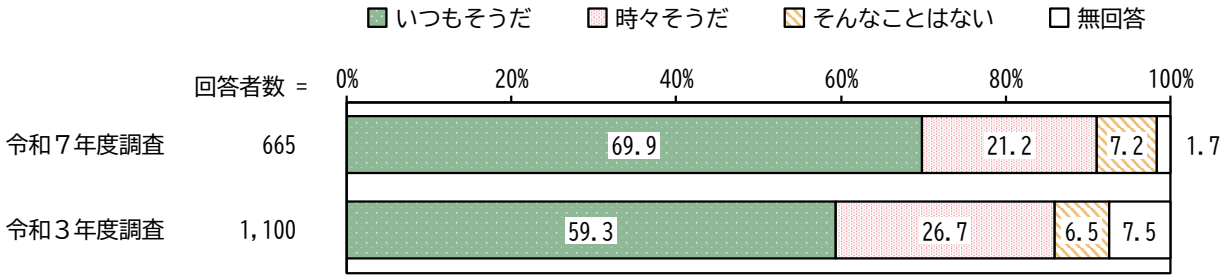
生活困難度別にみると、貧困層で「そんなことはない」の割合が高く、「時々そうだ」の割合が低くなっています。



H　食事が楽しい

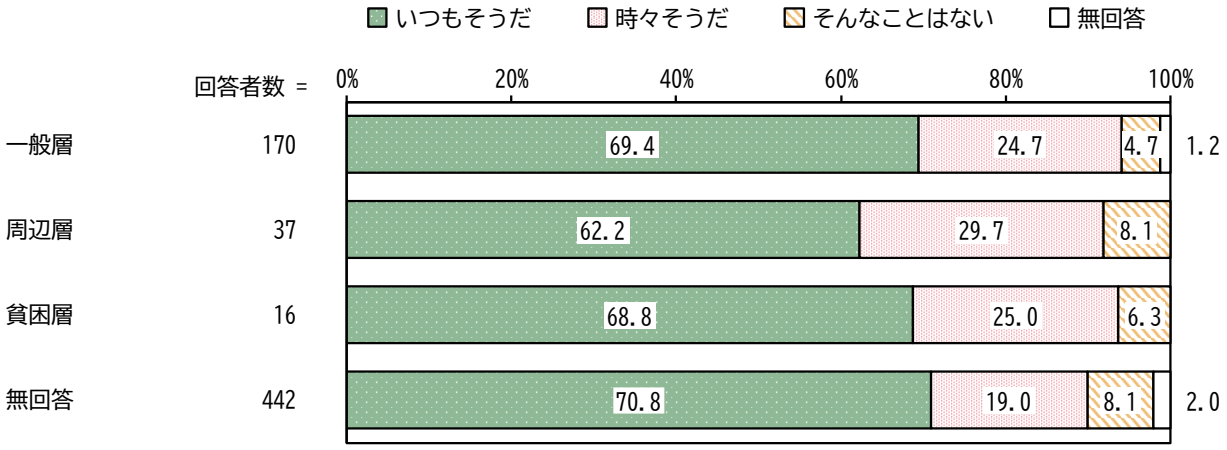
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「いつもそうだ」の割合が増加しています。一方、「時々そうだ」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

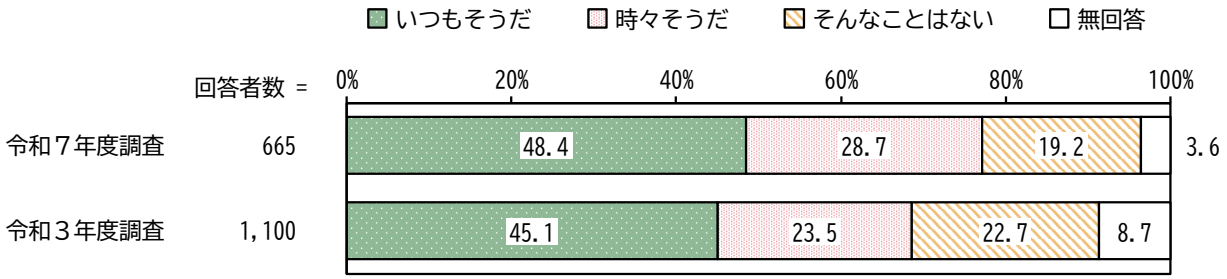
生活困難度別にみると、周辺層で「時々そうだ」の割合が高く、「いつもそうだ」の割合が低くなっています。



Ⅰ　いじめられても自分で「やめて」と言える

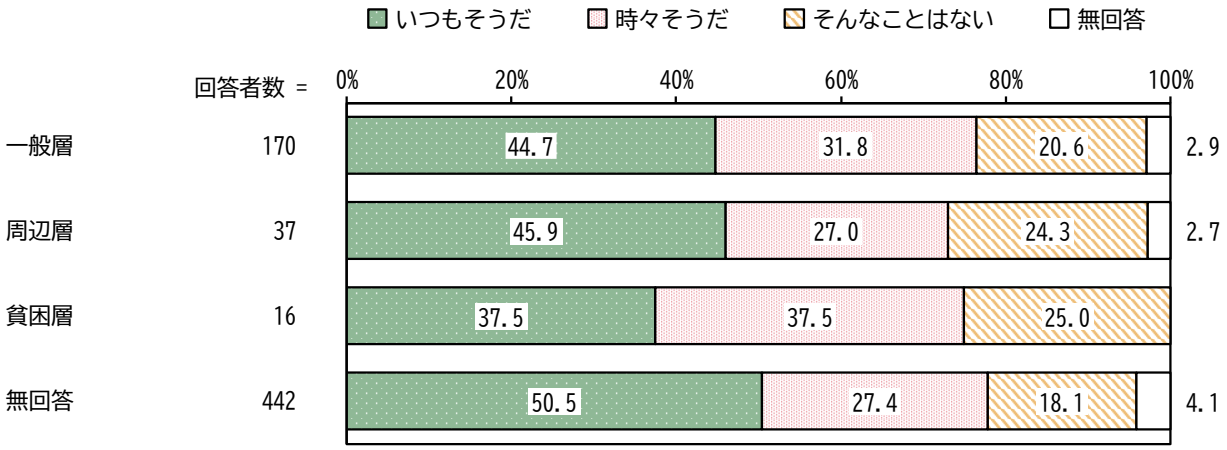
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「時々そうだ」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

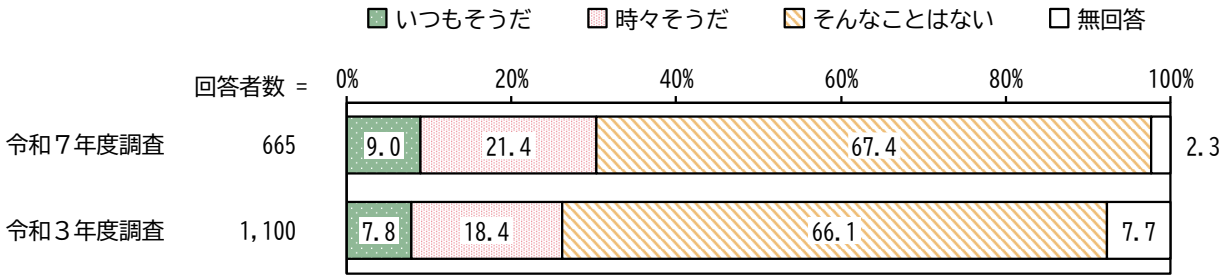
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「そんなことはない」の割合が高くなっています。



J　生きていても仕方がないと思う

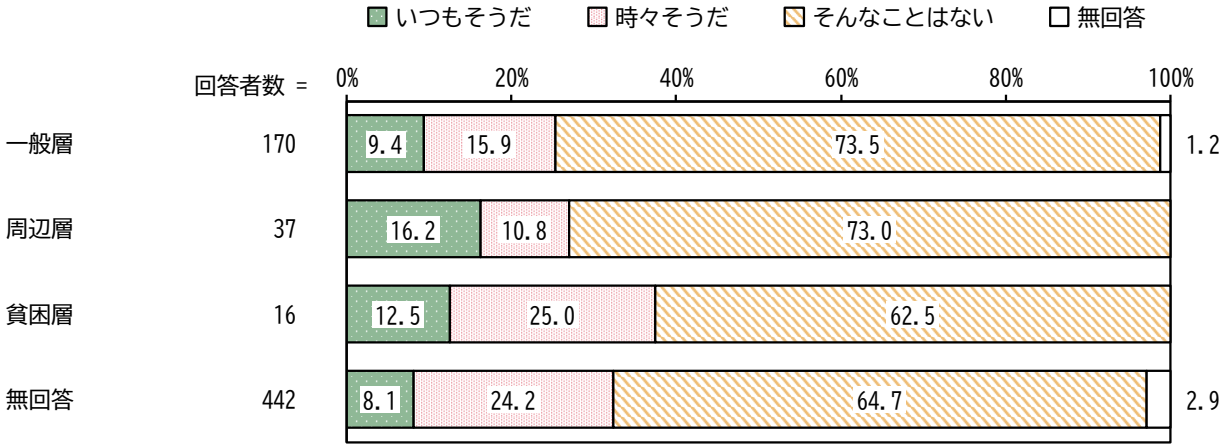
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

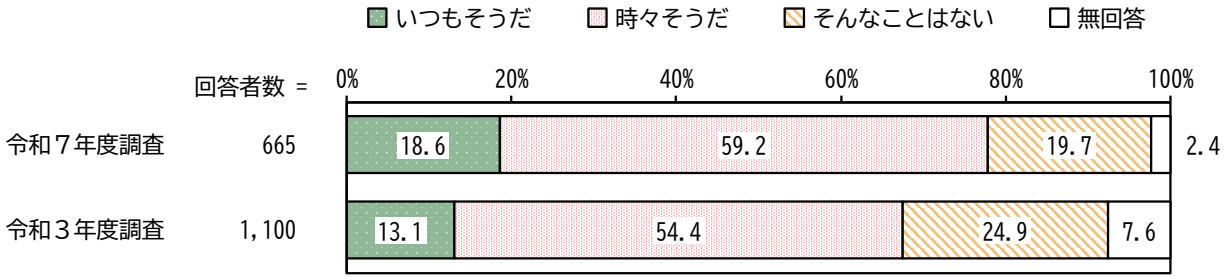
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「そんなことはない」の割合が高くなっています。また、周辺層で「時々そうだ」の割合が低くなっています。



K　やろうと思ったことがうまくできる

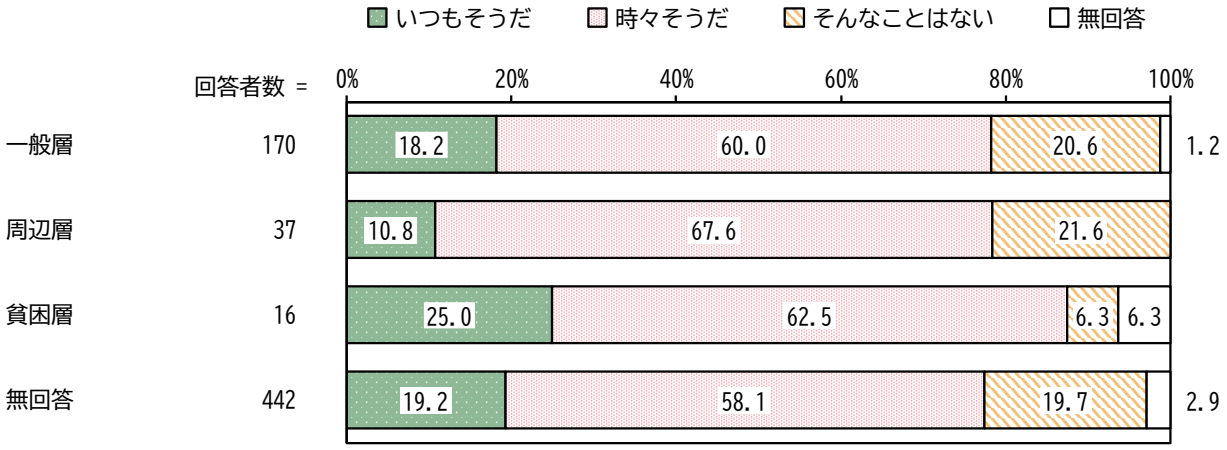
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「いつもそうだ」の割合が増加しています。一方、「そんなことはない」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

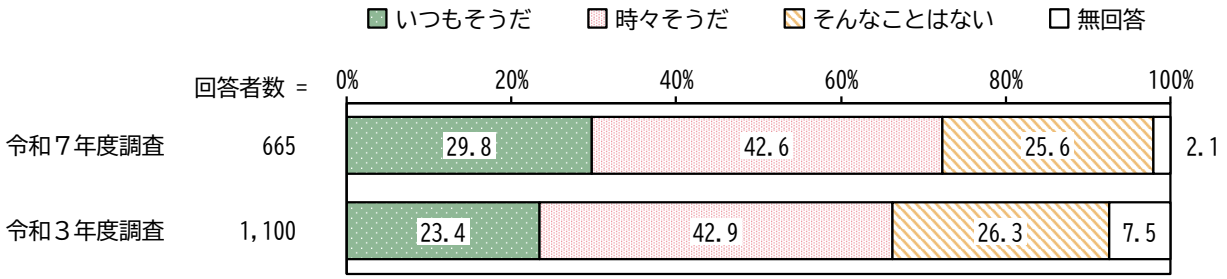
生活困難度別にみると、貧困層で「いつもそうだ」、周辺層で「時々そうだ」の割合が高くなっています。



L　何をしても楽しい

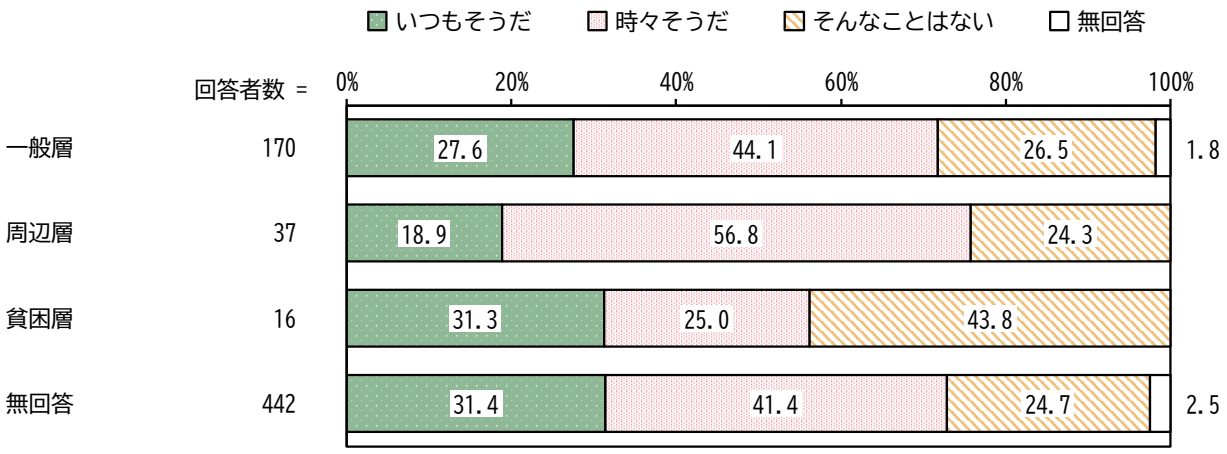
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「いつもそうだ」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

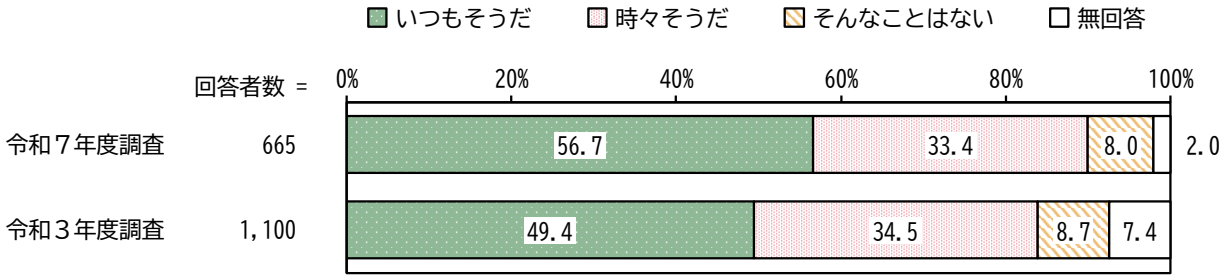
生活困難度別にみると、周辺層で「時々そうだ」、貧困層で「そんなことはない」の割合が高くなっています。



M　家族と話すのが好きだ

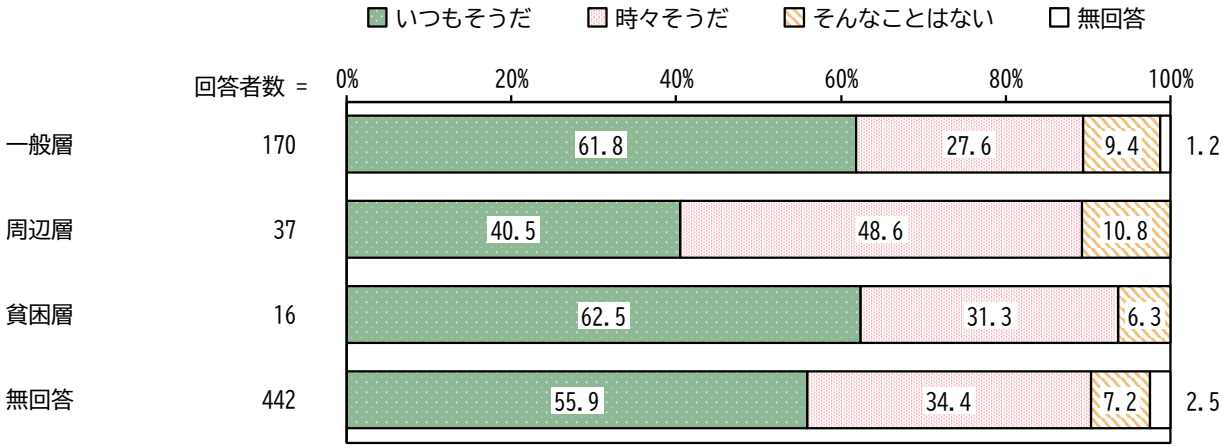
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「いつもそうだ」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

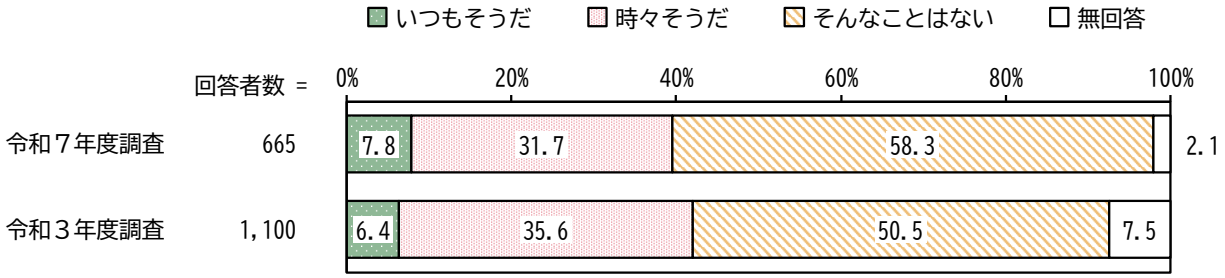
生活困難度別にみると、周辺層で「時々そうだ」の割合が高く、「いつもそうだ」の割合が低くなっています。



N　こわい夢をみる

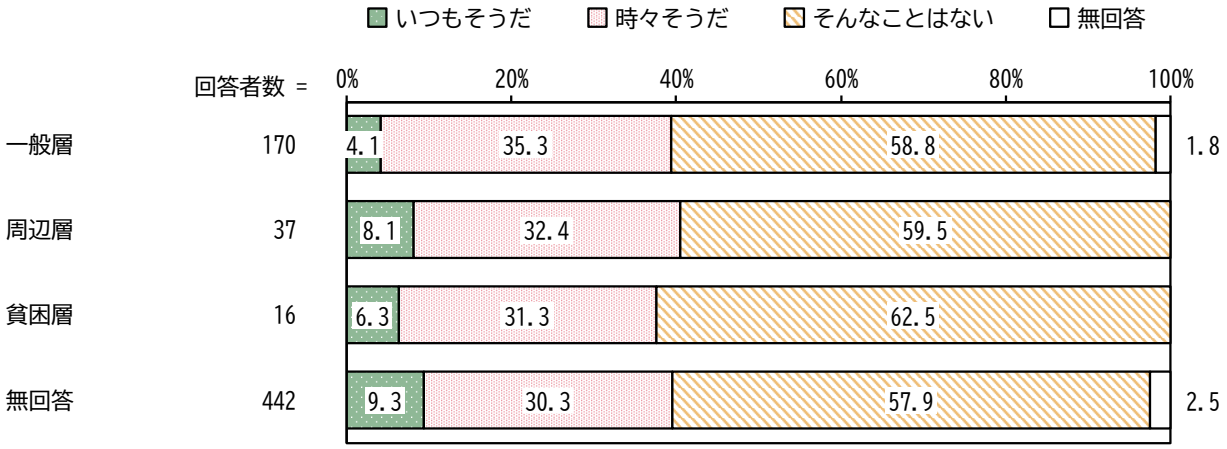
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そんなことはない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

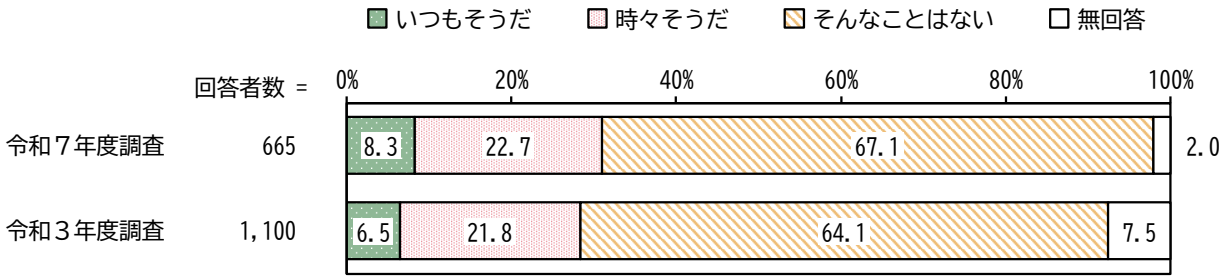
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



O　独りぼっちの気がする

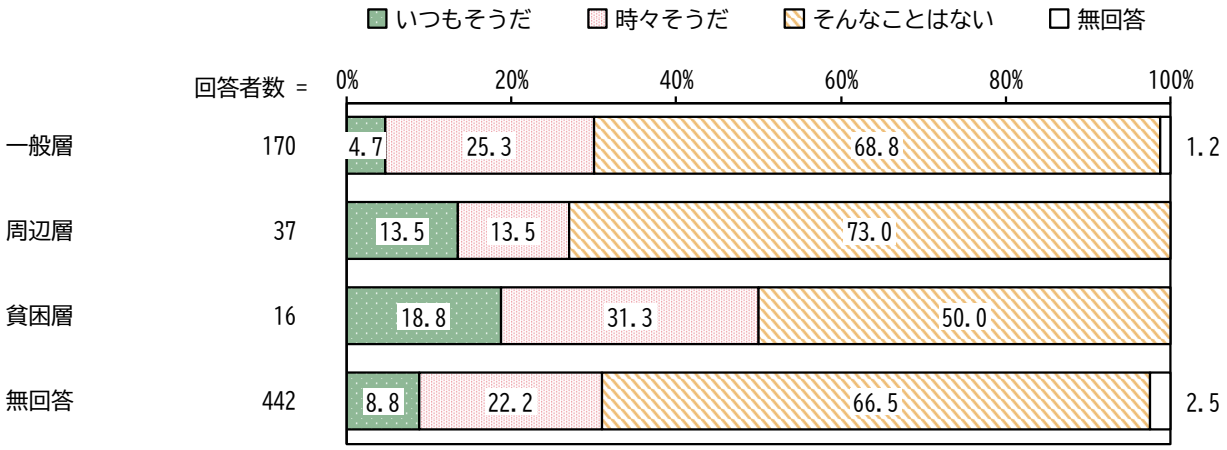
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

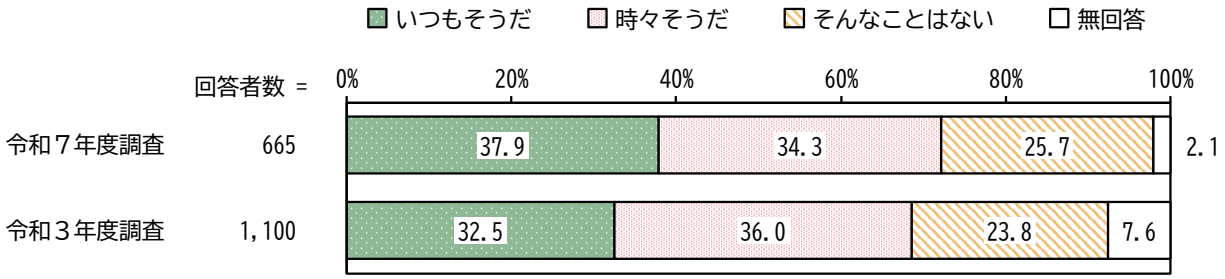
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いつもそうだ」の割合が高くなっています。



P　落ち込んでいてもすぐに元気になれる

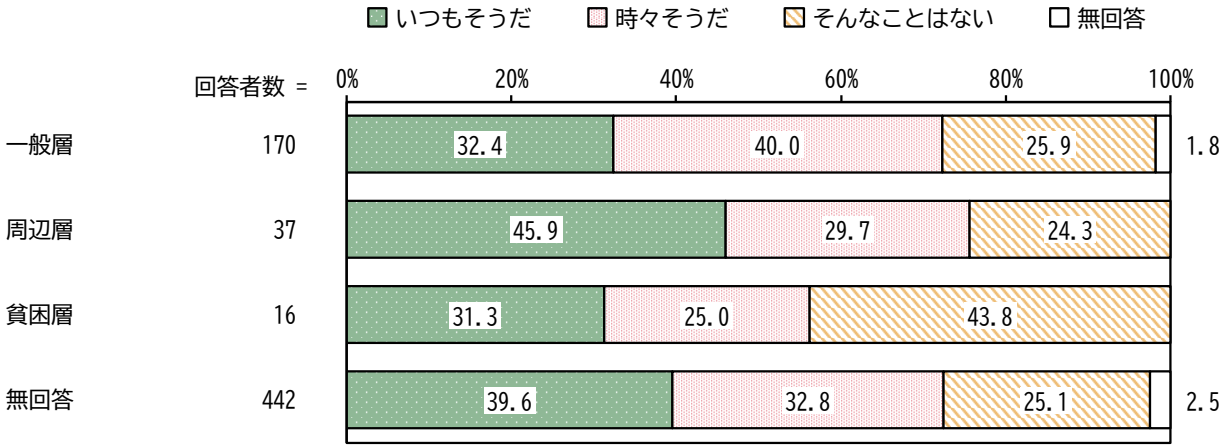
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「いつもそうだ」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

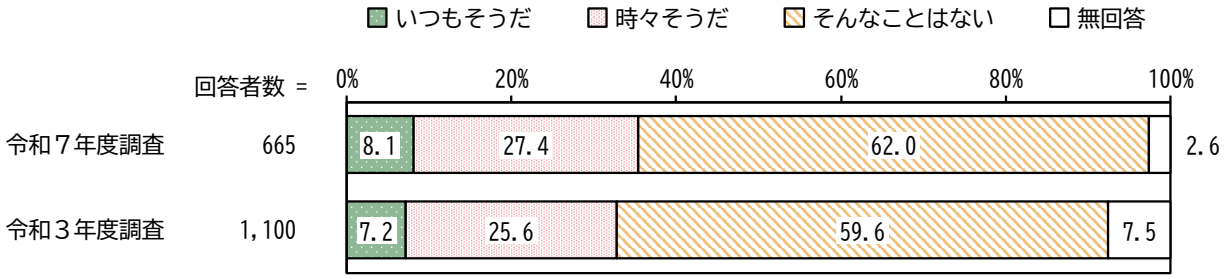
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「時々そうだ」の割合が高くなっています。



Q　悲しい気がする

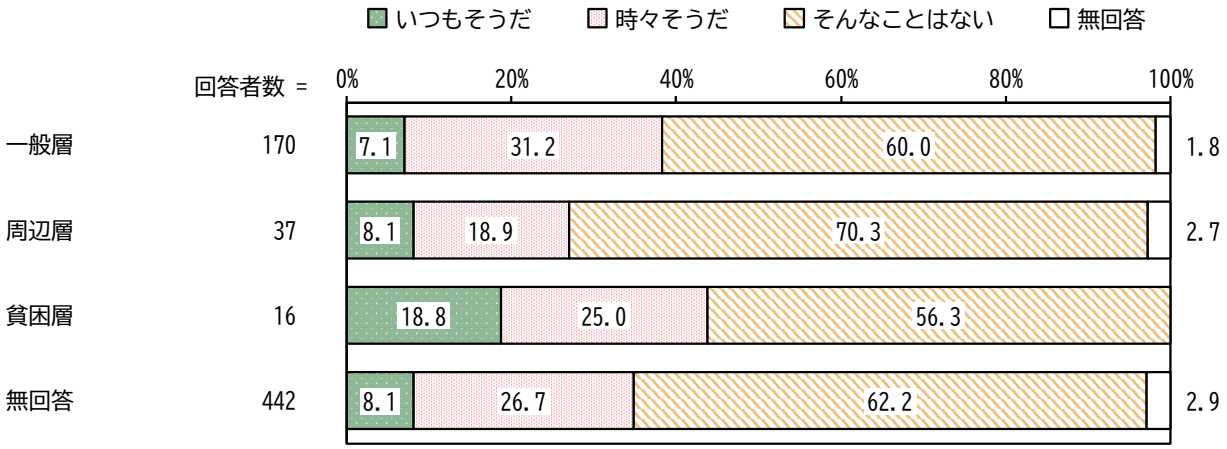
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

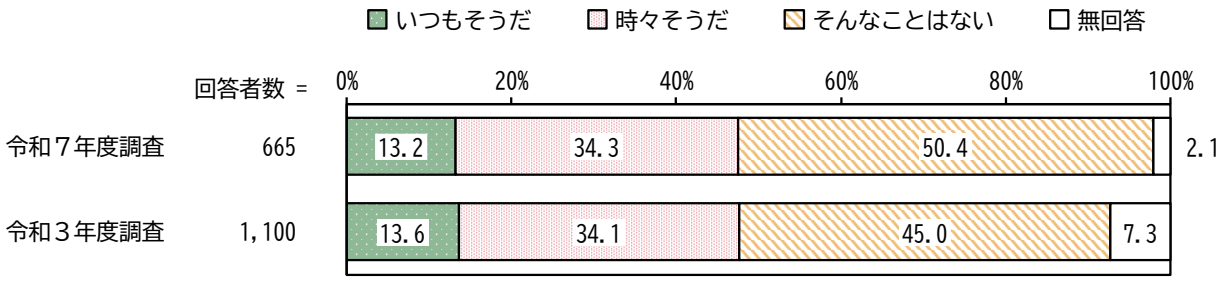
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いつもそうだ」の割合が高くなっています。



R　とても退屈な気がする

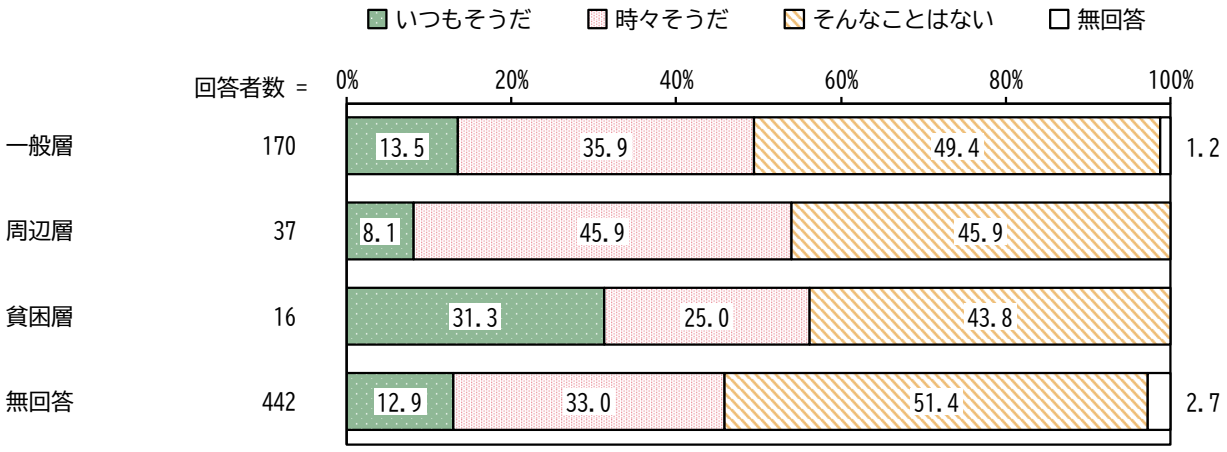
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そんなことはない」の割合が増加しています。



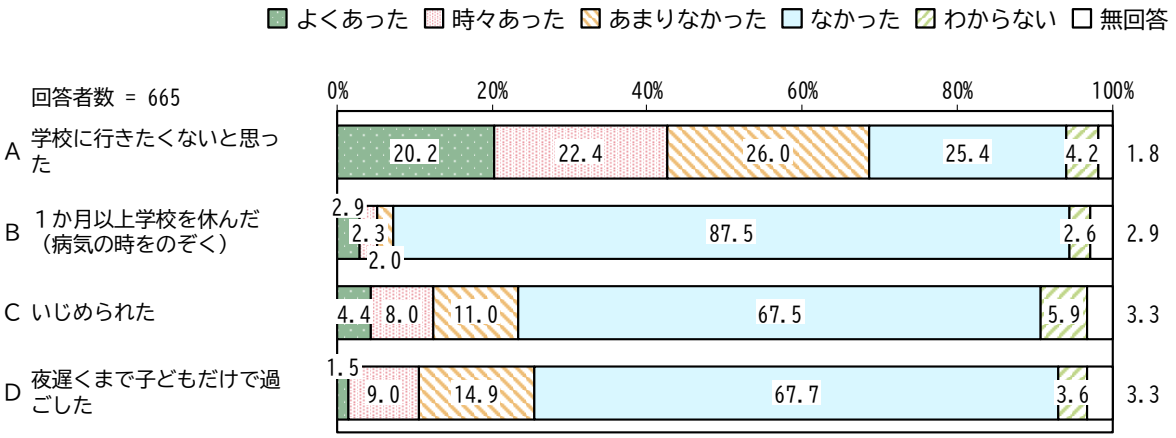
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「そんなことはない」の割合が高くなっています。また、周辺層で「時々そうだ」の割合が高くなっています。



問 39　あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

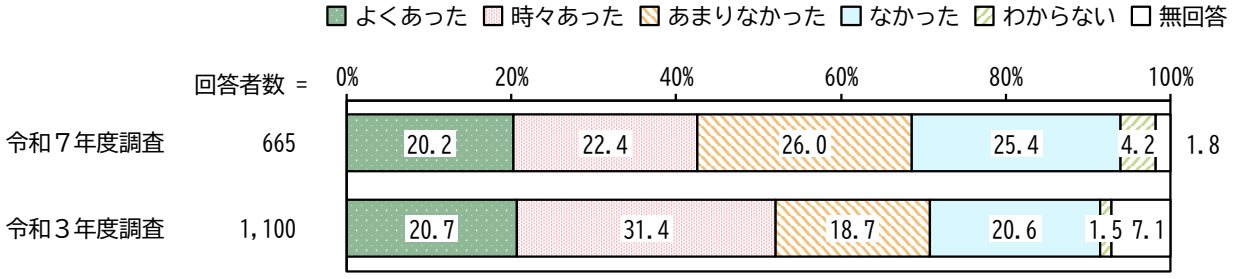
『A　学校に行きたくないと思った』で「よくあった」「時々あった」「あまりなかった」が、『B　１か月以上学校を休んだ（病気の時をのぞく）』で「なかった」が、『C　いじめられた』で「わからない」が高くなっています。



A　学校に行きたくないと思った

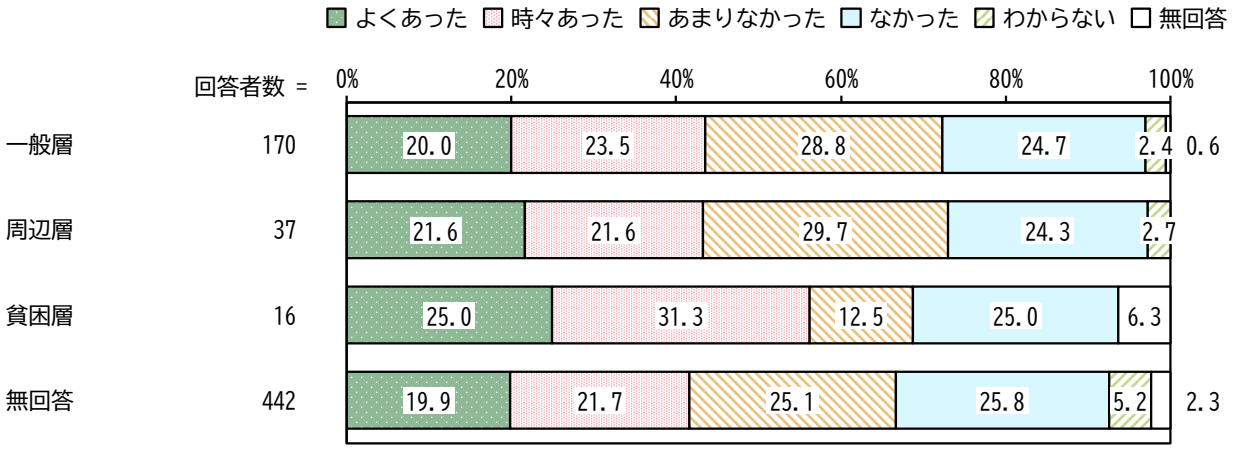
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「あまりなかった」の割合が増加しています。一方、「時々あった」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

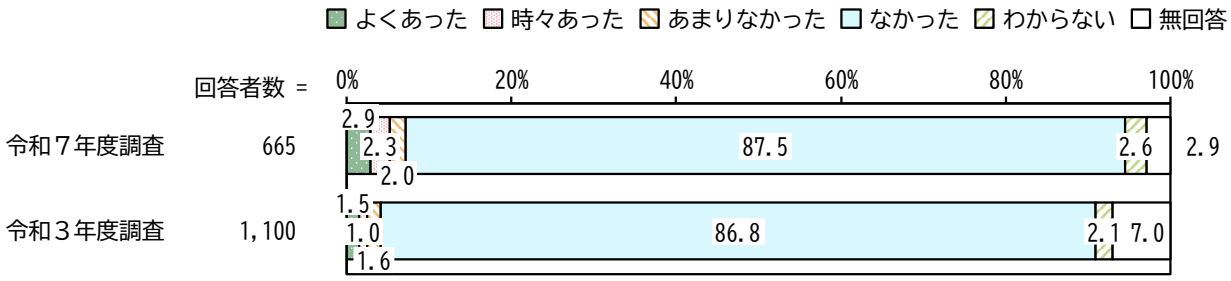
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「よくあった」の割合が高くなっています。



B　１か月以上学校を休んだ（病気の時をのぞく）

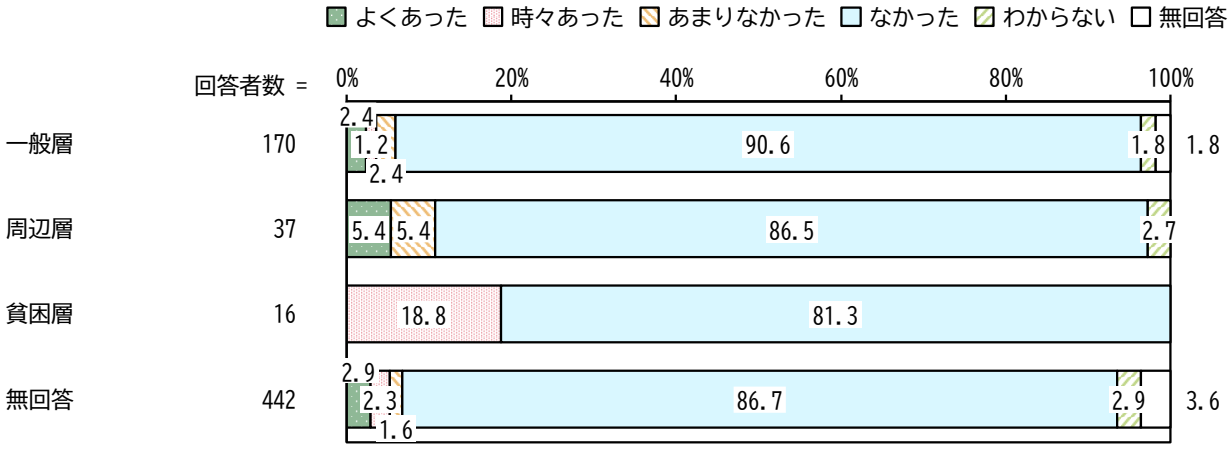
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

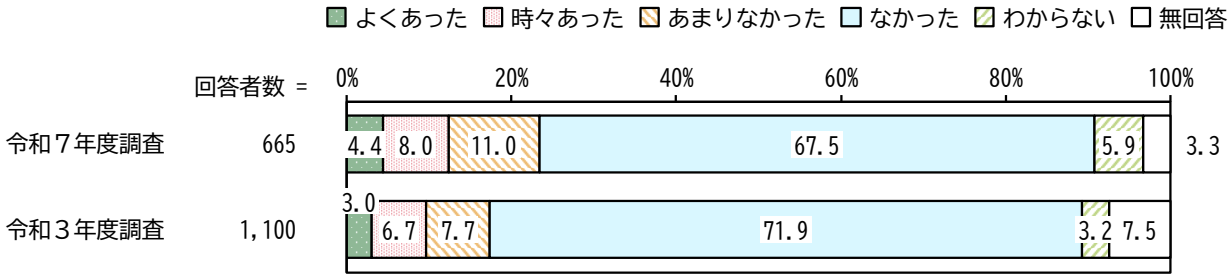
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「なかった」の割合が高くなっています。



C　いじめられた

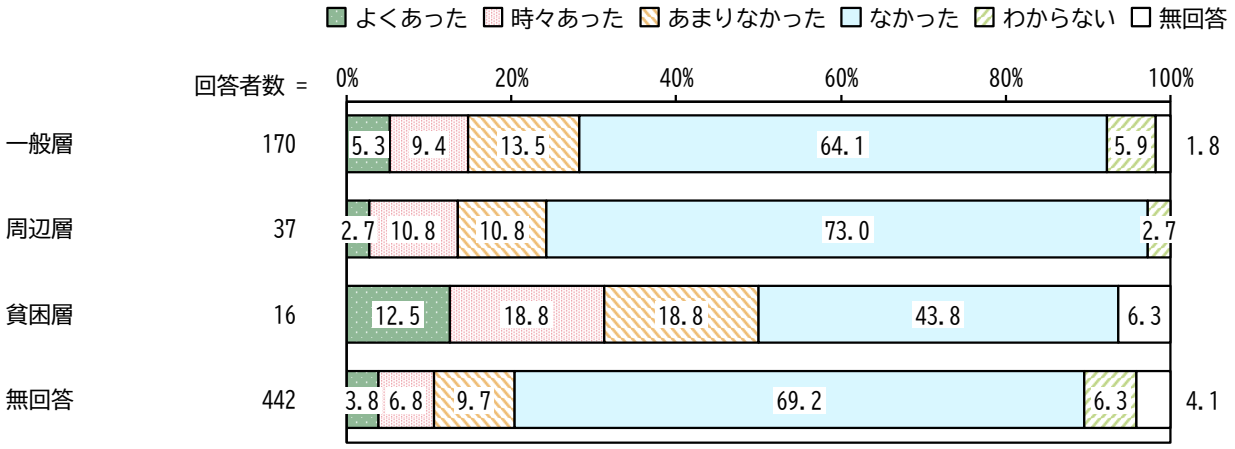
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

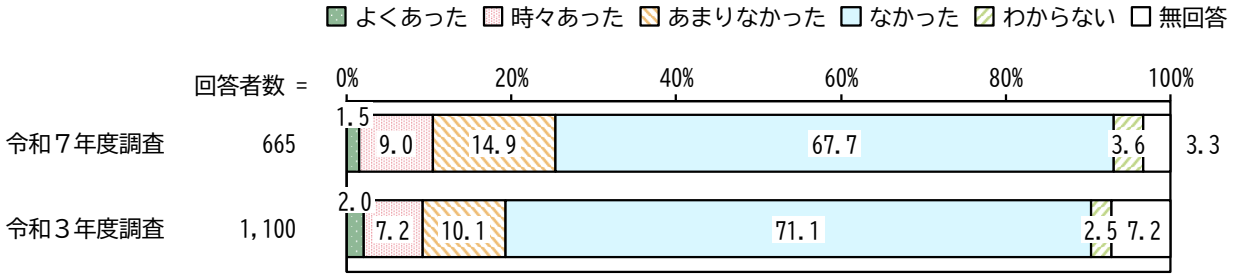
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「時々あった」の割合が高くなっています。



D　夜遅くまで子どもだけで過ごした

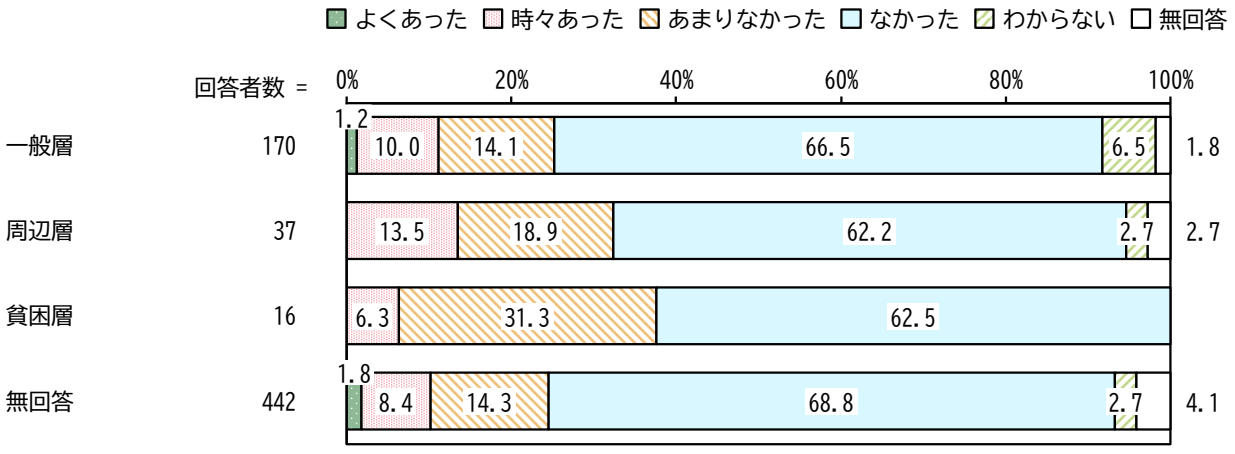
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「あまりなかった」の割合が高くなっています。



問 39 で「A　学校に行きたくないと思った」について「よくあった」、または「時々あった」と答えた人にお聞きします。

問 39－１　その理由はどうしてですか。

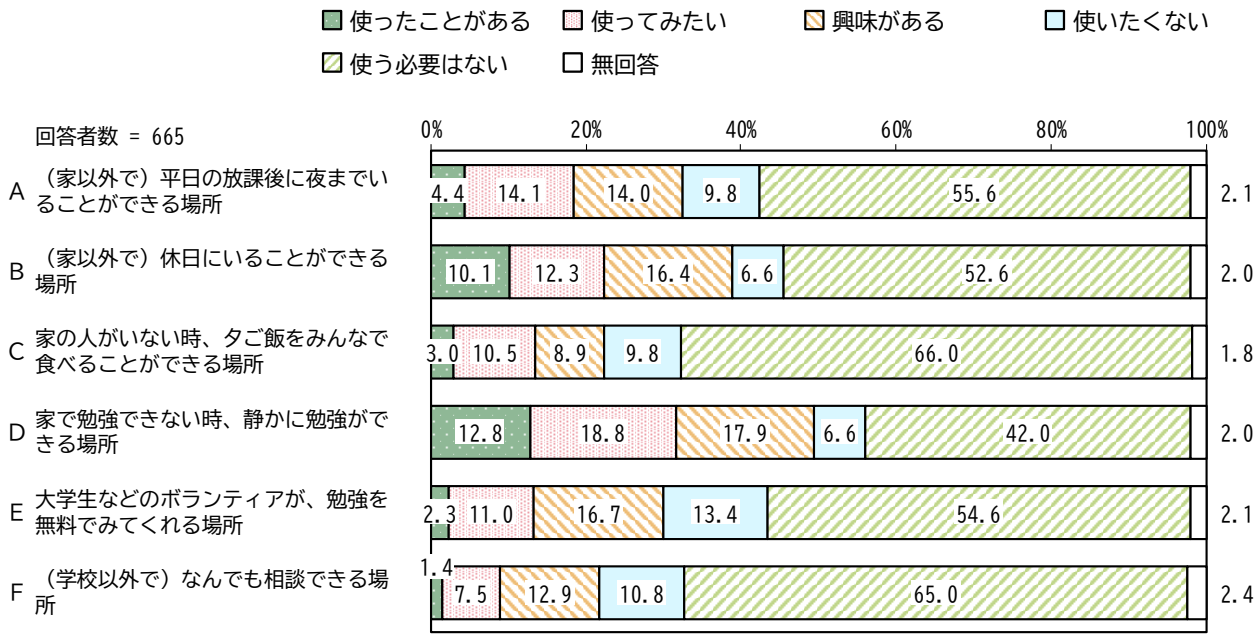
大きく分けて三つの傾向が見られ、一つ目は「めんどくさい」、「疲れた」、「眠い」、「だるい」といった日々の心身の疲労や体調不良など登校に対する気力の低下や面倒くささを理由として挙げる傾向であり、二つ目は「いじめられた」、「友達関係がうまくいかない」、「悪口を言われた」、「無視された」、「クラスがうるさい」、「一人ぼっち」といった同級生との対人トラブルや人間関係の悩みを理由とする傾向、そして三つ目は「勉強が嫌い」、「授業がつまらない」、「テストの点数が悪い」、「先生が理不尽」、「担任と合わない」といった学習内容への不満や教員に対する不満を理由とする傾向となっています。

問 40　あなたには、今なやんでいることや心配なこと、こまっていること、だれかに相談したいと思っていることがありますか。

大多数の回答者が「ない」「特になし」と回答しており現在抱えている悩みや心配事、誰かに相談したいことは特に存在しないという傾向が圧倒的多数を占める一方で、具体的な悩みを記述している回答に注目すると、「成績」や「受験」、「テストの点数が低い」といった学習面や進路に対する不安、「人間関係が不安」や「友達どうしでのけんか」、「クラスのスクールカースト」といった同級生との対人トラブルや友人関係に関する悩み、さらには「将来の生活」や「自己肯定感が低い」、「自分のセクシュアリティについて」といった自分自身の内面や将来に関する悩みを抱えている傾向となっています

問 41　あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

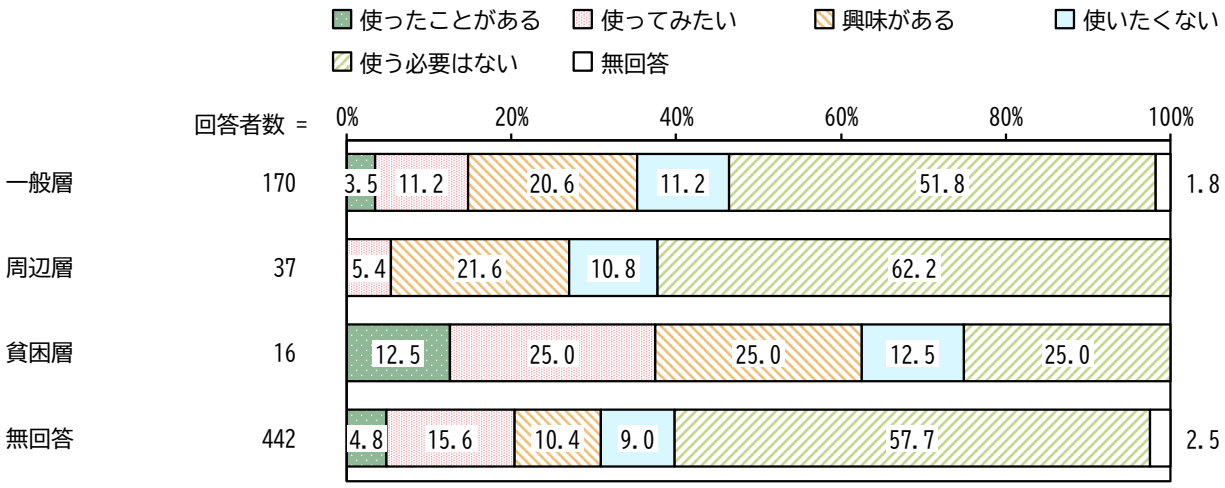
『D　家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所』で「使ったことがある」「使ってみたい」「興味がある」が、『E　大学生などのボランティアが、勉強を無料でみてくれる場所』で「使いたくない」が、『C　家の人がいない時、夕ご飯をみんなで食べることができる場所』で「使う必要はない」が高くなっています。



A　（家以外で）平日の放課後に夜までいることができる場所

【生活困難度別】

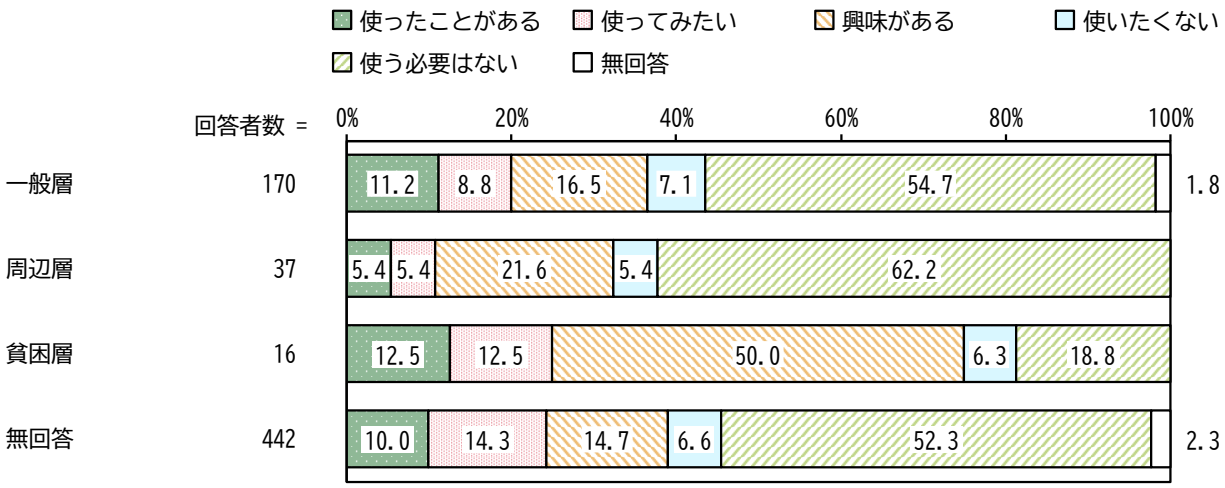
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「興味がある」の割合が高くなっています。



B　（家以外で）休日にいることができる場所

【生活困難度別】

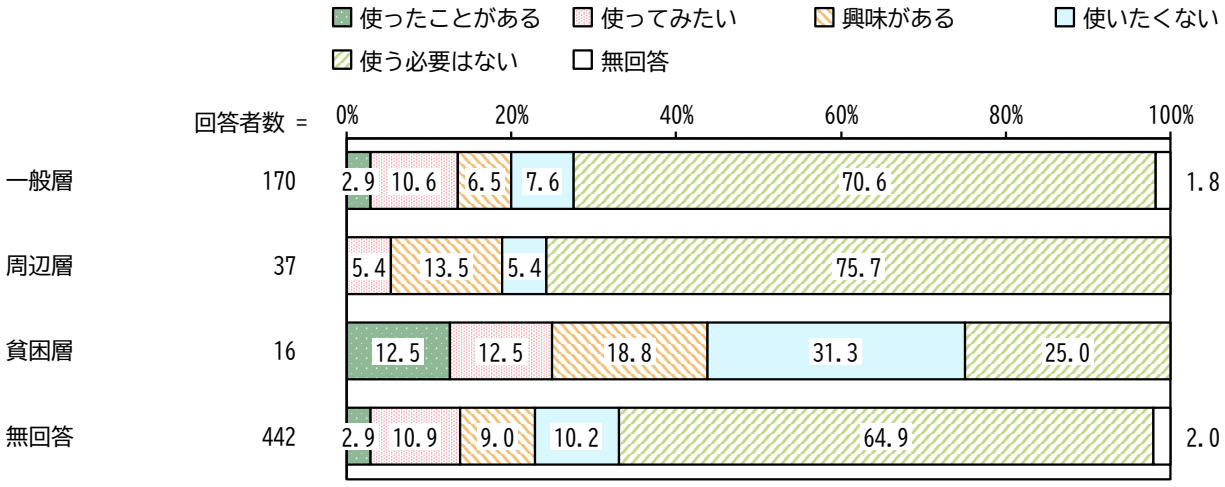
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「興味がある」の割合が高くなっています。



C　家の人がいない時、夕ご飯をみんなで食べることができる場所

【生活困難度別】

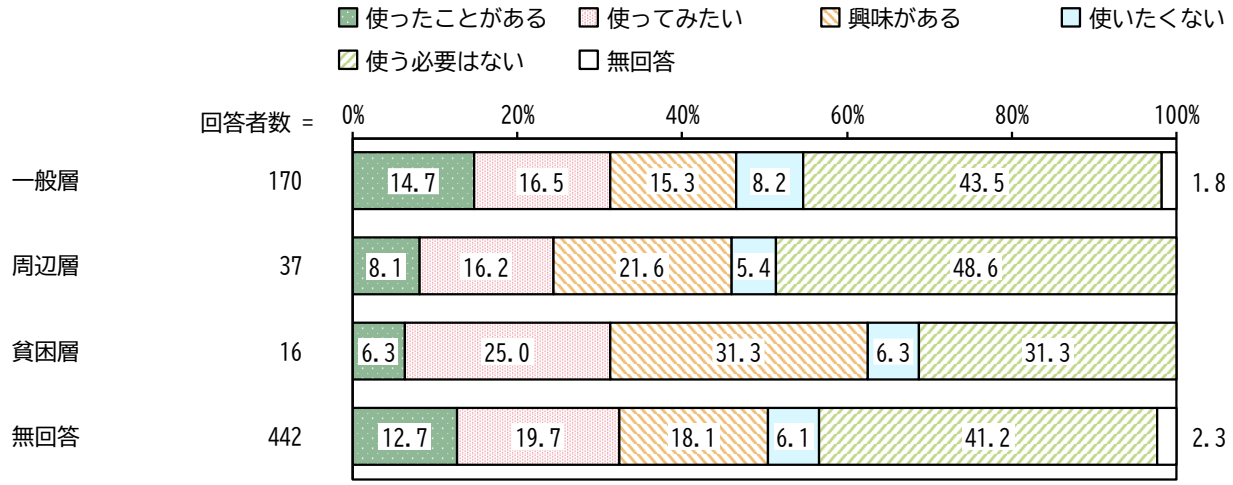
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「興味がある」の割合が高くなっています。



D　家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所

【生活困難度別】

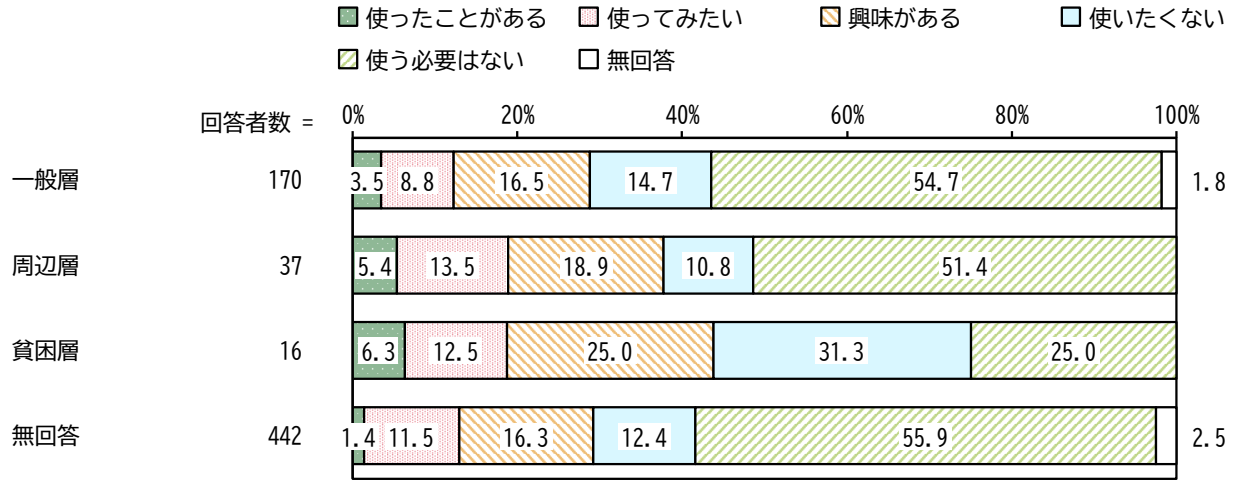
　生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「興味がある」の割合が高く、「使ったことがある」の割合が低くなっています。



E　大学生などのボランティアが、勉強を無料でみてくれる場所

【生活困難度別】

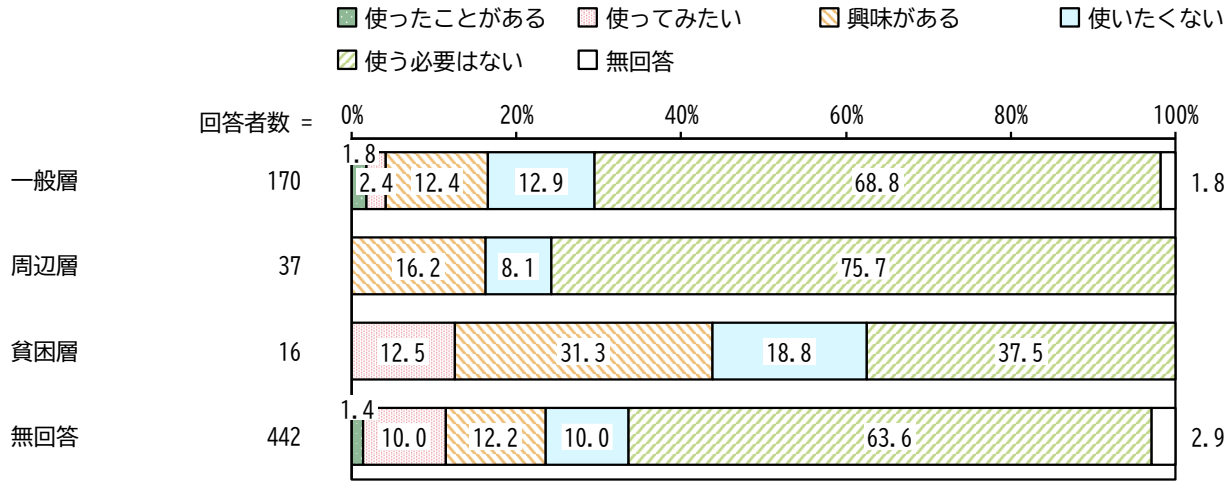
　生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「興味がある」の割合が高く、「使う必要はない」の割合が低くなっています。



F　（学校以外で）なんでも相談できる場所

【生活困難度別】

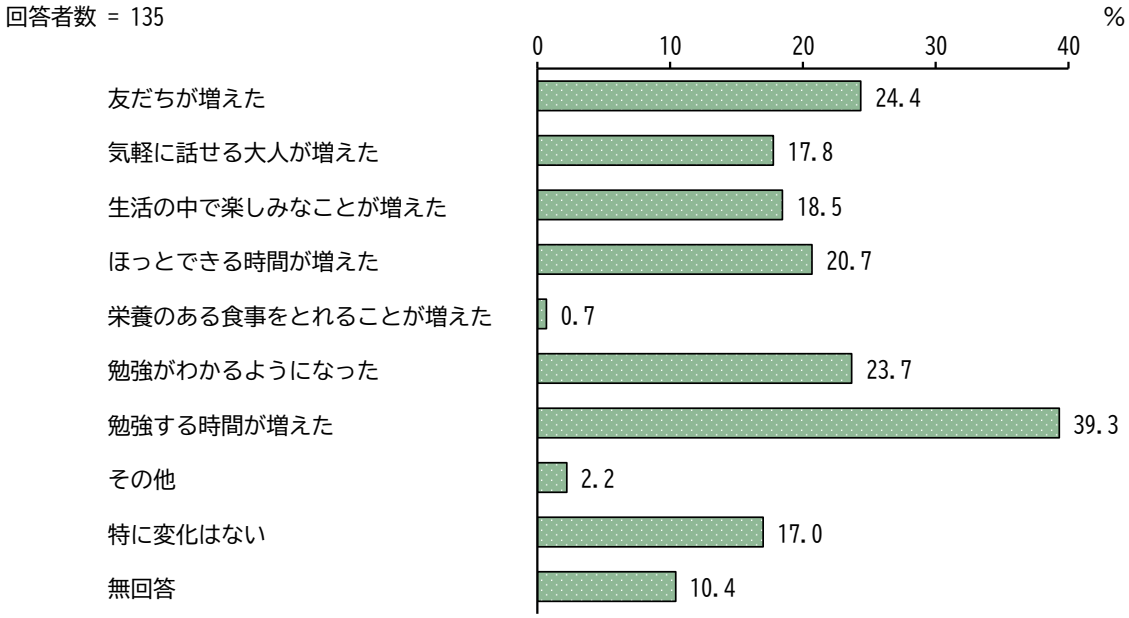
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「興味がある」の割合が高くなっています。また、周辺層で「使う必要はない」の割合が高くなっています。



問 41 で１つでも「使ったことがある」と答えた方にお聞きします。

問 41－１　そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。
（あてはまる番号すべてに○）

「勉強する時間が増えた」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「友だちが増えた」の割合が 24.4%、「勉強がわかるようになった」の割合が 23.7%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「勉強がわかるようになった」の割合が高く、周辺層から貧困層まで困難度が大きいほど「気軽に話せる大人が増えた」「ほっとできる時間が増えた」の割合が高く、「生活の中で楽しみなことが増えた」「勉強する時間が増えた」の割合が低くなっています。

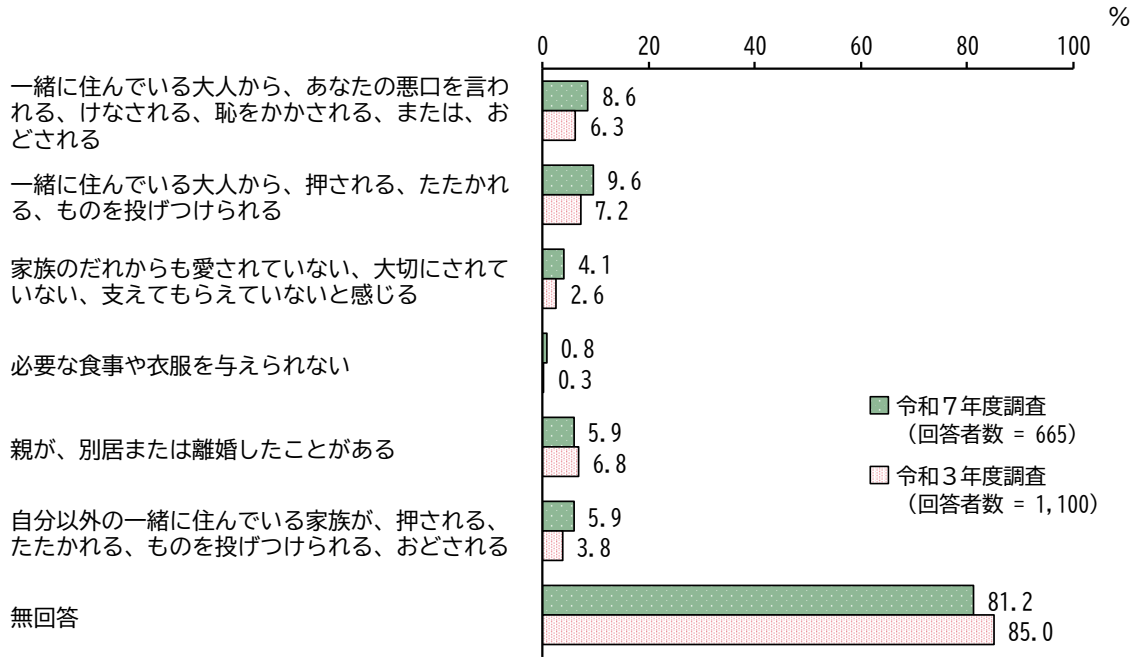
単位：％

区分	回答者数（件）	友だちが増えた	気軽に話せる大人が増えた	生活の中で楽しみなことが増えた	ほっとできる時間が増えた	栄養のある食事をとれることが増えた	勉強がわかるようになった	勉強する時間が増えた	その他	特に変化はない	無回答
全　体	135	24.4	17.8	18.5	20.7	0.7	23.7	39.3	2.2	17.0	10.4
一般層	36	19.4	16.7	13.9	22.2	0.0	25.0	30.6	0.0	25.0	8.3
周辺層	6	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	33.3	50.0	0.0	33.3	0.0
貧困層	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0
無回答	90	25.6	17.8	21.1	20.0	1.1	21.1	42.2	3.3	12.2	12.2

問 42　あなたは今までに、次のようなことがありましたか。（あてはまる番号すべてに〇）

「一緒に住んでいる大人から、押される、たたかれる、ものを投げつけられる」の割合が 9.6%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「一緒に住んでいる大人から、押される、たたかれる、ものを投げつけられる」「親が、別居または離婚したことがある」の割合が高くなっています。

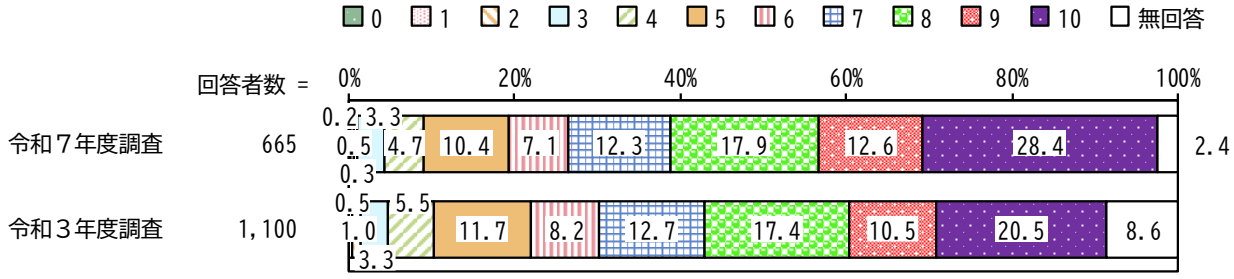
単位：％

区分	回答者数（件）	一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言われる、けなされる、恥をかかされる、または、おどされる	一緒に住んでいる大人から、押される、たたかれる、ものを投げつけられる	家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じる	必要な食事や衣服を与えられない	親が、別居または離婚したことがある	自分以外の一緒に住んでいる家族が、押される、たたかれる、ものを投げつけられる、おどされる	無回答
全　体	665	8.6	9.6	4.1	0.8	5.9	5.9	81.2
一般層	170	8.2	10.6	5.9	0.6	1.8	7.1	84.1
周辺層	37	21.6	16.2	5.4	0.0	16.2	16.2	62.2
貧困層	16	18.8	18.8	0.0	0.0	31.3	6.3	50.0
無回答	442	7.2	8.4	3.4	0.9	5.7	4.5	82.8

問 43　この１年を振り返って、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を０点とすると、何点くらいになると思いますか。０～10 の数字を１つだけ選んでください。（１つに○）

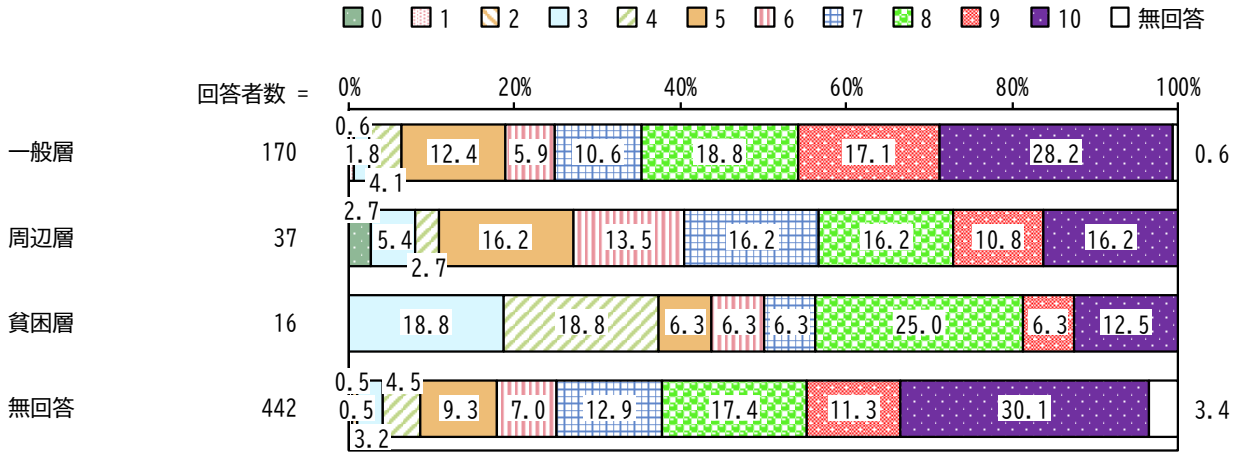
「10」の割合が 28.4%と最も高く、次いで「8」の割合が 17.9%、「9」の割合が 12.6%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「10」の割合が増加しています。



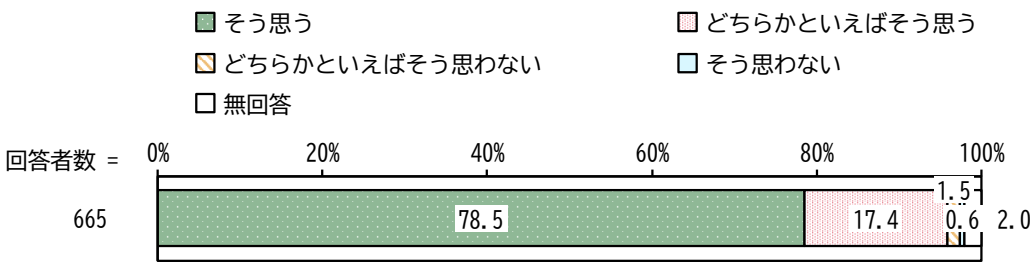
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「9」「10」の割合が高く、「3」の割合が低くなっています。



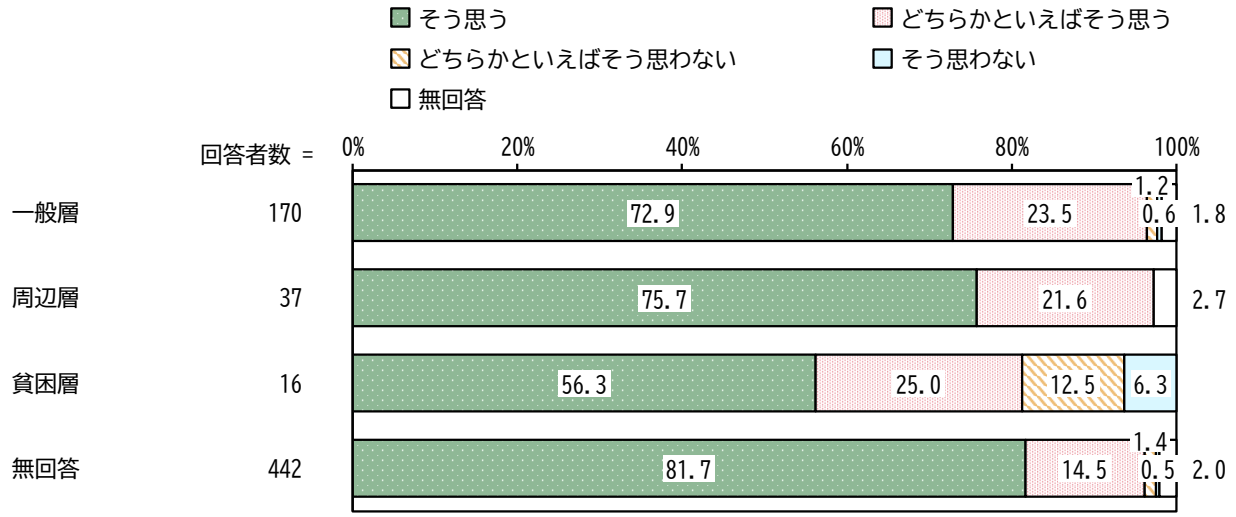
問 44　あなたは、自分の命が守られ安心して暮らしていると思いますか。（１つに○）

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 95.9%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 2.1%となっています。



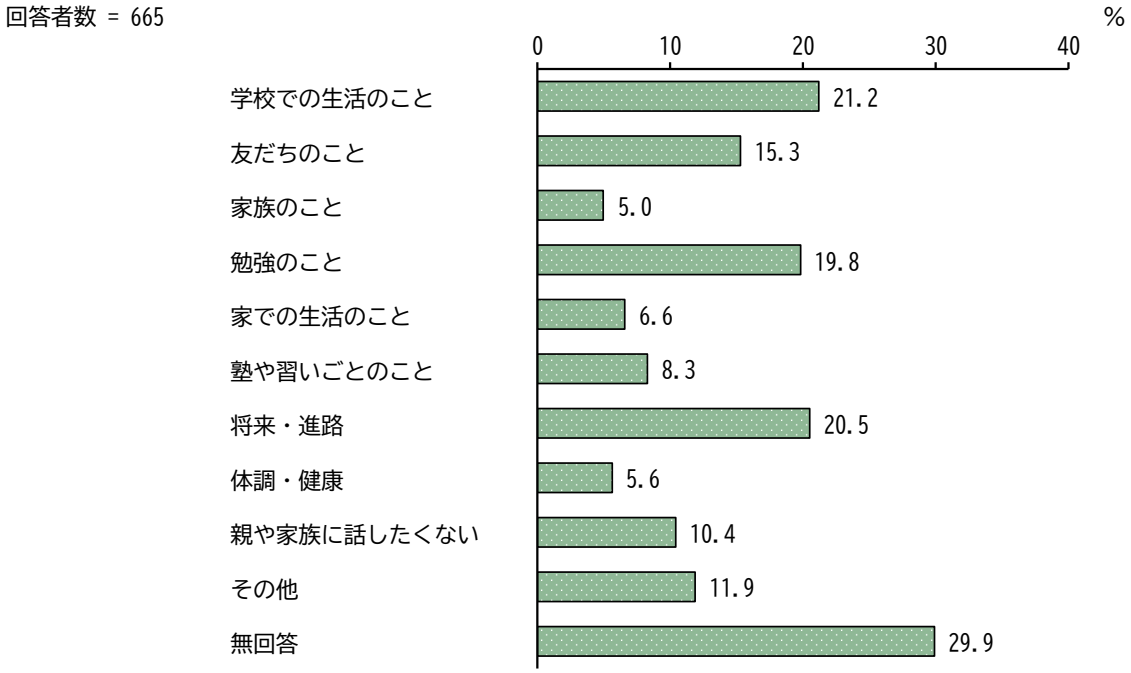
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で“そう思わない”の割合が高くなっています。



問 45　あなたは、親や家族の人がもっとあなたの意見を聞いてほしいと思うことはありますか。また、それはどのようなことですか。（あてはまる番号すべてに○）

「学校での生活のこと」の割合が 21.2%と最も高く、次いで「将来・進路」の割合が 20.5%、「勉強のこと」の割合が 19.8%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「友だちのこと」の割合が高く、「将来・進路」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	学校での生活のこと	友だちのこと	家族のこと	勉強のこと	家での生活のこと	塾や習いごとのこと	将来・進路	体調・健康	親や家族に話したくない	その他	無回答
全　体	665	21.2	15.3	5.0	19.8	6.6	8.3	20.5	5.6	10.4	11.9	29.9
一般層	170	20.0	11.8	4.1	20.0	8.8	7.1	21.8	3.5	11.8	12.4	28.2
周辺層	37	21.6	16.2	10.8	29.7	5.4	10.8	21.6	2.7	5.4	10.8	35.1
貧困層	16	18.8	25.0	6.3	12.5	6.3	6.3	12.5	6.3	18.8	25.0	12.5
無回答	442	21.7	16.3	4.8	19.2	5.9	8.6	20.1	6.6	10.0	11.3	30.8

【世帯分類別】

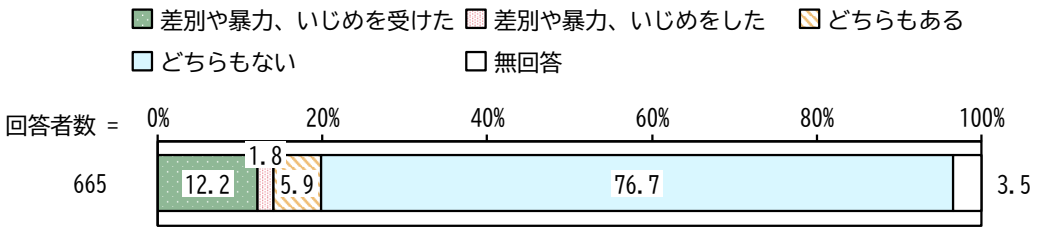
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「友だちのこと」「家での生活のこと」、父親（ひとり親）で「将来・進路」、母親（ひとり親）で「親や家族に話したくない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	学校での生活のこと	友だちのこと	家族のこと	勉強のこと	家での生活のこと	塾や習いごとのこと	将来・進路	体調・健康	親や家族に話したくない	その他	無回答
全　体	665	21.2	15.3	5.0	19.8	6.6	8.3	20.5	5.6	10.4	11.9	29.9
父親（ひとり親）	61	14.8	11.5	4.9	14.8	6.6	8.2	27.9	4.9	8.2	16.4	27.9
母親（ひとり親）	46	17.4	10.9	0.0	21.7	2.2	6.5	17.4	4.3	19.6	8.7	28.3
ふたり親（２世帯）	447	20.6	15.0	4.3	20.8	6.5	8.5	19.2	5.6	10.3	12.5	29.8
ふたり親（３世帯）	27	25.9	22.2	7.4	14.8	14.8	11.1	18.5	7.4	11.1	11.1	18.5
無回答	84	29.8	20.2	10.7	19.0	7.1	7.1	23.8	6.0	7.1	7.1	36.9

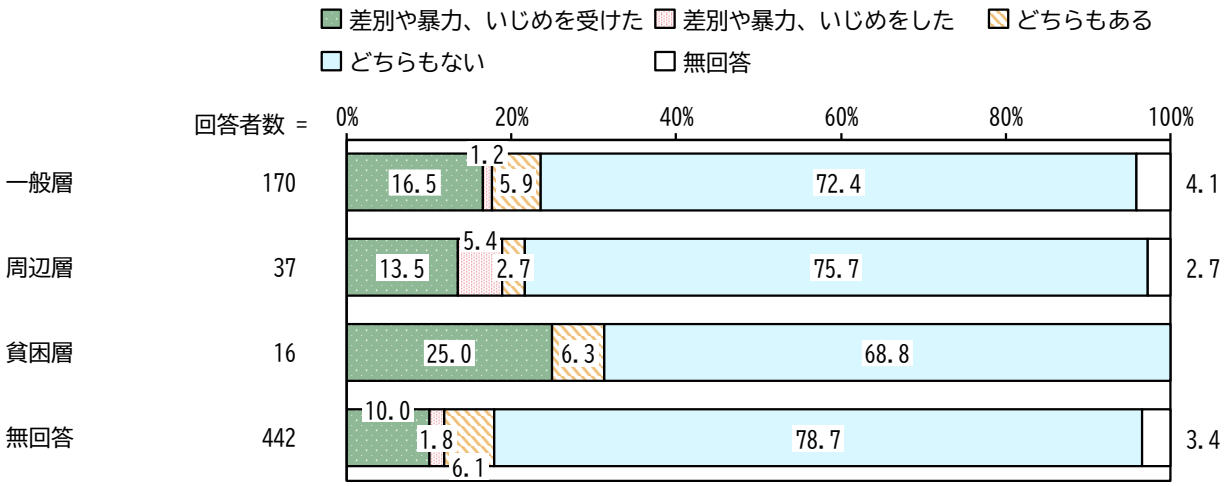
問 46　あなたは、差別・暴力・いじめを受けたことがありますか。また、したことがありますか。（１つに○）

「どちらもない」の割合が 76.7%と最も高く、次いで「差別や暴力、いじめを受けた」の割合が 12.2%となっています。



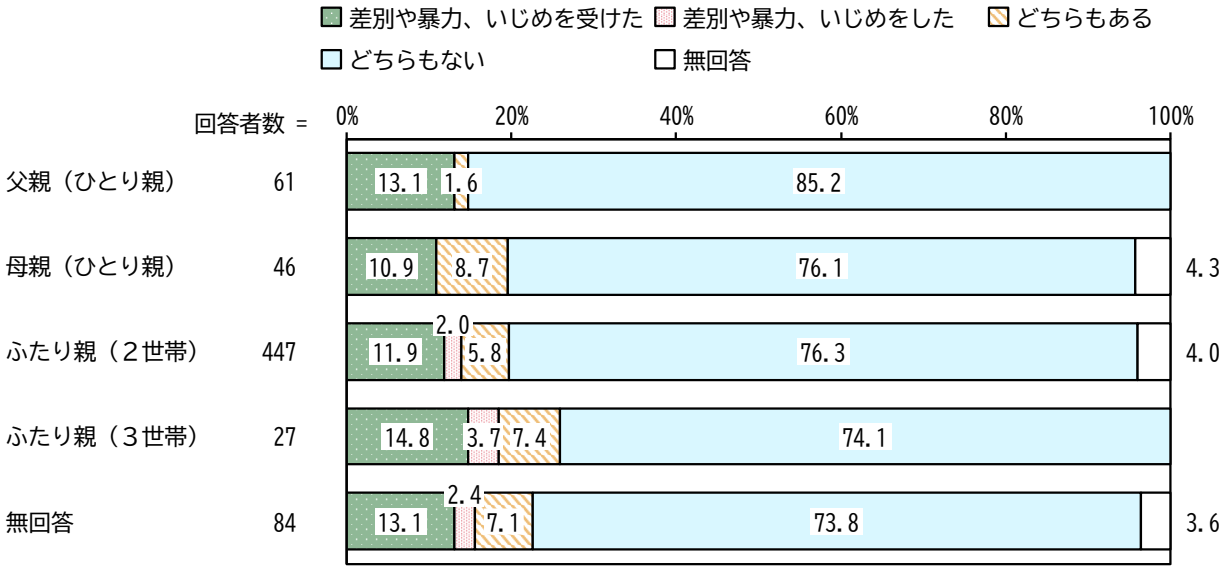
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「差別や暴力、いじめを受けた」の割合が高くなっています。



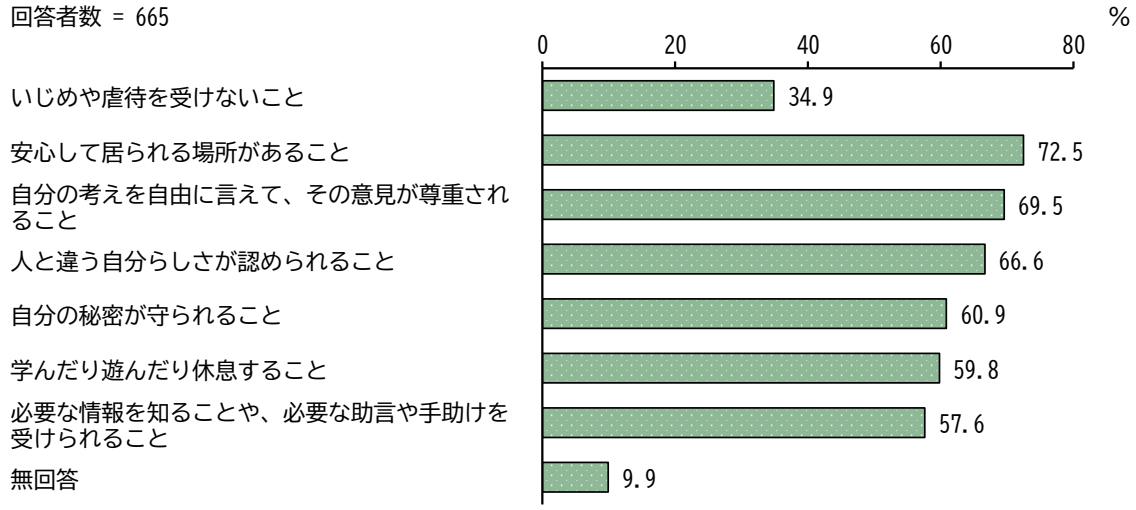
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で「どちらもない」の割合が高くなっています。



問 47　子どもの権利の中で知っているものはどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

「安心して居られる場所があること」の割合が 72.5%と最も高く、次いで「自分の考えを自由に言えて、その意見が尊重されること」の割合が 69.5%、「人と違う自分らしさが認められること」の割合が 66.6%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「人と違う自分らしさが認められること」「自分の秘密が守られること」「必要な情報を知ることや、必要な助言や手助けを受けられること」の割合が高く、「いじめや虐待を受けないこと」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	いじめや虐待を受けないこと	安心して居られる場所があること	自分の考えを自由に言えて、その意見が尊重されること	人と違う自分らしさが認められること	自分の秘密が守られること	学んだり遊んだり休息すること	必要な情報を知ることや、必要な助言や手助けを受けられること	無回答
全　体	665	34.9	72.5	69.5	66.6	60.9	59.8	57.6	9.9
一般層	170	5.9	71.2	67.6	71.8	64.1	56.5	61.8	11.2
周辺層	37	8.1	73.0	75.7	67.6	62.2	62.2	51.4	5.4
貧困層	16	18.8	68.8	75.0	50.0	43.8	50.0	43.8	0.0
無回答	442	48.9	73.1	69.5	65.2	60.2	61.3	57.0	10.2

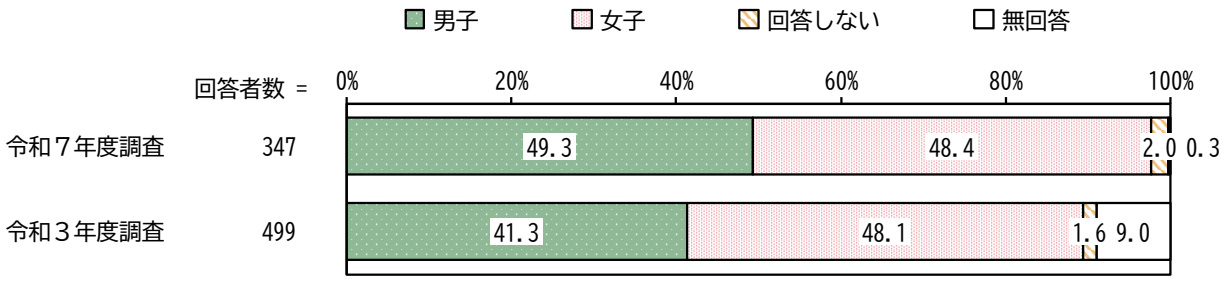
問 48　日野市になんでも要望できるとすれば、どのようなことを要望しますか。どのようなことでもよいので、書いてください。

※別冊　自由記述結果報告書

3　16～17 歳本人

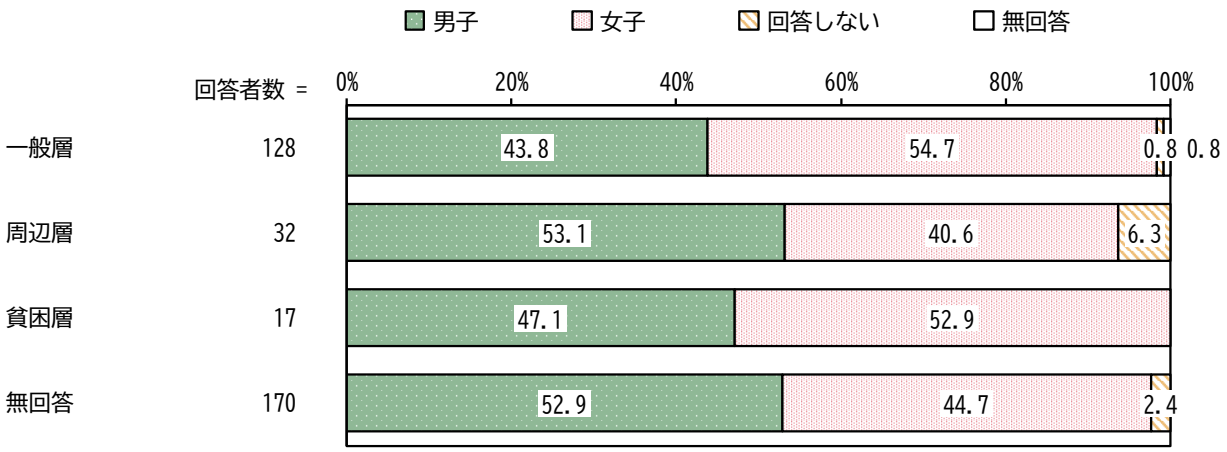
問１　あなたの性別を教えてください。（１つに○）

「男子」の割合が 49.3%、「女子」の割合が 48.4%となっています。
令和３年度調査と比較すると、「男子」の割合が増加しています。



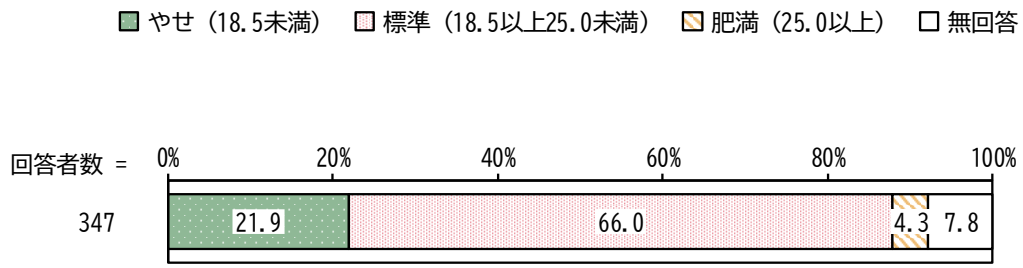
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、一般層で「女子」の割合が高くなっています。



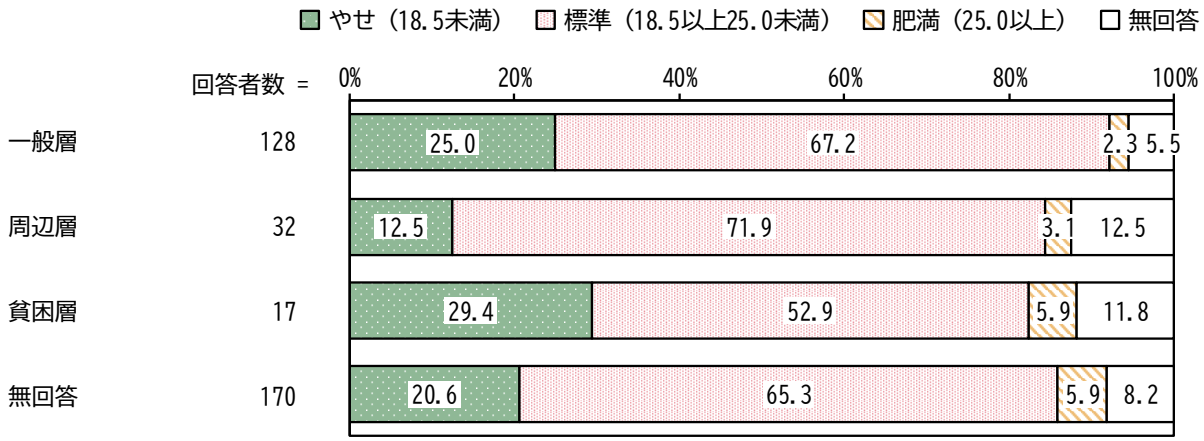
問２　あなたの身長・体重を教えてください。（カッコの中に数字で答えてください）
（BMI）

「標準」の割合が 66.0%、次いで「やせ」の割合が 21.9%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「やせ」の割合が高くなっています。



問３　あなたのお住まいの地区はどこですか。（１つに○）

「日野」の割合が 14.7%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	旭が丘	新井	石田	大坂上	落川	上田	川辺堀之内	栄町	新町	神明	高幡	多摩平	豊田	西平山
全　体	347	7.5	2.3	0.9	1.7	2.3	1.2	1.4	1.2	3.7	2.3	2.6	8.4	4.9	3.2
令和７年度調査	347	7.5	2.3	0.9	1.7	2.3	1.2	1.4	1.2	3.7	2.3	2.6	8.4	4.9	3.2
令和３年度調査	499	5.8	1.0	1.0	1.8	2.6	1.4	0.6	2.0	1.8	2.6	2.2	6.0	3.6	3.8

区分	東豊田	東平山	日野	日野台	日野本町	平山	富士町	程久保	万願寺	三沢	南平	宮	百草	無回答
全　体	4.3	2.9	14.7	3.2	2.3	4.6	2.6	2.6	2.9	6.6	5.5	0.0	3.7	0.6
令和７年度調査	4.3	2.9	14.7	3.2	2.3	4.6	2.6	2.6	2.9	6.6	5.5	0.0	3.7	0.6
令和３年度調査	2.8	0.8	15.4	2.4	3.0	4.0	1.8	2.6	6.4	5.0	7.4	0.2	3.6	8.2

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「日野本町」「万願寺」、周辺層で「平山」「南平」の割合が高くなっています。

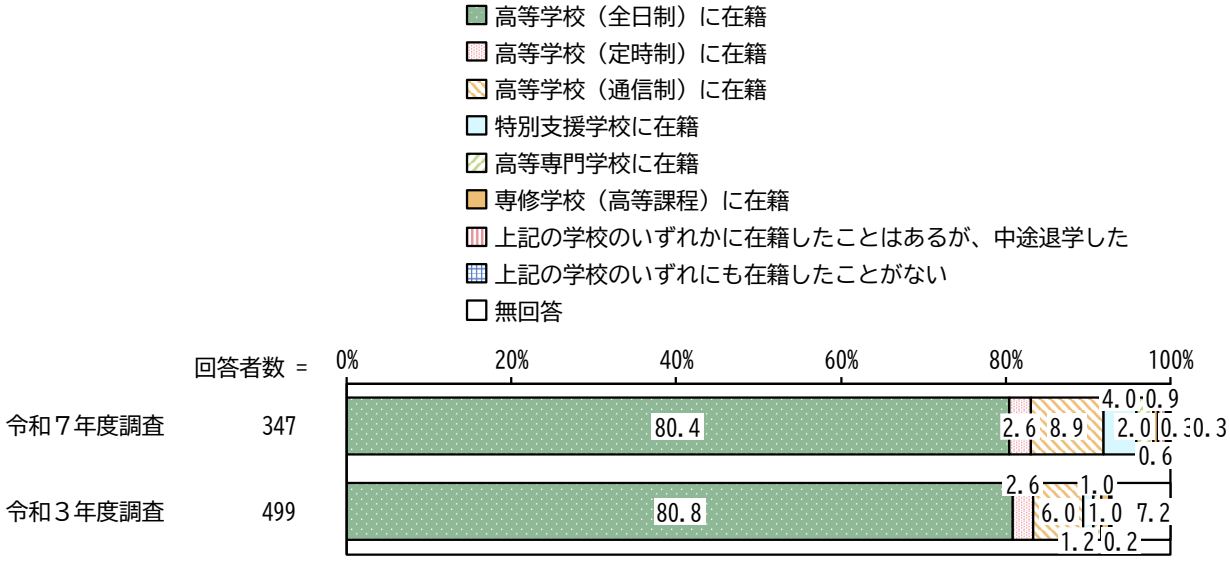
単位：%

区分	回答者数（件）	旭が丘	新井	石田	大坂上	落川	上田	川辺堀之内	栄町	新町	神明	高幡	多摩平	豊田	西平山
全　体	347	7.5	2.3	0.9	1.7	2.3	1.2	1.4	1.2	3.7	2.3	2.6	8.4	4.9	3.2
一般層	128	4.7	1.6	0.8	2.3	1.6	0.8	2.3	0.8	5.5	3.9	4.7	8.6	6.3	2.3
周辺層	32	9.4	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	12.5	0.0	0.0
貧困層	17	11.8	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0	5.9
無回答	170	8.8	3.5	1.2	1.2	2.4	1.2	1.2	1.2	3.5	1.2	1.2	7.6	5.3	4.1

区分	東豊田	東平山	日野	日野台	日野本町	平山	富士町	程久保	万願寺	三沢	南平	宮	百草	無回答
全　体	4.3	2.9	14.7	3.2	2.3	4.6	2.6	2.6	2.9	6.6	5.5	0.0	3.7	0.6
一般層	5.5	4.7	13.3	3.1	2.3	1.6	2.3	0.8	2.3	7.8	5.5	0.0	4.7	0.0
周辺層	0.0	6.3	15.6	3.1	0.0	12.5	0.0	0.0	3.1	9.4	12.5	0.0	6.3	0.0
貧困層	0.0	0.0	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0	5.9	11.8	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0
無回答	4.7	1.2	16.5	2.9	1.8	5.9	3.5	4.1	2.4	5.3	4.1	0.0	2.9	1.2

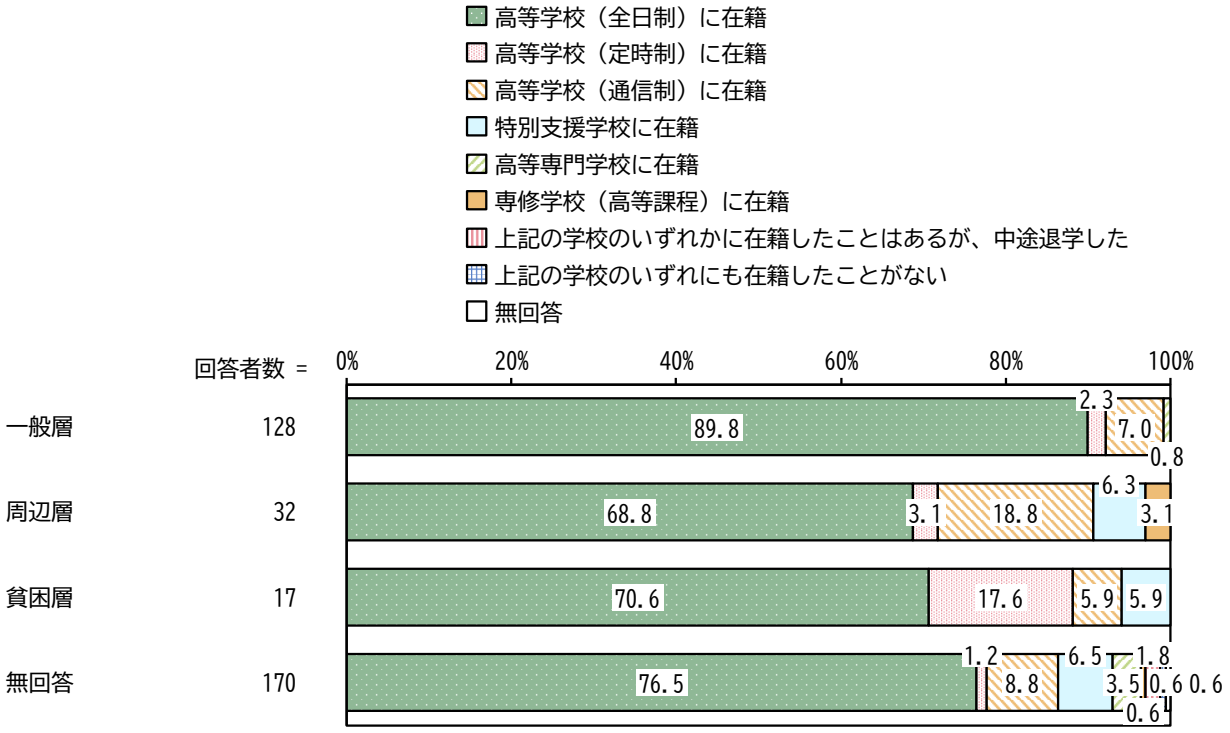
問４　あなたは、現在、学校に在籍していますか。以下の中から、あてはまるものに○をしてください。（１つに○）

「高等学校（全日制）に在籍」の割合が 80.4%と最も高くなっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

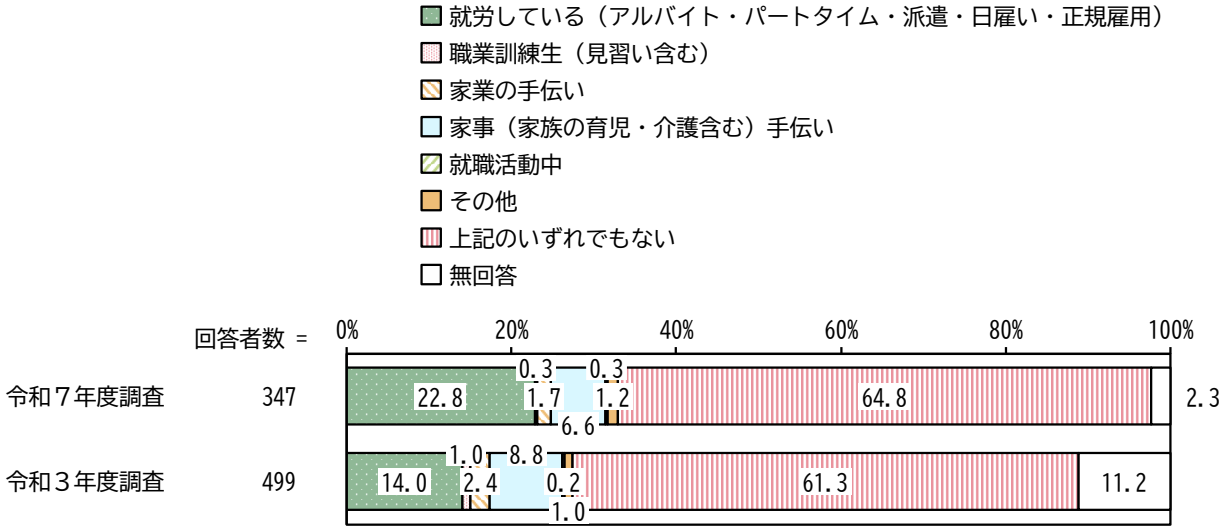
生活困難度別にみると、一般層で「高等学校（全日制）に在籍」、貧困層で「高等学校（定時制）に在籍」、周辺層で「高等学校（通信制）に在籍」の割合が高くなっています。



問５　あなたは、現在、働いていますか。以下の中から、最もあてはまるもの１つに○をしてください。（１つに○）

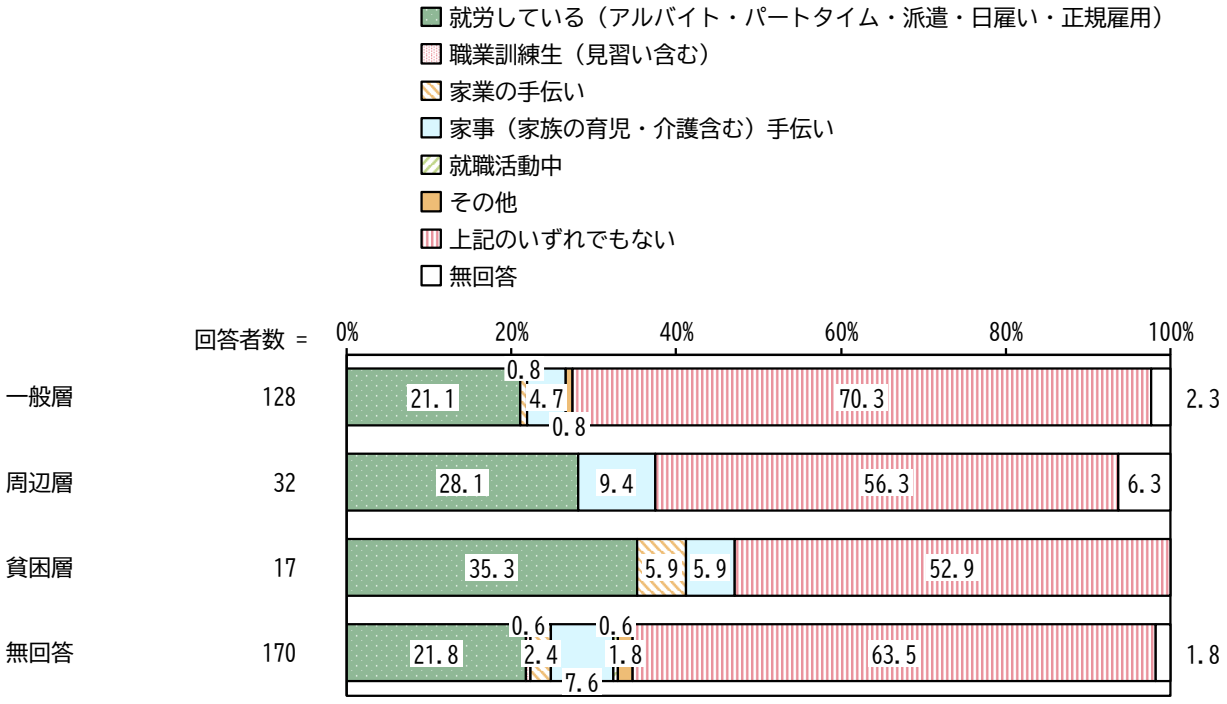
「就労している（アルバイト・パートタイム・派遣・日雇い・正規雇用）」の割合が 22.8%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、「就労している（アルバイト・パートタイム・派遣・日雇い・正規雇用）」の割合が増加しています。



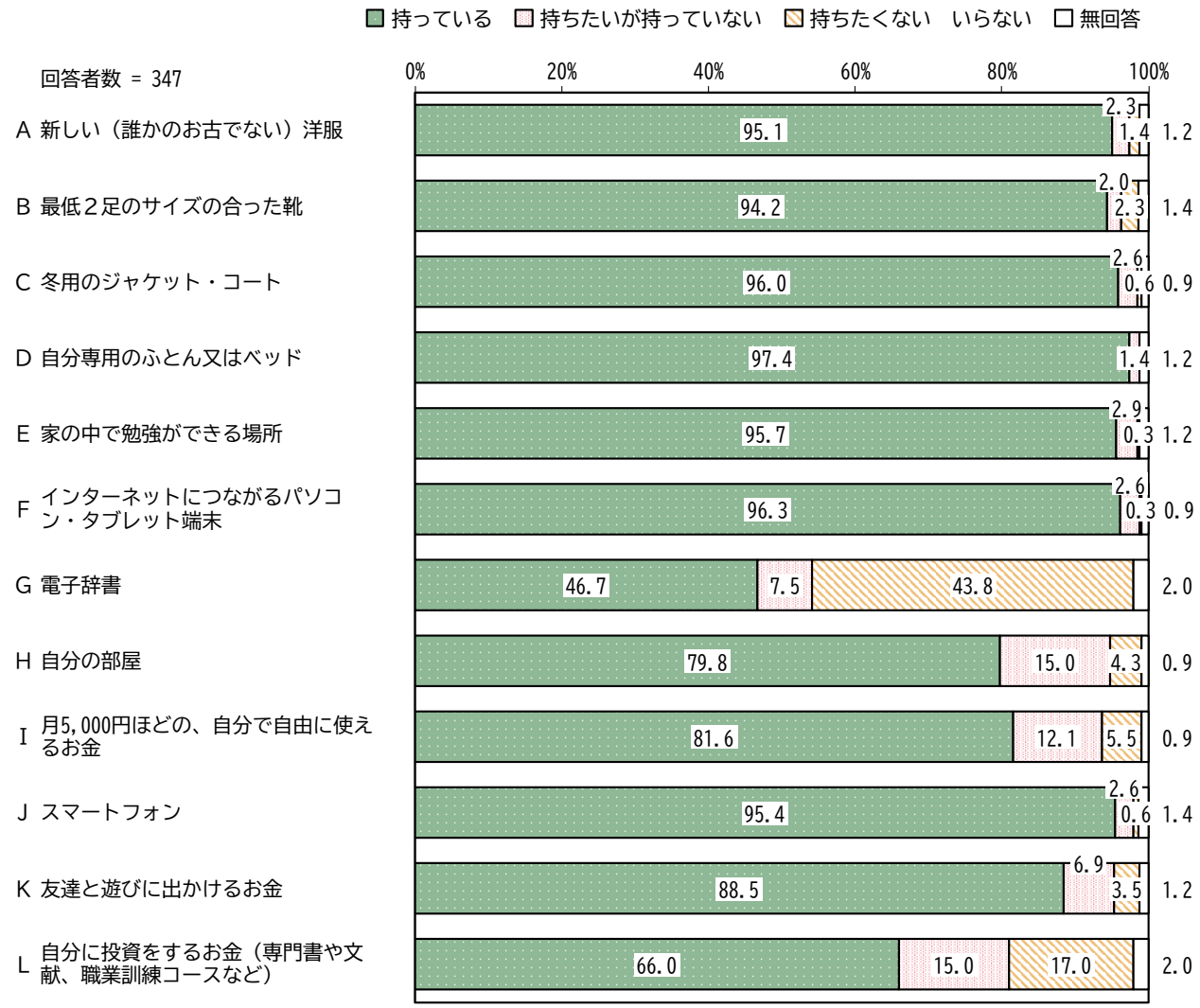
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「就労している（アルバイト・パートタイム・派遣・日雇い・正規雇用）」の割合が高くなっています。



問６　あなたは、次のＡ～Ｌの物品を持っていますか。それぞれ、あなたの状況に最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

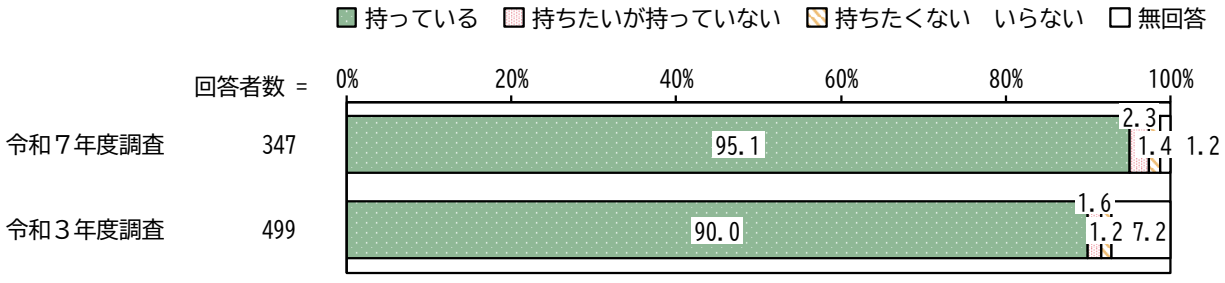
『Ｄ　自分専用のふとん又はベッド』で「持っている」が、『Ｈ　自分の部屋』『Ｌ　自分に投資をするお金（専門書や文献、職業訓練コースなど）』で「持ちたいが持っていない」が、『Ｇ　電子辞書』で「持ちたくない　いらない」が高くなっています。



Ａ　新しい（誰かのお古でない）洋服

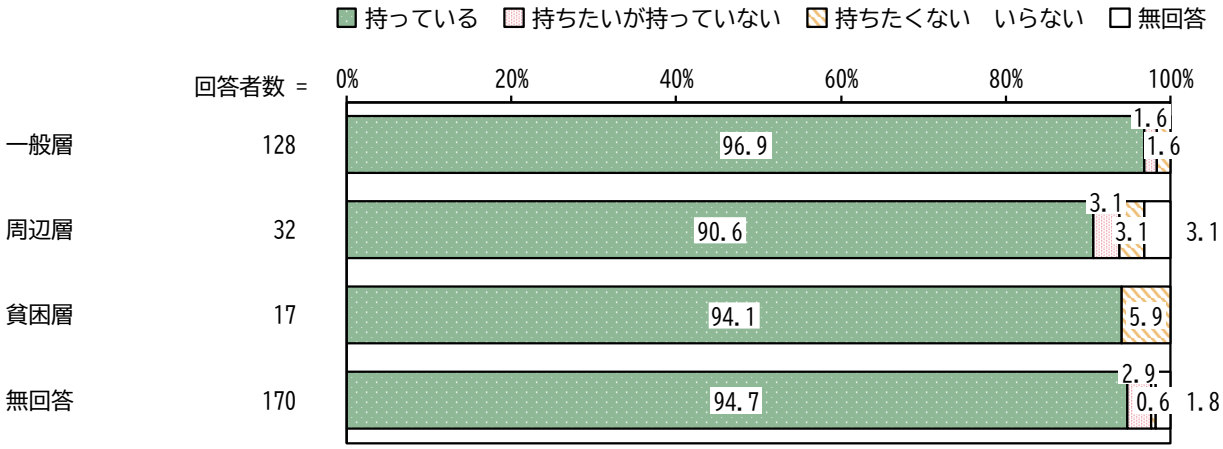
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「持っている」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

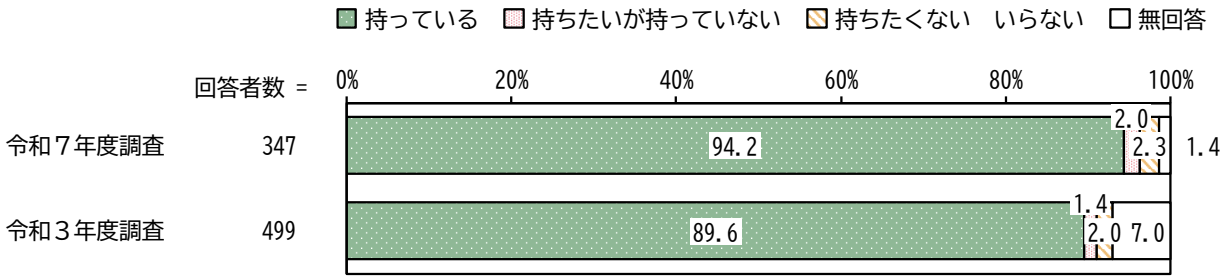
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



B　最低２足のサイズの合った靴

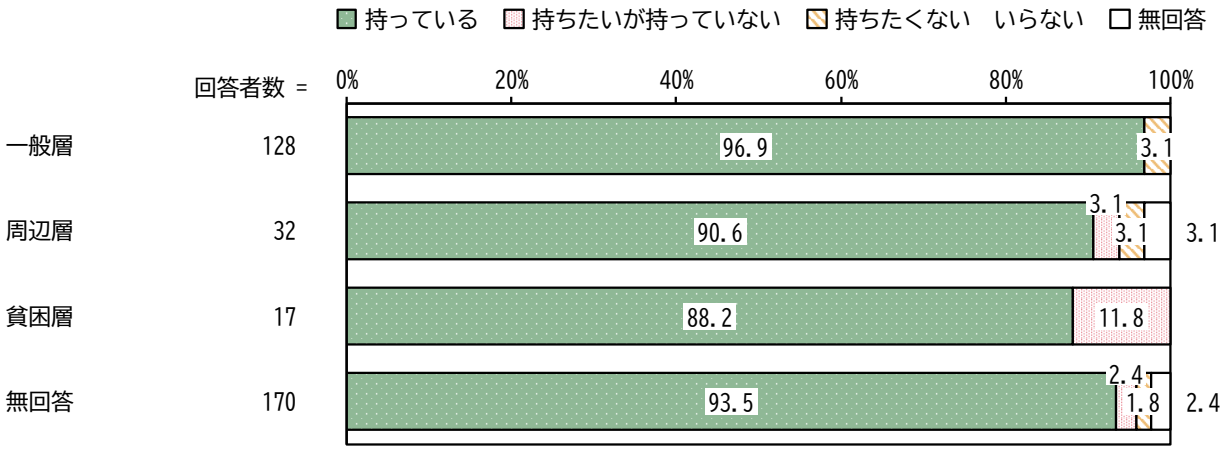
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

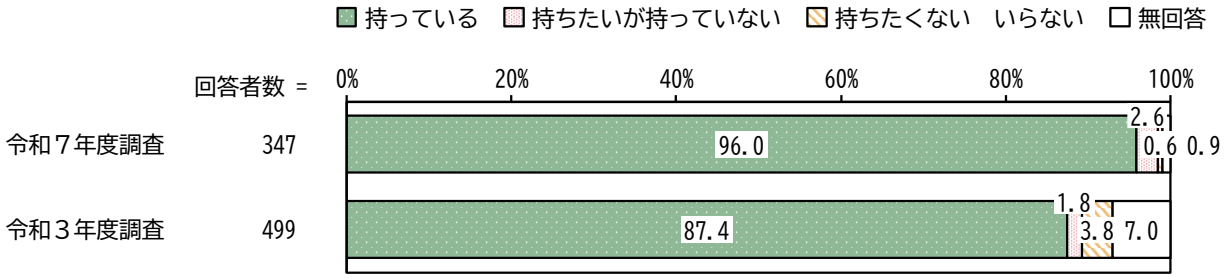
生活困難度別にみると、貧困層で「持ちたいが持っていない」の割合が高く、「持っている」の割合が低くなっています。



C　冬用のジャケット・コート

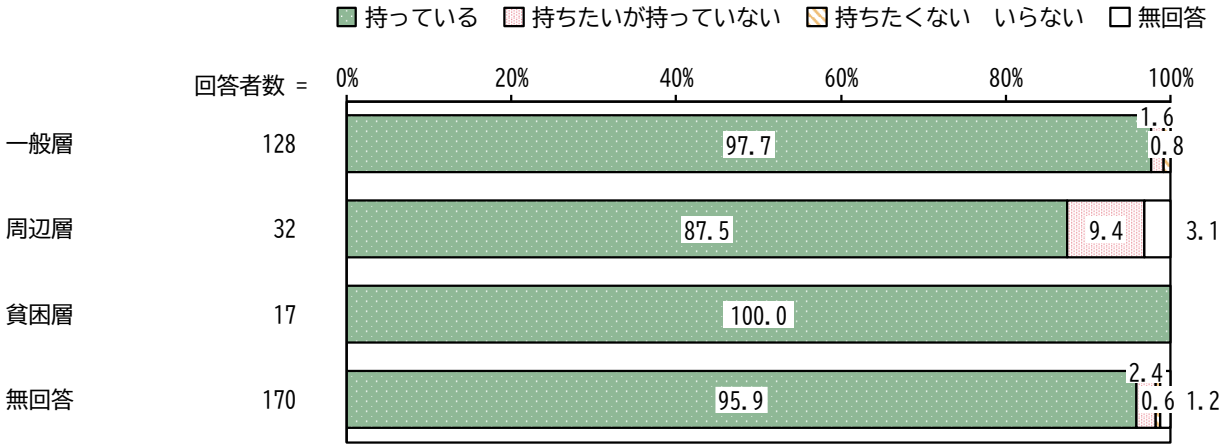
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「持っている」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

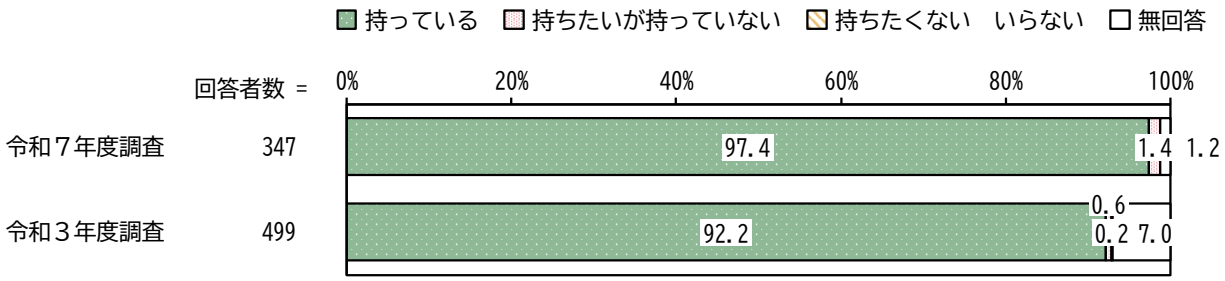
生活困難度別にみると、周辺層で「持ちたいが持っていない」の割合が高く、「持っている」の割合が低くなっています。



D　自分専用のふとん又はベッド

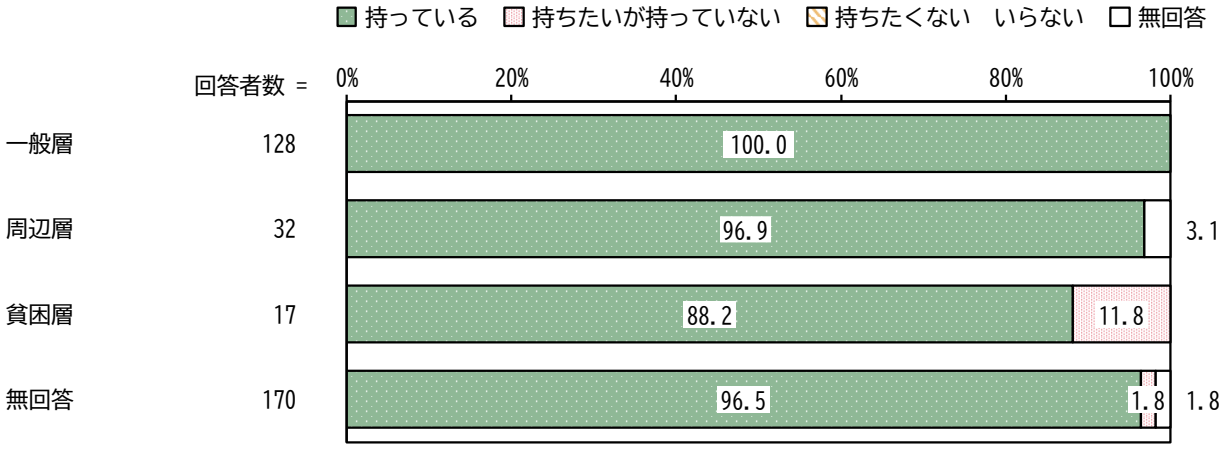
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「持っている」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

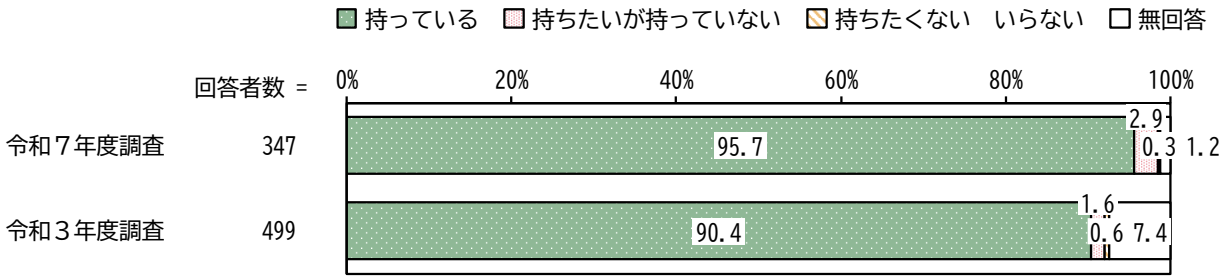
生活困難度別にみると、貧困層で「持ちたいが持っていない」の割合が高くなっています。



E　家の中で勉強ができる場所

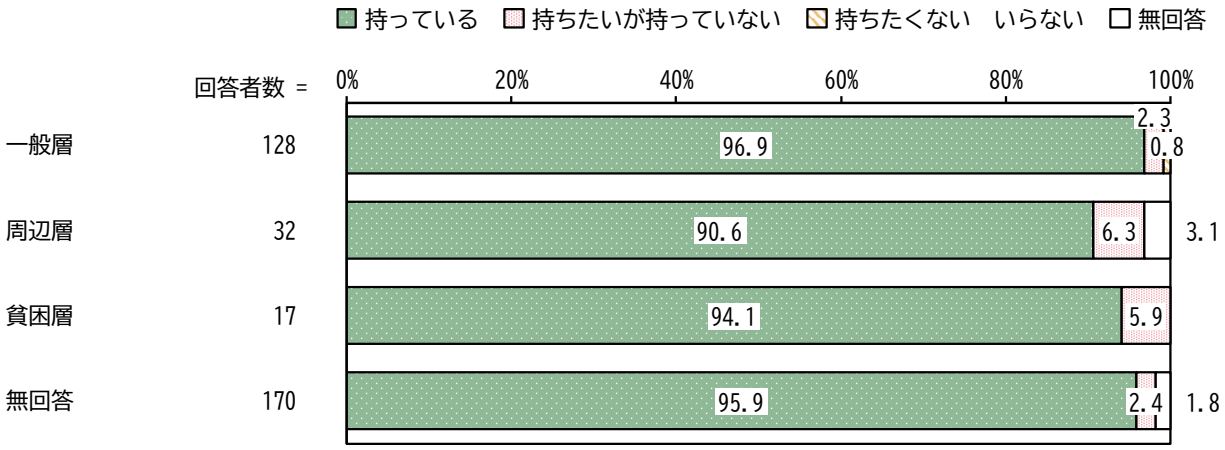
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「持っている」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

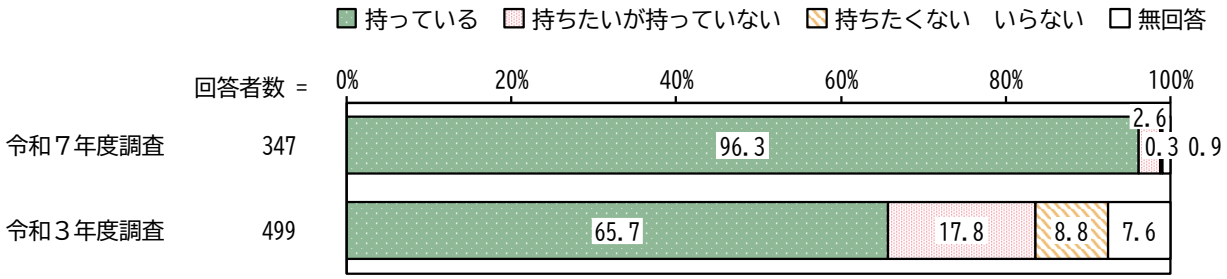
生活困難度別にみると、周辺層で「持っている」の割合が低くなっています。



F　インターネットにつながるパソコン・タブレット端末

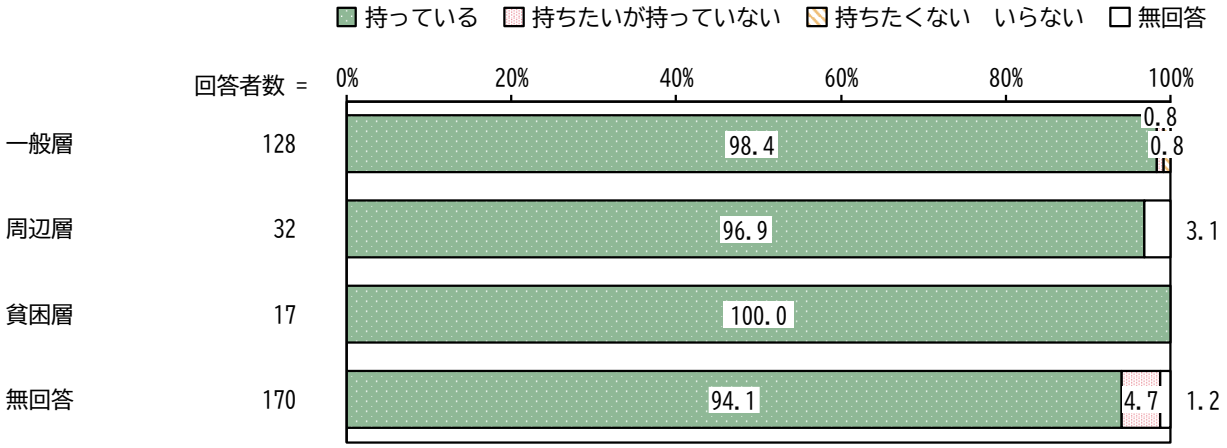
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「持っている」の割合が増加しています。一方、「持ちたいが持っていない」「持ちたくない　いらない」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

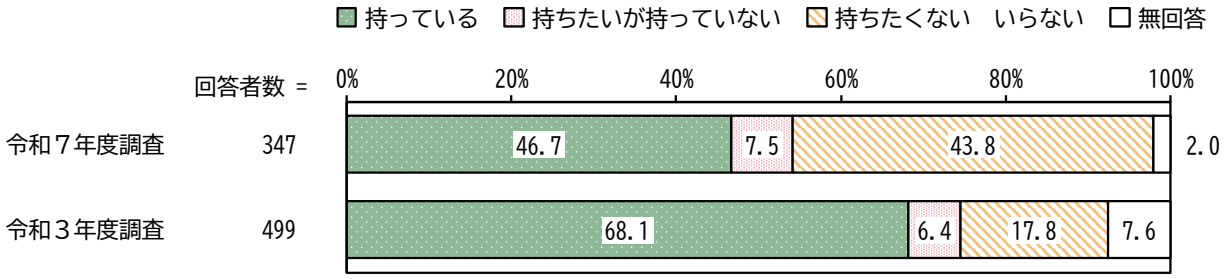
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



G　電子辞書

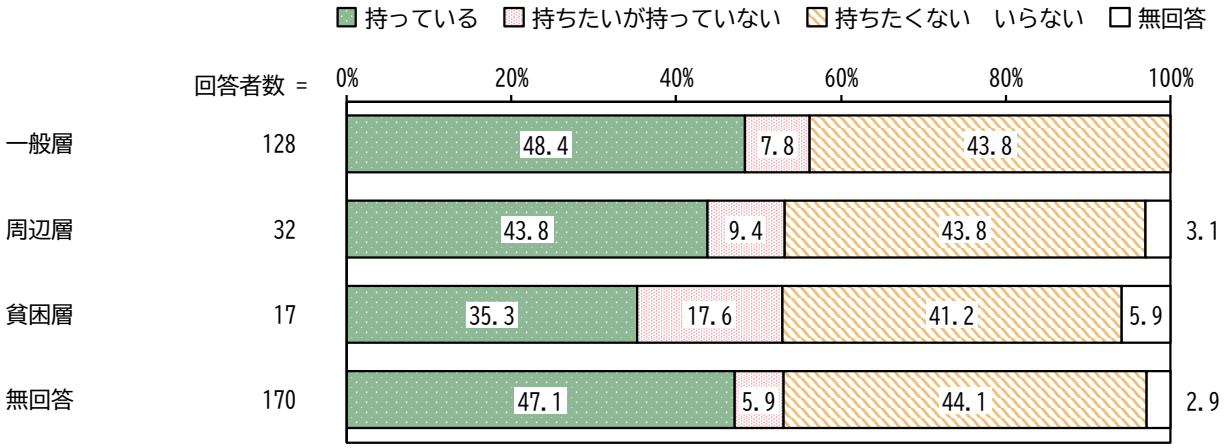
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「持ちたくない　いらない」の割合が増加しています。一方、「持っている」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

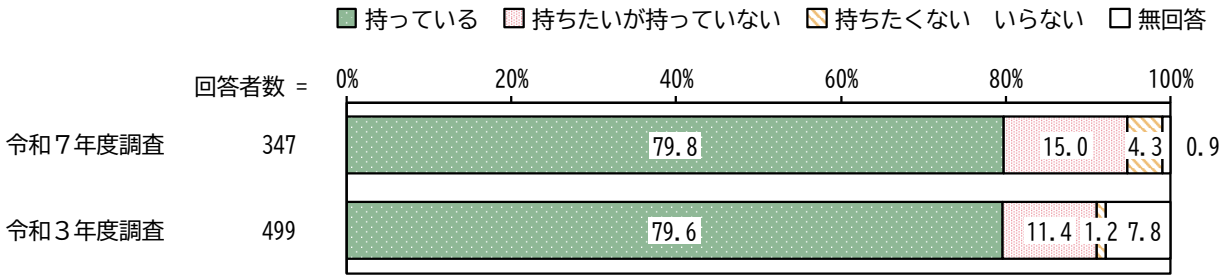
生活困難度別にみると、貧困層で「持ちたいが持っていない」の割合が高く、「持っている」の割合が低くなっています。



H　自分の部屋

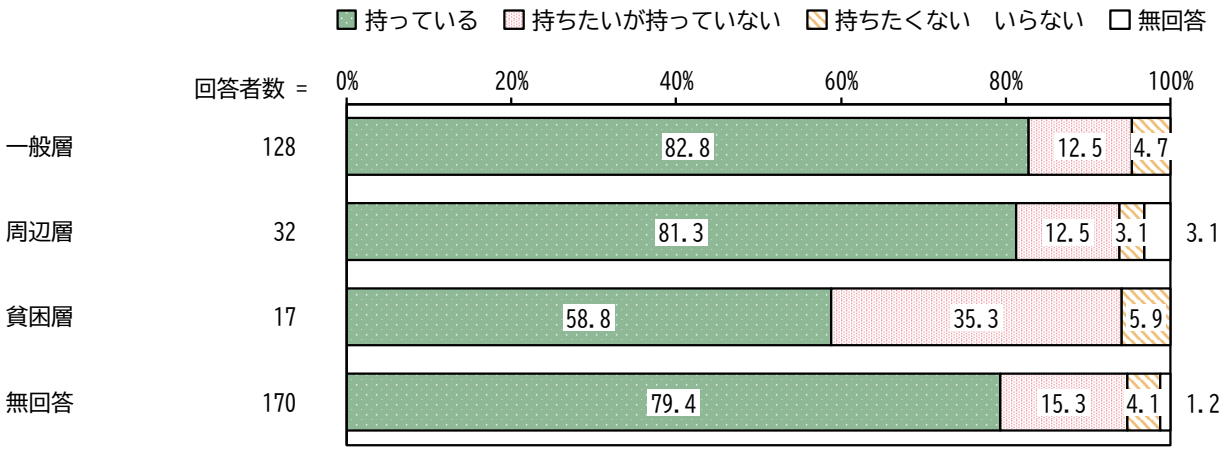
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

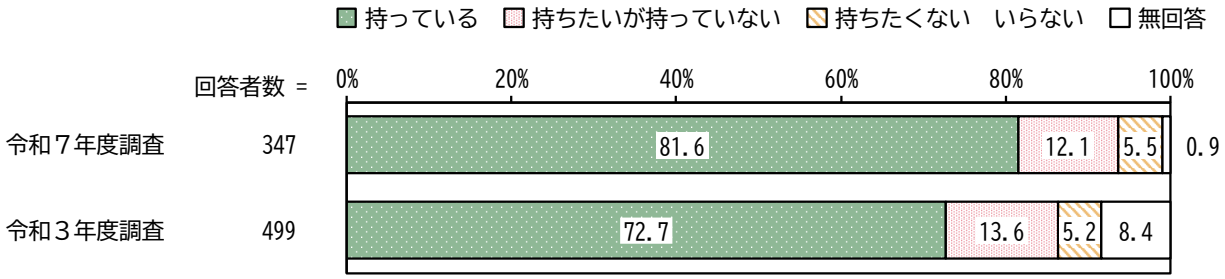
生活困難度別にみると、貧困層で「持ちたいが持っていない」の割合が高く、「持っている」の割合が低くなっています。



I　月 5,000 円ほどの、自分で自由に使えるお金

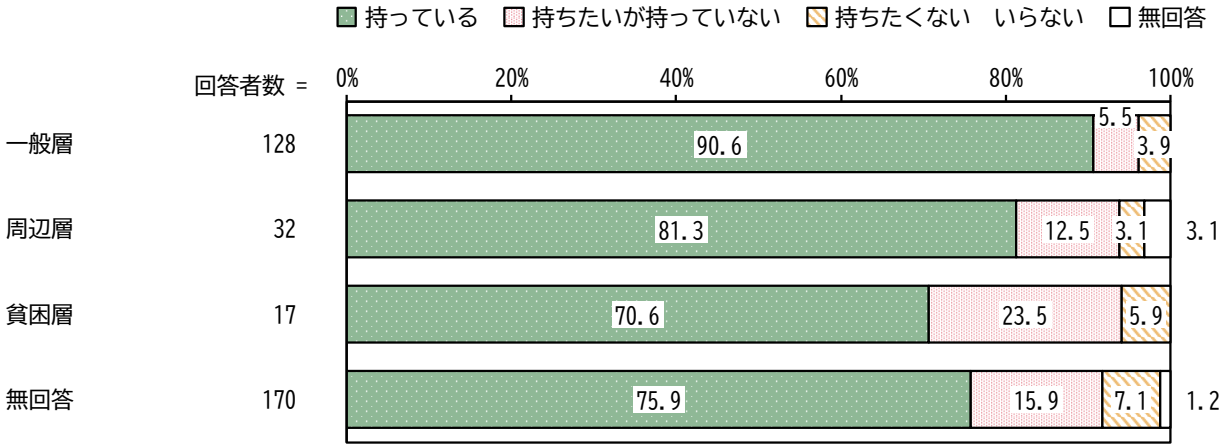
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「持っている」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

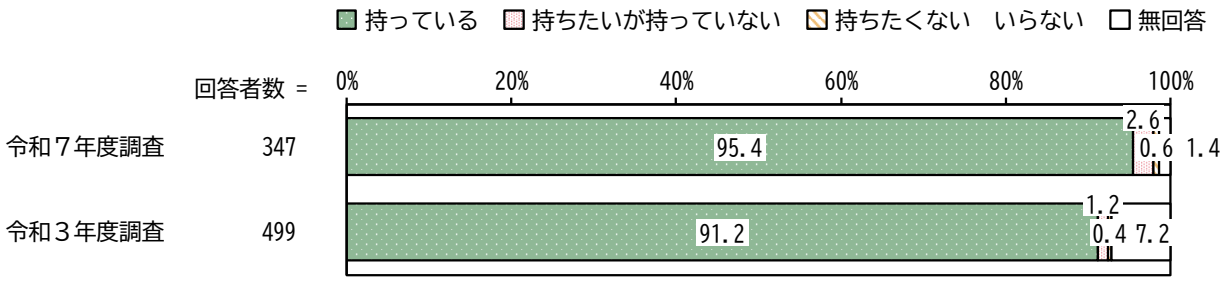
生活困難度別にみると、貧困層で「持ちたいが持っていない」の割合が高く、「持っている」の割合が低くなっています。



J　スマートフォン

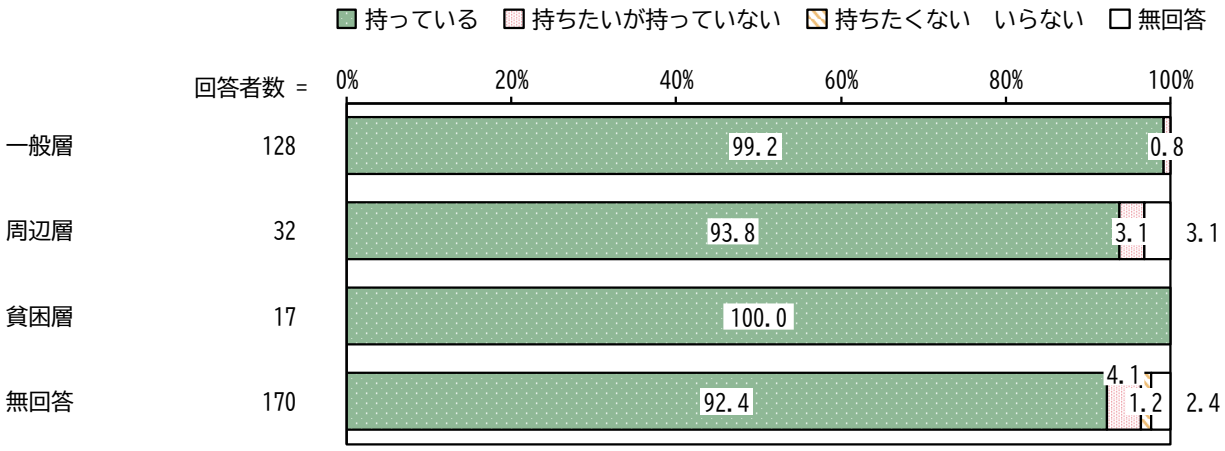
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

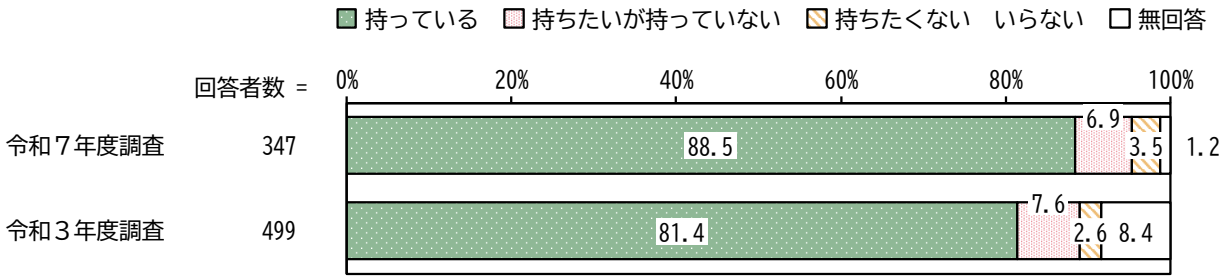
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



K　友達と遊びに出かけるお金

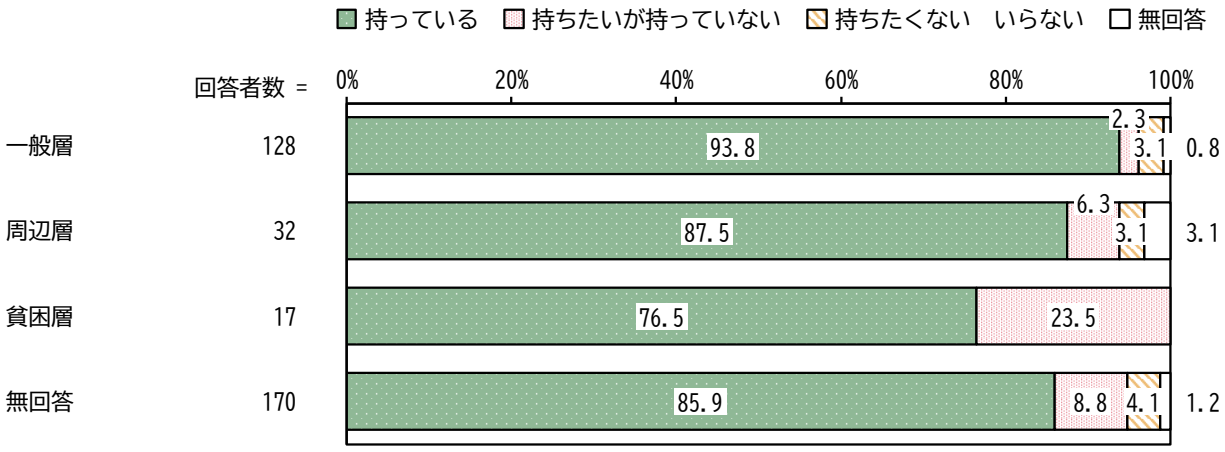
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「持っている」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

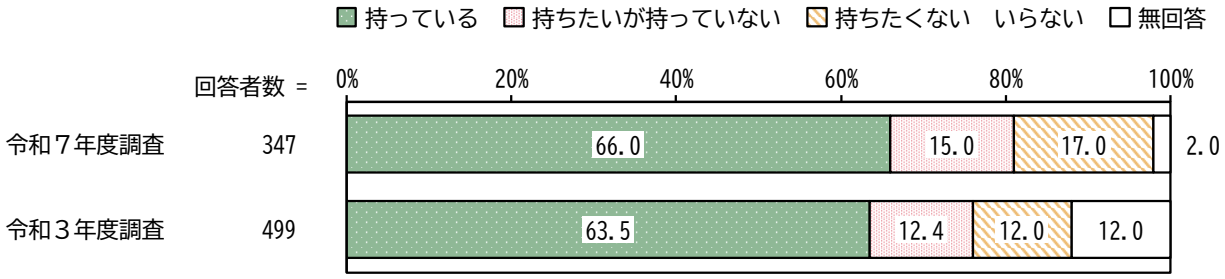
生活困難度別にみると、貧困層で「持ちたいが持っていない」の割合が高く、「持っている」の割合が低くなっています。



L　自分に投資をするお金（専門書や文献、職業訓練コースなど）

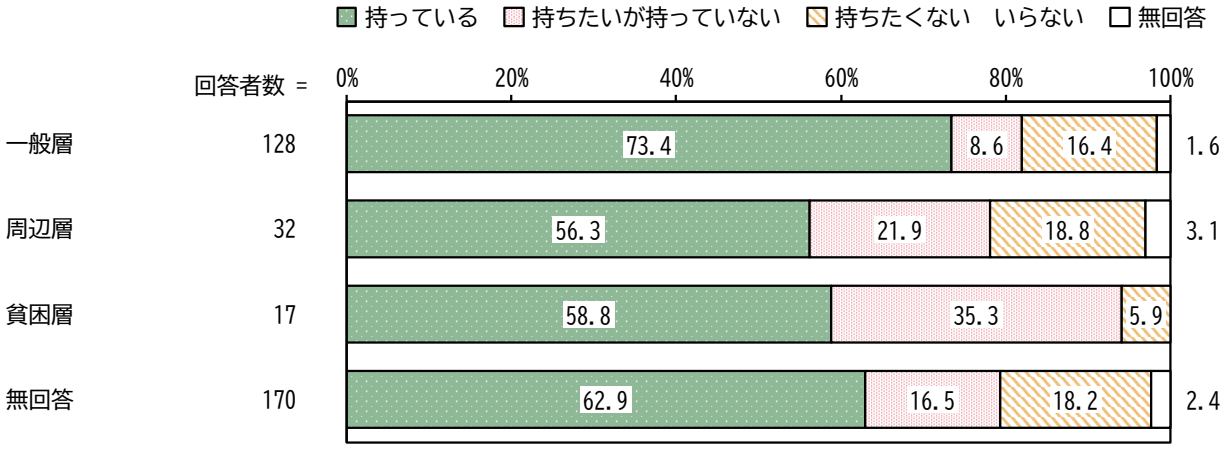
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

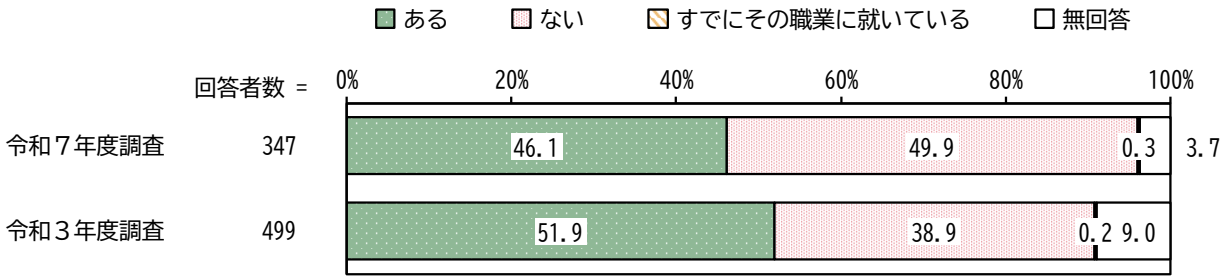
生活困難度別にみると、貧困層で「持ちたいが持っていない」の割合が高く、「持ちたくない　いらない」の割合が低くなっています。



問７　あなたは、将来なりたい職業がありますか。（１つに○）

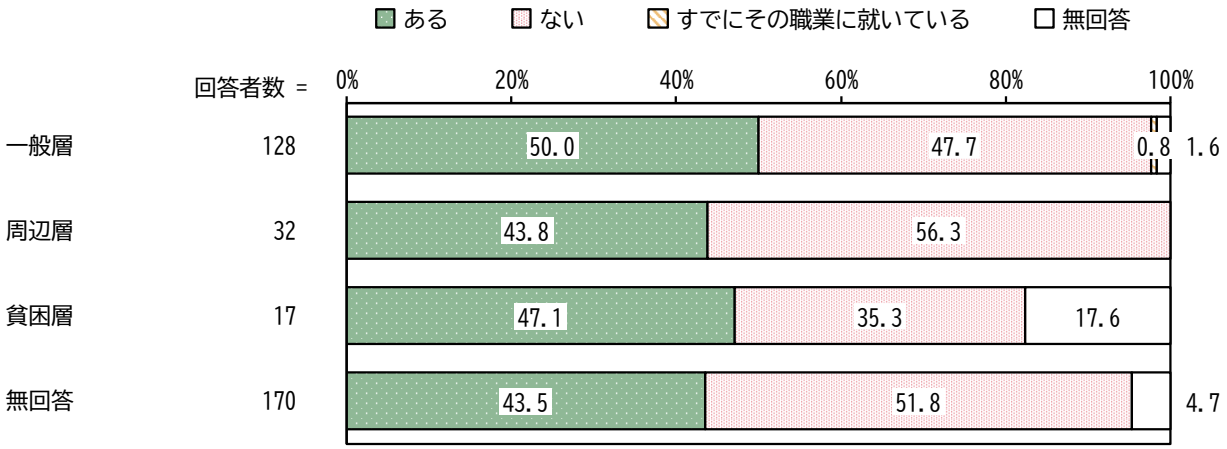
「ある」の割合が 46.1%、「ない」の割合が 49.9%、「すでにその職業に就いている」の割合が 0.3%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。一方、「ある」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「ない」の割合が高くなっています。



問７で将来なりたい職業が「ある」と答えた人にお聞きします。

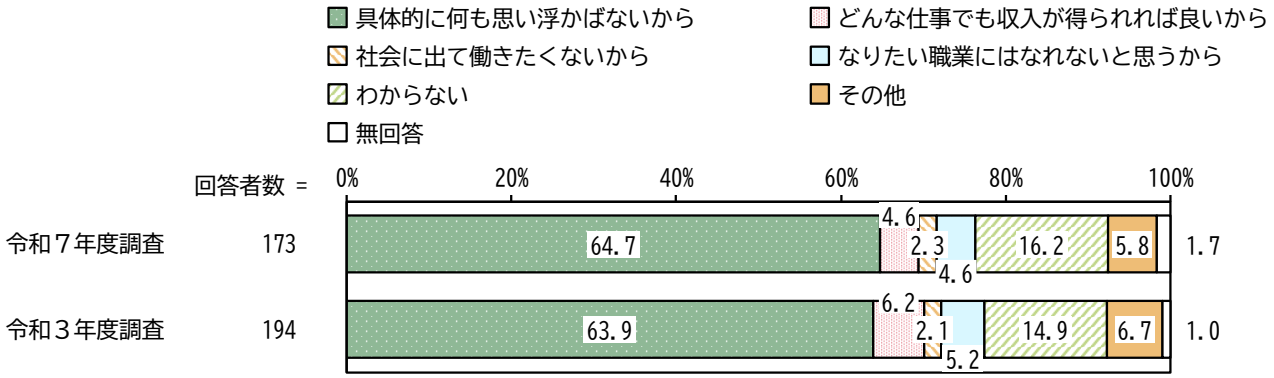
問７－１　その職業は何ですか。（下の枠の中に書いてください）

大きく分けていくつかの傾向が見られ、一つ目は「看護師」や「薬剤師」、「理学療法士」などの医療や福祉に関わる職業を挙げる傾向であり、二つ目は「教師」や「保育士」など教育や子どもに関わる職業を挙げる傾向、三つ目は「プログラマー」や「配信者」といった IT・メディア関連の職業や「アニメーター」、「イラストレーター」、「デザイナー」といったクリエイティブな職業を挙げる傾向、そして四つ目は「研究者」や「調理師」、「美容師」、「スポーツ関係」、「動物看護師」など特定の専門分野のスキルを活かす職業を多数挙げる傾向となっています。

問７でなりたい職業が「ない」と答えた人にお聞きします。

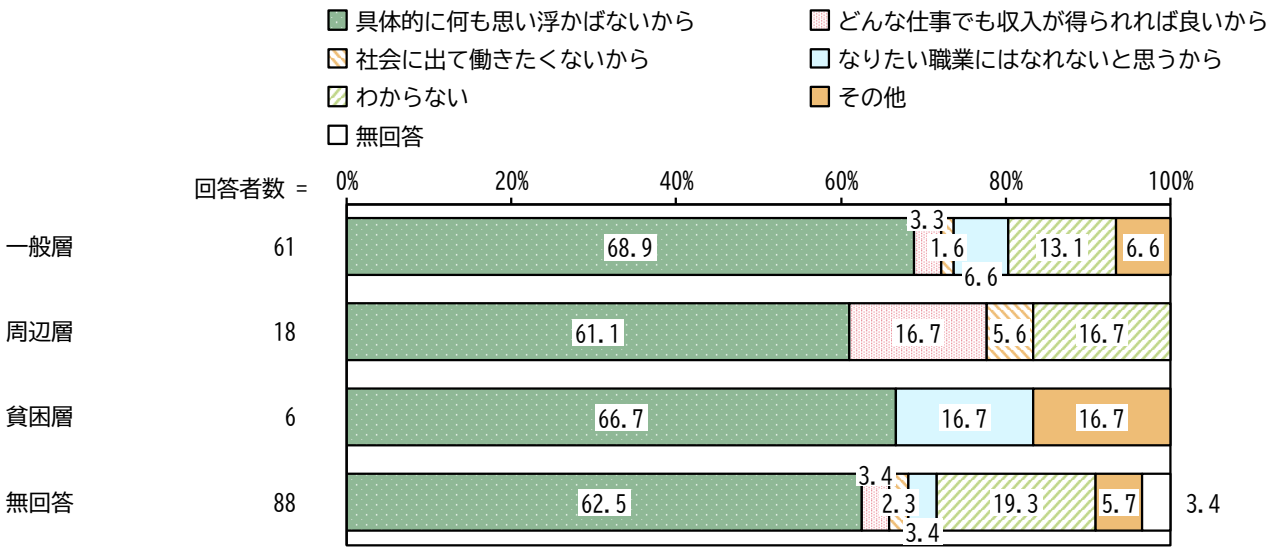
問７－２　なりたい職業がない理由は何ですか。（１つに○）

「具体的に何も思い浮かばないから」の割合が 64.7%と最も高くなっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

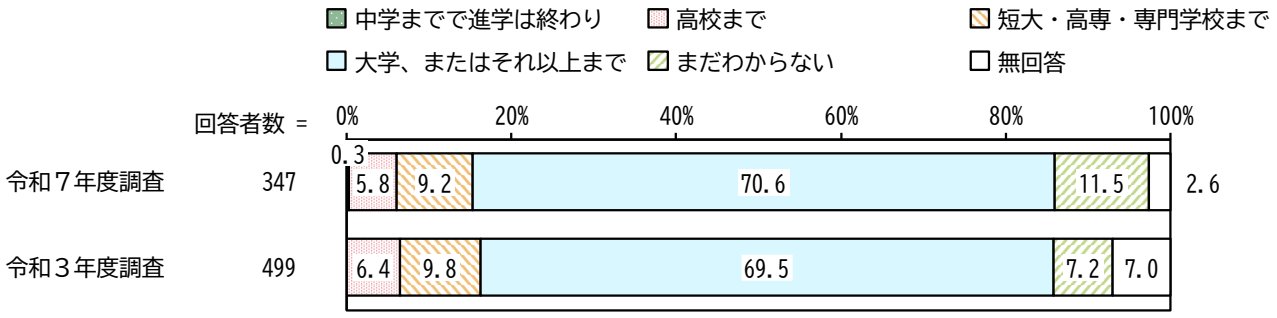
生活困難度別にみると、一般層で「具体的に何も思い浮かばないから」「なりたい職業にはなれないと思うから」の割合が高く、周辺層で「どんな仕事でも収入が得られれば良いから」の割合が高くなっています。



問８　あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。（１つに○）

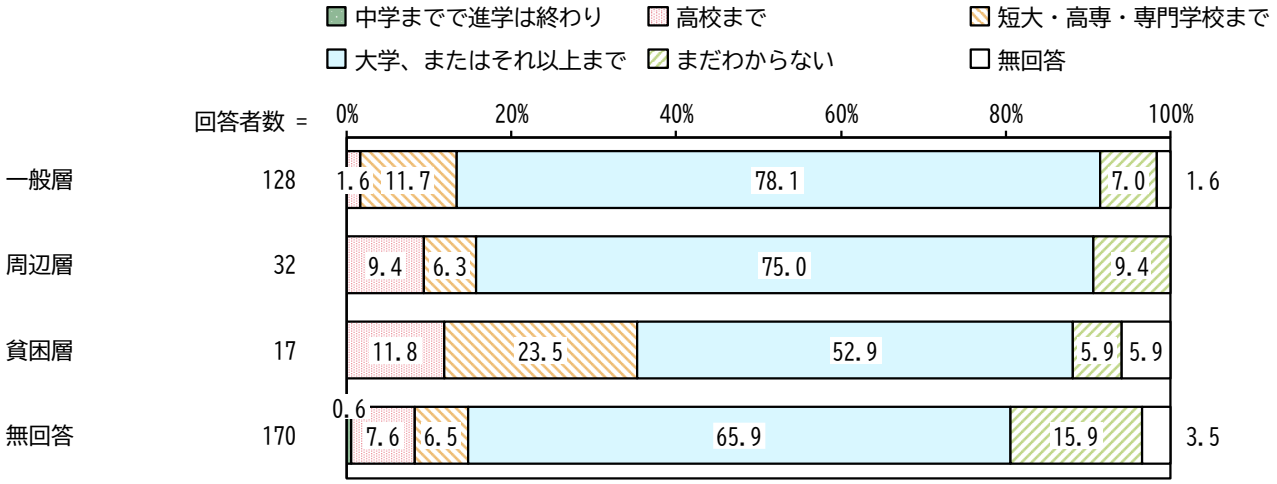
「大学、またはそれ以上まで」の割合が 70.6%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が 11.5%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「高校まで」「短大・高専・専門学校まで」、一般層で「大学、またはそれ以上まで」の割合が高くなっています。

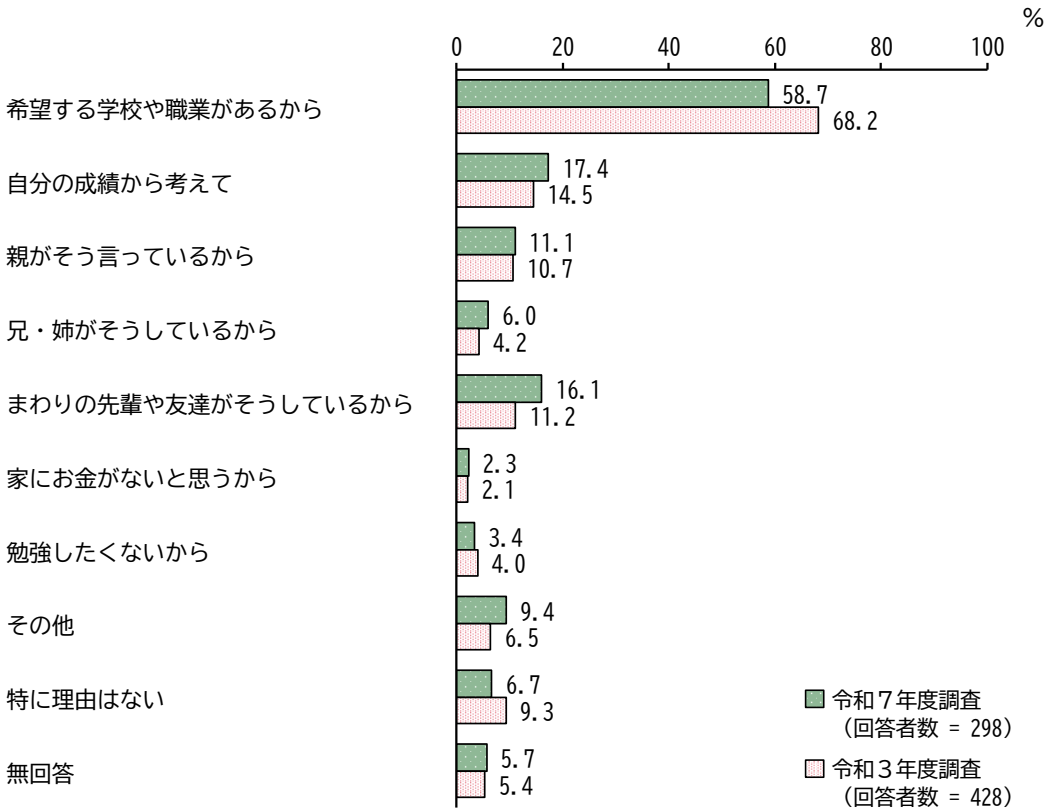


問８で「中学までで進学は終わり」～「大学、またはそれ以上まで」と答えた人にお聞きします。

問８－１　なぜそれを選んだのか、その理由を答えてください。（あてはまる番号すべてに○）

「希望する学校や職業があるから」の割合が 58.7%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」の割合が 17.4%、「まわりの先輩や友達がそうしているから」の割合が 16.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「希望する学校や職業があるから」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「希望する学校や職業があるから」「家にお金がないと思うから」「勉強したくないから」、一般層で「親がそう言っているから」の割合が高くなっています。

単位：%

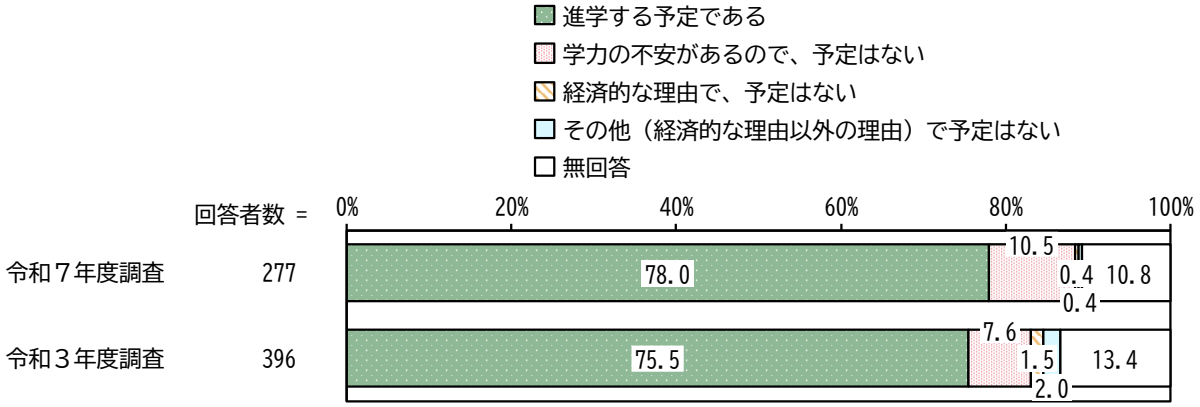
区分	回答者数（件）	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達がそうしているから	家にお金がないと思うから	勉強したくないから	その他	特に理由はない	無回答
全　体	298	58.7	17.4	11.1	6.0	16.1	2.3	3.4	9.4	6.7	5.7
一般層	117	59.0	15.4	16.2	4.3	17.9	0.0	1.7	11.1	6.0	6.8
周辺層	29	48.3	17.2	6.9	10.3	10.3	0.0	3.4	13.8	17.2	0.0
貧困層	15	66.7	20.0	6.7	6.7	20.0	20.0	13.3	6.7	6.7	13.3
無回答	137	59.9	19.0	8.0	6.6	15.3	2.9	3.6	7.3	5.1	5.1

問８で今後の進学を希望する方（「短大・高専・専門学校まで」または「大学、またはそれ以上まで」と答えた人）にお聞きします。

問８－２　希望する学校に進学する予定はありますか。今の時点の見込みでかまいませんので、最もあてはまるものをお選びください。（１つに○）

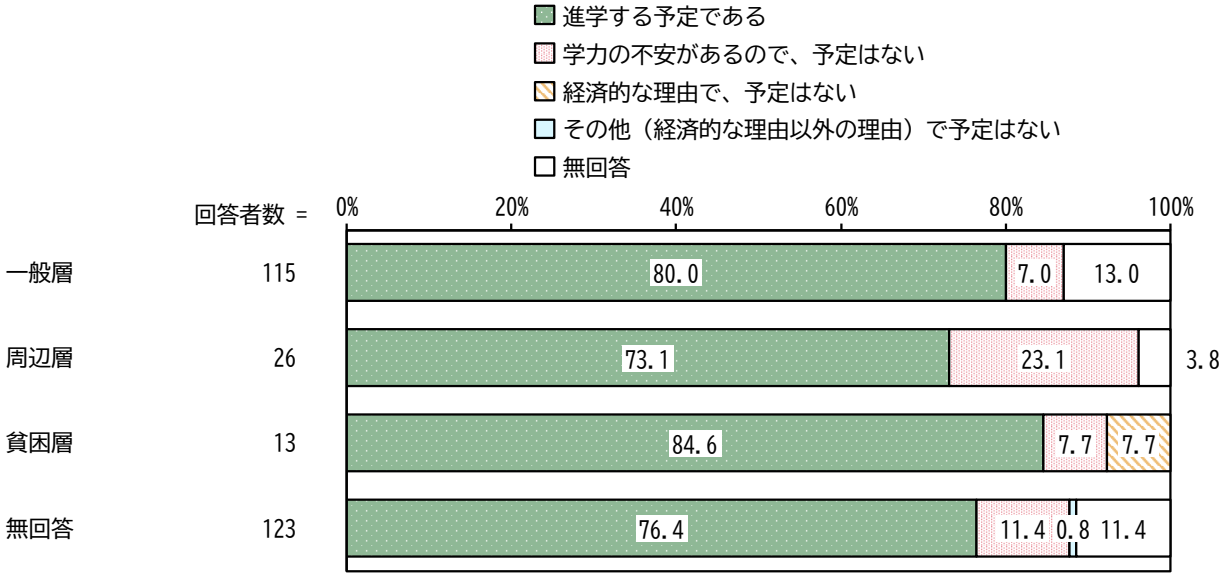
「進学する予定である」の割合が 78.0%、「学力の不安があるので、予定はない」の割合が 10.5%、「経済的な理由で、予定はない」の割合が 0.4%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

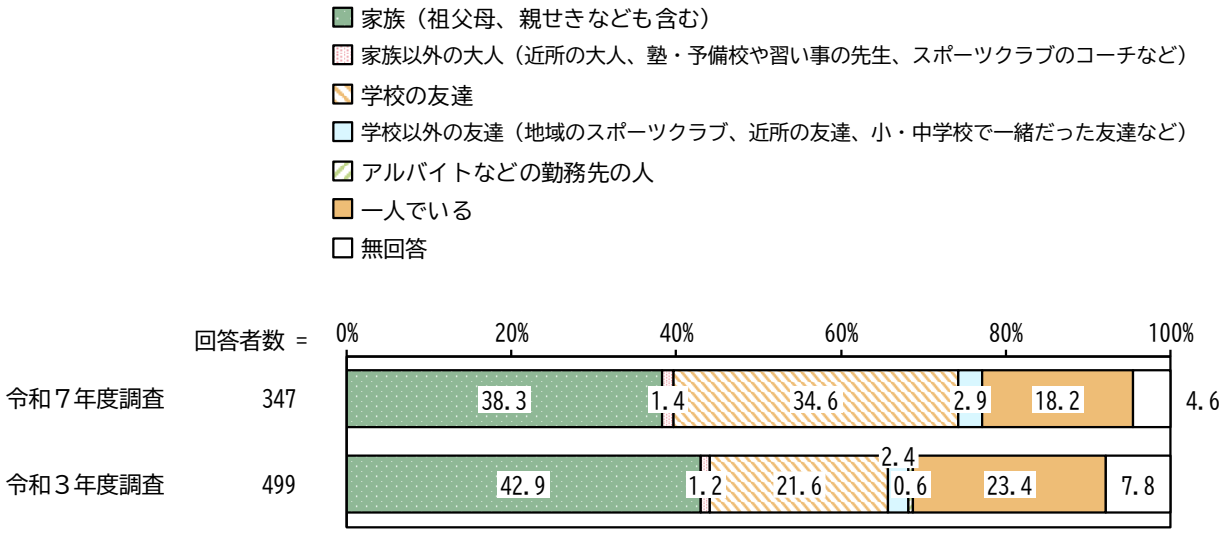
生活困難度別にみると、貧困層で「進学する予定である」「経済的な理由で、予定はない」、周辺層で「学力の不安があるので、予定はない」の割合が高くなっています。



問９　あなたは、平日の自由時間（学校の放課後や仕事などがない時）はだれと過ごしますか。一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。（１つに○）

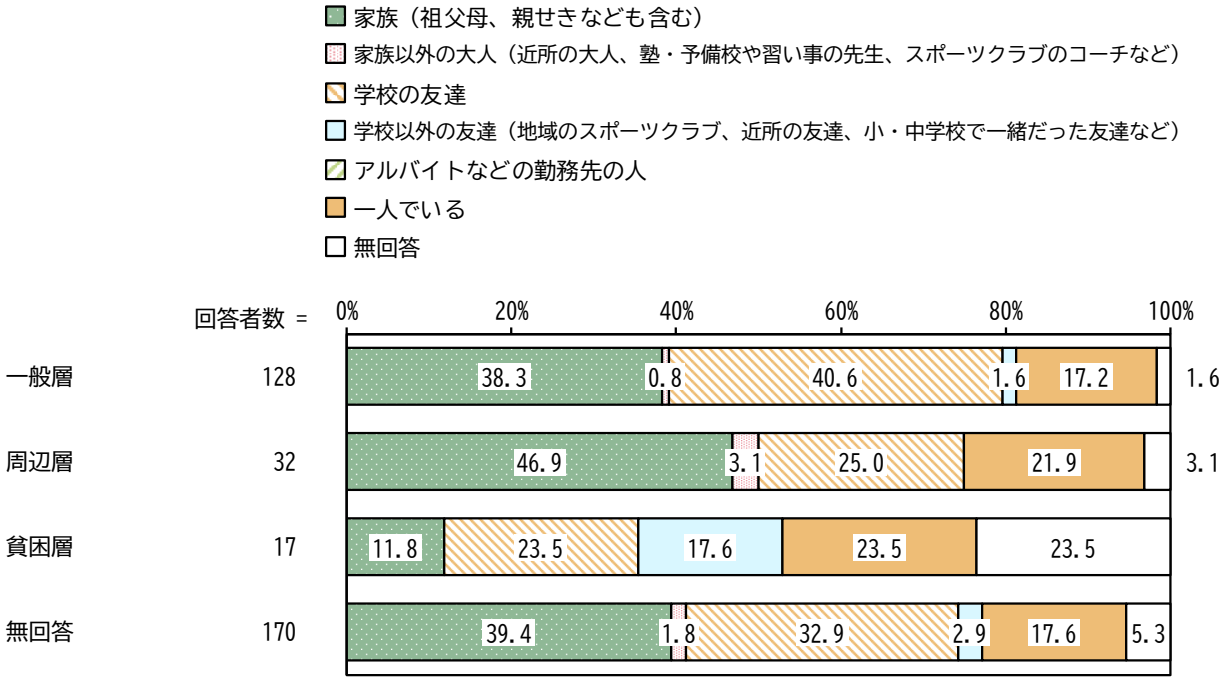
「家族（祖父母、親せきなども含む）」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「学校の友達」の割合が 34.6%、「一人でいる」の割合が 18.2%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「学校の友達」の割合が増加しています。一方、「一人でいる」の割合が減少しています。



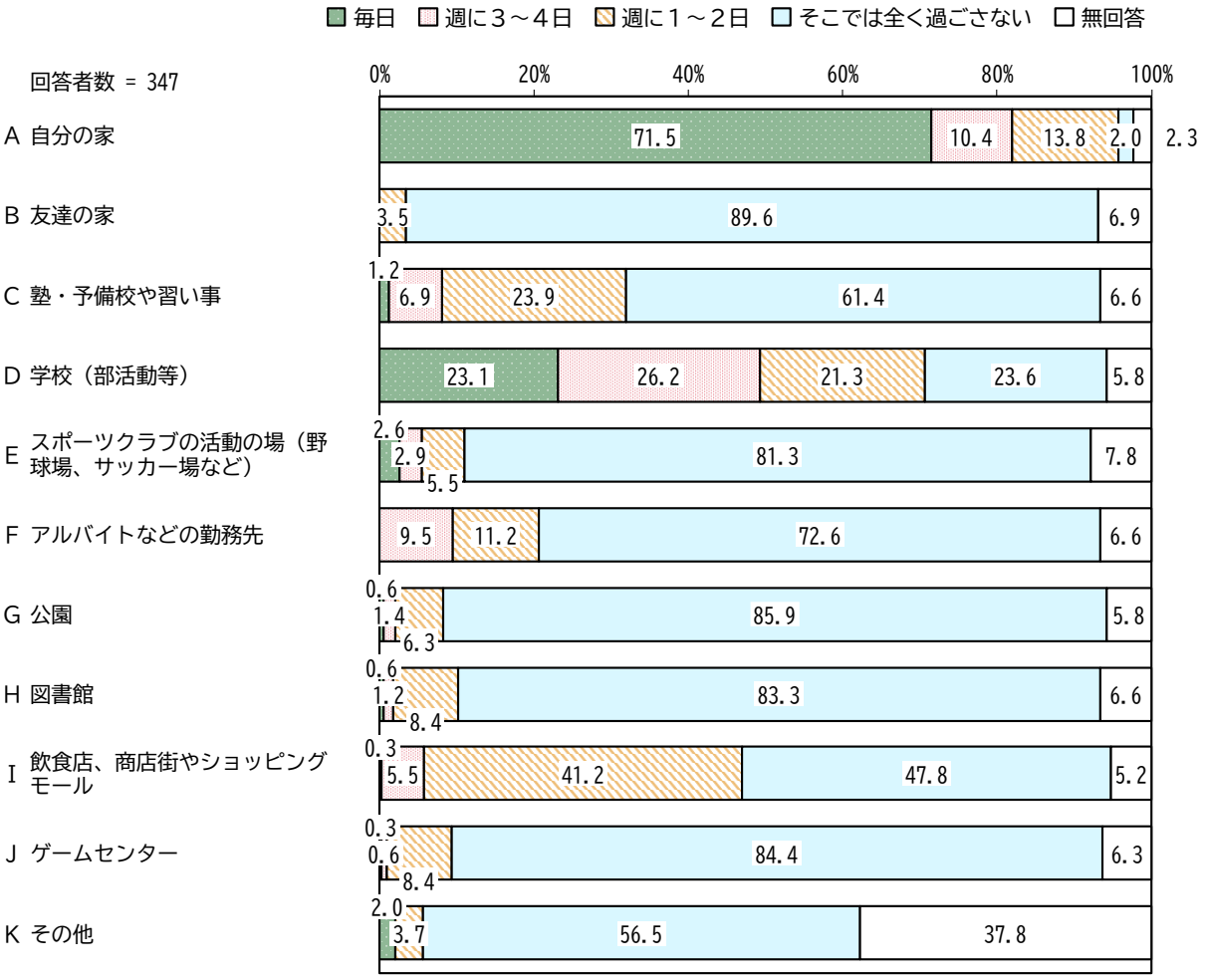
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「学校以外の友達（地域のスポーツクラブ、近所の友達、小・中学校で一緒だった友達など）」の割合が高く、「家族（祖父母、親せきなども含む）」「学校の友達」の割合が低くなっています。



問 10　あなたは、平日の自由時間（学校の放課後や仕事がない時）は、どこで過ごしますか。１週間のうち、そこで過ごすおおよその日数に○をつけてください。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

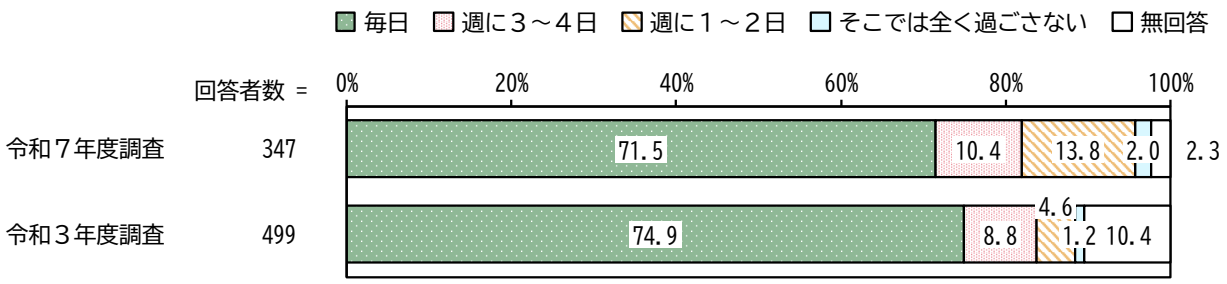
『A　自分の家』で「毎日」が、『D　学校（部活動等）』で「週に３～４日」が、『Ｉ　飲食店、商店街やショッピングモール』で「週に１～２日」が、『B　友達の家』で「そこでは全く過ごさない」が高くなっています。



A　自分の家

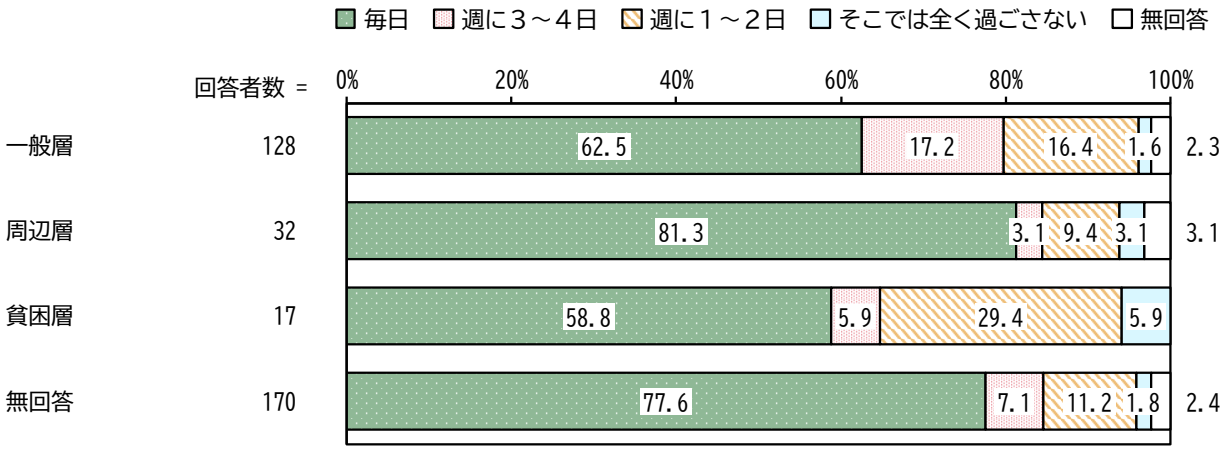
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「週に１～２日」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

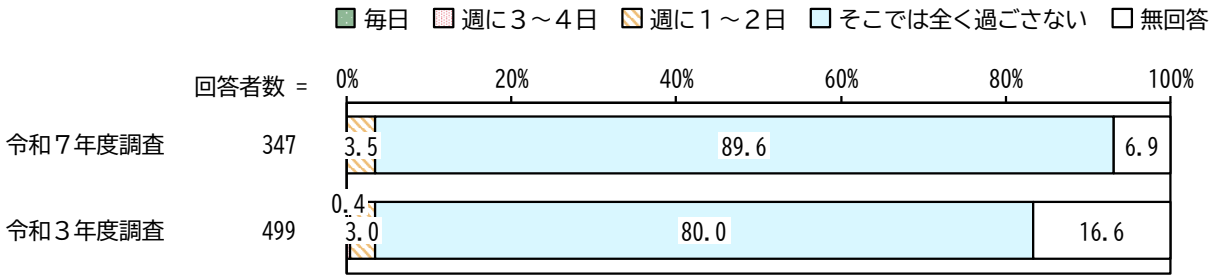
生活困難度別にみると、貧困層で「週に１～２日」の割合が高く、「毎日」の割合が低くなっています。



B　友達の家

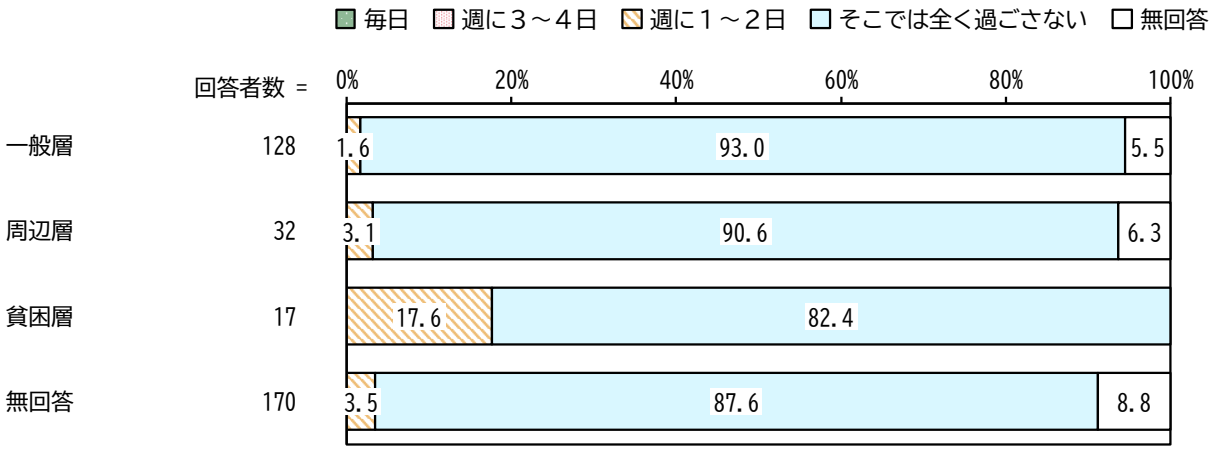
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そこでは全く過ごさない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

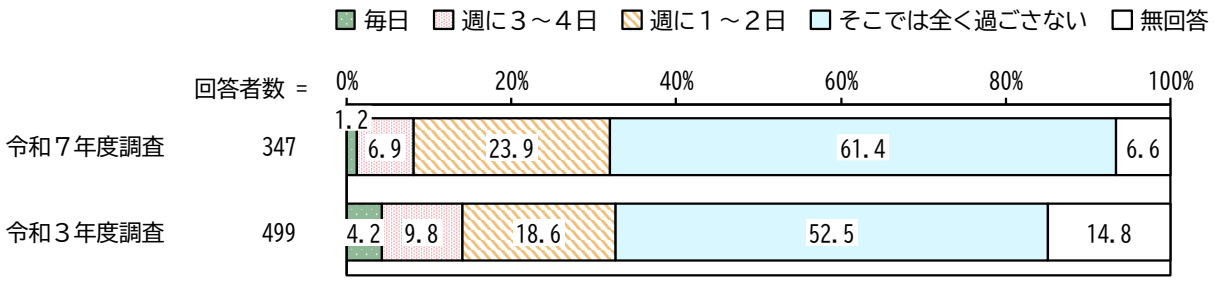
生活困難度別にみると、貧困層で「週に１～２日」の割合が高くなっています。



C　塾・予備校や習い事

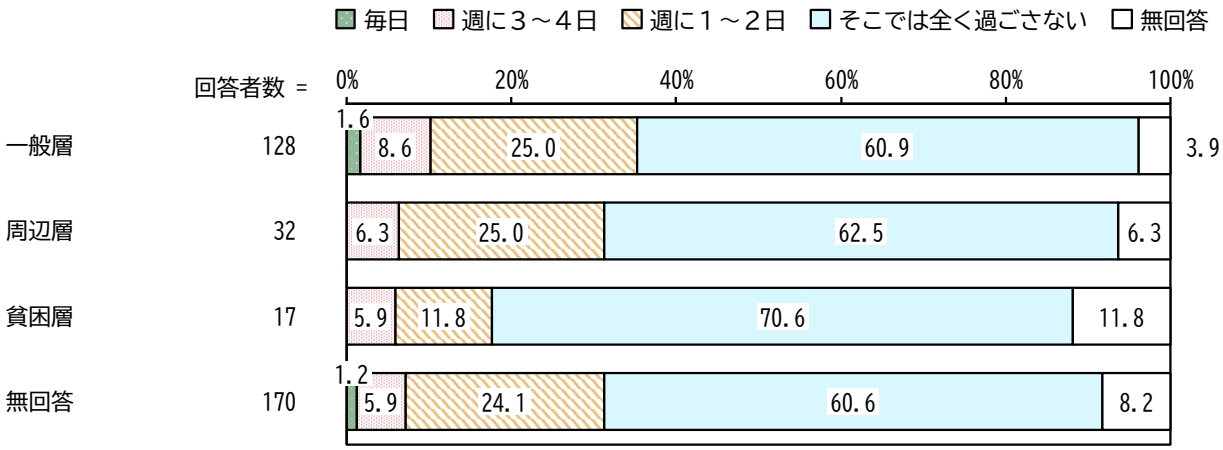
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「週に１～２日」「そこでは全く過ごさない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

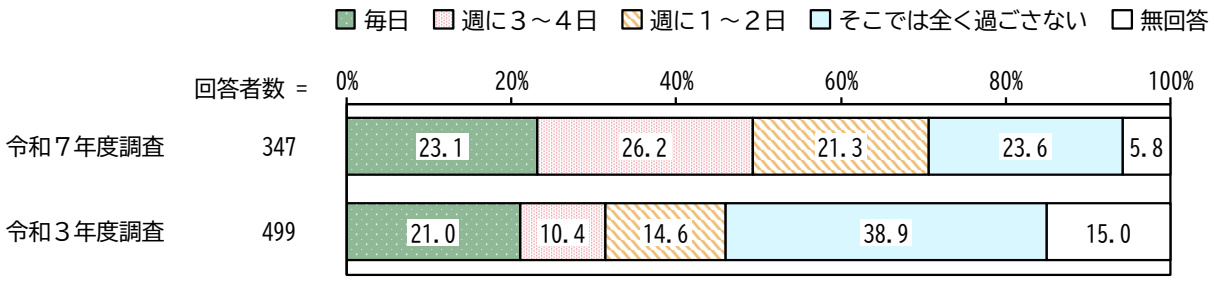
生活困難度別にみると、貧困層で「そこでは全く過ごさない」の割合が高く、「週に１～２日」の割合が低くなっています。



D　学校（部活動等）

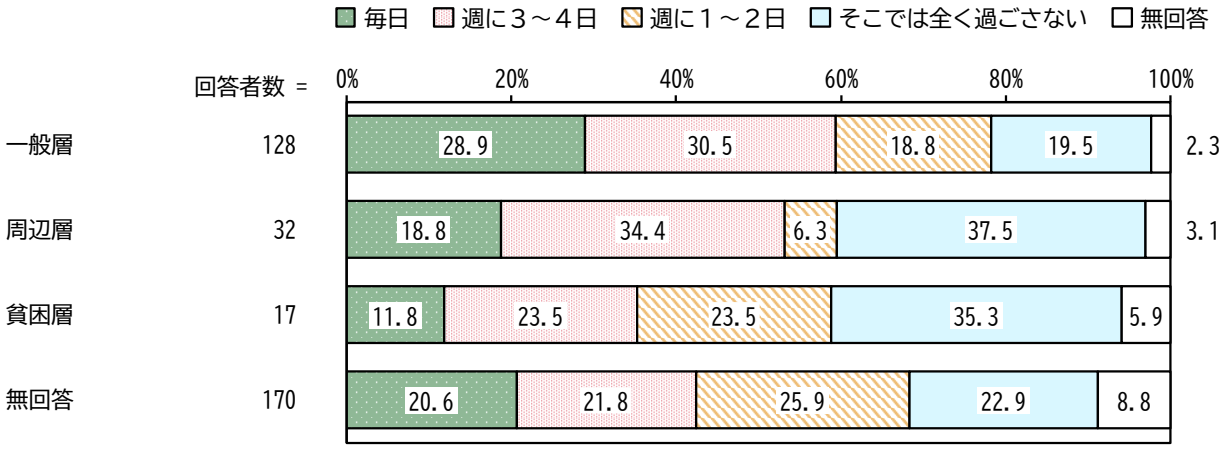
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「週に３～４日」「週に１～２日」の割合が増加しています。一方、「そこでは全く過ごさない」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

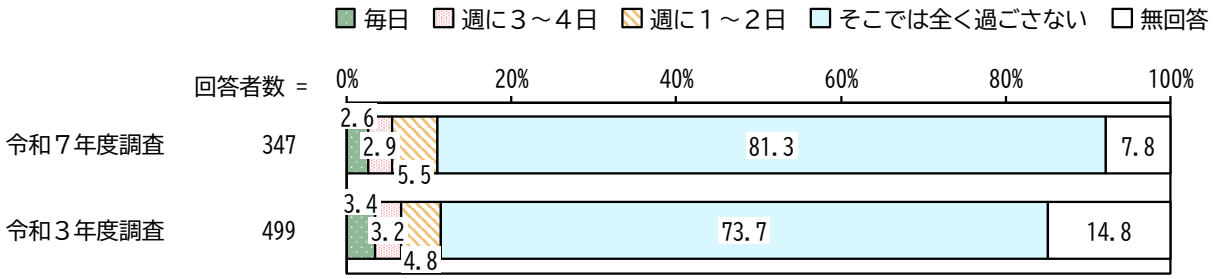
生活困難度別にみると、周辺層、貧困層で「そこでは全く過ごさない」の割合が高く、貧困層で「毎日」、周辺層で「週に１～２日」の割合が低くなっています。



E　スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）

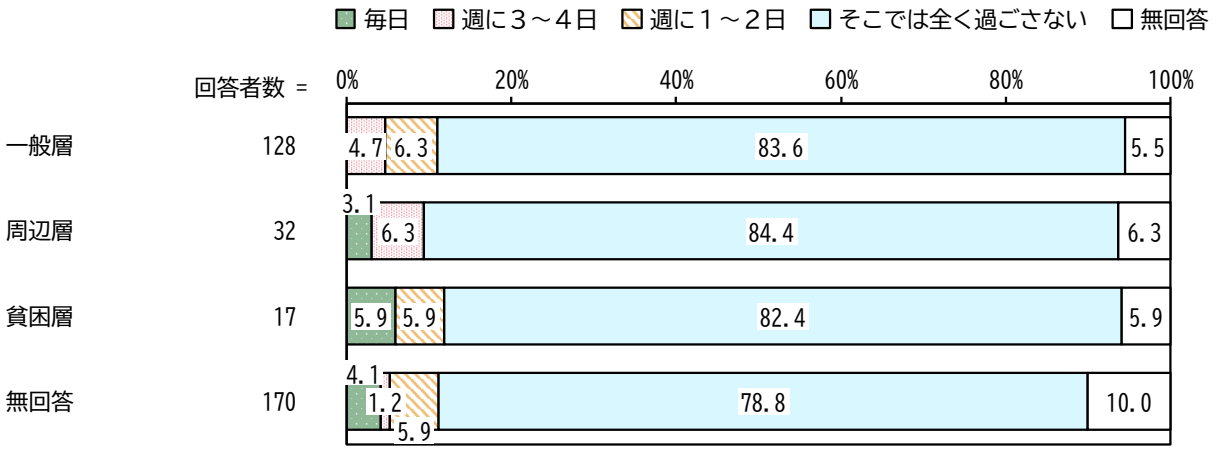
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そこでは全く過ごさない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

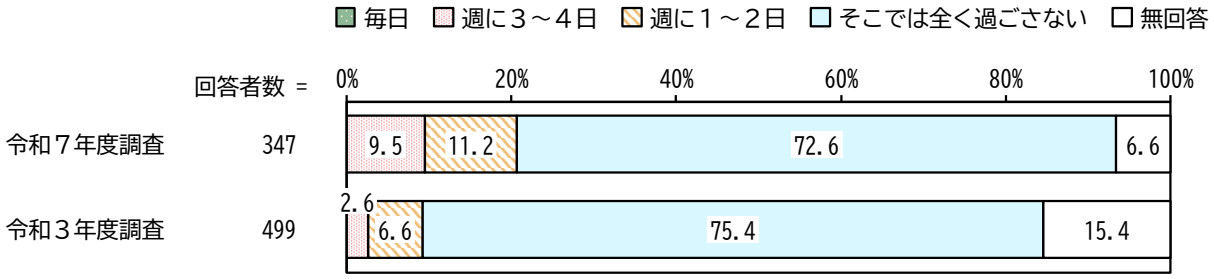
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



F　アルバイトなどの勤務先

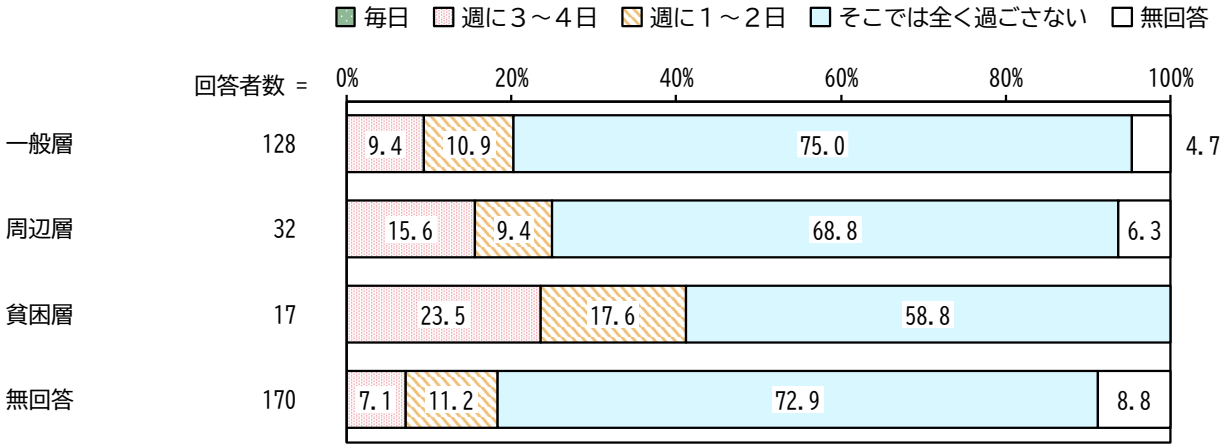
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「週に３～４日」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

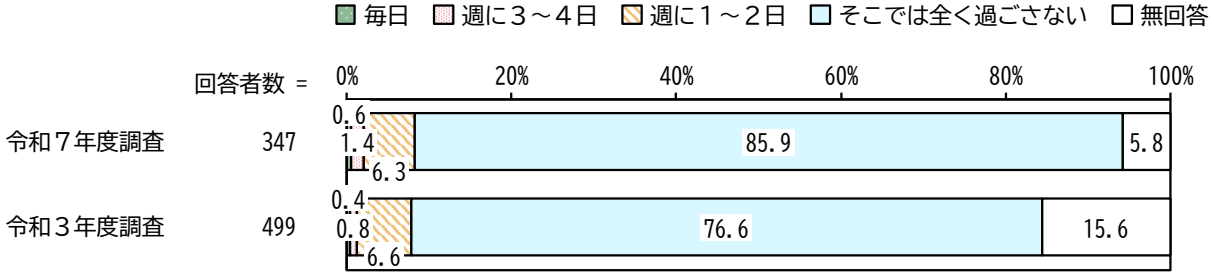
生活困難度別にみると、貧困層で「週に３～４日」の割合が高く、「そこでは全く過ごさない」の割合が低くなっています。



G　公園

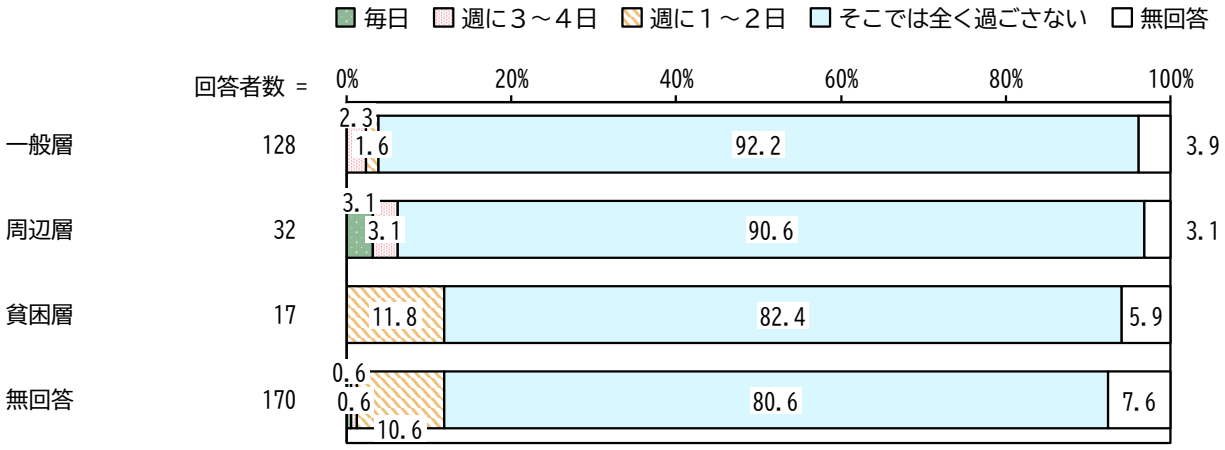
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そこでは全く過ごさない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

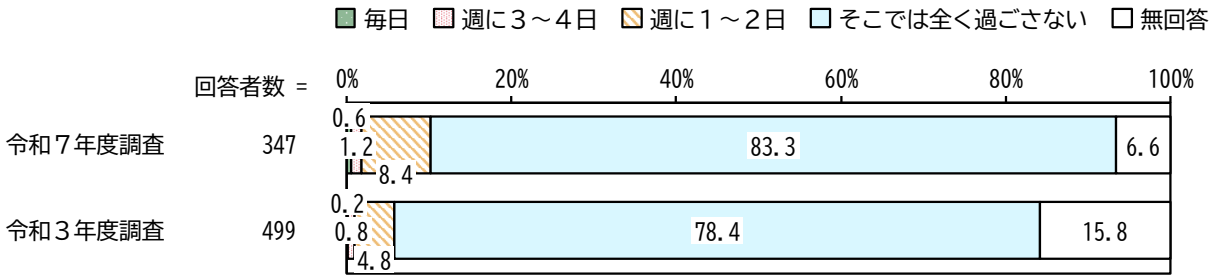
生活困難度別にみると、貧困層で「週に１～２日」、一般層で「そこでは全く過ごさない」の割合が高くなっています。



H　図書館

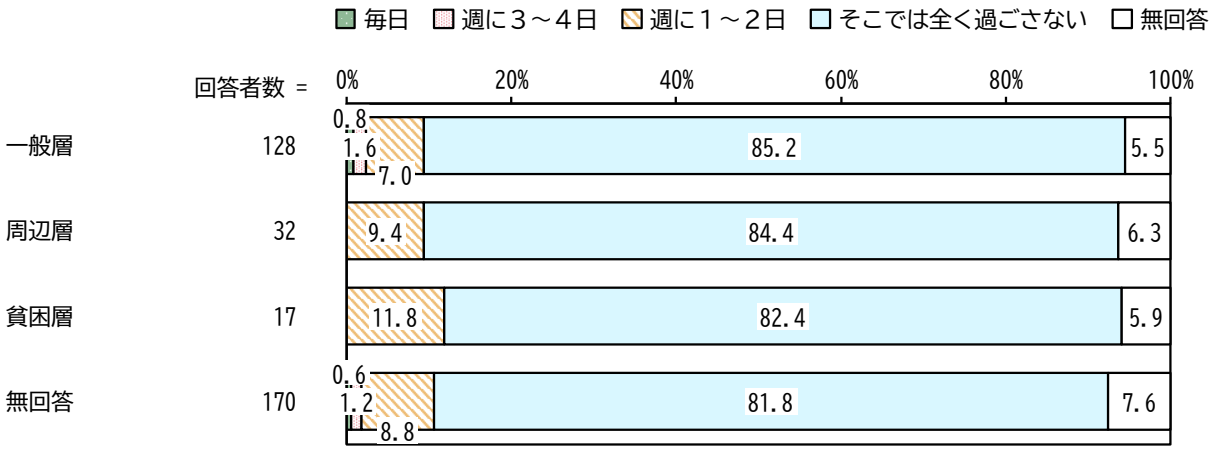
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

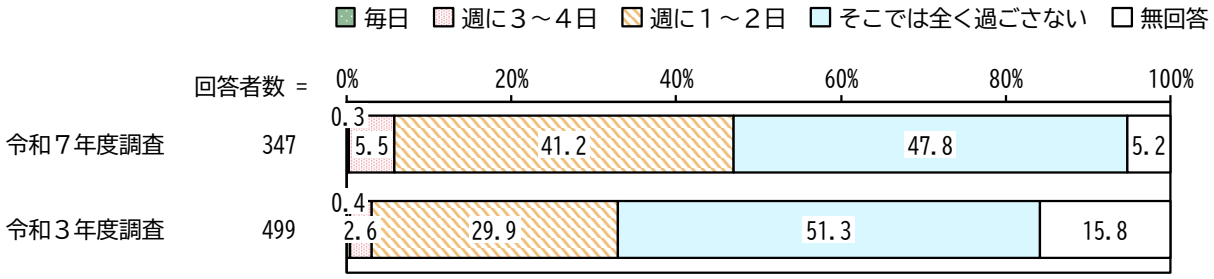
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



Ⅰ　飲食店、商店街やショッピングモール

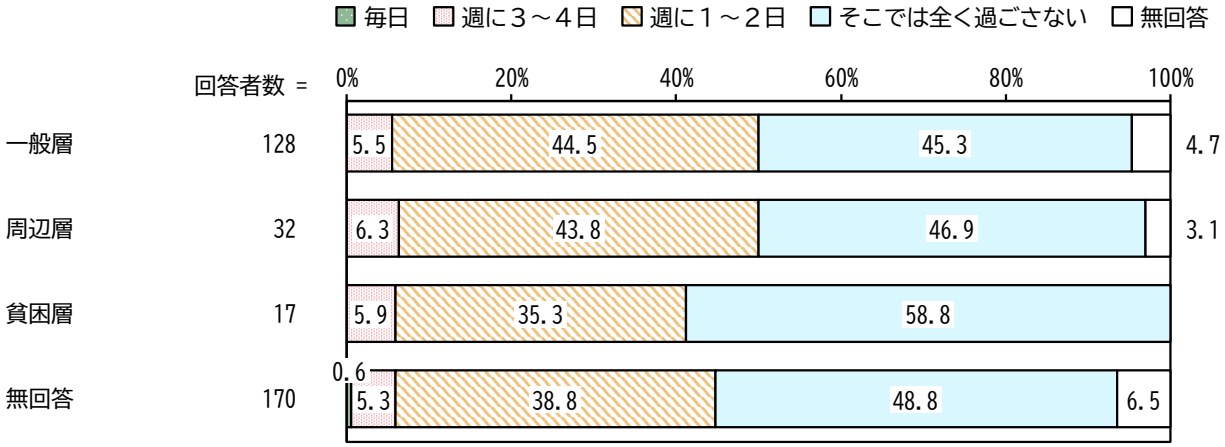
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「週に１～２日」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

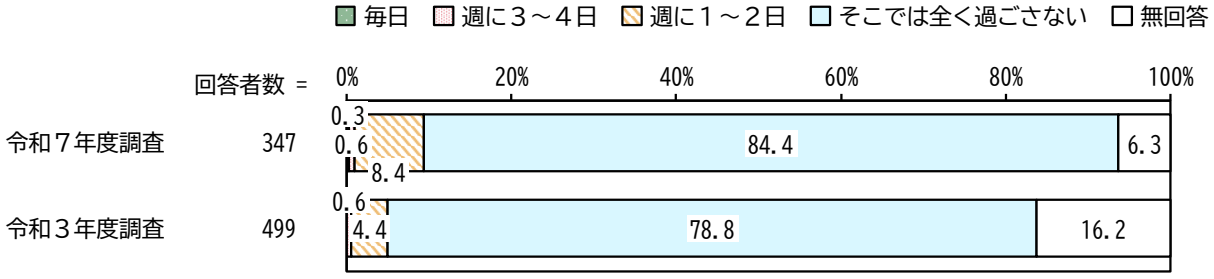
生活困難度別にみると、貧困層で「そこでは全く過ごさない」の割合が高くなっています。



Ｊ　ゲームセンター

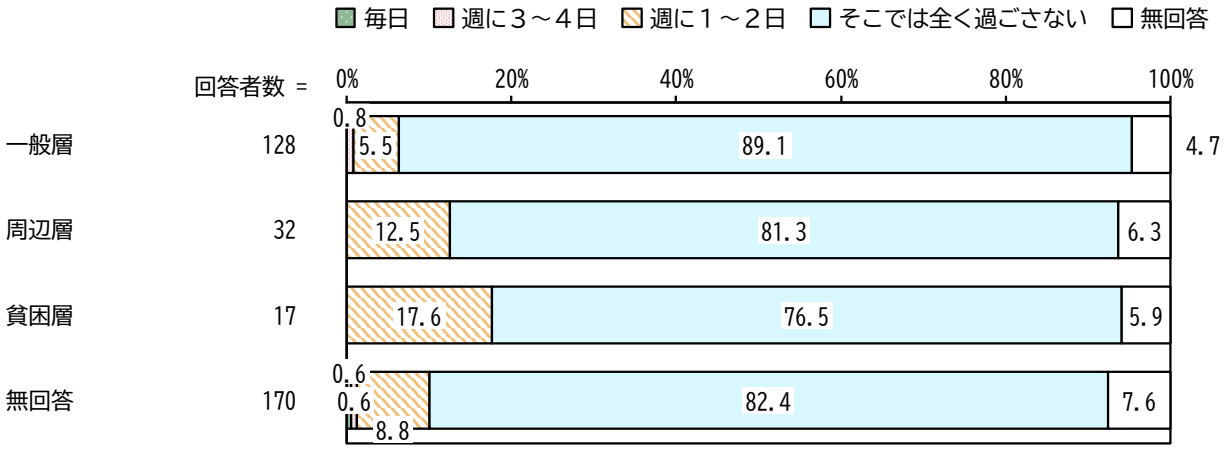
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そこでは全く過ごさない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

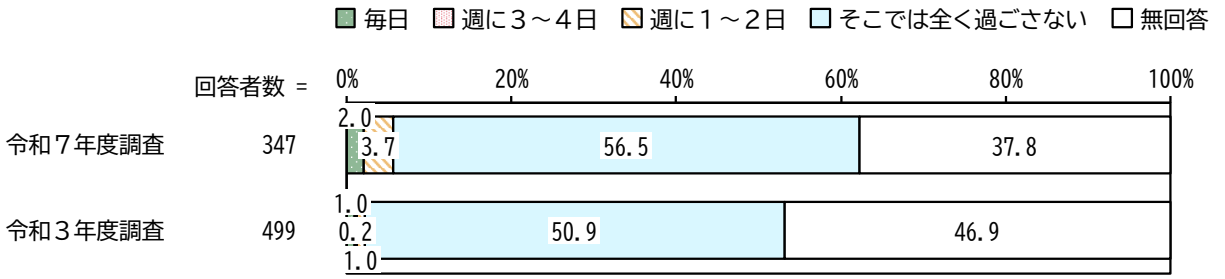
生活困難度別にみると、貧困層で「週に１～２日」の割合が高く、「そこでは全く過ごさない」の割合が低くなっています。



K　その他

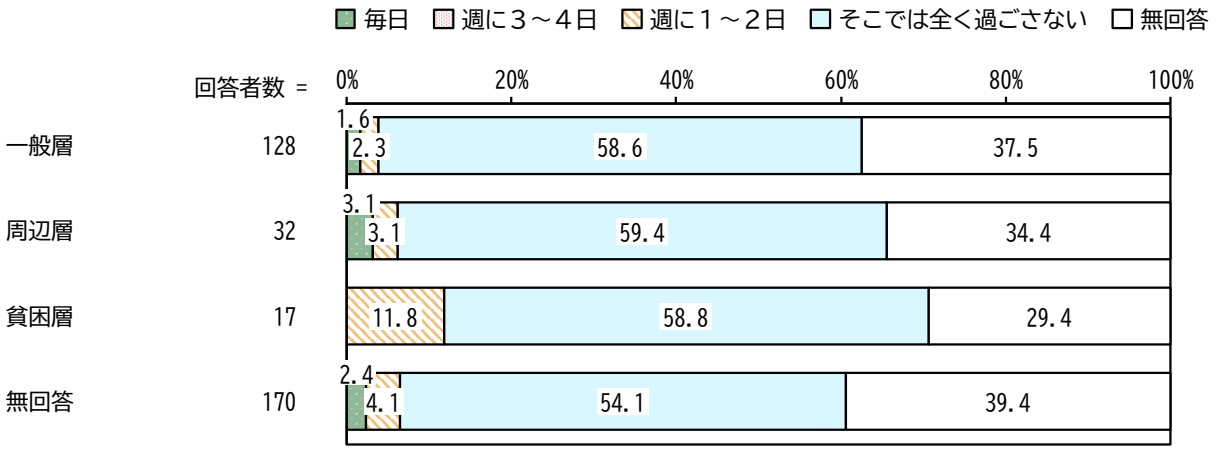
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「そこでは全く過ごさない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

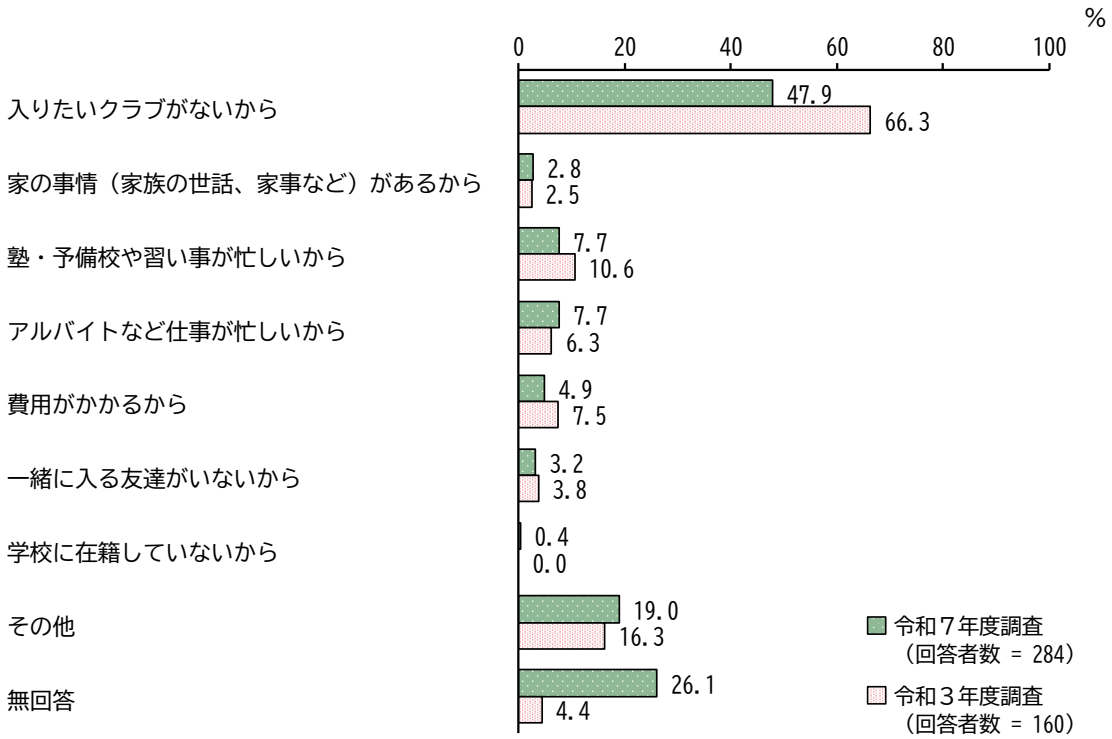
生活困難度別にみると、貧困層で「週に１～２日」の割合が高くなっています。



問 10 で「D　学校（部活動等）」や「E　スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）」で「そこでは全く過ごさない」に○をつけた人にお聞きします。

問 10－１　参加しない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「入りたいクラブがないから」の割合が 47.9%と最も高くなっています。
令和３年度調査と比較すると、「入りたいクラブがないから」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

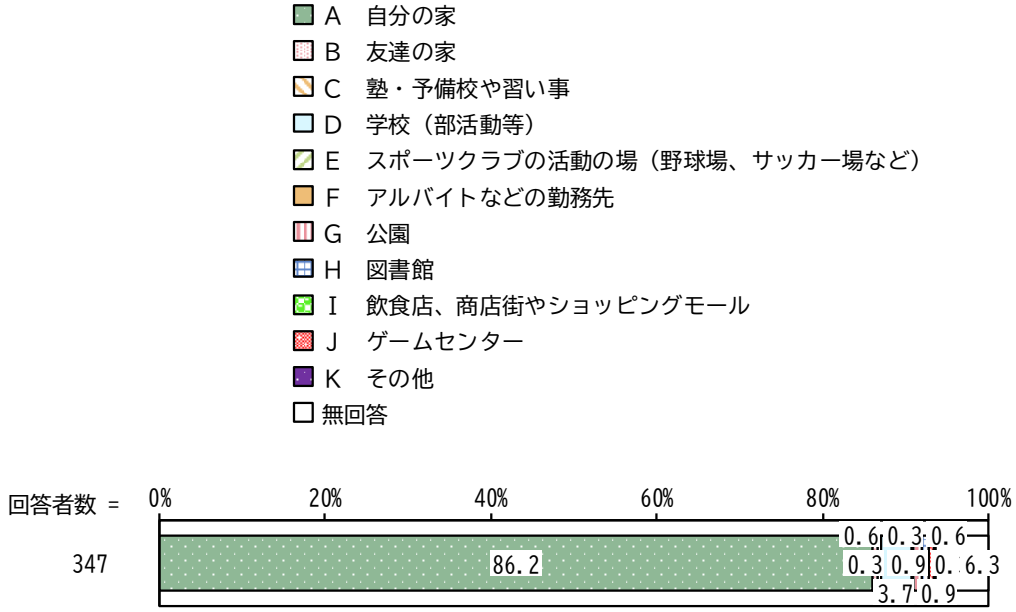
生活困難度別にみると、一般層で「入りたいクラブがないから」、貧困層で「アルバイトなど仕事が忙しいから」、周辺層で「費用がかかるから」「一緒に入る友達がいないから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	入りたいクラブがないから	家の事情（家族の世話、家事など）があるから	塾・予備校や習い事が忙しいから	アルバイトなど仕事が忙しいから	費用がかかるから	一緒に入る友達がいないから	学校に在籍していないから	その他	無回答
全　体	284	47.9	2.8	7.7	7.7	4.9	3.2	0.4	19.0	26.1
一般層	108	58.3	2.8	9.3	7.4	3.7	2.8	0.9	14.8	25.0
周辺層	27	40.7	3.7	3.7	7.4	11.1	11.1	0.0	33.3	25.9
貧困層	14	35.7	7.1	0.0	14.3	7.1	0.0	0.0	35.7	42.9
無回答	135	42.2	2.2	8.1	7.4	4.4	2.2	0.0	17.8	25.2

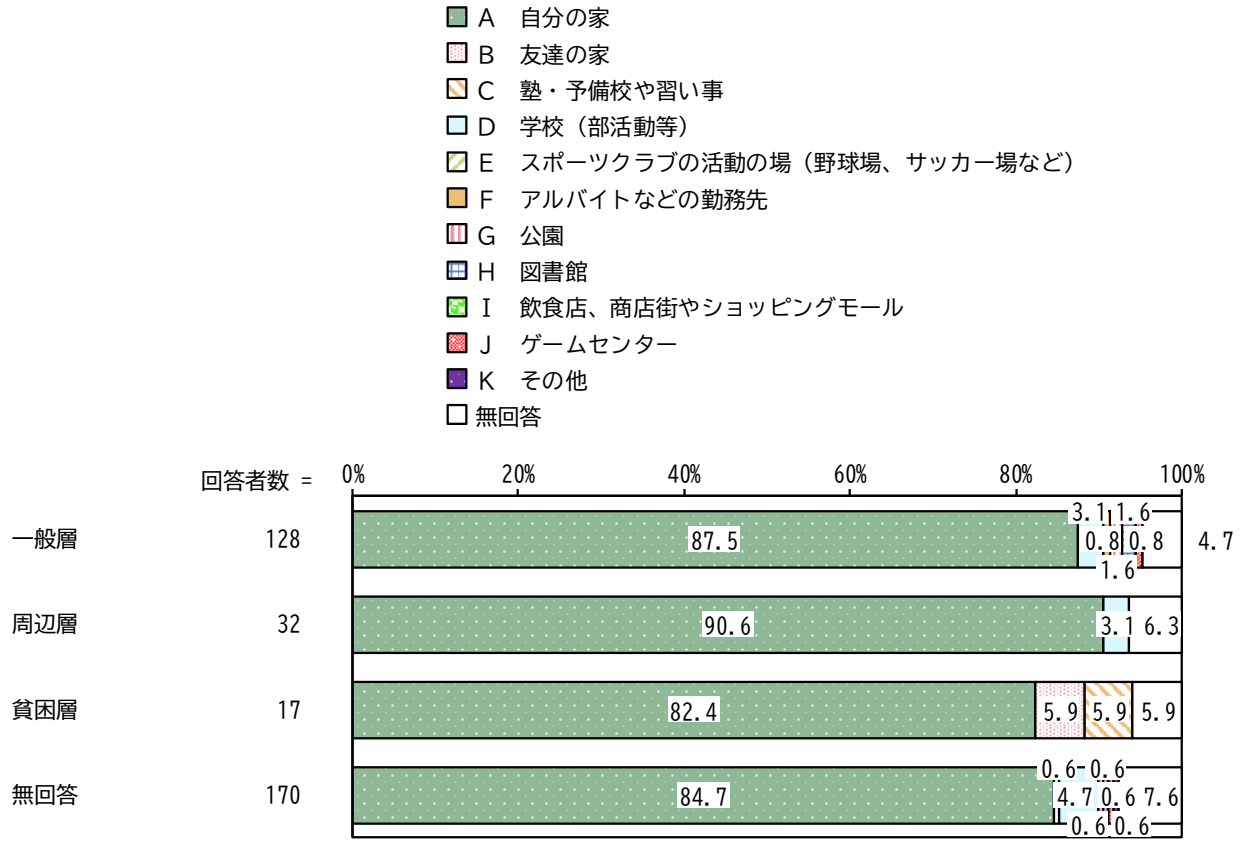
問 11　問 10 のＡ～Ｋの場所の中で、あなたが一番ほっとできる居場所はどこですか。１つだけ選んで、その記号をカッコの中に書いてください。Ａ～Ｋにほっとできる居場所がない場合は「ほっとできる居場所はＡ～Ｋ以外」、ほっとできる居場所がない場合は、「ほっとできる居場所はない」に○をつけてください。

「Ａ　自分の家」の割合が 86.2%と最も高くなっています。



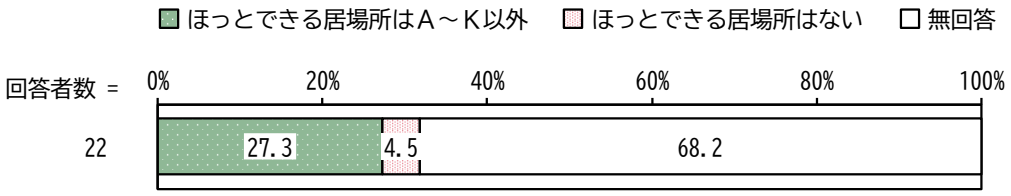
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「Ｂ　友達の家」「Ｃ　塾・予備校や習い事」の割合が高くなっています。



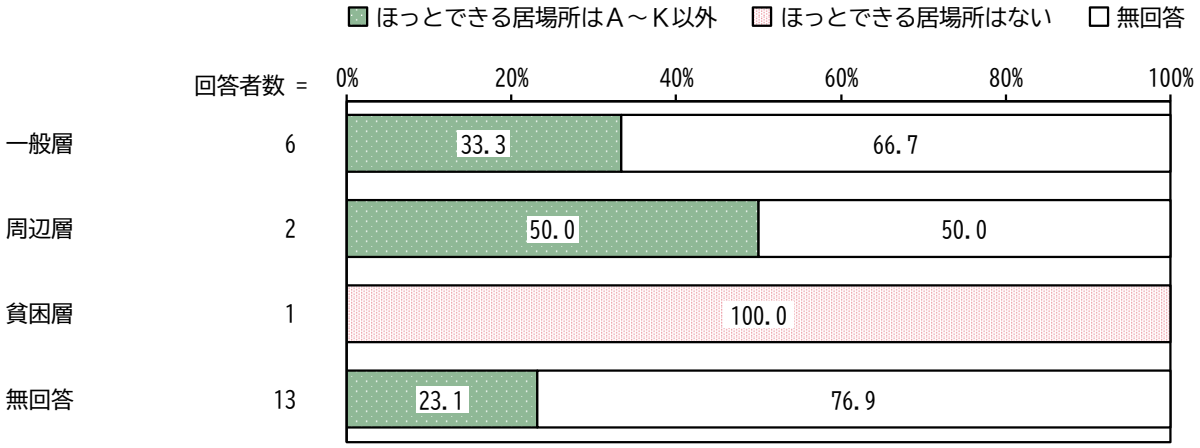
Ａ～Ｋの中からどれも選べない場合（どちらかに○）

「ほっとできる居場所はＡ～Ｋ以外」の割合が 27.3%、「ほっとできる居場所はない」の割合が 4.5%となっています。



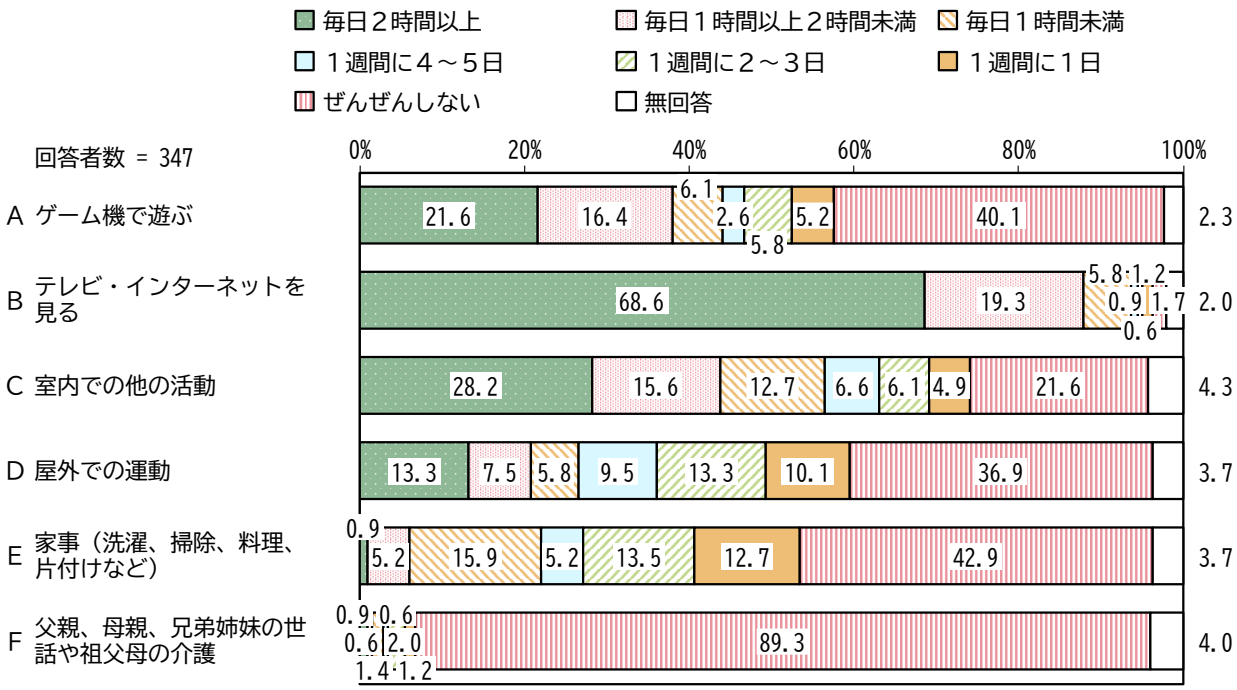
【生活困難度別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



問 12　あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

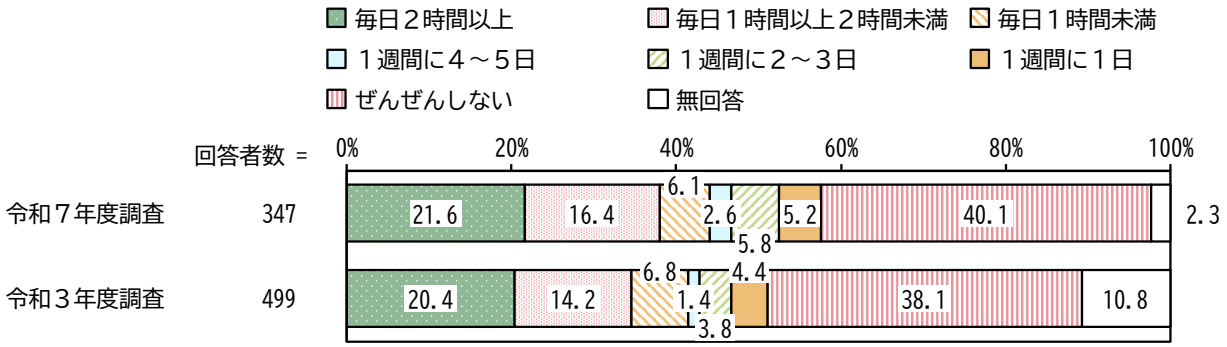
『B　テレビ・インターネットを見る』で「毎日２時間以上」「毎日１時間以上２時間未満」が、『E　家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）』で「毎日１時間未満」「１週間に２～３日」「１週間に１日」が、『D　屋外での運動』で「１週間に４～５日」が、『F　父親、母親、兄弟姉妹の世話や祖父母の介護』で「ぜんぜんしない」が高くなっています。



A　ゲーム機で遊ぶ

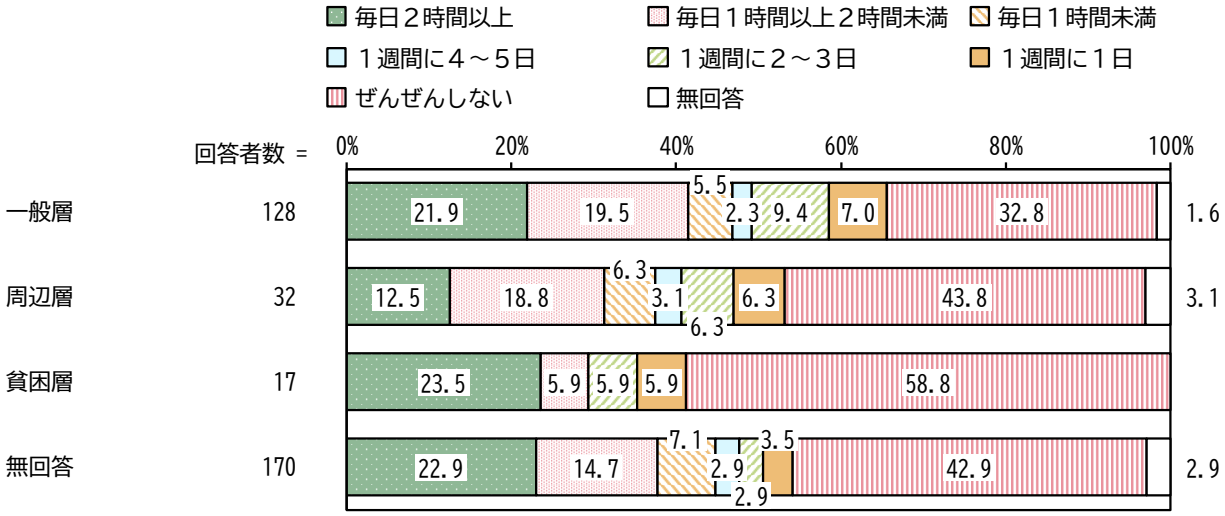
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

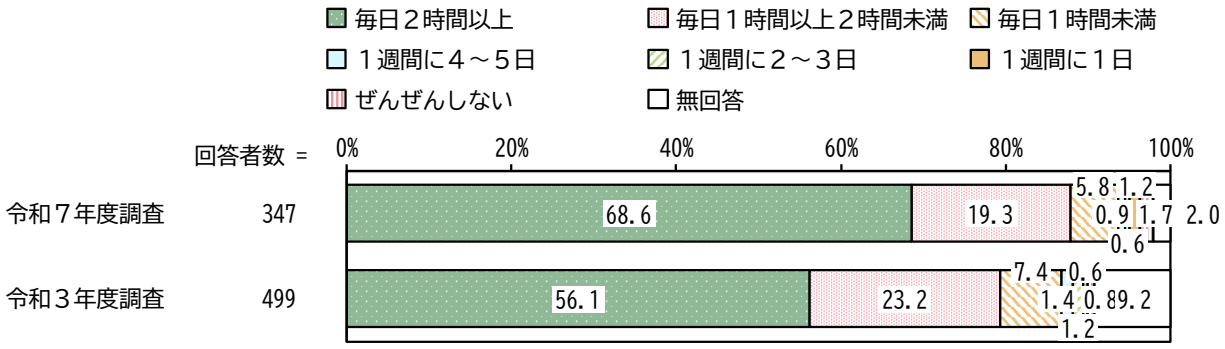
生活困難度別にみると、貧困層で「ぜんぜんしない」の割合が高くなっています。



B　テレビ・インターネットを見る

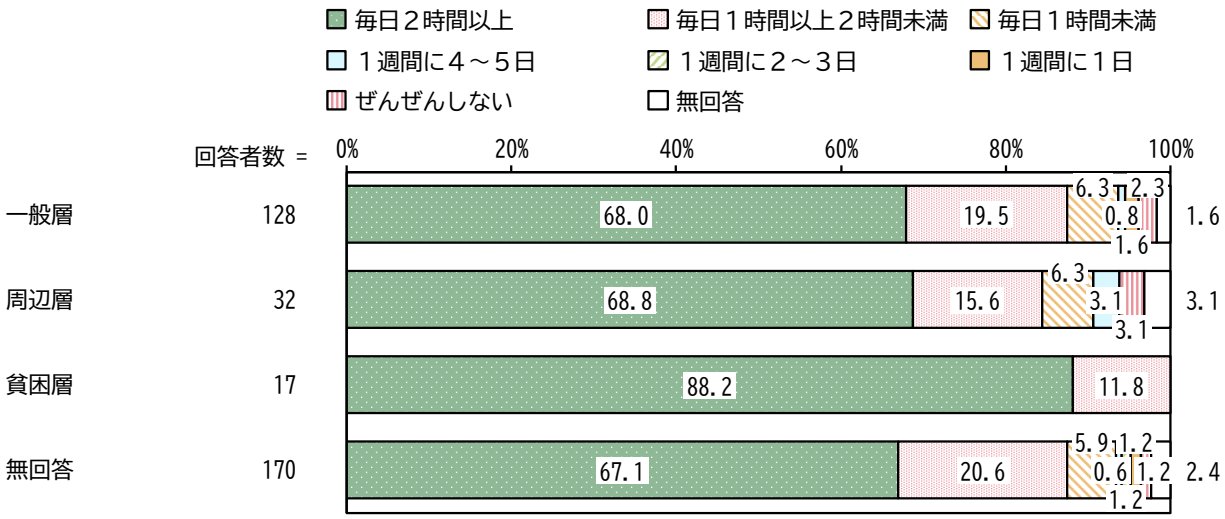
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「毎日２時間以上」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

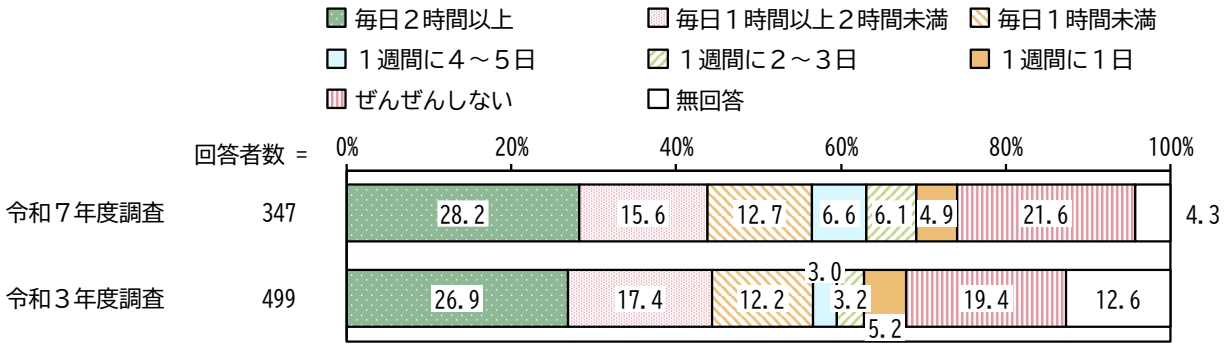
生活困難度別にみると、貧困層で“１時間以上”の割合が高くなっています。



C　室内での他の活動

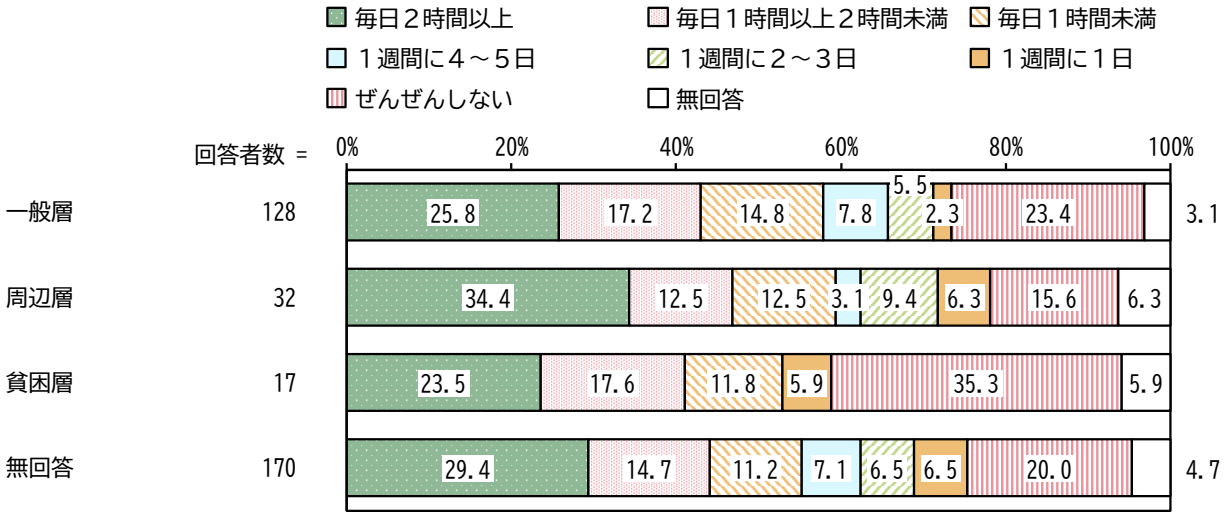
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

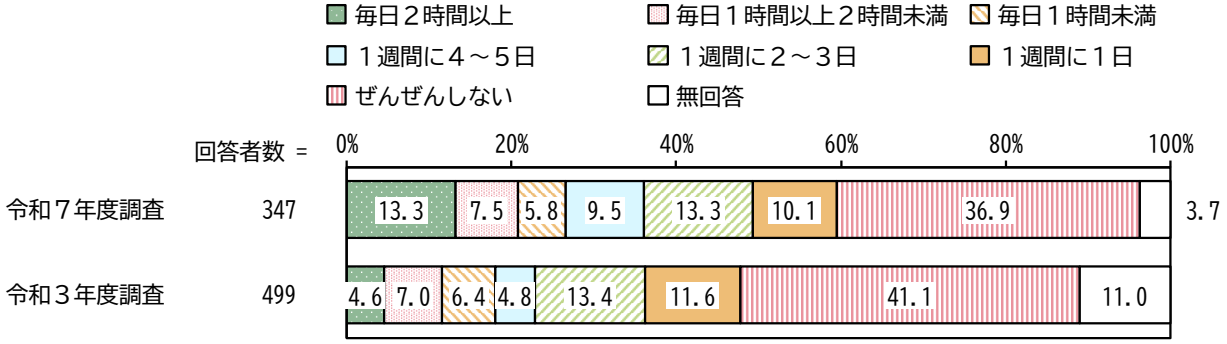
生活困難度別にみると、貧困層で「ぜんぜんしない」の割合が高くなっています。



D　屋外での運動

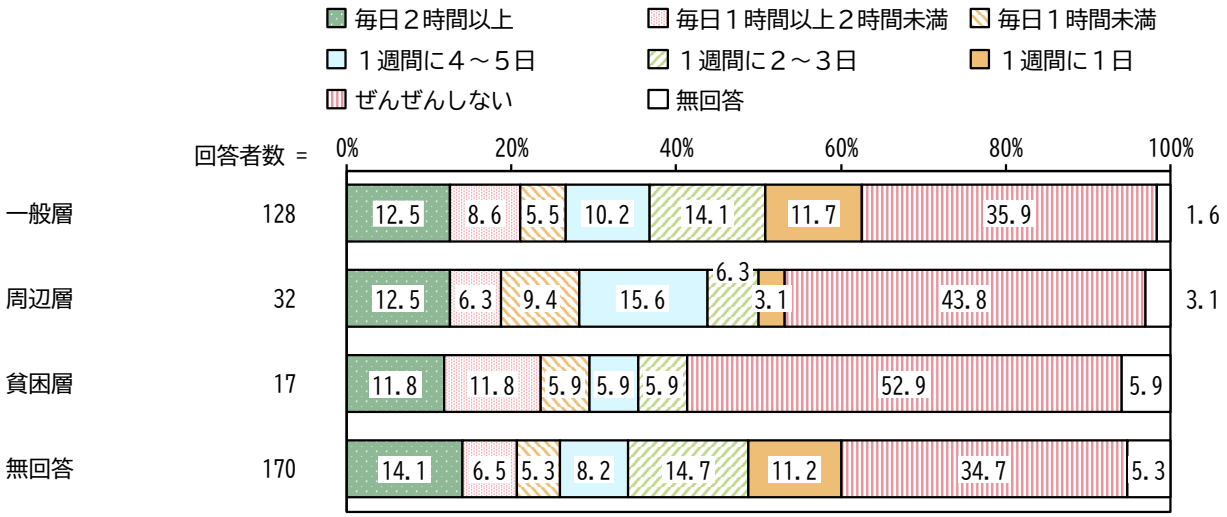
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「毎日２時間以上」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

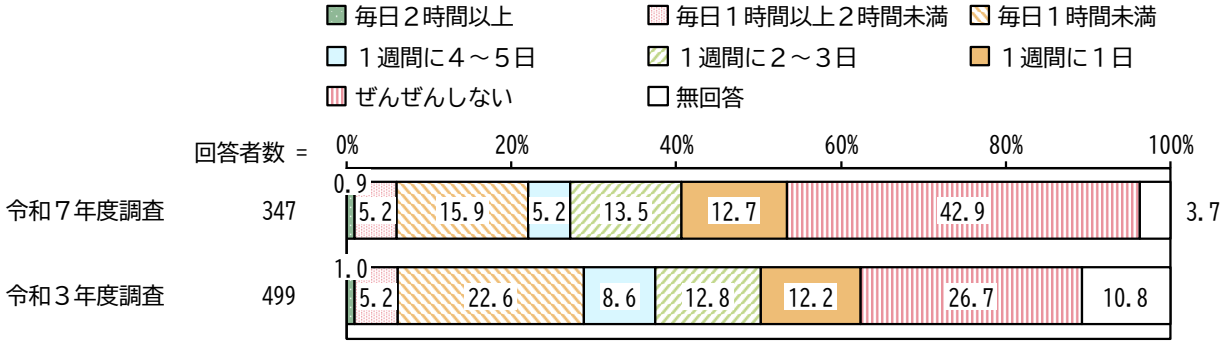
生活困難度別にみると、貧困層で「ぜんぜんしない」の割合が高くなっています。



E　家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）

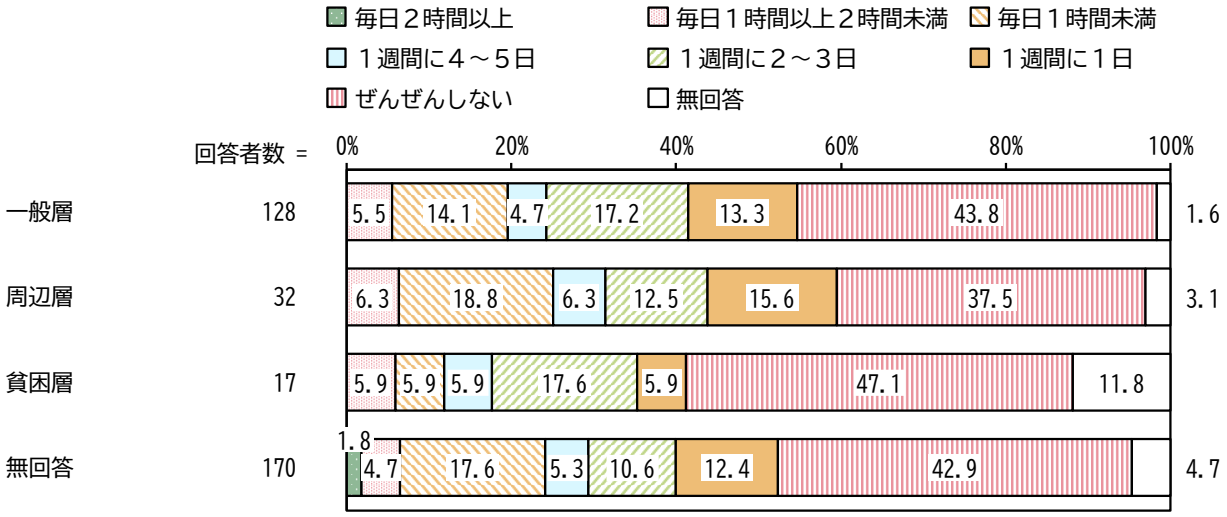
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ぜんぜんしない」の割合が増加しています。一方、「毎日１時間未満」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

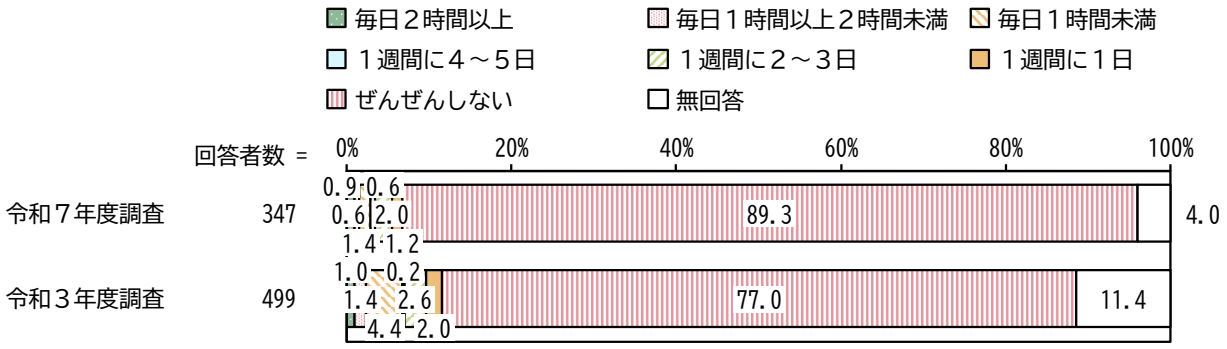
生活困難度別にみると、周辺層で「ぜんぜんしない」の割合が低くなっています。



F　父親、母親、兄弟姉妹の世話や祖父母の介護

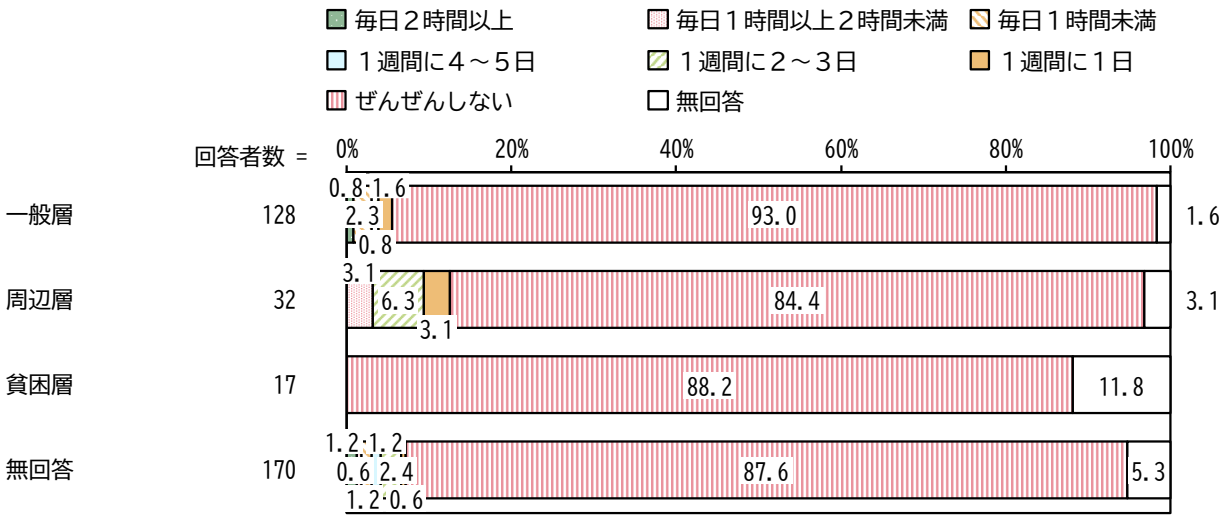
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ぜんぜんしない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

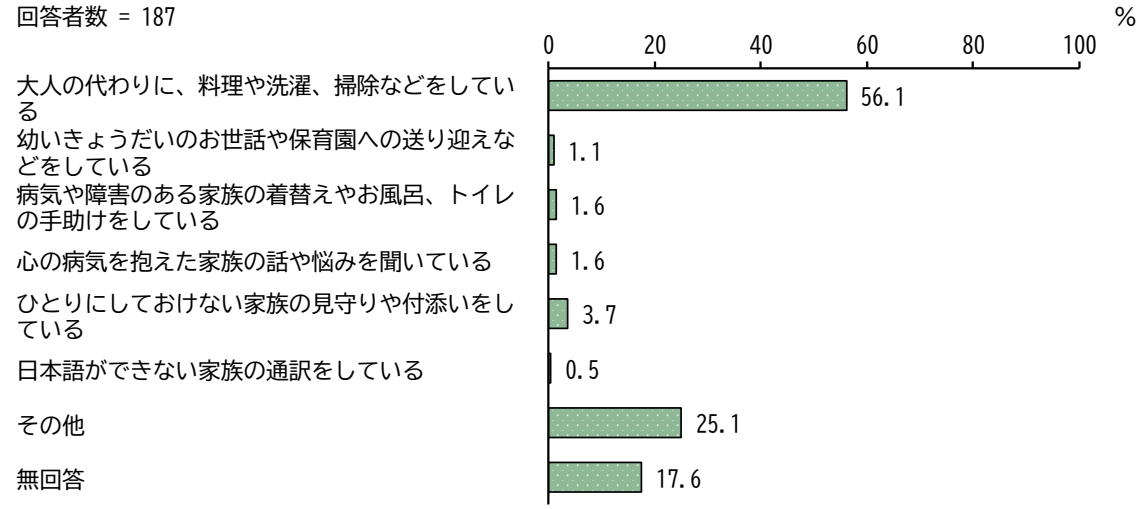
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



問 12 の「E　家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど)」「F　父親、母親、兄弟姉妹の世話や祖父母の介護」で「毎日２時間以上」～「１週間に１日」のいずれかに○をつけた人にお聞きします。

問 12－１　家事や家族のお世話は、どのようなことをしていますか。
（あてはまる番号すべてに○）

「大人の代わりに、料理や洗濯、掃除などをしている」の割合が 56.1%と最も高くなっています。



【生活困難度別】

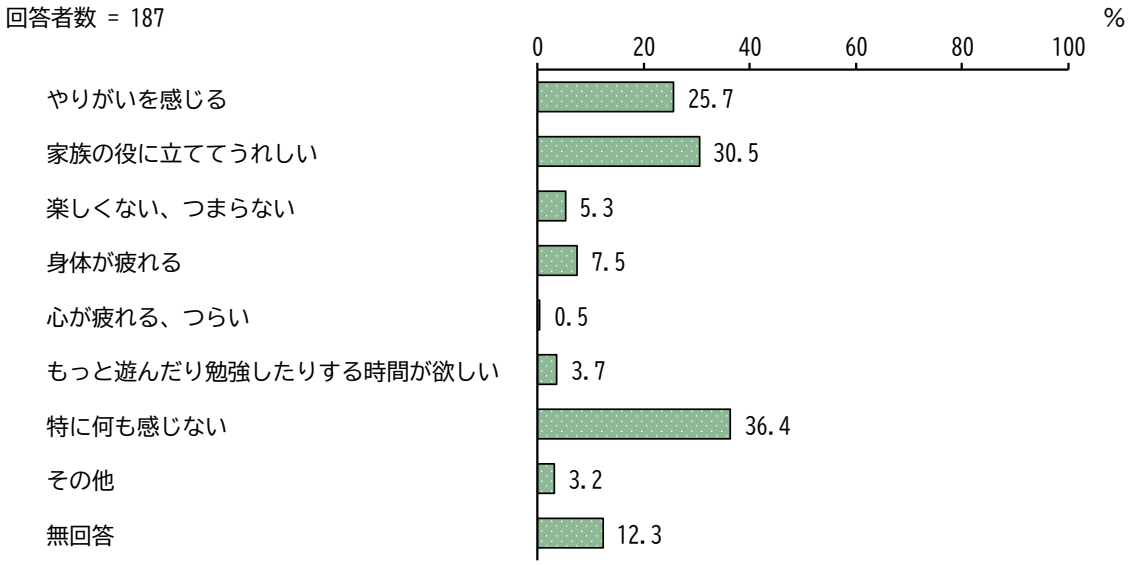
生活困難度別にみると、周辺層で「ひとりにしておけない家族の見守りや付添いをしている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	大人の代わりに、料理や洗濯、掃除などをしている	幼いきょうだいのお世話や保育園への送り迎えなどをしている	病気や障害のある家族の着替えやお風呂、トイレの手助けをしている	心の病気を抱えた家族の話や悩みを聞いている	ひとりにしておけない家族の見守りや付添いをしている	日本語ができない家族の通訳をしている	その他	無回答
全　体	187	56.1	1.1	1.6	1.6	3.7	0.5	25.1	17.6
一般層	71	57.7	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	26.8	15.5
周辺層	20	60.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	20.0	15.0
貧困層	7	57.1	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3
無回答	89	53.9	2.2	3.4	2.2	4.5	0.0	25.8	20.2

問 12－２　家事や家族のお世話について、どのように感じていますか。
（あてはまる番号すべてに○）

「特に何も感じない」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「家族の役に立ててうれしい」の割合が 30.5%、「やりがいを感じる」の割合が 25.7%となっています。



【生活困難度別】

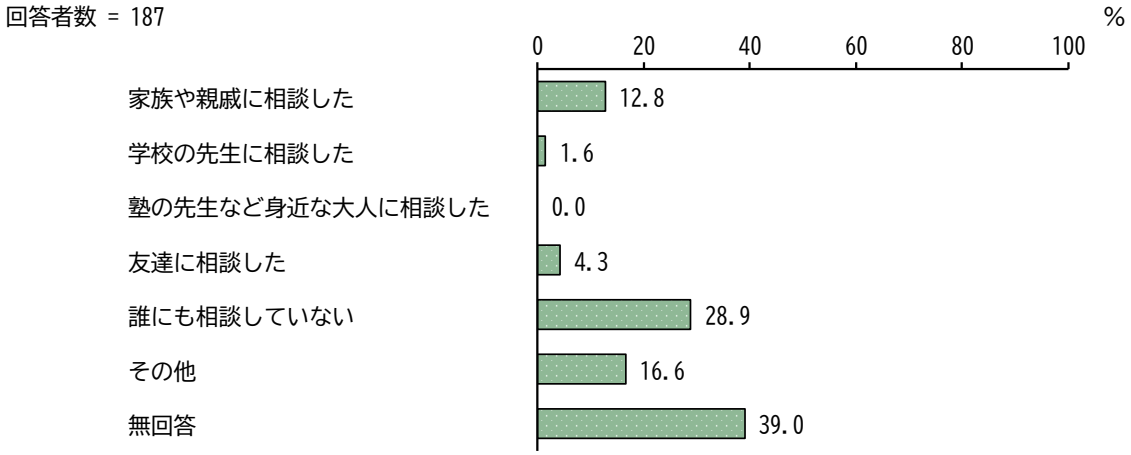
生活困難度別にみると、一般層で「身体が疲れる」の割合が高く、周辺層で「やりがいを感じる」「家族の役に立ててうれしい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	やりがいを感じる	家族の役に立ててうれしい	楽しくない、つまらない	身体が疲れる	心が疲れる、つらい	もっと遊んだり勉強したりする時間が欲しい	特に何も感じない	その他	無回答
全　体	187	25.7	30.5	5.3	7.5	0.5	3.7	36.4	3.2	12.3
一般層	71	23.9	32.4	2.8	8.5	0.0	2.8	35.2	4.2	12.7
周辺層	20	35.0	40.0	5.0	0.0	0.0	5.0	35.0	0.0	5.0
貧困層	7	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	57.1	14.3	14.3
無回答	89	27.0	28.1	7.9	7.9	1.1	4.5	36.0	2.2	13.5

問 12－３　お世話を必要としている家族のことや、自分がお世話をしていて困ったことを誰かに相談したことはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「誰にも相談していない」の割合が 28.9%と最も高く、次いで「家族や親戚に相談した」の割合が 12.8%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「家族や親戚に相談した」「誰にも相談していない」の割合が高くなっています。

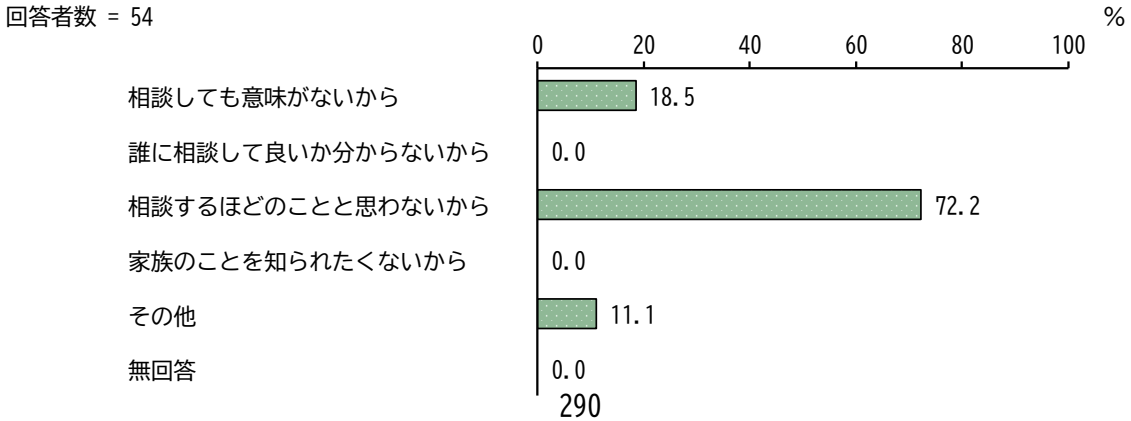
単位：%

区分	回答者数（件）	家族や親戚に相談した	学校の先生に相談した	塾の先生など身近な大人に相談した	友達に相談した	誰にも相談していない	その他	無回答
全　体	187	12.8	1.6	0.0	4.3	28.9	16.6	39.0
一般層	71	12.7	1.4	0.0	4.2	25.4	16.9	40.8
周辺層	20	20.0	0.0	0.0	0.0	45.0	5.0	30.0
貧困層	7	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	57.1
無回答	89	12.4	2.2	0.0	5.6	28.1	19.1	38.2

問 12－３で「誰にも相談していない」に○をつけた人にお聞きします。

問 12－３－１　相談していない理由はなぜですか。（あてはまる番号すべてに○）

「相談するほどのことと思わないから」の割合が 72.2%と最も高く、次いで「相談しても意味がないから」の割合が 18.5%となっています。



【生活困難度別】

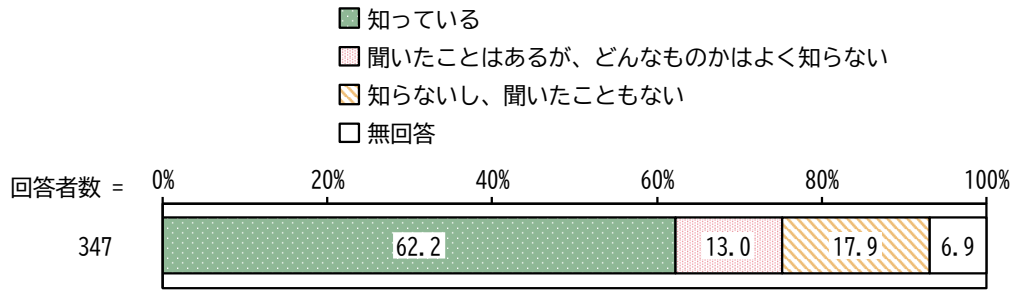
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	相談しても意味がないから	誰に相談して良いか分からないから	相談するほどのことと思わないから	家族のことを知られたくないから	その他	無回答
全　体	54	18.5	0.0	72.2	0.0	11.1	0.0
一般層	18	22.2	0.0	72.2	0.0	5.6	0.0
周辺層	9	22.2	0.0	55.6	0.0	22.2	0.0
貧困層	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
無回答	25	12.0	0.0	84.0	0.0	8.0	0.0

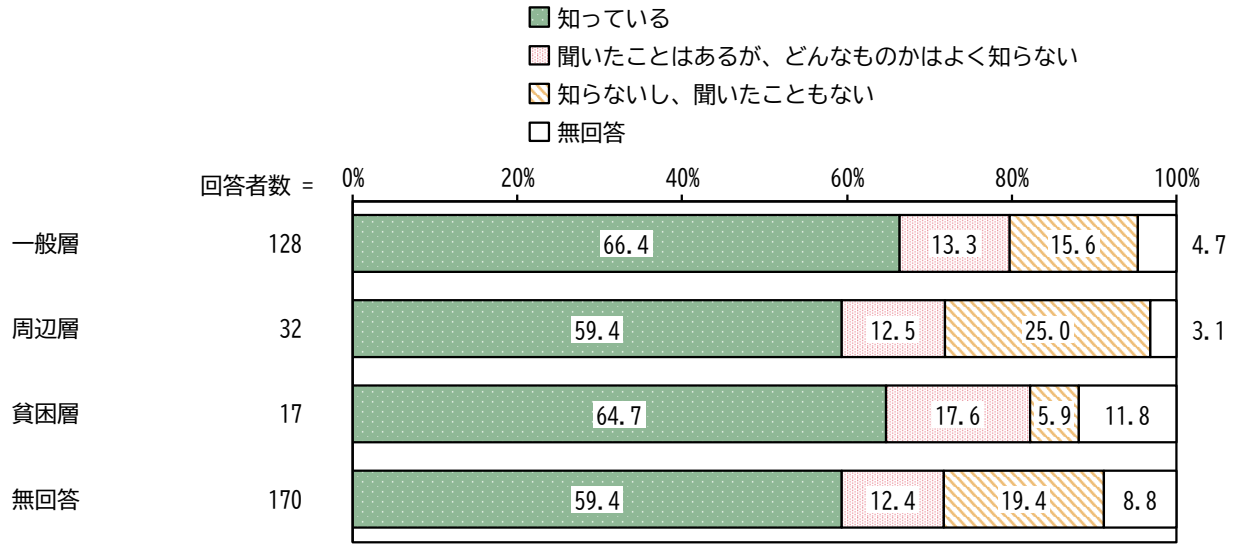
問 13　「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。（１つに○）

「知っている」の割合が 62.2%、「聞いたことはあるが、どんなものかはよく知らない」の割合が 13.0%、「知らないし、聞いたこともない」の割合が 17.9%となっています。



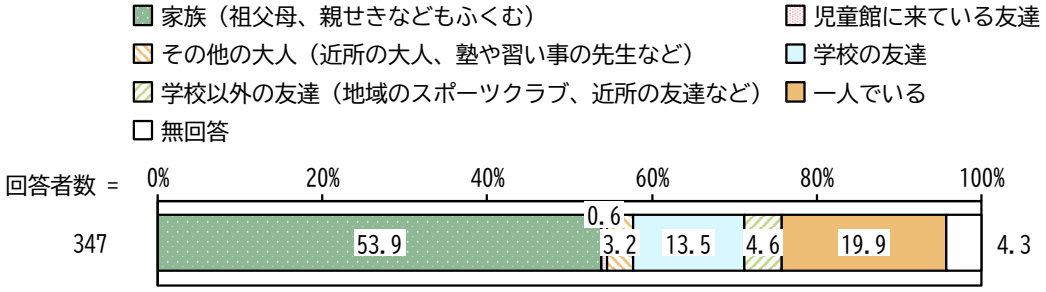
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「知らないし、聞いたこともない」の割合が高くなっています。



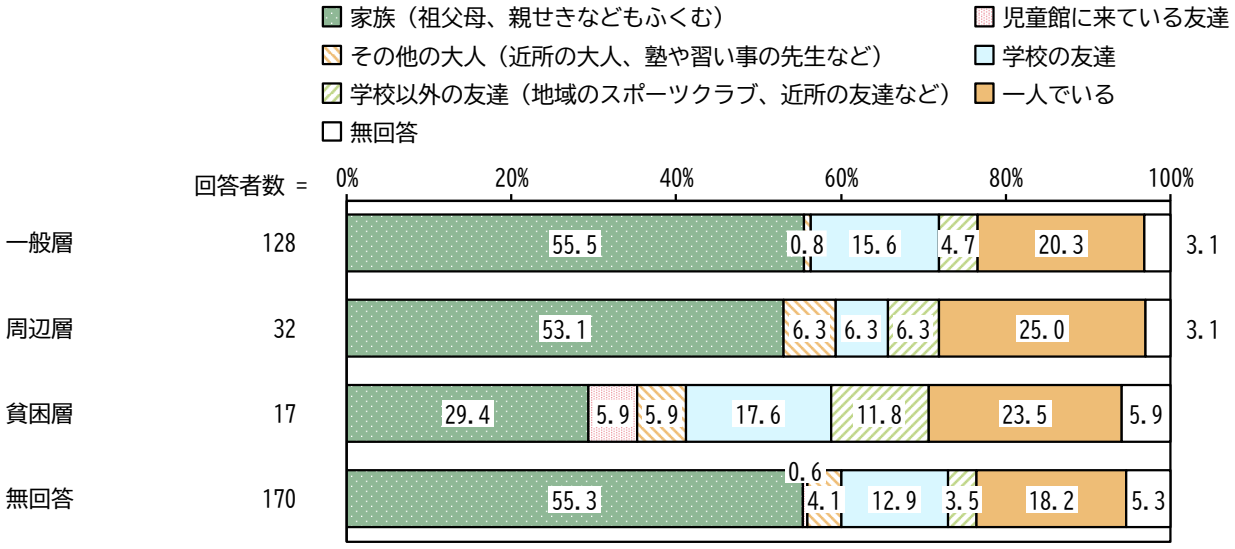
問 14　あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後はだれと過ごしますか。一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。（１つに○）

「家族（祖父母、親せきなどもふくむ）」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「一人でいる」の割合が 19.9%、「学校の友達」の割合が 13.5%となっています。



【生活困難度別】

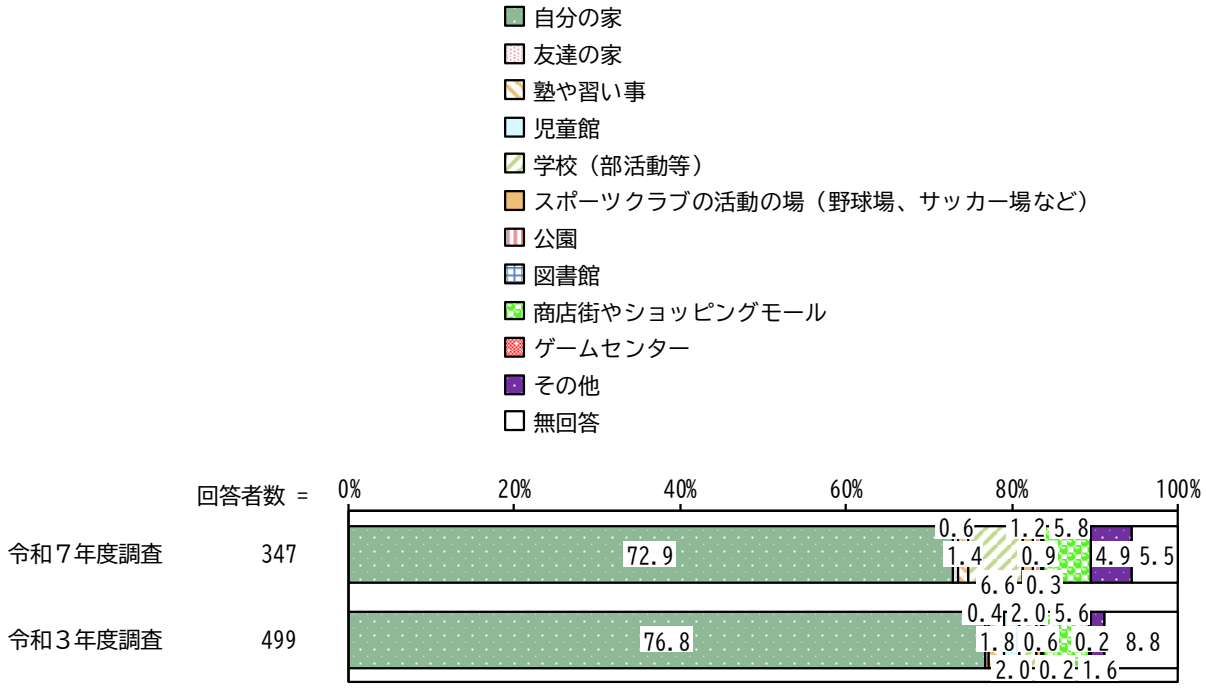
生活困難度別にみると、貧困層で「児童館に来ている友達」「学校以外の友達（地域のスポーツクラブ、近所の友達など）」、周辺層で「一人でいる」の割合が高くなっています。



問 15　あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後、どこで過ごしますか。一番多く過ごす場所に○をつけてください（１つに○）

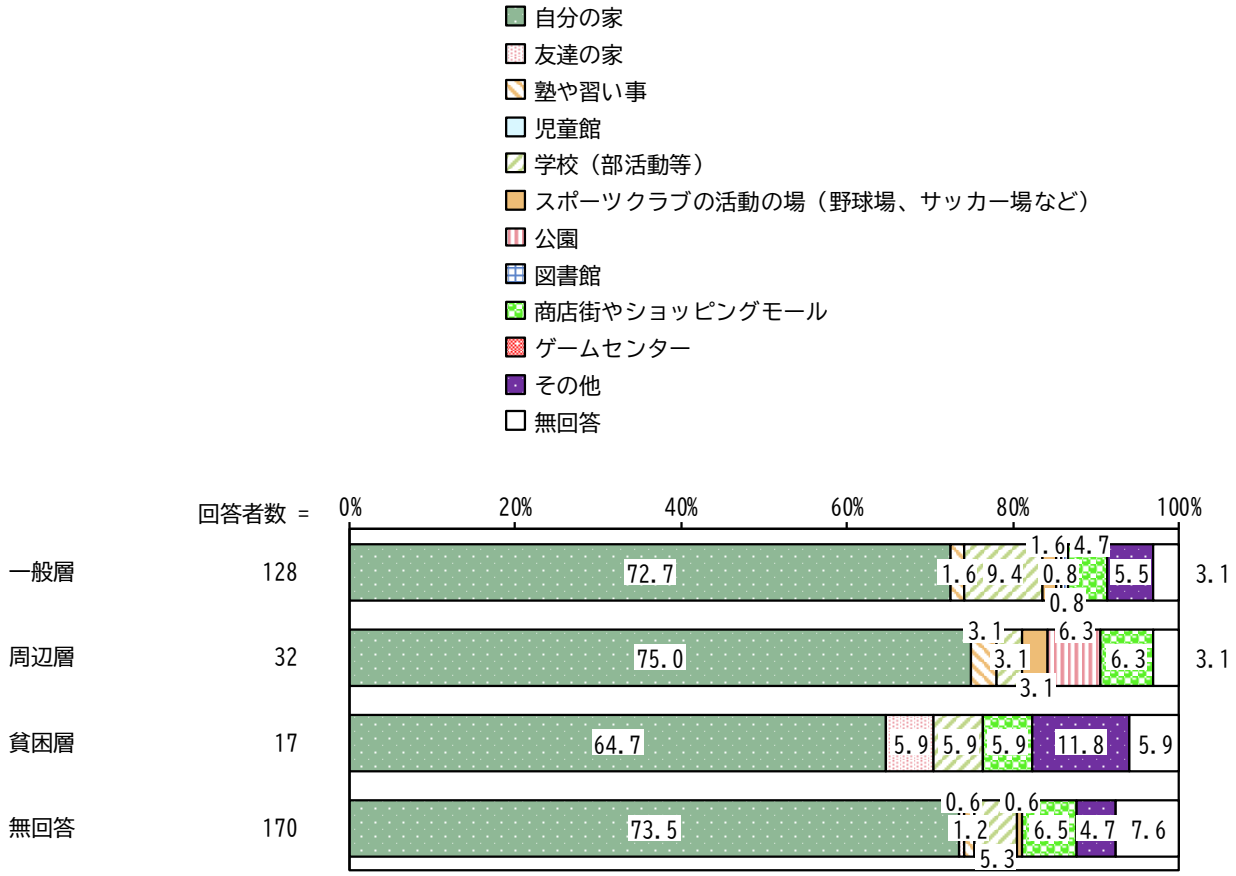
「自分の家」の割合が 72.9%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

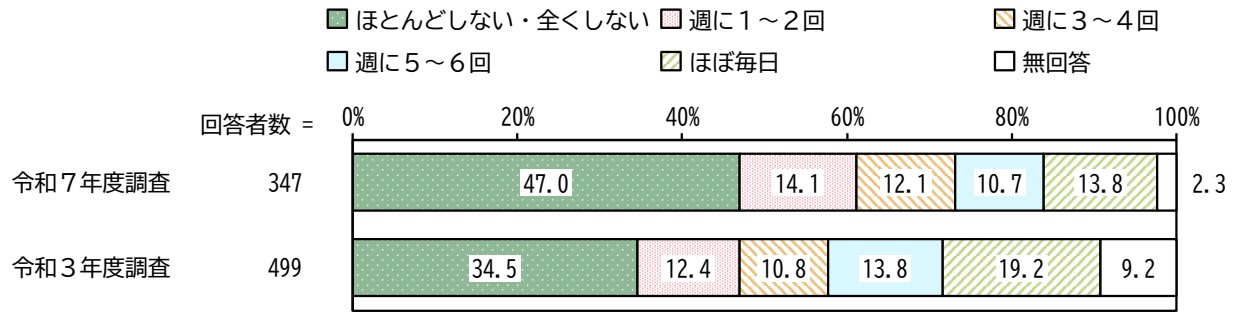
生活困難度別にみると、周辺層で「公園」の割合が高く、貧困層で「自分の家」の割合が低くなっています。



問 16　あなたは、30 分以上からだを動かす遊びや習い事を１週間でどれくらいしますか。
（１つに○）
※学校の昼休みのことはのぞいて、学校の外でのことを教えてください。

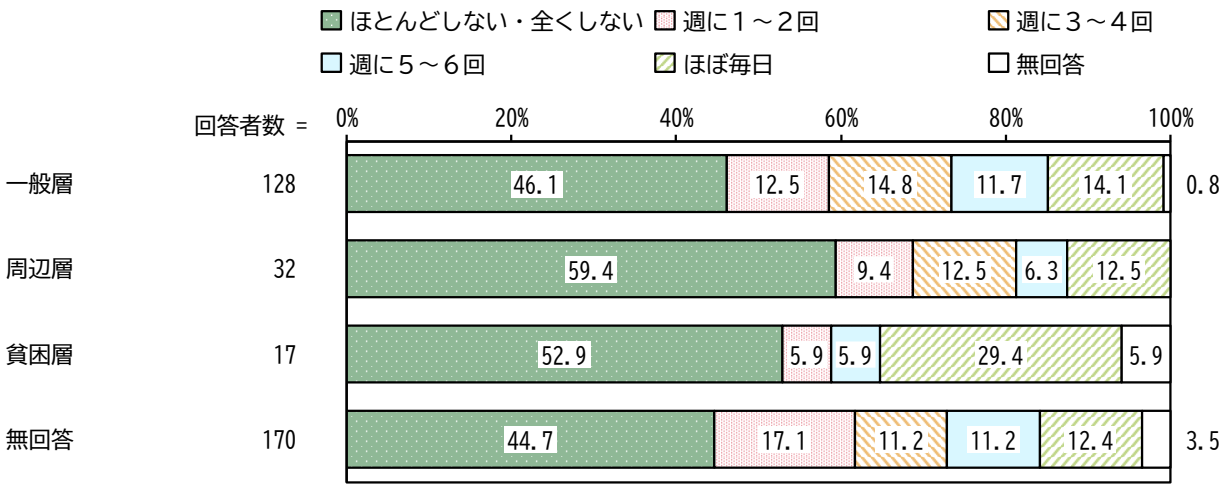
「ほとんどしない･全くしない」の割合が 47.0%と最も高く､次いで｢週に１～２回」の割合が 14.1%、「ほぼ毎日」の割合が 13.8%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「ほとんどしない・全くしない」の割合が増加しています。一方、「ほぼ毎日」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

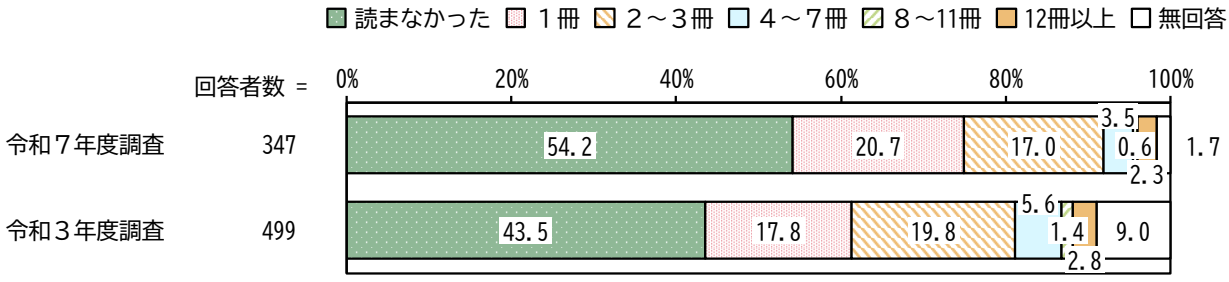
生活困難度別にみると、周辺層で「ほとんどしない・全くしない」、貧困層で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



問 17　あなたは、この１か月の間に本を何冊くらい読みましたか。（１つに○）
※漫画は含まない冊数で回答してください。

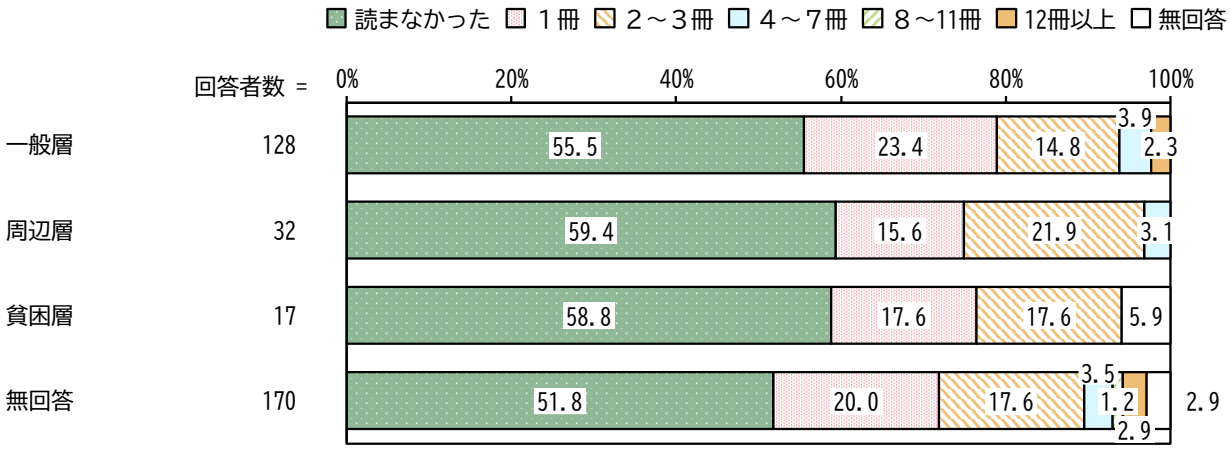
「読まなかった」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「１冊」の割合が 20.7%、「２～３冊」の割合が 17.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「読まなかった」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

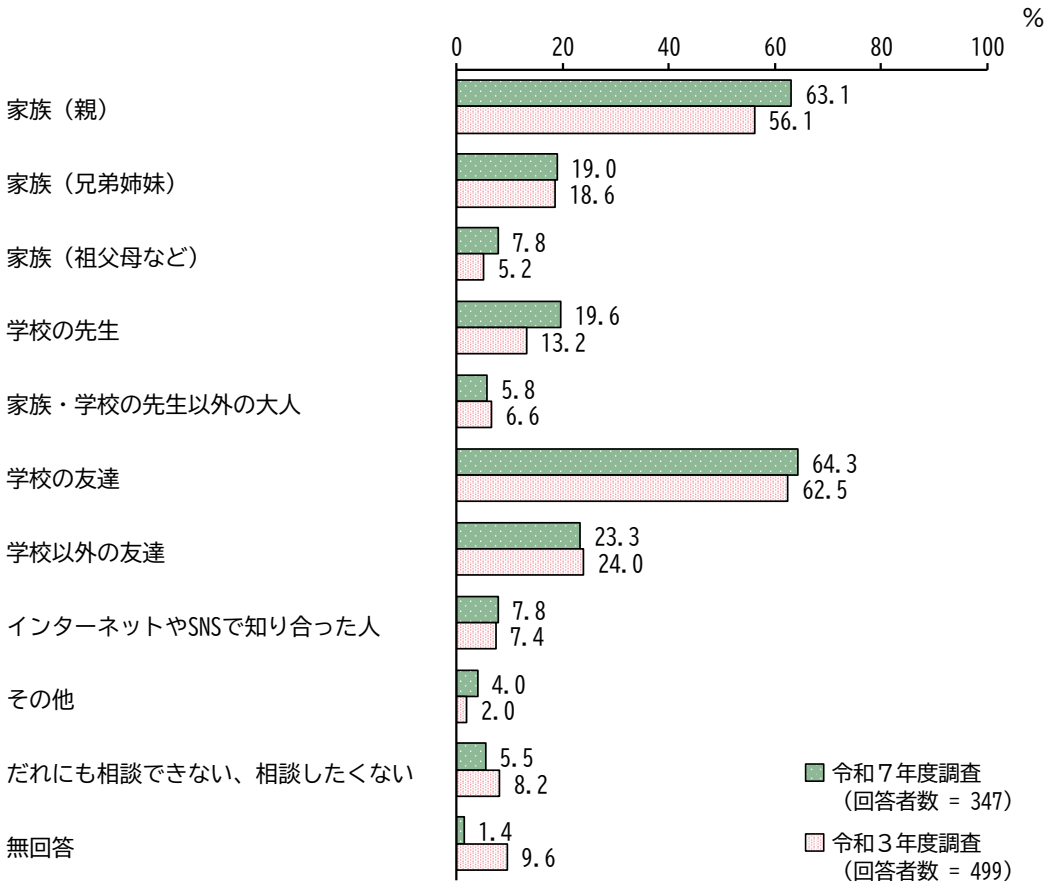
生活困難度別にみると、周辺層で「読まなかった」の割合が高くなっています。



問 18　あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことがあるとき、話したり相談したりできると思う人は誰ですか。電話、メール、LINE も「話した」と考えて答えてください。（あてはまる番号すべてに○）

「学校の友達」の割合が 64.3%と最も高く、次いで「家族（親）」の割合が 63.1%、「学校以外の友達」の割合が 23.3%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「家族（親）」「学校の先生」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層、貧困層で「学校以外の友達」の割合が高くなっています。

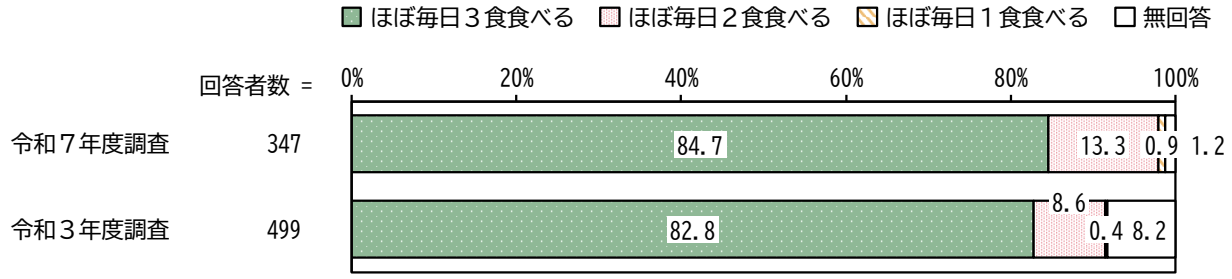
単位：%

区分	回答者数（件）	家族（親）	家族（兄弟姉妹）	家族（祖父母など）	学校の先生	家族・学校の先生以外の大人	学校の友達	学校以外の友達	インターネットやSNSで知り合った人	その他	だれにも相談できない、相談したくない	無回答
全　体	347	63.1	19.0	7.8	19.6	5.8	64.3	23.3	7.8	4.0	5.5	1.4
一般層	128	64.8	20.3	6.3	20.3	6.3	67.2	21.1	7.0	3.1	6.3	0.8
周辺層	32	65.6	21.9	6.3	18.8	6.3	46.9	34.4	12.5	0.0	6.3	3.1
貧困層	17	47.1	17.6	0.0	17.6	0.0	64.7	35.3	11.8	5.9	0.0	0.0
無回答	170	62.9	17.6	10.0	19.4	5.9	65.3	21.8	7.1	5.3	5.3	1.8

問 19　あなたは、平日（学校や仕事に行く日）に、一日３食を食べますか。（１つに○）

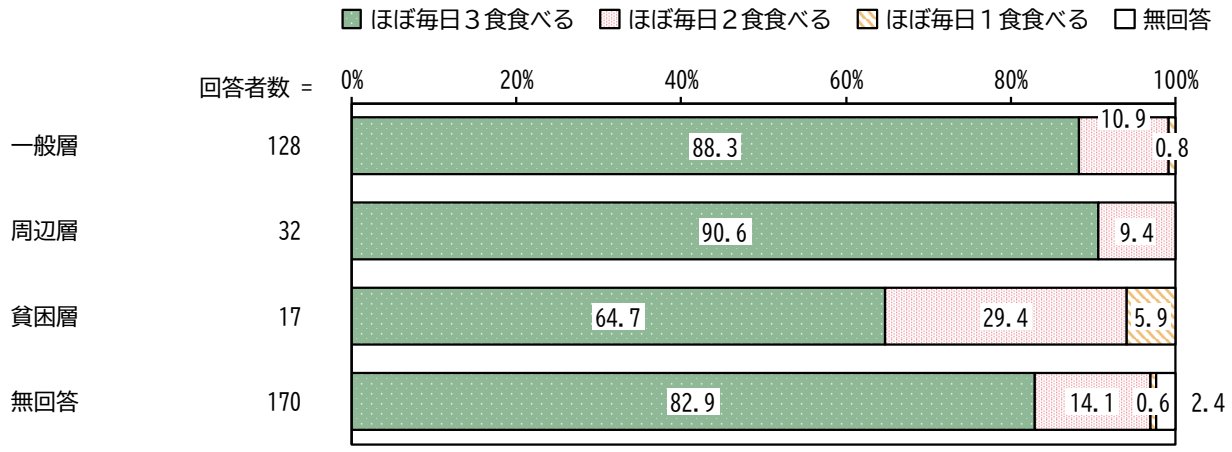
「ほぼ毎日３食食べる」の割合が 84.7%、「ほぼ毎日２食食べる」の割合が 13.3%、「ほぼ毎日１食食べる」の割合が 0.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



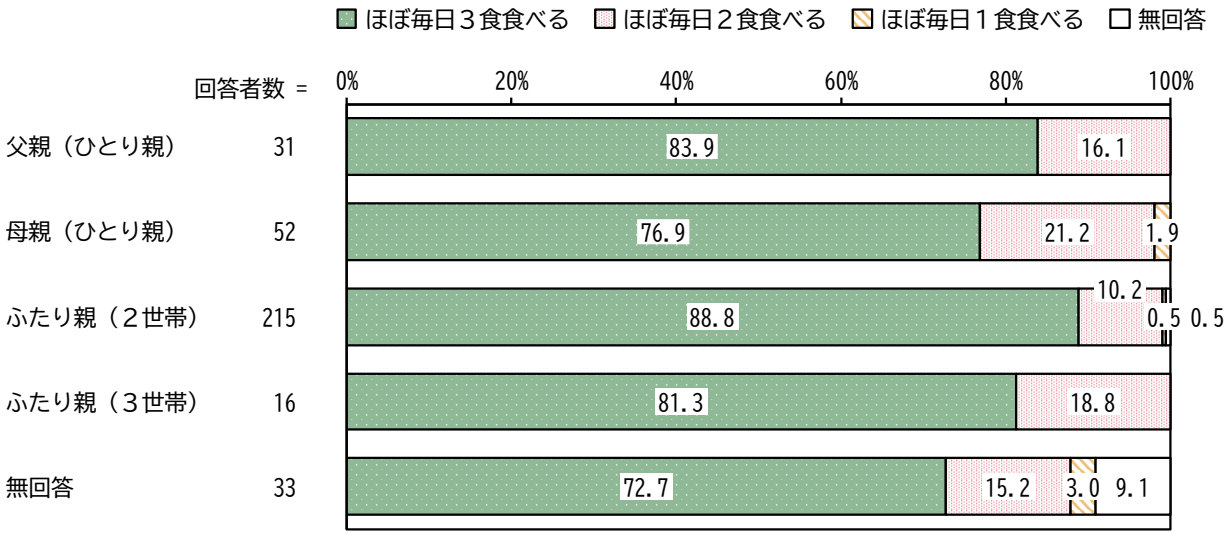
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「ほぼ毎日２食食べる」の割合が高く、「ほぼ毎日３食食べる」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

世帯分類別にみると、母親（ひとり親）、ふたり親（３世帯）で「ほぼ毎日２食食べる」の割合が高く、母親（ひとり親）で「ほぼ毎日３食食べる」の割合が低くなっています。

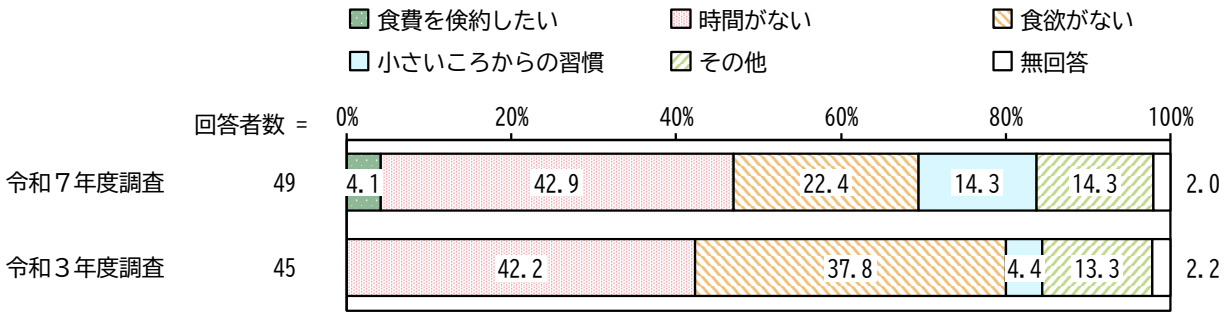


問 19 で「ほぼ毎日２食食べる」「ほぼ毎日１食食べる」と答えた人にお聞きします。

問 19－１　平日に３食を食べないときの、主な理由は何ですか。（１つに○）

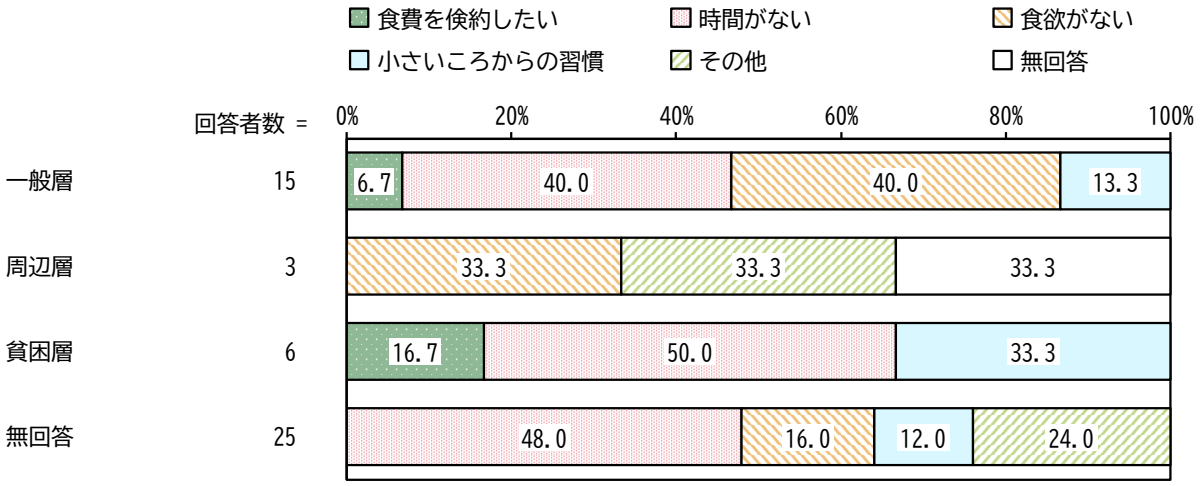
「時間がない」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「食欲がない」の割合が 22.4%、「小さいころからの習慣」の割合が 14.3%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「小さいころからの習慣」の割合が増加しています。一方、「食欲がない」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

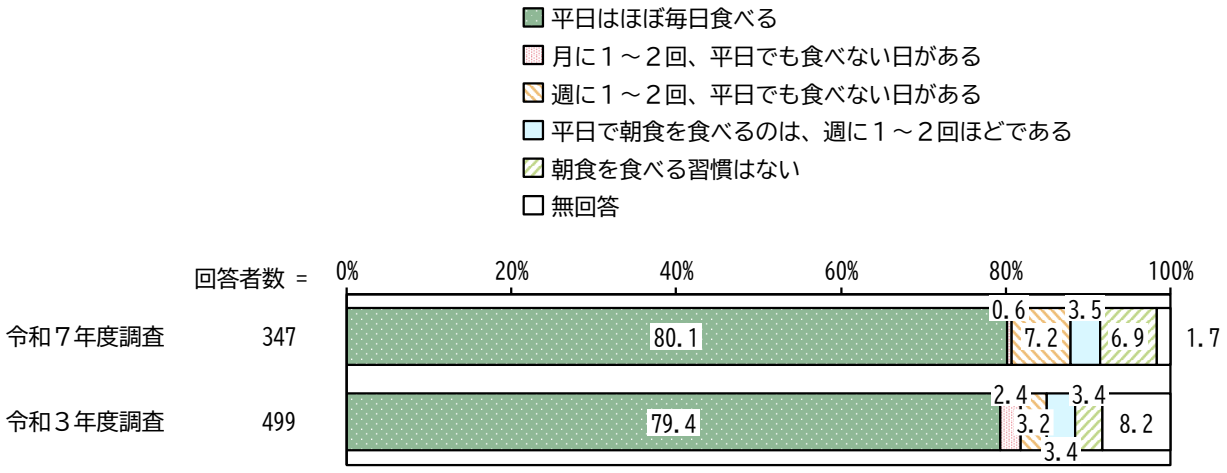
生活困難度別にみると、一般層で「食欲がない」の割合が高くなっています。



問 20　あなたは、平日（学校や仕事に行く日）に朝食を食べますか。（１つに○）

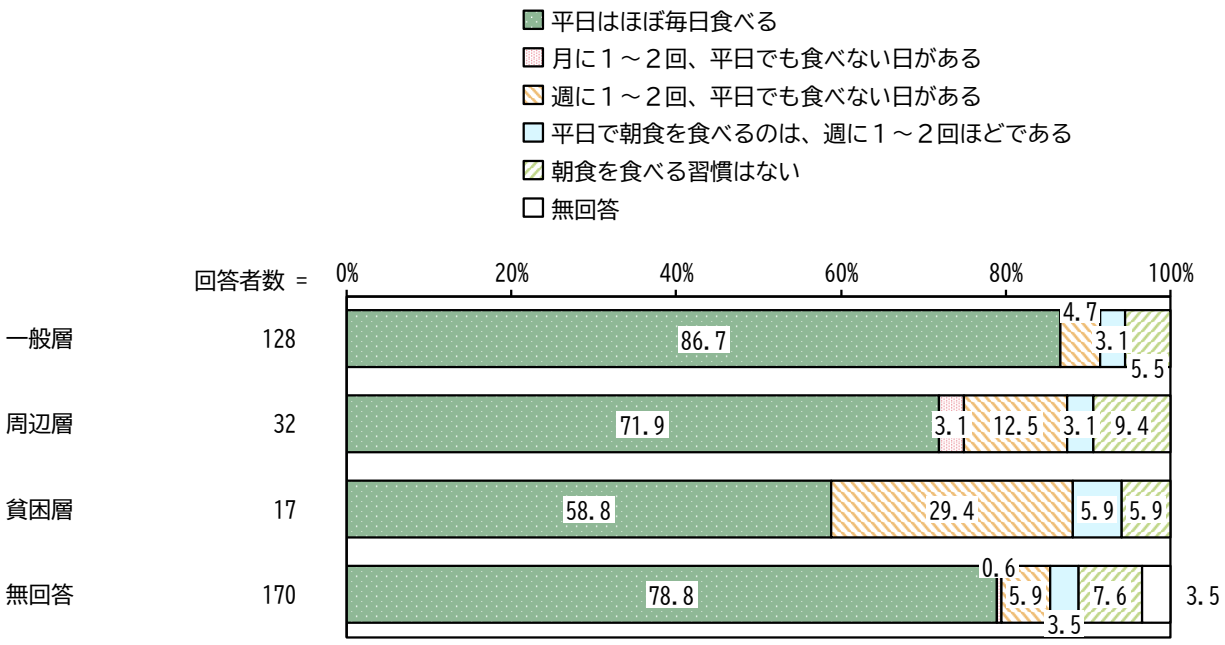
「平日はほぼ毎日食べる」の割合が 80.1%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



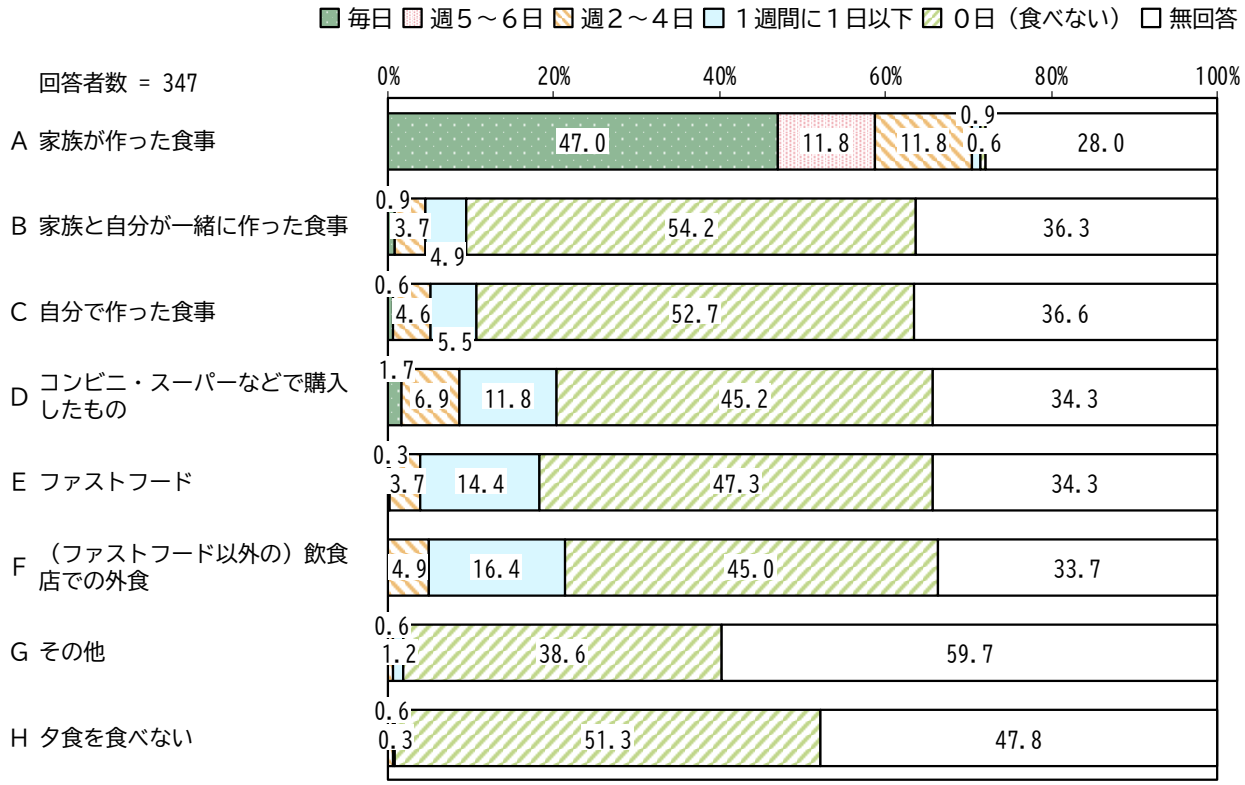
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「平日はほぼ毎日食べる」の割合が低くなっています。



問 21　あなたは、平日（学校や仕事に行く日）の夕食に何を食べますか。以下のＡ～Ｈについて、１週間の回数について、最もよくあるパターンを書いてください。（カッコの中に数字で答えてください）

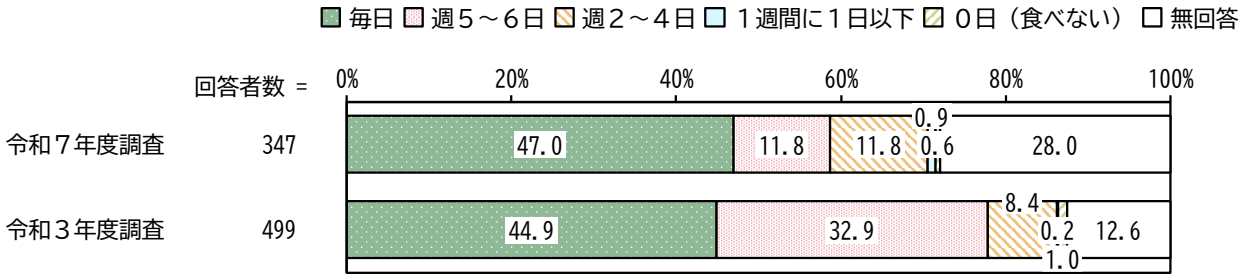
『Ａ　家族が作った食事　回数』で「毎日」「週５～６日」「週２～４日」が、『Ｆ　（ファストフード以外の）飲食店での外食　回数』で「１週間に１日以下」が、『Ｂ　家族と自分が一緒に作った食事回数』で「０日（食べない）」が高くなっています。



Ａ　家族が作った食事　回数

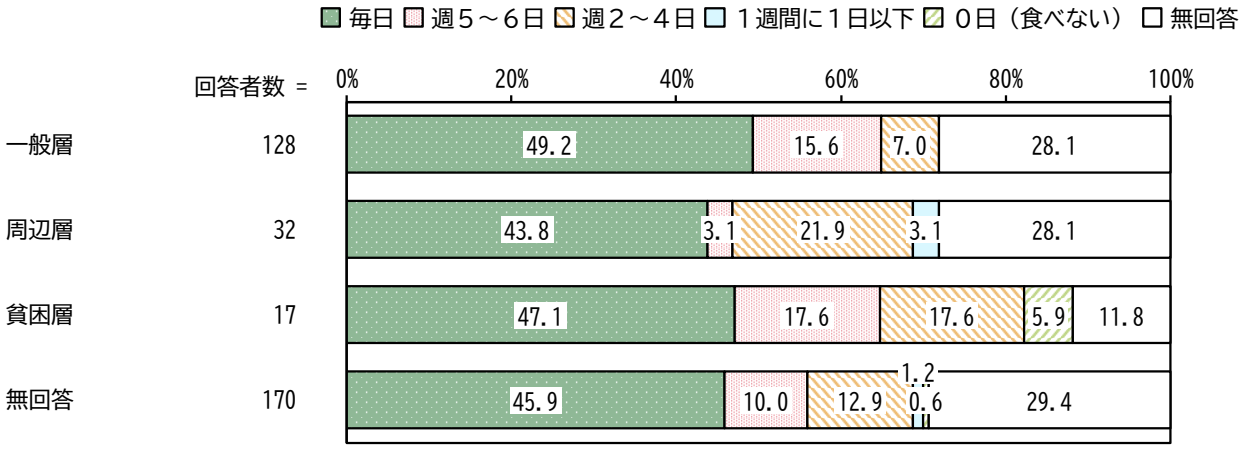
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「週５～６日」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

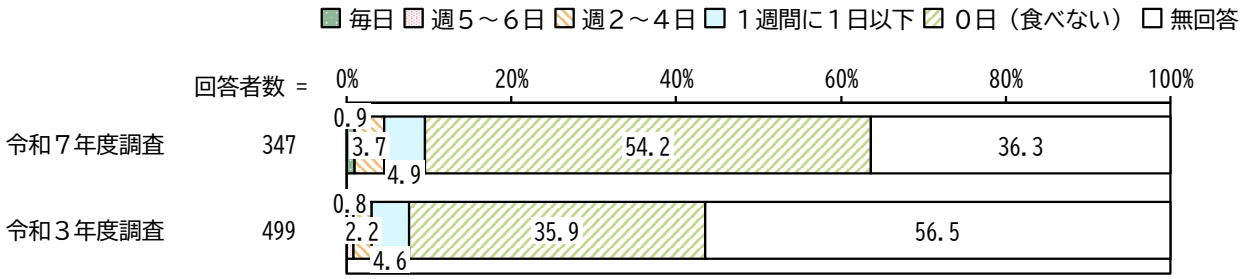
生活困難度別にみると、貧困層で「週５～６日」「０日（食べない）」、周辺層で「週２～４日」の割合が高くなっています。



B　家族と自分が一緒に作った食事

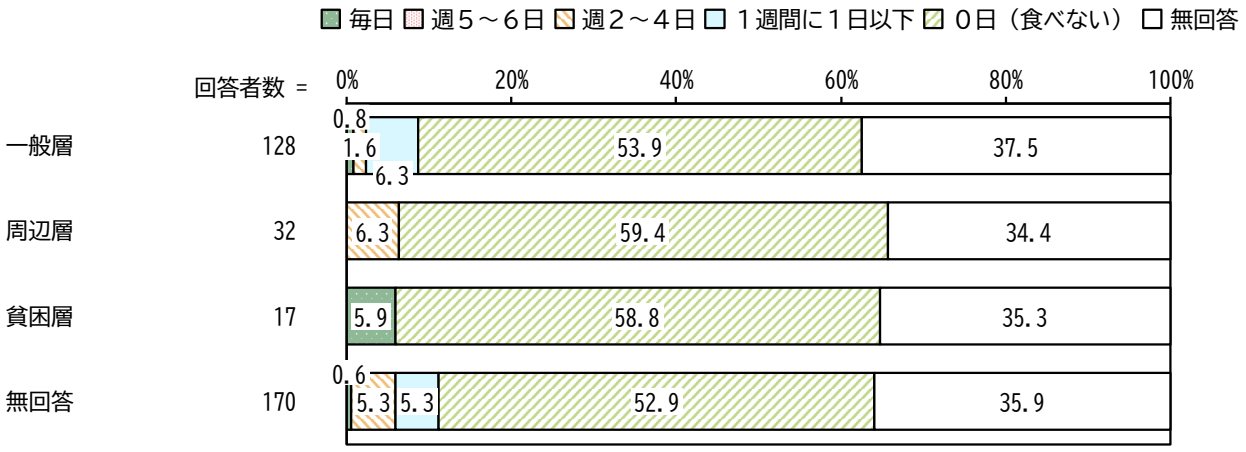
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「０日（食べない）」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

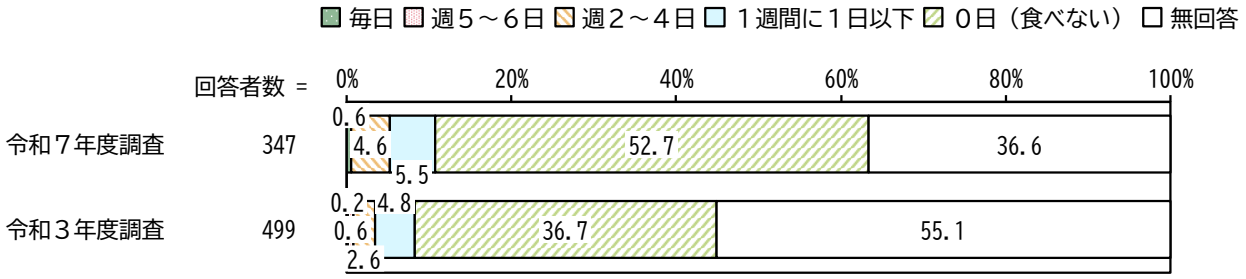
生活困難度別にみると、貧困層で「毎日」、周辺層で「０日（食べない）」の割合が高くなっています。



C　自分で作った食事

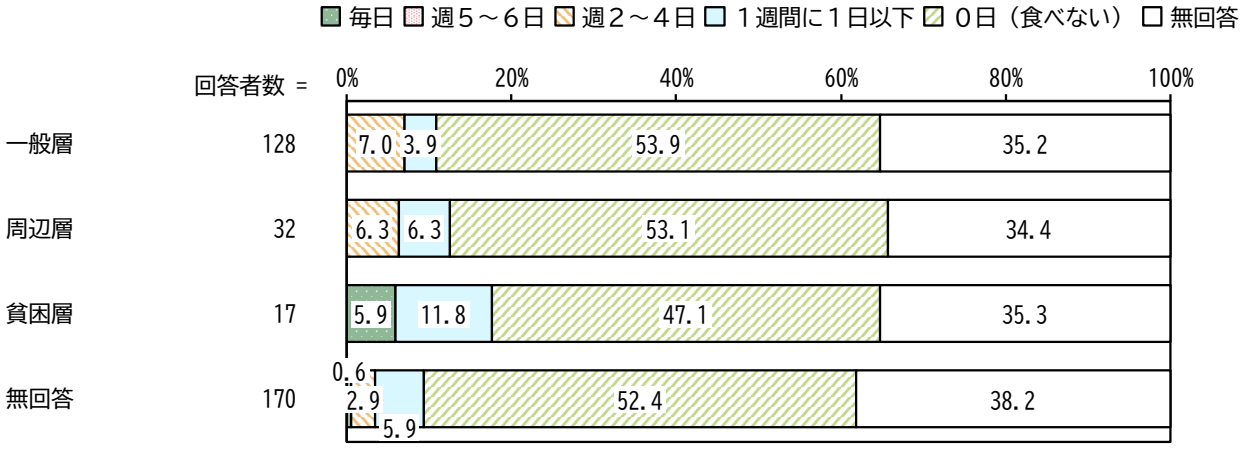
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「０日（食べない）」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

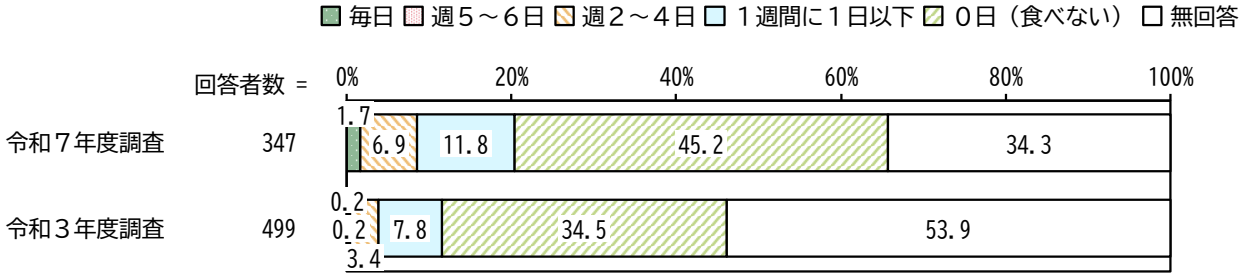
生活困難度別にみると、貧困層で「毎日」の割合が高くなっています。



D　コンビニ・スーパーなどで購入したもの

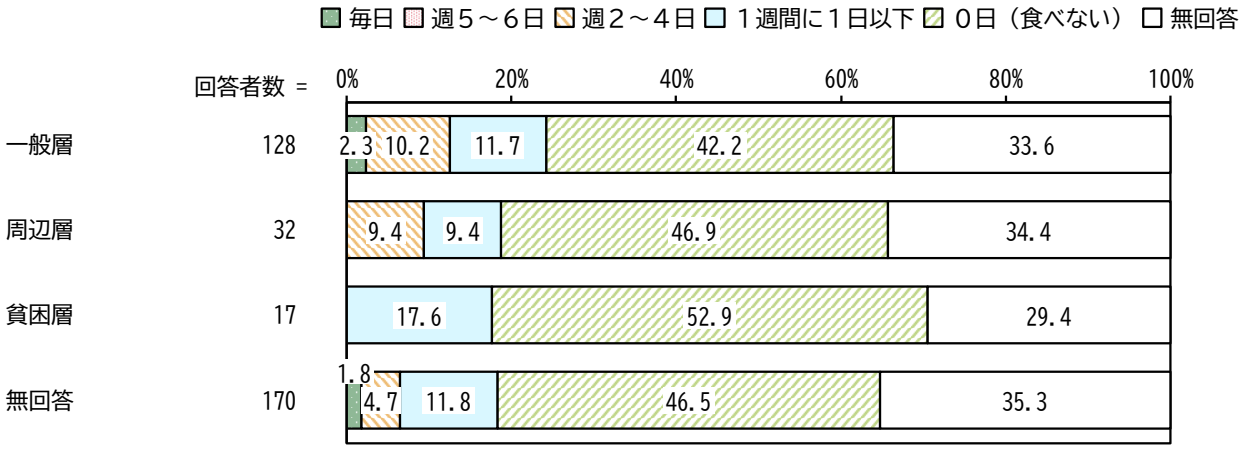
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「０日（食べない）」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

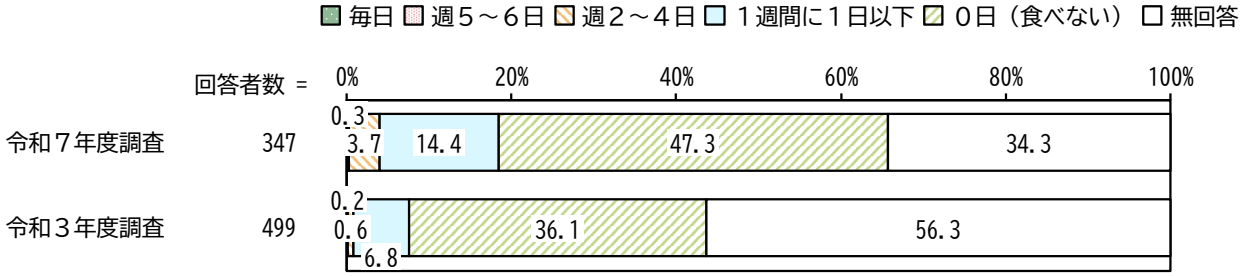
生活困難度別にみると、貧困層で「０日（食べない）」の割合が高くなっています。



E　ファストフード

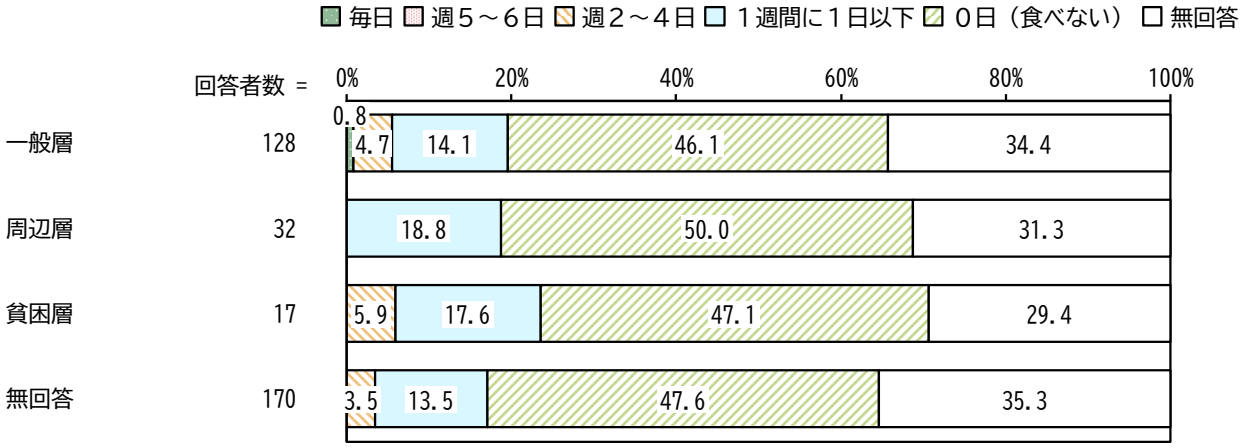
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「１週間に１日以下」「０日（食べない）」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

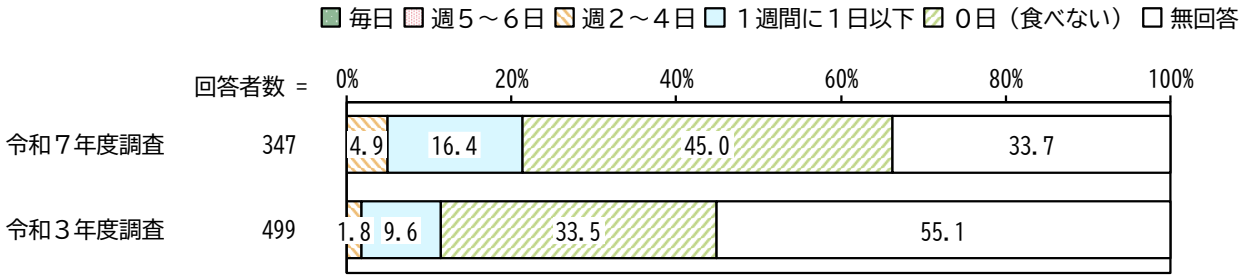
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



F　（ファストフード以外の）飲食店での外食

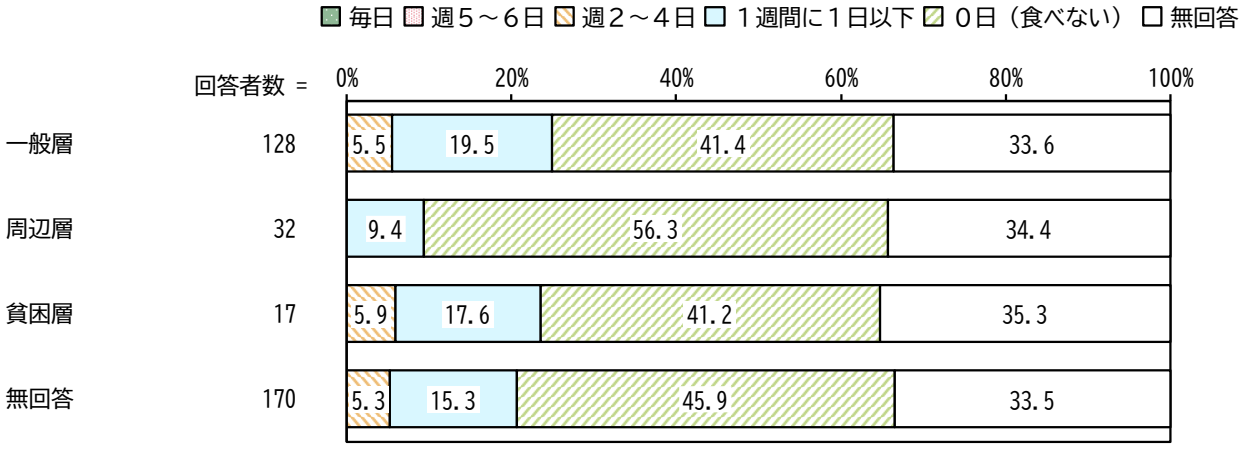
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「１週間に１日以下」「０日（食べない）」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

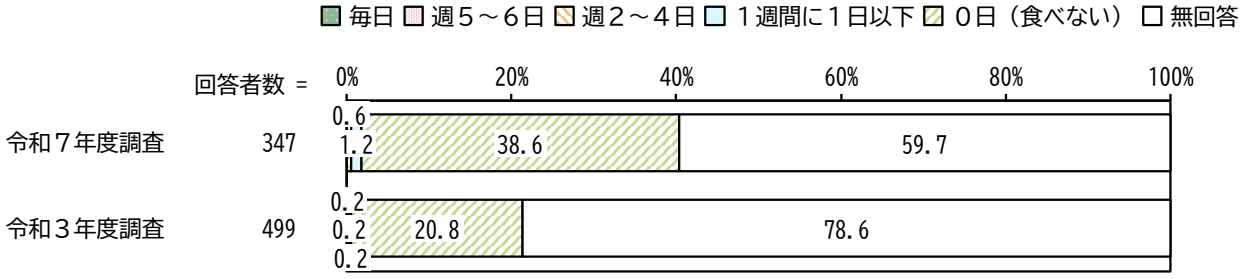
生活困難度別にみると、周辺層で「０日（食べない）」の割合が高くなっています。



G　その他

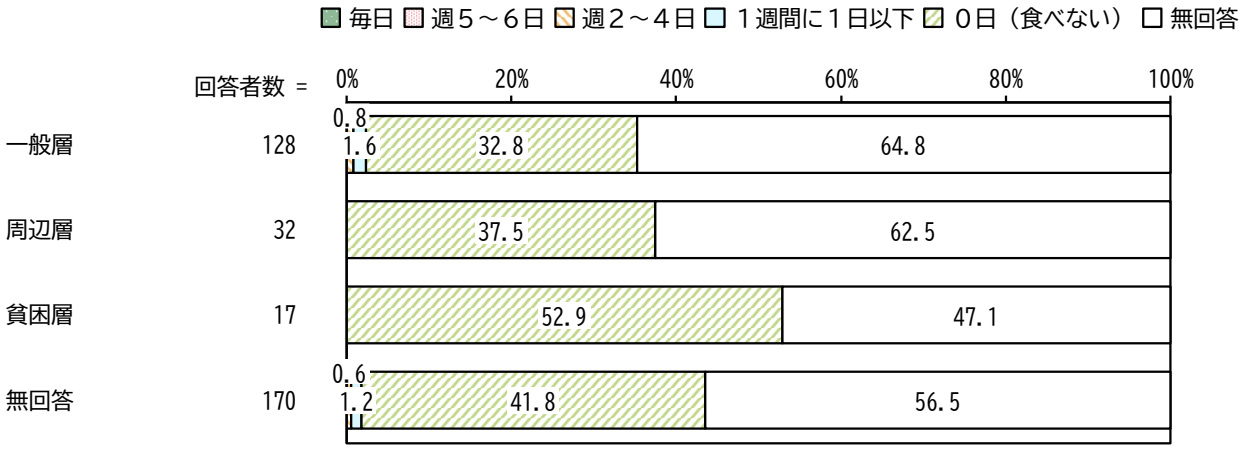
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「０日（食べない）」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

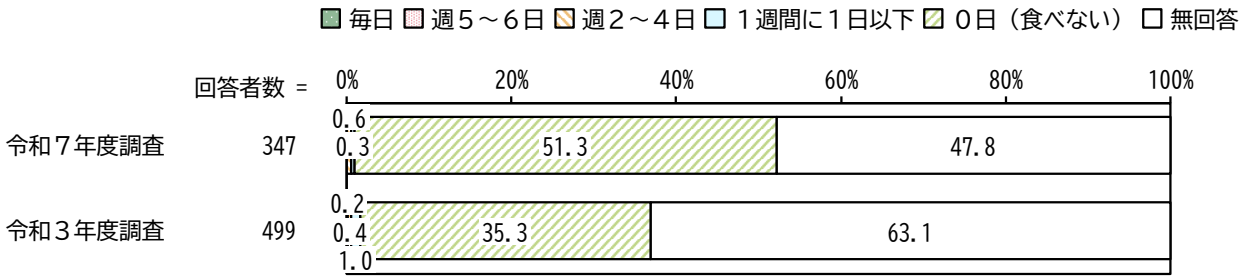
生活困難度別にみると、貧困層で「０日（食べない）」の割合が高くなっています。



H　夕食を食べない

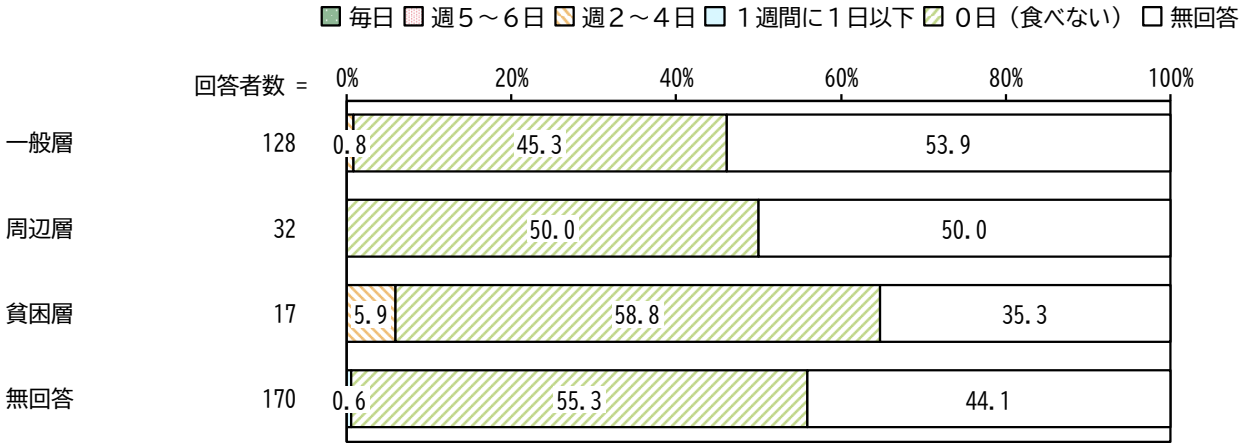
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「０日（食べない）」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

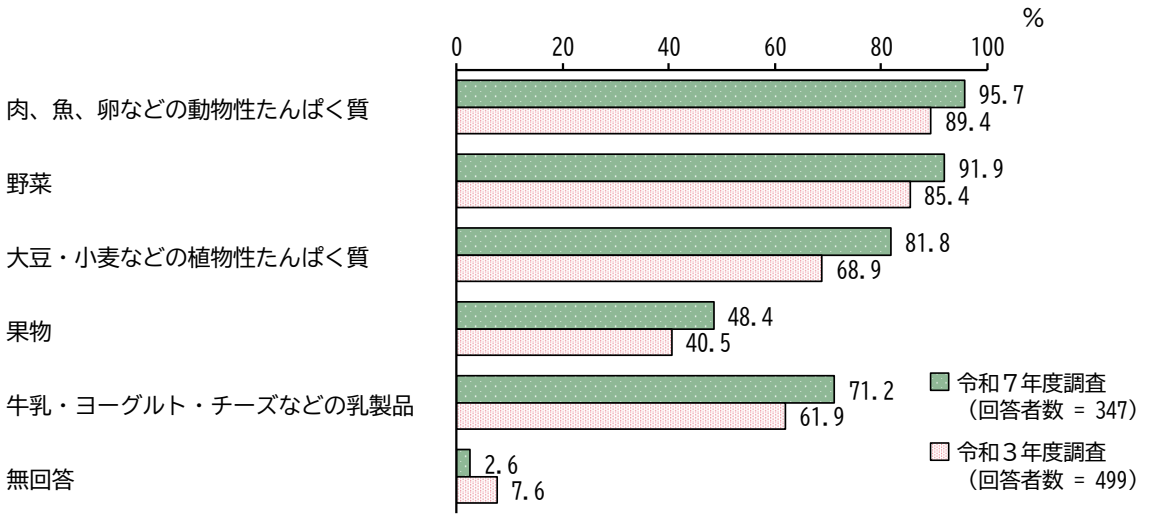
生活困難度別にみると、貧困層で「０日（食べない）」の割合が高くなっています。



問 22　あなたは、次の食品を少なくとも１日１回は食べていますか。１日１回は食べているものすべてに○をつけてください。（あてはまる番号すべてに○）

「肉、魚、卵などの動物性たんぱく質」の割合が 95.7%と最も高く、次いで「野菜」の割合が 91.9%、「大豆・小麦などの植物性たんぱく質」の割合が 81.8%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「肉、魚、卵などの動物性たんぱく質」「野菜」「大豆・小麦などの植物性たんぱく質」「果物」「牛乳・ヨーグルト・チーズなどの乳製品」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「牛乳・ヨーグルト・チーズなどの乳製品」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	肉、魚、卵などの動物性たんぱく質	野菜	大豆・小麦などの植物性たんぱく質	果物	牛乳・ヨーグルト・チーズなどの乳製品	無回答
全　体	347	95.7	91.9	81.8	48.4	71.2	2.6
一般層	128	96.9	95.3	82.8	46.1	68.8	1.6
周辺層	32	93.8	90.6	71.9	34.4	71.9	6.3
貧困層	17	100.0	94.1	82.4	35.3	82.4	0.0
無回答	170	94.7	89.4	82.9	54.1	71.8	2.9

【世帯分類別】

世帯分類別にみると、父親（ひとり親）、ふたり親（３世帯）で「大豆・小麦などの植物性たんぱく質」の割合が高くなっています。

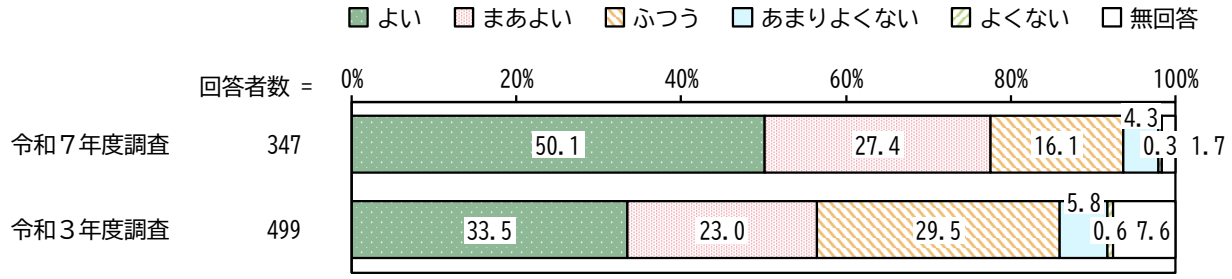
単位：％

区分	回答者数（件）	肉、魚、卵などの動物性たんぱく質	野菜	大豆・小麦などの植物性たんぱく質	果物	牛乳・ヨーグルト・チーズなどの乳製品	無回答
全　体	347	95.7	91.9	81.8	48.4	71.2	2.6
父親（ひとり親）	31	100.0	93.5	87.1	51.6	74.2	0.0
母親（ひとり親）	52	94.2	90.4	71.2	32.7	59.6	5.8
ふたり親（２世帯）	215	97.2	94.4	84.7	52.1	74.4	0.9
ふたり親（３世帯）	16	100.0	87.5	87.5	43.8	62.5	0.0
無回答	33	81.8	78.8	72.7	48.5	69.7	12.1

問 23　あなたの健康状態について、最も近いものに○をつけてください。（１つに○）

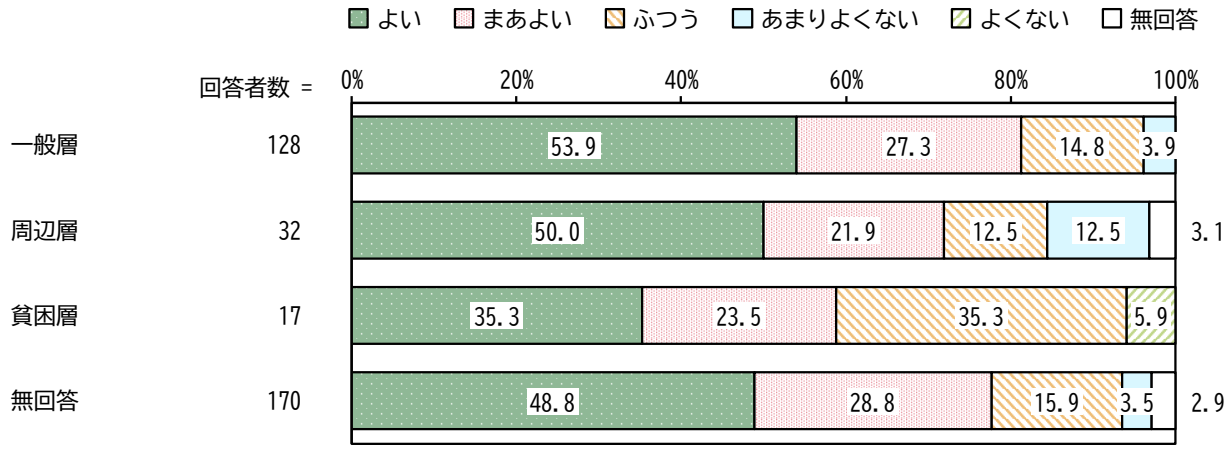
「よい」「まあよい」を合わせた“よい”の割合が 77.5%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”の割合が 4.6%となっています。

令和３年度調査と比較すると、“よい”の割合が増加しています。



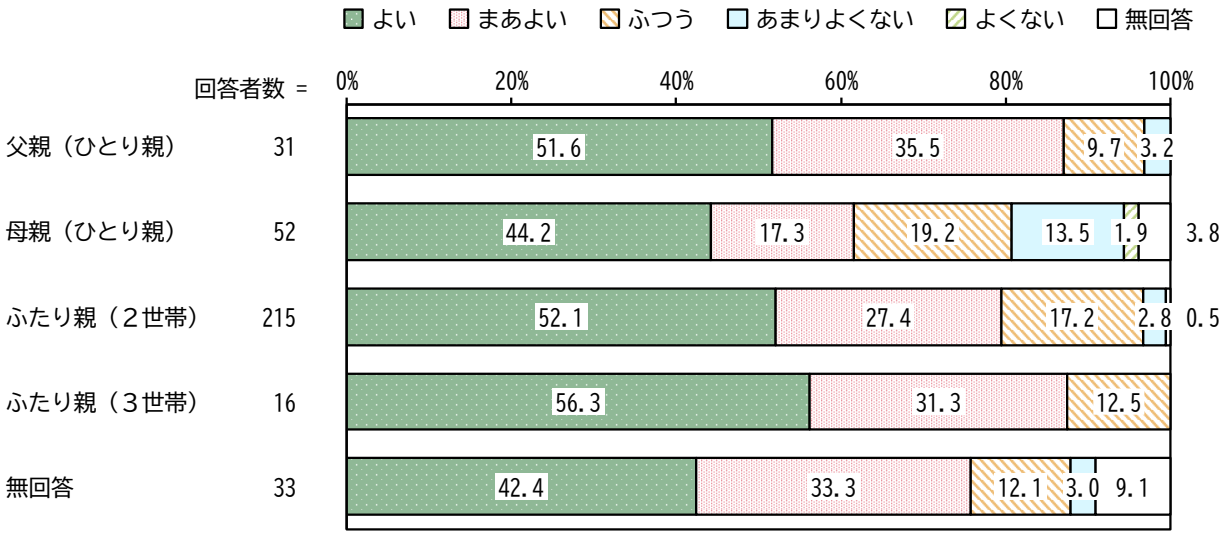
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で“よい”の割合が低くなっています。



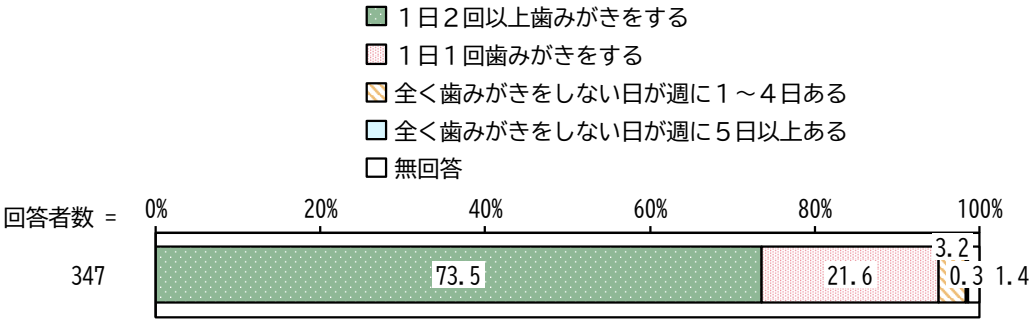
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で“よい”、母親（ひとり親）で“よくない”の割合が高くなっています。



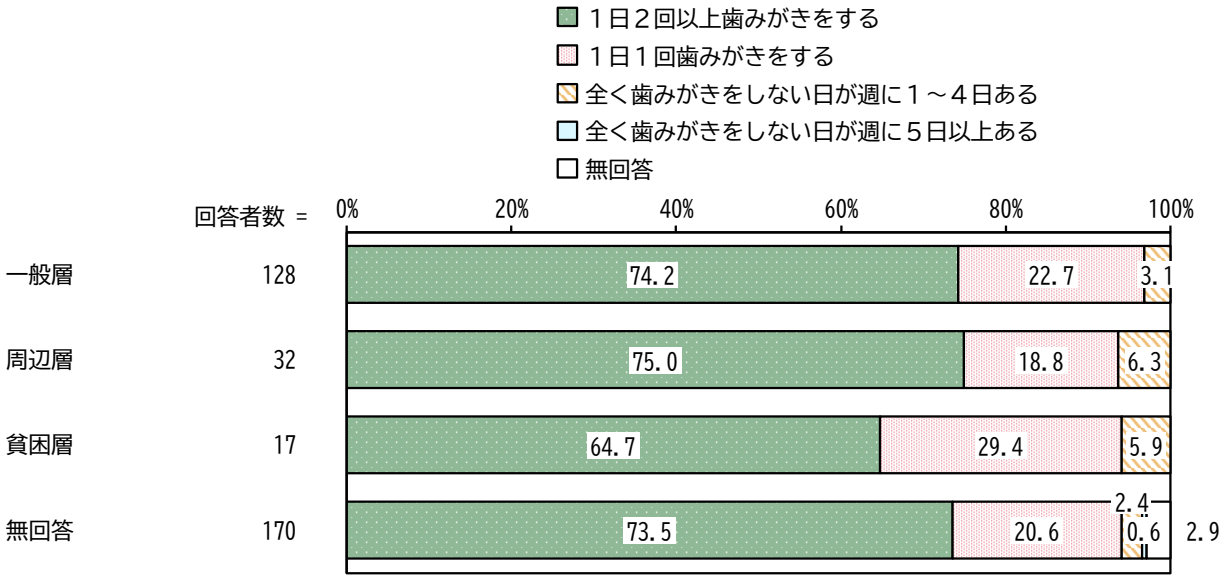
問 24　あなたは、歯みがきをどのくらいしますか。

「１日２回以上歯みがきをする」の割合が 73.5%と最も高く、次いで「１日１回歯みがきをする」の割合が 21.6%となっています。



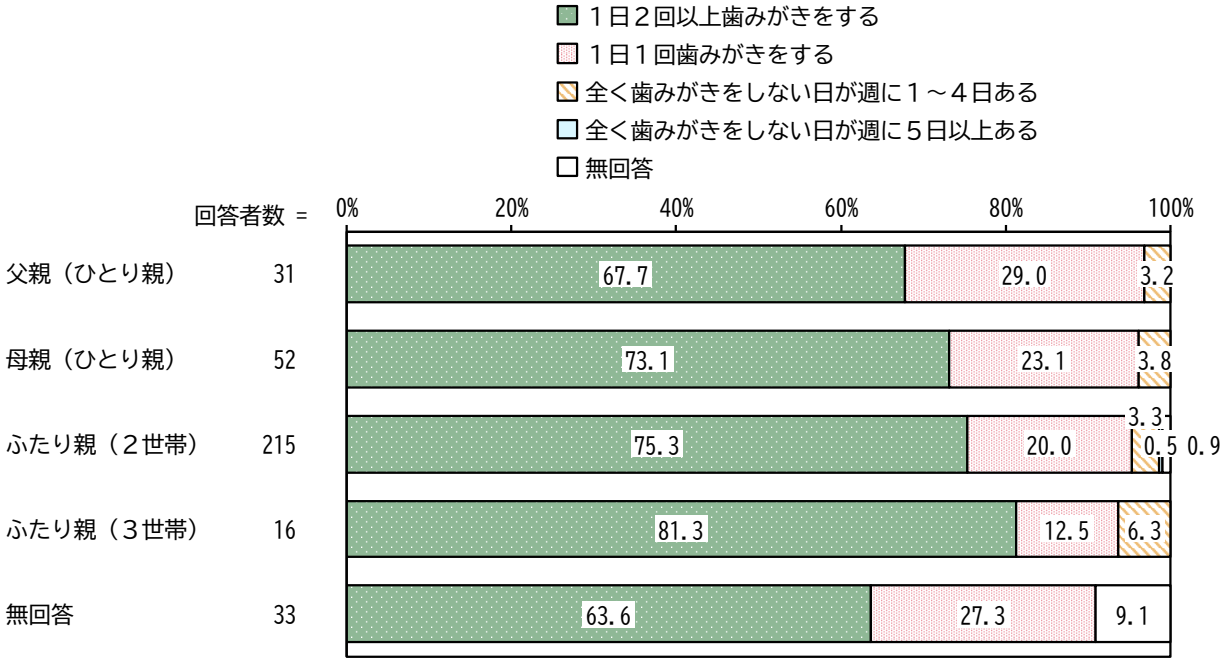
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「１日１回歯みがきをする」の割合が高く、「１日２回以上歯みがきをする」の割合が低くなっています。



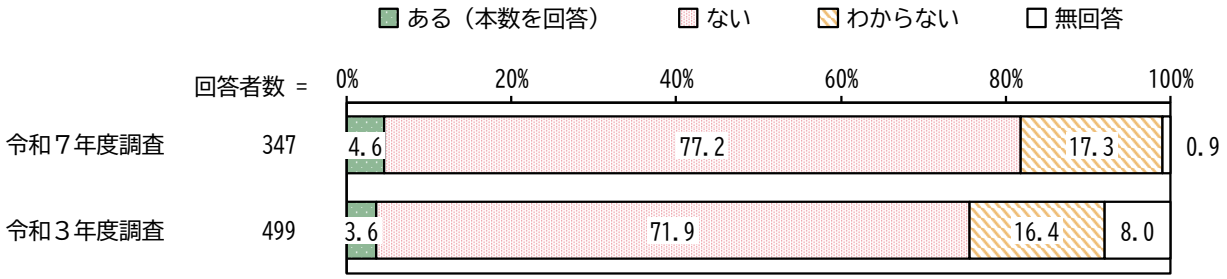
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「１日２回以上歯みがきをする」、父親（ひとり親）で「１日１回歯みがきをする」の割合が高くなっています。

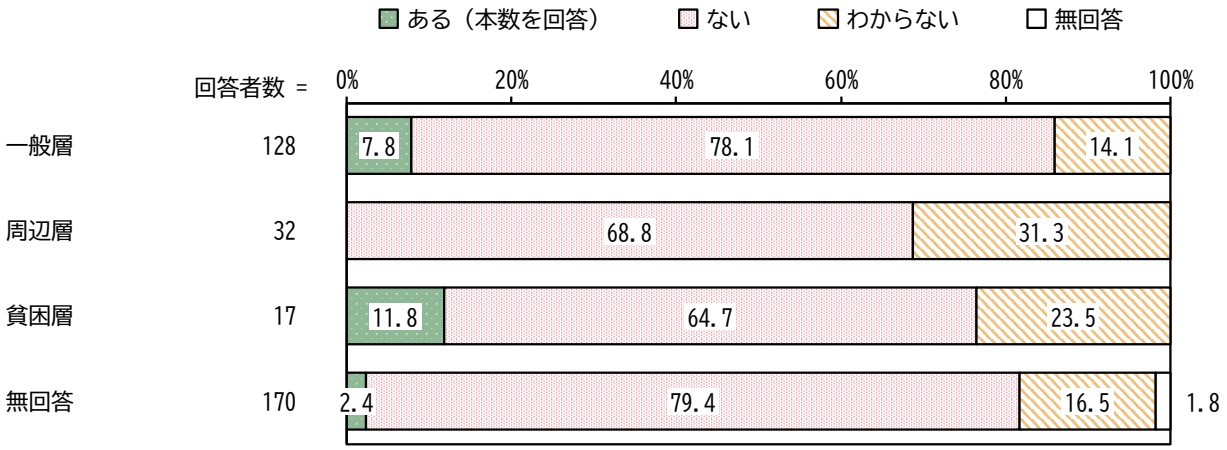


問 25　あなたは、今、虫歯がありますか。ある場合は（　）内に本数もご記入ください。治療中のものもふくみます。（１つに○）

「ある（本数を回答）」の割合が 4.6%、「ない」の割合が 77.2%となっています。
令和３年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。

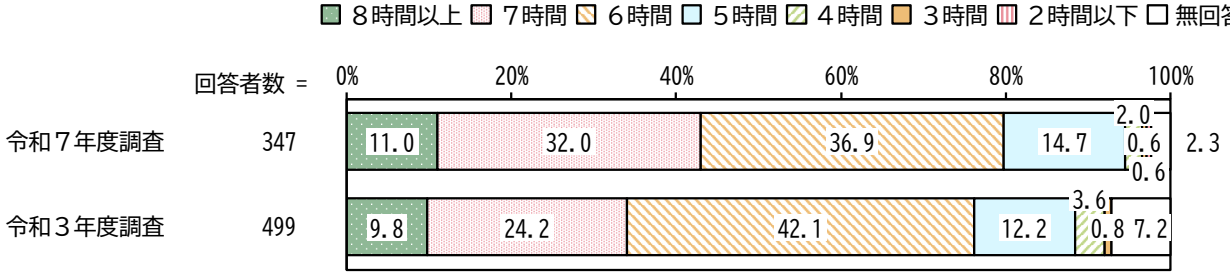


【生活困難度別】
生活困難度別にみると、貧困層で「ない」の割合が低くなっています。



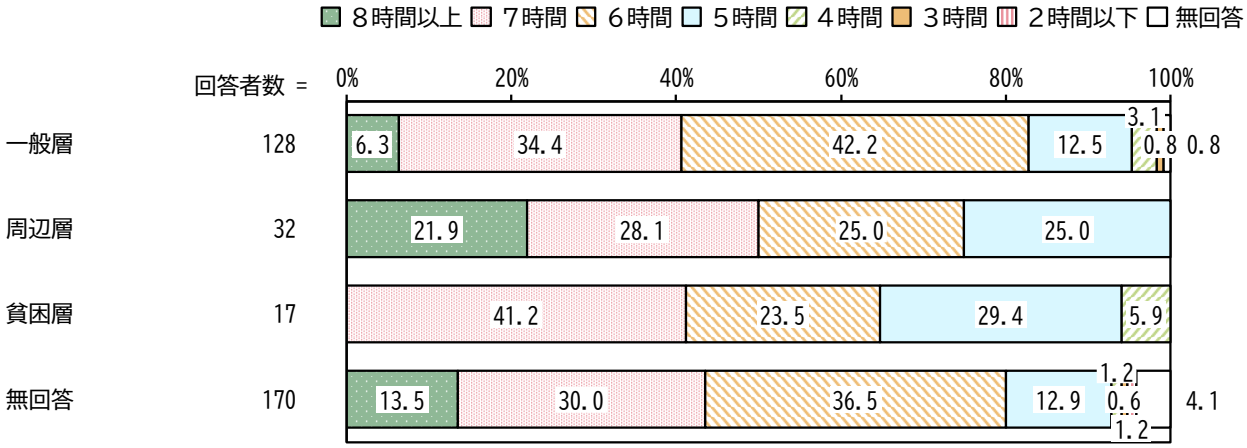
問 26　あなたは、平均して、平日（学校や仕事に行く日）は何時間の睡眠をとっていますか。（１つに○）

「６時間」の割合が 36.9%と最も高く、次いで「７時間」の割合が 32.0%、「５時間」の割合が 14.7%となっています。
令和３年度調査と比較すると、「７時間」の割合が増加しています。一方、「６時間」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

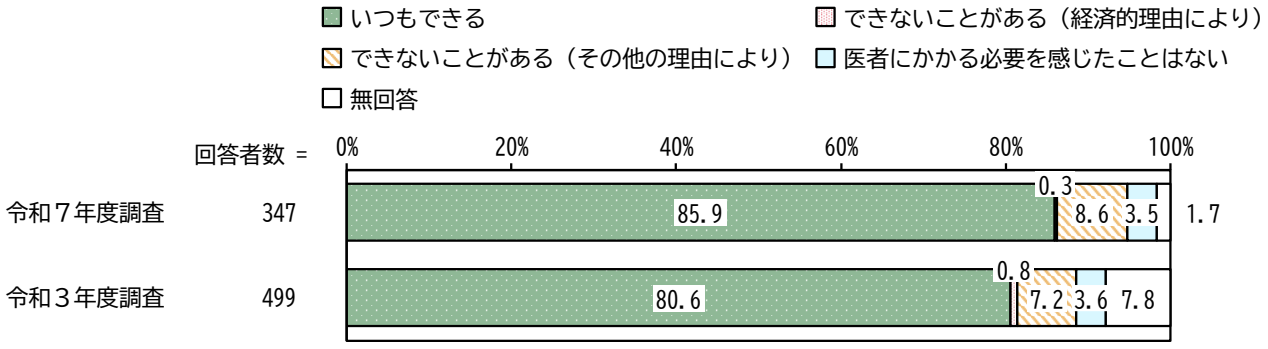
生活困難度別にみると、周辺層で「８時間以上」、貧困層で「５時間」の割合が高く、周辺層、貧困層で「６時間」の割合が低くなっています。



問 27　あなたは、自分が必要と思う時に、医者にかかることができますか。（１つに○）
※学校の定期的な健康診断はのぞいてお答えください。

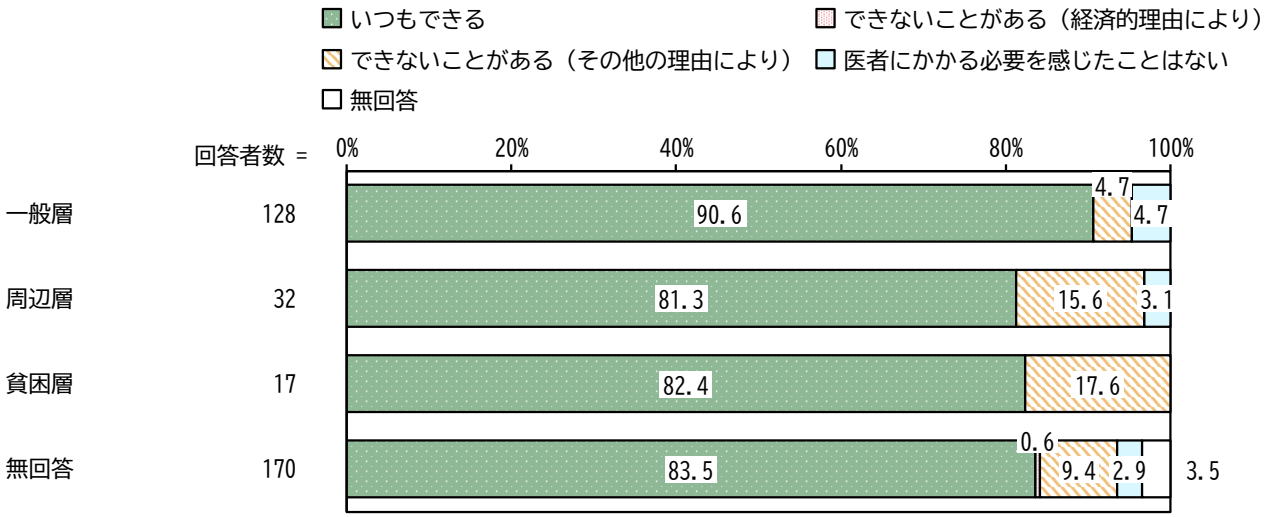
「いつもできる」の割合が 85.9%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、「いつもできる」の割合が増加しています。



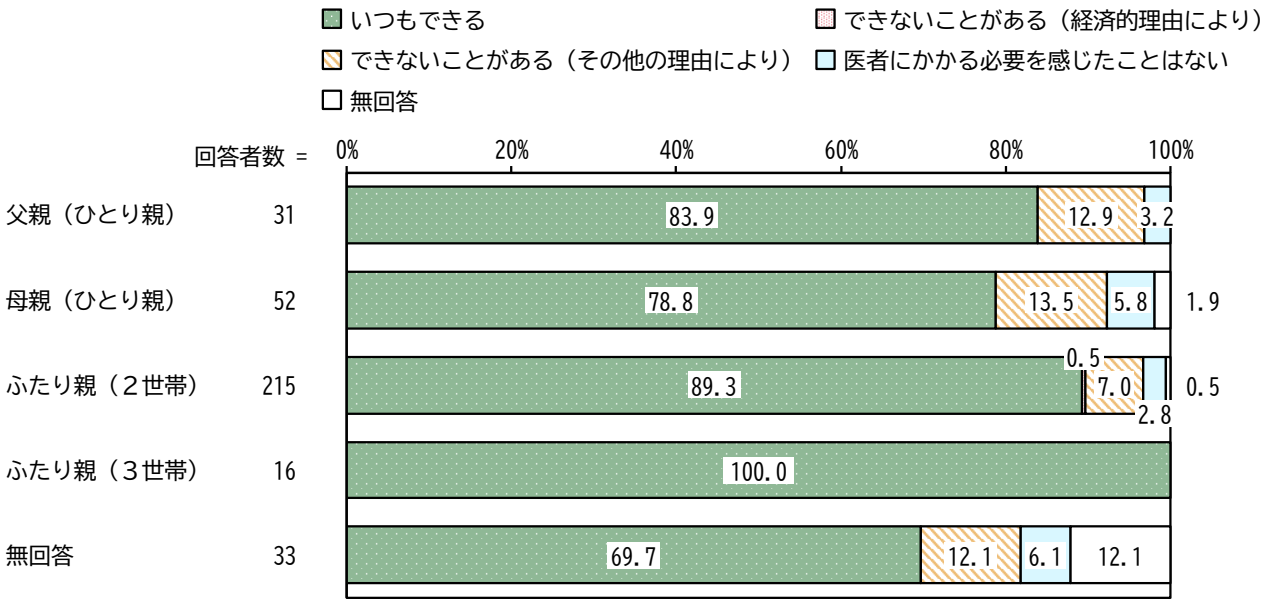
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層、貧困層で「できないことがある（その他の理由により）」の割合が高くなっています。



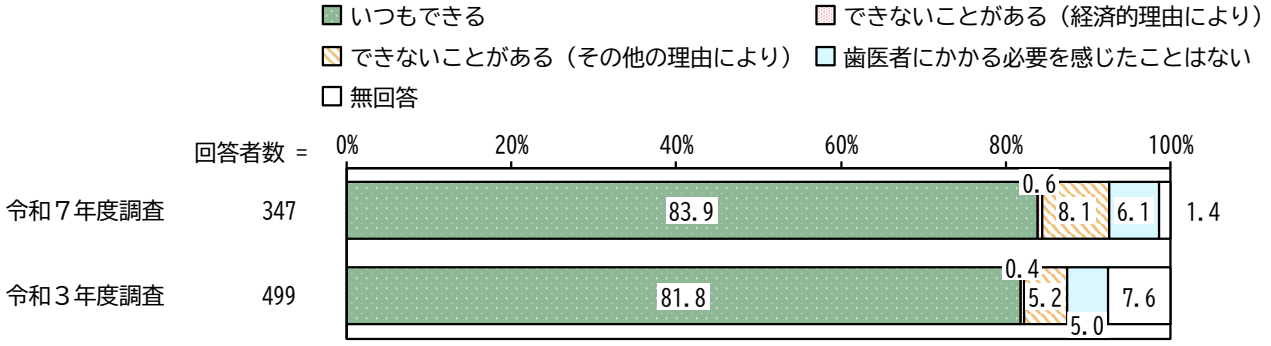
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、大きな差はみられません。

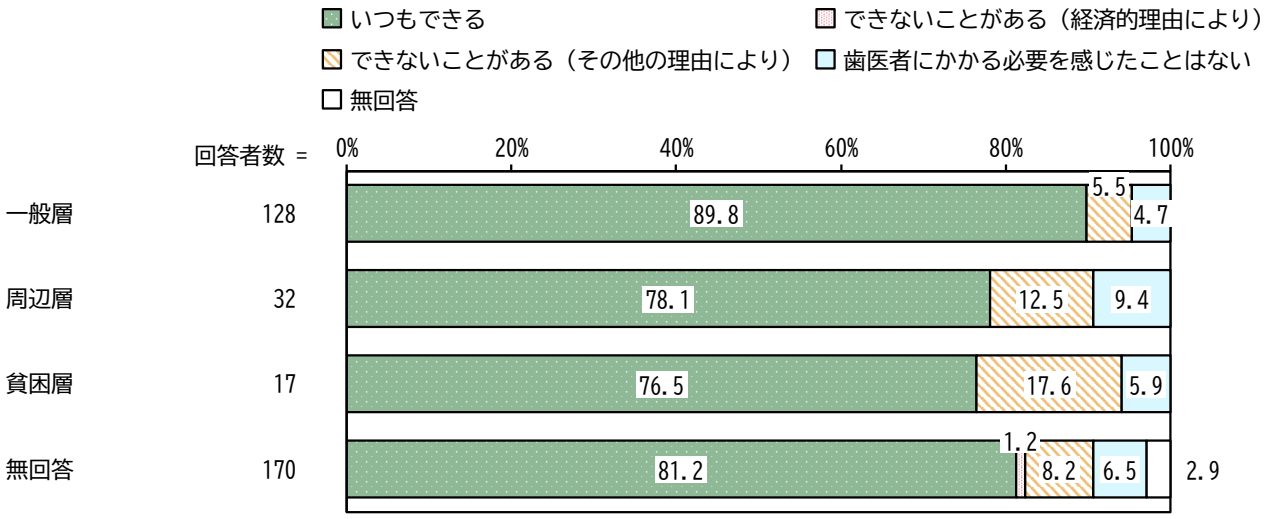


問 28　あなたは、自分が必要と思う時に、歯医者にかかることができますか。（１つに○）
※学校の歯科検診はのぞいてお答えください。

「いつもできる」の割合が 83.9%と最も高くなっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

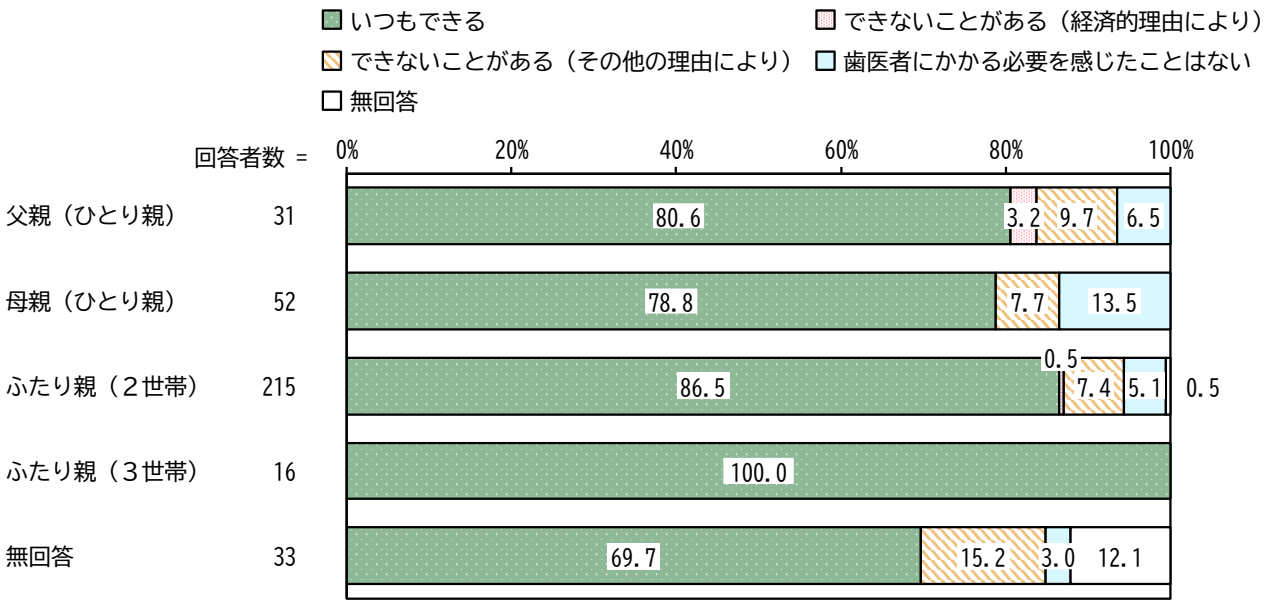


【生活困難度別】
生活困難度別にみると、一般層で「いつもできる」、貧困層で「できないことがある（その他の理由により）」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

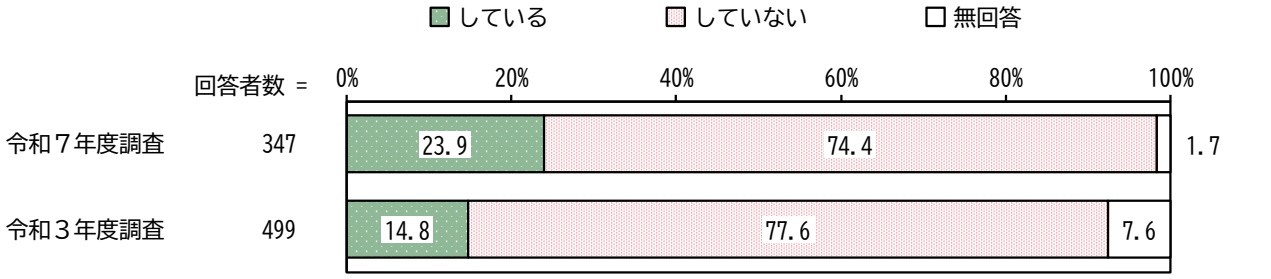
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「歯医者にかかる必要を感じたことはない」の割合が高くなっています。



問 29　あなたのお仕事の状況（学生のアルバイトを含む）を教えてください。あなたは収入を伴う仕事（学生のアルバイトを含む）をしていますか。（１つに○）

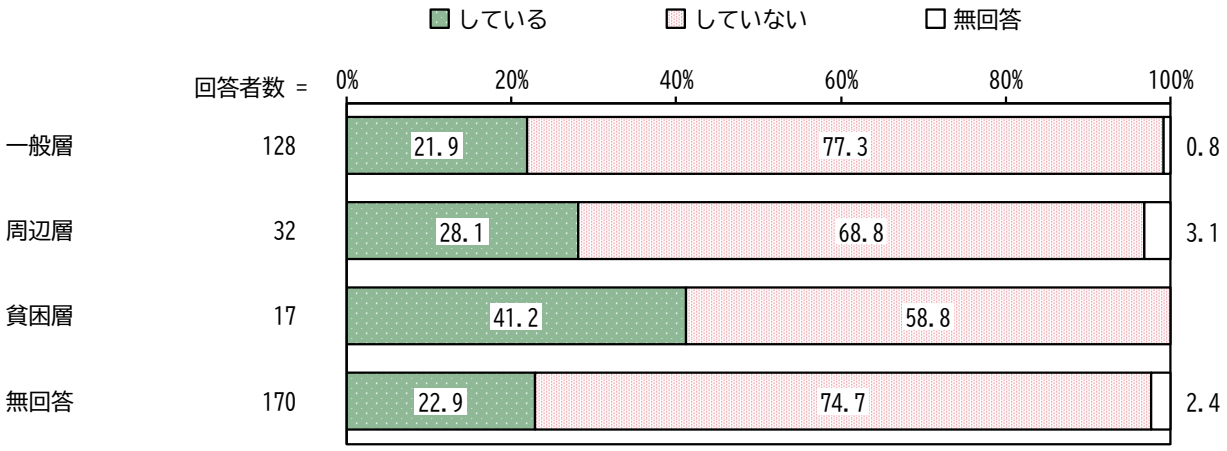
「している」の割合が 23.9%、「していない」の割合が 74.4%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「している」の割合が増加しています。



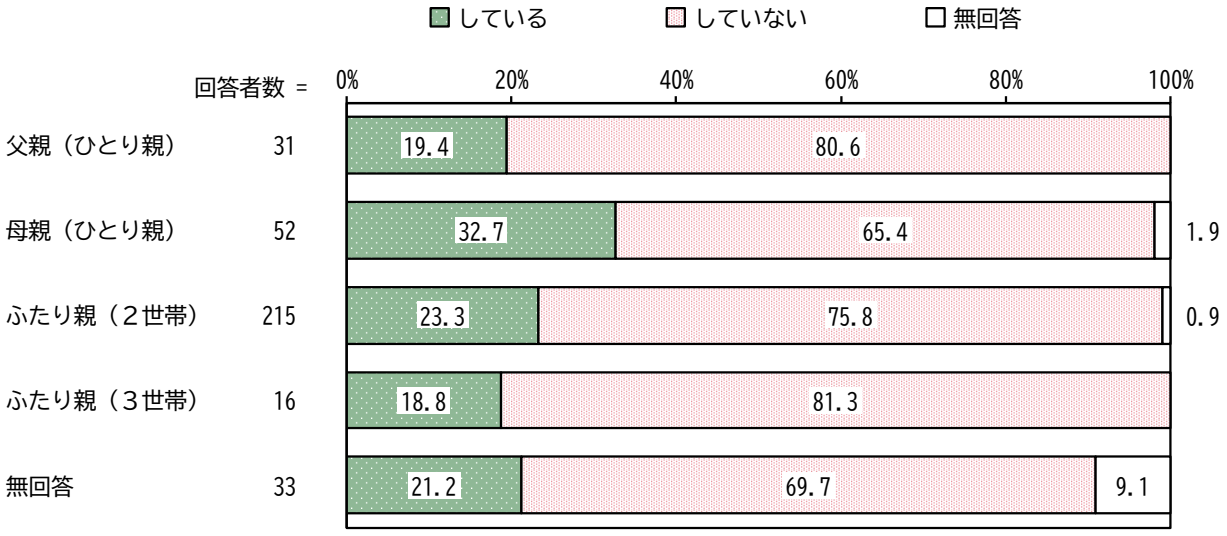
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「している」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

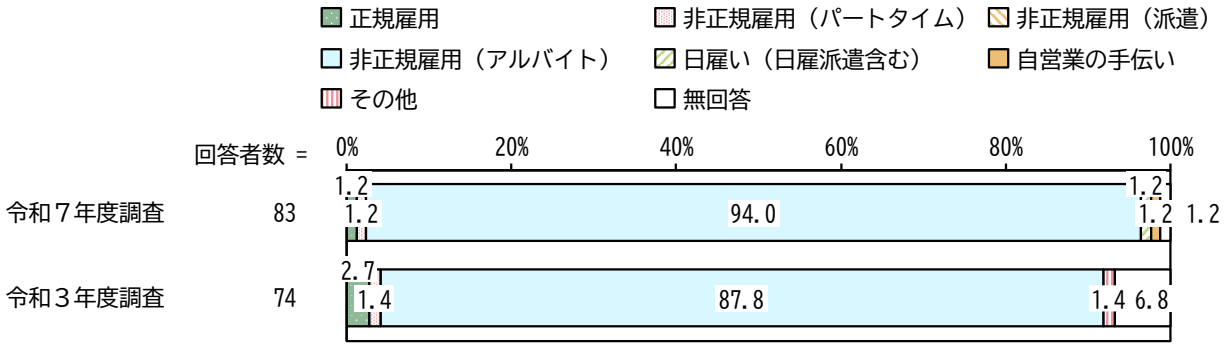
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「している」、父親（ひとり親）、ふたり親（３世帯）で「していない」の割合が高くなっています。



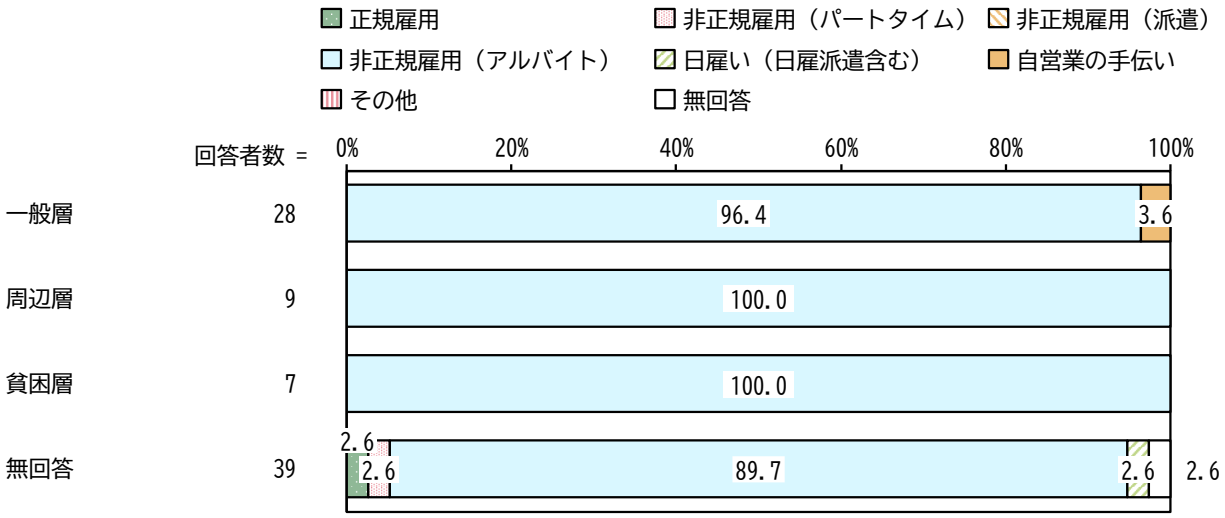
問 29 で収入を伴う仕事を「している」を選んだ方にお聞きします。

問 29－１　あなたの現在のお仕事の雇用形態を教えてください。複数のお仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてお答えください。（１つに○）

「非正規雇用（アルバイト）」の割合が 94.0%と最も高くなっています。
令和３年度調査と比較すると、「非正規雇用（アルバイト）」の割合が増加しています。



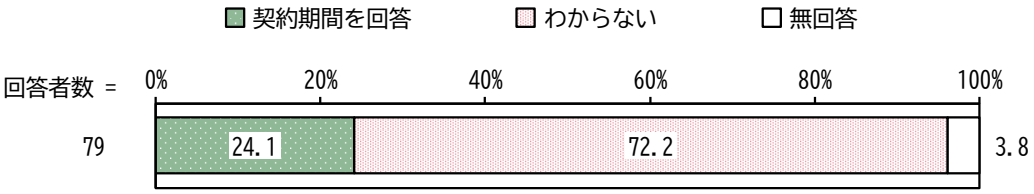
【生活困難度別】
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



問 29－１で非正規雇用と答えた方にお聞きします。

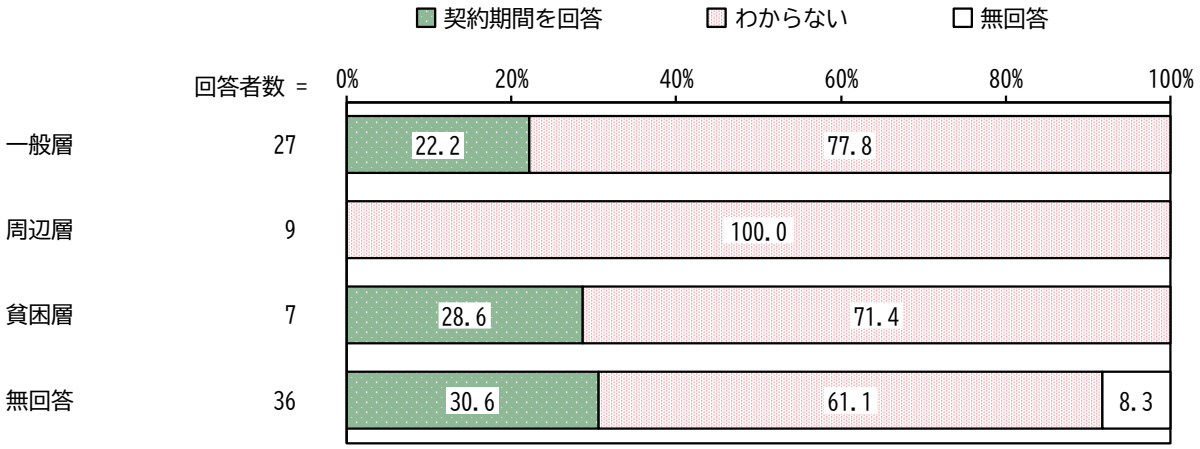
問 29－２　あなたの、現在のお仕事の契約期間を教えてください。契約期間がはっきりしない人は、「わからない」に○をつけてください。

「契約期間を回答」の割合が 24.1%となっています。



【生活困難度別】

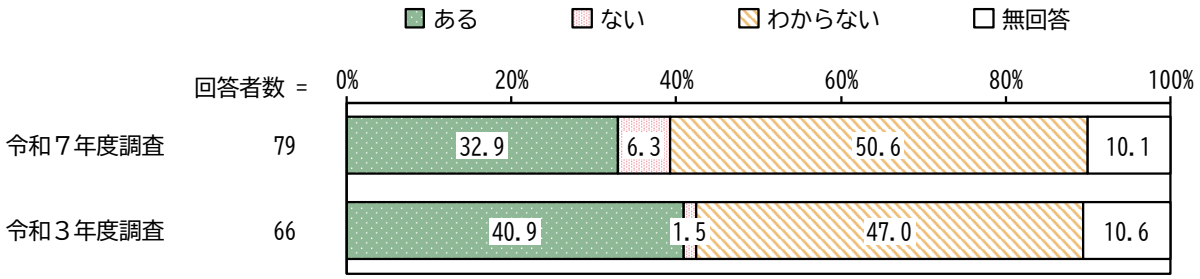
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



問 29－３　現在のお仕事の契約期間が満了した場合、契約更新はありますか。（１つに○）

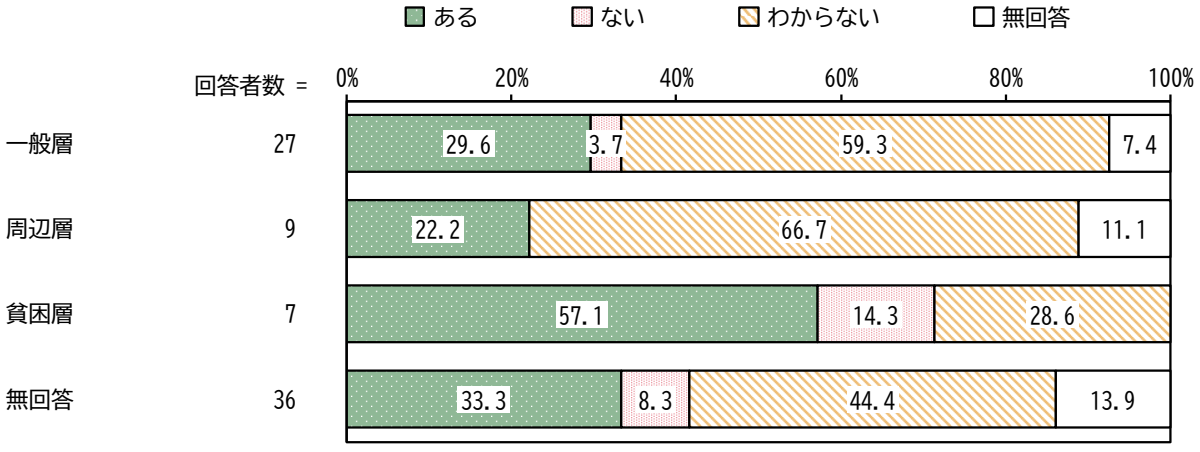
「ある」の割合が 32.9%、「ない」の割合が 6.3%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。



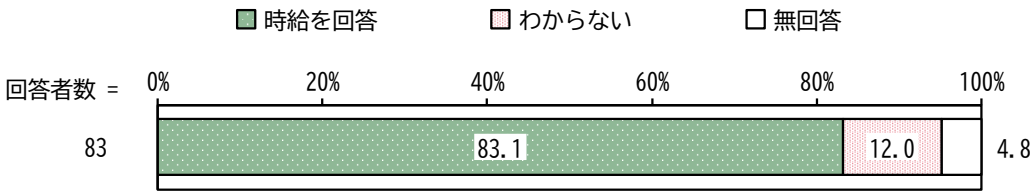
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



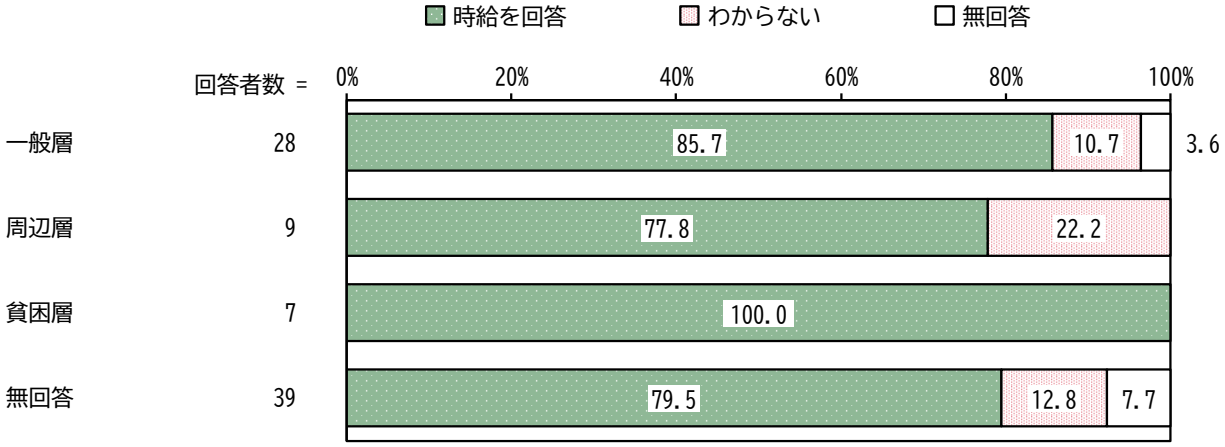
問 29－５　時給にすると、どれくらいになりますか。わからない場合は、「わからない」に○をつけてください。

「時給を回答」の割合が 83.1%となっています。



【生活困難度別】

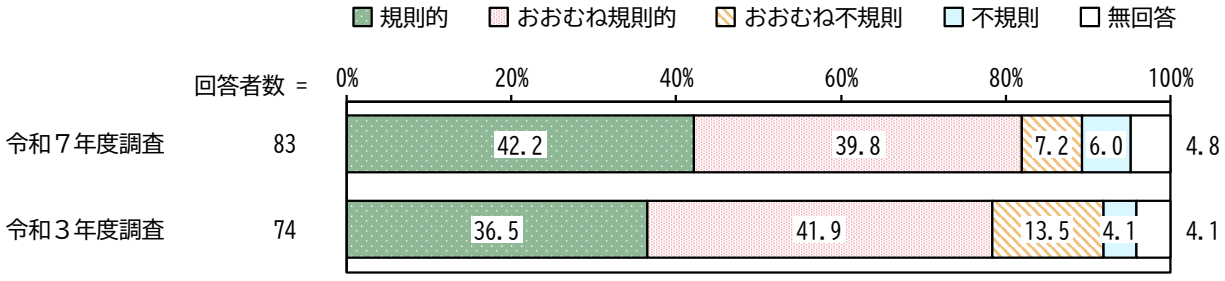
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



問 29－７　勤務時間は、規則的ですか。（１つに○）

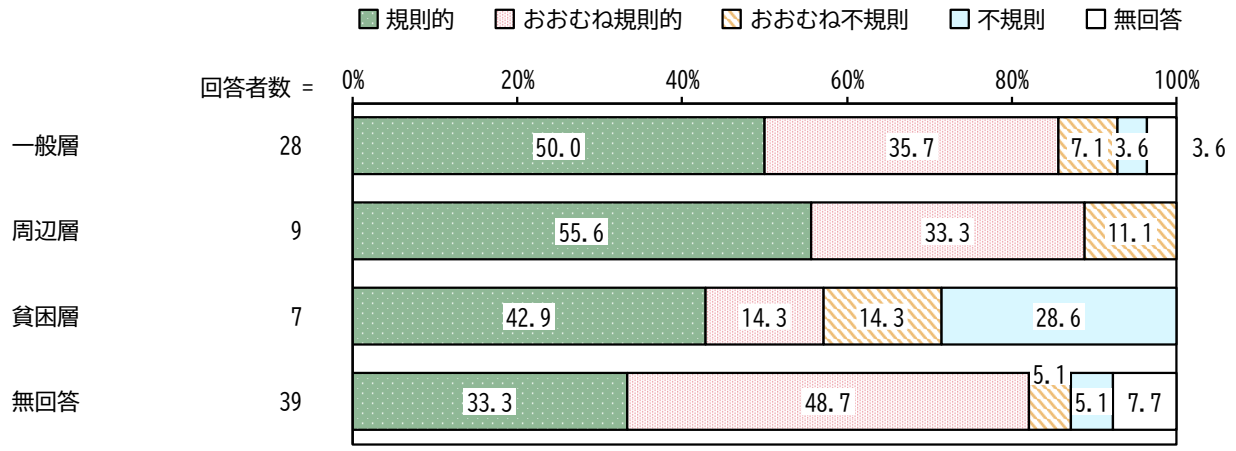
「規則的」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「おおむね規則的」の割合が 39.8%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「規則的」の割合が増加しています。一方、「おおむね不規則」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

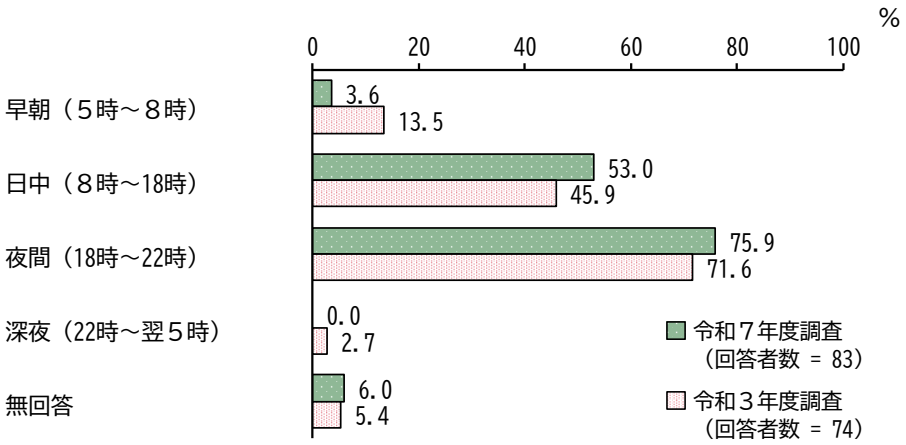
生活困難度別にみると、一般層で「規則的」の割合が高くなっています。



問 29－８　あなたが、普段働いている時間帯は、次のどれにあたりますか。
（あてはまる番号すべてに○）

「夜間（18 時～22 時）」の割合が 75.9%と最も高く、次いで「日中（８時～18 時）」の割合が 53.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「日中（８時～18 時）」の割合が増加しています。一方、「早朝（５時～８時）」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、一般層で「夜間（18 時～22 時）」の割合が高くなっています。

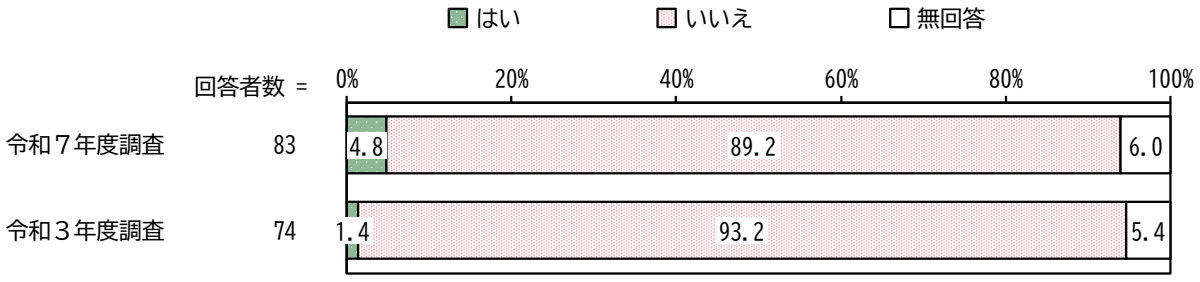
単位：％

区分	回答者数（件）	早朝（5時～8時）	日中（8時～18時）	夜間（18時～22時）	深夜（22時～翌5時）	無回答
全　体	83	3.6	53.0	75.9	0.0	6.0
一般層	28	3.6	53.6	85.7	0.0	3.6
周辺層	9	11.1	77.8	66.7	0.0	0.0
貧困層	7	14.3	85.7	71.4	0.0	0.0
無回答	39	0.0	41.0	71.8	0.0	10.3

問 29－９　あなたは現在、生活費を同居または別居の家族に渡していますか。（１つに○）

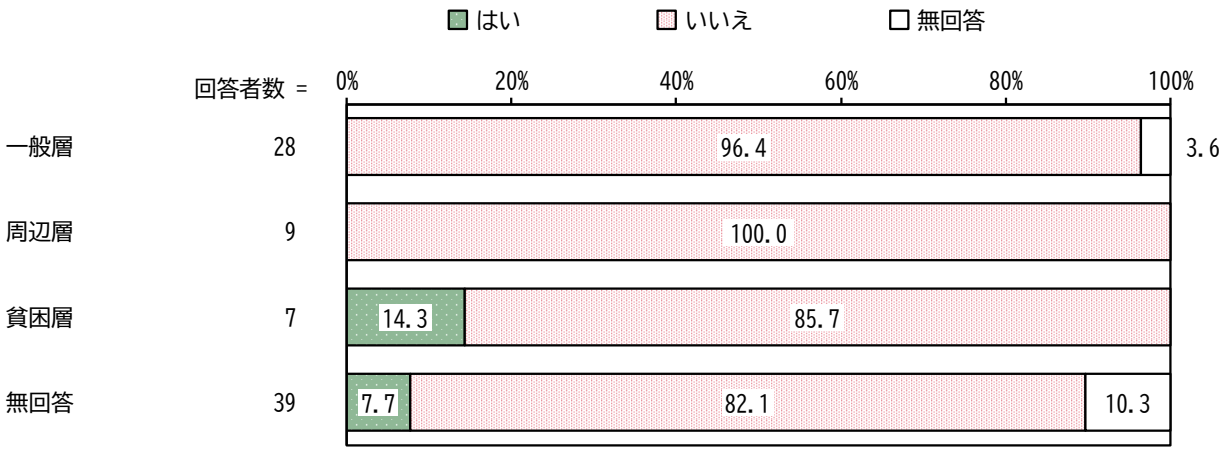
「はい」の割合が 4.8%、「いいえ」の割合が 89.2%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、一般層で「いいえ」の割合が高くなっています。



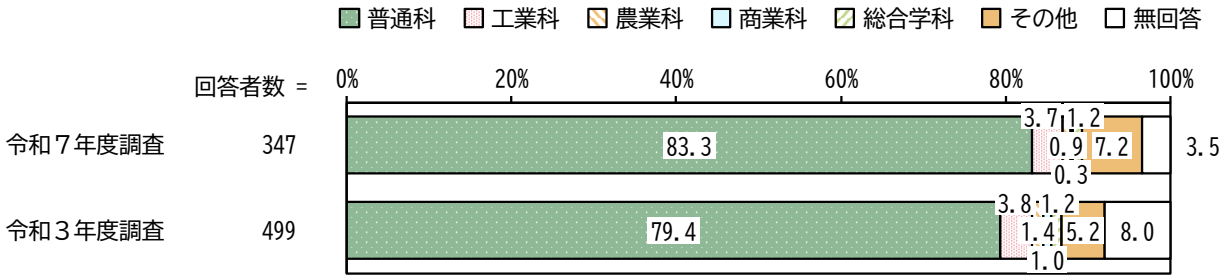
現在、高等学校・専門学校（中学校卒業後に進学の学校）に在籍している方、在籍したことのある方にお聞きします。

※中学校卒業以降、学校に在籍していない方は問 39 へお進みください。

問 30　あなたが在籍している（していた）学科はどれにあたりますか。（１つに○）

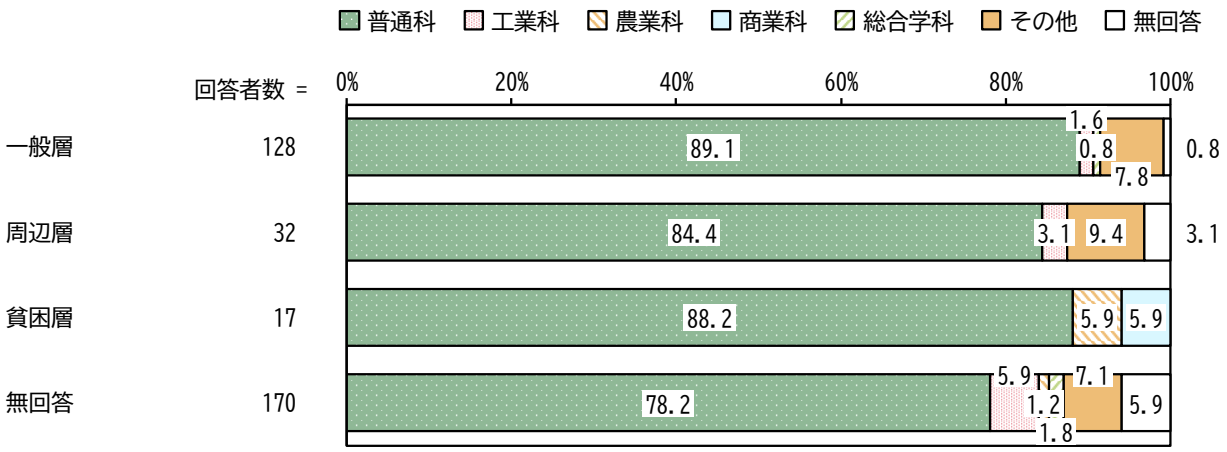
「普通科」の割合が 83.3%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

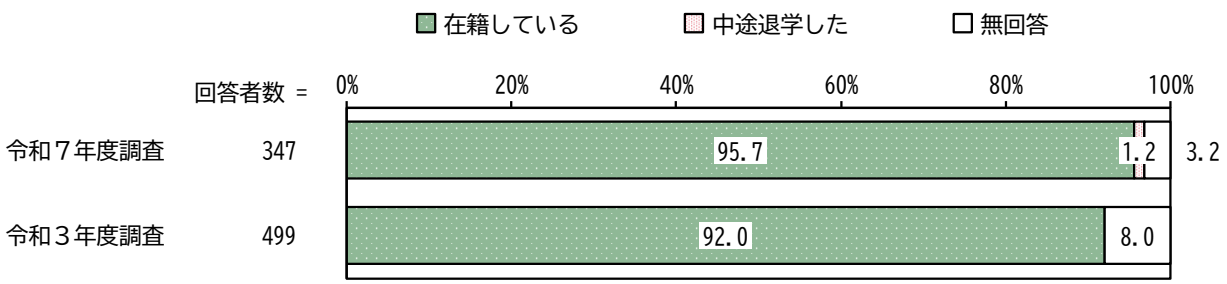
生活困難度別にみると、一般層で「普通科」、貧困層で「農業科」「商業科」の割合が高くなっています。



問 31　その学校に、今も在籍していますか。中途退学した場合、最後に通った学期はいつですか。（１つに○、「中途退学した」を選んだ方は数値を記載ください）

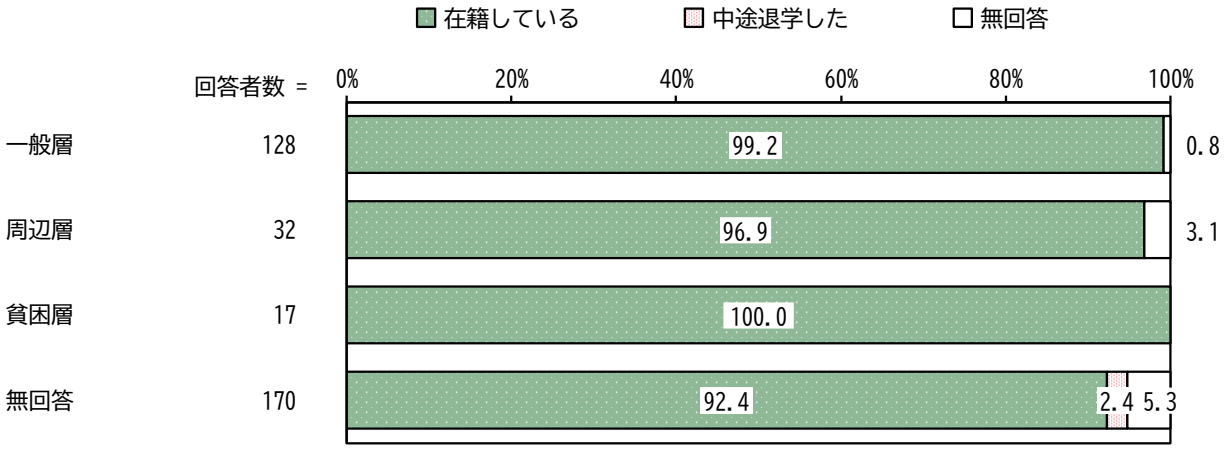
「在籍している」の割合が 95.7%、「中途退学した」の割合が 1.2%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

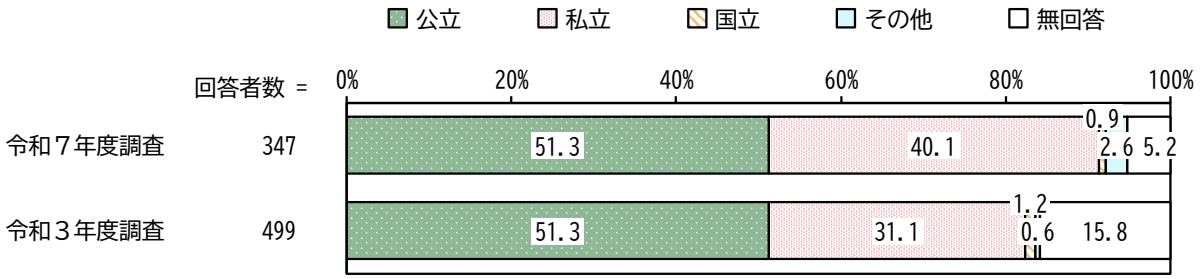
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



問 32　在籍している（していた）学校の設置者はどちらですか。（１つに○）

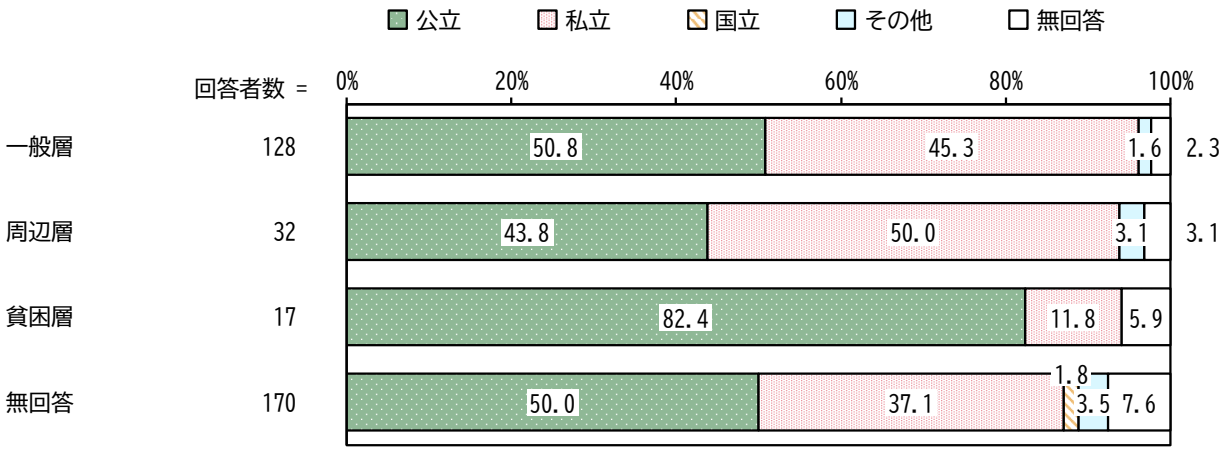
「公立」の割合が 51.3%、「私立」の割合が 40.1%、「国立」の割合が 0.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「私立」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

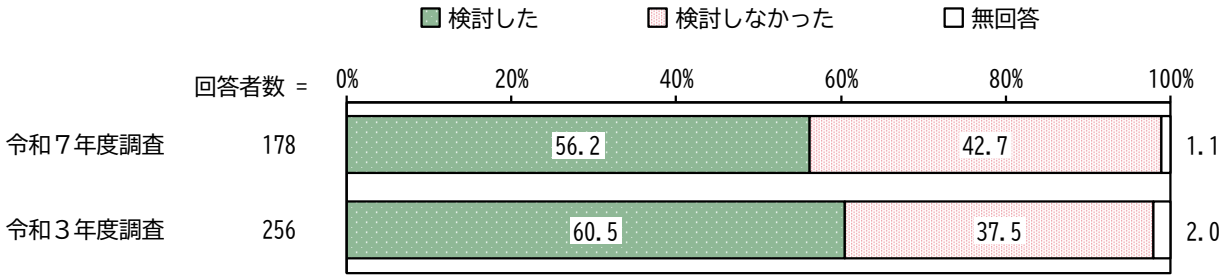
生活困難度別にみると、貧困層で「公立」の割合が高く、「私立」の割合が低くなっています。



問 32 で「公立」を選んだ方にお聞きします。

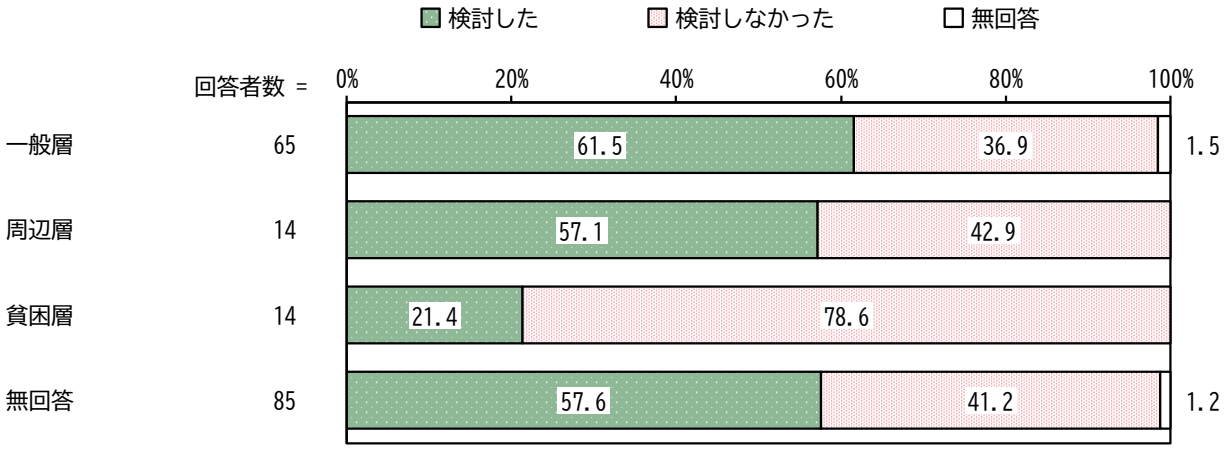
問 32－１　進学の際に、私立高校に行くことを、検討しましたか。（１つに○）

「検討した」の割合が 56.2%、「検討しなかった」の割合が 42.7%となっています。
令和３年度調査と比較すると、「検討しなかった」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

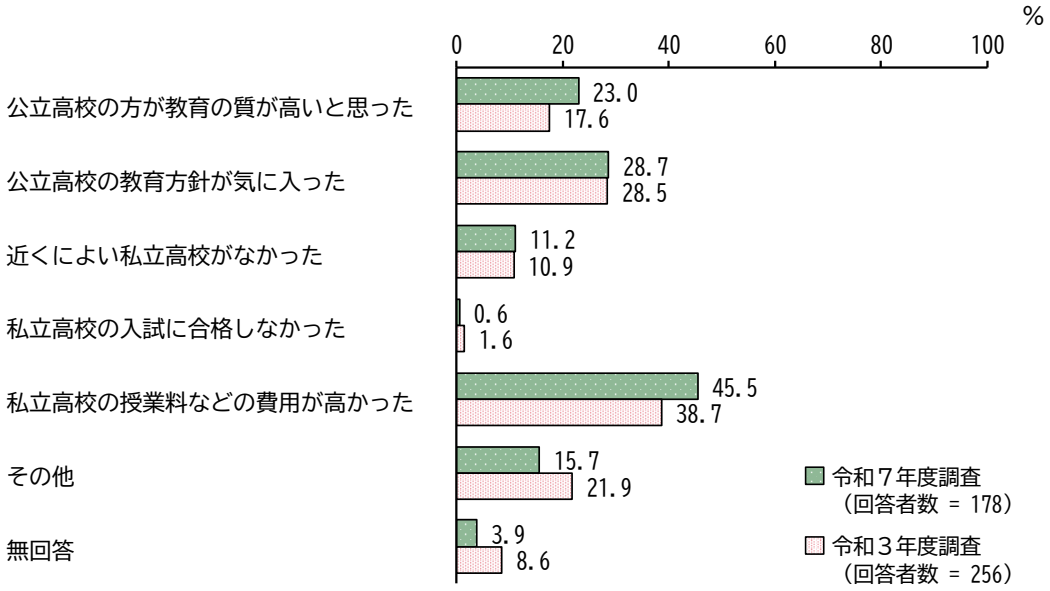
生活困難度別にみると、貧困層で「検討しなかった」の割合が高くなっています。



問 32－２　公立の高等学校に進学したのは、なぜですか。（あてはまる番号すべてに○）

「私立高校の授業料などの費用が高かった」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「公立高校の教育方針が気に入った」の割合が 28.7%、「公立高校の方が教育の質が高いと思った」の割合が 23.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「公立高校の方が教育の質が高いと思った」「私立高校の授業料などの費用が高かった」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、一般層で「公立高校の教育方針が気に入った」「近くによい私立高校がなかった」、貧困層で「私立高校の授業料などの費用が高かった」の割合が高くなっています。

単位：%

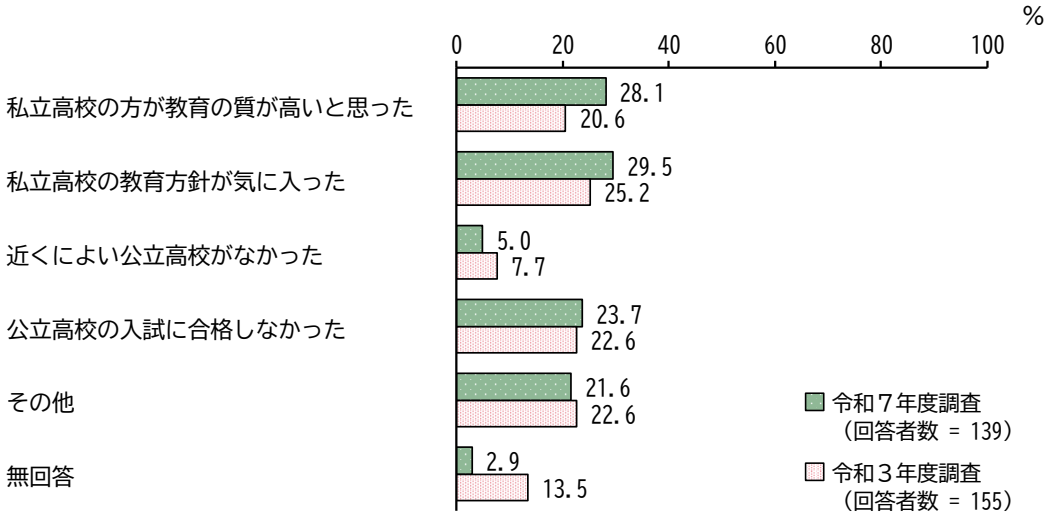
区分	回答者数（件）	公立高校の方が教育の質が高いと思った	公立高校の教育方針が気に入った	近くによい私立高校がなかった	私立高校の入試に合格しなかった	私立高校の授業料などの費用が高かった	その他	無回答
全　体	178	23.0	28.7	11.2	0.6	45.5	15.7	3.9
一般層	65	16.9	33.8	20.0	0.0	50.8	18.5	3.1
周辺層	14	21.4	14.3	7.1	0.0	57.1	14.3	0.0
貧困層	14	21.4	7.1	7.1	0.0	78.6	7.1	7.1
無回答	85	28.2	30.6	5.9	1.2	34.1	15.3	4.7

問 32 で「私立」を選んだ方にお聞きします。

問 32－３　私立の高等学校に進学したのは、なぜですか。（あてはまる番号すべてに○）

「私立高校の教育方針が気に入った」の割合が 29.5%と最も高く、次いで「私立高校の方が教育の質が高いと思った」の割合が 28.1%、「公立高校の入試に合格しなかった」の割合が 23.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「私立高校の方が教育の質が高いと思った」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、一般層で「公立高校の入試に合格しなかった」の割合が高く、周辺層で「私立高校の方が教育の質が高いと思った」「近くによい公立高校がなかった」の割合が高くなっています。

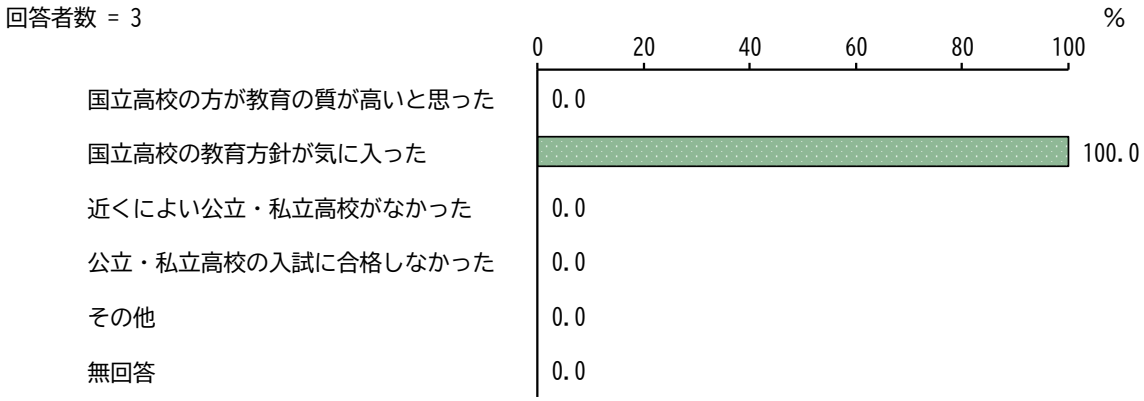
単位：%

区分	回答者数（件）	私立高校の方が教育の質が高いと思った	私立高校の教育方針が気に入った	近くによい公立高校がなかった	公立高校の入試に合格しなかった	その他	無回答
全　体	139	28.1	29.5	5.0	23.7	21.6	2.9
一般層	58	25.9	29.3	5.2	25.9	24.1	1.7
周辺層	16	43.8	31.3	12.5	6.3	25.0	6.3
貧困層	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	63	25.4	28.6	3.2	27.0	19.0	3.2

問 32 で「国立」を選んだ方にお聞きします。

問 32－４　国立の高等学校に進学したのは、なぜですか。（あてはまる番号すべてに○）

「国立高校の教育方針が気に入った」が３件となっています。



【生活困難度別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。

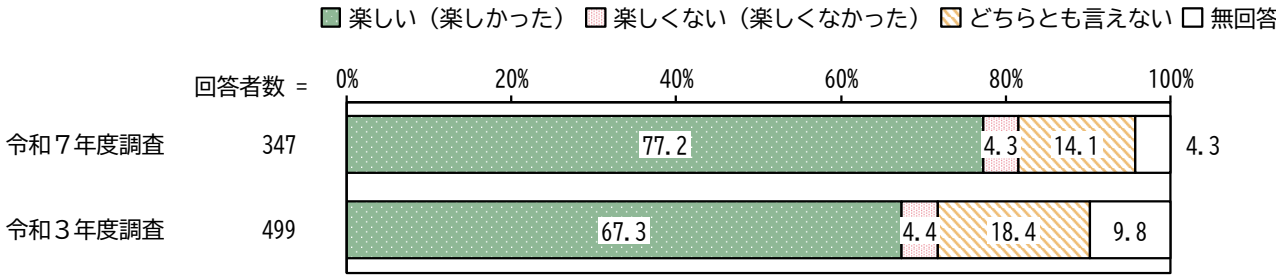
単位：%

区分	回答者数（件）	国立高校の方が教育の質が高いと思った	国立高校の教育方針が気に入った	近くによい公立・私立高校がなかった	公立・私立高校の入試に合格しなかった	その他	無回答
全　体	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般層	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
周辺層	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
貧困層	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 33　問 32 の学校は、あなたにとって楽しい（楽しかった）ですか。（１つに○）

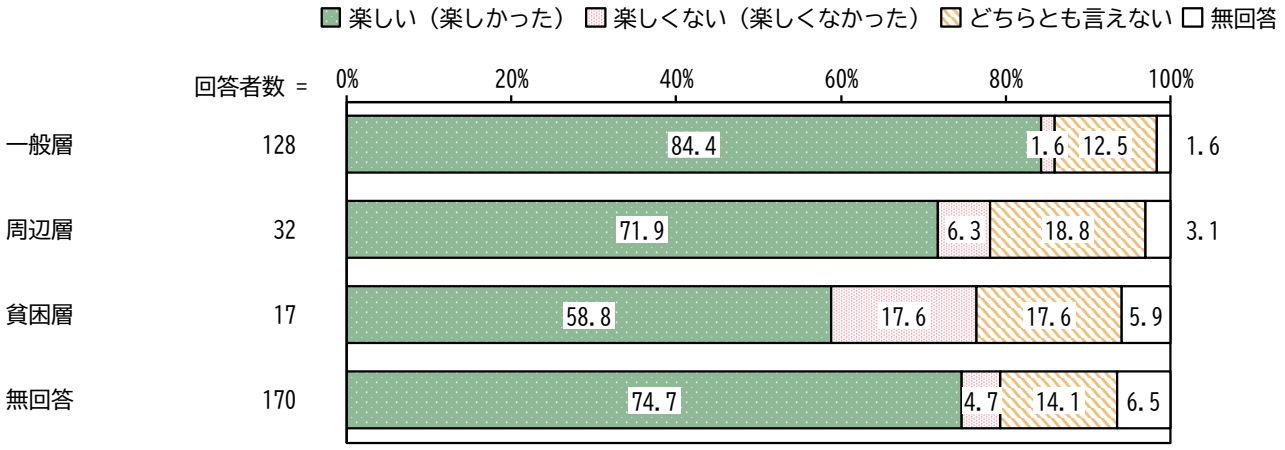
「楽しい（楽しかった）」の割合が 77.2%、「楽しくない（楽しくなかった）」の割合が 4.3%、「どちらとも言えない」の割合が 14.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「楽しい（楽しかった）」の割合が増加しています。



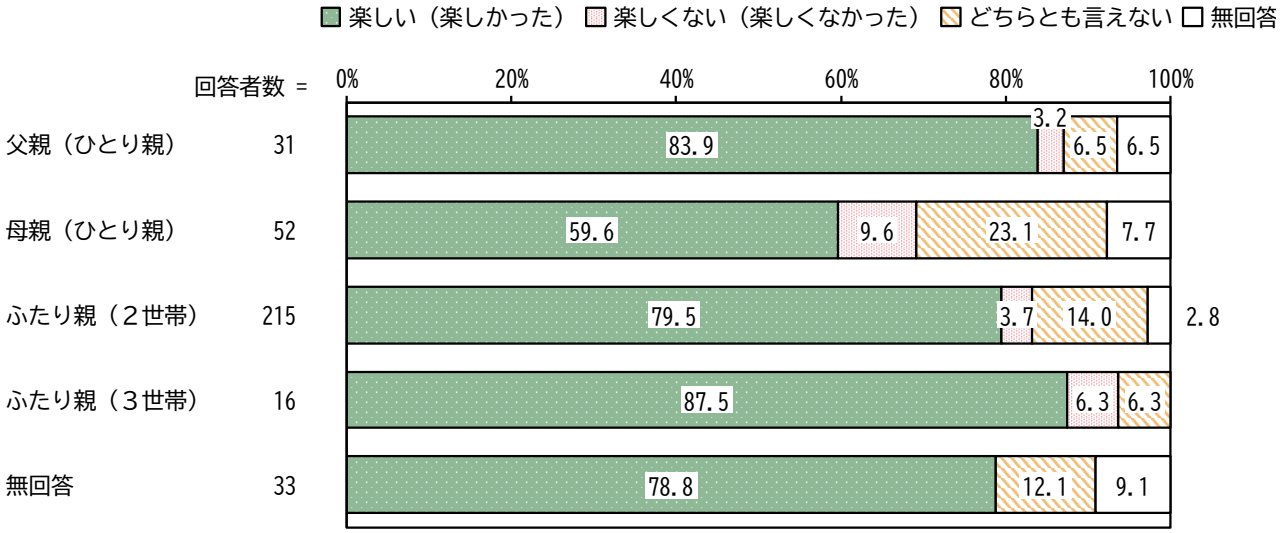
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「楽しくない（楽しくなかった）」の割合が高く、「楽しい（楽しかった）」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

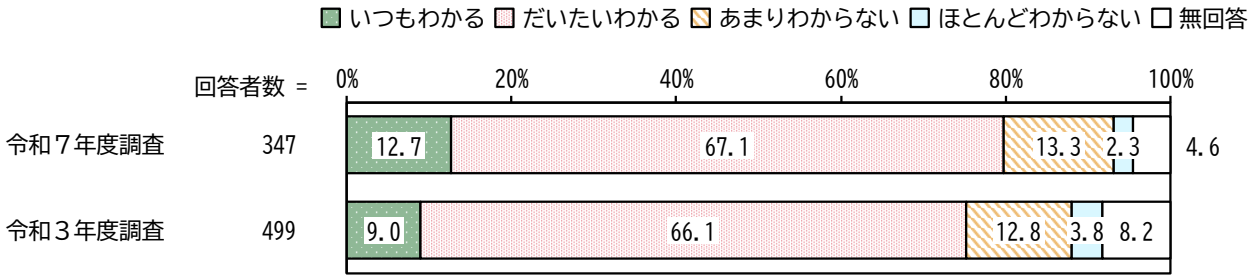
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「楽しい（楽しかった）」、母親（ひとり親）で「楽しくない（楽しくなかった）」「どちらとも言えない」の割合が高くなっています。



問 34　あなたは、学校の授業でわからないことがありますか。（１つに○）

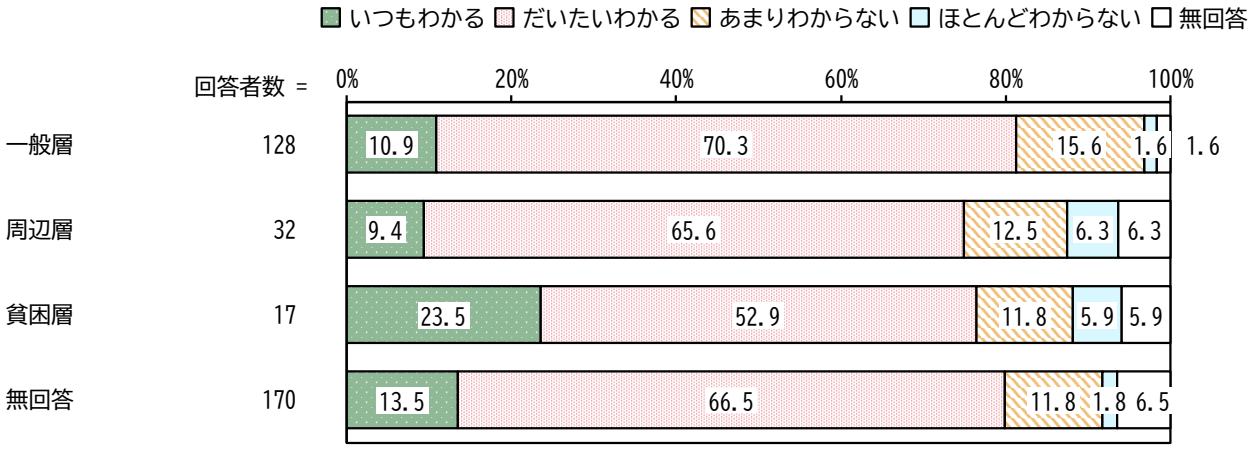
「いつもわかる」「だいたいわかる」を合わせた“わかる”の割合が 79.8%、「あまりわからない」「ほとんどわからない」を合わせた“わからない”の割合が 15.6%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



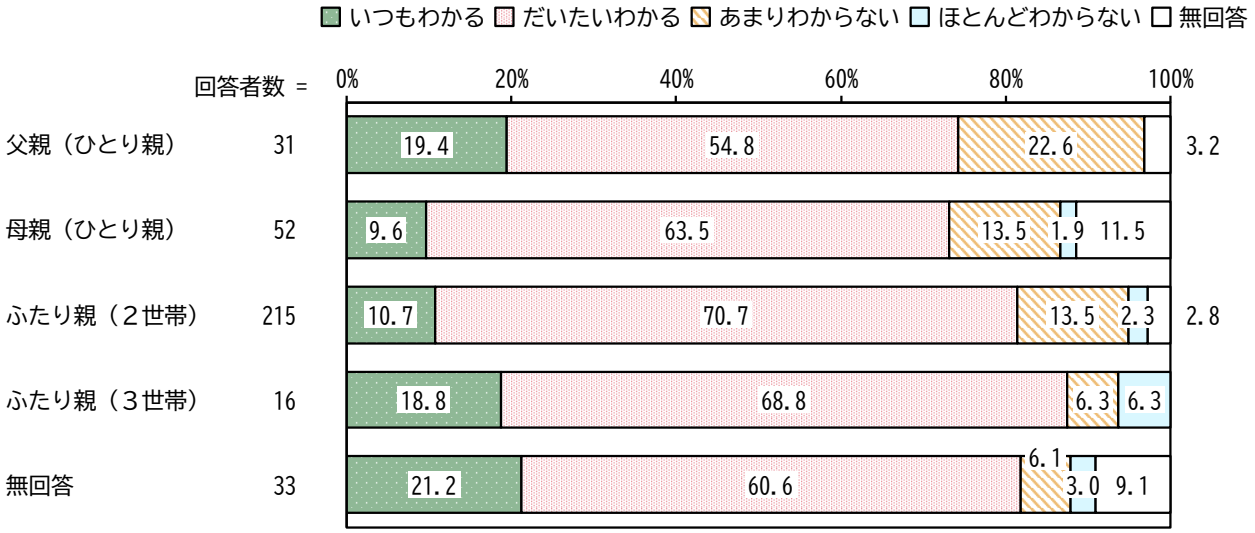
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「いつもわかる」の割合が高く、「だいたいわかる」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で“わかる”、父親（ひとり親）で“わからない”の割合が高くなっています。

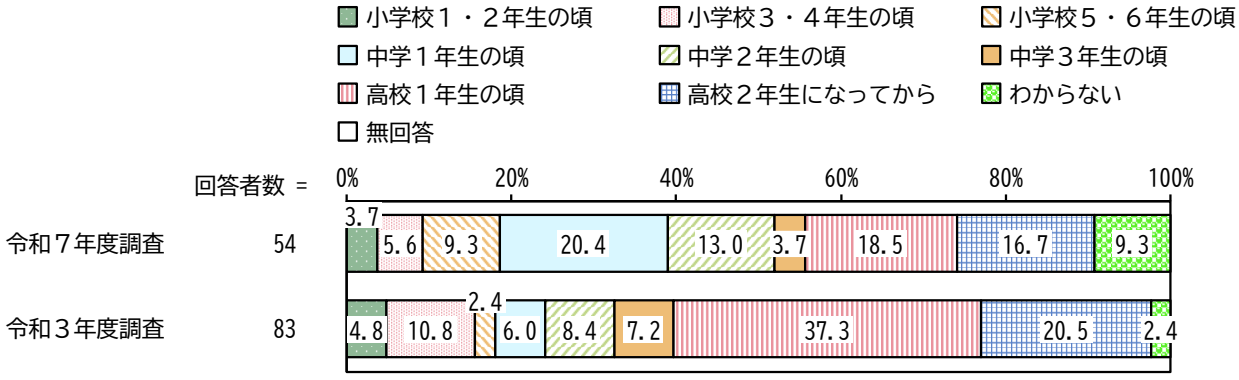


問 34 で学校の授業が「あまりわからない」、または「ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

問 34－１　いつごろから、授業がわからなくなりましたか。（１つに○）

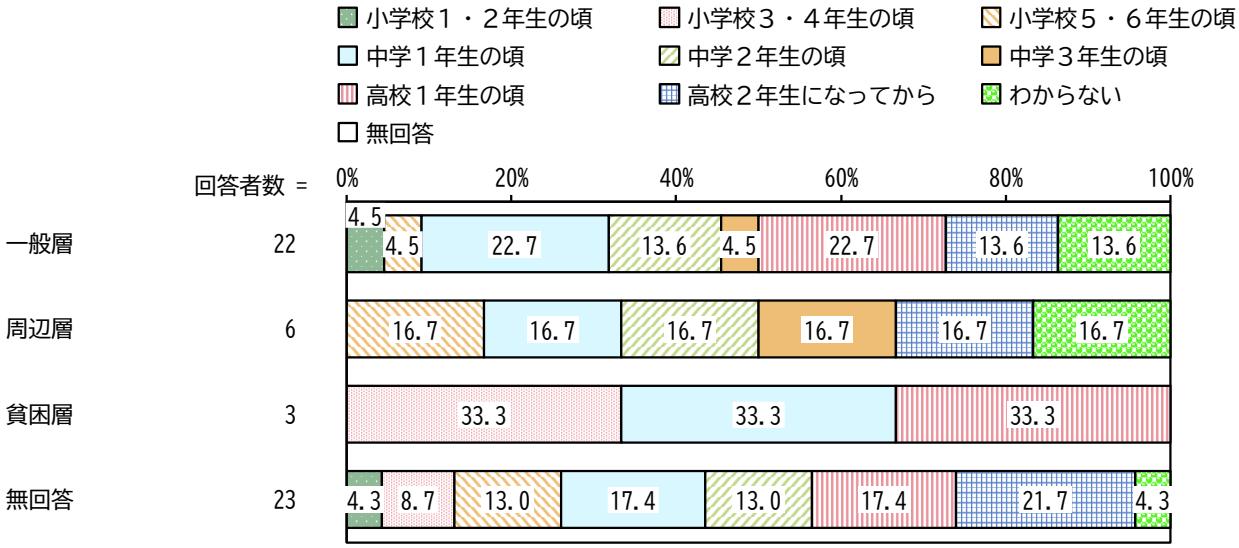
「中学１年生の頃」の割合が 20.4%と最も高く、次いで「高校１年生の頃」の割合が 18.5%、「高校２年生になってから」の割合が 16.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「小学校５・６年生の頃」「中学１年生の頃」の割合が増加しています。一方、「小学校３・４年生の頃」「高校１年生の頃」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

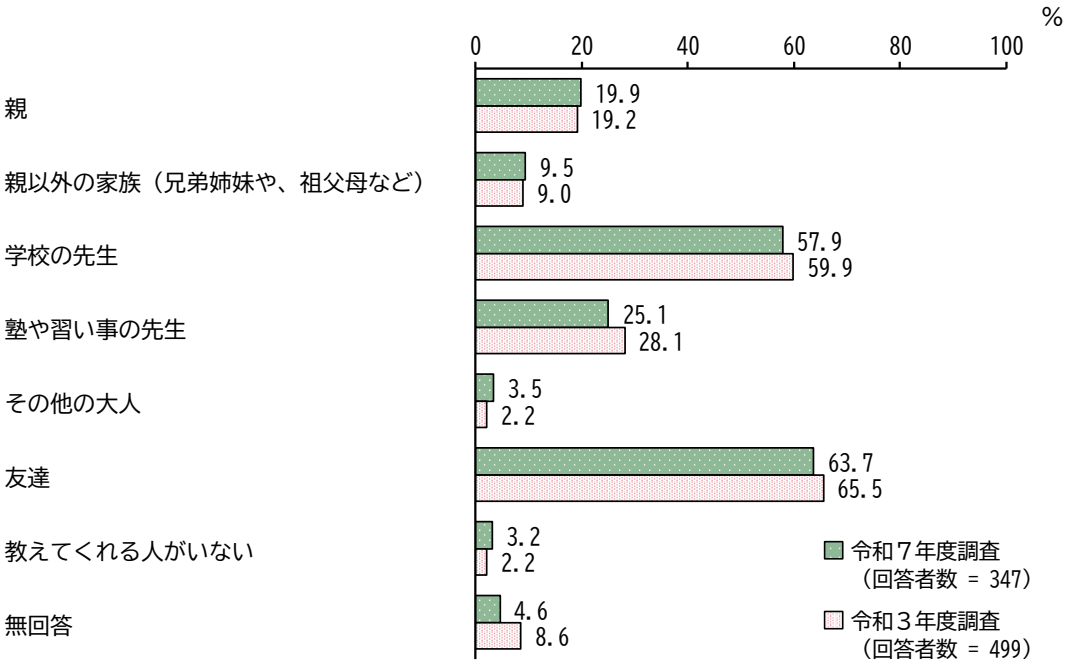
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



問 35　勉強がわからないときは、誰に教えてもらいますか（教えてもらいましたか）。（あてはまる番号すべてに○）

「友達」の割合が 63.7%と最も高く、次いで「学校の先生」の割合が 57.9%、「塾や習い事の先生」の割合が 25.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、一般層で「塾や習い事の先生」、貧困層で「友達」の割合が高くなっています。

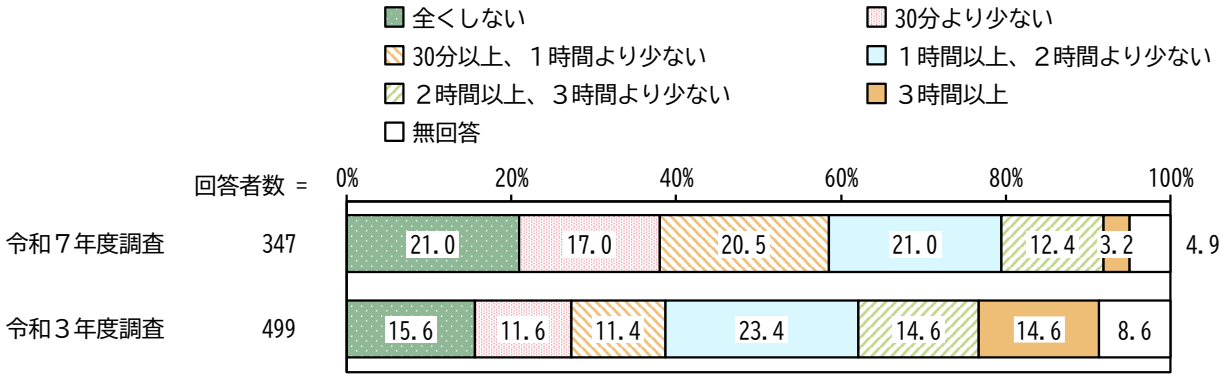
単位：％

区分	回答者数（件）	親	親以外の家族（兄弟姉妹や、祖父母など）	学校の先生	塾や習い事の先生	その他の大人	友達	教えてくれる人がいない	無回答
全　体	347	19.9	9.5	57.9	25.1	3.5	63.7	3.2	4.6
一般層	128	18.8	5.5	56.3	32.0	2.3	68.0	1.6	3.1
周辺層	32	21.9	9.4	53.1	12.5	0.0	59.4	3.1	9.4
貧困層	17	11.8	11.8	58.8	23.5	5.9	70.6	5.9	5.9
無回答	170	21.2	12.4	60.0	22.4	4.7	60.6	4.1	4.7

問 36　あなたは、普段（月～金曜日）学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。１日あたりの勉強時間を教えてください。（１つに○）　※塾などでの時間も含みます。

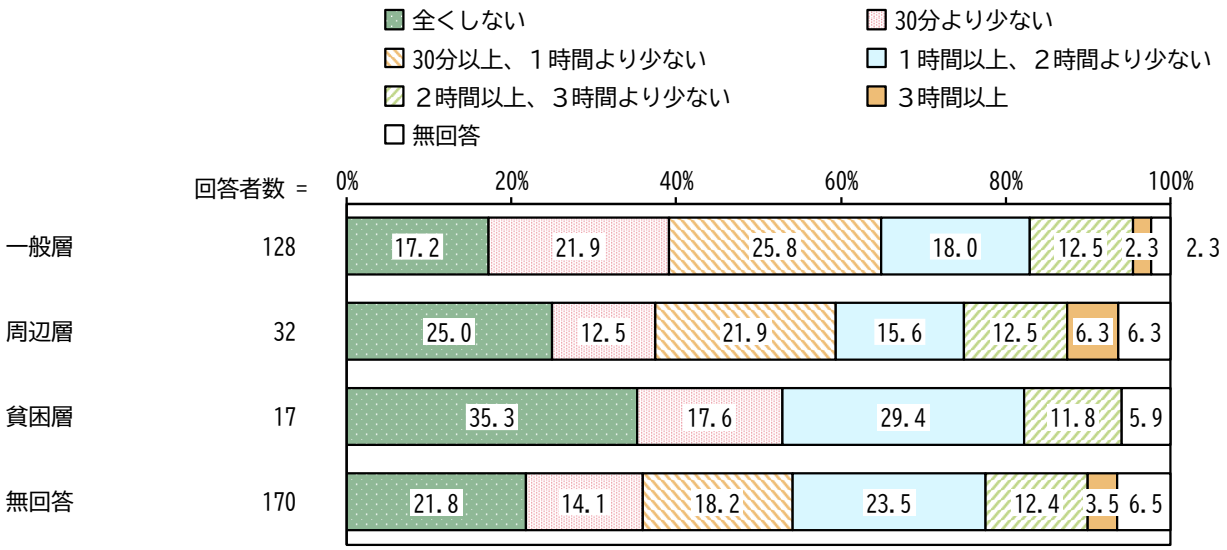
「全くしない」、「１時間以上、２時間より少ない」の割合が 21.0%と最も高く、次いで「30 分以上、１時間より少ない」の割合が 20.5%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「全くしない」「30 分より少ない」「30 分以上、１時間より少ない」の割合が増加しています。一方、「３時間以上」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

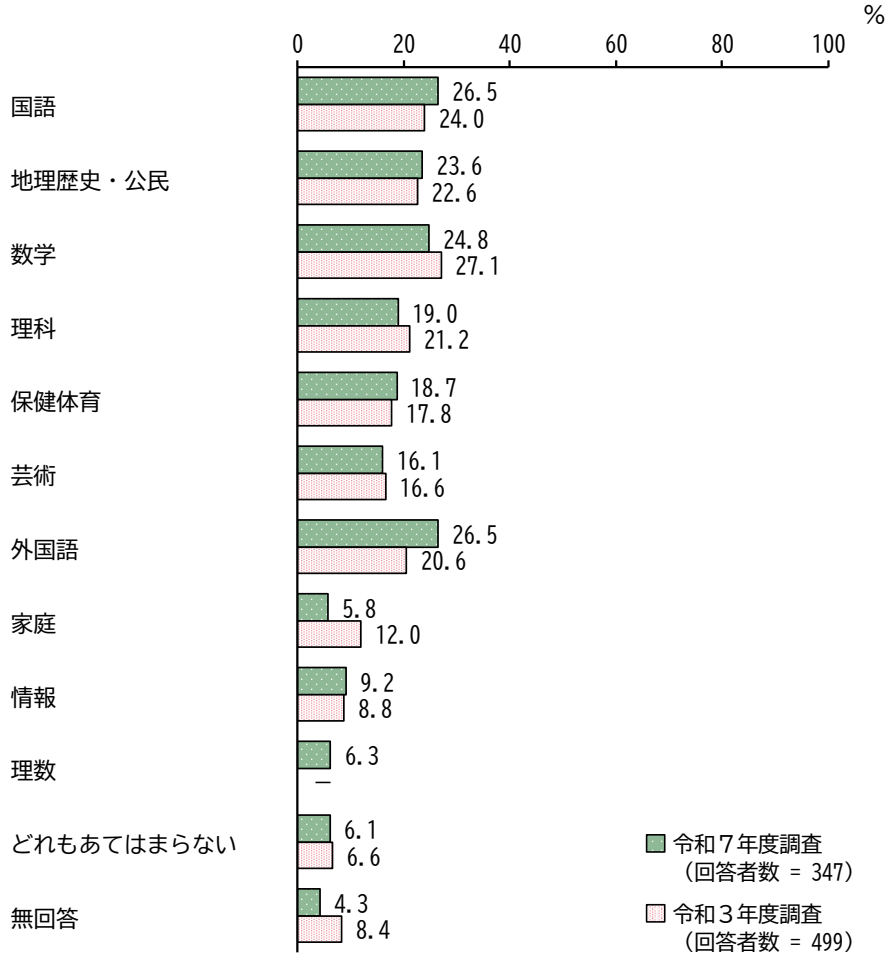
生活困難度別にみると、貧困層で「全くしない」の割合が高くなっています。



問 37　あなたの得意な教科はどれですか（でしたか）。（あてはまる番号すべてに○）

「国語」、「外国語」の割合が 26.5%と最も高く、次いで「数学」の割合が 24.8%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「外国語」の割合が増加しています。一方、「家庭」の割合が減少しています。



※令和３年度調査では、「理数」がありませんでした。

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「数学」、周辺層で「理科」の割合が高くなっています。

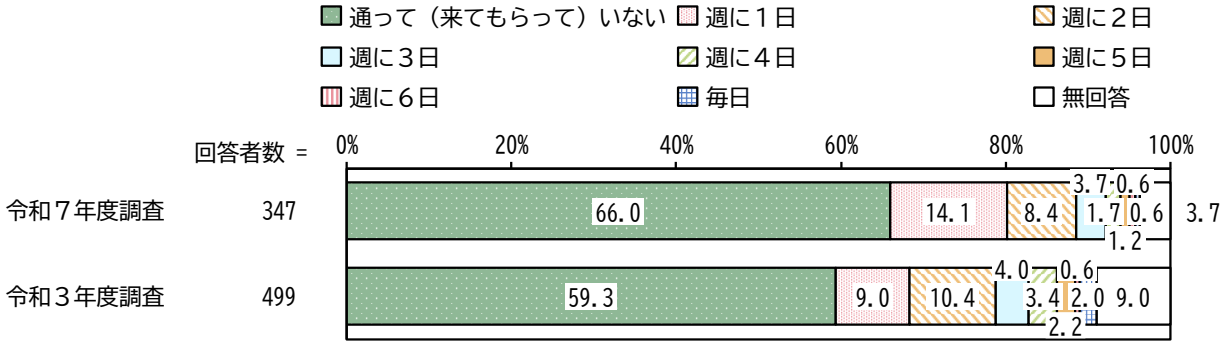
単位：%

区分	回答者数（件）	国語	地理歴史・公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	家庭	情報	理数	どれもあてはまらない	無回答
全　体	347	26.5	23.6	24.8	19.0	18.7	16.1	26.5	5.8	9.2	6.3	6.1	4.3
一般層	128	25.0	21.9	25.8	24.2	20.3	16.4	31.3	4.7	6.3	7.8	7.0	1.6
周辺層	32	15.6	25.0	31.3	28.1	15.6	12.5	28.1	6.3	12.5	6.3	6.3	6.3
貧困層	17	29.4	23.5	41.2	5.9	17.6	11.8	29.4	5.9	5.9	0.0	5.9	5.9
無回答	170	29.4	24.7	21.2	14.7	18.2	17.1	22.4	6.5	11.2	5.9	5.3	5.9

問 38　あなたは、塾や予備校（オンライン含む）に通ったり、家庭教師に来てもらったりしていますか。通っている（来てもらっている）場合、１週間に何日通って（来てもらって）いますか。（１つに○）

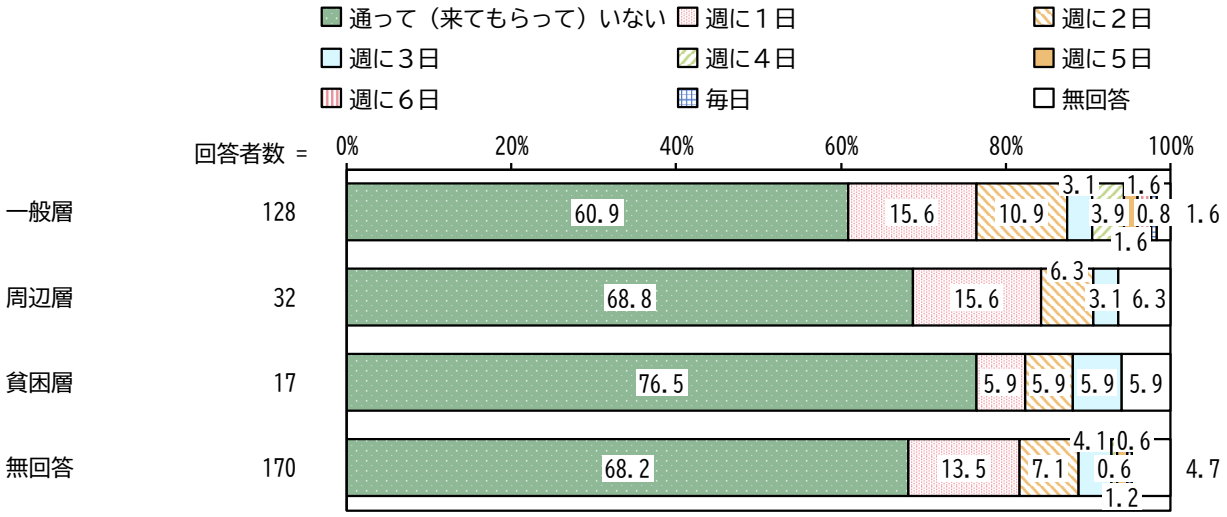
「通って（来てもらって）いない」の割合が 66.0%と最も高く、次いで「週に１日」の割合が 14.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「通って（来てもらって）いない」「週に１日」の割合が増加しています。



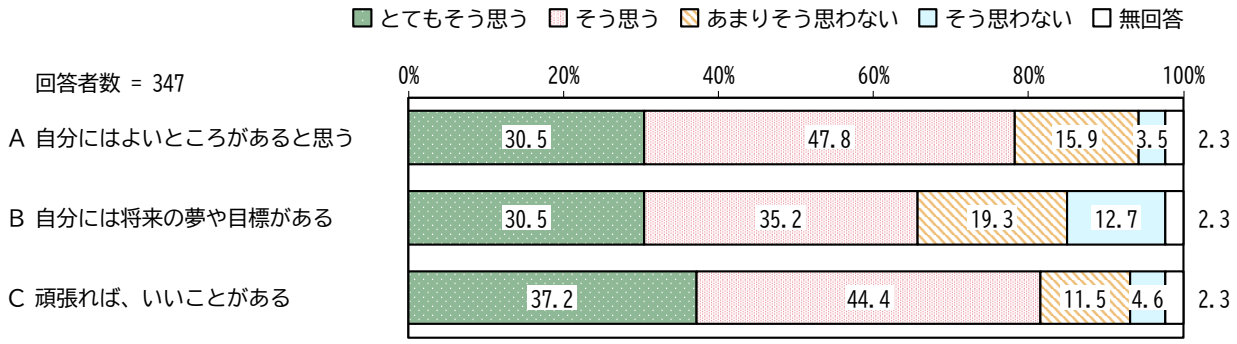
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「通って（来てもらって）いない」の割合が高くなっています。



問 39　あなたは、自分のことについてどう思いますか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

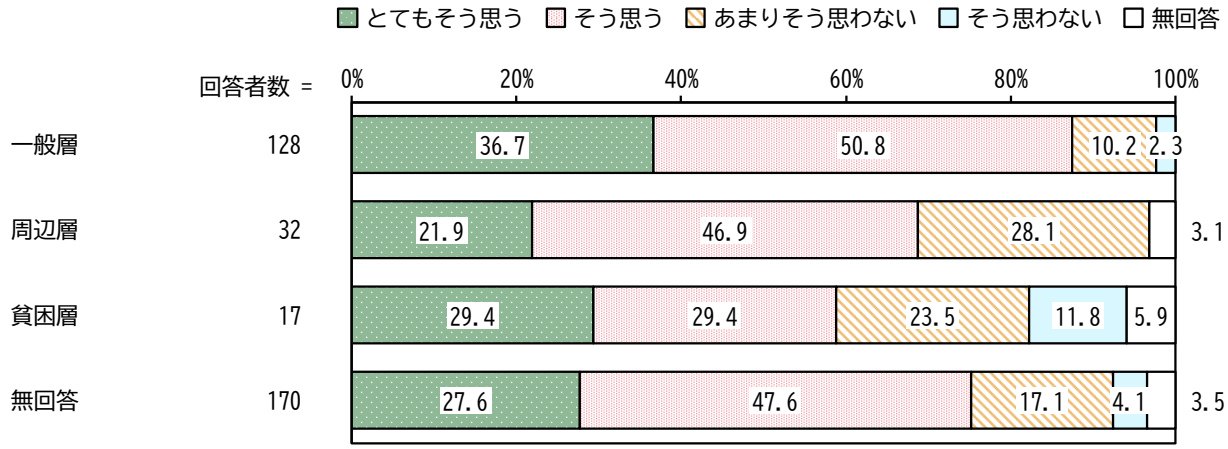
『C　頑張れば、いいことがある』で「とてもそう思う」が、『A　自分にはよいところがあると思う』で「そう思う」が、『B　自分には将来の夢や目標がある』で「あまりそう思わない」「そう思わない」が高くなっています。



A　自分にはよいところがあると思う

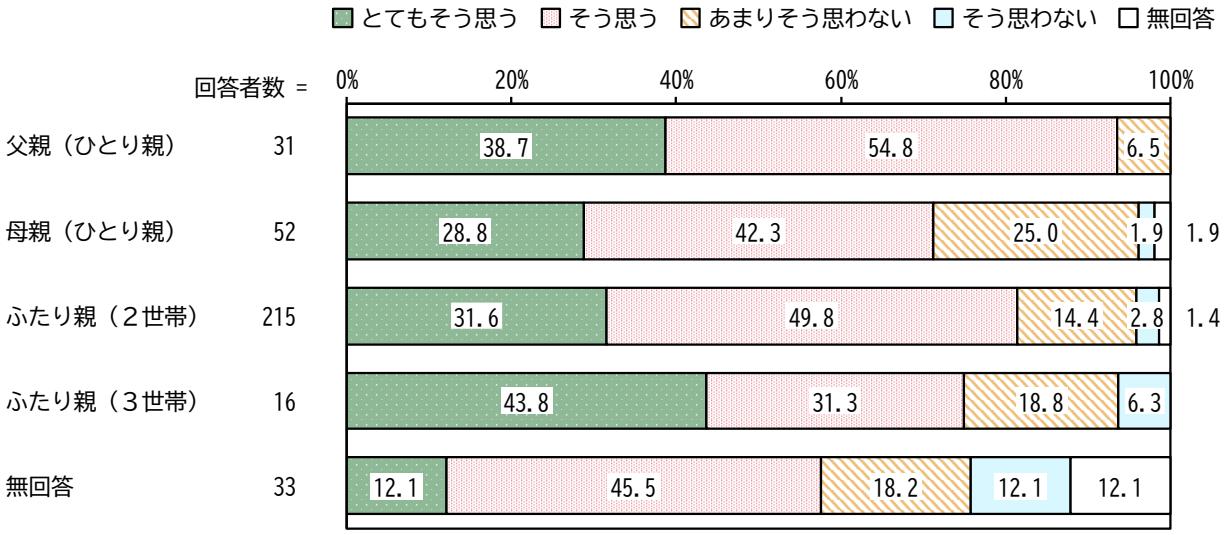
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で“そう思わない”の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

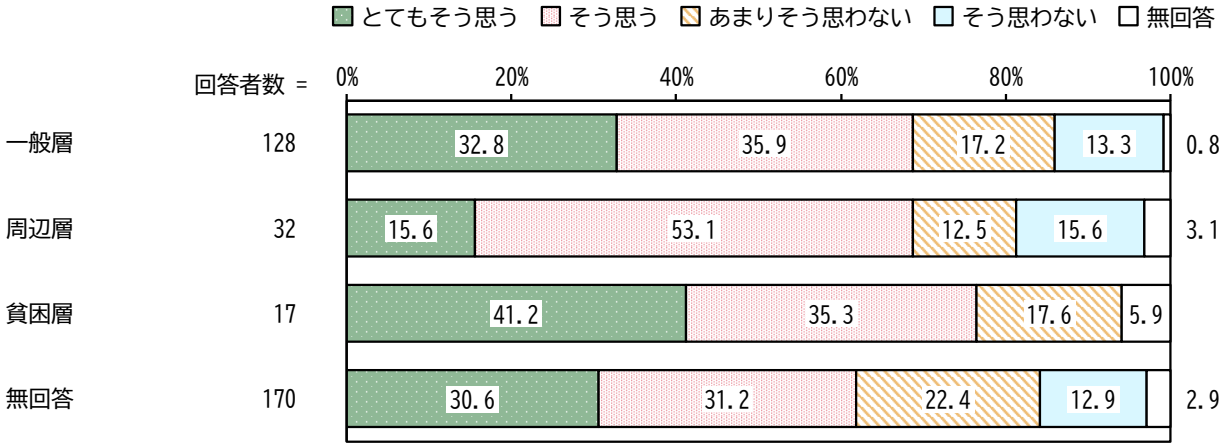
世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で“そう思う”の割合が高くなっています。



B　自分には将来の夢や目標がある

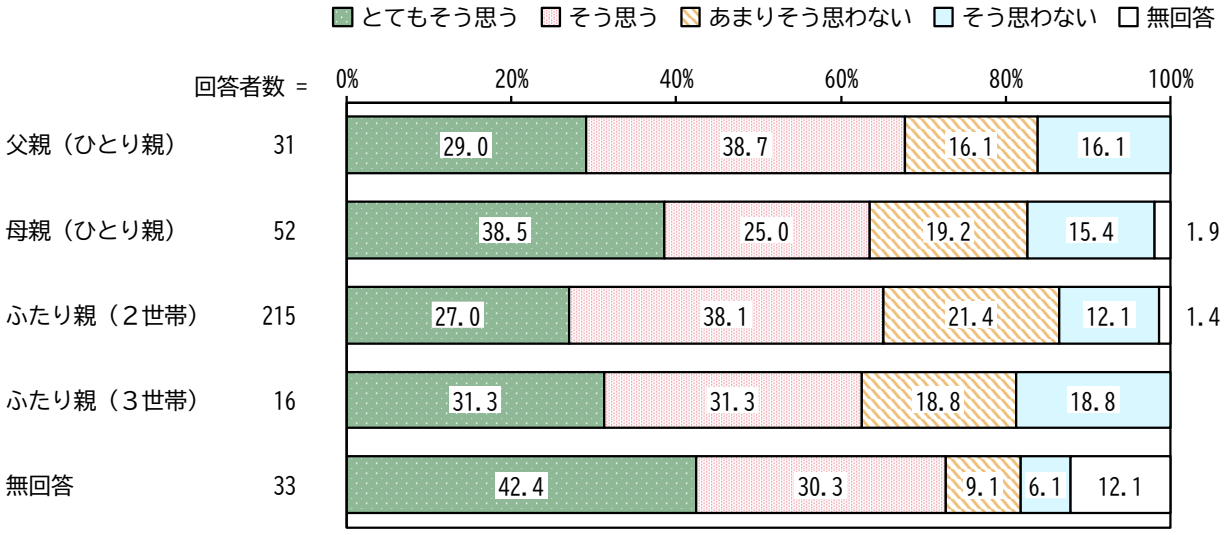
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で“そう思う”の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

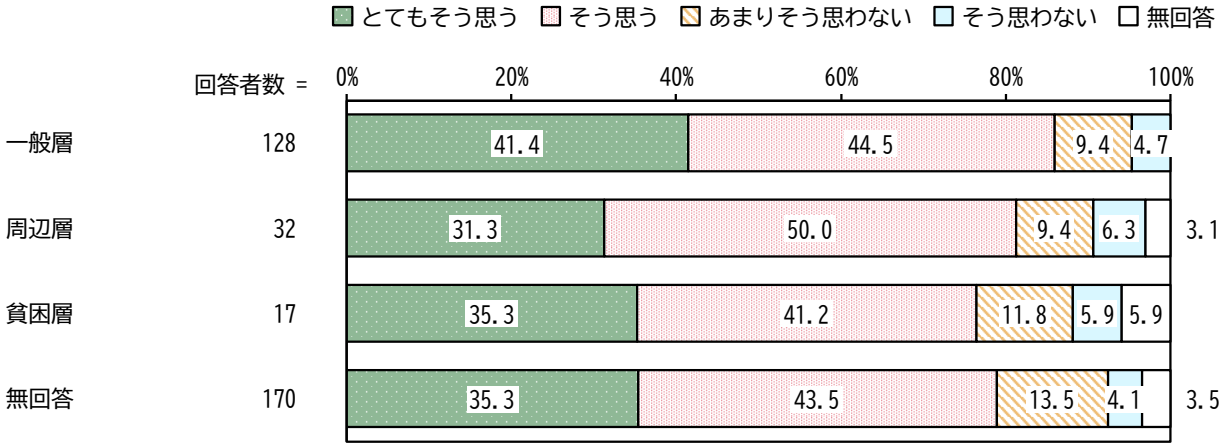
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で“そう思わない”の割合が高くなっています。



C　頑張れば、いいことがある

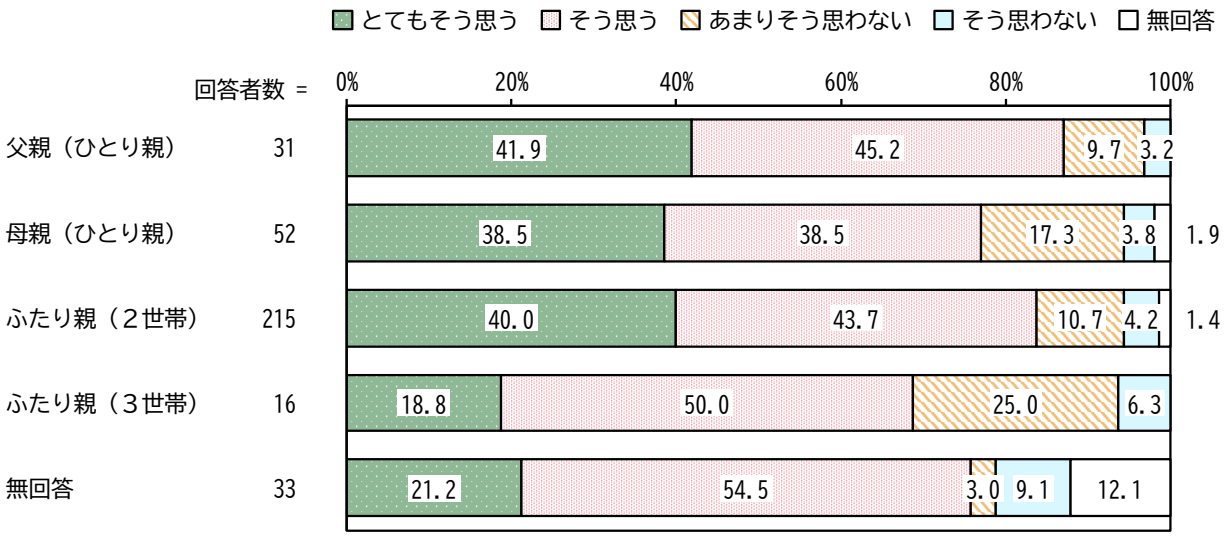
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で“そう思う”の割合が低くなっています。



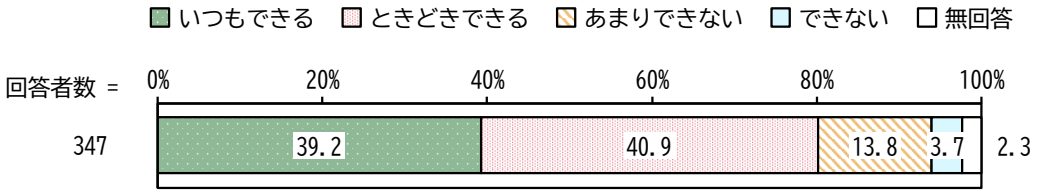
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で“そう思わない”の割合が高くなっています。



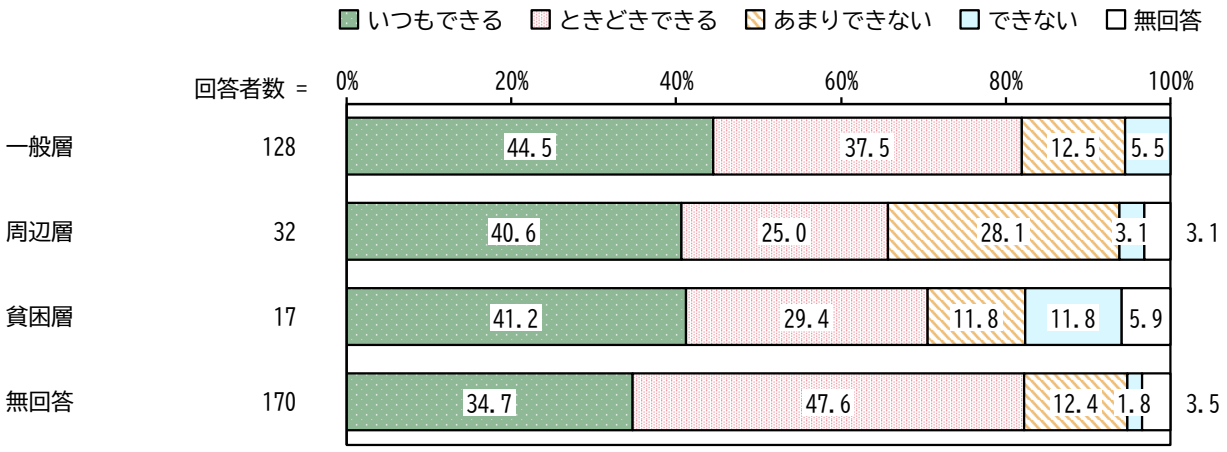
問 40　困ったことや嫌な事があったとき、自分の気持ちを落ち着かせることができますか。（１つに○）

「いつもできる」「ときどきできる」を合わせた“そう思う”の割合が 80.1%、「あまりできない」「できない」を合わせた“そう思わない”の割合が 17.5%となっています。



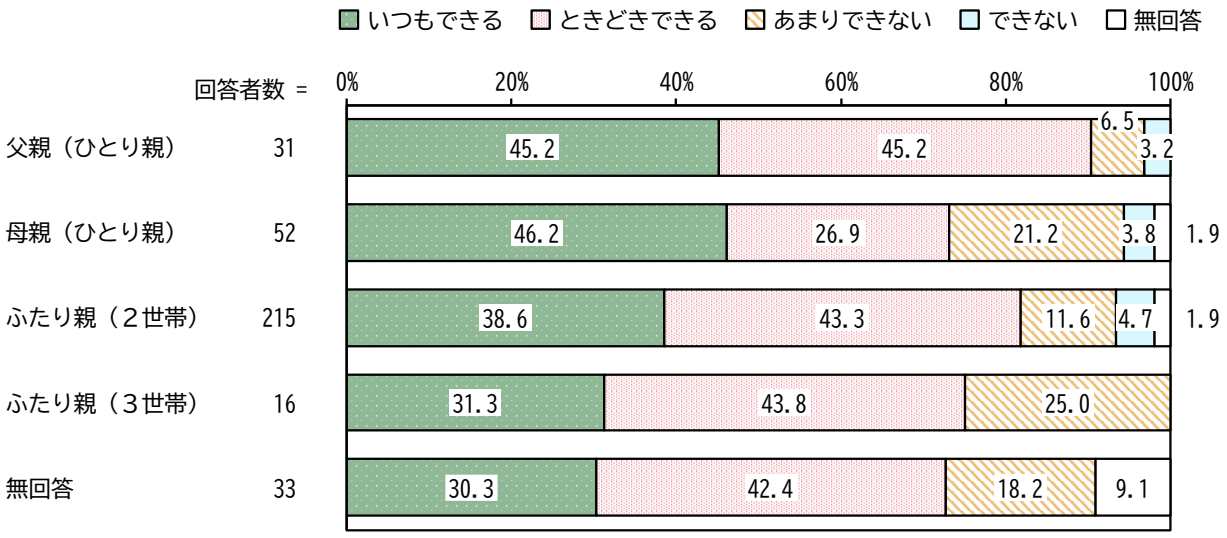
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で“そう思わない”の割合が高くなっています。



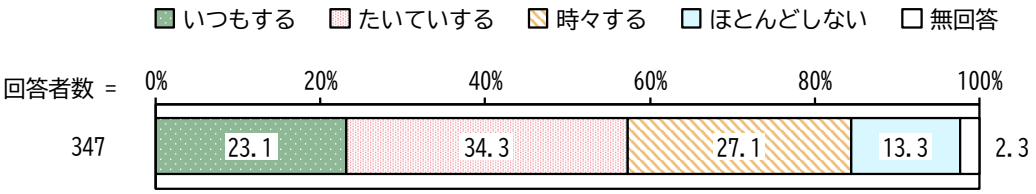
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で“そう思う”の割合が高くなっています。



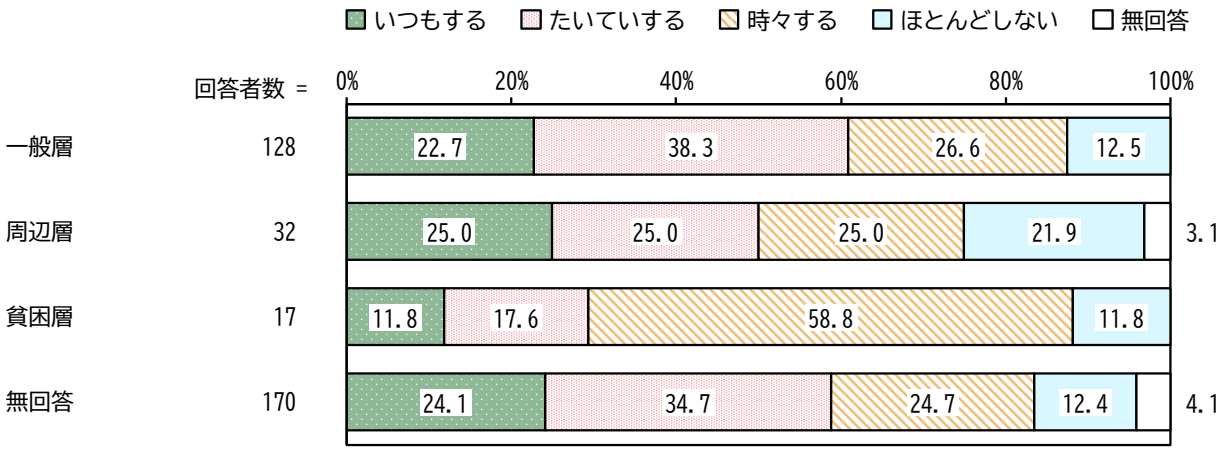
問 41　困ったときは周りの人に相談していますか。（１つに○）

「たいていする」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「時々する」の割合が 27.1%、「いつもする」の割合が 23.1%となっています。



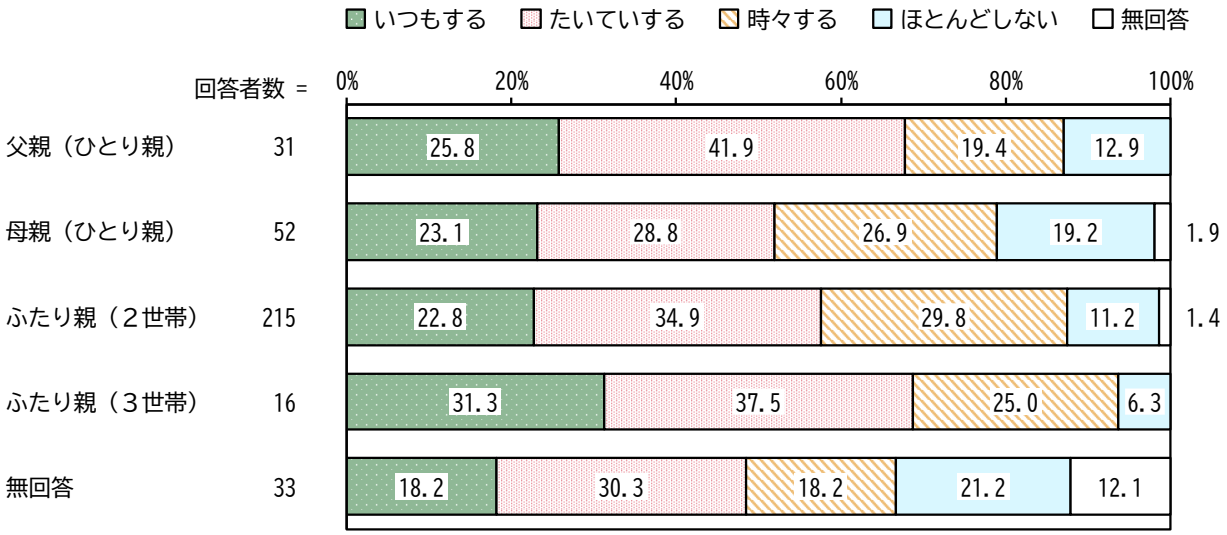
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「時々する」の割合が高く、「いつもする」「たいていする」の割合が低くなっています。



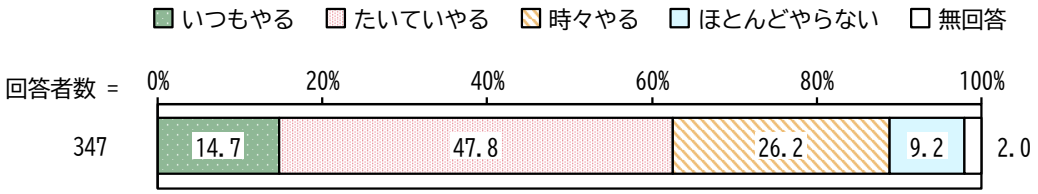
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「いつもする」、父親（ひとり親）で「たいていする」、母親（ひとり親）で「ほとんどしない」の割合が高くなっています。



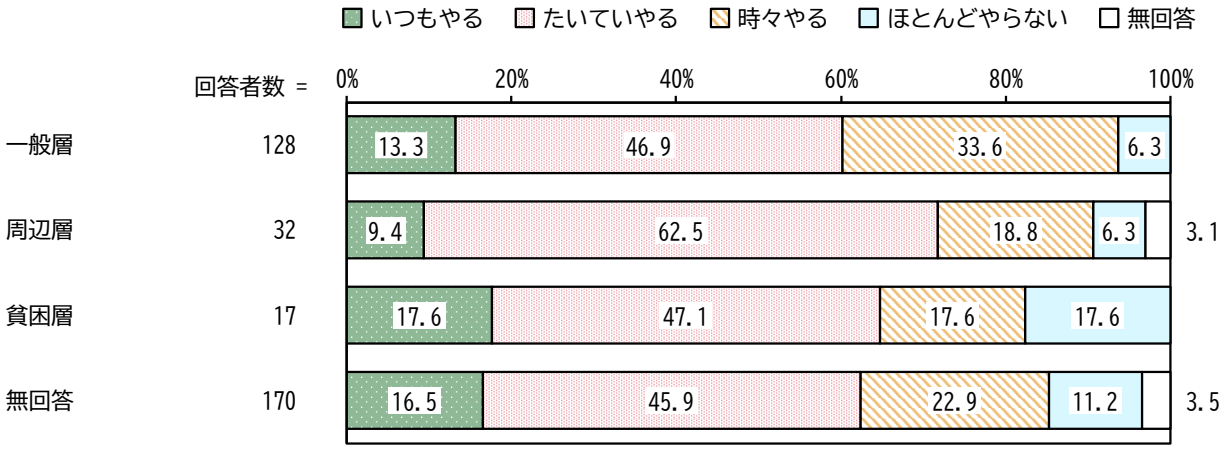
問 42　難しかったり、なかなかできないことでも、最後まで諦めずにやりますか。
（１つに○）

「たいていやる」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「時々やる」の割合が 26.2%、「いつもやる」の割合が 14.7%となっています。



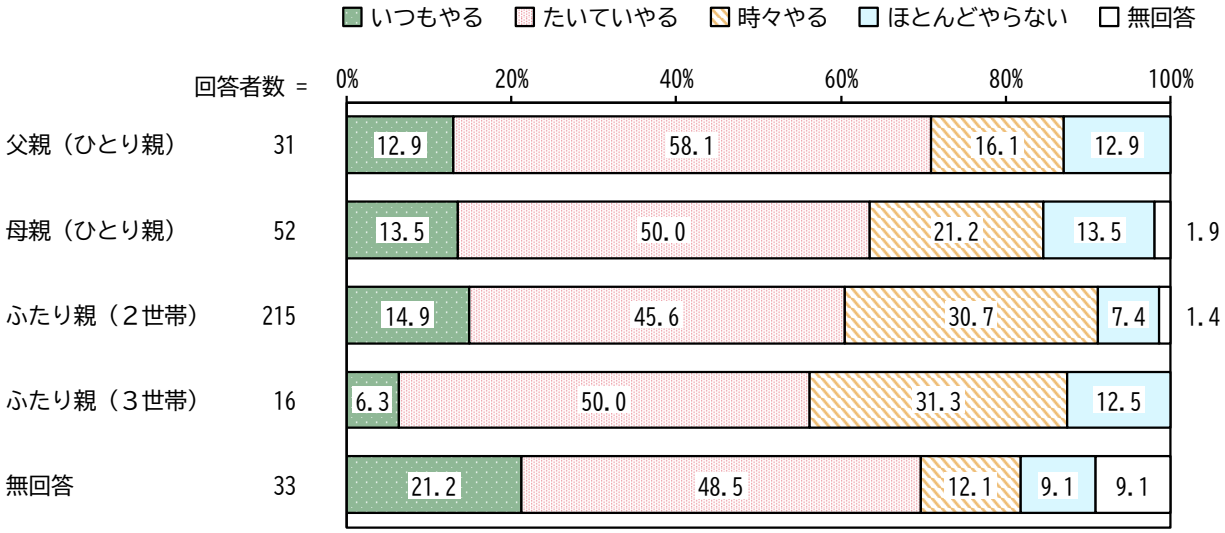
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「たいていやる」、一般層で「時々やる」、貧困層で「ほとんどやらない」の割合が高くなっています。



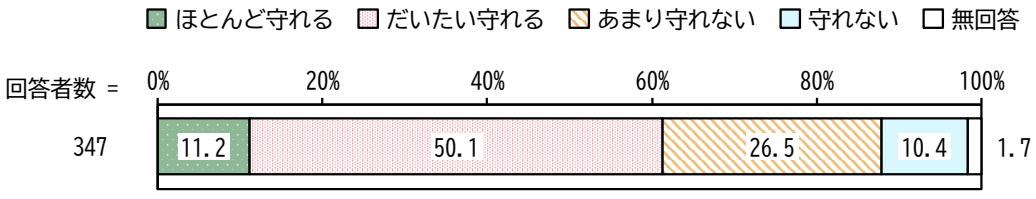
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で「たいていやる」の割合が高く、「時々やる」の割合が低くなっています。



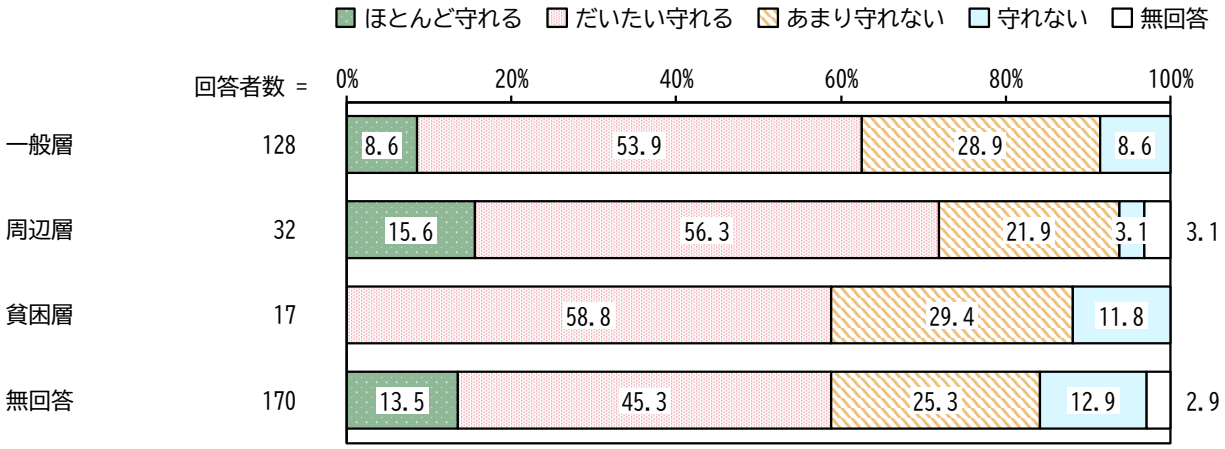
問 43　自分でたてた目標や約束を、最後まで守れますか。（１つに○）

「ほとんど守れる」「だいたい守れる」を合わせた“守れる”の割合が 61.3%、「あまり守れない」「守れない」を合わせた“守れない”の割合が 36.9%となっています。



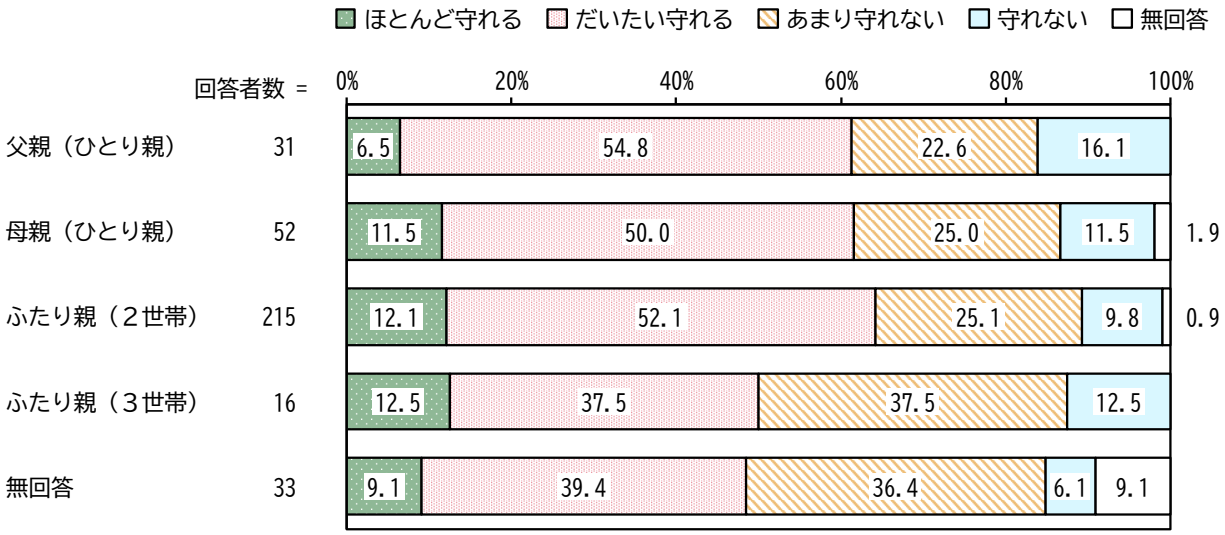
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で“守れる”の割合が高くなっています。



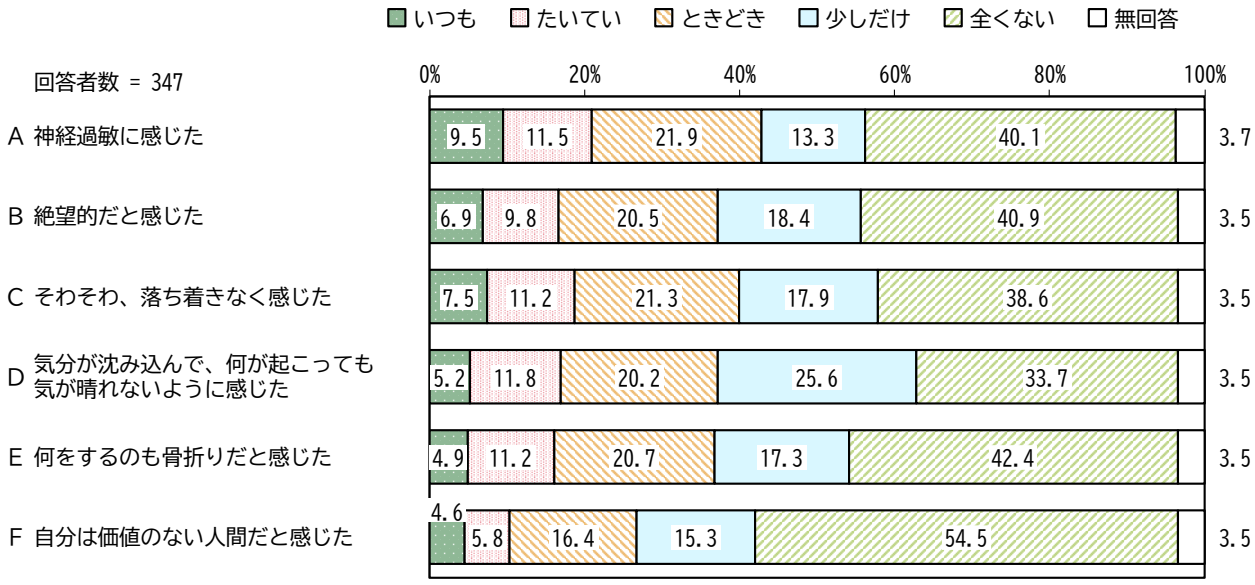
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で“守れない”の割合が高くなっています。



問 44　次のＡ～Ｆの質問について、あなたは、ここ１か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

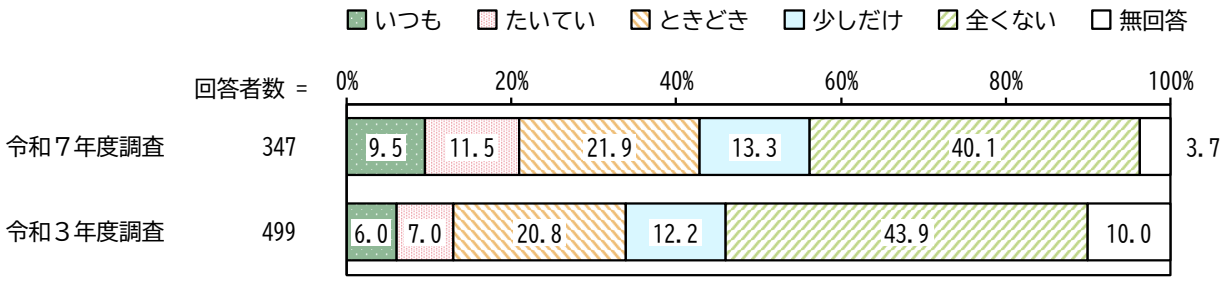
『Ａ　神経過敏に感じた』で「いつも」「ときどき」が、『Ｄ　気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた』で「たいてい」「少しだけ」が、『Ｆ　自分は価値のない人間だと感じた』で「全くない」が高くなっています。



Ａ　神経過敏に感じた

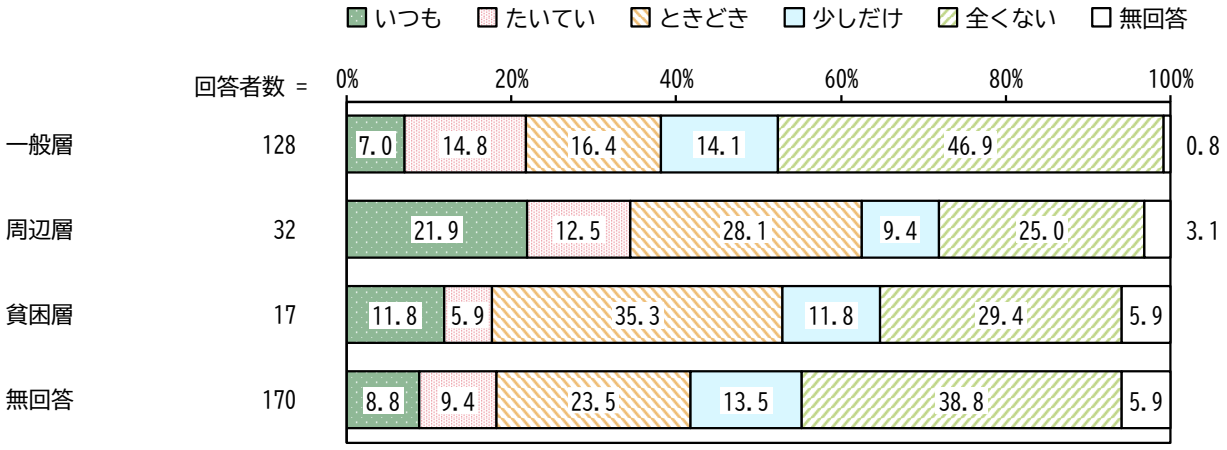
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

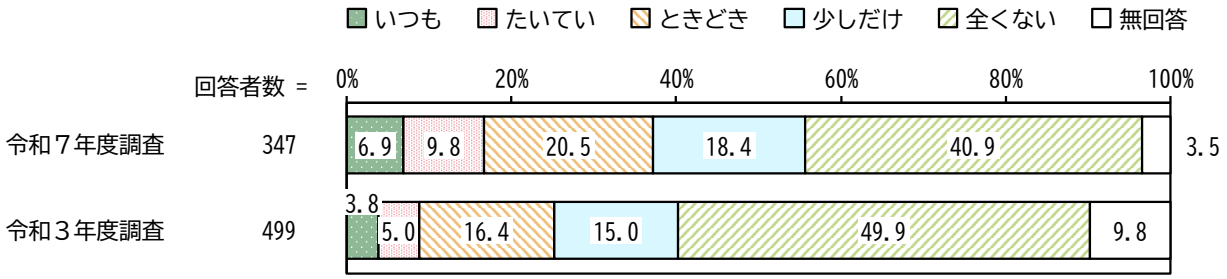
生活困難度別にみると、周辺層で「いつも」、貧困層で「ときどき」の割合が高く、周辺層で「全くない」の割合が低くなっています。



B　絶望的だと感じた

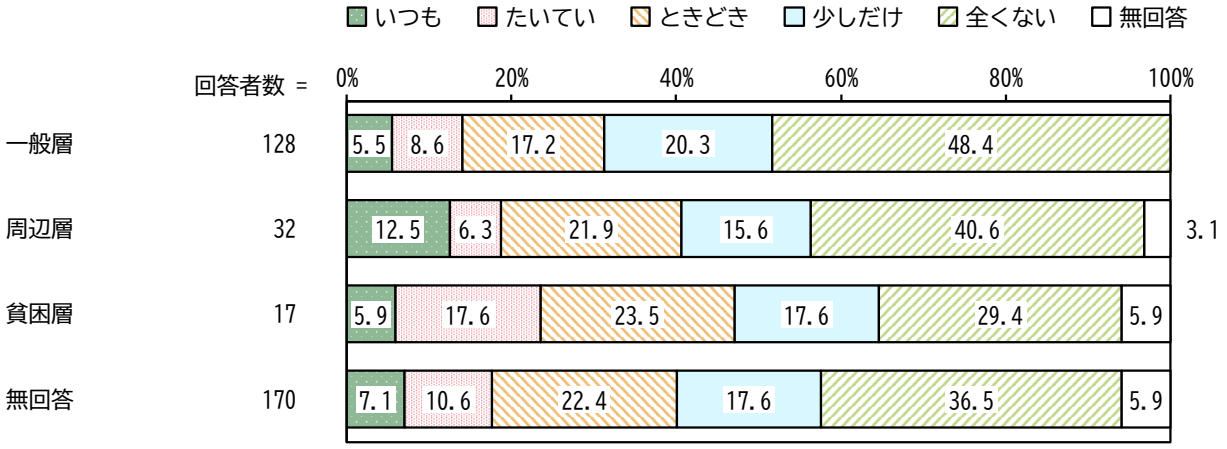
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「全くない」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

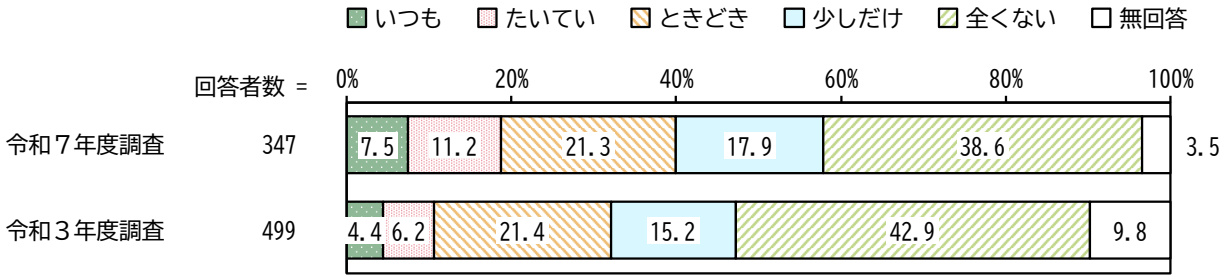
生活困難度別にみると、周辺層で「いつも」、貧困層で「たいてい」、一般層で「全くない」の割合が高くなっています。



C　そわそわ、落ち着きなく感じた

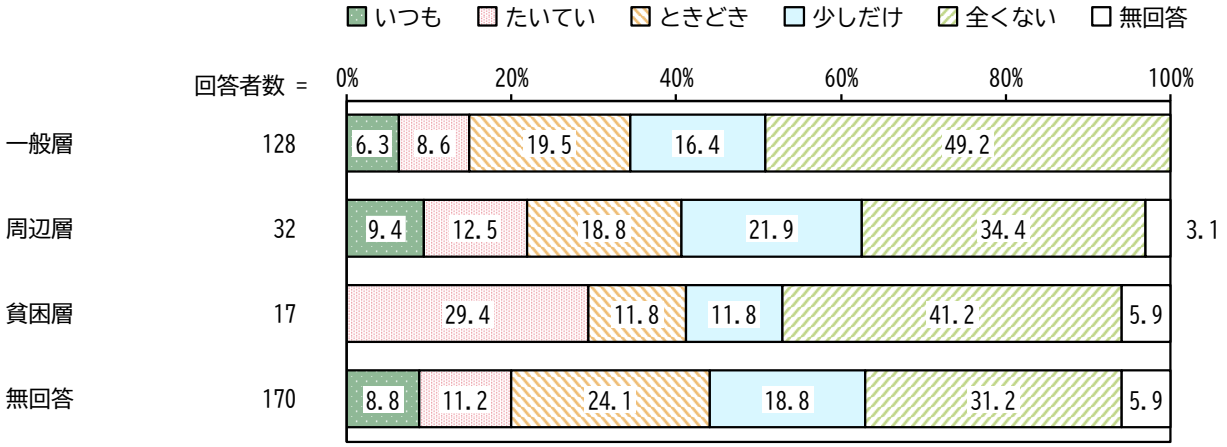
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

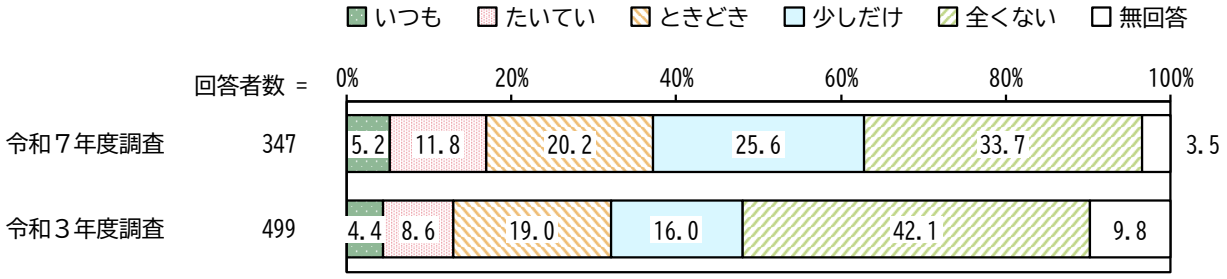
生活困難度別にみると、貧困層で「たいてい」、一般層で「全くない」の割合が高くなっています。



D　気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた

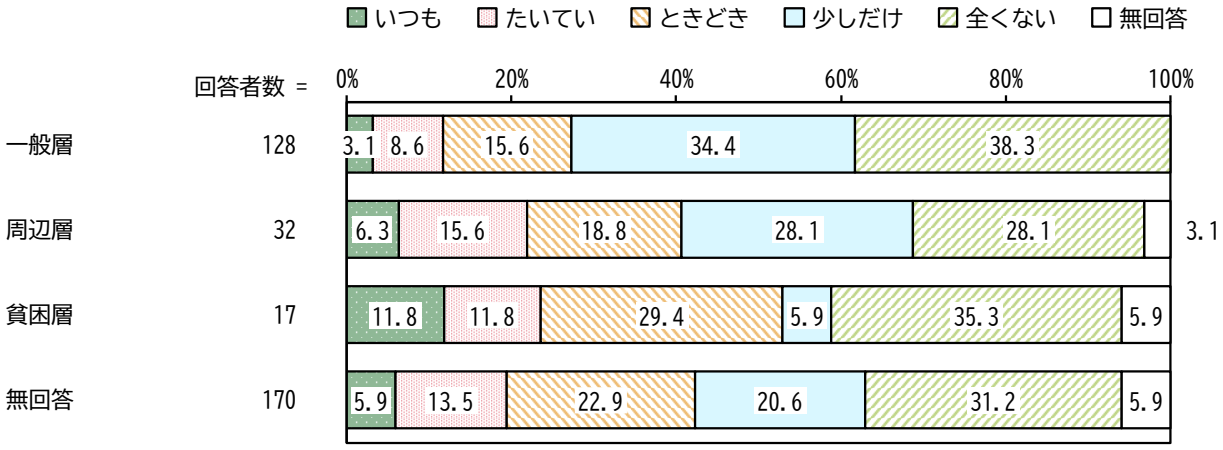
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「少しだけ」の割合が増加しています。一方、「全くない」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

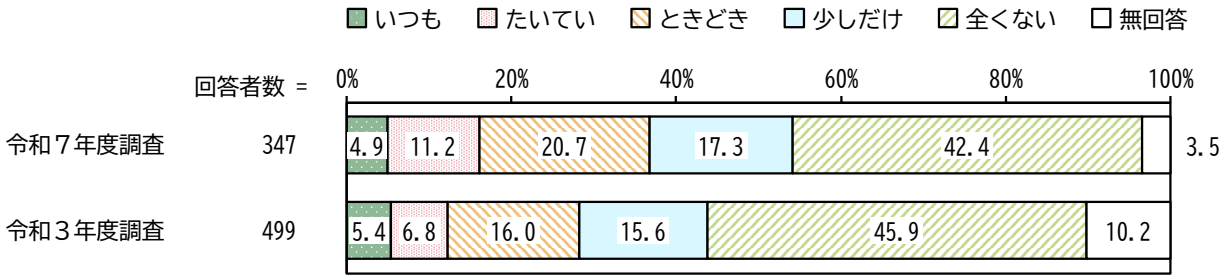
生活困難度別にみると、貧困層で「いつも」「ときどき」、一般層で「少しだけ」の割合が高くなっています。



E　何をするのも骨折りだと感じた

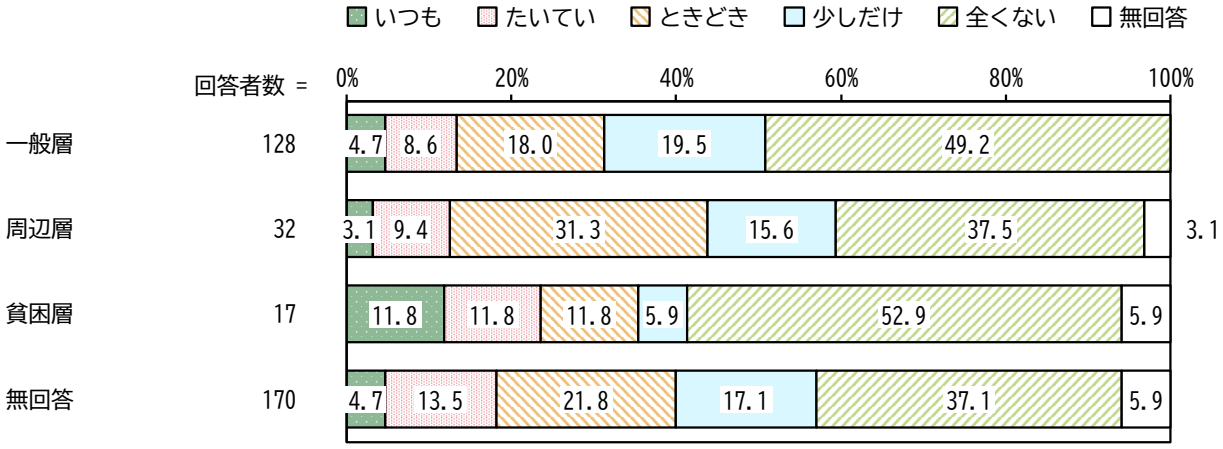
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

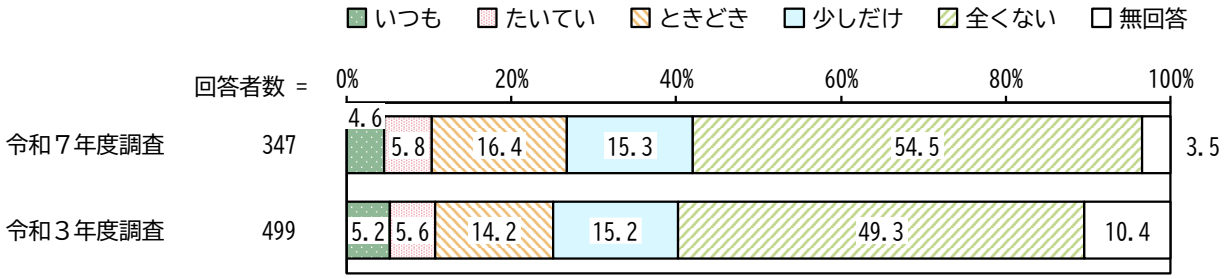
生活困難度別にみると、周辺層で「ときどき」、貧困層で「全くない」の割合が高く、貧困層で「少しだけ」の割合が低くなっています。



F　自分は価値のない人間だと感じた

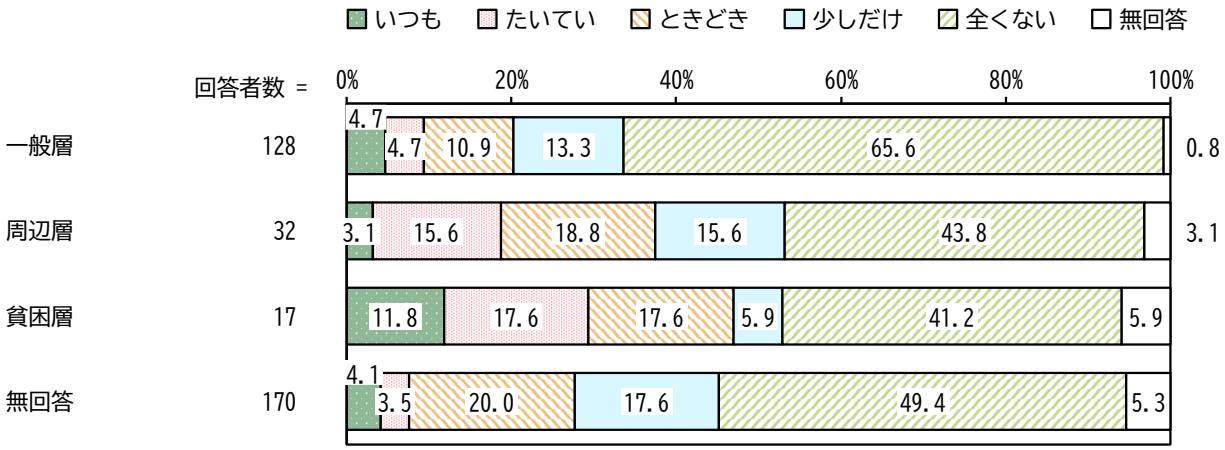
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「全くない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「いつも」、周辺層、貧困層で「たいてい」、一般層で「全くない」の割合が高くなっています。



現在、高等学校・専門学校（中学校卒業後に進学の学校）に在籍している方、在籍したことのある方にお聞きします。※中学校卒業以降、学校に在籍していない方は問 46 へお進みください。

問 45　あなたは、これまでに、以下のような理由で、学校をやめたくなるほど、悩んだことがありますか。中途退学したことがある人は、その理由にあてはまるものがありましたら、すべて〇をつけてください。（あてはまる番号すべてに〇）

「学校をやめたくなるほど悩んだことはない」の割合が 63.1%と最も高く、次いで「精神的に不安定」の割合が 15.6%、「友人とうまくかかわれない」の割合が 13.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「精神的に不安定」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「遅刻や欠席などが多く進級できそうにない」、周辺層で「学校とは別に他にやりたいことがある」「体調不良」、一般層で「学校をやめたくなるほど悩んだことはない」の割合が高くなっています。

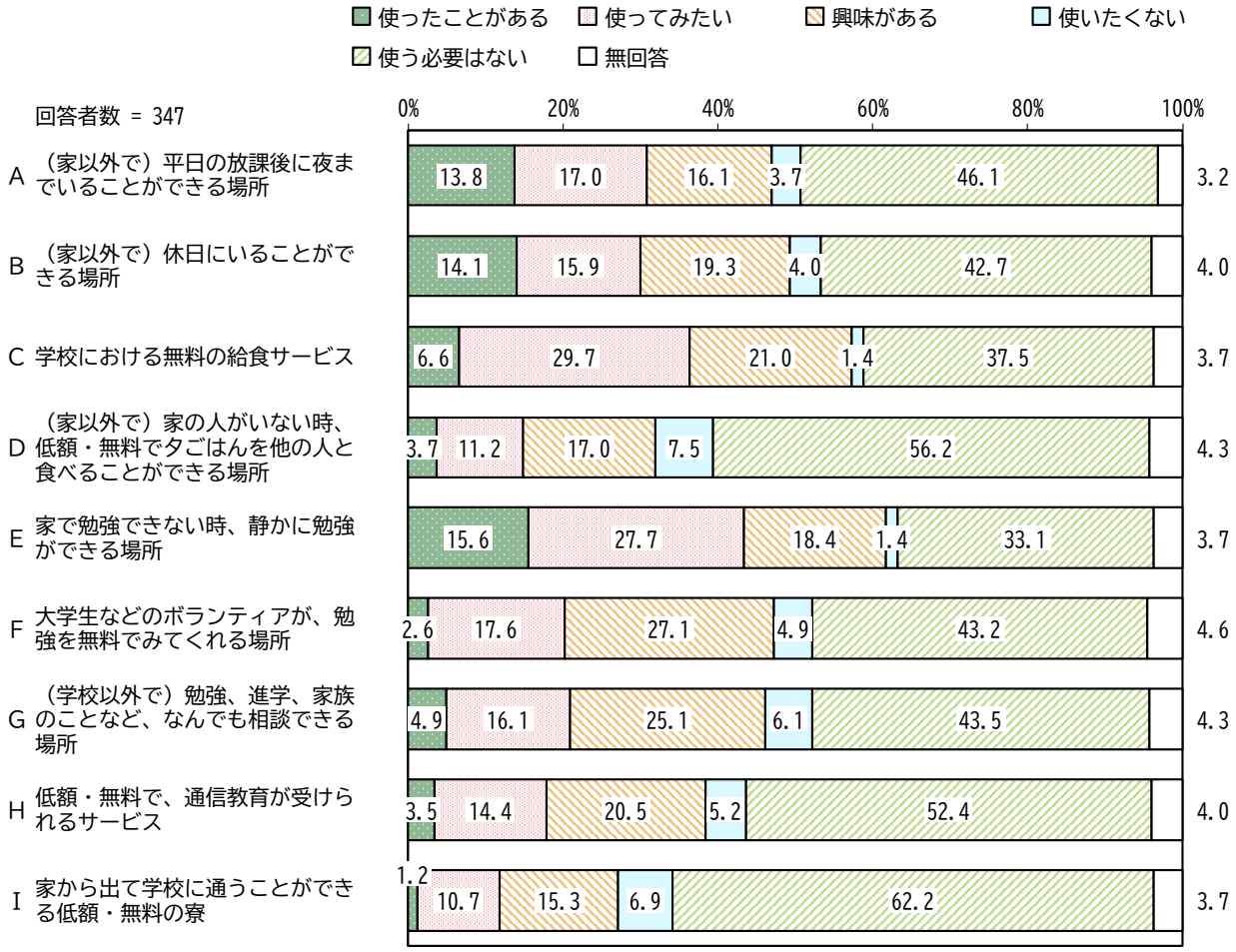
単位：％

区分	回答者数（件）	勉強についていけない	遅刻や欠席などが多く進級できそうにない	友人とうまくかかわれない	通学するのが面倒	精神的に不安定	問題のある行動や非行をした	学校とは別に他にやりたいことがある	経済面（授業料・教材費などの支払い）	経済面（通学費用の支払い）	経済面（修学旅行等の支払い）
全　体	347	10.1	2.9	13.0	7.5	15.6	1.2	2.3	1.2	1.2	0.6
一般層	128	7.0	0.8	10.9	4.7	10.9	0.8	2.3	1.6	0.8	0.0
周辺層	32	9.4	3.1	21.9	6.3	25.0	0.0	12.5	3.1	3.1	3.1
貧困層	17	17.6	17.6	11.8	5.9	11.8	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0
無回答	170	11.8	2.9	12.9	10.0	17.6	1.2	0.6	0.6	0.6	0.6

区分	経済面（部活動などにかかる費用の支払い）	経済面（友人つきあいなどに要する費用の支出）	経済的理由でのアルバイト等の時間確保による通学困難	経済的な余裕がない	早く経済的に自立したい	体調不良	いじめにあった	友人関係のトラブル	その他	学校をやめたくなるほど悩んだことはない	無回答
全　体	0.0	0.3	0.3	0.3	1.4	4.0	3.7	6.6	2.6	63.1	6.6
一般層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	2.3	2.3	3.1	3.1	73.4	3.9
周辺層	0.0	3.1	3.1	0.0	3.1	15.6	9.4	9.4	0.0	62.5	6.3
貧困層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	11.8	11.8	52.9	11.8
無回答	0.0	0.0	0.0	0.6	1.8	2.9	3.5	8.2	1.8	56.5	8.2

問 46　あなたは、以下のような場所やサービスがあれば使ってみたいと思いますか。
（それぞれあてはまる番号１つに○）

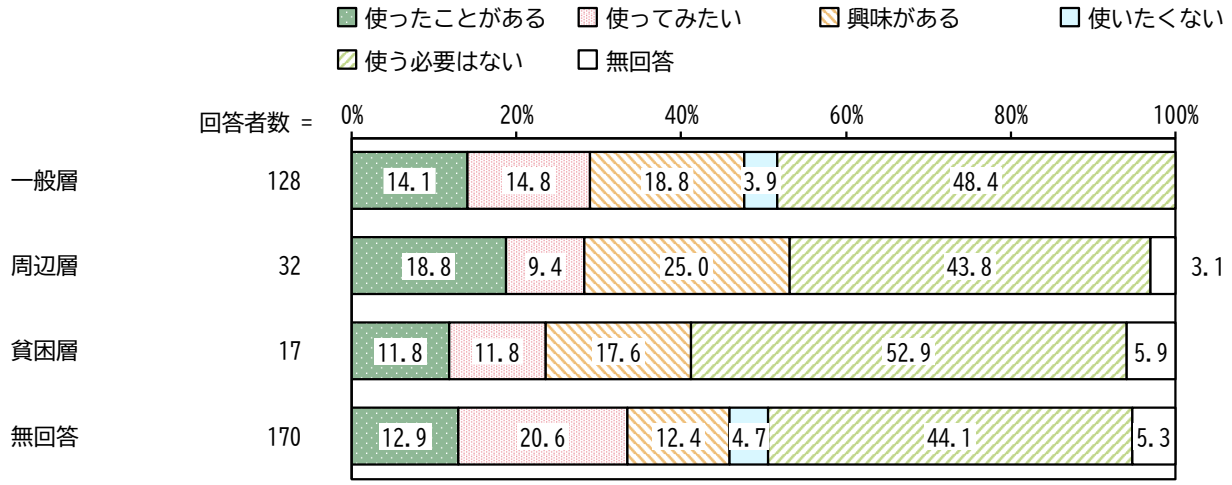
『Ｅ　家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所』で「使ったことがある」が、『Ｃ　学校における無料の給食サービス』で「使ってみたい」が、『Ｆ　大学生などのボランティアが、勉強を無料でみてくれる場所』で「興味がある」が、『Ｄ　（家以外で）家の人がいない時、低額・無料で夕ごはんを他の人と食べることができる場所』で「使いたくない」が、『Ｉ　家から出て学校に通うことができる低額・無料の寮』で「使う必要はない」が高くなっています。



A　（家以外で）平日の放課後に夜までいることができる場所

【生活困難度別】

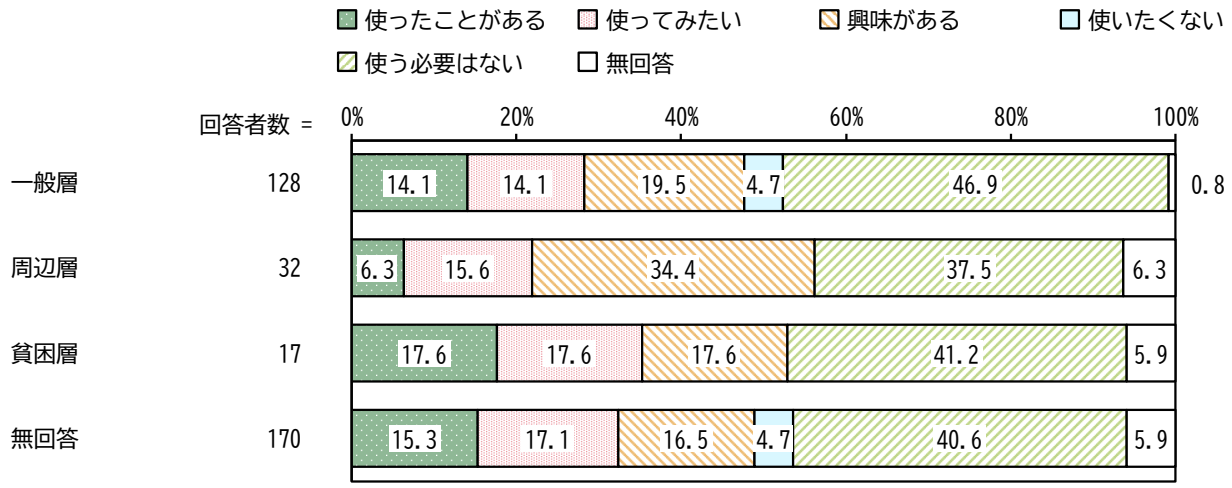
生活困難度別にみると、周辺層で「使ったことがある」「興味がある」、貧困層で「使う必要はない」の割合が高くなっています。



B　（家以外で）休日にいることができる場所

【生活困難度別】

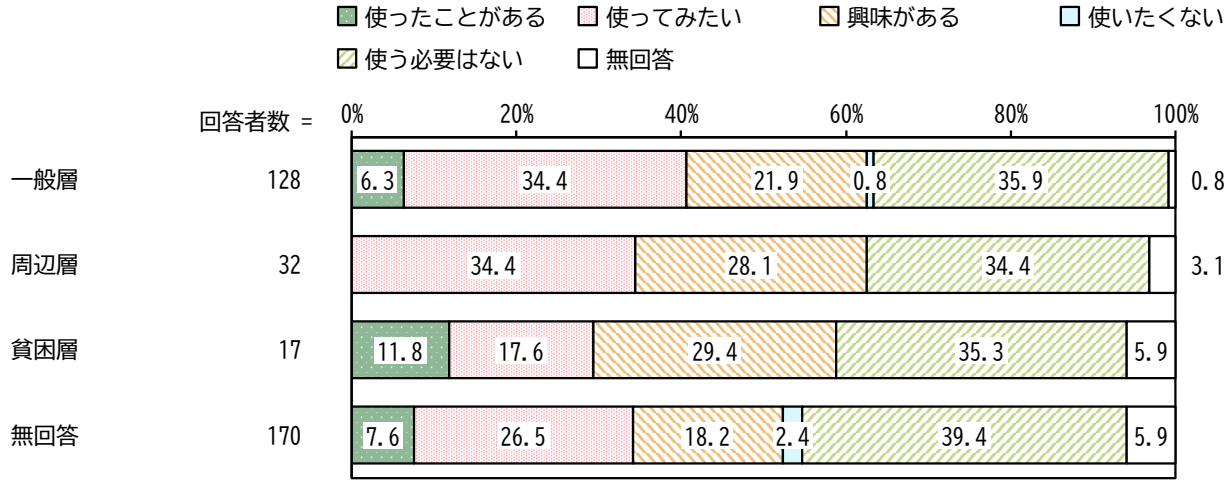
生活困難度別にみると、周辺層で「興味がある」の割合が高く、「使ったことがある」「使う必要はない」の割合が低くなっています。



C　学校における無料の給食サービス

【生活困難度別】

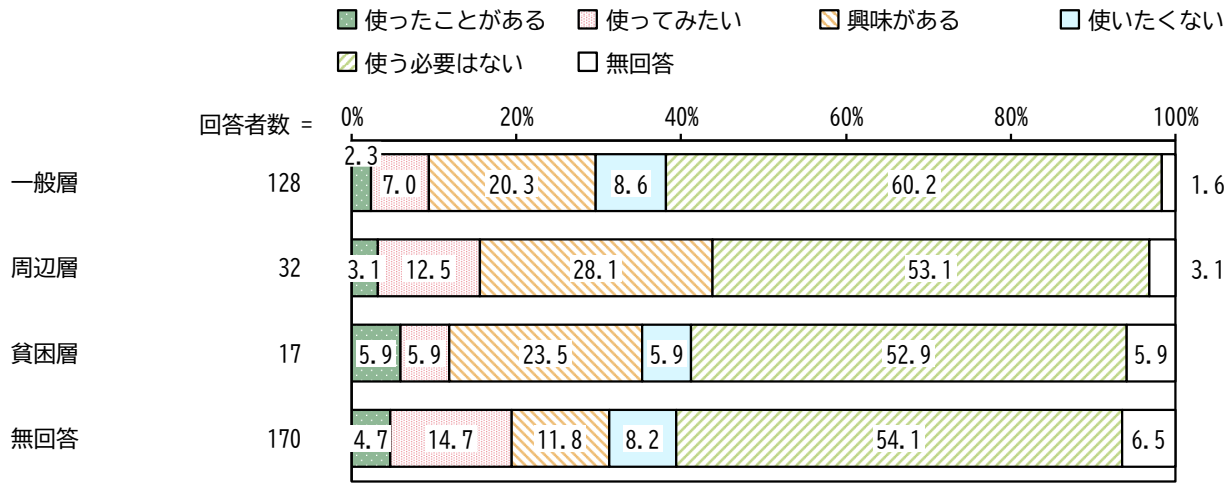
生活困難度別にみると、貧困層で「使ったことがある」、周辺層、貧困層で「興味がある」の割合が高く、貧困層で「使ってみたい」の割合が低くなっています。



D　（家以外で）家の人がいない時、低額・無料で夕ごはんを他の人と食べることができる場所

【生活困難度別】

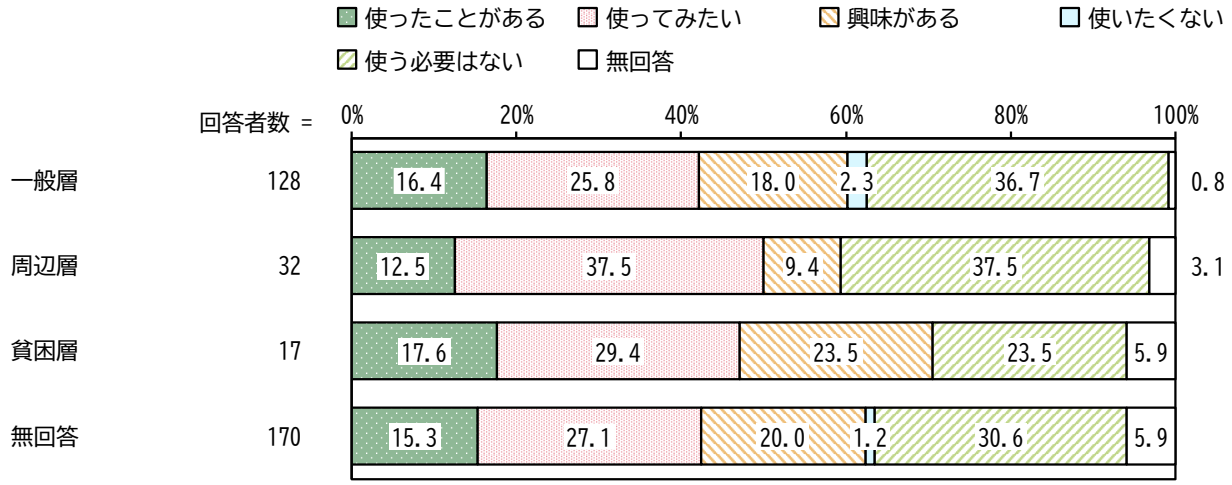
生活困難度別にみると、周辺層で「興味がある」の割合が高く、貧困層で「使ってみたい」の割合が低くなっています。



E　家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所

【生活困難度別】

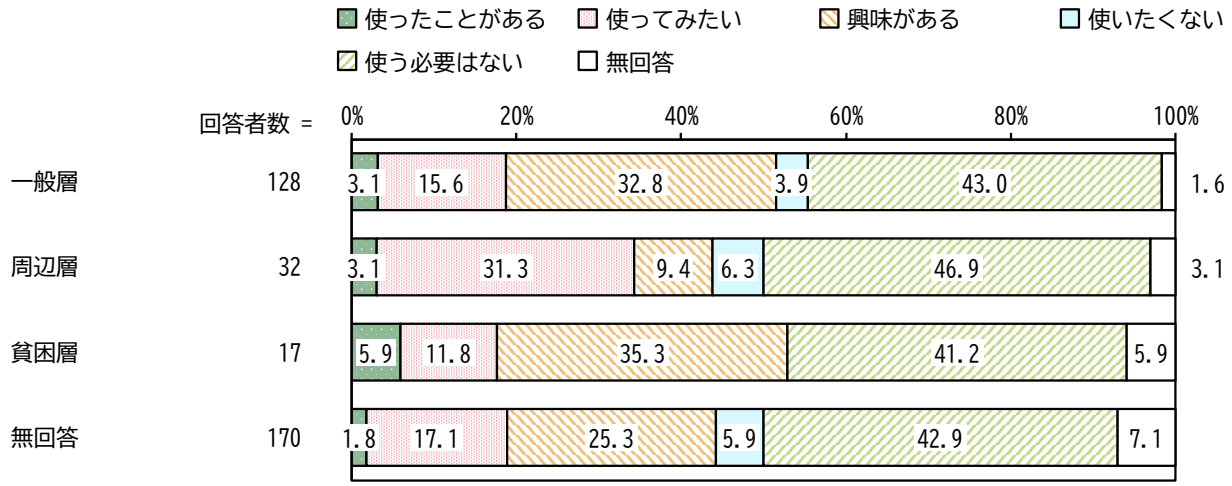
生活困難度別にみると、周辺層で「使ってみたい」、貧困層で「興味がある」の割合が高く、貧困層で「使う必要はない」の割合が低くなっています。



F　大学生などのボランティアが、勉強を無料でみてくれる場所

【生活困難度別】

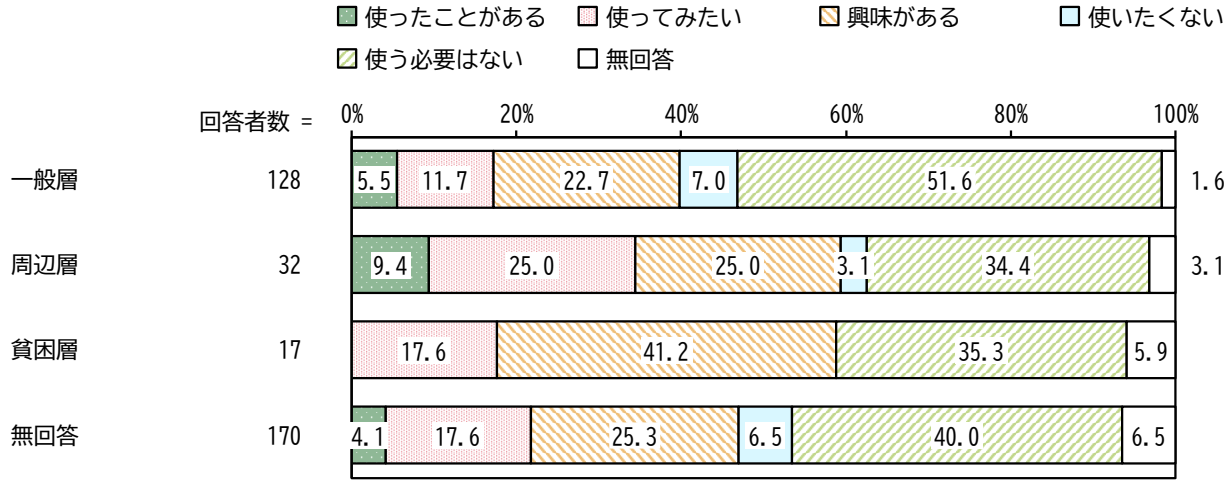
生活困難度別にみると、周辺層で「使ってみたい」、一般層、貧困層で「興味がある」の割合が高くなっています。



G　（学校以外で）勉強、進学、家族のことなど、なんでも相談できる場所

【生活困難度別】

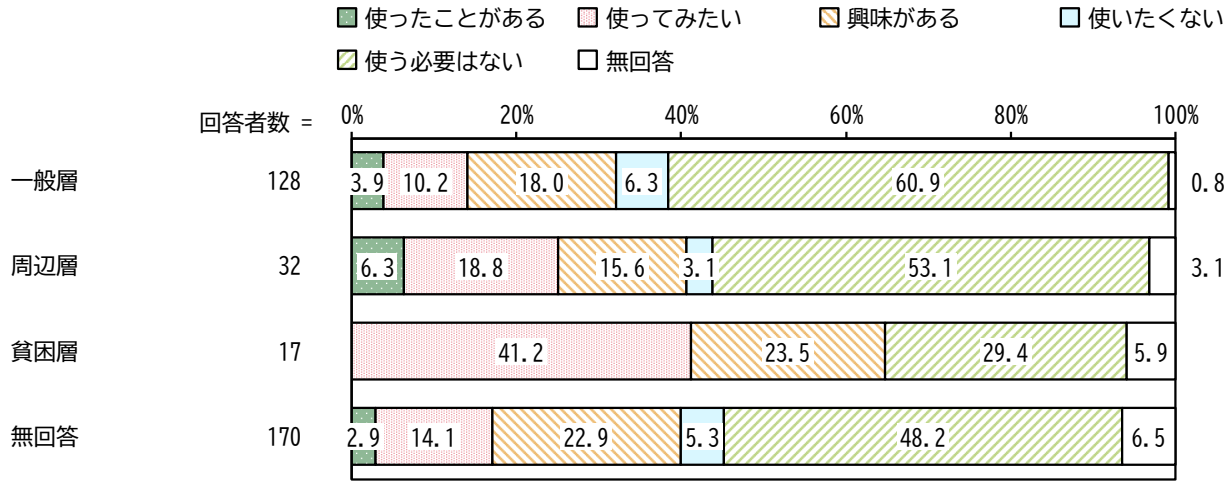
生活困難度別にみると、周辺層で「使ってみたい」、貧困層で「興味がある」、一般層で「使う必要はない」の割合が高くなっています。



H　低額・無料で、通信教育が受けられるサービス

【生活困難度別】

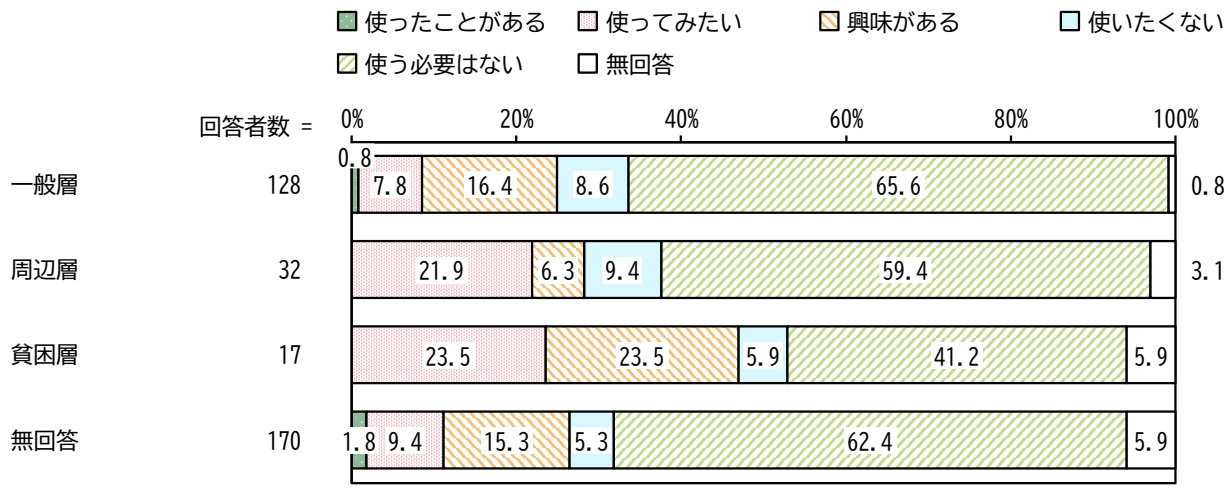
生活困難度別にみると、貧困層で「使ってみたい」、一般層で「使う必要はない」の割合が高くなっています。



Ⅰ　家から出て学校に通うことができる低額・無料の寮

【生活困難度別】

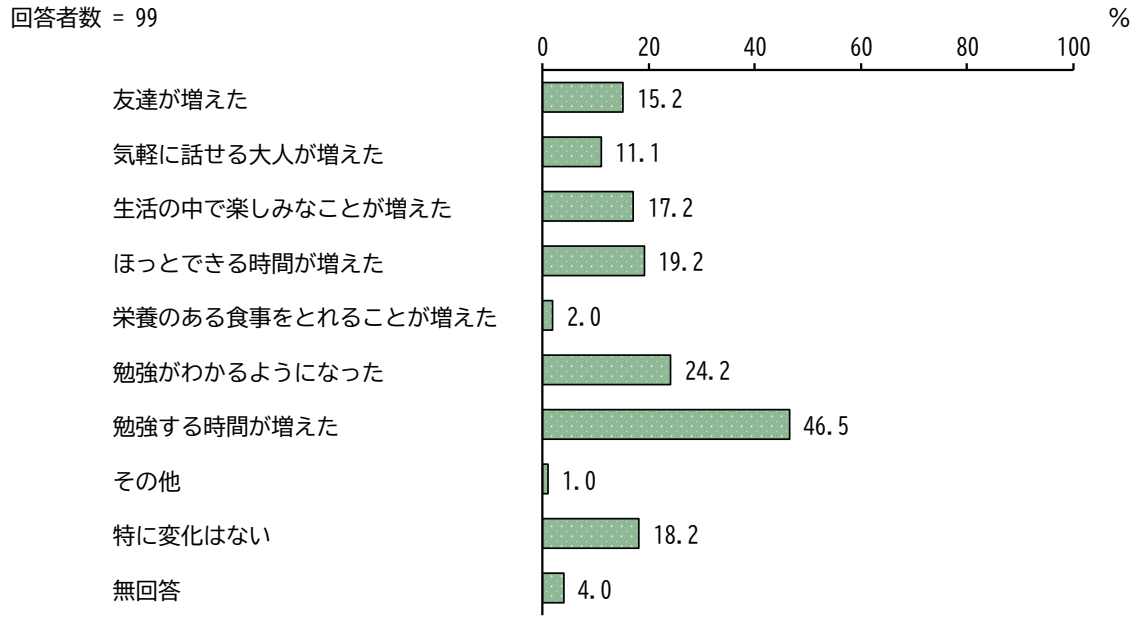
　生活困難度別にみると、周辺層、貧困層で「使ってみたい」、貧困層で「興味がある」の割合が高くなっています。



問 46 で１つでも「使ったことがある」と答えた方にお聞きします。

問 46－１　そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(「友達が増えた」～「その他」については、あてはまる番号すべてに○)

「勉強する時間が増えた」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「勉強がわかるようになった」の割合が 24.2%、「ほっとできる時間が増えた」の割合が 19.2%となっています。



【生活困難度別】

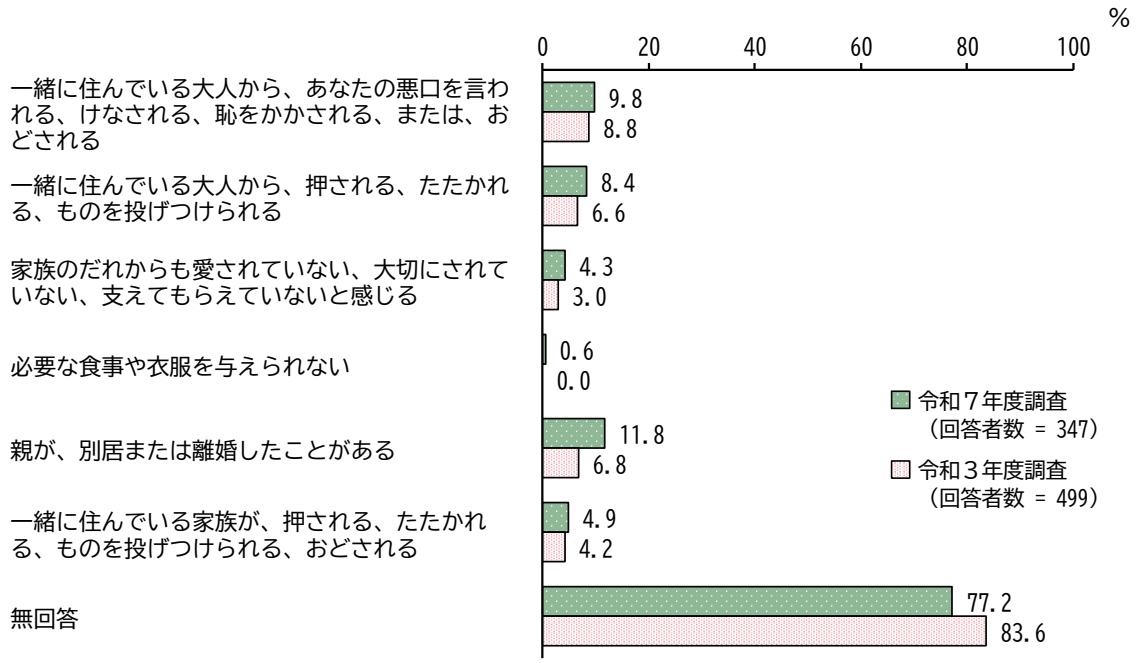
生活困難度別にみると、一般層で「生活の中で楽しみなことが増えた」「ほっとできる時間が増えた」「勉強がわかるようになった」の割合が高く、周辺層で「勉強する時間が増えた」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	友達が増えた	気軽に話せる大人が増えた	生活の中で楽しみなことが増えた	ほっとできる時間が増えた	栄養のある食事をとれることが増えた	勉強がわかるようになった	勉強する時間が増えた	その他	特に変化はない	無回答
全　体	99	15.2	11.1	17.2	19.2	2.0	24.2	46.5	1.0	18.2	4.0
一般層	40	7.5	12.5	17.5	17.5	0.0	27.5	42.5	0.0	20.0	2.5
周辺層	11	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	18.2	54.5	0.0	18.2	9.1
貧困層	6	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	50.0	0.0	33.3	0.0
無回答	42	23.8	9.5	21.4	23.8	4.8	23.8	47.6	2.4	14.3	4.8

問 47　あなたは今までに、次のようなことがありましたか。（あてはまる番号すべてに○）

「親が、別居または離婚したことがある」の割合が 11.8%と最も高くなっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層、貧困層で「一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言われる、けなされる、恥をかかされる、または、おどされる」「家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じる」、貧困層で「一緒に住んでいる大人から、押される、たたかれる、ものを投げつけられる」「親が、別居または離婚したことがある」「一緒に住んでいる家族が、押される、たたかれる、ものを投げつけられる、おどされる」の割合が高くなっています。

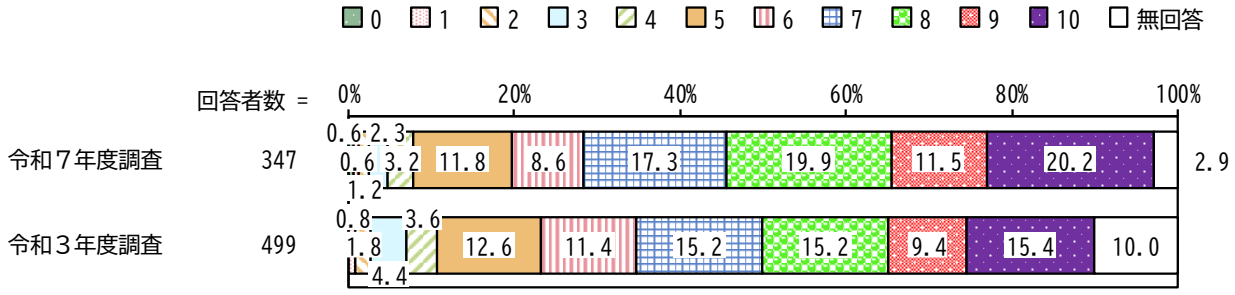
単位：%

区分	回答者数（件）	一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言われる、けなされる、恥をかかされる、または、おどされる	一緒に住んでいる大人から、押される、たたかれる、ものを投げつけられる	家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じる	必要な食事や衣服を与えられない	親が、別居または離婚したことがある	一緒に住んでいる家族が、押される、たたかれる、ものを投げつけられる、おどされる	無回答
全　体	347	9.8	8.4	4.3	0.6	11.8	4.9	77.2
一般層	128	7.8	5.5	1.6	0.0	7.0	1.6	83.6
周辺層	32	18.8	12.5	9.4	0.0	28.1	9.4	62.5
貧困層	17	17.6	17.6	11.8	0.0	35.3	17.6	41.2
無回答	170	8.8	8.8	4.7	1.2	10.0	5.3	78.8

問 48　この１年を振り返って、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を０点とすると、何点くらいになると思いますか。０～10 の数字から１つだけ選んでください。（１つに○）

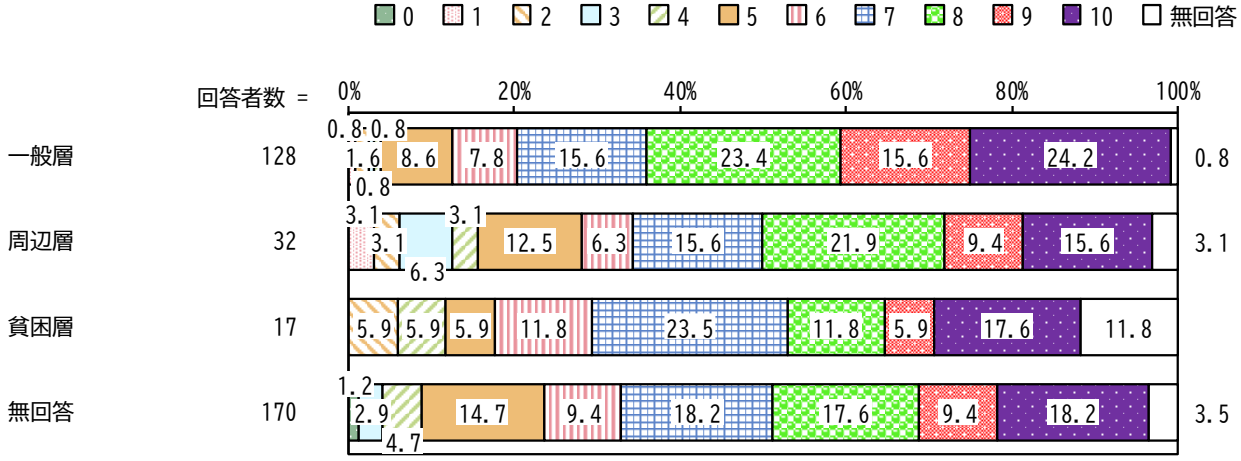
「10」の割合が 20.2%と最も高く、次いで「8」の割合が 19.9%、「7」の割合が 17.3%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



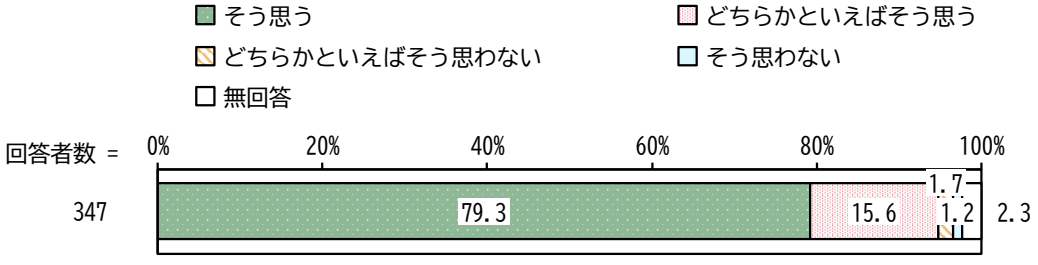
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「7」の割合が高く、「5」「8」「9」の割合が低くなっています。



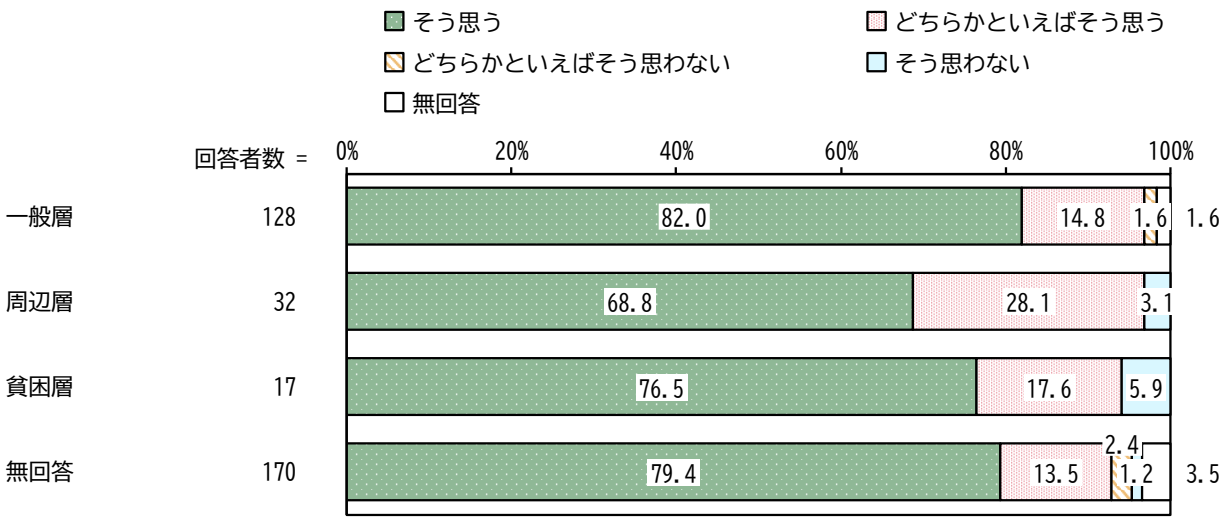
問 49　あなたは、自分の命が守られ安心して暮らしていると思いますか。（１つに○）

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 94.9%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 2.9%となっています。



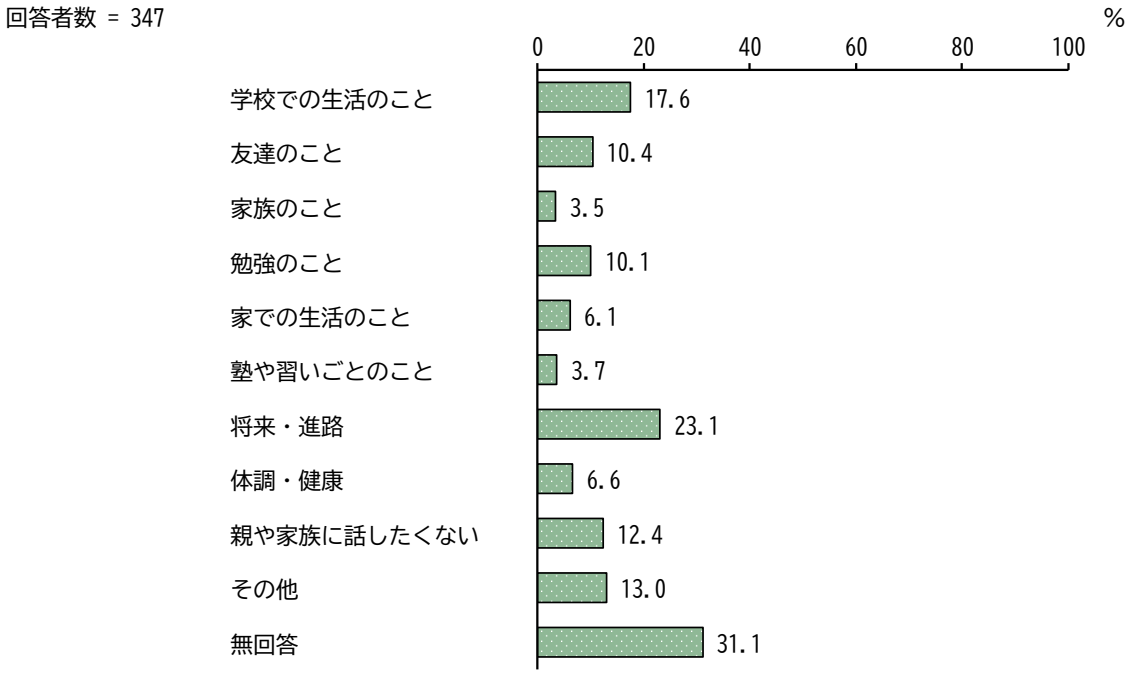
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「どちらかといえばそう思う」の割合が高く、「そう思う」の割合が低くなっています。



問 50　あなたは、親や家族の人がもっとあなたの意見を聞いてほしいと思うことはありますか。また、それはどのようなことですか。（あてはまる番号すべてに○）

「将来・進路」の割合が 23.1%と最も高く、次いで「学校での生活のこと」の割合が 17.6%、「親や家族に話したくない」の割合が 12.4%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「学校での生活のこと」「体調・健康」、周辺層で「友達のこと」「勉強のこと」「塾や習いごとのこと」、周辺層、貧困層で「将来・進路」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	学校での生活のこと	友達のこと	家族のこと	勉強のこと	家での生活のこと	塾や習いごとのこと	将来・進路	体調・健康	親や家族に話したくない	その他	無回答
全　体	347	17.6	10.4	3.5	10.1	6.1	3.7	23.1	6.6	12.4	13.0	31.1
一般層	128	15.6	7.0	1.6	6.3	3.9	1.6	20.3	3.9	12.5	14.1	37.5
周辺層	32	21.9	15.6	6.3	28.1	6.3	12.5	28.1	9.4	9.4	9.4	18.8
貧困層	17	23.5	11.8	0.0	17.6	5.9	5.9	29.4	17.6	11.8	17.6	17.6
無回答	170	17.6	11.8	4.7	8.8	7.6	3.5	23.5	7.1	12.9	12.4	30.0

【世帯分類別】

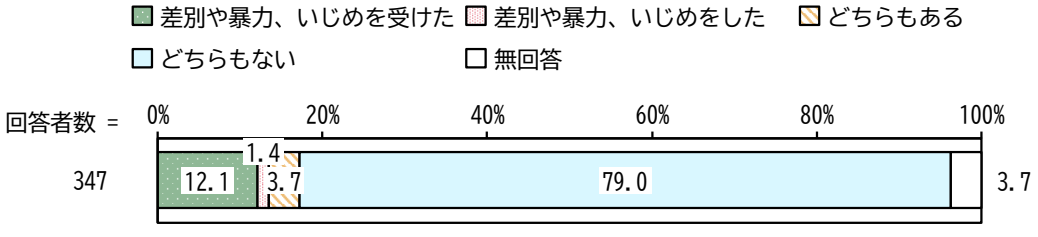
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「学校での生活のこと」「体調・健康」、父親（ひとり親）、母親（ひとり親）で「勉強のこと」、母親（ひとり親）、ふたり親（３世帯）で「家での生活のこと」、母親（ひとり親）で「将来・進路」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	学校での生活のこと	友達のこと	家族のこと	勉強のこと	家での生活のこと	塾や習いごとのこと	将来・進路	体調・健康	親や家族に話したくない	その他	無回答
全　体	347	17.6	10.4	3.5	10.1	6.1	3.7	23.1	6.6	12.4	13.0	31.1
父親（ひとり親）	31	22.6	6.5	0.0	16.1	9.7	3.2	22.6	0.0	6.5	16.1	25.8
母親（ひとり親）	52	21.2	13.5	5.8	17.3	11.5	7.7	34.6	11.5	9.6	11.5	23.1
ふたり親（２世帯）	215	15.8	11.2	1.9	9.3	3.7	3.3	20.5	4.7	14.0	12.1	33.5
ふたり親（３世帯）	16	31.3	12.5	6.3	6.3	12.5	0.0	25.0	12.5	6.3	18.8	25.0
無回答	33	12.1	3.0	12.1	0.0	6.1	3.0	21.2	15.2	15.2	15.2	36.4

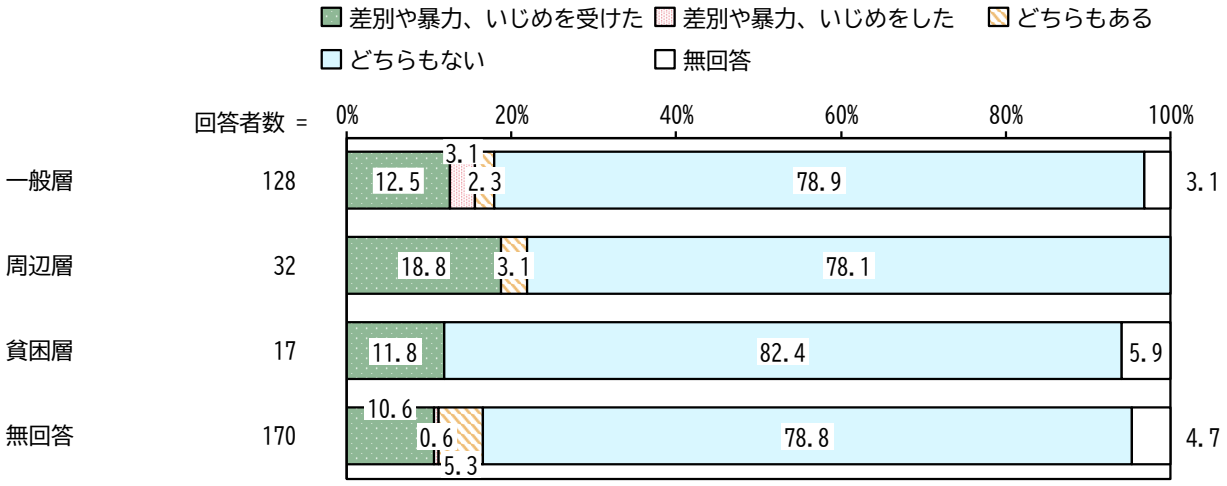
問 51　あなたは、差別・暴力・いじめを受けたことがありますか。また、したことがありますか。（１つに○）

「どちらもない」の割合が 79.0%と最も高く、次いで「差別や暴力、いじめを受けた」の割合が 12.1%となっています。



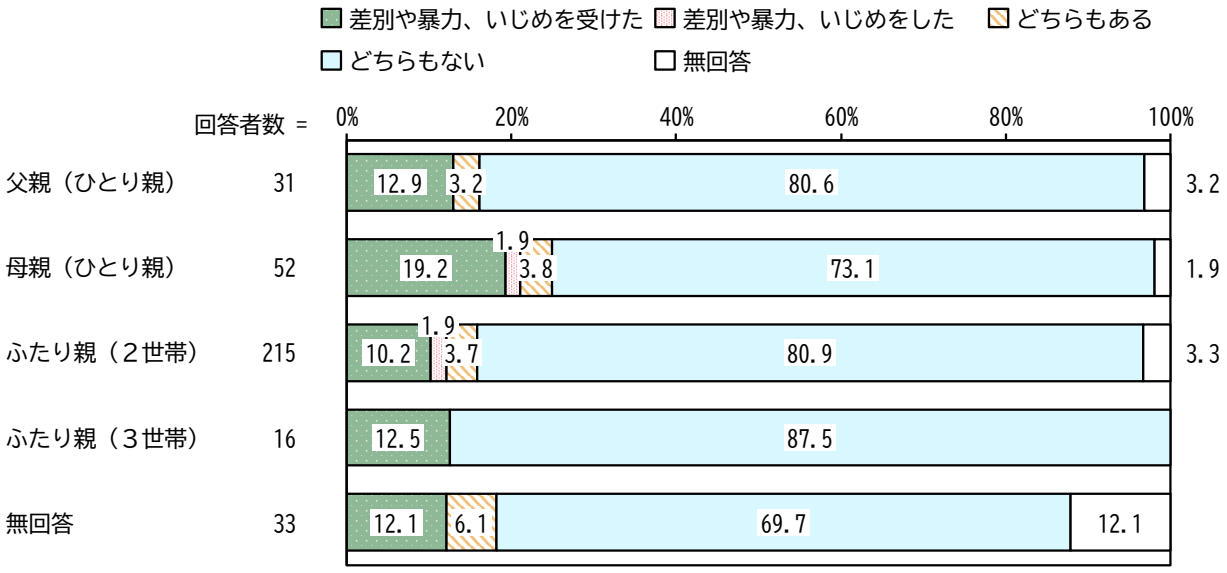
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「差別や暴力、いじめを受けた」の割合が高くなっています。



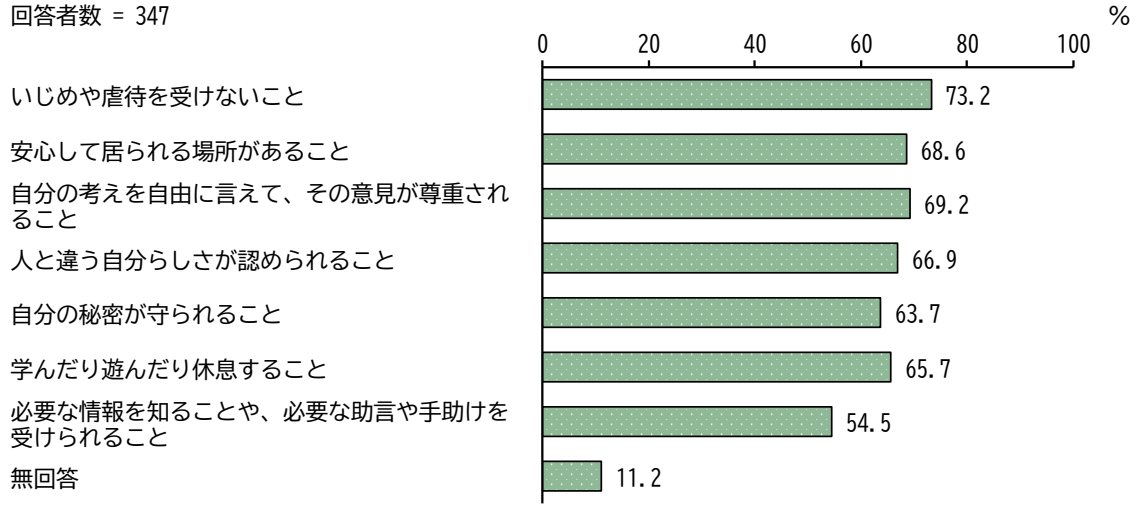
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「差別や暴力、いじめを受けた」の割合が高くなっています。



問 52　子どもの権利の中で知っているものはどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

「いじめや虐待を受けないこと」の割合が 73.2%と最も高く、次いで「自分の考えを自由に言えて、その意見が尊重されること」の割合が 69.2%、「安心して居られる場所があること」の割合が 68.6%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	いじめや虐待を受けないこと	安心して居られる場所があること	自分の考えを自由に言えて、その意見が尊重されること	人と違う自分らしさが認められること	自分の秘密が守られること	学んだり遊んだり休息すること	必要な情報を知ることや、必要な助言や手助けを受けられること	無回答
全　体	347	73.2	68.6	69.2	66.9	63.7	65.7	54.5	11.2
一般層	128	73.4	68.0	69.5	65.6	65.6	68.0	57.0	12.5
周辺層	32	78.1	71.9	65.6	56.3	59.4	59.4	53.1	12.5
貧困層	17	70.6	52.9	58.8	58.8	47.1	58.8	52.9	11.8
無回答	170	72.4	70.0	70.6	70.6	64.7	65.9	52.9	10.0

問 53　日野市になんでも要望できるとすれば、どのようなことを要望しますか。どのようなことでもよいので、書いてください。

※別冊　自由記述結果報告書

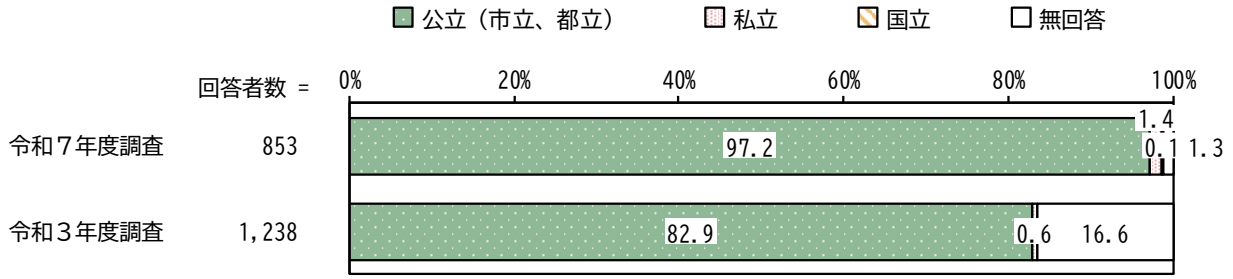
４　小学生保護者

問２はお子さんが学校に通っている方のみご回答ください。

問２　お子さんの通っている学校の種類は、以下のどれになりますか。（１つに○）
公立の場合は、学校の名前を書いてください。

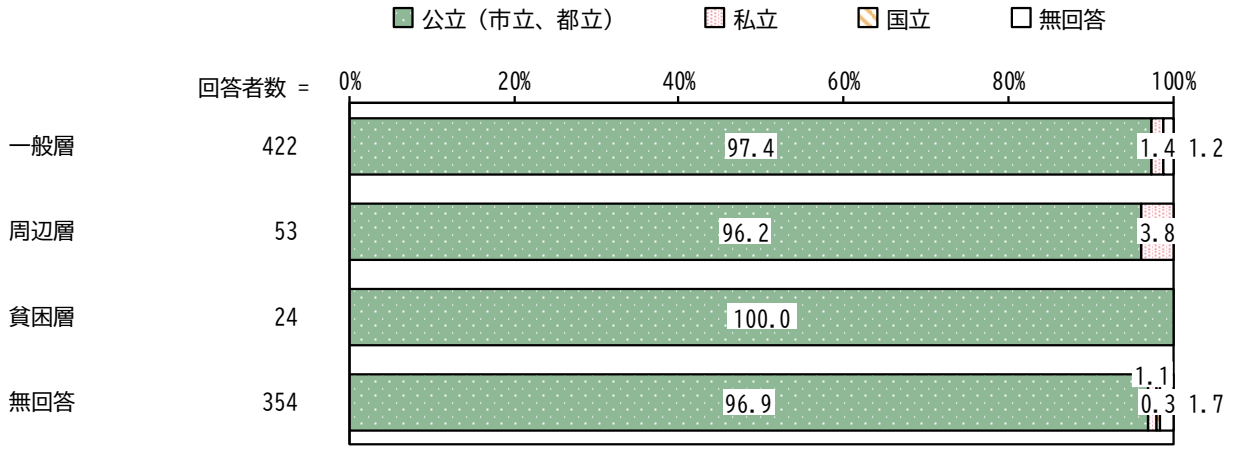
「公立（市立、都立）」の割合が 97.2%、「私立」の割合が 1.4%、「国立」の割合が 0.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「公立（市立、都立）」の割合が増加しています。



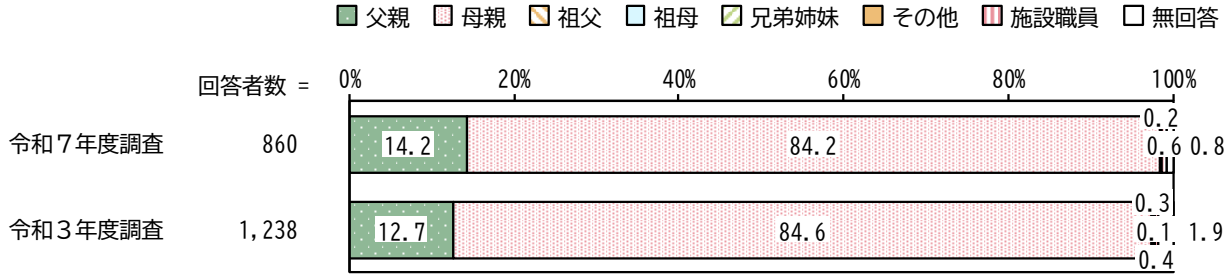
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



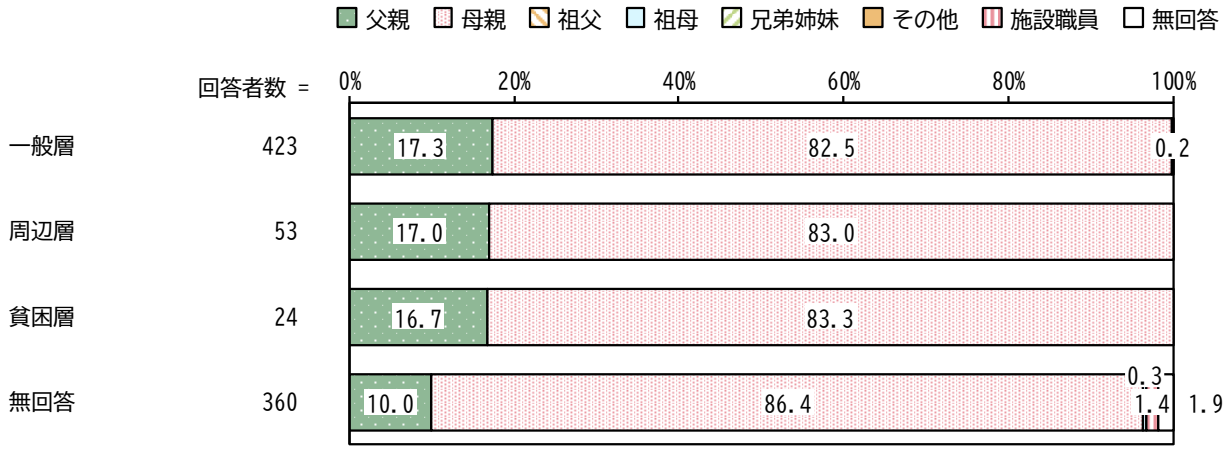
問３　お子さんとあなた（回答者）との関係は、以下のどれになりますか。お子さんからみた続柄で、お答えください。（１つに○）

「母親」の割合が 84.2%と最も高く、次いで「父親」の割合が 14.2%となっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



施設職員の方は以後の設問について、可能な範囲で回答ください。

問４　あなたのお住まいの地区はどこですか。（１つに○）

「多摩平」の割合が 10.2%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	旭が丘	新井	石田	大坂上	落川	上田	川辺堀之内	栄町	新町	神明	高幡	多摩平	豊田	西平山
全　体	860	5.6	2.6	0.9	2.6	2.7	1.0	2.4	2.7	2.9	2.7	1.3	10.2	5.1	3.1
令和７年度調査	860	5.6	2.6	0.9	2.6	2.7	1.0	2.4	2.7	2.9	2.7	1.3	10.2	5.1	3.1
令和３年度調査	1,238	5.7	1.7	1.9	2.3	2.5	0.6	1.2	3.7	3.2	3.1	2.0	10.8	4.3	3.7

区分	東豊田	東平山	日野	日野台	日野本町	平山	富士町	程久保	万願寺	三沢	南平	宮	百草	無回答
全　体	5.1	3.1	7.9	3.3	4.2	2.6	0.6	3.3	6.7	5.3	6.6	0.5	2.4	2.6
令和７年度調査	5.1	3.1	7.9	3.3	4.2	2.6	0.6	3.3	6.7	5.3	6.6	0.5	2.4	2.6
令和３年度調査	5.5	2.5	8.0	2.8	4.0	3.0	1.9	2.7	5.7	3.9	6.4	0.0	3.2	3.7

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「西平山」「日野台」「南平」「百草」の割合が高くなっています。

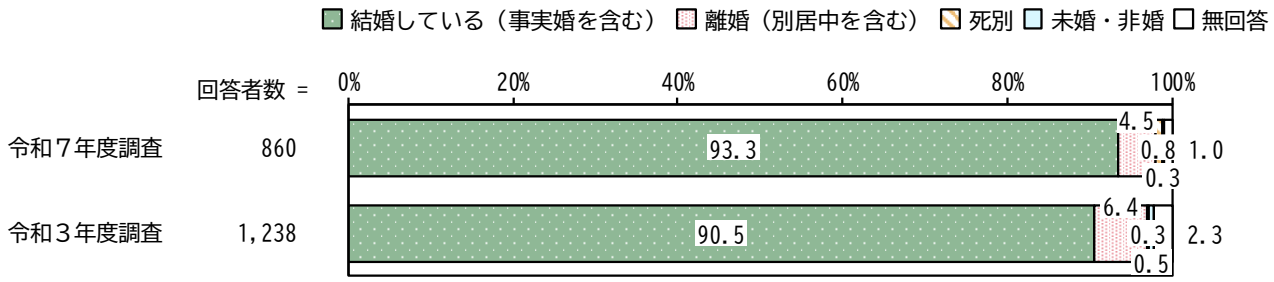
単位：%

区分	回答者数（件）	旭が丘	新井	石田	大坂上	落川	上田	川辺堀之内	栄町	新町	神明	高幡	多摩平	豊田	西平山
全　体	860	5.6	2.6	0.9	2.6	2.7	1.0	2.4	2.7	2.9	2.7	1.3	10.2	5.1	3.1
一般層	423	6.9	1.9	1.7	2.8	2.6	1.4	2.6	2.4	2.4	3.1	1.2	9.9	4.5	3.8
周辺層	53	7.5	5.7	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	5.7	5.7	1.9	5.7	3.8	1.9
貧困層	24	4.2	0.0	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0	8.3
無回答	360	3.9	3.1	0.0	2.2	2.8	0.6	2.5	3.3	3.3	1.7	1.4	11.7	6.4	2.2

区分	東豊田	東平山	日野	日野台	日野本町	平山	富士町	程久保	万願寺	三沢	南平	宮	百草	無回答
全　体	5.1	3.1	7.9	3.3	4.2	2.6	0.6	3.3	6.7	5.3	6.6	0.5	2.4	2.6
一般層	5.9	2.6	5.7	3.5	4.5	2.1	1.2	3.1	8.3	4.5	7.6	0.5	2.6	0.9
周辺層	1.9	1.9	7.5	1.9	7.5	3.8	0.0	0.0	9.4	3.8	9.4	0.0	0.0	3.8
貧困層	0.0	0.0	12.5	8.3	8.3	4.2	0.0	0.0	8.3	4.2	12.5	0.0	12.5	0.0
無回答	5.0	4.2	10.3	2.8	3.1	2.8	0.0	4.2	4.4	6.7	4.7	0.6	1.9	4.4

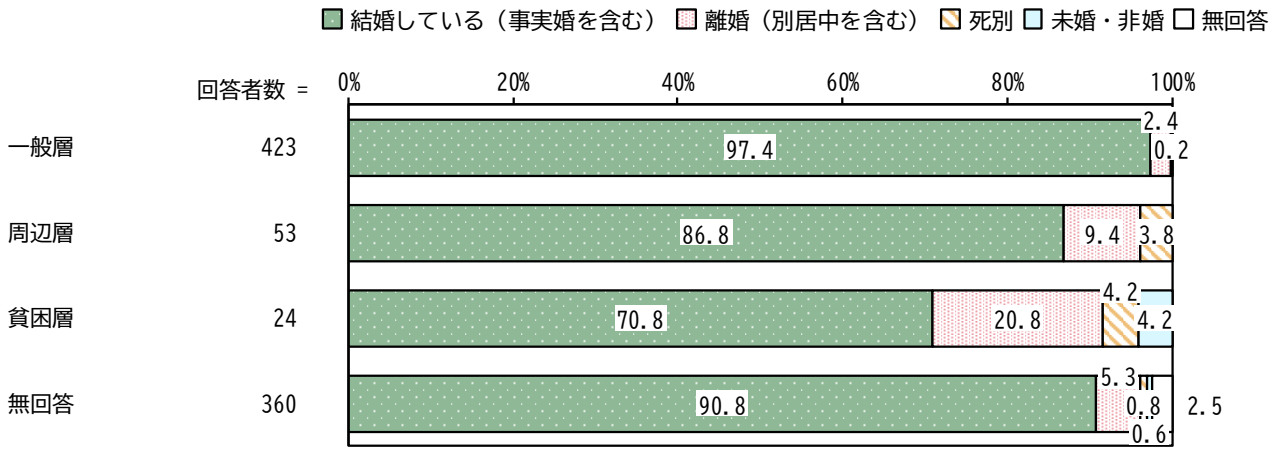
問５　現在のあなたの婚姻状況を教えてください。（１つに○）

「結婚している（事実婚を含む）」の割合が 93.3%と最も高くなっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「離婚（別居中を含む）」の割合が高く、「結婚している（事実婚を含む）」の割合が低くなっています。

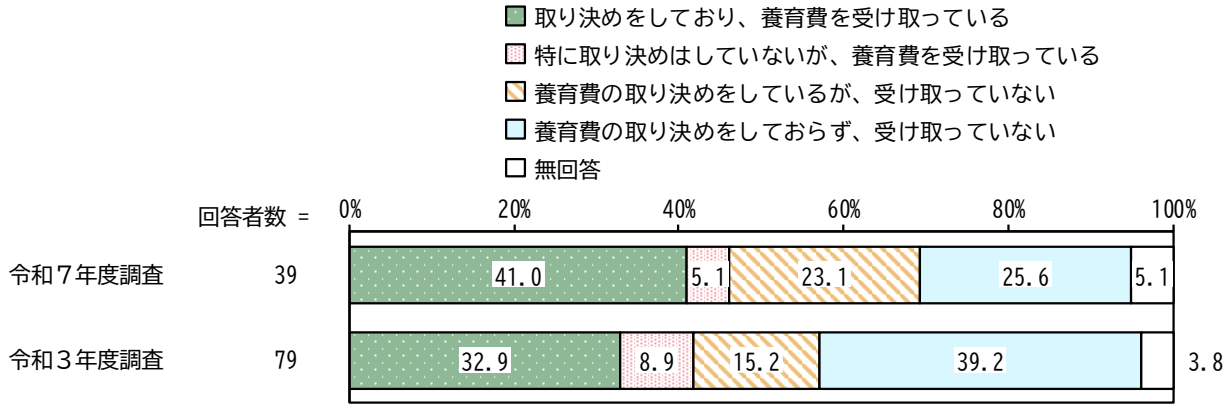


問５で「離婚（別居中を含む）」を選んだ方にお聞きします。

問５－１　離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。（１つに○）

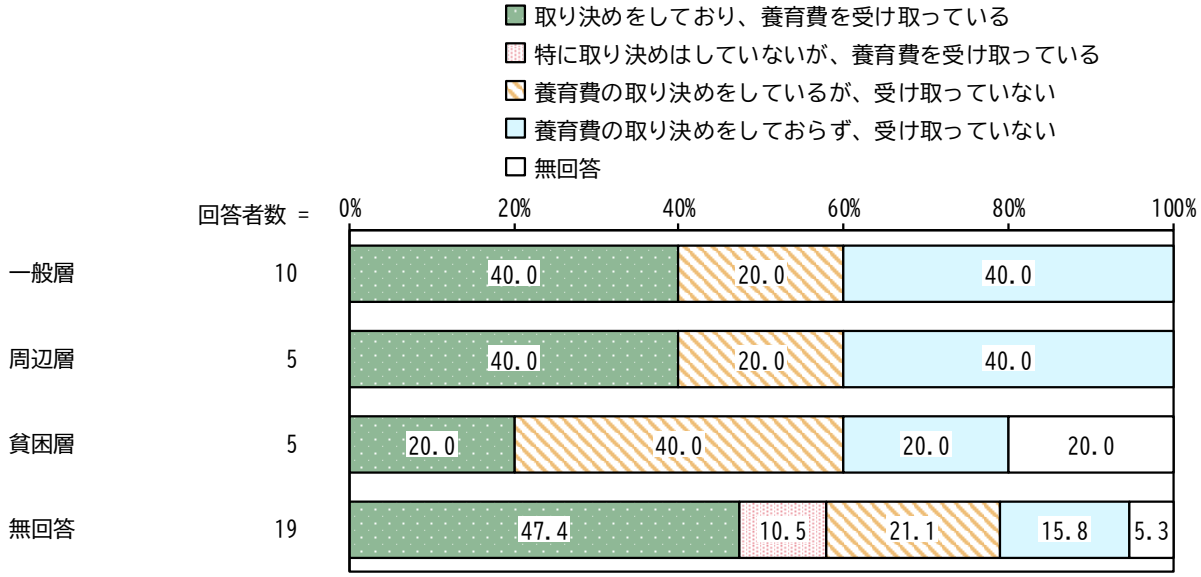
「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の割合が 41.0%と最も高く、次いで「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の割合が 25.6%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の割合が 23.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の割合が増加しています。一方、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の割合が減少しています。



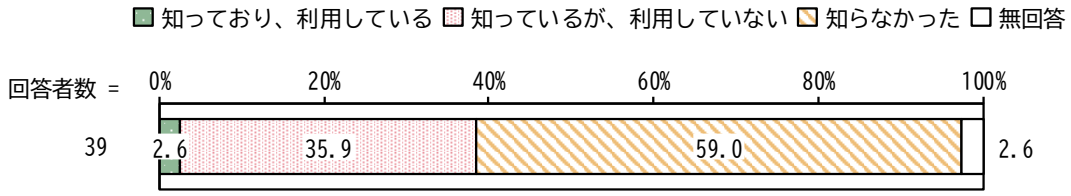
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層から貧困層まで困難度が小さいほど「取り決めをしており、養育費を受け取っている」「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の割合が高く、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の割合が低くなっています。



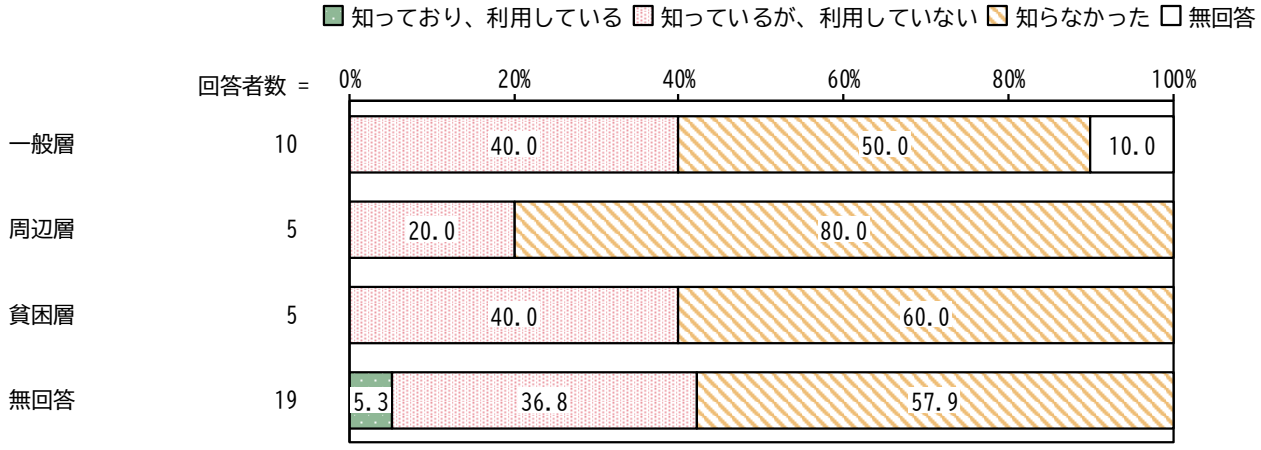
問５－２　日野市では、「養育費確保サポート事業」を実施しています。この事業をご存じでしたか。（１つに○）

「知っており、利用している」の割合が 2.6%、「知っているが、利用していない」の割合が 35.9%、「知らなかった」の割合が 59.0%となっています。



【生活困難度別】

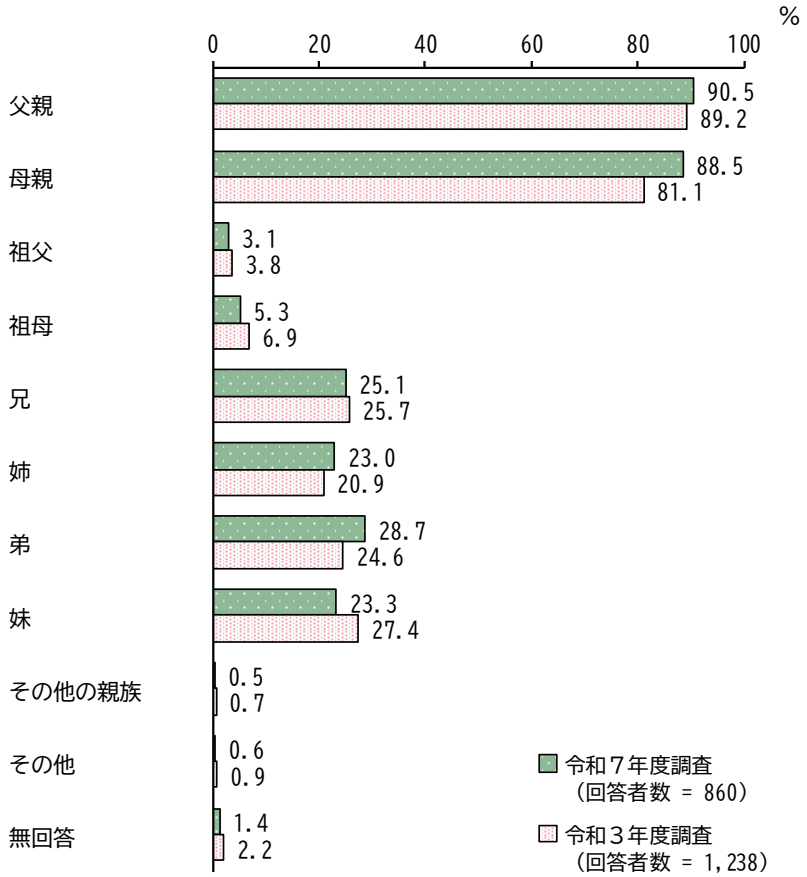
生活困難度別にみると、貧困層から周辺層まで困難度が大きいほど「知っているが、利用していない」の割合が高く、「知らなかった」の割合が低くなっています。



問６　お子さんと同居しているご家族の方は、どなたですか。
（あてはまる番号すべてに○、いずれもお子さんから見た続柄）

「父親」の割合が 90.5%と最も高く、次いで「母親」の割合が 88.5%、「弟」の割合が 28.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「母親」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「父親」「妹」の割合が高くなっています。また、周辺層で「兄」の割合が高くなっています。

単位：%

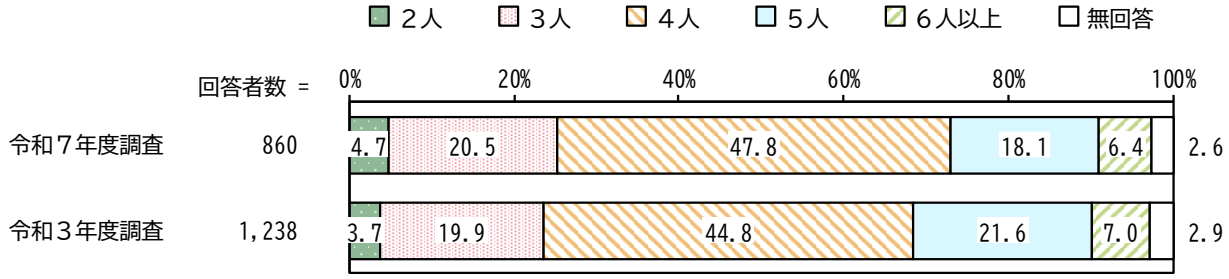
区分	回答者数（件）	父親	母親	祖父	祖母	兄	姉	弟	妹	その他の親族	その他	無回答
全　体	860	90.5	88.5	3.1	5.3	25.1	23.0	28.7	23.3	0.5	0.6	1.4
一般層	423	94.8	89.8	4.5	7.1	24.3	22.0	30.7	23.9	0.5	0.0	0.2
周辺層	53	84.9	96.2	0.0	5.7	35.8	20.8	34.0	17.0	0.0	0.0	0.0
貧困層	24	66.7	87.5	0.0	4.2	16.7	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
無回答	360	87.8	85.8	2.2	3.3	25.0	24.4	25.8	24.2	0.6	1.4	3.1

問７　お子さんと同居しているご家族の人数（あなたとお子さん含む）、及び、お子さんの兄弟姉妹の人数を教えてください。（いずれも、枠内に数字で回答してください）

お子さんと同居しているご家族の人数

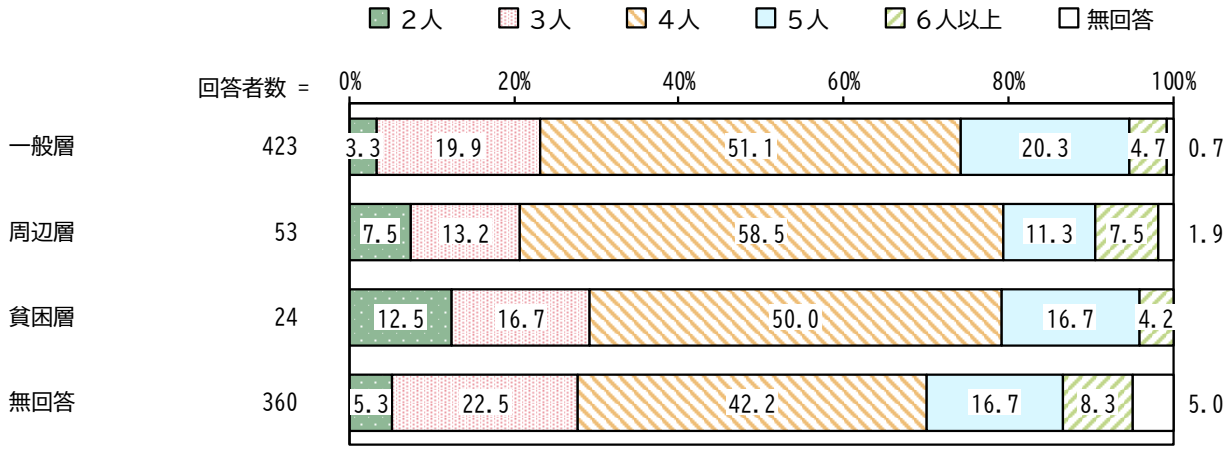
「４人」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「３人」の割合が 20.5%、「５人」の割合が 18.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

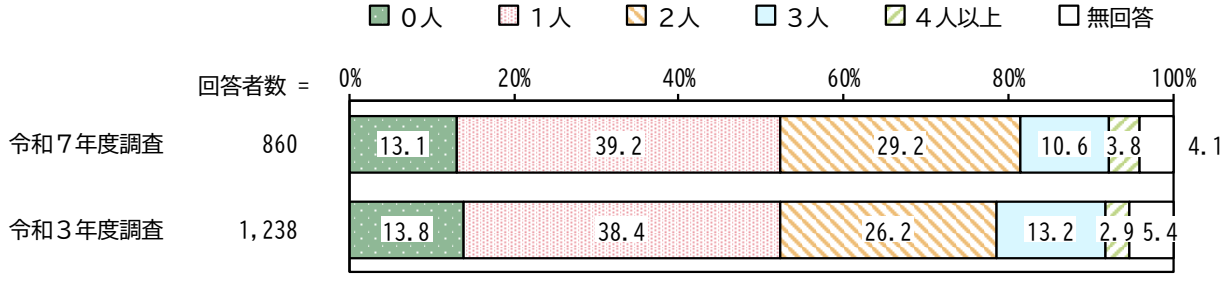
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「２人」の割合が高くなっています。また、周辺層で「４人」の割合が高くなっています。



うち、お子さんの兄弟姉妹の人数

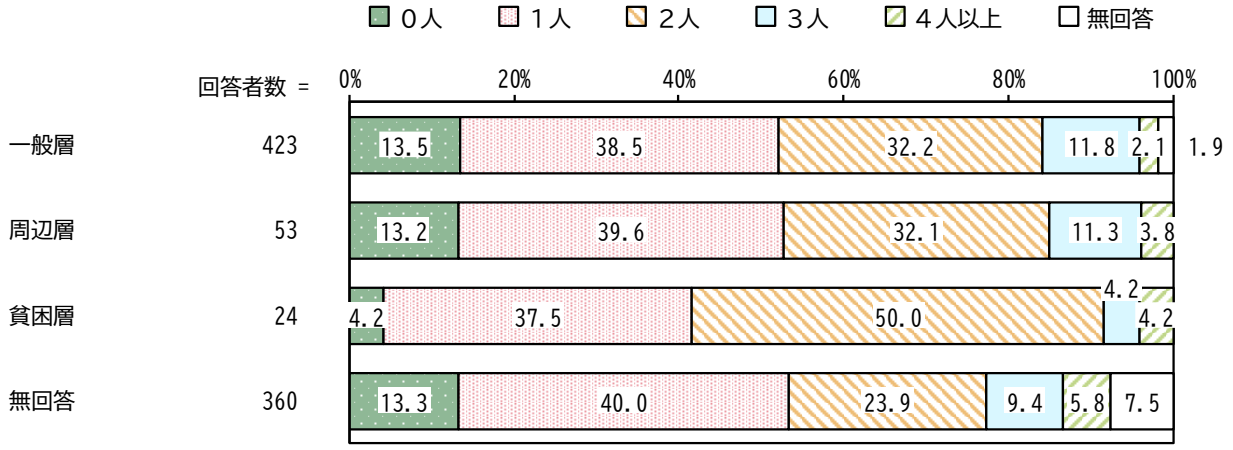
「１人」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「２人」の割合が 29.2%、「０人」の割合が 13.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

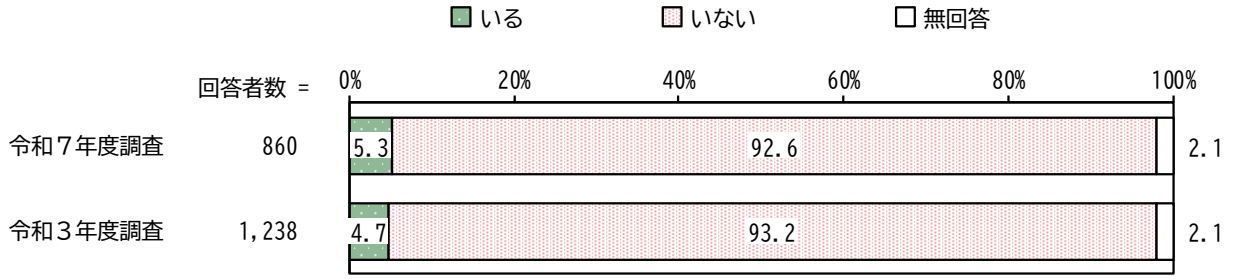
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「０人」「３人」の割合が高くなっています。また、貧困層で「２人」の割合が高くなっています。



問８　お子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障害があったりするなど、ケア・サポートが必要な方はいますか。（１つに○）

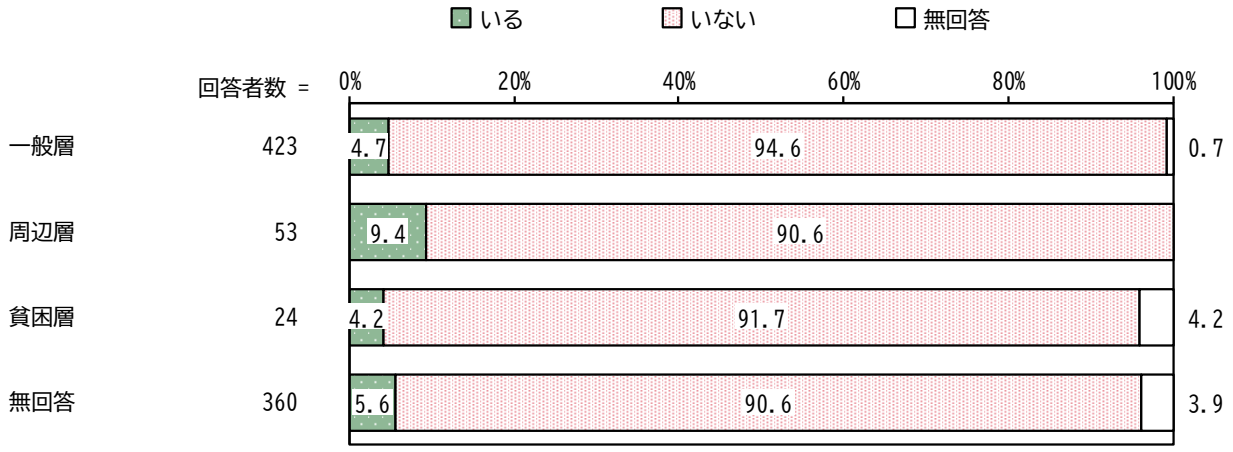
「いる」の割合が 5.3%、「いない」の割合が 92.6%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

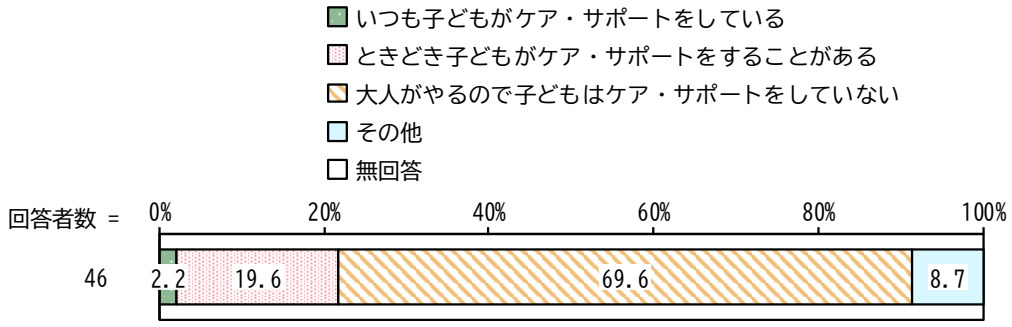
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



問８で「いる」を選んだ方にお聞きします。

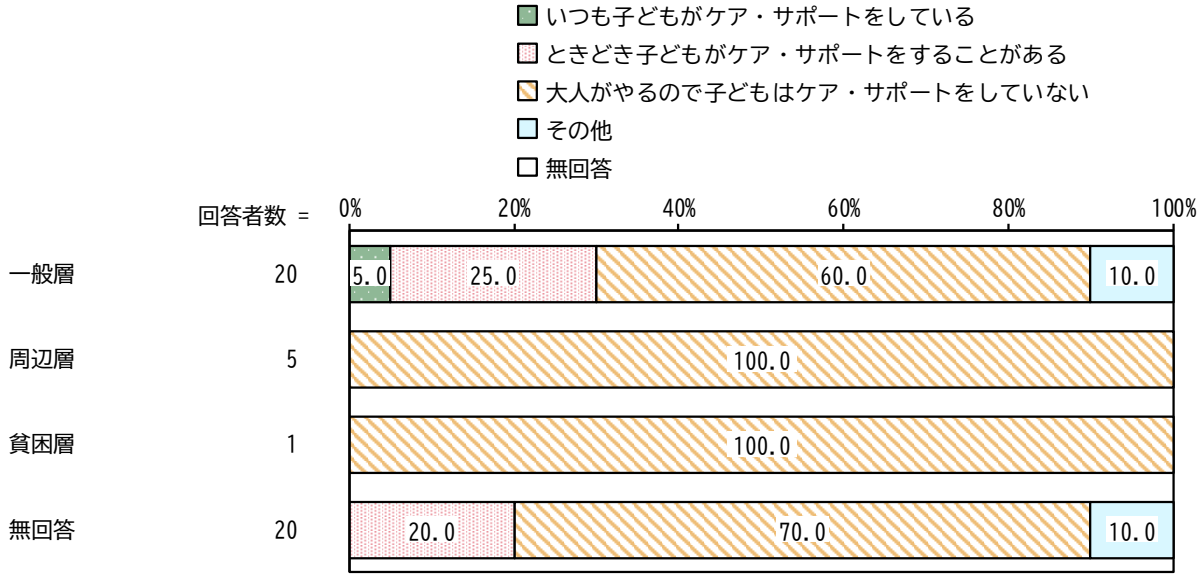
問８－１　病気や障害のある家族のケア・サポートを子どもがすることはありますか。
（１つに○）

「いつも子どもがケア・サポートをしている」の割合が 2.2%、「ときどき子どもがケア・サポートをすることがある」の割合が 19.6%、「大人がやるので子どもはケア・サポートをしていない」の割合が 69.6%となっています。



【生活困難度別】

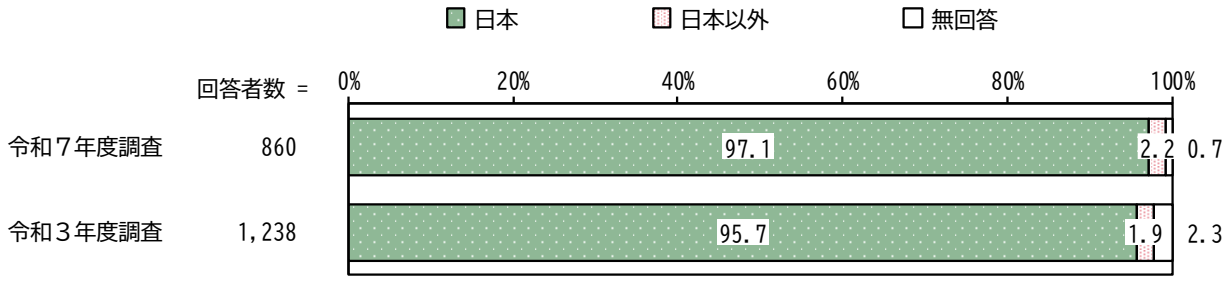
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「大人がやるので子どもはケア・サポートをしていない」の割合が高くなっています。



問９　お子さんのご両親の国籍にあてはまる番号を、それぞれ教えてください。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

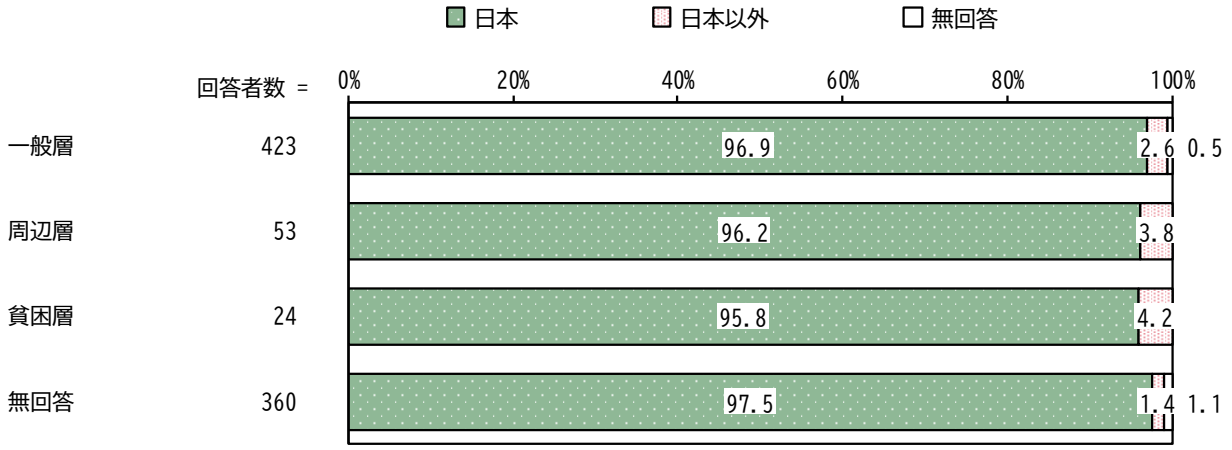
A　母親

「日本」の割合が 97.1%、「日本以外」の割合が 2.2%となっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



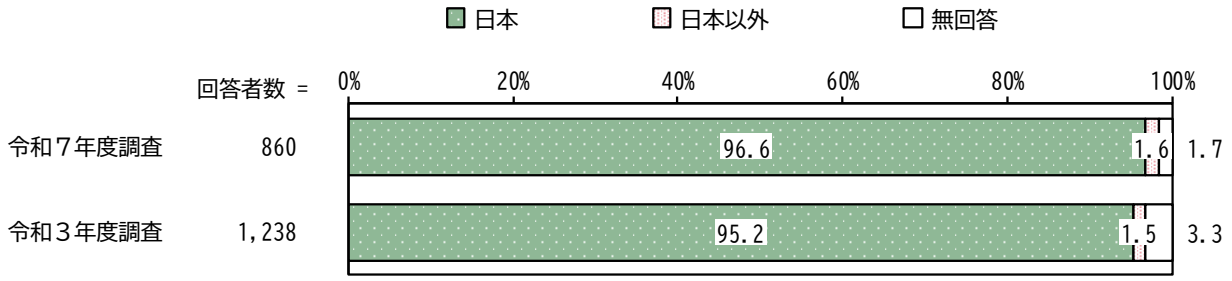
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



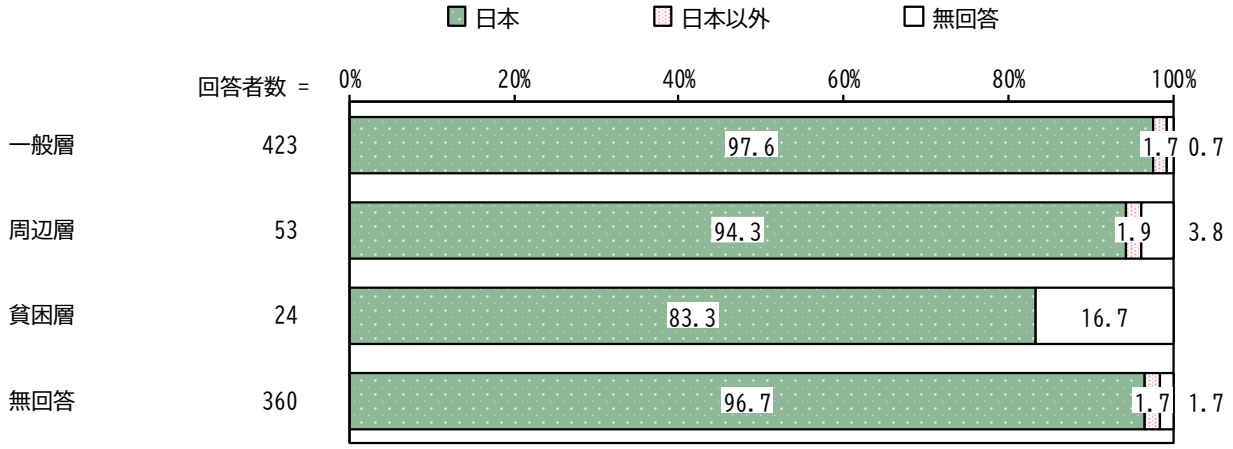
B　父親

「日本」の割合が 96.6%、「日本以外」の割合が 1.6%となっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「日本」の割合が高くなっています。

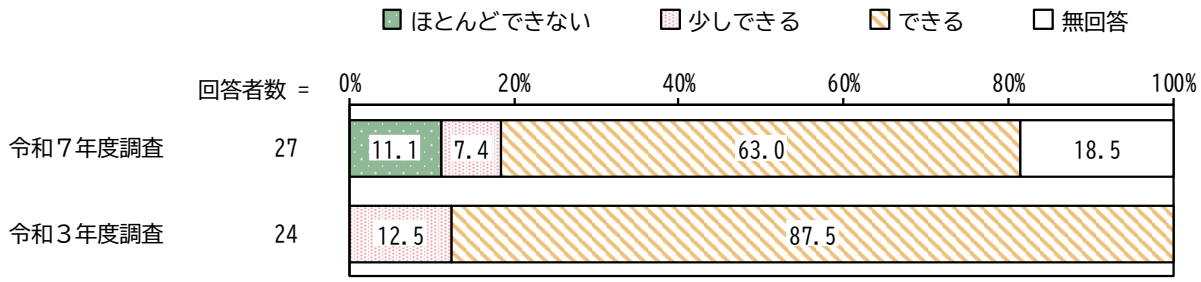


問９のＡ、Ｂのいずれかで「日本以外」を選んだ方にお聞きします。

問９－１　該当するご本人は日本語がどのくらいできますか。（１つに○）

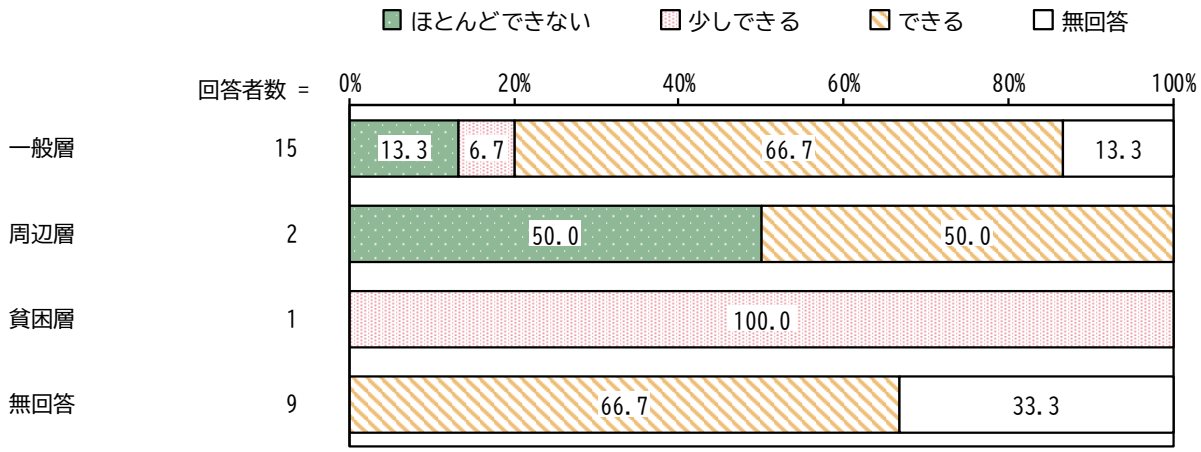
「ほとんどできない」の割合が 11.1%、「少しできる」の割合が 7.4%、「できる」の割合が 63.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「ほとんどできない」の割合が増加しています。一方、「少しできる」「できる」の割合が減少しています。



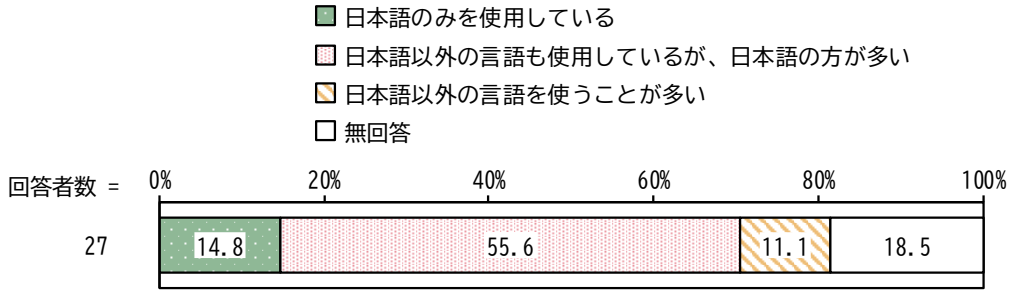
【生活困難度別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



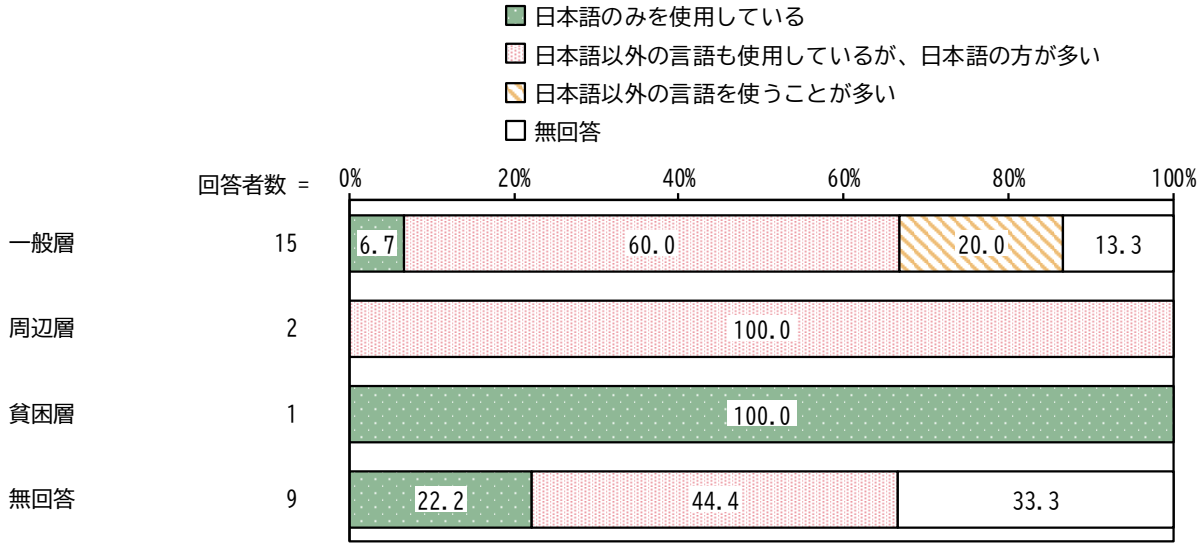
問９－２　ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。（１つに○）

「日本語のみを使用している」の割合が 14.8%、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」の割合が 55.6%、「日本語以外の言語を使うことが多い」の割合が 11.1%となっています。



【生活困難度別】

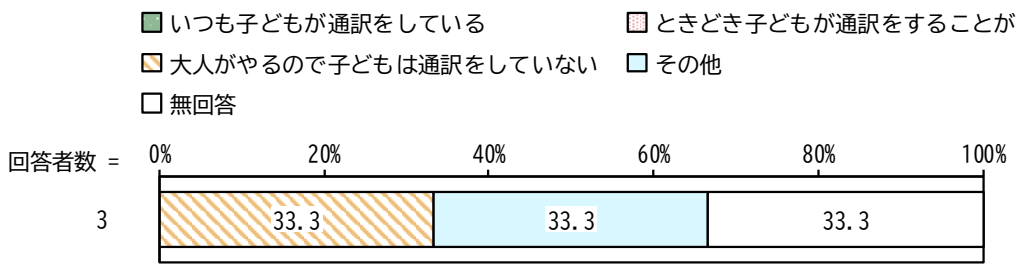
有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



問９－１で「ほとんどできない」を選んだ方にお聞きします。

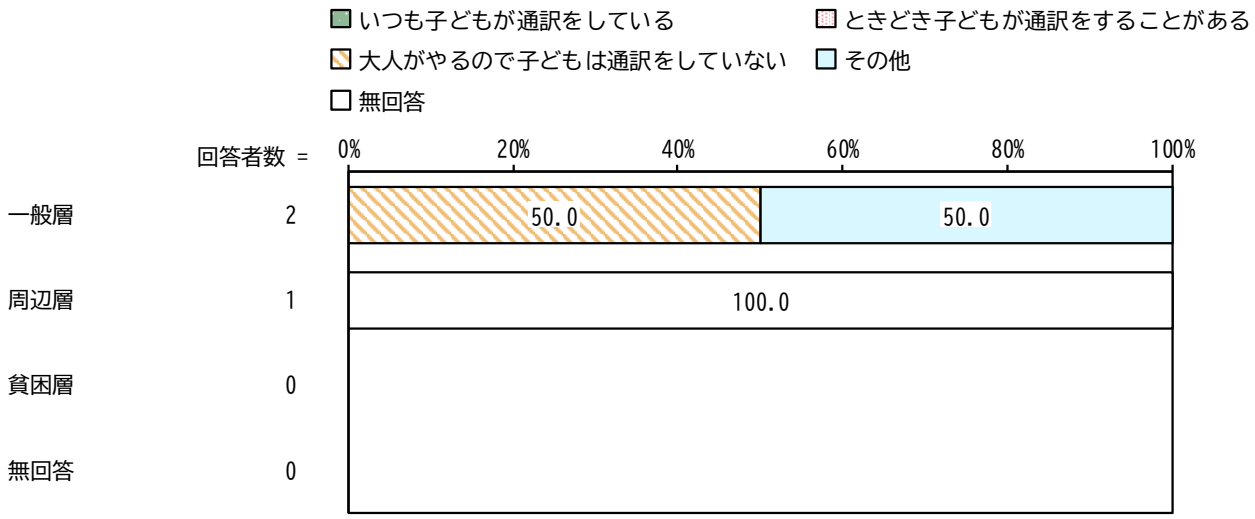
問９－３　日本語通訳などを子どもがすることはありますか。（１つに○）

「大人がやるので子どもは通訳をしていない」が１件となっています。



【生活困難度別】

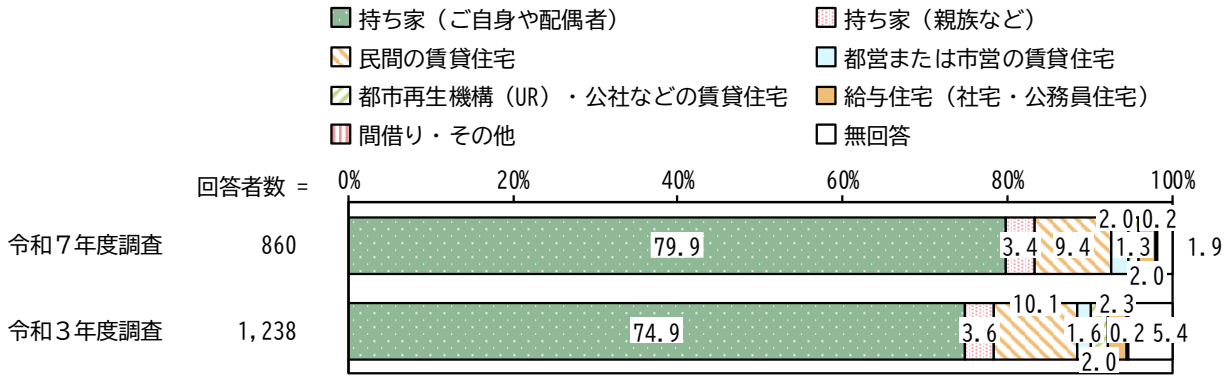
有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



問 10　現在お住いの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。（１つに○）

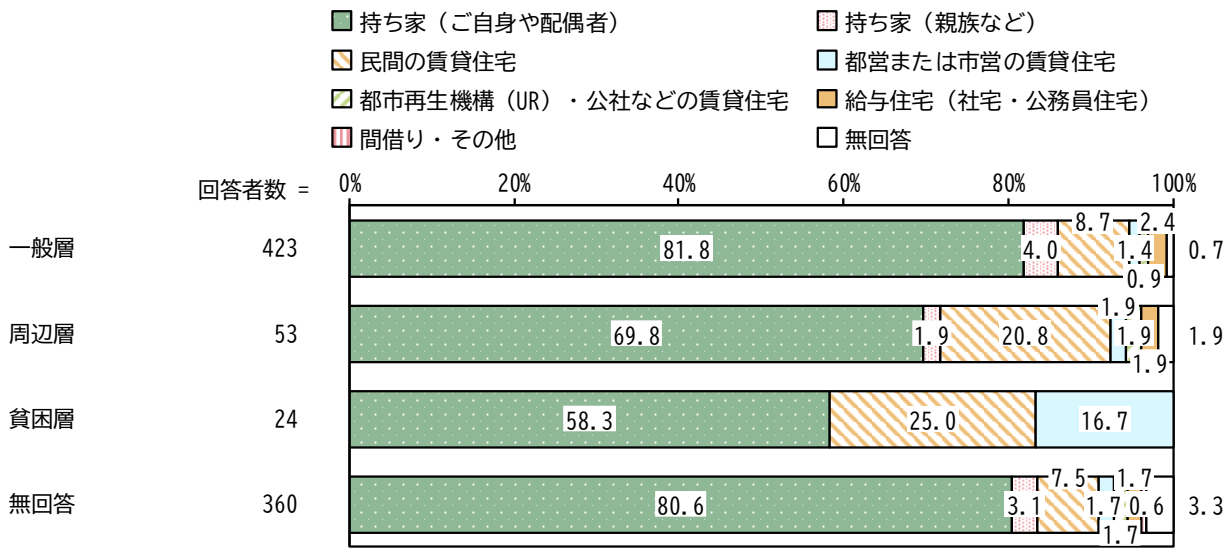
「持ち家（ご自身や配偶者）」の割合が 79.9%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「民間の賃貸住宅」「都営または市営の賃貸住宅」の割合が高く、「持ち家（ご自身や配偶者）」の割合が低くなっています。

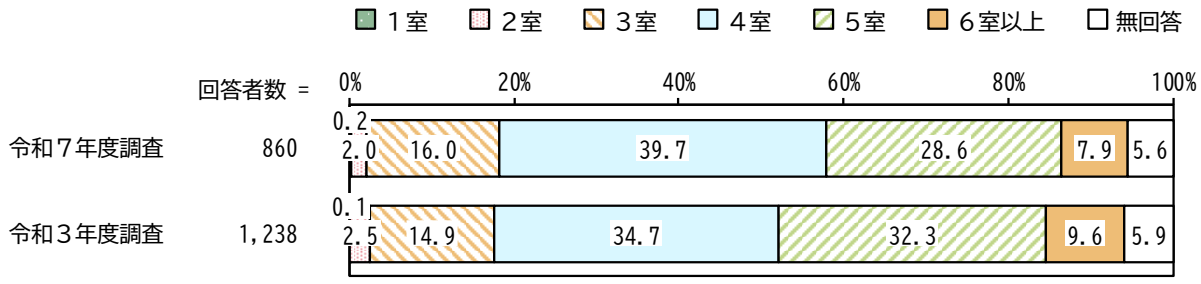


問 11　お住いの住居の室数について、居住用の部屋数（玄関や風呂等は含めない）を教えてください。また、それらの部屋の広さのおおよそ合計を教えてください。（枠内に数字で回答してください）

部屋数(室)

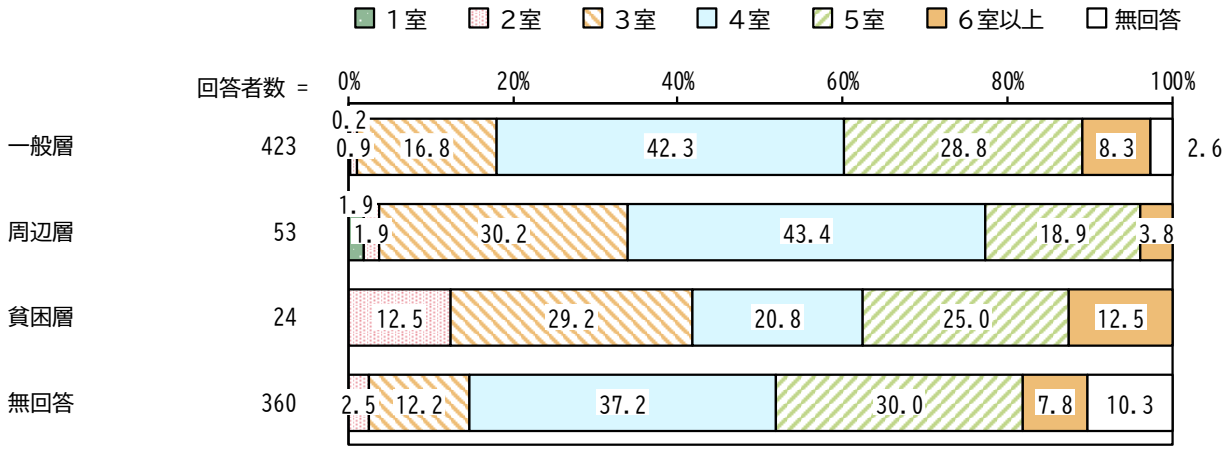
「４室」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「５室」の割合が 28.6%、「３室」の割合が 16.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

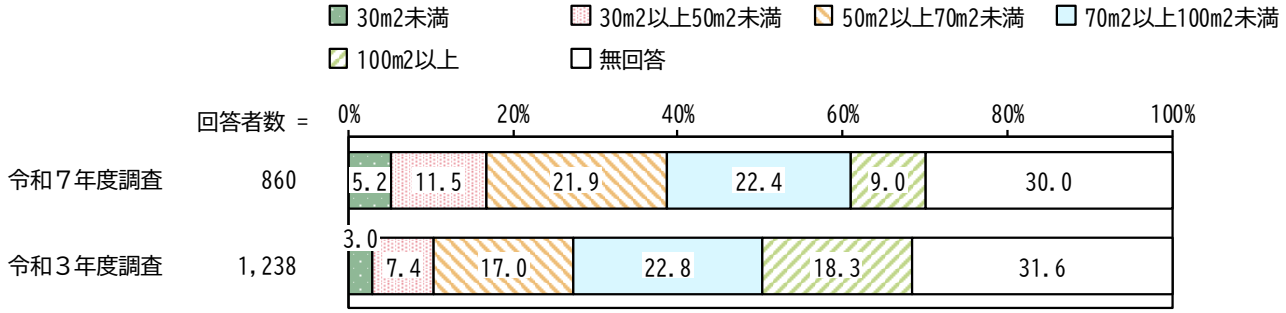
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「２室」の割合が高くなっています。また、周辺層、貧困層で「３室」の割合が高く、貧困層で「４室」の割合が低くなっています。



部屋の広さの合計（平方メートル）

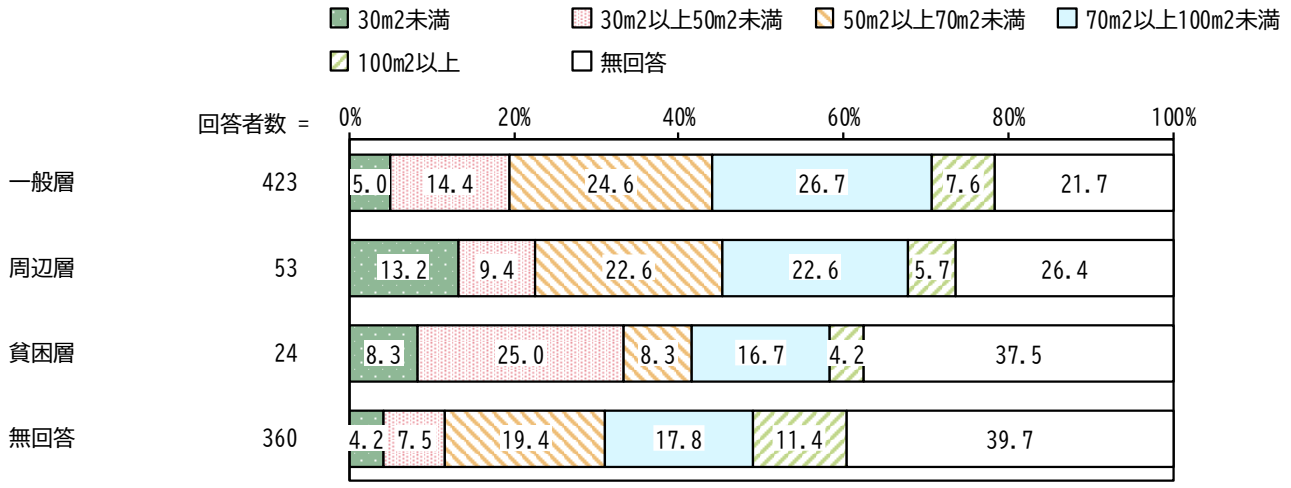
「70m2 以上 100m2 未満」の割合が 22.4%と最も高く、次いで「50m2 以上 70m2 未満」の割合が 21.9%、「30m2 以上 50m2 未満」の割合が 11.5%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「100m2 以上」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「50m2 以上 70m2 未満」「70m2 以上 100m2 未満」の割合が高くなっています。また、貧困層で「30m2 以上 50m2 未満」の割合が高くなっています。

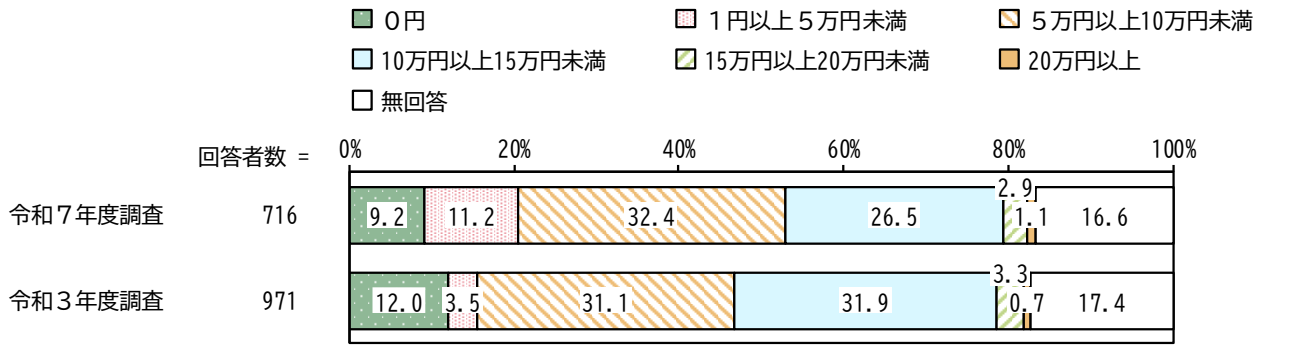


問 12　１か月あたりの住居費負担はいくらですか。持ち家の場合は住宅ローン返済額及び管理費・修繕積立費、賃貸の場合は、家賃又は間代及び共益費または管理費（共用部分の電気料・清掃費など）を教えてください。

A　持ち家【１か月あたりの住宅ローン返済額】（円）

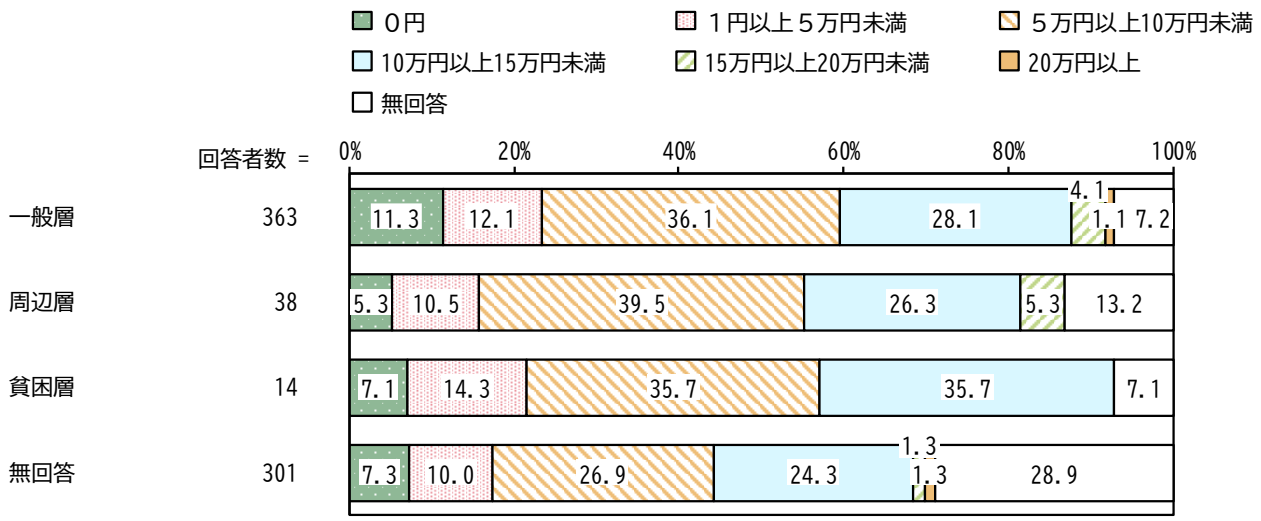
「５万円以上 10 万円未満」の割合が 32.4%と最も高く、次いで「10 万円以上 15 万円未満」の割合が 26.5%、「１円以上５万円未満」の割合が 11.2%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「１円以上５万円未満」の割合が増加しています。一方、「10 万円以上 15 万円未満」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

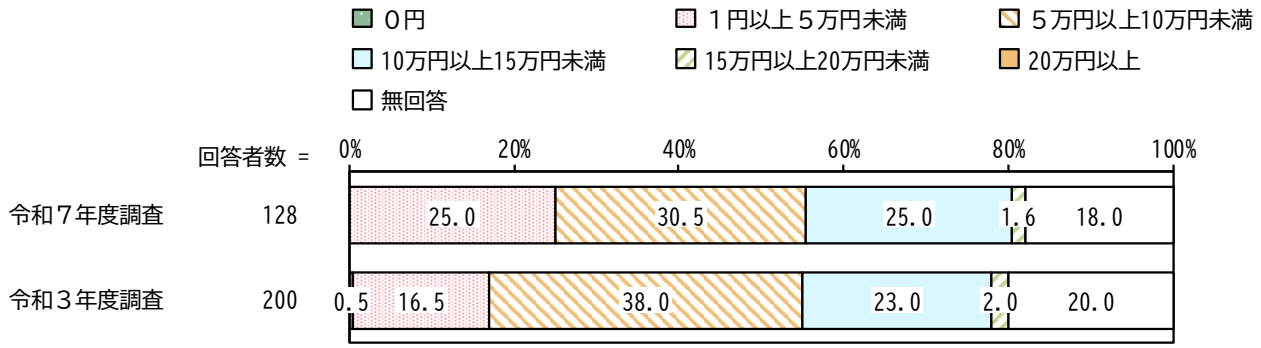
生活困難度別にみると、周辺層で「５万円以上 10 万円未満」、貧困層で「10 万円以上 15 万円未満」の割合が高くなっています。



B　賃貸住宅等【１か月あたりの家賃・間代】（円）

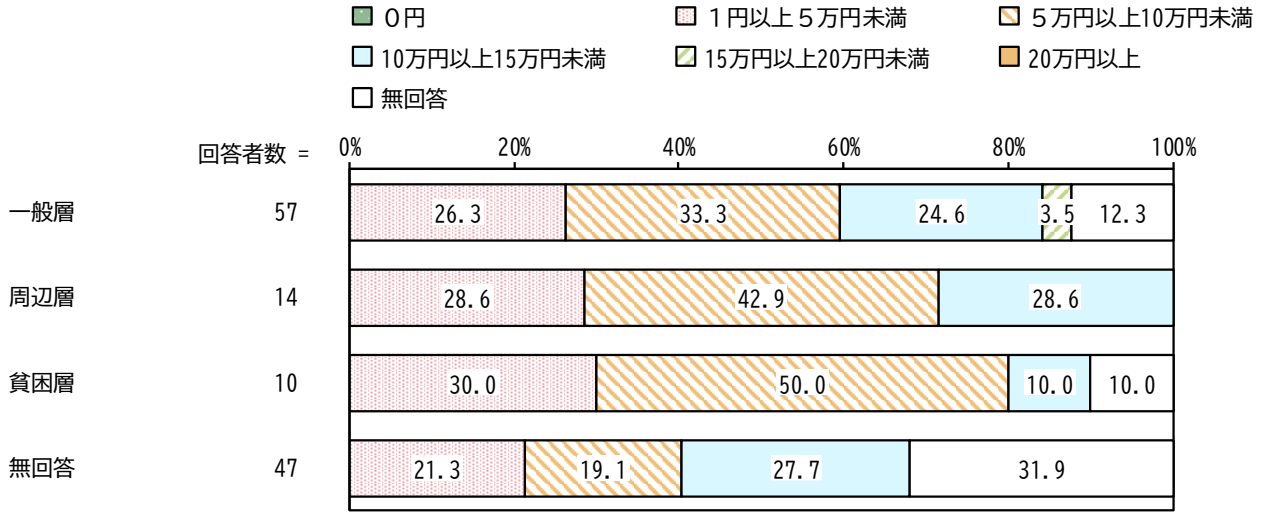
「５万円以上 10 万円未満」の割合が 30.5%と最も高く、次いで「１円以上５万円未満」、「10 万円以上 15 万円未満」の割合が 25.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「１円以上５万円未満」の割合が増加しています。一方、「５万円以上 10 万円未満」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

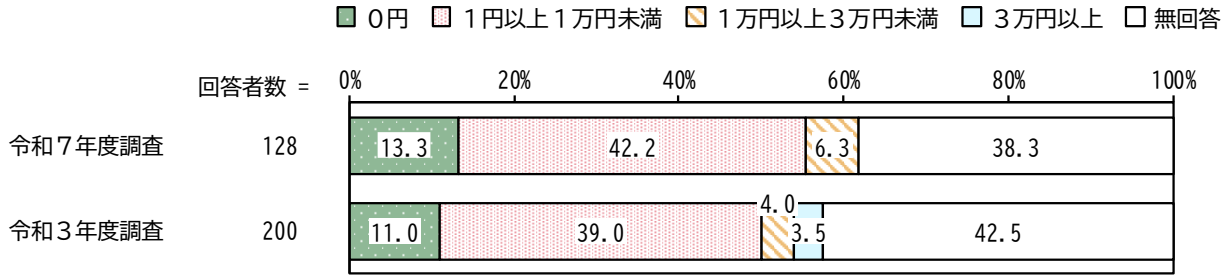
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「５万円以上 10 万円未満」の割合が高くなっています。



B　賃貸住宅等【１か月あたりの共益費・管理費】（円）

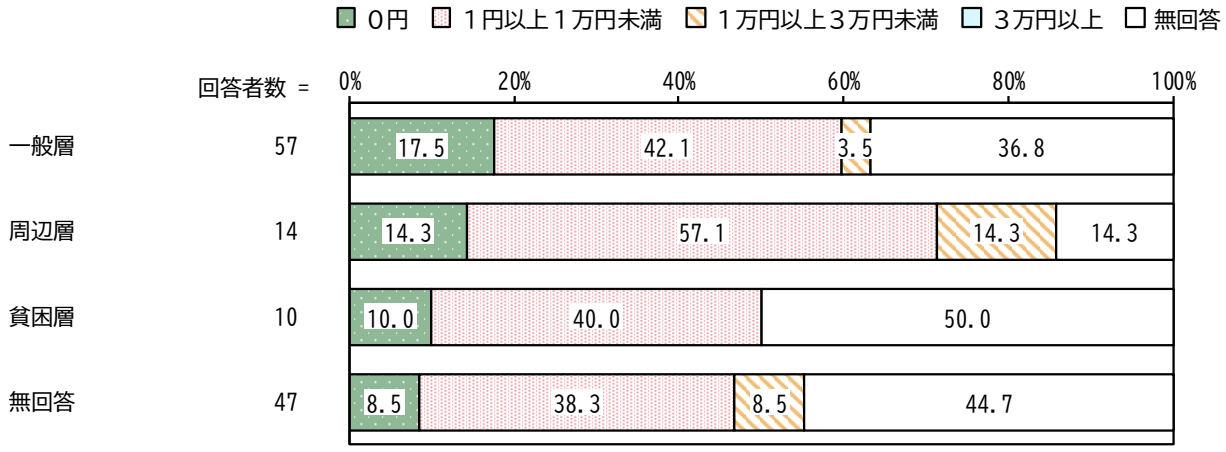
「１円以上１万円未満」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「０円」の割合が 13.3%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「０円」の割合が高くなっています。



問 13　お子さんの母親の現在の職業は、次のどれに最も近いですか。（１つに○）

「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「民間企業の正社員」の割合が 20.2%、「専業主婦」の割合が 17.3%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	会社役員	民間企業の正社員	公務員などの正職員	契約社員・派遣社員・嘱託社員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者を含む）	自由業	団体職員
全　体	860	1.2	20.2	5.6	5.3	39.2	4.1	0.8	0.8
令和７年度調査	860	1.2	20.2	5.6	5.3	39.2	4.1	0.8	0.8
令和３年度調査	1,238	1.1	17.0	4.9	5.3	38.4	4.3	0.6	1.1

区分	その他の働き方をしている	専業主婦	学生	引退（定年退職・早期退職）	その他の無職	わからない	母親はいない	無回答
全　体	1.2	17.3	0.2	0.0	1.2	0.2	0.3	2.3
令和７年度調査	1.2	17.3	0.2	0.0	1.2	0.2	0.3	2.3
令和３年度調査	0.7	21.8	0.1	0.0	0.8	0.0	－	3.8

※令和３年度調査では、「母親はいない」がありませんでした。

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が高く、「民間企業の正社員」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	会社役員	民間企業の正社員	公務員などの正職員	契約社員・派遣社員・嘱託社員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者を含む）	自由業	団体職員
全　体	860	1.2	20.2	5.6	5.3	39.2	4.1	0.8	0.8
一般層	423	1.2	21.3	5.7	5.0	40.4	3.3	0.5	1.4
周辺層	53	1.9	15.1	3.8	11.3	49.1	1.9	1.9	0.0
貧困層	24	0.0	0.0	0.0	8.3	62.5	8.3	0.0	0.0
無回答	360	1.1	21.1	6.1	4.7	34.7	5.0	1.1	0.3

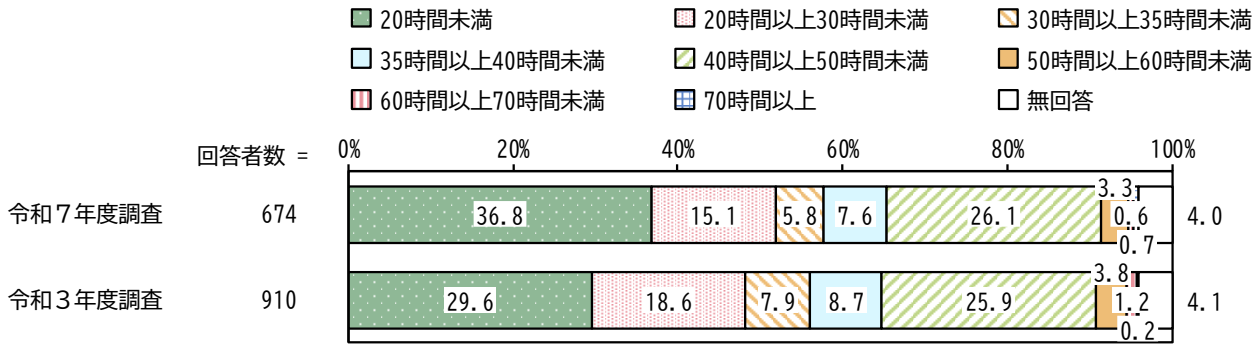
区分	その他の働き方をしている	専業主婦	学生	引退（定年退職・早期退職）	その他の無職	わからない	母親はいない	無回答
全　体	1.2	17.3	0.2	0.0	1.2	0.2	0.3	2.3
一般層	0.9	17.7	0.5	0.0	1.4	0.0	0.5	0.2
周辺層	1.9	11.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9
貧困層	0.0	12.5	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0
無回答	1.4	18.1	0.0	0.0	0.6	0.6	0.3	5.0

問 13 で母親の職業に「会社役員」～「その他の働き方をしている」を選んだ方にお聞きします。

問 13－１　お子さんの母親は、１週間に平均何時間、お仕事をされていますか。
（枠内に数字で回答してください）
※複数のお仕事を持っている場合は合算してください。

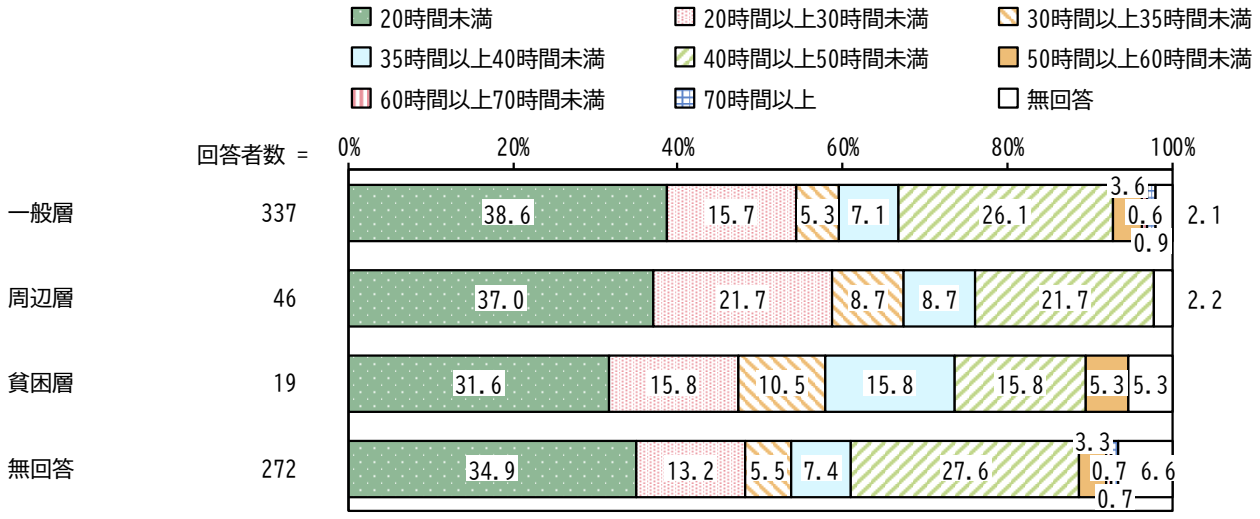
「20 時間未満」の割合が 36.8%と最も高く、次いで「40 時間以上 50 時間未満」の割合が 26.1%、「20 時間以上 30 時間未満」の割合が 15.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「20 時間未満」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

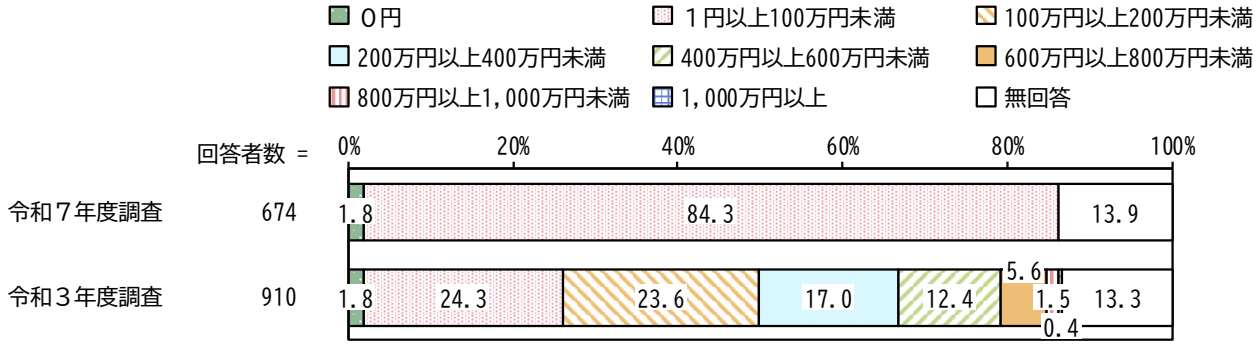
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「30 時間以上 35 時間未満」「35 時間以上 40 時間未満」の割合が高く、「20 時間未満」「40 時間以上 50 時間未満」の割合が低くなっています。



問 13－２　昨年１年間（2024 年１月～12 月）を合計した、お子さんの母親のお仕事からの収入（税込み）はおよそいくらですか。（枠内に数字で回答してください）
※総支給額（万円）をご記載ください

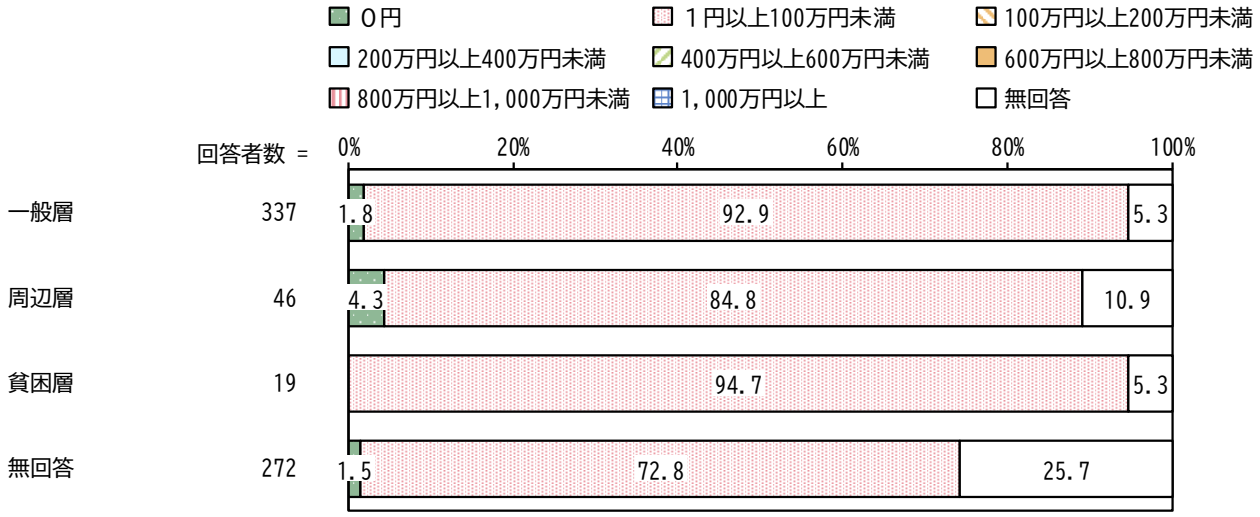
「１円以上 100 万円未満」の割合が 84.3%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、「１円以上 100 万円未満」の割合が増加しています。一方、「100 万円以上 200 万円未満」「200 万円以上 400 万円未満」「400 万円以上 600 万円未満」「600 万円以上 800 万円未満」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

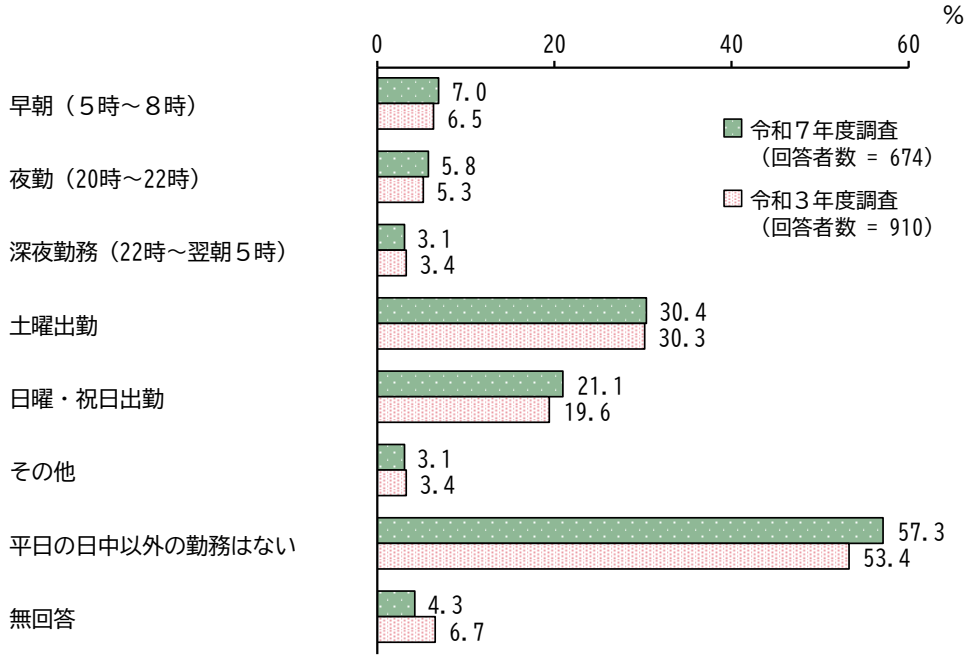
生活困難度別にみると、一般層、貧困層で「１円以上 100 万円未満」の割合が高くなっています。



問 13－３　母親は、平日の日中以外の勤務がありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「平日の日中以外の勤務はない」の割合が 57.3%と最も高く、次いで「土曜出勤」の割合が 30.4%、「日曜・祝日出勤」の割合が 21.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「日曜・祝日出勤」、周辺層で「平日の日中以外の勤務はない」の割合が高くなっています。

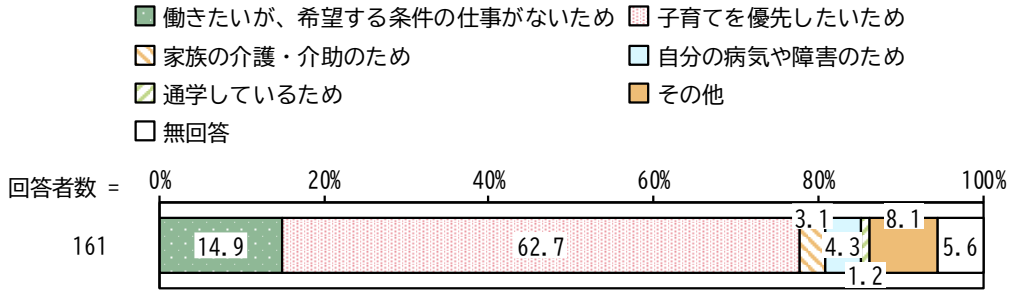
単位：%

区分	回答者数（件）	早朝（5時～8時）	夜勤（20時～22時）	深夜勤務（22時～翌朝5時）	土曜出勤	日曜・祝日出勤	その他	平日の日中以外の勤務はない	無回答
全　体	674	7.0	5.8	3.1	30.4	21.1	3.1	57.3	4.3
一般層	337	6.5	5.3	3.0	31.2	20.2	4.5	58.8	1.8
周辺層	46	4.3	0.0	0.0	19.6	15.2	0.0	67.4	6.5
貧困層	19	10.5	5.3	0.0	26.3	36.8	0.0	21.1	21.1
無回答	272	7.7	7.4	4.0	31.6	22.1	2.2	56.3	5.9

問 13 で母親の職業に「専業主婦」～「その他の無職」を選んだ方にお聞きします。

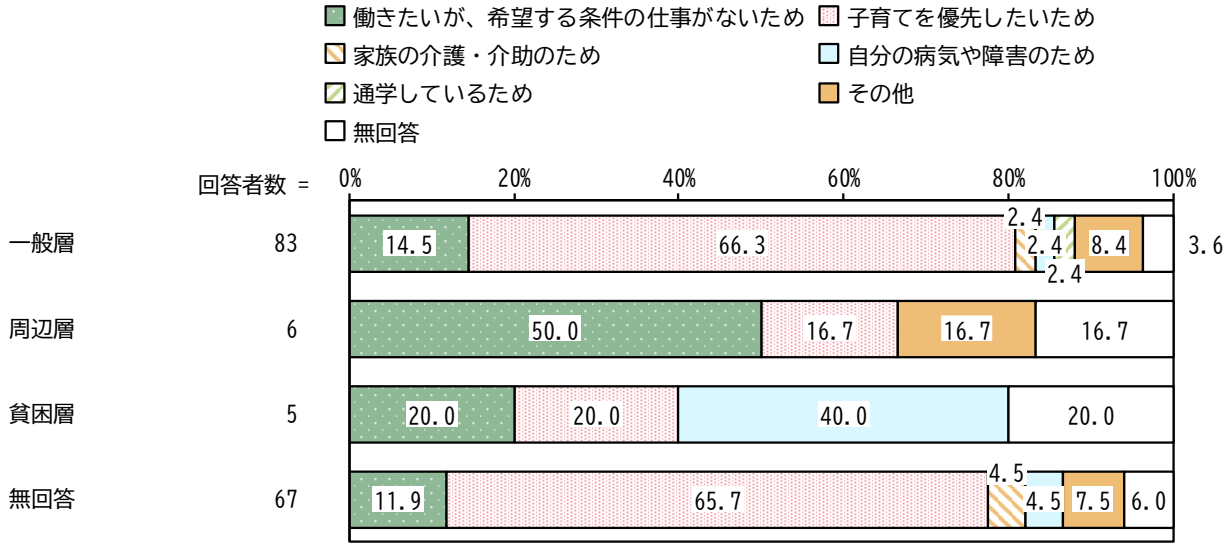
問 13－４　働いていない最も主な理由を教えてください。（１つに○）

「子育てを優先したいため」の割合が 62.7%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」の割合が 14.9%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層から周辺層まで困難度が大きいほど「子育てを優先したいため」「自分の病気や障害のため」の割合が高く、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」の割合が低くなっています。



問 14　お子さんの父親の現在の職業は、次のどれに最も近いですか。（１つに○）

「民間企業の正社員」の割合が 61.3%と最も高く、次いで「公務員などの正職員」の割合が 11.3%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	会社役員	民間企業の正社員	公務員などの正職員	契約社員・派遣社員・嘱託社員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者を含む）	自由業	団体職員
全　体	860	9.8	61.3	11.3	0.9	0.3	5.5	0.3	2.7
令和７年度調査	860	9.8	61.3	11.3	0.9	0.3	5.5	0.3	2.7
令和３年度調査	1,238	8.1	62.8	8.6	1.5	0.4	6.5	0.6	1.6

区分	その他の働き方をしている	専業主夫	学生	引退(定年退職・早期退職)	その他の無職	わからない	父親はいない	無回答
全　体	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.7	2.4	4.7
令和７年度調査	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.7	2.4	4.7
令和３年度調査	0.3	0.0	0.0	0.1	0.2	0.7	－	8.6

※令和３年度調査では、「父親はいない」がありませんでした。

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「民間企業の正社員」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	会社役員	民間企業の正社員	公務員などの正職員	契約社員・派遣社員・嘱託社員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者を含む）	自由業	団体職員
全　体	860	9.8	61.3	11.3	0.9	0.3	5.5	0.3	2.7
一般層	423	9.0	68.6	8.7	1.2	0.7	5.9	0.0	3.1
周辺層	53	11.3	60.4	15.1	1.9	0.0	1.9	0.0	0.0
貧困層	24	12.5	33.3	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
無回答	360	10.3	54.7	13.6	0.6	0.0	5.0	0.8	2.8

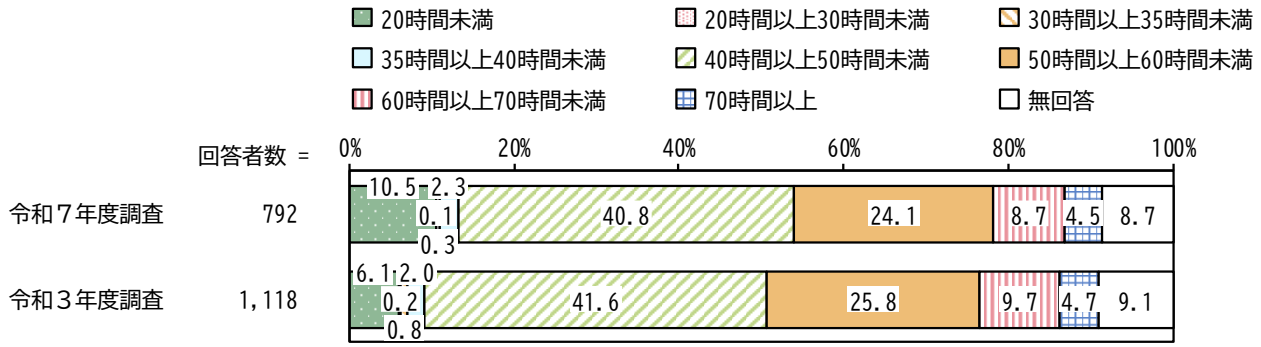
区分	その他の働き方をしている	専業主夫	学生	引退(定年退職・早期退職)	その他の無職	わからない	父親はいない	無回答
全　体	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.7	2.4	4.7
一般層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	1.4	0.9
周辺層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	3.8	3.8
貧困層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.8	8.3
無回答	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.8	2.2	8.9

問 14 で父親の職業に「会社役員」～「その他の働き方をしている」を選んだ方にお聞きします。

問 14－１　お子さんの父親は、１週間に平均何時間、お仕事をされていますか。
（枠内に数字で回答してください）
※複数のお仕事を持っている場合は合算してください。

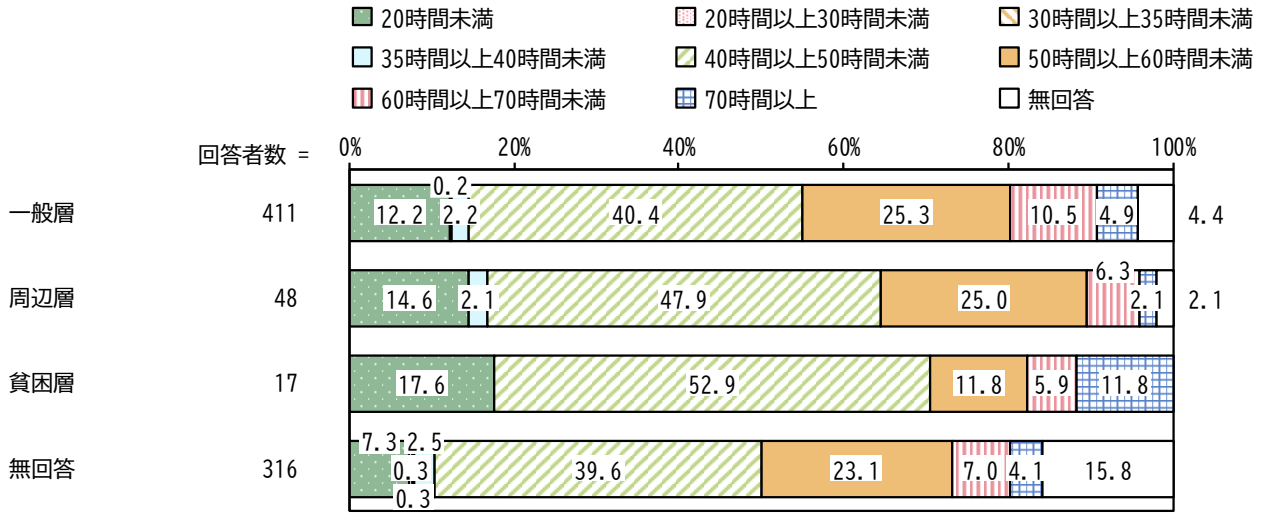
「40 時間以上 50 時間未満」の割合が 40.8%と最も高く、次いで「50 時間以上 60 時間未満」の割合が 24.1%、「20 時間未満」の割合が 10.5%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

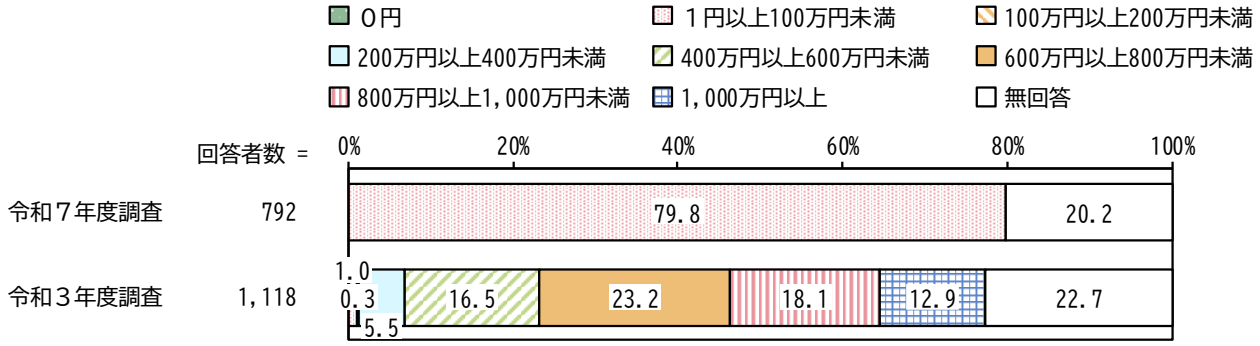
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「20 時間未満」「40 時間以上 50 時間未満」の割合が高く、「50 時間以上 60 時間未満」「60 時間以上 70 時間未満」の割合が低くなっています。



問 14－２　昨年１年間（2024 年１月～12 月）を合計した、お子さんの父親のお仕事からの収入（税込み）はおよそいくらですか。（枠内に数字で回答してください）
※総支給額（万円）をご記載ください

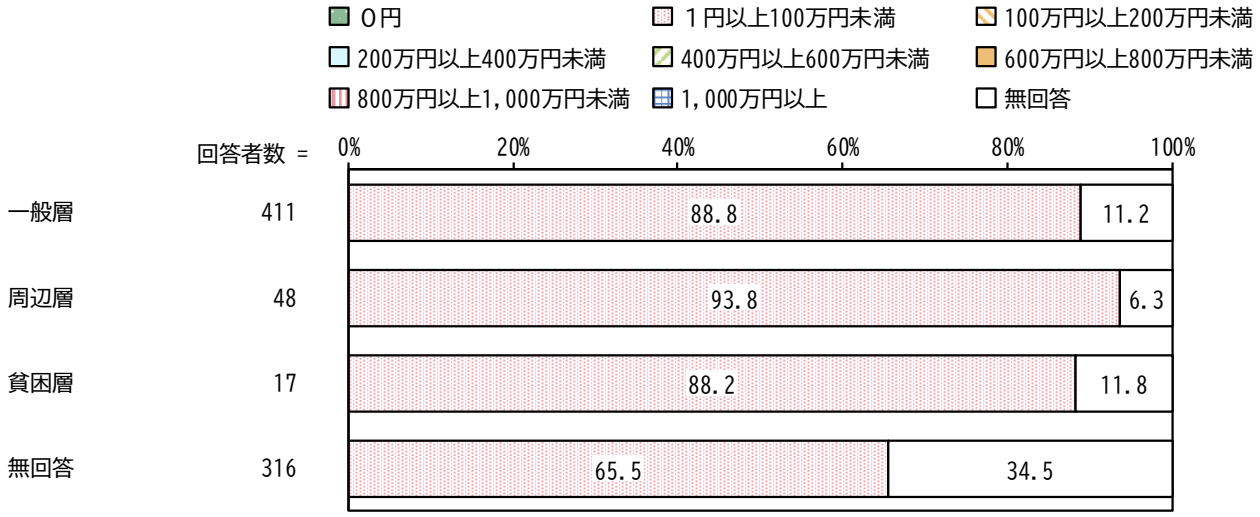
「１円以上 100 万円未満」の割合が 79.8%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、「１円以上 100 万円未満」の割合が増加しています。一方、「200 万円以上 400 万円未満」「400 万円以上 600 万円未満」「600 万円以上 800 万円未満」「800 万円以上 1,000 万円未満」「1,000 万円以上」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

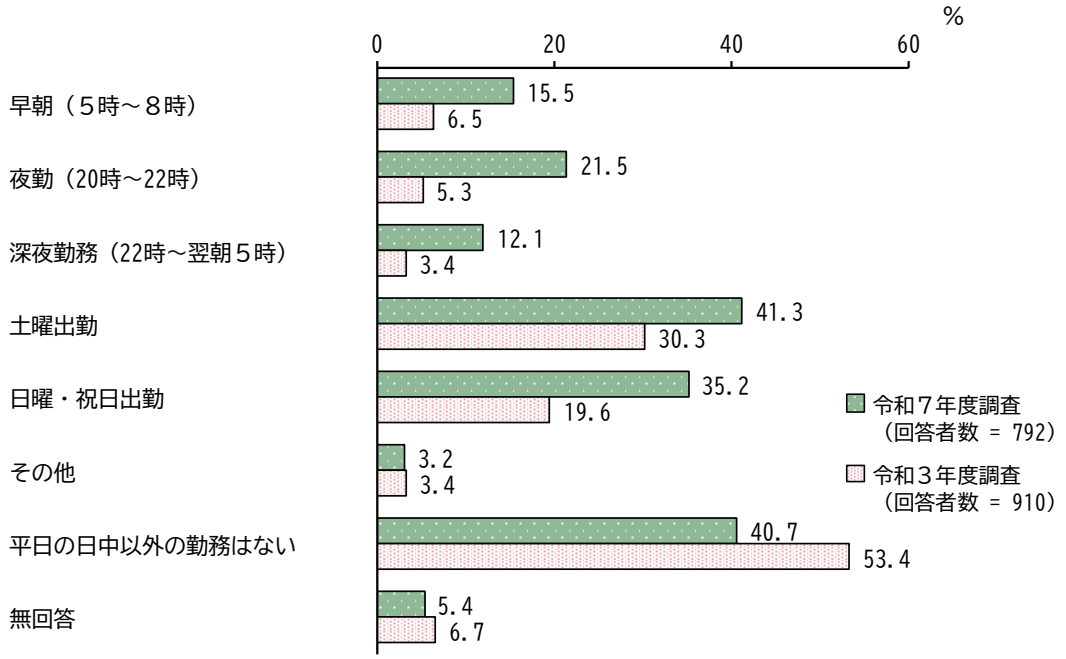
生活困難度別にみると、周辺層で「１円以上 100 万円未満」の割合が高くなっています。



問 14－３　父親は、平日の日中以外の勤務がありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「土曜出勤」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「平日の日中以外の勤務はない」の割合が 40.7%、「日曜・祝日出勤」の割合が 35.2%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「早朝（５時～８時）」「夜勤（20 時～22 時）」「深夜勤務（22 時～翌朝５時）」「土曜出勤」「日曜・祝日出勤」の割合が増加しています。一方、「平日の日中以外の勤務はない」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「土曜出勤」「日曜・祝日出勤」の割合が高く、「夜勤（20 時～22 時）」「平日の日中以外の勤務はない」の割合が低く、困難度が小さいほど「平日の日中以外の勤務はない」の割合が高くなっています。

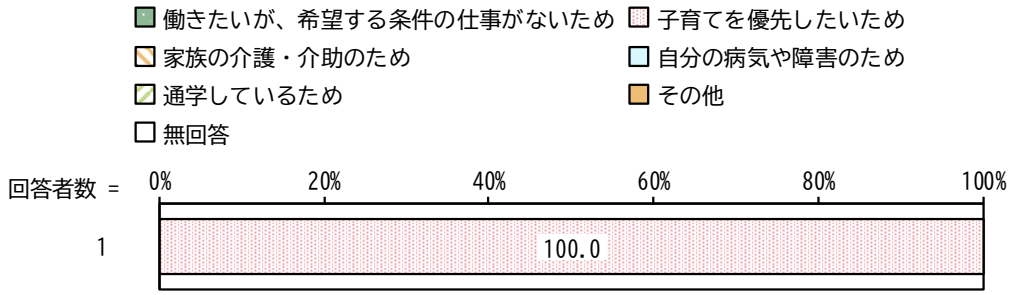
単位：%

区分	回答者数（件）	早朝（５時～８時）	夜勤（20 時～22 時）	深夜勤務（22 時～翌朝５時）	土曜出勤	日曜・祝日出勤	その他	平日の日中以外の勤務はない	無回答
全　体	792	15.5	21.5	12.1	41.3	35.2	3.2	40.7	5.4
一般層	411	15.1	21.4	13.1	38.9	36.3	3.4	44.8	2.9
周辺層	48	12.5	20.8	12.5	45.8	41.7	0.0	39.6	6.3
貧困層	17	17.6	11.8	11.8	52.9	47.1	0.0	23.5	17.6
無回答	316	16.5	22.2	10.8	43.0	32.3	3.5	36.4	7.9

問 14 で父親の職業に「専業主夫」～「その他の無職」を選んだ方にお聞きします。

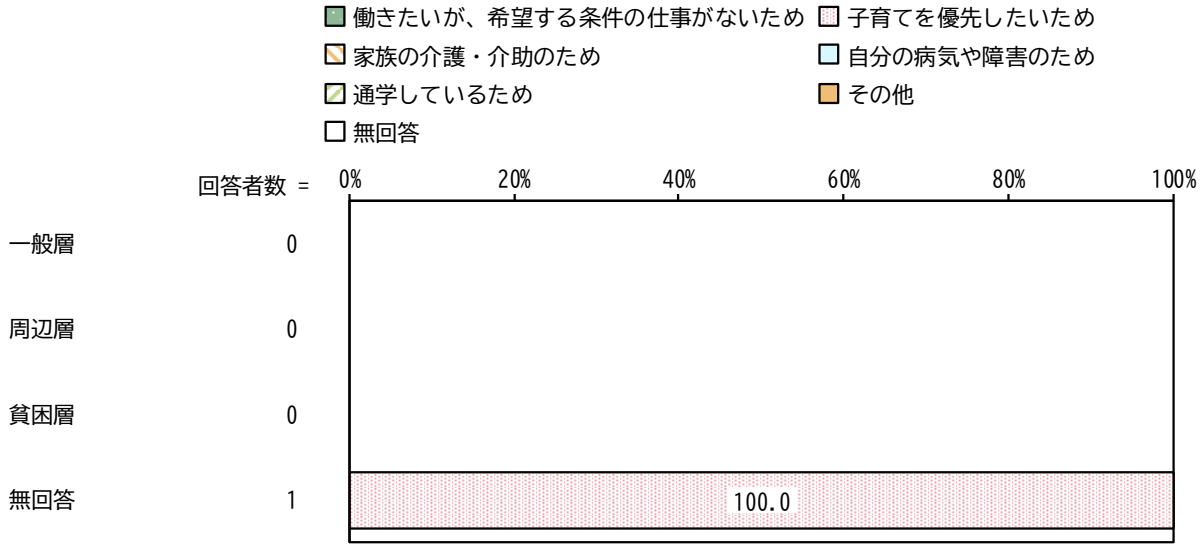
問 14－４　働いていない最も主な理由を教えてください。（１つに○）

「子育てを優先したいため」が１件となっています。



【生活困難度別】

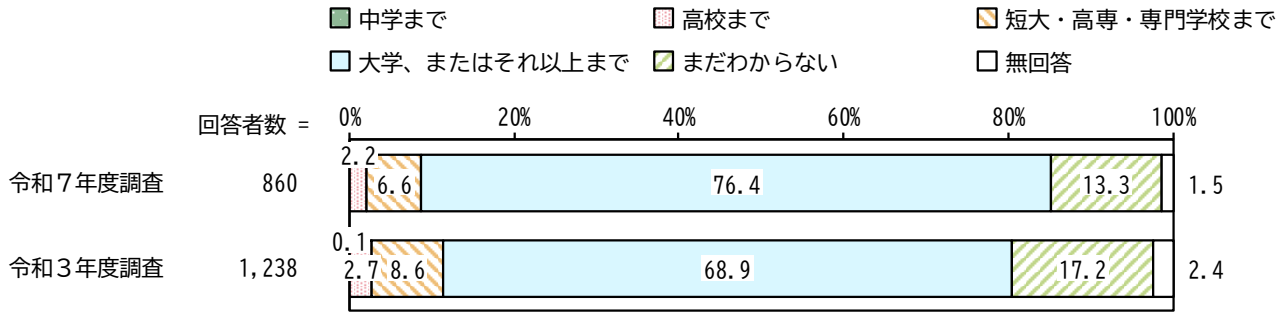
有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



問 15　お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと思いますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。（１つに○）

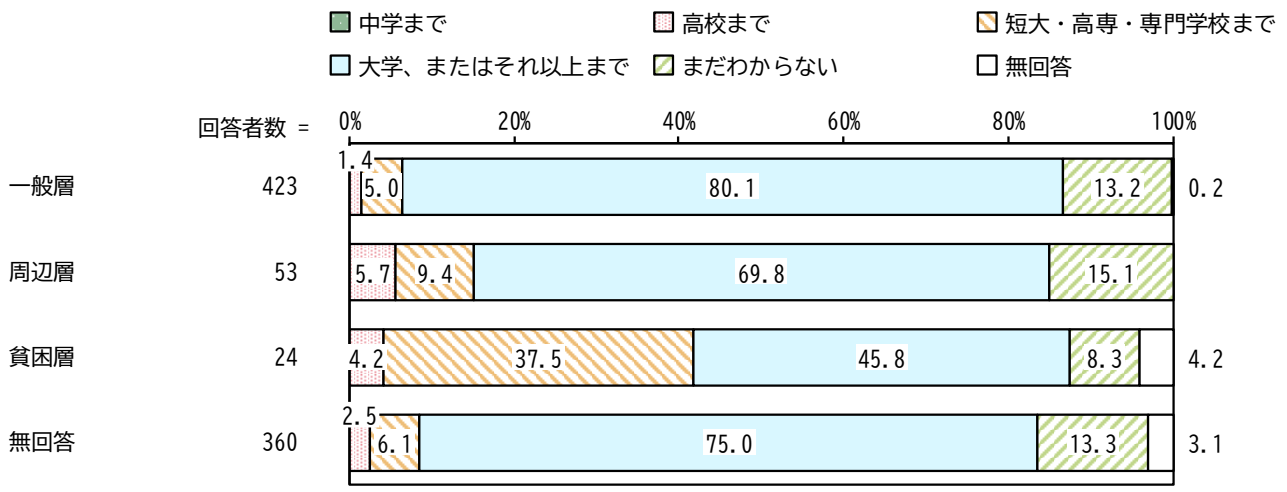
「大学、またはそれ以上まで」の割合が 76.4%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、「大学、またはそれ以上まで」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

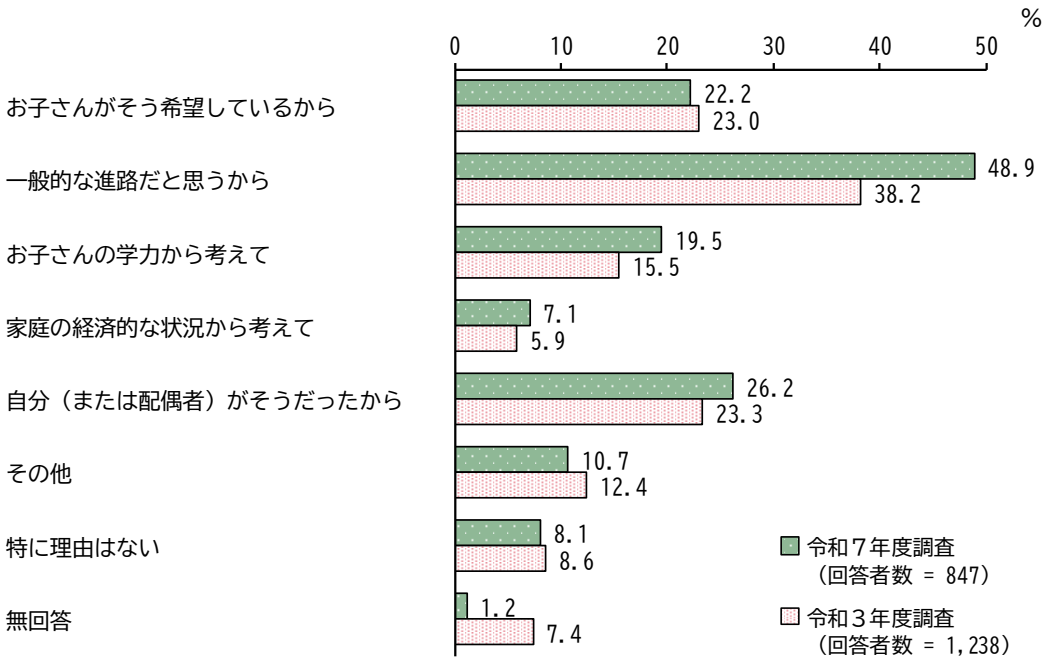
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「短大・高専・専門学校まで」の割合が高く、「大学、またはそれ以上まで」の割合が低くなっています。



問 16　問 15 で、なぜそれを選んだのか、その理由を答えてください。
（あてはまる番号すべてに○）

「一般的な進路だと思うから」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「自分（または配偶者）がそうだったから」の割合が 26.2%、「お子さんがそう希望しているから」の割合が 22.2%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「一般的な進路だと思うから」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

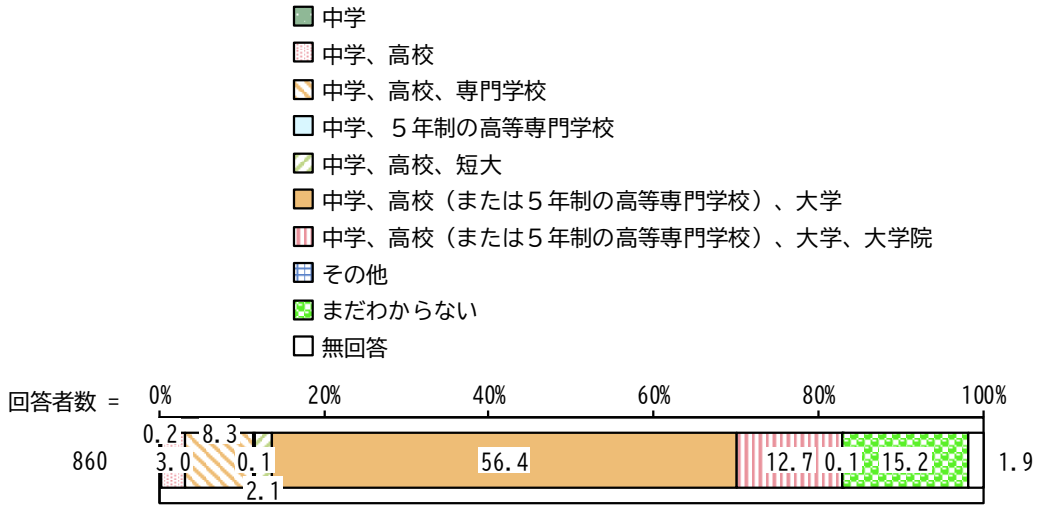
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「一般的な進路だと思うから」「お子さんの学力から考えて」の割合が高く、「家庭の経済的な状況から考えて」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	お子さんがそう希望しているから	一般的な進路だと思うから	お子さんの学力から考えて	家庭の経済的な状況から考えて	自分（または配偶者）がそうだったから	その他	特に理由はない	無回答
全　体	847	22.2	48.9	19.5	7.1	26.2	10.7	8.1	1.2
一般層	422	22.5	50.7	19.4	6.9	28.4	10.7	8.3	0.7
周辺層	53	24.5	41.5	18.9	7.5	34.0	11.3	1.9	3.8
貧困層	23	8.7	30.4	13.0	26.1	17.4	8.7	8.7	0.0
無回答	349	22.3	49.0	20.1	6.0	22.9	10.9	8.9	1.4

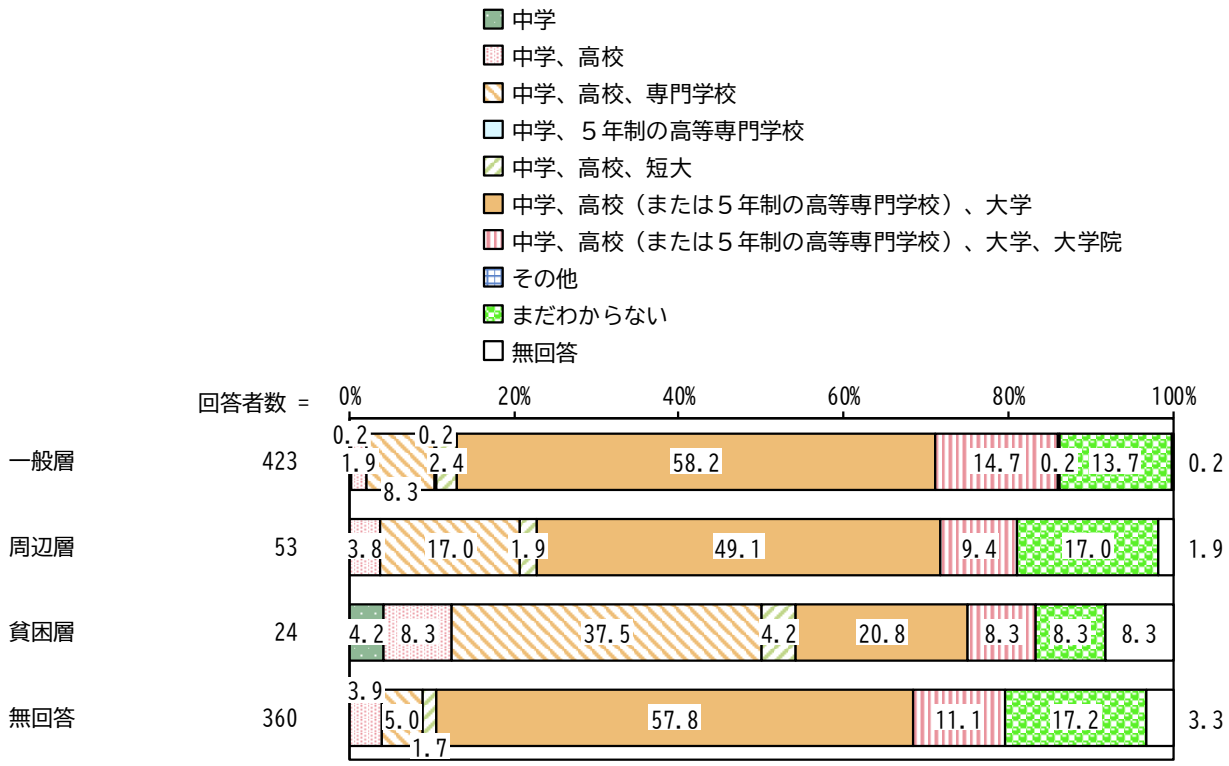
問 17　お子さんは将来、現実的に見てどの学校まで進学すると思いますか。
（あてはまるものひとつに○）

「中学、高校（または５年制の高等専門学校）、大学」の割合が 56.4%と最も高く、次いで「中学、高校（または５年制の高等専門学校）、大学、大学院」の割合が 12.7%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「中学、高校」「中学、高校、専門学校」の割合が高くなっています。

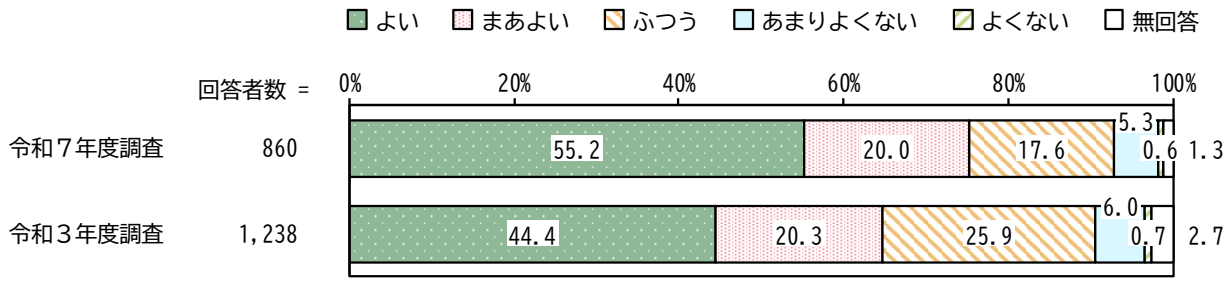


問 18　あなたとお子さんの健康状態についてお聞きします。それぞれ、最も近いものに○をつけてください。

問 18－１　あなた（回答者）（１つに○）

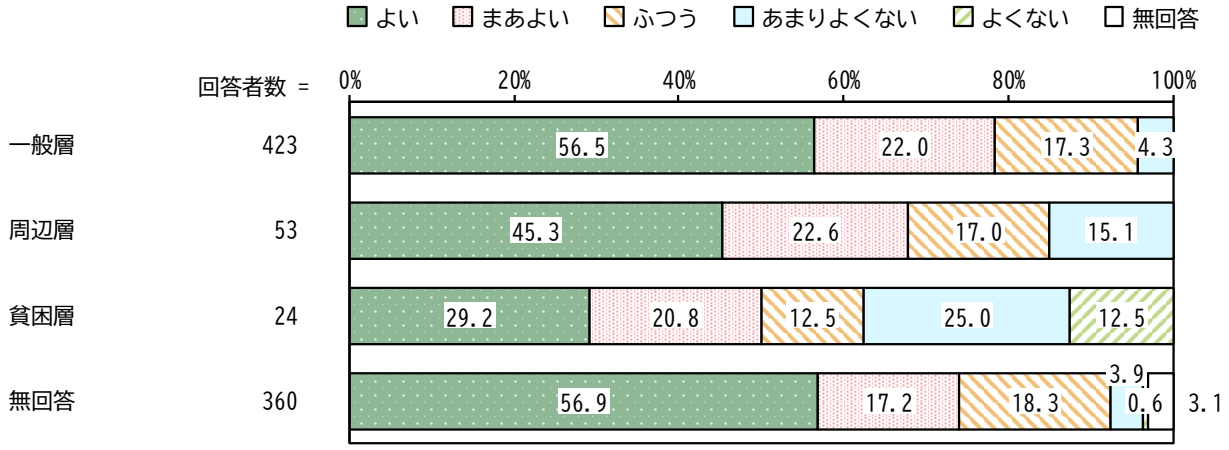
「よい」「まあよい」を合わせた“よい”の割合が 75.2%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”の割合が 5.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、“よい”の割合が増加しています。



【生活困難度別】

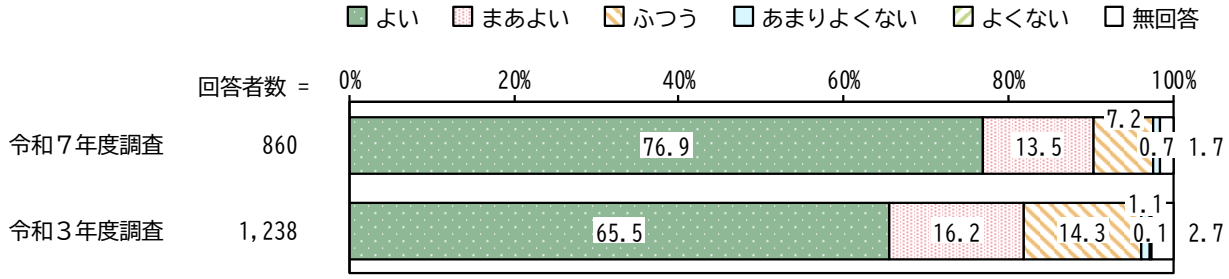
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど“よくない”の割合が高くなっています。また、貧困層で「よい」の割合が低くなっています。



問 18－２　お子さん（１つに○）

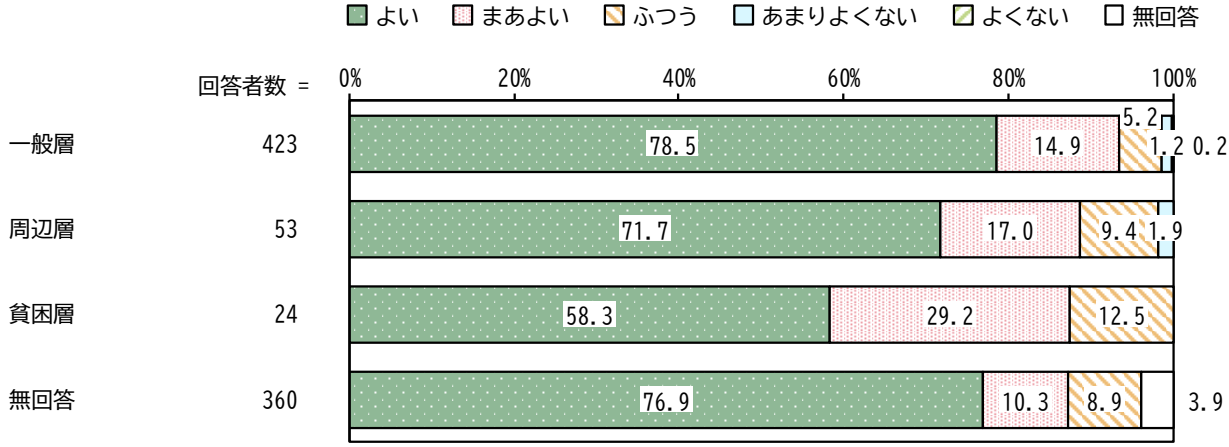
「よい」「まあよい」を合わせた“よい”の割合が 90.4%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”の割合が 0.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、“よい”の割合が増加しています。



【生活困難度別】

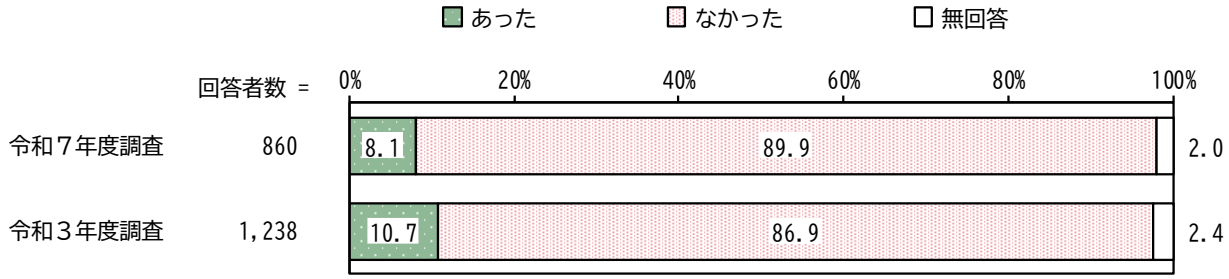
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど“よい”の割合が高くなっています。また、貧困層で「まあよい」の割合が高く、「よい」の割合が低くなっています。



問 19　過去１年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。（１つに○）

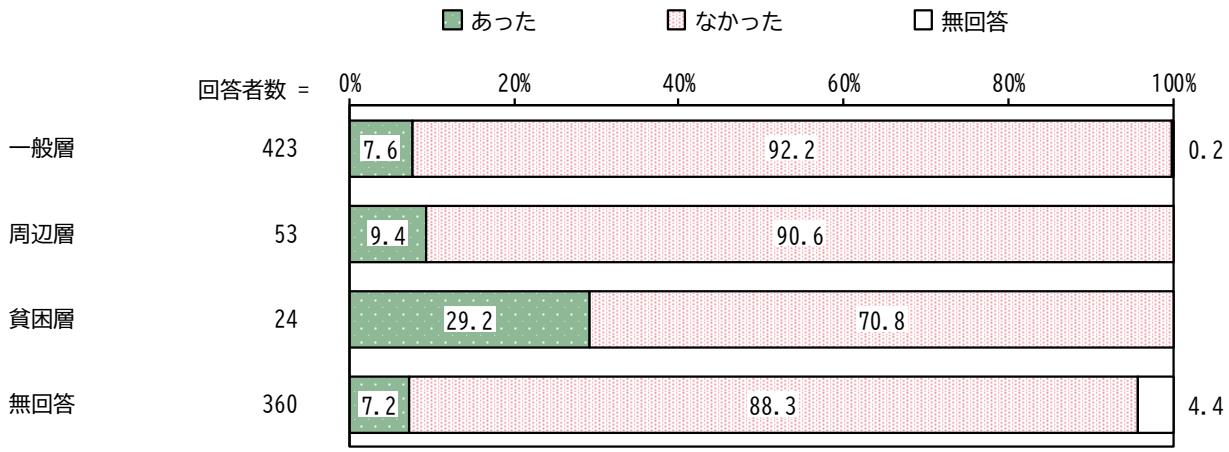
「あった」の割合が 8.1%、「なかった」の割合が 89.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「あった」の割合が高くなっています。

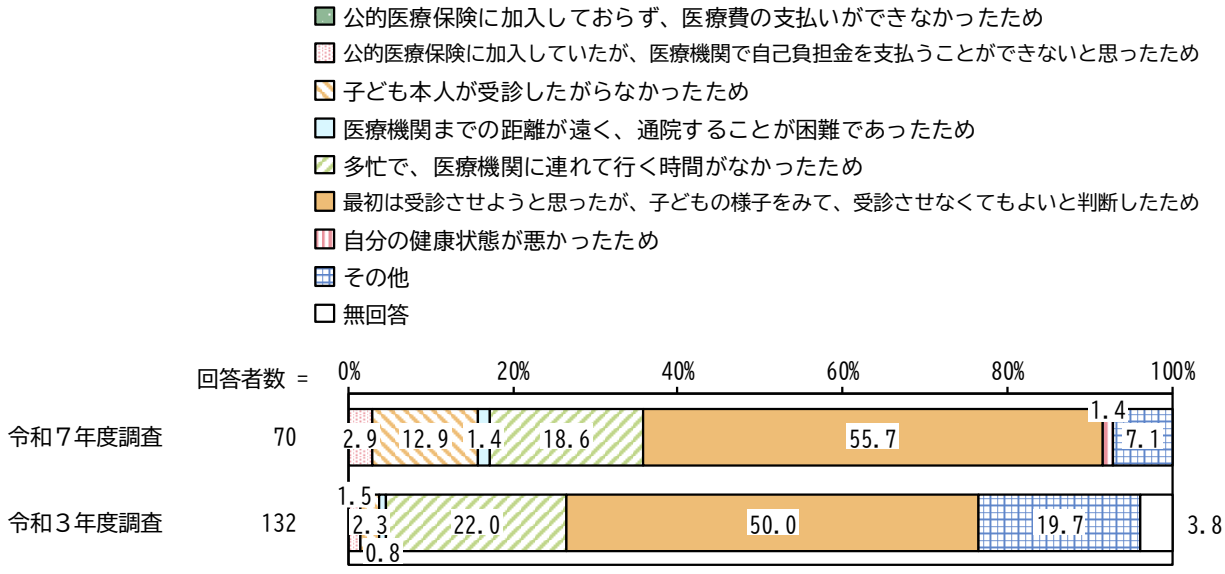


問 19 で「あった」を選んだ方にお聞きします。

問 19－１　その理由は、何ですか。最も近いものに○をつけてください。（１つに○）

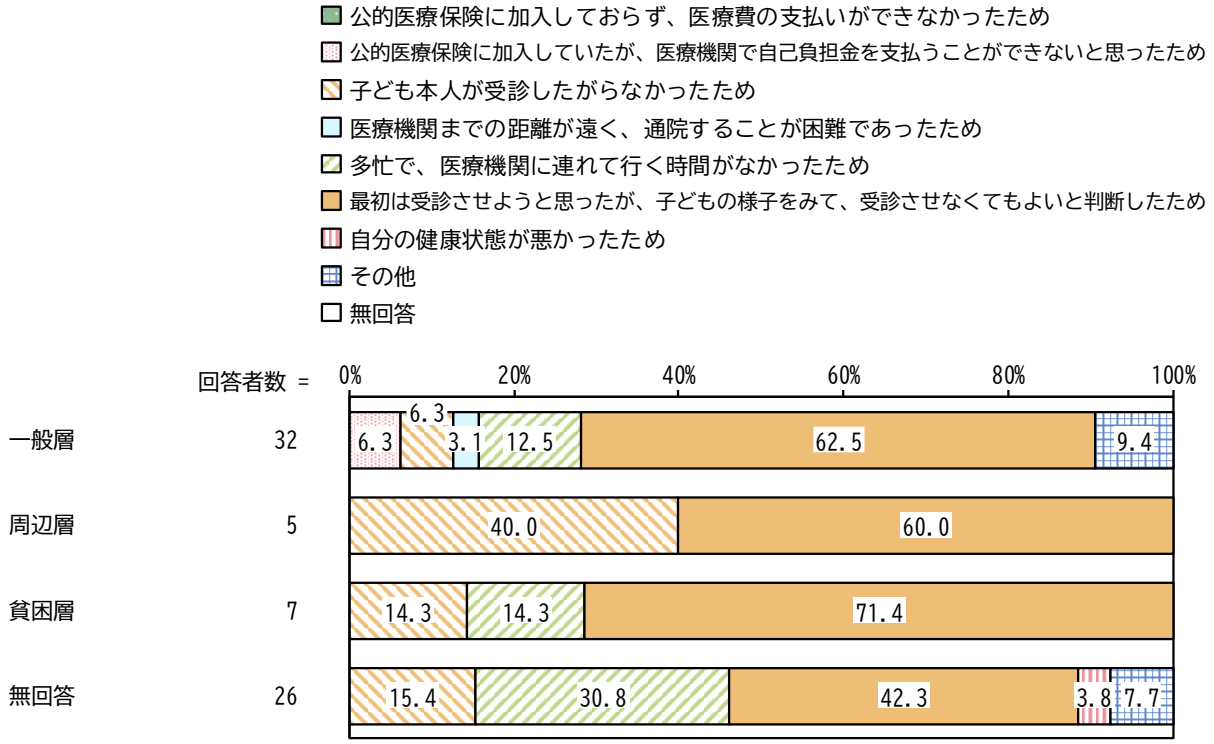
「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子をみて、受診させなくてもよいと判断したため」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」の割合が 18.6%、「子ども本人が受診したがらなかったため」の割合が 12.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「子ども本人が受診したがらなかったため」「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子をみて、受診させなくてもよいと判断したため」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

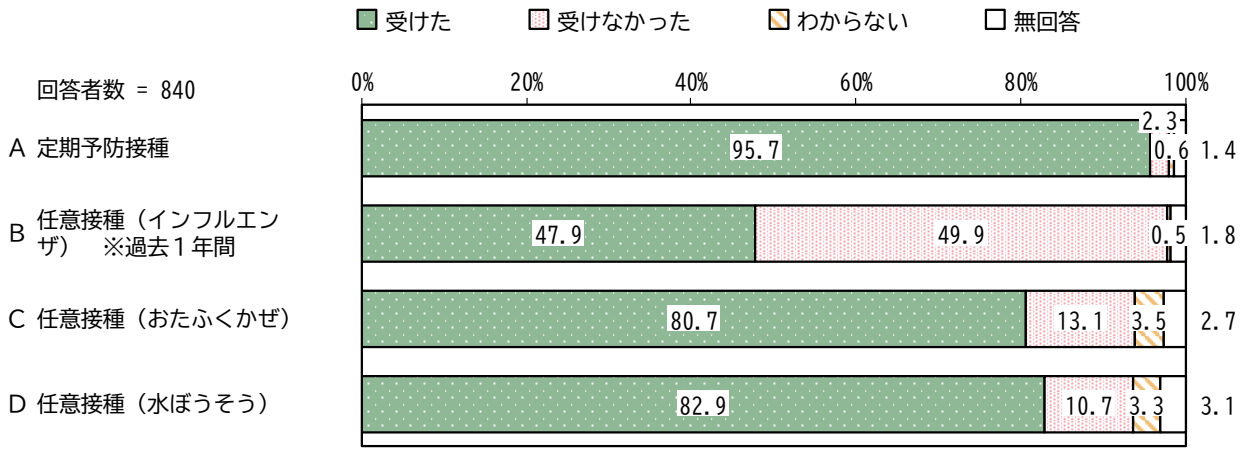
生活困難度別にみると、貧困層から周辺層まで困難度が大きいほど「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子をみて、受診させなくてもよいと判断したため」の割合が高く、「子ども本人が受診したがらなかったため」の割合が低くなっています。



問 20 はお子さんが小学生・中学生の方のみご回答ください。

問 20　お子さんの予防接種の受診状況について、最も近いものに○をつけてください。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

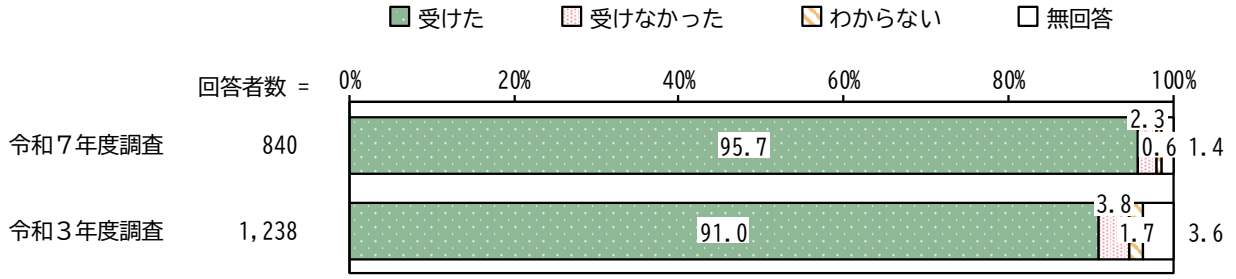
『A　定期予防接種』で「受けた」が、『B　任意接種（インフルエンザ）　※過去１年間』で「受けなかった」が、『C　任意接種（おたふくかぜ)』で「わからない」が高くなっています。



A　定期予防接種

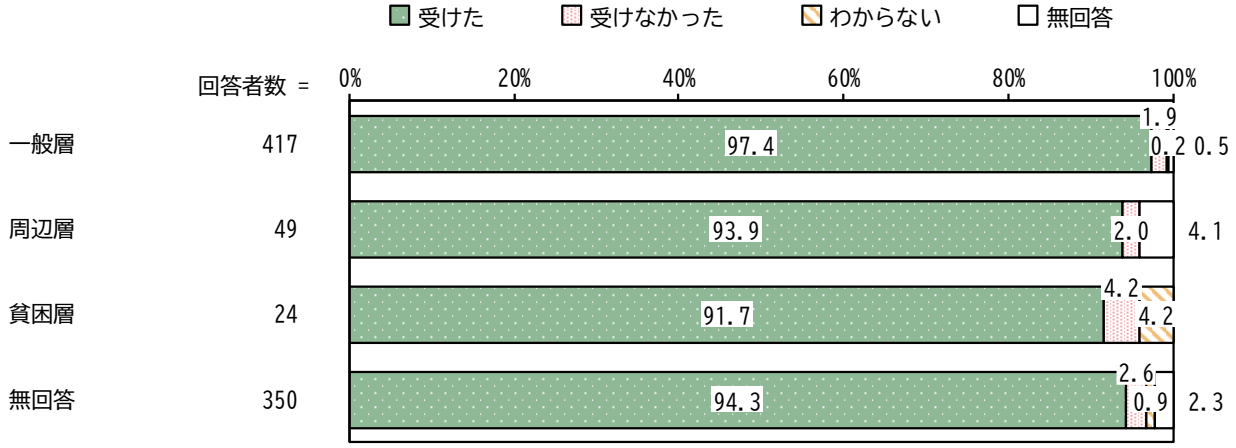
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

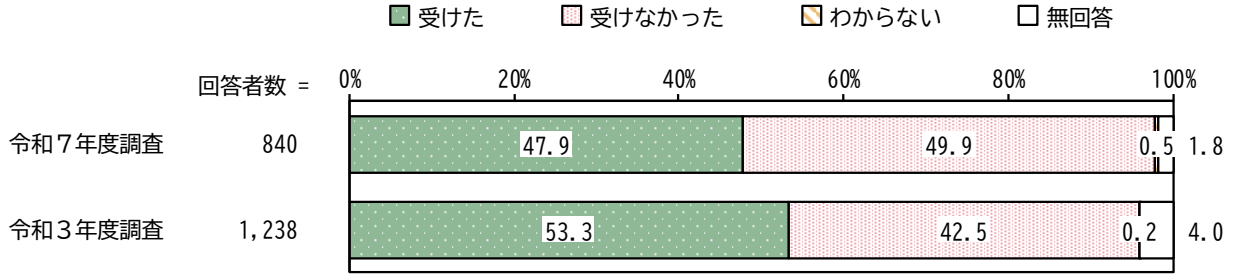
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「受けた」の割合が高くなっています。



B　任意接種（インフルエンザ）　※過去１年間

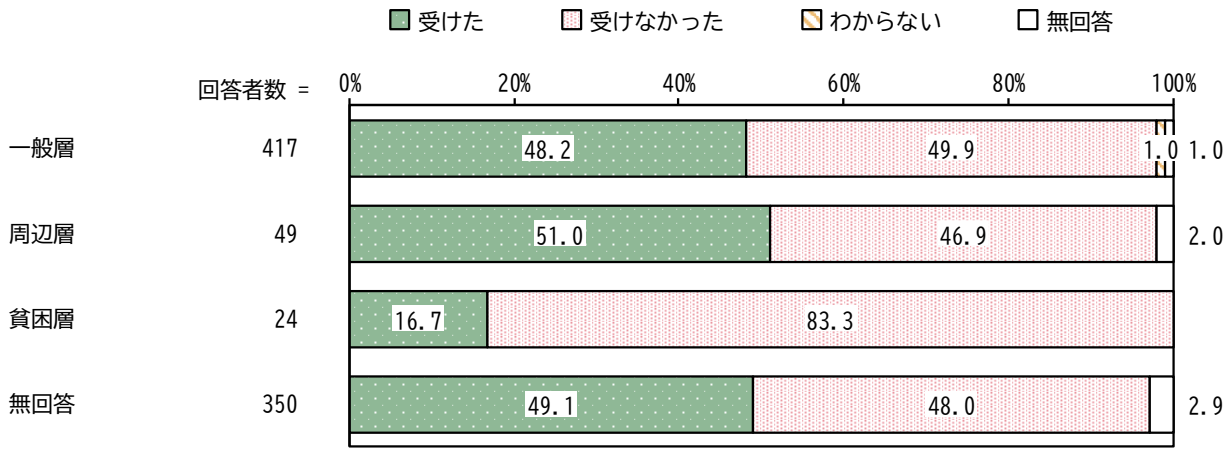
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「受けなかった」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

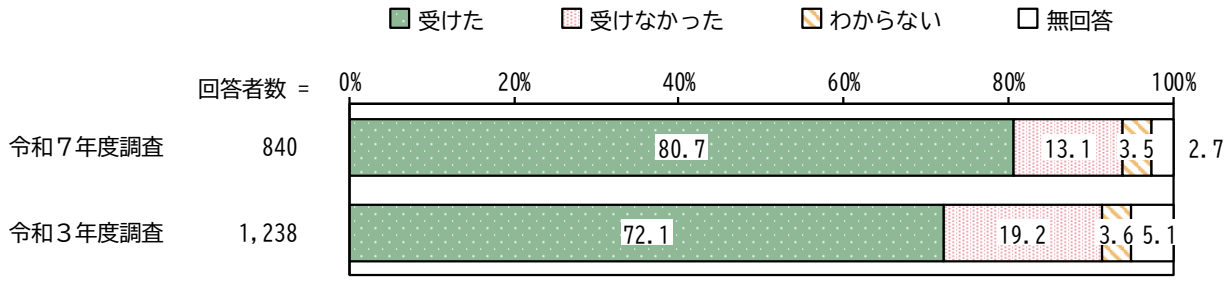
生活困難度別にみると、貧困層で「受けなかった」の割合が高くなっています。



C　任意接種（おたふくかぜ）

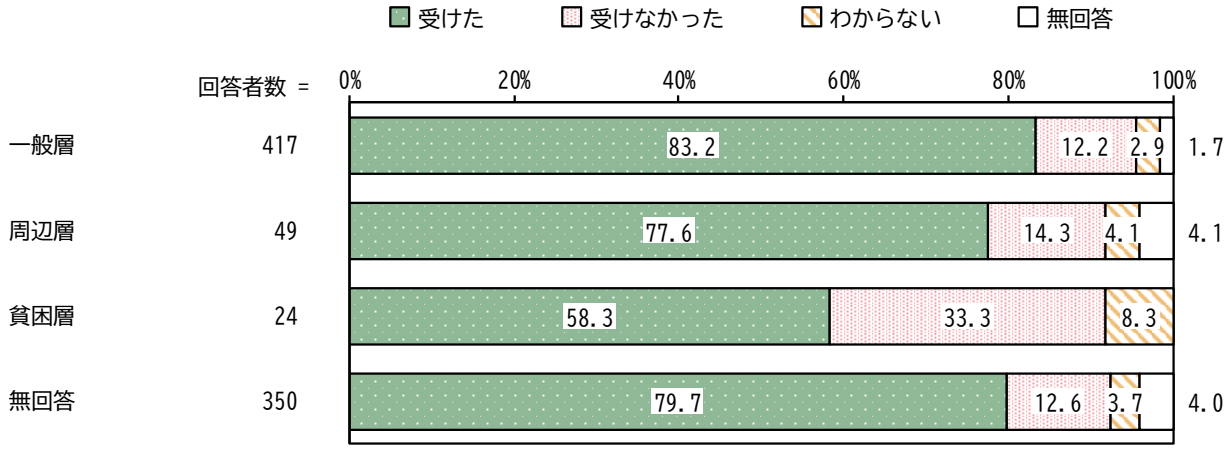
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「受けた」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

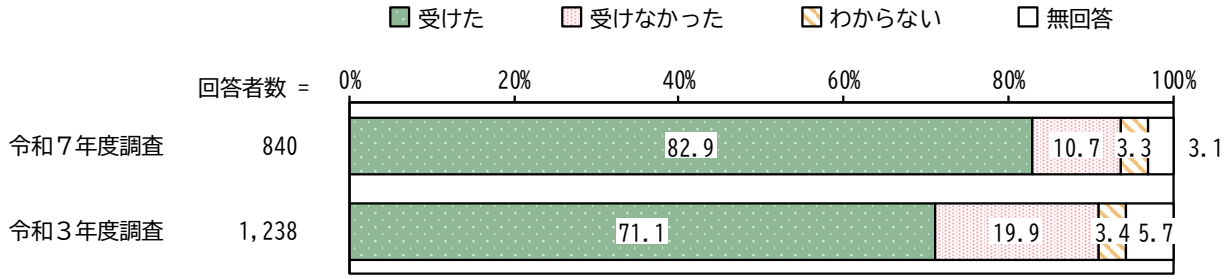
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「受けなかった」の割合が高くなっています。



D　任意接種（水ぼうそう）

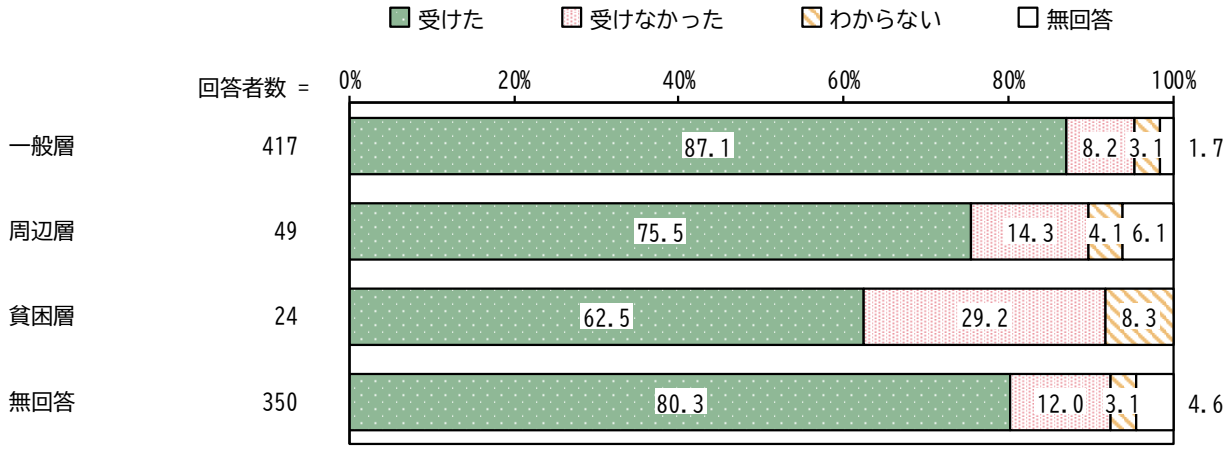
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「受けた」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「受けなかった」の割合が高くなっています。

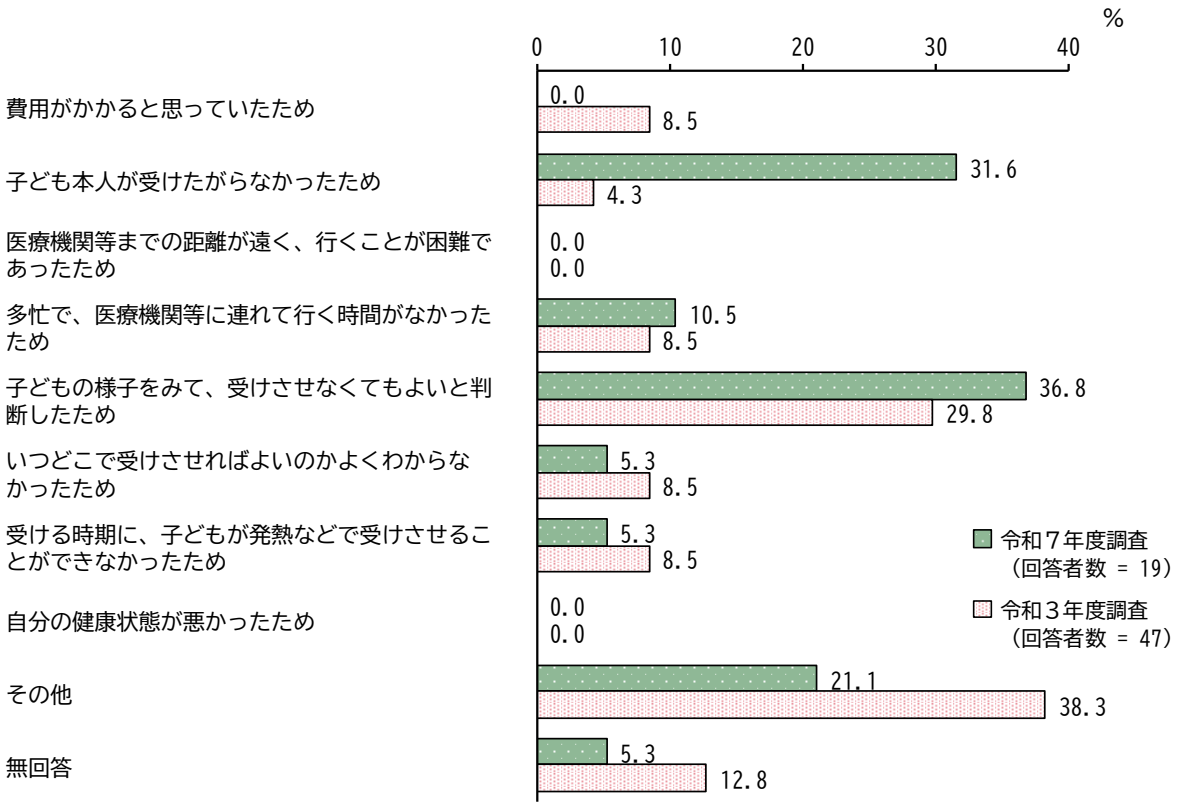


問 20 でＡ　定期予防接種について「受けなかった」を選んだ方にお聞きします。

問 20－１　定期予防接種を受けなかったことがあったのはなぜですか。（あてはまる番号すべてに○）

「子どもの様子をみて、受けさせなくてもよいと判断したため」の割合が 36.8%と最も高く、次いで「子ども本人が受けたがらなかったため」の割合が 31.6%、「多忙で、医療機関等に連れて行く時間がなかったため」の割合が 10.5%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「子ども本人が受けたがらなかったため」「子どもの様子をみて、受けさせなくてもよいと判断したため」の割合が増加しています。一方、「費用がかかると思っていたため」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。

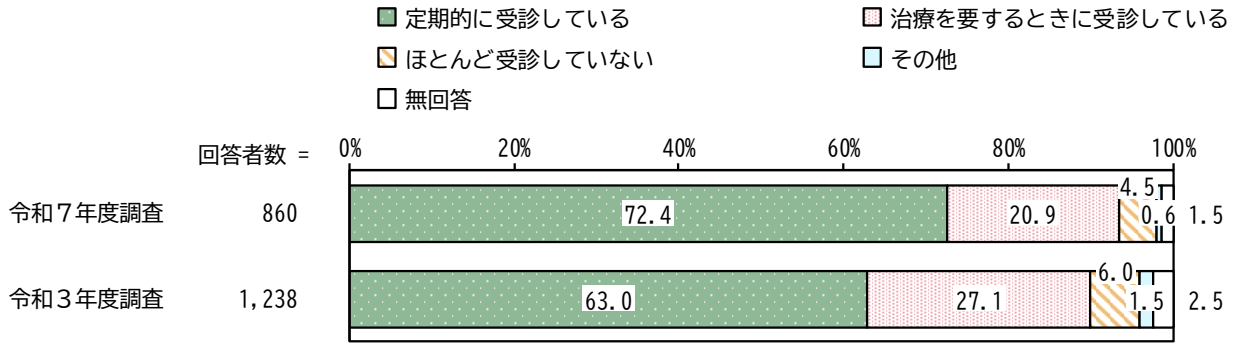
単位：%

区分	回答者数（件）	費用がかかると思っていたため	子ども本人が受けたがらなかったため	医療機関等までの距離が遠く、行くことが困難であったため	多忙で、医療機関等に連れて行く時間がなかったため	子どもの様子をみて、受けさせなくてもよいと判断したため	いつどこで受けさせればよいのかよくわからなかったため	受ける時期に、子どもが発熱などで受けさせることができなかったため	自分の健康状態が悪かったため	その他	無回答
全　体	19	0.0	31.6	0.0	10.5	36.8	5.3	5.3	0.0	21.1	5.3
一般層	8	0.0	37.5	0.0	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5
周辺層	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
貧困層	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	9	0.0	22.2	0.0	11.1	44.4	11.1	11.1	0.0	22.2	0.0

問 21　お子さんは、定期的に歯科医を受診していますか。（１つに○）

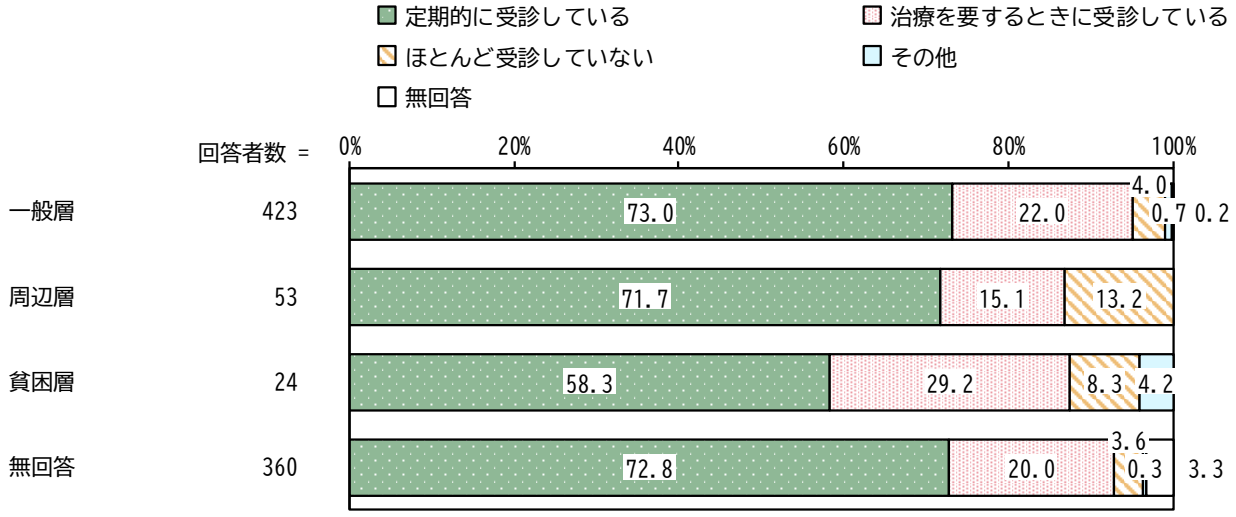
「定期的に受診している」の割合が 72.4%、「治療を要するときに受診している」の割合が 20.9%、「ほとんど受診していない」の割合が 4.5%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「定期的に受診している」の割合が増加しています。一方、「治療を要するときに受診している」の割合が減少しています。



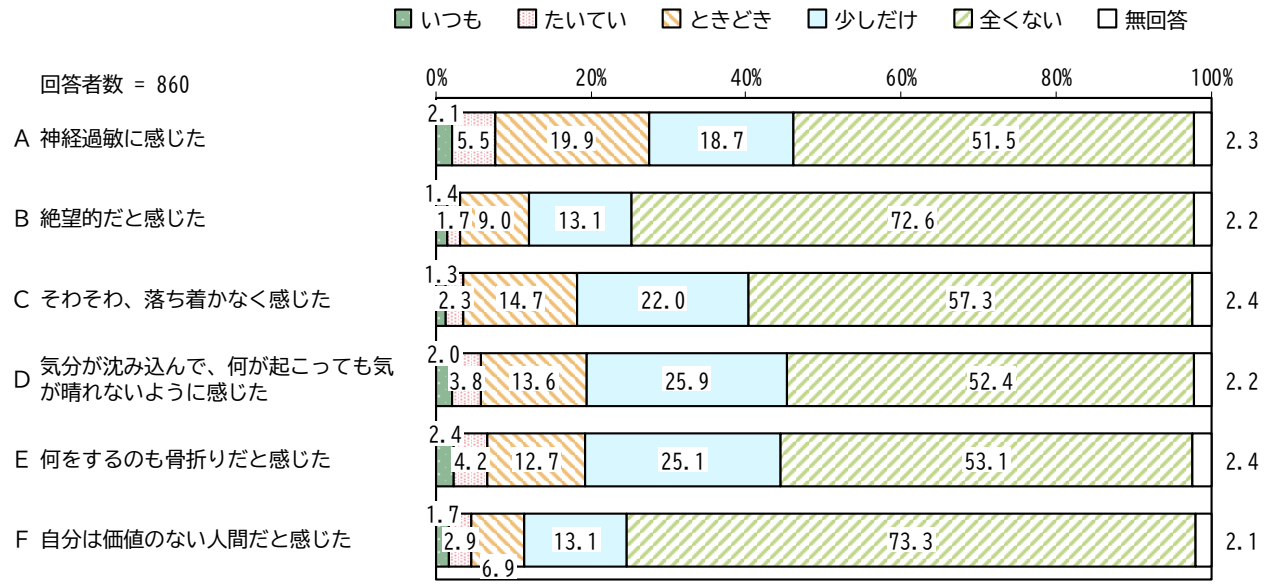
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「定期的に受診している」の割合が高くなっています。



問 22　次のＡ～Ｆの質問について、あなたは、ここ１か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

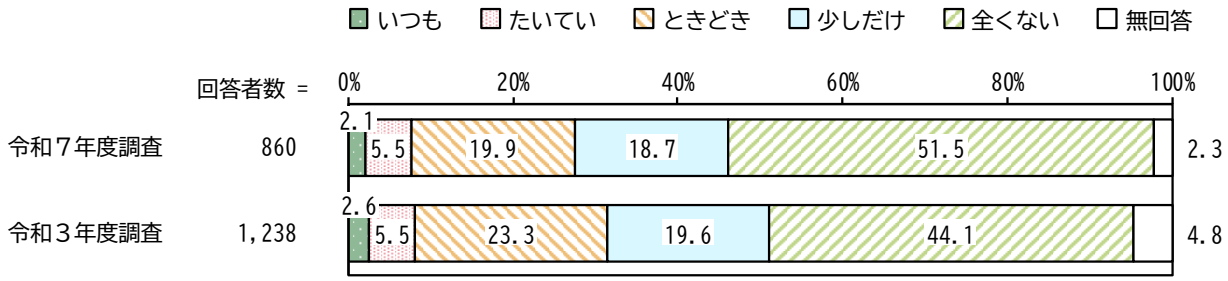
『Ｅ　何をするのも骨折りだと感じた』で「いつも」が、『Ａ　神経過敏に感じた』で「たいてい」「ときどき」が、『Ｄ　気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた』で「少しだけ」が、『Ｆ　自分は価値のない人間だと感じた』で「全くない」が高くなっています。



Ａ　神経過敏に感じた

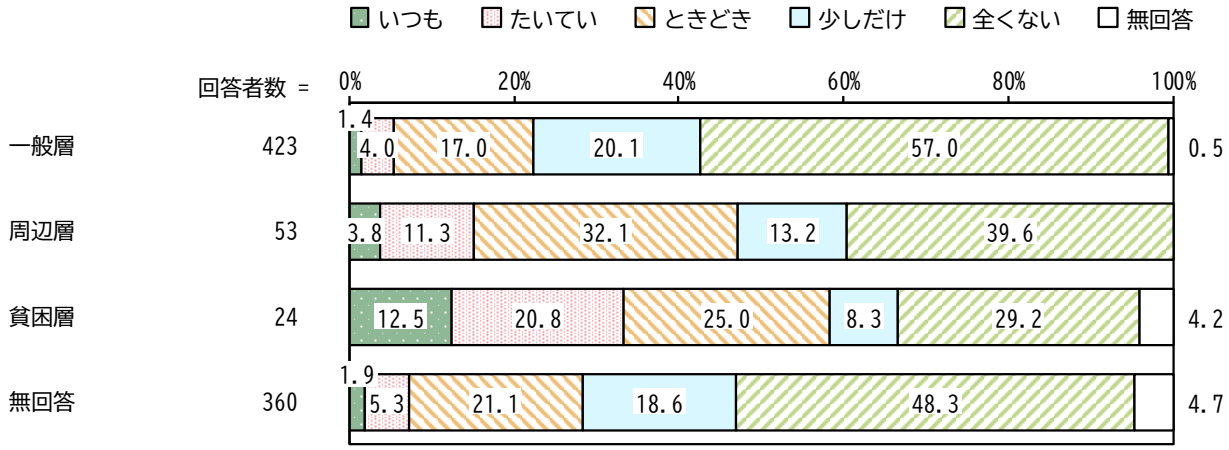
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「全くない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

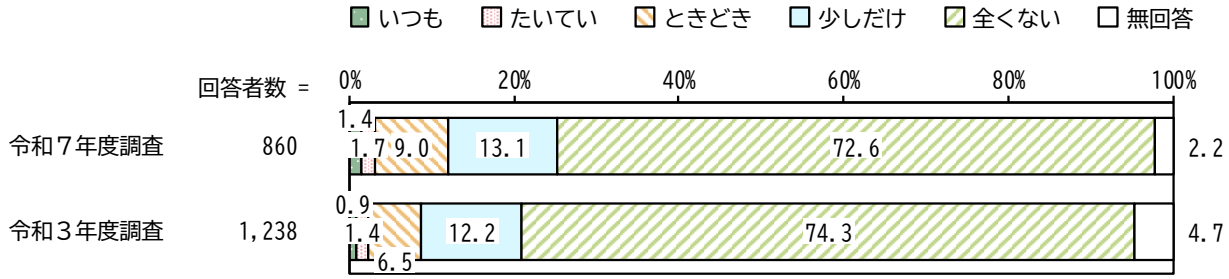
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いつも」「たいてい」の割合が高く、「少しだけ」「全くない」の割合が低くなっています。また、周辺層で「ときどき」の割合が高くなっています。



B　絶望的だと感じた

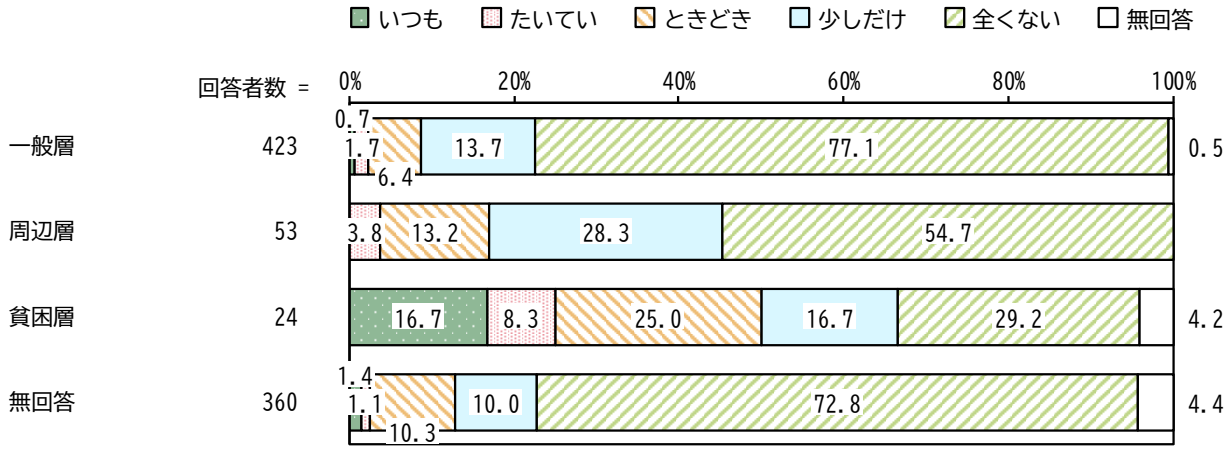
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

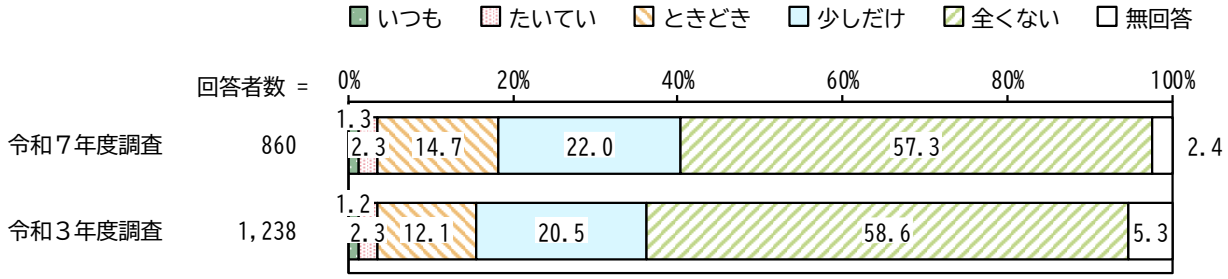
生活困難度別にみると、貧困層で「いつも」「ときどき」、周辺層で「少しだけ」の割合が高くなっています。



C　そわそわ、落ち着かなく感じた

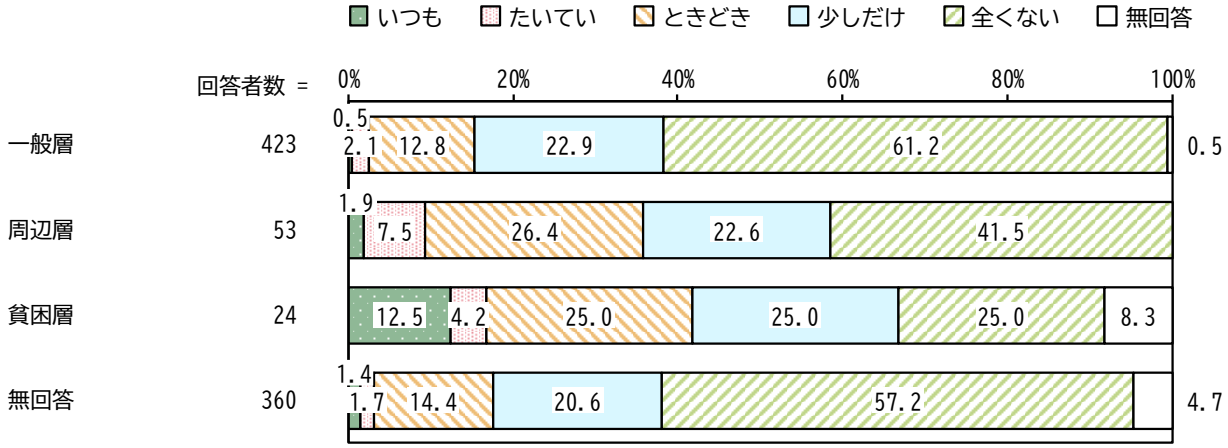
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

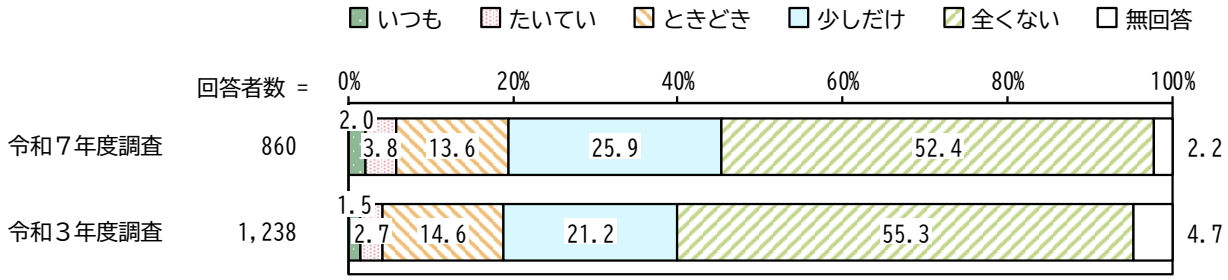
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いつも」の割合が高く、「全くない」の割合が低くなっています。また、周辺層、貧困層で「ときどき」の割合が高くなっています。



D　気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた

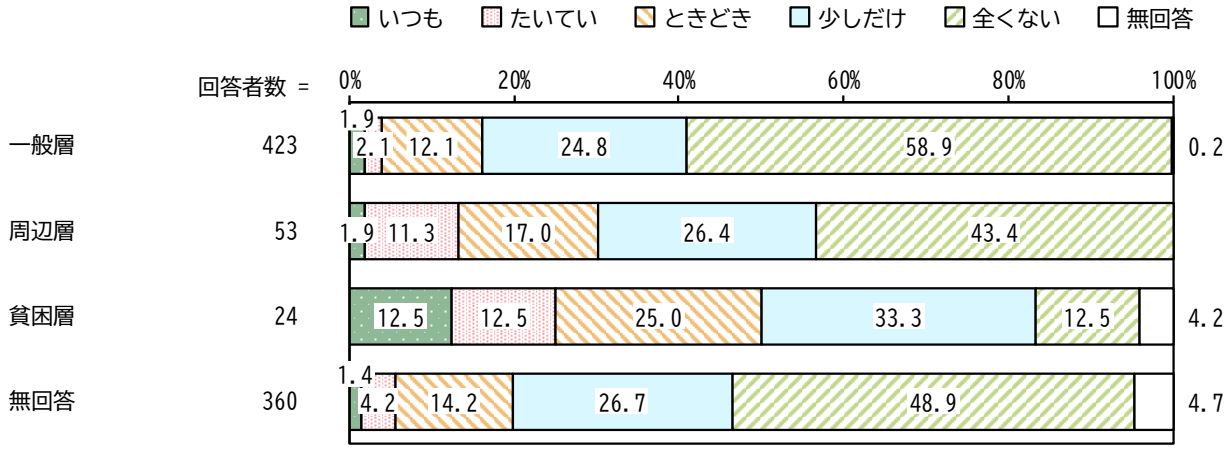
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

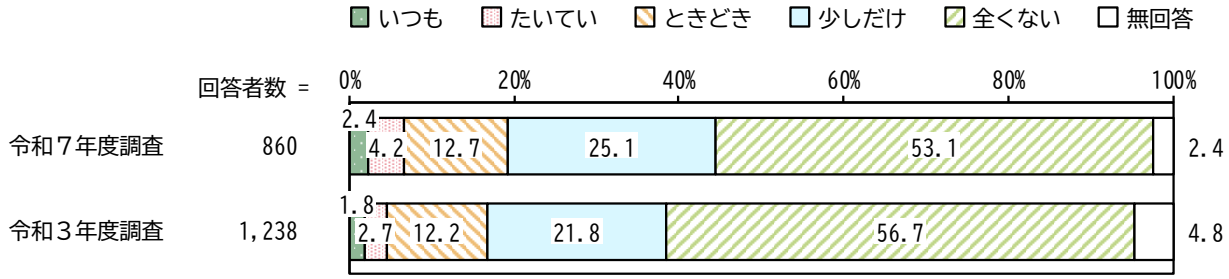
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「たいてい」「ときどき」「少しだけ」の割合が高く、「全くない」の割合が低くなっています。



E　何をするのも骨折りだと感じた

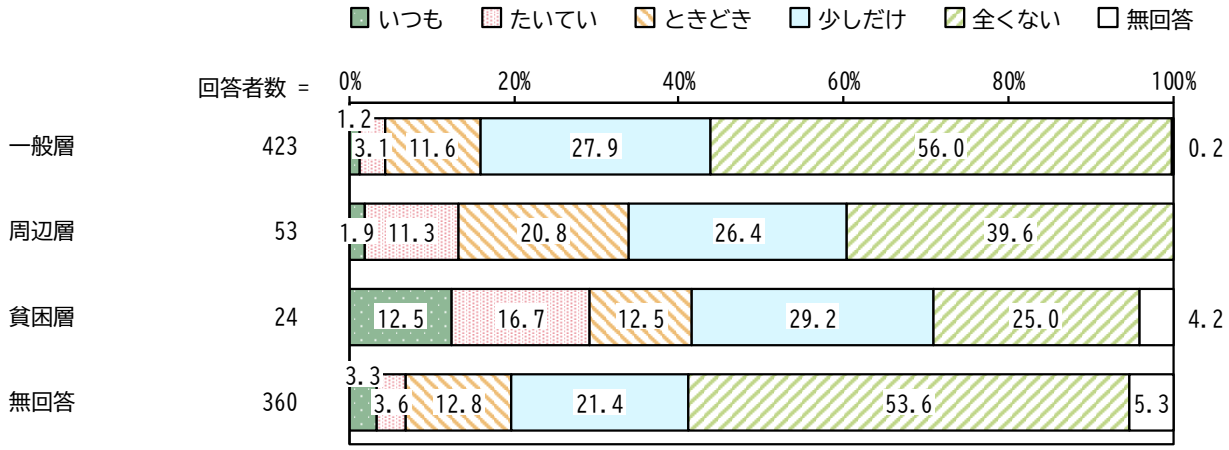
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

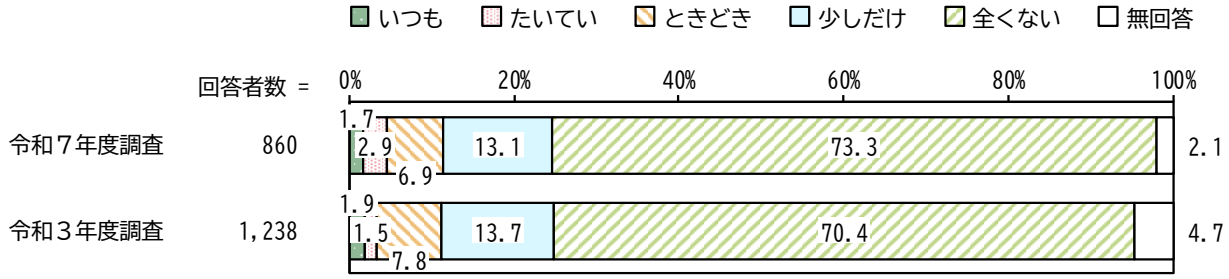
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いつも」「たいてい」の割合が高く、「全くない」の割合が低くなっています。



F　自分は価値のない人間だと感じた

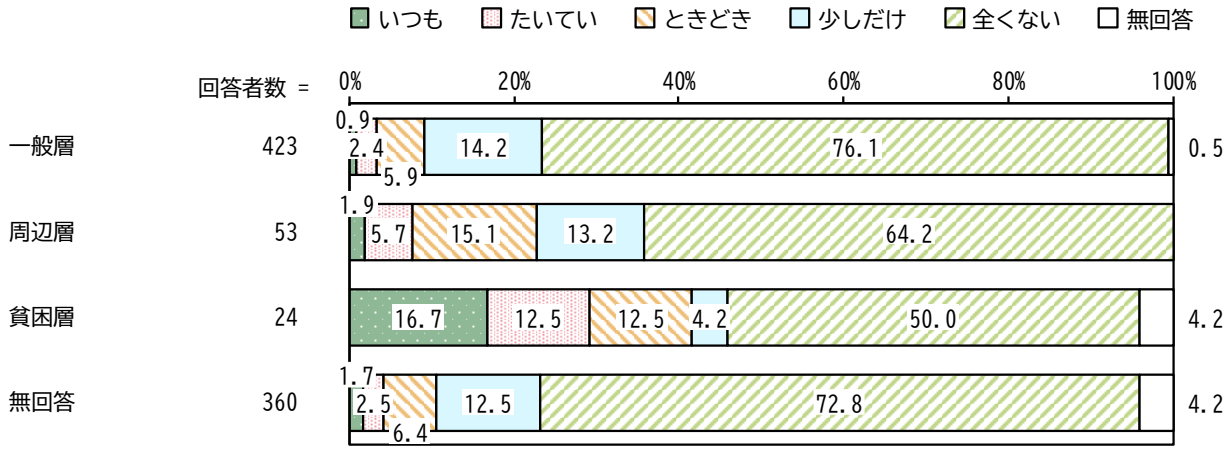
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

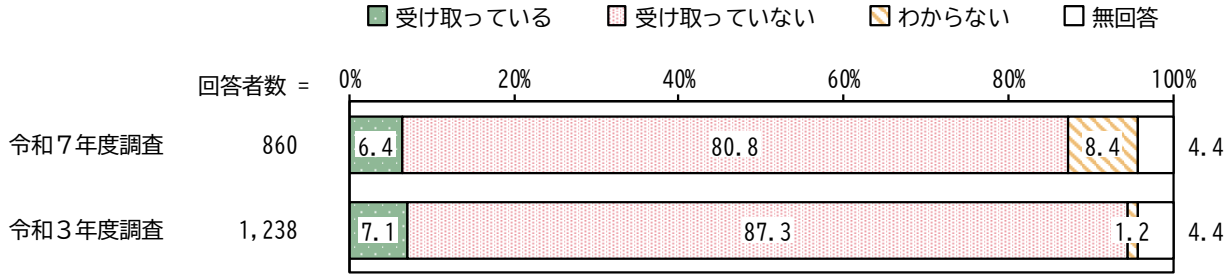
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いつも」「たいてい」の割合が高く、「少しだけ」「全くない」の割合が低くなっています。



問 24　あなたのご家庭では、お子さんのために就学援助費を受け取っていますか。
（１つに○）

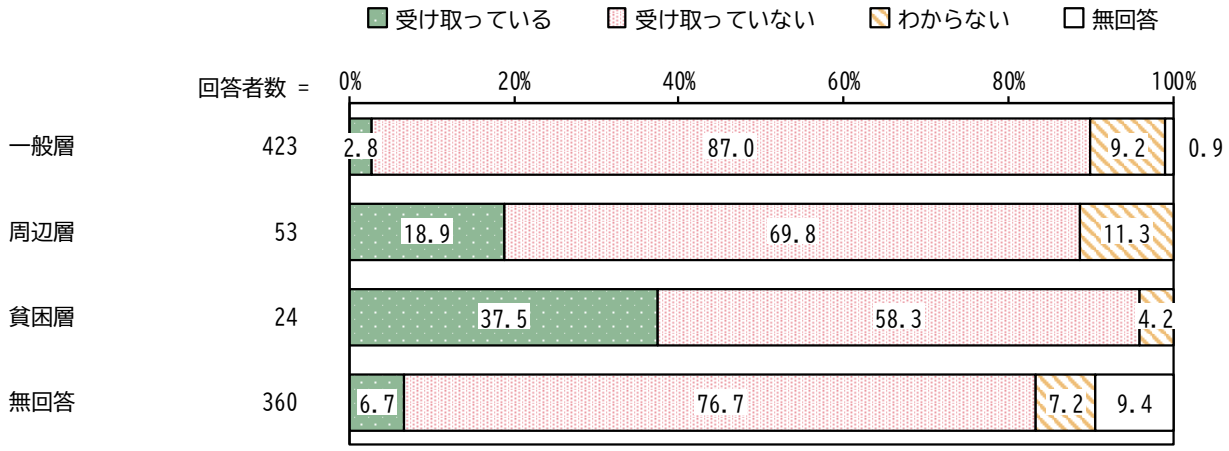
「受け取っている」の割合が 6.4%、「受け取っていない」の割合が 80.8%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「受け取っていない」の割合が減少しています。



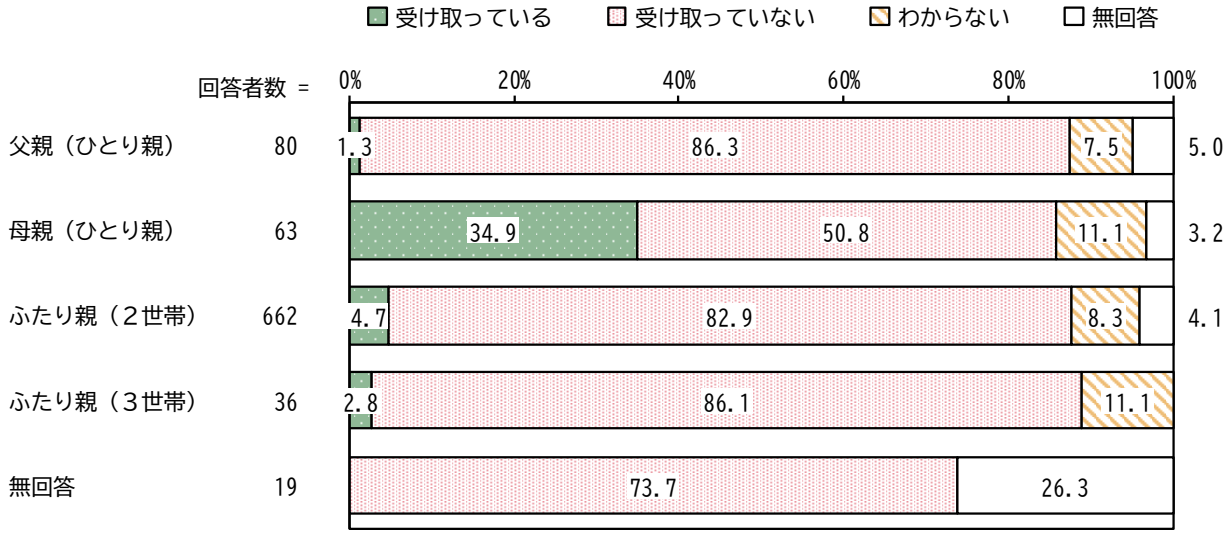
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「受け取っている」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「受け取っている」の割合が高くなっています。



問 24 で「受け取っている」を選んだ方にお聞きします。

問 24－１　就学援助で支給されている額と実際にかかった額とで、その差が大きいものは何の経費ですか。

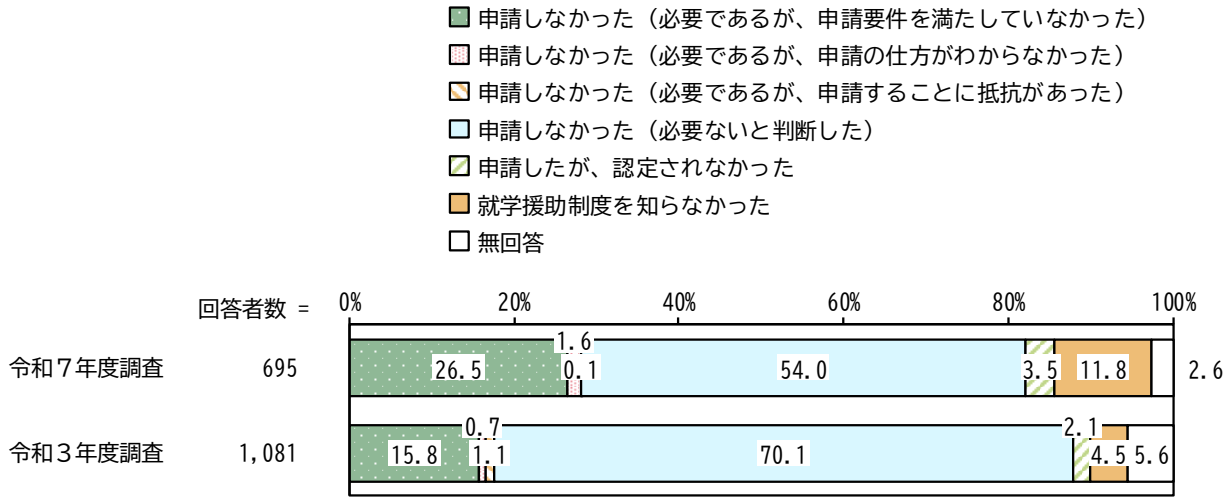
「わからない」「特になし」「細かく確認していない」といった具体的な差額を把握していない意見が複数見受けられる一方で、具体的な経費を挙げている回答では、ランドセルなどの「入学費用」や、習字セット・絵の具セット・体操着をはじめとする「学用品の消耗品」、移動教室などの「学校行事代」といった学校生活に直接必要となる物品や行事費用の援助が不足しているという意見が多く挙げられているほか、昨今の値上げの影響によって習い事の継続が困難になっているという声も寄せられる傾向となっています。

問 24 で「受け取っていない」を選んだ方にお聞きします。

問 24－２　就学援助費を受け取っていない理由は、何ですか。次のうち最も近いものに○をつけてください。（１つに○）

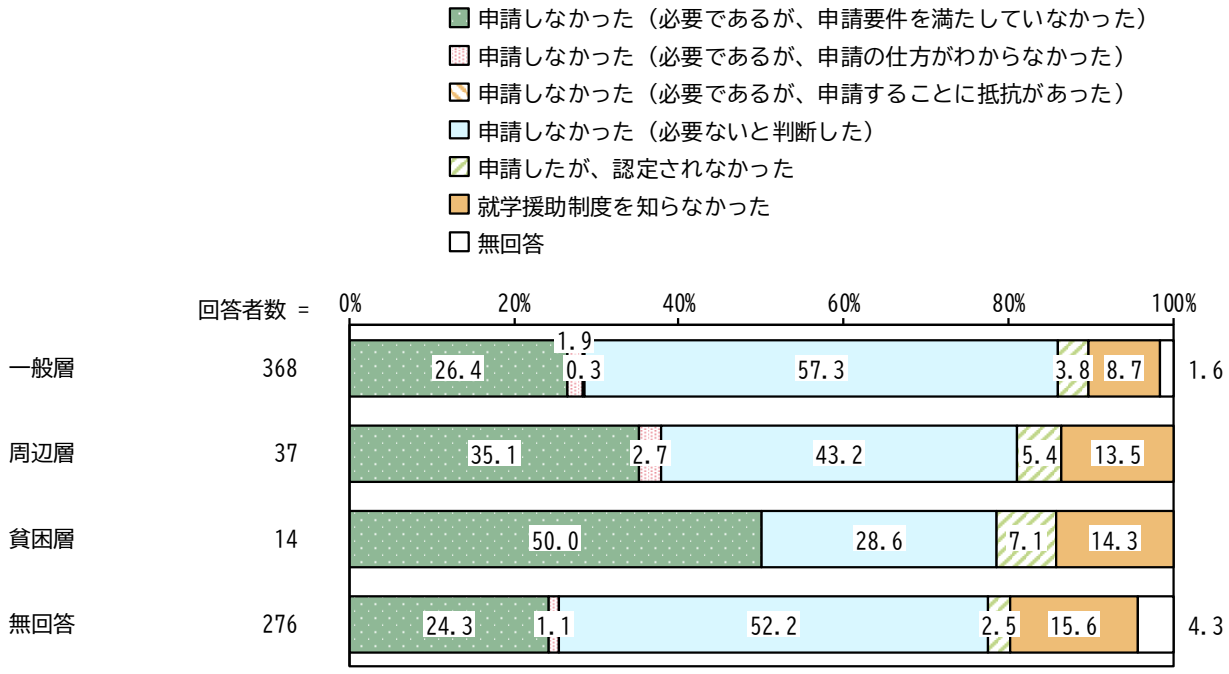
「申請しなかった（必要ないと判断した）」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていなかった）」の割合が 26.5%、「就学援助制度を知らなかった」の割合が 11.8%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていなかった）」「就学援助制度を知らなかった」の割合が増加しています。一方、「申請しなかった（必要ないと判断した）」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

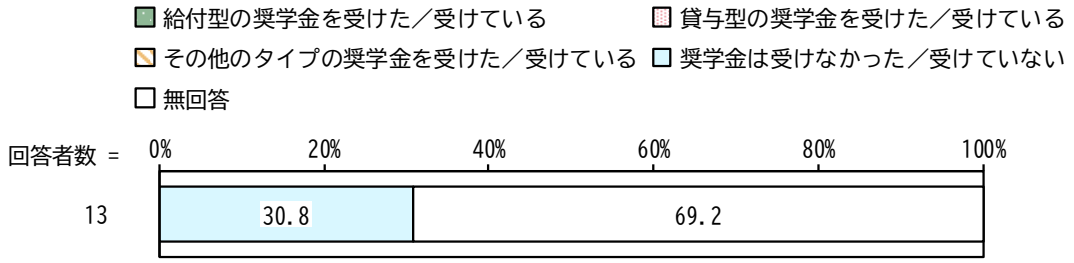
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていなかった）」「就学援助制度を知らなかった」の割合が高く、「申請しなかった（必要ないと判断した）」の割合が低くなっています。



問 24－３、問 24－４は、お子さんが高校生の方のみご回答ください。

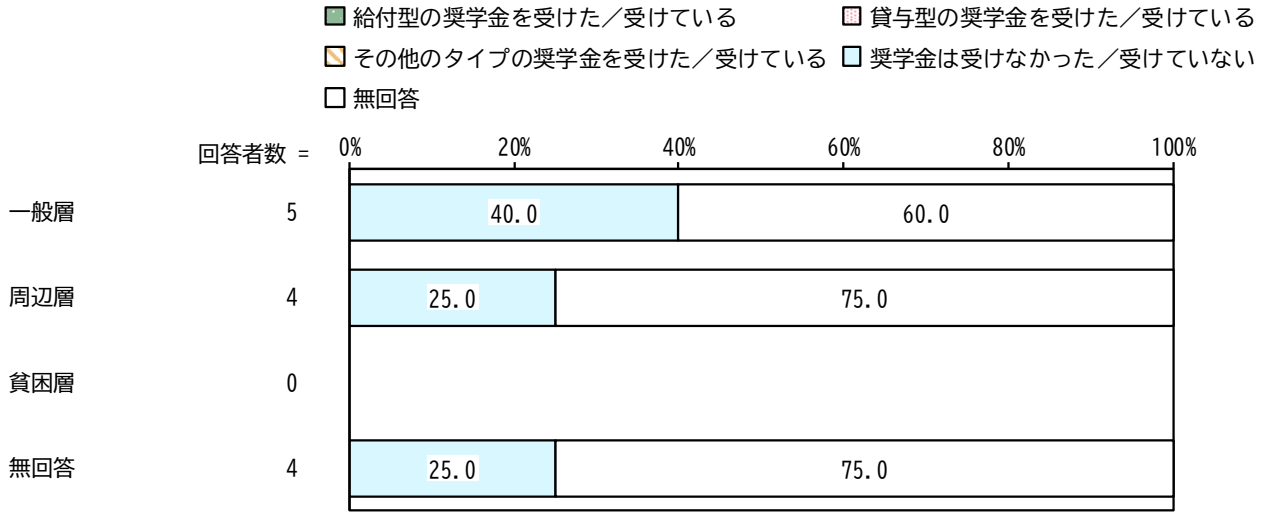
問 24－３　お子さんは、奨学金を受けましたか（受けていますか）。複数受けている場合は、直近のものについて教えてください。（１つに○）

「奨学金は受けなかった／受けていない」の割合が 30.8%と最も高くなっています。



【生活困難度別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



問 25 で回答いただいた、公的年金・手当等以外の収入についてお聞きします。

問 25－１　お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入（税込）はいくらですか。（１つに○）　※総支給額をお答えください

「900 万円以上」の割合が 34.2%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、「900 万円以上」の割合が増加しています。

単位：%

区分	回答者数（件）	収入はない（０円）	1～50 万円未満	50～100 万円未満	100～200 万円未満	200～300 万円未満	300～400 万円未満	400～500 万円未満	500～600 万円未満	600～700 万円未満	700～800 万円未満	800～900 万円未満	900 万円以上	わからない	無回答
全　体	860	3.1	1.2	0.6	0.9	0.8	0.6	3.6	4.2	7.2	7.9	6.4	34.2	5.5	23.8
令和７年度調査	860	3.1	1.2	0.6	0.9	0.8	0.6	3.6	4.2	7.2	7.9	6.4	34.2	5.5	23.8
令和３年度調査	1,238	2.7	0.2	0.4	1.4	1.7	3.3	4.1	5.3	9.2	9.5	9.2	27.9	4.9	20.1

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「収入はない（０円）」「１～50 万円未満」、貧困層で「400～500 万円未満」、一般層で「900 万円以上」の割合が高くなっています。

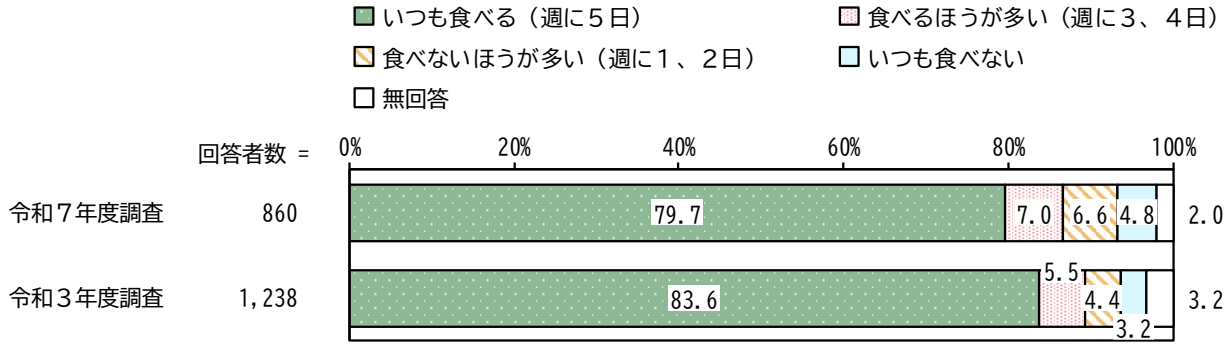
単位：%

区分	回答者数（件）	収入はない（０円）	1～50 万円未満	50～100 万円未満	100～200 万円未満	200～300 万円未満	300～400 万円未満	400～500 万円未満	500～600 万円未満	600～700 万円未満	700～800 万円未満	800～900 万円未満	900 万円以上	わからない	無回答
全　体	860	3.1	1.2	0.6	0.9	0.8	0.6	3.6	4.2	7.2	7.9	6.4	34.2	5.5	23.8
一般層	423	0.0	0.0	0.0	0.2	0.7	0.5	4.7	4.7	10.6	12.5	8.7	49.6	7.6	0.0
周辺層	53	30.2	11.3	5.7	3.8	1.9	0.0	1.9	13.2	5.7	9.4	7.5	5.7	3.8	0.0
貧困層	24	20.8	4.2	4.2	8.3	4.2	8.3	25.0	8.3	4.2	4.2	0.0	0.0	8.3	0.0
無回答	360	1.7	0.8	0.3	0.8	0.6	0.3	1.1	1.9	3.6	2.5	3.9	22.5	3.1	56.9

問 26　あなたは平日の食事を週にどのくらいしていますか。
（それぞれについて、あてはまる番号１つに○）

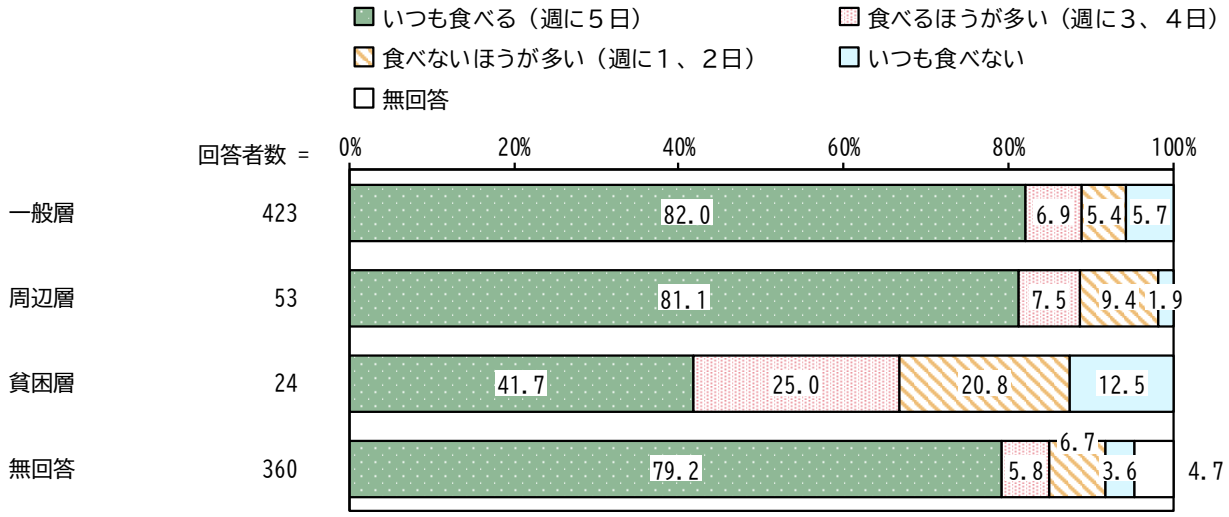
A　朝食

「いつも食べる（週に５日）」の割合が 79.7%と最も高くなっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



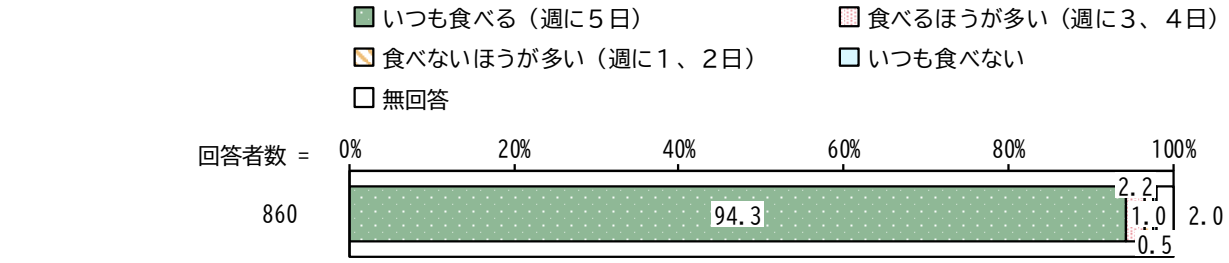
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「いつも食べる（週に５日）」の割合が高くなっています。



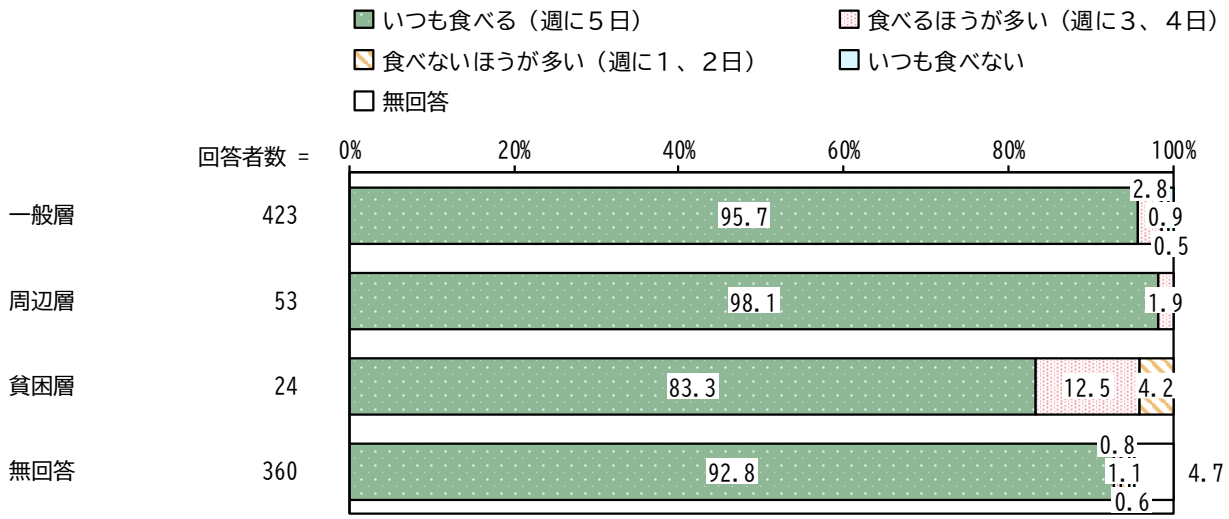
B　夕食

「いつも食べる（週に５日）」の割合が 94.3%と最も高くなっています。



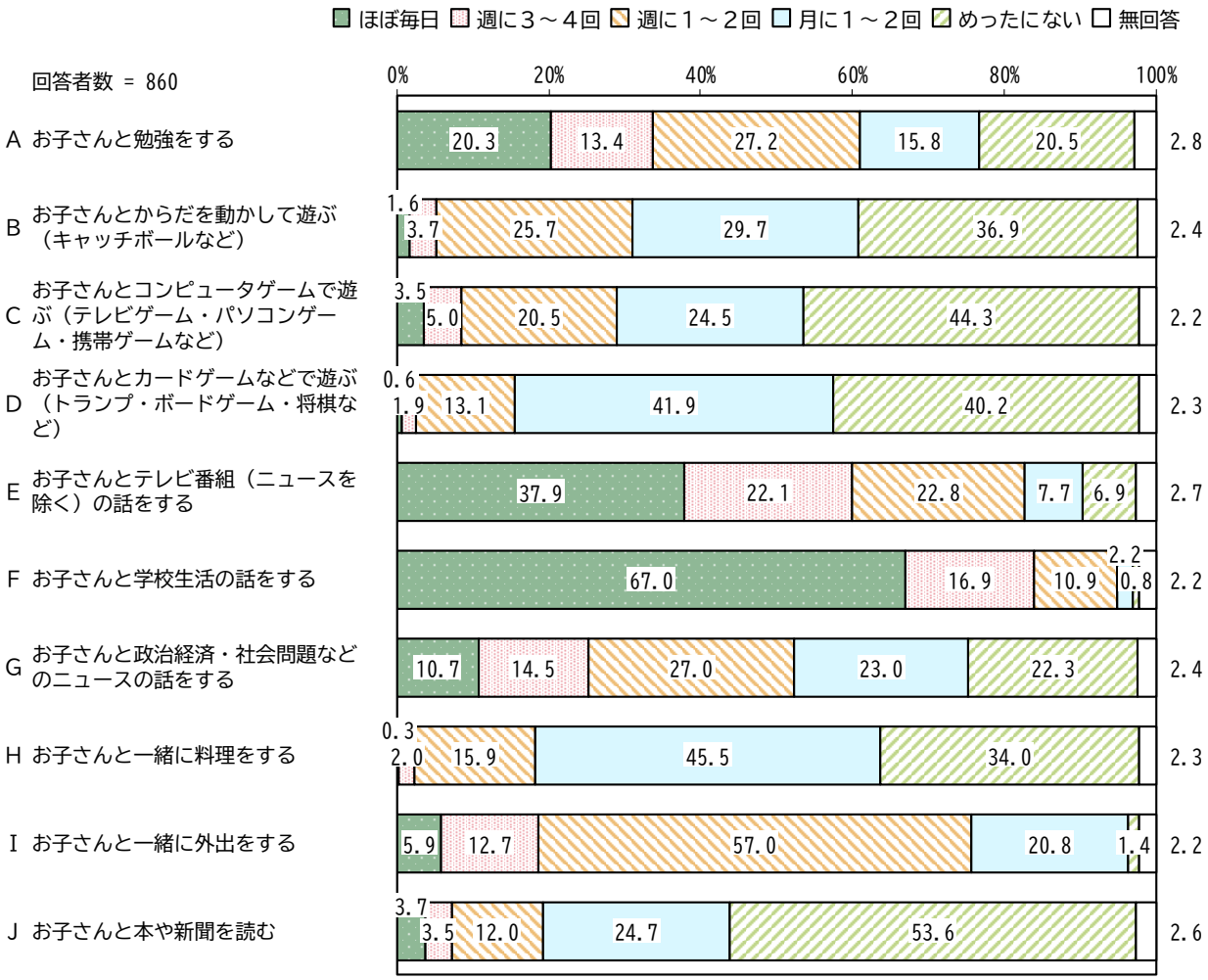
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「いつも食べる（週に５日）」の割合が低くなっています。



問 27　あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

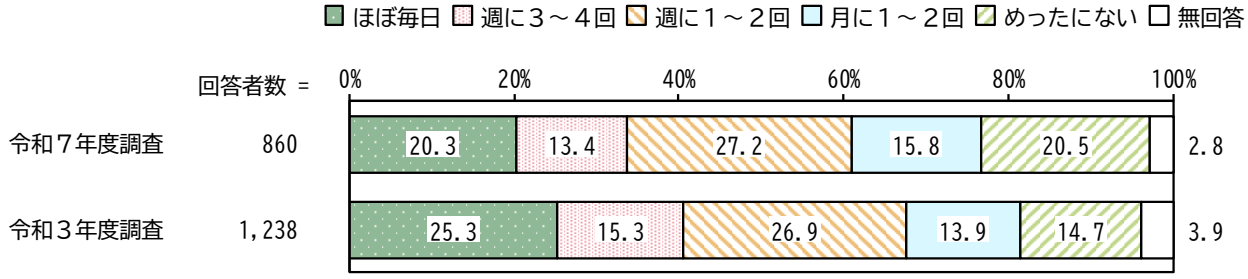
『Ｆ　お子さんと学校生活の話をする』で「ほぼ毎日」が、『Ｅ　お子さんとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする』で「週に３～４回」が、『Ｉ　お子さんと一緒に外出をする』で「週に１～２回」が、『Ｈ　お子さんと一緒に料理をする』で「月に１～２回」が、『Ｊ　お子さんと本や新聞を読む』で「めったにない」が高くなっています。



A　お子さんと勉強をする

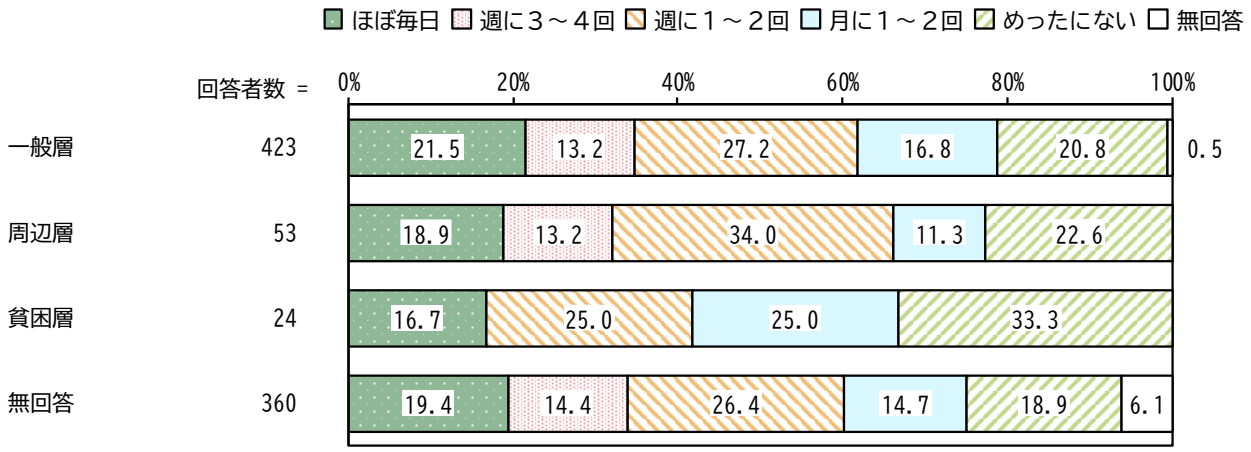
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「めったにない」の割合が増加しています。



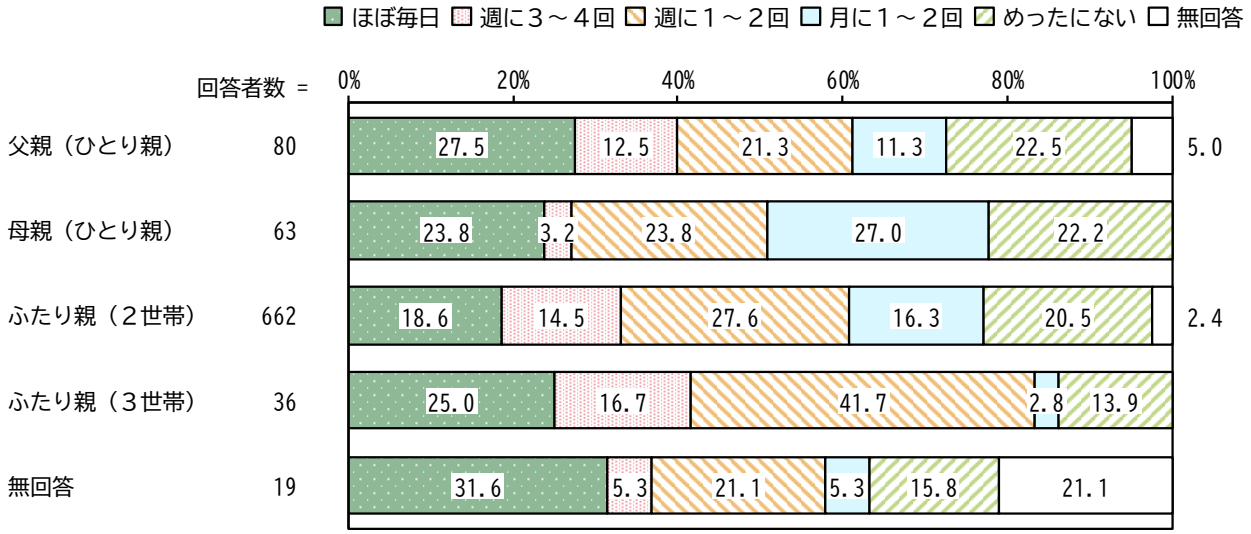
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「めったにない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

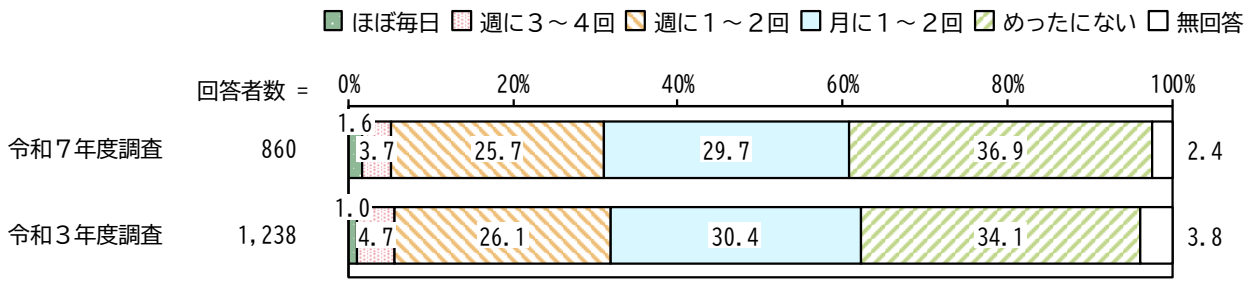
世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



B　お子さんとからだを動かして遊ぶ（キャッチボールなど）

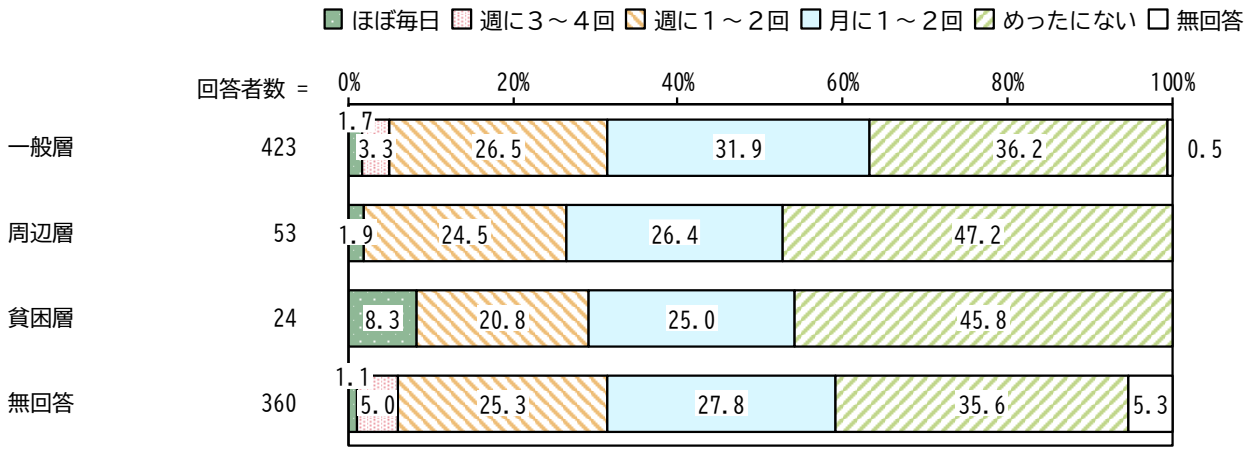
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



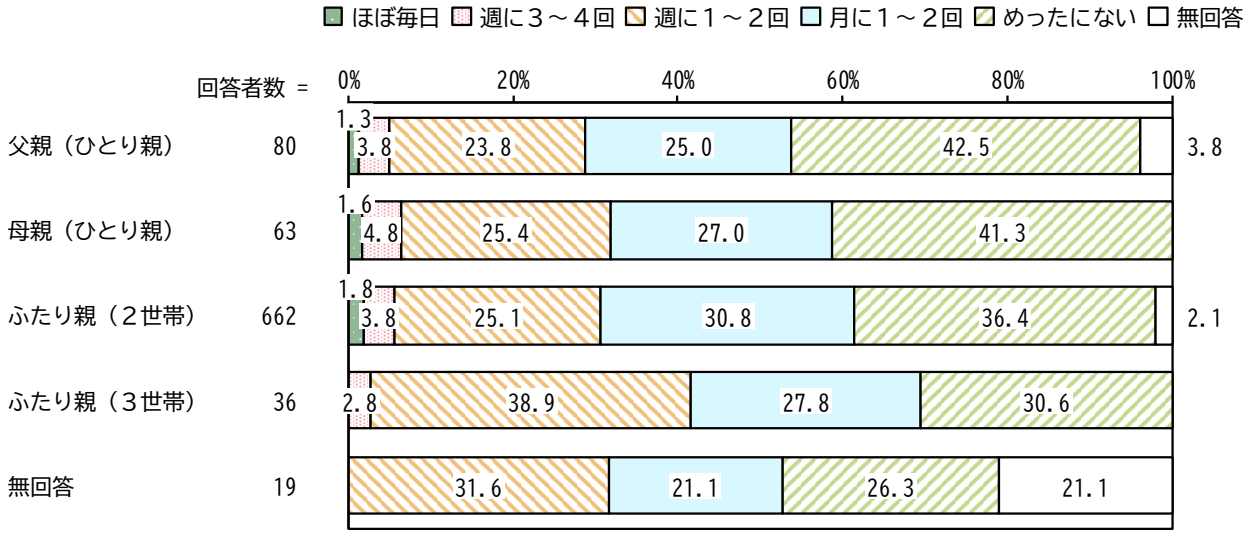
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「めったにない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

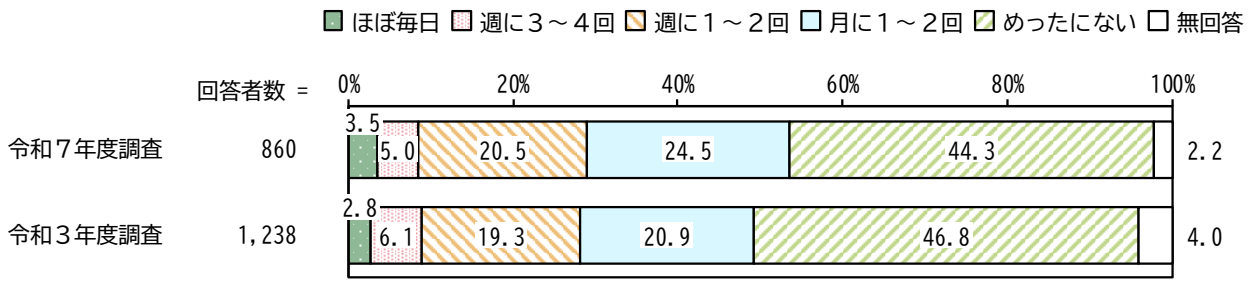
世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で「めったにない」の割合が高くなっています。



C　お子さんとコンピュータゲームで遊ぶ（テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲームなど）

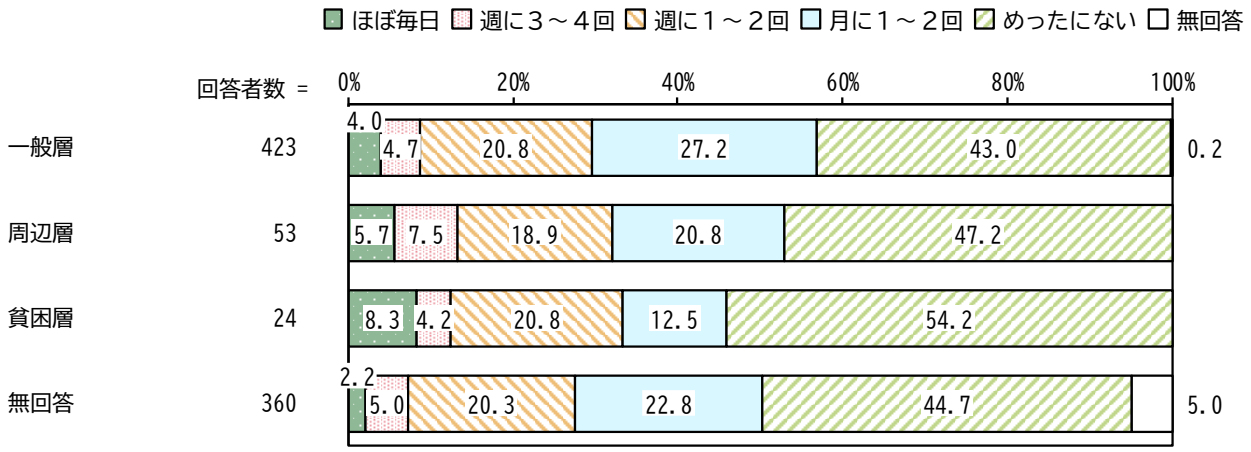
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



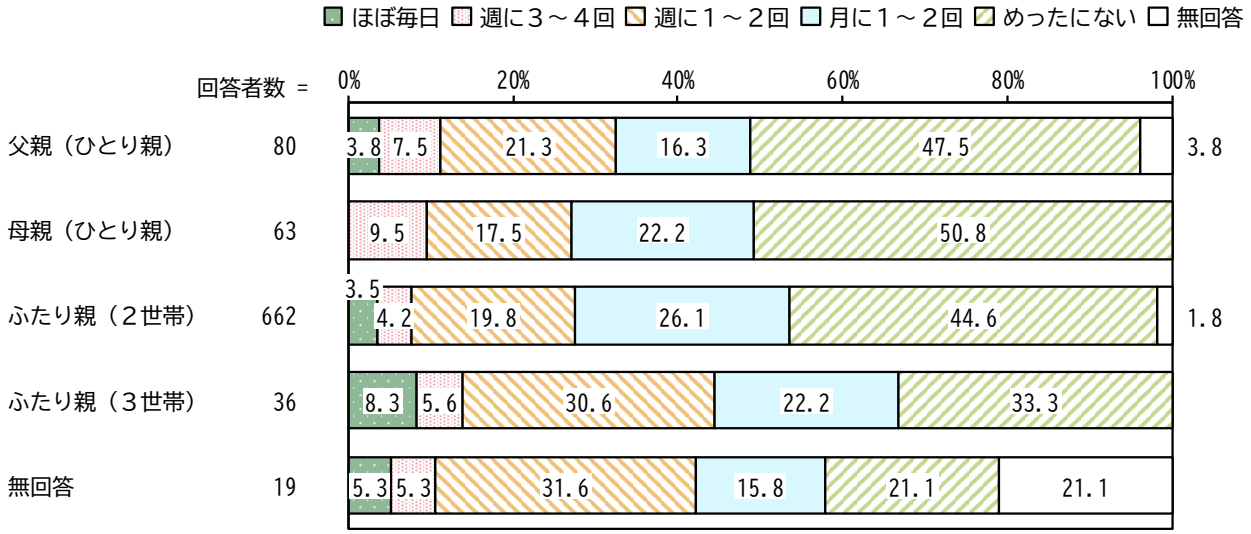
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「めったにない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

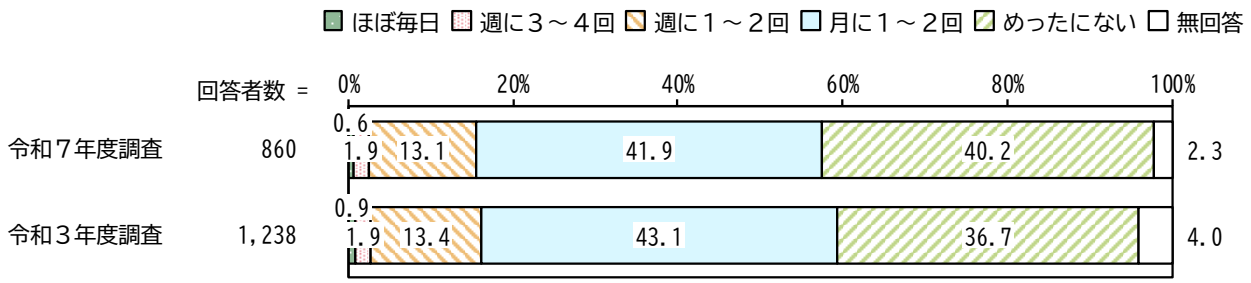
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「めったにない」の割合が低くなっています。



D　お子さんとカードゲームなどで遊ぶ（トランプ・ボードゲーム・将棋など）

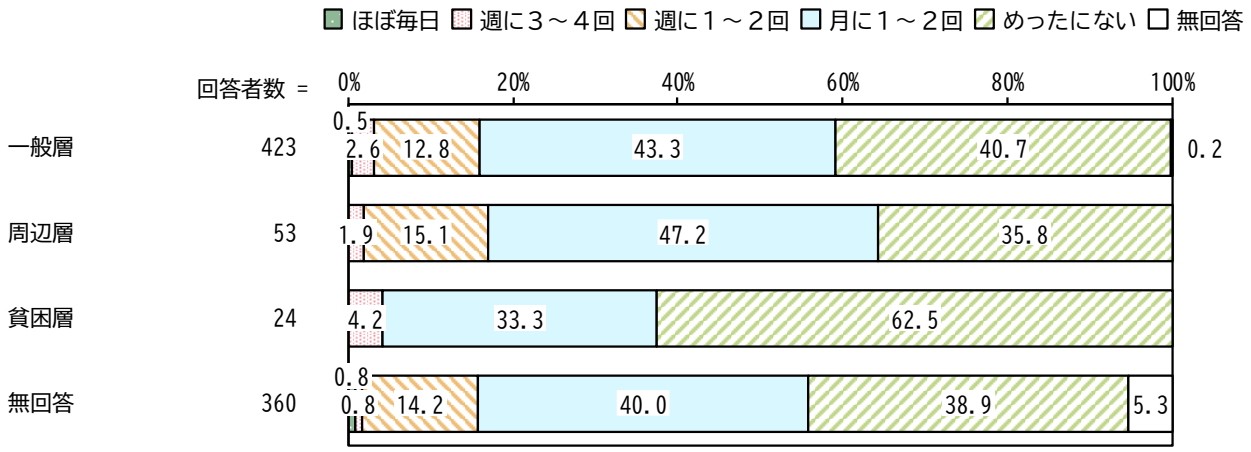
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



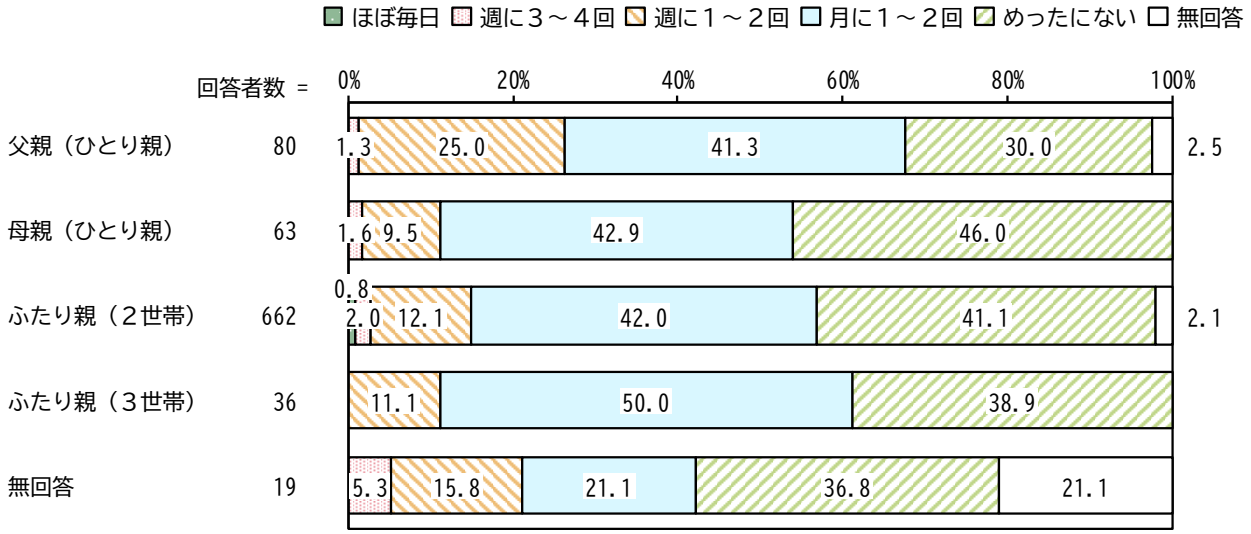
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「めったにない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

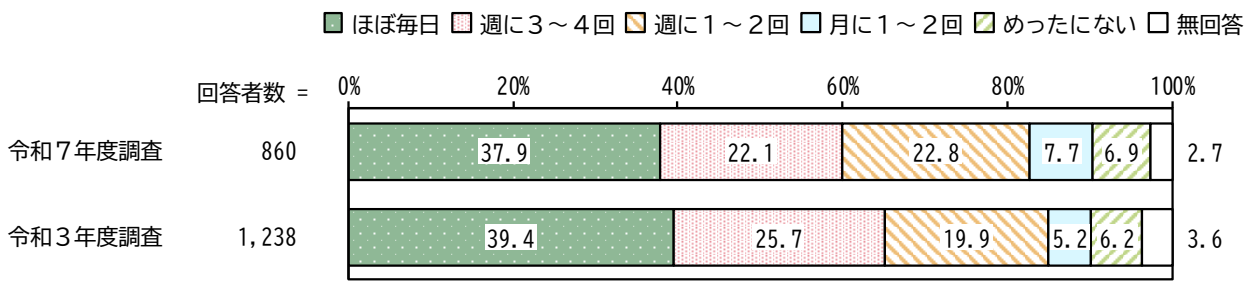
世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で「めったにない」の割合が低くなっています。



E　お子さんとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする

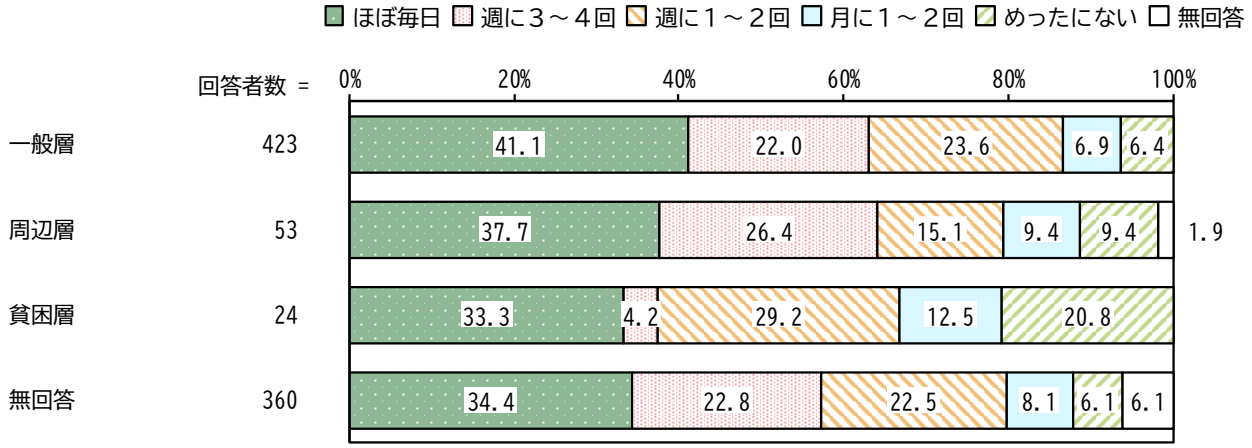
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



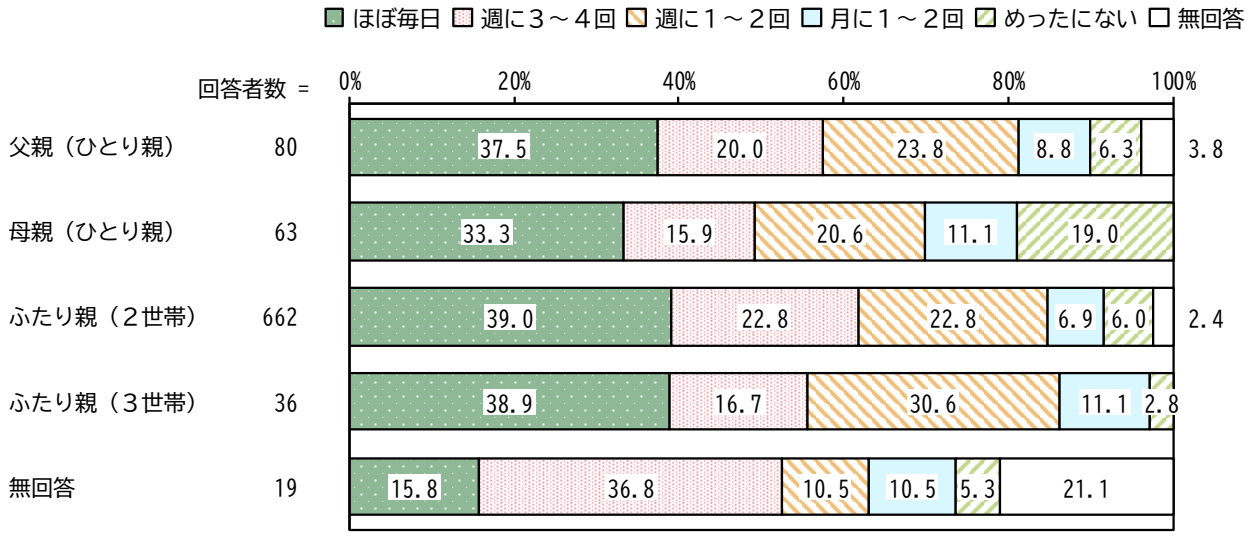
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「めったにない」の割合が高くなっています。また、貧困層で「週に３～４回」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

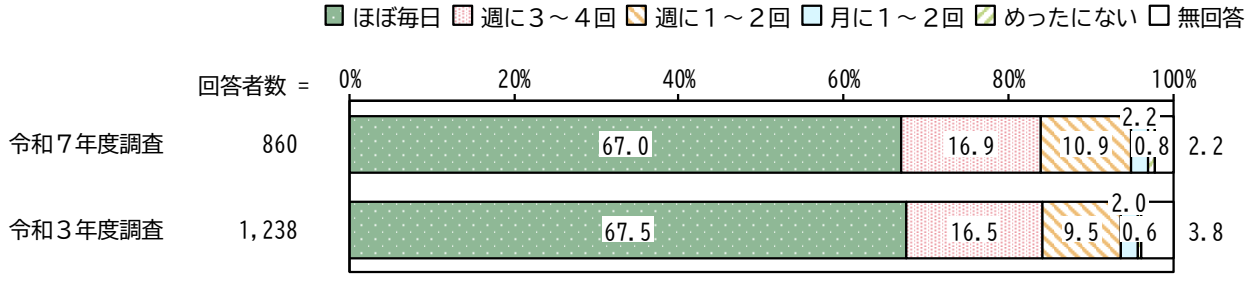
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「めったにない」の割合が高くなっています。



F　お子さんと学校生活の話をする

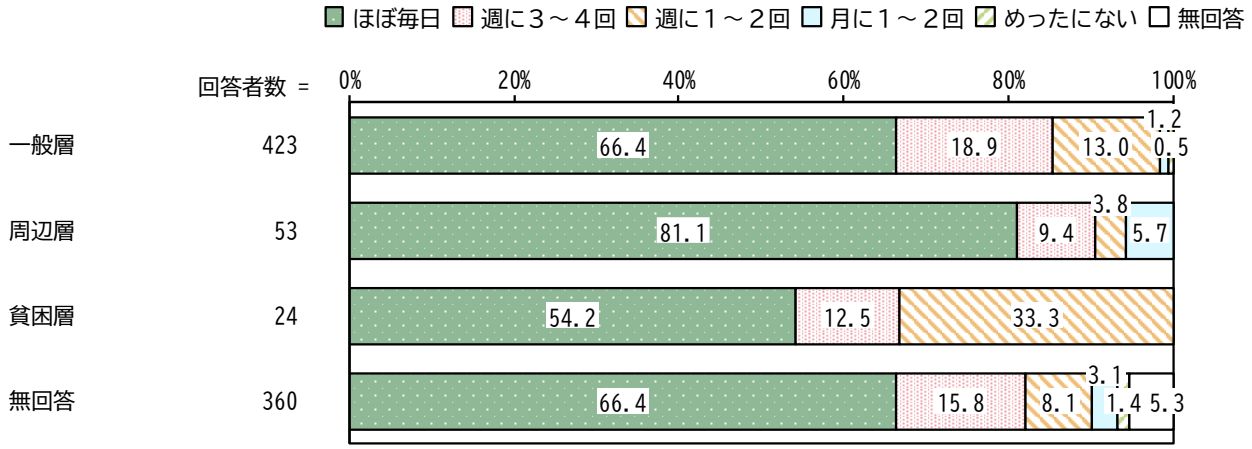
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



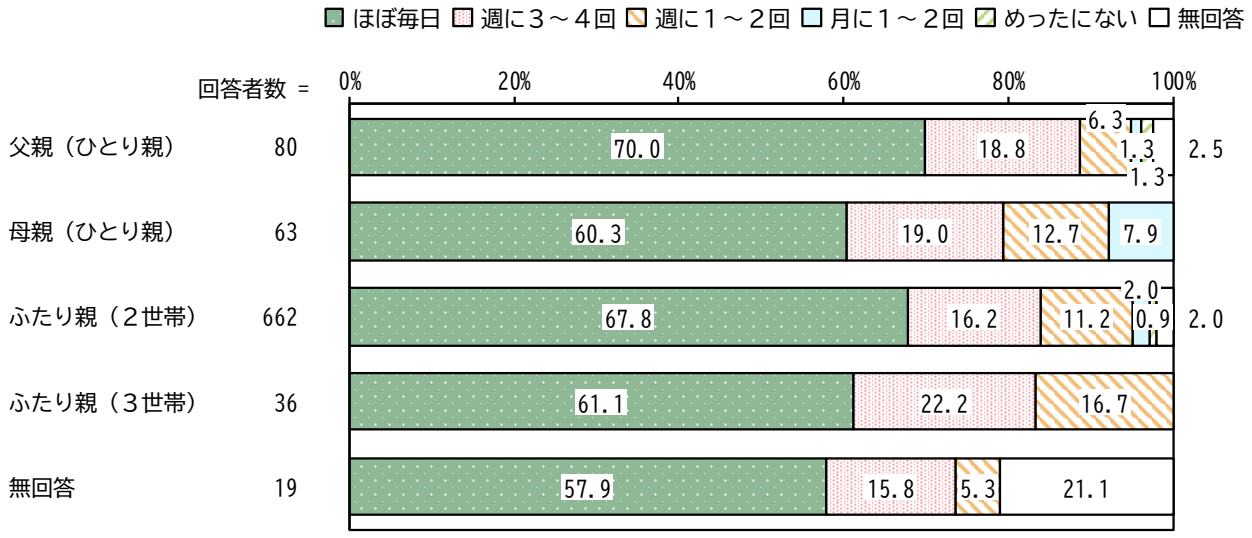
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

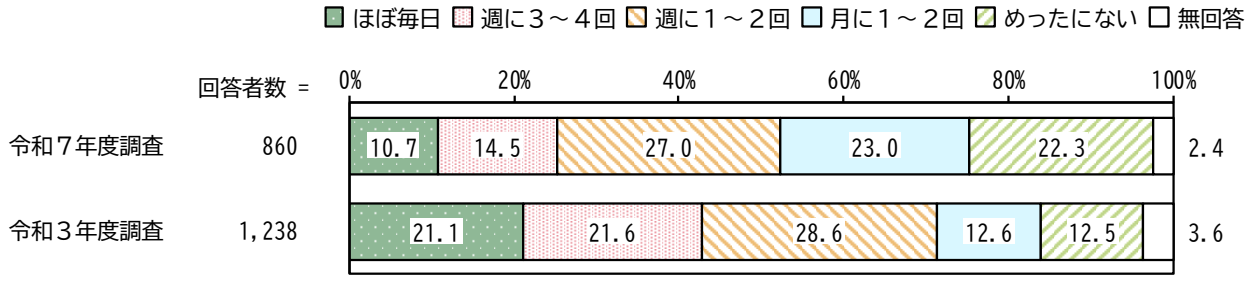
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）、ふたり親（３世帯）で「ほぼ毎日」の割合が低くなっています。



G　お子さんと政治経済・社会問題などのニュースの話をする

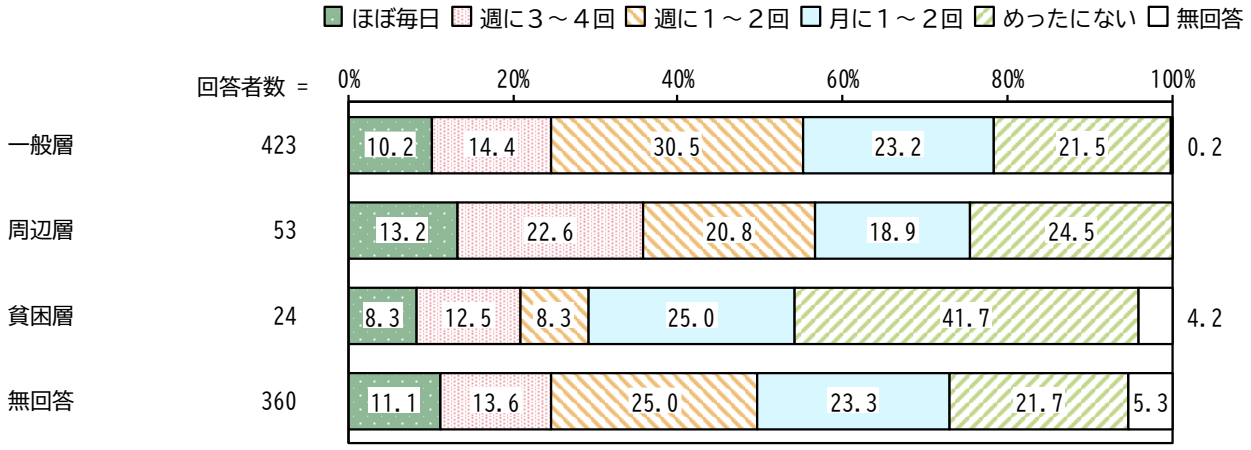
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「月に１～２回」「めったにない」の割合が増加しています。一方、「ほぼ毎日」「週に３～４回」の割合が減少しています。



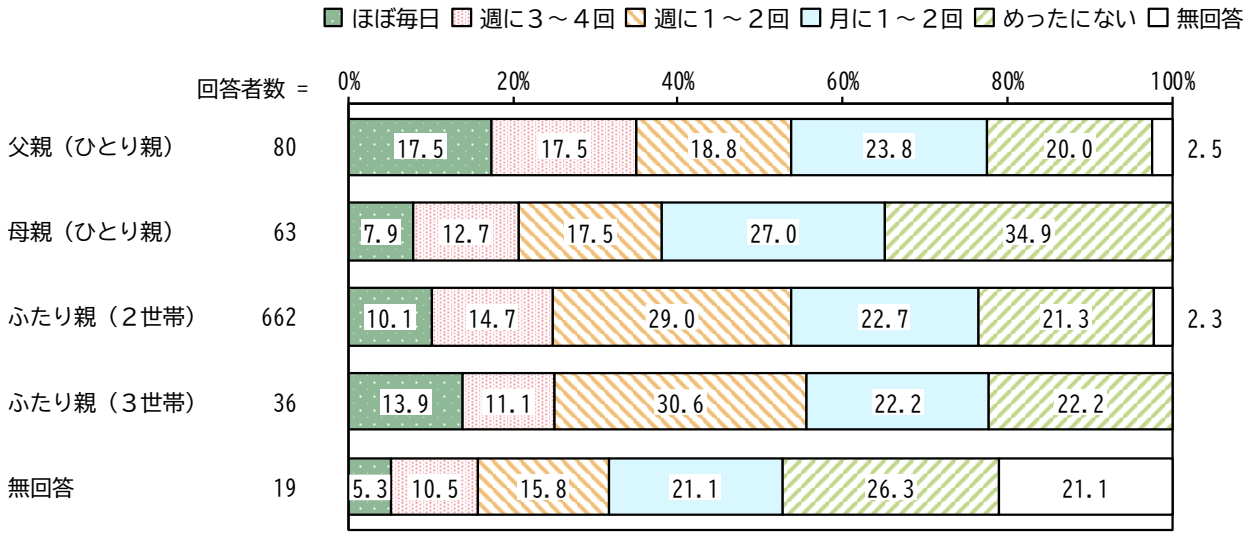
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「めったにない」の割合が高くなっています。また、貧困層で「週に１～２回」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

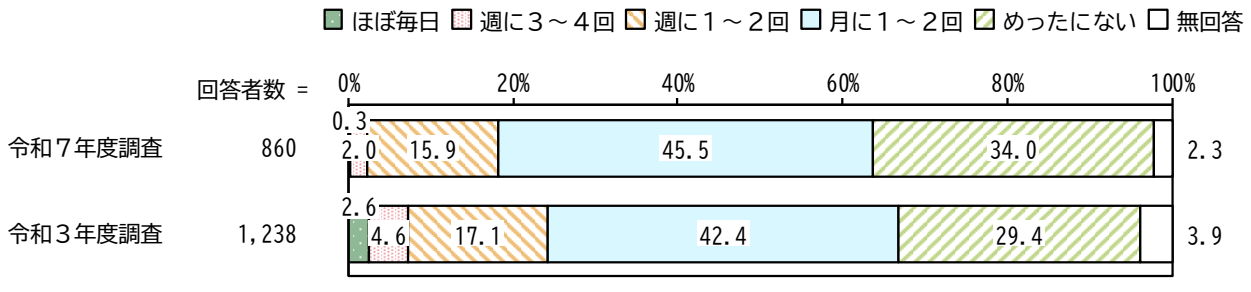
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「めったにない」の割合が高くなっています。



H　お子さんと一緒に料理をする

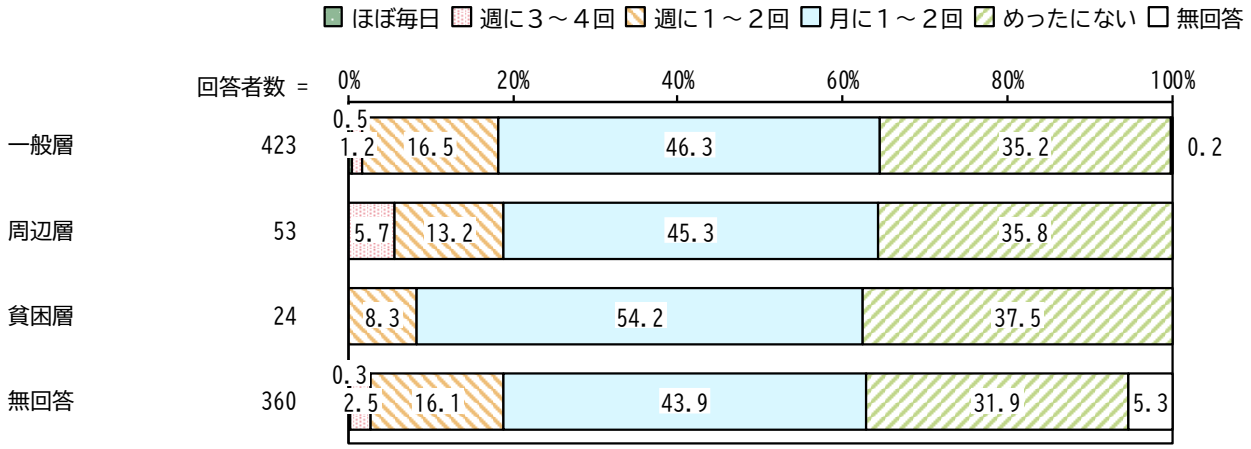
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



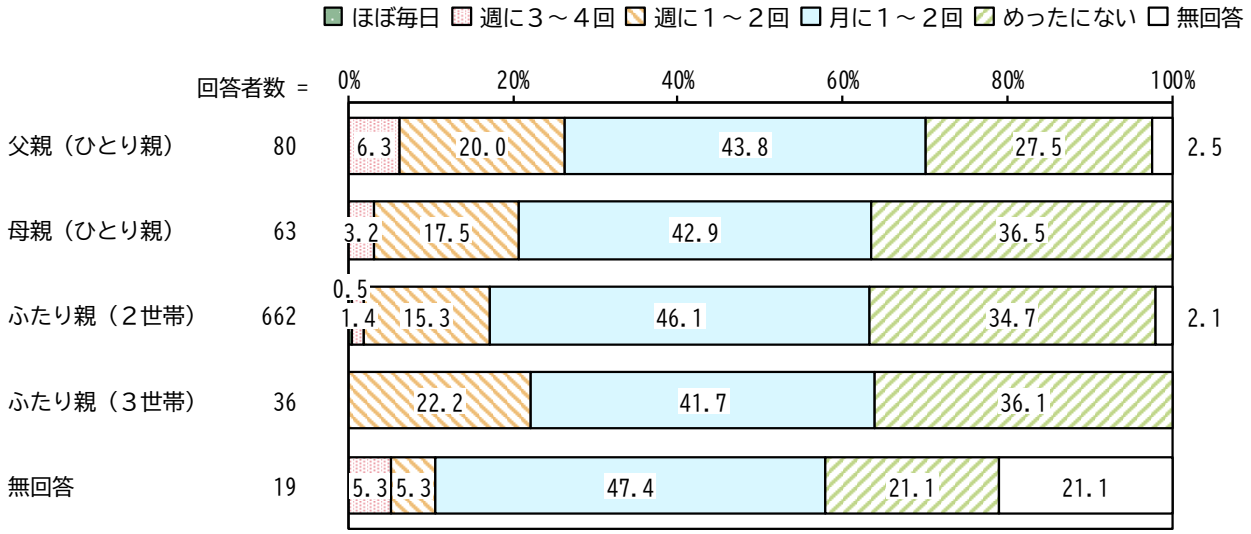
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「週に１～２回」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

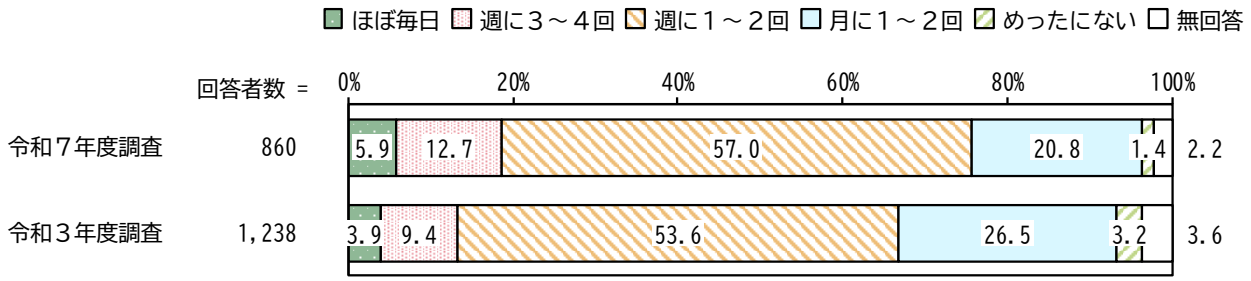
世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で「めったにない」の割合が低くなっています。



Ⅰ　お子さんと一緒に外出をする

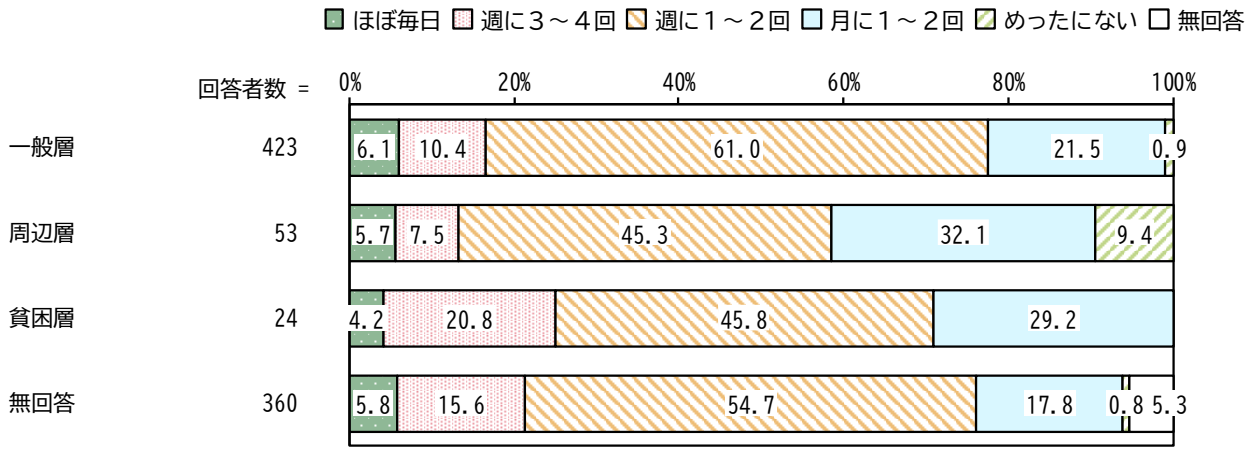
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「月に１～２回」の割合が減少しています。



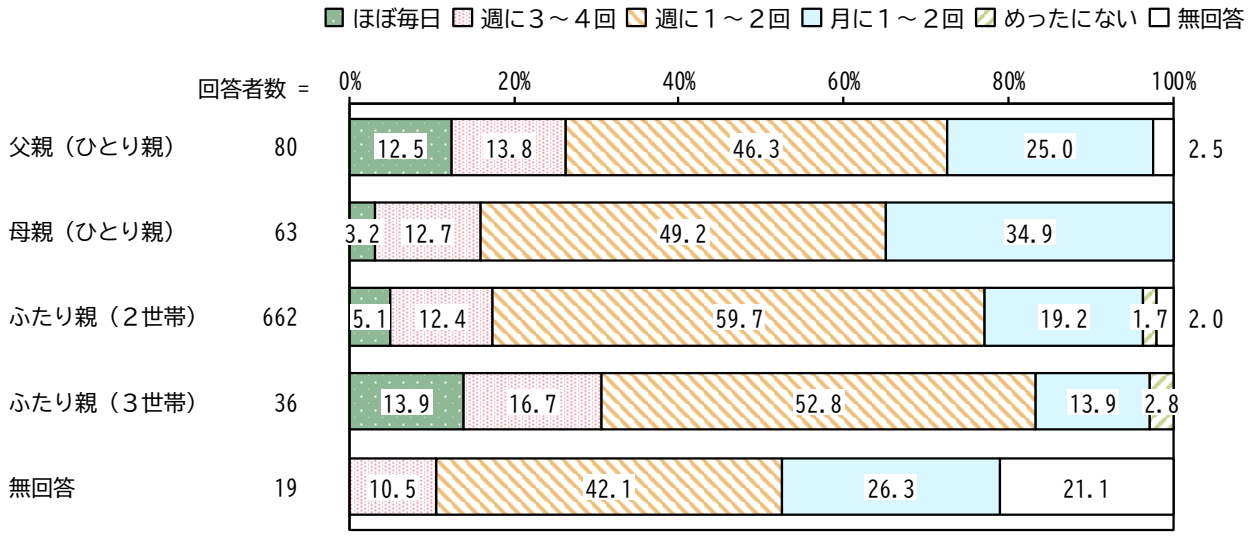
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「めったにない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

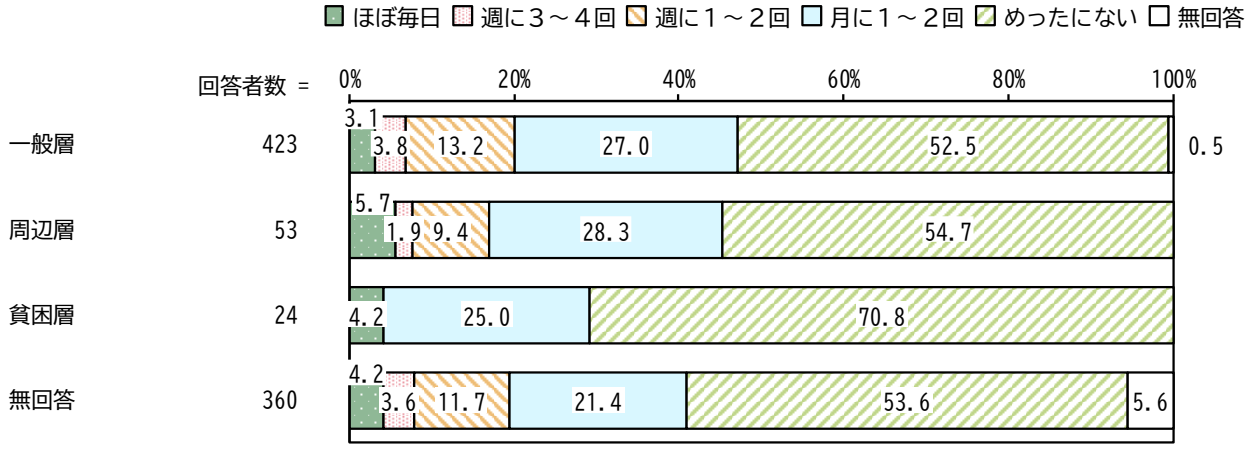
世帯分類別にみると、父親（ひとり親）、ふたり親（３世帯）で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



J　お子さんと本や新聞を読む

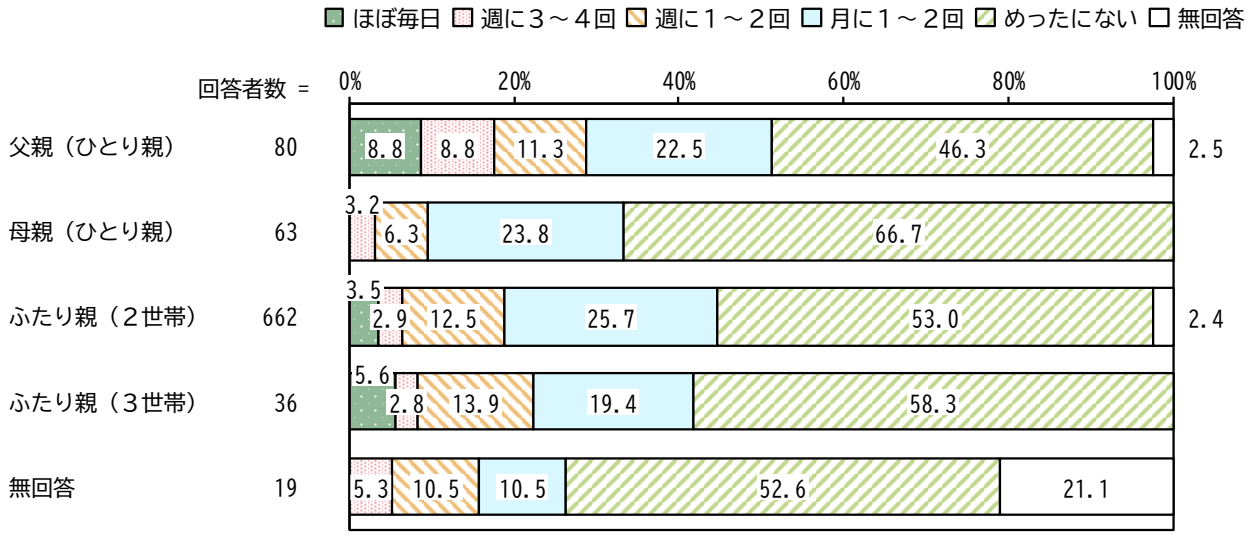
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「めったにない」の割合が高くなっています。



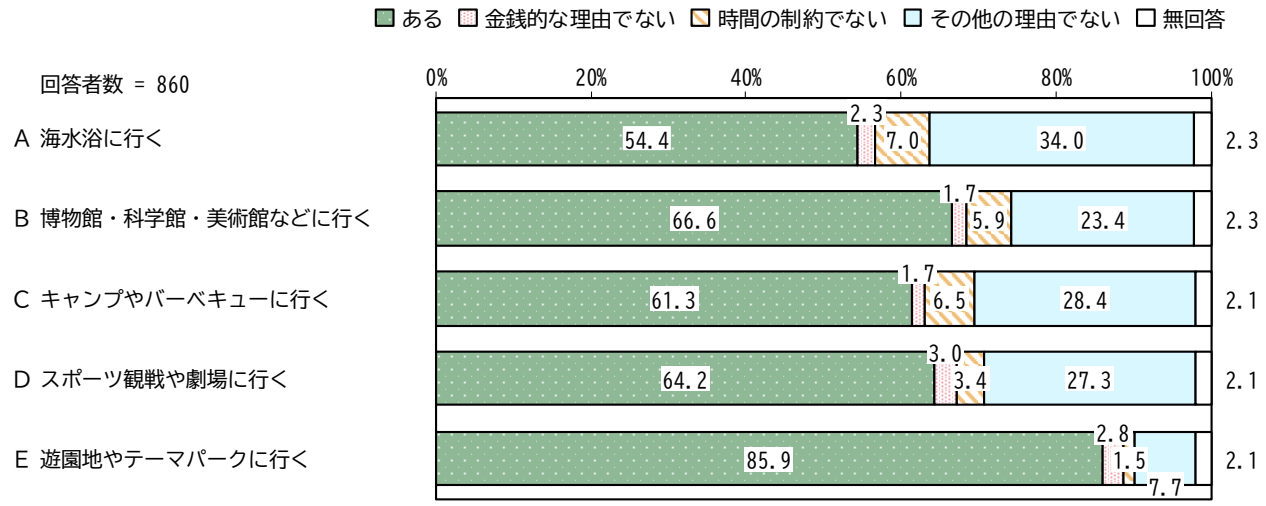
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「めったにない」の割合が高くなっています。



問 28　過去２～３年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

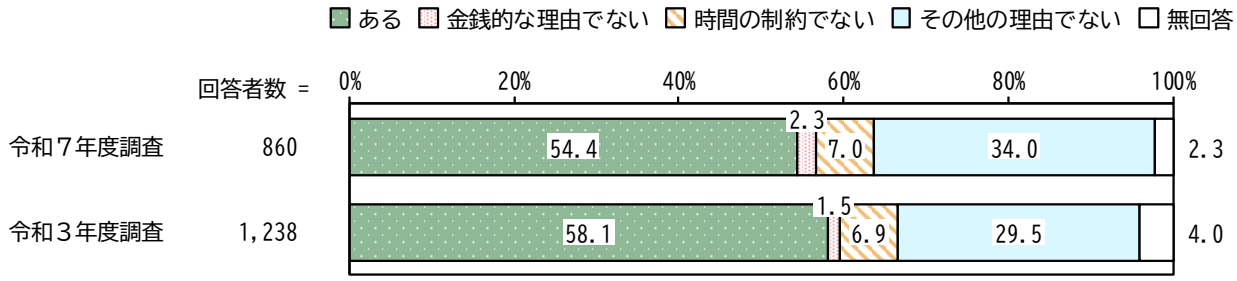
『E　遊園地やテーマパークに行く』で「ある」が、『D　スポーツ観戦や劇場に行く』で「金銭的な理由でない」が、『A　海水浴に行く』で「時間の制約でない」「その他の理由でない」が高くなっています。



A　海水浴に行く

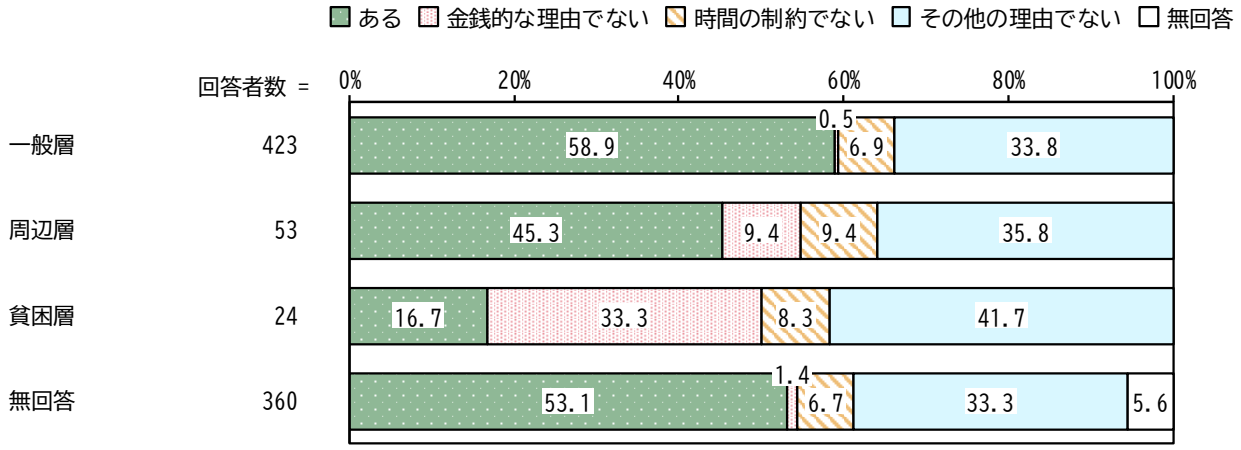
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

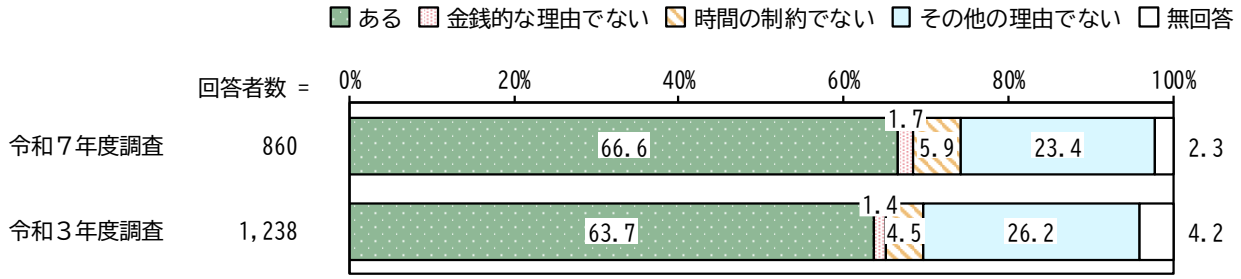
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「金銭的な理由でない」「その他の理由でない」の割合が高く、「ある」の割合が低くなっています。



B　博物館・科学館・美術館などに行く

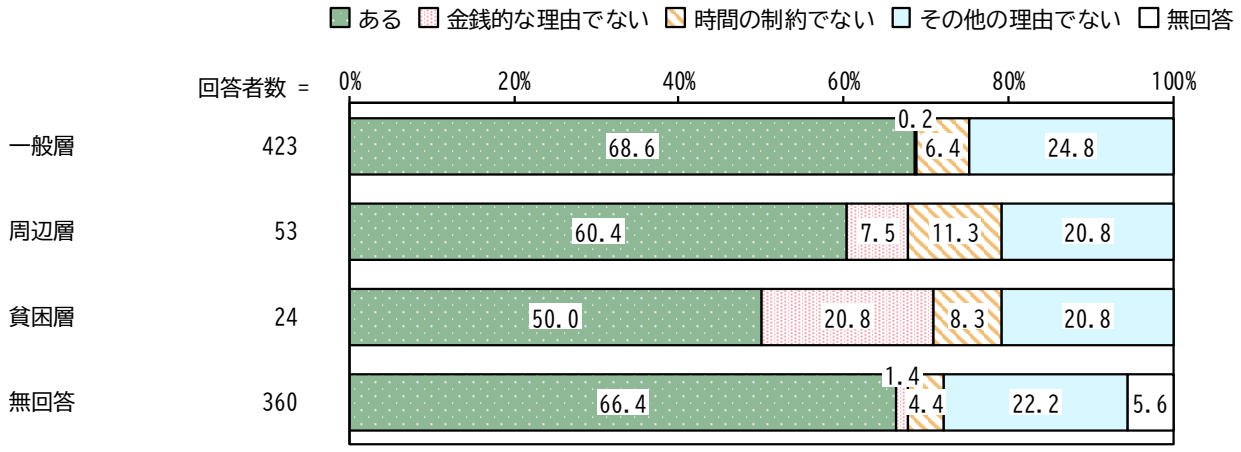
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

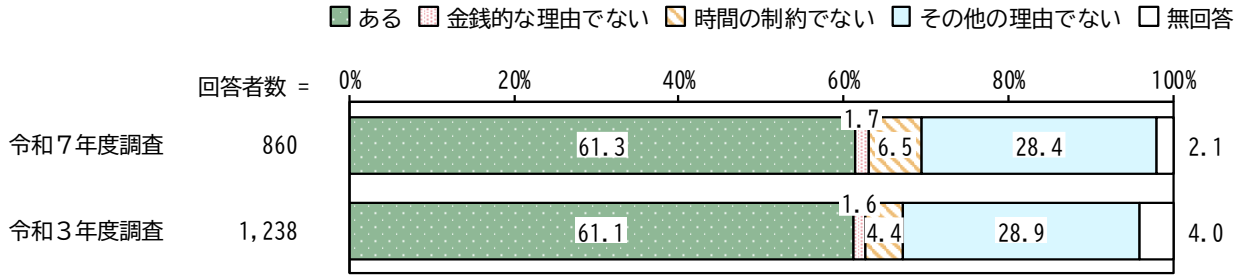
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「金銭的な理由でない」の割合が高く、「ある」の割合が低くなっています。



C　キャンプやバーベキューに行く

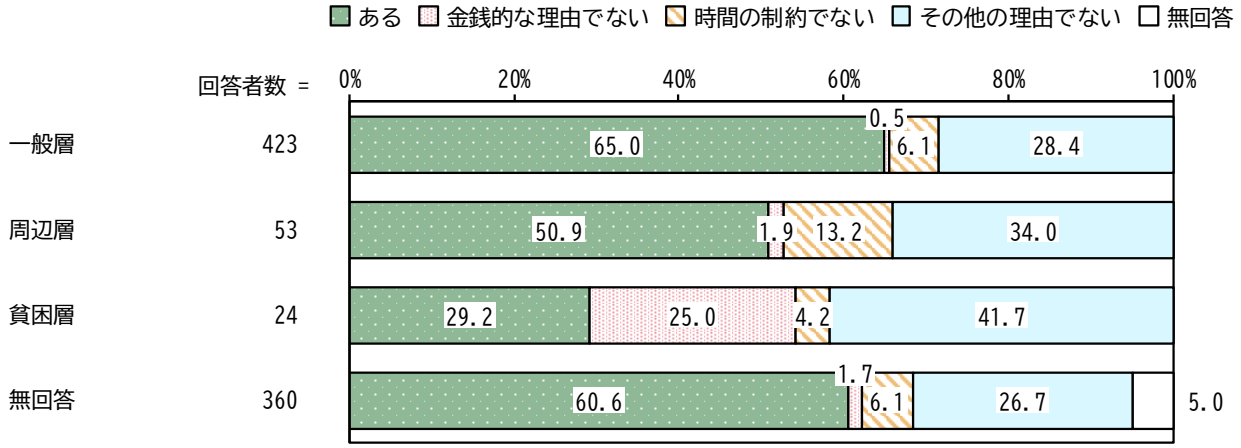
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

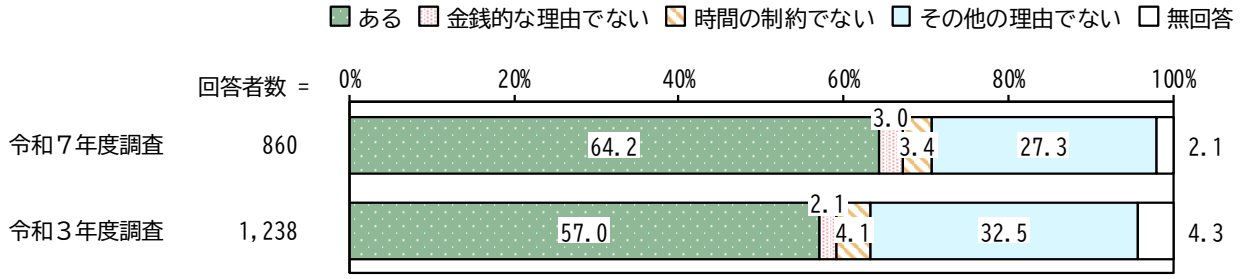
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「金銭的な理由でない」「その他の理由でない」の割合が高く、「ある」の割合が低くなっています。



D　スポーツ観戦や劇場に行く

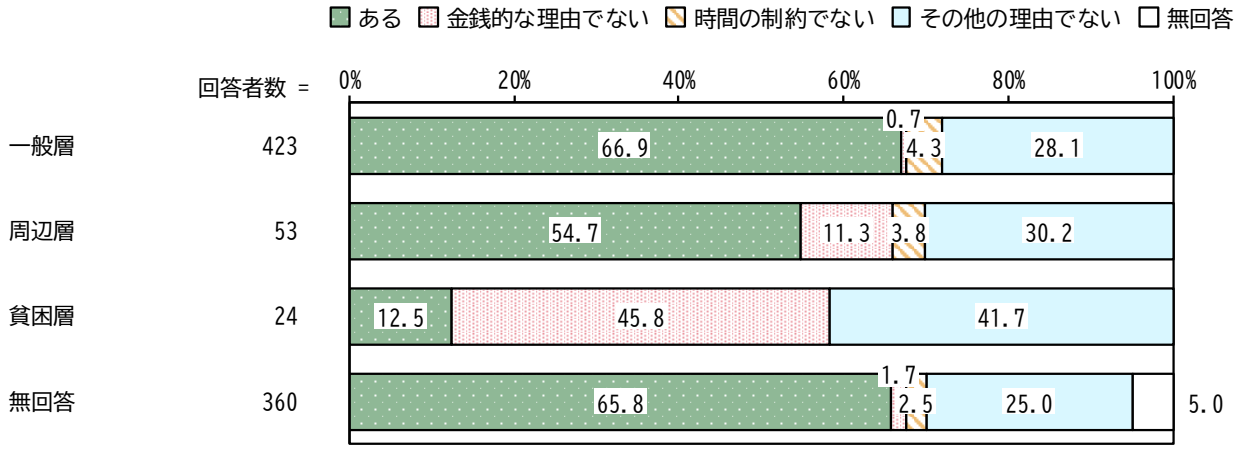
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。一方、「その他の理由でない」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

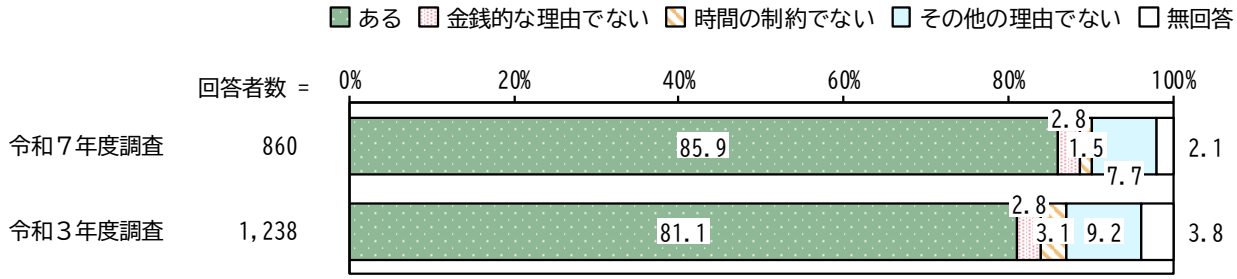
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「金銭的な理由でない」「その他の理由でない」の割合が高く、「ある」の割合が低くなっています。



E　遊園地やテーマパークに行く

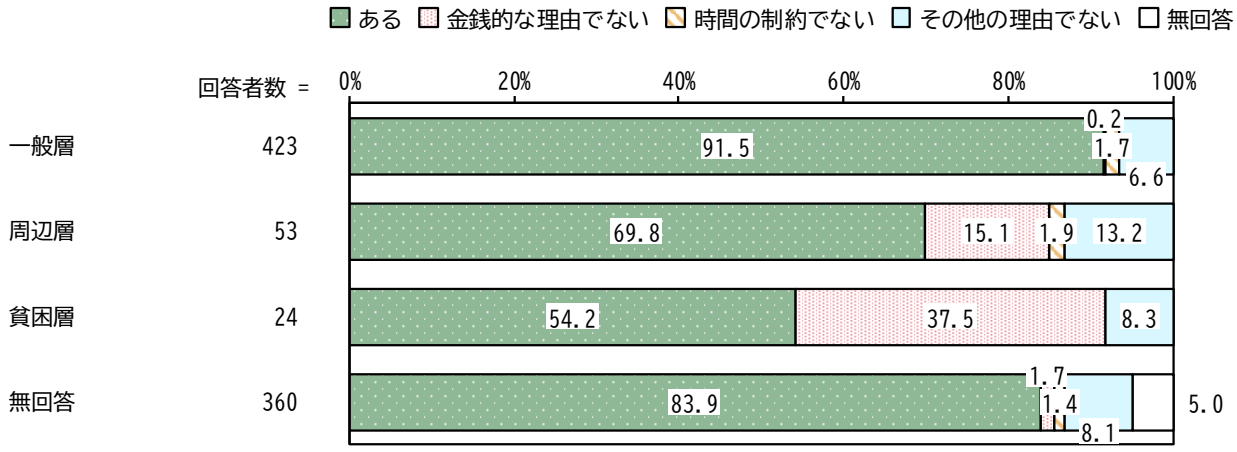
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

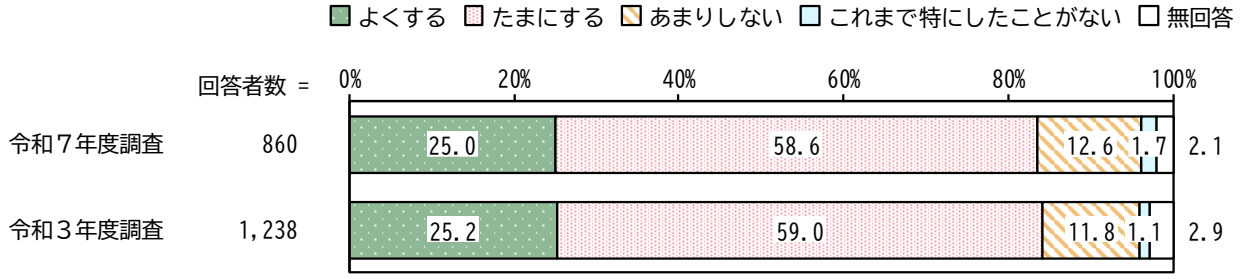
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「金銭的な理由でない」の割合が高く、「ある」の割合が低くなっています。



問 29　あなたは、お子さんの将来（夢・進路・職業等）について、お子さんと一緒に考えたり、話したりすることがありますか。（１つに○）

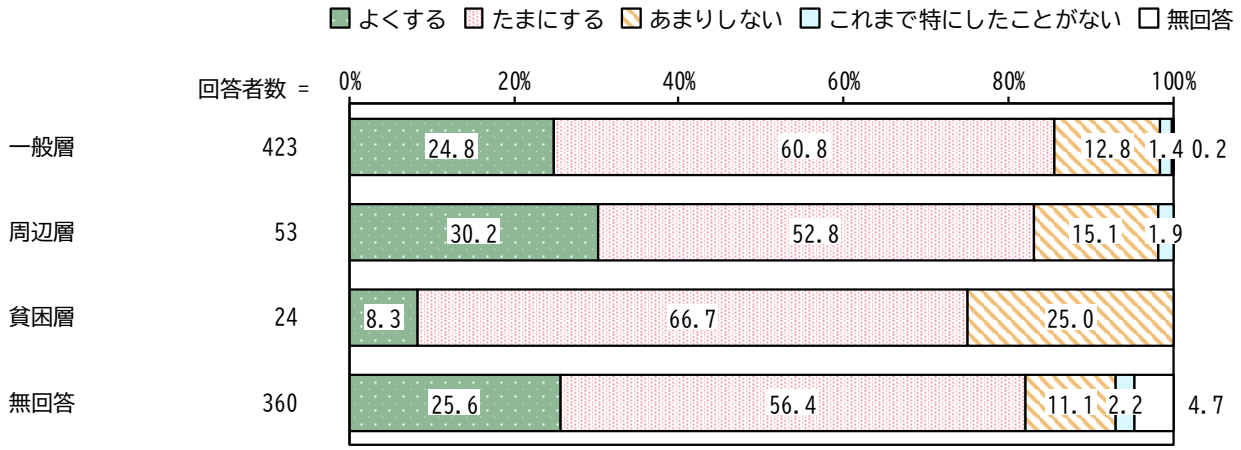
「たまにする」の割合が 58.6%と最も高く、次いで「よくする」の割合が 25.0%、「あまりしない」の割合が 12.6%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



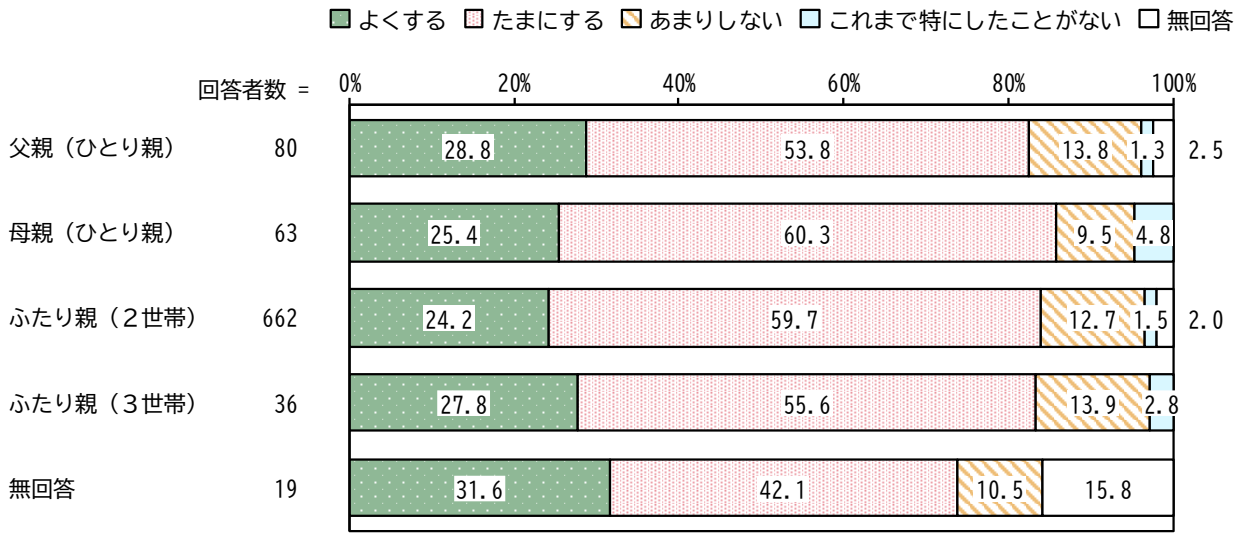
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「あまりしない」の割合が高くなっています。また、貧困層で「よくする」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

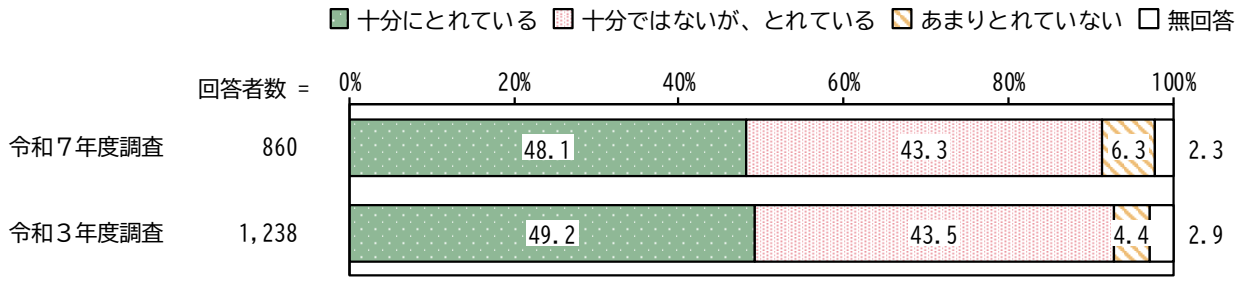
世帯分類別にみると、大きな差はみられません。



問 30　お子さんと一緒に過ごす時間がとれていますか。（１つに○）

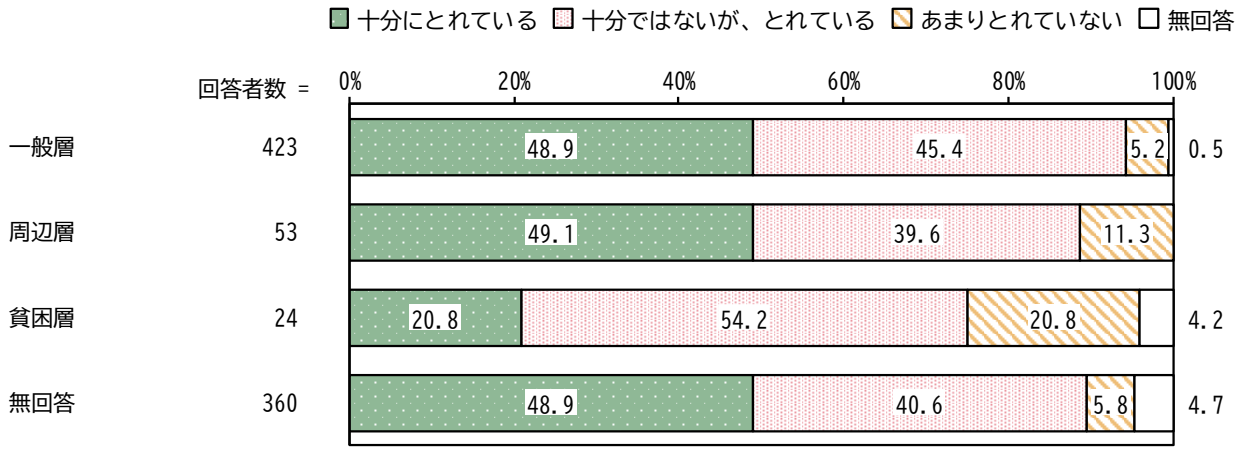
「十分にとれている」の割合が 48.1%、「十分ではないが、とれている」の割合が 43.3%、「あまりとれていない」の割合が 6.3%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



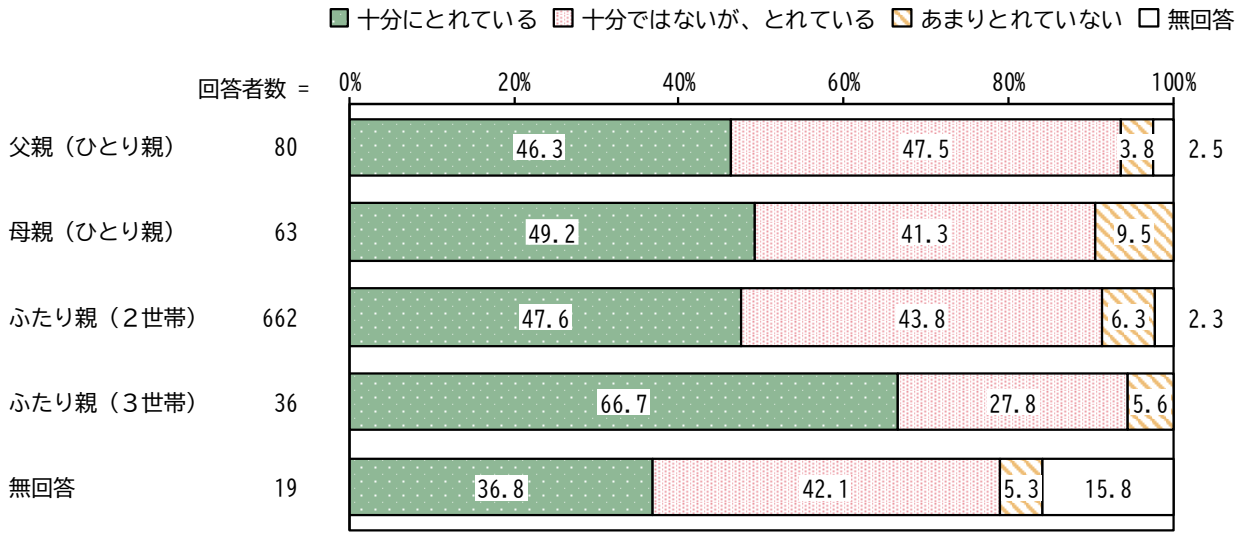
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「あまりとれていない」の割合が高くなっています。また、貧困層で「十分ではないが、とれている」の割合が高く、「十分にとれている」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「十分にとれている」の割合が高く、「十分ではないが、とれている」の割合が低くなっています。

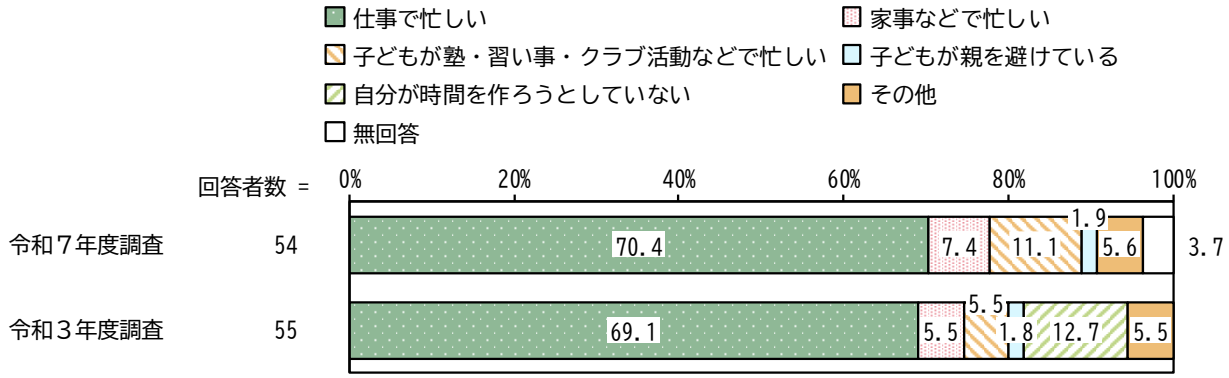


問 30 で「あまりとれていない」を選んだ方にお聞きします。

問 30－１　その主な理由は何ですか。（１つに○）

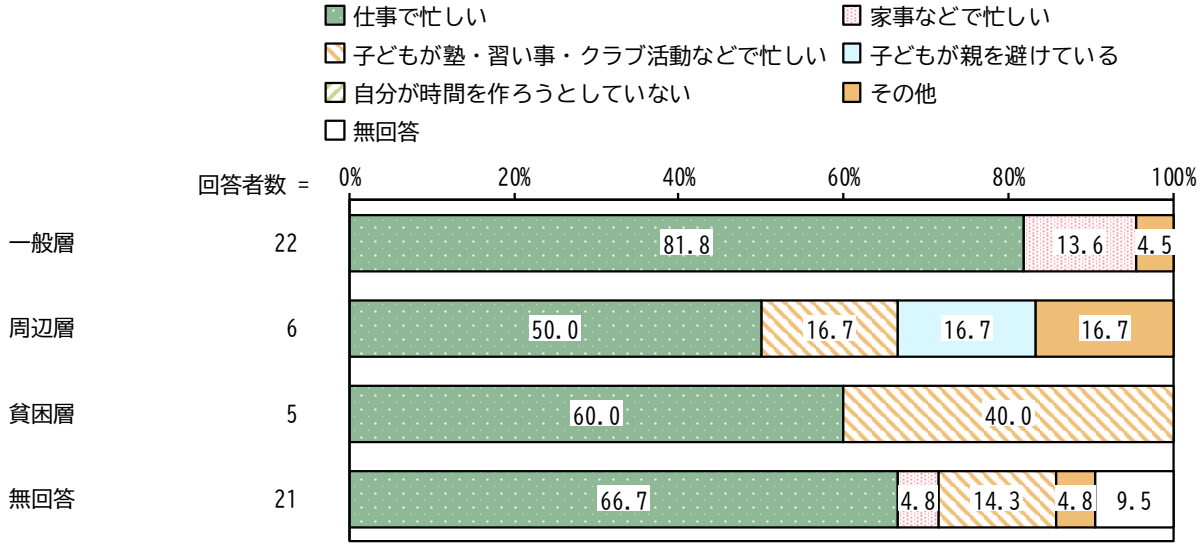
「仕事で忙しい」の割合が 70.4%と最も高く、次いで「子どもが塾・習い事・クラブ活動などで忙しい」の割合が 11.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「子どもが塾・習い事・クラブ活動などで忙しい」の割合が増加しています。一方、「自分が時間を作ろうとしていない」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

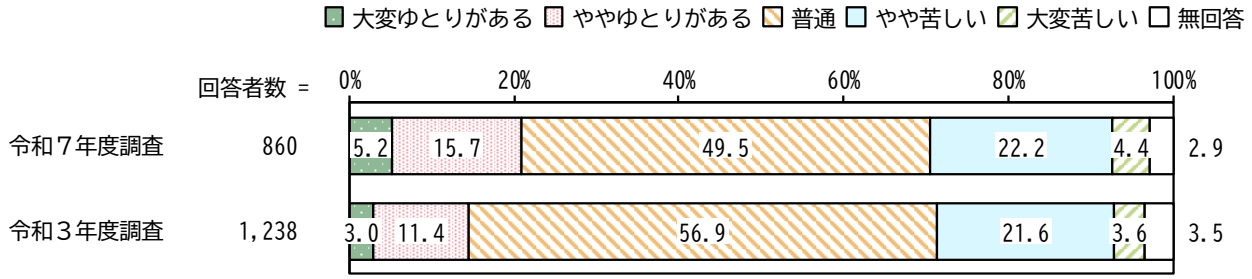
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「子どもが塾・習い事・クラブ活動などで忙しい」の割合が高く、貧困層から周辺層まで困難度が大きいほど「仕事で忙しい」の割合が高く、「子どもが親を避けている」の割合が低くなっています。



問 31　あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（１つに○）

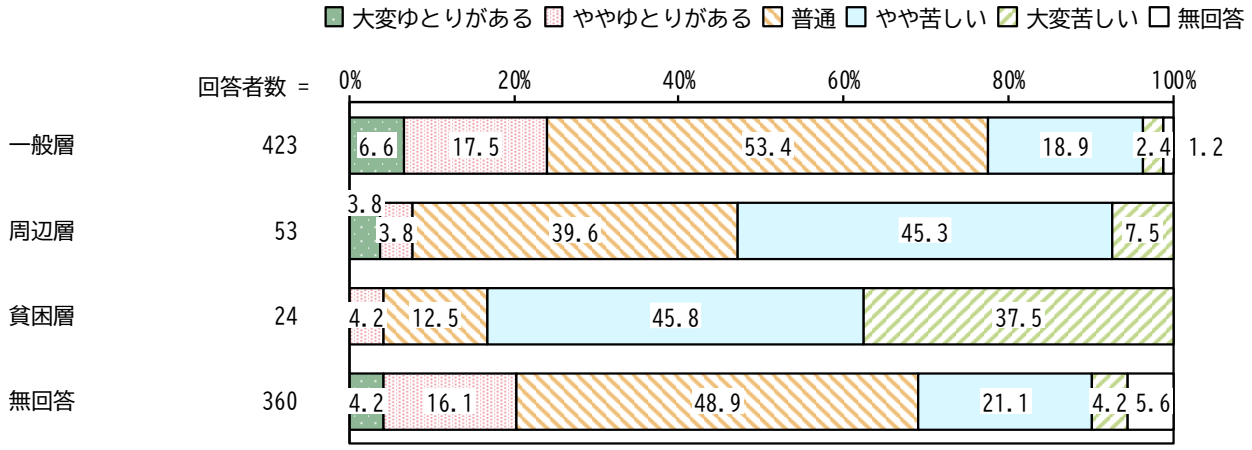
「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合が 20.9%、「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が 26.6%となっています。

令和３年度調査と比較すると、“ゆとりがある”の割合が増加しています。



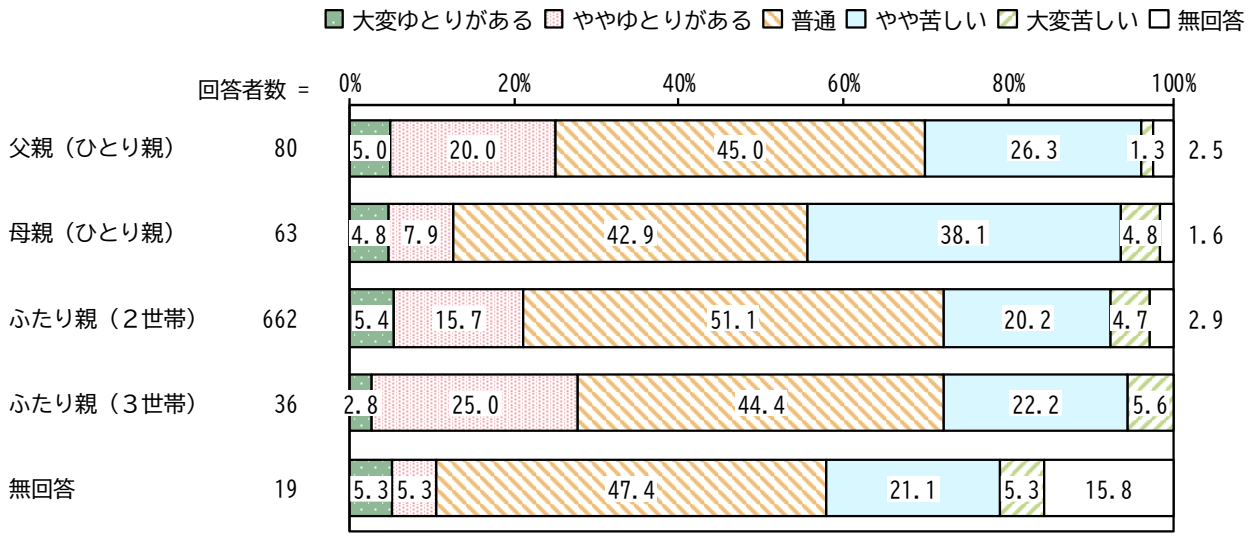
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど“苦しい”の割合が高くなっています。また、周辺層、貧困層で「やや苦しい」の割合が高く、「ややゆとりがある」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

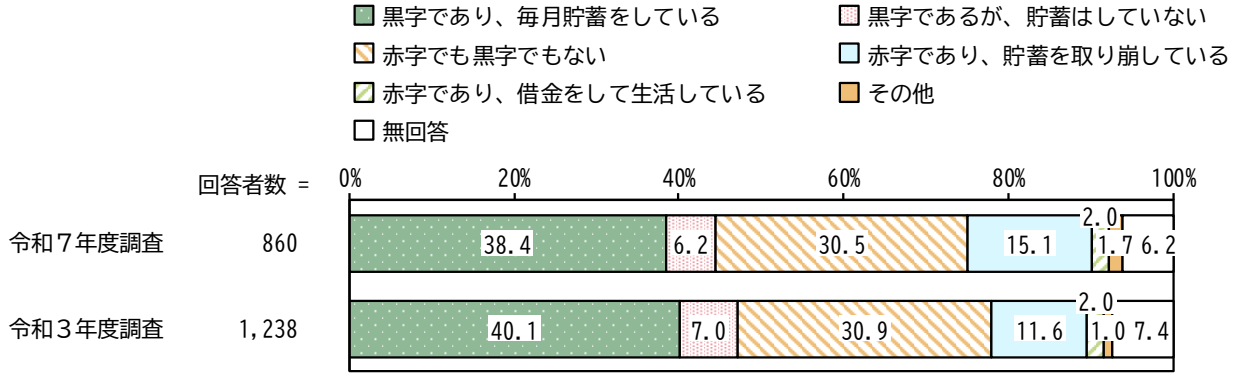
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で“苦しい”の割合が高くなっています。



問 32　あなたのご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。（１つに○）

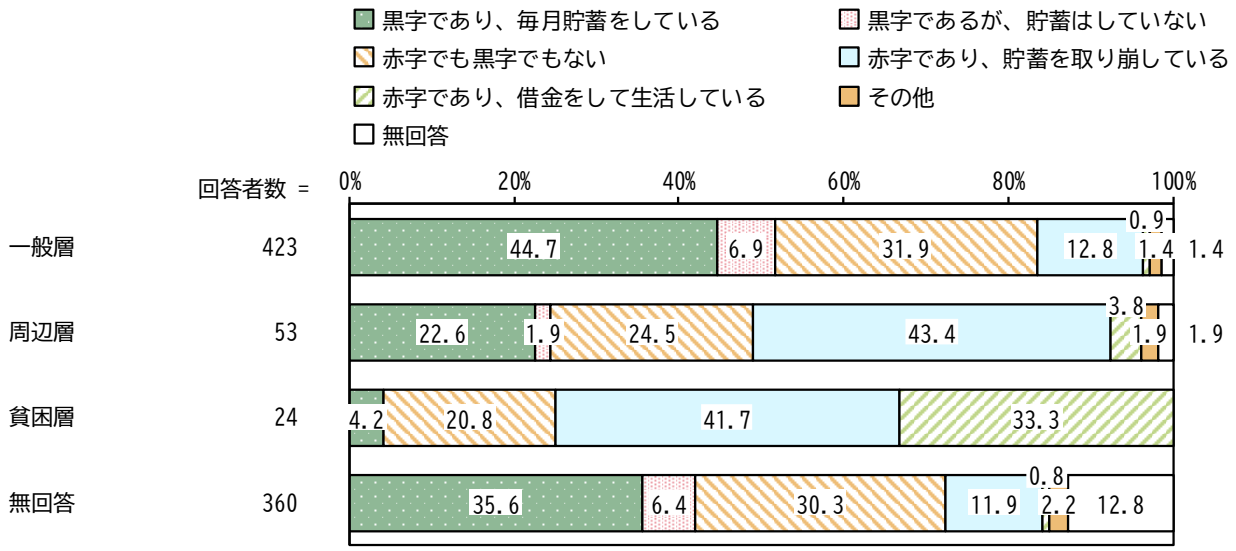
「黒字であり、毎月貯蓄をしている」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「赤字でも黒字でもない」の割合が 30.5%、「赤字であり、貯蓄を取り崩している」の割合が 15.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



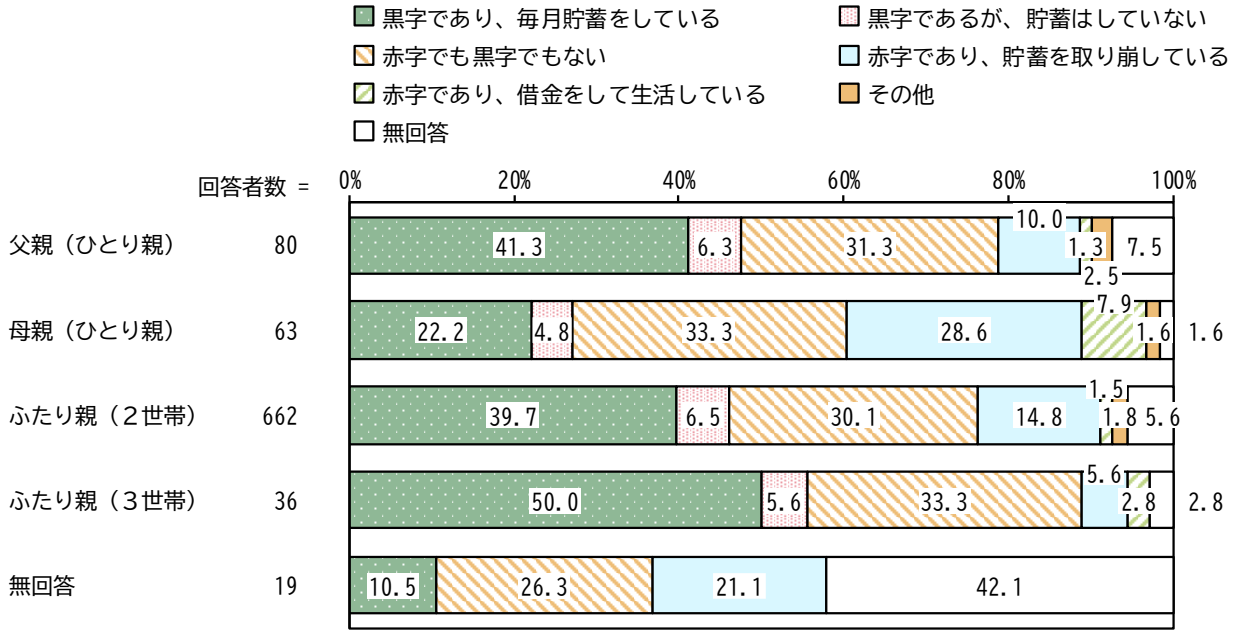
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「黒字であり、毎月貯蓄をしている」「赤字でも黒字でもない」の割合が高く、「赤字であり、借金をして生活している」の割合が低くなっています。また、周辺層、貧困層で「赤字であり、貯蓄を取り崩している」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「黒字であり、毎月貯蓄をしている」、母親（ひとり親）で「赤字であり、貯蓄を取り崩している」「赤字であり、借金をして生活している」の割合が高くなっています。

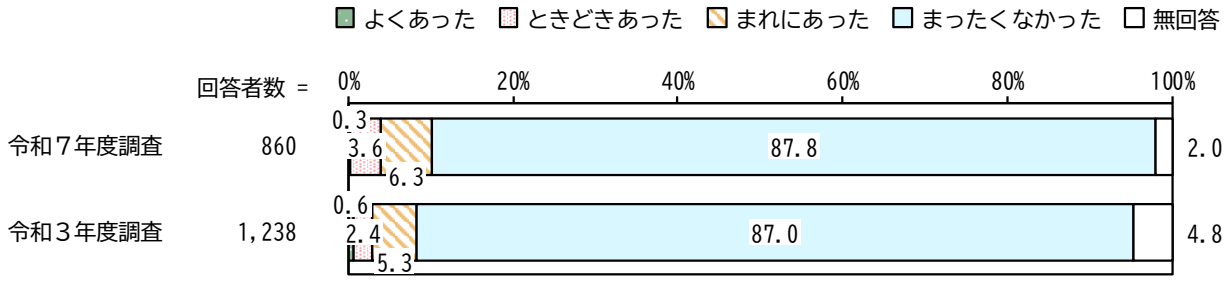


問 33　あなたのご家庭では、過去１年の間に、お金が足りなくて、次のものを買えないことがありましたか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

A　食料

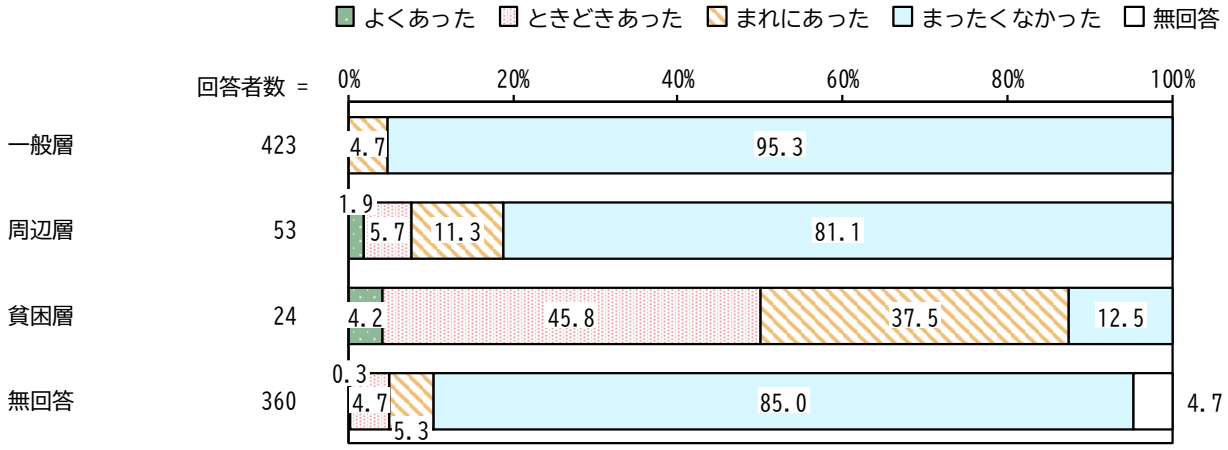
「まったくなかった」の割合が 87.8%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

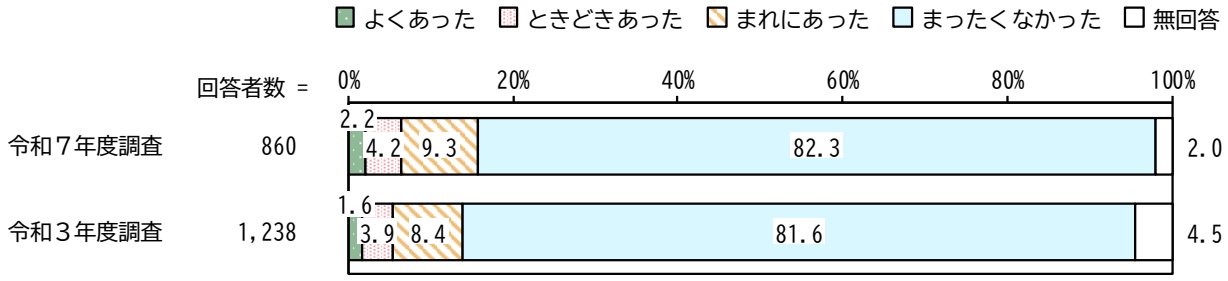
生活困難度別にみると、貧困層で「ときどきあった」「まれにあった」の割合が高くなっています。



B　衣料

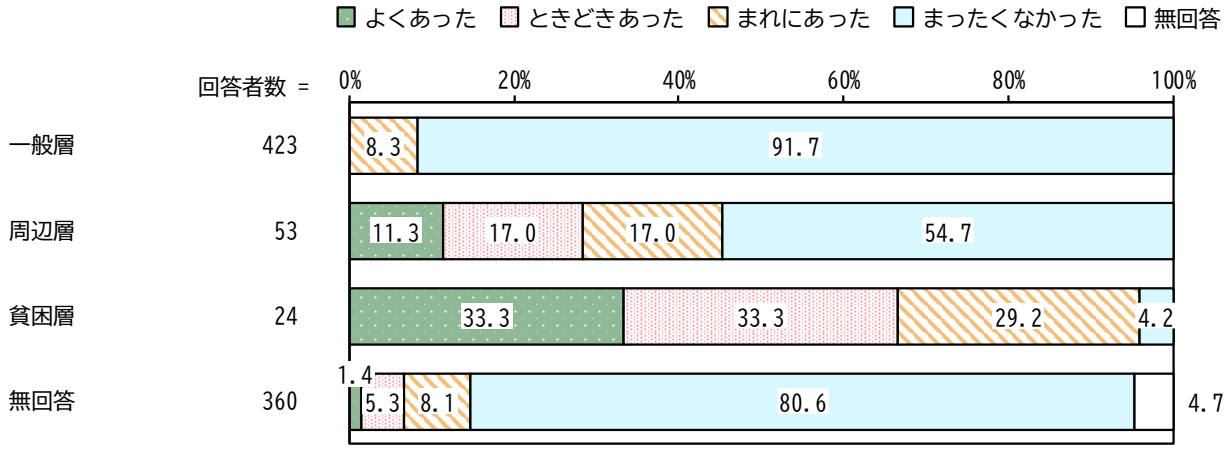
「まったくなかった」の割合が 82.3%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



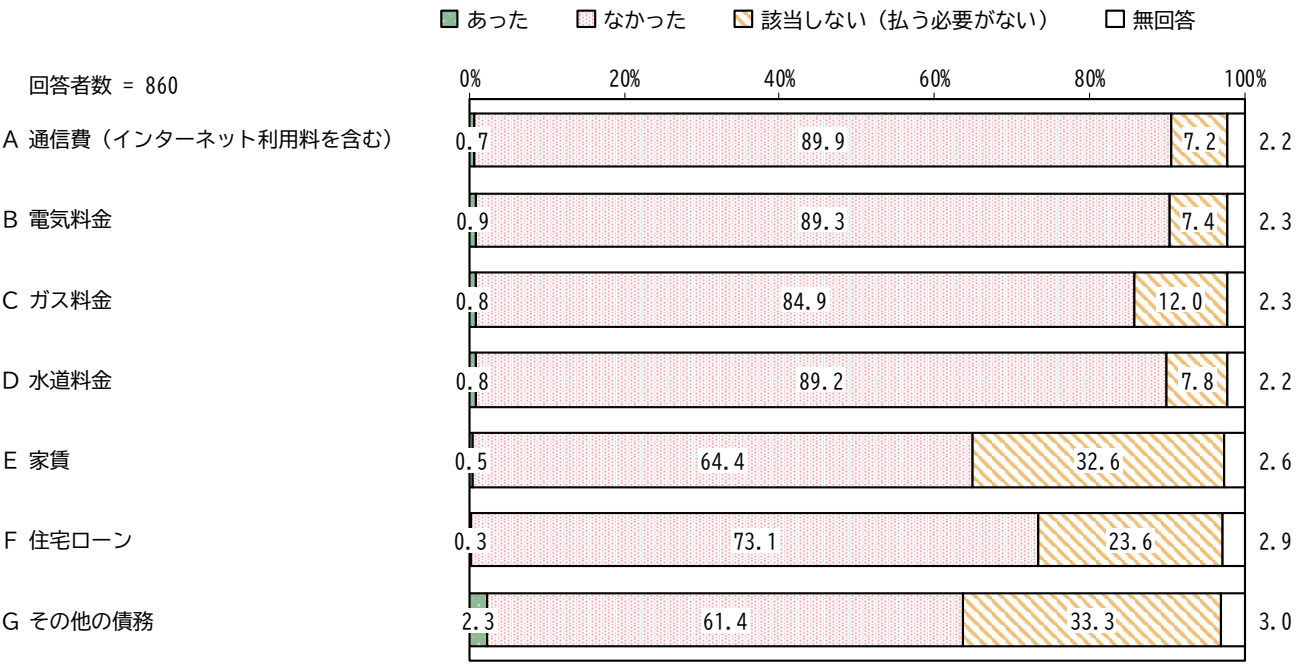
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の割合が高く、「まったくなかった」の割合が低くなっています。



問 34　あなたのご家庭では、過去１年の間に、経済的な理由で、以下のＡ～Ｇの料金について、支払えないことがありましたか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

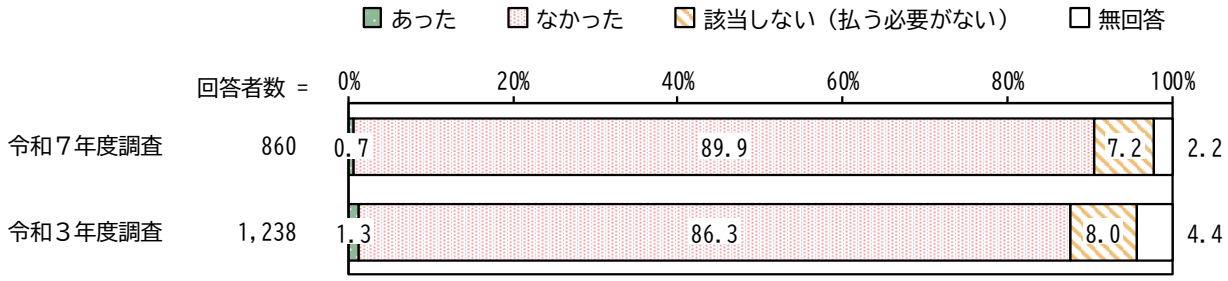
『Ｇ　その他の債務』で「あった」「該当しない（払う必要がない）」が、『Ａ　通信費（インターネット利用料を含む）』で「なかった」が高くなっています。



A　通信費（インターネット利用料を含む）

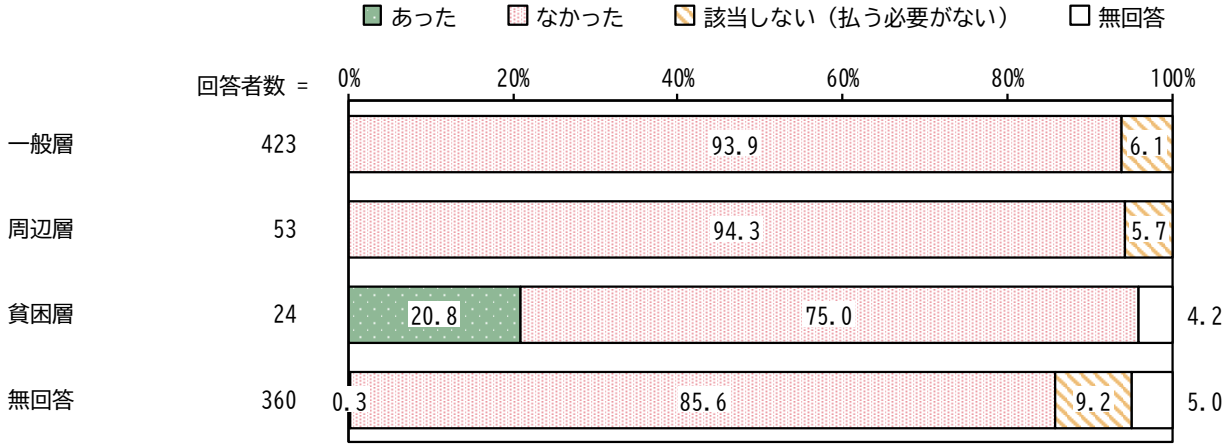
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

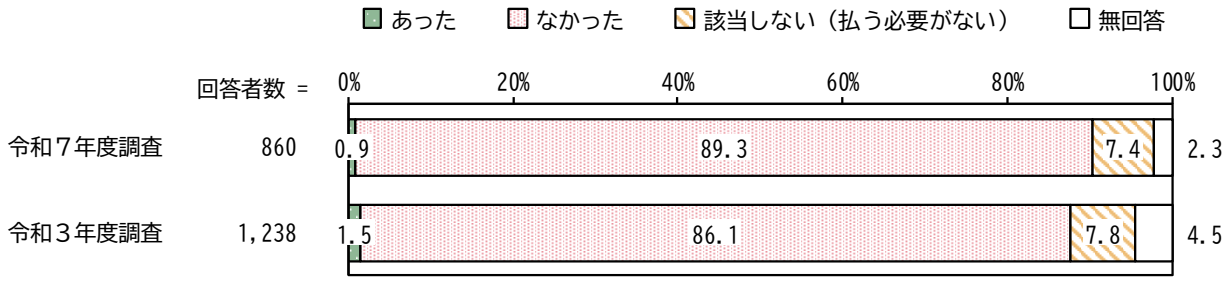
生活困難度別にみると、貧困層で「あった」の割合が高くなっています。



B　電気料金

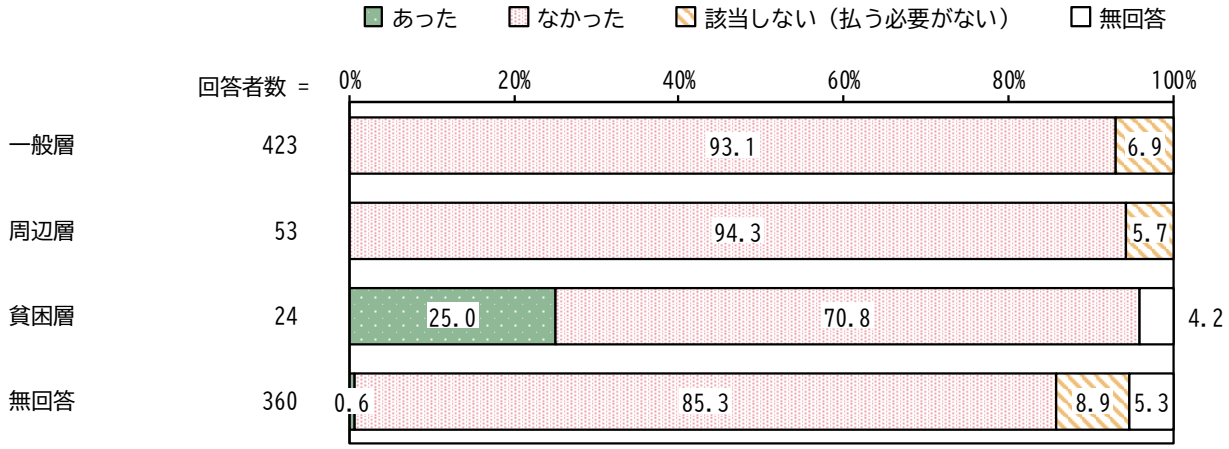
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

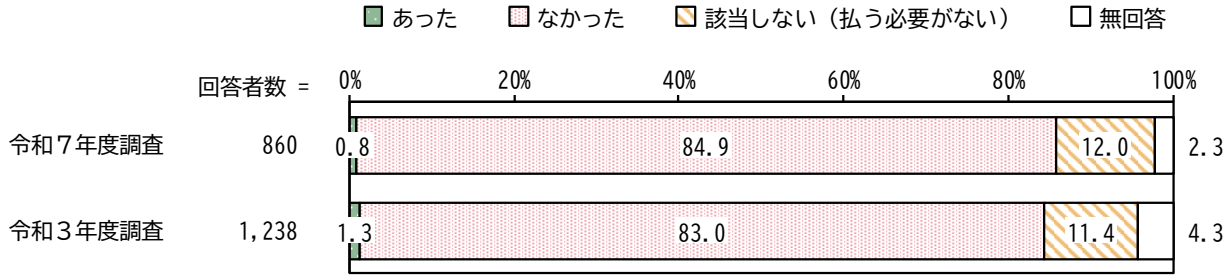
生活困難度別にみると、貧困層で「あった」の割合が高くなっています。



C　ガス料金

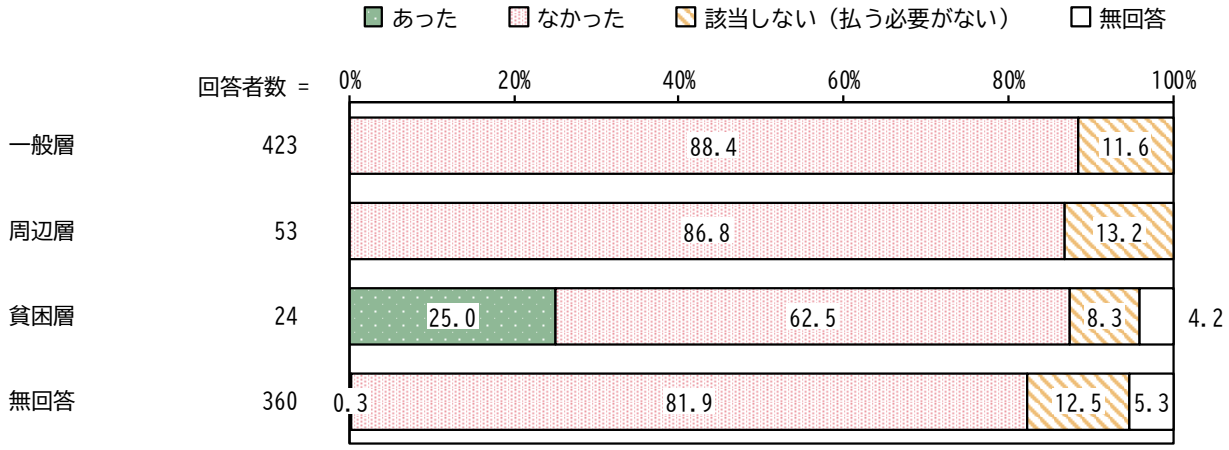
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

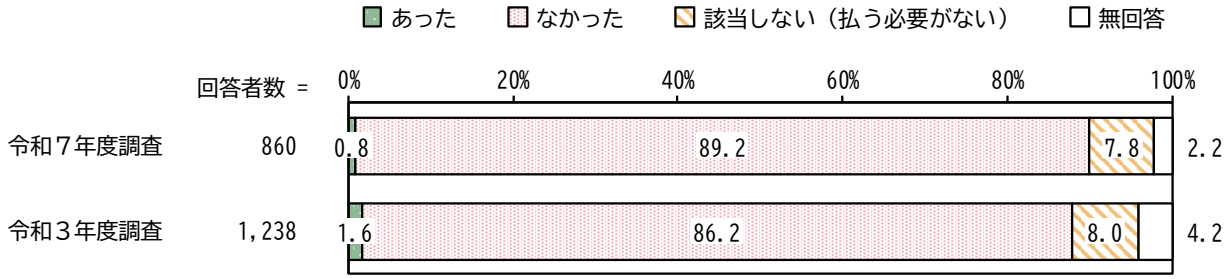
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「なかった」の割合が高くなっています。



D　水道料金

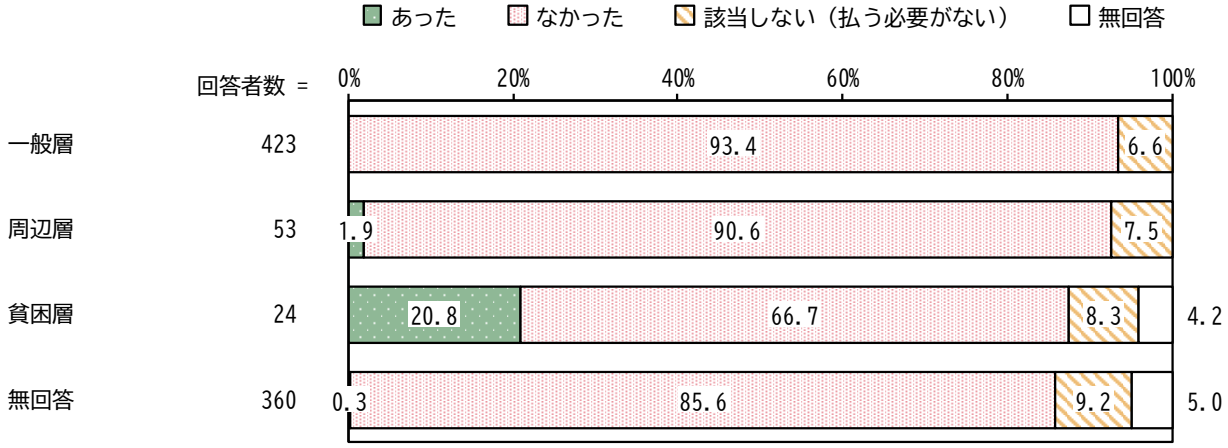
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

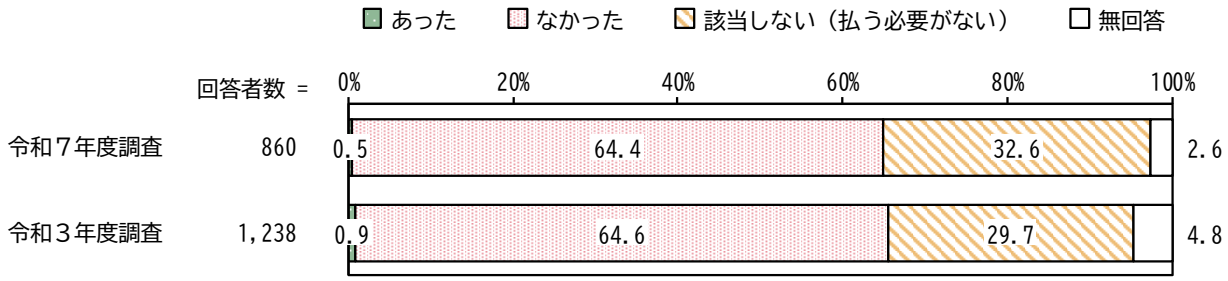
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「あった」の割合が高くなっています。



E　家賃

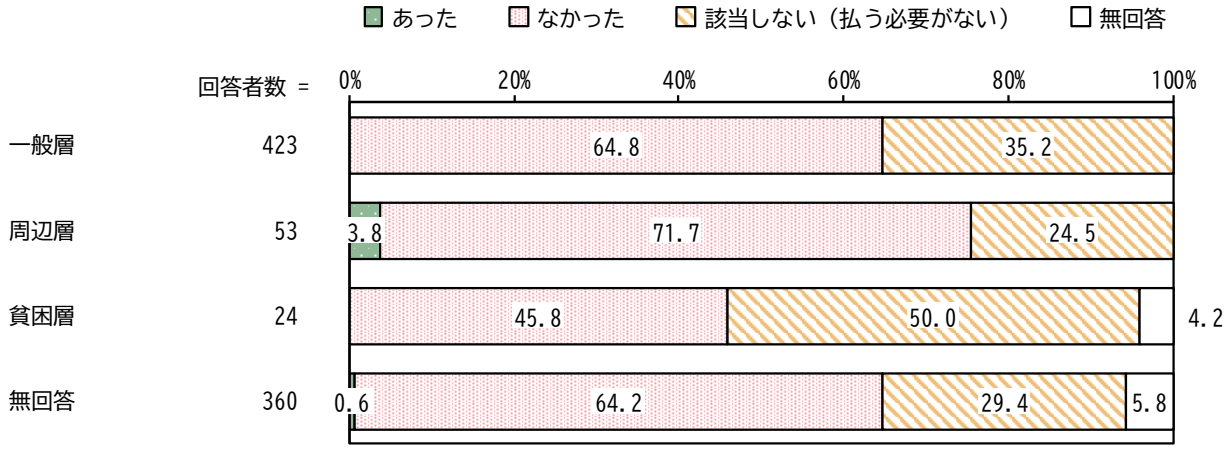
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

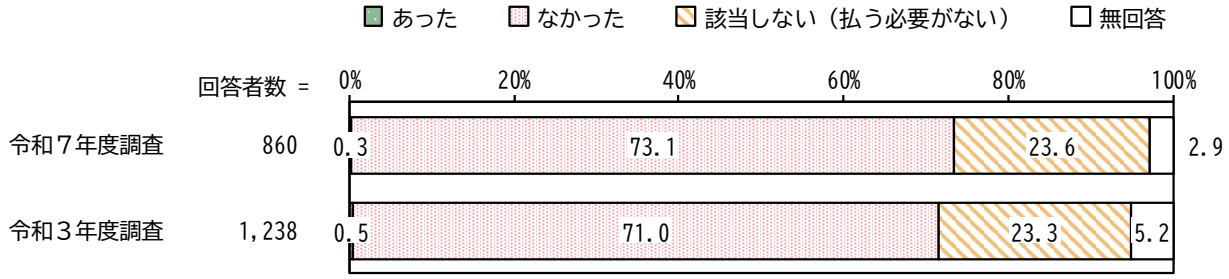
生活困難度別にみると、貧困層で「なかった」の割合が低くなっています。



F　住宅ローン

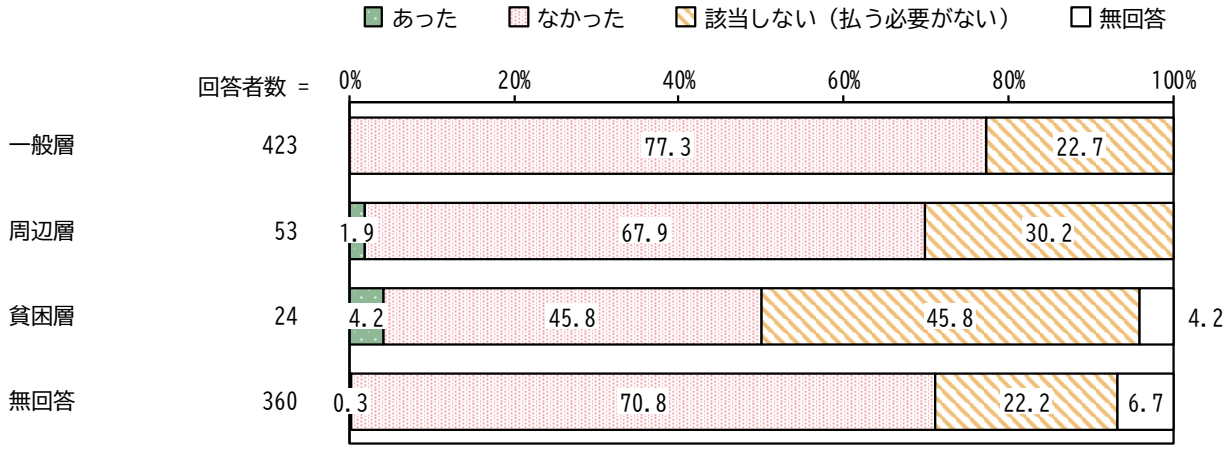
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

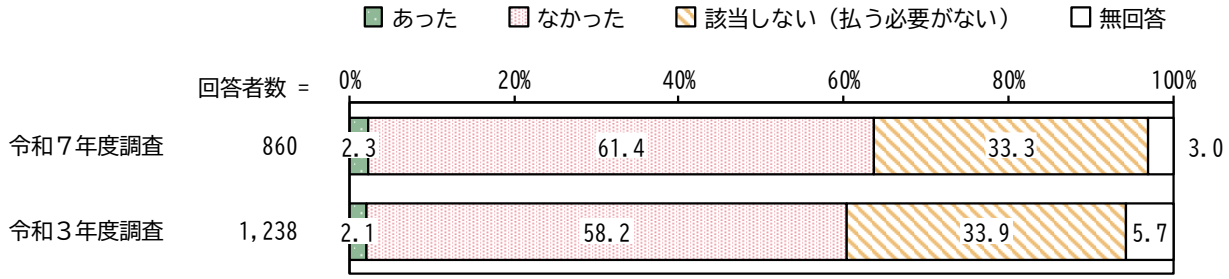
生活困難度別にみると、貧困層で「なかった」の割合が低くなっています。



G　その他の債務

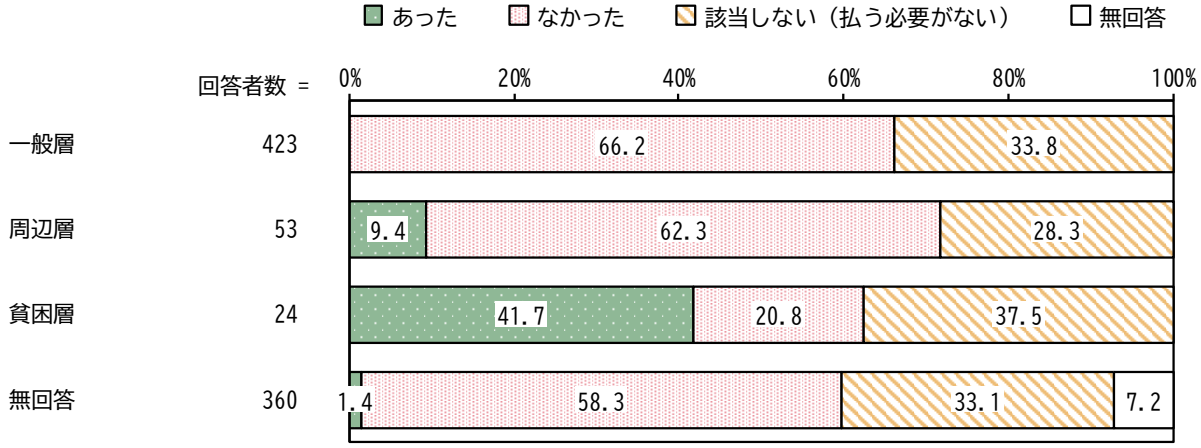
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



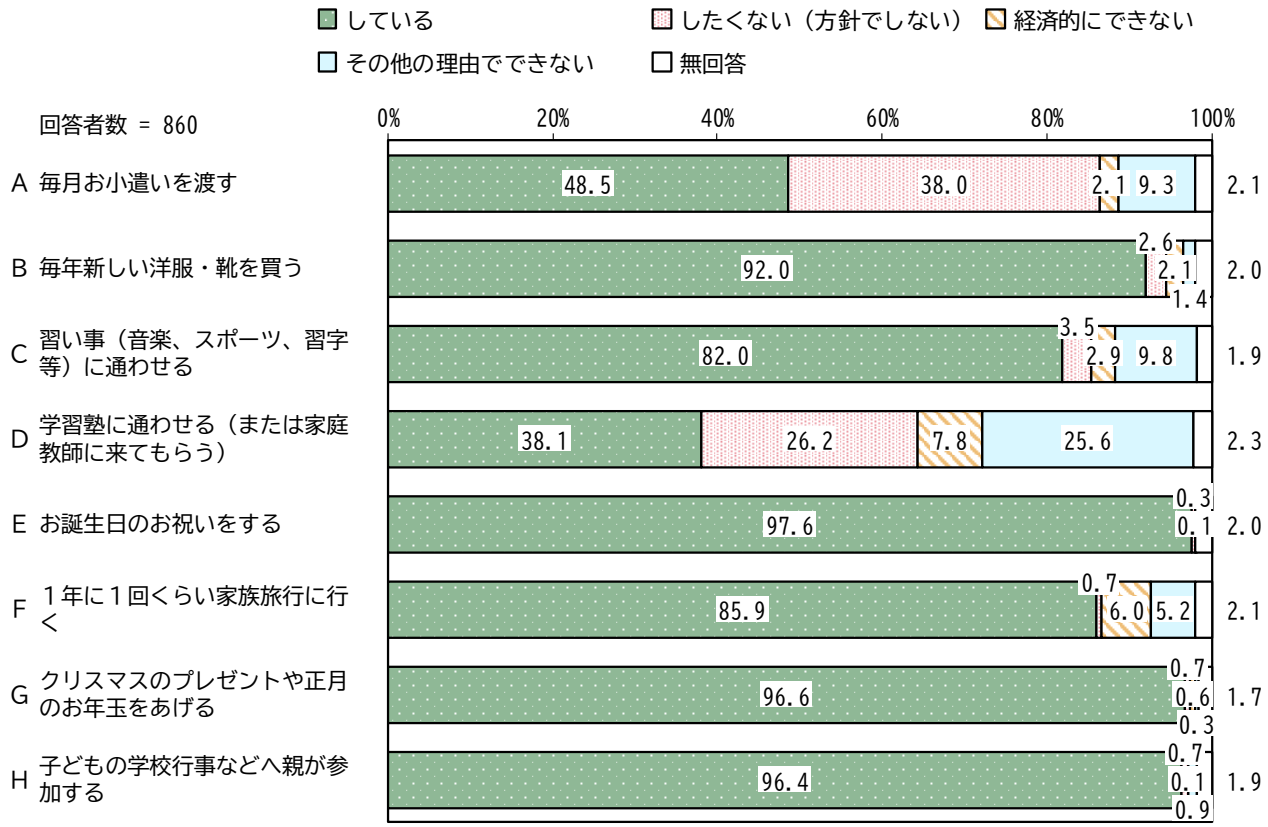
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「あった」の割合が高くなっています。



問 35　あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「している」「していない、したくない（方針でしない）」「していない、経済的にできない」「していない　その他の理由でできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

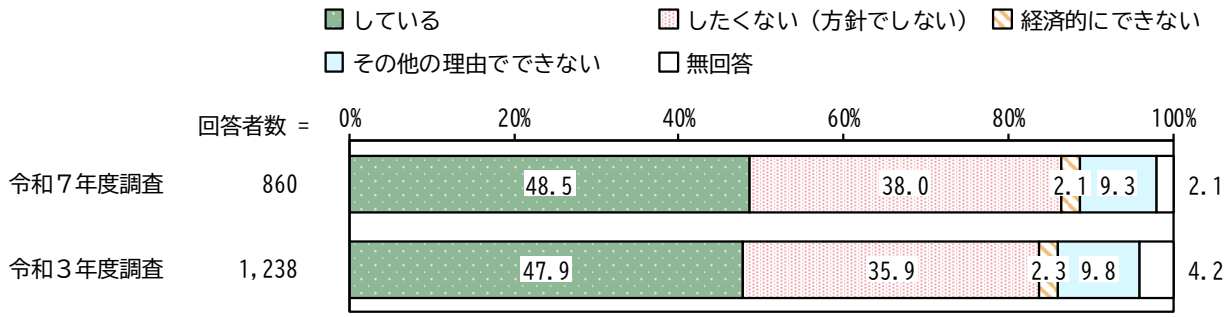
『E　お誕生日のお祝いをする』で「している」が、『A　毎月お小遣いを渡す』で「したくない（方針でしない）」が、『D　学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）』で「経済的にできない」「その他の理由でできない」が高くなっています。



A　毎月お小遣いを渡す

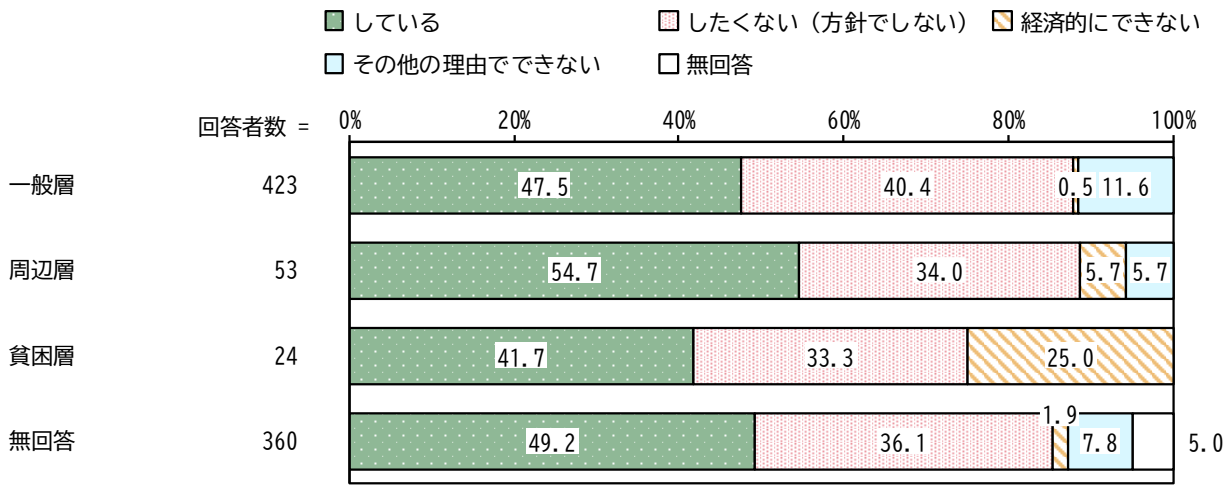
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

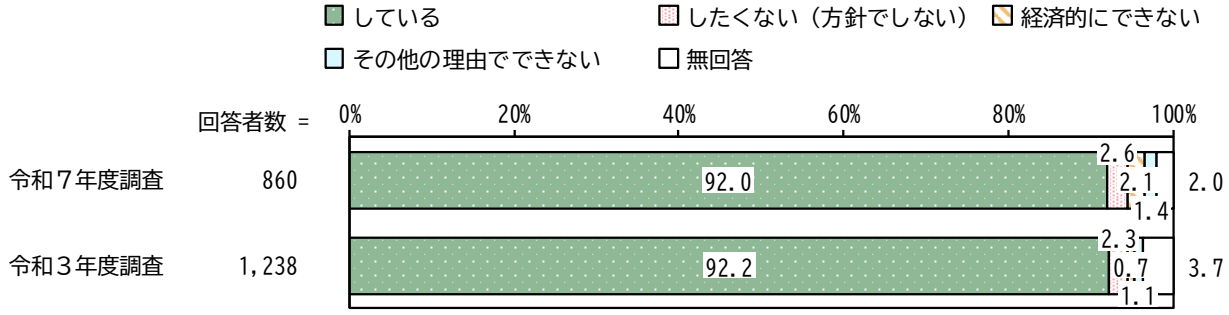
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「経済的にできない」の割合が高く、「したくない（方針でしない）」の割合が低くなっています。



B　毎年新しい洋服・靴を買う

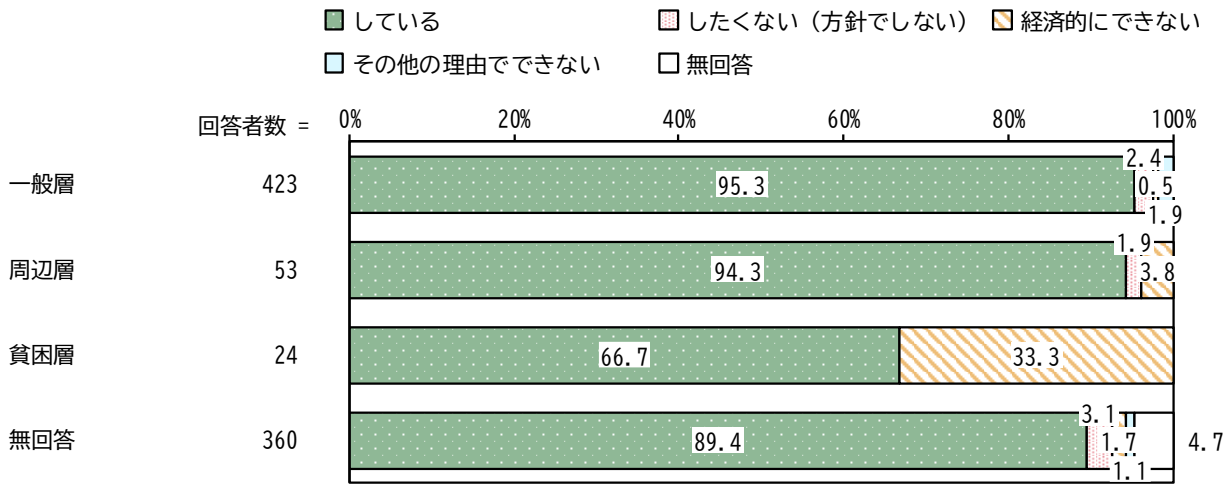
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

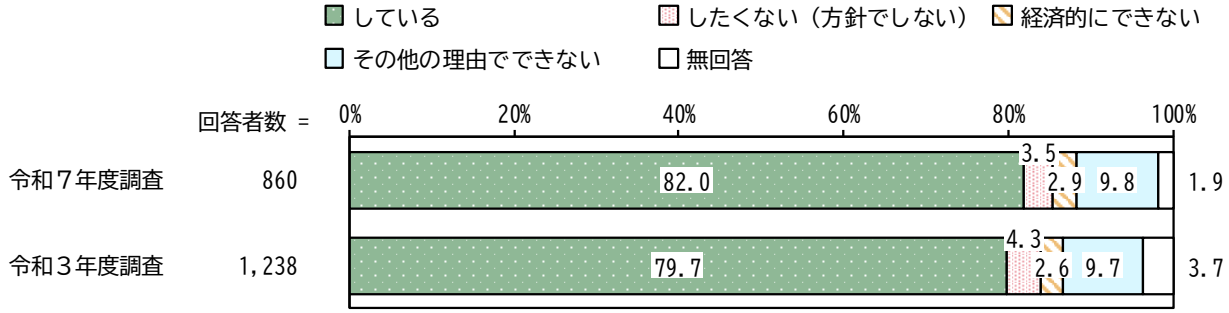
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「経済的にできない」の割合が高く、「している」の割合が低くなっています。



C　習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる

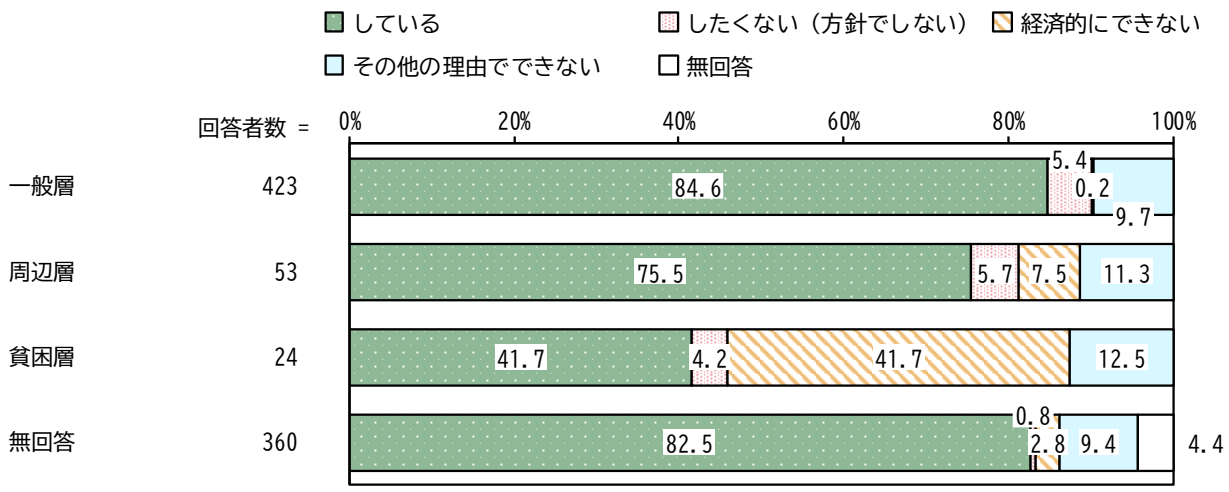
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

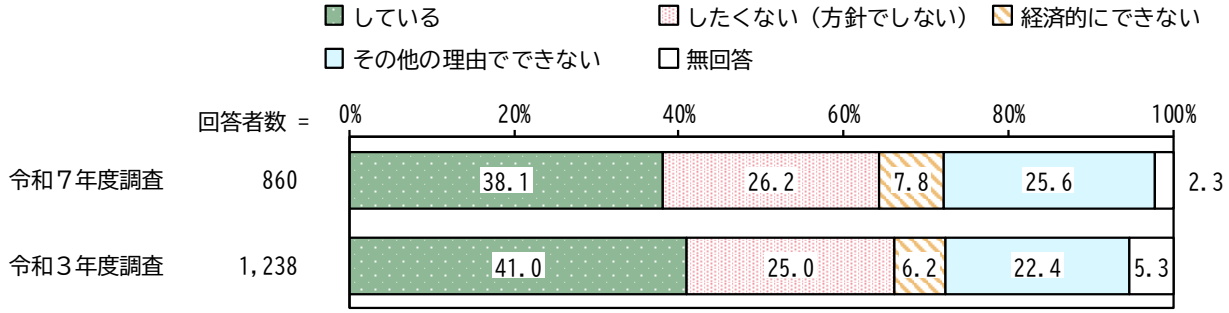
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「経済的にできない」の割合が高く、「している」の割合が低くなっています。



D　学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）

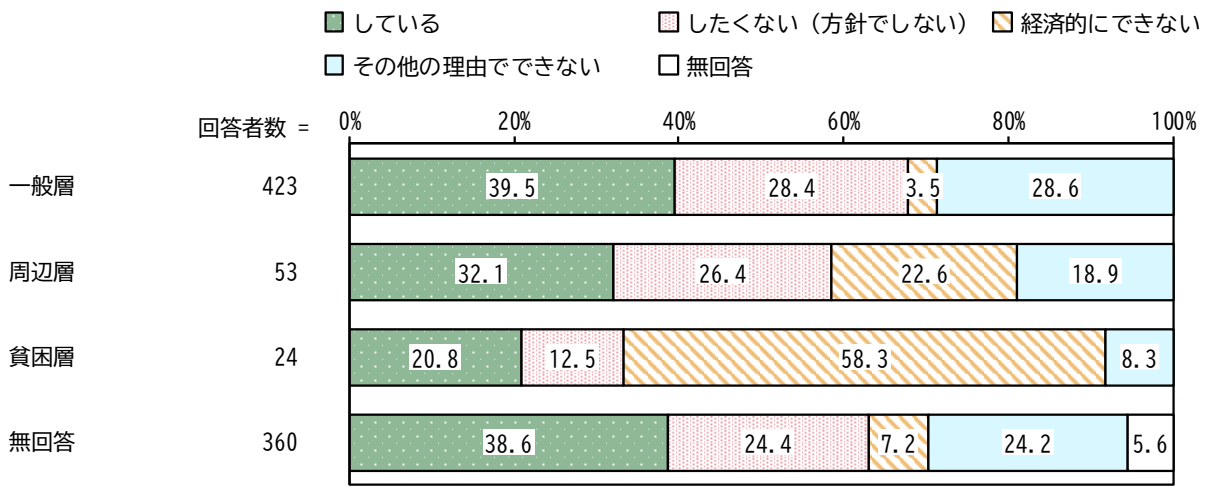
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

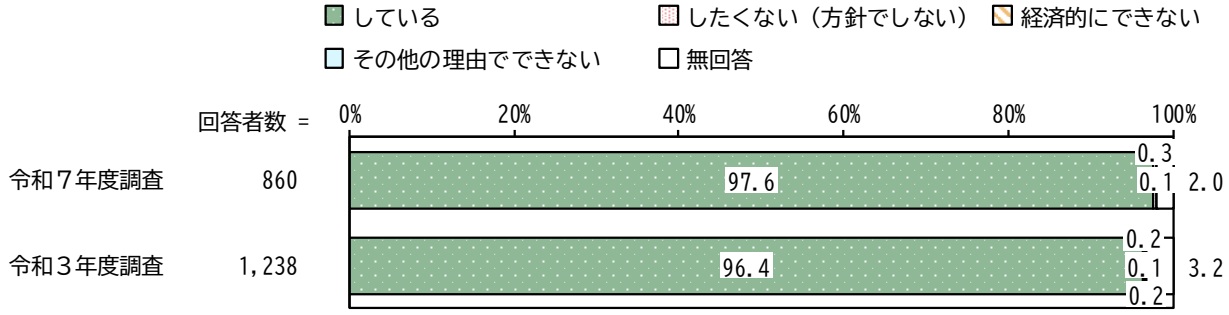
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「している」「したくない（方針でしない）」の割合が高く、「経済的にできない」の割合が低くなっています。



E　お誕生日のお祝いをする

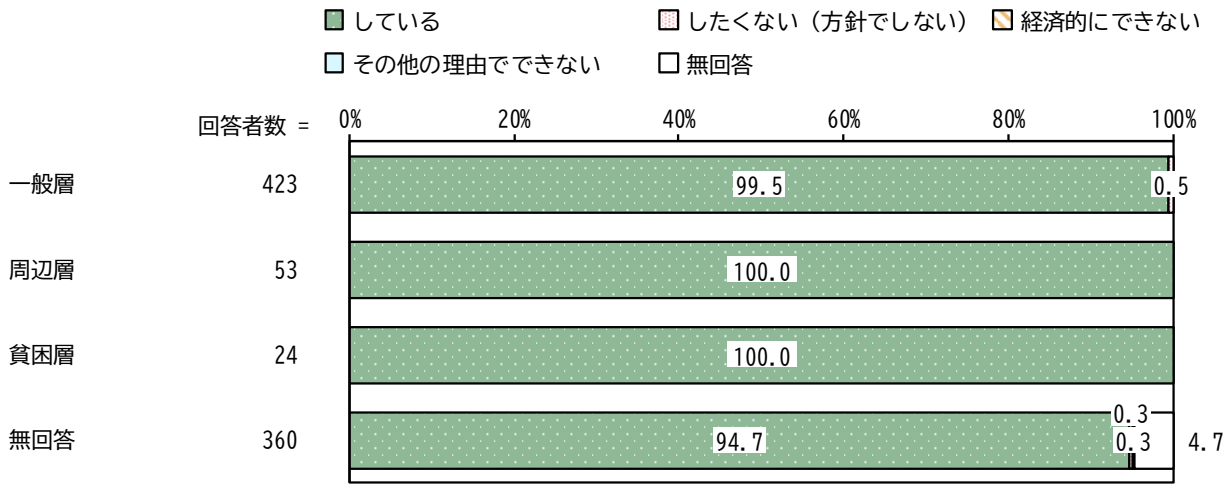
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

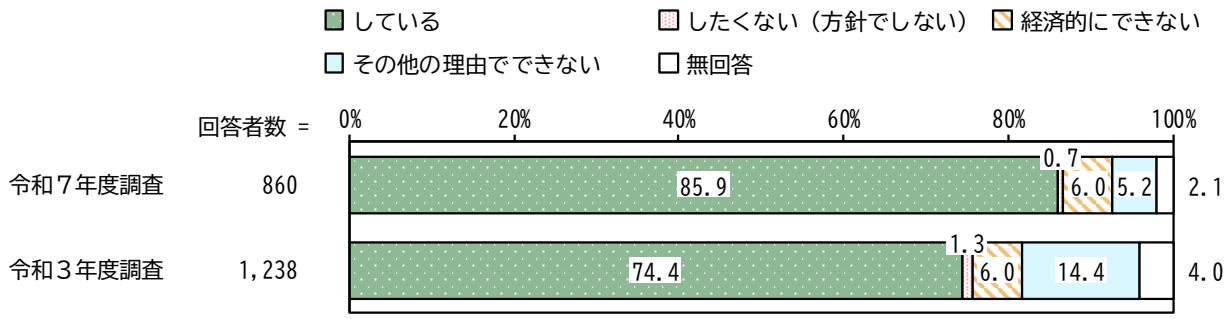
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



F　１年に１回くらい家族旅行に行く

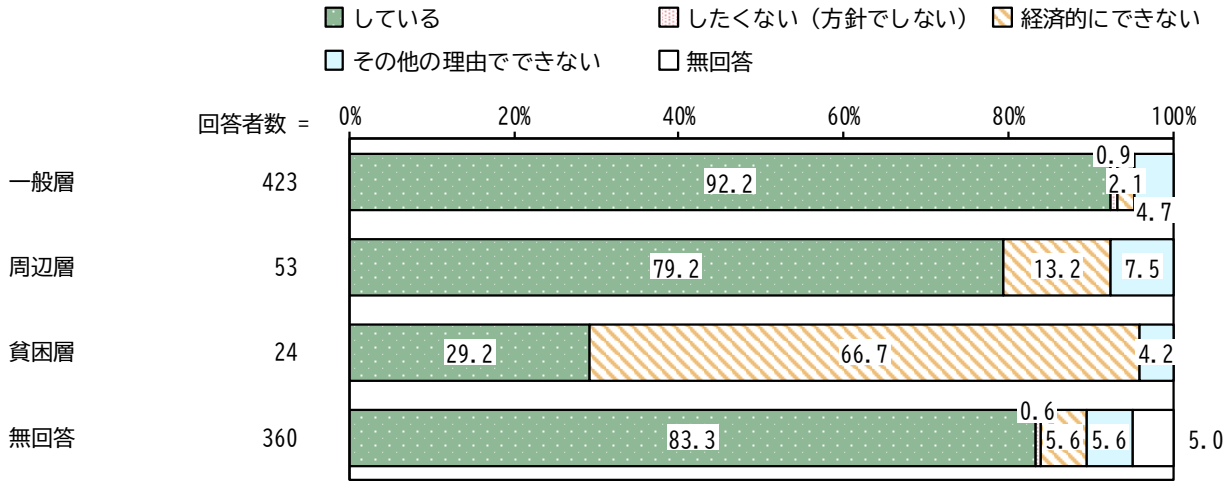
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「している」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

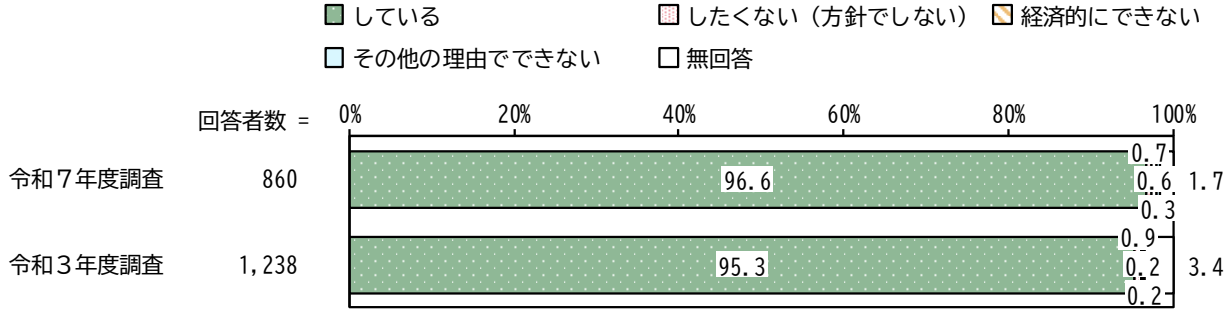
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「経済的にできない」の割合が高く、「している」の割合が低くなっています。



G　クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

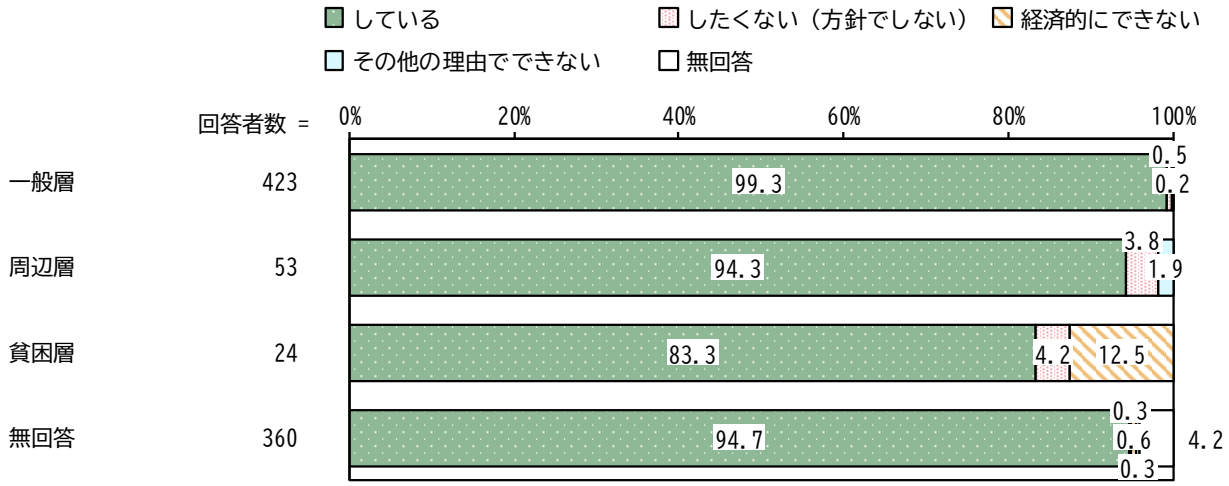
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

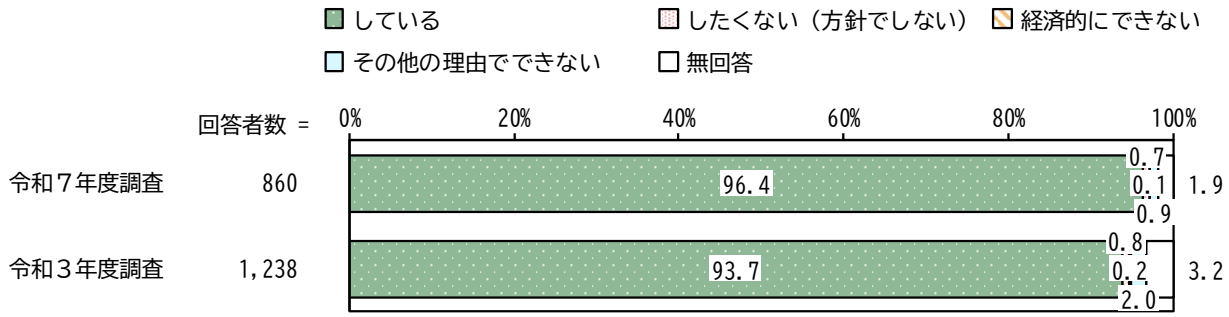
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「している」の割合が高くなっています。



H　子どもの学校行事などへ親が参加する

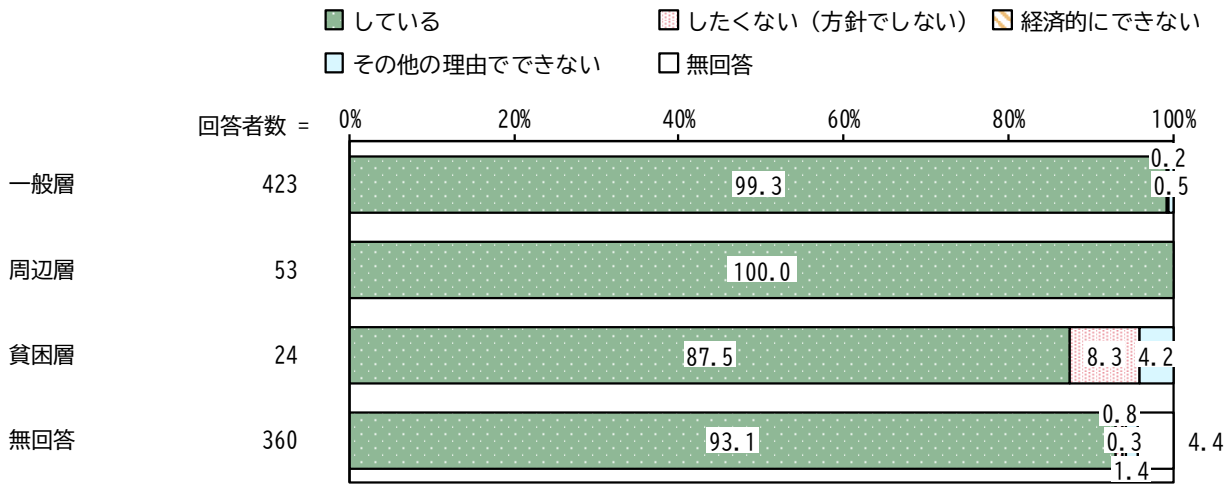
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



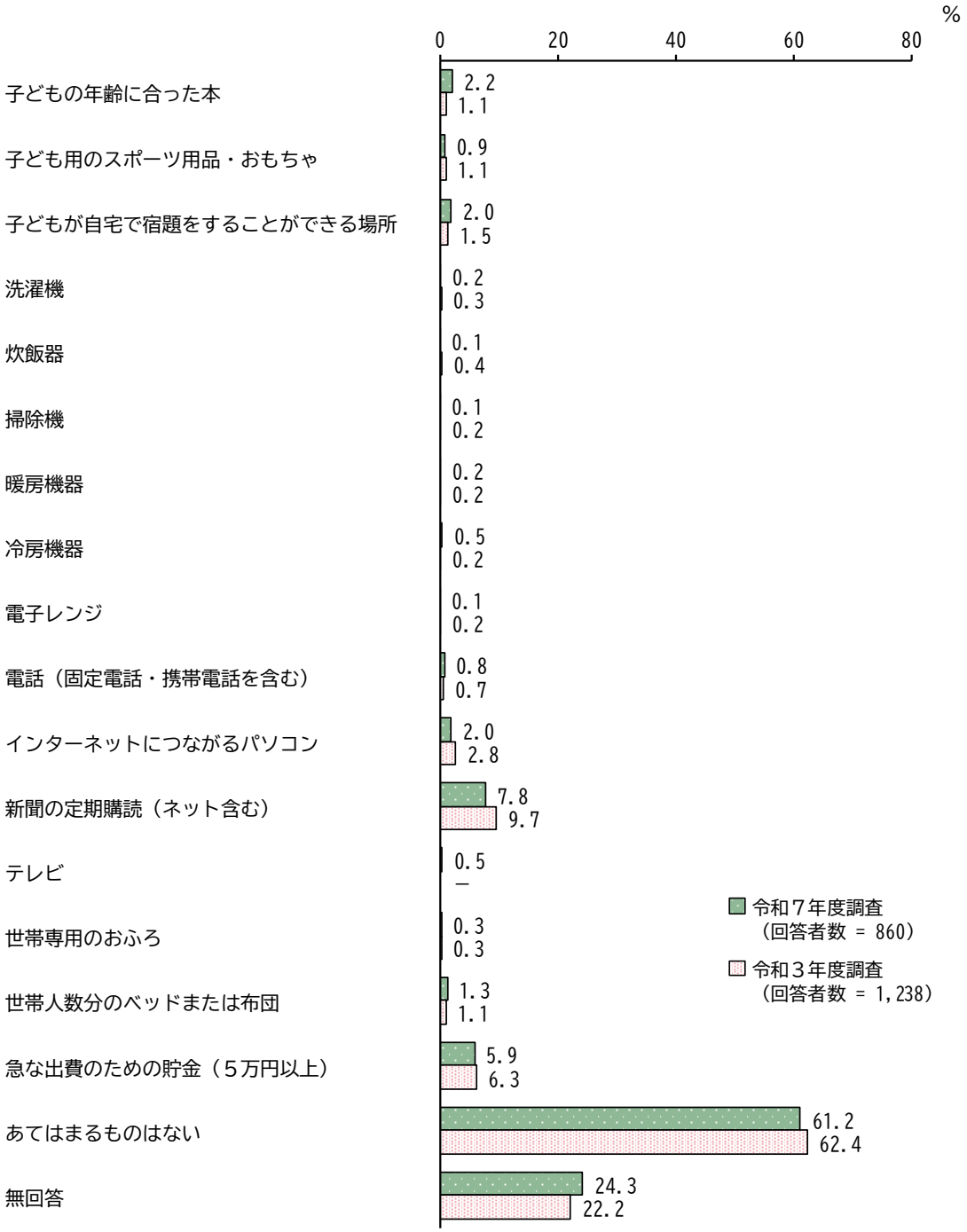
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「したくない（方針でしない）」の割合が高く、「している」の割合が低くなっています。



問 36　次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。
（あてはまる番号すべてに○）
※特に必要がないために購入していないものについては、○を付けなくて結構です。

「新聞の定期購読（ネット含む）」の割合が 7.8%と最も高くなっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和３年度調査では、「テレビ」がありませんでした。

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「子どもの年齢に合った本」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	子どもの年齢に合った本	子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	子どもが自宅で宿題をすることができる場所	洗濯機	炊飯器	掃除機	暖房機器	冷房機器	電子レンジ
全　体	860	2.2	0.9	2.0	0.2	0.1	0.1	0.2	0.5	0.1
一般層	423	0.7	0.5	0.7	0.2	0.0	0.0	0.2	0.5	0.0
周辺層	53	3.8	0.0	11.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
貧困層	24	29.2	12.5	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
無回答	360	1.9	0.8	1.7	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3

区分	電話（固定電話・携帯電話を含む）	インターネットにつながるパソコン	新聞の定期購読（ネット含む）	テレビ	世帯専用のおふろ	世帯人数分のベッドまたは布団	急な出費のための貯金（５万円以上）	あてはまるものはない	無回答
全　体	0.8	2.0	7.8	0.5	0.3	1.3	5.9	61.2	24.3
一般層	0.5	2.1	7.3	0.7	0.5	0.7	3.1	87.9	0.0
周辺層	0.0	3.8	22.6	0.0	0.0	5.7	26.4	56.6	0.0
貧困層	8.3	16.7	33.3	0.0	0.0	12.5	54.2	20.8	0.0
無回答	0.8	0.6	4.4	0.3	0.3	0.6	3.1	33.1	58.1

問 37　お子さんの母親が、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。（１つに○）

「大学」の割合が 43.6%と最も高く、次いで「専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）」の割合が 19.4%、「短期大学」の割合が 15.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「大学」の割合が増加しています。一方、「短期大学」の割合が減少しています。

単位：%

区分	回答者数（件）	中学校	高等学校（全日制）	高等学校（定時制または通信制）	高等専修学校（中学校卒業後に進む１～４年間の専修学校）	高等専門学校（中学校卒業後に進む５年間の学校、高専）	短期大学	専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）	大学	大学院	その他	わからない	無回答
全　体	860	0.2	10.5	1.9	0.2	0.2	15.9	19.4	43.6	4.1	0.7	0.2	3.0
令和７年度調査	860	0.2	10.5	1.9	0.2	0.2	15.9	19.4	43.6	4.1	0.7	0.2	3.0
令和３年度調査	1,204	0.7	12.5	1.8	0.3	0.3	22.8	22.3	34.6	2.3	0.2	0.1	2.0

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「高等学校（全日制）」「専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）」の割合が高くなっています。また、貧困層で「大学」の割合が低くなっています。

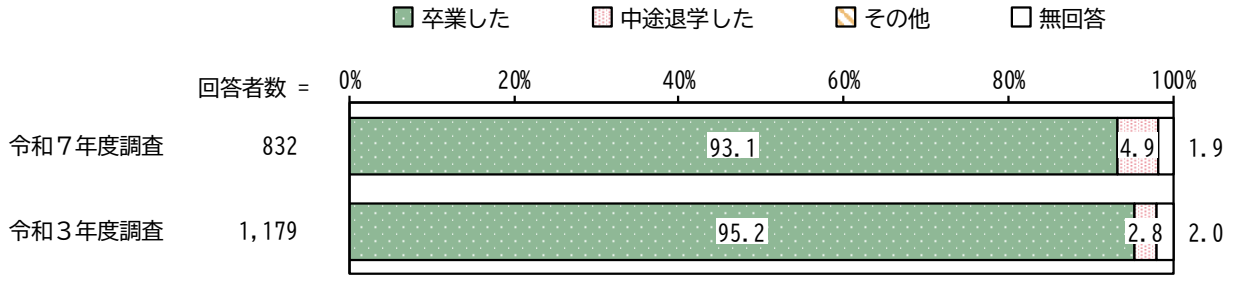
単位：％

区分	回答者数（件）	中学校	高等学校（全日制）	高等学校（定時制または通信制）	高等専修学校（中学校卒業後に進む１～４年間の専修学校）	高等専門学校（中学校卒業後に進む５年間の学校、高専）	短期大学	専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）	大学	大学院	その他	わからない	無回答
全　体	860	0.2	10.5	1.9	0.2	0.2	15.9	19.4	43.6	4.1	0.7	0.2	3.0
一般層	423	0.2	9.7	1.4	0.2	0.2	14.9	19.9	48.2	4.5	0.5	0.0	0.2
周辺層	53	0.0	15.1	0.0	0.0	1.9	11.3	22.6	49.1	0.0	0.0	0.0	0.0
貧困層	24	0.0	16.7	12.5	0.0	0.0	12.5	41.7	12.5	4.2	0.0	0.0	0.0
無回答	360	0.3	10.3	1.9	0.3	0.0	18.1	16.9	39.4	4.2	1.1	0.6	6.9

問 37 で「中学校」～「その他」を選んだ方にお聞きします。

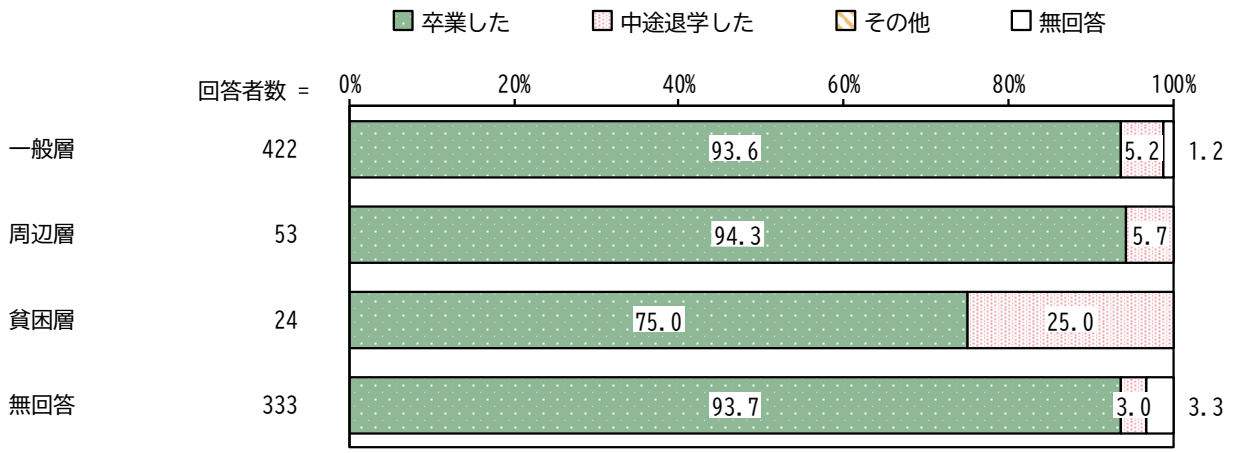
問 37－１　お子さんの母親は、問 37 で答えた学校を卒業されましたか。（１つに○）

「卒業した」の割合が 93.1%、「中途退学した」の割合が 4.9%となっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

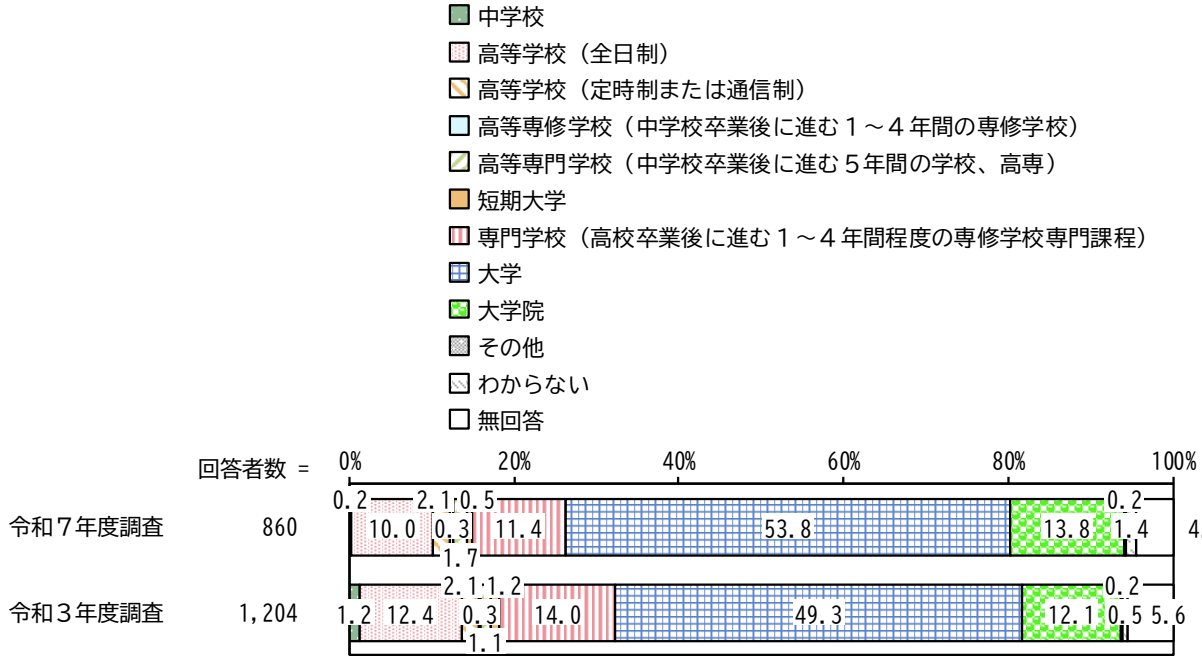
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「中途退学した」の割合が高くなっています。



問 38　お子さんの父親が、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。（１つに○）

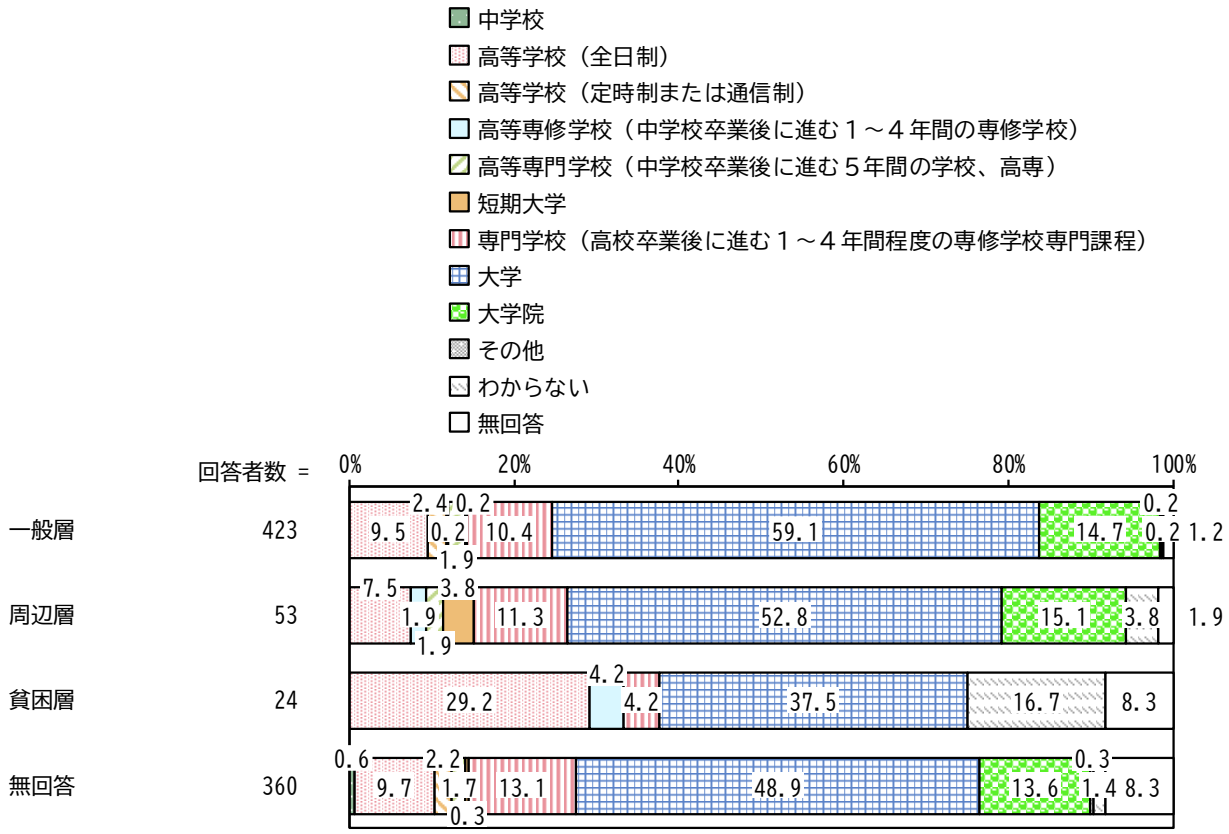
「大学」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「大学院」の割合が 13.8%、「専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）」の割合が 11.4%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「大学」の割合が高くなっています。また、貧困層で「高等学校（全日制）」の割合が高くなっています。

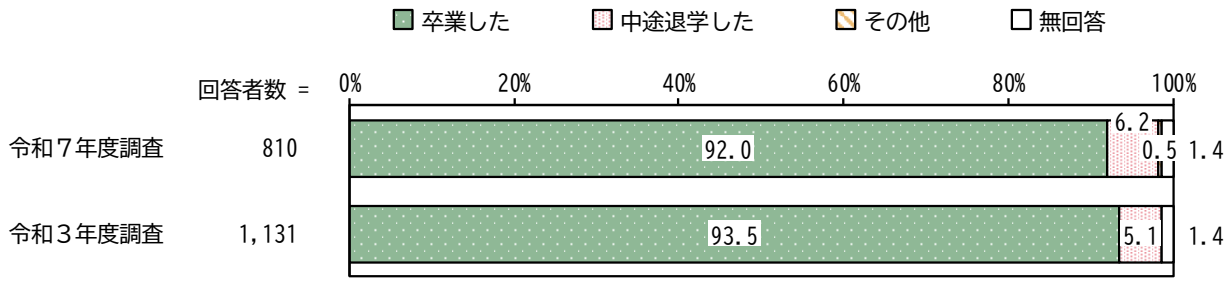


問 38 で「中学校」～「その他」を選んだ方にお聞きします。

問 38－１　お子さんの父親は、問 38 で答えた学校を卒業されましたか。（１つに○）

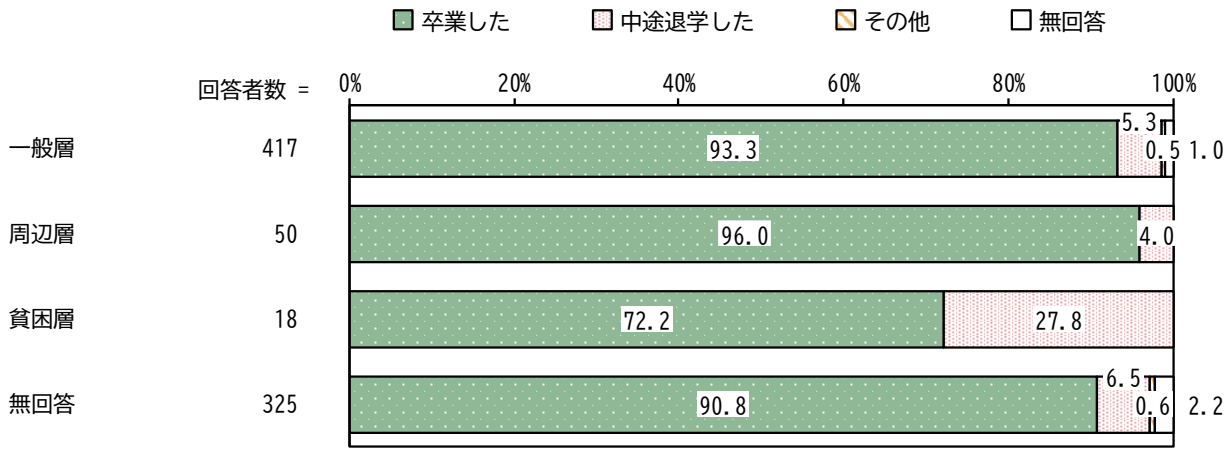
「卒業した」の割合が 92.0%、「中途退学した」の割合が 6.2%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

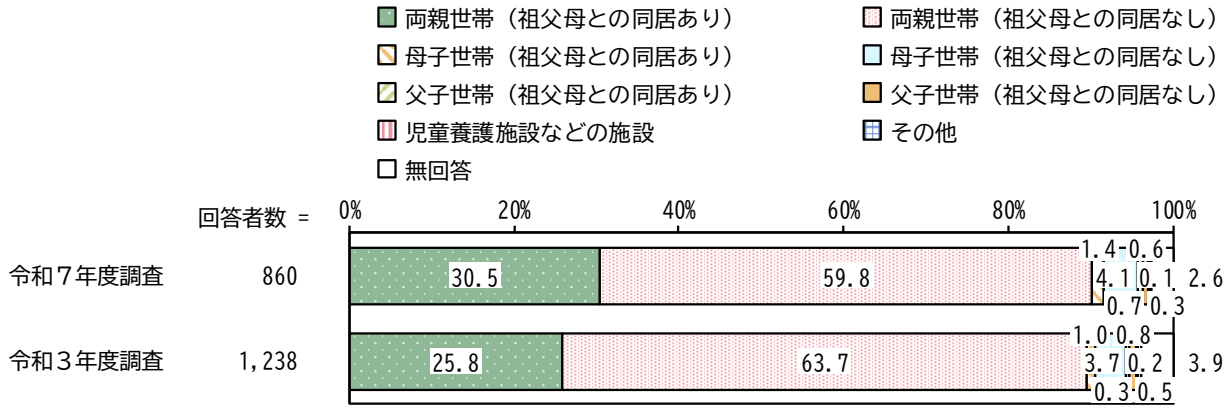
生活困難度別にみると、貧困層で「中途退学した」の割合が高くなっています。



問 39　あなたが 15 歳の頃のご家庭の様子に最も近いものに○をつけてください。
（１つに○）

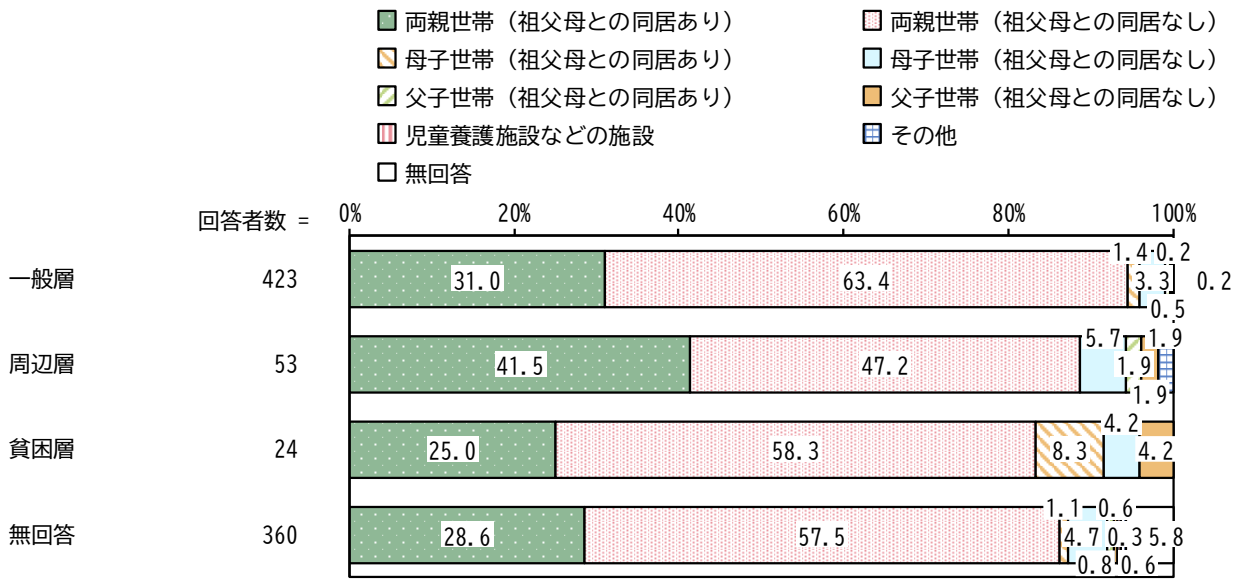
「両親世帯（祖父母との同居なし）」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「両親世帯（祖父母との同居あり）」の割合が 30.5%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

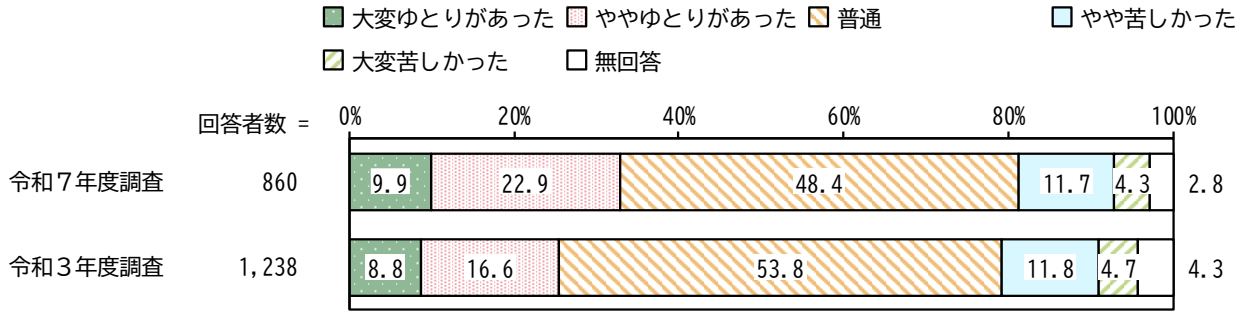
生活困難度別にみると、周辺層で「両親世帯（祖父母との同居あり）」、貧困層で「母子世帯（祖父母との同居あり）」の割合が高くなっています。



問 40　あなたが 15 歳の頃の、あなたのご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。（１つに○）

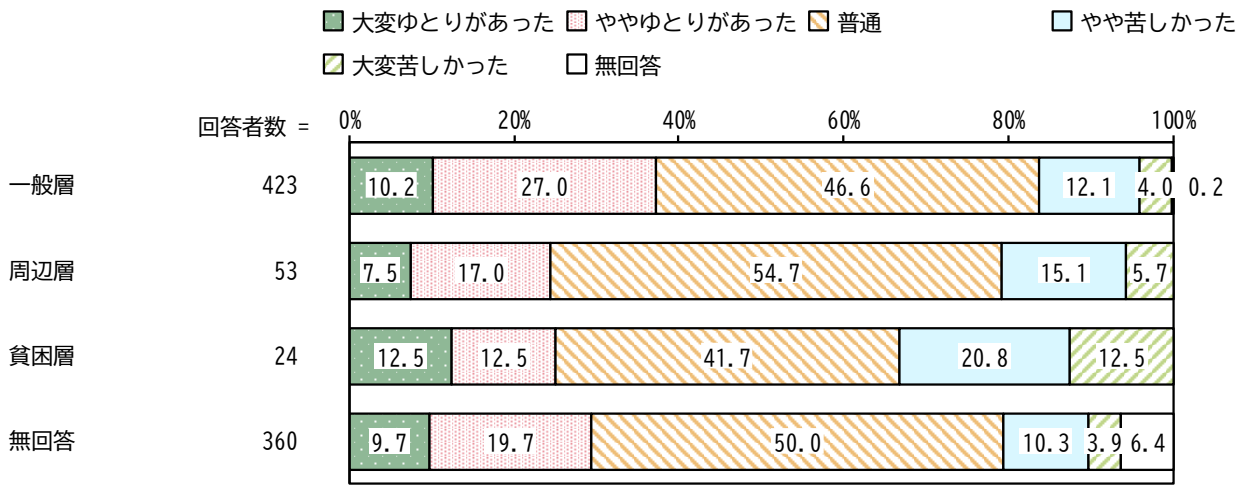
「大変ゆとりがあった」「ややゆとりがあった」を合わせた“ゆとりがあった”の割合が 32.8%、「やや苦しかった」「大変苦しかった」を合わせた“苦しかった”の割合が 16.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、“ゆとりがあった”の割合が増加しています。



【生活困難度別】

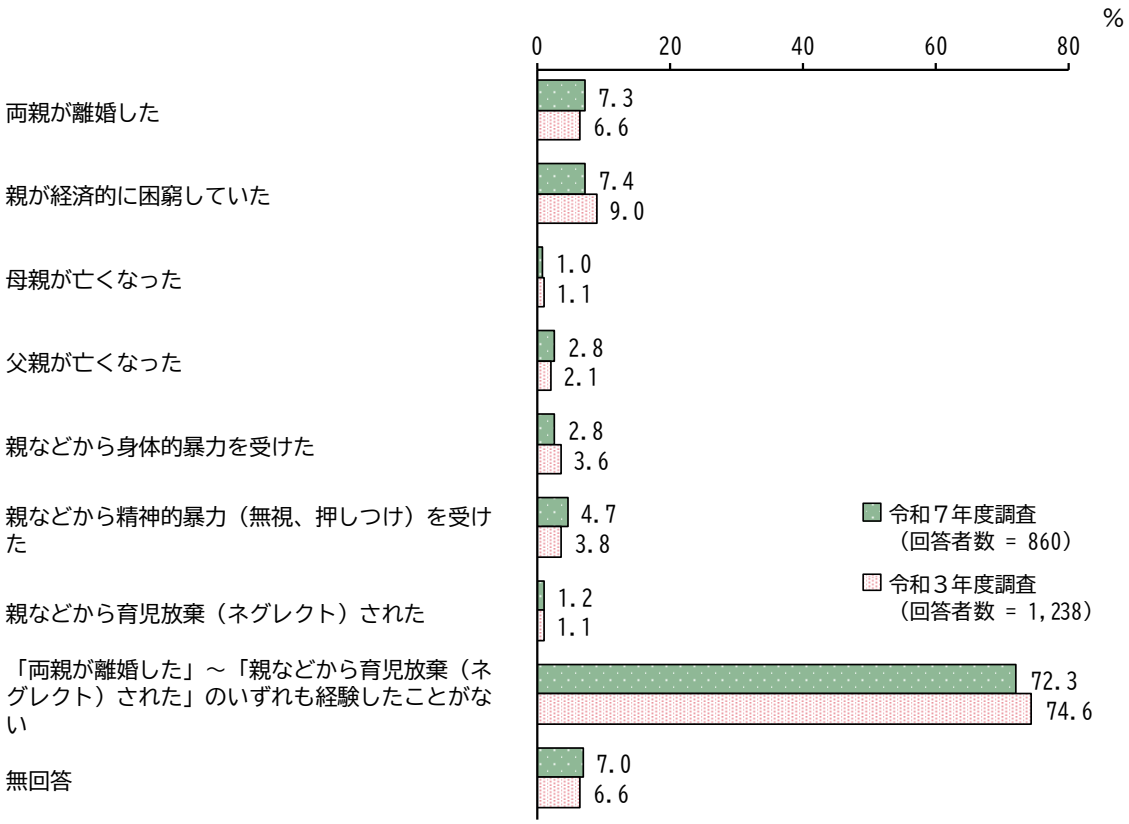
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど“苦しかった”の割合が高くなっています。また、貧困層で「ややゆとりがあった」の割合が低くなっています。



問 41　あなたは、成人する前に以下のような体験をしたことがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「「両親が離婚した」～「親などから育児放棄（ネグレクト）された」のいずれも経験したことがない」の割合が 72.3%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「親が経済的に困窮していた」の割合が高く、「「両親が離婚した」～「親などから育児放棄（ネグレクト）された」のいずれも経験したことがない」の割合が低くなっています。

単位：％

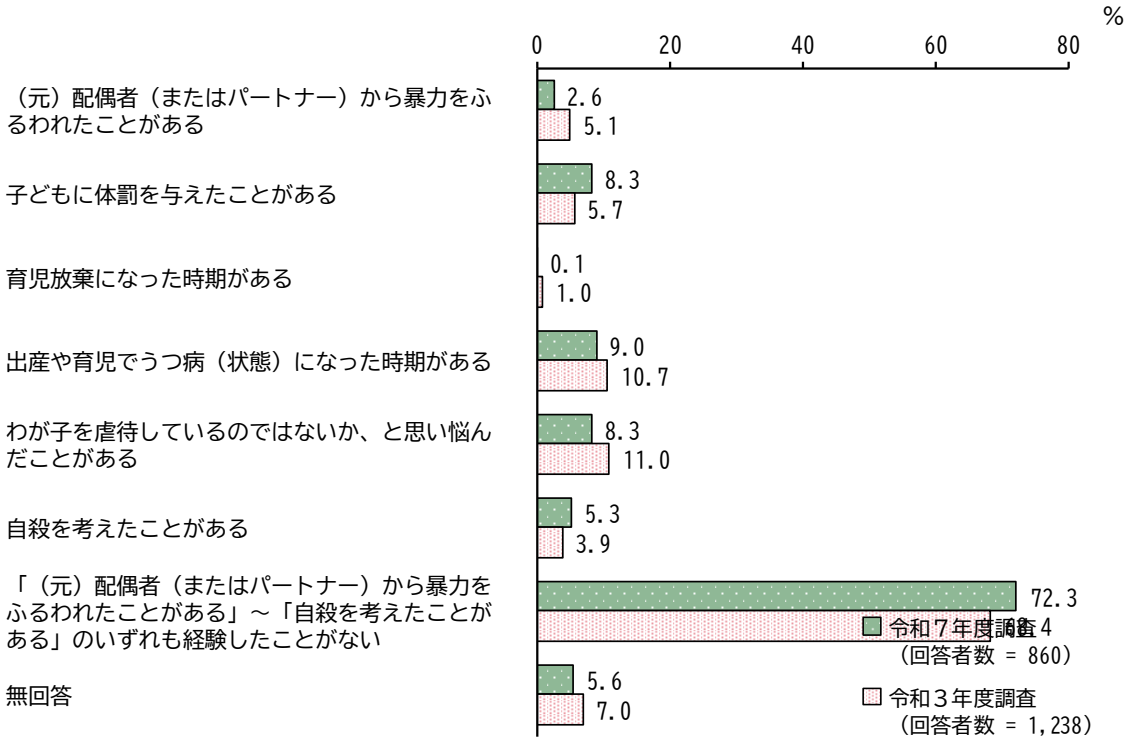
区分	回答者数（件）	両親が離婚した	親が経済的に困窮していた	母親が亡くなった	父親が亡くなった
全　体	860	7.3	7.4	1.0	2.8
一般層	423	6.4	8.5	0.5	2.1
周辺層	53	13.2	13.2	0.0	1.9
貧困層	24	12.5	25.0	0.0	4.2
無回答	360	7.2	4.2	1.9	3.6

区分	親などから身体的暴力を受けた	親などから精神的暴力（無視、押しつけ）を受けた	親などから育児放棄（ネグレクト）された	「両親が離婚した」～「親などから育児放棄（ネグレクト）された」のいずれも経験したことがない	無回答
全　体	2.8	4.7	1.2	72.3	7.0
一般層	3.1	4.5	1.2	79.2	2.6
周辺層	1.9	7.5	1.9	67.9	1.9
貧困層	4.2	4.2	0.0	50.0	4.2
無回答	2.5	4.4	1.1	66.4	13.1

問 42　あなたはお子さんを育てるようになってから、以下のような経験をしたことがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「「(元) 配偶者（またはパートナー）から暴力をふるわれたことがある」～「自殺を考えたことがある」のいずれも経験したことがない」の割合が 72.3%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「(元) 配偶者 (またはパートナー) から暴力をふるわれたことがある」「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」「自殺を考えたことがある」の割合が高く、「「(元) 配偶者 (またはパートナー) から暴力をふるわれたことがある」～「自殺を考えたことがある」のいずれも経験したことがない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	(元) 配偶者 (またはパートナー) から暴力をふるわれたことがある	子どもに体罰を与えたことがある	育児放棄になった時期がある	出産や育児でうつ病 (状態) になった時期がある
全　体	860	2.6	8.3	0.1	9.0
一般層	423	1.9	6.9	0.2	6.4
周辺層	53	3.8	20.8	0.0	24.5
貧困層	24	12.5	20.8	0.0	16.7
無回答	360	2.5	7.2	0.0	9.2

区分	わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある	自殺を考えたことがある	「(元) 配偶者 (またはパートナー) から暴力をふるわれたことがある」～「自殺を考えたことがある」のいずれも経験したことがない	無回答
全　体	8.3	5.3	72.3	5.6
一般層	7.6	5.0	80.4	1.4
周辺層	17.0	11.3	56.6	1.9
貧困層	25.0	16.7	41.7	0.0
無回答	6.7	4.2	67.2	11.4

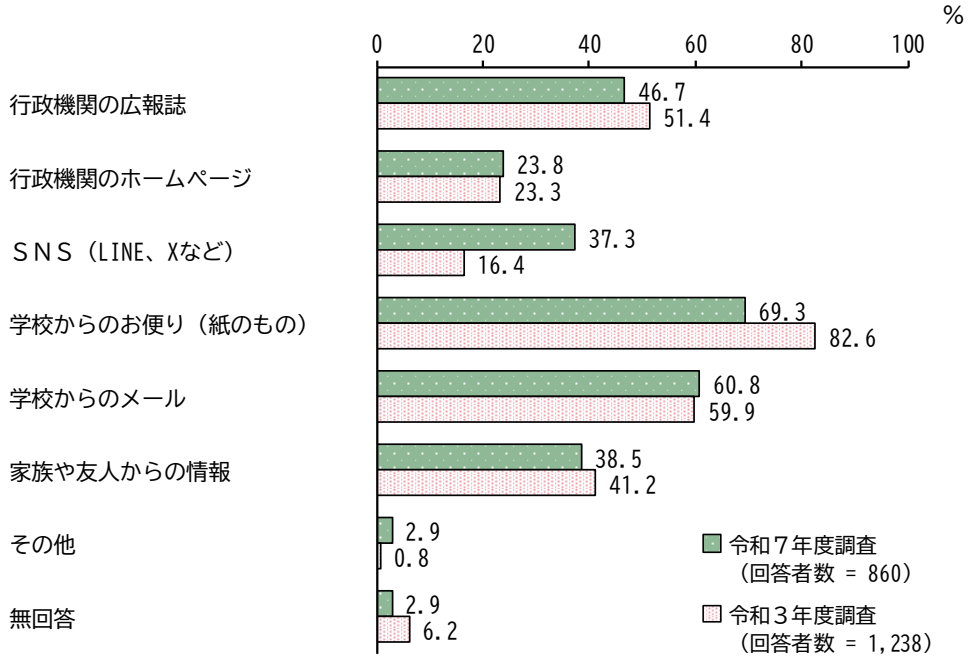
問 43　（A）あなたは、子どもに関する施策等の情報をどういう方法で受け取っていますか。

（B）また、今後、どのような方法で受け取りたいと思いますか。（それぞれ、あてはまる番号すべてに○）

（A）

「学校からのお便り（紙のもの）」の割合が 69.3%と最も高く、次いで「学校からのメール」の割合が 60.8%、「行政機関の広報誌」の割合が 46.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「ＳＮＳ（LINE、X など）」の割合が増加しています。一方、「学校からのお便り（紙のもの）」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「行政機関の広報誌」「行政機関のホームページ」「学校からのお便り（紙のもの）」「学校からのメール」「家族や友人からの情報」の割合が高くなっています。

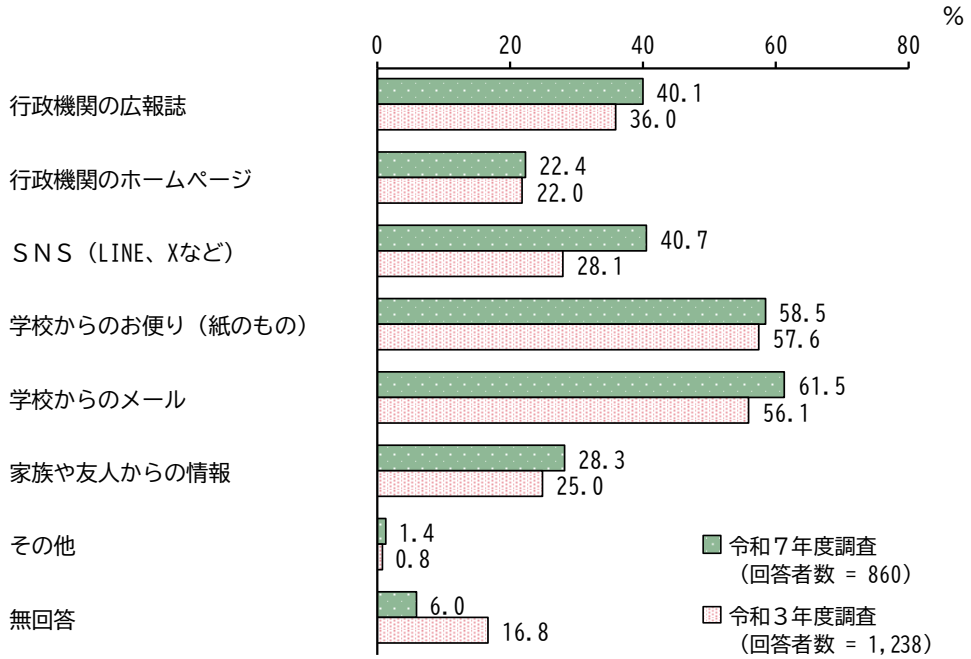
単位：%

区分	回答者数（件）	行政機関の広報誌	行政機関のホームページ	ＳＮＳ（LINE、Xなど）	学校からのお便り（紙のもの）	学校からのメール	家族や友人からの情報	その他	無回答
全　体	860	46.7	23.8	37.3	69.3	60.8	38.5	2.9	2.9
一般層	423	51.5	28.1	37.8	72.3	63.6	40.7	3.3	0.7
周辺層	53	47.2	26.4	45.3	66.0	60.4	35.8	1.9	0.0
貧困層	24	33.3	16.7	29.2	58.3	50.0	29.2	8.3	0.0
無回答	360	41.9	18.9	36.1	66.9	58.3	36.9	2.2	6.1

（B）

「学校からのメール」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「学校からのお便り（紙のもの）」の割合が 58.5%、「ＳＮＳ（LINE、X など）」の割合が 40.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「ＳＮＳ（LINE、X など）」「学校からのメール」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

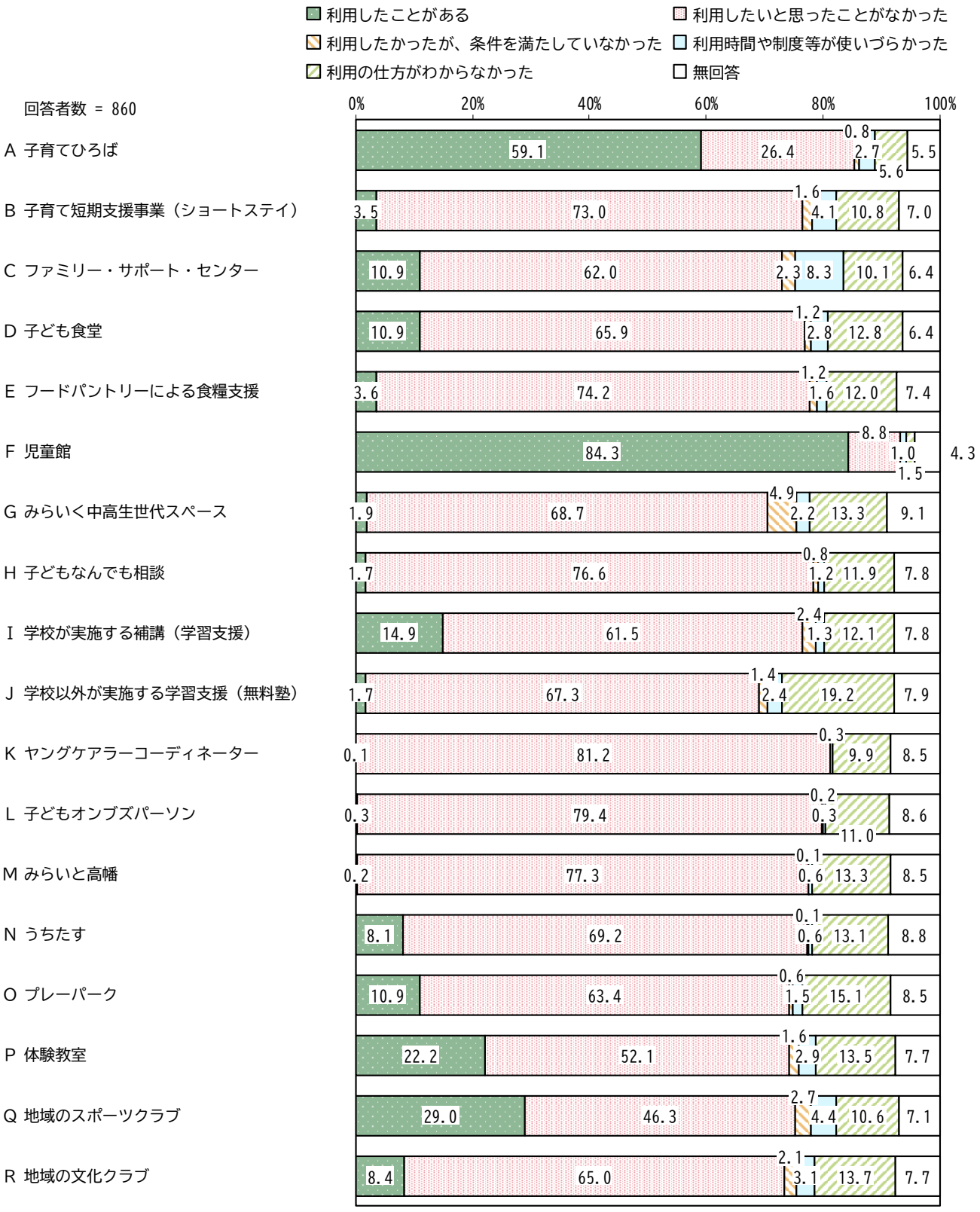
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「行政機関のホームページ」「学校からのお便り（紙のもの）」「学校からのメール」「家族や友人からの情報」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	行政機関の広報誌	行政機関のホームページ	ＳＮＳ（LINE、Xなど）	学校からのお便り（紙のもの）	学校からのメール	家族や友人からの情報	その他	無回答
全　体	860	40.1	22.4	40.7	58.5	61.5	28.3	1.4	6.0
一般層	423	43.3	27.9	43.0	62.2	67.1	34.0	1.4	2.8
周辺層	53	37.7	17.0	43.4	50.9	58.5	18.9	5.7	0.0
貧困層	24	50.0	12.5	25.0	50.0	41.7	12.5	0.0	12.5
無回答	360	36.1	17.5	38.6	55.8	56.7	23.9	0.8	10.3

問 44　お子さんについて、以下のＡ～Ｒの支援制度やサービス、施設をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

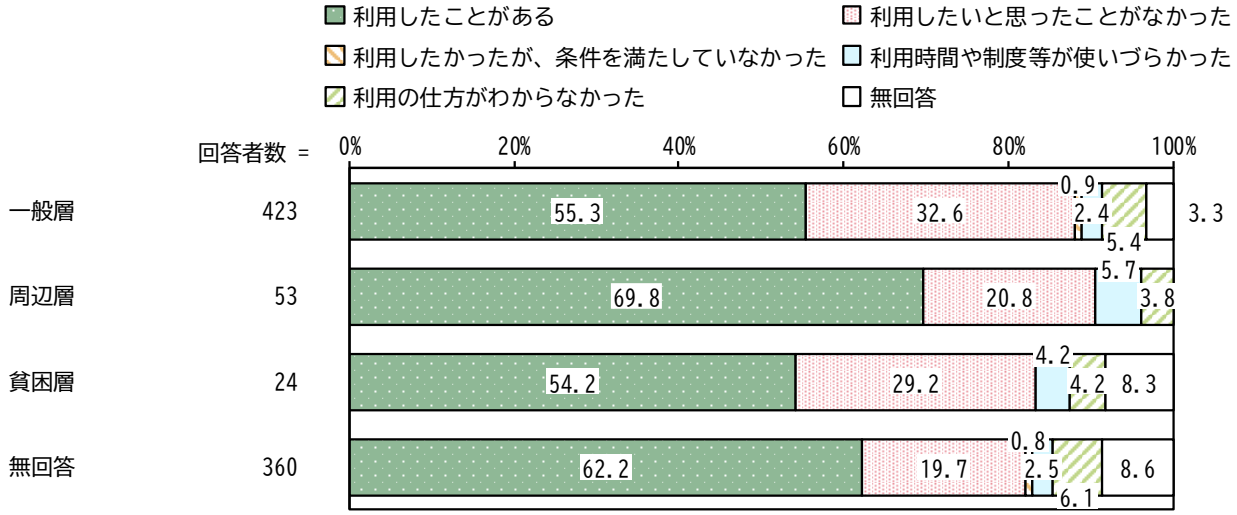
『Ｆ　児童館』で「利用したことがある」が、『Ｋ　ヤングケアラーコーディネーター』で「利用したいと思ったことがなかった」が、『Ｇ　みらいく中高生世代スペース』で「利用したかったが、条件を満たしていなかった」が、『Ｃ　ファミリー・サポート・センター』で「利用時間や制度等が使いづらかった」が、『Ｊ　学校以外が実施する学習支援（無料塾）』で「利用の仕方がわからなかった」が高くなっています。



A　子育てひろば

【生活困難度別】

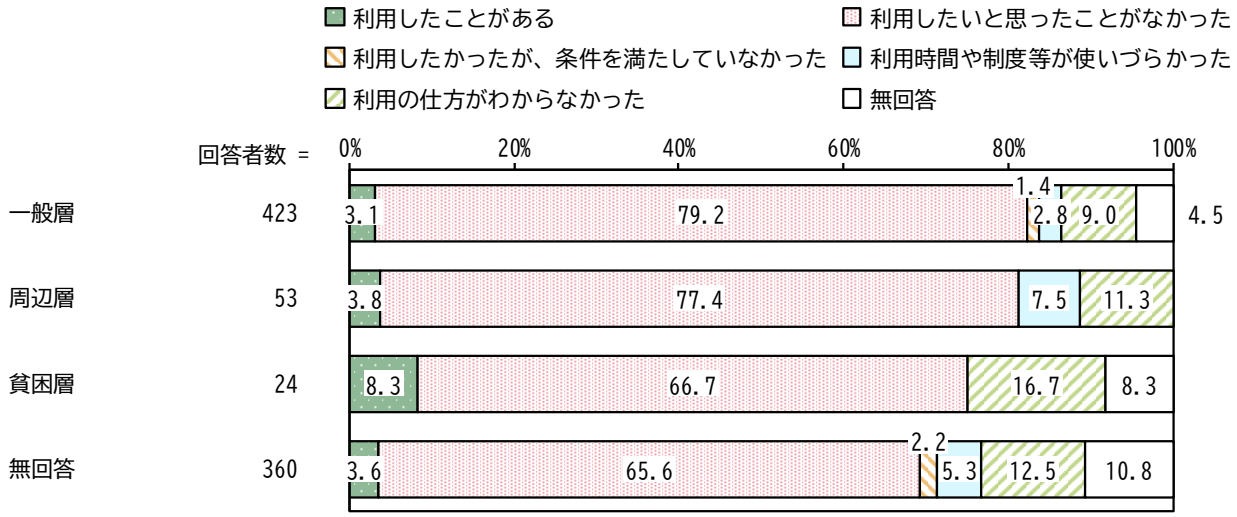
生活困難度別にみると、周辺層で「利用したことがある」、一般層で「利用したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。



B　子育て短期支援事業（ショートステイ）

【生活困難度別】

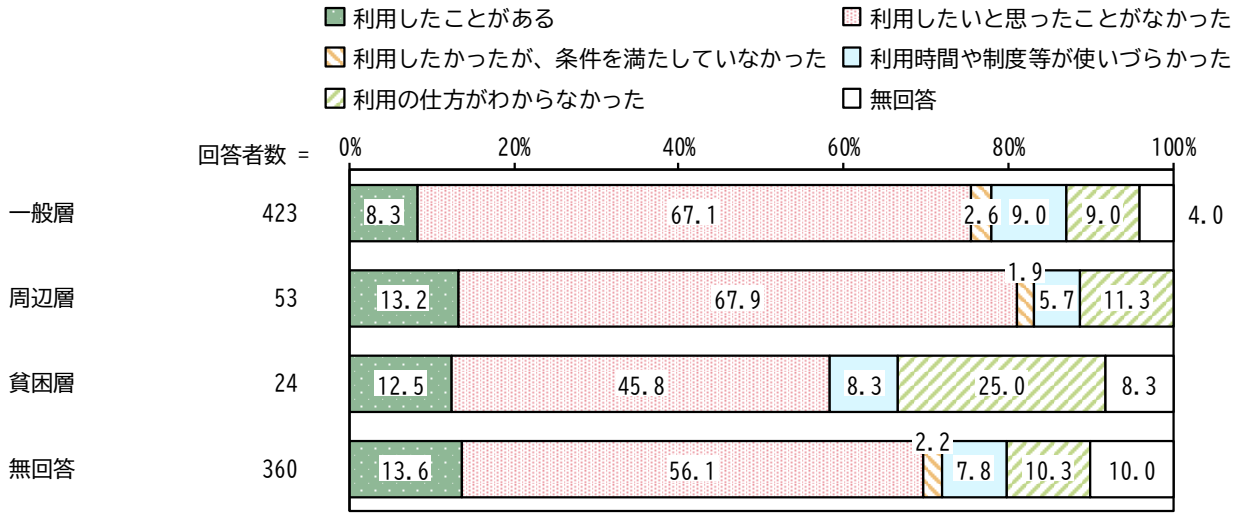
生活困難度別にみると、一般層で「利用したいと思ったことがなかった」、貧困層で「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。



C　ファミリー・サポート・センター

【生活困難度別】

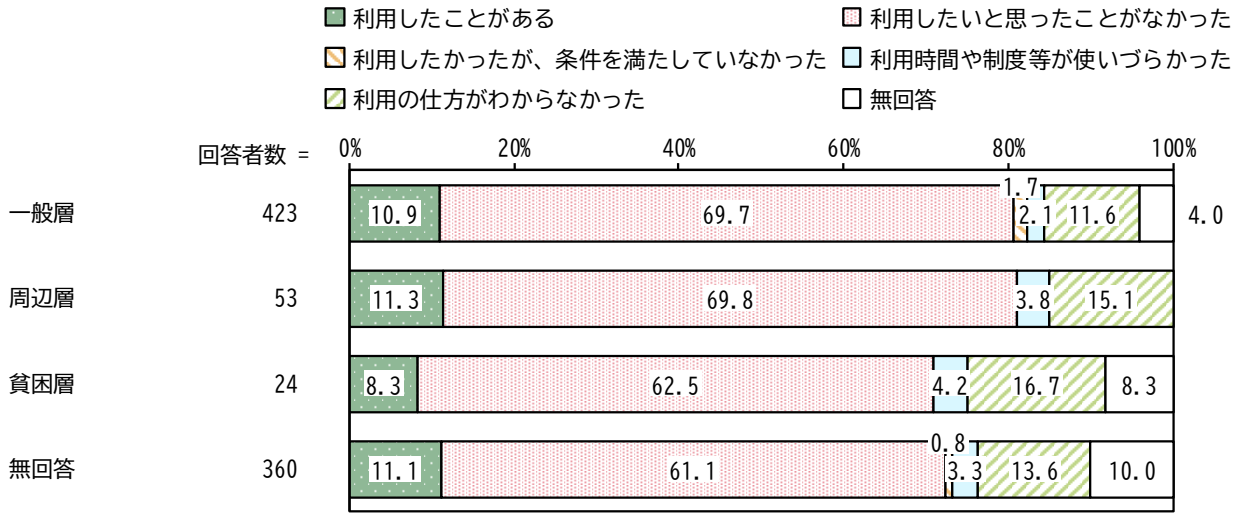
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。また、貧困層で「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



D　子ども食堂

【生活困難度別】

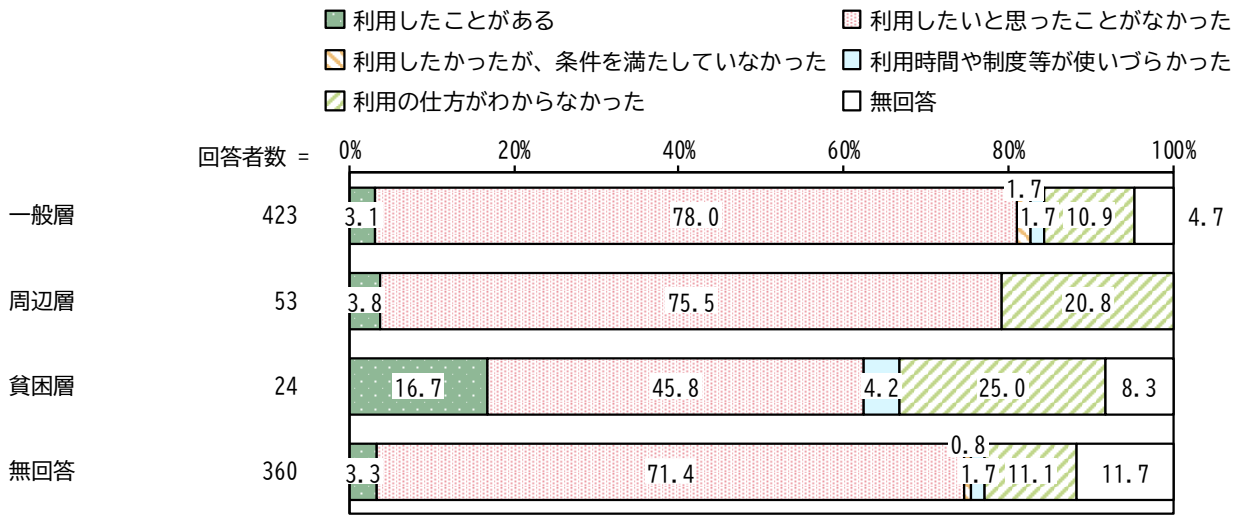
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。



E　フードパントリーによる食糧支援

【生活困難度別】

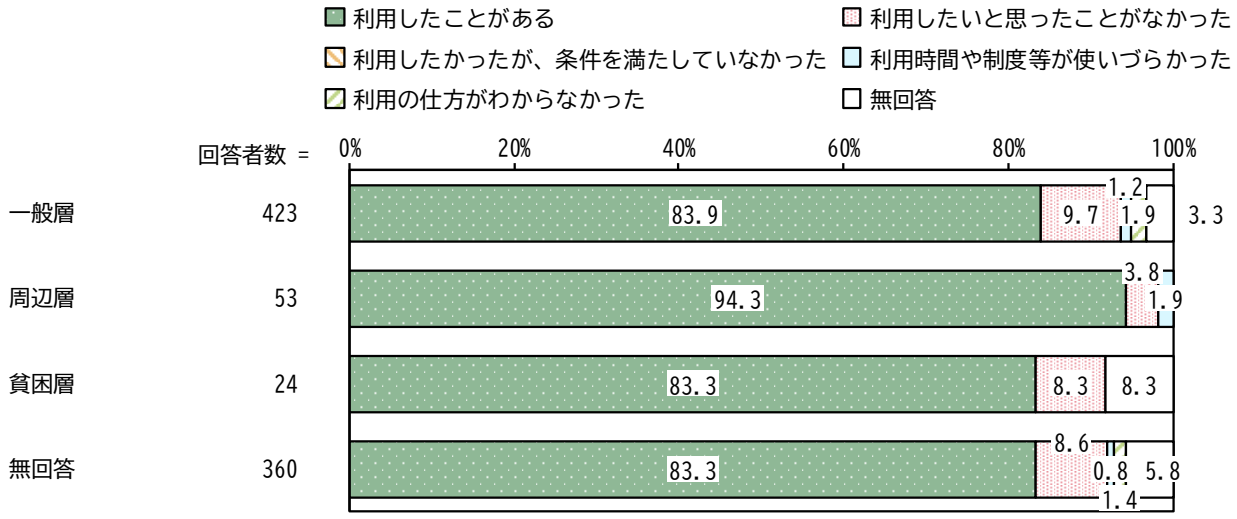
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したことがある」「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



F　児童館

【生活困難度別】

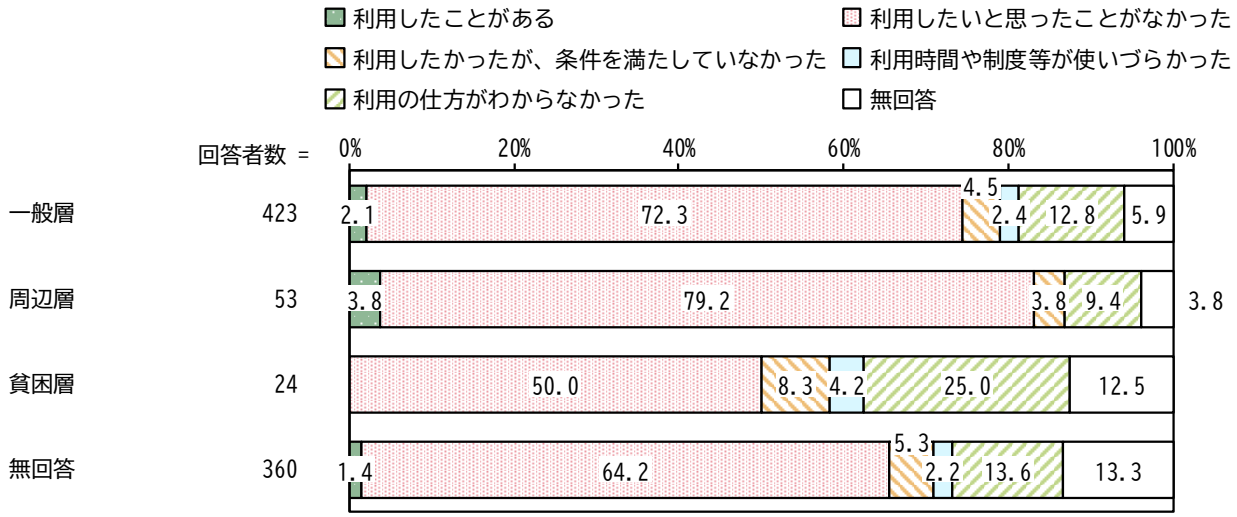
生活困難度別にみると、周辺層で「利用したことがある」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



G　みらいく中高生世代スペース

【生活困難度別】

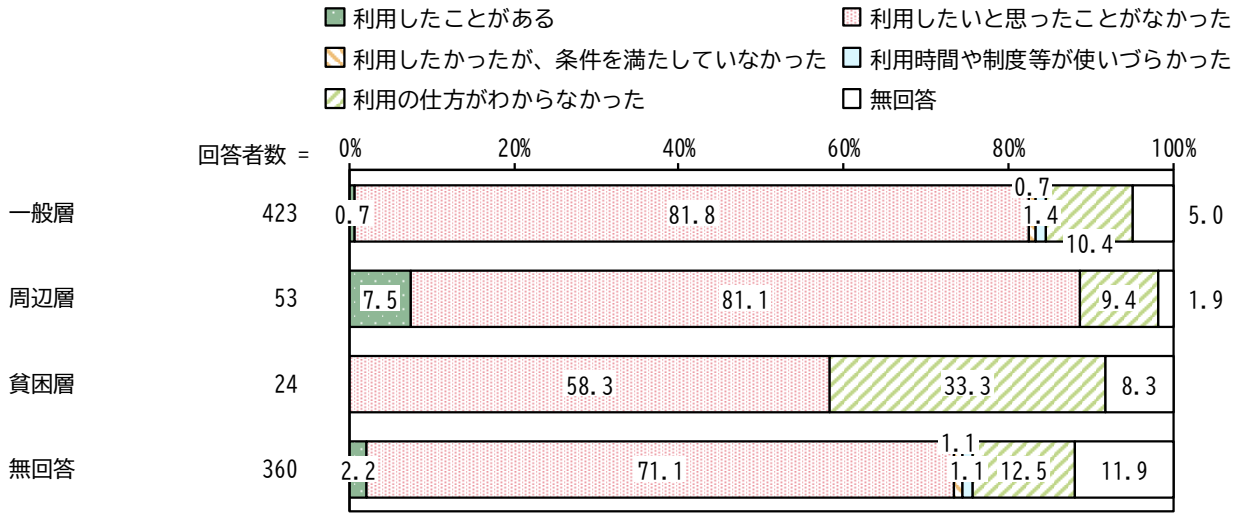
生活困難度別にみると、周辺層で「利用したいと思ったことがなかった」、貧困層で「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。



H　子どもなんでも相談

【生活困難度別】

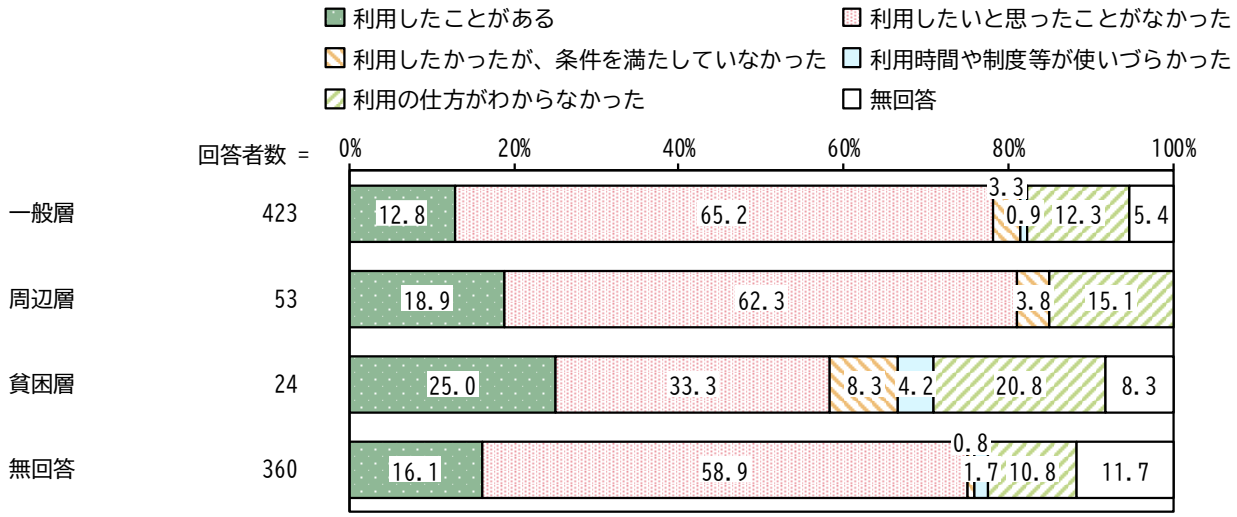
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「利用したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。また、貧困層で「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。



Ⅰ　学校が実施する補講（学習支援）

【生活困難度別】

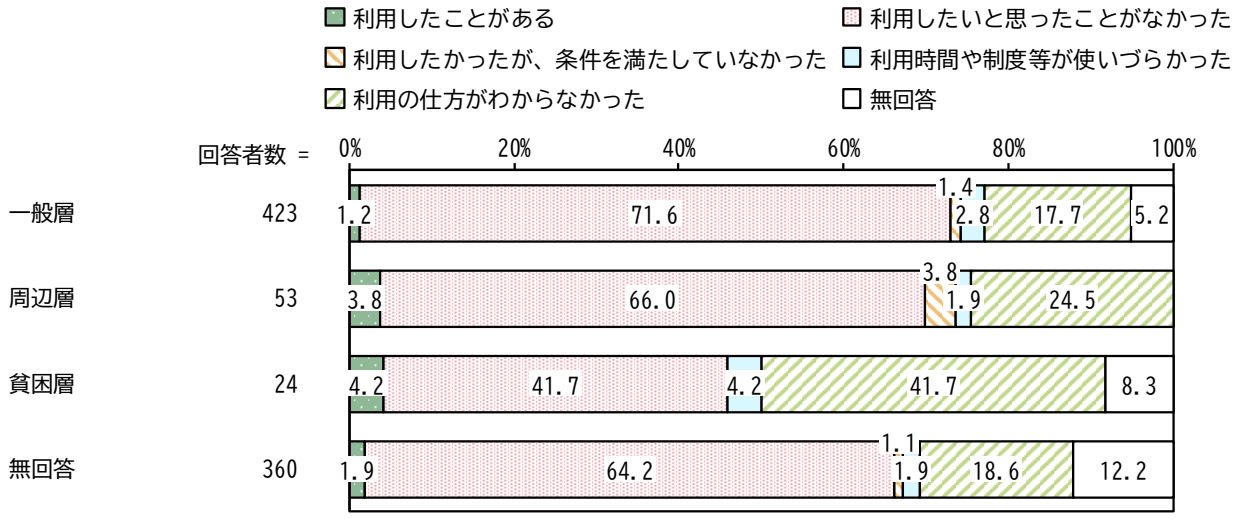
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したことがある」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



Ｊ　学校以外が実施する学習支援（無料塾）

【生活困難度別】

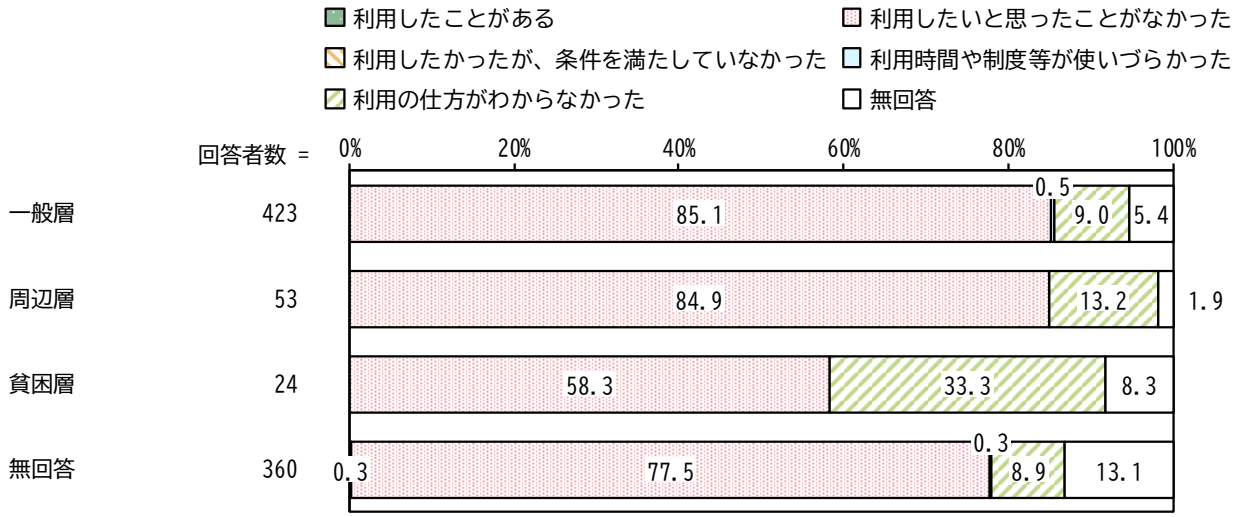
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



K　ヤングケアラーコーディネーター

【生活困難度別】

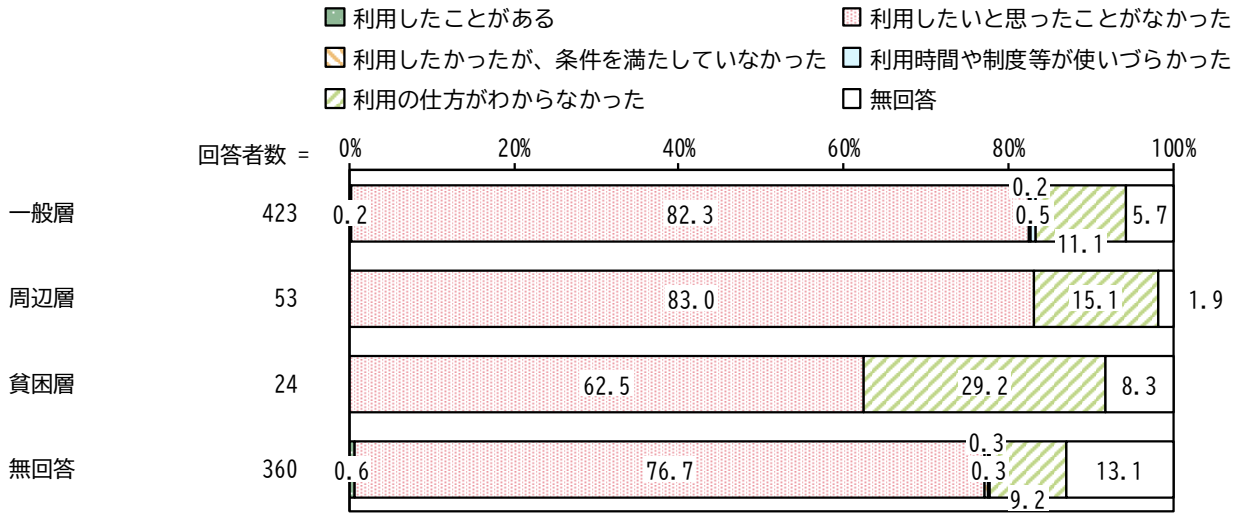
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



L　子どもオンブズパーソン

【生活困難度別】

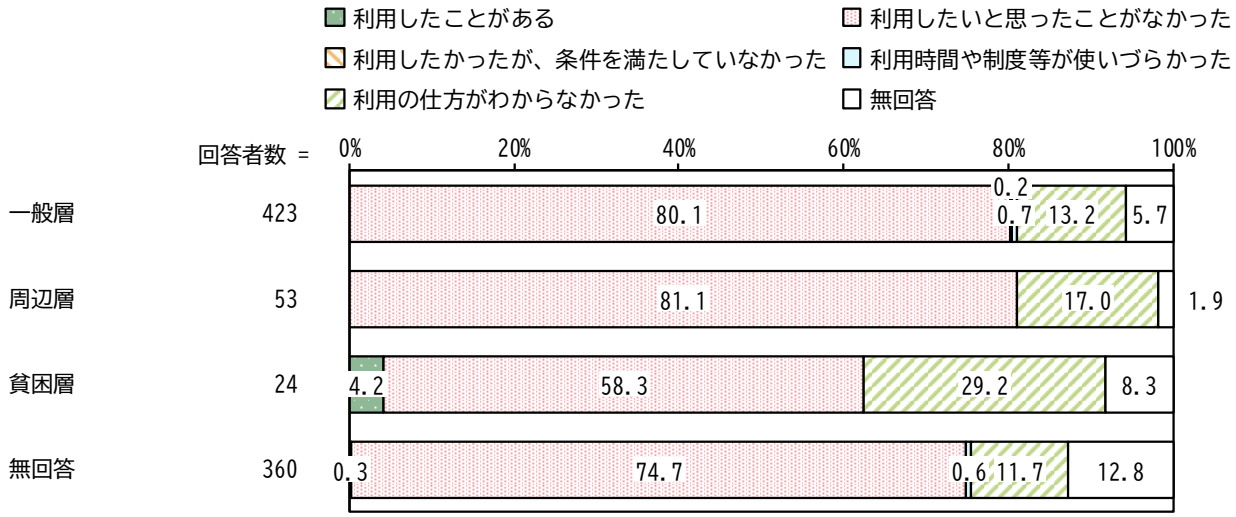
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。また、貧困層で「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



M　みらいと高幡

【生活困難度別】

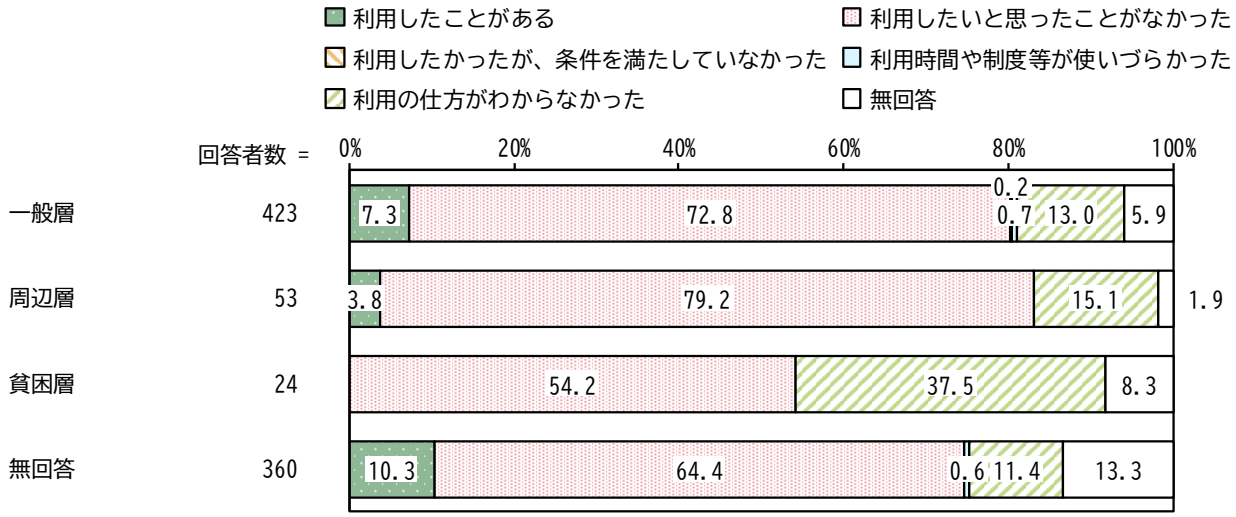
生活困難度別にみると、貧困層で「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



N　うちたす

【生活困難度別】

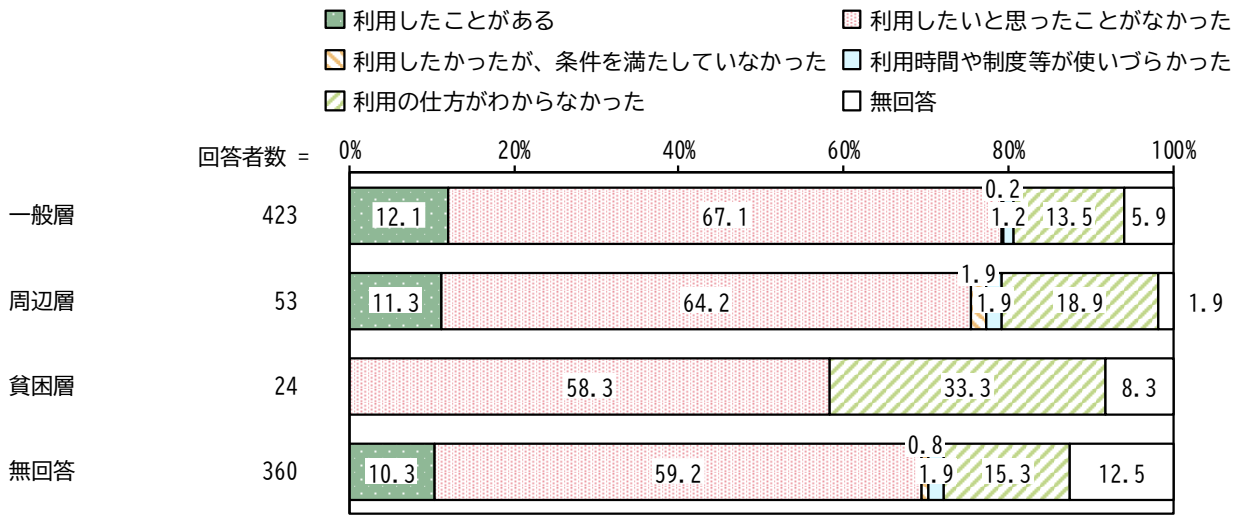
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。また、周辺層で「利用したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。



O　プレーパーク

【生活困難度別】

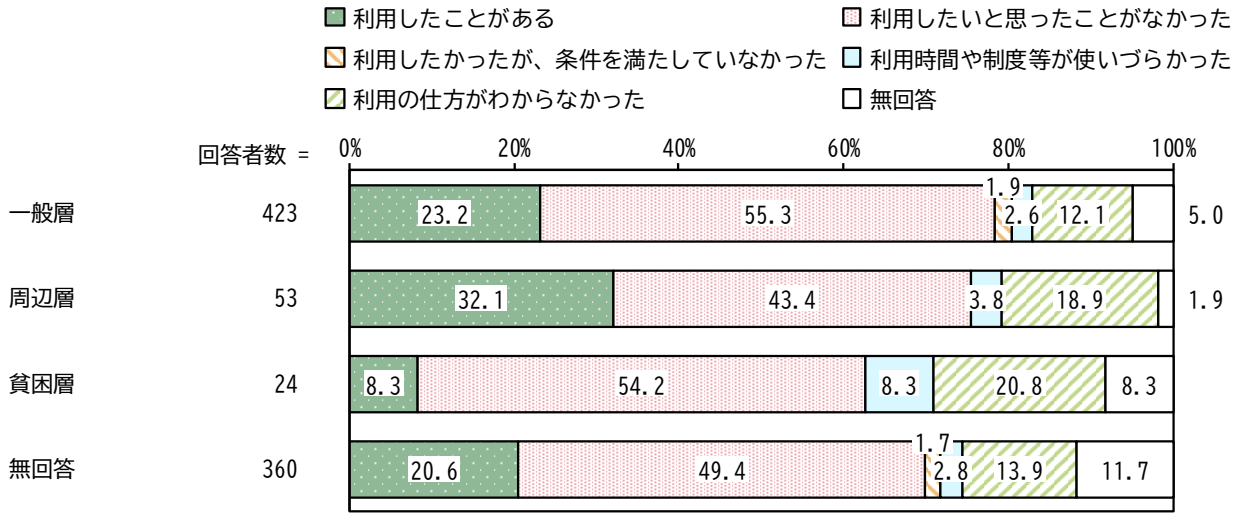
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「利用したことがある」「利用したいと思ったことがなかった」の割合が高く、「利用の仕方がわからなかった」の割合が低くなっています。



P　体験教室

【生活困難度別】

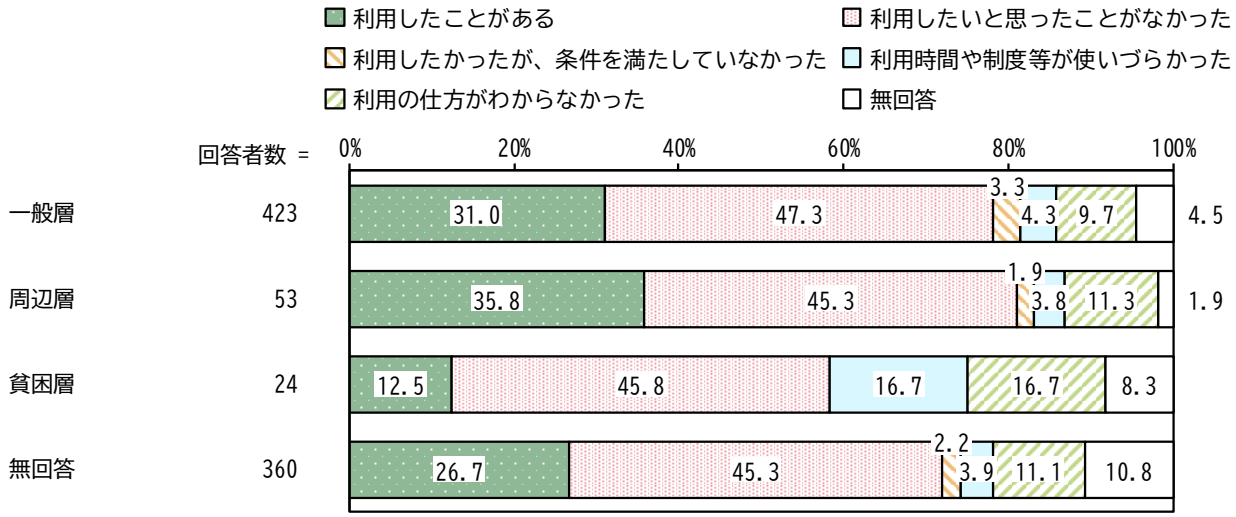
生活困難度別にみると、周辺層で「利用したことがある」、貧困層で「利用時間や制度等が使いづらかった」、周辺層、貧困層で「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。



Q　地域のスポーツクラブ

【生活困難度別】

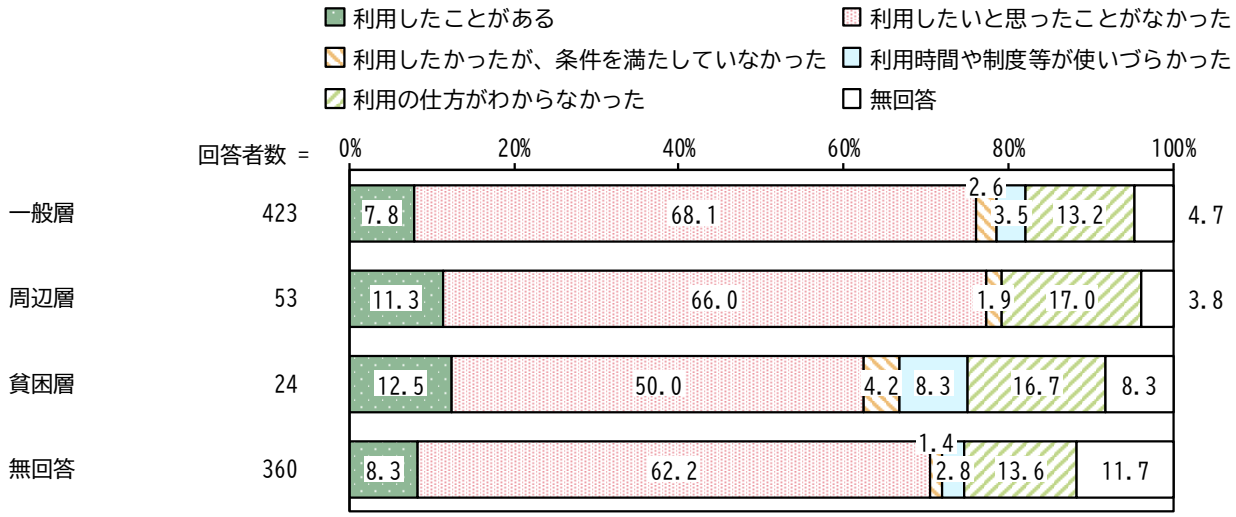
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。また、貧困層で「利用したことがある」の割合が低くなっています。



R　地域の文化クラブ

【生活困難度別】

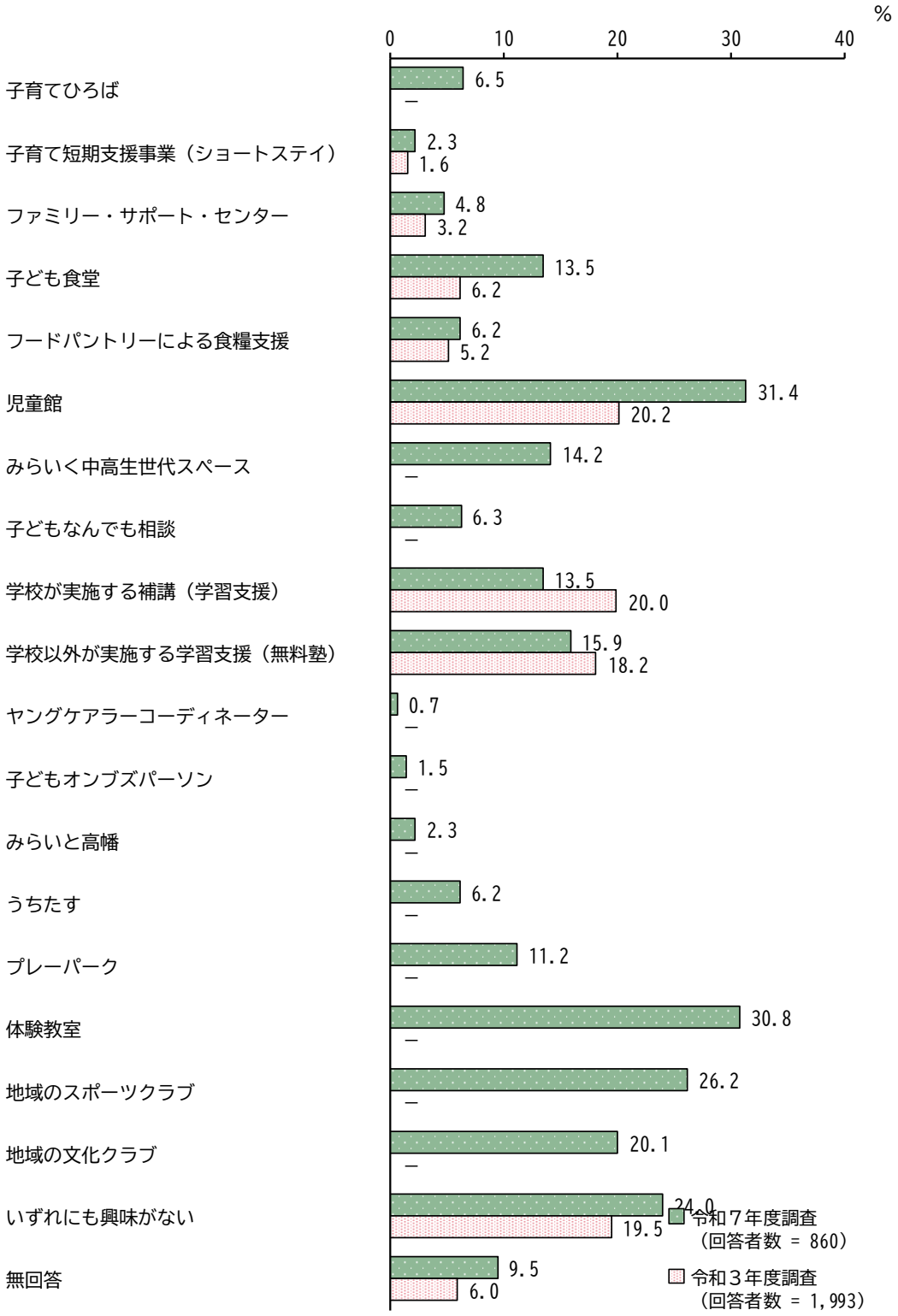
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したことがある」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



問 45　現在、以下の支援制度やサービス等を利用することに興味がありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

「児童館」の割合が 31.4%と最も高く、次いで「体験教室」の割合が 30.8%、「地域のスポーツクラブ」の割合が 26.2%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「子ども食堂」「児童館」の割合が増加しています。一方、「学校が実施する補講（学習支援)」の割合が減少しています。



※令和３年度調査では、「子育てひろば」、「みらいく中高生世代スペース」、「子どもなんでも相談」、「ヤングケアラーコーディネーター」、「子どもオンブズパーソン」、「みらいと高幡」、「うちたす」、「プレーパーク」、「体験教室」、「地域のスポーツクラブ」、「地域の文化クラブ」がありませんでした。

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「子育てひろば」「子育て短期支援事業（ショートステイ）」「ファミリー・サポート・センター」「子ども食堂」「フードパントリーによる食糧支援」「学校が実施する補講（学習支援）」「学校以外が実施する学習支援（無料塾）」の割合が高くなっています。

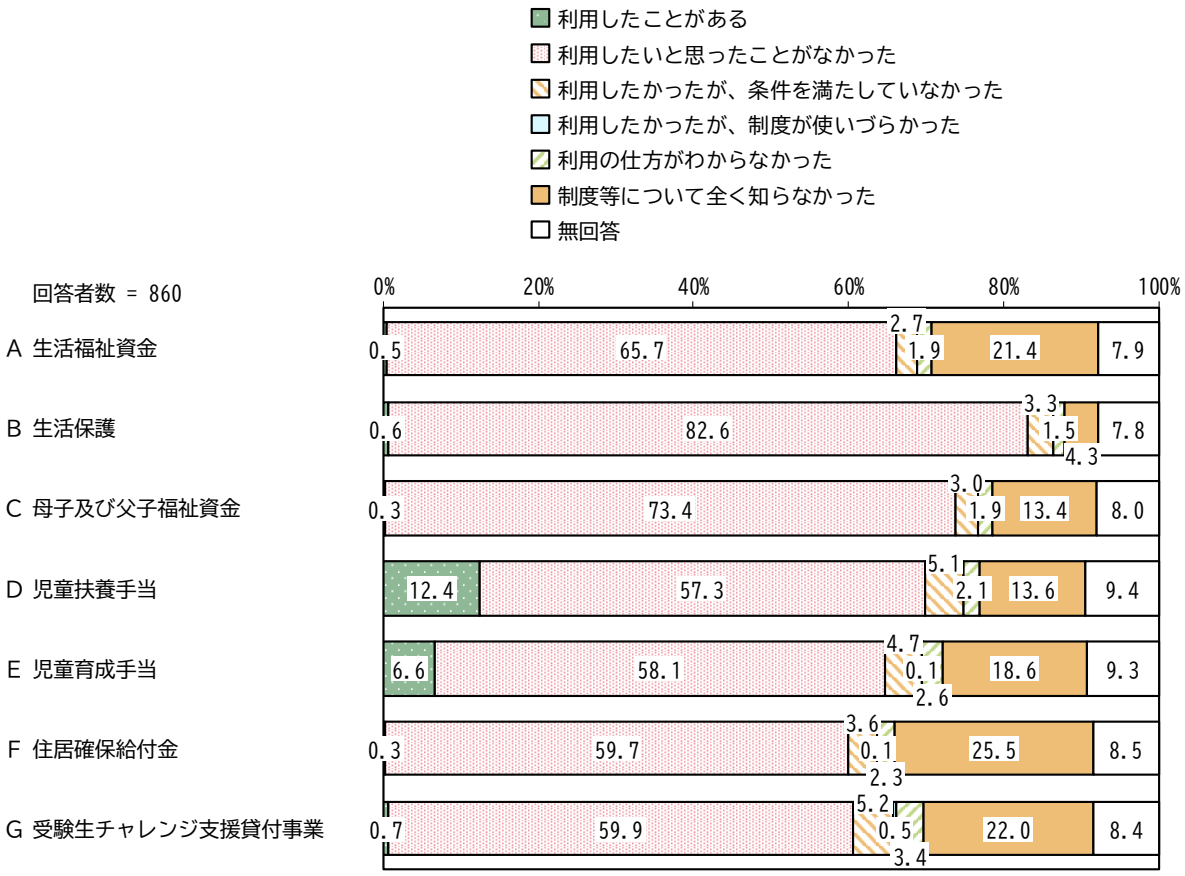
単位：％

区分	回答者数（件）	子育てひろば	子育て短期支援事業（ショートステイ）	ファミリー・サポート・センター	子ども食堂	フードパントリーによる食糧支援	児童館	みらいく中高生世代スペース	子どもなんでも相談	学校が実施する補講（学習支援）	学校以外が実施する学習支援（無料塾）
全　体	860	6.5	2.3	4.8	13.5	6.2	31.4	14.2	6.3	13.5	15.9
一般層	423	6.1	1.9	4.3	12.5	5.4	33.3	14.7	5.9	13.5	15.1
周辺層	53	9.4	3.8	7.5	17.0	15.1	24.5	15.1	3.8	24.5	24.5
貧困層	24	25.0	16.7	12.5	33.3	29.2	29.2	8.3	12.5	29.2	25.0
無回答	360	5.3	1.7	4.4	12.8	4.2	30.3	13.9	6.7	10.8	15.0

区分	ヤングケアラーコーディネーター	子どもオンブズパーソン	みらいと高幡	うちたす	プレーパーク	体験教室	地域のスポーツクラブ	地域の文化クラブ	いずれにも興味がない	無回答
全　体	0.7	1.5	2.3	6.2	11.2	30.8	26.2	20.1	24.0	9.5
一般層	0.7	1.4	1.9	4.0	12.1	34.8	27.9	22.7	25.3	5.9
周辺層	0.0	1.9	7.5	11.3	17.0	34.0	26.4	28.3	26.4	0.0
貧困層	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	20.8	20.8	12.5	29.2	12.5
無回答	0.3	1.1	1.7	7.8	9.4	26.4	24.4	16.4	21.7	15.0

問 46　あなたのご家庭では、以下のＡ～Ｇの支援制度やサービス等は、これまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

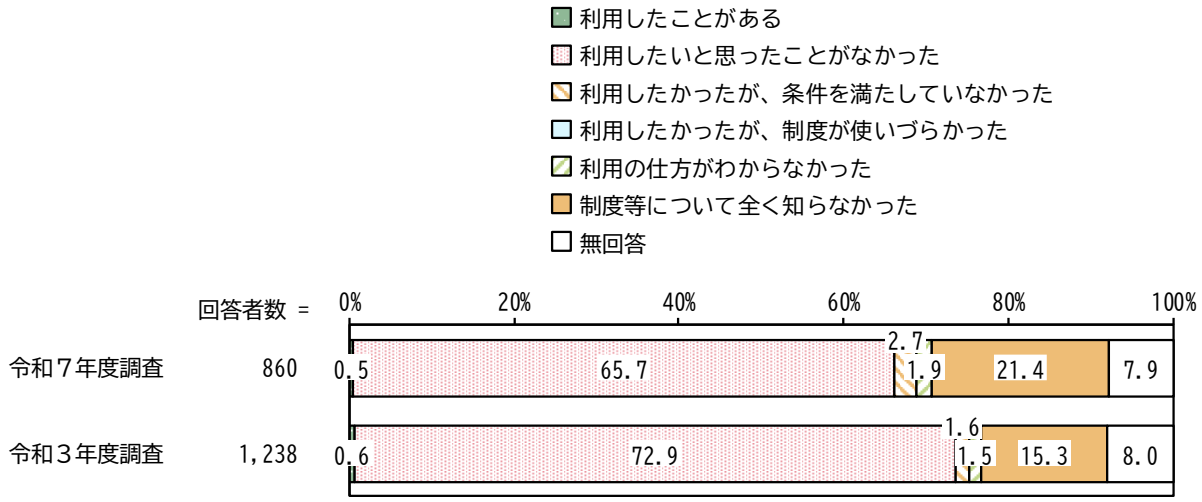
『Ｄ　児童扶養手当』で「利用したことがある」が、『Ｂ　生活保護』で「利用したいと思ったことがなかった」が、『Ｇ　受験生チャレンジ支援貸付事業』で「利用したかったが、条件を満たしていなかった」「利用したかったが、制度が使いづらかった」「利用の仕方がわからなかった」が、『Ｆ　住居確保給付金』で「制度等について全く知らなかった」が高くなっています。



A　生活福祉資金

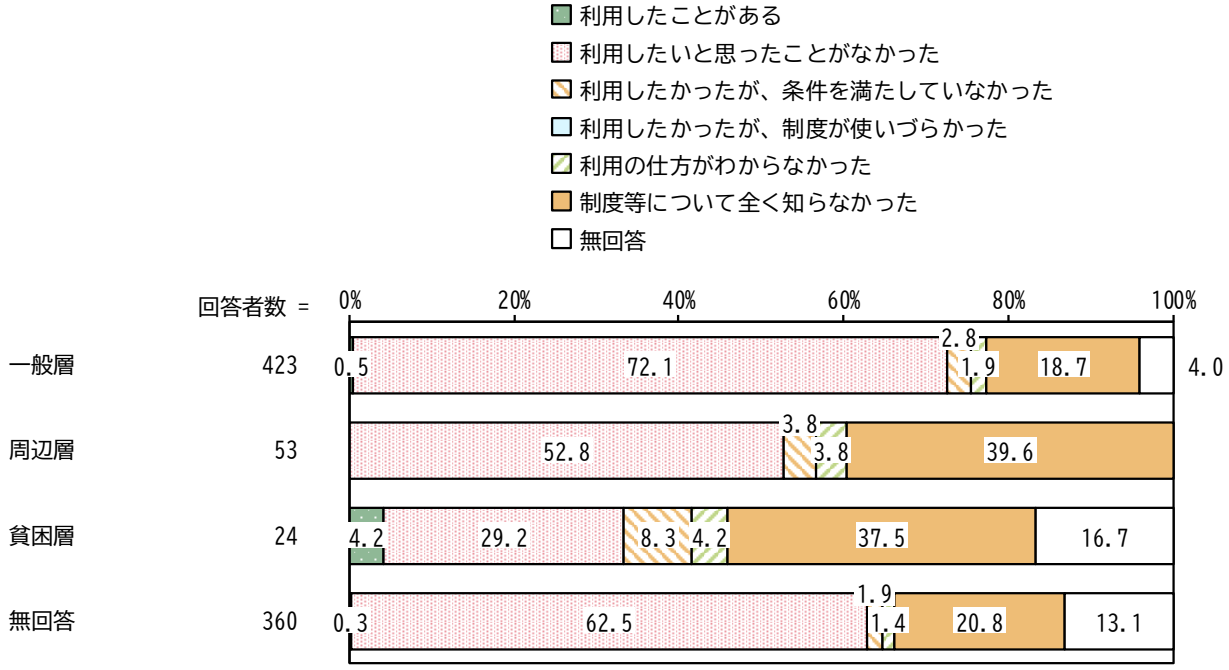
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「制度等について全く知らなかった」の割合が増加しています。一方、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

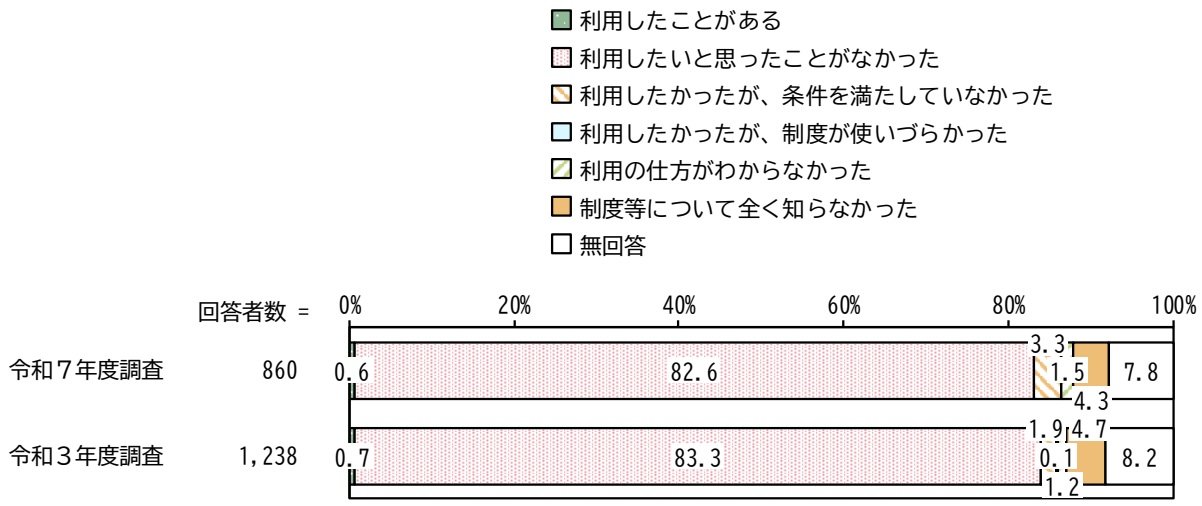
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「利用したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。また、周辺層、貧困層で「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。



B　生活保護

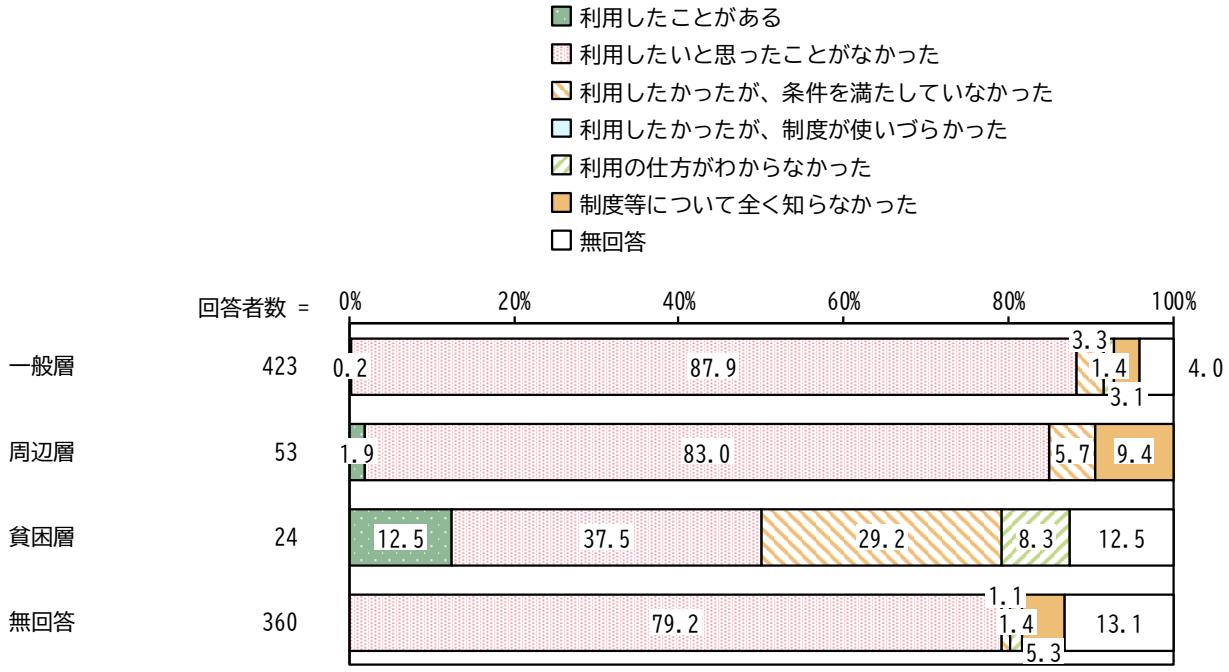
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

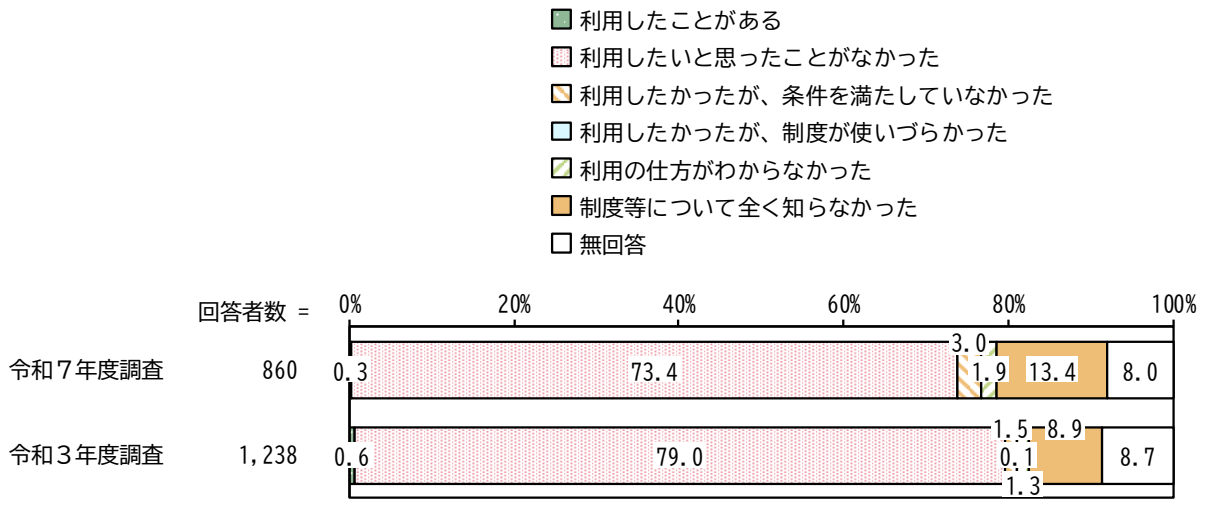
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したことがある」「利用したかったが、条件を満たしていなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



C　母子及び父子福祉資金

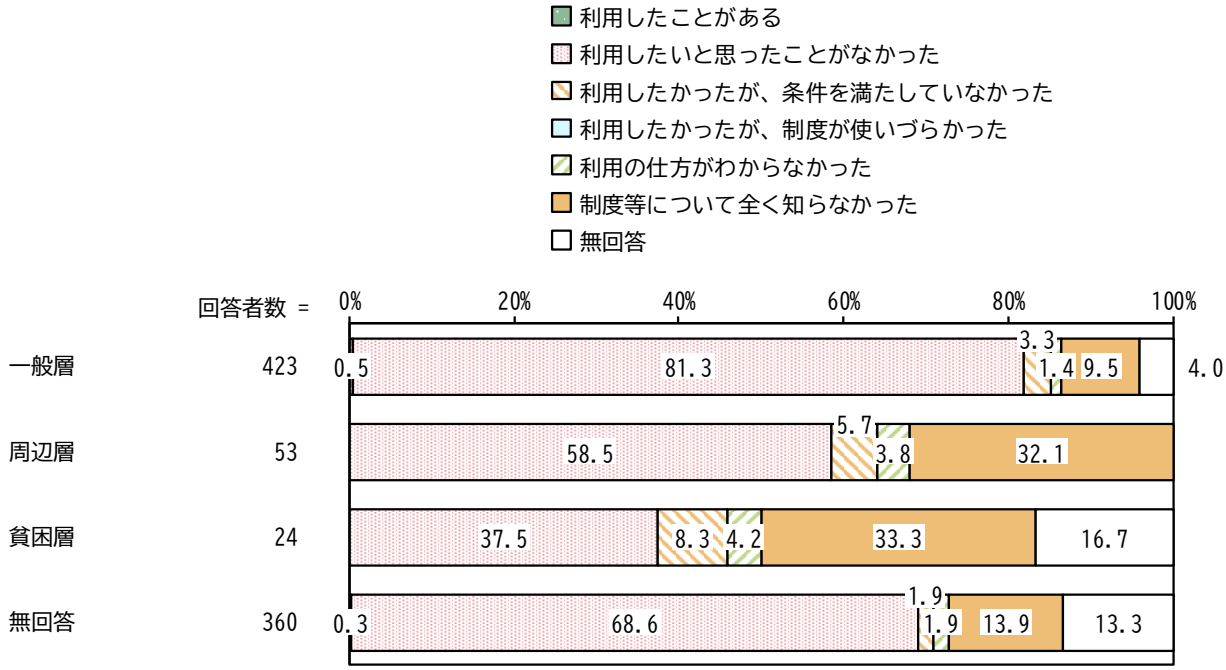
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

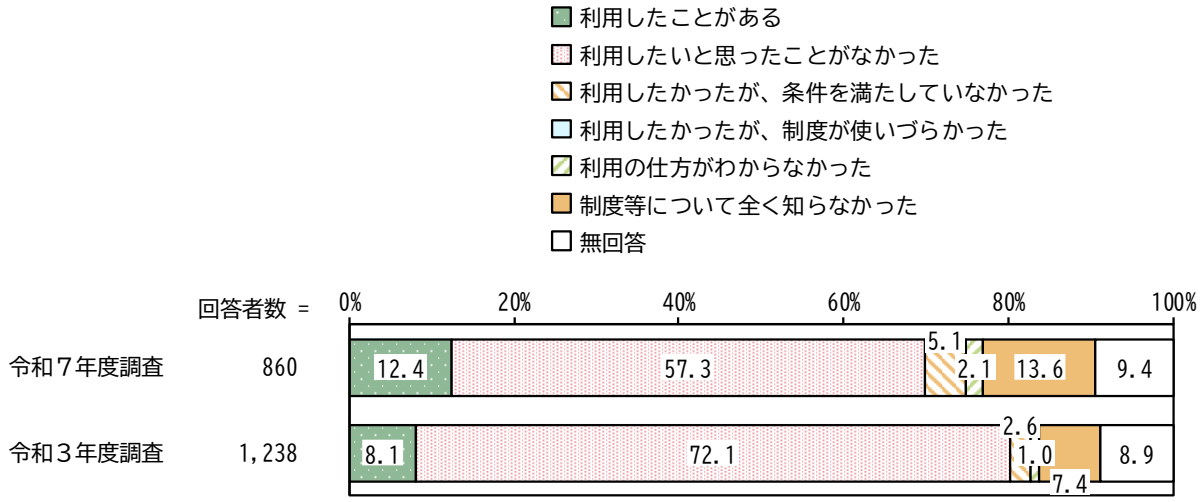
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「利用したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。また、周辺層、貧困層で「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。



D　児童扶養手当

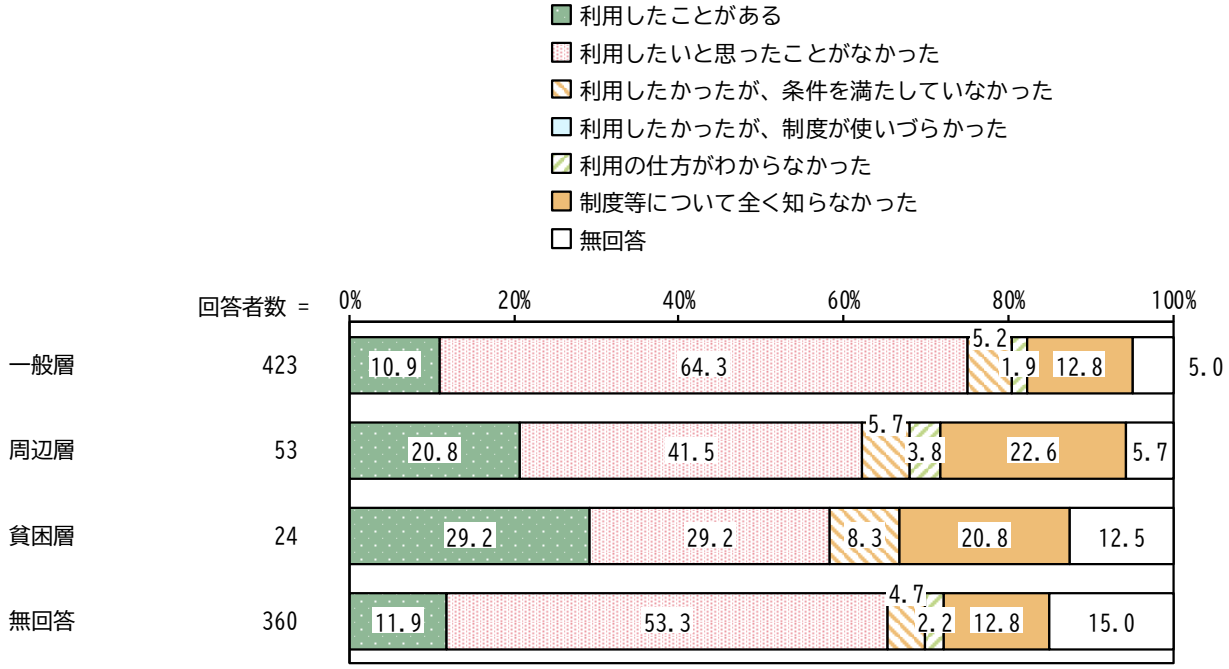
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「制度等について全く知らなかった」の割合が増加しています。一方、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

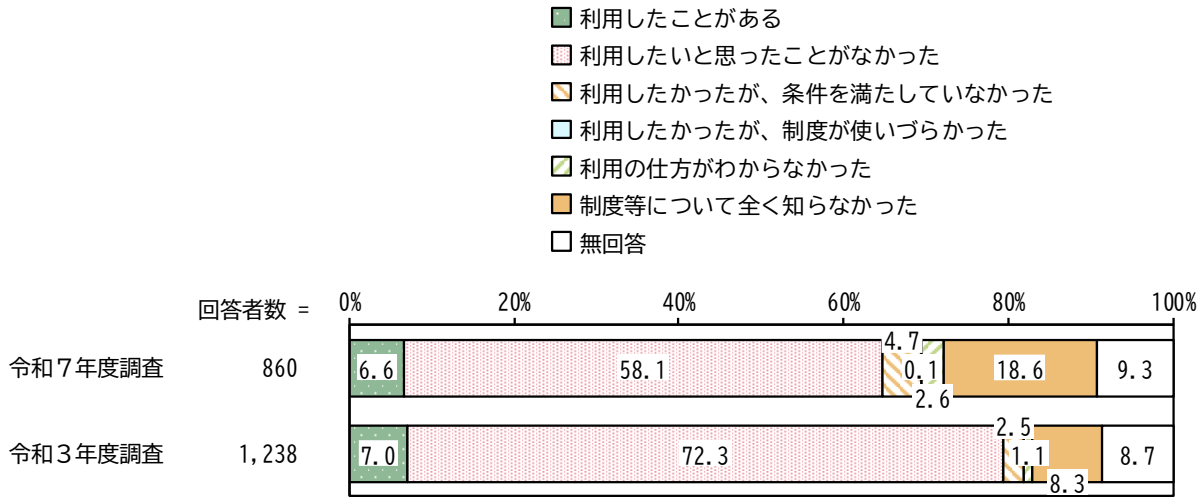
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したことがある」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



E　児童育成手当

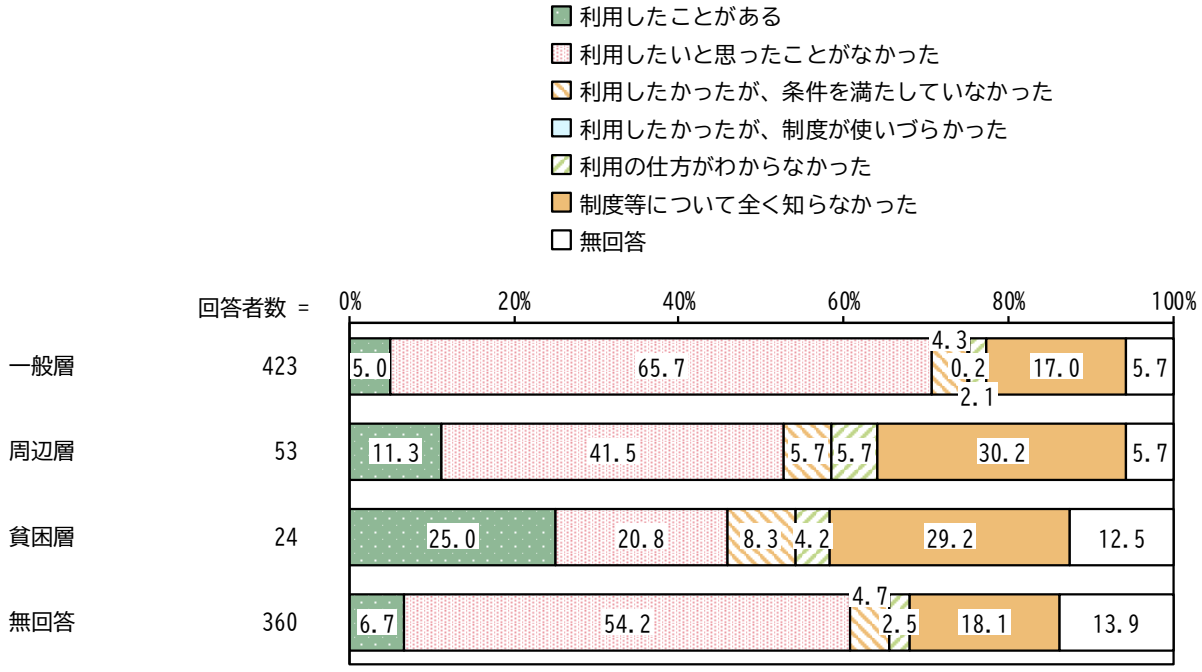
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「制度等について全く知らなかった」の割合が増加しています。一方、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

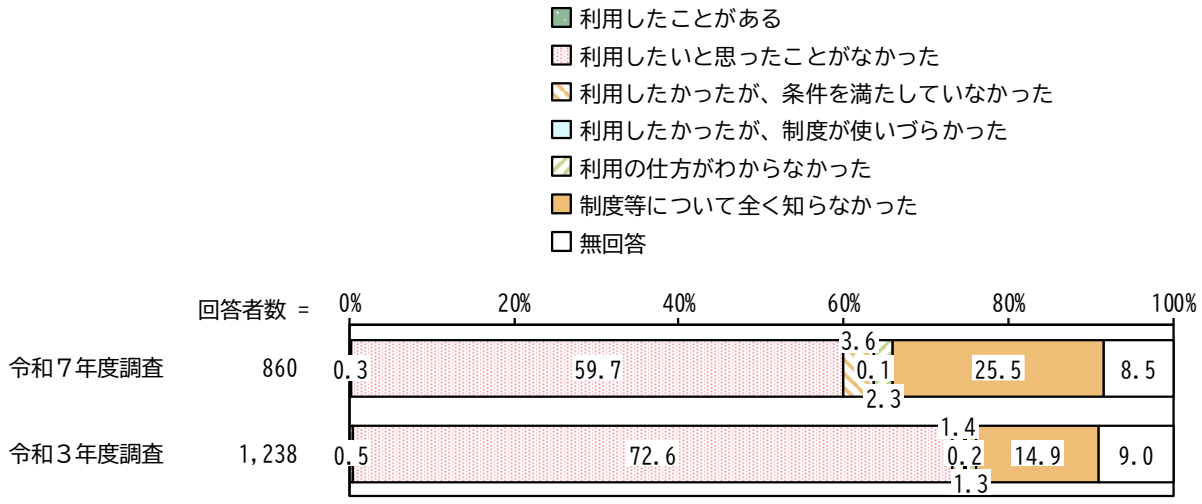
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したことがある」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。また、周辺層、貧困層で「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。



F　住居確保給付金

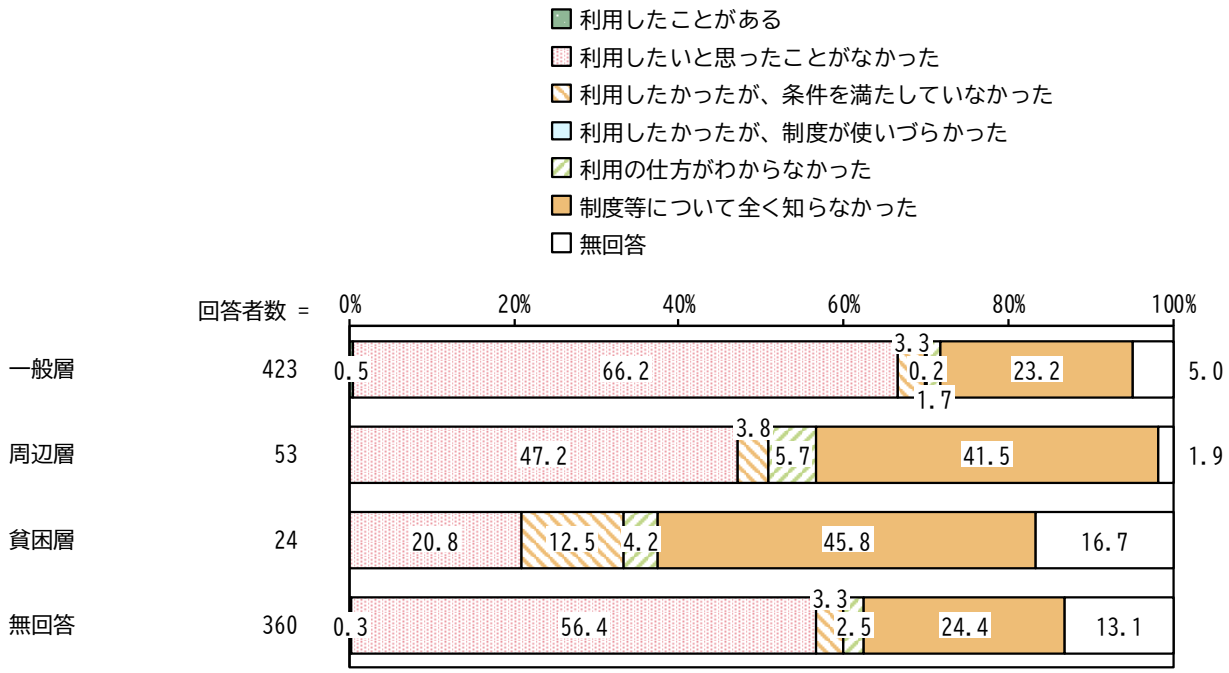
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「制度等について全く知らなかった」の割合が増加しています。一方、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

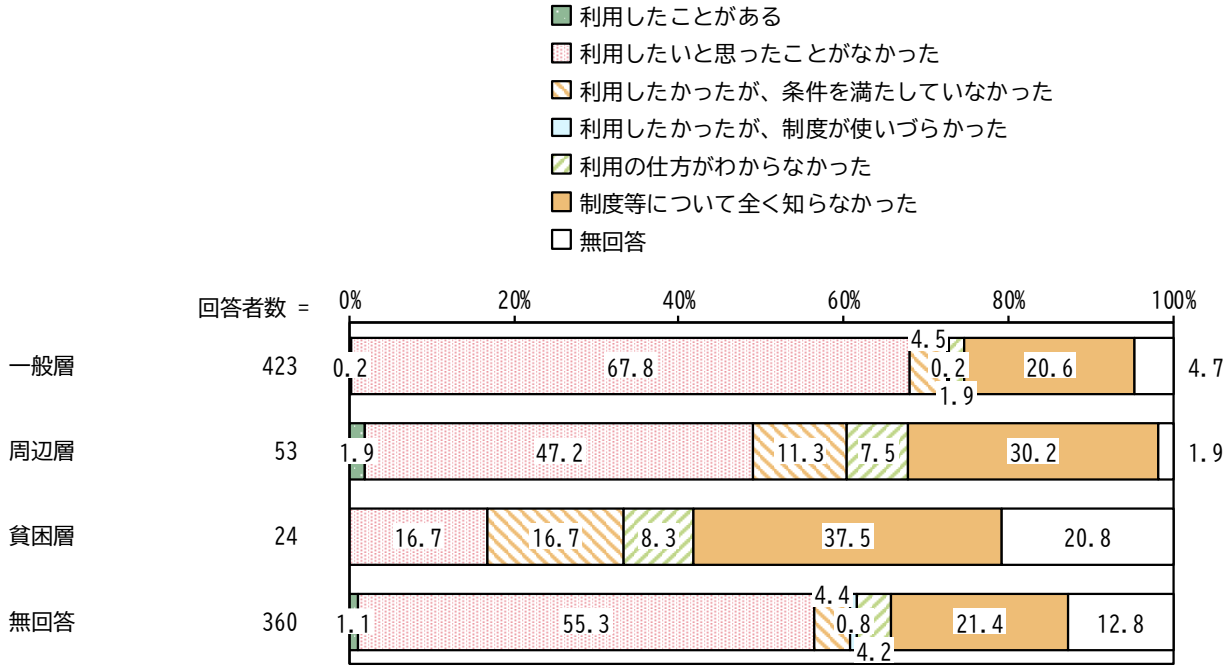
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したかったが、条件を満たしていなかった」「制度等について全く知らなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



G　受験生チャレンジ支援貸付事業

【生活困難度別】

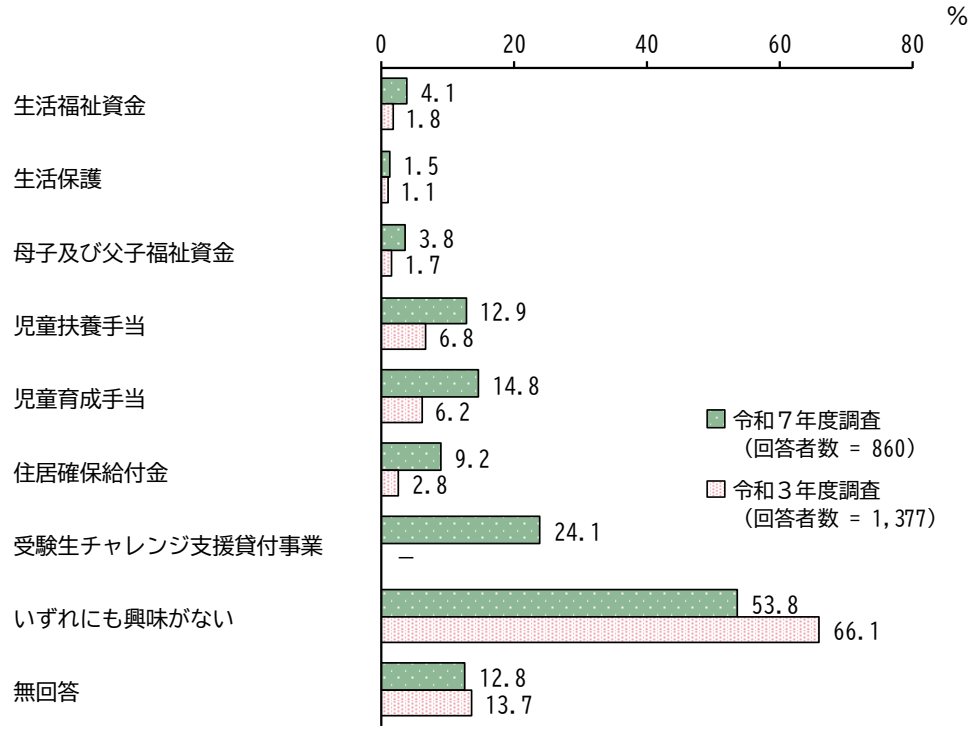
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したかったが、条件を満たしていなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。また、貧困層で「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。



問 47　あなたは、以下の支援制度等を利用することに興味がありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「いずれにも興味がない」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「受験生チャレンジ支援貸付事業」の割合が 24.1%、「児童育成手当」の割合が 14.8%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「児童扶養手当」「児童育成手当」「住居確保給付金」の割合が増加しています。一方、「いずれにも興味がない」の割合が減少しています。



※令和３年度調査では、「受験生チャレンジ支援貸付事業」がありませんでした。

【生活困難度別】

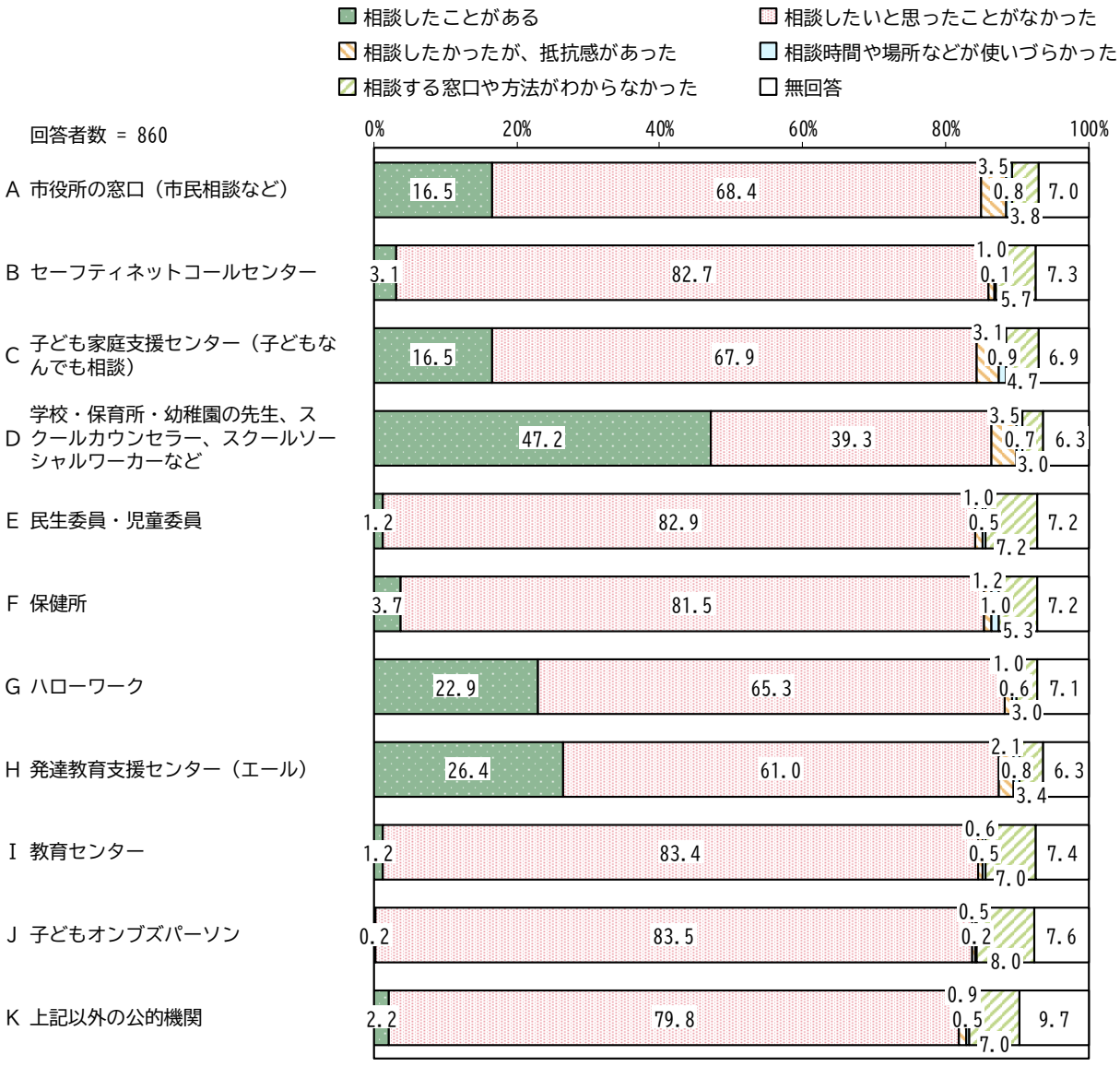
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「生活福祉資金」「生活保護」「母子及び父子福祉資金」「児童扶養手当」「児童育成手当」「住居確保給付金」「受験生チャレンジ支援貸付事業」の割合が高く、「いずれにも興味がない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	生活福祉資金	生活保護	母子及び父子福祉資金	児童扶養手当	児童育成手当	住居確保給付金	受験生チャレンジ支援貸付事業	いずれにも興味がない	無回答
全　体	860	4.1	1.5	3.8	12.9	14.8	9.2	24.1	53.8	12.8
一般層	423	2.4	0.2	0.7	10.6	11.8	7.6	21.7	64.3	6.9
周辺層	53	9.4	3.8	9.4	20.8	24.5	26.4	45.3	37.7	1.9
貧困層	24	29.2	20.8	29.2	41.7	37.5	37.5	54.2	8.3	25.0
無回答	360	3.6	1.4	5.0	12.5	15.3	6.7	21.7	46.9	20.6

問 48　あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

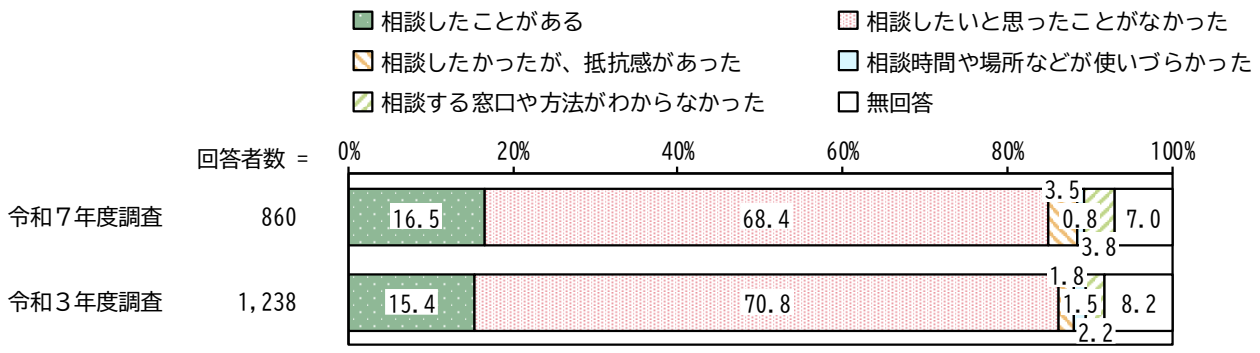
『D　学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど』で「相談したことがある」が、『J　子どもオンブズパーソン』で「相談したいと思ったことがなかった」「相談する窓口や方法がわからなかった」が、『A　市役所の窓口（市民相談など）』『D　学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど』で「相談したかったが、抵抗感があった」が、『F　保健所』で「相談時間や場所などが使いづらかった」が高くなっています。



A　市役所の窓口（市民相談など）

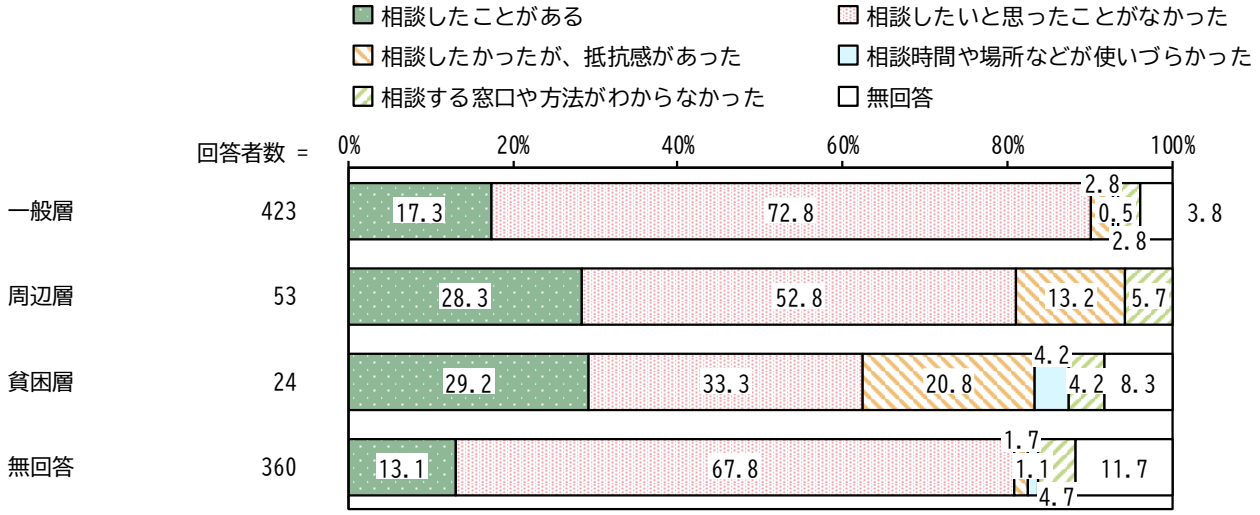
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

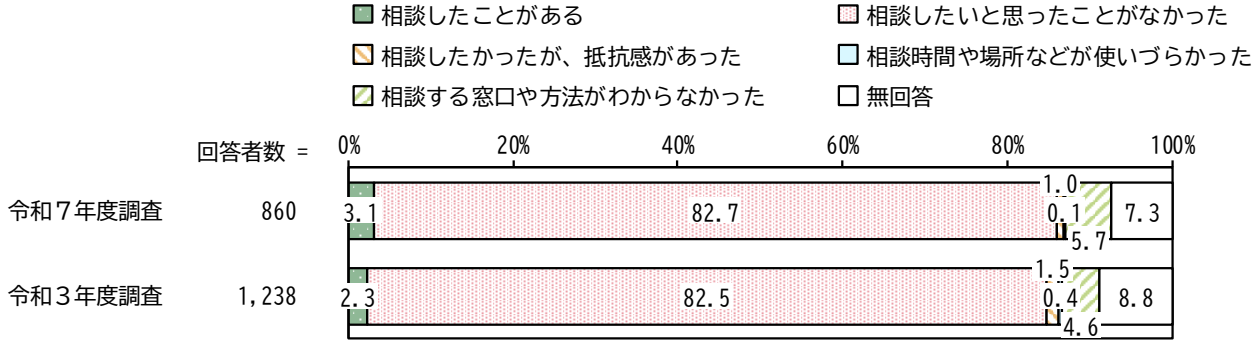
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談したことがある」「相談したかったが、抵抗感があった」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



B　セーフティネットコールセンター

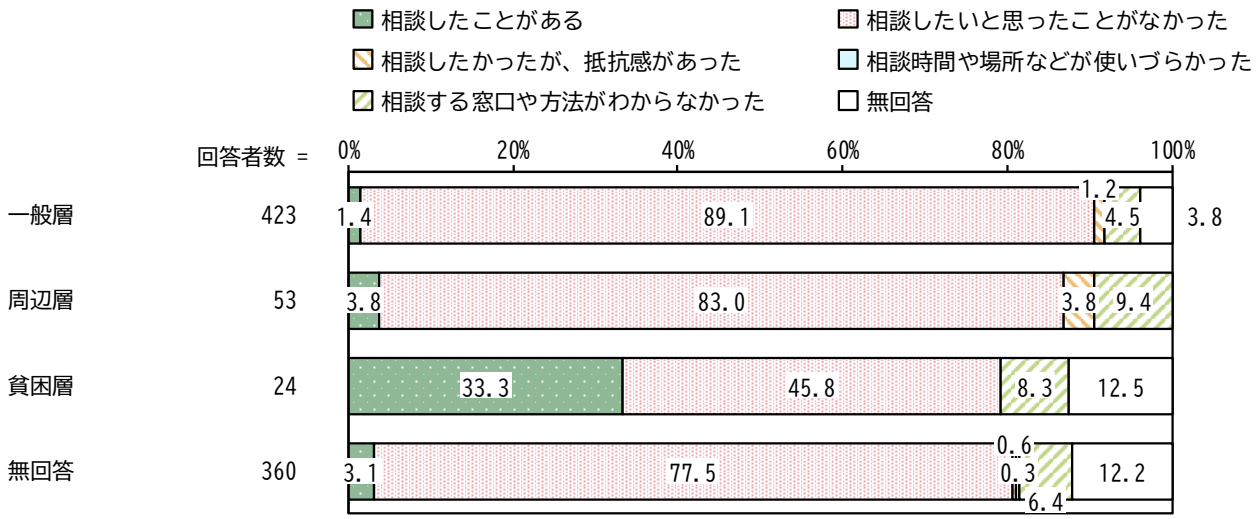
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

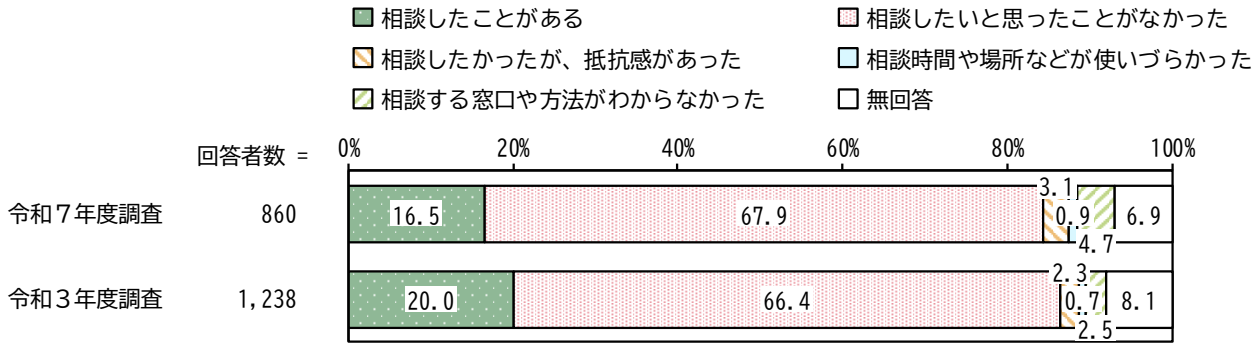
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談したことがある」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



C　子ども家庭支援センター（子どもなんでも相談）

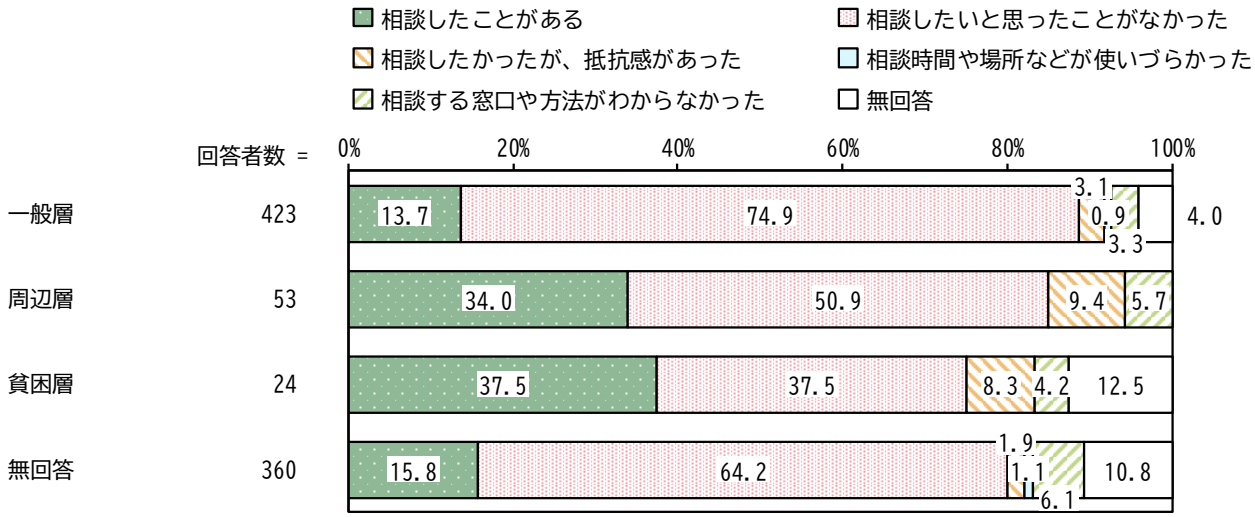
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

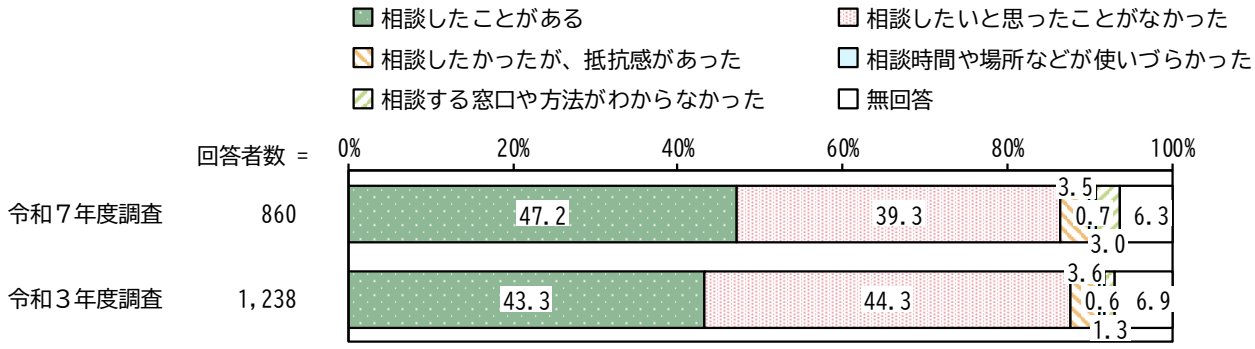
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談したことがある」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



D　学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど

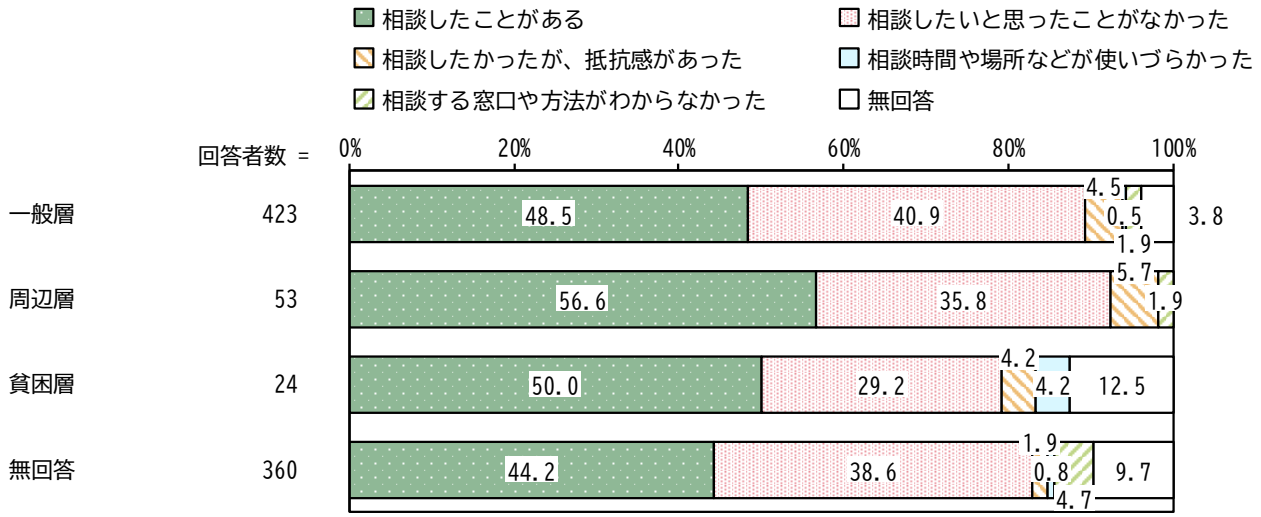
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

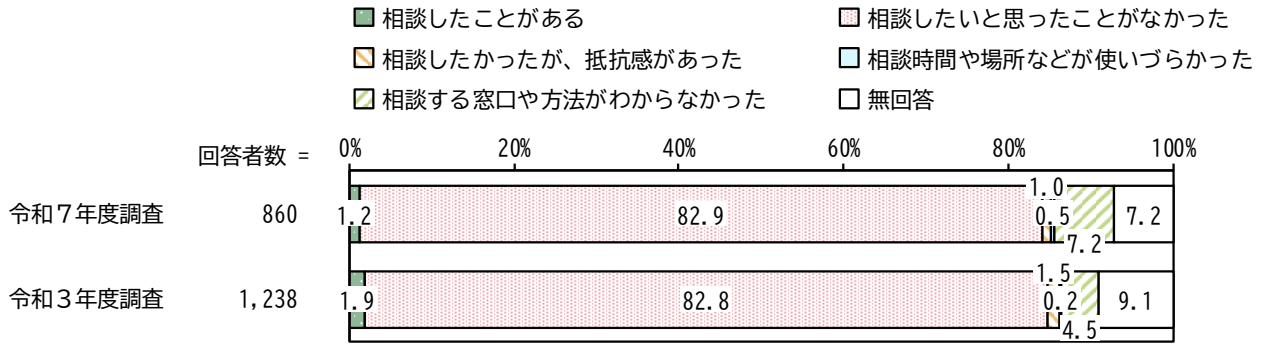
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「相談したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。



E　民生委員・児童委員

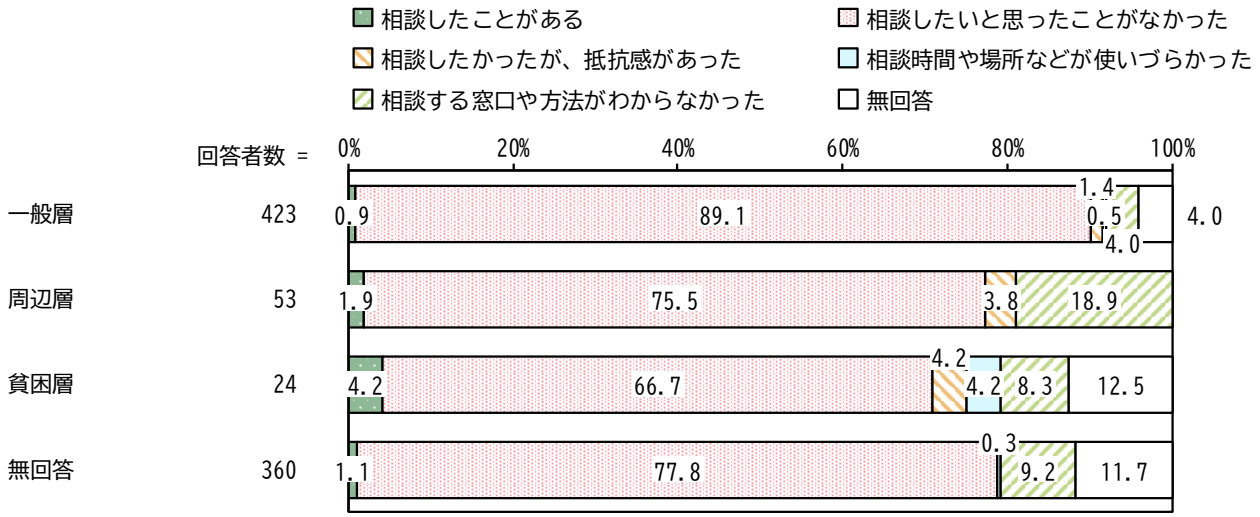
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

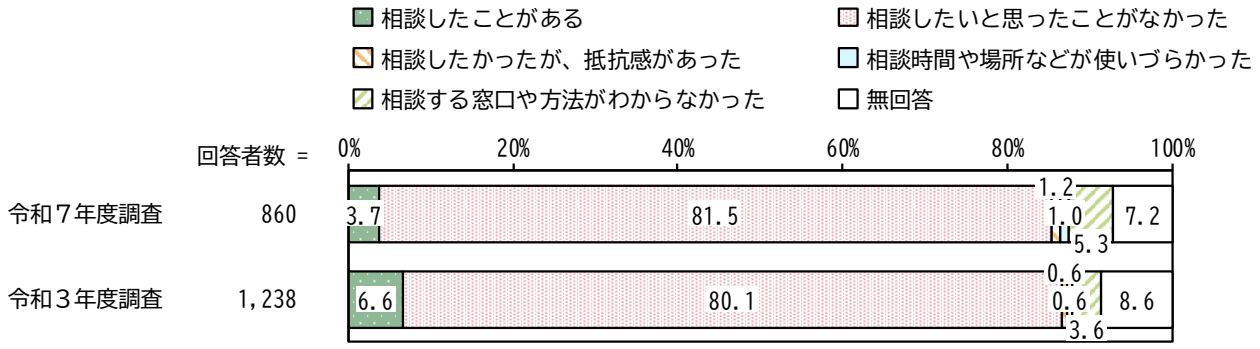
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「相談したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。



F　保健所

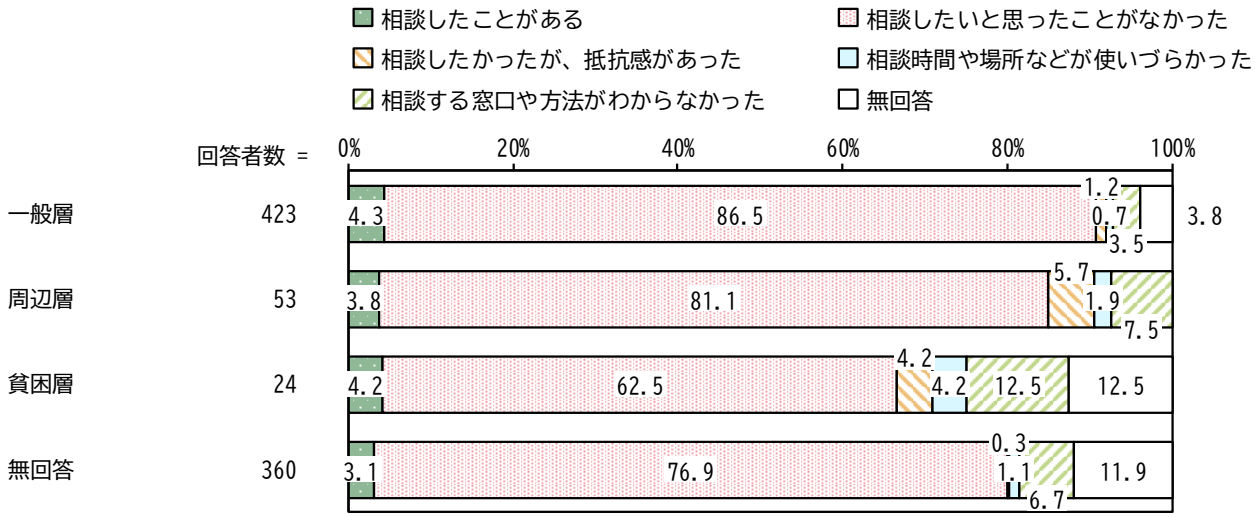
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

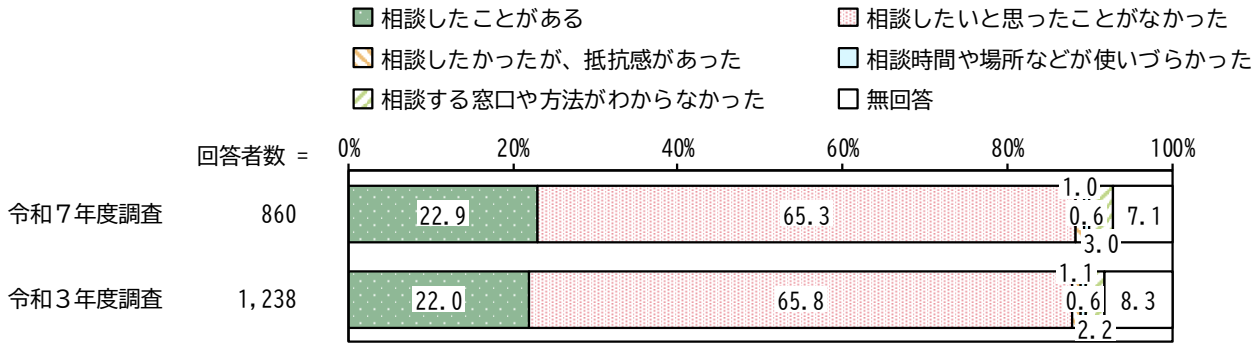
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



G　ハローワーク

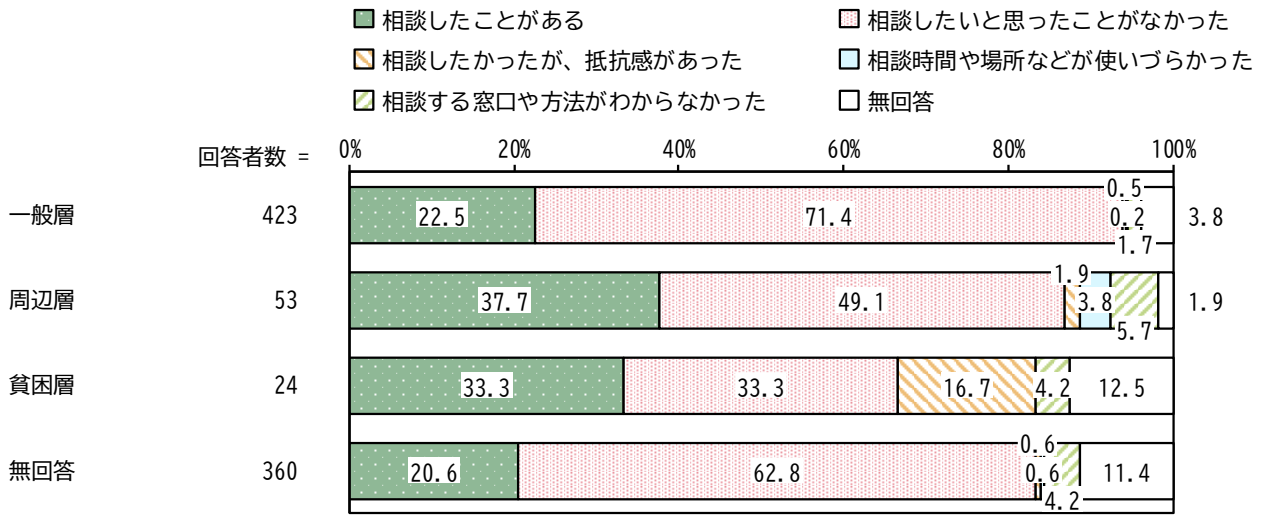
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

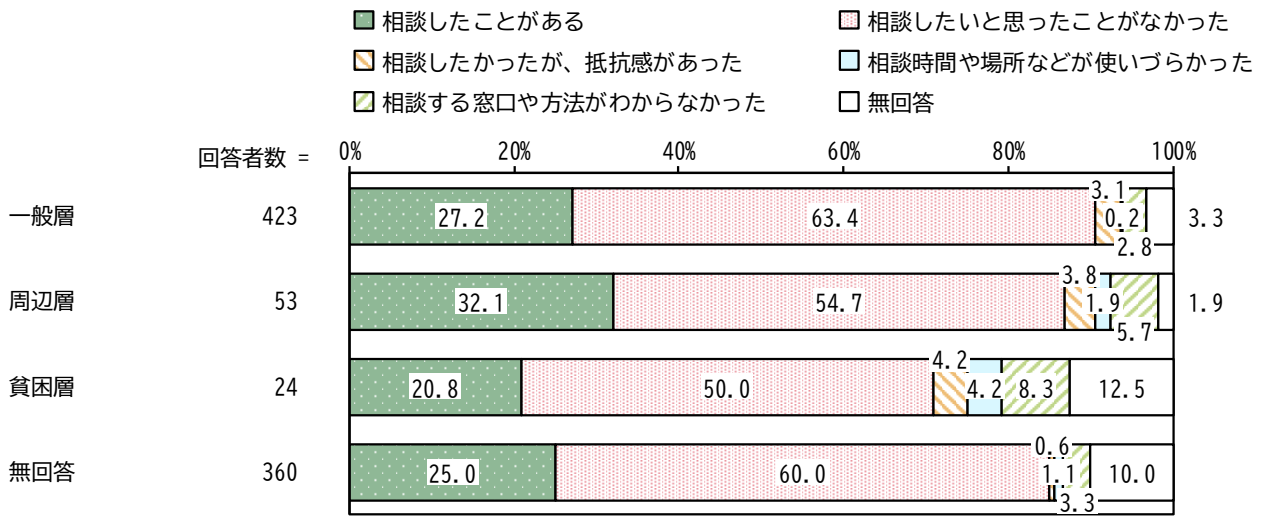
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談したかったが、抵抗感があった」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。また、周辺層で「相談したことがある」の割合が高くなっています。



H　発達教育支援センター（エール）

【生活困難度別】

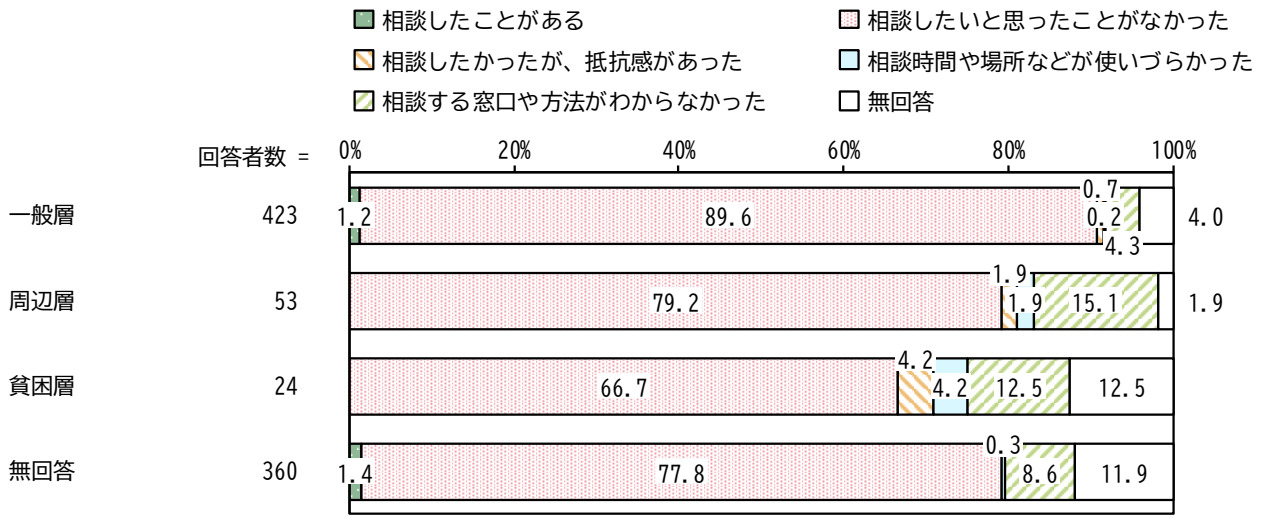
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「相談したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。



Ⅰ　教育センター

【生活困難度別】

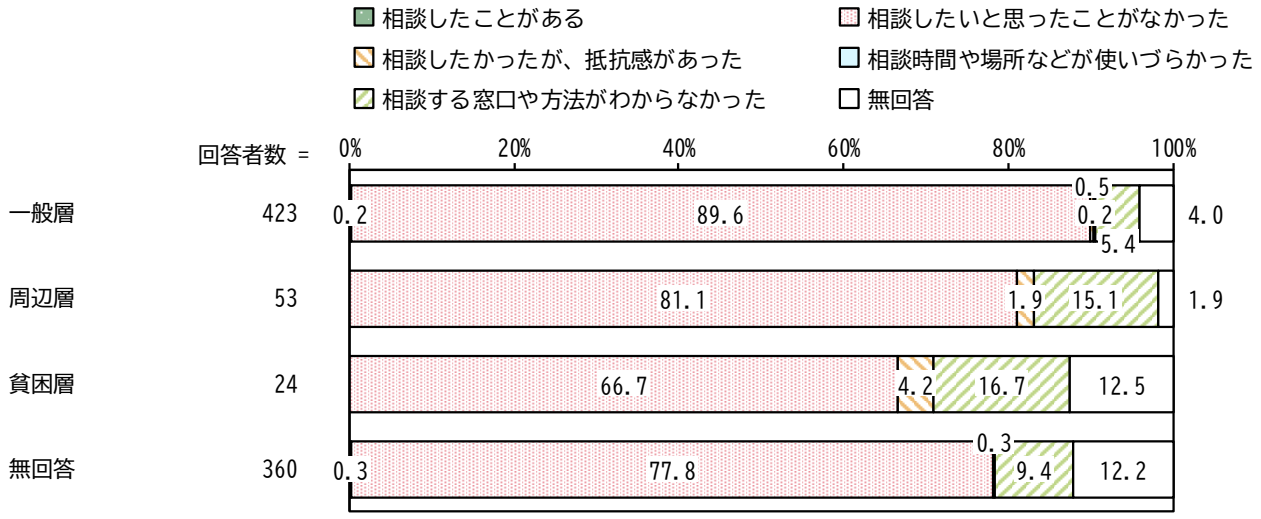
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「相談したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。



Ｊ　子どもオンブズパーソン

【生活困難度別】

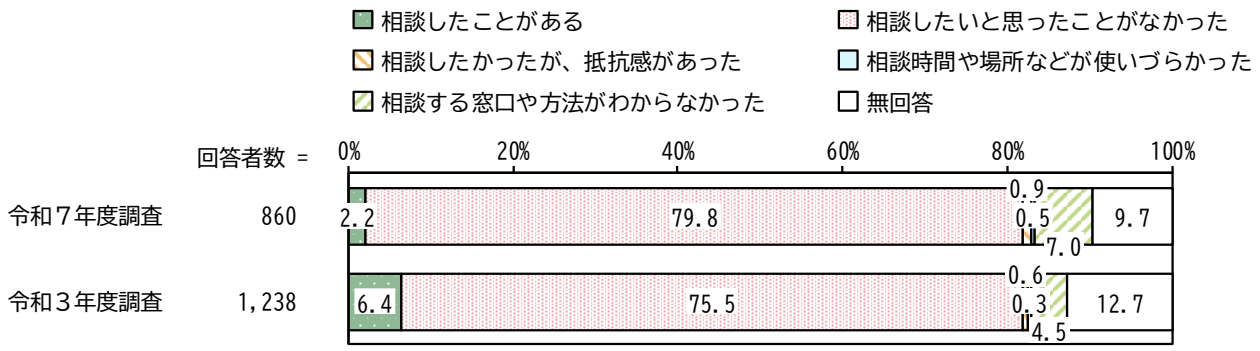
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



K　上記以外の公的機関

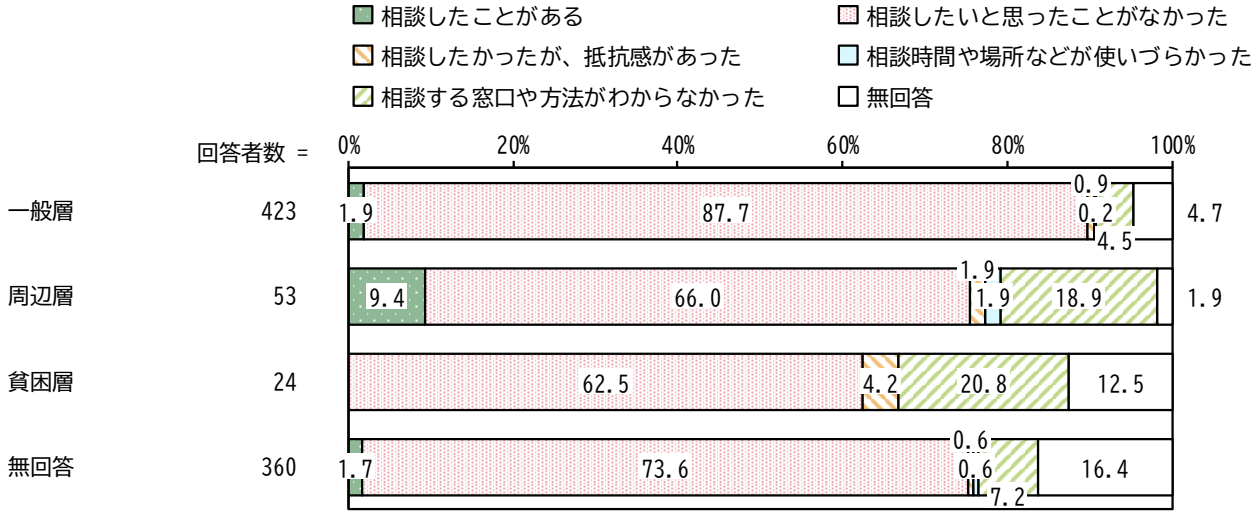
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



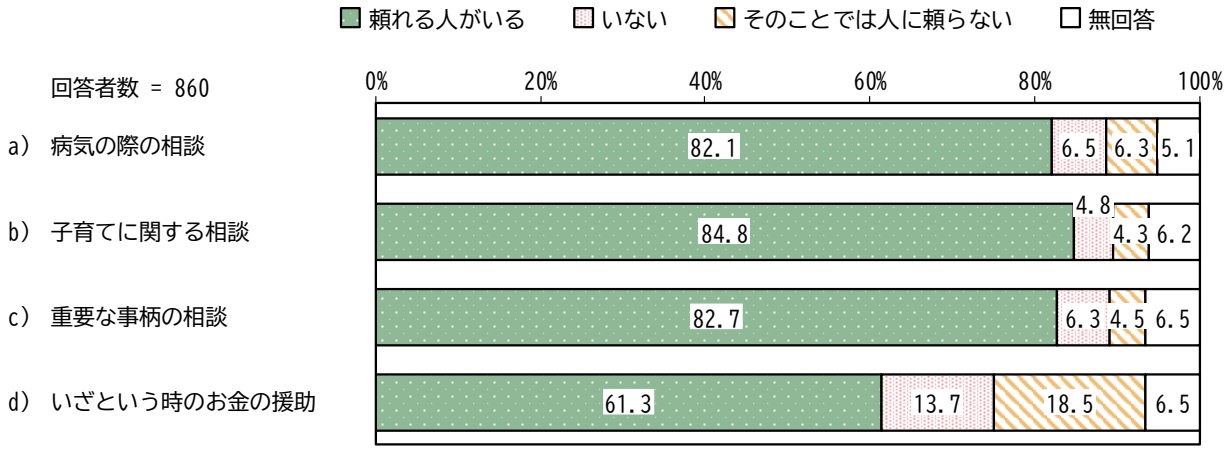
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



問 49　あなたは次に挙げる事柄（ことがら）で頼れる人はいますか。(a～d それぞれについて、「頼れる人がいる」～「そのことでは人に頼らない」のあてはまる番号１つに○)

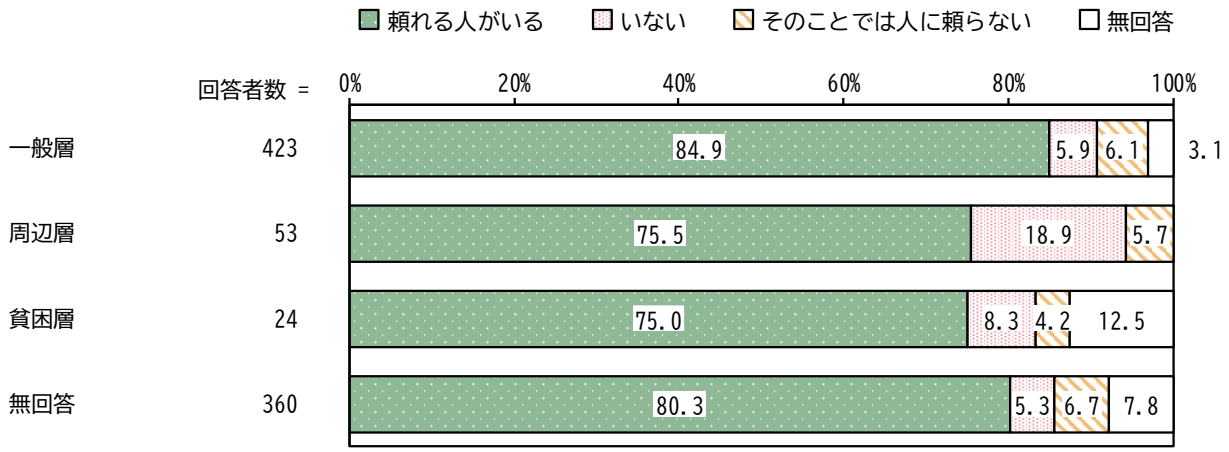
『b）子育てに関する相談』で「頼れる人がいる」が、『d）いざという時のお金の援助』で「いない」「そのことでは人に頼らない」が高くなっています。



a）病気の際の相談

【生活困難度別】

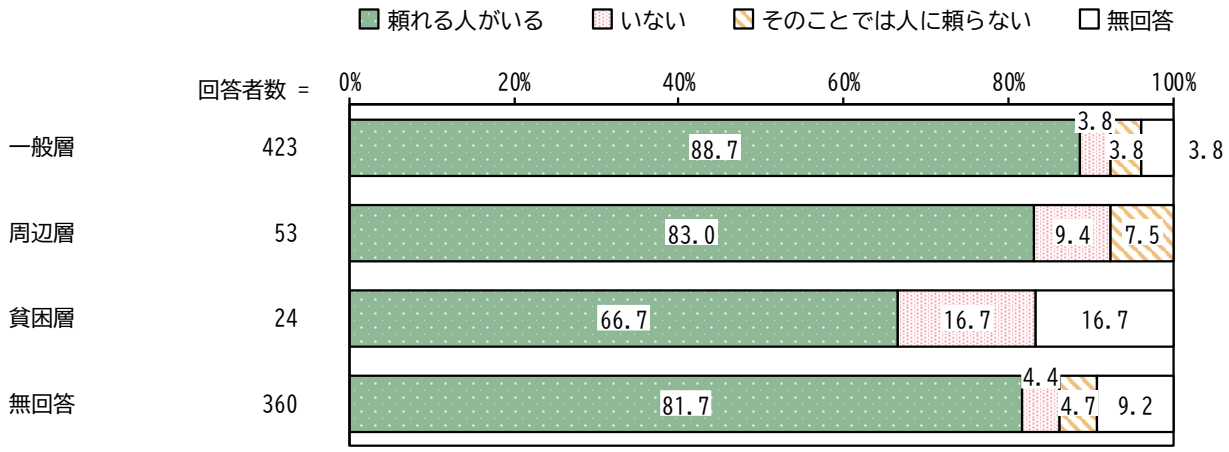
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「頼れる人がいる」の割合が高くなっています。



b）子育てに関する相談

【生活困難度別】

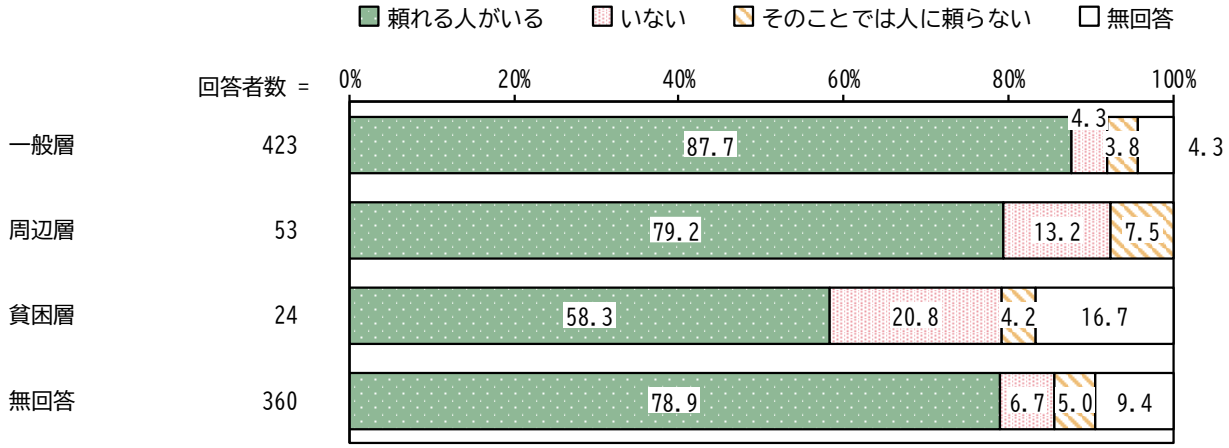
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いない」の割合が高く、「頼れる人がいる」の割合が低くなっています。



c）重要な事柄の相談

【生活困難度別】

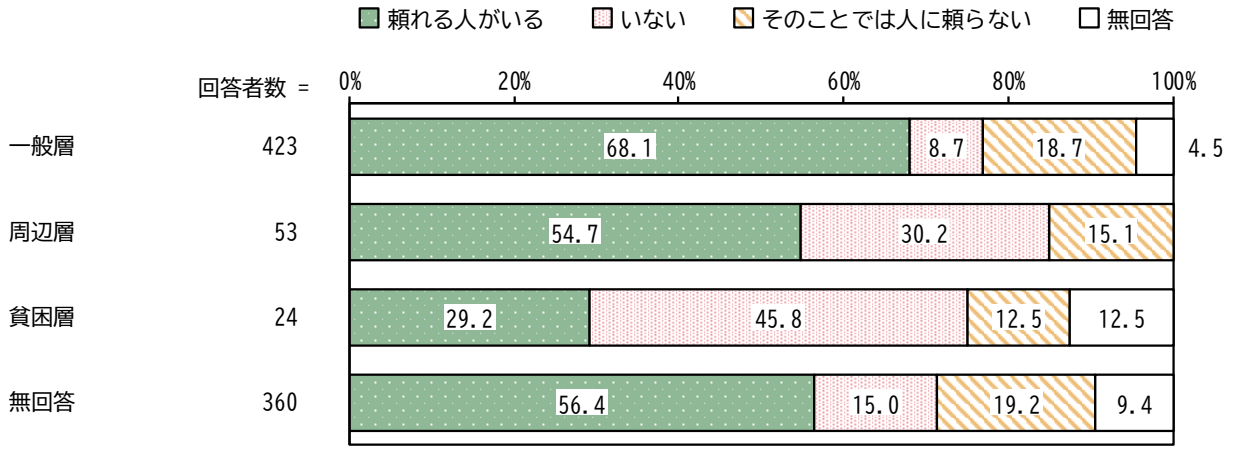
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いない」の割合が高く、「頼れる人がいる」の割合が低くなっています。



d）いざという時のお金の援助

【生活困難度別】

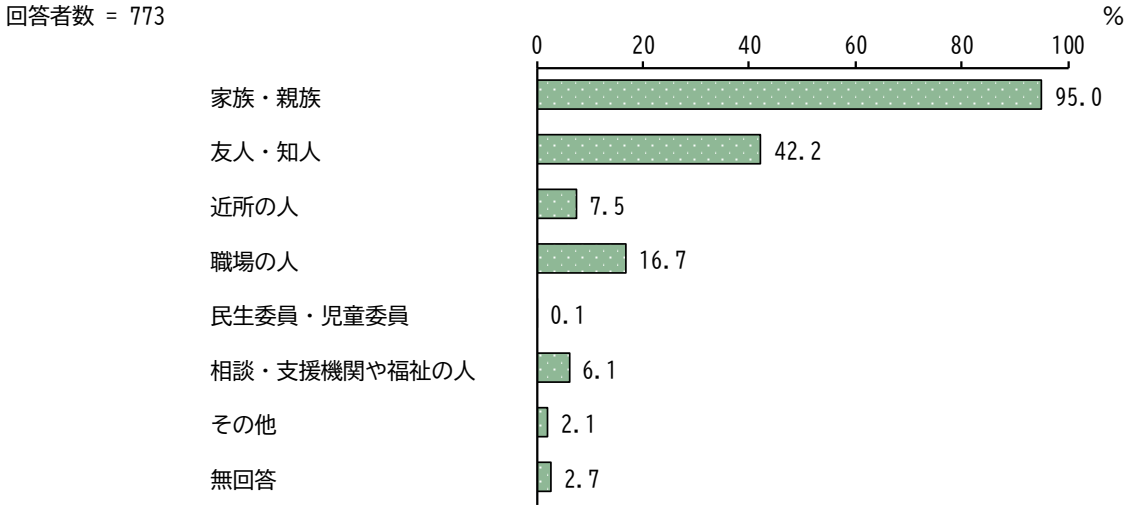
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「頼れる人がいる」「そのことでは人に頼らない」の割合が高く、「いない」の割合が低くなっています。



問 49 で「頼れる人がいる」を選んだ方にお聞きします。

問 49－１　それはだれですか。（あてはまる番号すべてに○）

「家族・親族」の割合が 95.0%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 42.2%、「職場の人」の割合が 16.7%となっています。



【生活困難度別】

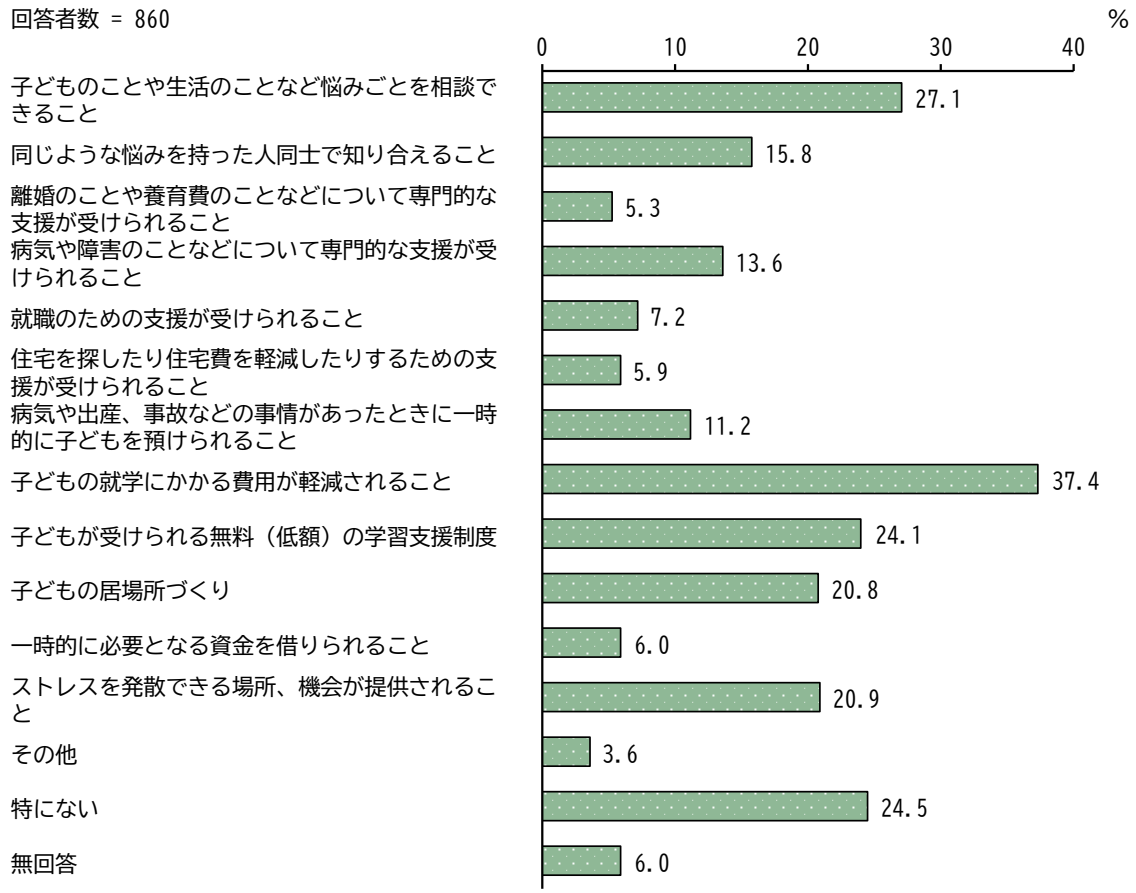
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「友人・知人」「職場の人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
全　体	773	95.0	42.2	7.5	16.7	0.1	6.1	2.1	2.7
一般層	394	97.2	42.1	9.4	17.0	0.0	5.6	1.8	1.5
周辺層	47	93.6	38.3	4.3	10.6	0.0	4.3	8.5	2.1
貧困層	19	94.7	31.6	0.0	10.5	0.0	10.5	5.3	5.3
無回答	313	92.3	43.5	6.1	17.6	0.3	6.7	1.3	4.2

問 50　あなたが現在必要としていることで、重要だと思う支援等はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が 27.1%、「子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度」の割合が 24.1%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」「就職のための支援が受けられること」「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」「子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度」「一時的に必要となる資金を借りられること」「ストレスを発散できる場所、機会が提供されること」の割合が高くなっています。また、周辺層で「同じような悩みを持った人同士で知り合えること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
全　体	860	27.1	15.8	5.3	13.6	7.2	5.9	11.2
一般層	423	26.0	14.2	2.8	12.1	6.9	4.7	8.0
周辺層	53	35.8	26.4	13.2	20.8	15.1	13.2	17.0
貧困層	24	41.7	16.7	16.7	20.8	20.8	16.7	16.7
無回答	360	26.1	16.1	6.4	13.9	5.6	5.6	13.6

区分	子どもの就学にかかる費用が軽減されること	子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度	子どもの居場所づくり	一時的に必要となる資金を借りられること	ストレスを発散できる場所、機会が提供されること	その他	特にない	無回答
全　体	37.4	24.1	20.8	6.0	20.9	3.6	24.5	6.0
一般層	34.3	19.6	20.3	4.3	18.2	3.1	28.1	3.5
周辺層	52.8	41.5	26.4	11.3	20.8	0.0	15.1	0.0
貧困層	62.5	41.7	16.7	29.2	29.2	4.2	8.3	8.3
無回答	37.2	25.6	20.8	5.8	23.6	4.7	22.8	9.7

【世帯分類別】

世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」「就職のための支援が受けられること」「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」「子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度」の割合が高くなっています。

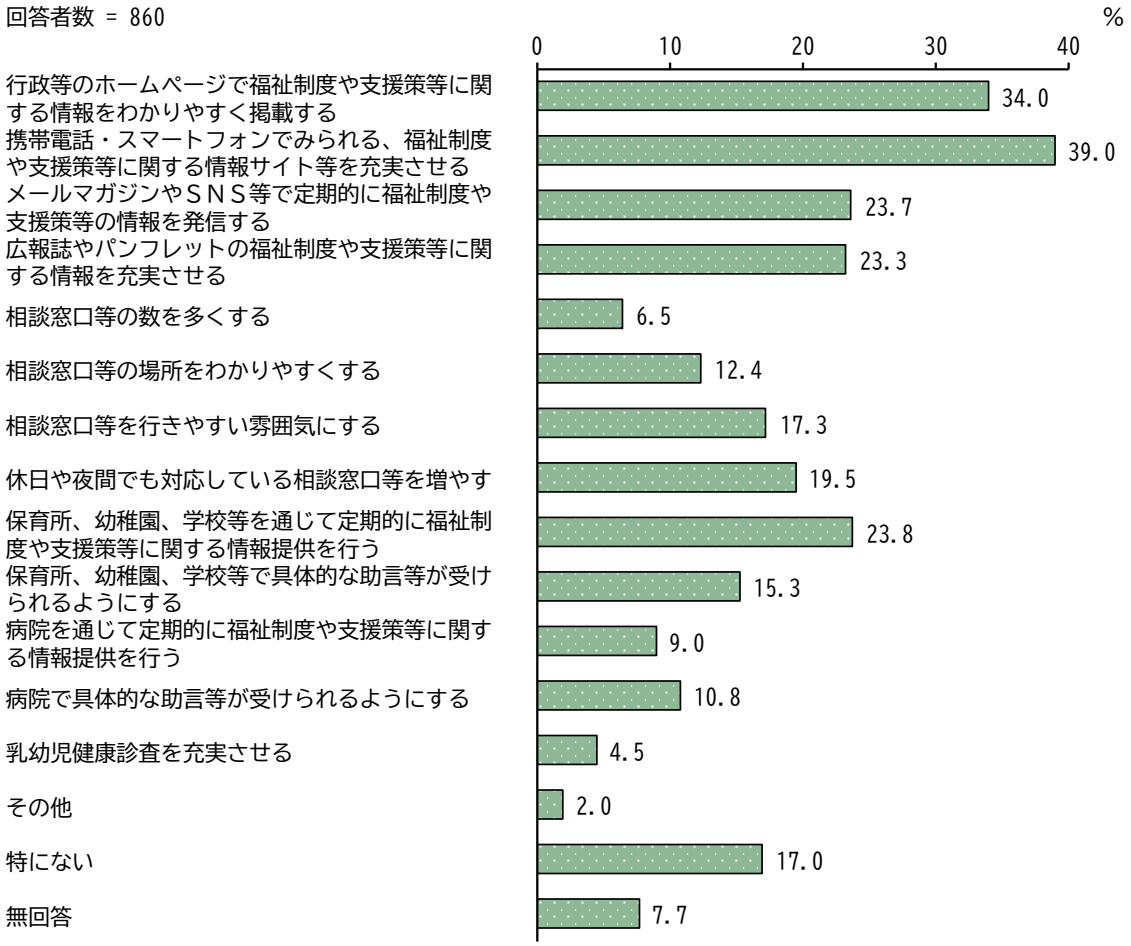
単位：％

区分	回答者数（件）	子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
全　体	860	27.1	15.8	5.3	13.6	7.2	5.9	11.2
父親（ひとり親）	80	25.0	16.3	3.8	12.5	3.8	3.8	10.0
母親（ひとり親）	63	39.7	17.5	23.8	19.0	19.0	20.6	23.8
ふたり親（２世帯）	662	26.1	15.7	3.9	13.0	6.6	4.7	10.6
ふたり親（３世帯）	36	27.8	19.4	2.8	5.6	5.6	5.6	5.6
無回答	19	26.3	5.3	5.3	36.8	5.3	10.5	5.3

区分	子どもの就学にかかる費用が軽減されること	子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度	子どもの居場所づくり	一時的に必要となる資金を借りられること	ストレスを発散できる場所、機会が提供されること	その他	特にない	無回答
全　体	37.4	24.1	20.8	6.0	20.9	3.6	24.5	6.0
父親（ひとり親）	38.8	20.0	18.8	5.0	16.3	3.8	25.0	7.5
母親（ひとり親）	52.4	41.3	20.6	7.9	22.2	0.0	17.5	0.0
ふたり親（２世帯）	36.1	22.5	21.3	5.9	21.8	3.3	25.5	6.0
ふたり親（３世帯）	38.9	33.3	11.1	5.6	22.2	5.6	22.2	5.6
無回答	26.3	21.1	31.6	10.5	5.3	21.1	15.8	21.1

問 51　あなたが必要な支援を受けるために重要だと思うことを教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する」の割合が 34.0%、「保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う」の割合が 23.8%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談窓口等の数を多くする」「相談窓口等の場所をわかりやすくする」の割合が高く、「行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する」の割合が低くなっています。また、貧困層で「携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる」「広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する	携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる	メールマガジンやSNS等で定期的に福祉制度や支援策等の情報を発信する	広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる	相談窓口等の数を多くする	相談窓口等の場所をわかりやすくする	相談窓口等を行きやすい雰囲気にする	休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす
全　体	860	34.0	39.0	23.7	23.3	6.5	12.4	17.3	19.5
一般層	423	36.2	41.6	26.0	24.1	5.7	10.9	15.4	19.6
周辺層	53	35.8	39.6	28.3	22.6	7.5	18.9	26.4	26.4
貧困層	24	29.2	54.2	8.3	37.5	16.7	29.2	20.8	25.0
無回答	360	31.4	34.7	21.4	21.4	6.7	12.2	18.1	18.1

区分	保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う	保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする	病院を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う	病院で具体的な助言等が受けられるようにする	乳幼児健康診査を充実させる	その他	特にない	無回答
全　体	23.8	15.3	9.0	10.8	4.5	2.0	17.0	7.7
一般層	24.1	15.8	10.6	11.8	4.0	1.7	18.2	4.0
周辺層	32.1	15.1	11.3	15.1	9.4	3.8	18.9	0.0
貧困層	8.3	12.5	12.5	12.5	4.2	0.0	4.2	16.7
無回答	23.3	15.0	6.4	8.9	4.4	2.2	16.1	12.5

【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する」「メールマガジンやＳＮＳ等で定期的に福祉制度や支援策等の情報を発信する」「広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる」「保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う」、母親（ひとり親）、ふたり親（３世帯）で「携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる」、母親（ひとり親）で「相談窓口等の場所をわかりやすくする」「休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす」の割合が高くなっています。

単位：％

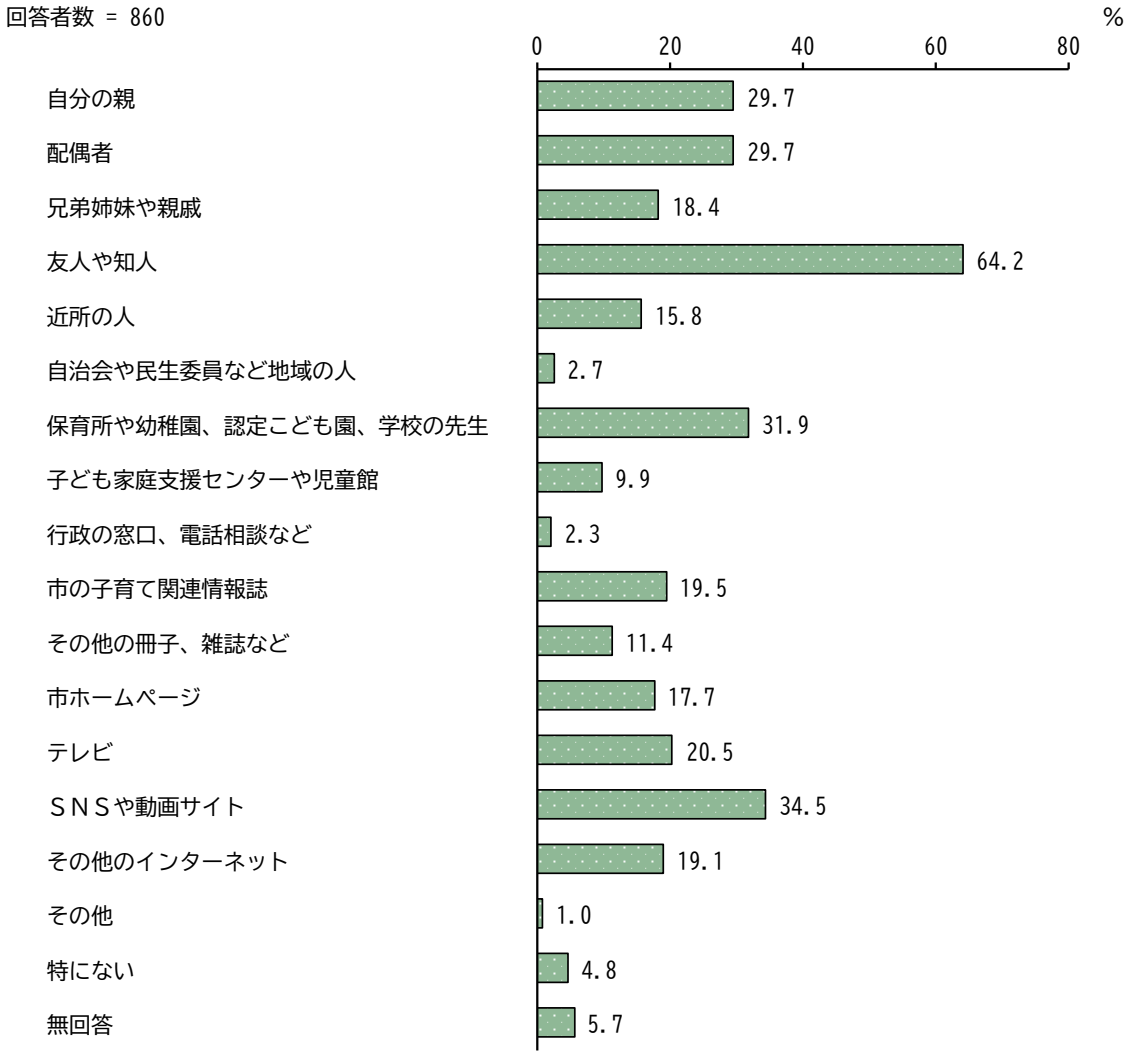
区分	回答者数（件）	行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する	携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる	メールマガジンやＳＮＳ等で定期的に福祉制度や支援策等の情報を発信する	広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる	相談窓口等の数を多くする
全　体	860	34.0	39.0	23.7	23.3	6.5
父親（ひとり親）	80	37.5	38.8	20.0	18.8	6.3
母親（ひとり親）	63	36.5	46.0	23.8	17.5	6.3
ふたり親（２世帯）	662	33.1	38.2	23.6	24.0	6.8
ふたり親（３世帯）	36	47.2	44.4	44.4	30.6	2.8
無回答	19	15.8	31.6	5.3	21.1	5.3

区分	相談窓口等の場所をわかりやすくする	相談窓口等を行きやすい雰囲気にする	休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす	保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う	保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする	病院を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う
全　体	12.4	17.3	19.5	23.8	15.3	9.0
父親（ひとり親）	10.0	5.0	17.5	22.5	13.8	2.5
母親（ひとり親）	19.0	20.6	27.0	15.9	9.5	4.8
ふたり親（２世帯）	11.8	18.3	19.6	24.2	15.6	10.3
ふたり親（３世帯）	11.1	16.7	11.1	33.3	16.7	5.6
無回答	26.3	26.3	15.8	26.3	31.6	10.5

区分	病院で具体的な助言等が受けられるようにする	乳幼児健康診査を充実させる	その他	特にない	無回答
全　体	10.8	4.5	2.0	17.0	7.7
父親（ひとり親）	11.3	2.5	3.8	15.0	6.3
母親（ひとり親）	4.8	4.8	0.0	12.7	6.3
ふたり親（２世帯）	11.3	5.0	2.0	17.8	7.7
ふたり親（３世帯）	13.9	0.0	0.0	13.9	5.6
無回答	5.3	5.3	5.3	15.8	21.1

問 52　あなたは、子育てに関する情報をどこから手に入れますか。（あてはまるものすべてに○）

「友人や知人」の割合が 64.2%と最も高く、次いで「ＳＮＳや動画サイト」の割合が 34.5%、「保育所や幼稚園、認定こども園、学校の先生」の割合が 31.9%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「配偶者」「友人や知人」「近所の人」「保育所や幼稚園、認定こども園、学校の先生」の割合が高くなっています。また、貧困層で「自分の親」、周辺層で「ＳＮＳや動画サイト」の割合が高くなっています。

単位：％

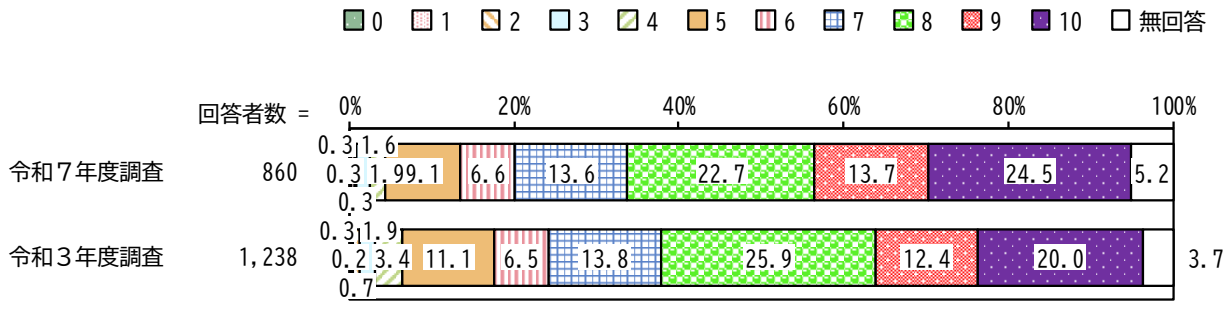
区分	回答者数（件）	自分の親	配偶者	兄弟姉妹や親戚	友人や知人	近所の人	自治会や民生委員など地域の人	保育所や幼稚園、認定こども園、学校の先生	子ども家庭支援センターや児童館	行政の窓口、電話相談など
全　体	860	29.7	29.7	18.4	64.2	15.8	2.7	31.9	9.9	2.3
一般層	423	31.9	31.2	19.4	66.7	17.3	2.8	32.4	10.6	2.1
周辺層	53	24.5	26.4	11.3	60.4	11.3	5.7	28.3	7.5	3.8
貧困層	24	41.7	4.2	20.8	45.8	8.3	0.0	25.0	16.7	8.3
無回答	360	26.9	30.0	18.1	63.1	15.3	2.2	32.2	8.9	1.9

区分	市の子育て関連情報誌	その他の冊子、雑誌など	市ホームページ	テレビ	ＳＮＳや動画サイト	その他のインターネット	その他	特にない	無回答
全　体	19.5	11.4	17.7	20.5	34.5	19.1	1.0	4.8	5.7
一般層	20.8	14.2	19.9	24.6	35.2	22.2	0.9	4.3	3.3
周辺層	28.3	5.7	26.4	17.0	45.3	20.8	0.0	3.8	1.9
貧困層	12.5	0.0	12.5	8.3	16.7	12.5	0.0	0.0	12.5
無回答	17.2	9.7	14.2	16.9	33.3	15.6	1.4	5.8	8.6

問 53　この１年を振り返って、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を０点とすると、何点くらいになると思いますか。０～10 の数字から１つだけ選んでください。（１つに○）

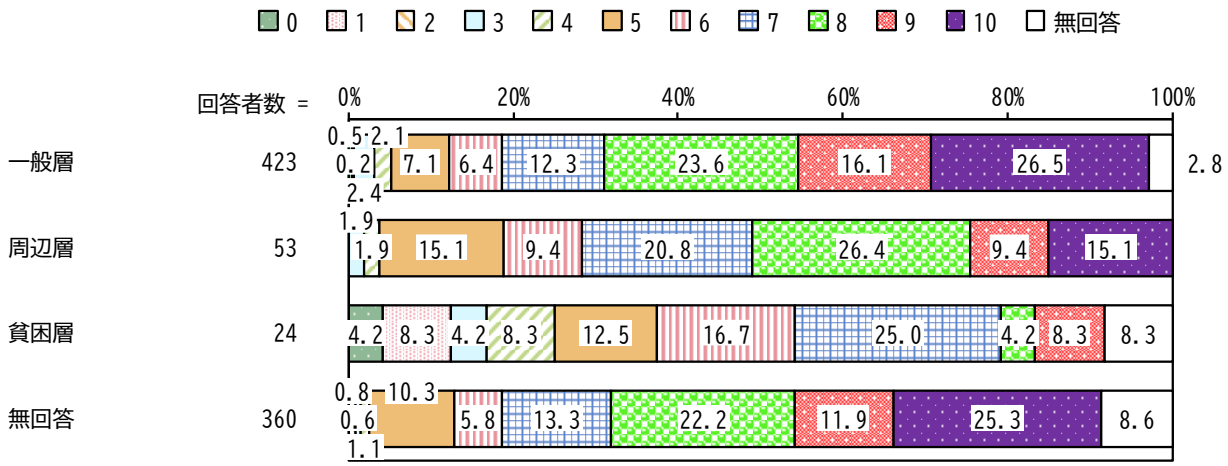
「10」の割合が 24.5%と最も高く、次いで「8」の割合が 22.7%、「9」の割合が 13.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「1」「4」「6」「7」、周辺層で「5」の割合が高くなっています。



問 54　あなたが今、困っていることや悩みごとがありましたら、ご自由にお書きください。

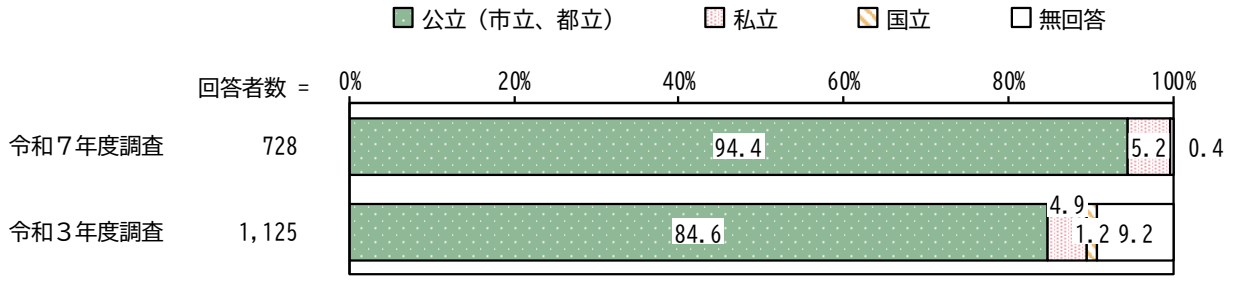
※別冊　自由記述結果報告書

５　中学生保護者

問２はお子さんが学校に通っている方のみご回答ください。

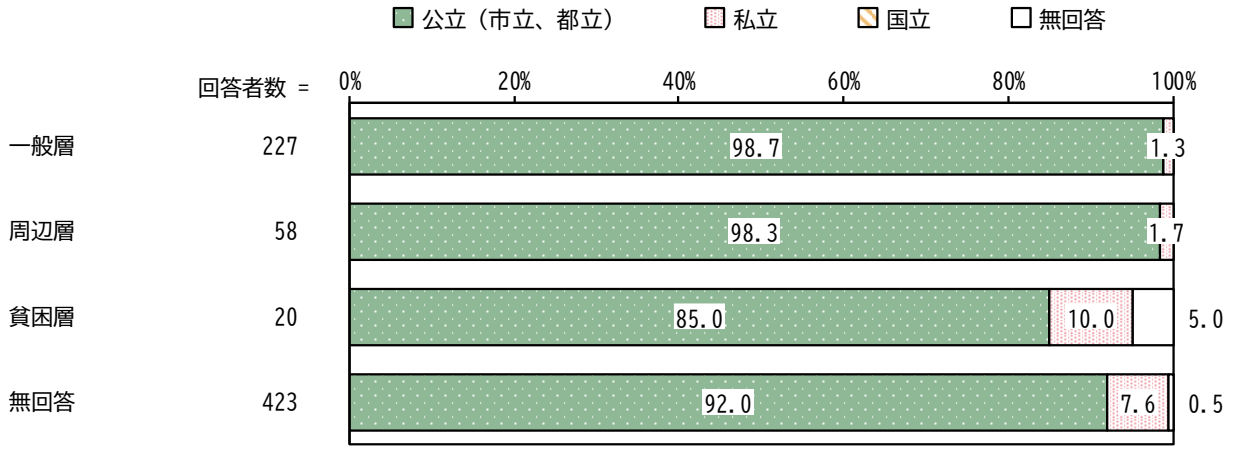
問２　お子さんの通っている学校の種類は、以下のどれになりますか。（１つに○）
公立の場合は、学校の名前を書いてください。

「公立（市立、都立）」の割合が 94.4%、「私立」の割合が 5.2%となっています。
令和３年度調査と比較すると、「公立（市立、都立）」の割合が増加しています。



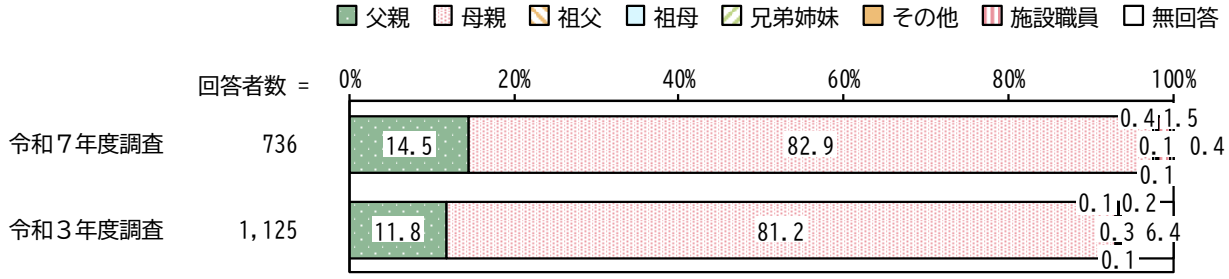
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「私立」の割合が高く、「公立（市立、都立）」の割合が低くなっています。



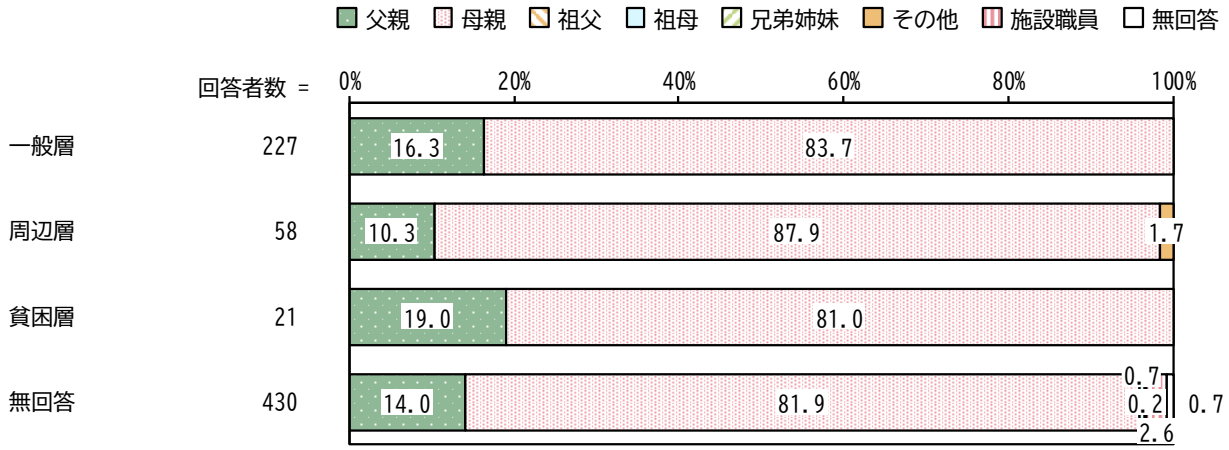
問３　お子さんとあなた（回答者）との関係は、以下のどれになりますか。お子さんからみた続柄で、お答えください。（１つに○）

「母親」の割合が 82.9%と最も高く、次いで「父親」の割合が 14.5%となっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「母親」の割合が高くなっています。



施設職員の方は以後の設問について、可能な範囲で回答ください。

問４　あなたのお住まいの地区はどこですか。（１つに○）

「多摩平」の割合が 11.3%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	旭が丘	新井	石田	大坂上	落川	上田	川辺堀之内	栄町	新町	神明	高幡	多摩平	豊田	西平山
令和７年度調査	736	4.5	1.8	2.7	1.8	1.8	1.1	1.5	1.5	3.3	2.6	1.0	11.3	4.5	3.4
令和３年度調査	1,125	6.1	1.3	1.9	2.8	2.8	1.0	1.2	2.4	4.4	3.5	1.8	9.1	3.0	2.9

区分	東豊田	東平山	日野	日野台	日野本町	平山	富士町	程久保	万願寺	三沢	南平	宮	百草	無回答
令和７年度調査	5.7	3.1	7.5	3.9	3.3	3.4	1.4	3.4	6.0	5.2	7.1	0.3	3.3	4.1
令和３年度調査	4.8	1.2	5.3	3.6	1.2	4.6	3.3	2.0	4.8	5.2	8.0	0.0	3.4	8.4

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「新町」「豊田」「日野台」「日野本町」「万願寺」、周辺層で「西平山」「南平」の割合が高くなっています。

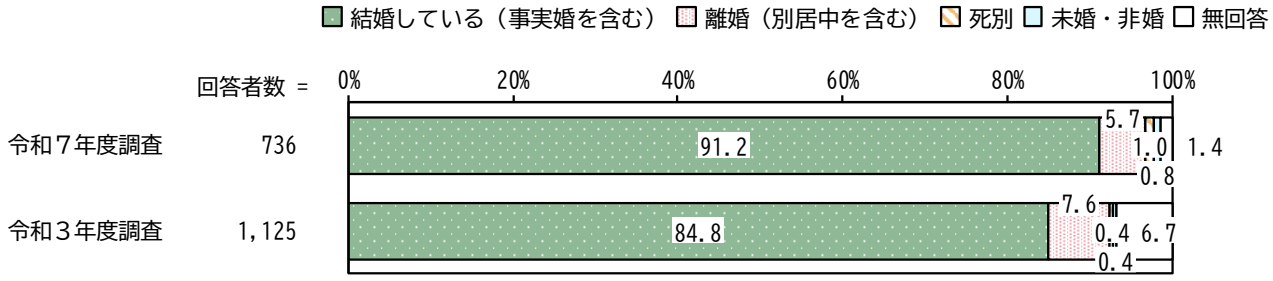
単位：%

区分	回答者数（件）	旭が丘	新井	石田	大坂上	落川	上田	川辺堀之内	栄町	新町	神明	高幡	多摩平	豊田	西平山
全　体	736	4.5	1.8	2.7	1.8	1.8	1.1	1.5	1.5	3.3	2.6	1.0	11.3	4.5	3.4
一般層	227	4.4	2.6	3.1	2.2	0.9	0.9	1.3	1.8	3.5	3.5	0.4	13.7	5.3	1.8
周辺層	58	6.9	0.0	5.2	5.2	1.7	1.7	1.7	0.0	3.4	1.7	0.0	1.7	1.7	10.3
貧困層	21	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0
無回答	430	4.4	1.6	2.3	1.2	2.3	1.2	1.6	1.6	2.8	2.3	1.4	11.9	4.2	3.5

区分	東豊田	東平山	日野	日野台	日野本町	平山	富士町	程久保	万願寺	三沢	南平	宮	百草	無回答
全　体	5.7	3.1	7.5	3.9	3.3	3.4	1.4	3.4	6.0	5.2	7.1	0.3	3.3	4.1
一般層	5.7	1.8	5.7	3.5	3.1	2.6	2.2	4.0	7.9	4.8	7.5	0.0	4.0	1.8
周辺層	6.9	5.2	5.2	5.2	1.7	1.7	0.0	1.7	5.2	3.4	15.5	0.0	3.4	3.4
貧困層	4.8	4.8	4.8	19.0	9.5	0.0	0.0	4.8	19.0	4.8	0.0	0.0	0.0	9.5
無回答	5.6	3.5	8.8	3.3	3.3	4.2	1.2	3.3	4.4	5.6	6.0	0.5	3.0	5.1

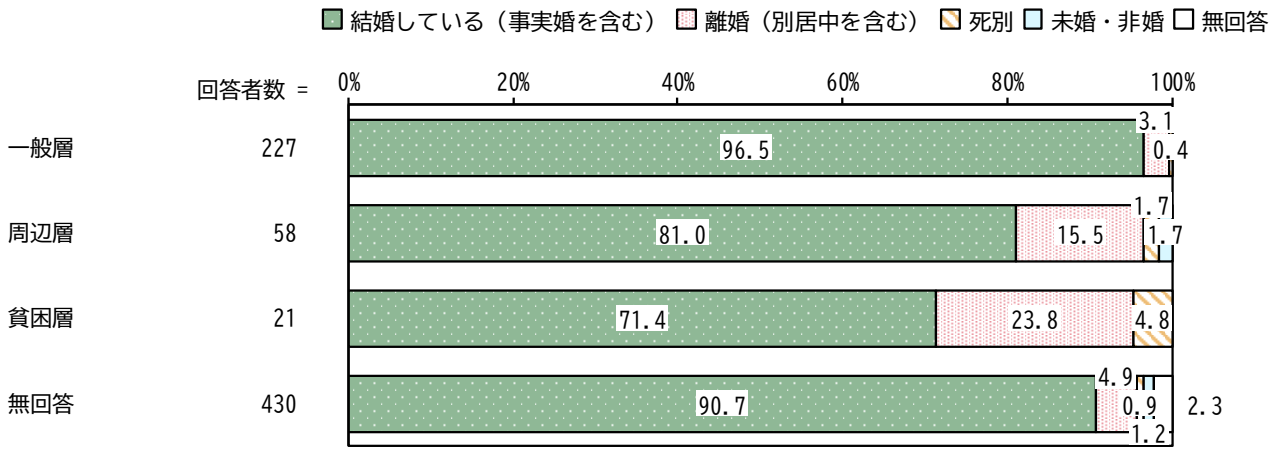
問５　現在のあなたの婚姻状況を教えてください。（１つに○）

「結婚している（事実婚を含む）」の割合が 91.2%と最も高くなっています。
令和３年度調査と比較すると、「結婚している（事実婚を含む）」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「離婚（別居中を含む）」の割合が高く、「結婚している（事実婚を含む）」の割合が低くなっています。

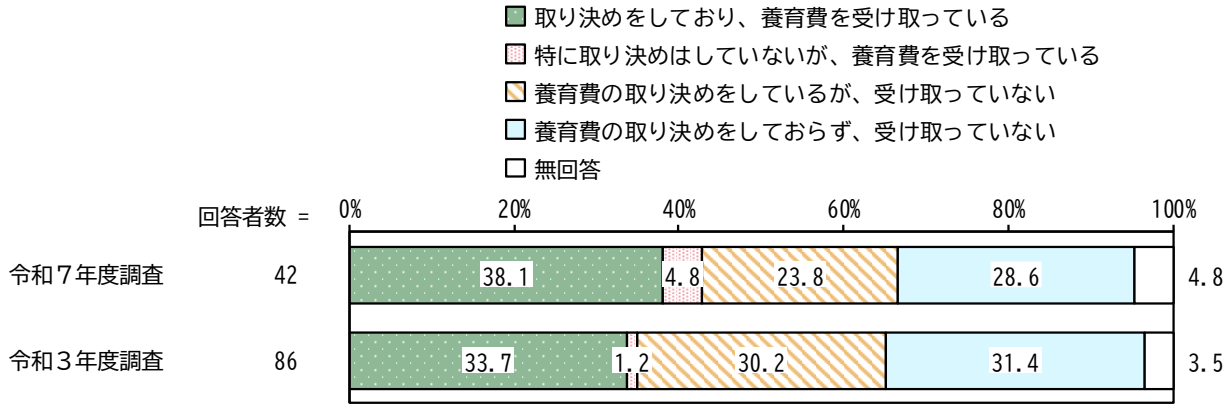


問５で「離婚（別居中を含む）」を選んだ方にお聞きします。

問５－１　離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。（１つに○）

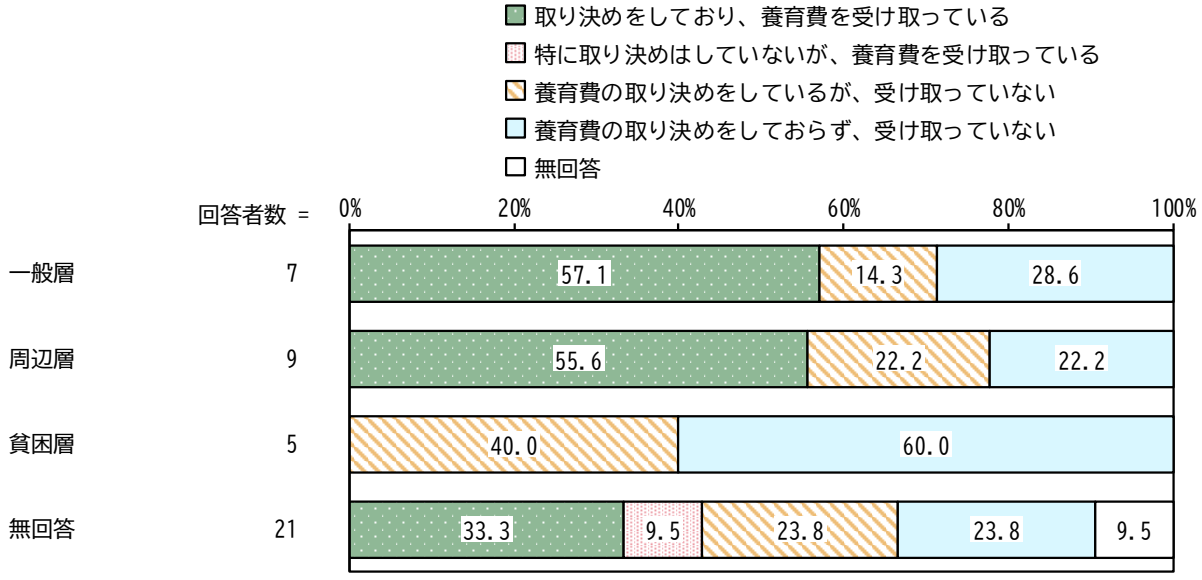
「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の割合が 28.6%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の割合が 23.8%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の割合が減少しています。



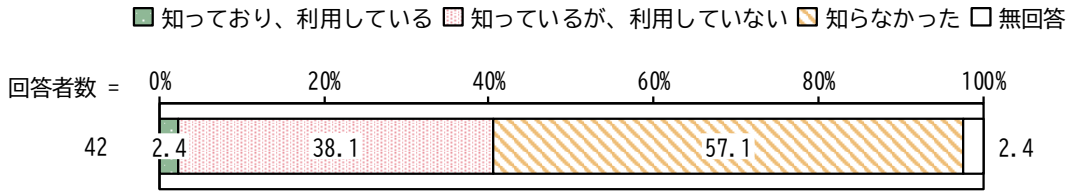
【生活困難度別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



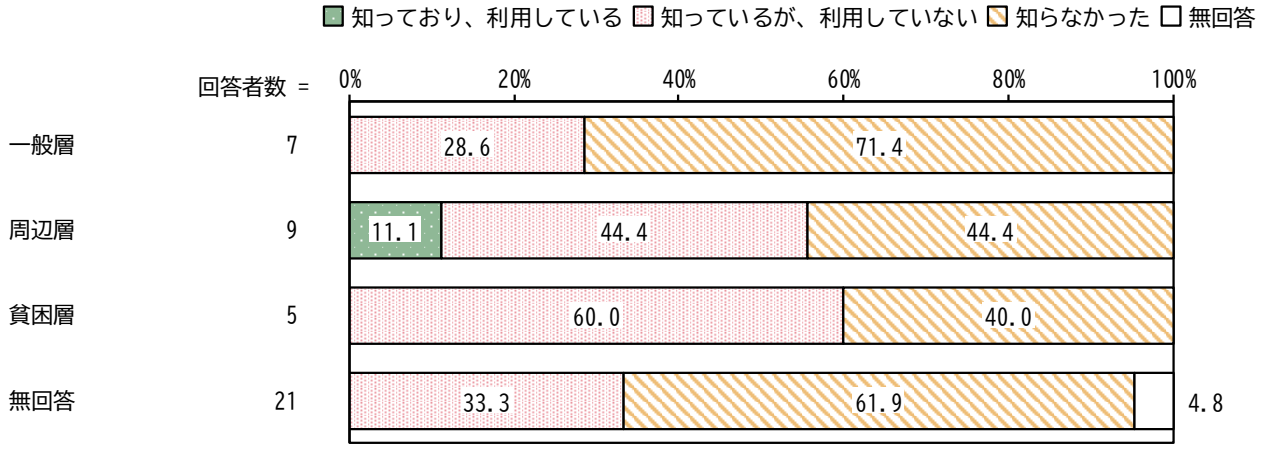
問５－２　日野市では、「養育費確保サポート事業」を実施しています。この事業をご存じでしたか。（１つに○）

「知っており、利用している」の割合が 2.4%、「知っているが、利用していない」の割合が 38.1%、「知らなかった」の割合が 57.1%となっています。



【生活困難度別】

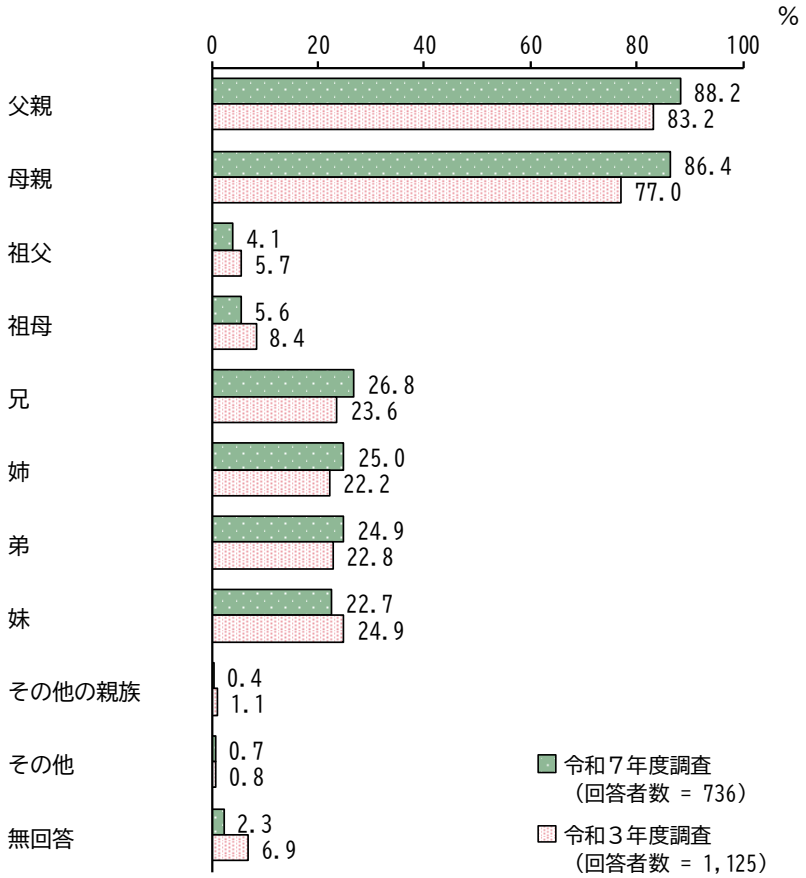
有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



問６　お子さんと同居しているご家族の方は、どなたですか。
（あてはまる番号すべてに○、いずれもお子さんから見た続柄）

「父親」の割合が 88.2%と最も高く、次いで「母親」の割合が 86.4%、「兄」の割合が 26.8%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「母親」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「祖母」「兄」「弟」の割合が高く、「父親」「妹」の割合が低くなっています。

単位：%

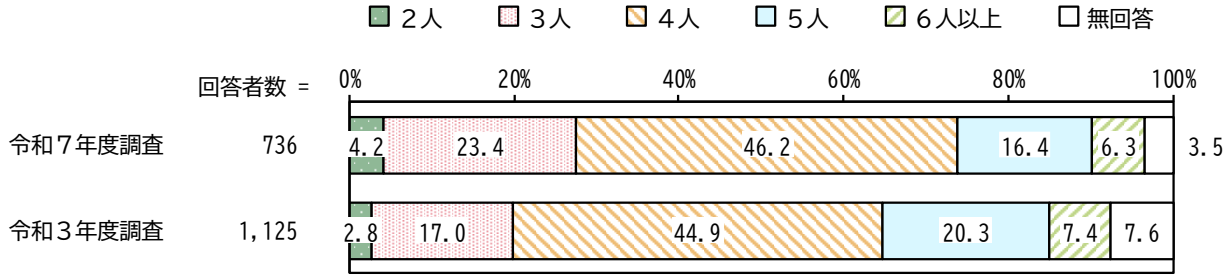
区分	回答者数（件）	父親	母親	祖父	祖母	兄	姉	弟	妹	その他の親族	その他	無回答
全　体	736	88.2	86.4	4.1	5.6	26.8	25.0	24.9	22.7	0.4	0.7	2.3
一般層	227	95.2	93.0	3.1	4.4	28.2	24.7	22.5	28.6	0.4	0.4	0.0
周辺層	58	75.9	86.2	5.2	8.6	32.8	31.0	25.9	27.6	0.0	1.7	0.0
貧困層	21	66.7	90.5	0.0	14.3	38.1	23.8	38.1	19.0	0.0	0.0	0.0
無回答	430	87.2	82.8	4.7	5.3	24.7	24.4	25.3	19.1	0.5	0.7	4.0

問７　お子さんと同居しているご家族の人数（あなたとお子さん含む）、及び、お子さんの兄弟姉妹の人数を教えてください。（いずれも、枠内に数字で回答してください）

お子さんと同居しているご家族の人数

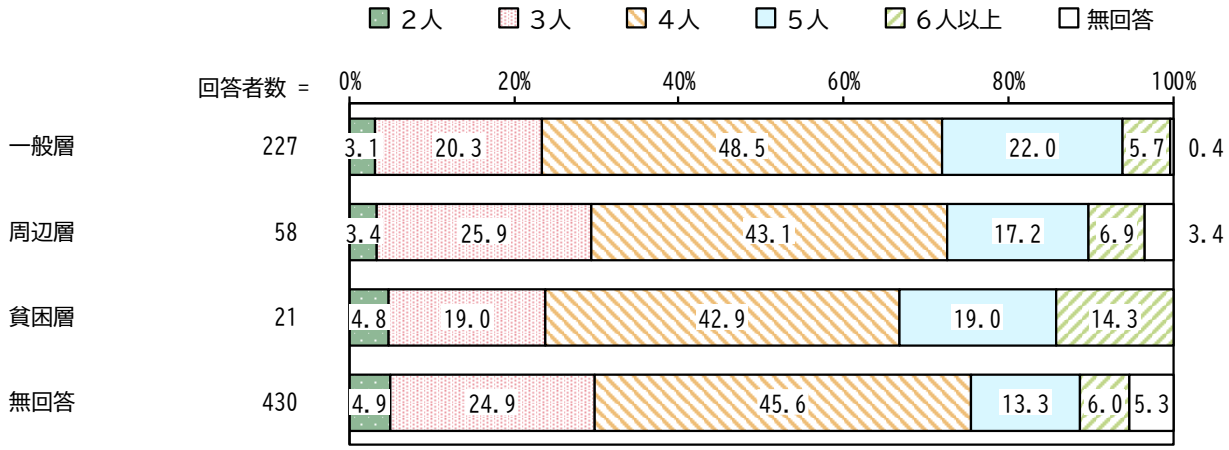
「４人」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「３人」の割合が 23.4%、「５人」の割合が 16.4%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「３人」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

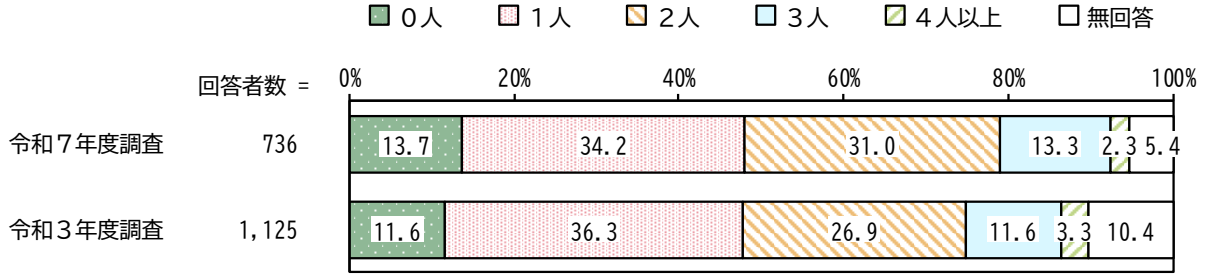
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「６人以上」の割合が高く、「４人」の割合が低くなっています。



うち、お子さんの兄弟姉妹の人数

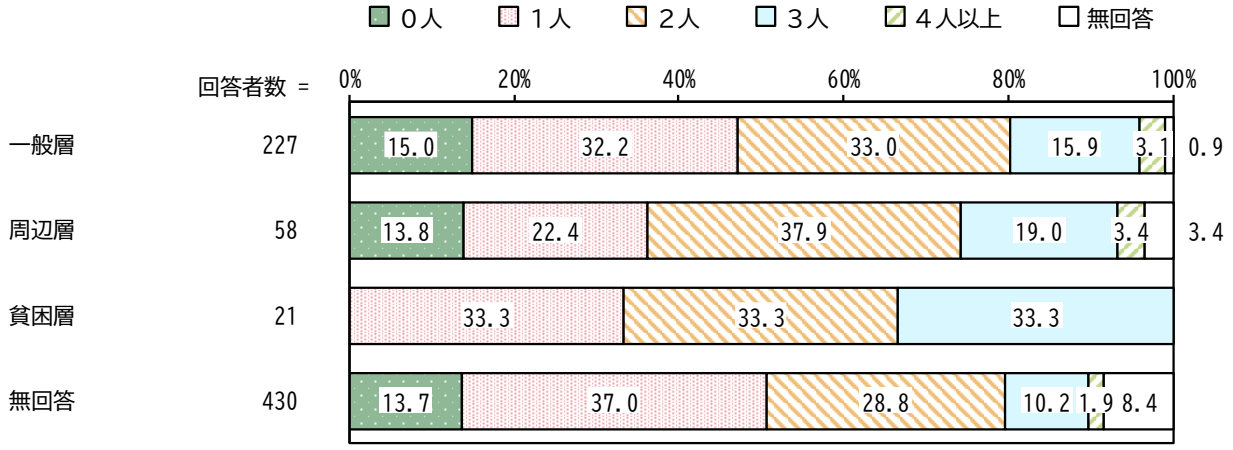
「１人」の割合が 34.2%と最も高く、次いで「２人」の割合が 31.0%、「０人」の割合が 13.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

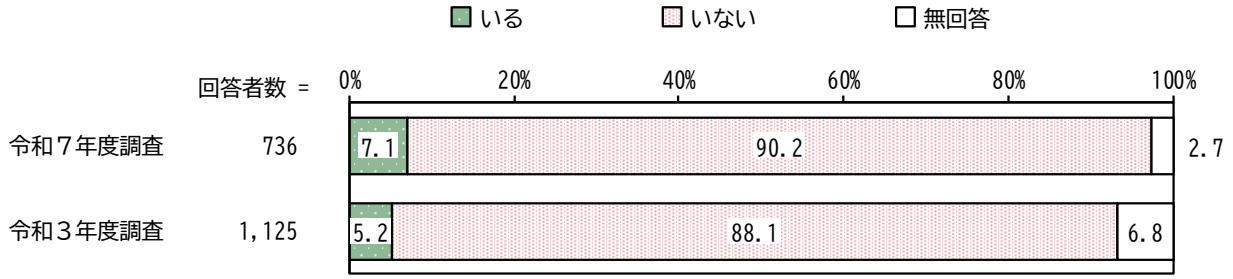
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「３人」の割合が高く、「０人」の割合が低くなっています。また、周辺層で「１人」の割合が低くなっています。



問８　お子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障害があったりするなど、ケア・サポートが必要な方はいますか。（１つに○）

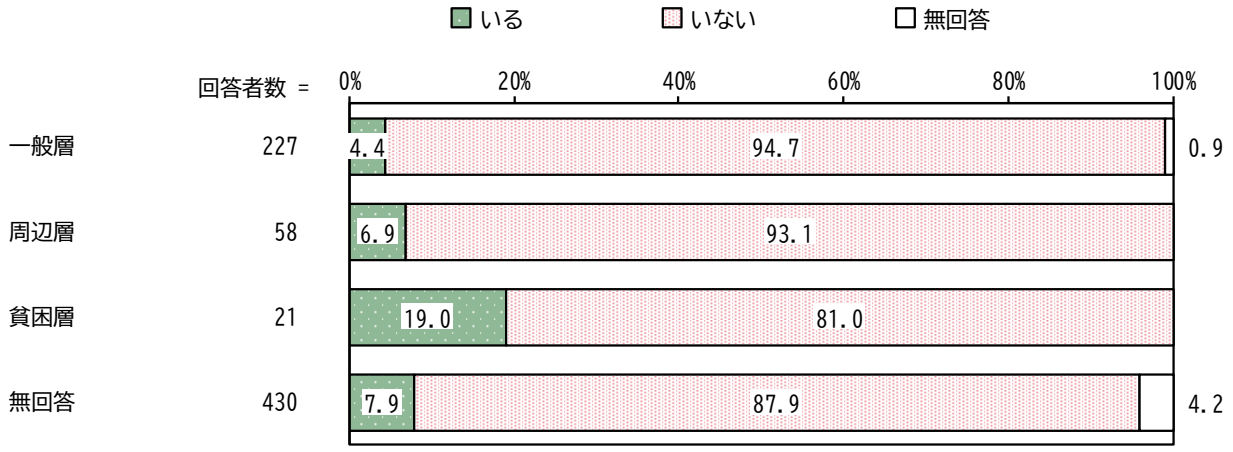
「いる」の割合が 7.1%、「いない」の割合が 90.2%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

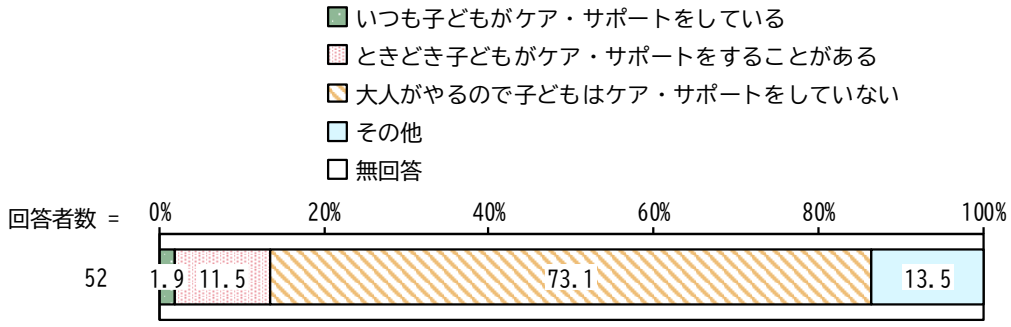
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いる」の割合が高くなっています。



問８で「いる」を選んだ方にお聞きします。

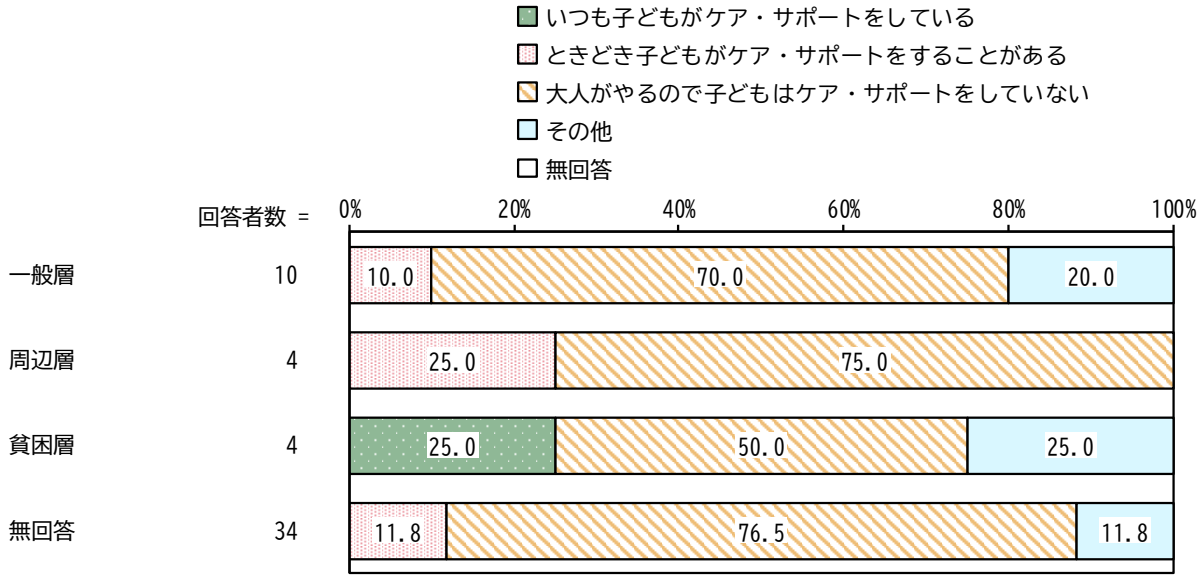
問８－１　病気や障害のある家族のケア・サポートを子どもがすることはありますか。
（１つに○）

「いつも子どもがケア・サポートをしている」の割合が 1.9%、「ときどき子どもがケア・サポートをすることがある」の割合が 11.5%、「大人がやるので子どもはケア・サポートをしていない」の割合が 73.1%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層から貧困層まで困難度が小さいほど「ときどき子どもがケア・サポートをすることがある」「大人がやるので子どもはケア・サポートをしていない」の割合が高く、「いつも子どもがケア・サポートをしている」の割合が低くなっています。

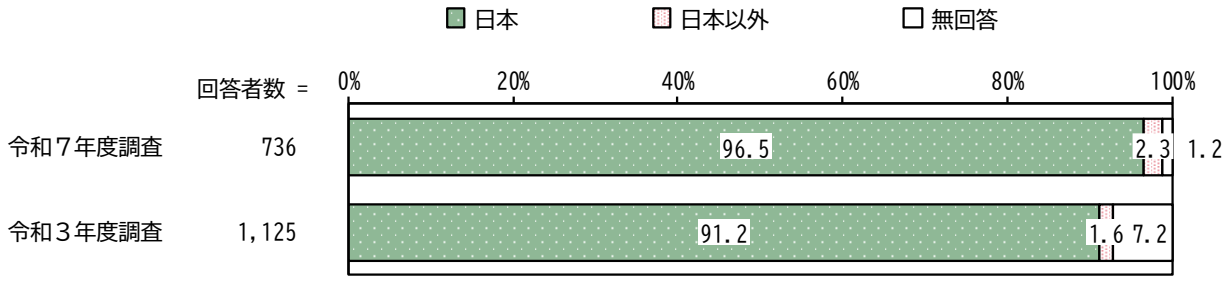


問９　お子さんのご両親の国籍にあてはまる番号を、それぞれ教えてください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

A　母親

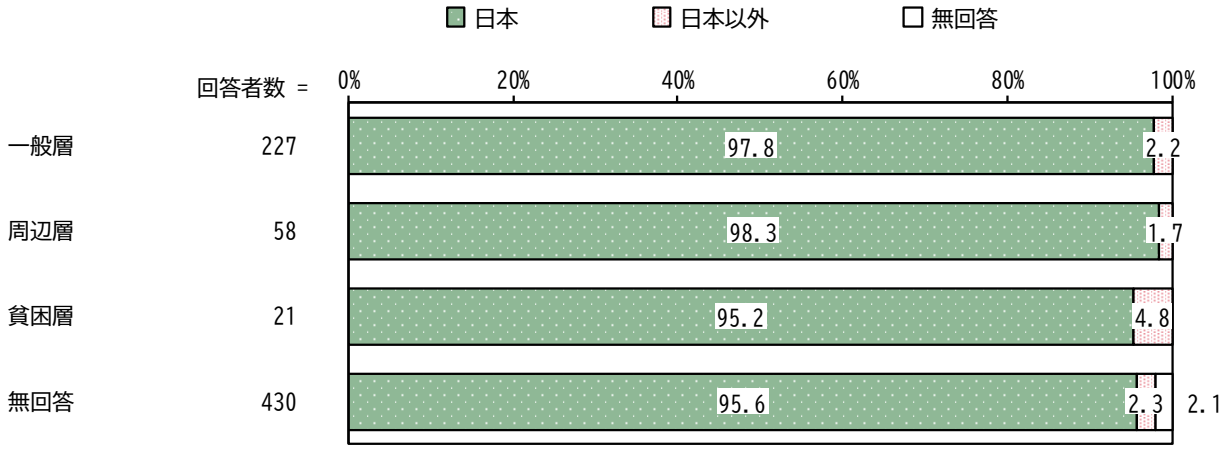
「日本」の割合が 96.5%、「日本以外」の割合が 2.3%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「日本」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

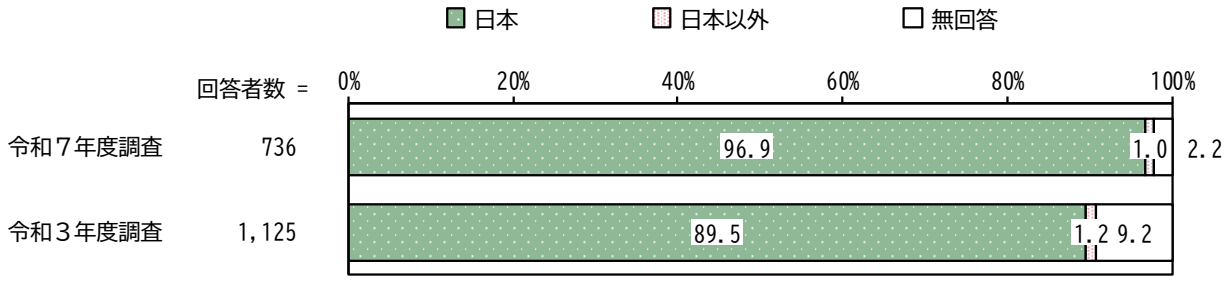
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



B　父親

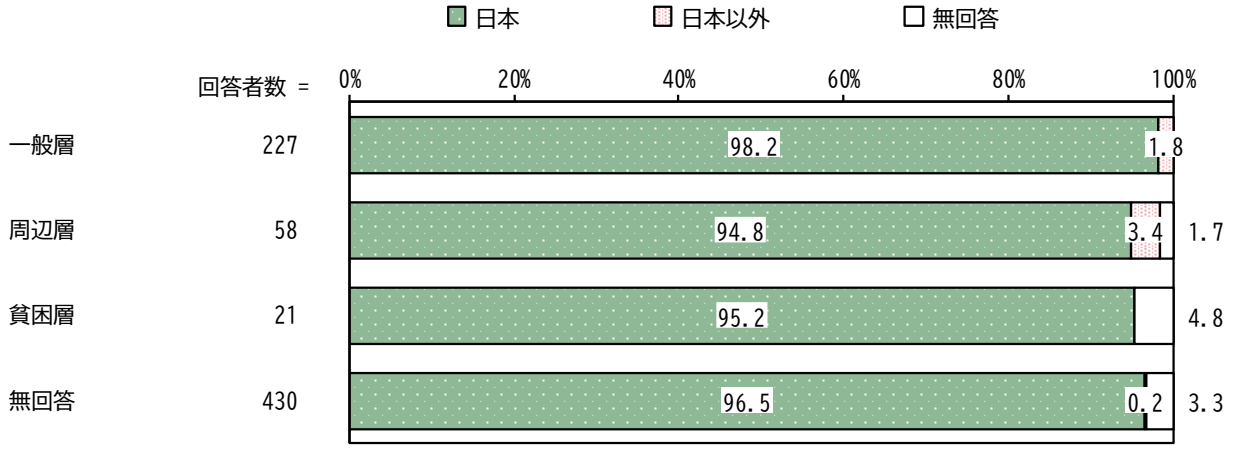
「日本」の割合が 96.9%、「日本以外」の割合が 1.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「日本」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、大きな差はみられません。

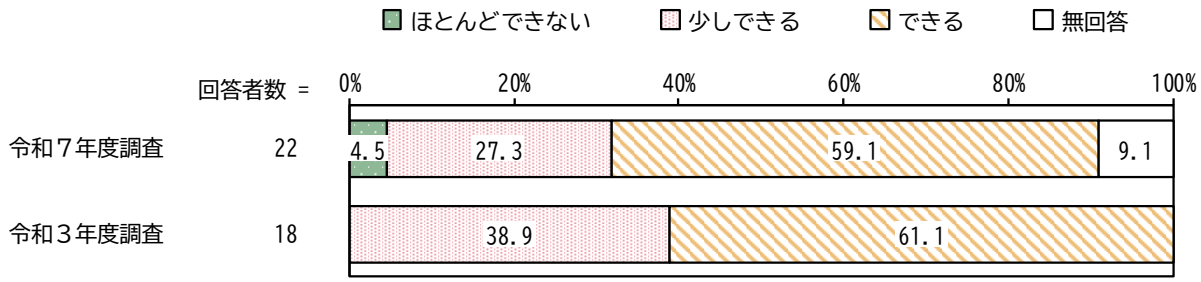


問９のＡ、Ｂのいずれかで「日本以外」を選んだ方にお聞きします。

問９－１　該当するご本人は日本語がどのくらいできますか。（１つに○）

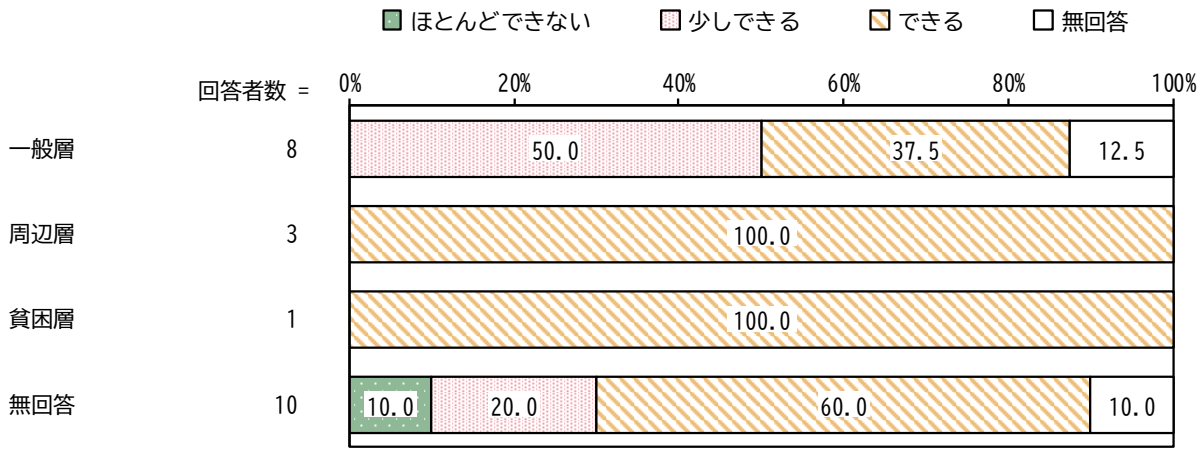
「ほとんどできない」の割合が 4.5%、「少しできる」の割合が 27.3%、「できる」の割合が 59.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「少しできる」の割合が減少しています。



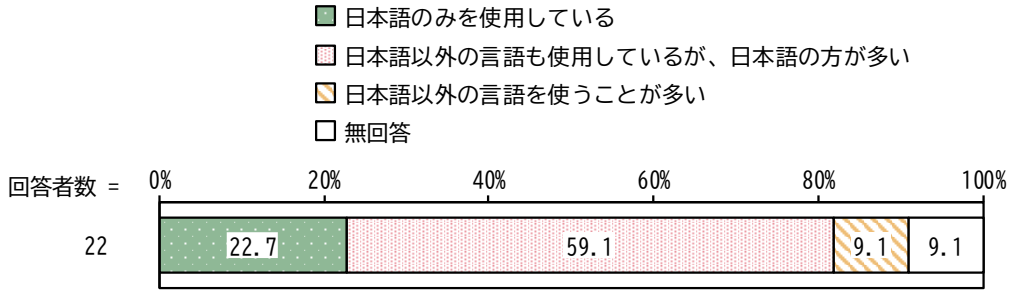
【生活困難度別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



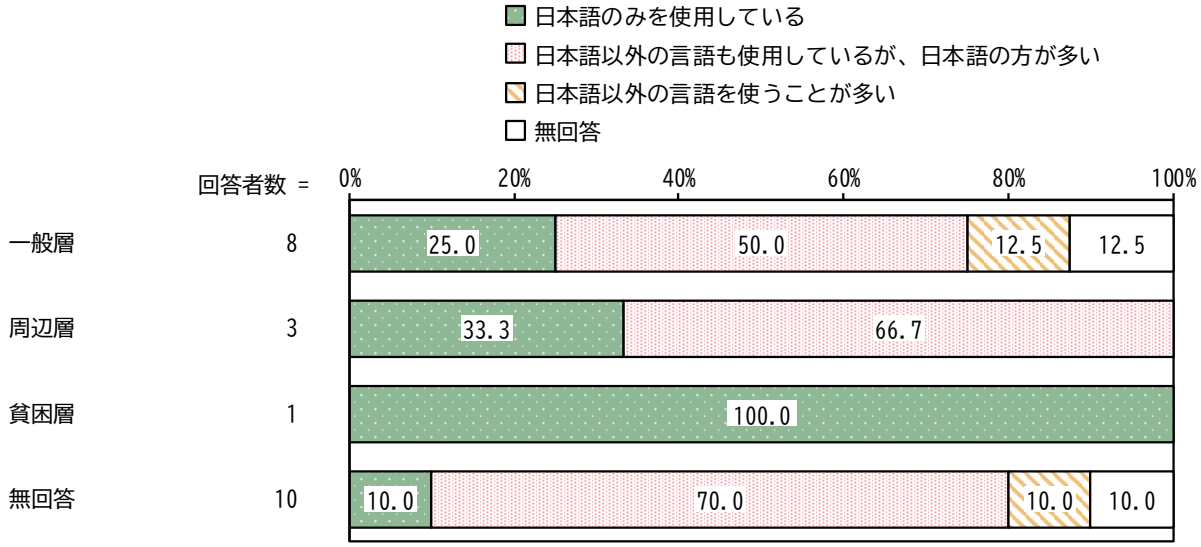
問９－２　ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。（１つに○）

「日本語のみを使用している」の割合が 22.7%、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」の割合が 59.1%、「日本語以外の言語を使うことが多い」の割合が 9.1%となっています。



【生活困難度別】

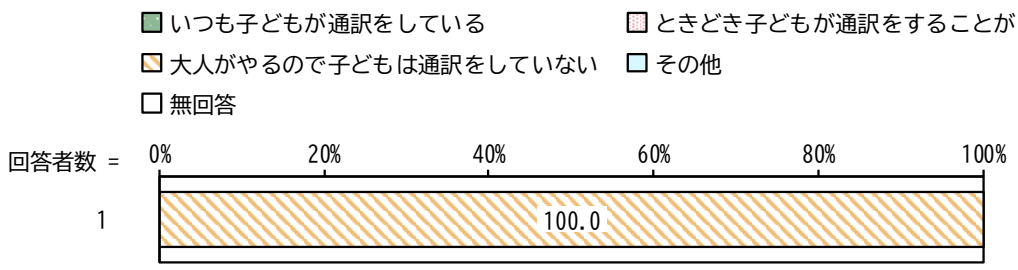
有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



問９－１で「ほとんどできない」を選んだ方にお聞きします。

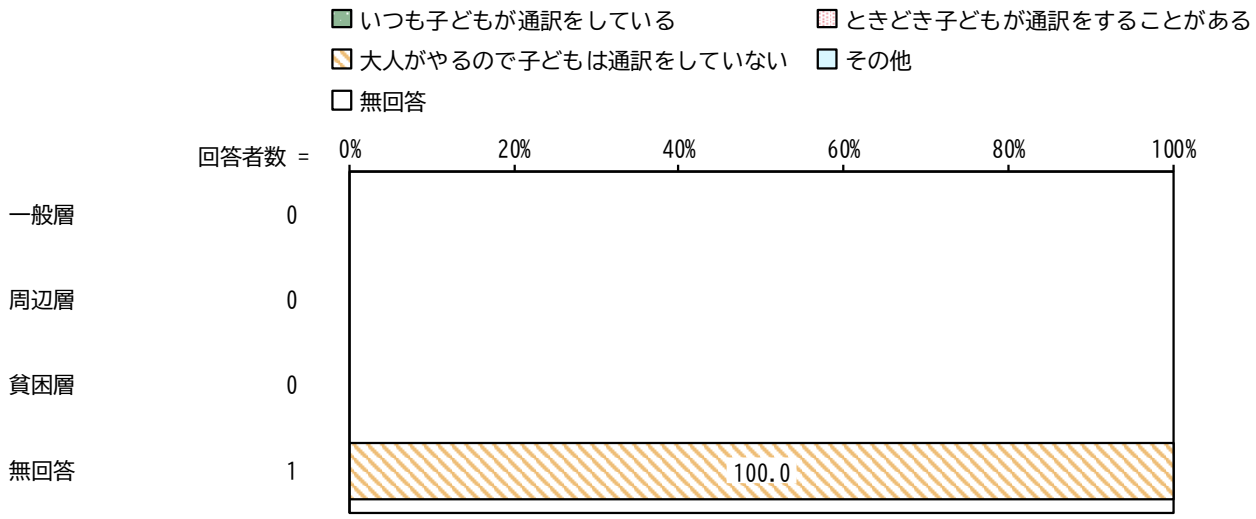
問９－３　日本語通訳などを子どもがすることはありますか。（１つに○）

「大人がやるので子どもは通訳をしていない」が１件となっています。



【生活困難度別】

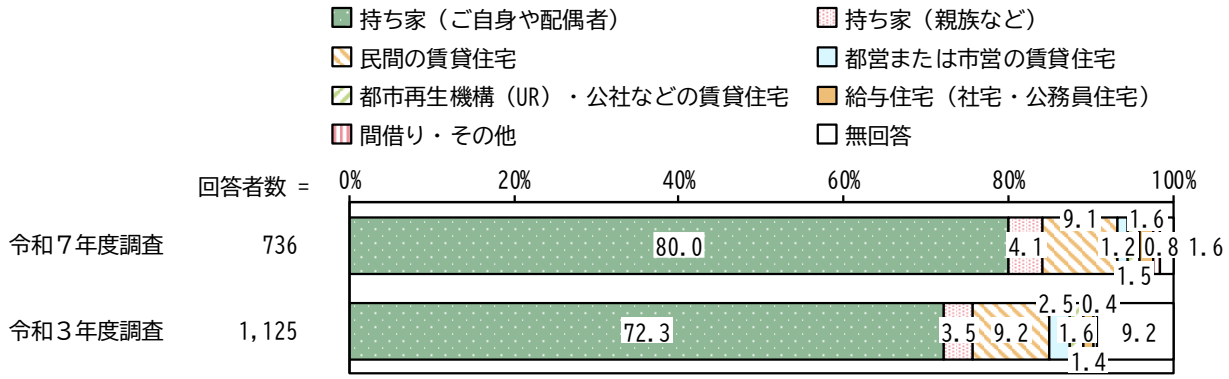
有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



問 10　現在お住いの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。（１つに○）

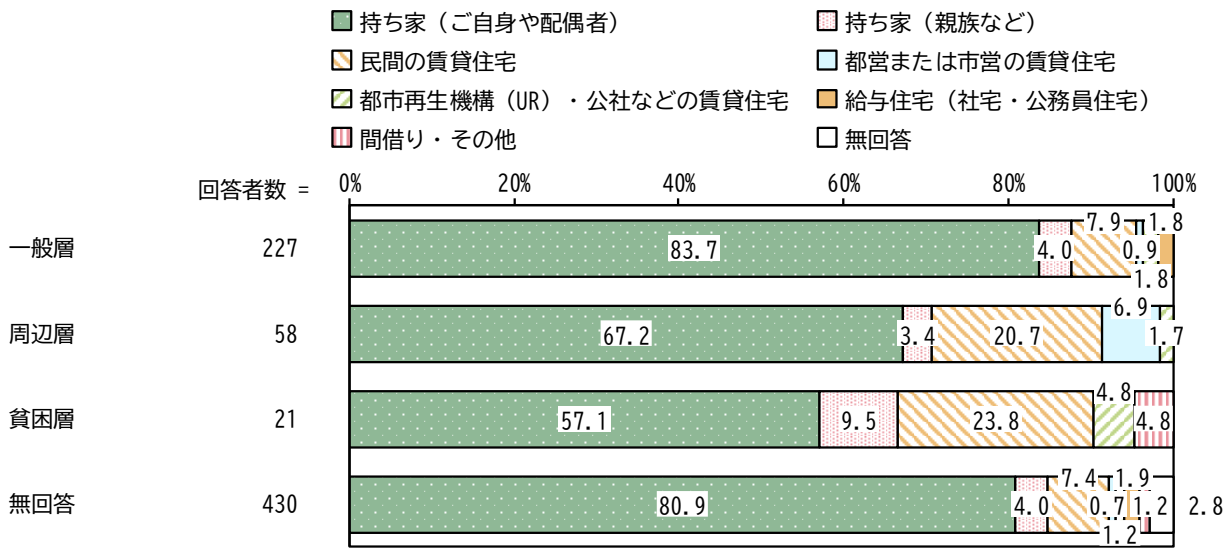
「持ち家（ご自身や配偶者）」の割合が 80.0%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、「持ち家（ご自身や配偶者）」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「持ち家（ご自身や配偶者）」の割合が高くなっています。

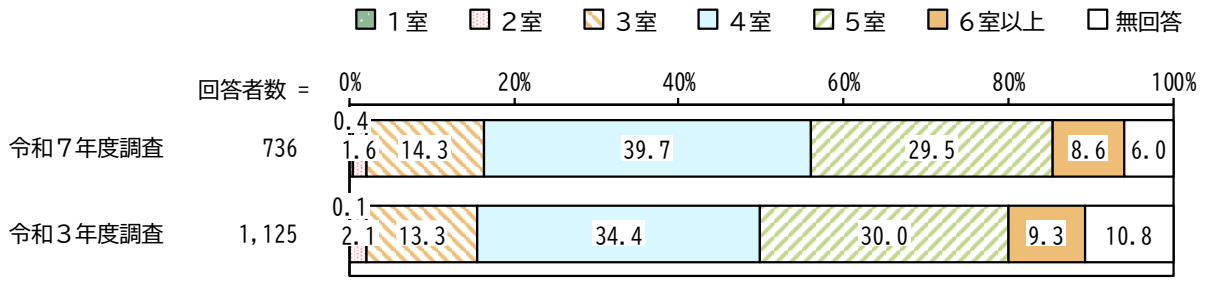


問 11　お住いの住居の室数について、居住用の部屋数（玄関や風呂等は含めない）を教えてください。また、それらの部屋の広さのおおよそ合計を教えてください。（枠内に数字で回答してください）

部屋数(室)

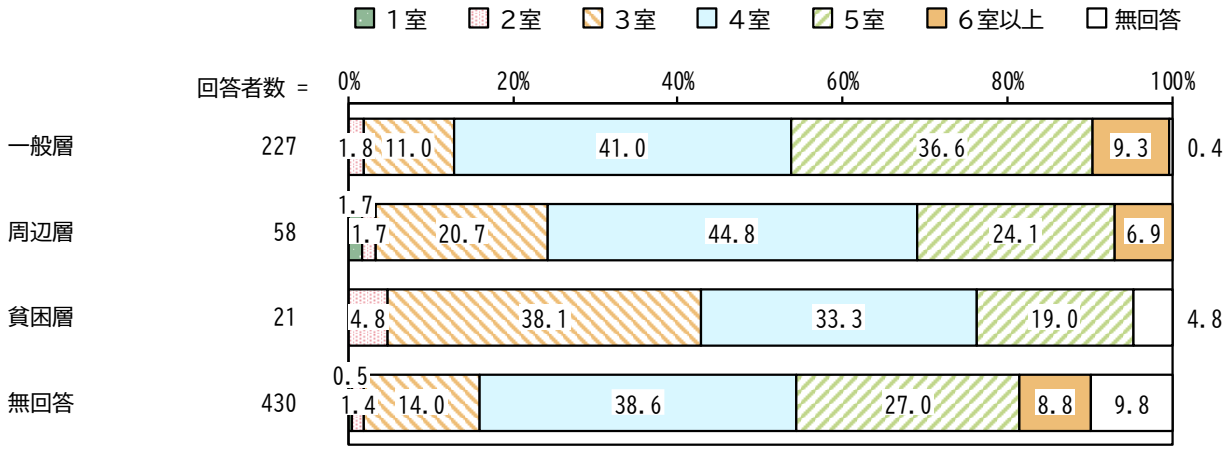
「４室」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「５室」の割合が 29.5%、「３室」の割合が 14.3%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「４室」の割合が増加しています。



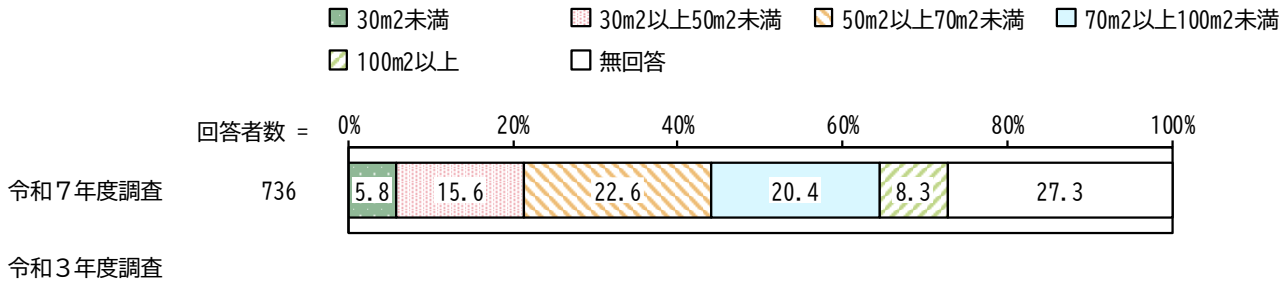
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「３室」の割合が高く、「５室」の割合が低くなっています。



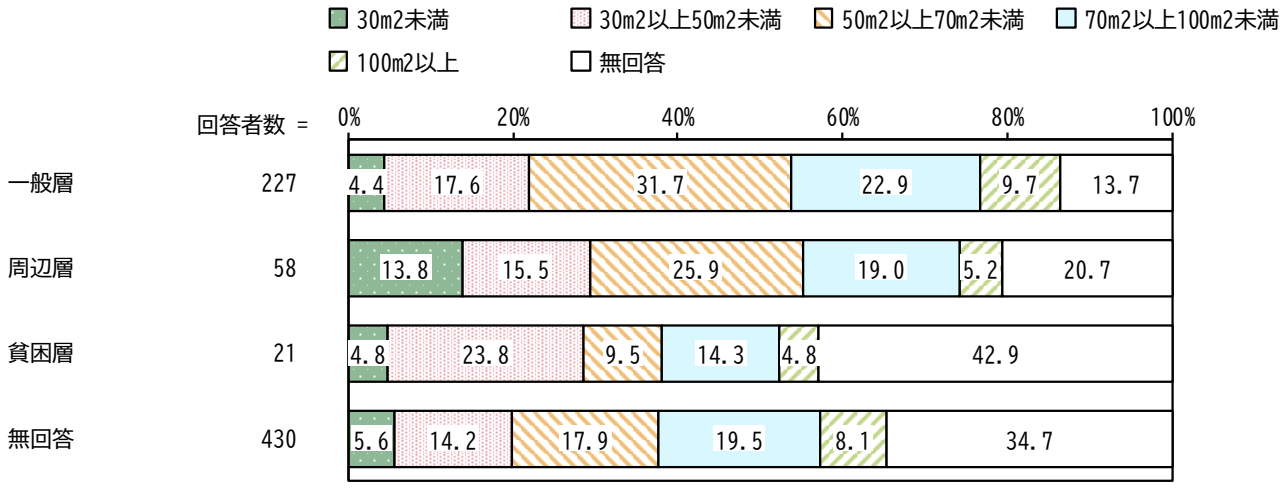
部屋の広さの合計（平方メートル）

「50m2 以上 70m2 未満」の割合が 22.6%と最も高く、次いで「70m2 以上 100m2 未満」の割合が 20.4%、「30m2 以上 50m2 未満」の割合が 15.6%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「50m2 以上 70m2 未満」「70m2 以上 100m2 未満」の割合が高くなっています。

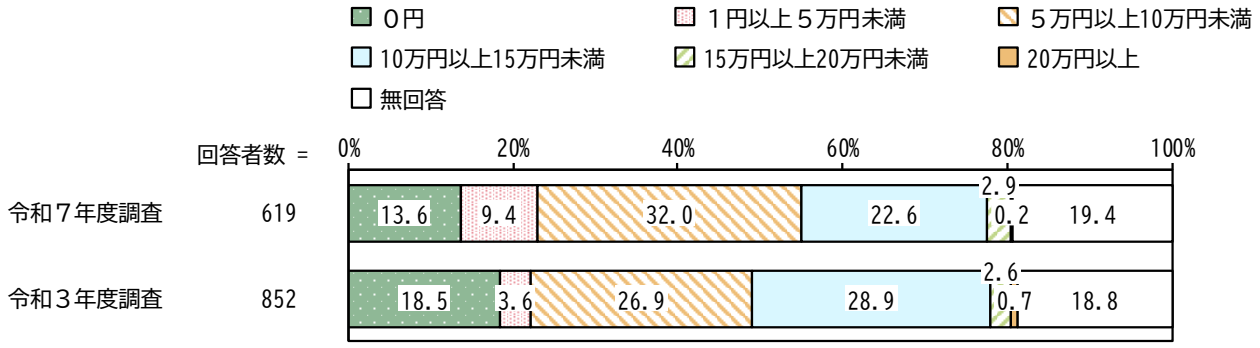


問 12　１か月あたりの住居費負担はいくらですか。持ち家の場合は住宅ローン返済額及び管理費・修繕積立費、賃貸の場合は、家賃又は間代及び共益費または管理費（共用部分の電気料・清掃費など）を教えてください。

A　持ち家【１か月あたりの住宅ローン返済額】（円）

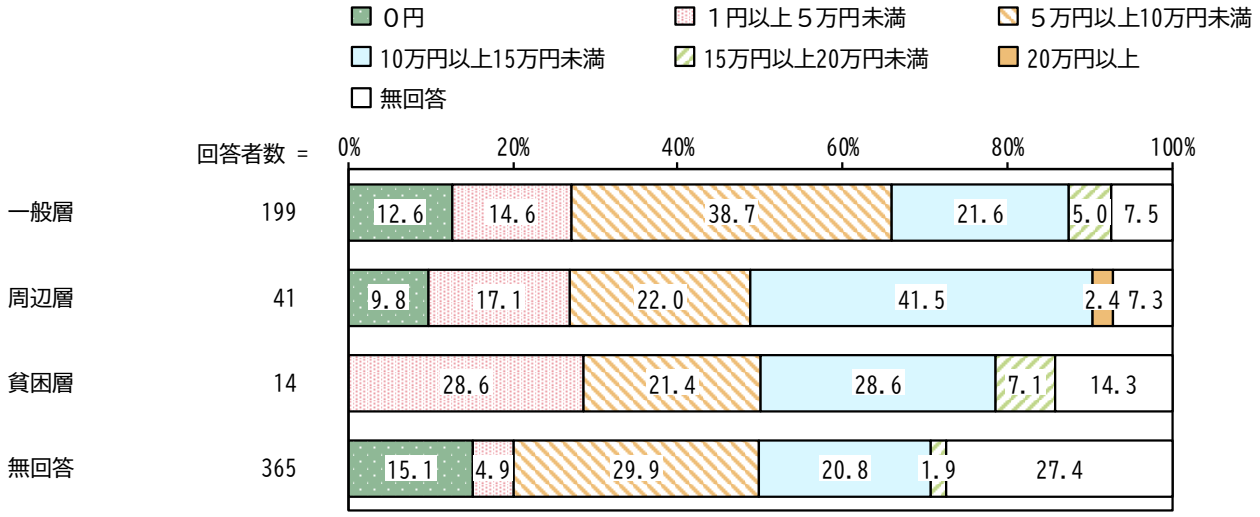
「５万円以上 10 万円未満」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「10 万円以上 15 万円未満」の割合が 22.6%、「０円」の割合が 13.6%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「１円以上５万円未満」「５万円以上 10 万円未満」の割合が増加しています。一方、「10 万円以上 15 万円未満」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

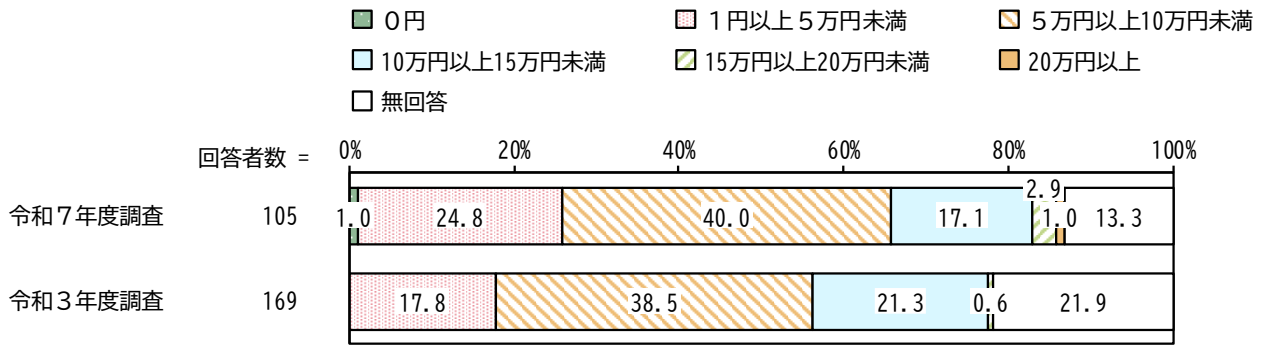
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「０円」「５万円以上 10 万円未満」の割合が高く、「１円以上５万円未満」の割合が低くなっています。また、周辺層で「10 万円以上 15 万円未満」の割合が高くなっています。



B　賃貸住宅等【１か月あたりの家賃・間代】（円）

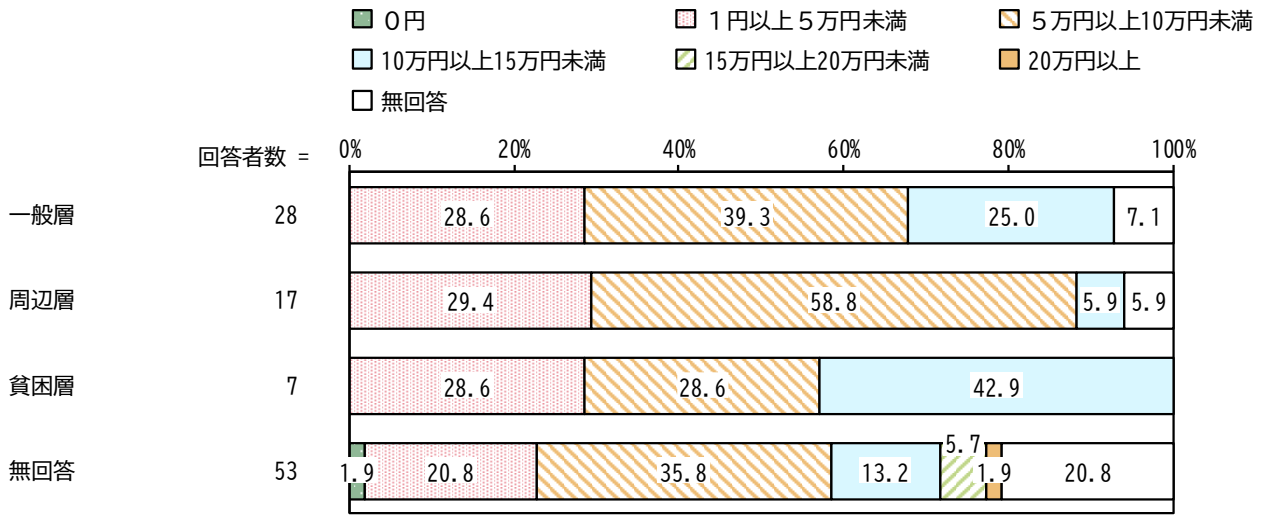
「５万円以上 10 万円未満」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「１円以上５万円未満」の割合が 24.8%、「10 万円以上 15 万円未満」の割合が 17.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「１円以上５万円未満」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

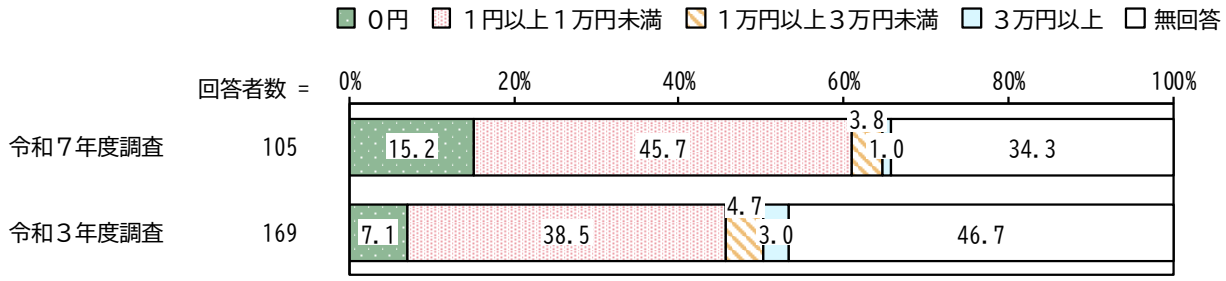
生活困難度別にみると、貧困層から周辺層まで困難度が大きいほど「10 万円以上 15 万円未満」の割合が高く、「５万円以上 10 万円未満」の割合が低くなっています。また、一般層で「10 万円以上 15 万円未満」の割合が高く、周辺層で「５万円以上 10 万円未満」の割合が高くなっています。



B　賃貸住宅等【１か月あたりの共益費・管理費】（円）

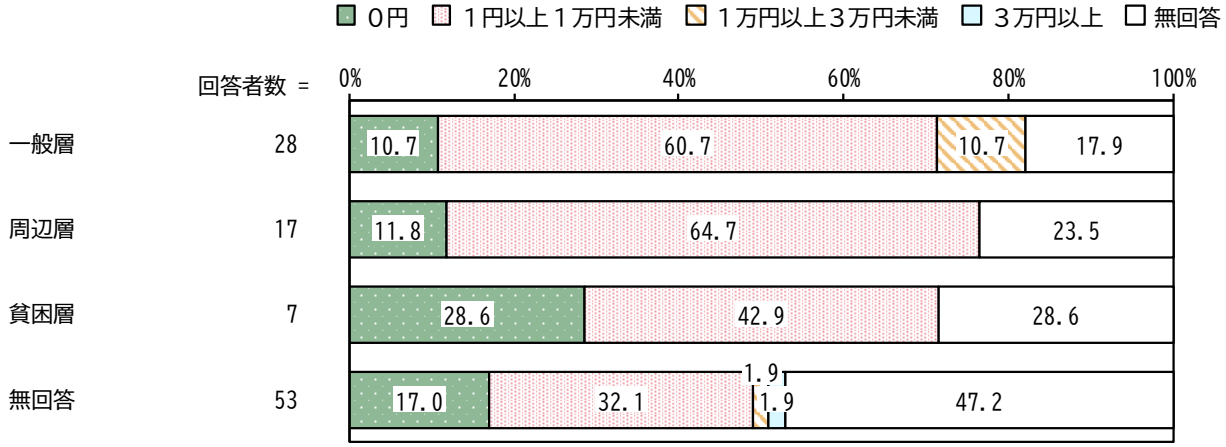
「１円以上１万円未満」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「０円」の割合が 15.2%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「０円」「１円以上１万円未満」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「０円」の割合が高く、周辺層から貧困層まで困難度が小さいほど「１円以上１万円未満」の割合が高くなっています。また、一般層で「１万円以上３万円未満」の割合が高くなっています。



問 13　お子さんの母親の現在の職業は、次のどれに最も近いですか。（１つに○）

「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「民間企業の正社員」の割合が 19.8%、「専業主婦」の割合が 16.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が減少しています。

単位：%

区分	回答者数（件）	会社役員	民間企業の正社員	公務員などの正職員	契約社員・派遣社員・嘱託社員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者を含む）	自由業	団体職員
令和７年度調査	736	2.7	19.8	5.0	7.3	38.2	2.7	0.8	2.2
令和３年度調査	1,125	1.0	15.9	4.4	7.2	43.5	2.9	0.7	0.4

区分	その他の働き方をしている	専業主婦	学生	引退（定年退職・早期退職）	その他の無職	わからない	母親はいない	無回答
令和７年度調査	0.7	16.0	0.1	0.0	1.5	0.1	0.4	2.3
令和３年度調査	0.8	14.3	0.0	0.0	0.6	0.1	－	8.1

※令和３年度調査では、「母親はいない」がありませんでした。

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「会社役員」「団体職員」「その他の無職」、周辺層で「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が高くなっています。

単位：%

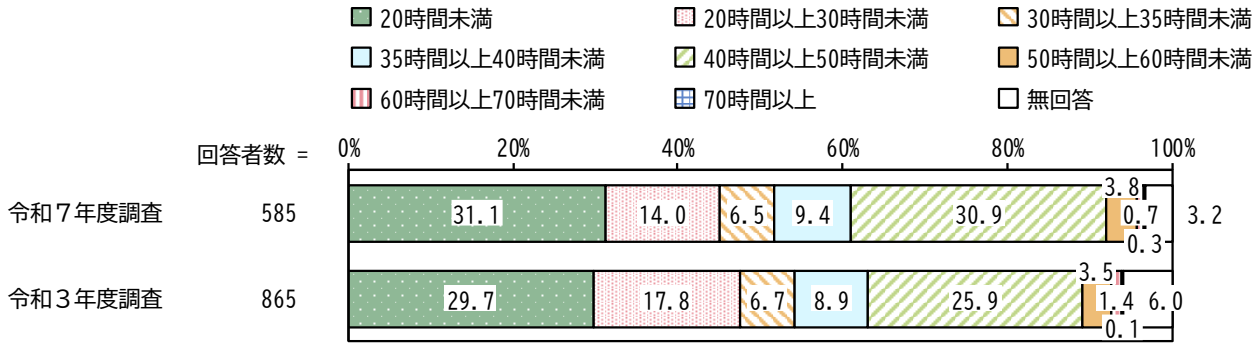
区分	回答者数（件）	会社役員	民間企業の正社員	公務員などの正職員	契約社員・派遣社員・嘱託社員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者を含む）	自由業	団体職員
全　体	736	2.7	19.8	5.0	7.3	38.2	2.7	0.8	2.2
一般層	227	1.8	18.5	7.9	6.6	41.4	2.2	0.9	2.2
周辺層	58	0.0	22.4	1.7	6.9	51.7	3.4	0.0	1.7
貧困層	21	9.5	9.5	0.0	9.5	38.1	4.8	0.0	9.5
無回答	430	3.3	20.7	4.2	7.7	34.7	2.8	0.9	1.9

区分	その他の働き方をしている	専業主婦	学生	引退（定年退職・早期退職）	その他の無職	わからない	母親はいない	無回答
全　体	0.7	16.0	0.1	0.0	1.5	0.1	0.4	2.3
一般層	0.0	16.7	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0
周辺層	0.0	10.3	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0
貧困層	0.0	9.5	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0
無回答	1.2	16.7	0.2	0.0	0.9	0.2	0.7	4.0

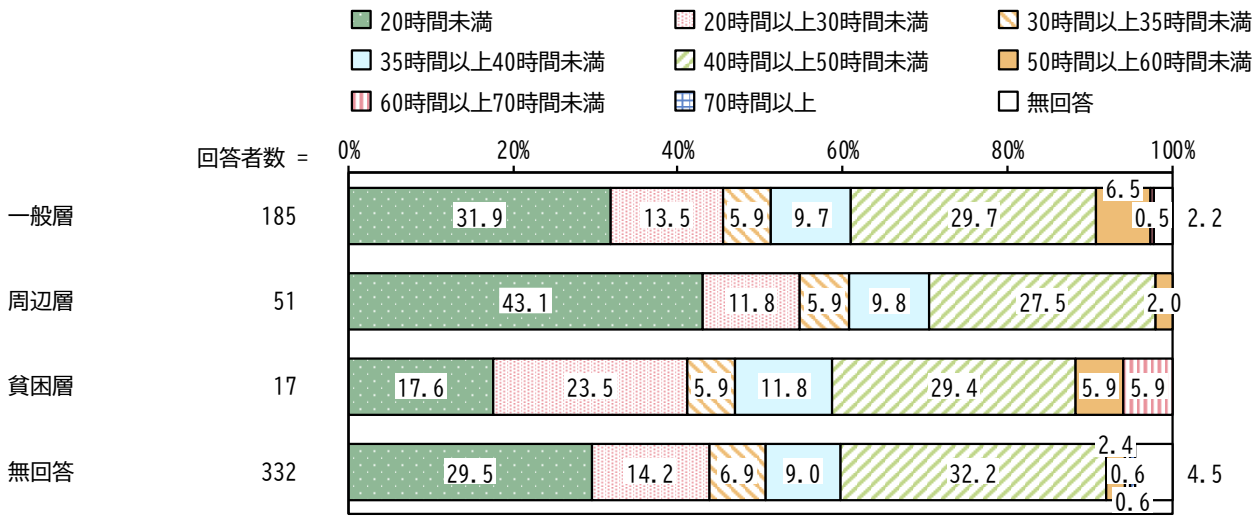
問 13 で母親の職業に「会社役員」～「その他の働き方をしている」を選んだ方にお聞きします。

問 13－１　お子さんの母親は、１週間に平均何時間、お仕事をされていますか。（枠内に数字で回答してください）
※複数のお仕事を持っている場合は合算してください。

「20 時間未満」の割合が 31.1%と最も高く、次いで「40 時間以上 50 時間未満」の割合が 30.9%、「20 時間以上 30 時間未満」の割合が 14.0%となっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



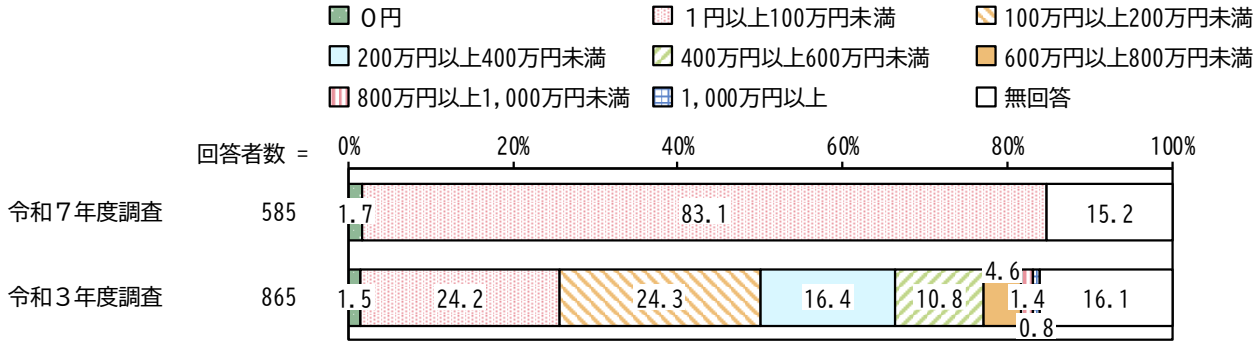
【生活困難度別】
生活困難度別にみると、周辺層で「20 時間未満」、貧困層で「20 時間以上 30 時間未満」「60 時間以上 70 時間未満」の割合が高くなっています。



問 13－２　昨年１年間（2024 年１月～12 月）を合計した、お子さんの母親のお仕事からの収入（税込み）はおよそいくらですか。（枠内に数字で回答してください）
※総支給額（万円）をご記載ください

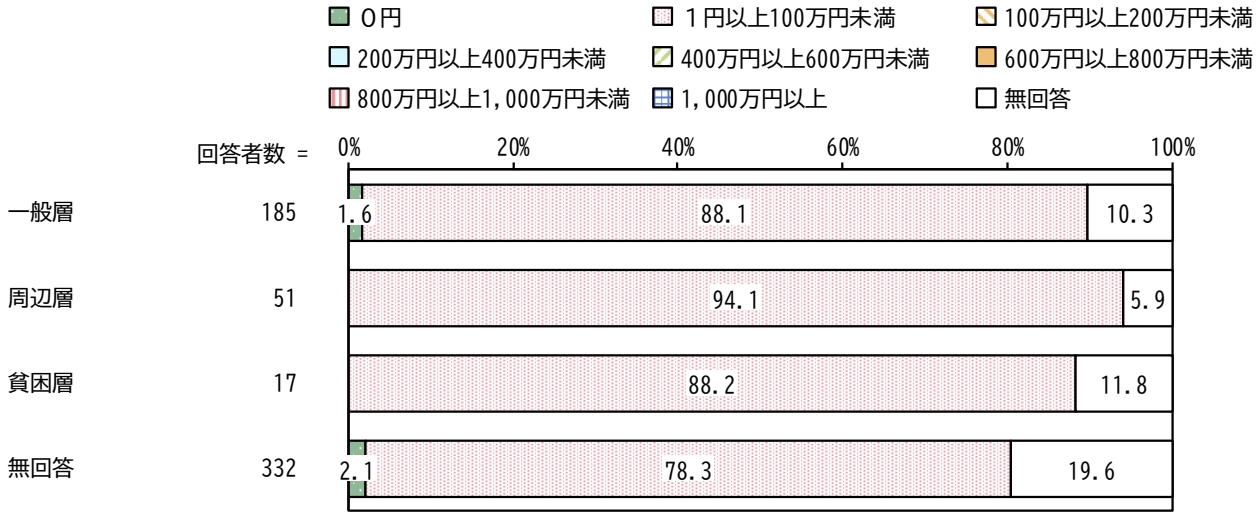
「１円以上 100 万円未満」の割合が 83.1%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、「１円以上 100 万円未満」の割合が増加しています。一方、「100 万円以上 200 万円未満」「200 万円以上 400 万円未満」「400 万円以上 600 万円未満」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

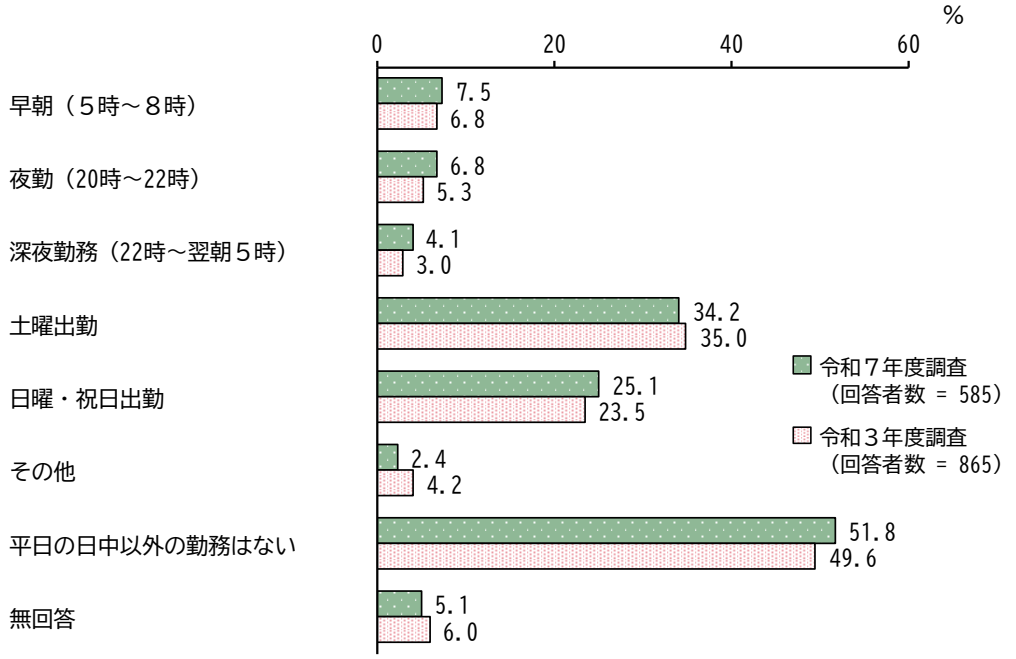
生活困難度別にみると、周辺層で「１円以上 100 万円未満」の割合が高くなっています。



問 13－３　母親は、平日の日中以外の勤務がありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「平日の日中以外の勤務はない」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「土曜出勤」の割合が 34.2%、「日曜・祝日出勤」の割合が 25.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「土曜出勤」「日曜・祝日出勤」の割合が高くなっています。

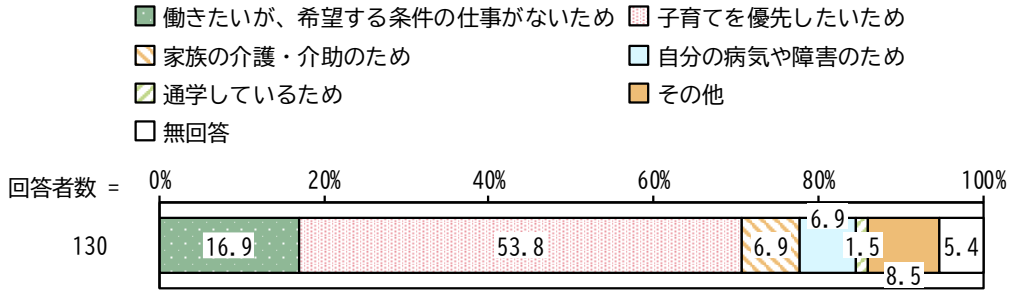
単位：%

区分	回答者数（件）	早朝（5時～8時）	夜勤（20時～22時）	深夜勤務（22時～翌朝5時）	土曜出勤	日曜・祝日出勤	その他	平日の日中以外の勤務はない	無回答
全　体	585	7.5	6.8	4.1	34.2	25.1	2.4	51.8	5.1
一般層	185	7.6	5.9	3.8	30.8	17.8	2.7	60.5	1.6
周辺層	51	5.9	3.9	2.0	31.4	21.6	0.0	60.8	2.0
貧困層	17	11.8	0.0	0.0	35.3	29.4	11.8	52.9	5.9
無回答	332	7.5	8.1	4.8	36.4	29.5	2.1	45.5	7.5

問 13 で母親の職業に「専業主婦」～「その他の無職」を選んだ方にお聞きします。

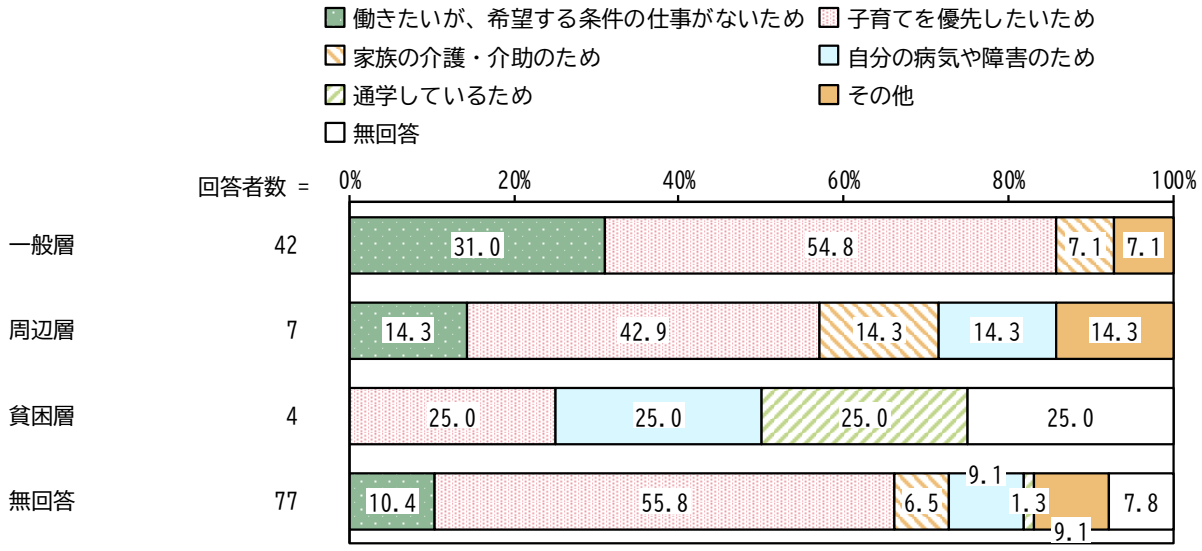
問 13－４　働いていない最も主な理由を教えてください。（１つに○）

「子育てを優先したいため」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」の割合が 16.9%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」「子育てを優先したいため」の割合が高く、「自分の病気や障害のため」の割合が低く、貧困層から周辺層まで困難度が大きいほど「通学しているため」の割合が高く、「家族の介護・介助のため」の割合が低くなっています。



問 14　お子さんの父親の現在の職業は、次のどれに最も近いですか。（１つに○）

「民間企業の正社員」の割合が 61.8%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、「民間企業の正社員」の割合が増加しています。

単位：%

区分	回答者数（件）	会社役員	民間企業の正社員	公務員などの正職員	契約社員・派遣社員・嘱託社員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者を含む）	自由業	団体職員
令和７年度調査	736	9.9	61.8	9.9	1.5	0.7	4.2	0.3	2.0
令和３年度調査	1,125	8.4	55.8	8.9	1.5	0.2	6.2	0.7	2.0

区分	その他の働き方をしている	専業主婦	学生	引退（定年退職・早期退職）	その他の無職	わからない	母親はいない	無回答
令和７年度調査	0.0	0.3	0.0	0.1	0.5	1.8	2.2	4.8
令和３年度調査	0.4	0.1	0.0	0.2	0.6	0.8	－	14.1

※令和３年度調査では、「父親はいない」がありませんでした。

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「民間企業の正社員」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	会社役員	民間企業の正社員	公務員などの正職員	契約社員・派遣社員・嘱託社員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者を含む）	自由業	団体職員
全　体	736	9.9	61.8	9.9	1.5	0.7	4.2	0.3	2.0
一般層	227	9.3	70.0	11.0	0.0	0.0	3.5	0.0	3.1
周辺層	58	6.9	56.9	1.7	8.6	1.7	5.2	0.0	1.7
貧困層	21	23.8	33.3	4.8	9.5	0.0	0.0	4.8	0.0
無回答	430	10.0	59.5	10.7	0.9	0.9	4.7	0.2	1.6

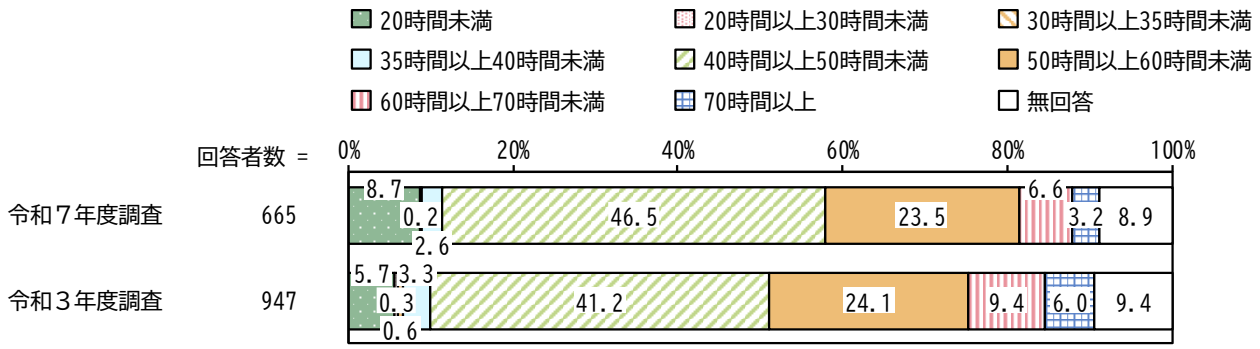
区分	その他の働き方をしている	専業主夫	学生	引退（定年退職・早期退職）	その他の無職	わからない	父親はいない	無回答
全　体	0.0	0.3	0.0	0.1	0.5	1.8	2.2	4.8
一般層	0.0	0.4	0.0	0.4	0.4	0.4	0.9	0.4
周辺層	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	6.9	5.2	3.4
貧困層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	9.5	4.8
無回答	0.0	0.2	0.0	0.0	0.5	1.4	2.1	7.2

問 14 で父親の職業に「会社役員」～「その他の働き方をしている」を選んだ方にお聞きします。

問 14－１　お子さんの父親は、１週間に平均何時間、お仕事をされていますか。（枠内に数字で回答してください）
※複数のお仕事を持っている場合は合算してください。

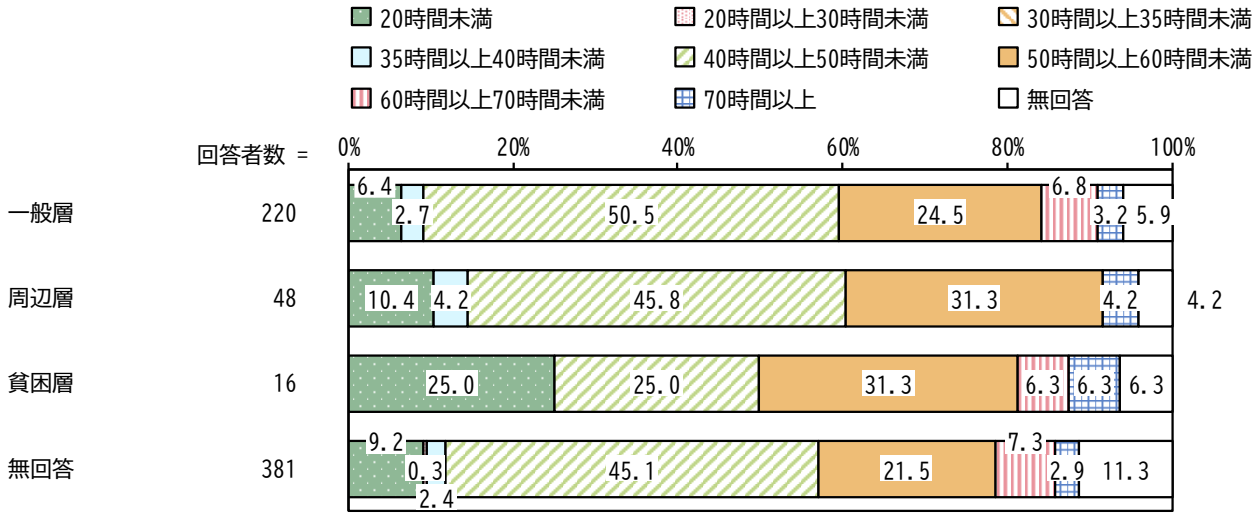
「40 時間以上 50 時間未満」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「50 時間以上 60 時間未満」の割合が 23.5%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「40 時間以上 50 時間未満」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

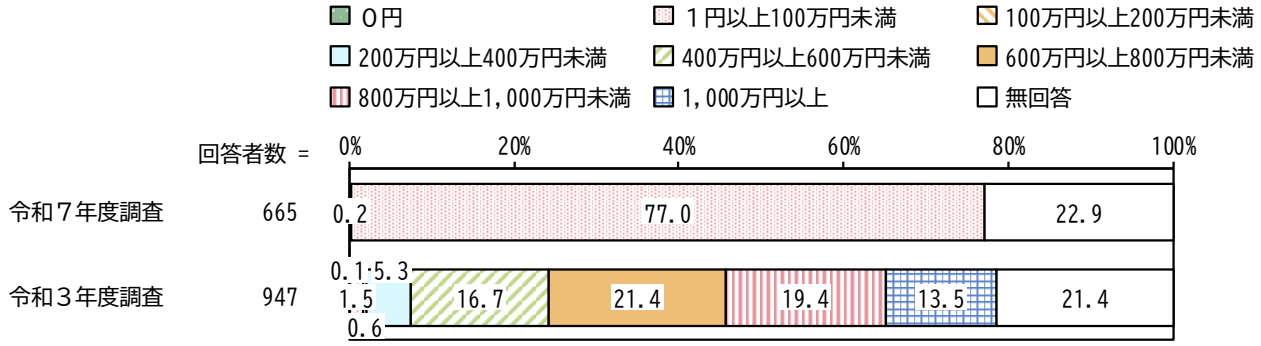
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「20 時間未満」の割合が高く、「40 時間以上 50 時間未満」の割合が低くなっています。



問 14－２　昨年１年間（2024 年１月～12 月）を合計した、お子さんの父親のお仕事からの収入（税込み）はおよそいくらですか。（枠内に数字で回答してください）
※総支給額（万円）をご記載ください

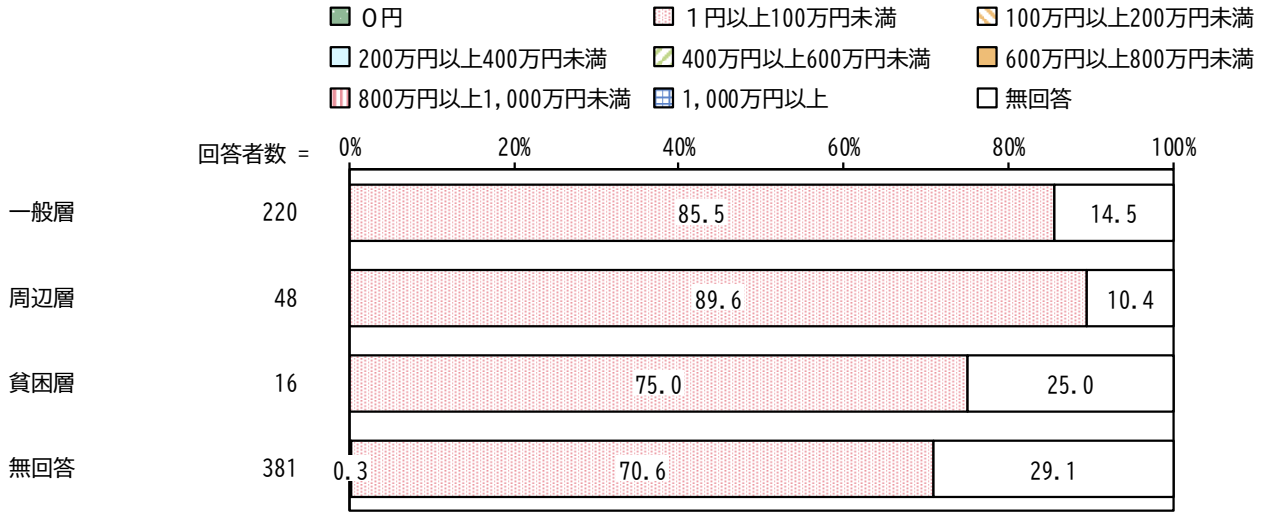
「１円以上 100 万円未満」の割合が 77.0%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、「１円以上 100 万円未満」の割合が増加しています。一方、「200 万円以上 400 万円未満」「400 万円以上 600 万円未満」「600 万円以上 800 万円未満」「800 万円以上 1,000 万円未満」「1,000 万円以上」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

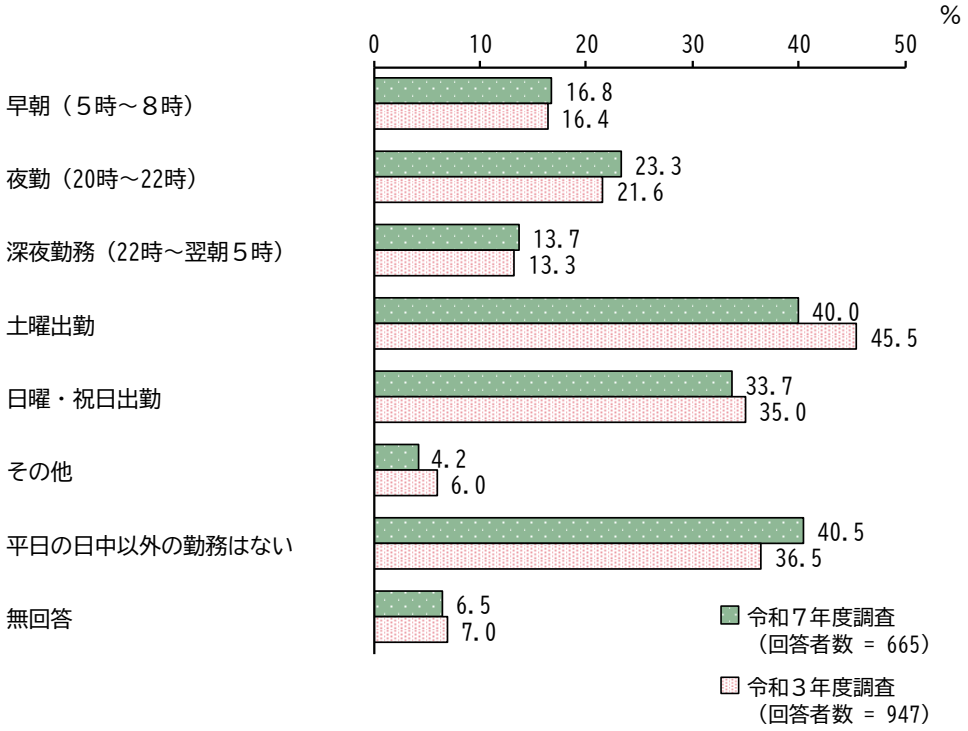
生活困難度別にみると、周辺層で「１円以上 100 万円未満」の割合が高くなっています。



問 14－３　父親は、平日の日中以外の勤務がありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「平日の日中以外の勤務はない」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「土曜出勤」の割合が 40.0%、「日曜・祝日出勤」の割合が 33.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「土曜出勤」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「夜勤（20 時～22 時）」「土曜出勤」の割合が高く、「平日の日中以外の勤務はない」の割合が低く、困難度が小さいほど「平日の日中以外の勤務はない」の割合が高くなっています。また、周辺層で「日曜・祝日出勤」の割合が高くなっています。

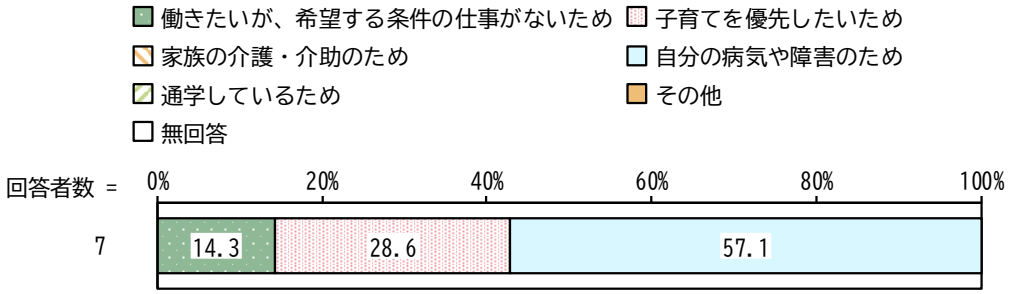
単位：%

区分	回答者数（件）	早朝（5時～8時）	夜勤（20時～22時）	深夜勤務（22時～翌朝5時）	土曜出勤	日曜・祝日出勤	その他	平日の日中以外の勤務はない	無回答
全　体	665	16.8	23.3	13.7	40.0	33.7	4.2	40.5	6.5
一般層	220	14.5	22.7	12.7	36.8	30.5	1.8	48.2	3.2
周辺層	48	25.0	22.9	8.3	52.1	43.8	2.1	31.3	4.2
貧困層	16	25.0	43.8	31.3	56.3	43.8	12.5	25.0	0.0
無回答	381	16.8	22.8	14.2	39.6	33.9	5.5	37.8	8.9

問 14 で父親の職業に「専業主夫」～「その他の無職」を選んだ方にお聞きします。

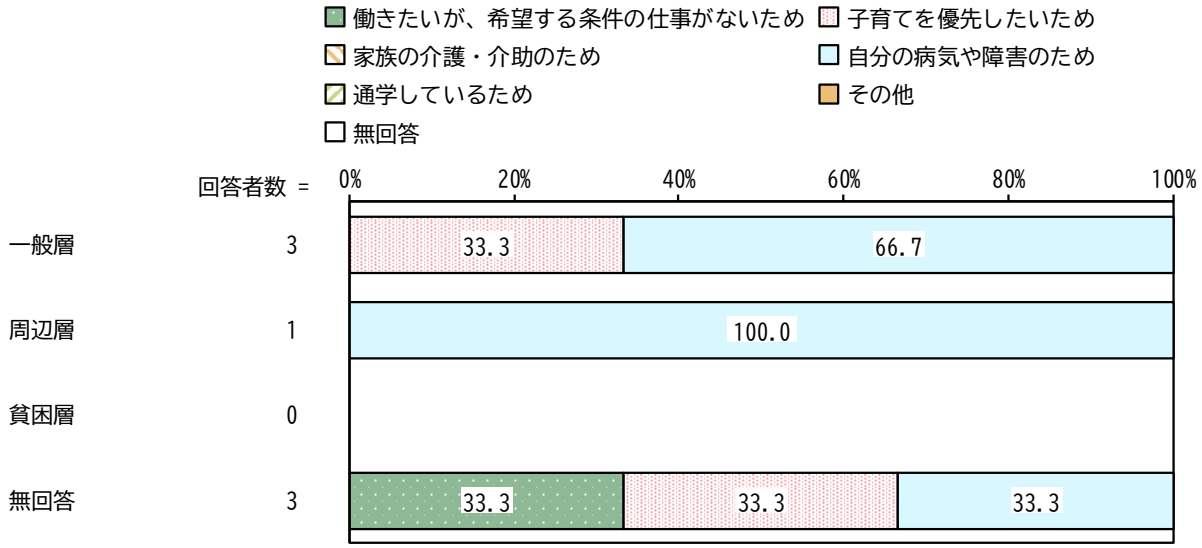
問 14－４　働いていない最も主な理由を教えてください。（１つに○）

「自分の病気や障害のため」が４件、「子育てを優先したいため」が２件、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が１件となっています。



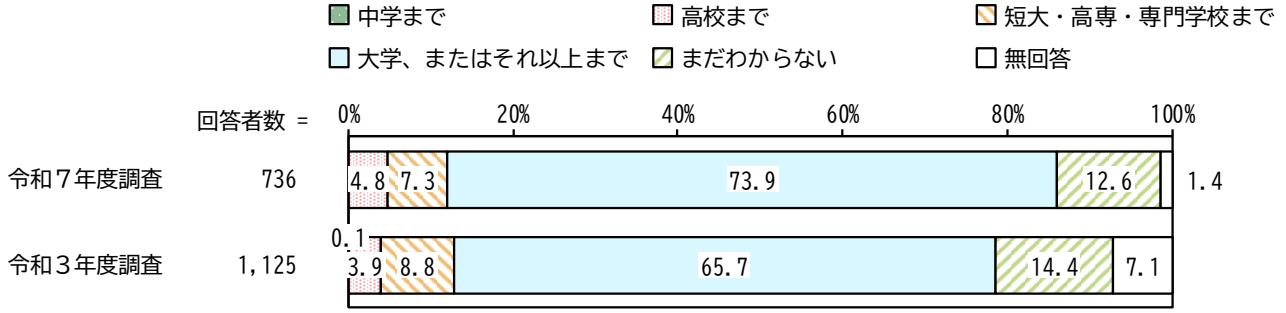
【生活困難度別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。

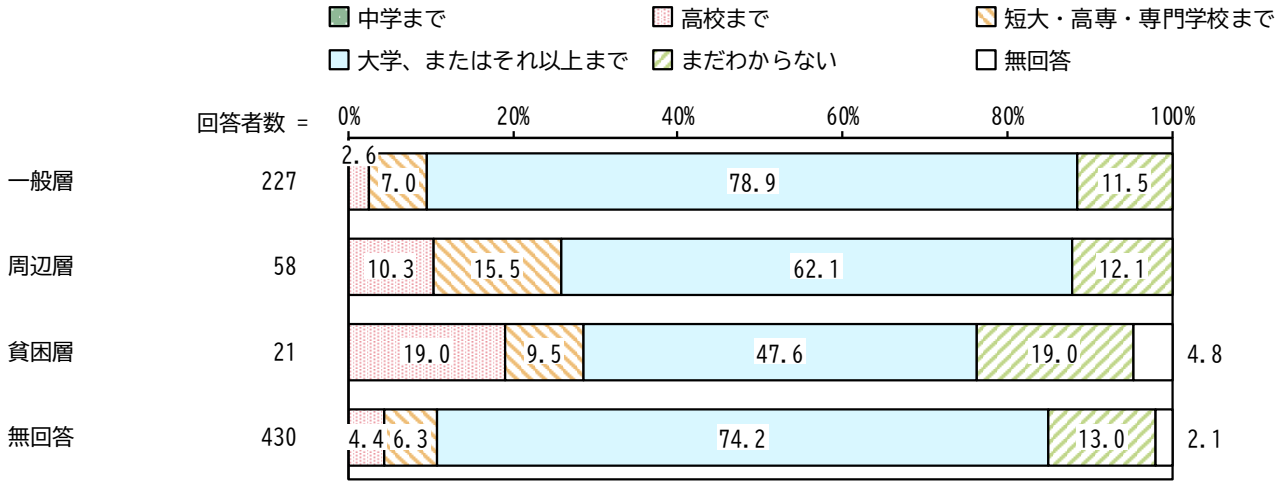


問 15　お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと思いますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。（１つに○）

「大学、またはそれ以上まで」の割合が 73.9%と最も高くなっています。
令和３年度調査と比較すると、「大学、またはそれ以上まで」の割合が増加しています。



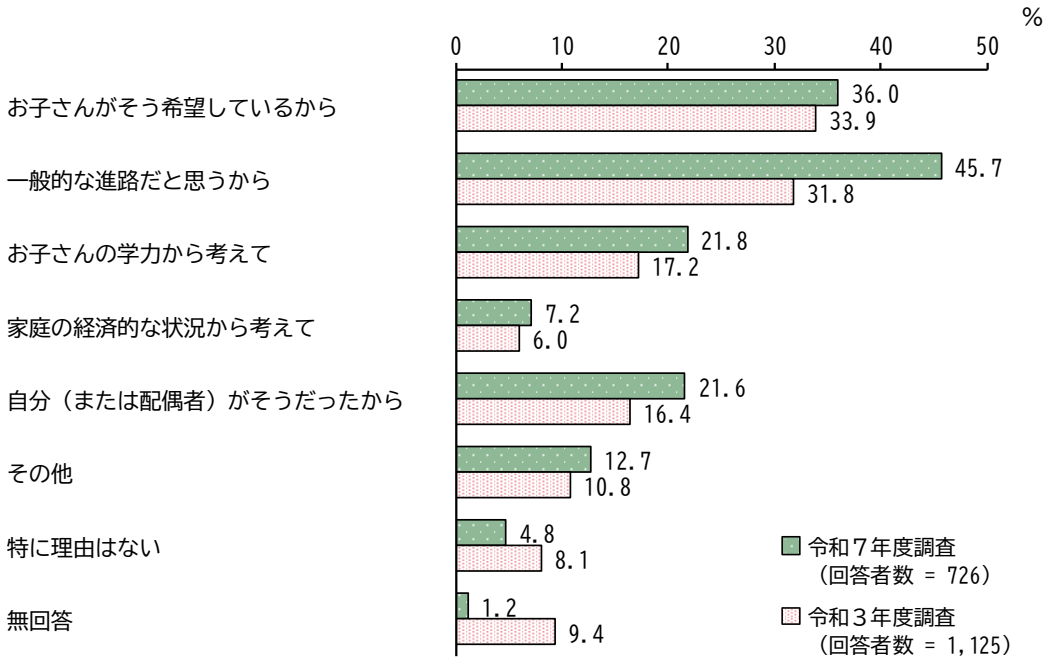
【生活困難度別】
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「高校まで」の割合が高く、「大学、またはそれ以上まで」の割合が低くなっています。



問 16　問 15 で、なぜそれを選んだのか、その理由を答えてください。
（あてはまる番号すべてに○）

「一般的な進路だと思うから」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「お子さんがそう希望しているから」の割合が 36.0%、「お子さんの学力から考えて」の割合が 21.8%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「一般的な進路だと思うから」「自分（または配偶者）がそうだったから」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

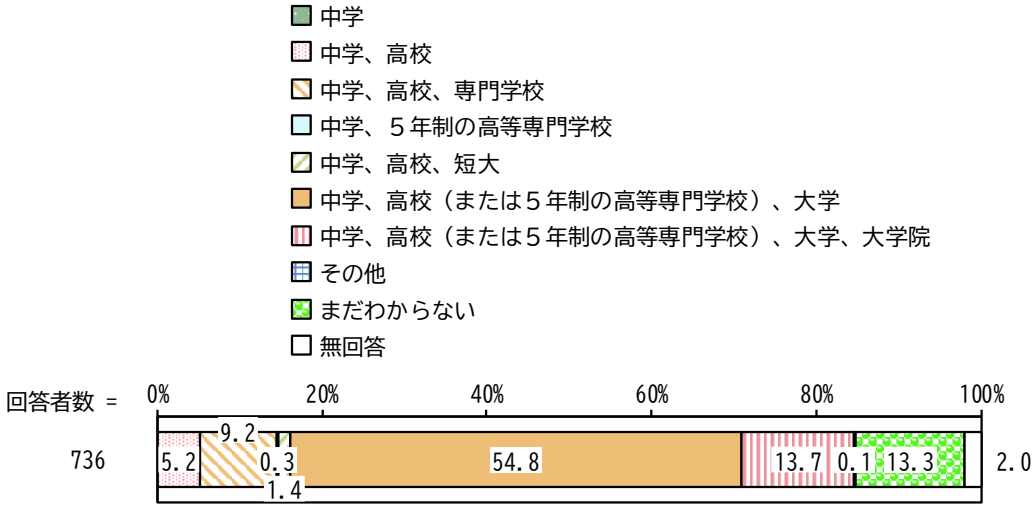
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「家庭の経済的な状況から考えて」の割合が高く、「一般的な進路だと思うから」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	お子さんがそう希望しているから	一般的な進路だと思うから	お子さんの学力から考えて	家庭の経済的な状況から考えて	自分（または配偶者）がそうだったから	その他	特に理由はない	無回答
全　体	726	36.0	45.7	21.8	7.2	21.6	12.7	4.8	1.2
一般層	227	36.6	43.6	21.1	7.9	23.3	11.0	4.0	0.0
周辺層	58	32.8	39.7	24.1	10.3	27.6	15.5	6.9	1.7
貧困層	20	45.0	30.0	20.0	15.0	0.0	25.0	5.0	0.0
無回答	421	35.6	48.5	21.9	5.9	20.9	12.6	5.0	1.9

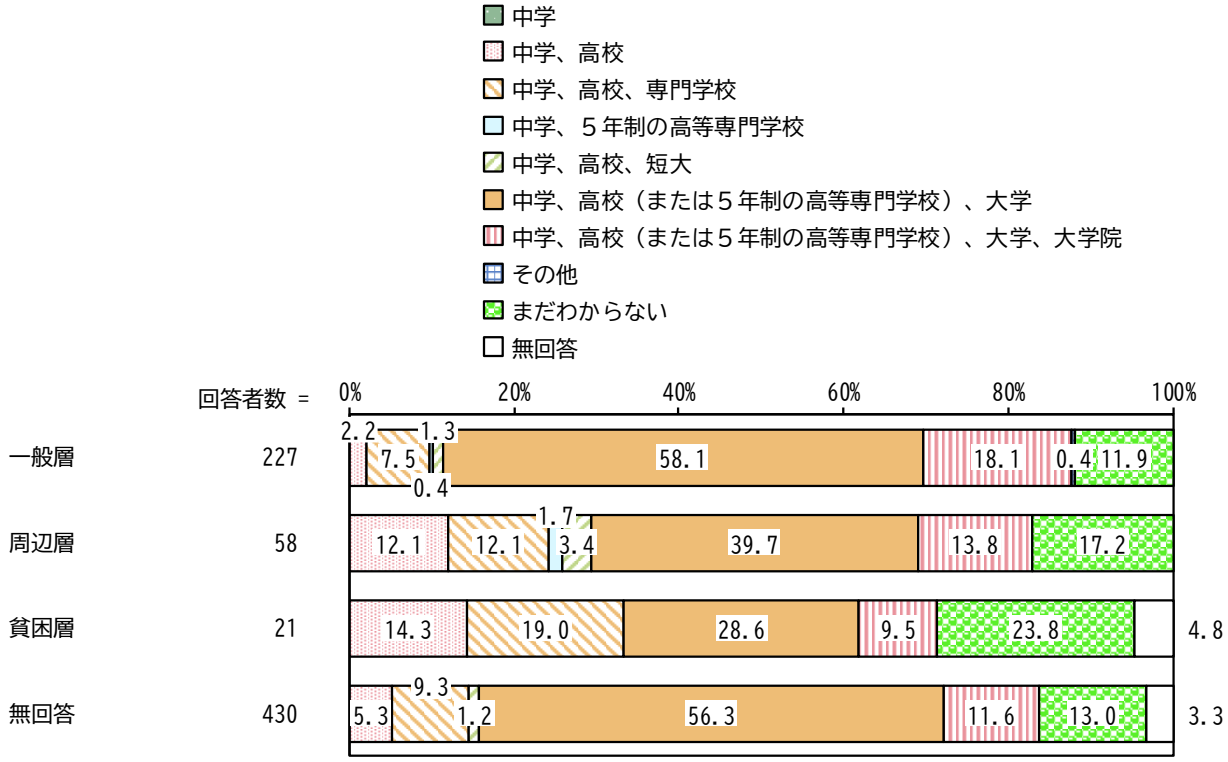
問 17　お子さんは将来、現実的に見てどの学校まで進学すると思いますか。
（あてはまるものひとつに○）

「中学、高校（または５年制の高等専門学校）、大学」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「中学、高校（または５年制の高等専門学校）、大学、大学院」の割合が 13.7%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「中学、高校」「中学、高校、専門学校」の割合が高く、「中学、高校（または５年制の高等専門学校）、大学」「中学、高校（または５年制の高等専門学校）、大学、大学院」の割合が低くなっています。

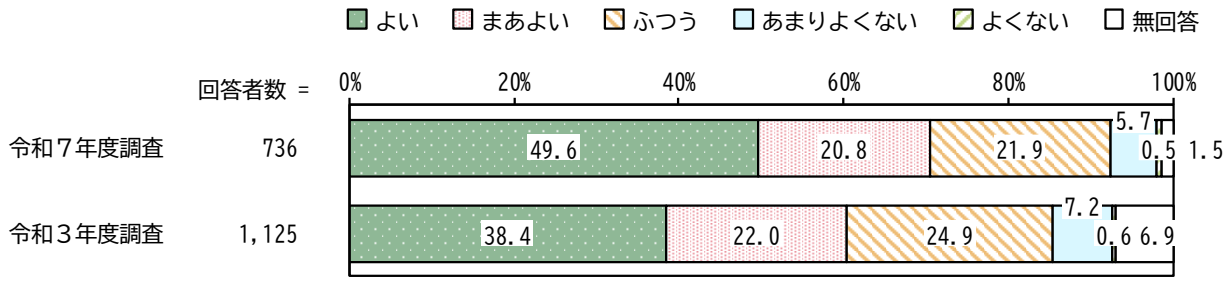


問 18　あなたとお子さんの健康状態についてお聞きします。それぞれ、最も近いものに○をつけてください。

問 18－１　あなた（回答者）（１つに○）

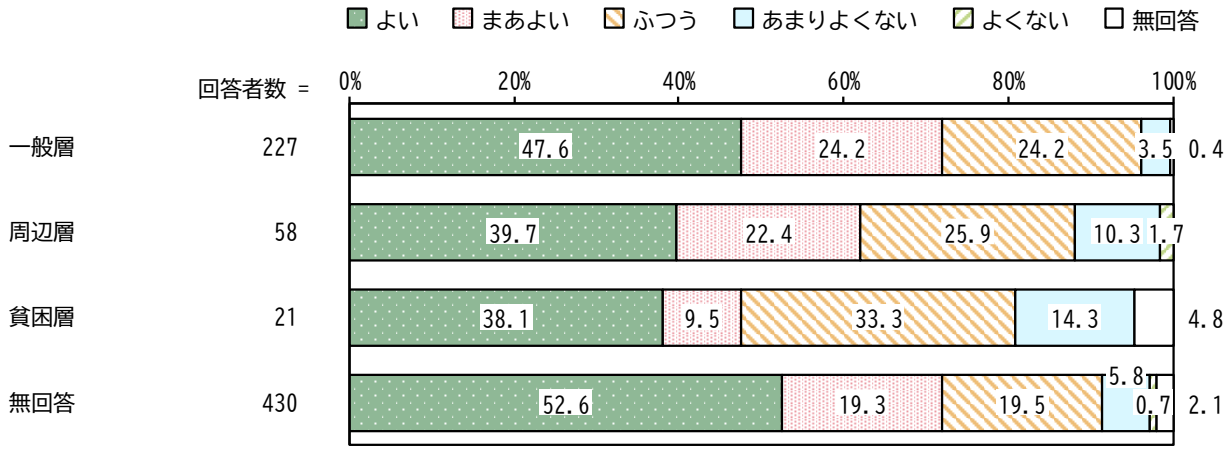
「よい」「まあよい」を合わせた“よい”の割合が 70.4%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”の割合が 6.2%となっています。

令和３年度調査と比較すると、“よい”の割合が増加しています。



【生活困難度別】

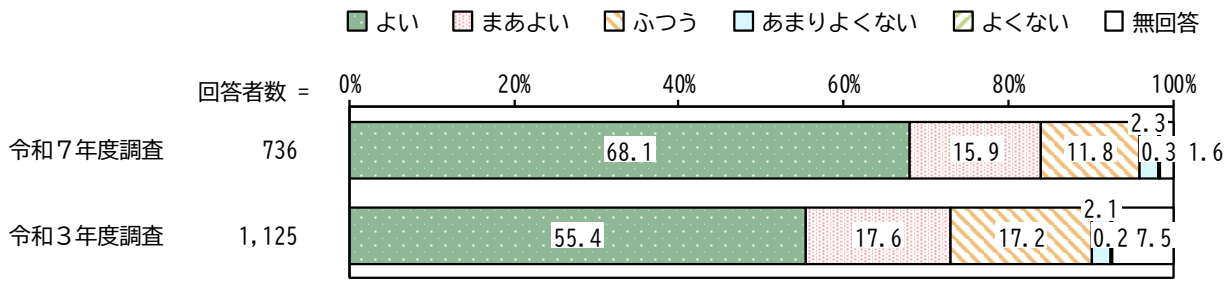
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど“よくない”の割合が高くなっています。また、貧困層で「よい」「まあよい」の割合が低くなっています。



問 18－２　お子さん（１つに○）

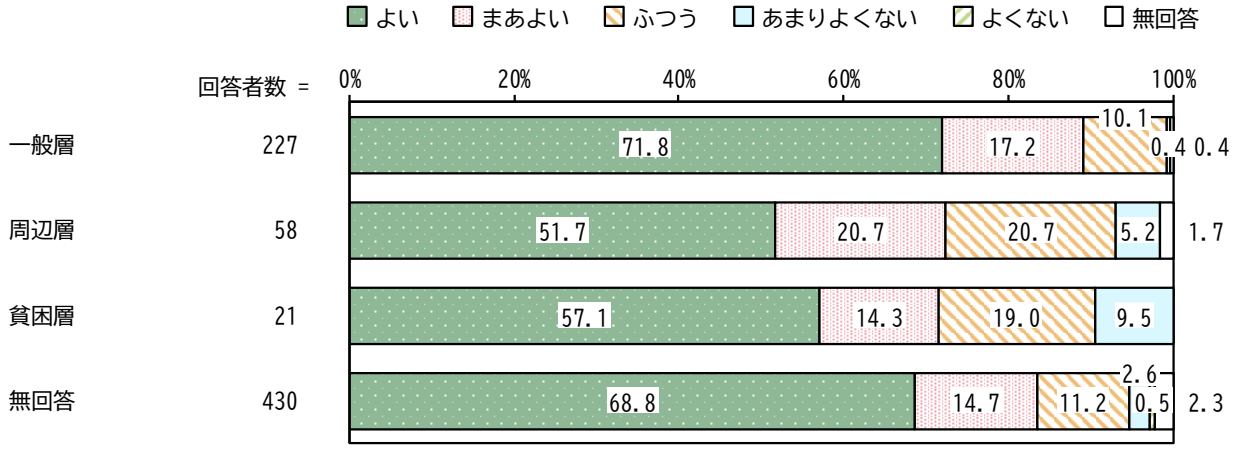
「よい」「まあよい」を合わせた“よい”の割合が 84.0%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”の割合が 2.6%となっています。

令和３年度調査と比較すると、“よい”の割合が増加しています。



【生活困難度別】

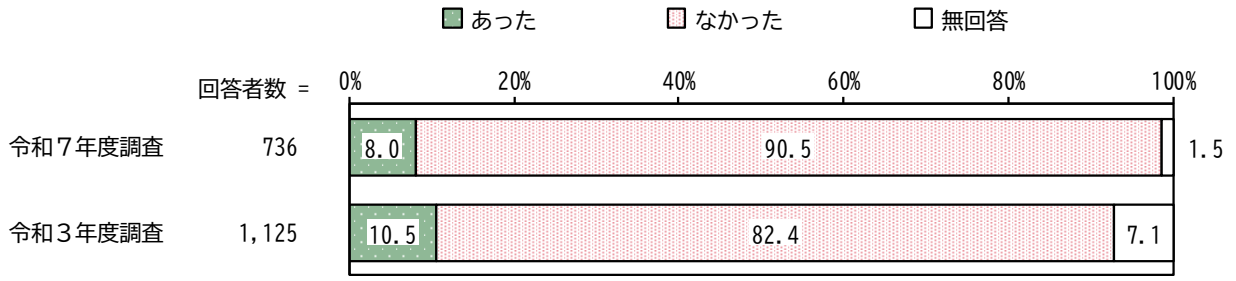
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど“よい”の割合が高くなっています。また、周辺層で「よい」の割合が低くなっています。



問 19　過去１年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。（１つに○）

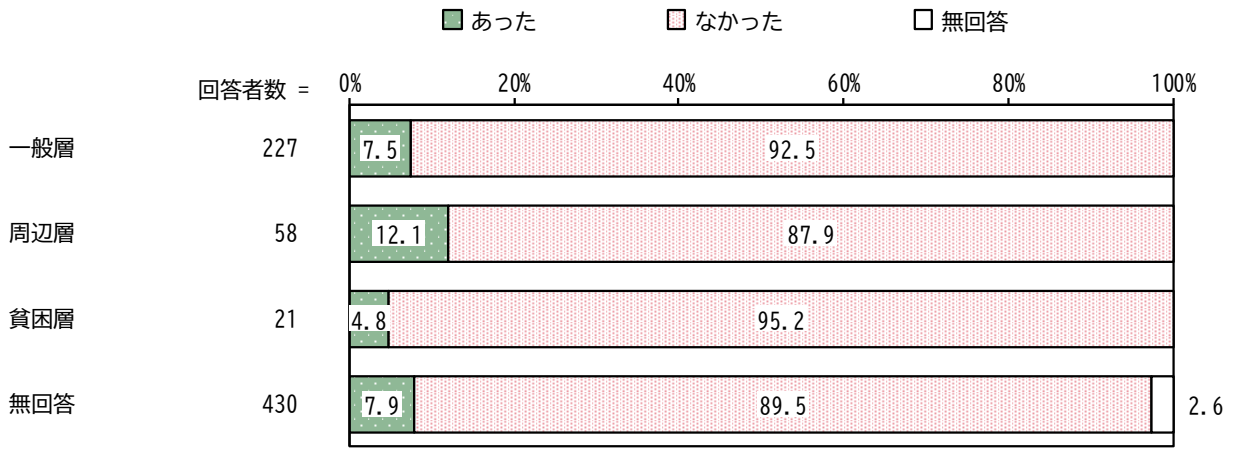
「あった」の割合が 8.0%、「なかった」の割合が 90.5%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「なかった」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、大きな差はみられません。

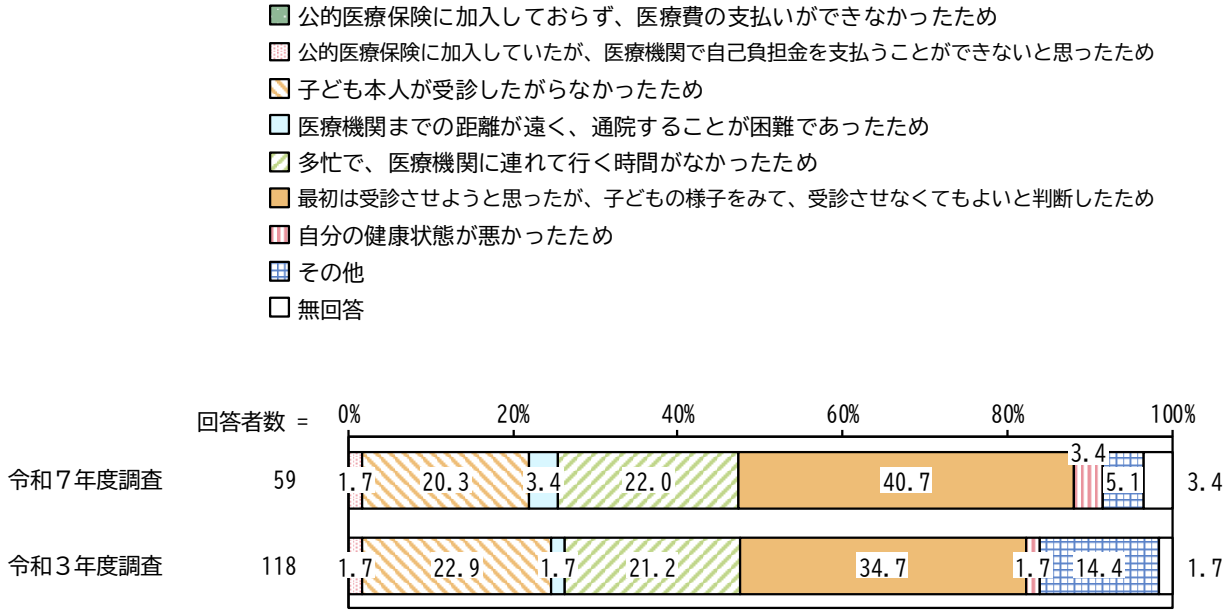


問 19 で「あった」を選んだ方にお聞きします。

問 19－１　その理由は、何ですか。最も近いものに○をつけてください。（１つに○）

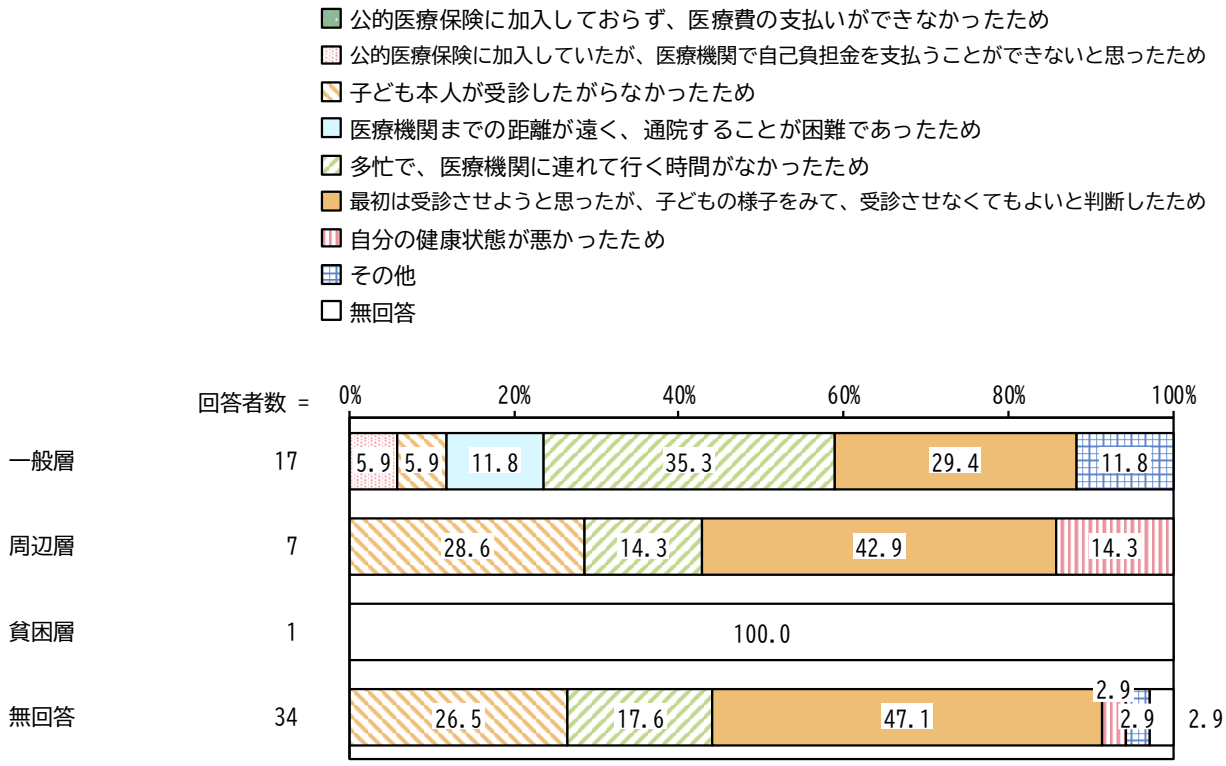
「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子をみて、受診させなくてもよいと判断したため」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」の割合が 22.0%、「子ども本人が受診したがらなかったため」の割合が 20.3%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子をみて、受診させなくてもよいと判断したため」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

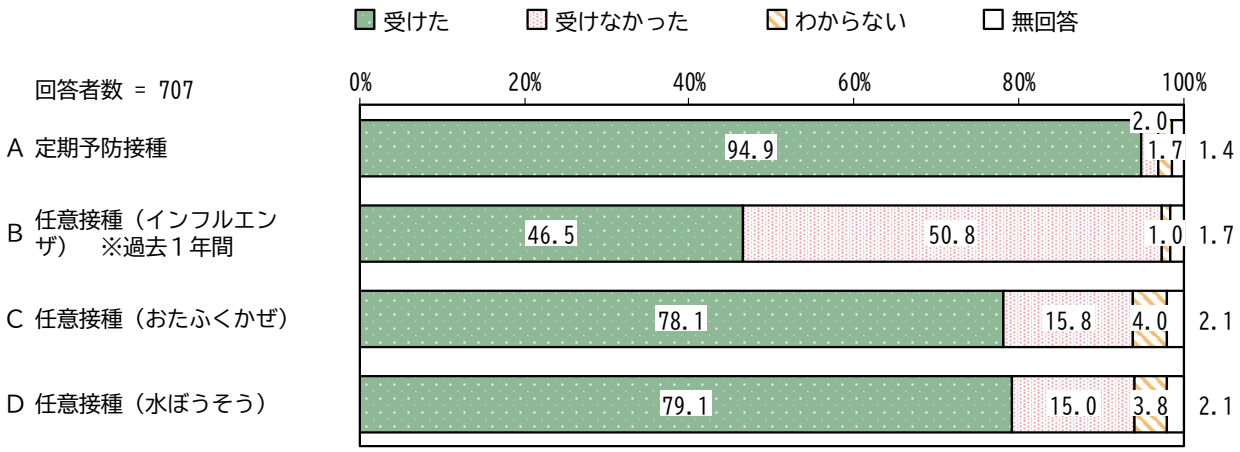
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」の割合が高く、周辺層から貧困層まで困難度が小さいほど「子ども本人が受診したがらなかったため」「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子をみて、受診させなくてもよいと判断したため」「自分の健康状態が悪かったため」の割合が高くなっています。



問 20 はお子さんが小学生・中学生の方のみご回答ください。

問 20　お子さんの予防接種の受診状況について、最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

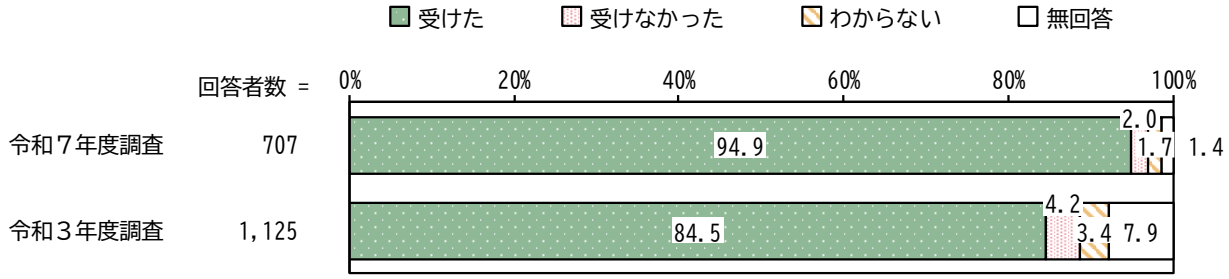
『A　定期予防接種』で「受けた」が、『B　任意接種（インフルエンザ）　※過去１年間』で「受けなかった」が、『C　任意接種（おたふくかぜ)』で「わからない」が高くなっています。



A　定期予防接種

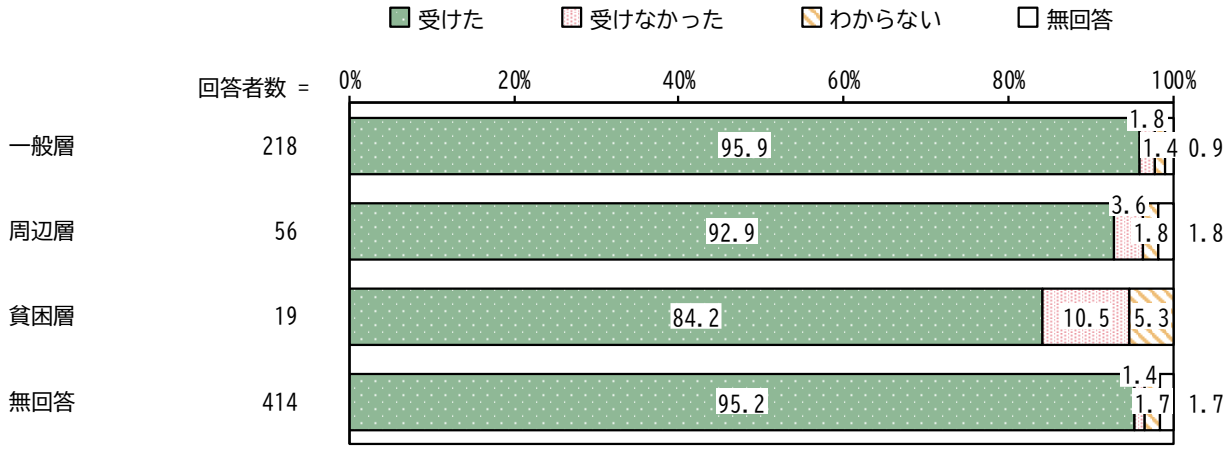
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「受けた」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

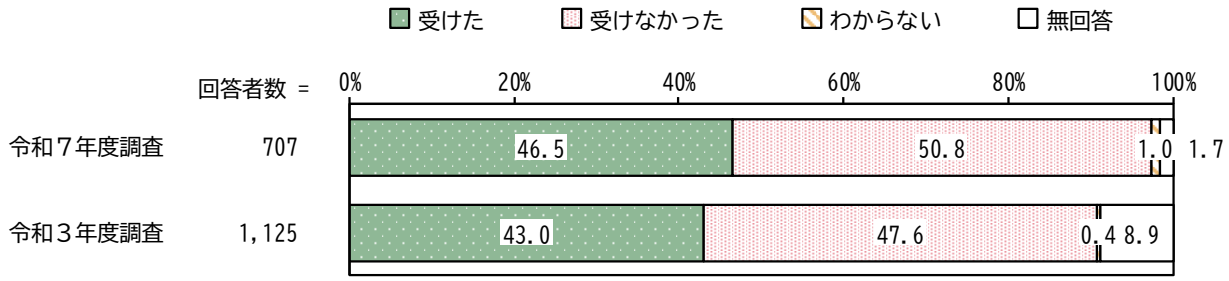
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「受けなかった」の割合が高くなっています。



B　任意接種（インフルエンザ）　※過去１年間

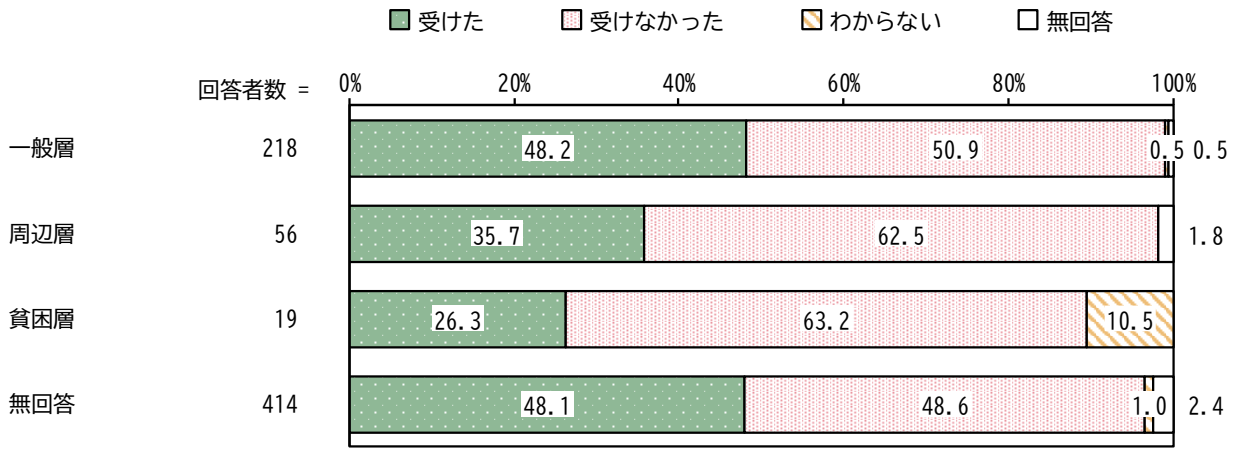
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

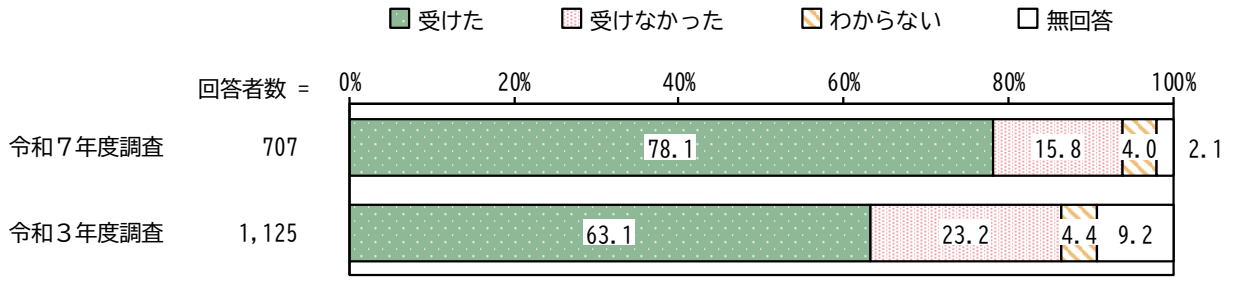
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「受けなかった」の割合が高くなっています。



C　任意接種（おたふくかぜ）

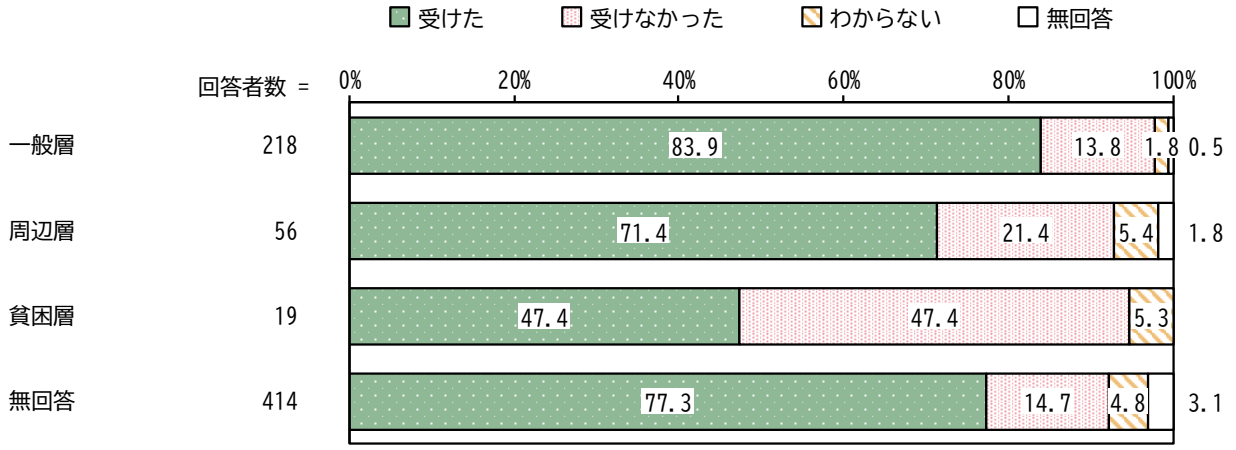
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「受けた」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

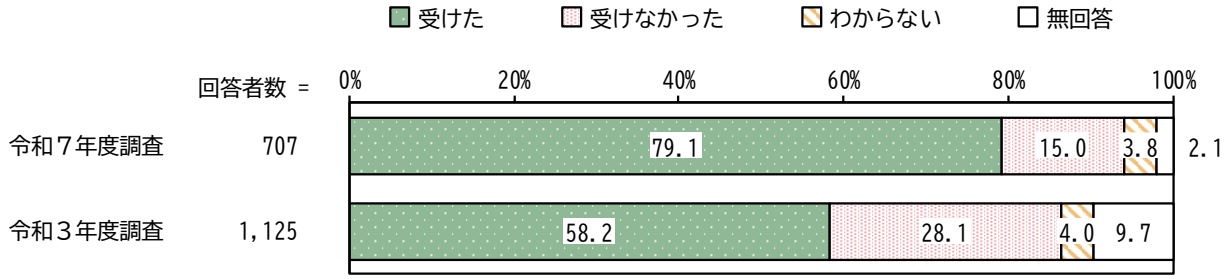
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「受けなかった」の割合が高くなっています。



D　任意接種（水ぼうそう）

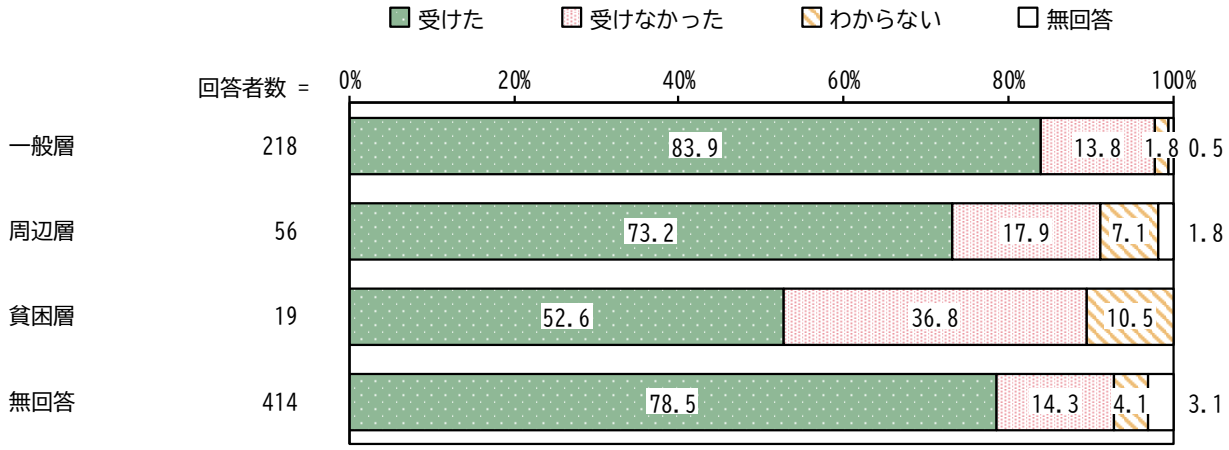
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「受けた」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「受けなかった」の割合が高くなっています。

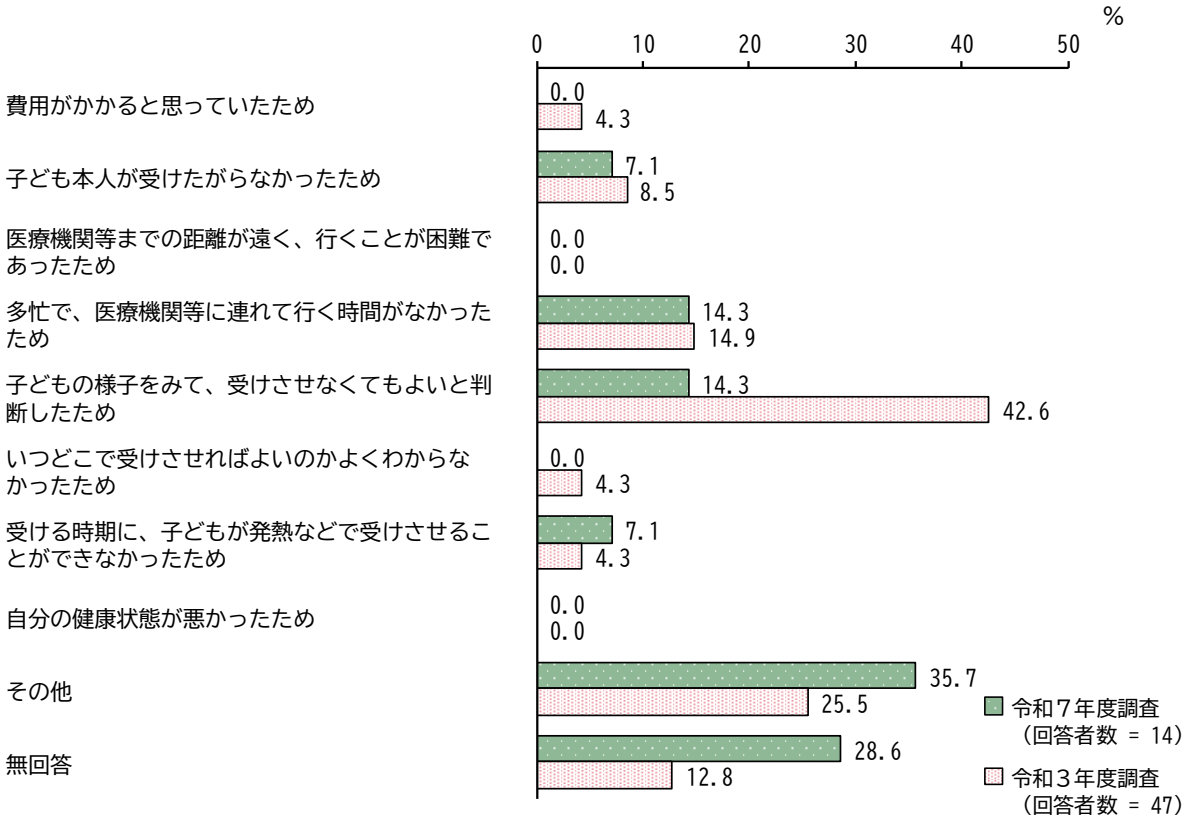


問 20 でＡ　定期予防接種について「受けなかった」を選んだ方にお聞きします。

問 20－１　定期予防接種を受けなかったことがあったのはなぜですか。（あてはまる番号すべてに○）

「多忙で、医療機関等に連れて行く時間がなかったため」、「子どもの様子をみて、受けさせなくてもよいと判断したため」の割合が 14.3%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、「子どもの様子をみて、受けさせなくてもよいと判断したため」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。

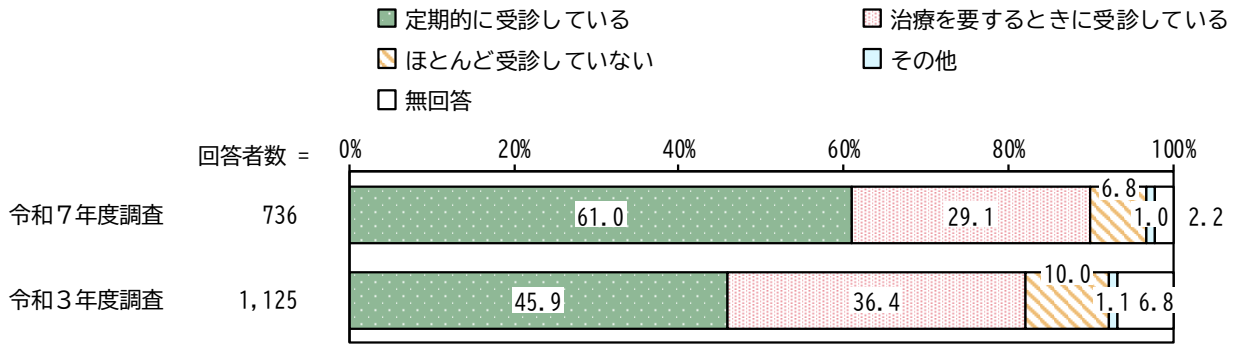
単位：%

区分	回答者数（件）	費用がかかると思っていたため	子ども本人が受けたがらなかったため	医療機関等までの距離が遠く、行くことが困難であったため	多忙で、医療機関等に連れて行く時間がなかったため	子どもの様子をみて、受けさせなくてもよいと判断したため	いつどこで受けさせればよいのかよくわからなかったため	受ける時期に、子どもが発熱などで受けさせることができなかったため	自分の健康状態が悪かったため	その他	無回答
全　体	14	0.0	7.1	0.0	14.3	14.3	0.0	7.1	0.0	35.7	28.6
一般層	4	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
周辺層	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
貧困層	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
無回答	6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	33.3

問 21　お子さんは、定期的に歯科医を受診していますか。（１つに○）

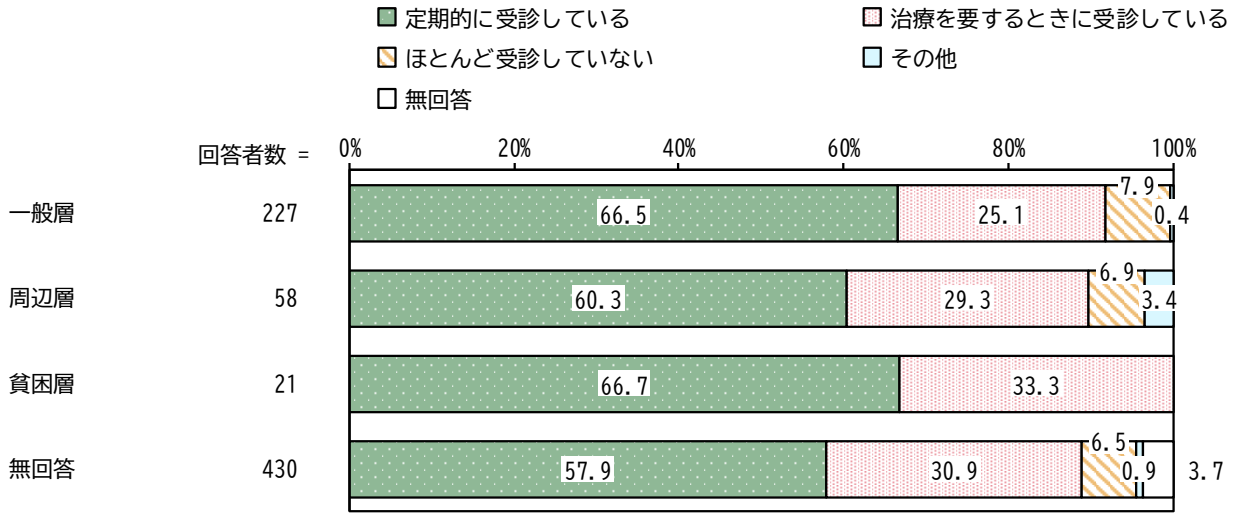
「定期的に受診している」の割合が 61.0%、「治療を要するときに受診している」の割合が 29.1%、「ほとんど受診していない」の割合が 6.8%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「定期的に受診している」の割合が増加しています。一方、「治療を要するときに受診している」の割合が減少しています。



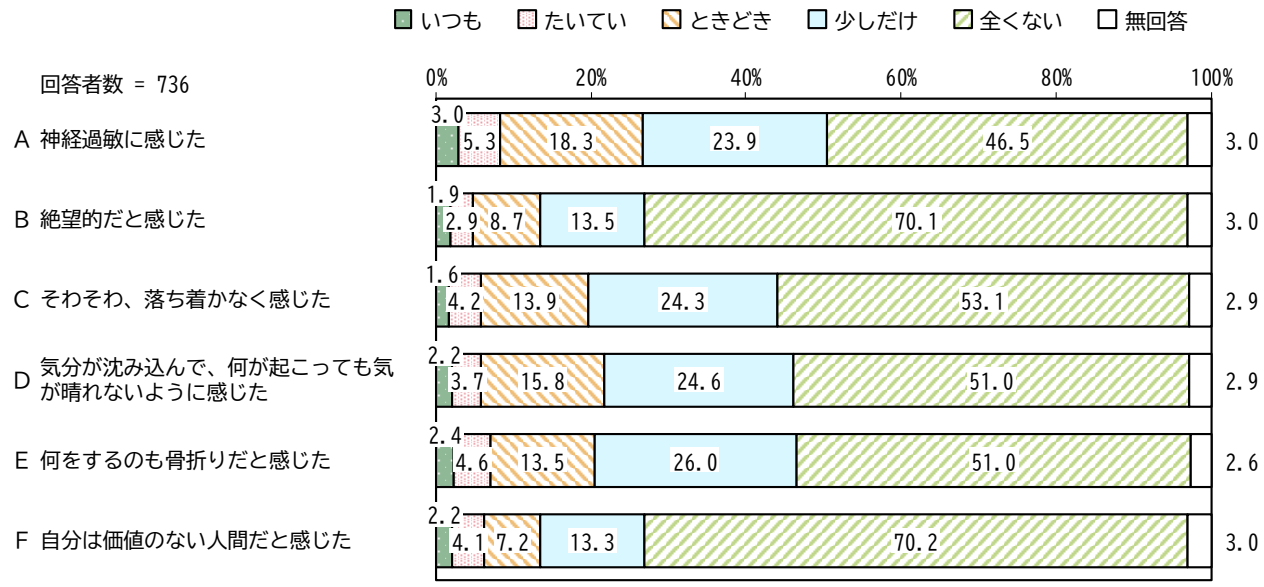
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「治療を要するときに受診している」の割合が高くなっています。



問 22　次のＡ～Ｆの質問について、あなたは、ここ１か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

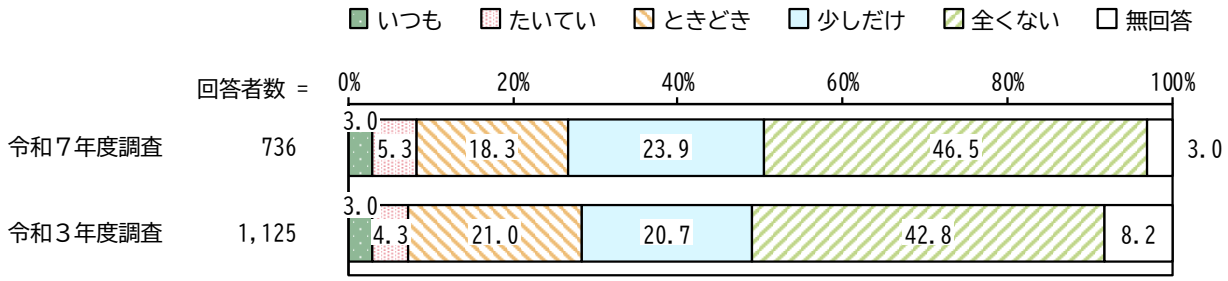
『Ａ　神経過敏に感じた』で「いつも」「たいてい」「ときどき」が、『Ｅ　何をするのも骨折りだと感じた』で「少しだけ」が、『Ｆ　自分は価値のない人間だと感じた』で「全くない」が高くなっています。



Ａ　神経過敏に感じた

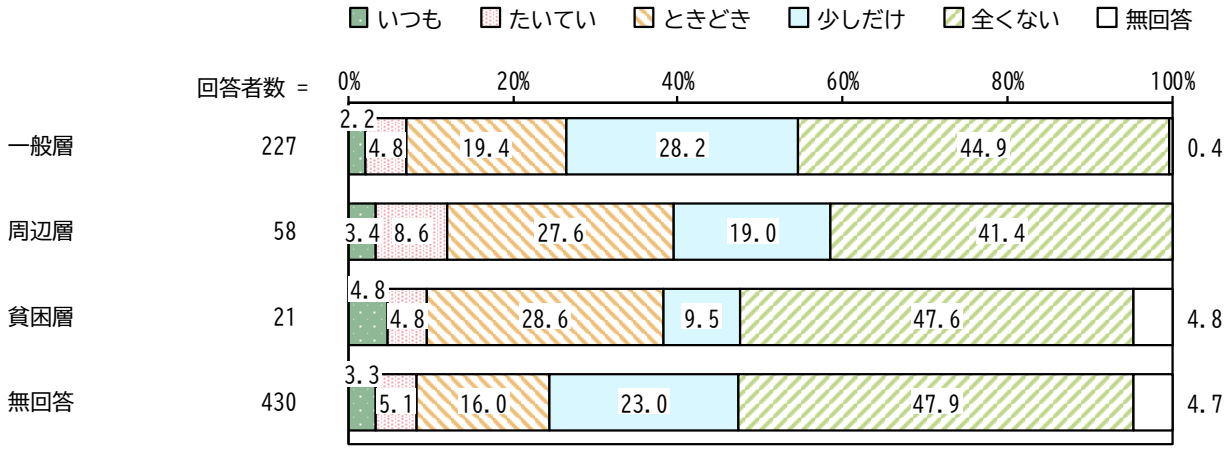
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

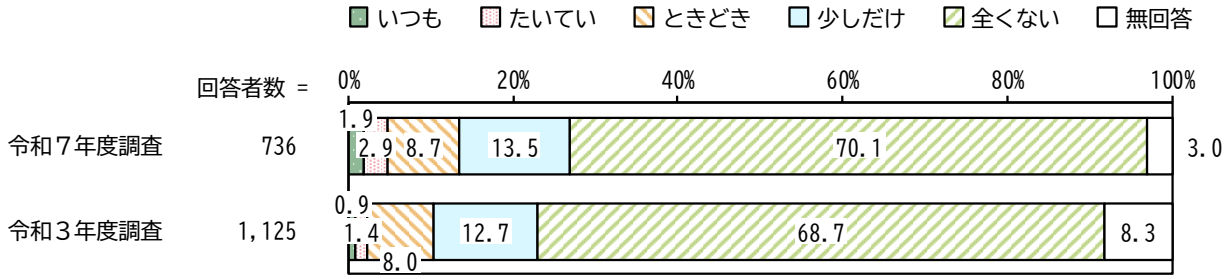
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「ときどき」の割合が高く、「少しだけ」の割合が低くなっています。



B　絶望的だと感じた

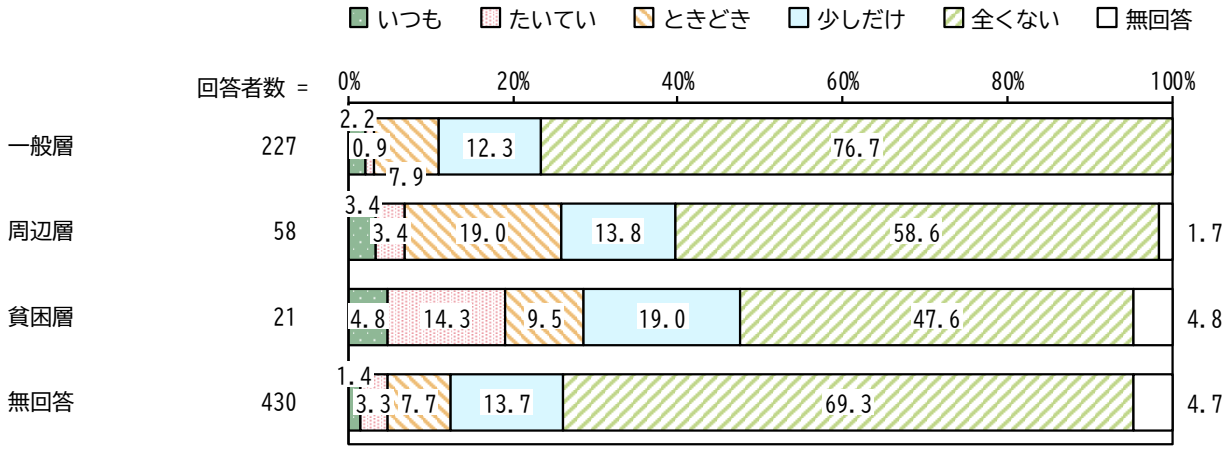
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

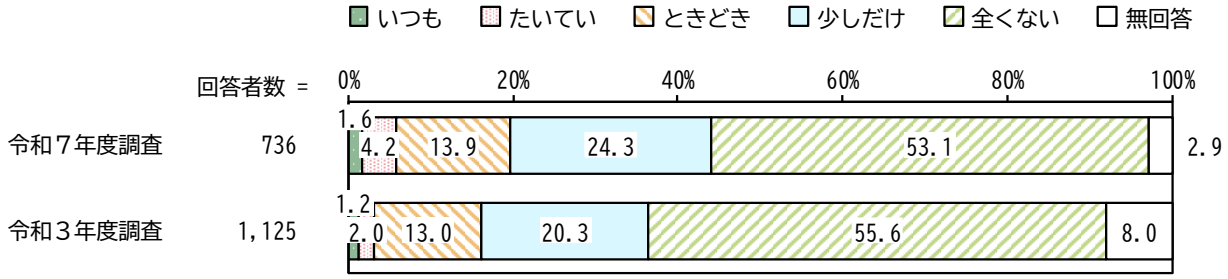
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「たいてい」「少しだけ」の割合が高く、「全くない」の割合が低くなっています。



C　そわそわ、落ち着かなく感じた

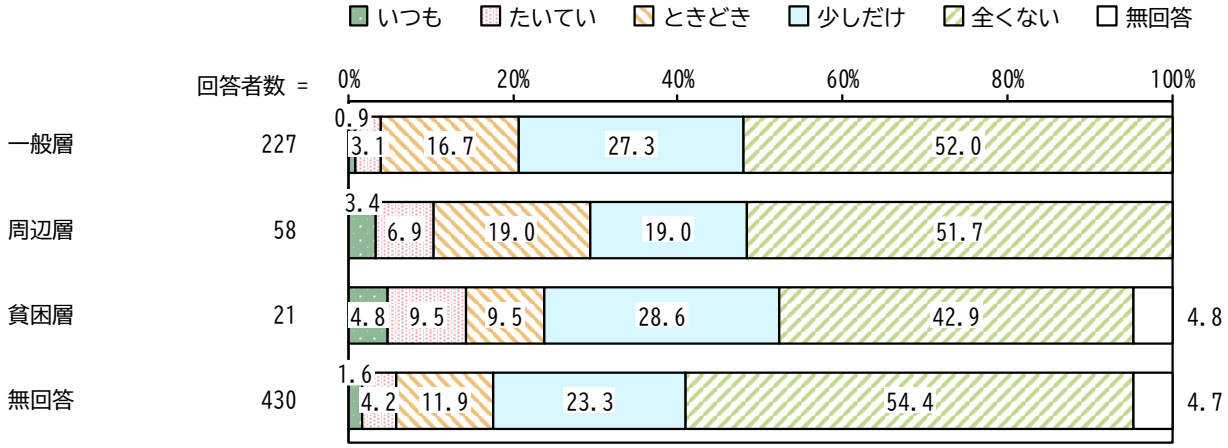
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

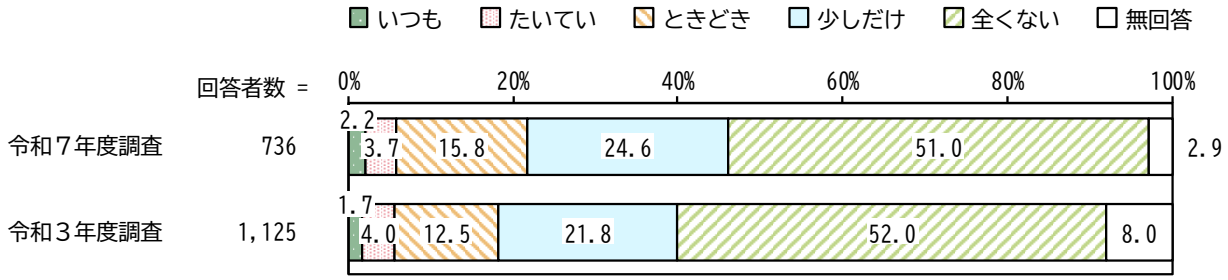
生活困難度別にみると、貧困層で「たいてい」、周辺層で「ときどき」の割合が高く、周辺層で「少しだけ」、貧困層で「全くない」の割合が低くなっています。



D　気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた

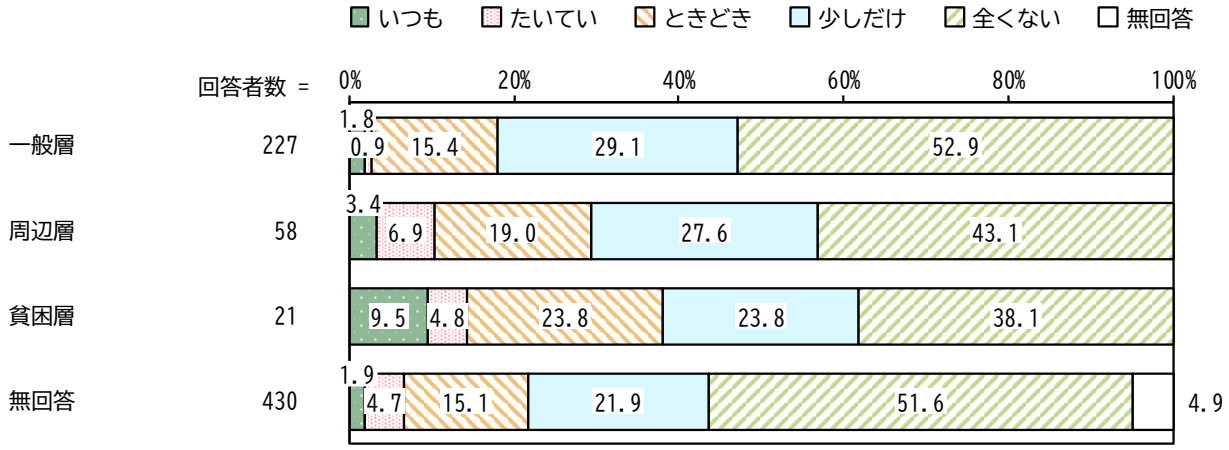
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

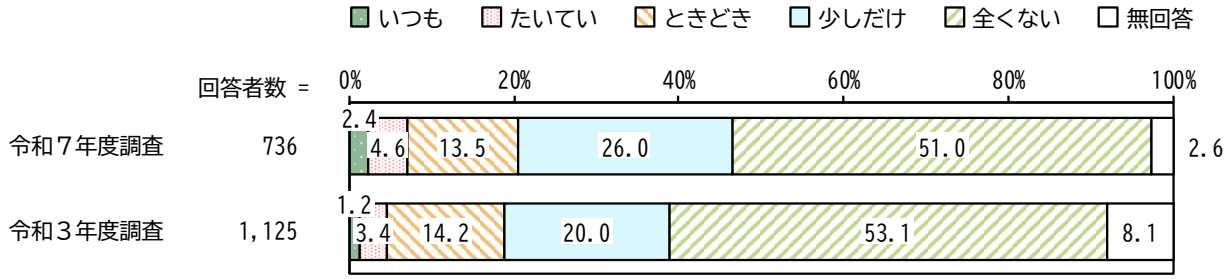
生活困難度別にみると、貧困層で「いつも」「ときどき」の割合が高く、貧困層で「全くない」の割合が低くなっています。



E　何をするのも骨折りだと感じた

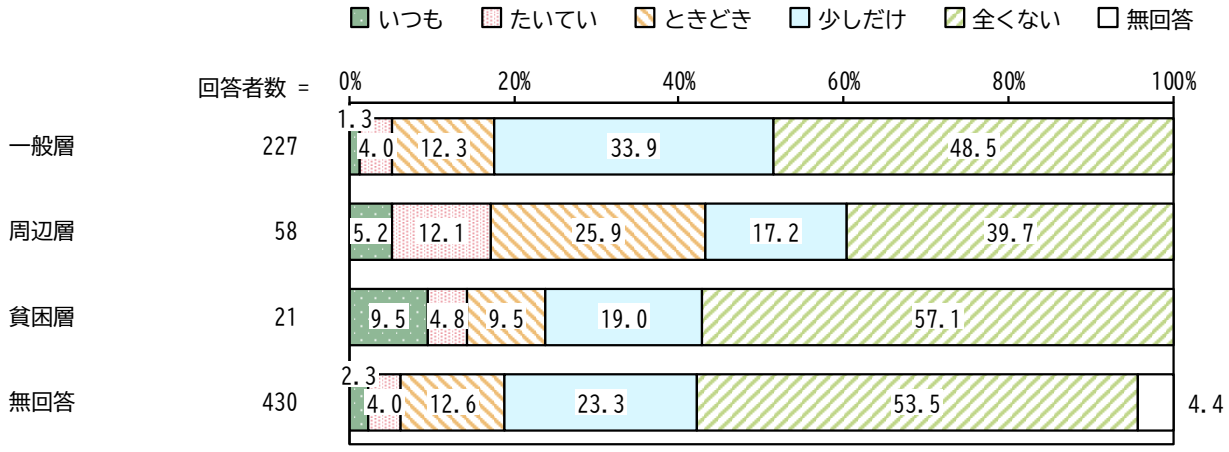
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「少しだけ」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

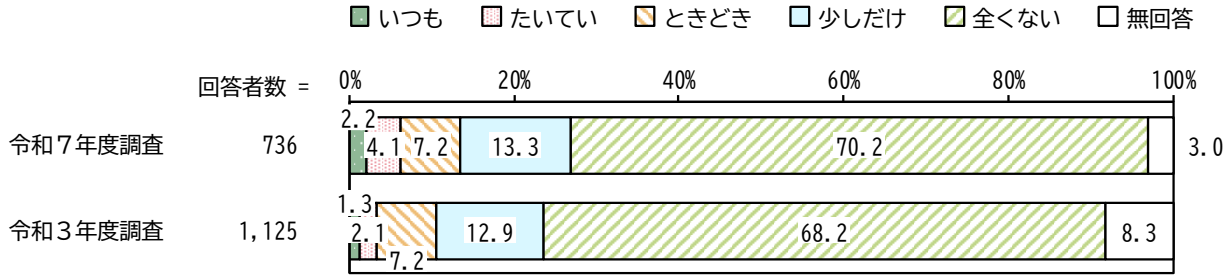
生活困難度別にみると、貧困層で「いつも」「全くない」、周辺層で「たいてい」「ときどき」、一般層で「少しだけ」の割合が高くなっています。



F　自分は価値のない人間だと感じた

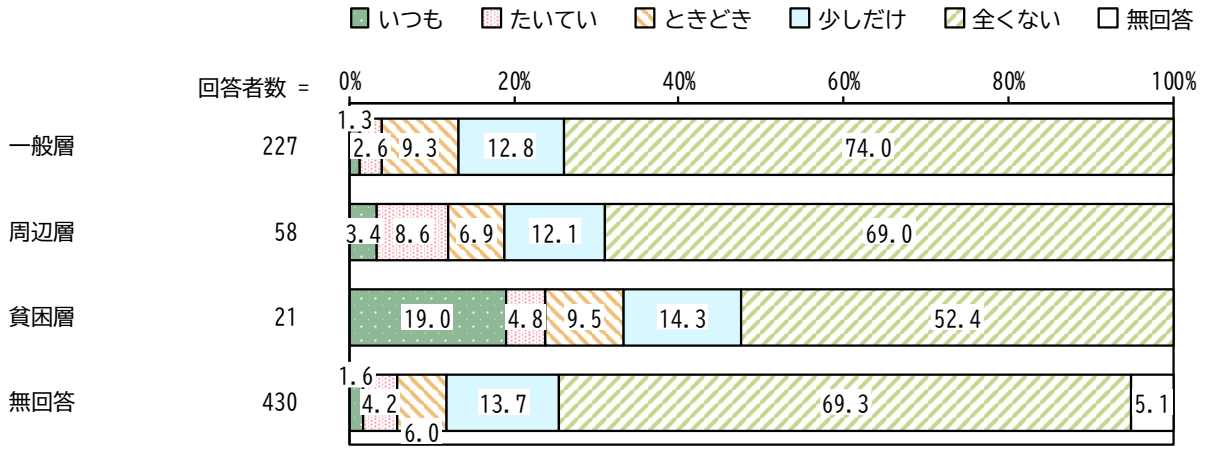
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

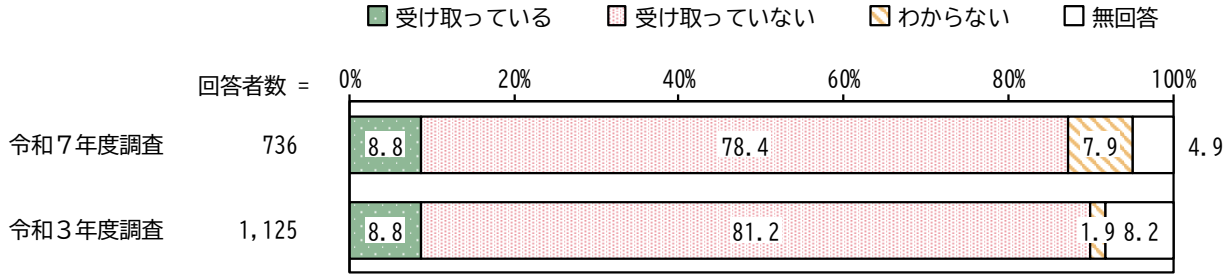
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いつも」の割合が高く、「全くない」の割合が低くなっています。



問 24　あなたのご家庭では、お子さんのために就学援助費を受け取っていますか。
（１つに○）

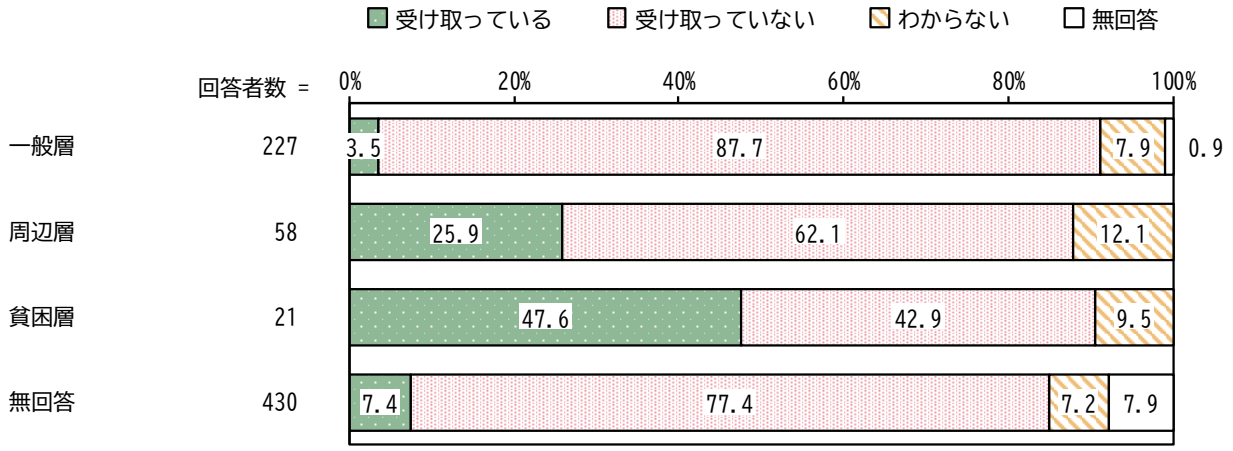
「受け取っている」の割合が 8.8%、「受け取っていない」の割合が 78.4%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



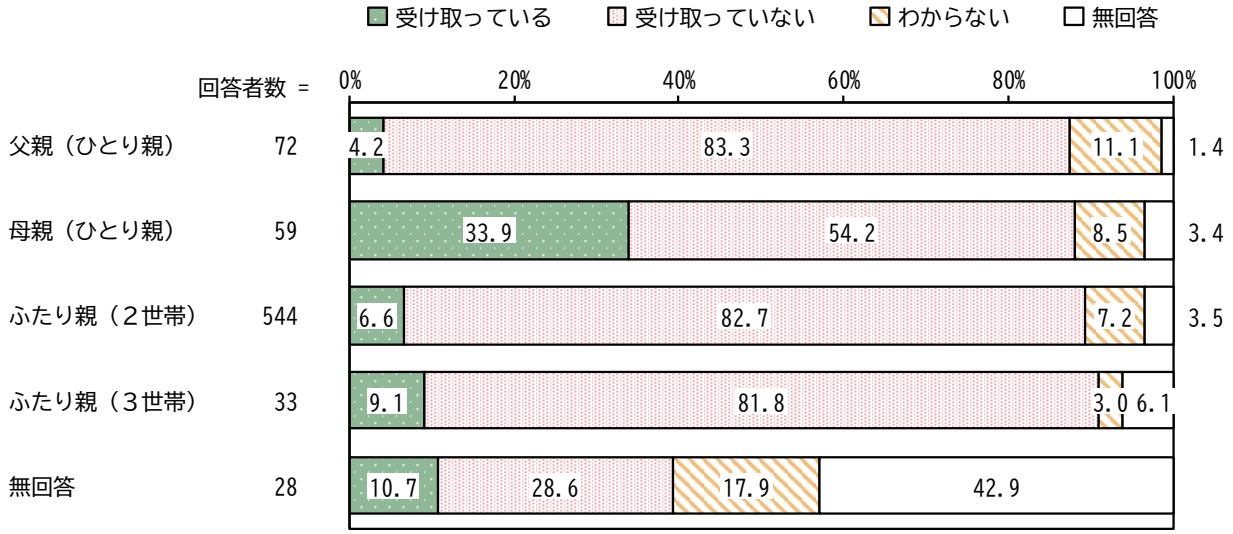
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「受け取っている」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「受け取っている」の割合が高くなっています。



問 24 で「受け取っている」を選んだ方にお聞きします。

問 24－１　就学援助で支給されている額と実際にかかった額とで、その差が大きいものは何の経費ですか。

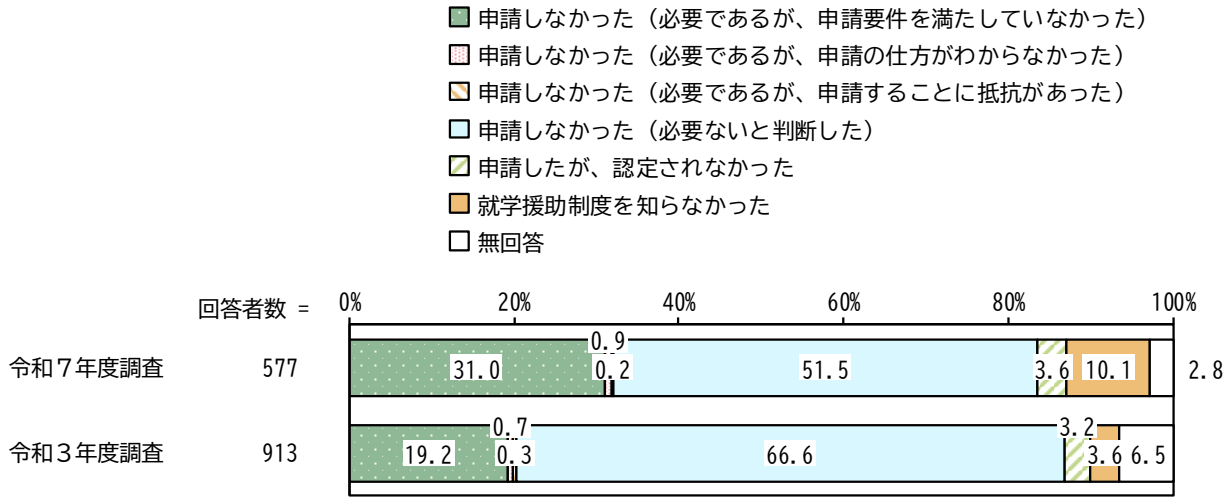
「特になし」や「特に大きくは感じない」といった意見や支給額をありがたく感じている意見が見受けられる一方で、具体的な経費の負担を指摘する回答の中では「授業料」や「学費」を挙げる声が最も多く、特に私立学校において実際の多額な費用との乖離を指摘する声があるほか、早期に支払う必要がある「修学旅行費」や「修学旅行積立金」、学校指定の「制服」や「ジャージ」、「体育着」といった購入代、さらには「学習用品費」や「教材費」などにおいて、実際の費用との間に大きな差があると感じる傾向となっています。

問 24 で「受け取っていない」を選んだ方にお聞きします。

問 24－２　就学援助費を受け取っていない理由は、何ですか。次のうち最も近いものに○をつけてください。（１つに○）

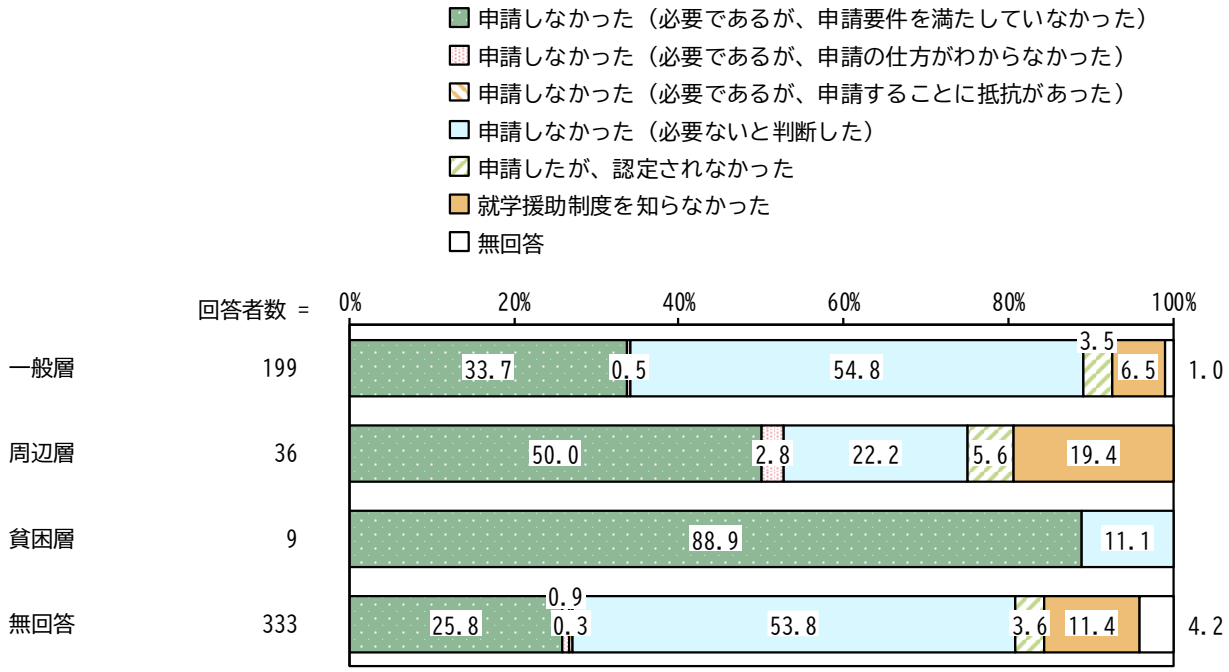
「申請しなかった（必要ないと判断した）」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていなかった）」の割合が 31.0%、「就学援助制度を知らなかった」の割合が 10.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていなかった）」「就学援助制度を知らなかった」の割合が増加しています。一方、「申請しなかった（必要ないと判断した）」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

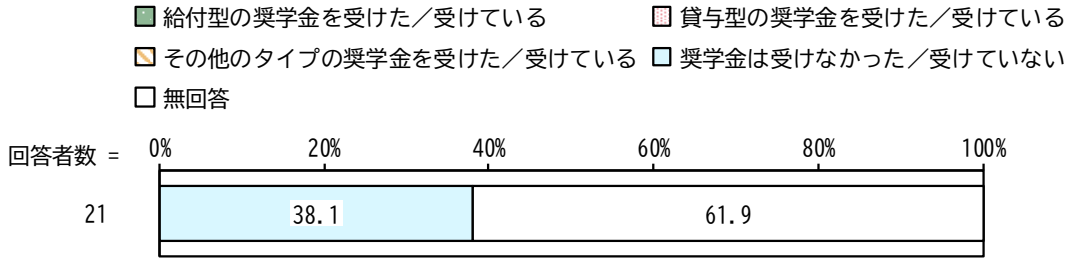
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていなかった）」の割合が高く、「申請しなかった（必要ないと判断した）」の割合が低く、周辺層から貧困層まで困難度が小さいほど「就学援助制度を知らなかった」の割合が高くなっています。また、一般層で「申請しなかった（必要ないと判断した）」の割合が高く、周辺層で「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていなかった）」「就学援助制度を知らなかった」の割合が高くなっています。



問 24－３、問 24－４は、お子さんが高校生の方のみご回答ください。

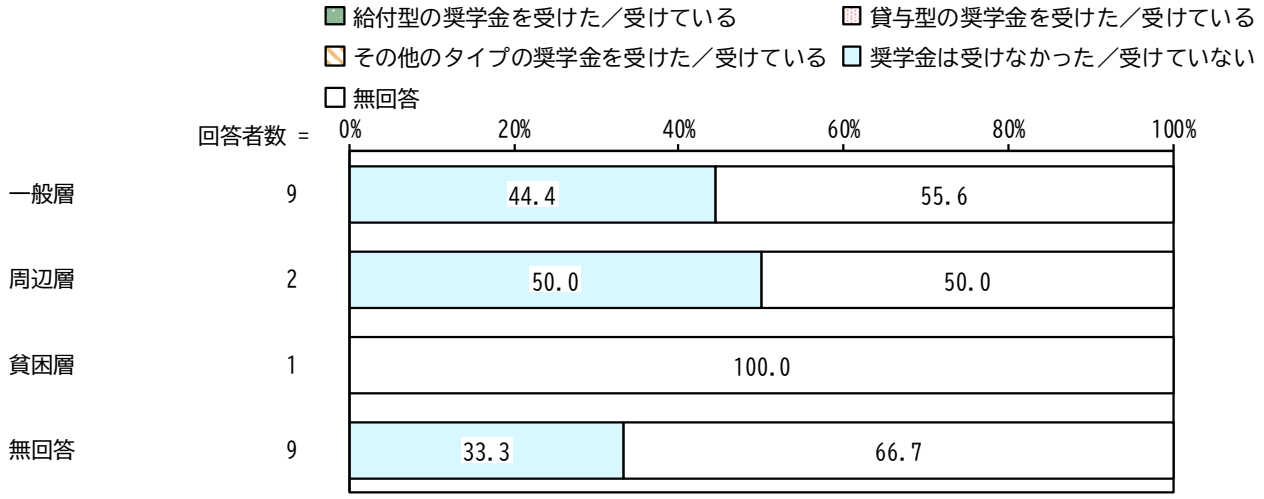
問 24－３　お子さんは、奨学金を受けましたか（受けていますか）。複数受けている場合は、直近のものについて教えてください。（１つに○）

「奨学金は受けなかった／受けていない」の割合が 38.1%と最も高くなっています。



【生活困難度別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



問 25 で回答いただいた、公的年金・手当等以外の収入についてお聞きします。

問 25－１　お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入（税込）はいくらですか。（１つに○）　※総支給額をお答えください

「900 万円以上」の割合が 36.0%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、「900 万円以上」の割合が増加しています。

単位：%

区分	回答者数（件）	収入はない（0円）	1～50 万円未満	50～100 万円未満	100～200 万円未満	200～300 万円未満	300～400 万円未満	400～500 万円未満	500～600 万円未満	600～700 万円未満	700～800 万円未満	800～900 万円未満	900 万円以上	わからない	無回答
全　体	736	3.9	0.5	0.7	0.4	1.2	1.6	2.9	6.0	6.0	6.9	6.9	36.0	5.6	21.3
令和７年度調査	736	3.9	0.5	0.7	0.4	1.2	1.6	2.9	6.0	6.0	6.9	6.9	36.0	5.6	21.3
令和３年度調査	1,125	2.6	0.8	0.4	1.6	1.9	3.0	3.9	5.5	7.2	7.9	8.5	27.5	4.4	24.8

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「収入はない（0円)」の割合が高くなっています。また、一般層で「900 万円以上」の割合が高くなっています。

単位：%

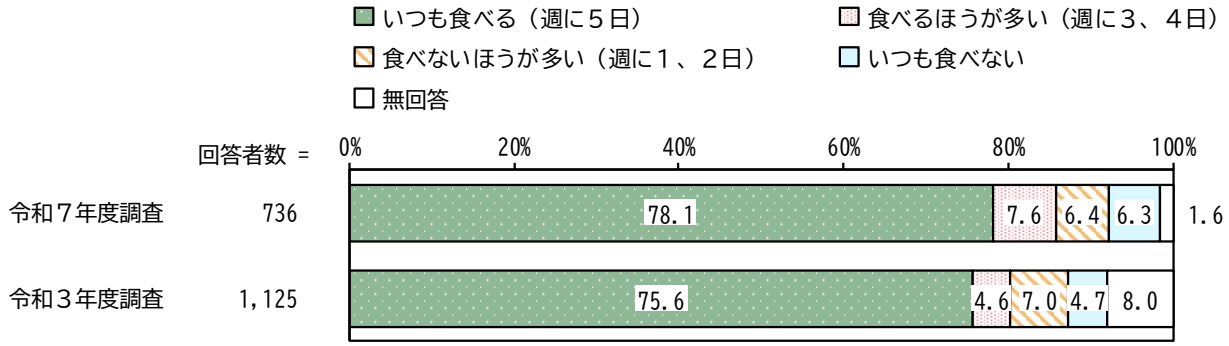
区分	回答者数（件）	収入はない（0円）	1～50 万円未満	50～100 万円未満	100～200 万円未満	200～300 万円未満	300～400 万円未満	400～500 万円未満	500～600 万円未満	600～700 万円未満	700～800 万円未満	800～900 万円未満	900 万円以上	わからない	無回答
全　体	736	3.9	0.5	0.7	0.4	1.2	1.6	2.9	6.0	6.0	6.9	6.9	36.0	5.6	21.3
一般層	227	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.9	4.0	7.0	8.4	11.5	11.0	50.7	5.3	0.0
周辺層	58	24.1	5.2	3.4	0.0	6.9	8.6	3.4	12.1	8.6	5.2	6.9	10.3	5.2	0.0
貧困層	21	28.6	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	14.3	23.8	0.0	0.0	4.8	14.3	9.5	0.0
無回答	430	2.1	0.2	0.5	0.7	0.5	1.2	1.6	3.7	4.7	5.1	4.9	32.8	5.6	36.5

問 26　あなたは平日の食事を週にどのくらいしていますか。（それぞれについて、あてはまる番号１つに○）

A　朝食

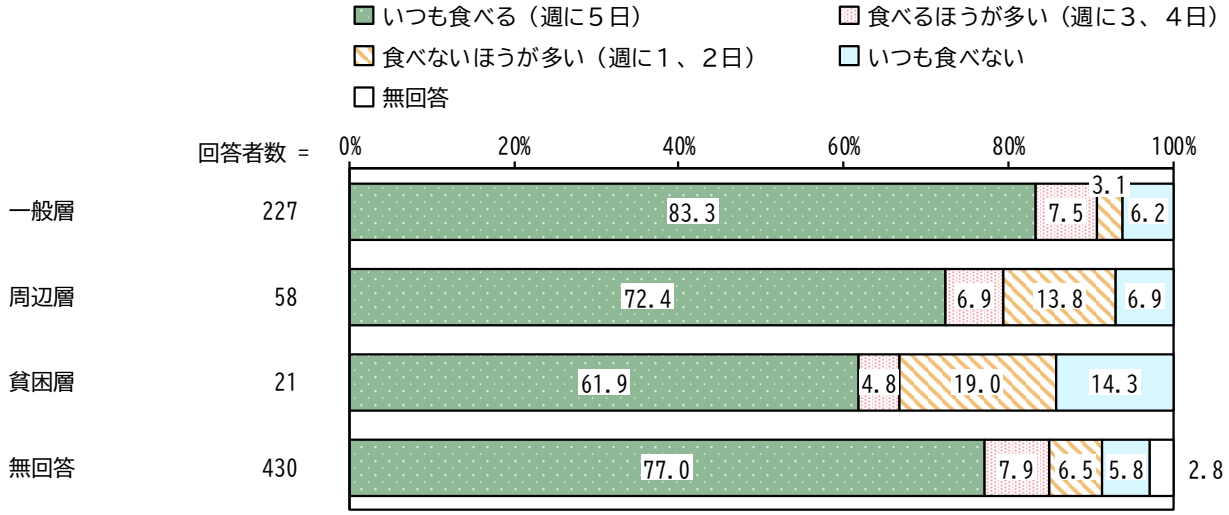
「いつも食べる（週に５日）」の割合が 78.1%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



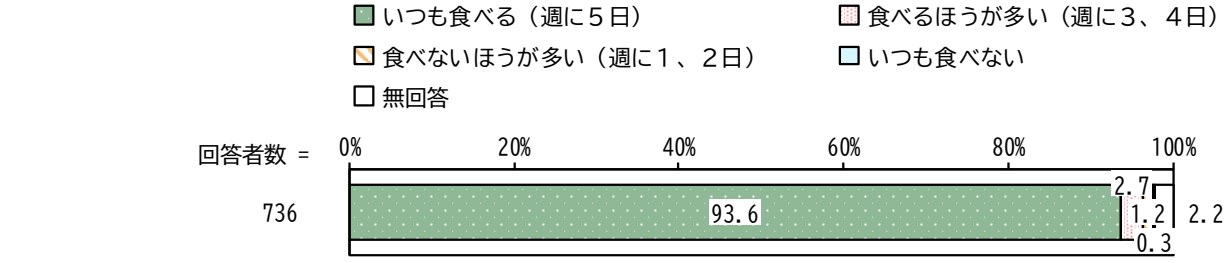
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いつも食べない」の割合が高くなっています。また、貧困層で「いつも食べる（週に５日）」の割合が低くなっています。



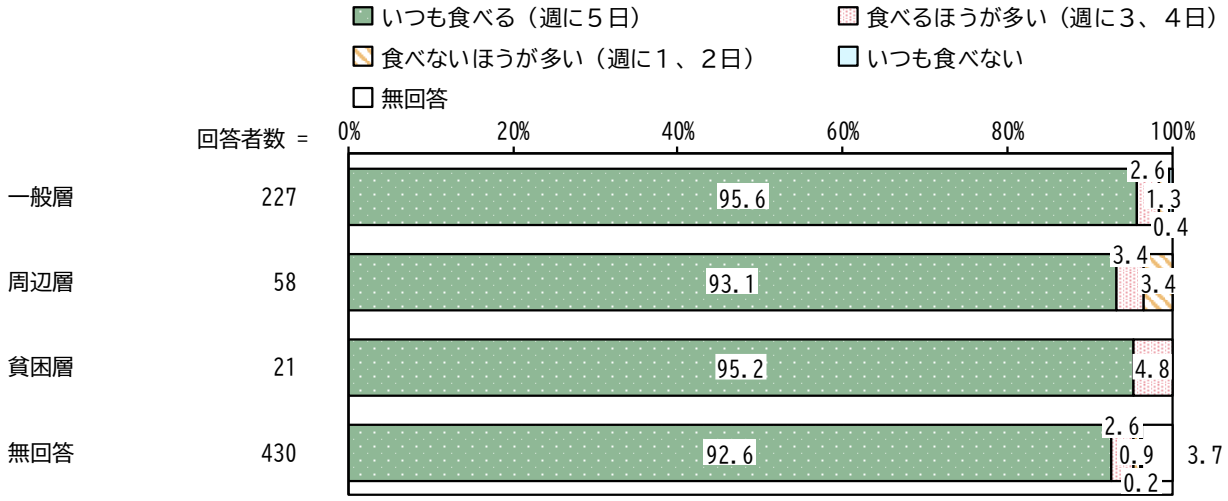
B　夕食

「いつも食べる（週に５日）」の割合が 93.6%と最も高くなっています。



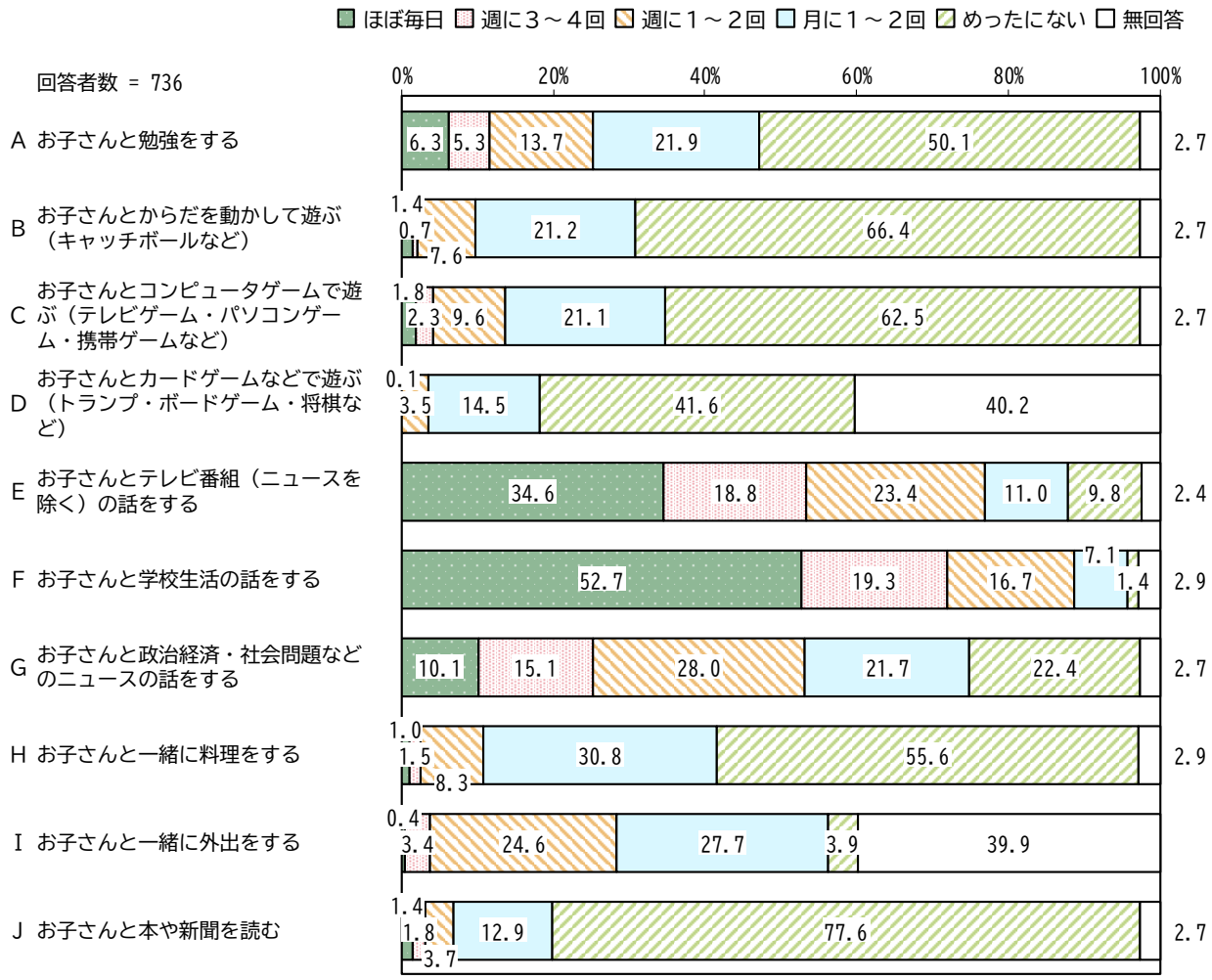
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



問 27　あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

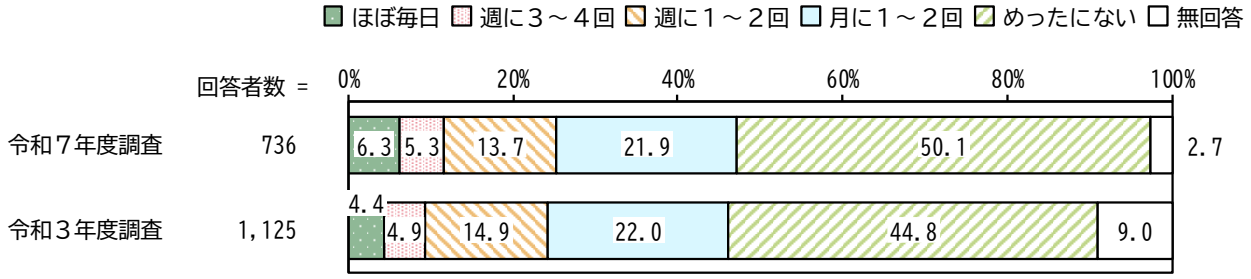
『Ｆ　お子さんと学校生活の話をする』で「ほぼ毎日」「週に３～４回」が、『Ｇ　お子さんと政治経済・社会問題などのニュースの話をする』で「週に１～２回」が、『Ｈ　お子さんと一緒に料理をする』で「月に１～２回」が、『Ｊ　お子さんと本や新聞を読む』で「めったにない」が高くなっています。



A　お子さんと勉強をする

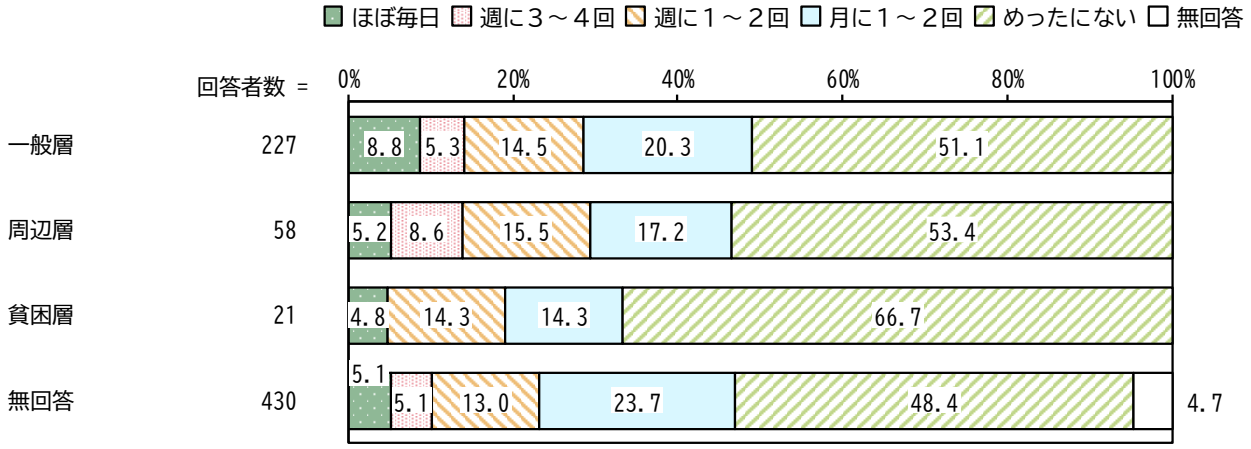
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「めったにない」の割合が増加しています。



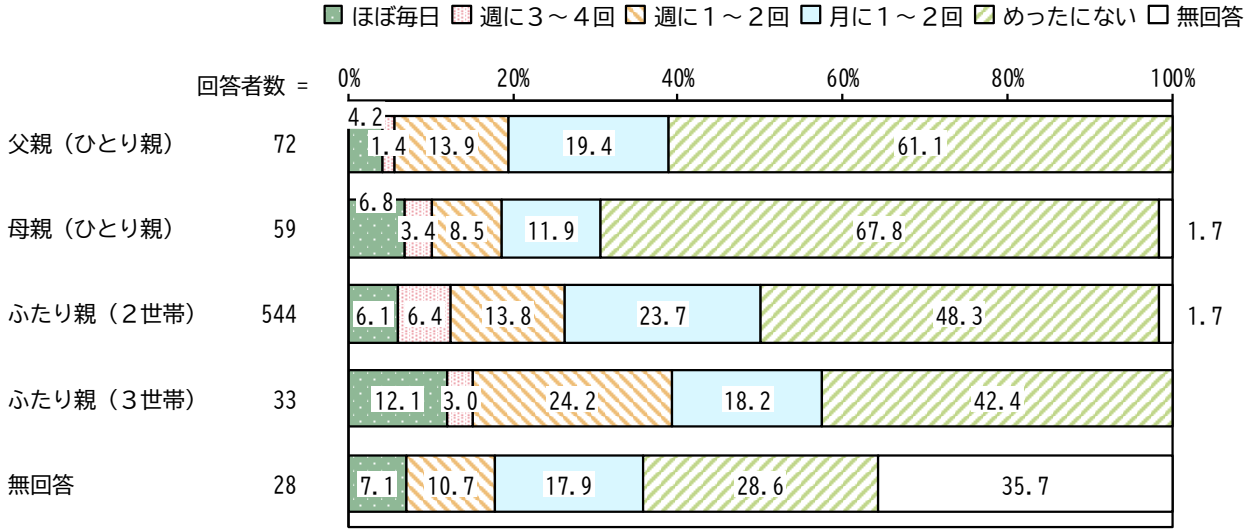
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「めったにない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

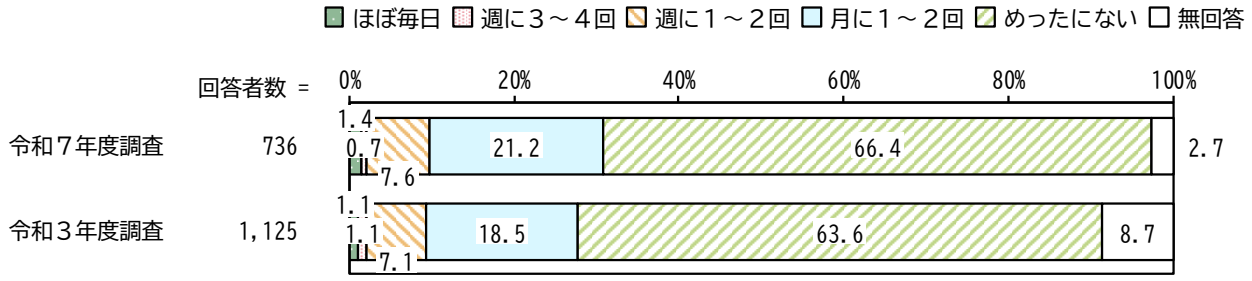
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「めったにない」の割合が高くなっています。



B　お子さんとからだを動かして遊ぶ（キャッチボールなど）

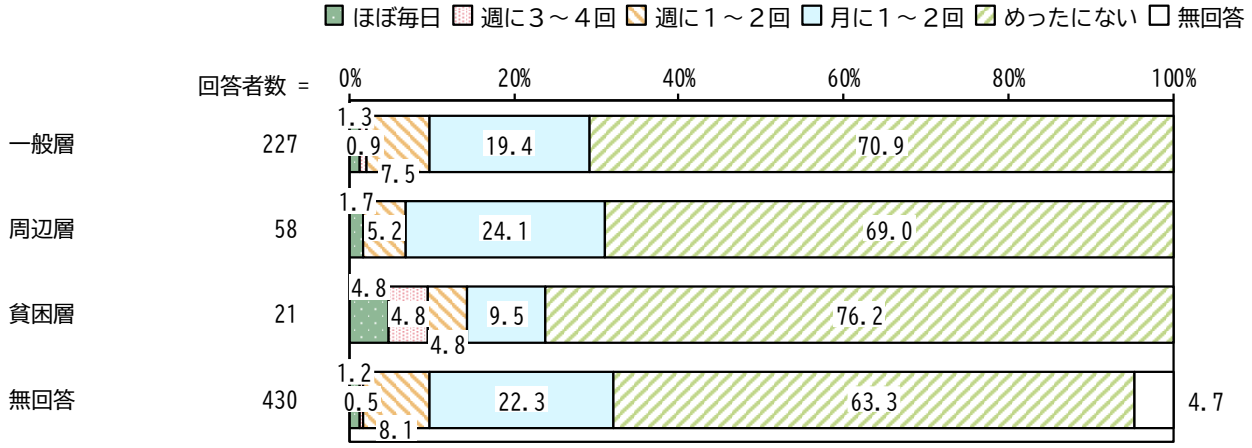
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



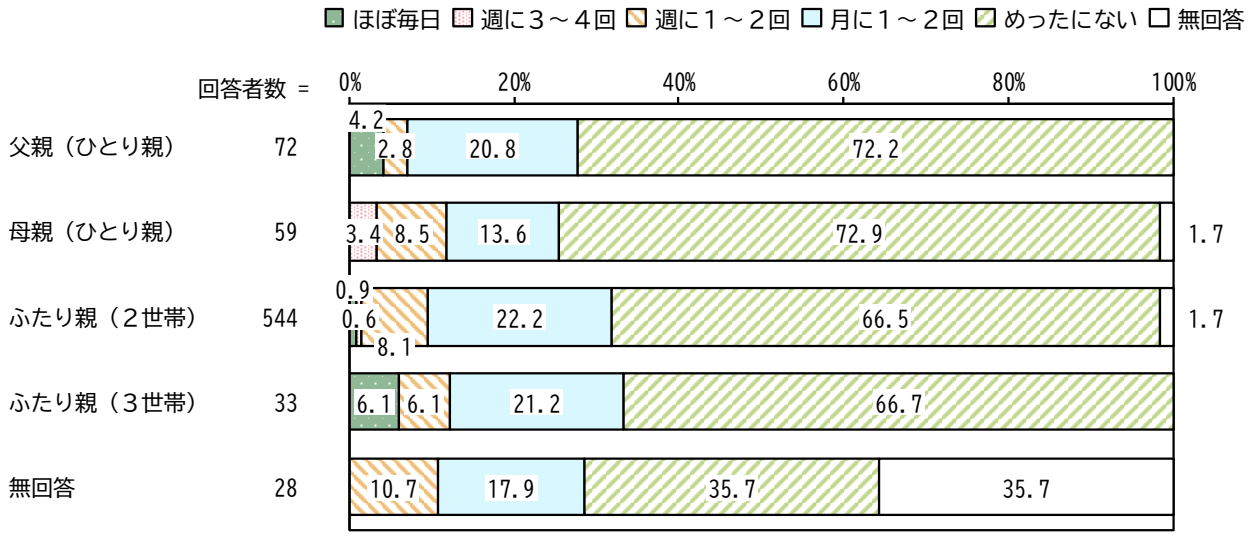
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「めったにない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

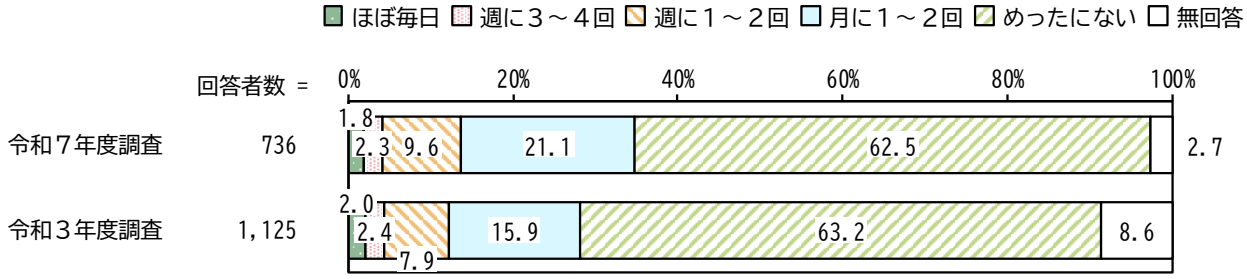
世帯分類別にみると、父親（ひとり親）、母親（ひとり親）で「めったにない」の割合が高くなっています。



C　お子さんとコンピュータゲームで遊ぶ（テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲームなど）

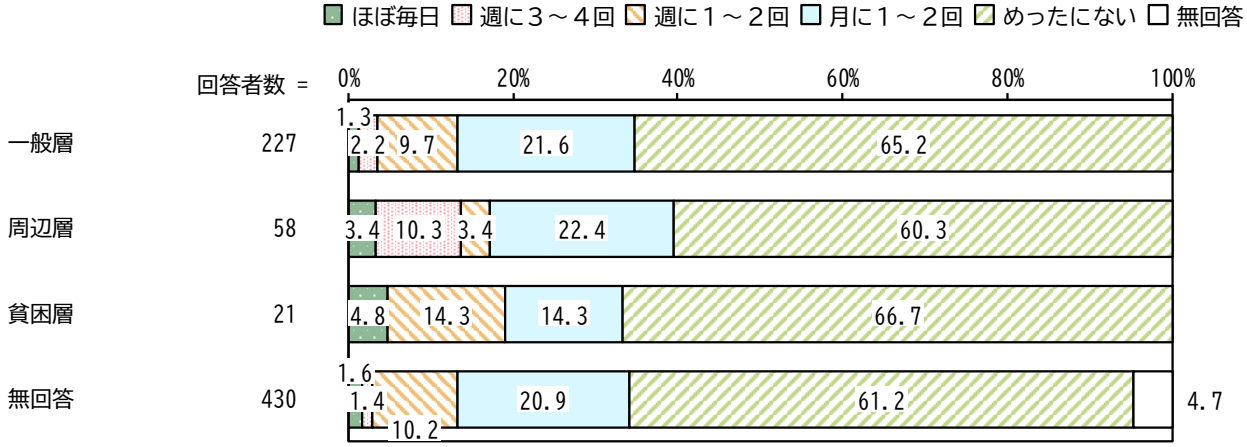
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「月に１～２回」の割合が増加しています。



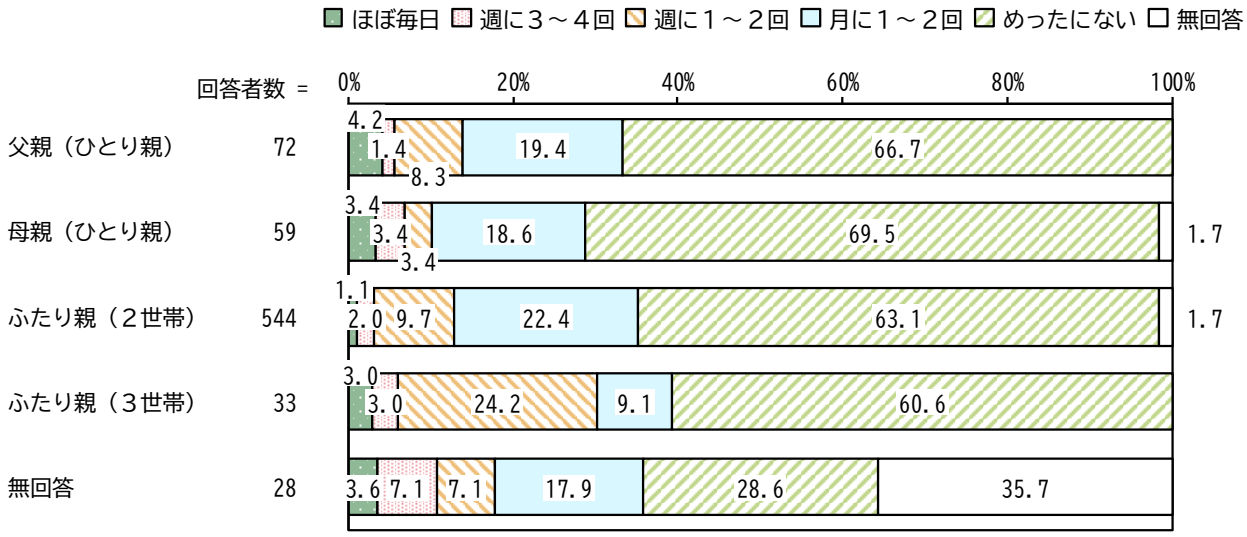
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「週に３～４回」の割合が高く、周辺層で「週に１～２回」、貧困層で「月に１～２回」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

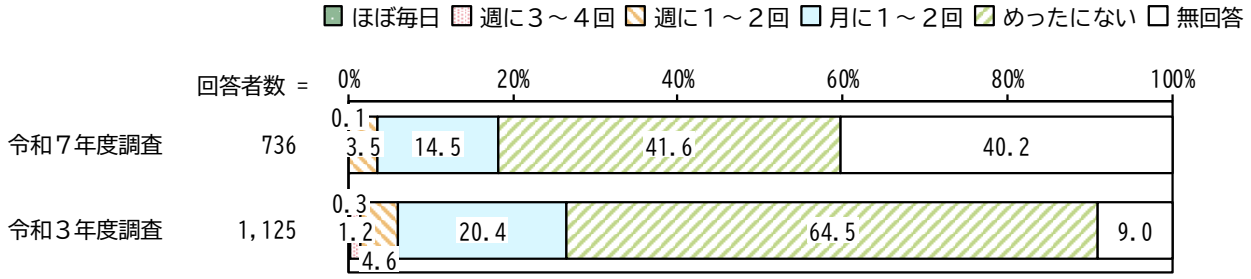
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「めったにない」の割合が高くなっています。



D　お子さんとカードゲームなどで遊ぶ（トランプ・ボードゲーム・将棋など）

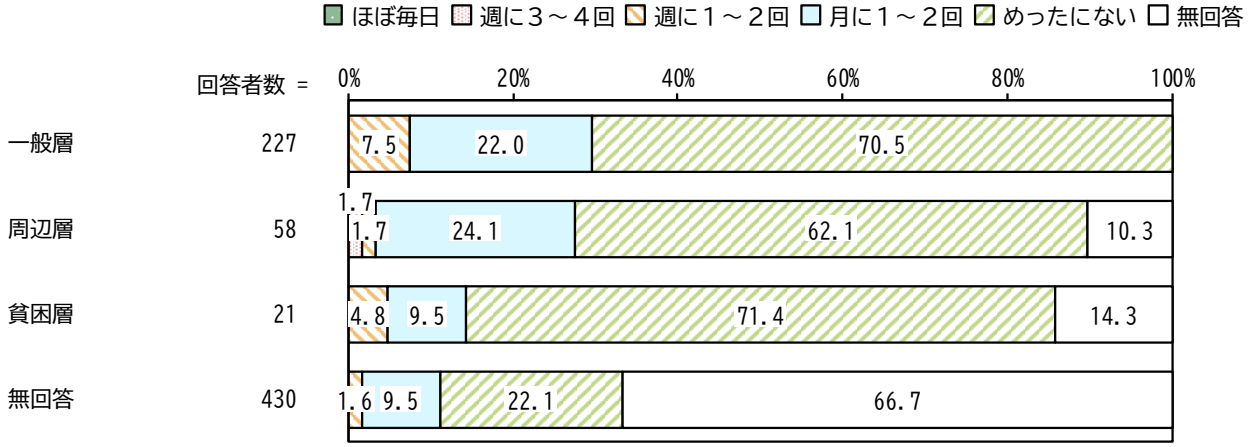
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「月に１～２回」「めったにない」の割合が減少しています。



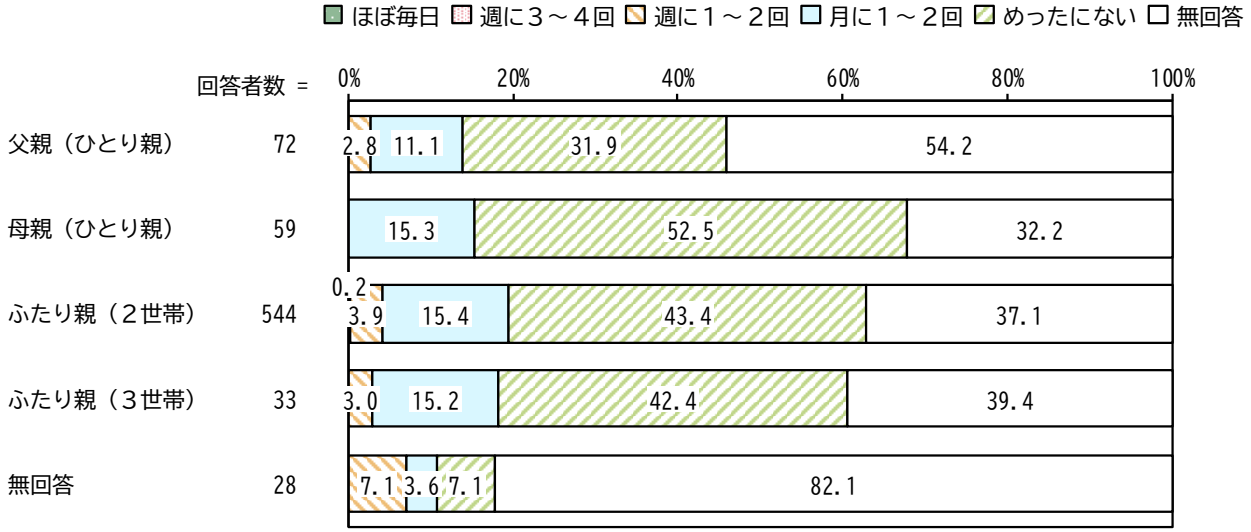
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、一般層、貧困層で「めったにない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

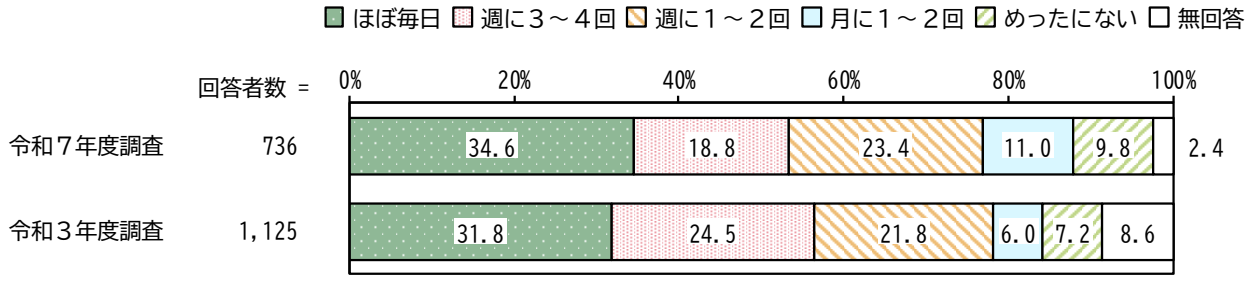
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「めったにない」の割合が高くなっています。



E　お子さんとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする

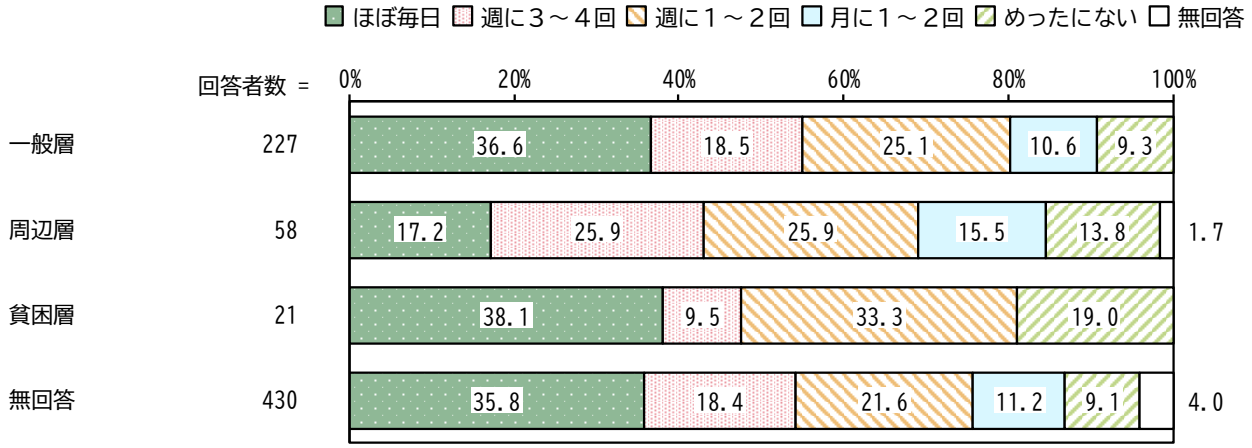
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「週に３～４回」の割合が減少しています。



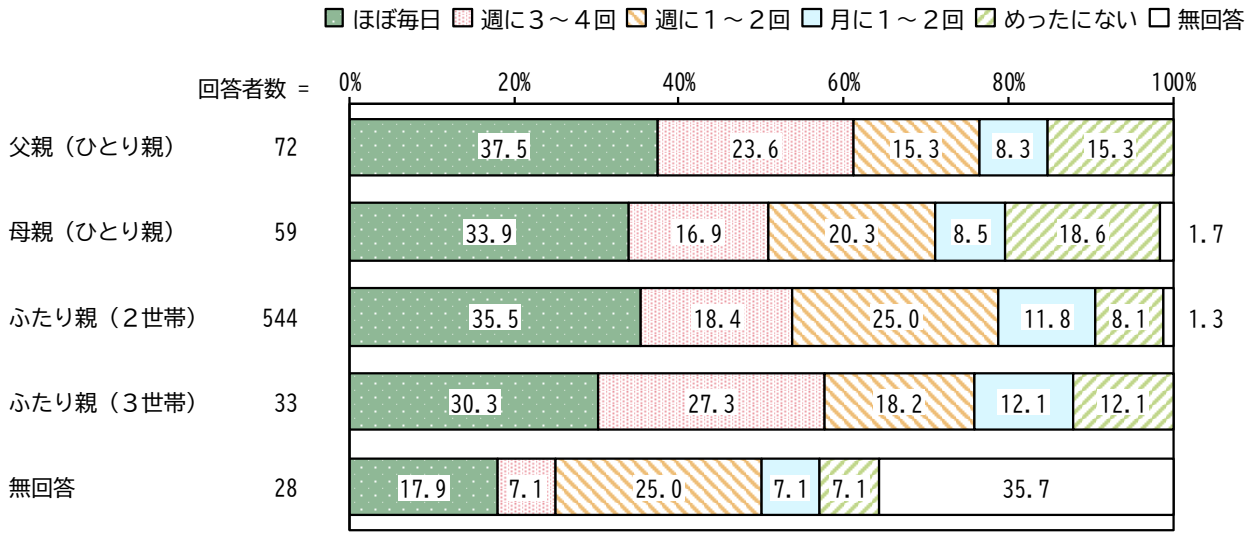
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「めったにない」の割合が高くなっています。また、周辺層で「ほぼ毎日」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

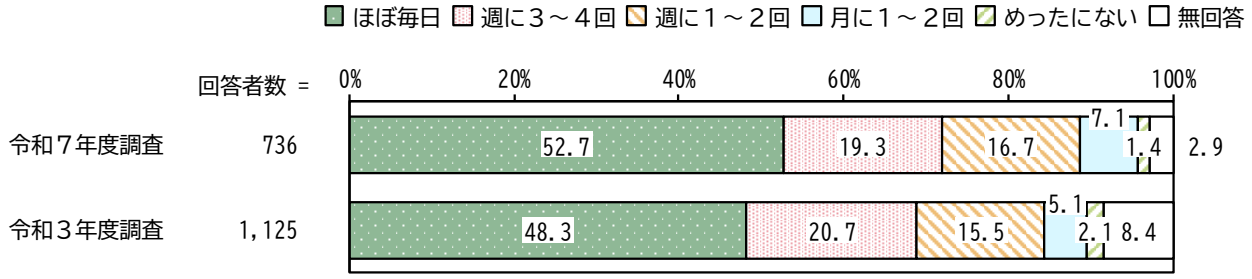
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「めったにない」の割合が高くなっています。



F　お子さんと学校生活の話をする

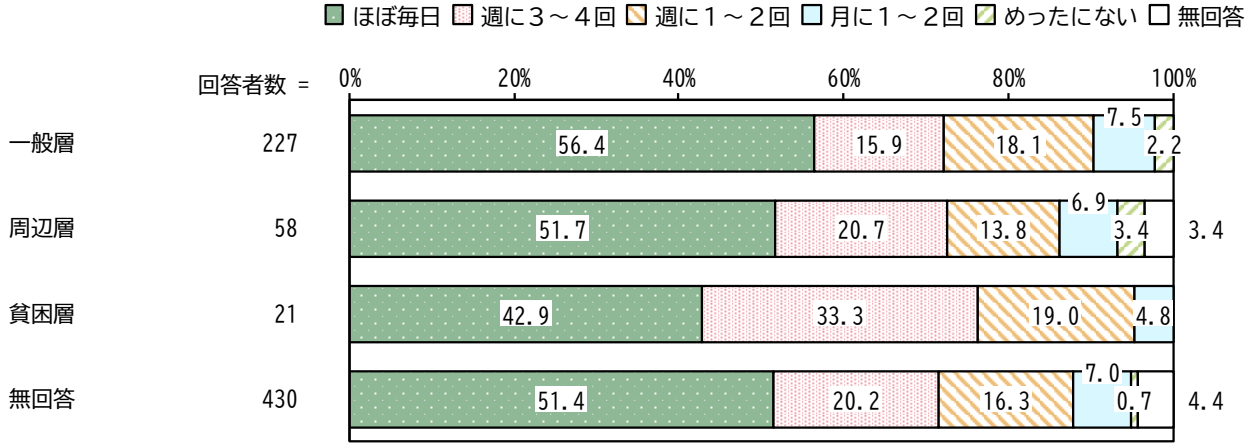
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



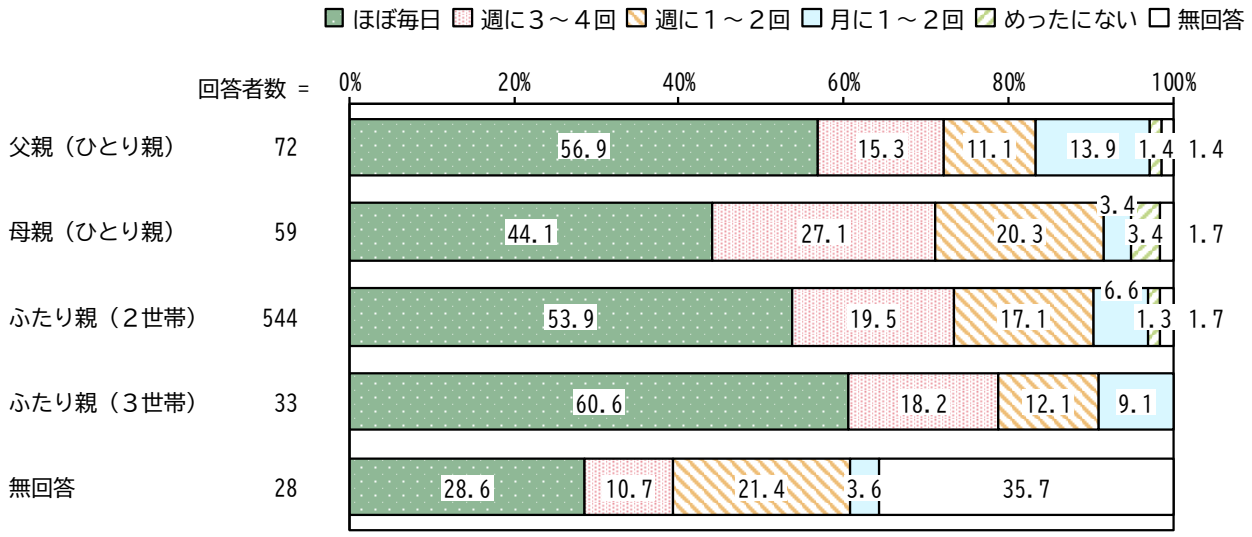
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。また、貧困層で「週に３～４回」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

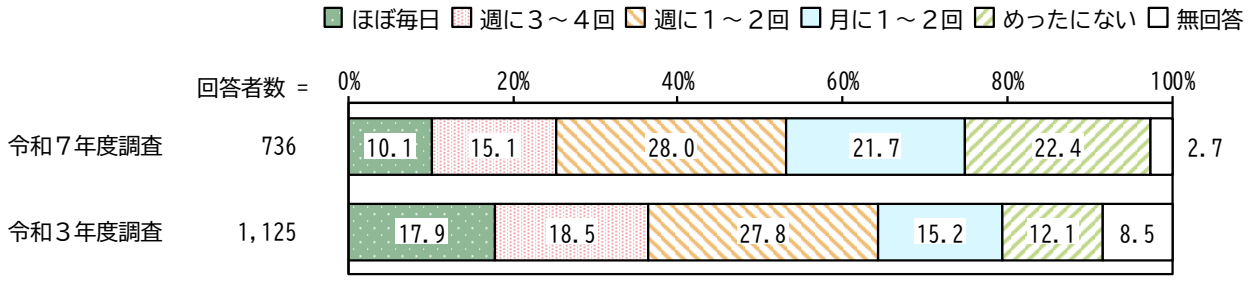
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



G　お子さんと政治経済・社会問題などのニュースの話をする

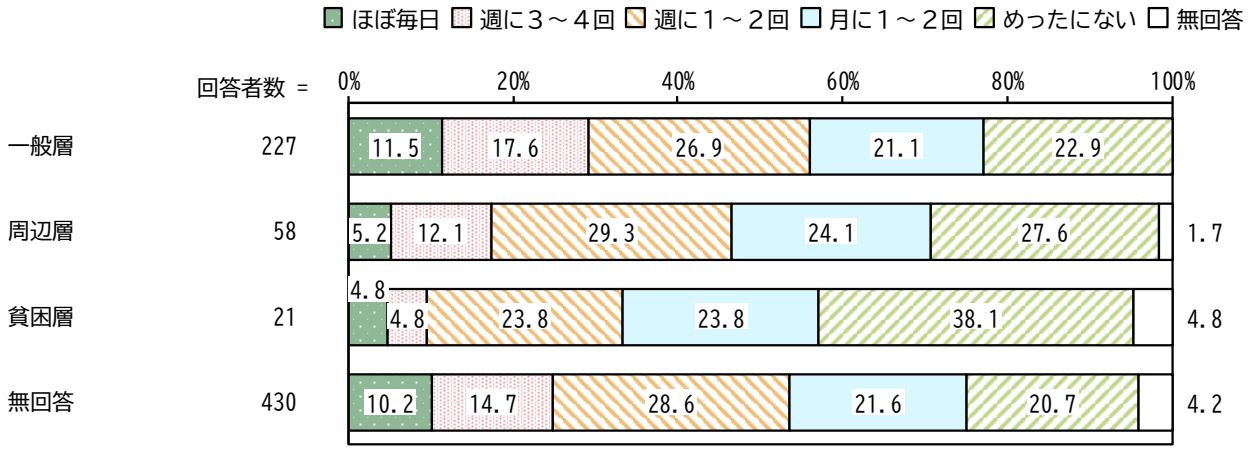
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「月に１～２回」「めったにない」の割合が増加しています。一方、「ほぼ毎日」の割合が減少しています。



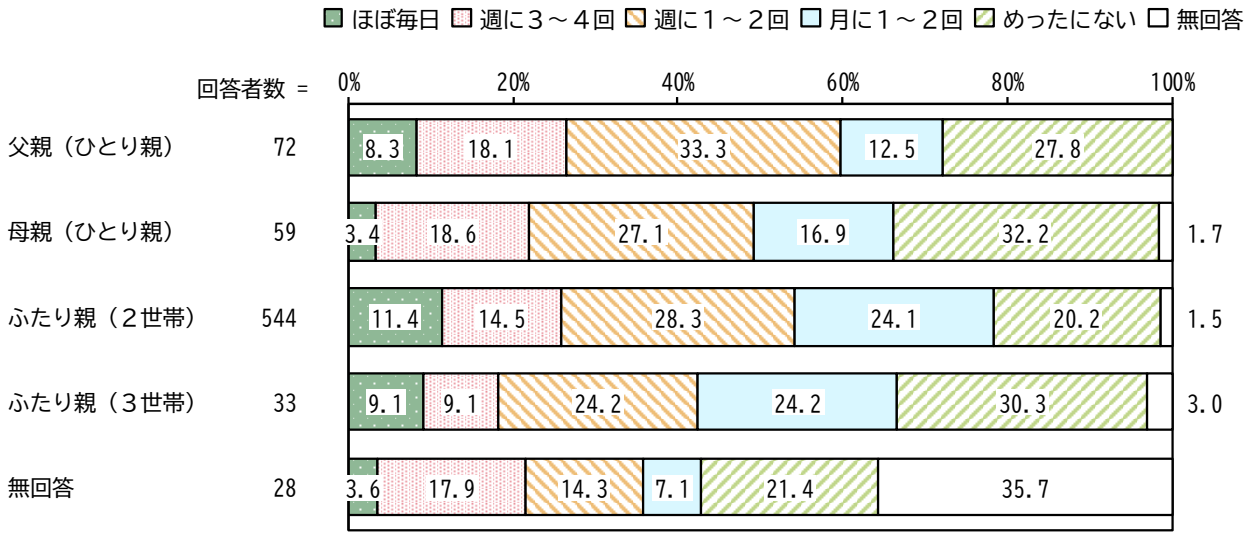
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「めったにない」の割合が高くなっています。また、貧困層で「週に３～４回」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

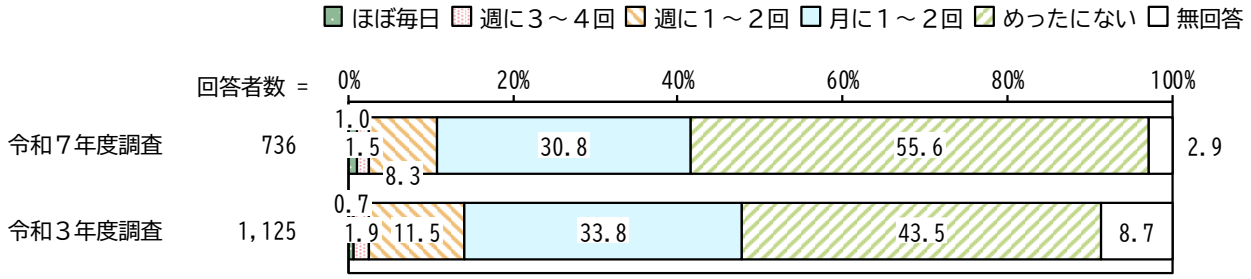
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）、ふたり親（３世帯）で「めったにない」の割合が高くなっています。



H　お子さんと一緒に料理をする

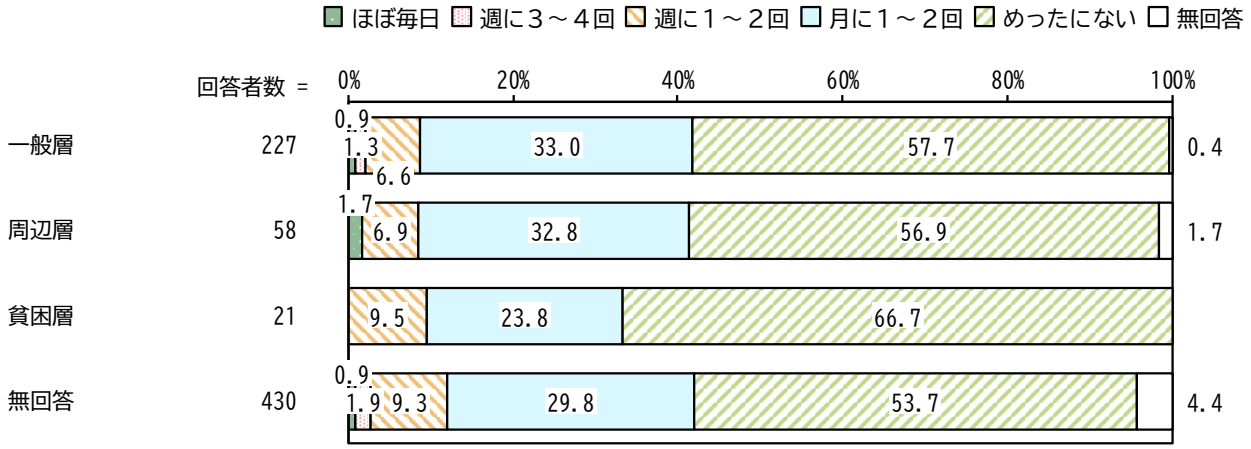
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「めったにない」の割合が増加しています。



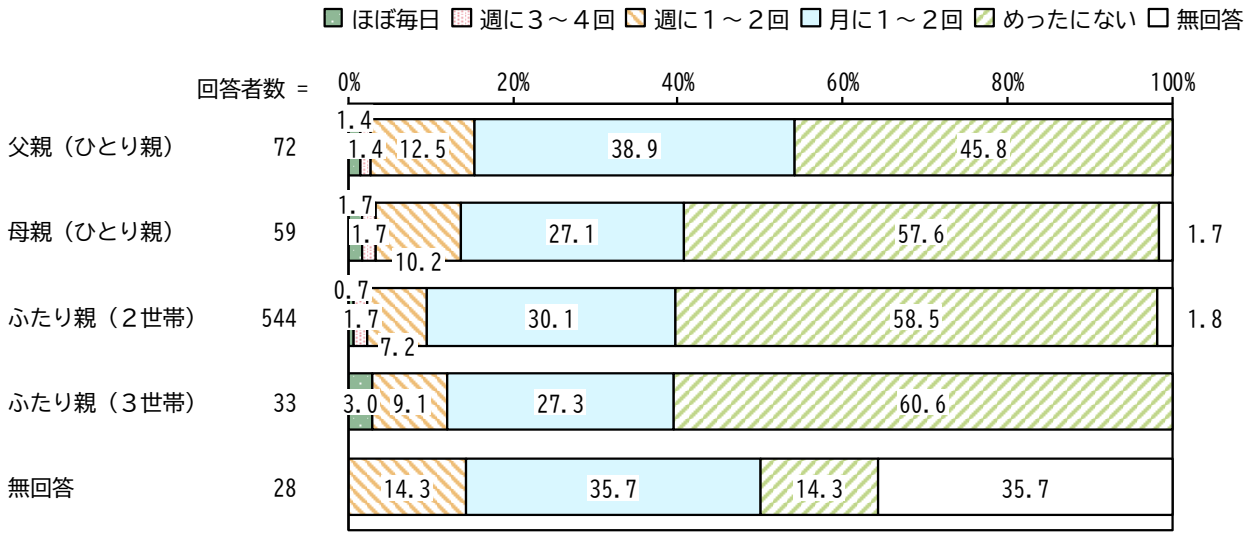
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「月に１～２回」の割合が高くなっています。また、貧困層で「めったにない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

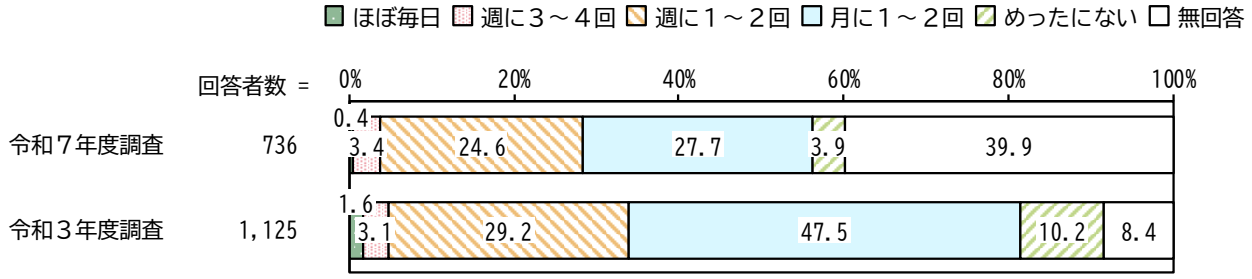
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「めったにない」の割合が高くなっています。



Ⅰ　お子さんと一緒に外出をする

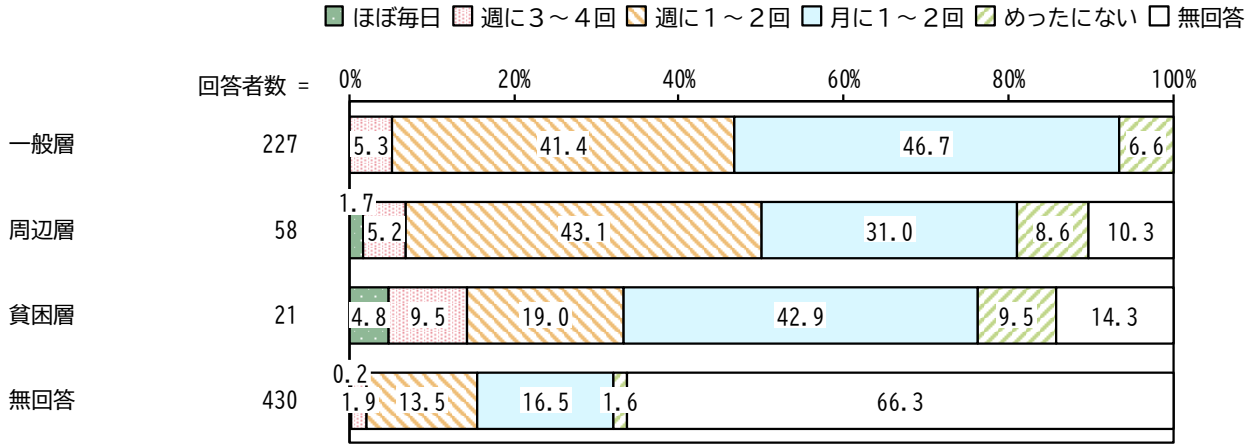
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「月に１～２回」「めったにない」の割合が減少しています。



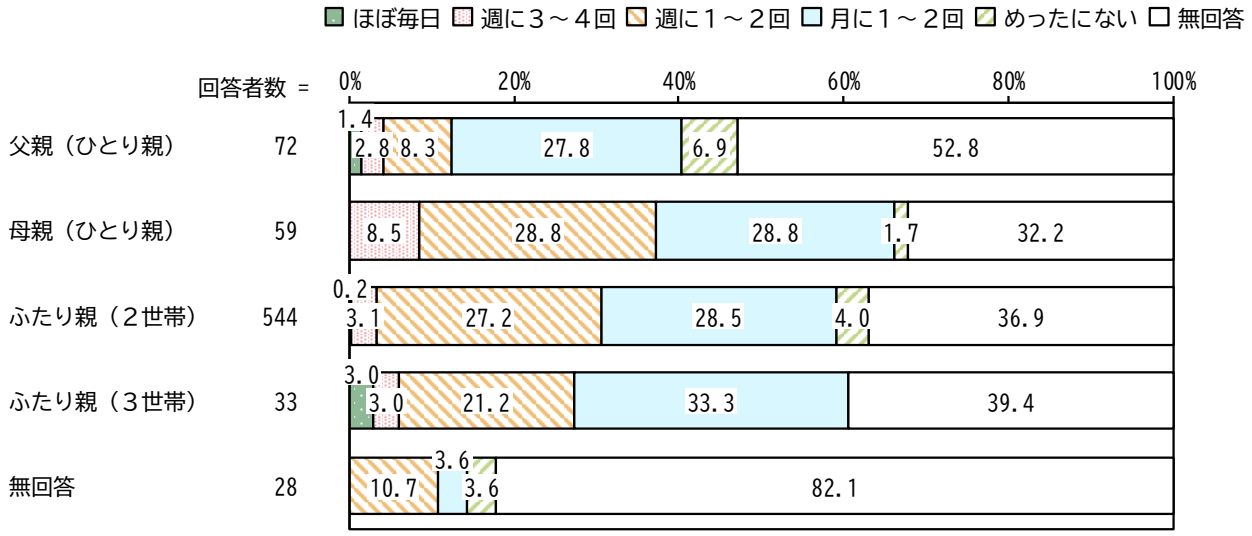
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「めったにない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

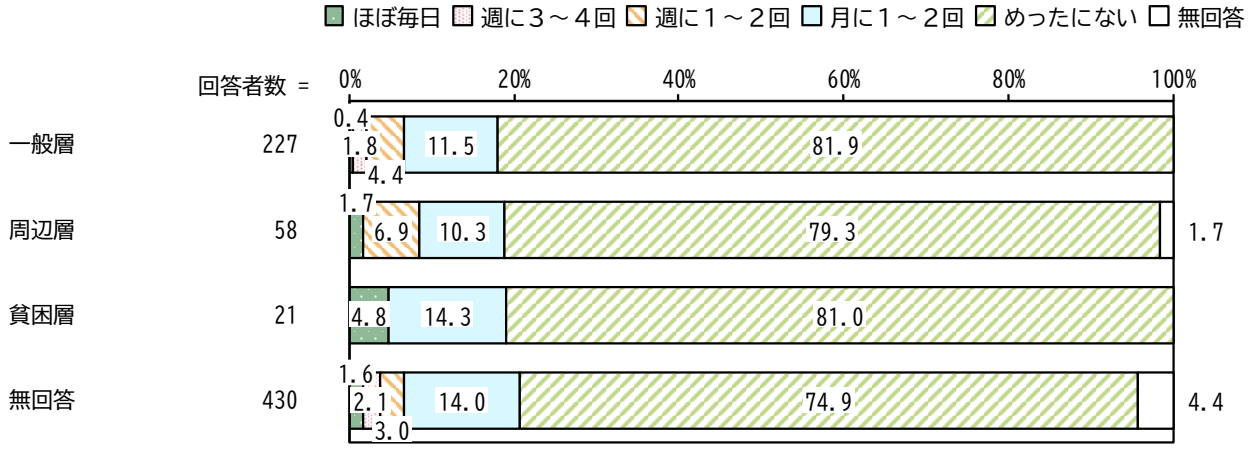
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「週に３～４回」、ふたり親（３世帯）で「月に１～２回」の割合が高く、父親（ひとり親）で「週に１～２回」の割合が低くなっています。



J　お子さんと本や新聞を読む

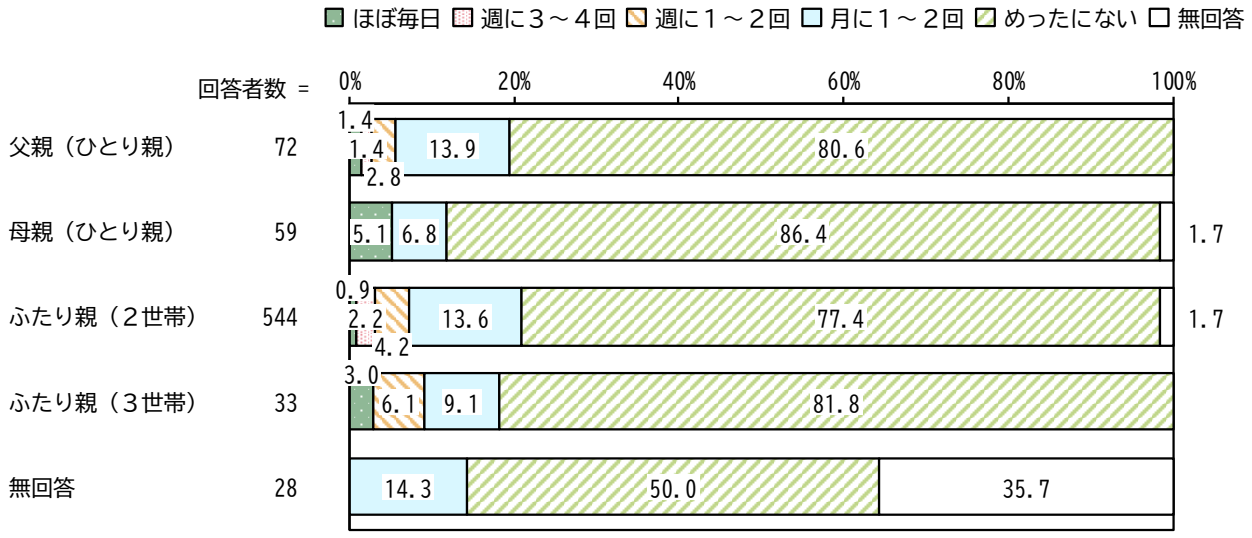
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



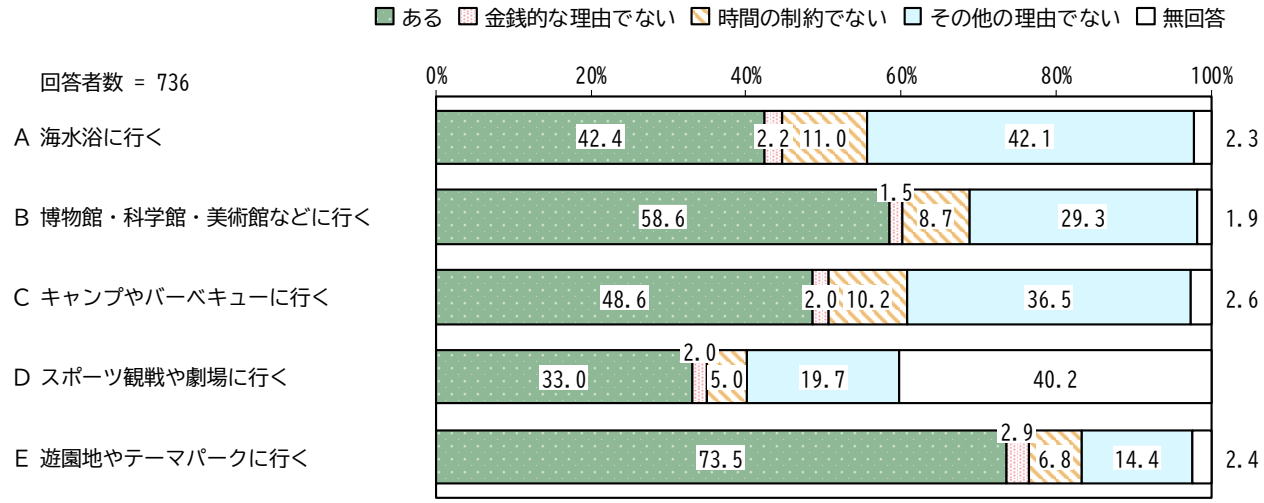
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「めったにない」の割合が高くなっています。



問 28　過去２～３年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

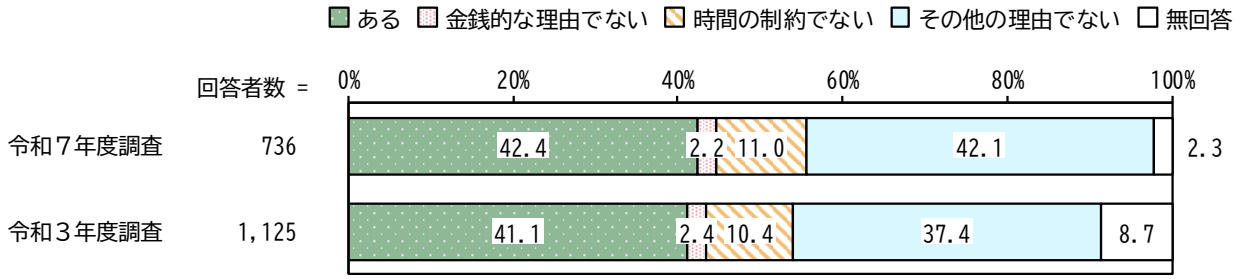
『Ｅ　遊園地やテーマパークに行く』で「ある」「金銭的な理由でない」が、『Ａ　海水浴に行く』で「時間の制約でない」「その他の理由でない」が高くなっています。



Ａ　海水浴に行く

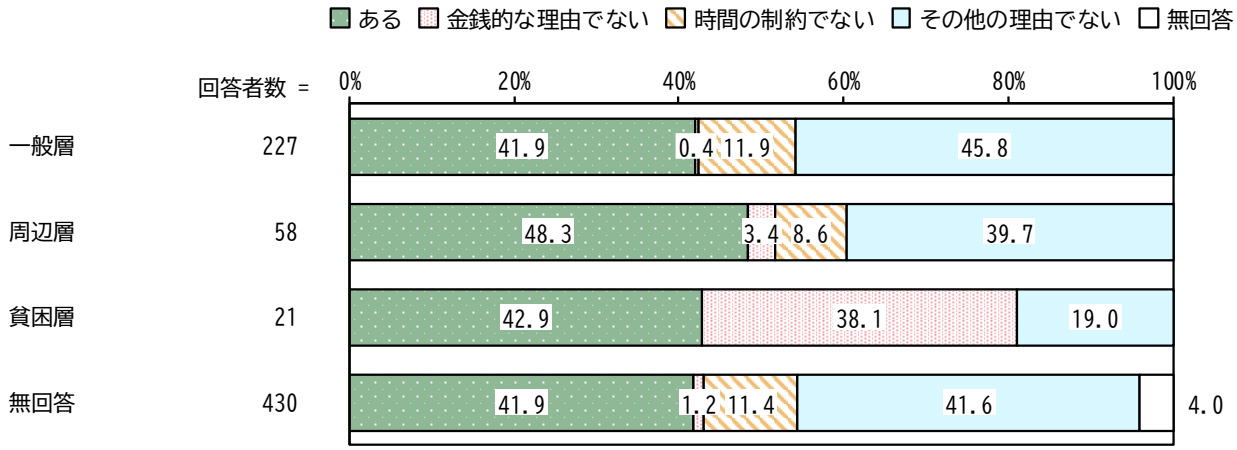
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

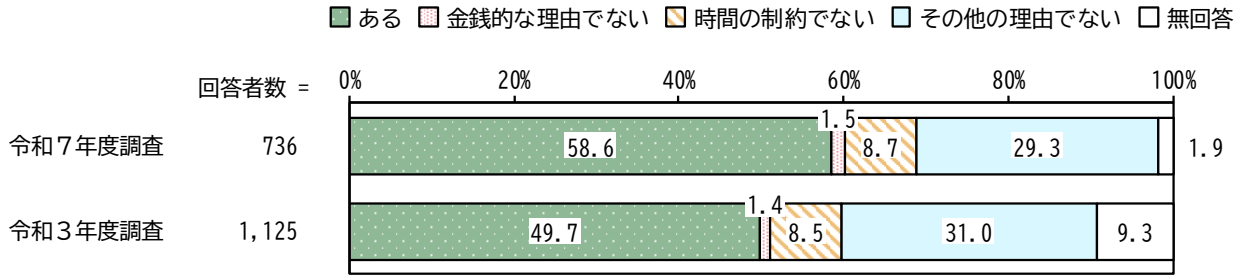
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「時間の制約でない」「その他の理由でない」の割合が高く、「金銭的な理由でない」の割合が低くなっています。



B　博物館・科学館・美術館などに行く

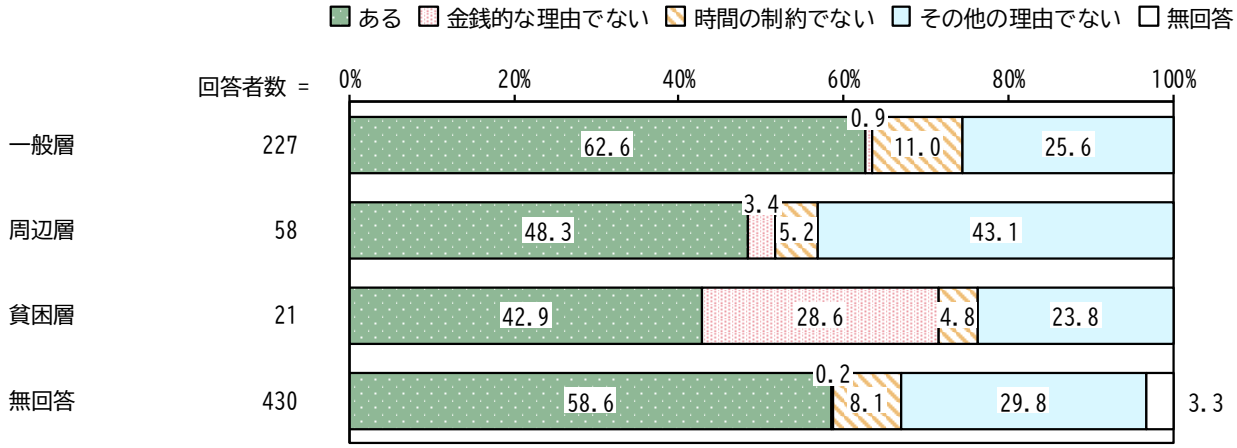
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

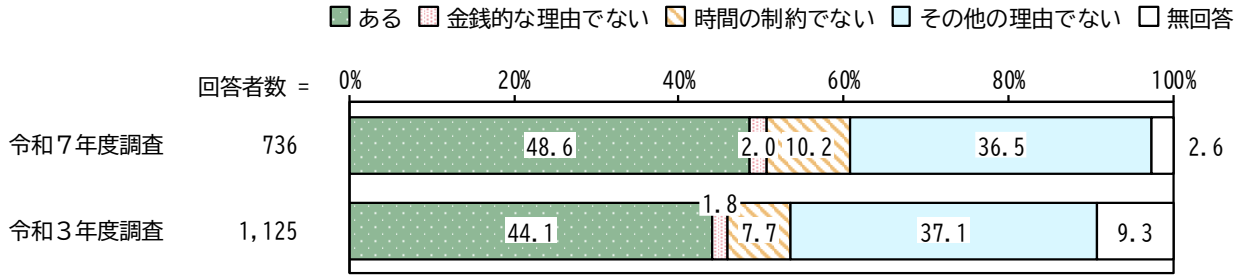
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「ある」「時間の制約でない」の割合が高く、「金銭的な理由でない」の割合が低くなっています。また、周辺層で「その他の理由でない」の割合が高くなっています。



C　キャンプやバーベキューに行く

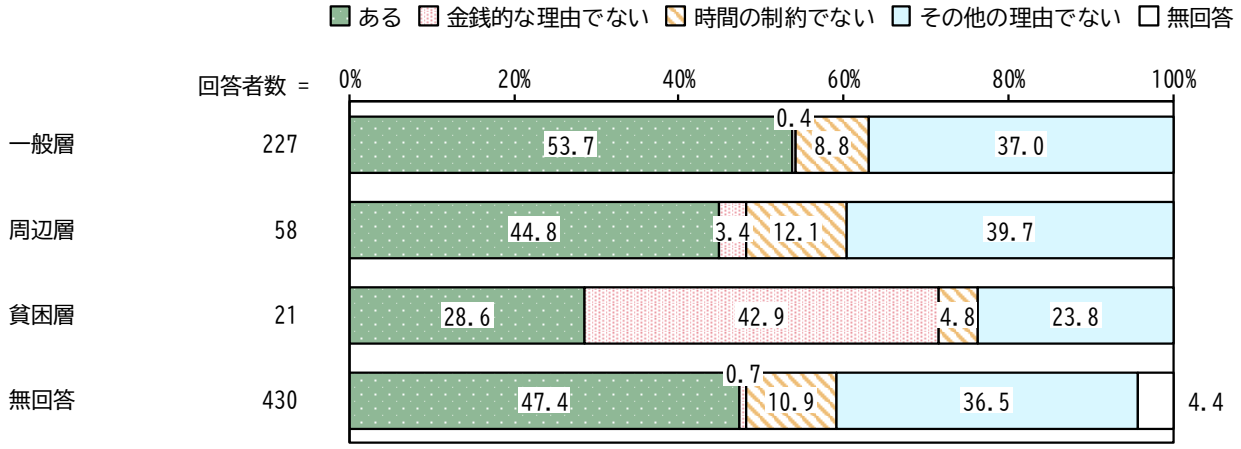
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

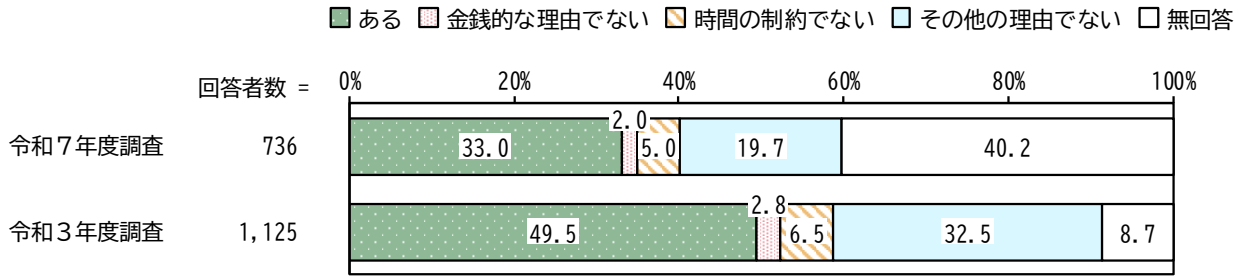
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「金銭的な理由でない」の割合が高く、「ある」の割合が低くなっています。また、貧困層で「その他の理由でない」の割合が低くなっています。



D　スポーツ観戦や劇場に行く

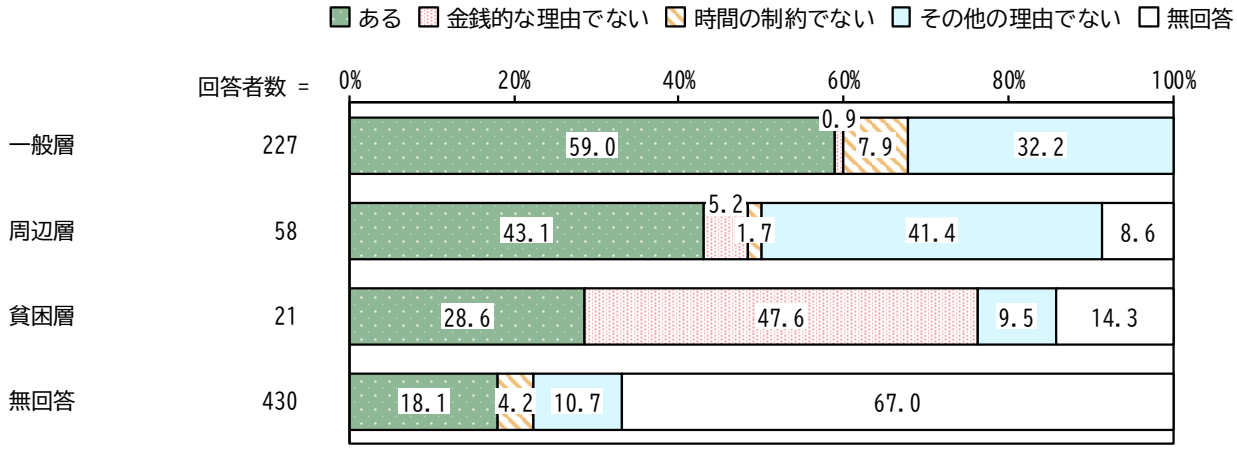
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ある」「その他の理由でない」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

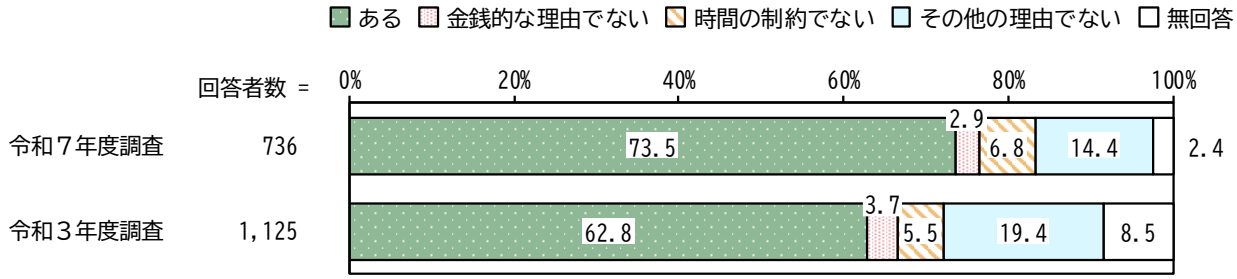
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「金銭的な理由でない」の割合が高く、「ある」の割合が低くなっています。また、周辺層で「その他の理由でない」の割合が高くなっています。



E　遊園地やテーマパークに行く

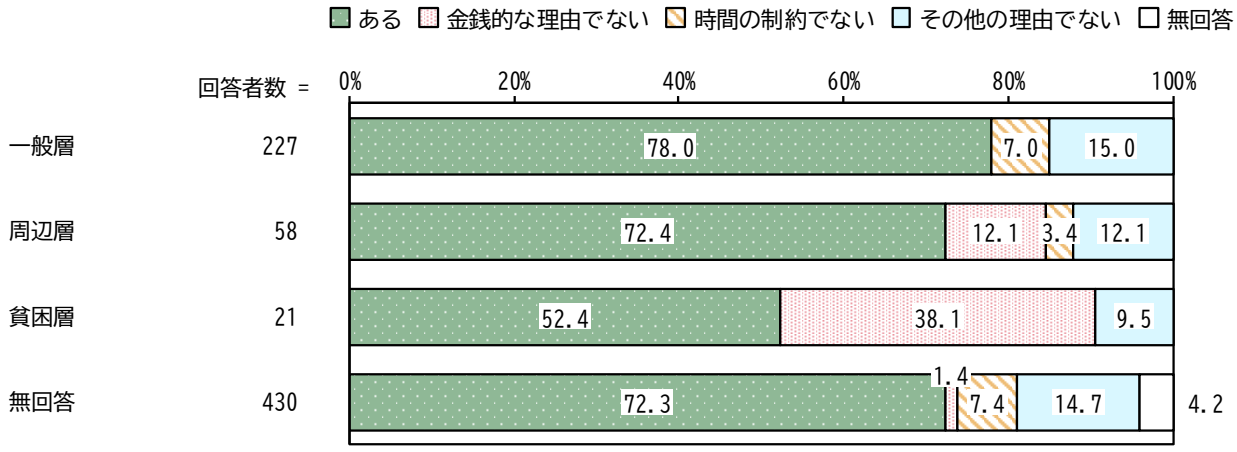
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

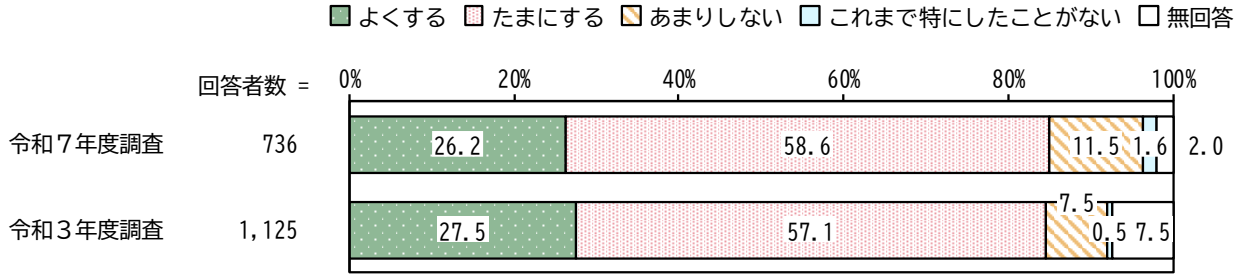
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「ある」「その他の理由でない」の割合が高く、「金銭的な理由でない」の割合が低くなっています。



問 29　あなたは、お子さんの将来（夢・進路・職業等）について、お子さんと一緒に考えたり、話したりすることがありますか。（１つに○）

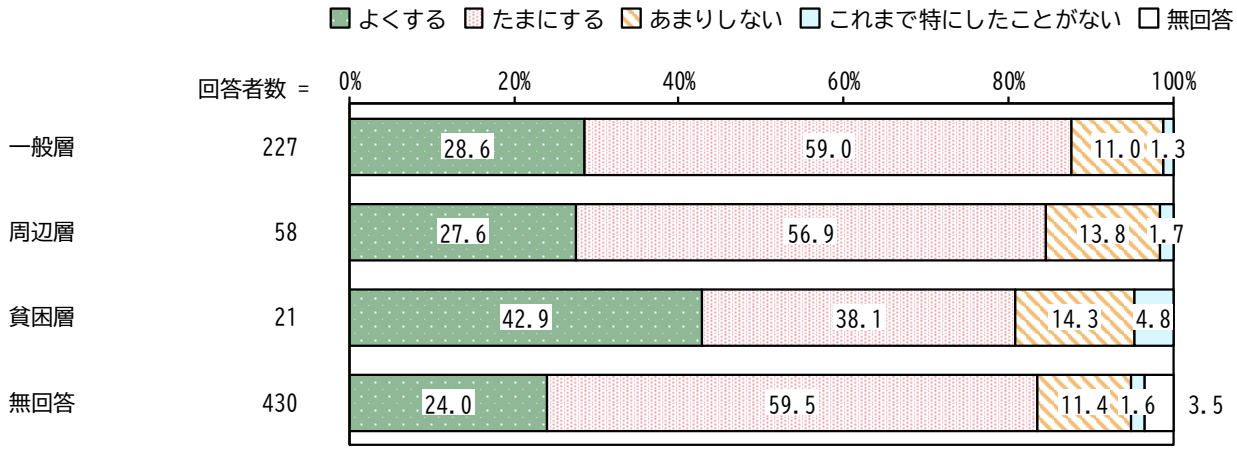
「たまにする」の割合が 58.6%と最も高く、次いで「よくする」の割合が 26.2%、「あまりしない」の割合が 11.5%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



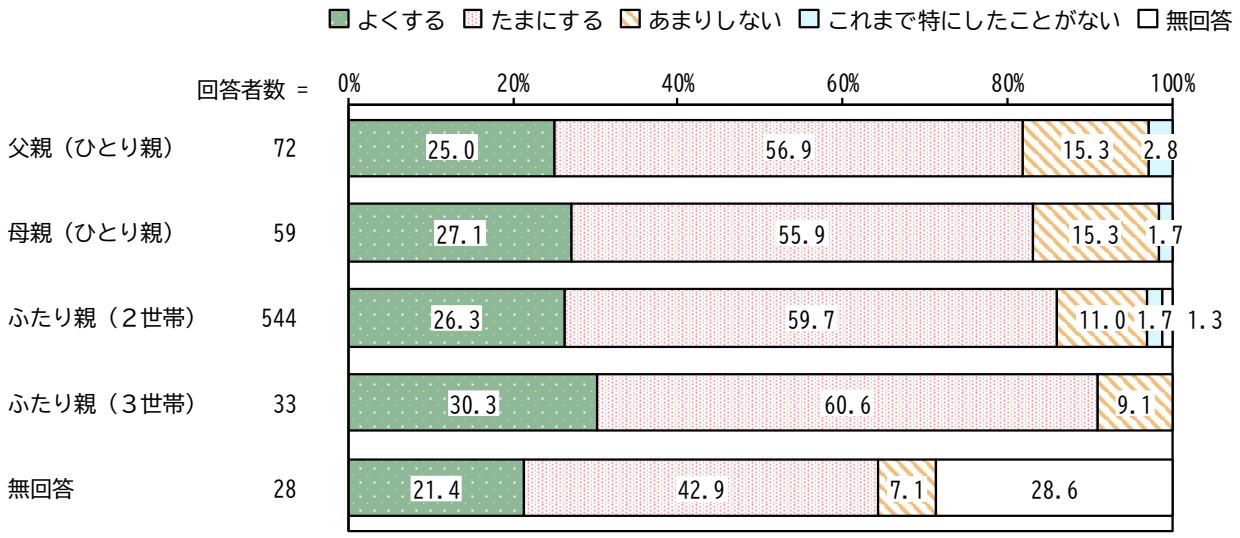
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「たまにする」の割合が高くなっています。また、貧困層で「よくする」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

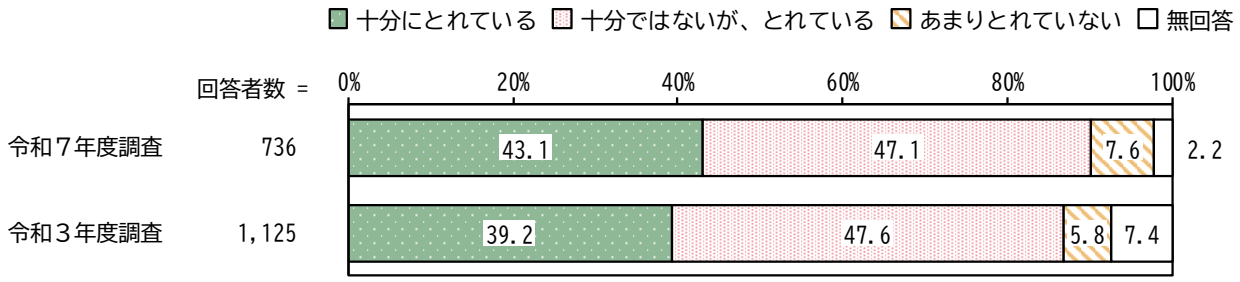
世帯分類別にみると、大きな差はみられません。



問 30　お子さんと一緒に過ごす時間がとれていますか。（１つに○）

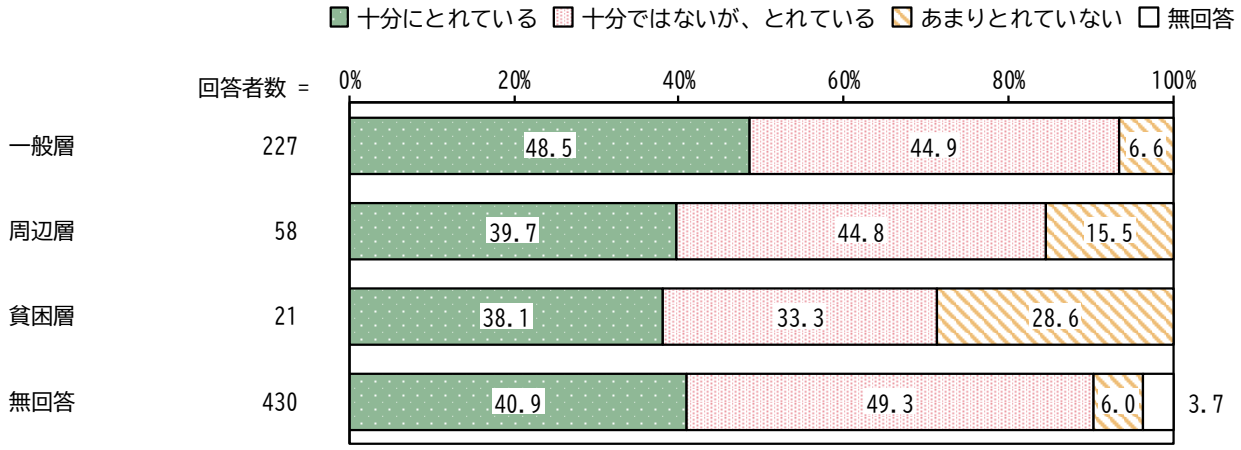
「十分にとれている」の割合が 43.1%、「十分ではないが、とれている」の割合が 47.1%、「あまりとれていない」の割合が 7.6%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



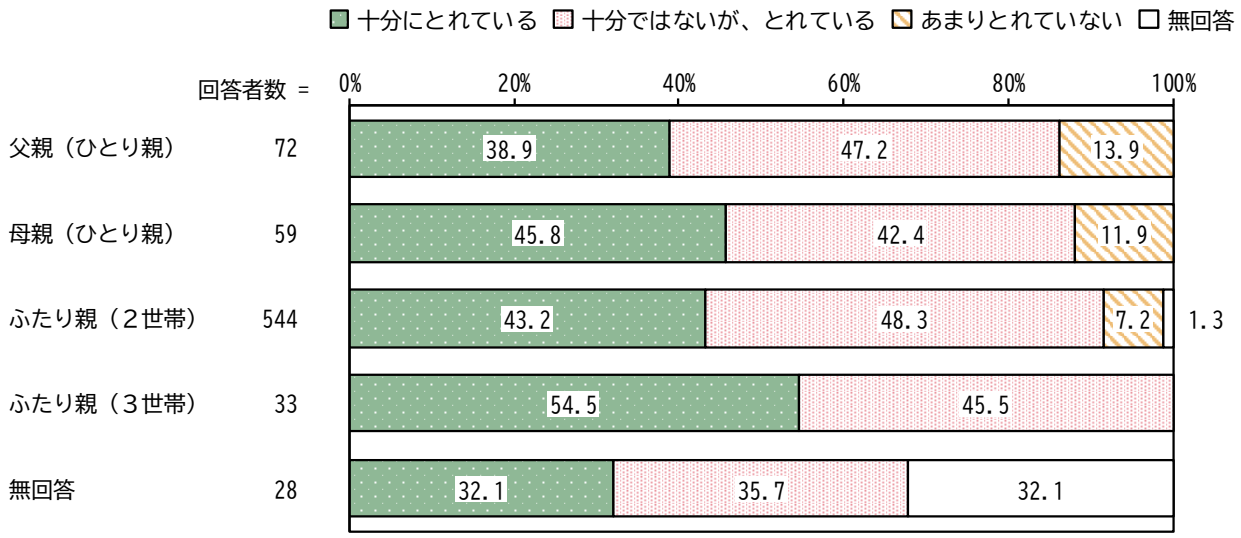
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「十分にとれている」「十分ではないが、とれている」の割合が高く、「あまりとれていない」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「十分にとれている」、父親（ひとり親）で「あまりとれていない」の割合が高くなっています。

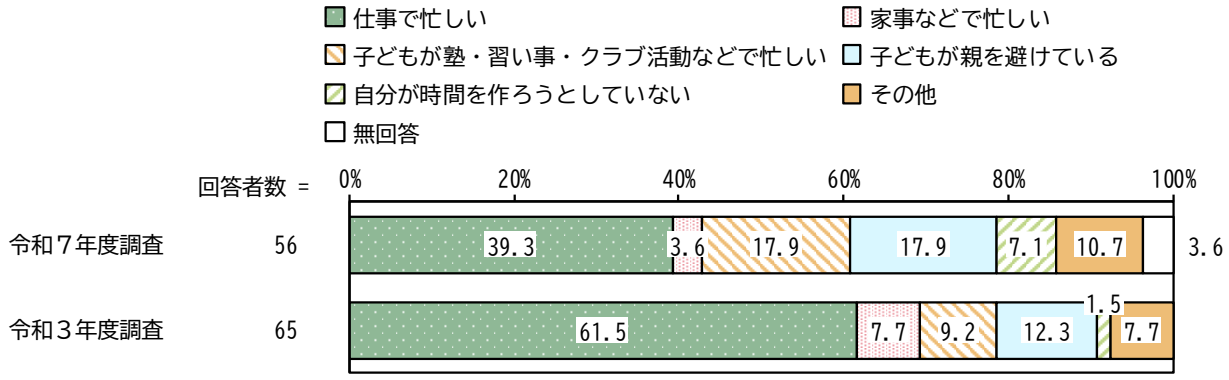


問 30 で「あまりとれていない」を選んだ方にお聞きします。

問 30－１　その主な理由は何ですか。（１つに○）

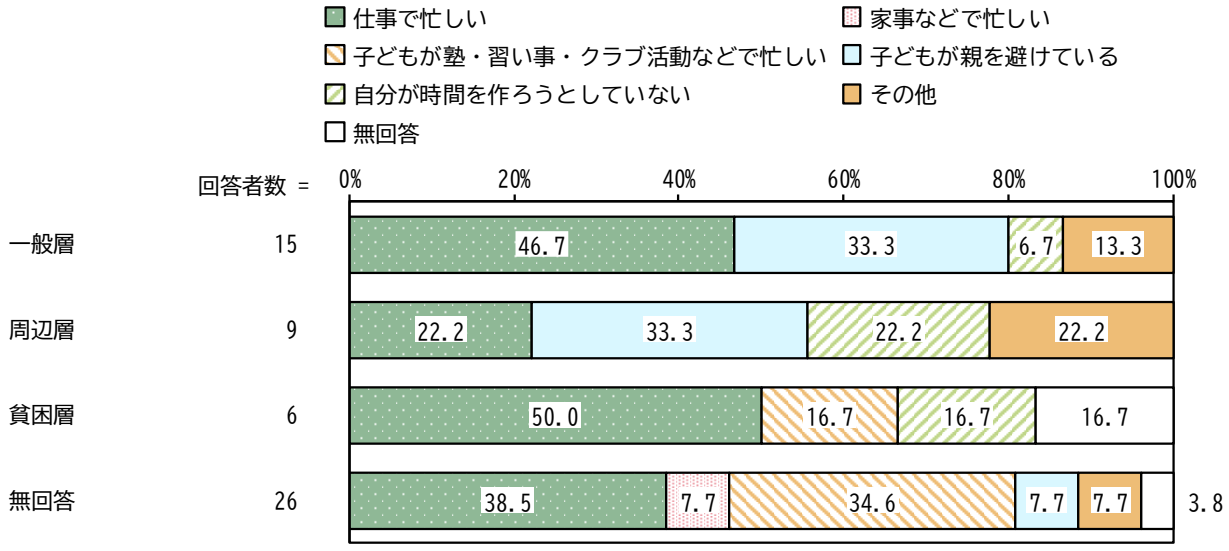
「仕事で忙しい」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「子どもが塾・習い事・クラブ活動などで忙しい」、「子どもが親を避けている」の割合が 17.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「子どもが塾・習い事・クラブ活動などで忙しい」「子どもが親を避けている」「自分が時間を作ろうとしていない」の割合が増加しています。一方、「仕事で忙しい」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

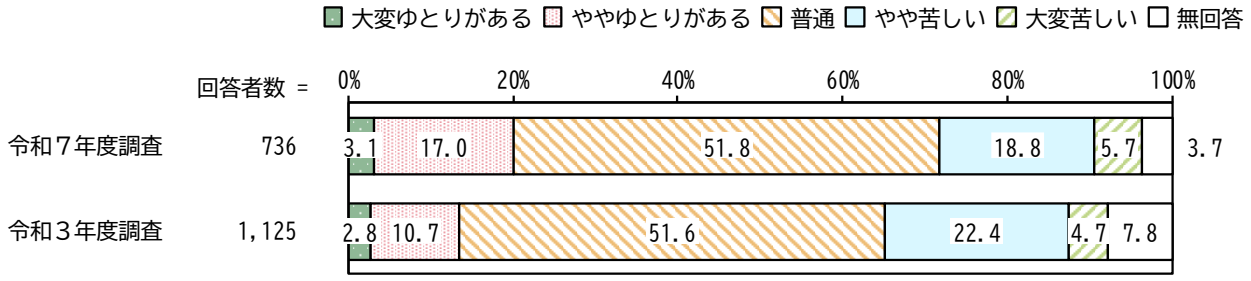
生活困難度別にみると、貧困層から周辺層まで困難度が大きいほど「仕事で忙しい」「子どもが塾・習い事・クラブ活動などで忙しい」の割合が高く、「子どもが親を避けている」「自分が時間を作ろうとしていない」の割合が低くなっています。



問 31　あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（１つに○）

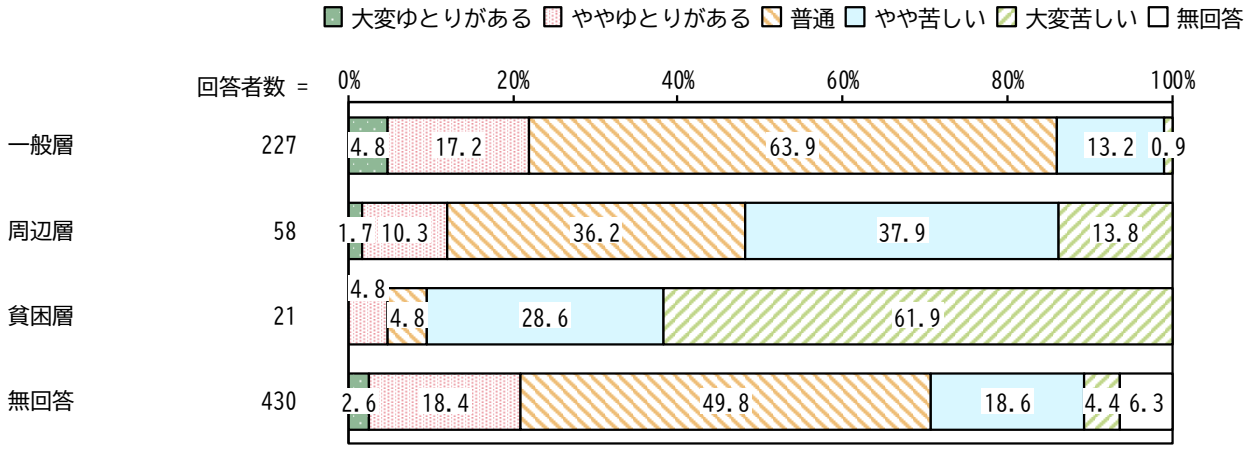
「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合が 20.1%、「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が 24.5%となっています。

令和３年度調査と比較すると、“ゆとりがある”の割合が増加しています。



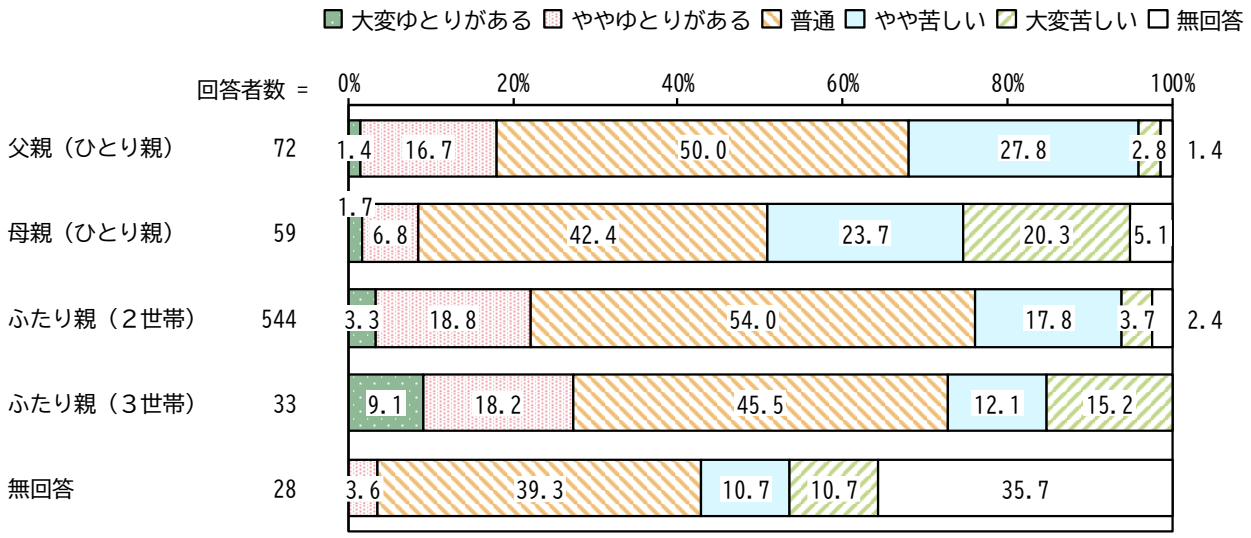
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど“苦しい”の割合が高くなっています。また、周辺層で「やや苦しい」の割合が高く、貧困層で「ややゆとりがある」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

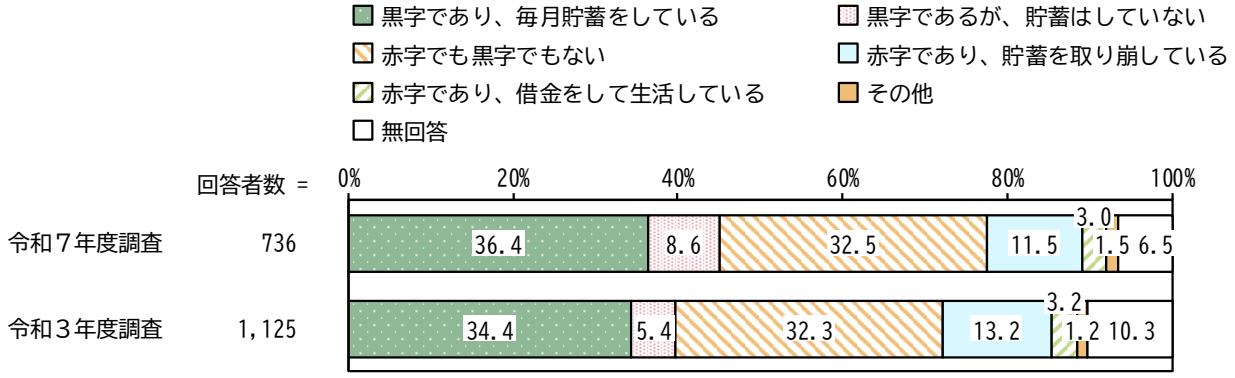
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で“苦しい”の割合が高くなっています。



問 32　あなたのご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。（１つに○）

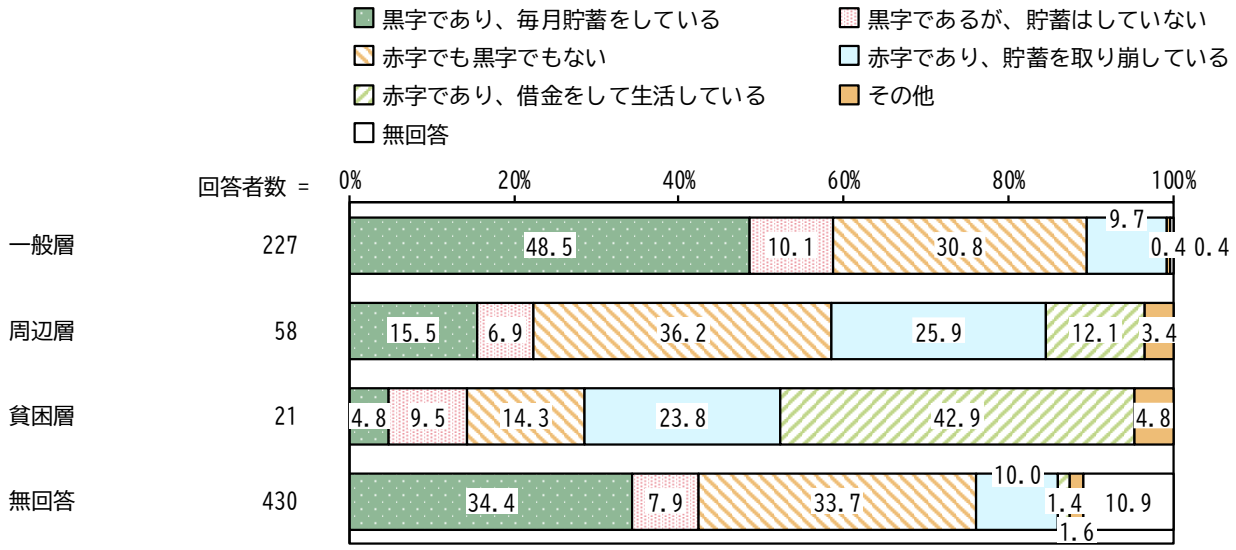
「黒字であり、毎月貯蓄をしている」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「赤字でも黒字でもない」の割合が 32.5%、「赤字であり、貯蓄を取り崩している」の割合が 11.5%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



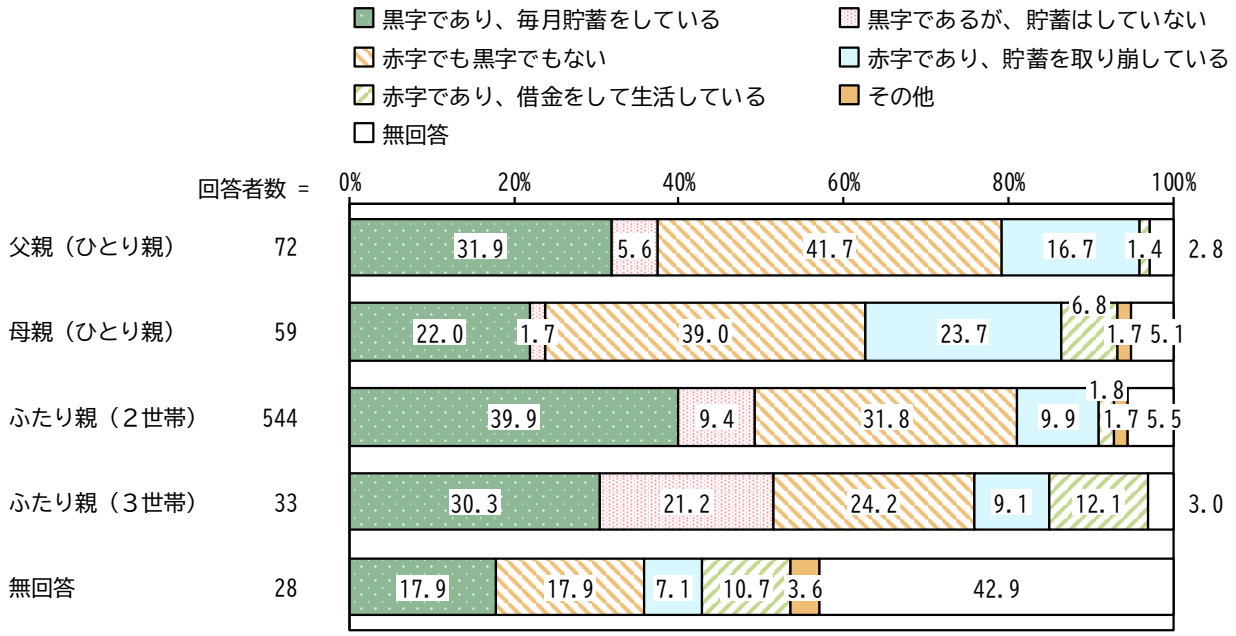
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「赤字であり、借金をして生活している」の割合が高く、「黒字であり、毎月貯蓄をしている」の割合が低くなっています。また、周辺層、貧困層で「赤字であり、貯蓄を取り崩している」の割合が高く、貧困層で「赤字でも黒字でもない」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「黒字であるが、貯蓄はしていない」、母親（ひとり親）で「赤字であり、貯蓄を取り崩している」の割合が高く、母親（ひとり親）で「黒字であり、毎月貯蓄をしている」の割合が低くなっています。

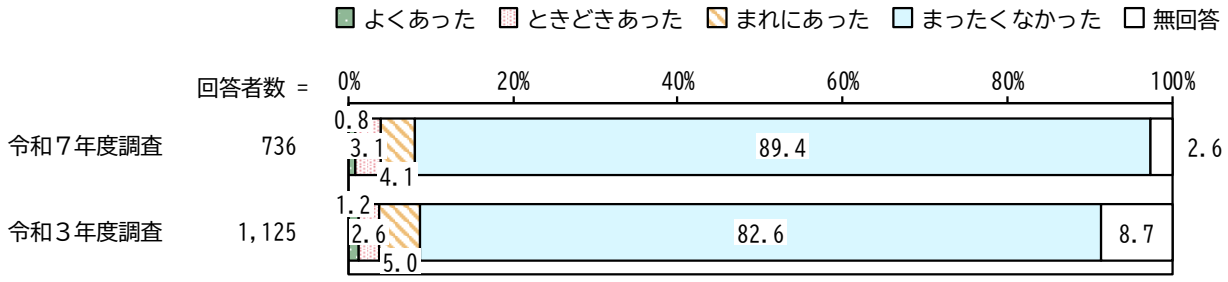


問 33　あなたのご家庭では、過去１年の間に、お金が足りなくて、次のものを買えないことがありましたか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

A　食料

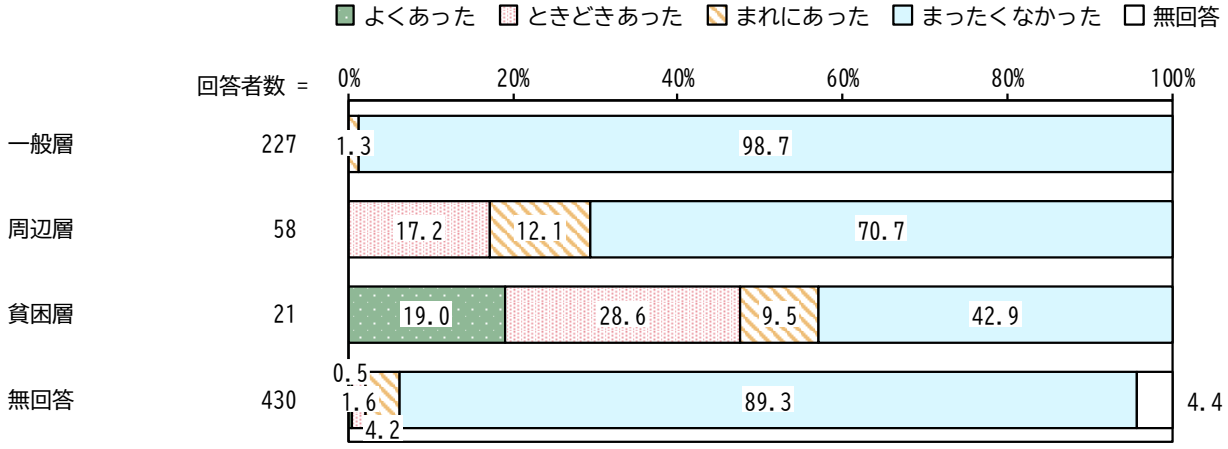
「まったくなかった」の割合が 89.4%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、「まったくなかった」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

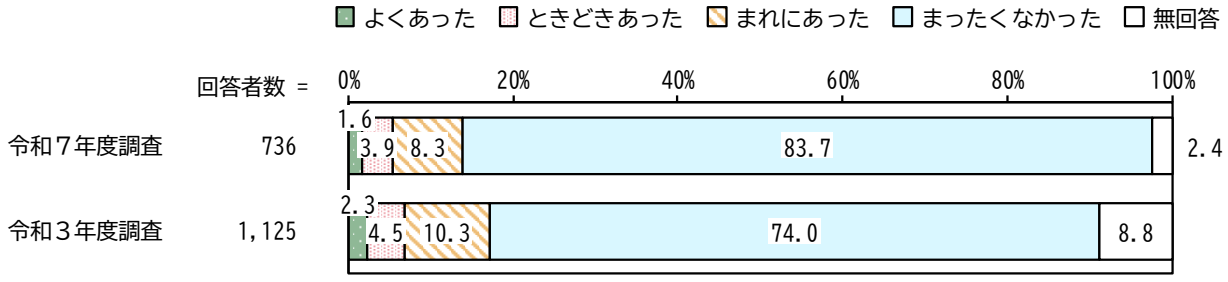
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「ときどきあった」の割合が高くなっています。また、貧困層で「まったくなかった」の割合が低くなっています。



B　衣料

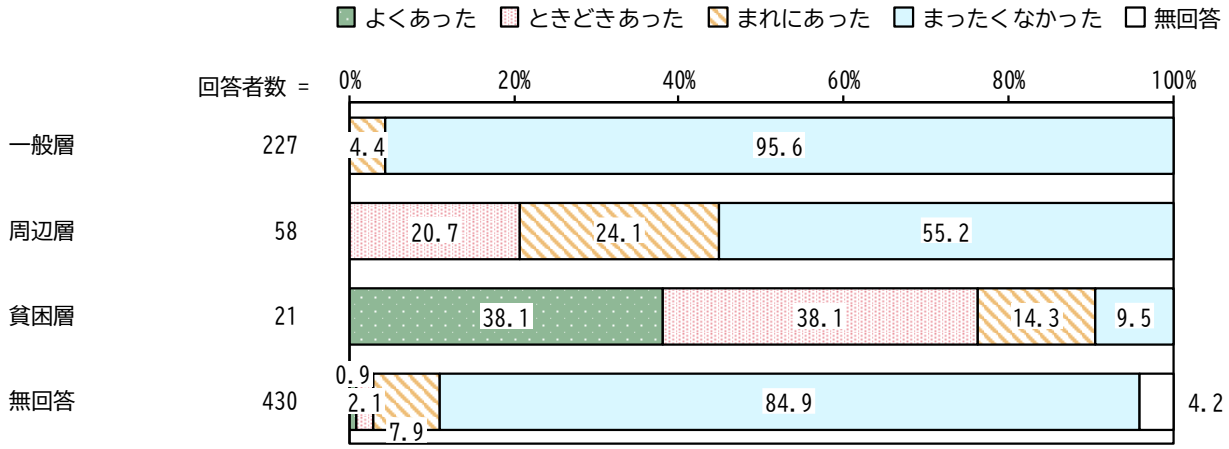
「まったくなかった」の割合が 83.7%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、「まったくなかった」の割合が増加しています。



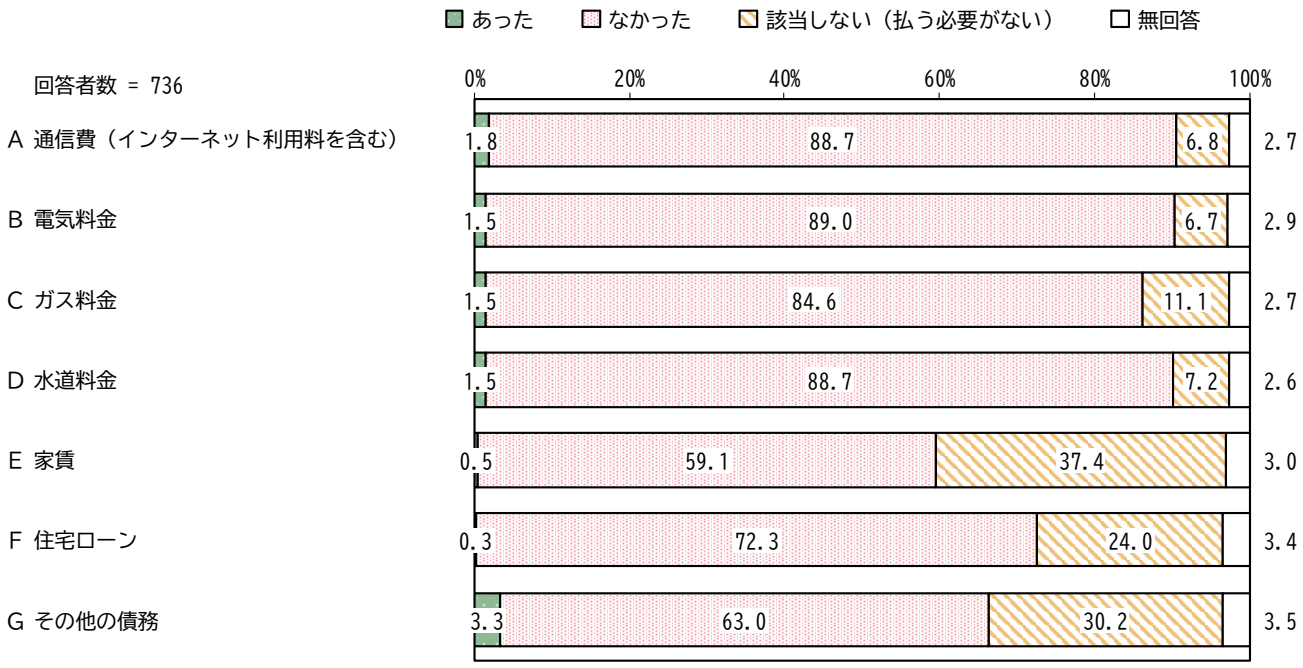
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「ときどきあった」の割合が高く、「まったくなかった」の割合が低くなっています。



問 34　あなたのご家庭では、過去１年の間に、経済的な理由で、以下のＡ～Ｇの料金について、支払えないことがありましたか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

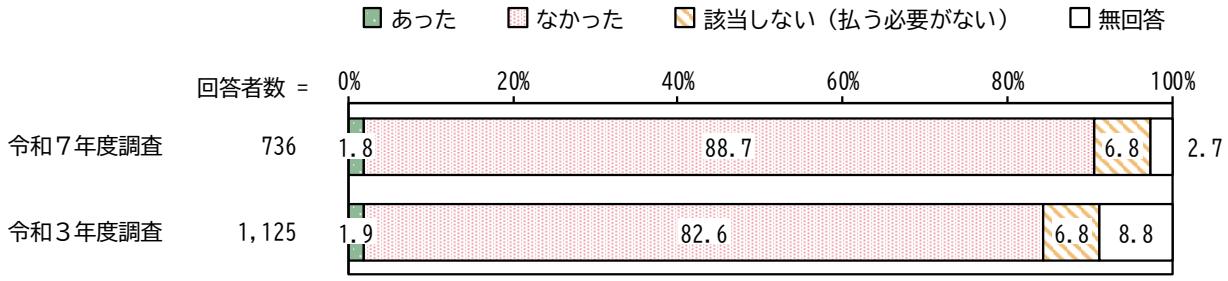
『Ｇ　その他の債務』で「あった」が、『Ｂ　電気料金』で「なかった」が、『Ｅ　家賃』で「該当しない（払う必要がない）」が高くなっています。



A　通信費（インターネット利用料を含む）

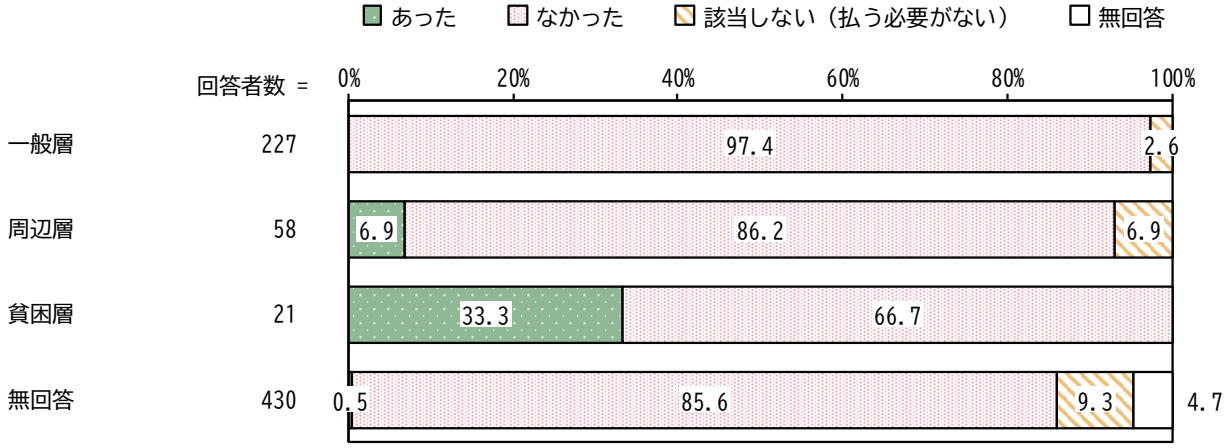
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「なかった」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

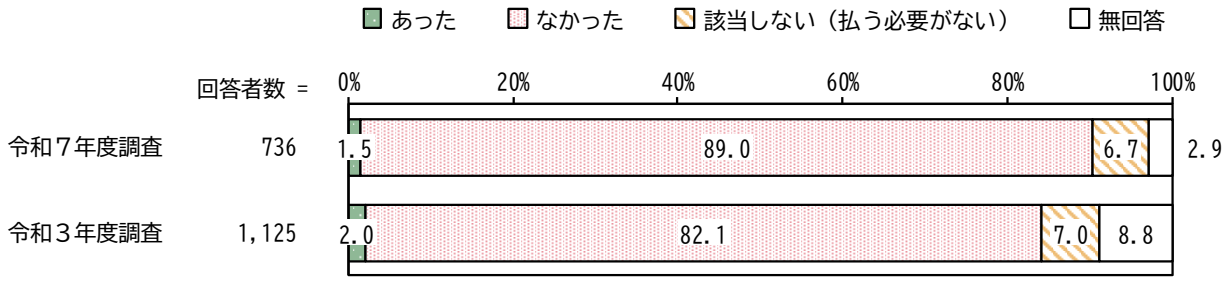
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「あった」の割合が高くなっています。



B　電気料金

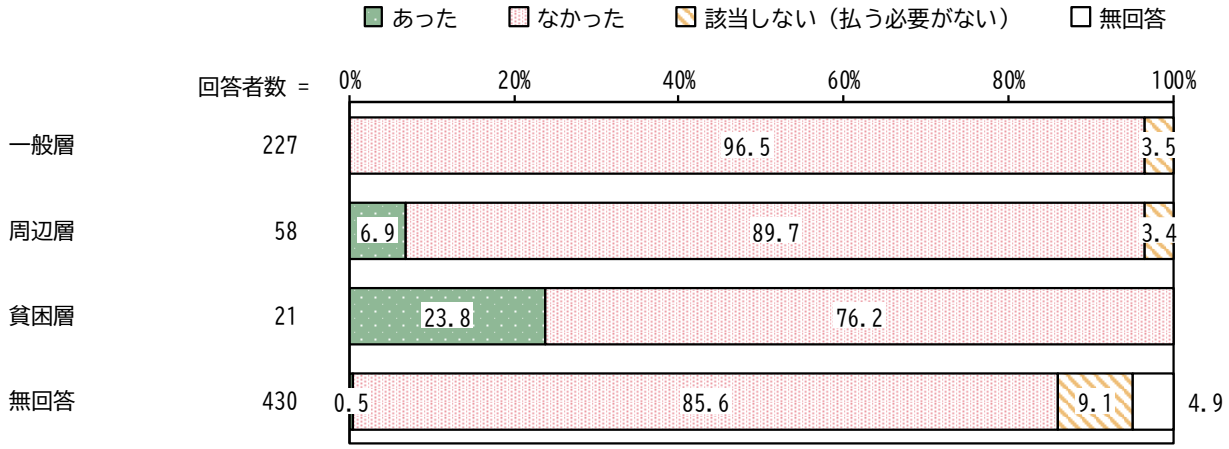
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「なかった」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

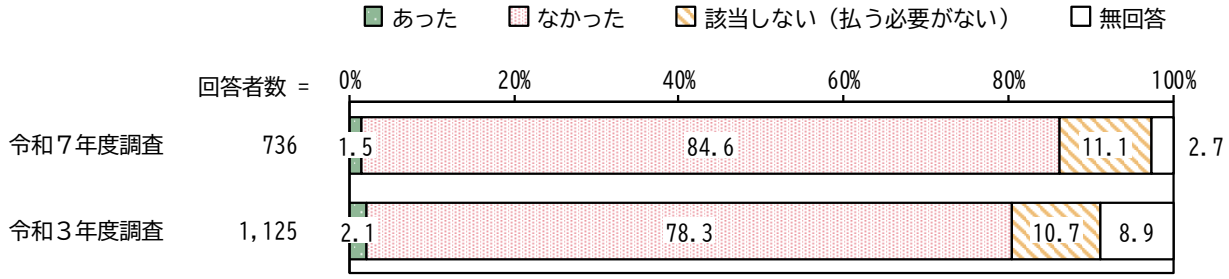
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「あった」の割合が高くなっています。



C　ガス料金

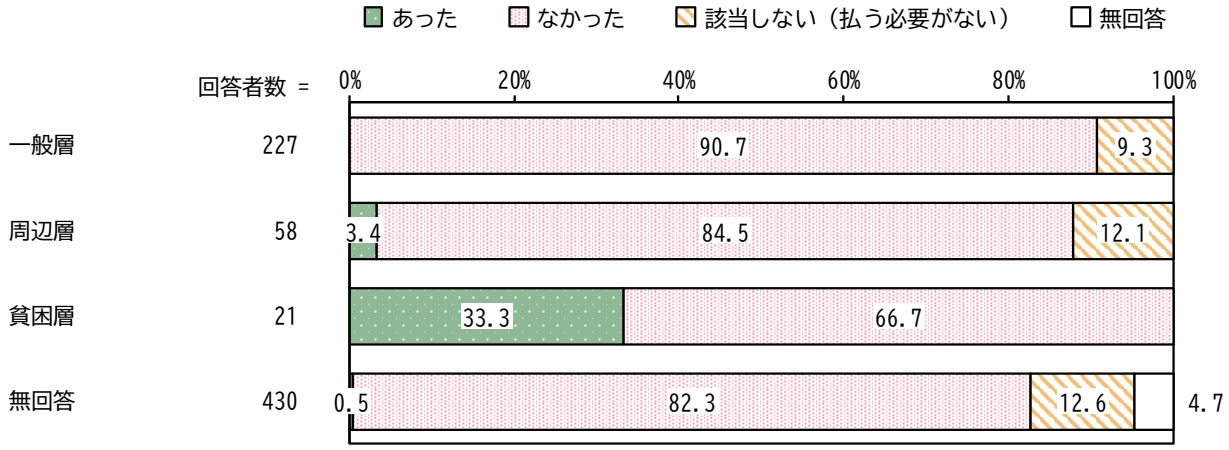
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「なかった」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

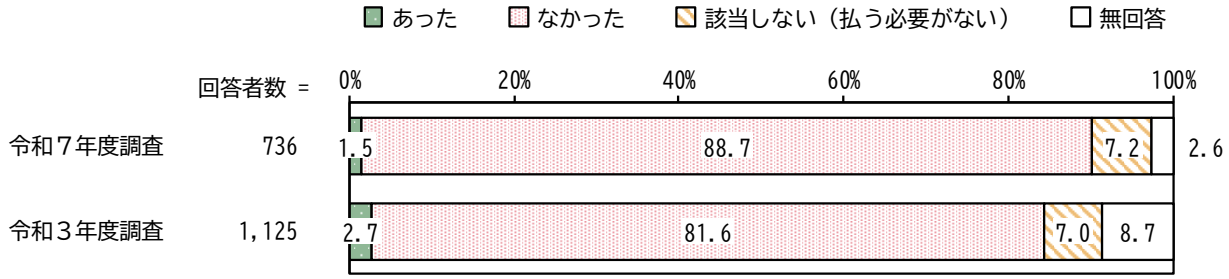
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「あった」の割合が高くなっています。



D　水道料金

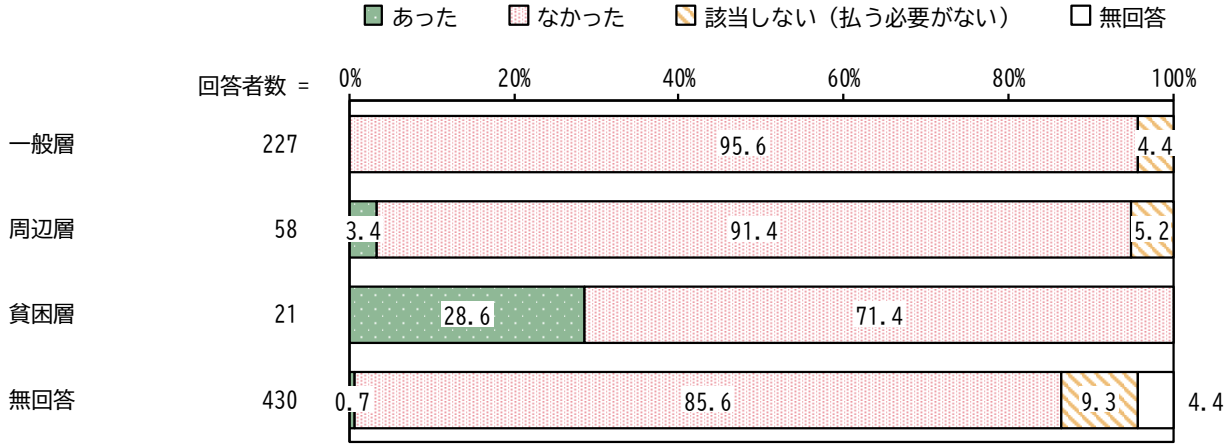
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「なかった」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

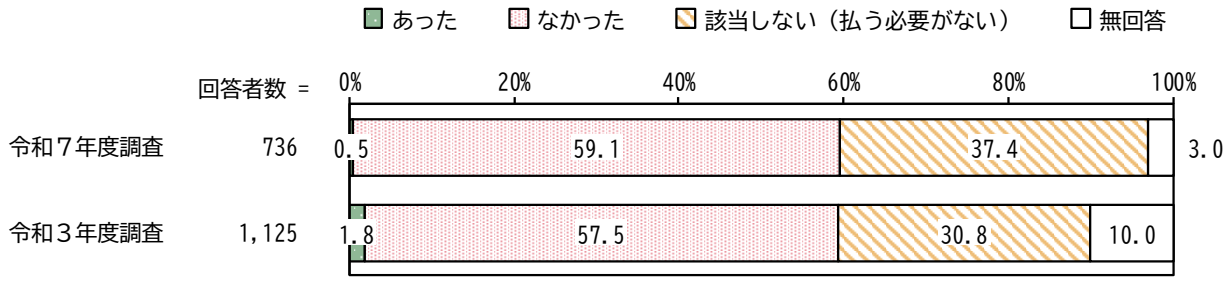
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「あった」の割合が高くなっています。



E　家賃

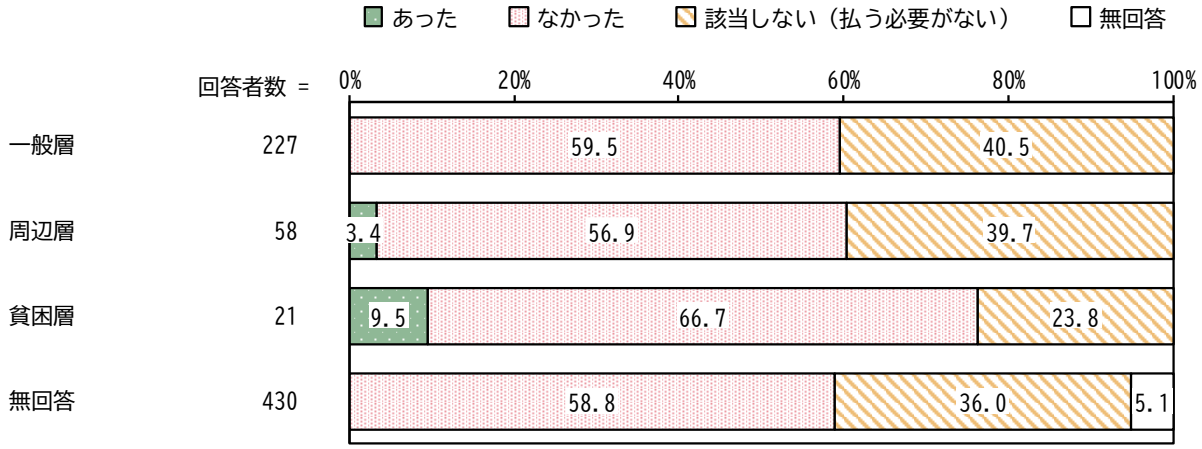
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

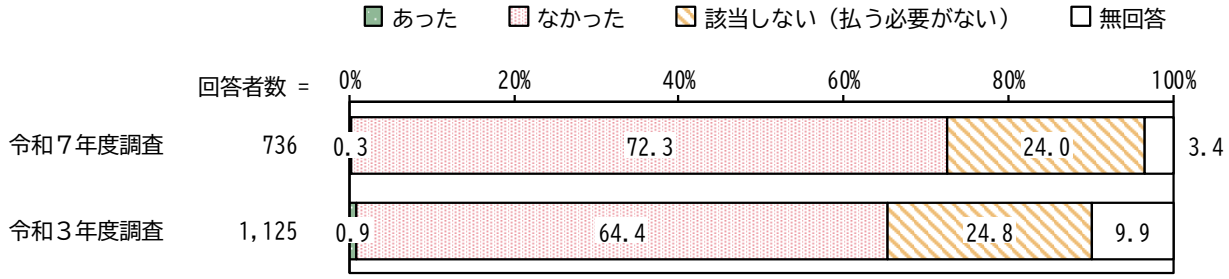
生活困難度別にみると、貧困層で「あった」「なかった」の割合が高くなっています。



F　住宅ローン

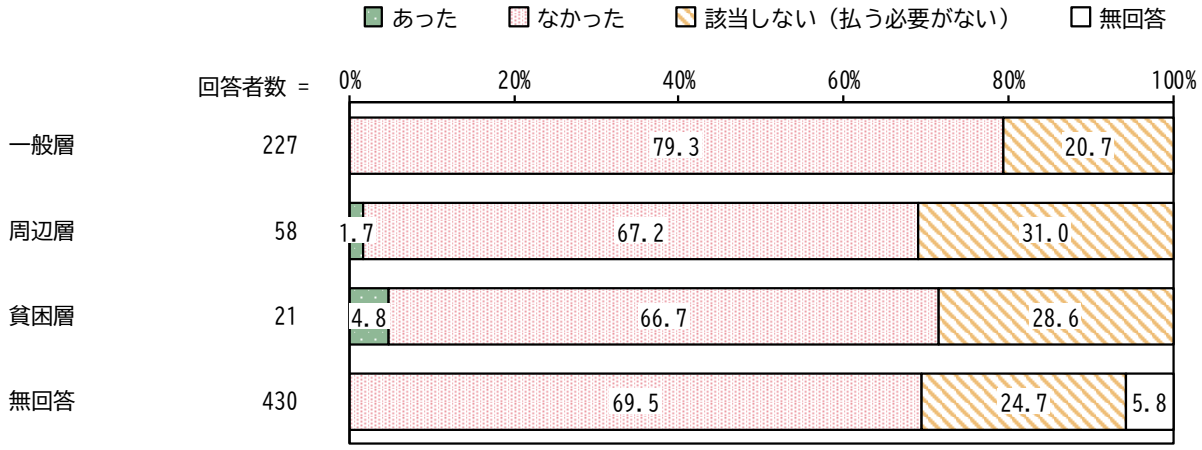
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「なかった」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

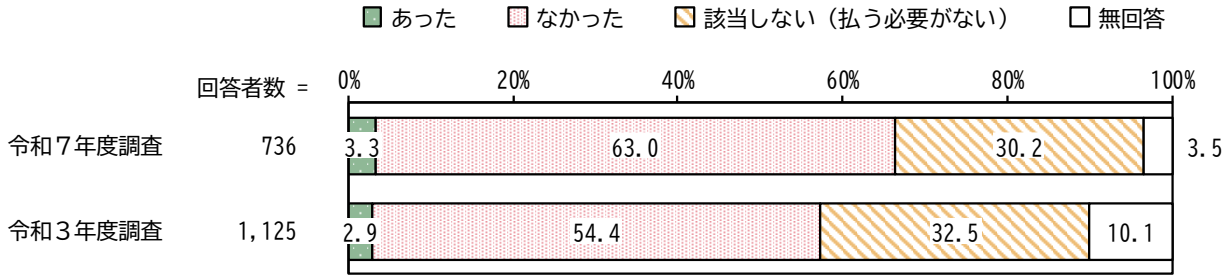
生活困難度別にみると、一般層で「なかった」の割合が高くなっています。



G　その他の債務

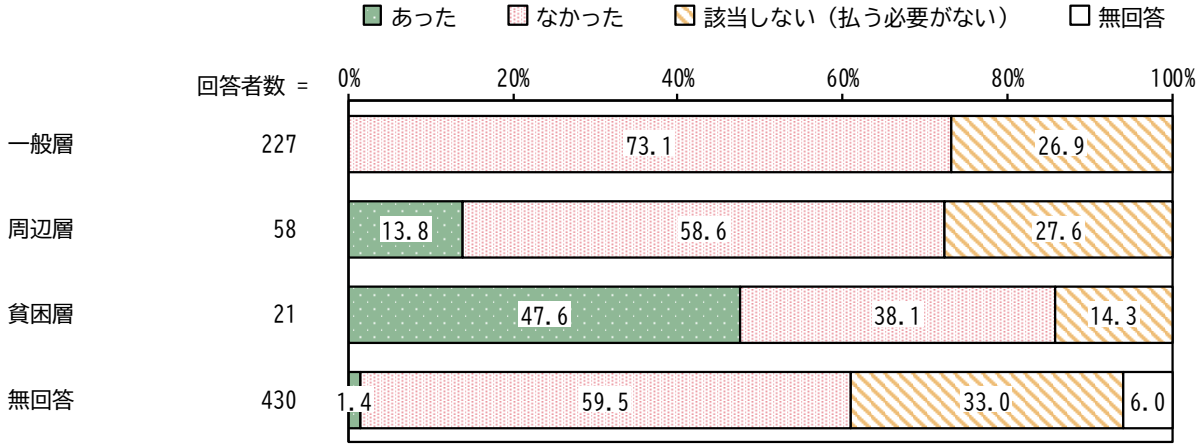
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「なかった」の割合が増加しています。



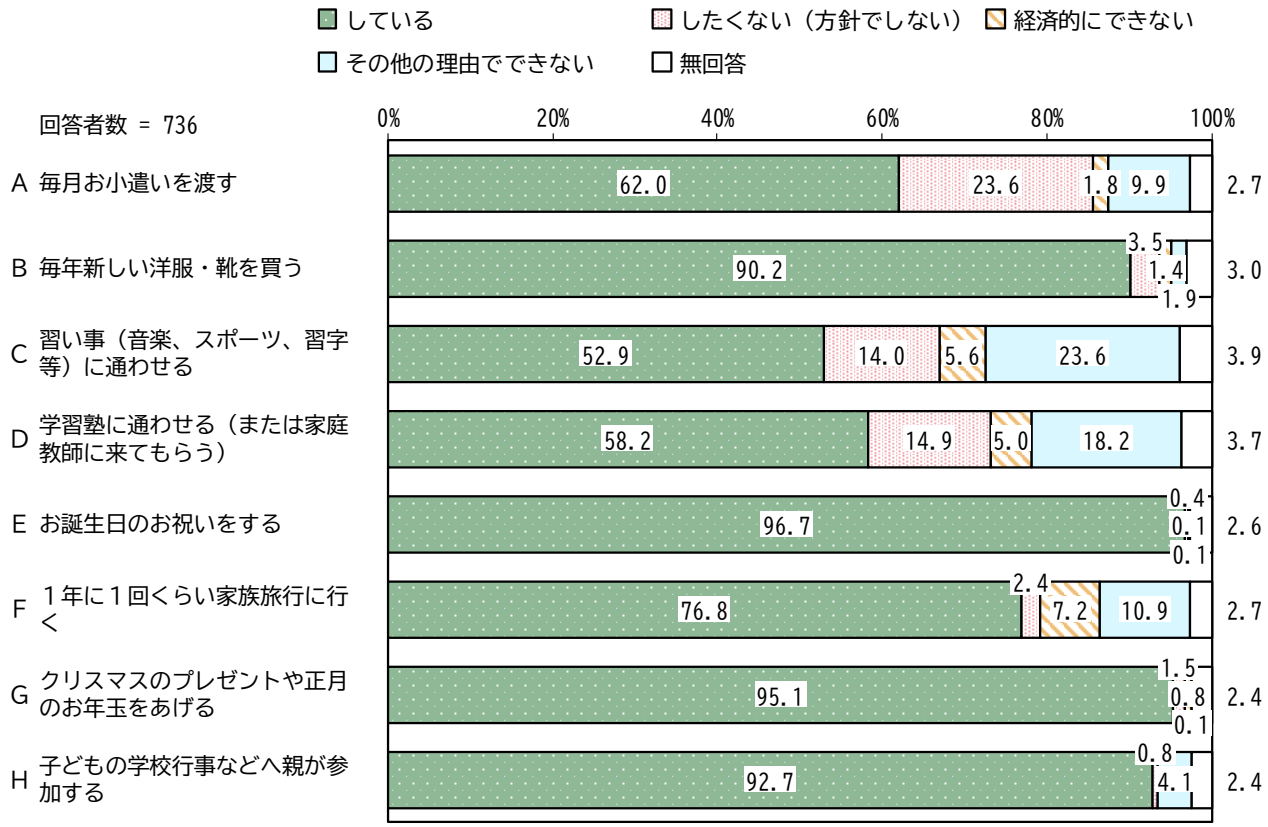
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「あった」の割合が高くなっています。



問 35　あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「している」「していない、したくない（方針でしない）」「していない、経済的にできない」「していない　その他の理由でできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

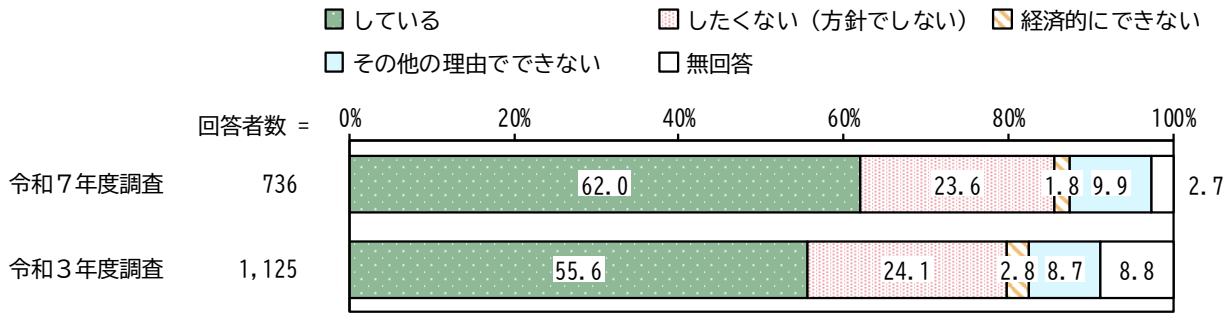
『E　お誕生日のお祝いをする』で「している」が、『A　毎月お小遣いを渡す』で「したくない（方針でしない）」が、『F　１年に１回くらい家族旅行に行く』で「経済的にできない」が、『C　習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる』で「その他の理由でできない」が高くなっています。



A　毎月お小遣いを渡す

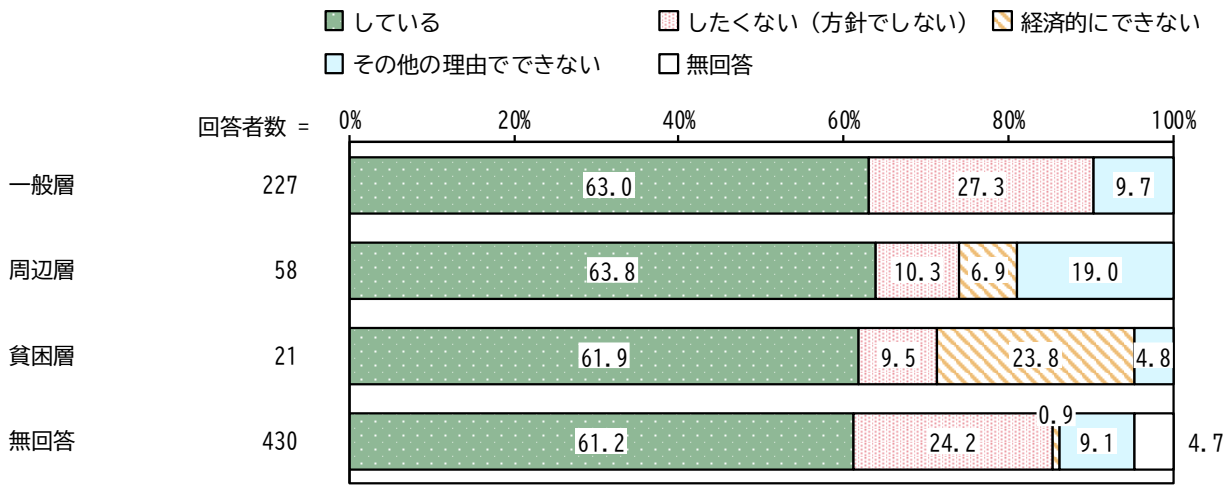
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「している」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

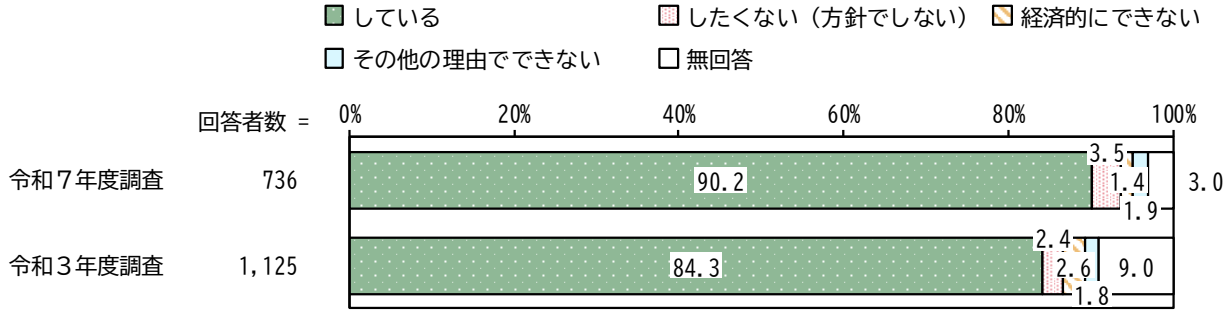
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「経済的にできない」の割合が高く、「したくない（方針でしない）」の割合が低くなっています。



B　毎年新しい洋服・靴を買う

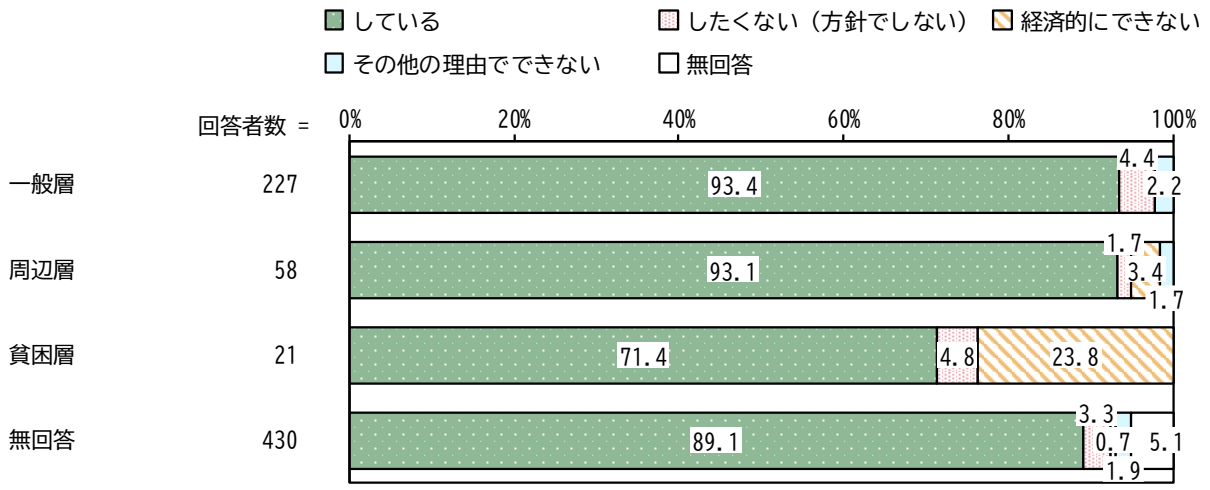
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「している」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

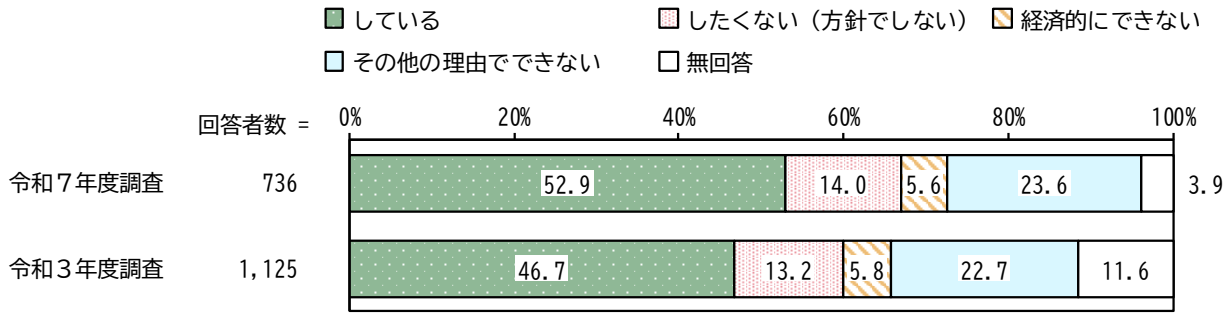
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「経済的にできない」の割合が高く、「している」の割合が低くなっています。



C　習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる

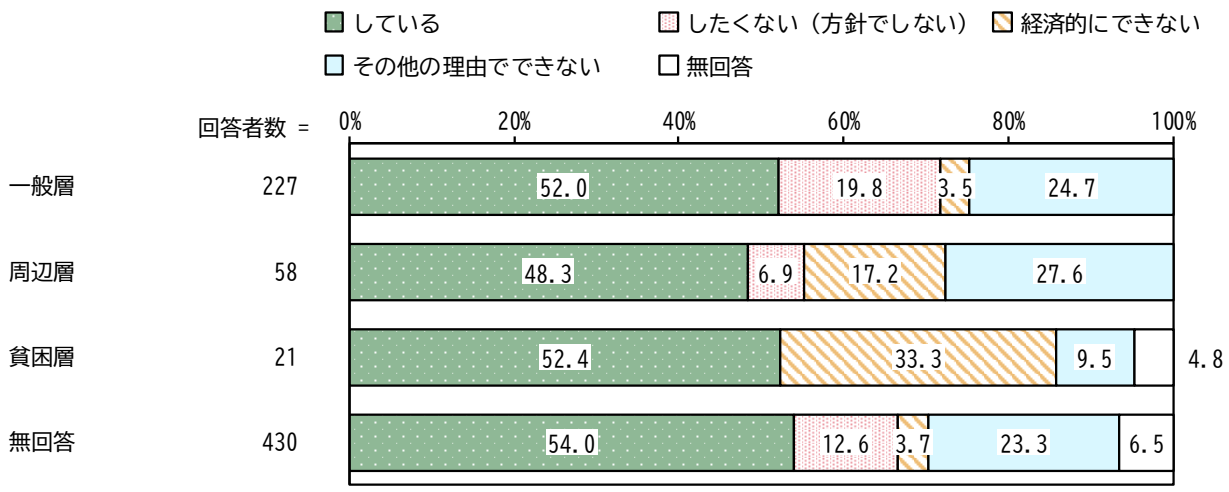
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「している」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

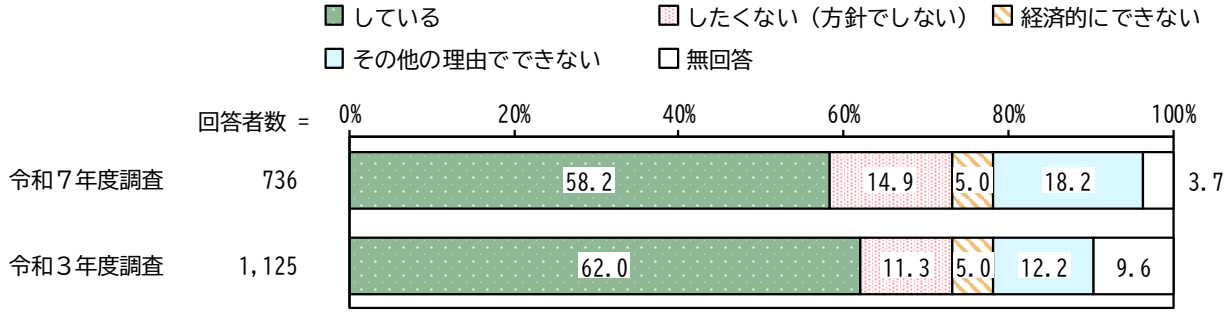
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「経済的にできない」の割合が高く、「したくない（方針でしない）」の割合が低くなっています。



D　学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）

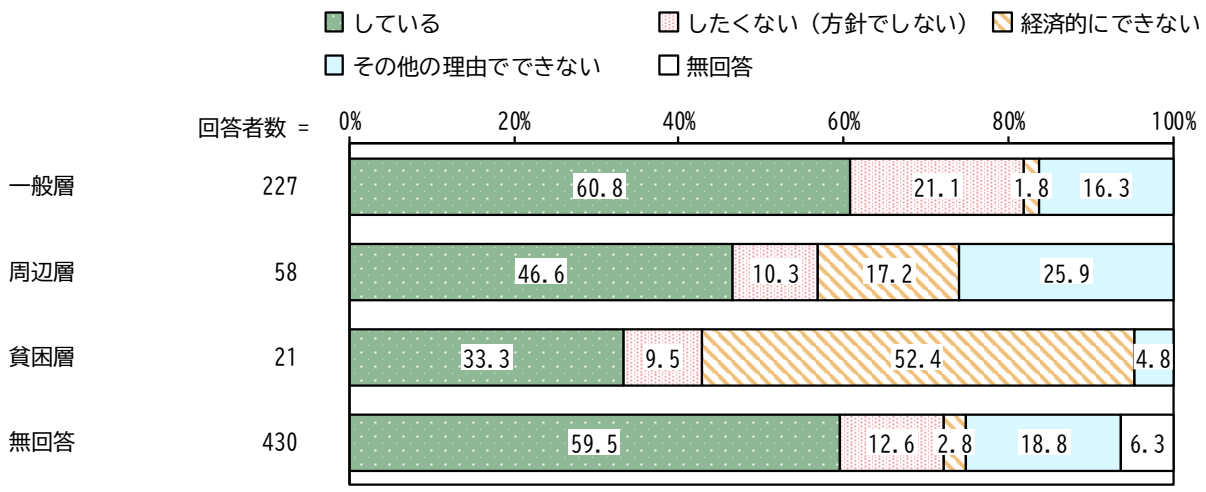
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

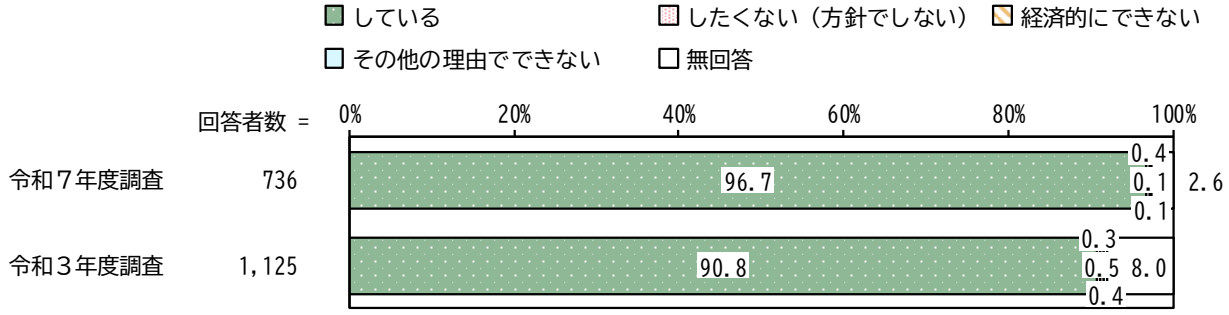
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「している」「したくない（方針でしない）」の割合が高く、「経済的にできない」の割合が低くなっています。



E　お誕生日のお祝いをする

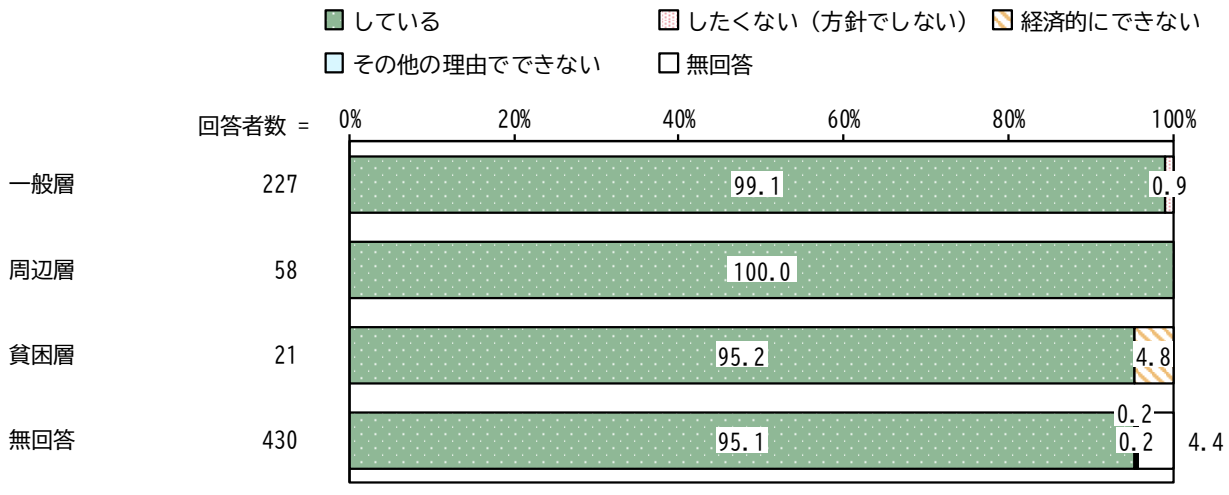
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「している」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

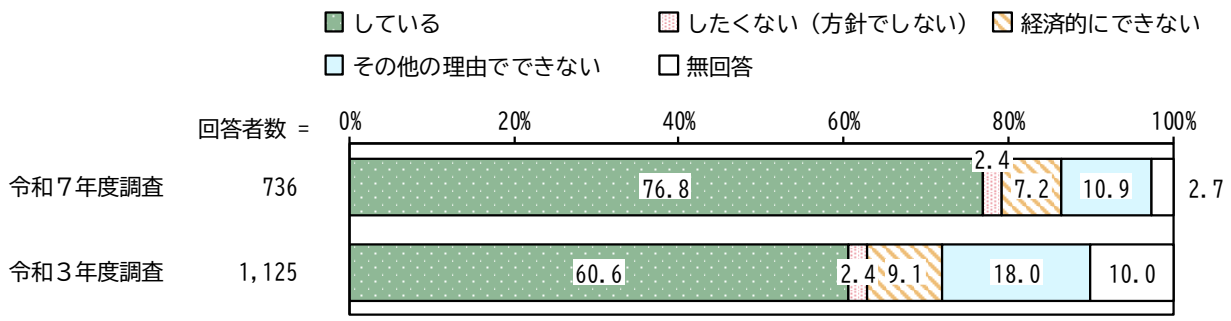
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



F　１年に１回くらい家族旅行に行く

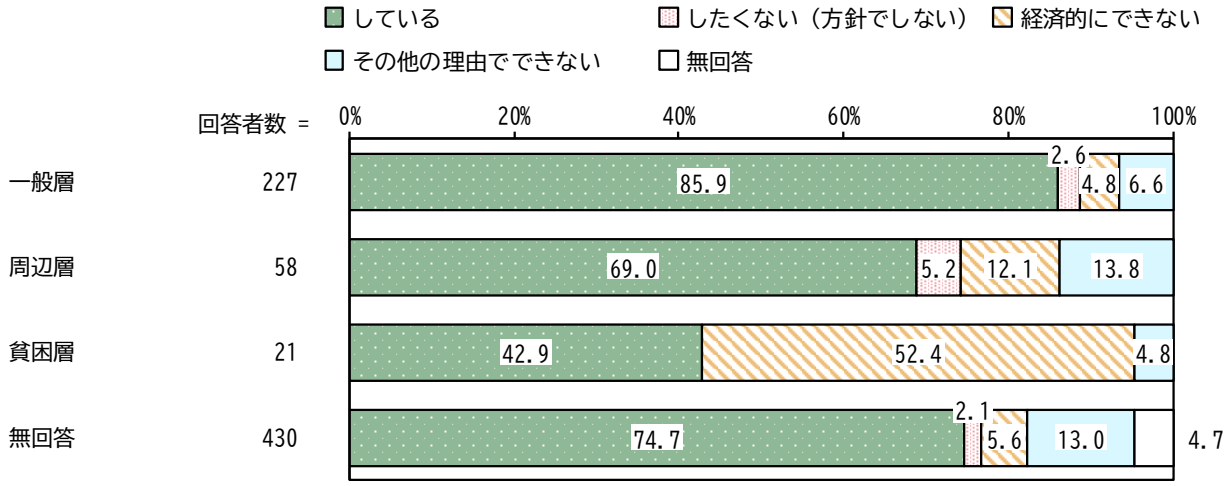
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「している」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

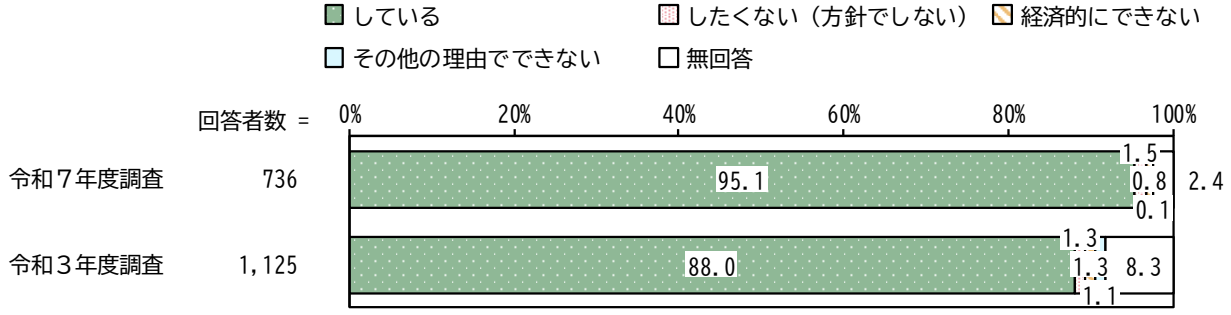
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「経済的にできない」の割合が高く、「している」の割合が低くなっています。



G　クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

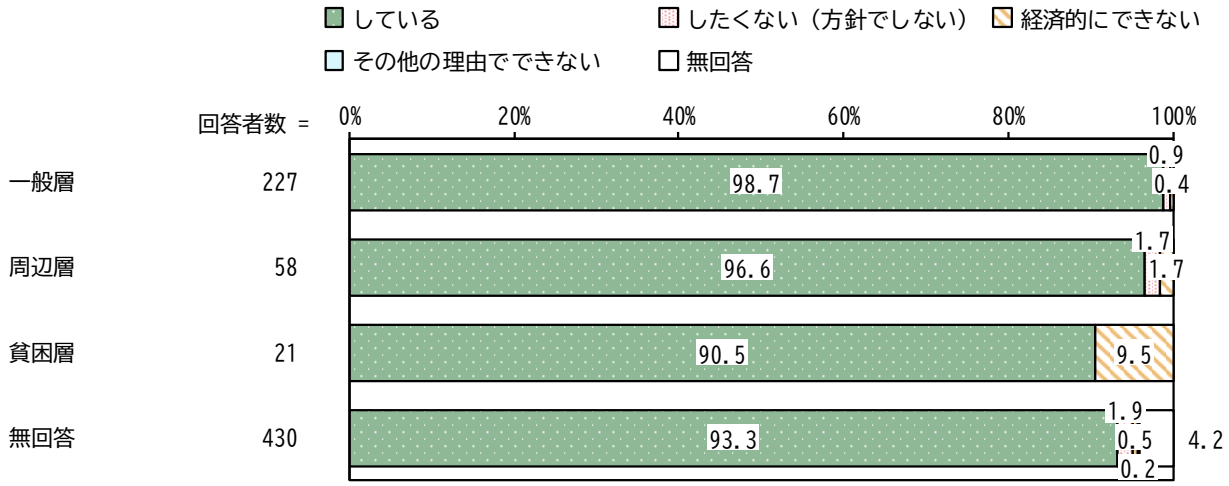
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「している」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

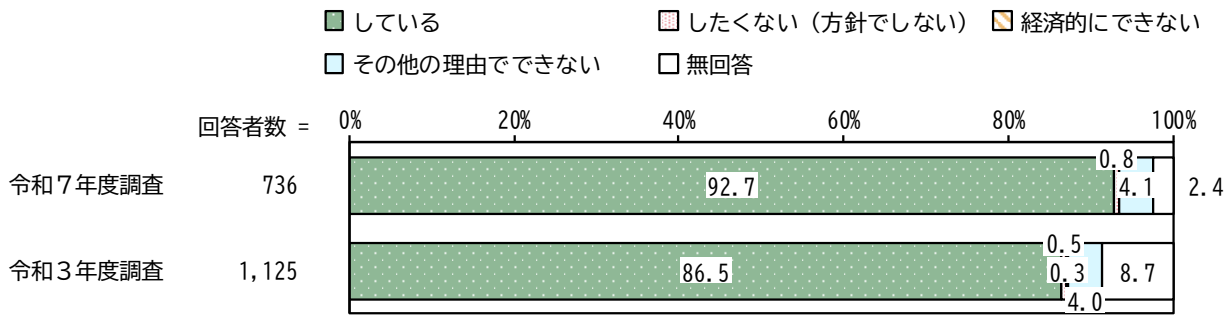
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「している」の割合が高くなっています。



H　子どもの学校行事などへ親が参加する

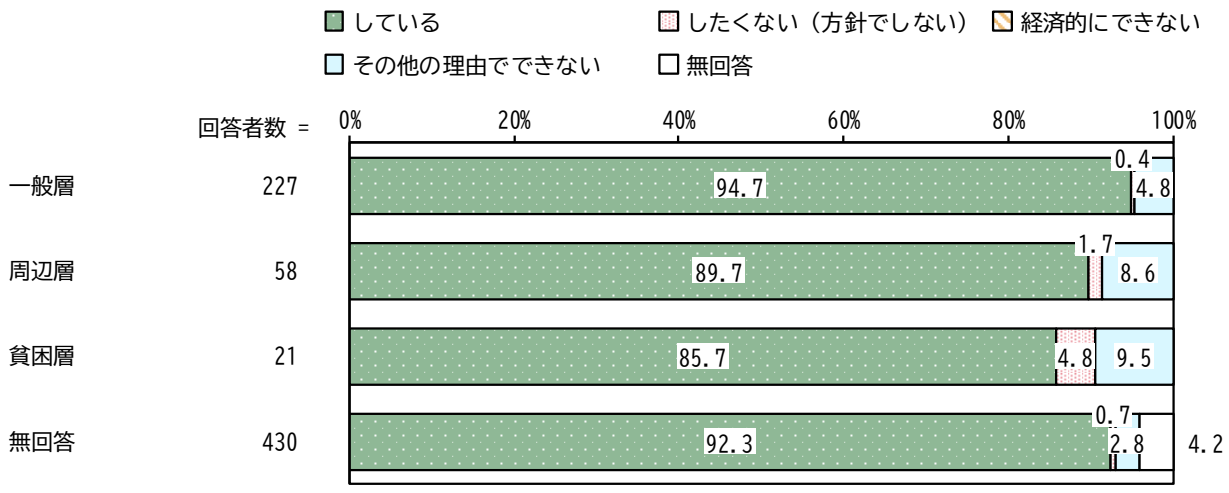
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「している」の割合が増加しています。



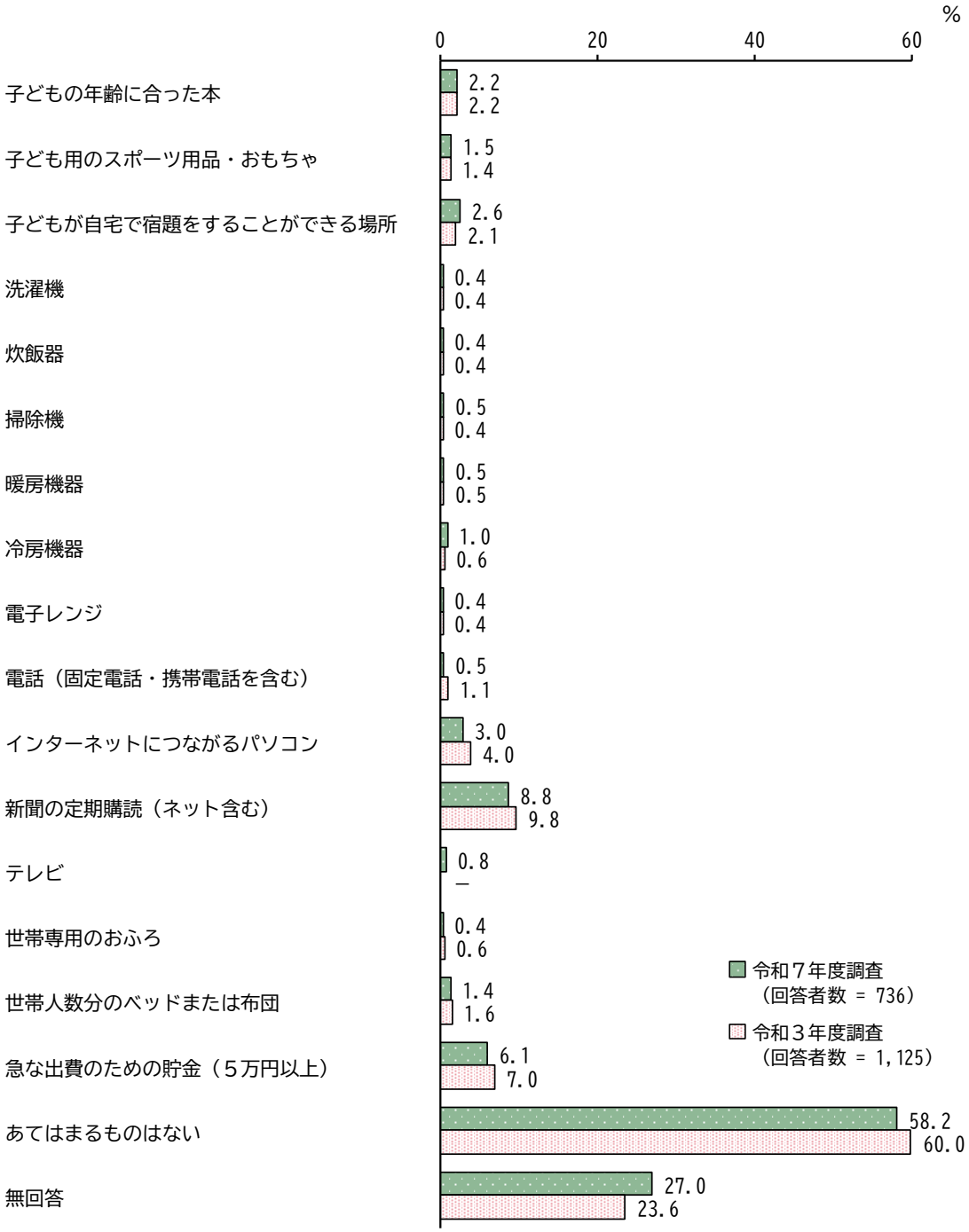
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「している」の割合が高くなっています。



問 36　次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。
（あてはまる番号すべてに○）
※特に必要がないために購入していないものについては、○を付けなくて結構です。

「新聞の定期購読（ネット含む）」の割合が 8.8%と最も高くなっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和３年度調査では、「テレビ」がありませんでした。

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「子どもの年齢に合った本」「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」「子どもが自宅で宿題をすることができる場所」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	子どもの年齢に合った本	子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	子どもが自宅で宿題をすることができる場所	洗濯機	炊飯器	掃除機	暖房機器	冷房機器	電子レンジ
全　体	736	2.2	1.5	2.6	0.4	0.4	0.5	0.5	1.0	0.4
一般層	227	0.4	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0
周辺層	58	13.8	6.9	15.5	5.2	5.2	5.2	5.2	6.9	5.2
貧困層	21	28.6	23.8	28.6	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0
無回答	430	0.2	0.0	0.5	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0

区分	電話（固定電話・携帯電話を含む）	インターネットにつながるパソコン	新聞の定期購読（ネット含む）	テレビ	世帯専用のおふろ	世帯人数分のベッドまたは布団	急な出費のための貯金（5万円以上）	あてはまるものはない	無回答
全　体	0.5	3.0	8.8	0.8	0.4	1.4	6.1	58.2	27.0
一般層	0.0	2.6	12.3	0.4	0.0	1.3	0.9	85.0	0.0
周辺層	5.2	8.6	19.0	5.2	5.2	6.9	24.1	55.2	6.9
貧困層	4.8	9.5	23.8	0.0	0.0	14.3	61.9	23.8	0.0
無回答	0.0	2.1	4.9	0.5	0.0	0.0	3.7	46.0	45.3

問 37　お子さんの母親が、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。（１つに○）

「大学」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「短期大学」の割合が 19.3%、「専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）」の割合が 18.2%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「大学」の割合が増加しています。

単位：%

区分	回答者数（件）	中学校	高等学校（全日制）	高等学校（定時制または通信制）	高等専修学校（中学校卒業後に進む1～4年間の専修学校）	高等専門学校（中学校卒業後に進む5年間の学校、高専）	短期大学	専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）	大学	大学院	その他	わからない	無回答
全　体	736	1.1	12.4	2.3	0.4	0.8	19.3	18.2	37.6	3.0	0.7	1.1	3.1
令和７年度調査	736	1.1	12.4	2.3	0.4	0.8	19.3	18.2	37.6	3.0	0.7	1.1	3.1
令和３年度調査	1,046	1.1	17.2	1.1	0.8	0.5	22.7	22.8	29.1	1.6	0.2	0.1	3.0

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「高等学校（全日制）」「専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）」の割合が高く、「大学」の割合が低くなっています。また、貧困層で「短期大学」の割合が低くなっています。

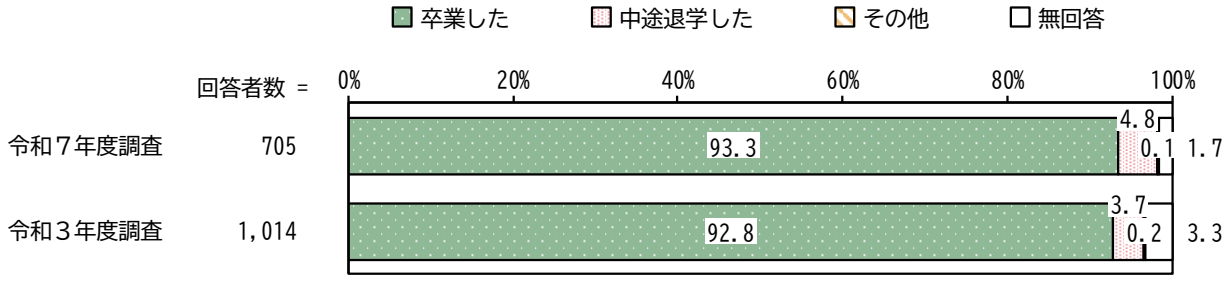
単位：％

区分	回答者数（件）	中学校	高等学校（全日制）	高等学校（定時制または通信制）	高等専修学校（中学校卒業後に進む１～４年間の専修学校）	高等専門学校（中学校卒業後に進む５年間の学校、高専）	短期大学	専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）	大学	大学院	その他	わからない	無回答
全　体	736	1.1	12.4	2.3	0.4	0.8	19.3	18.2	37.6	3.0	0.7	1.1	3.1
一般層	227	1.8	9.7	0.4	0.0	1.3	20.7	14.5	46.7	4.0	0.9	0.0	0.0
周辺層	58	0.0	10.3	6.9	1.7	0.0	25.9	32.8	22.4	0.0	0.0	0.0	0.0
貧困層	21	4.8	23.8	0.0	0.0	4.8	4.8	38.1	19.0	0.0	0.0	4.8	0.0
無回答	430	0.7	13.5	2.8	0.5	0.5	18.4	17.2	35.8	3.0	0.7	1.6	5.3

問 37 で「中学校」～「その他」を選んだ方にお聞きします。

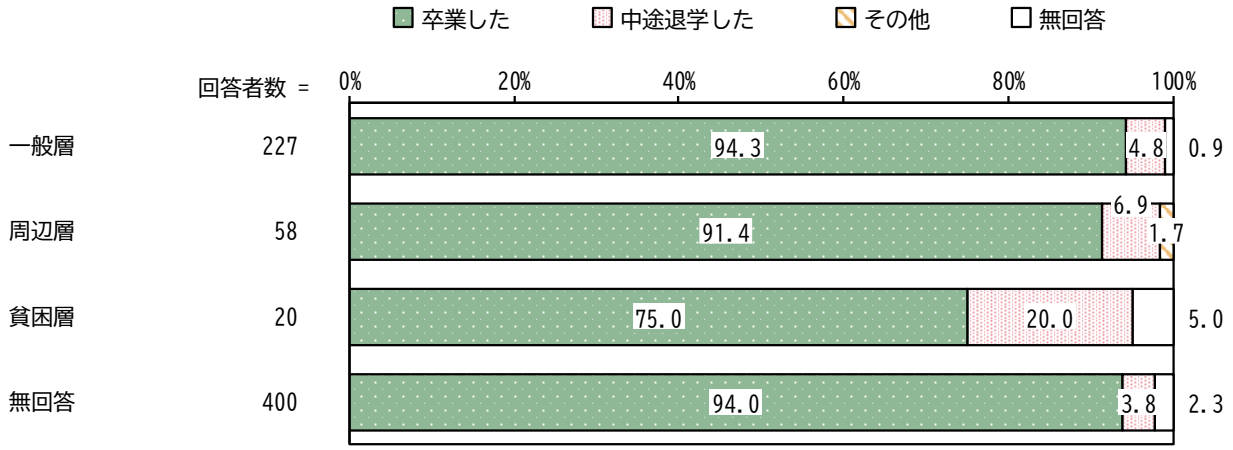
問 37－１　お子さんの母親は、問 37 で答えた学校を卒業されましたか。（１つに○）

「卒業した」の割合が 93.3%、「中途退学した」の割合が 4.8%となっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「中途退学した」の割合が高くなっています。



問 38　お子さんの父親が、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。（１つに○）

「大学」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）」の割合が 13.5%、「高等学校（全日制）」の割合が 12.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	中学校	高等学校（全日制）	高等学校（定時制または通信制）	高等専修学校（中学校卒業後に進む１～４年間の専修学校）	高等専門学校（中学校卒業後に進む５年間の学校、高専）	短期大学	専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）	大学	大学院	その他	わからない	無回答
全　体	736	1.1	12.1	2.0	0.5	1.6	0.5	13.5	51.5	10.9	0.3	2.2	3.8
令和７年度調査	736	1.1	12.1	2.0	0.5	1.6	0.5	13.5	51.5	10.9	0.3	2.2	3.8
令和３年度調査	1,046	1.7	12.5	1.7	0.5	0.9	1.1	14.5	47.9	10.1	0.4	0.6	8.1

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「高等学校（定時制または通信制）」「専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）」、一般層で「大学」の割合が高くなっています。

単位：％

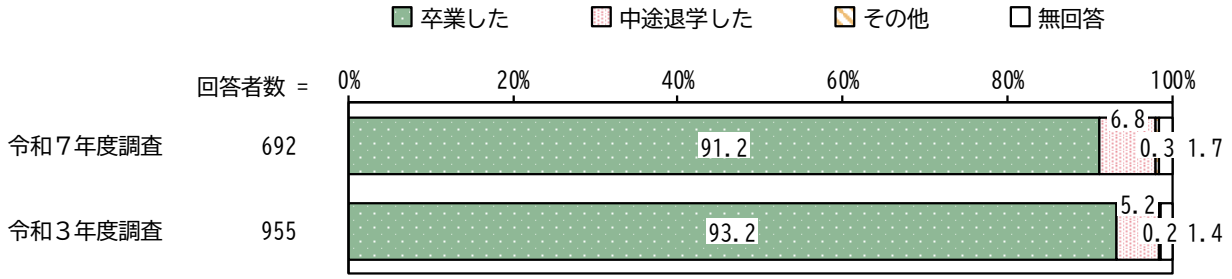
区分	回答者数（件）	中学校	高等学校（全日制）	高等学校（定時制または通信制）	高等専修学校（中学校卒業後に進む１～４年間の専修学校）	高等専門学校（中学校卒業後に進む５年間の学校、高専）	短期大学	専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）	大学	大学院	その他	わからない	無回答
全　体	736	1.1	12.1	2.0	0.5	1.6	0.5	13.5	51.5	10.9	0.3	2.2	3.8
一般層	227	0.9	11.0	2.2	0.4	3.1	0.9	9.7	56.8	13.7	0.0	0.9	0.4
周辺層	58	3.4	15.5	1.7	0.0	1.7	0.0	15.5	53.4	3.4	0.0	3.4	1.7
貧困層	21	4.8	14.3	9.5	0.0	0.0	0.0	38.1	14.3	4.8	0.0	14.3	0.0
無回答	430	0.7	12.1	1.6	0.7	0.9	0.5	14.0	50.2	10.7	0.5	2.1	6.0

問 38 で「中学校」～「その他」を選んだ方にお聞きします。

問 38－１　お子さんの父親は、問 38 で答えた学校を卒業されましたか。（１つに○）

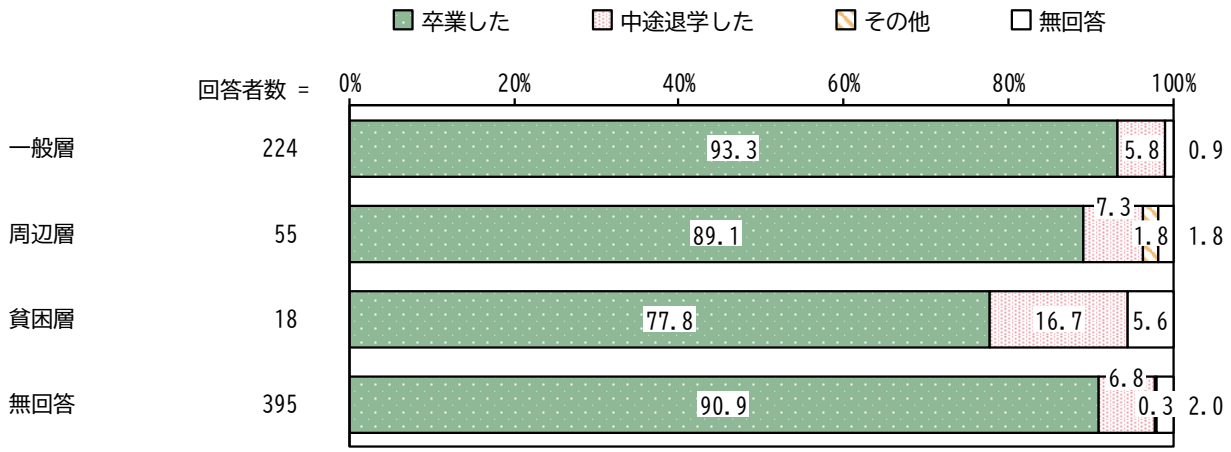
「卒業した」の割合が 91.2%、「中途退学した」の割合が 6.8%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

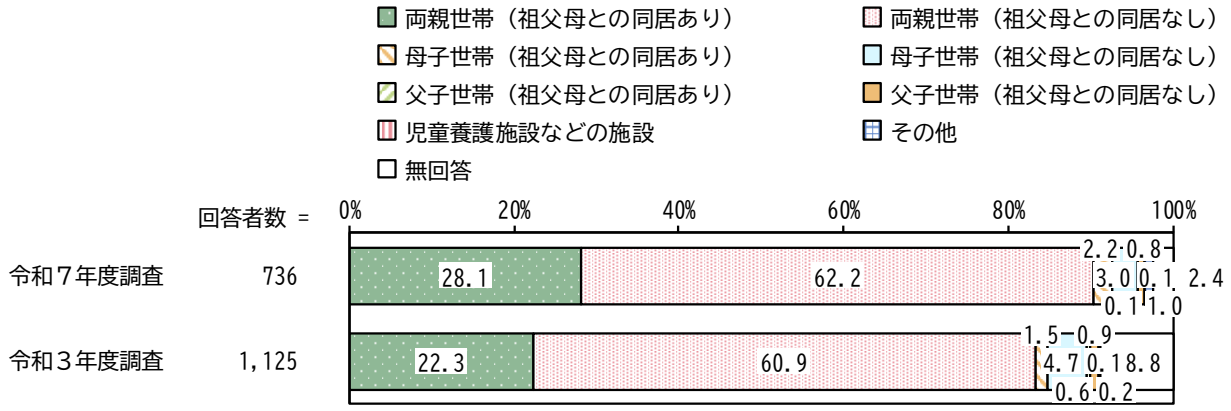
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「中途退学した」の割合が高くなっています。



問 39　あなたが 15 歳の頃のご家庭の様子に最も近いものに○をつけてください。
（１つに○）

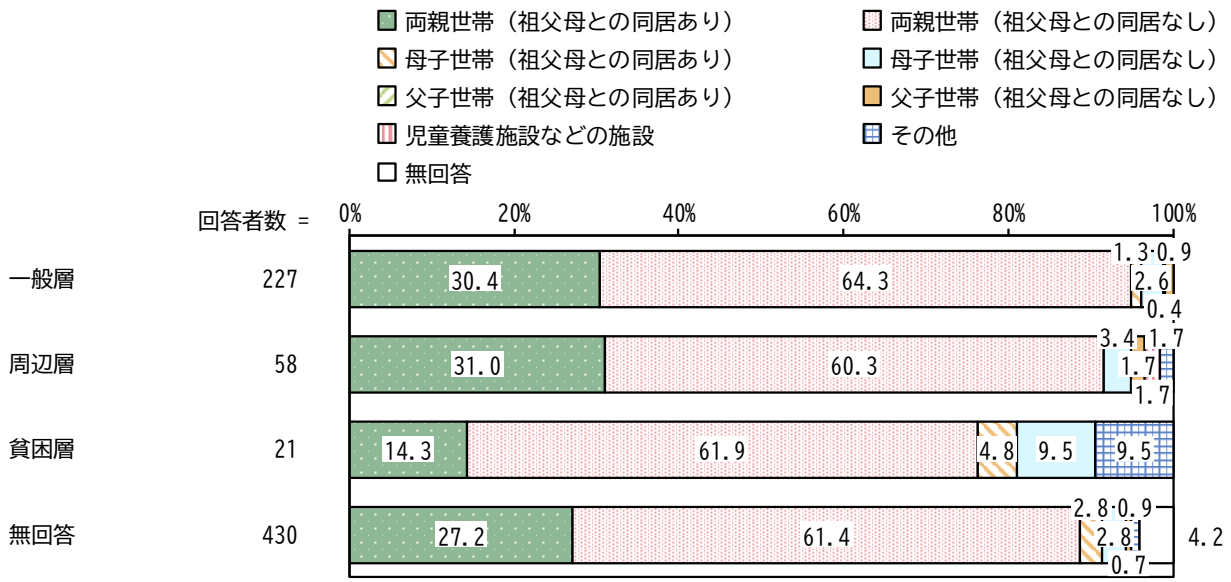
「両親世帯（祖父母との同居なし）」の割合が 62.2%と最も高く、次いで「両親世帯（祖父母との同居あり）」の割合が 28.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「両親世帯（祖父母との同居あり）」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

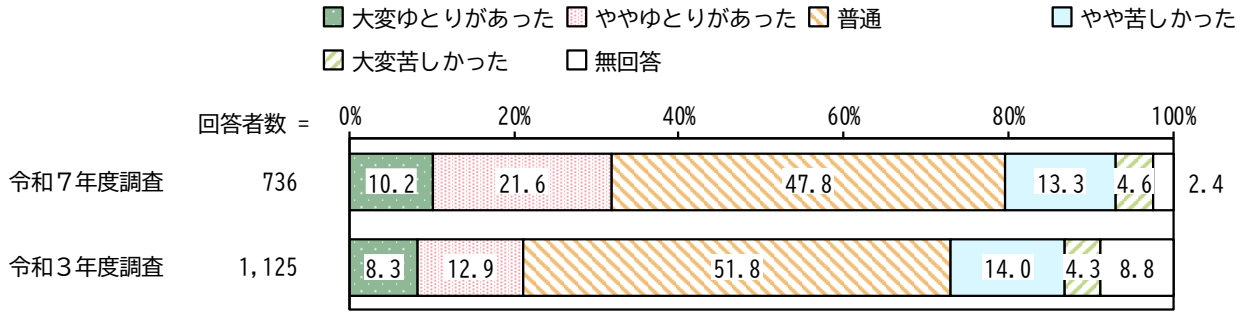
生活困難度別にみると、貧困層で「母子世帯（祖父母との同居なし）」の割合が高く、「両親世帯（祖父母との同居あり）」の割合が低くなっています。



問 40　あなたが 15 歳の頃の、あなたのご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。（１つに○）

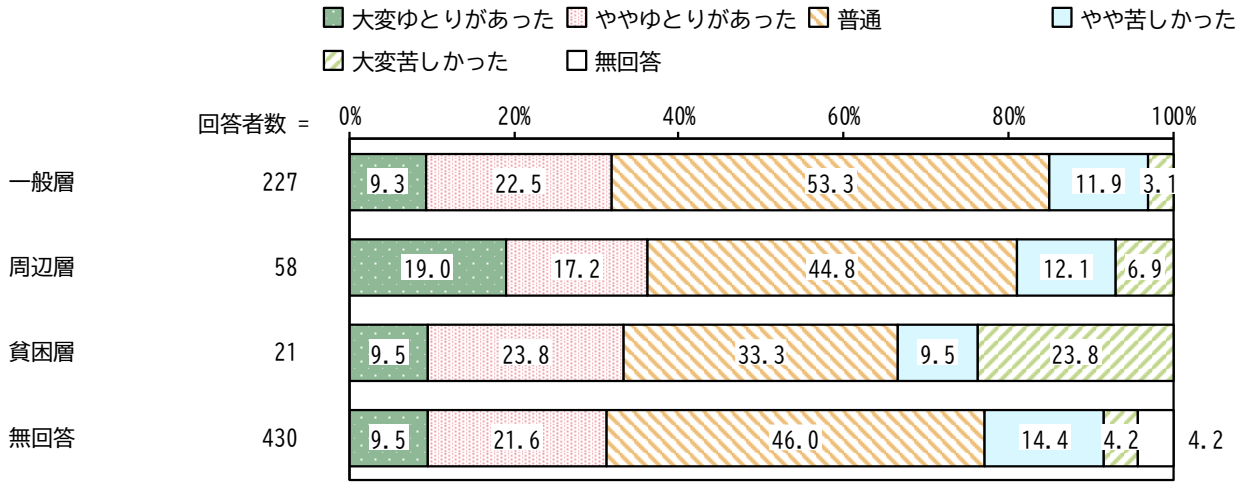
「大変ゆとりがあった」「ややゆとりがあった」を合わせた“ゆとりがあった”の割合が 31.8%、「やや苦しかった」「大変苦しかった」を合わせた“苦しかった”の割合が 17.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、“ゆとりがあった”の割合が増加しています。



【生活困難度別】

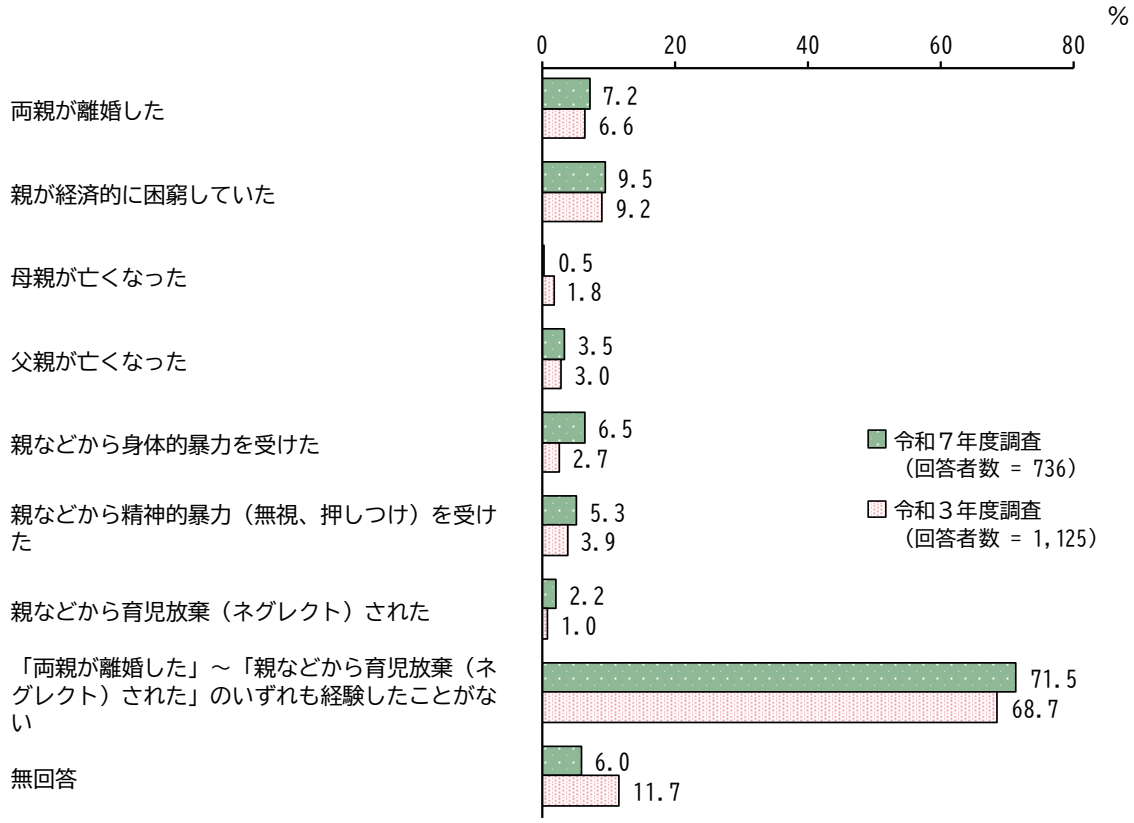
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど“苦しかった”の割合が高くなっています。



問 41　あなたは、成人する前に以下のような体験をしたことがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「「両親が離婚した」～「親などから育児放棄（ネグレクト）された」のいずれも経験したことがない」の割合が 71.5%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「両親が離婚した」「親が経済的に困窮していた」の割合が高くなっています。

単位：％

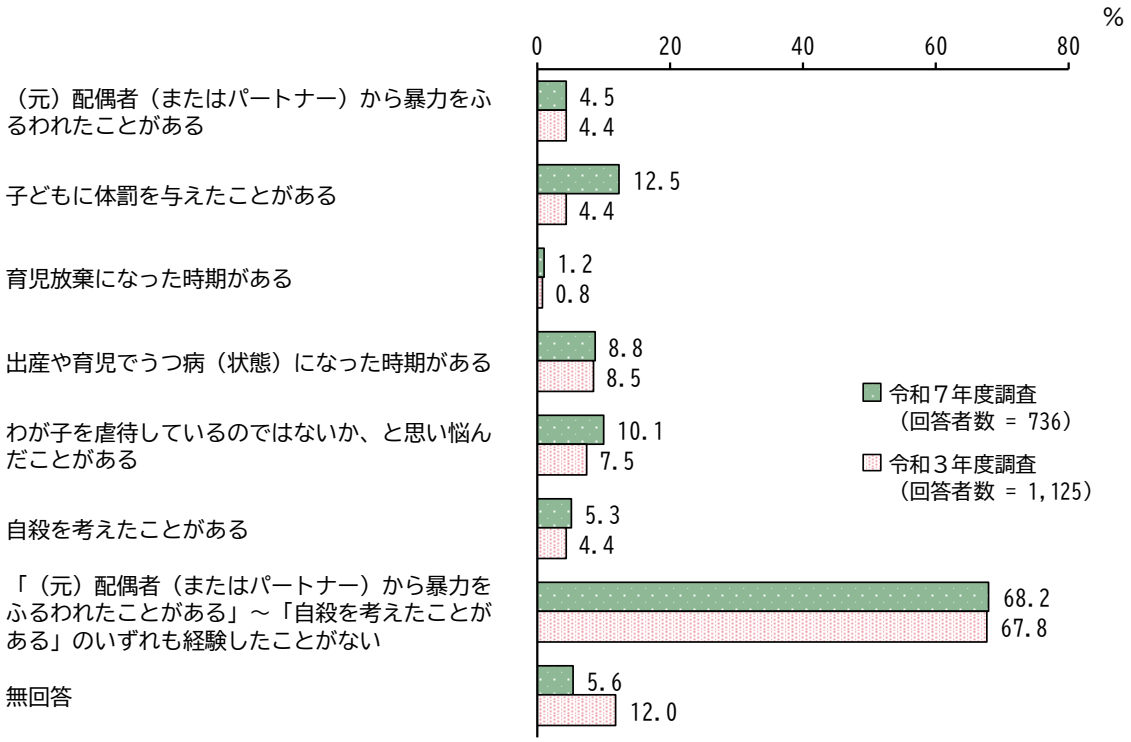
区分	回答者数（件）	両親が離婚した	親が経済的に困窮していた	母親が亡くなった	父親が亡くなった
全　体	736	7.2	9.5	0.5	3.5
一般層	227	5.7	7.9	0.0	4.4
周辺層	58	12.1	13.8	0.0	1.7
貧困層	21	23.8	33.3	0.0	9.5
無回答	430	6.5	8.6	0.9	3.0

区分	親などから身体的暴力を受けた	親などから精神的暴力（無視、押しつけ）を受けた	親などから育児放棄（ネグレクト）された	「両親が離婚した」～「親などから育児放棄（ネグレクト）された」のいずれも経験したことがない	無回答
全　体	6.5	5.3	2.2	71.5	6.0
一般層	6.6	4.8	1.8	78.4	1.3
周辺層	10.3	13.8	1.7	69.0	1.7
貧困層	28.6	23.8	28.6	47.6	0.0
無回答	4.9	3.5	1.2	69.3	9.3

問 42　あなたはお子さんを育てるようになってから、以下のような経験をしたことがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「「(元) 配偶者（またはパートナー）から暴力をふるわれたことがある」～「自殺を考えたことがある」のいずれも経験したことがない」の割合が 68.2%と最も高く、次いで「子どもに体罰を与えたことがある」の割合が 12.5%、「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」の割合が 10.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「子どもに体罰を与えたことがある」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「(元) 配偶者 (またはパートナー) から暴力をふるわれたことがある」「子どもに体罰を与えたことがある」「育児放棄になった時期がある」「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」「自殺を考えたことがある」の割合が高く、「「(元) 配偶者 (またはパートナー) から暴力をふるわれたことがある」～「自殺を考えたことがある」のいずれも経験したことがない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	(元) 配偶者 (またはパートナー) から暴力をふるわれたことがある	子どもに体罰を与えたことがある	育児放棄になった時期がある	出産や育児でうつ病 (状態) になった時期がある
全　体	736	4.5	12.5	1.2	8.8
一般層	227	2.6	11.9	0.0	5.7
周辺層	58	6.9	22.4	1.7	17.2
貧困層	21	33.3	52.4	19.0	14.3
無回答	430	3.7	9.5	0.9	9.1

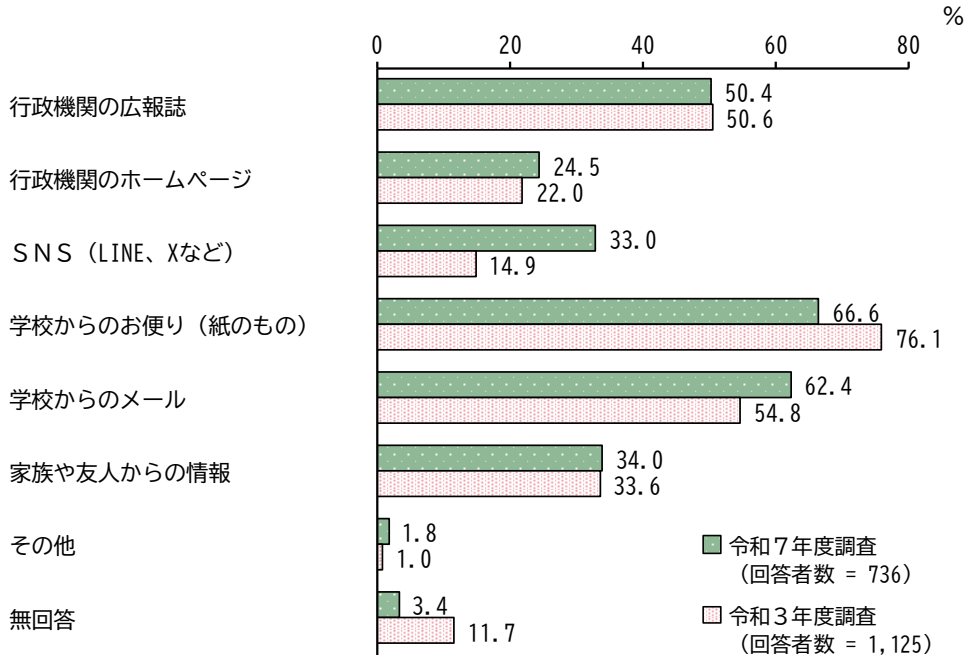
区分	わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある	自殺を考えたことがある	「(元) 配偶者 (またはパートナー) から暴力をふるわれたことがある」～「自殺を考えたことがある」のいずれも経験したことがない	無回答
全　体	10.1	5.3	68.2	5.6
一般層	8.8	3.1	77.5	0.0
周辺層	19.0	12.1	56.9	0.0
貧困層	38.1	33.3	33.3	0.0
無回答	8.1	4.2	66.5	9.5

問 43　（A）あなたは、子どもに関する施策等の情報をどういう方法で受け取っていますか。（B）また、今後、どのような方法で受け取りたいと思いますか。
（それぞれ、あてはまる番号すべてに○）

（A）あなたは、子どもに関する施策等の情報をどういう方法で受け取っていますか。

「学校からのお便り（紙のもの）」の割合が 66.6%と最も高く、次いで「学校からのメール」の割合が 62.4%、「行政機関の広報誌」の割合が 50.4%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「ＳＮＳ（LINE、X など）」「学校からのメール」の割合が増加しています。一方、「学校からのお便り（紙のもの）」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「行政機関の広報誌」「ＳＮＳ（LINE、X など）」「学校からのお便り（紙のもの）」「家族や友人からの情報」の割合が高くなっています。

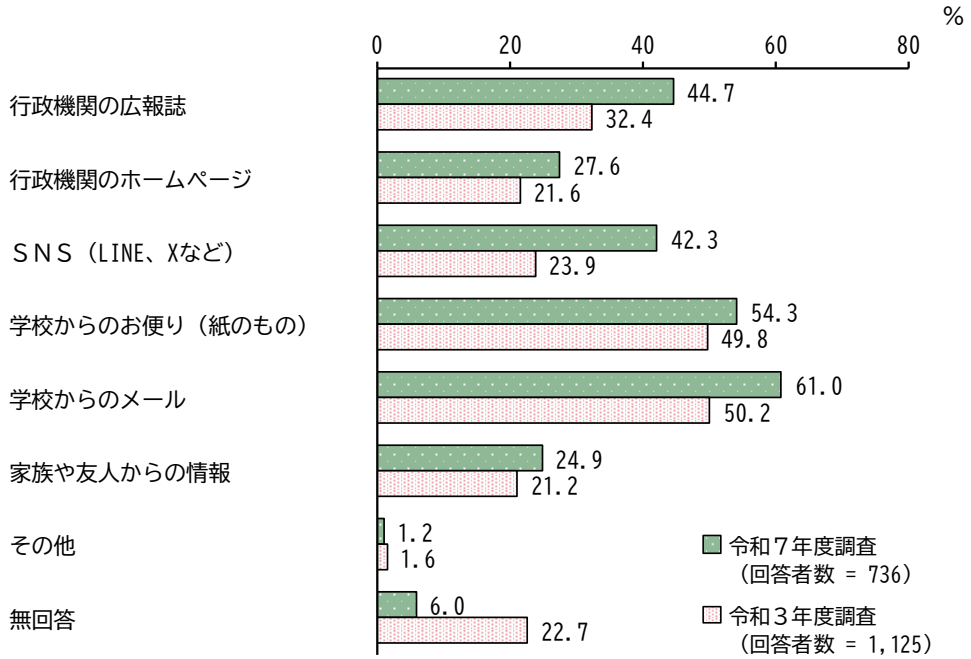
単位：%

区分	回答者数（件）	行政機関の広報誌	行政機関のホームページ	ＳＮＳ（LINE、Xなど）	学校からのお便り（紙のもの）	学校からのメール	家族や友人からの情報	その他	無回答
全　体	736	50.4	24.5	33.0	66.6	62.4	34.0	1.8	3.4
一般層	227	54.6	29.1	39.6	70.9	63.0	32.2	2.2	0.0
周辺層	58	46.6	19.0	37.9	70.7	67.2	29.3	0.0	0.0
貧困層	21	28.6	19.0	33.3	47.6	57.1	9.5	9.5	4.8
無回答	430	49.8	23.0	28.8	64.7	61.6	36.7	1.4	5.6

（B）また、今後、どのような方法で受け取りたいと思いますか。

「学校からのメール」の割合が 61.0%と最も高く、次いで「学校からのお便り（紙のもの）」の割合が 54.3%、「行政機関の広報誌」の割合が 44.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「行政機関の広報誌」「行政機関のホームページ」「ＳＮＳ（LINE、X など）」「学校からのメール」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

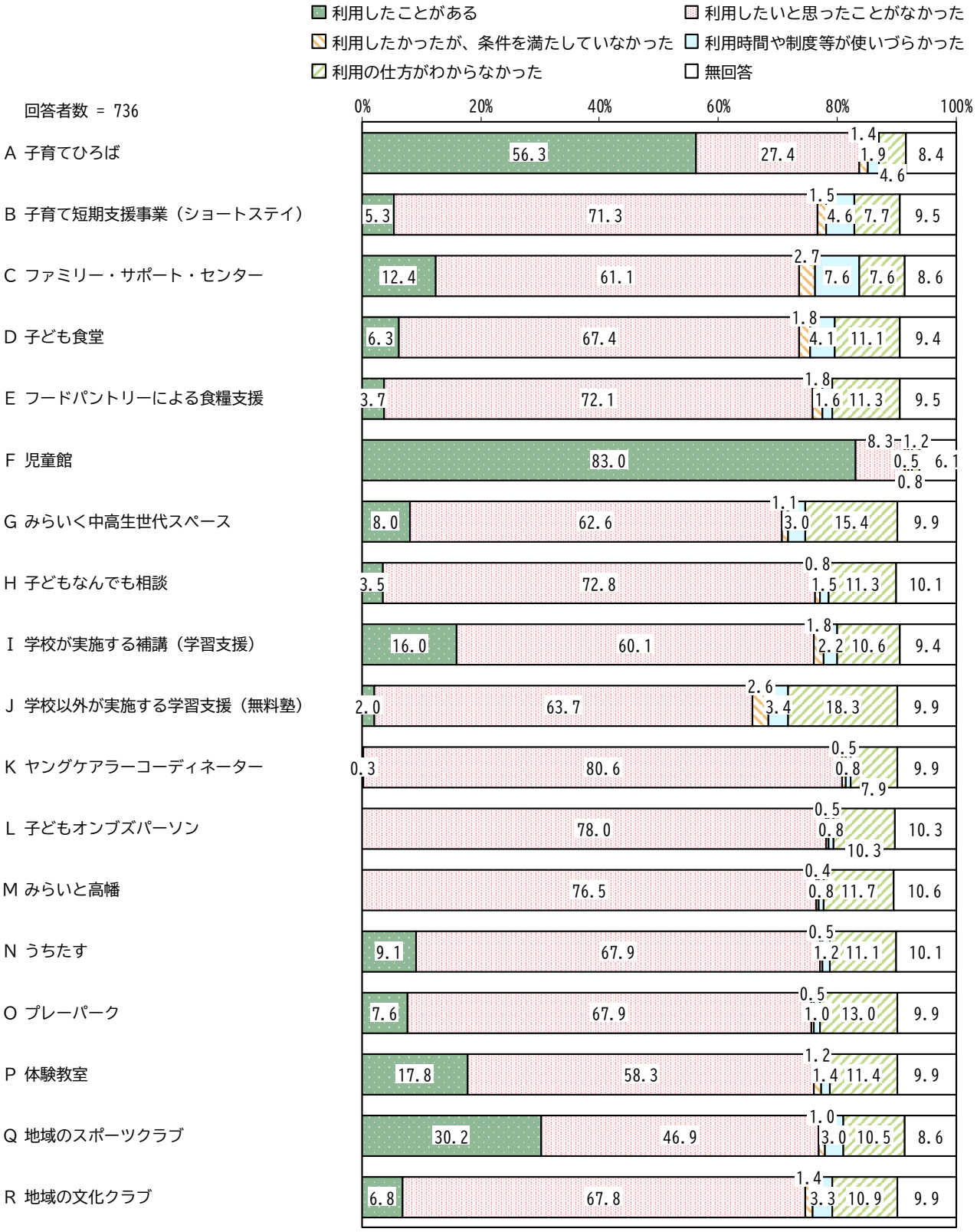
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「行政機関の広報誌」「ＳＮＳ（LINE、X など）」「学校からのメール」「家族や友人からの情報」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	行政機関の広報誌	行政機関のホームページ	ＳＮＳ（LINE、Xなど）	学校からのお便り（紙のもの）	学校からのメール	家族や友人からの情報	その他	無回答
全　体	736	44.7	27.6	42.3	54.3	61.0	24.9	1.2	6.0
一般層	227	46.3	31.3	50.2	55.9	64.3	26.0	1.3	1.8
周辺層	58	41.4	32.8	50.0	62.1	62.1	20.7	3.4	1.7
貧困層	21	28.6	14.3	38.1	33.3	47.6	14.3	4.8	9.5
無回答	430	45.1	25.6	37.2	53.5	59.8	25.3	0.7	8.6

問 44　お子さんについて、以下のＡ～Ｒの支援制度やサービス、施設をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

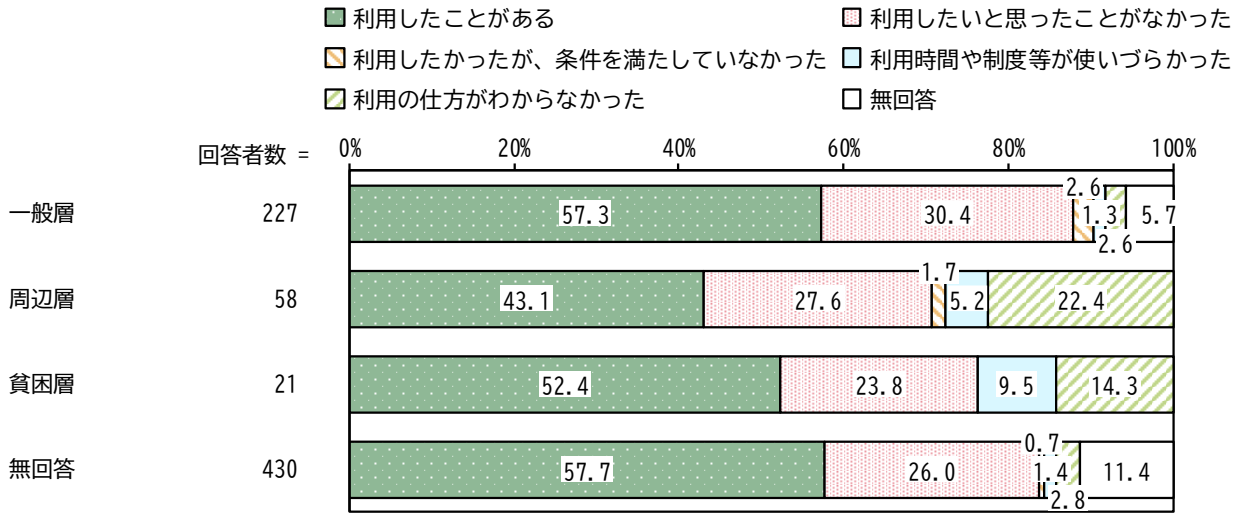
『Ｆ　児童館』で「利用したことがある」が、『Ｋ　ヤングケアラーコーディネーター』で「利用したいと思ったことがなかった」が、『Ｃ　ファミリー・サポート・センター』で「利用したかったが、条件を満たしていなかった」「利用時間や制度等が使いづらかった」が、『Ｊ　学校以外が実施する学習支援（無料塾）』で「利用の仕方がわからなかった」が高くなっています。



A　子育てひろば

【生活困難度別】

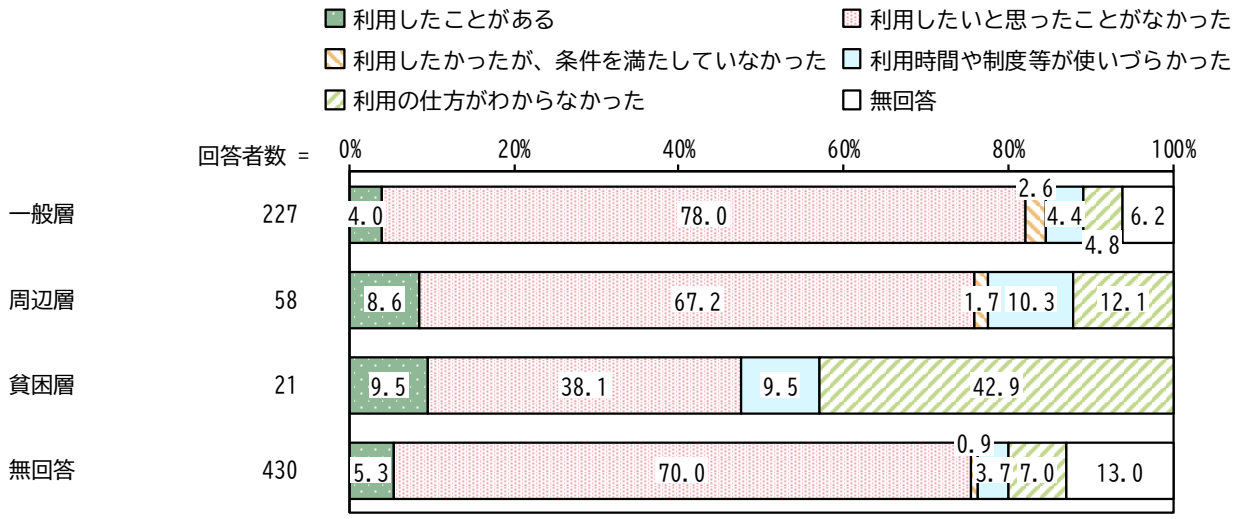
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「利用したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。また、周辺層で「利用したことがある」の割合が低くなっています。



B　子育て短期支援事業（ショートステイ）

【生活困難度別】

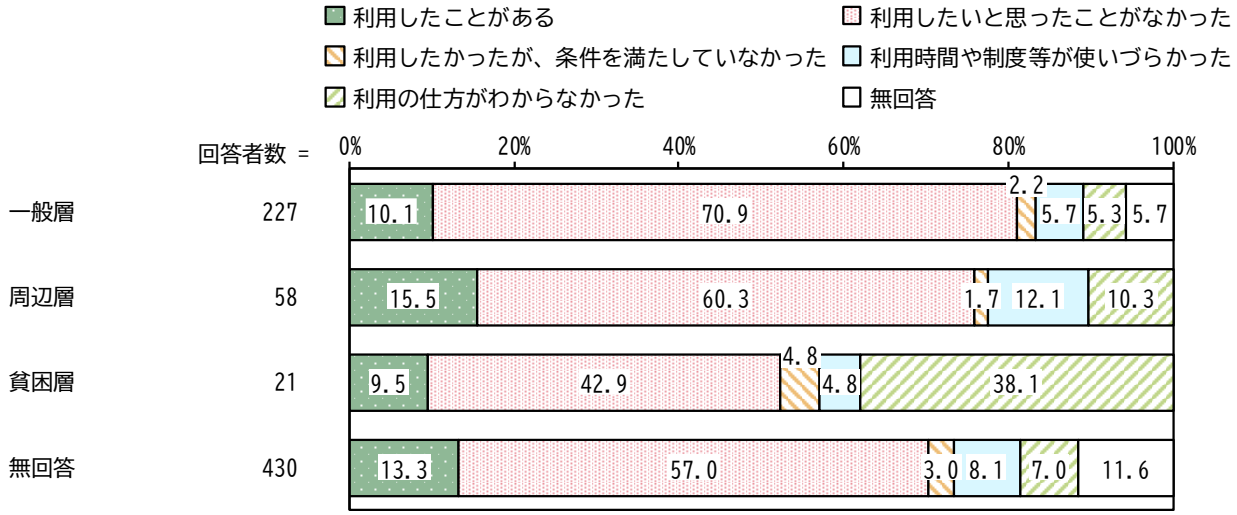
生活困難度別にみると、一般層で「利用したいと思ったことがなかった」、周辺層で「利用時間や制度等が使いづらかった」、貧困層で「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。



C　ファミリー・サポート・センター

【生活困難度別】

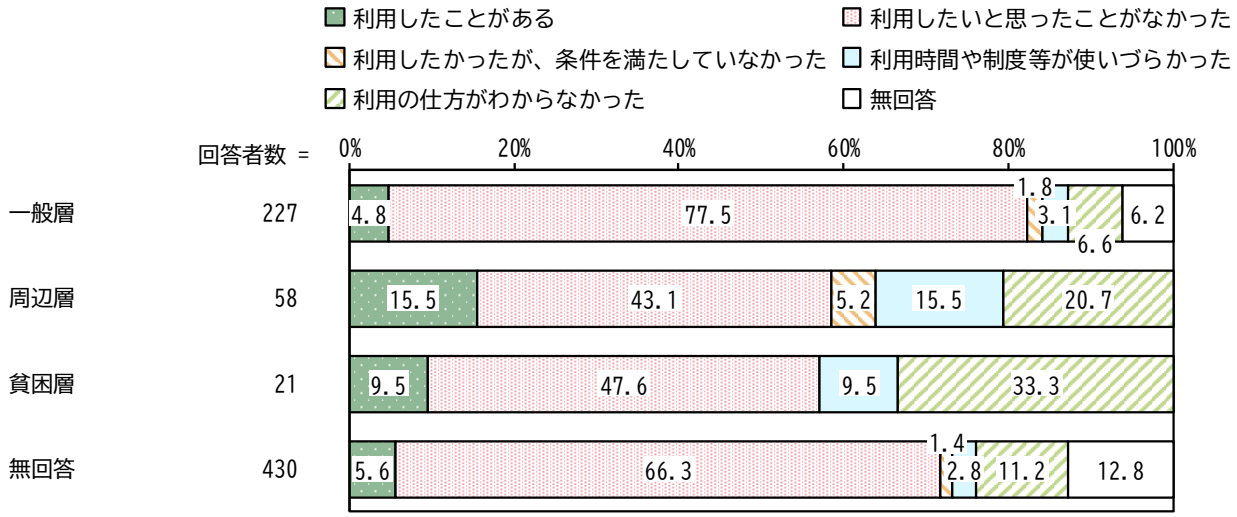
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



D　子ども食堂

【生活困難度別】

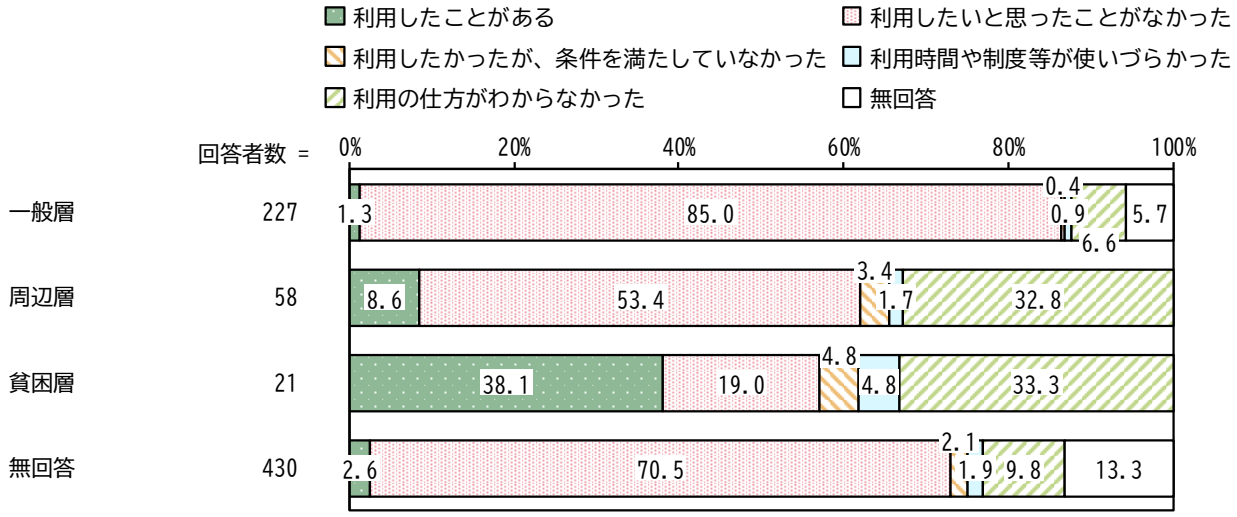
生活困難度別にみると、一般層で「利用したいと思ったことがなかった」、周辺層で「利用時間や制度等が使いづらかった」、貧困層で「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。



E　フードパントリーによる食糧支援

【生活困難度別】

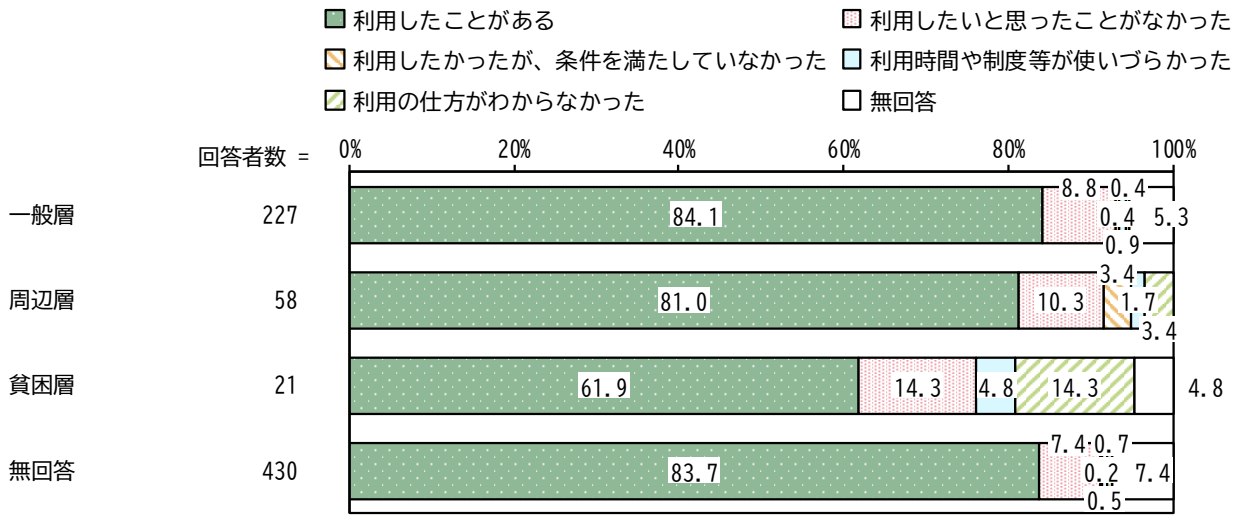
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したことがある」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。また、周辺層、貧困層で「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。



F　児童館

【生活困難度別】

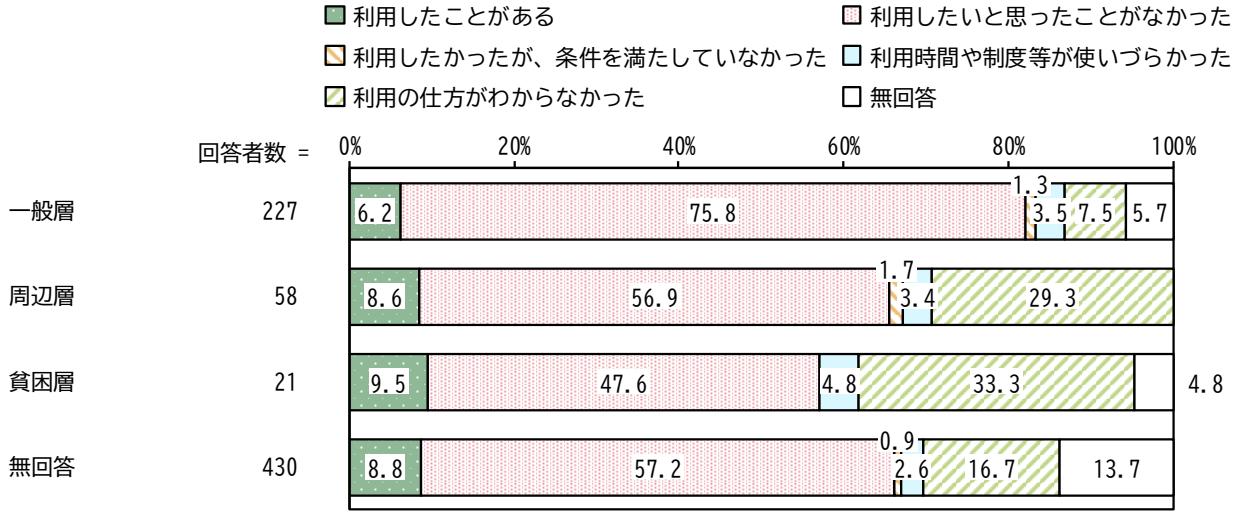
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したいと思ったことがなかった」「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したことがある」の割合が低くなっています。



G　みらいく中高生世代スペース

【生活困難度別】

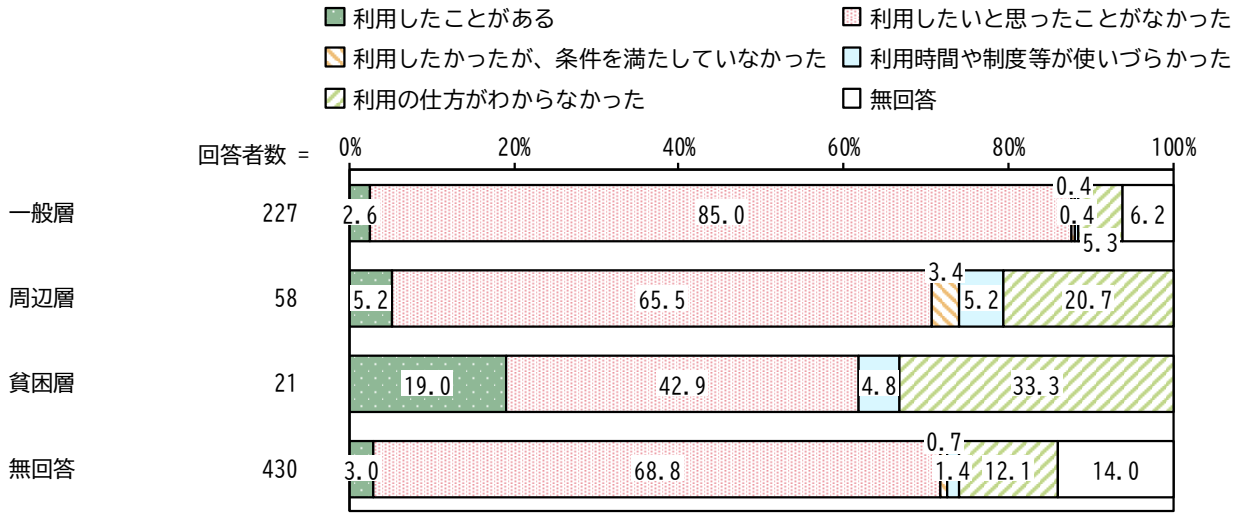
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



H　子どもなんでも相談

【生活困難度別】

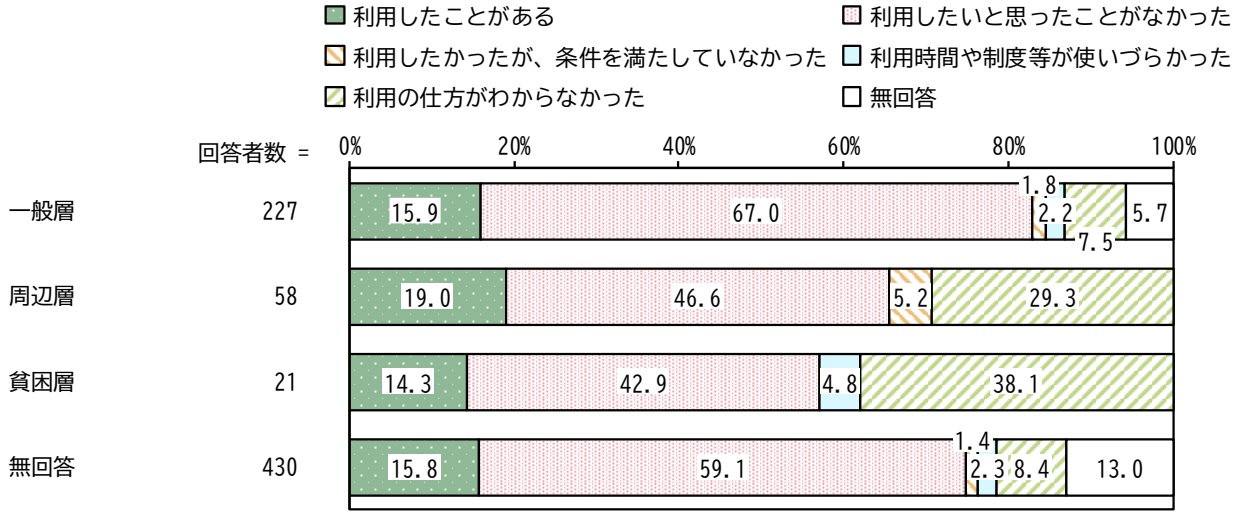
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したことがある」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。また、貧困層で「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。



Ⅰ　学校が実施する補講（学習支援）

【生活困難度別】

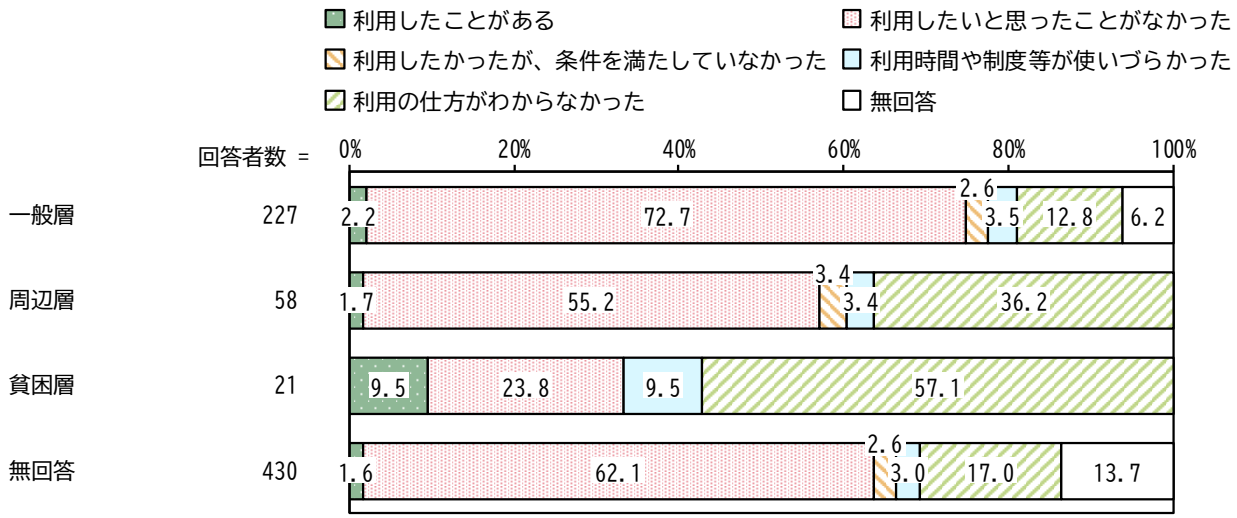
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



J　学校以外が実施する学習支援（無料塾）

【生活困難度別】

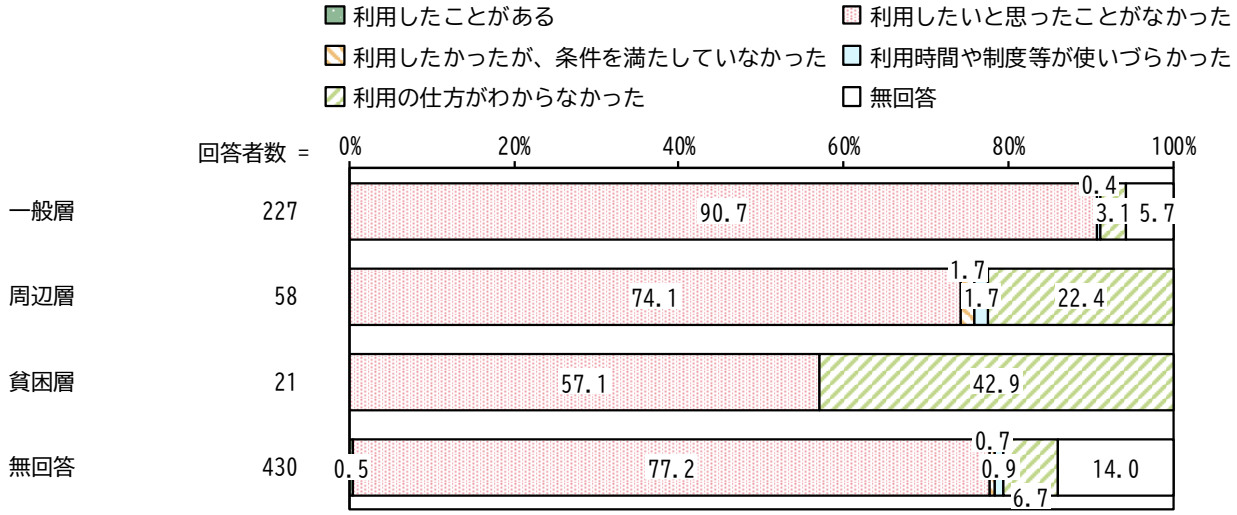
生活困難度別にみると、貧困層で「利用したことがある」「利用時間や制度等が使いづらかった」「利用の仕方がわからなかった」、一般層で「利用したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。



K　ヤングケアラーコーディネーター

【生活困難度別】

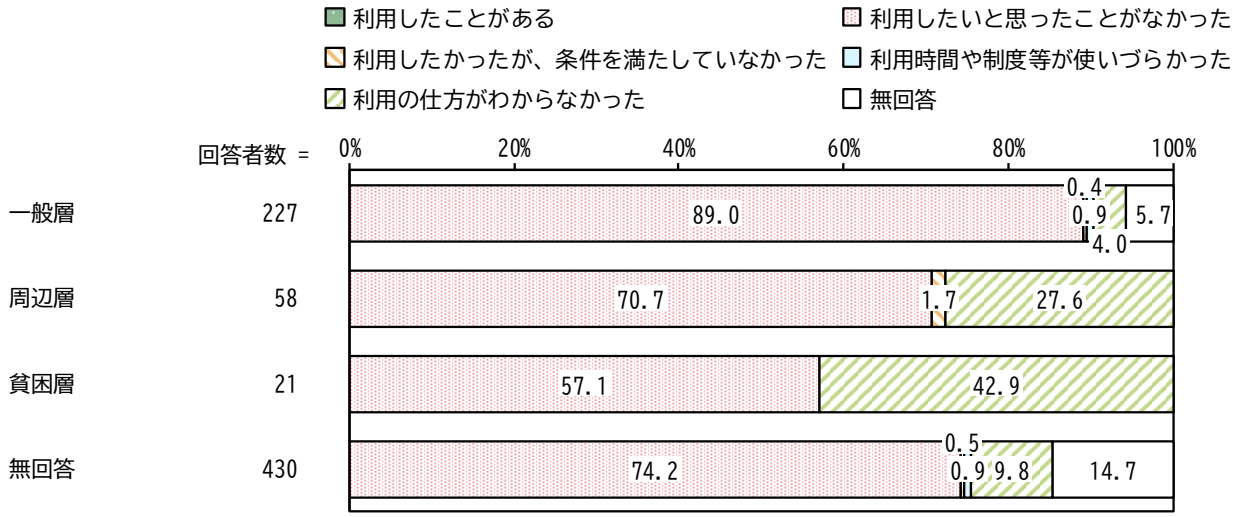
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



L　子どもオンブズパーソン

【生活困難度別】

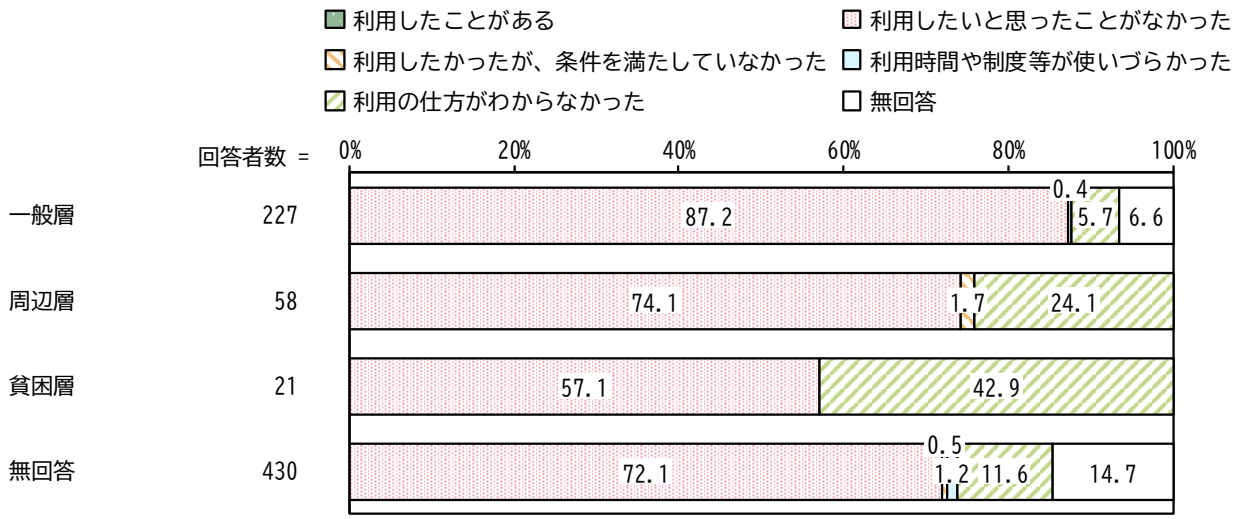
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



M　みらいと高幡

【生活困難度別】

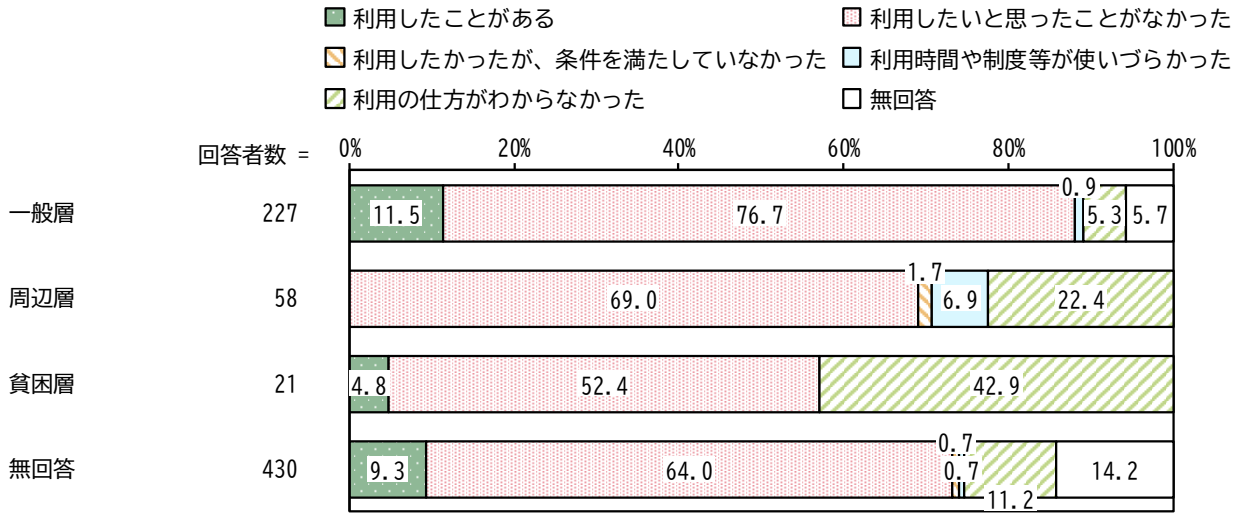
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



N　うちたす

【生活困難度別】

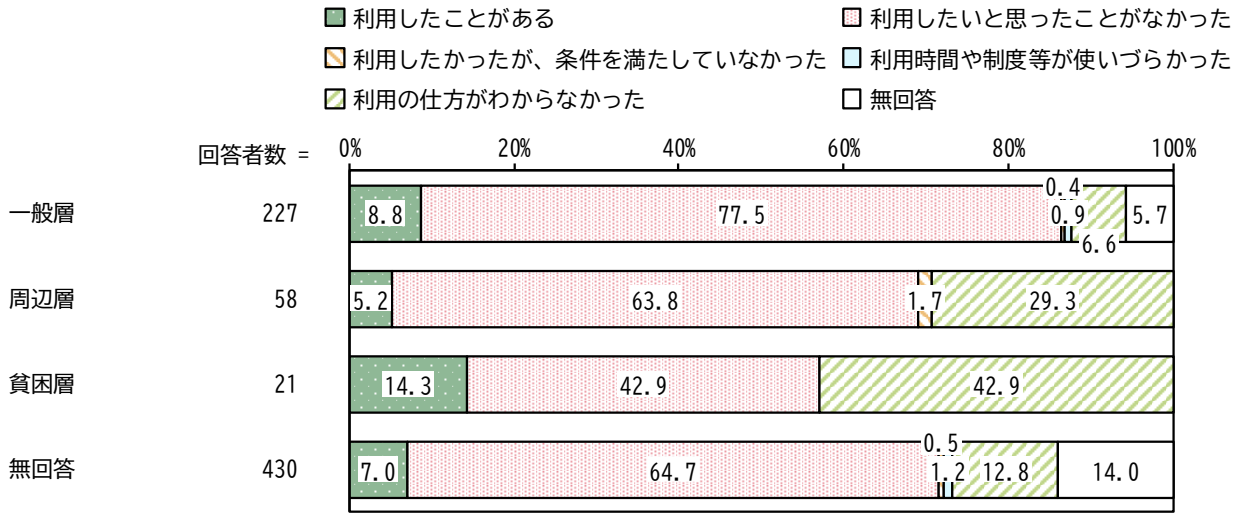
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



O　プレーパーク

【生活困難度別】

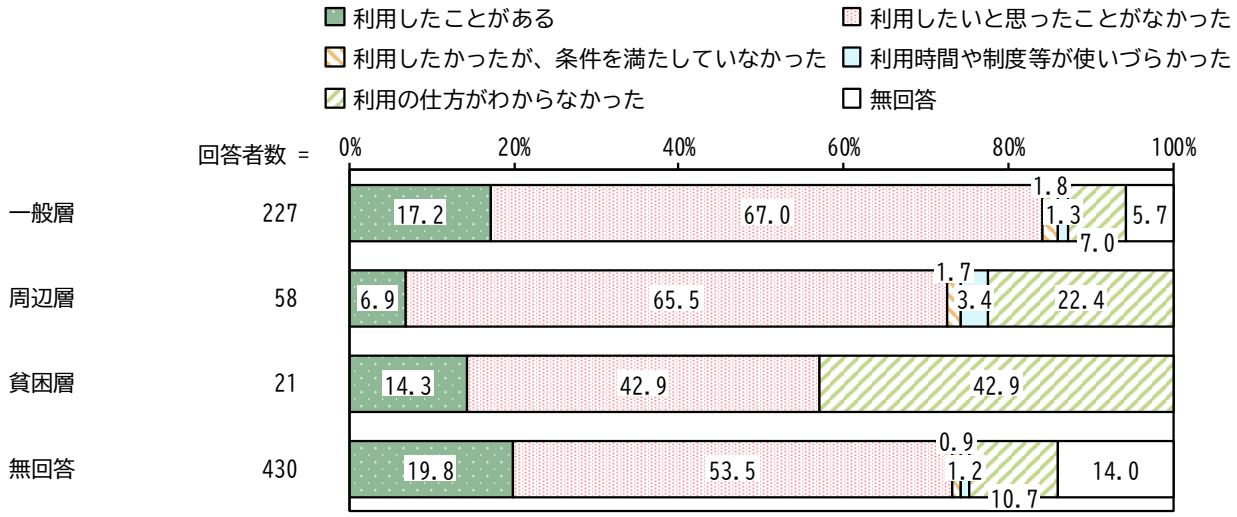
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



P　体験教室

【生活困難度別】

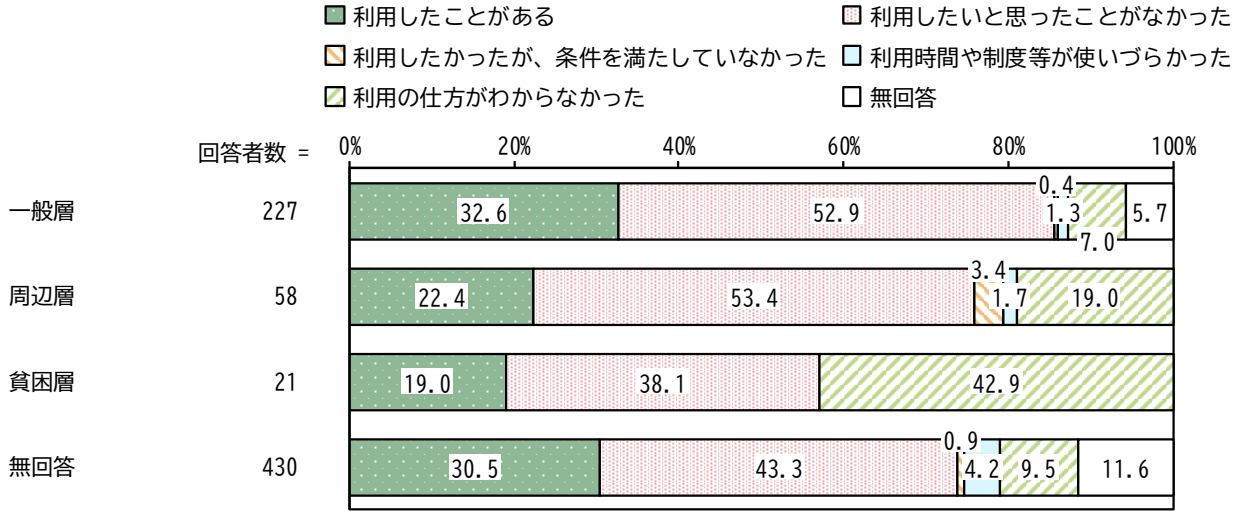
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。また、周辺層で「利用したことがある」の割合が低くなっています。



Q　地域のスポーツクラブ

【生活困難度別】

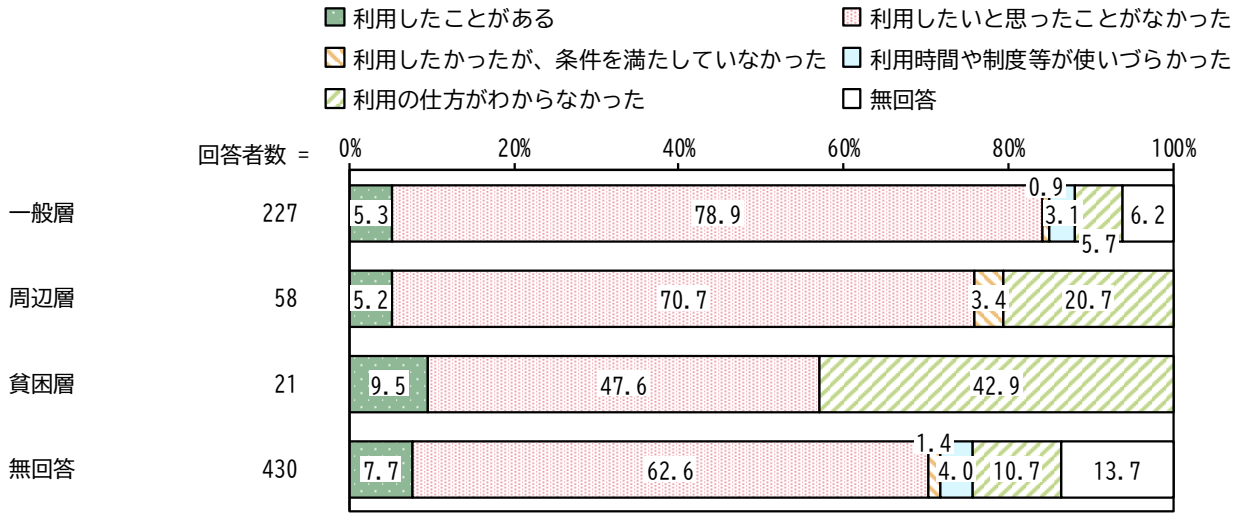
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したことがある」の割合が低くなっています。



R　地域の文化クラブ

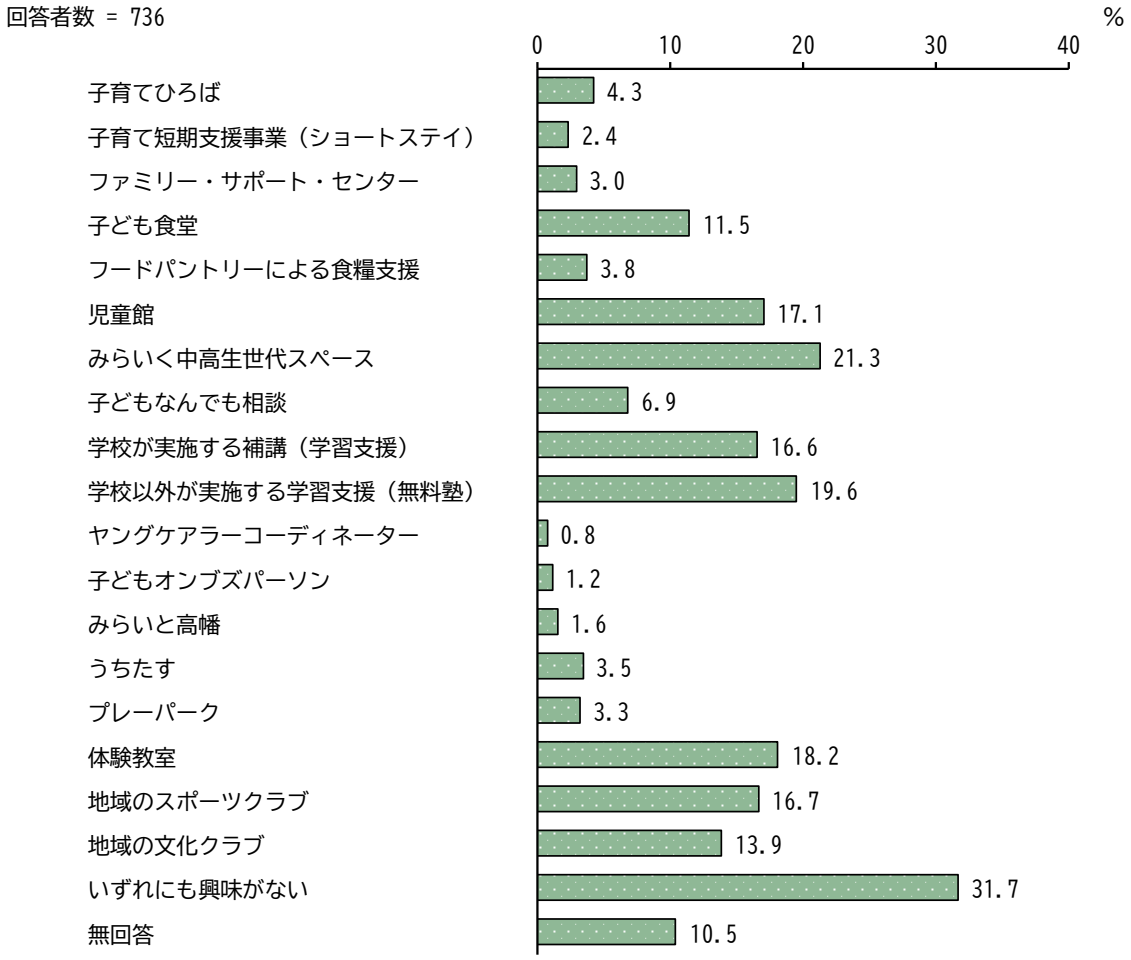
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、一般層で「利用したいと思ったことがなかった」、貧困層で「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。



問 45　現在、以下の支援制度やサービス等を利用することに興味がありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

「いずれにも興味がない」の割合が 31.7%と最も高く、次いで「みらいく中高生世代スペース」の割合が 21.3%、「学校以外が実施する学習支援（無料塾）」の割合が 19.6%となっています。



※令和３年度調査では、「フードパントリーによる食糧支援」が「フードバンクによる支援」となっていました。

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「子ども食堂」「フードパントリーによる食糧支援」「学校が実施する補講（学習支援）」、貧困層で「みらいく中高生世代スペース」「子どもなんでも相談」「学校以外が実施する学習支援（無料塾）」「体験教室」の割合が高くなっています。

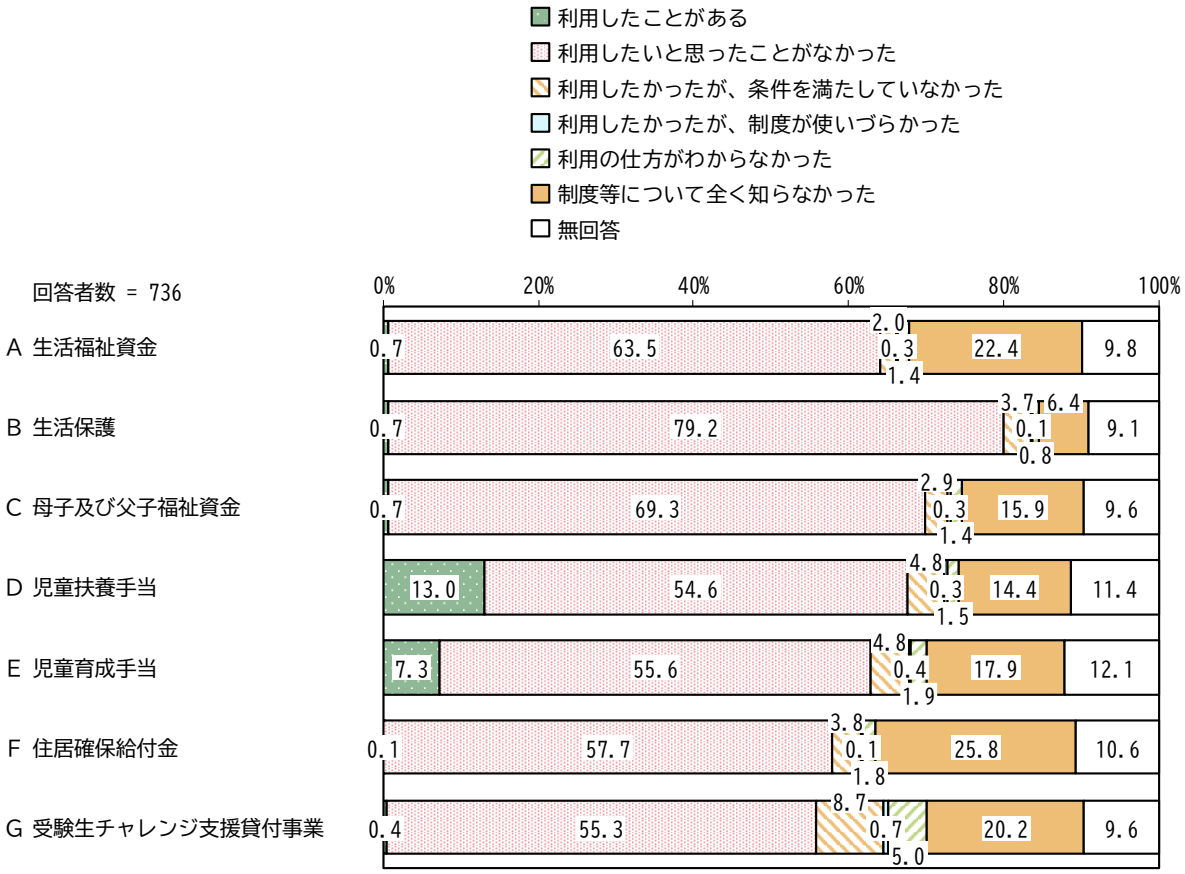
単位：％

区分	回答者数（件）	子育てひろば	子育て短期支援事業（ショートステイ）	ファミリー・サポート・センター	子ども食堂	フードパントリーによる食糧支援	児童館	みらいく中高生世代スペース	子どもなんでも相談	学校が実施する補講（学習支援）	学校以外が実施する学習支援（無料塾）
全　体	736	4.3	2.4	3.0	11.5	3.8	17.1	21.3	6.9	16.6	19.6
一般層	227	4.8	2.6	1.8	6.6	0.9	22.5	24.7	4.8	15.4	15.9
周辺層	58	5.2	5.2	6.9	34.5	19.0	19.0	15.5	12.1	36.2	31.0
貧困層	21	0.0	0.0	0.0	23.8	9.5	9.5	38.1	23.8	23.8	57.1
無回答	430	4.2	2.1	3.3	10.5	3.0	14.4	19.5	6.5	14.2	18.1

区分	ヤングケアラーコーディネーター	子どもオンブズパーソン	みらいと高幡	うちたす	プレーパーク	体験教室	地域のスポーツクラブ	地域の文化クラブ	いずれにも興味がない	無回答
全　体	0.8	1.2	1.6	3.5	3.3	18.2	16.7	13.9	31.7	10.5
一般層	0.4	0.9	1.8	4.0	3.5	16.3	18.1	12.3	34.4	5.3
周辺層	3.4	1.7	1.7	3.4	8.6	27.6	17.2	13.8	25.9	0.0
貧困層	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	33.3	23.8	9.5	14.3	4.8
無回答	0.7	1.4	1.6	3.3	2.6	17.2	15.6	14.9	31.9	14.9

問 46　あなたのご家庭では、以下のＡ～Ｇの支援制度やサービス等は、これまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

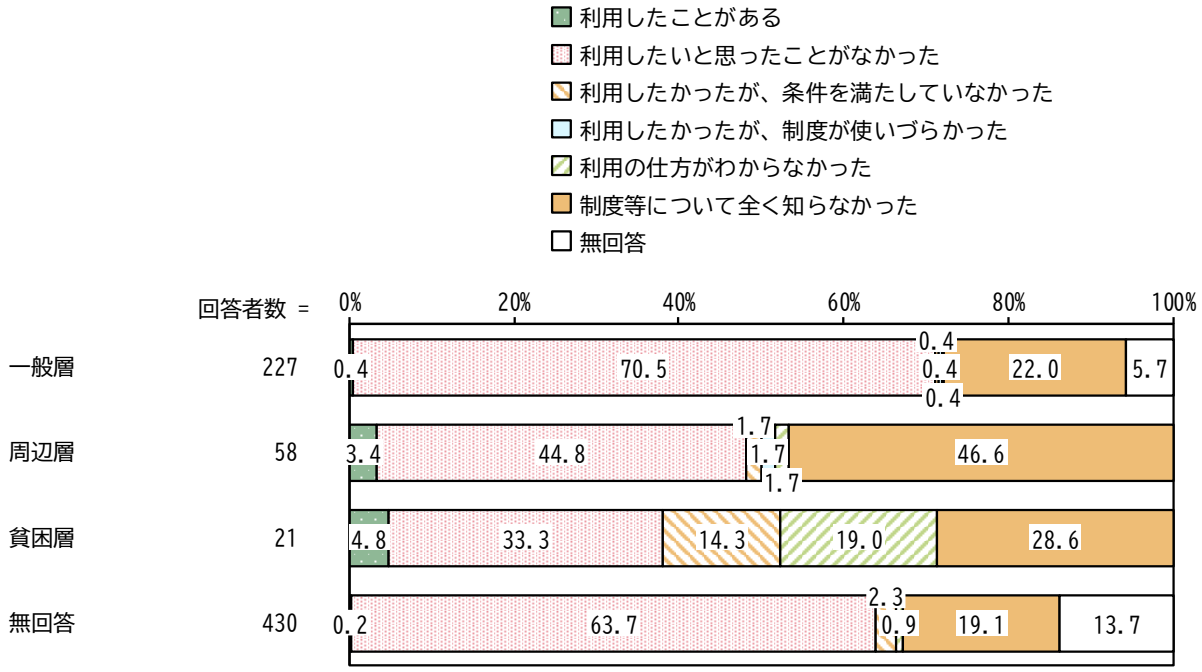
『Ｄ　児童扶養手当』で「利用したことがある」が、『Ｂ　生活保護』で「利用したいと思ったことがなかった」が、『Ｇ　受験生チャレンジ支援貸付事業』で「利用したかったが、条件を満たしていなかった」「利用したかったが、制度が使いづらかった」「利用の仕方がわからなかった」が、『Ｆ　住居確保給付金』で「制度等について全く知らなかった」が高くなっています。



A　生活福祉資金

【生活困難度別】

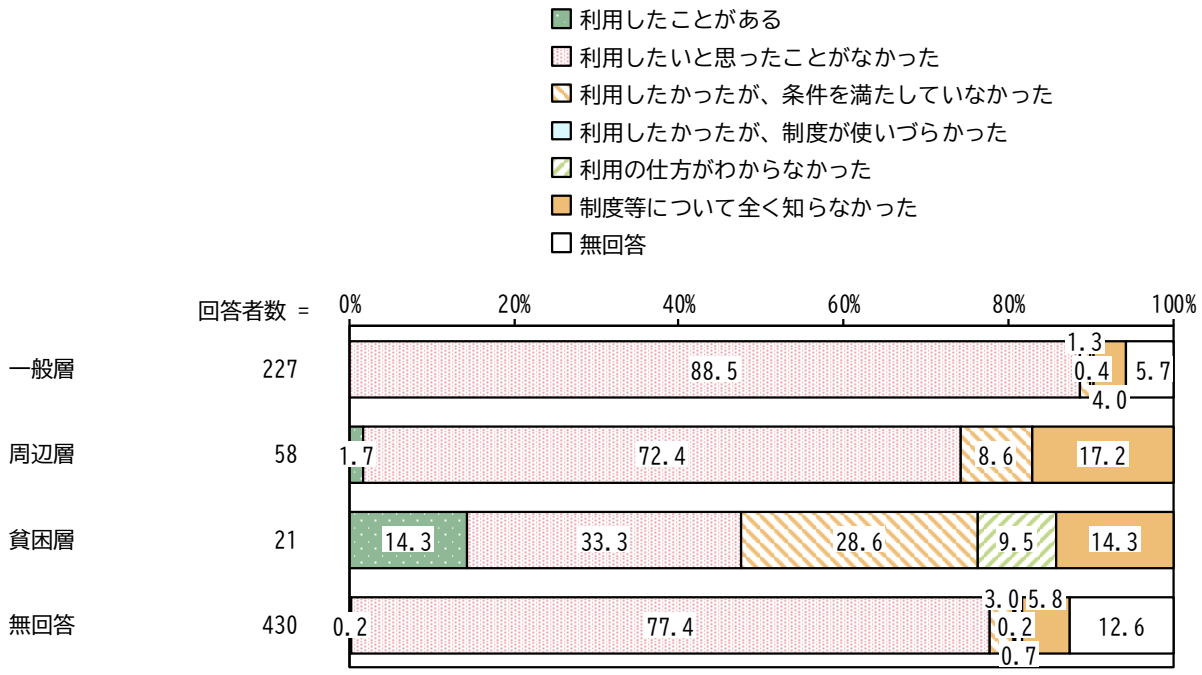
生活困難度別にみると、貧困層で「利用したかったが、条件を満たしていなかった」「利用の仕方がわからなかった」、周辺層で「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。



B　生活保護

【生活困難度別】

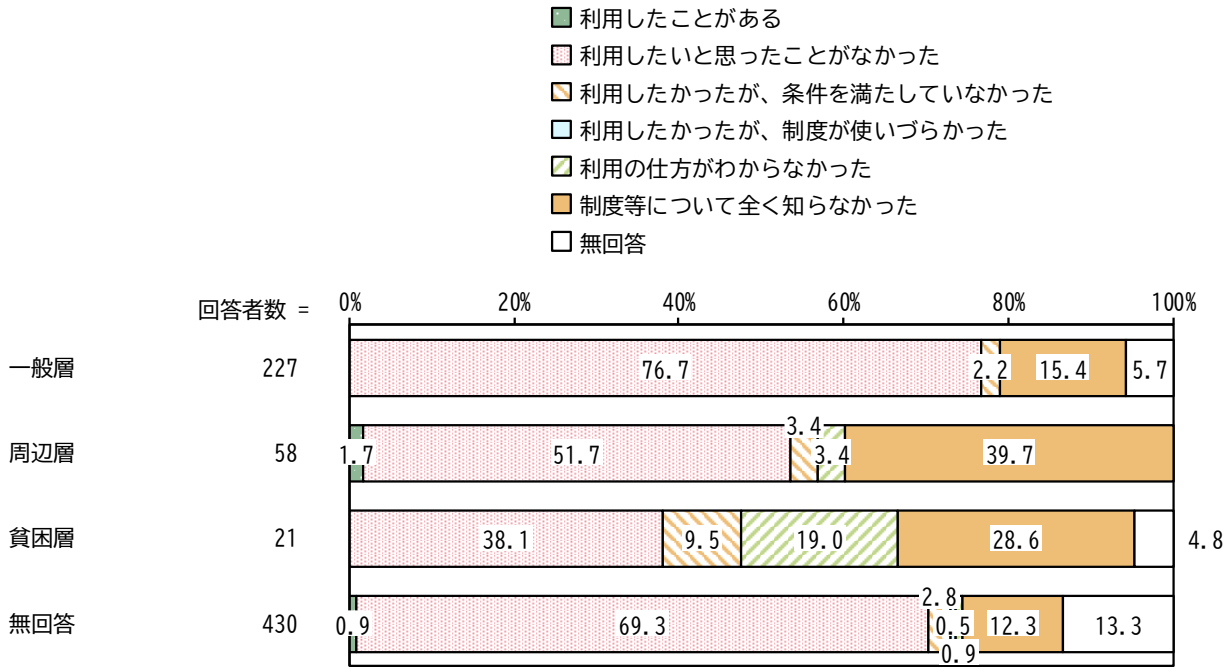
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したことがある」「利用したかったが、条件を満たしていなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



C　母子及び父子福祉資金

【生活困難度別】

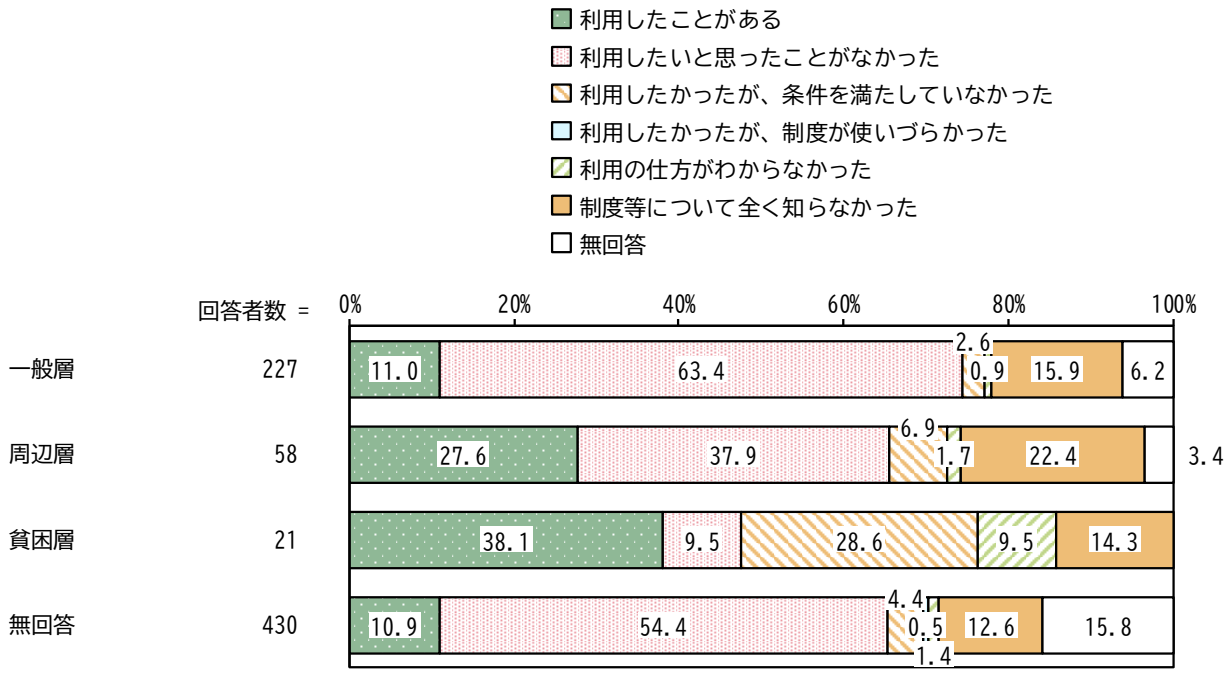
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「利用したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。また、周辺層で「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。



D　児童扶養手当

【生活困難度別】

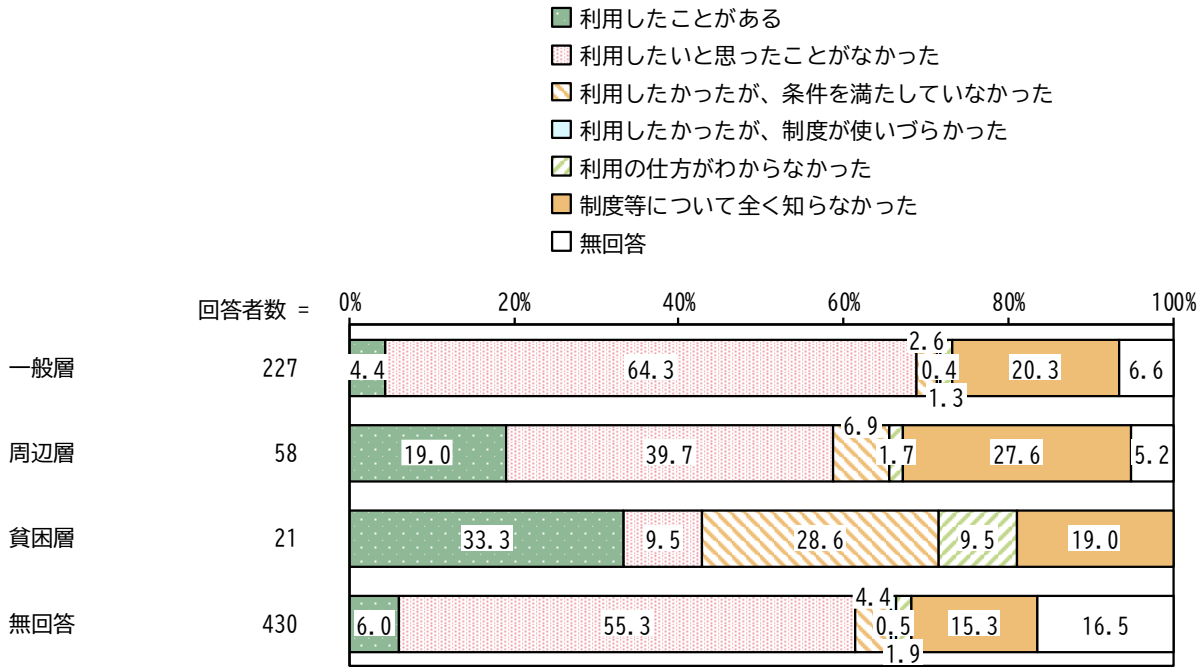
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したことがある」「利用したかったが、条件を満たしていなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



E　児童育成手当

【生活困難度別】

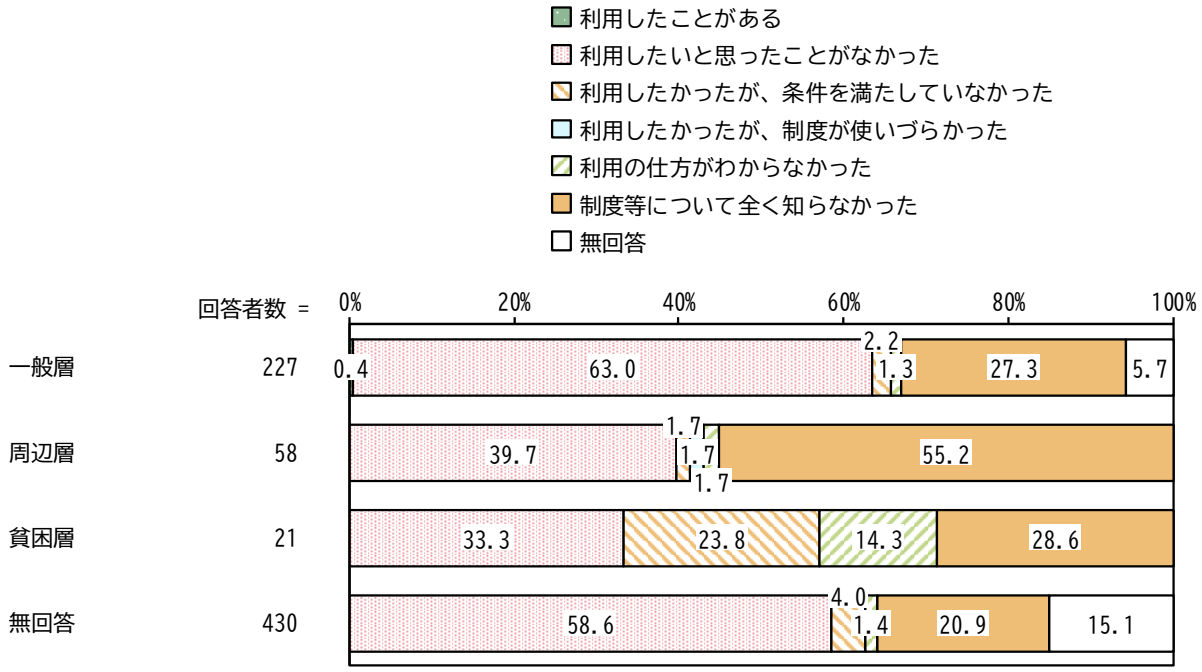
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したことがある」「利用したかったが、条件を満たしていなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



F　住居確保給付金

【生活困難度別】

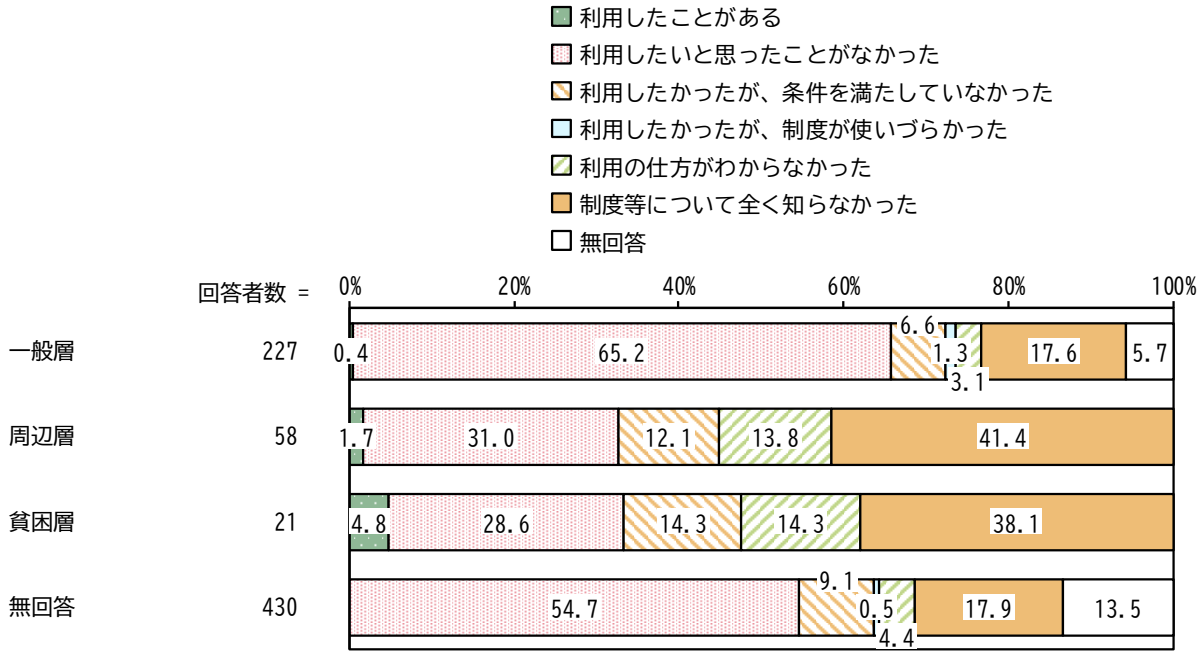
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。また、周辺層で「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。



G　受験生チャレンジ支援貸付事業

【生活困難度別】

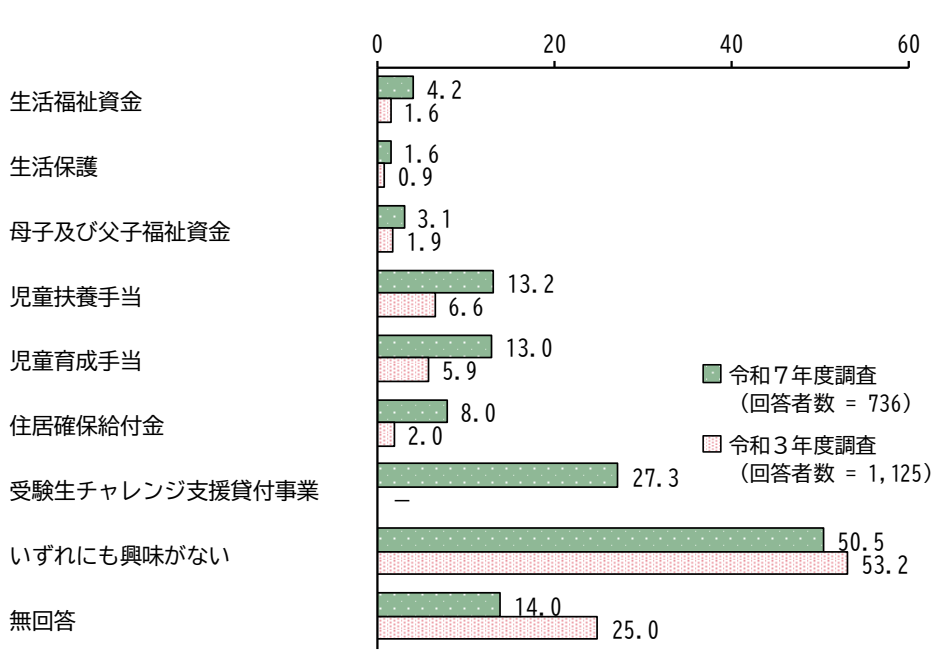
生活困難度別にみると、一般層で「利用したいと思ったことがなかった」、貧困層で「利用したかったが、条件を満たしていなかった」、周辺層、貧困層で「利用の仕方がわからなかった」、周辺層で「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。



問 47　あなたは、以下の支援制度等を利用することに興味がありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

「いずれにも興味がない」の割合が 50.5%と最も高く、次いで「受験生チャレンジ支援貸付事業」の割合が 27.3%、「児童扶養手当」の割合が 13.2%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「児童扶養手当」「児童育成手当」「住居確保給付金」の割合が増加しています。



※令和３年度調査では、「受験生チャレンジ支援貸付事業」がありませんでした。

【生活困難度別】

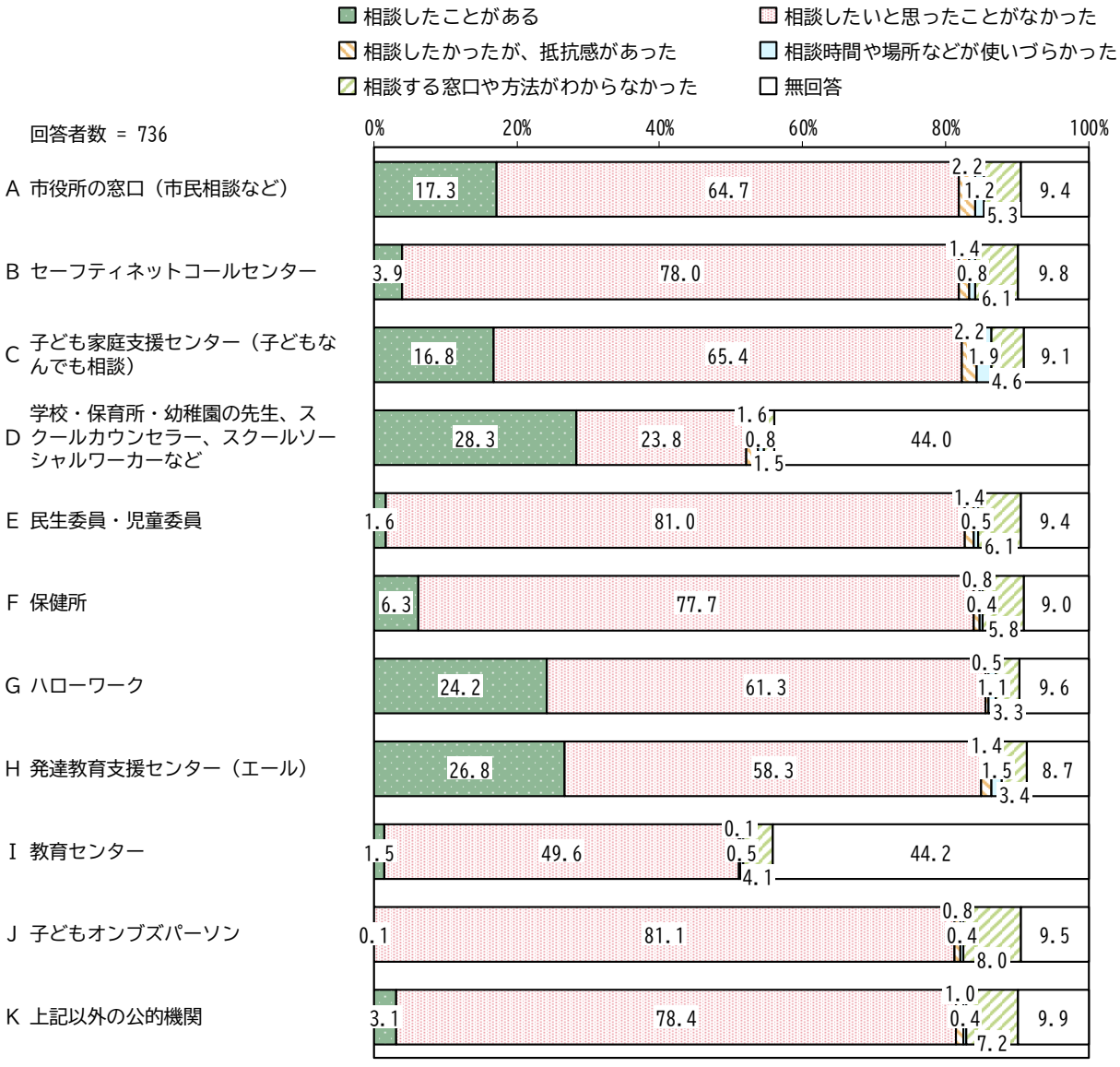
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「生活福祉資金」の割合が高くなっています。また、周辺層、貧困層で「児童扶養手当」、周辺層で「児童育成手当」、貧困層で「受験生チャレンジ支援貸付事業」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	生活福祉資金	生活保護	母子及び父子福祉資金	児童扶養手当	児童育成手当	住居確保給付金	受験生チャレンジ支援貸付事業	いずれにも興味がない	無回答
全　体	736	4.2	1.6	3.1	13.2	13.0	8.0	27.3	50.5	14.0
一般層	227	1.8	0.4	1.3	11.5	10.6	7.0	24.2	58.6	7.9
周辺層	58	10.3	6.9	10.3	25.9	27.6	22.4	51.7	34.5	5.2
貧困層	21	19.0	4.8	9.5	23.8	23.8	23.8	66.7	23.8	4.8
無回答	430	4.0	1.4	2.8	11.9	11.9	5.8	23.7	49.8	18.8

問 48　あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

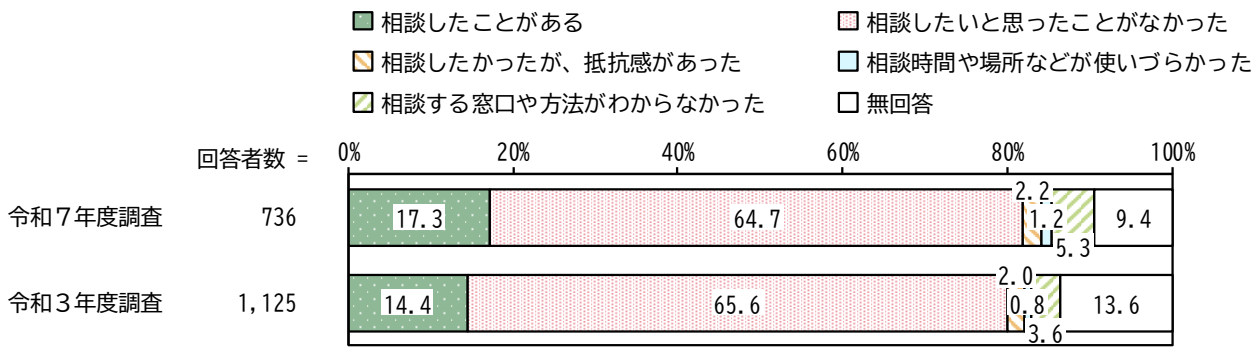
『D　学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど』で「相談したことがある」が、『J　子どもオンブズパーソン』で「相談したいと思ったことがなかった」「相談する窓口や方法がわからなかった」が、『A　市役所の窓口（市民相談など）』『C　子ども家庭支援センター（子どもなんでも相談）』で「相談したかったが、抵抗感があった」が、『C　子ども家庭支援センター（子どもなんでも相談）』で「相談時間や場所などが使いづらかった」が高くなっています。



A　市役所の窓口（市民相談など）

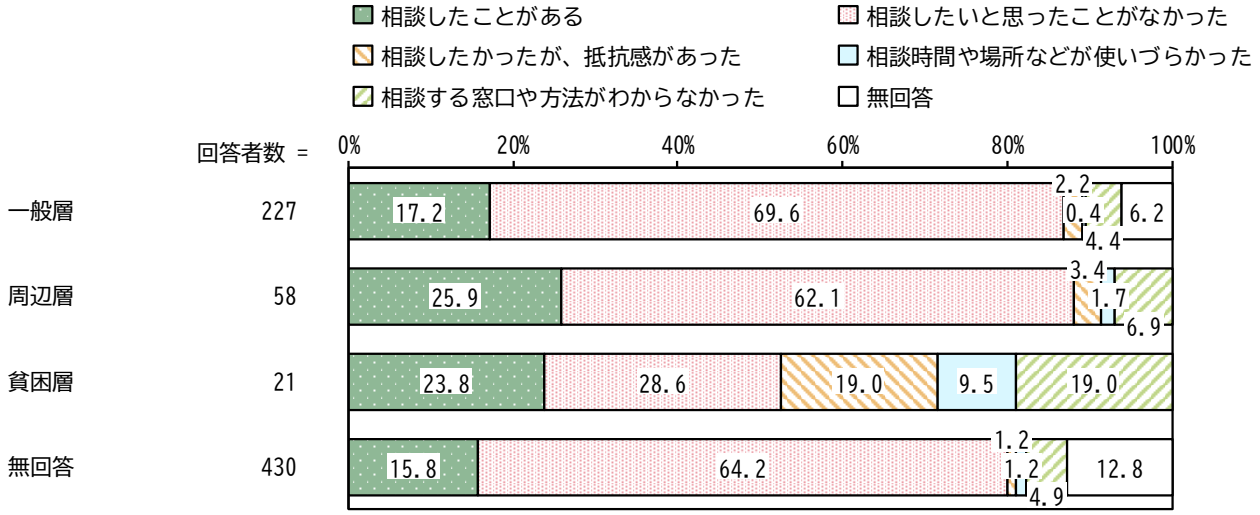
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

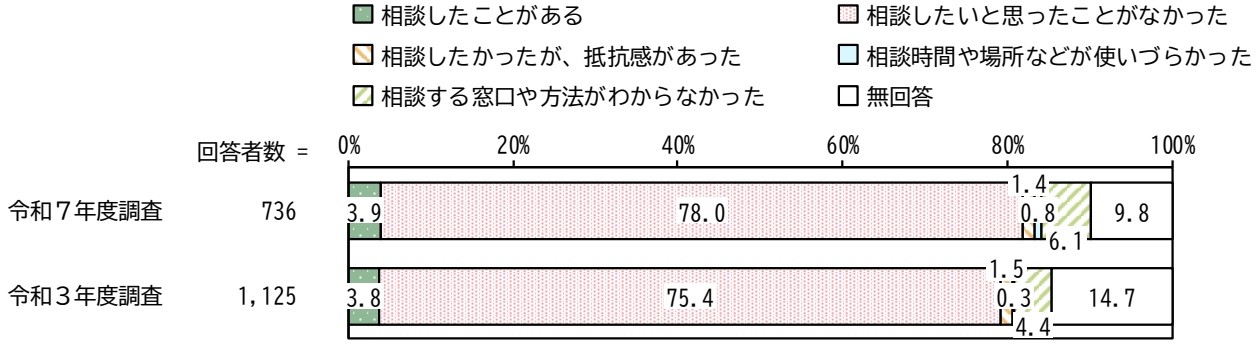
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談したかったが、抵抗感があった」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



B　セーフティネットコールセンター

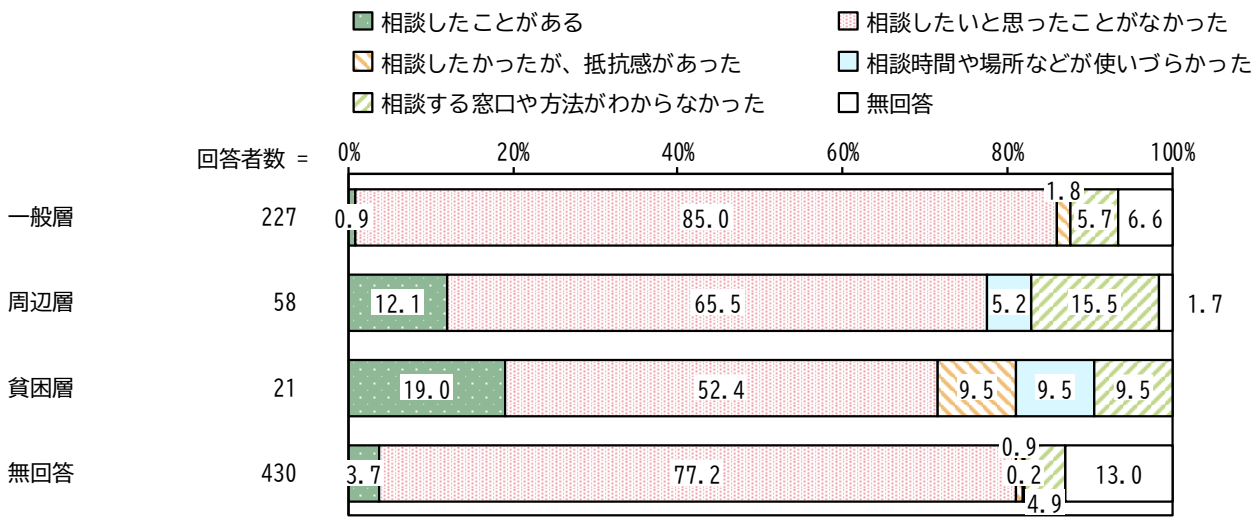
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

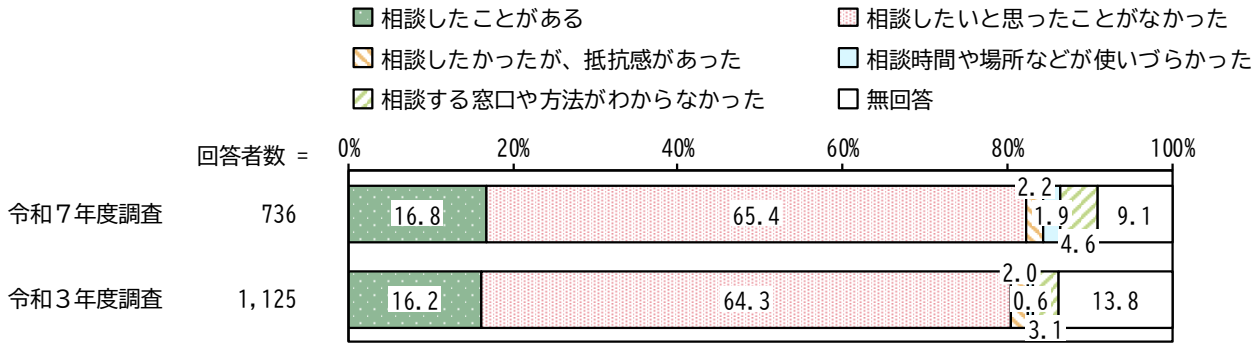
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談したことがある」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



C　子ども家庭支援センター（子どもなんでも相談）

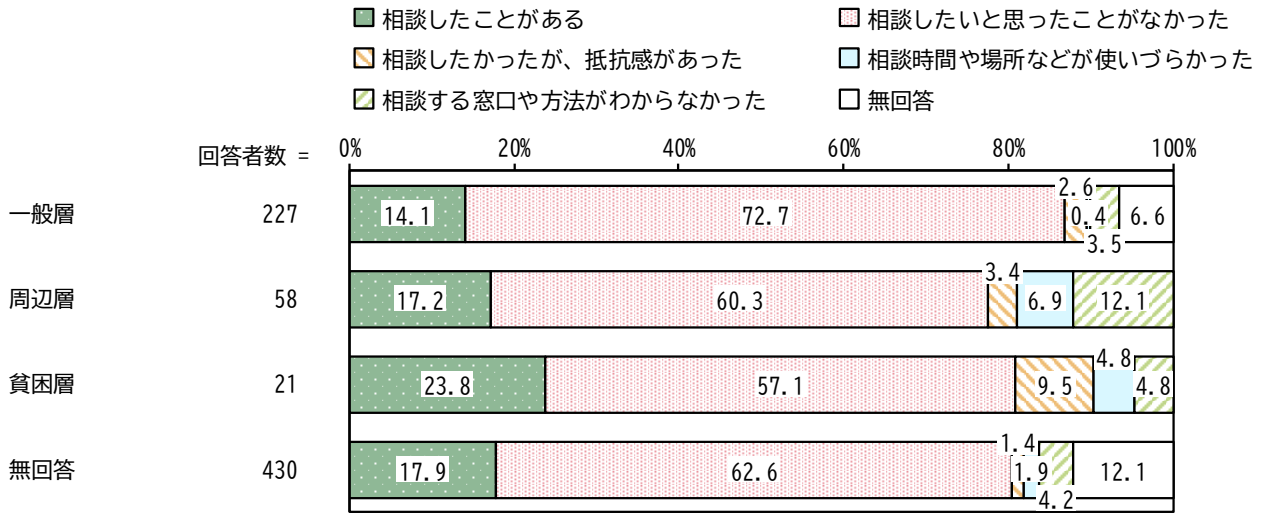
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

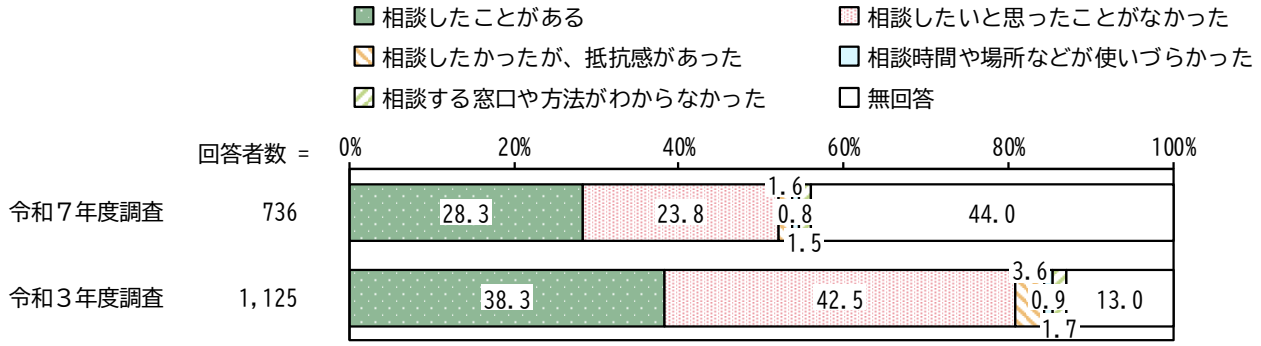
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談したことがある」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



D　学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど

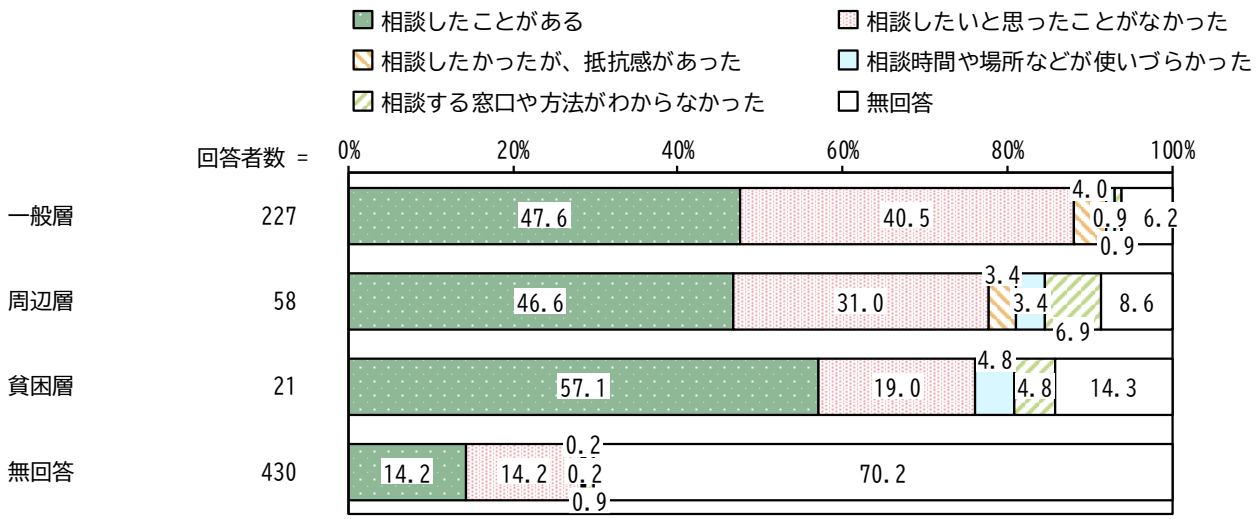
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「相談したことがある」「相談したいと思ったことがなかった」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

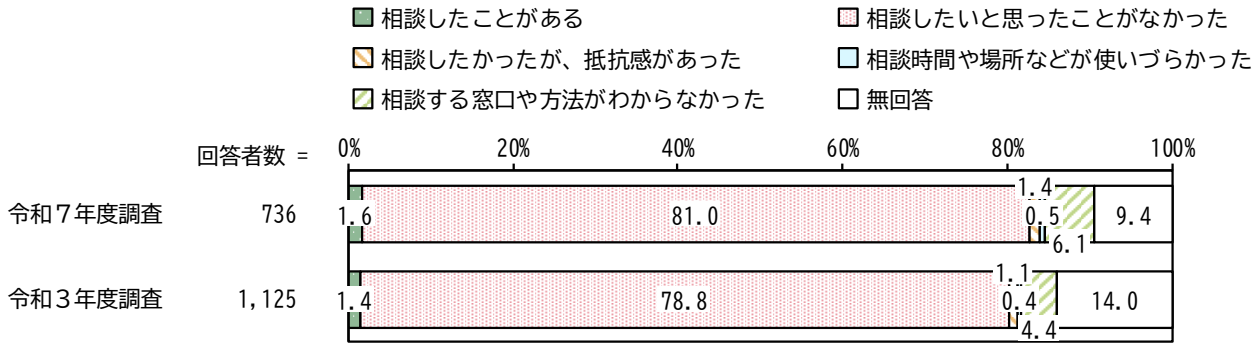
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「相談したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。また、貧困層で「相談したことがある」の割合が高くなっています。



E　民生委員・児童委員

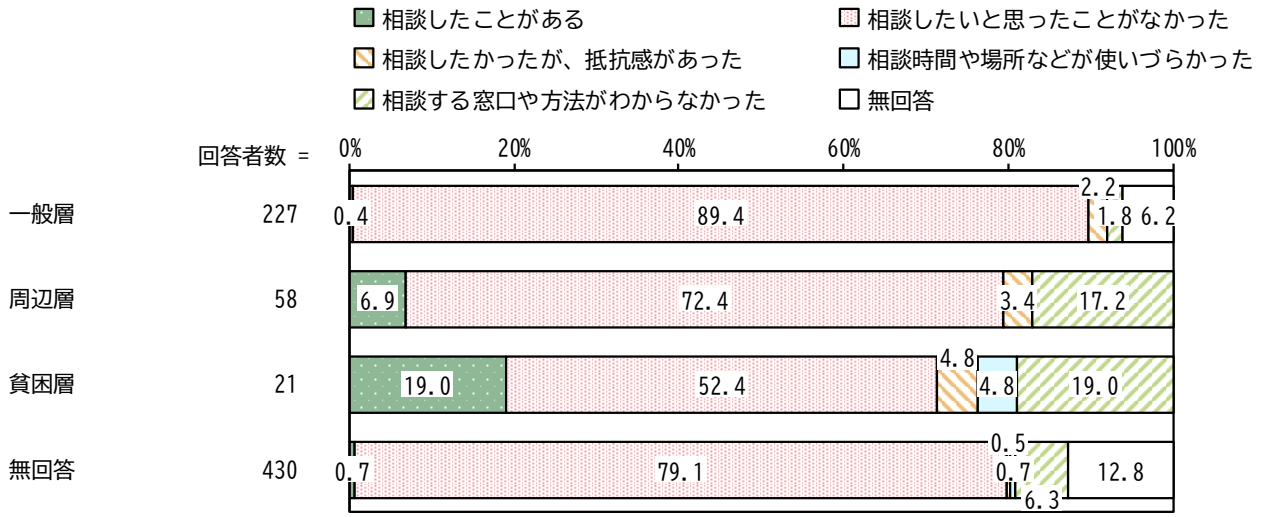
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

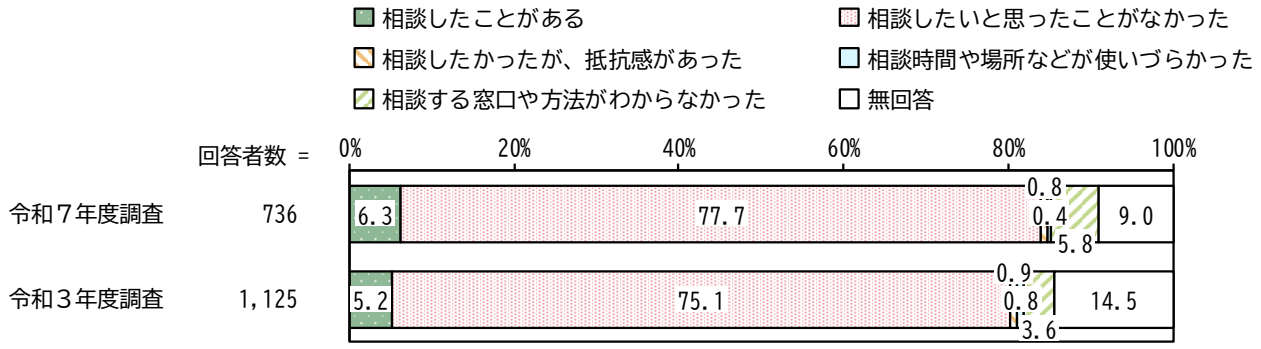
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談したことがある」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



F　保健所

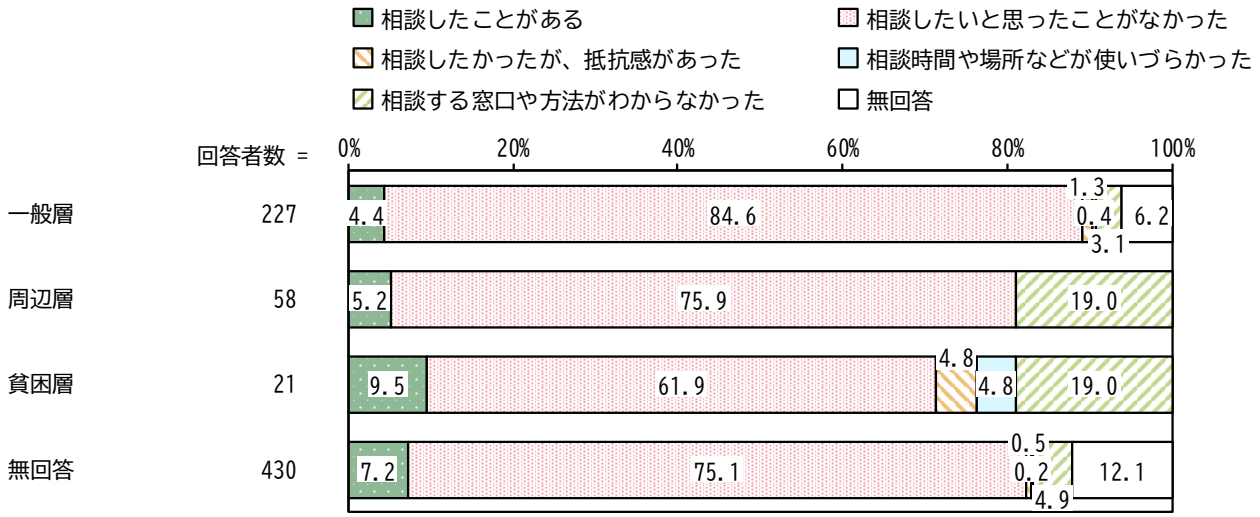
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

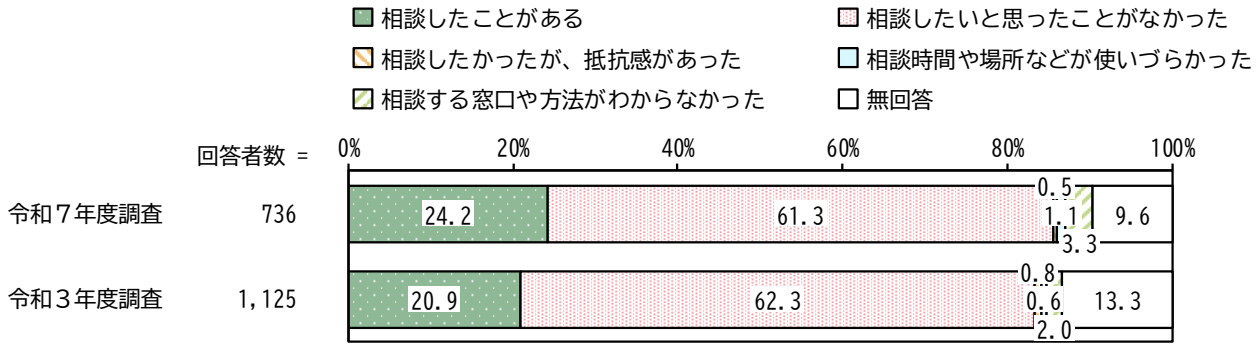
生活困難度別にみると、一般層で「相談したいと思ったことがなかった」、周辺層、貧困層で「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が高くなっています。



G　ハローワーク

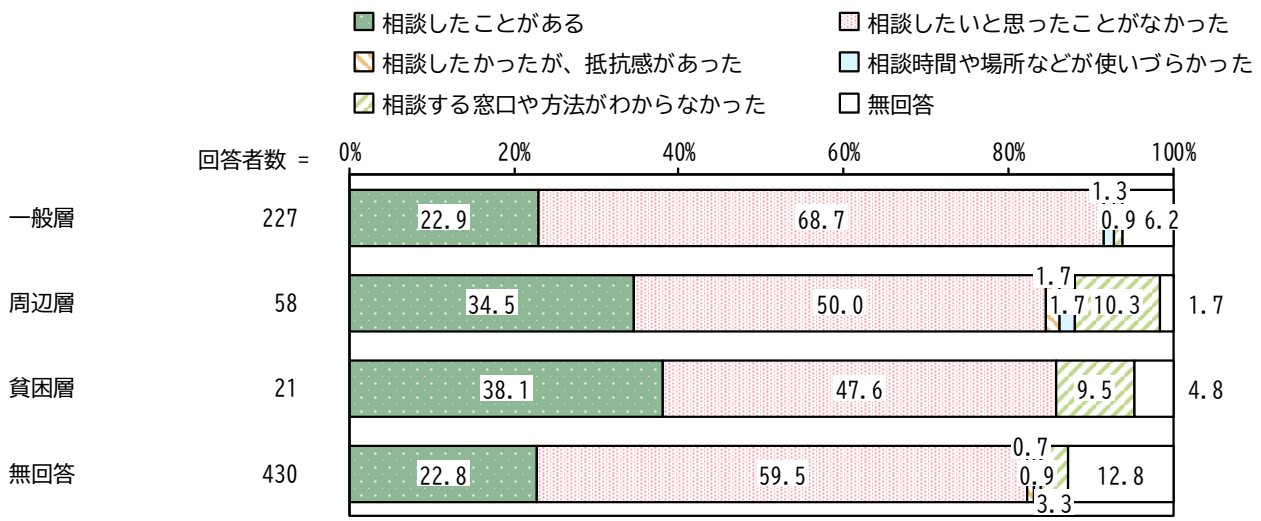
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

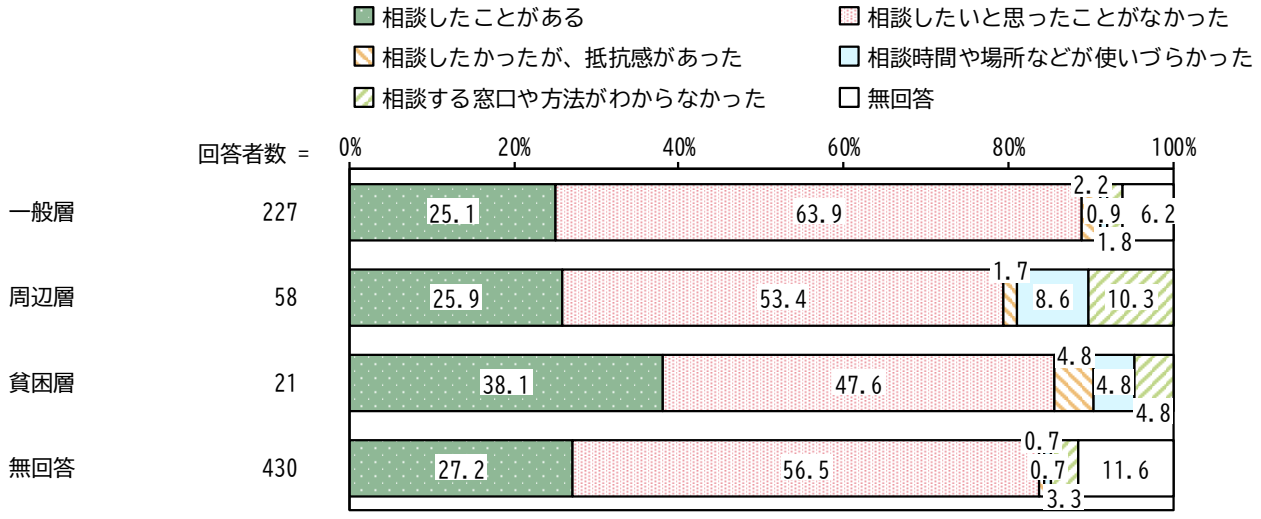
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談したことがある」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



H　発達教育支援センター（エール）

【生活困難度別】

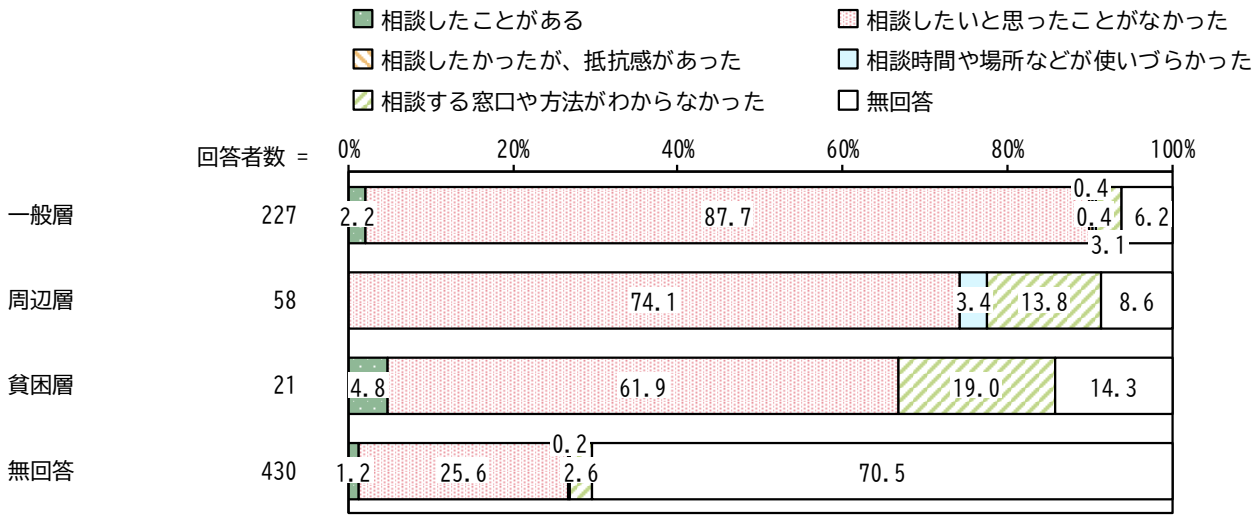
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談したことがある」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



Ⅰ　教育センター

【生活困難度別】

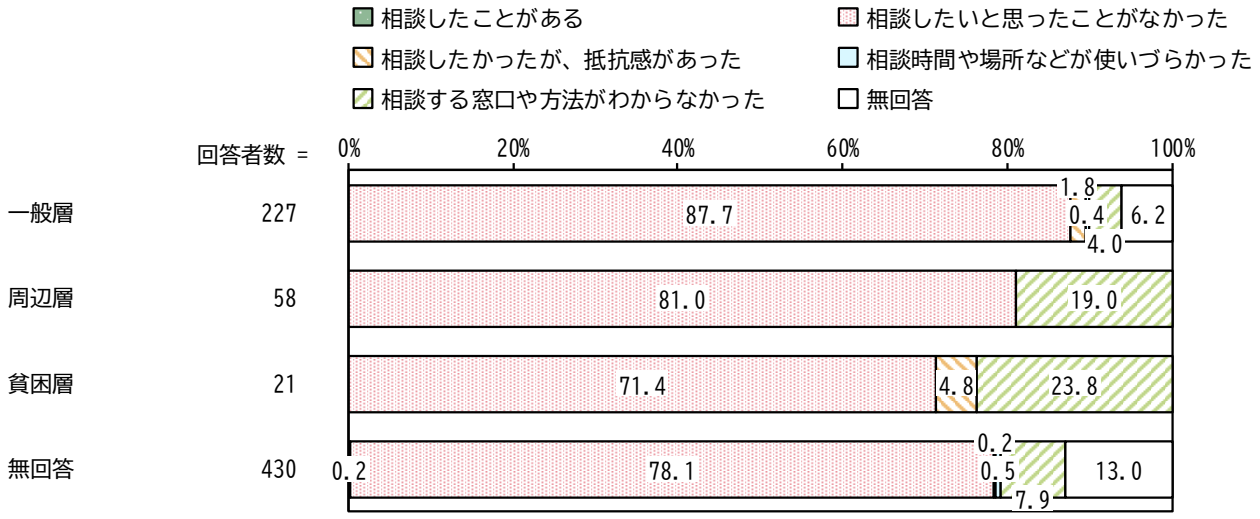
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



J　子どもオンブズパーソン

【生活困難度別】

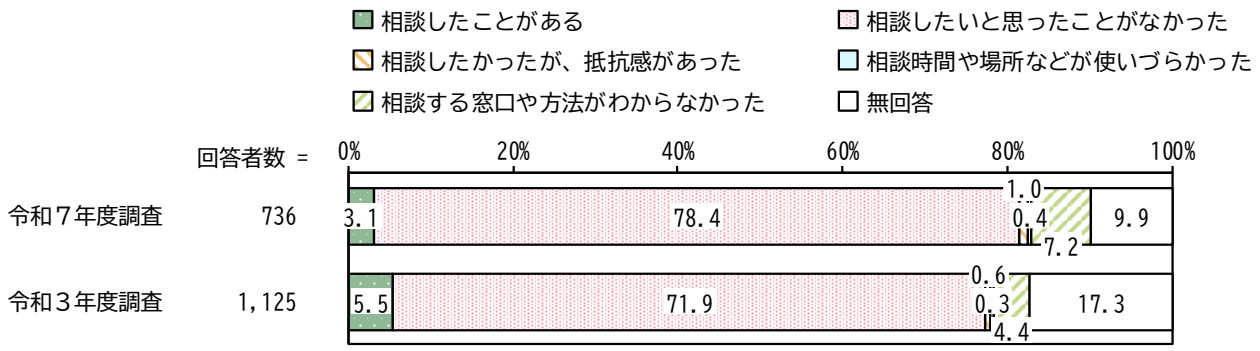
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



K　上記以外の公的機関

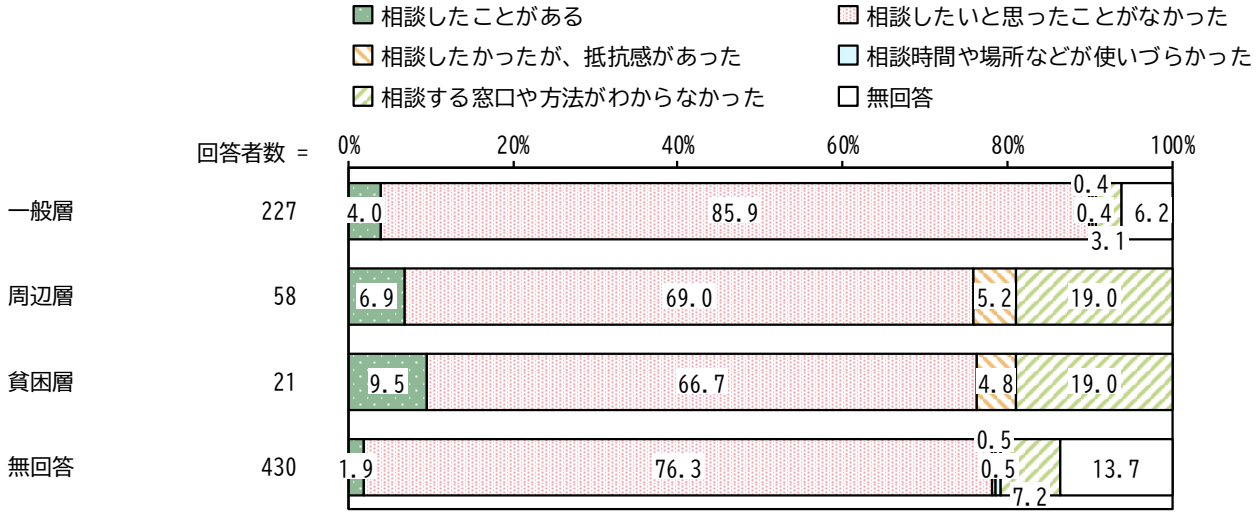
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が増加しています。



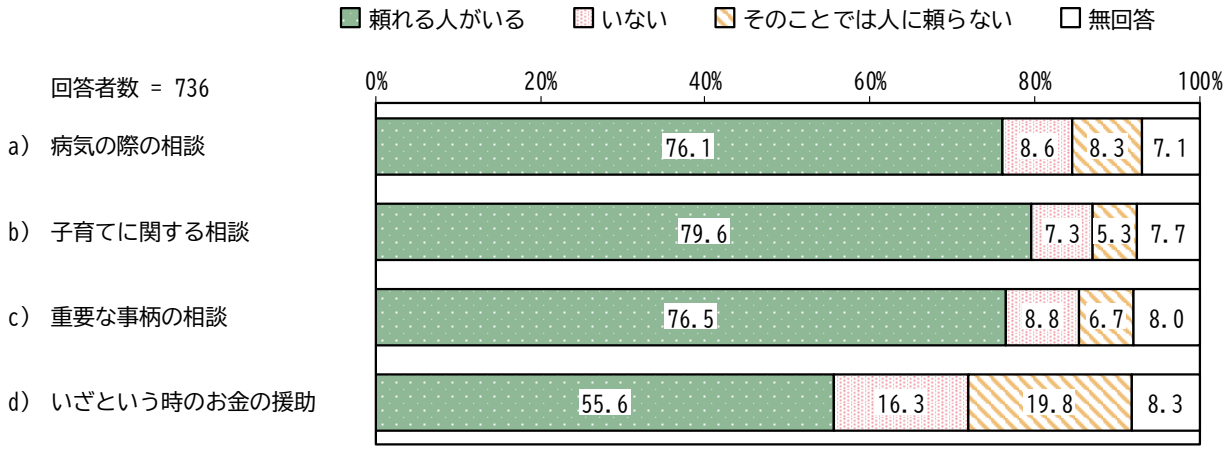
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「相談したことがある」、一般層で「相談したいと思ったことがなかった」、周辺層、貧困層で「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が高くなっています。



問 49　あなたは次に挙げる事柄（ことがら）で頼れる人はいますか。(a～d それぞれについて、「頼れる人がいる」～「そのことでは人に頼らない」のあてはまる番号１つに○)

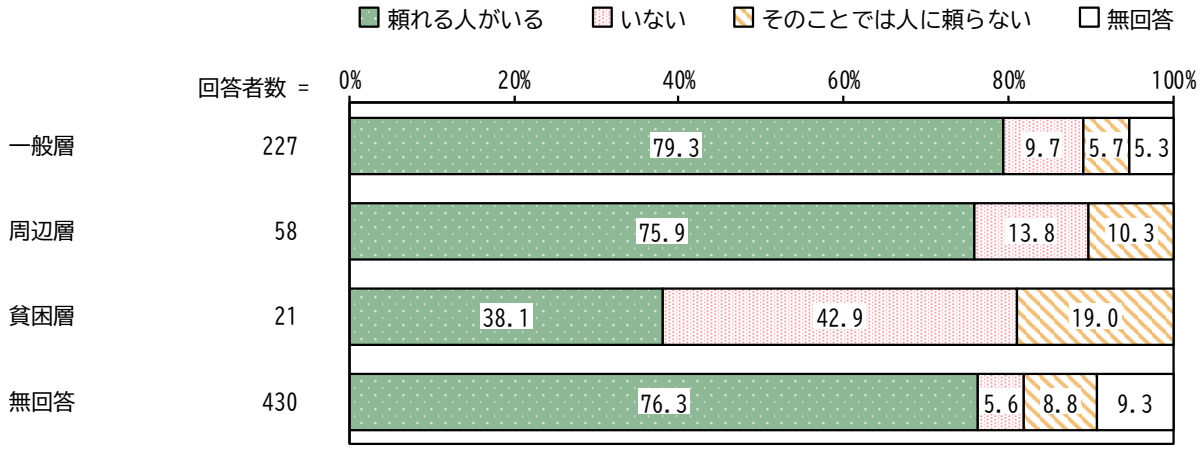
『b）子育てに関する相談』で「頼れる人がいる」が、『d）いざという時のお金の援助』で「いない」「そのことでは人に頼らない」が高くなっています。



a）病気の際の相談

【生活困難度別】

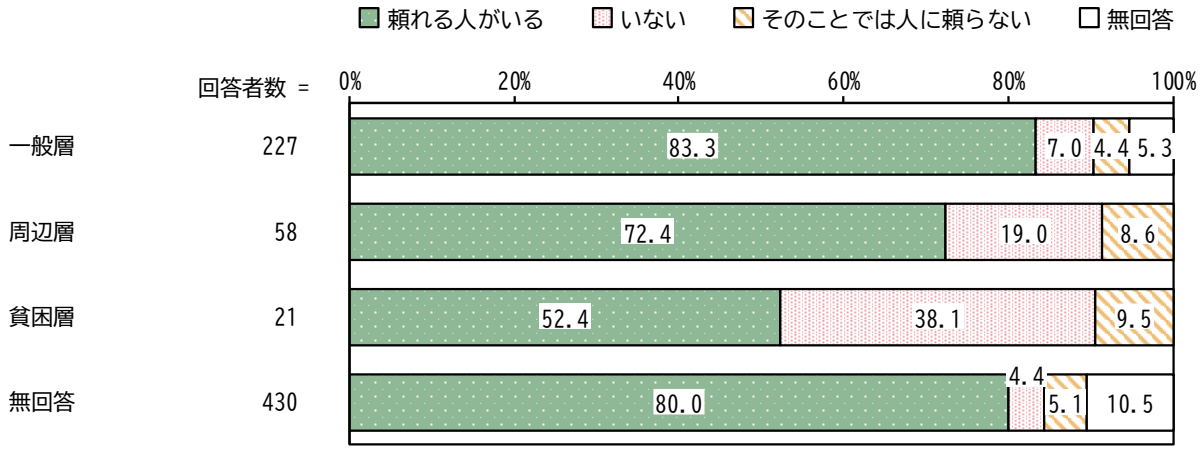
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いない」「そのことでは人に頼らない」の割合が高く、「頼れる人がいる」の割合が低くなっています。



b）子育てに関する相談

【生活困難度別】

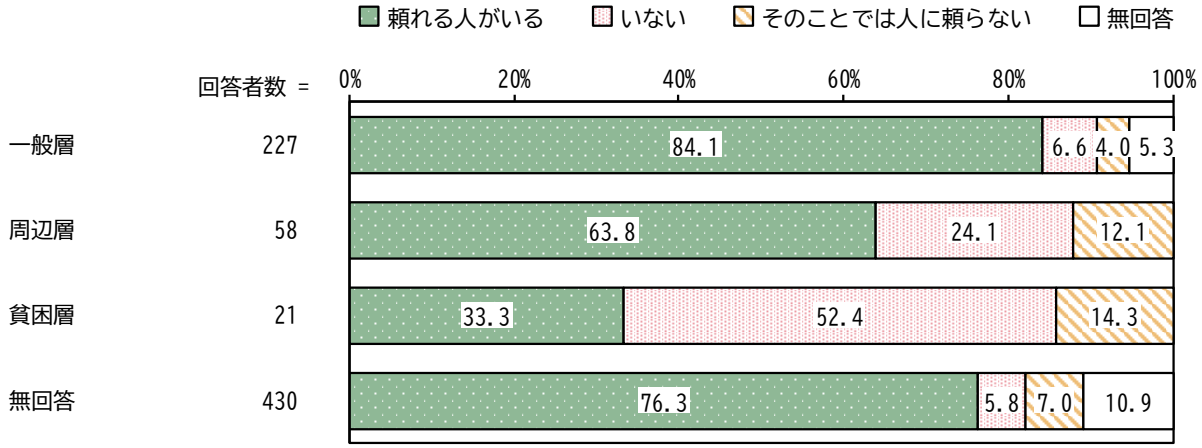
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いない」の割合が高く、「頼れる人がいる」の割合が低くなっています。



c）重要な事柄の相談

【生活困難度別】

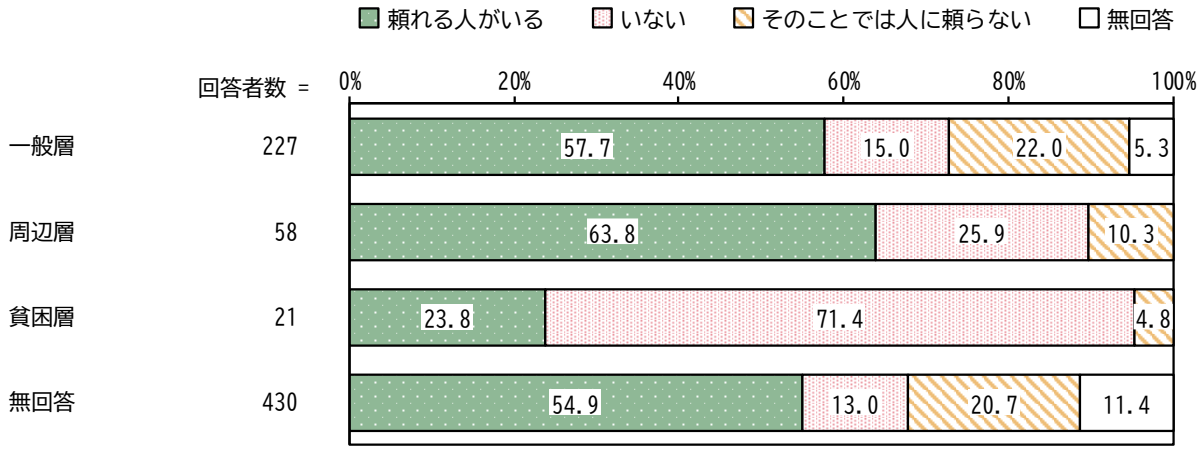
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いない」「そのことでは人に頼らない」の割合が高く、「頼れる人がいる」の割合が低くなっています。



d）いざという時のお金の援助

【生活困難度別】

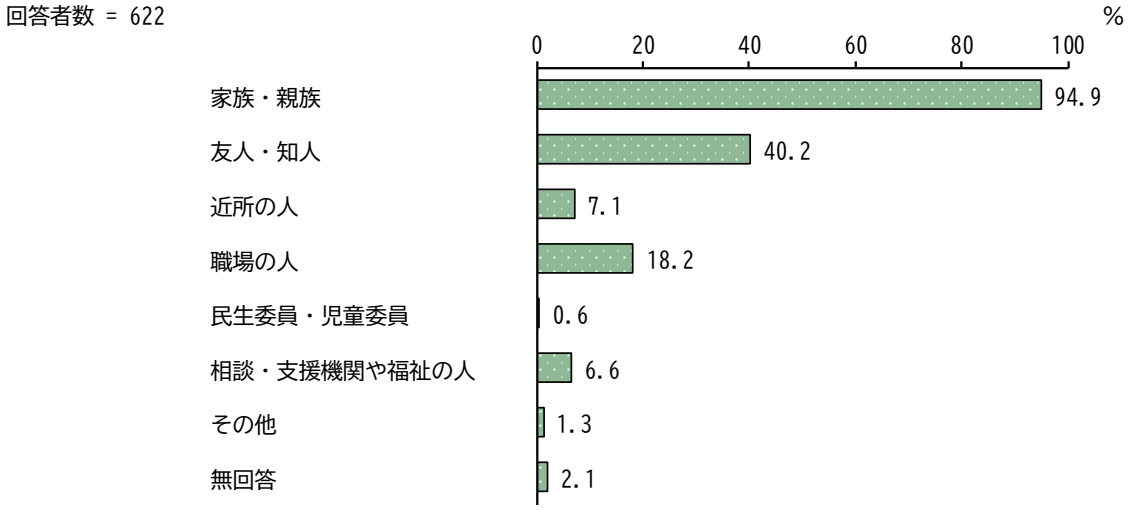
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いない」の割合が高く、「そのことでは人に頼らない」の割合が低くなっています。また、貧困層で「頼れる人がいる」の割合が低くなっています。



問 49 で「頼れる人がいる」を選んだ方にお聞きします。

問 49－１　それはだれですか。（あてはまる番号すべてに○）

「家族・親族」の割合が 94.9%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 40.2%、「職場の人」の割合が 18.2%となっています。



【生活困難度別】

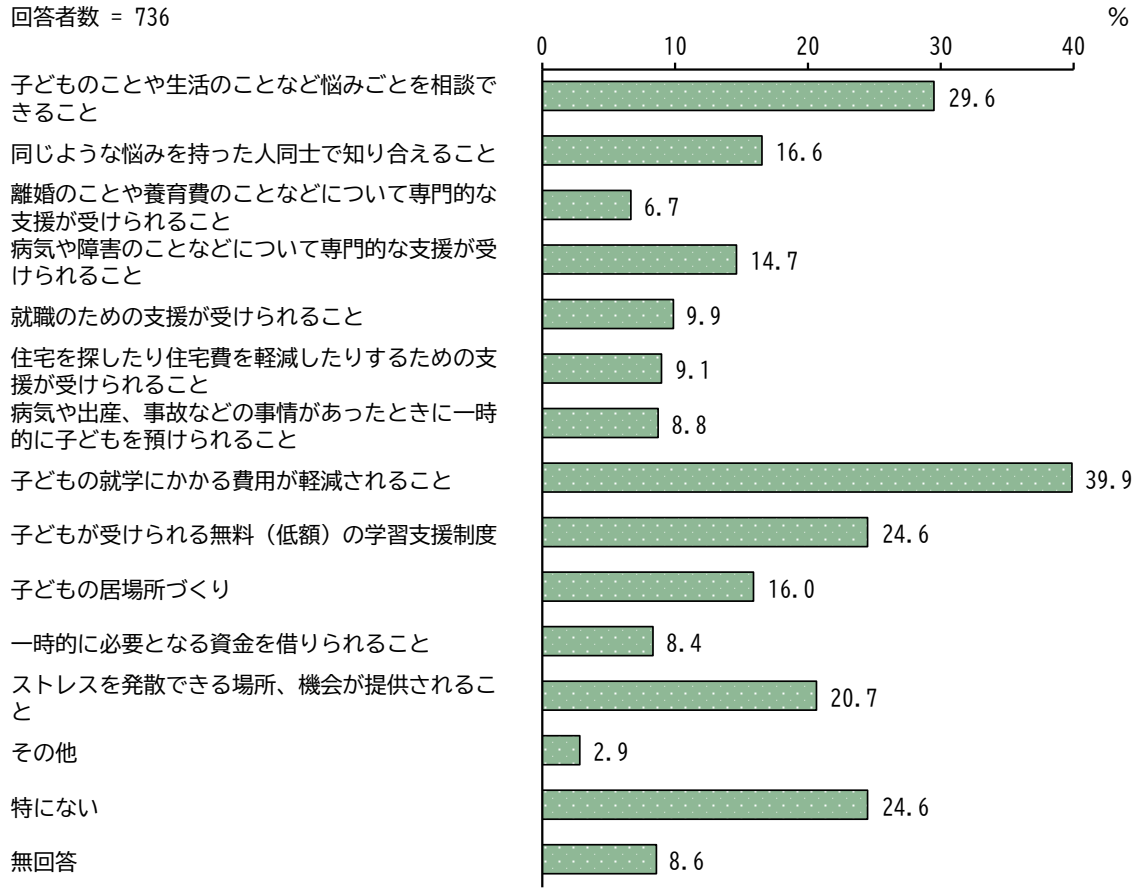
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「家族・親族」「友人・知人」「職場の人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
全　体	622	94.9	40.2	7.1	18.2	0.6	6.6	1.3	2.1
一般層	200	97.5	37.5	5.5	16.5	0.5	8.0	0.5	1.5
周辺層	47	91.5	27.7	4.3	6.4	2.1	6.4	0.0	0.0
貧困層	14	57.1	21.4	0.0	0.0	0.0	14.3	21.4	0.0
無回答	361	95.3	44.0	8.6	21.3	0.6	5.5	1.1	2.8

問 50　あなたが現在必要としていることで、重要だと思う支援等はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が 39.9%と最も高く、次いで「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が 29.6%、「子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度」の割合が 24.6%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」「就職のための支援が受けられること」「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」「子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度」「子どもの居場所づくり」「一時的に必要となる資金を借りられること」「ストレスを発散できる場所、機会が提供されること」の割合が高くなっています。また、周辺層で「同じような悩みを持った人同士で知り合えること」「病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること」、周辺層、貧困層で「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
全　体	736	29.6	16.6	6.7	14.7	9.9	9.1	8.8
一般層	227	30.0	11.9	2.2	10.6	4.8	4.4	4.0
周辺層	58	36.2	29.3	24.1	25.9	13.8	27.6	13.8
貧困層	21	42.9	9.5	19.0	23.8	19.0	23.8	28.6
無回答	430	27.9	17.7	6.0	14.9	11.6	8.4	9.8

区分	子どもの就学にかかる費用が軽減されること	子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度	子どもの居場所づくり	一時的に必要となる資金を借りられること	ストレスを発散できる場所、機会が提供されること	その他	特にない	無回答
全　体	39.9	24.6	16.0	8.4	20.7	2.9	24.6	8.6
一般層	35.2	16.7	10.6	4.0	13.2	4.0	29.5	5.3
周辺層	62.1	41.4	12.1	17.2	25.9	5.2	8.6	3.4
貧困層	61.9	47.6	38.1	47.6	33.3	0.0	4.8	0.0
無回答	38.4	25.3	18.4	7.7	23.3	2.1	25.1	11.4

【世帯分類別】

世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」「子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度」「一時的に必要となる資金を借りられること」の割合が高くなっています。

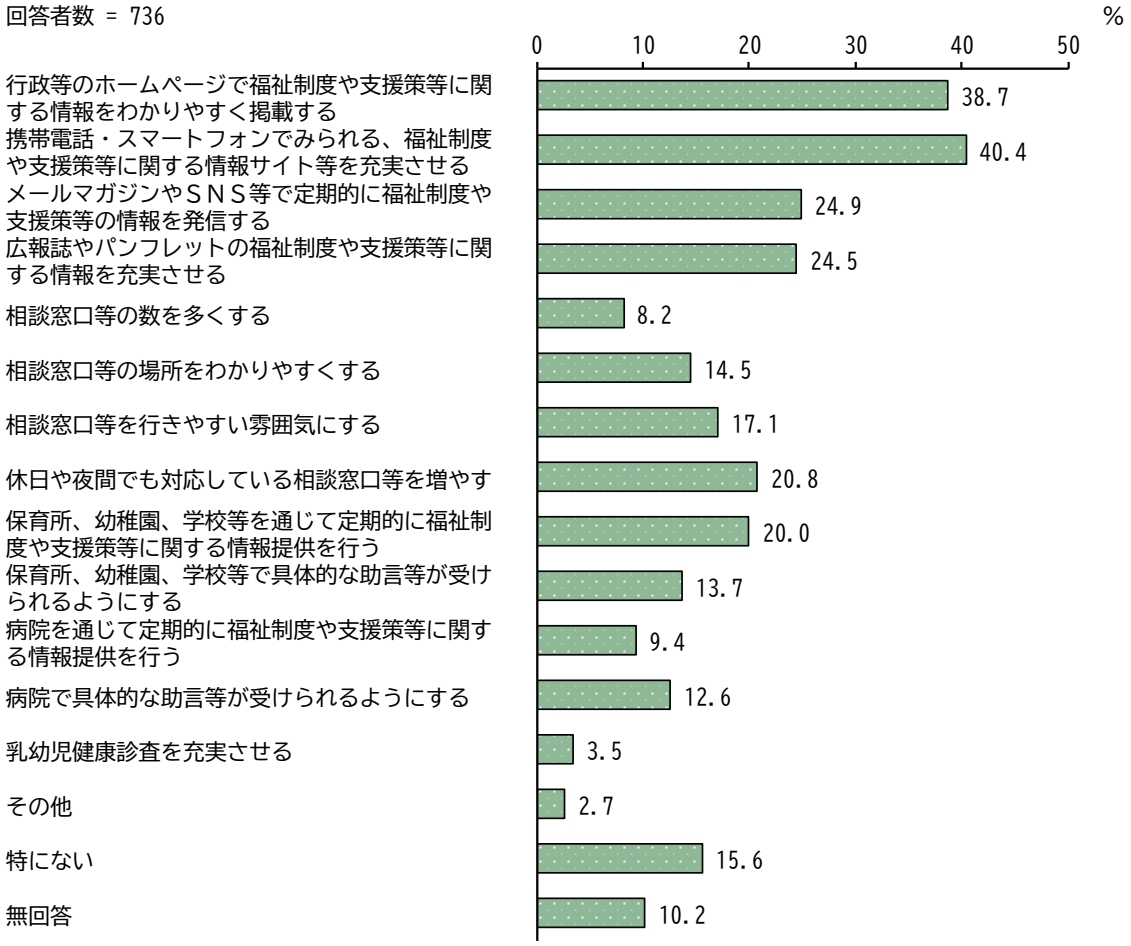
単位：%

区分	回答者数（件）	子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
全　体	736	29.6	16.6	6.7	14.7	9.9	9.1	8.8
父親（ひとり親）	72	38.9	13.9	4.2	6.9	5.6	5.6	8.3
母親（ひとり親）	59	28.8	16.9	22.0	22.0	11.9	25.4	13.6
ふたり親（２世帯）	544	28.3	16.0	4.4	14.0	9.0	6.8	8.1
ふたり親（３世帯）	33	30.3	21.2	9.1	9.1	15.2	9.1	3.0
無回答	28	32.1	28.6	21.4	39.3	28.6	28.6	21.4

区分	子どもの就学にかかる費用が軽減されること	子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度	子どもの居場所づくり	一時的に必要となる資金を借りられること	ストレスを発散できる場所、機会が提供されること	その他	特にない	無回答
全　体	39.9	24.6	16.0	8.4	20.7	2.9	24.6	8.6
父親（ひとり親）	48.6	26.4	20.8	8.3	29.2	2.8	19.4	2.8
母親（ひとり親）	64.4	37.3	18.6	20.3	22.0	5.1	8.5	5.1
ふたり親（２世帯）	37.1	23.0	15.1	6.3	19.3	2.6	28.3	7.7
ふたり親（３世帯）	27.3	21.2	9.1	15.2	21.2	0.0	24.2	9.1
無回答	35.7	28.6	25.0	17.9	21.4	7.1	0.0	46.4

問 51　あなたが必要な支援を受けるために重要だと思うことを教えてください。
（あてはまるものすべてに○）

「携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する」の割合が 38.7%、「メールマガジンやＳＮＳ等で定期的に福祉制度や支援策等の情報を発信する」の割合が 24.9%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「メールマガジンやＳＮＳ等で定期的に福祉制度や支援策等の情報を発信する」「相談窓口等の場所をわかりやすくする」「相談窓口等を行きやすい雰囲気にする」「休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす」の割合が高くなっています。また、貧困層で「保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する	携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる	メールマガジンやＳＮＳ等で定期的に福祉制度や支援策等の情報を発信する	広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる	相談窓口等の数を多くする	相談窓口等の場所をわかりやすくする	相談窓口等を行きやすい雰囲気にする	休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす
全　体	736	38.7	40.4	24.9	24.5	8.2	14.5	17.1	20.8
一般層	227	39.6	41.4	25.6	22.0	6.2	10.6	12.8	15.4
周辺層	58	39.7	46.6	32.8	32.8	8.6	13.8	13.8	15.5
貧困層	21	38.1	38.1	47.6	9.5	9.5	19.0	23.8	42.9
無回答	430	38.1	39.1	22.3	25.3	9.1	16.5	19.5	23.3

区分	保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う	保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする	病院を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う	病院で具体的な助言等が受けられるようにする	乳幼児健康診査を充実させる	その他	特にない	無回答
全　体	20.0	13.7	9.4	12.6	3.5	2.7	15.6	10.2
一般層	20.3	11.5	4.8	9.7	2.2	3.5	15.4	5.7
周辺層	20.7	10.3	3.4	6.9	1.7	5.2	17.2	1.7
貧困層	19.0	23.8	28.6	14.3	9.5	0.0	9.5	4.8
無回答	19.8	14.9	11.6	14.9	4.2	2.1	15.8	14.0

【世帯分類別】

世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で「行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する」「携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる」、ふたり親（３世帯）で「メールマガジンやＳＮＳ等で定期的に福祉制度や支援策等の情報を発信する」「相談窓口等の場所をわかりやすくする」「保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする」「病院で具体的な助言等が受けられるようにする」「乳幼児健康診査を充実させる」、母親（ひとり親）で「休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす」の割合が高くなっています。

単位：％

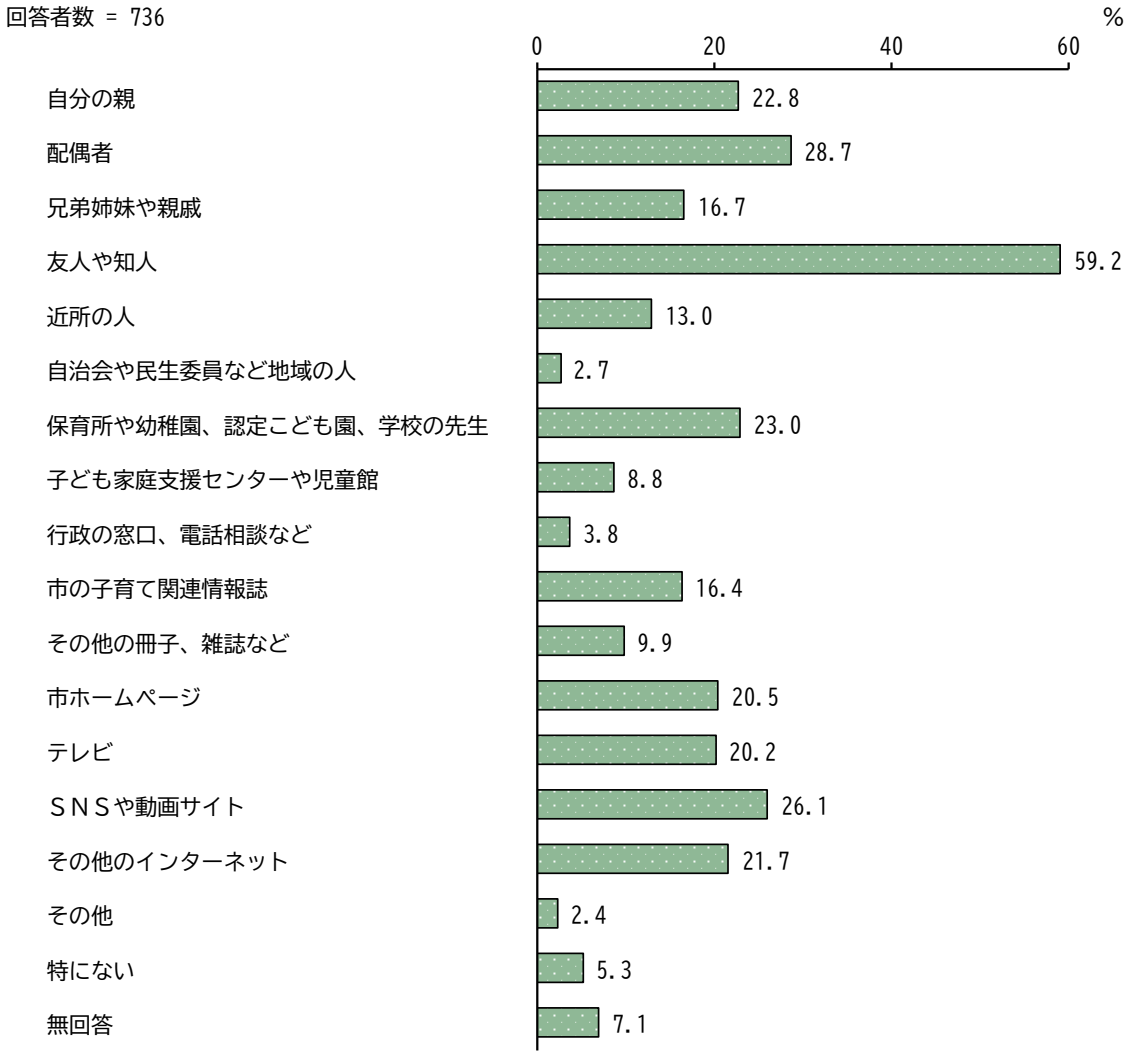
区分	回答者数（件）	行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する	携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる	メールマガジンやＳＮＳ等で定期的に福祉制度や支援策等の情報を発信する	広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる	相談窓口等の数を多くする
全　体	736	38.7	40.4	24.9	24.5	8.2
父親（ひとり親）	72	44.4	45.8	26.4	26.4	9.7
母親（ひとり親）	59	30.5	39.0	28.8	18.6	10.2
ふたり親（２世帯）	544	39.7	41.2	23.5	25.2	7.5
ふたり親（３世帯）	33	27.3	30.3	42.4	21.2	9.1
無回答	28	35.7	25.0	17.9	21.4	10.7

区分	相談窓口等の場所をわかりやすくする	相談窓口等を行きやすい雰囲気にする	休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす	保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う	保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする	病院を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う
全　体	14.5	17.1	20.8	20.0	13.7	9.4
父親（ひとり親）	9.7	18.1	25.0	19.4	15.3	5.6
母親（ひとり親）	15.3	11.9	37.3	16.9	13.6	8.5
ふたり親（２世帯）	13.8	16.7	18.2	20.2	12.5	9.7
ふたり親（３世帯）	24.2	21.2	30.3	21.2	24.2	9.1
無回答	28.6	28.6	14.3	21.4	21.4	14.3

区分	病院で具体的な助言等が受けられるようにする	乳幼児健康診査を充実させる	その他	特にない	無回答
全　体	12.6	3.5	2.7	15.6	10.2
父親（ひとり親）	8.3	2.8	1.4	12.5	4.2
母親（ひとり親）	10.2	3.4	5.1	8.5	8.5
ふたり親（２世帯）	13.1	3.1	2.6	17.5	9.7
ふたり親（３世帯）	18.2	9.1	3.0	15.2	6.1
無回答	14.3	7.1	3.6	3.6	42.9

問 52　あなたは、子育てに関する情報をどこから手に入れますか。
（あてはまるものすべてに○）

「友人や知人」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が 28.7%、「ＳＮＳや動画サイト」の割合が 26.1%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「子ども家庭支援センターや児童館」「行政の窓口、電話相談など」「ＳＮＳや動画サイト」「その他のインターネット」の割合が高くなっています。また、周辺層で「テレビ」の割合が高くなっています。

単位：％

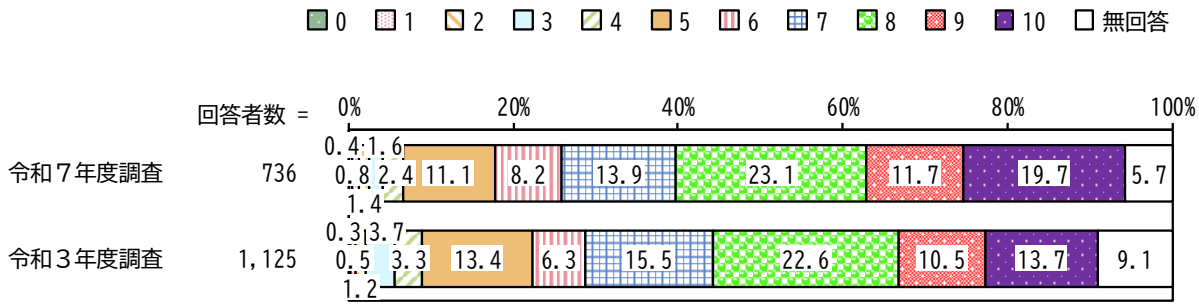
区分	回答者数（件）	自分の親	配偶者	兄弟姉妹や親戚	友人や知人	近所の人	自治会や民生委員など地域の人	保育所や幼稚園、認定こども園、学校の先生	子ども家庭支援センターや児童館	行政の窓口、電話相談など
全　体	736	22.8	28.7	16.7	59.2	13.0	2.7	23.0	8.8	3.8
一般層	227	24.2	30.8	15.9	59.0	15.0	2.2	23.3	7.0	1.3
周辺層	58	31.0	27.6	17.2	65.5	19.0	12.1	24.1	8.6	3.4
貧困層	21	23.8	28.6	4.8	47.6	0.0	4.8	4.8	19.0	19.0
無回答	430	20.9	27.7	17.7	59.1	11.9	1.6	23.5	9.3	4.4

区分	市の子育て関連情報誌	その他の冊子、雑誌など	市ホームページ	テレビ	ＳＮＳや動画サイト	その他のインターネット	その他	特にない	無回答
全　体	16.4	9.9	20.5	20.2	26.1	21.7	2.4	5.3	7.1
一般層	16.7	8.4	21.1	18.5	26.9	25.1	1.8	3.5	6.2
周辺層	17.2	8.6	24.1	36.2	36.2	25.9	1.7	5.2	1.7
貧困層	0.0	4.8	23.8	23.8	38.1	38.1	0.0	0.0	0.0
無回答	17.0	11.2	19.5	18.8	23.7	18.6	3.0	6.5	8.6

問 53　この１年を振り返って、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を０点とすると、何点くらいになると思いますか。０～10 の数字から１つだけ選んでください。（１つに○）

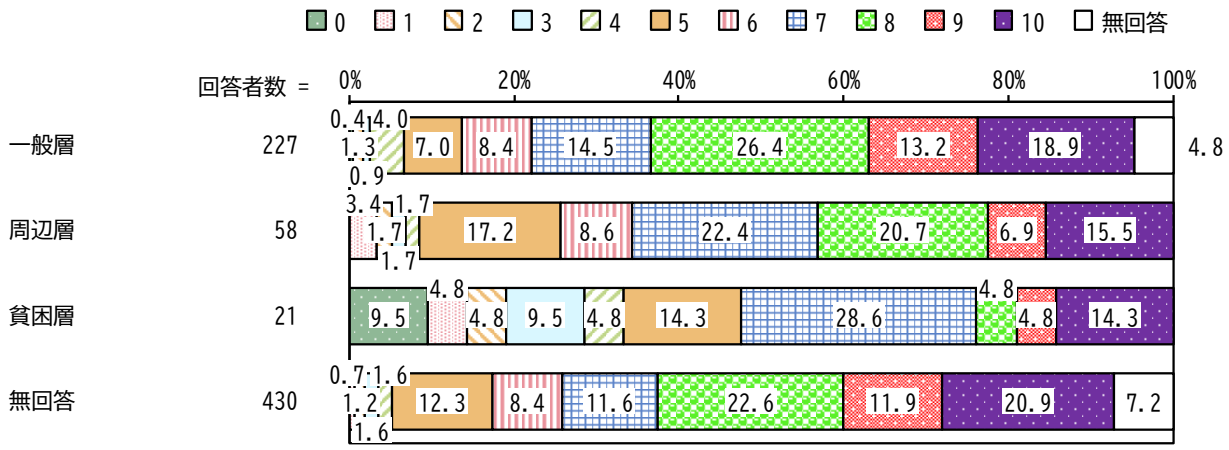
「8」の割合が 23.1%と最も高く、次いで「10」の割合が 19.7%、「7」の割合が 13.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「10」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「0」「3」「7」、周辺層で「5」の割合が高くなっています。



問 54　あなたが今、困っていることや悩みごとがありましたら、ご自由にお書きください。

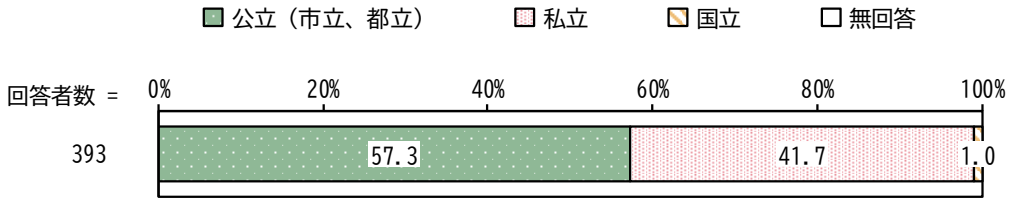
※別冊　自由記述結果報告書

6　16～17 歳保護者

問２はお子さんが学校に通っている方のみご回答ください。

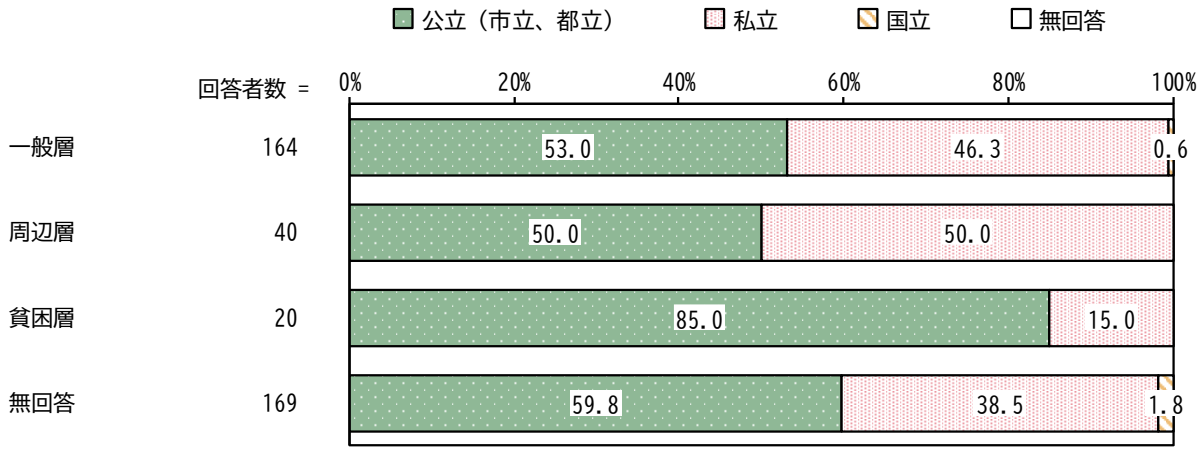
問２　お子さんの通っている学校の種類は、以下のどれになりますか。（１つに○）
　　公立の場合は、学校の名前を書いてください。

「公立（市立、都立）」の割合が 57.3%、「私立」の割合が 41.7%、「国立」の割合が 1.0%となっています。



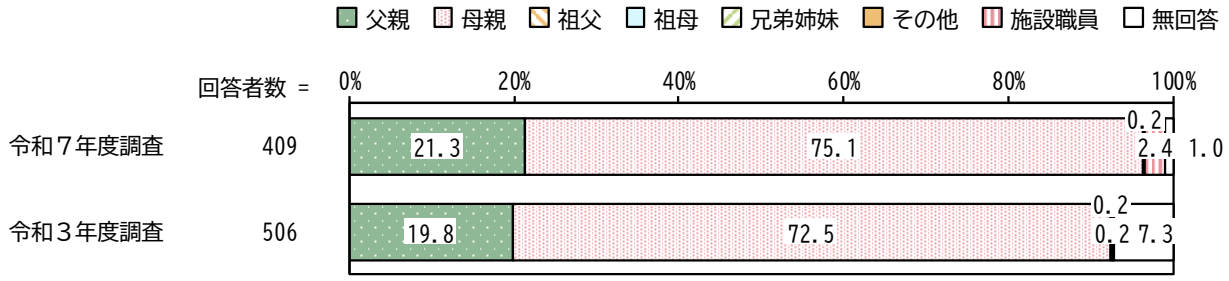
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「公立（市立、都立）」の割合が高く、「私立」の割合が低くなっています。



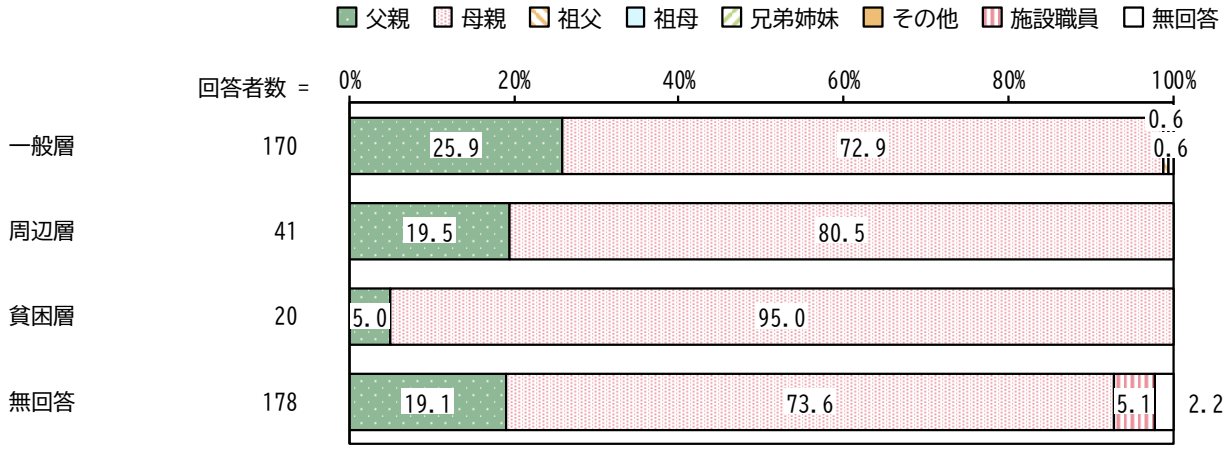
問３　お子さんとあなた（回答者）との関係は、以下のどれになりますか。お子さんからみた続柄で、お答えください。（１つに○）

「母親」の割合が 75.1%と最も高く、次いで「父親」の割合が 21.3%となっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「母親」の割合が高く、「父親」の割合が低くなっています。



施設職員の方は以後の設問について、可能な範囲で回答ください。

問４　あなたのお住まいの地区はどこですか。（１つに○）

「多摩平」の割合が 8.8%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	旭が丘	新井	石田	大坂上	落川	上田	川辺堀之内	栄町	新町	神明	高幡	多摩平	豊田	西平山
全　体	409	7.8	2.2	1.0	2.0	2.7	1.0	1.2	1.2	4.2	3.9	2.9	8.8	3.4	3.7
令和７年度調査	409	7.8	2.2	1.0	2.0	2.7	1.0	1.2	1.2	4.2	3.9	2.9	8.8	3.4	3.7
令和３年度調査	506	5.7	1.0	1.0	2.0	3.6	1.4	1.0	2.4	1.8	2.8	2.2	7.1	3.8	3.4

区分	東豊田	東平山	日野	日野台	日野本町	平山	富士町	程久保	万願寺	三沢	南平	宮	百草	無回答
全　体	3.9	3.7	6.8	2.9	2.2	3.9	2.7	3.2	4.6	6.8	5.6	0.2	3.9	3.4
令和７年度調査	3.9	3.7	6.8	2.9	2.2	3.9	2.7	3.2	4.6	6.8	5.6	0.2	3.9	3.4
令和３年度調査	3.4	0.8	9.3	1.8	3.0	4.0	2.4	4.2	6.5	6.7	8.3	0.4	3.6	6.9

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「日野本町」、周辺層で「平山」「南平」「百草」、周辺層、貧困層で「万願寺」の割合が高くなっています。

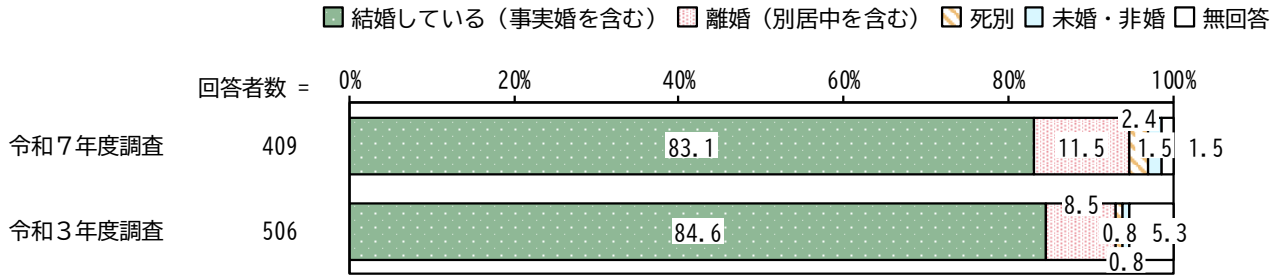
区分	回答者数（件）	旭が丘	新井	石田	大坂上	落川	上田	川辺堀之内	栄町	新町	神明	高幡	多摩平	豊田	西平山
全　体	409	7.8	2.2	1.0	2.0	2.7	1.0	1.2	1.2	4.2	3.9	2.9	8.8	3.4	3.7
一般層	170	8.2	0.6	0.6	1.8	1.8	0.6	1.8	1.2	5.9	5.9	4.1	10.0	4.1	3.5
周辺層	41	7.3	0.0	0.0	0.0	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7.3	0.0	7.3	0.0	0.0
貧困層	20	10.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	5.0	5.0	5.0	0.0	5.0
無回答	178	7.3	3.9	1.7	2.2	2.8	1.7	1.1	1.1	3.9	1.1	2.2	8.4	3.9	4.5

区分	東豊田	東平山	日野	日野台	日野本町	平山	富士町	程久保	万願寺	三沢	南平	宮	百草	無回答
全　体	3.9	3.7	6.8	2.9	2.2	3.9	2.7	3.2	4.6	6.8	5.6	0.2	3.9	3.4
一般層	5.3	5.3	8.2	2.4	1.8	1.8	1.8	2.9	3.5	6.5	5.9	0.0	3.5	1.2
周辺層	0.0	4.9	4.9	2.4	2.4	9.8	0.0	0.0	9.8	9.8	12.2	0.0	9.8	4.9
貧困層	0.0	0.0	10.0	5.0	10.0	0.0	0.0	5.0	10.0	5.0	5.0	0.0	0.0	5.0
無回答	3.9	2.2	5.6	3.4	1.7	5.1	4.5	3.9	3.9	6.7	3.9	0.6	3.4	5.1

問５　現在のあなたの婚姻状況を教えてください。（１つに○）

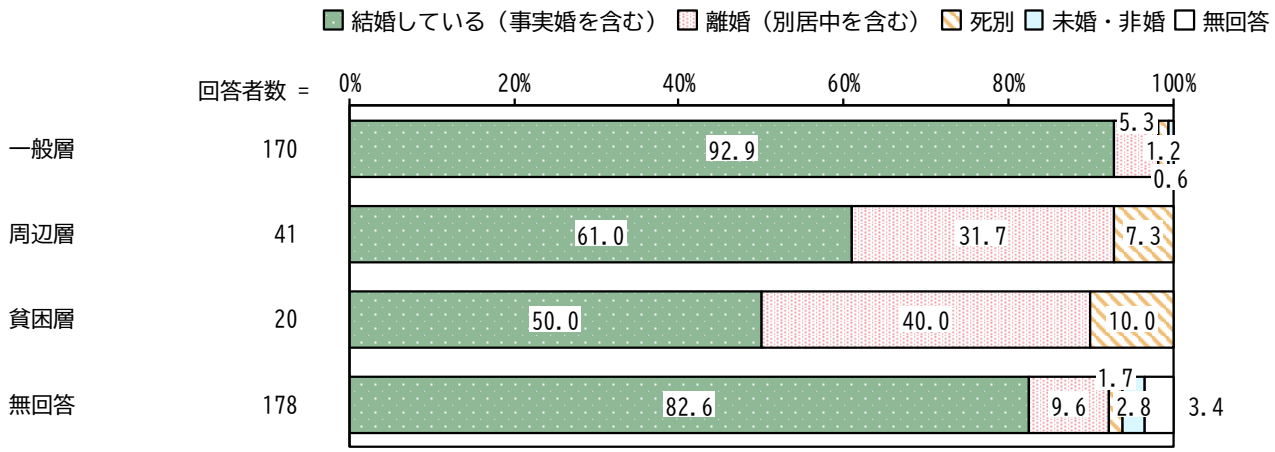
「結婚している（事実婚を含む）」の割合が 83.1%と最も高く、次いで「離婚（別居中を含む）」の割合が 11.5%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「離婚（別居中を含む）」「死別」の割合が高く、「結婚している（事実婚を含む）」の割合が低くなっています。

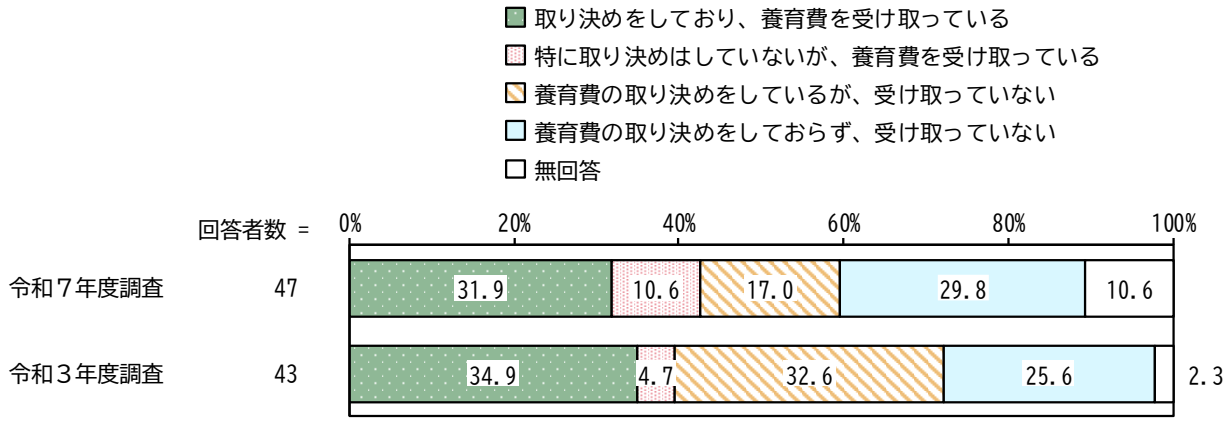


問５で「離婚（別居中を含む）」を選んだ方にお聞きします。

問５－１　離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。（１つに○）

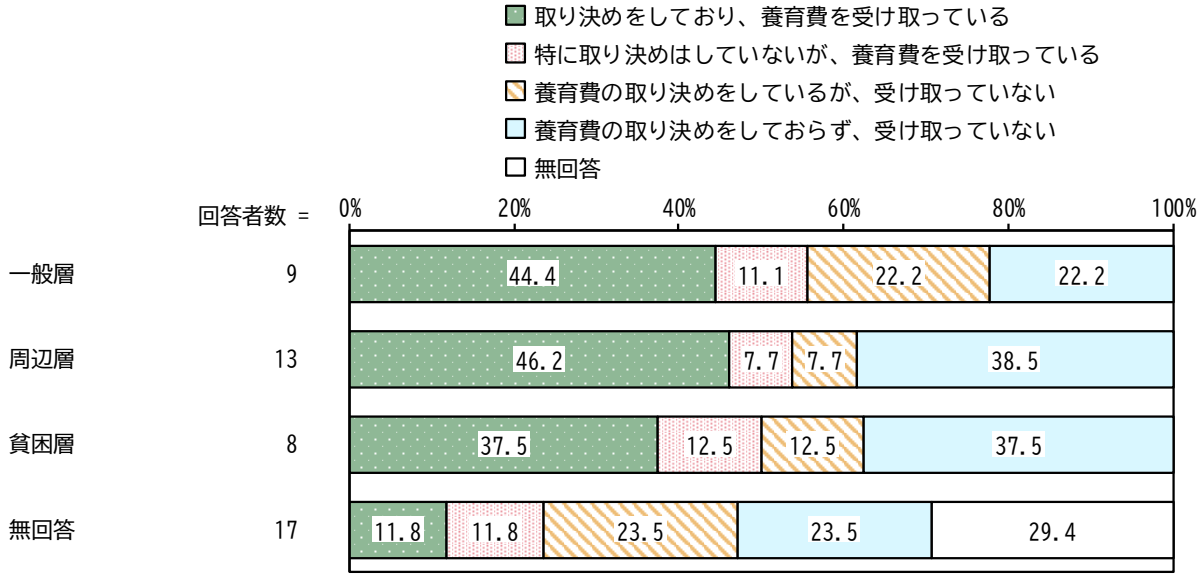
「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の割合が 31.9%と最も高く、次いで「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の割合が 29.8%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の割合が 17.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている」の割合が増加しています。一方、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の割合が減少しています。



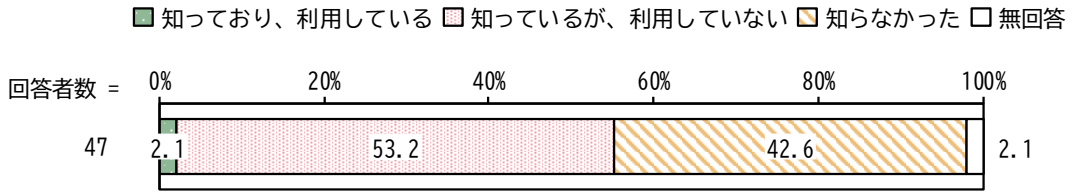
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層から周辺層まで困難度が大きいほど「特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている」「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」の割合が高く、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の割合が低く、周辺層から一般層まで困難度が大きいほど「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の割合が高くなっています。



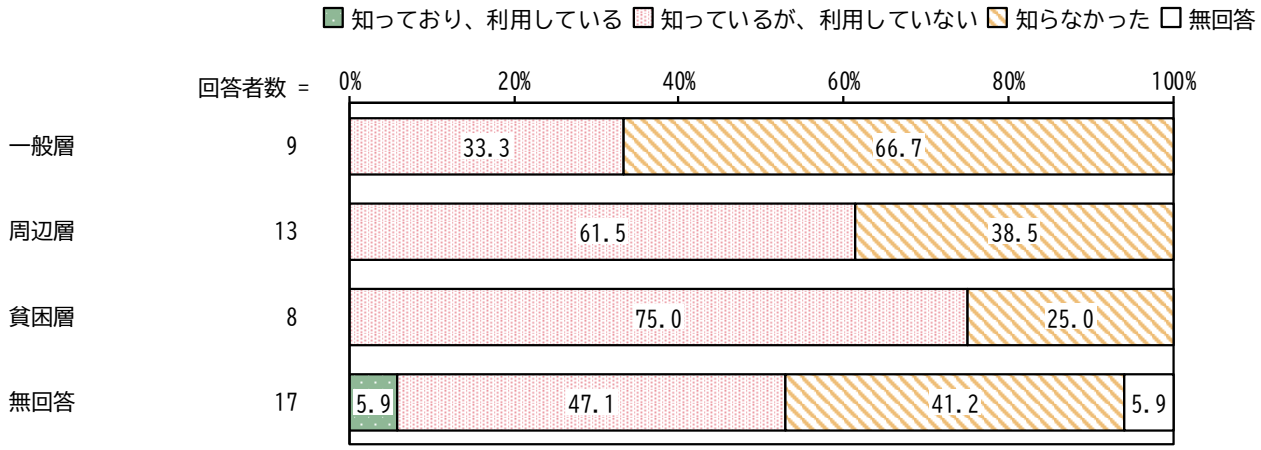
問５－２　日野市では、「養育費確保サポート事業」を実施しています。この事業をご存じでしたか。（１つに○）

「知っており、利用している」の割合が 2.1%、「知っているが、利用していない」の割合が 53.2%、「知らなかった」の割合が 42.6%となっています。



【生活困難度別】

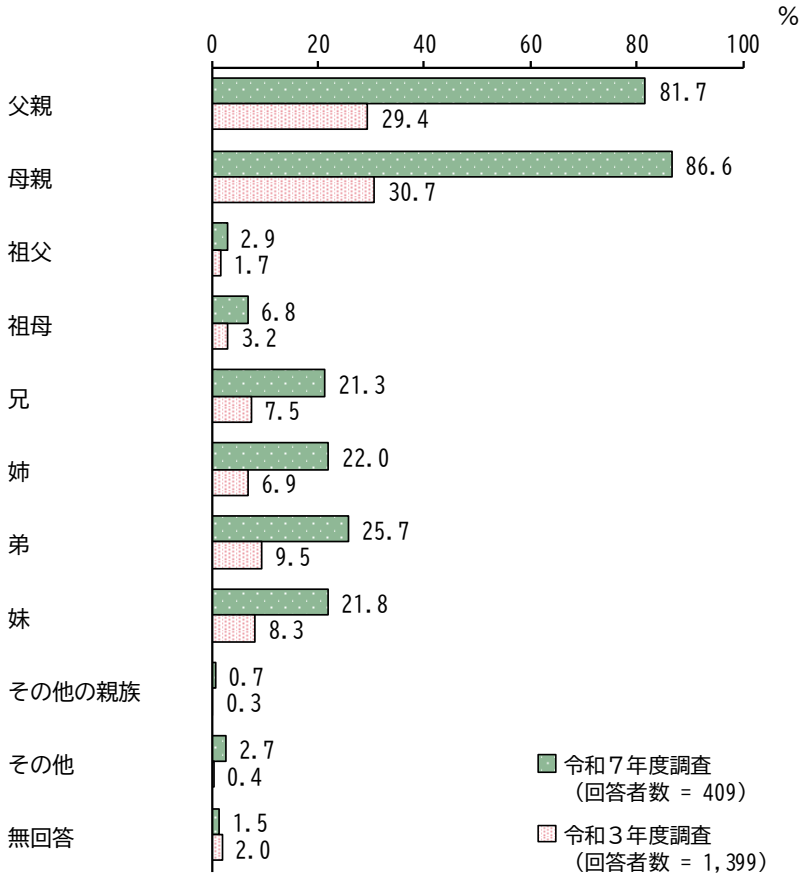
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「知っているが、利用していない」の割合が高く、「知らなかった」の割合が低くなっています。



問６　お子さんと同居しているご家族の方は、どなたですか。（あてはまる番号すべてに○、いずれもお子さんから見た続柄）

「母親」の割合が 86.6%と最も高く、次いで「父親」の割合が 81.7%、「弟」の割合が 25.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「父親」「母親」「兄」「姉」「弟」「妹」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「父親」の割合が高くなっています。

単位：%

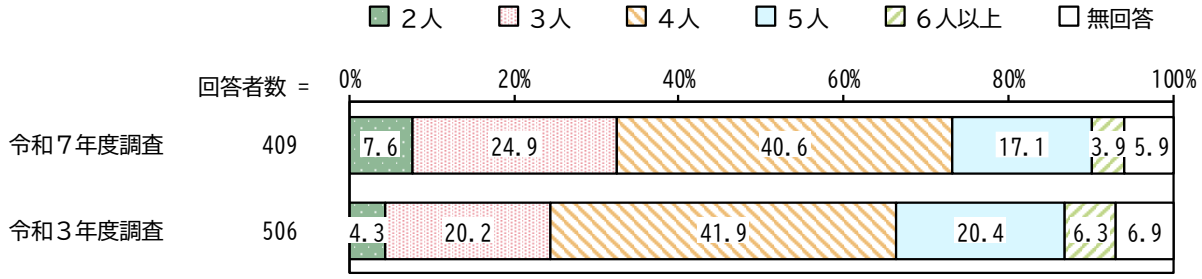
区分	回答者数（件）	父親	母親	祖父	祖母	兄	姉	弟	妹	その他の親族	その他	無回答
全　体	409	81.7	86.6	2.9	6.8	21.3	22.0	25.7	21.8	0.7	2.7	1.5
一般層	170	90.6	90.0	2.4	6.5	26.5	25.9	28.8	25.3	1.2	1.2	0.0
周辺層	41	61.0	85.4	0.0	2.4	17.1	19.5	17.1	17.1	0.0	0.0	0.0
貧困層	20	50.0	95.0	0.0	5.0	20.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
無回答	178	81.5	82.6	4.5	8.4	17.4	18.5	24.7	19.1	0.6	5.1	3.4

問７　お子さんと同居しているご家族の人数（あなたとお子さん含む）、及び、お子さんの兄弟姉妹の人数を教えてください。（いずれも、枠内に数字で回答してください）

お子さんと同居しているご家族の人数

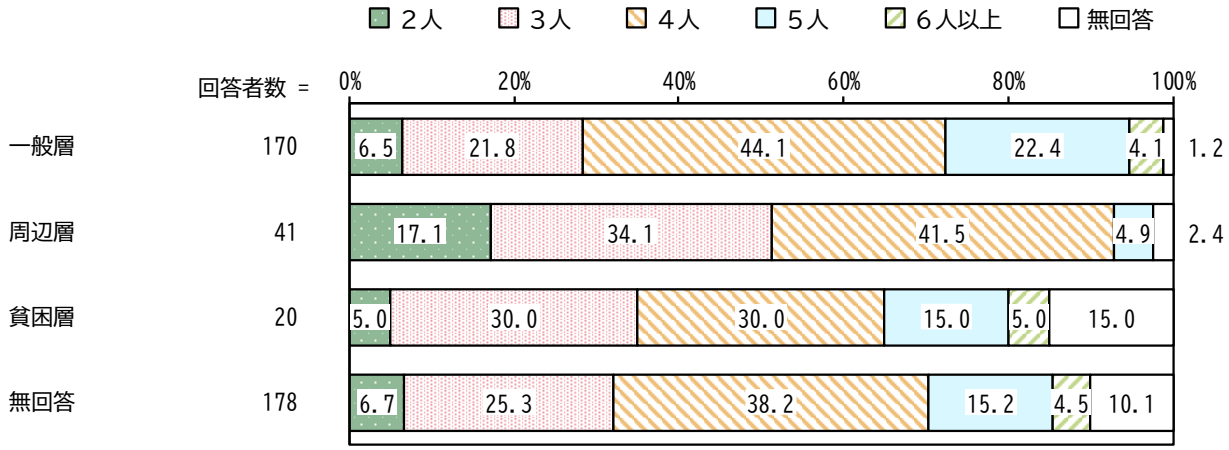
「４人」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「３人」の割合が 24.9%、「５人」の割合が 17.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

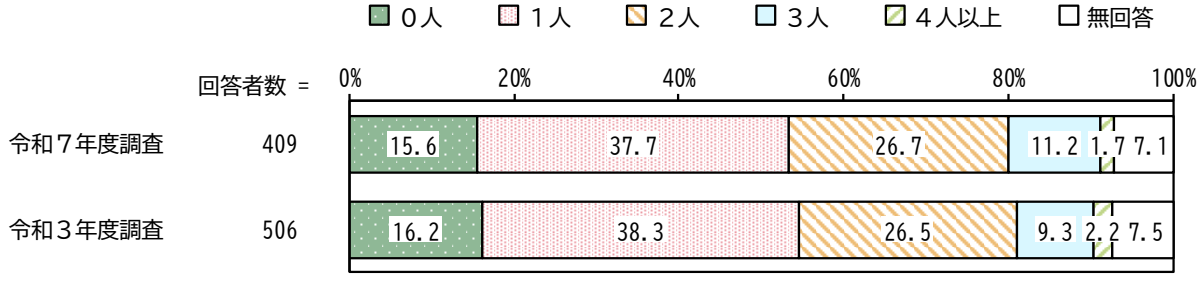
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「４人」の割合が高くなっています。また、周辺層で「５人」の割合が低くなっています。



うち、お子さんの兄弟姉妹の人数

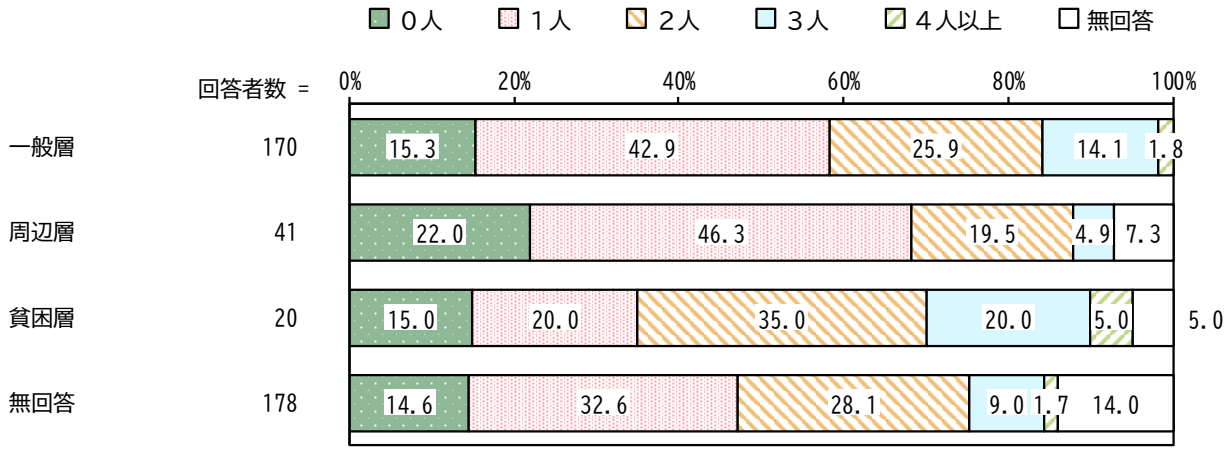
「１人」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「２人」の割合が 26.7%、「０人」の割合が 15.6%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



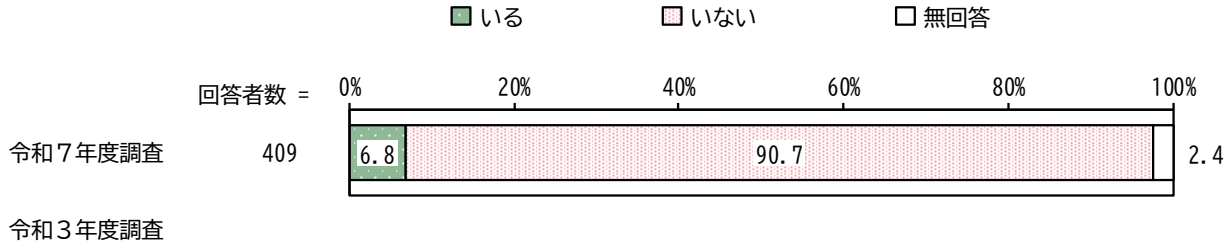
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「０人」「１人」、貧困層で「２人」「３人」の割合が高くなっています。



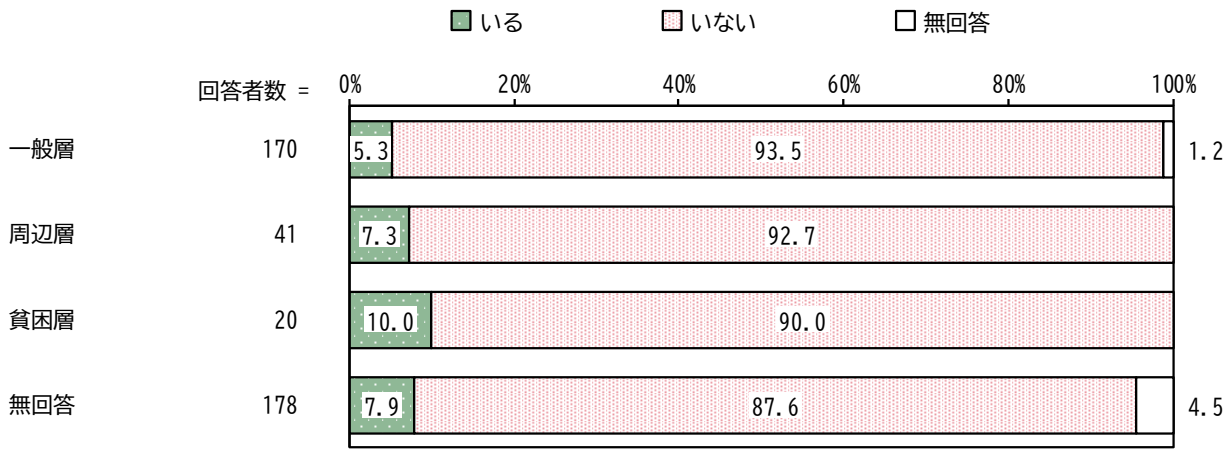
問８　お子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障害があったりするなど、ケア・サポートが必要な方はいますか。（１つに○）

「いる」の割合が 6.8%、「いない」の割合が 90.7%となっています。



【生活困難度別】

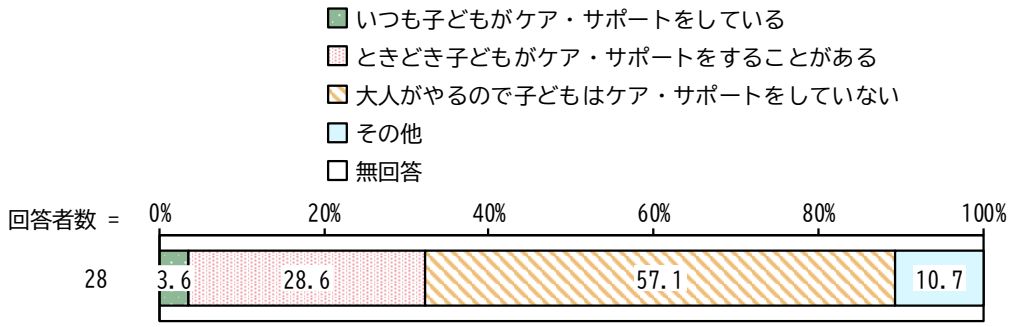
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いる」の割合が高くなっています。



問８で「いる」を選んだ方にお聞きします。

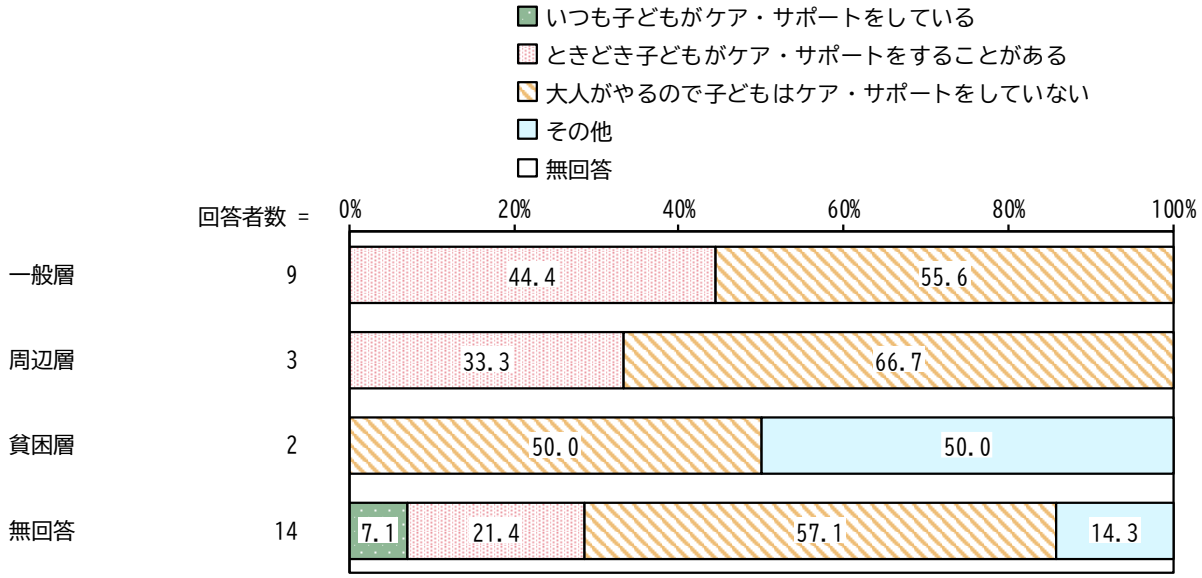
問８－１　病気や障害のある家族のケア・サポートを子どもがすることはありますか。
（１つに○）

「いつも子どもがケア・サポートをしている」の割合が 3.6%、「ときどき子どもがケア・サポートをすることがある」の割合が 28.6%、「大人がやるので子どもはケア・サポートをしていない」の割合が 57.1%となっています。



【生活困難度別】

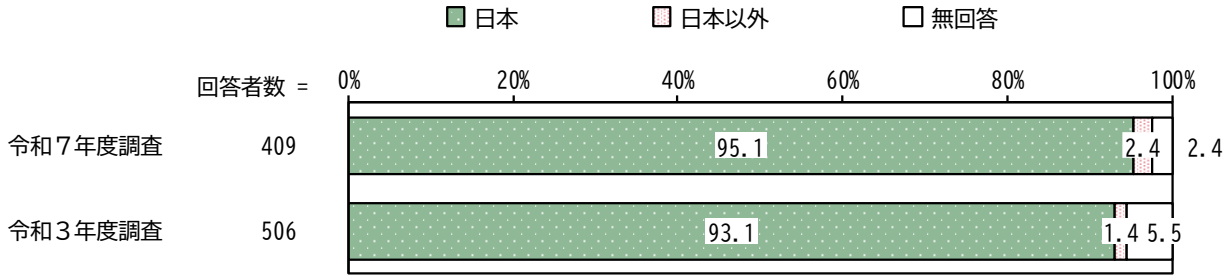
有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



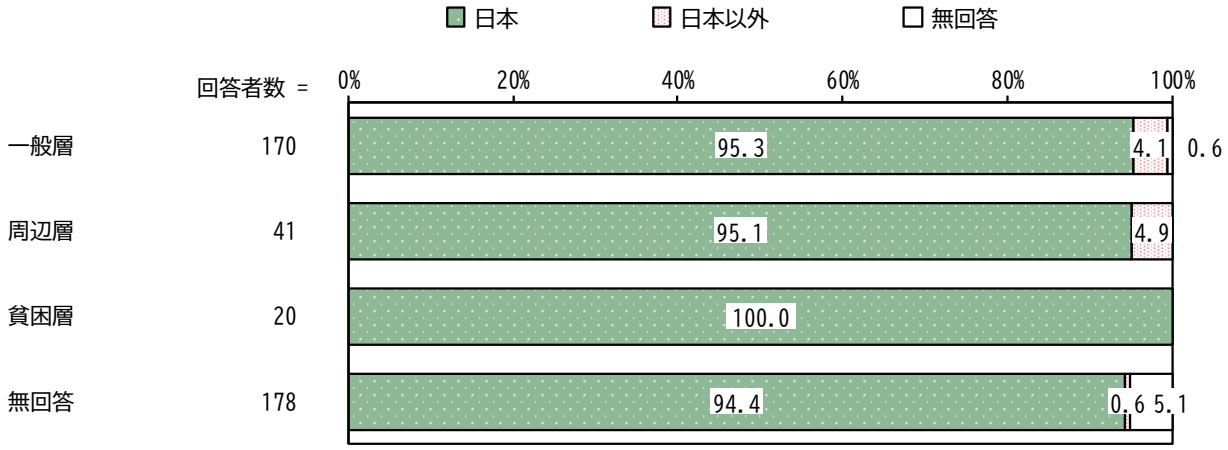
問９　お子さんのご両親の国籍にあてはまる番号を、それぞれ教えてください。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

A　母親

「日本」の割合が 95.1%、「日本以外」の割合が 2.4%となっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

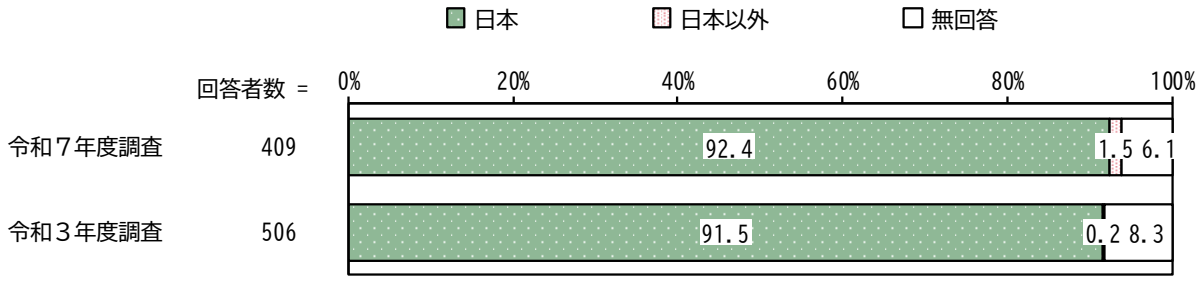


【生活困難度別】
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



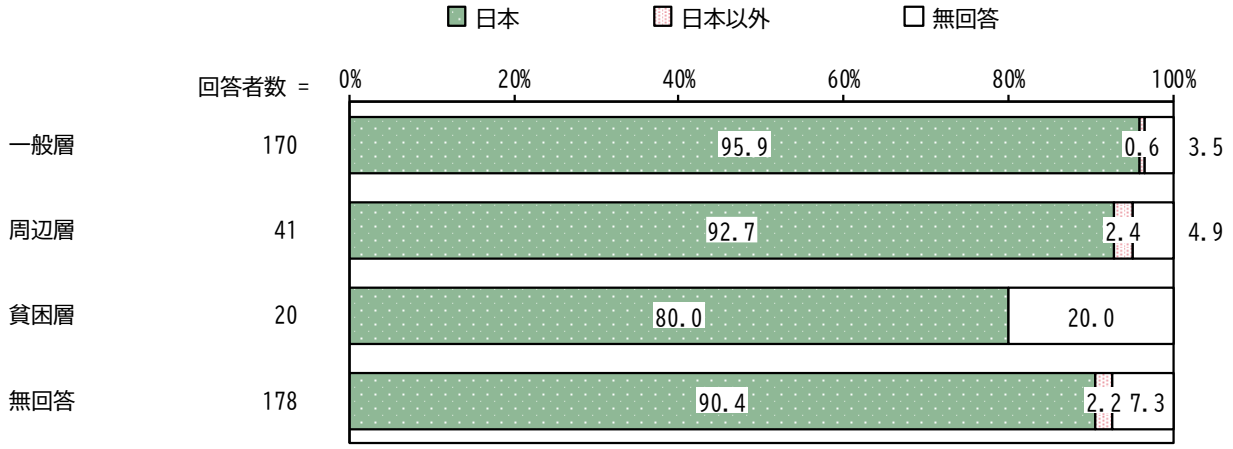
B　父親

「日本」の割合が 92.4%、「日本以外」の割合が 1.5%となっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「日本」の割合が高くなっています。

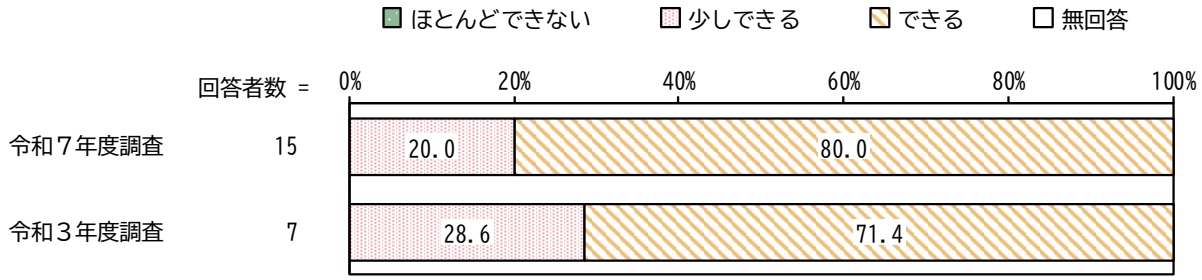


問９のＡ、Ｂのいずれかで「日本以外」を選んだ方にお聞きします。

問９－１　該当するご本人は日本語がどのくらいできますか。（１つに○）

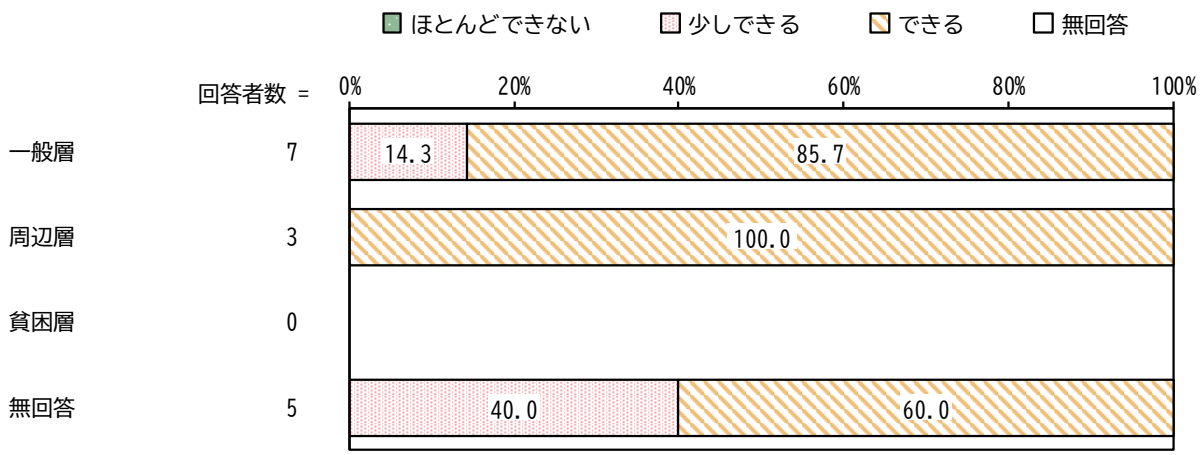
「少しできる」の割合が 20.0%、「できる」の割合が 80.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「できる」の割合が増加しています。一方、「少しできる」の割合が減少しています。



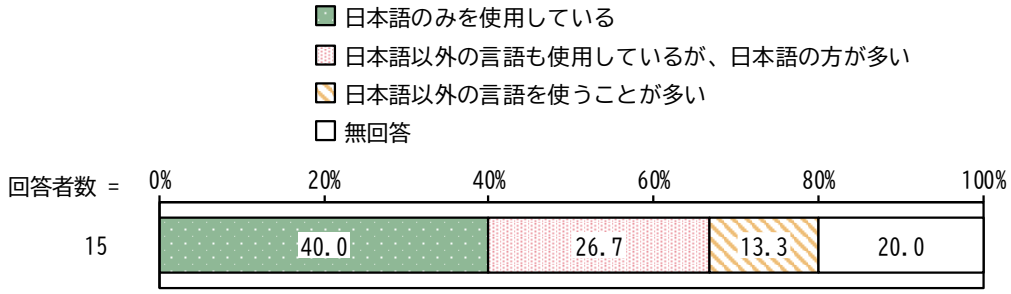
【生活困難度別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



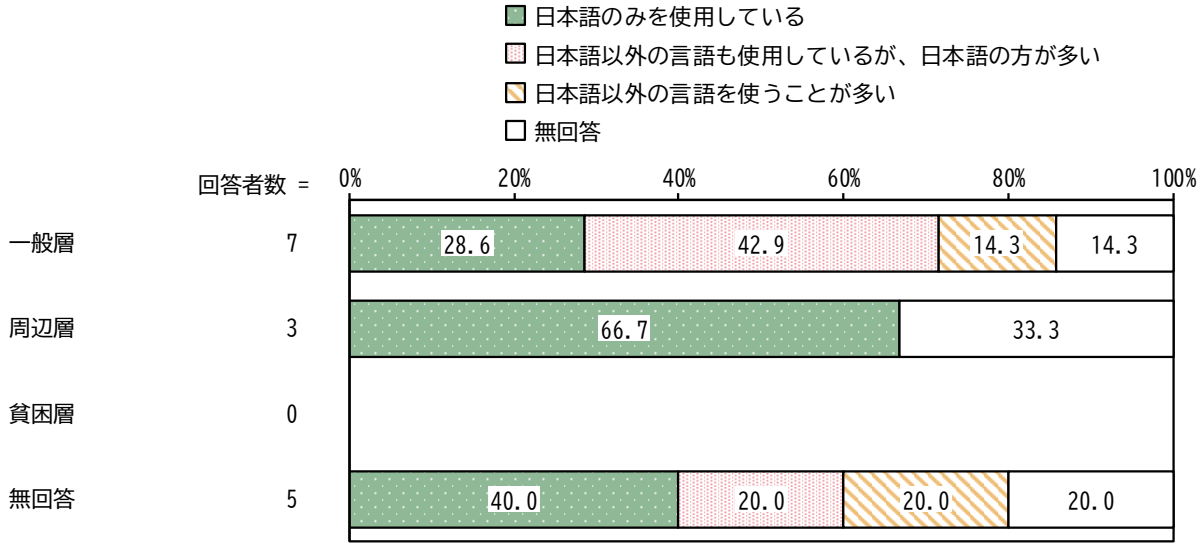
問９－２　ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。（１つに○）

「日本語のみを使用している」の割合が 40.0%、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」の割合が 26.7%、「日本語以外の言語を使うことが多い」の割合が 13.3%となっています。



【生活困難度別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



問９－１で「ほとんどできない」を選んだ方にお聞きします。

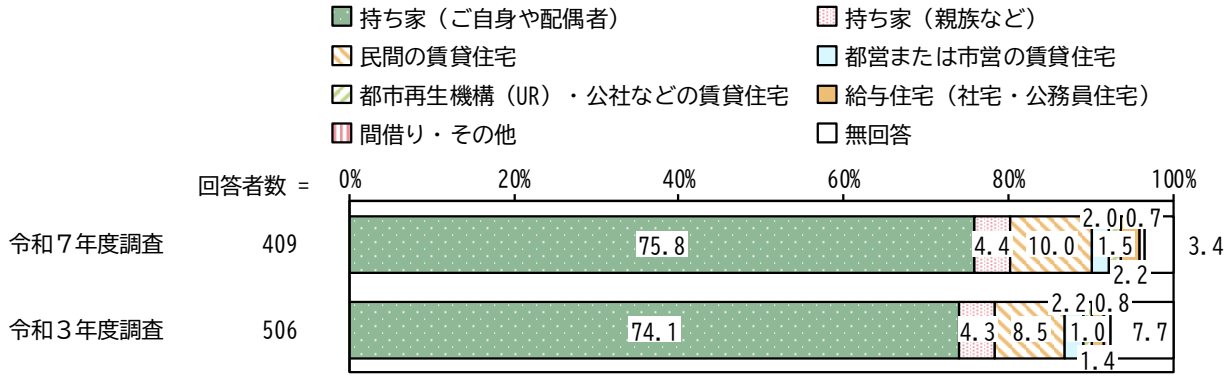
問９－３　日本語通訳などを子どもがすることはありますか。（１つに○）

有効回答者がいませんでした。

問 10　現在お住いの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。（１つに○）

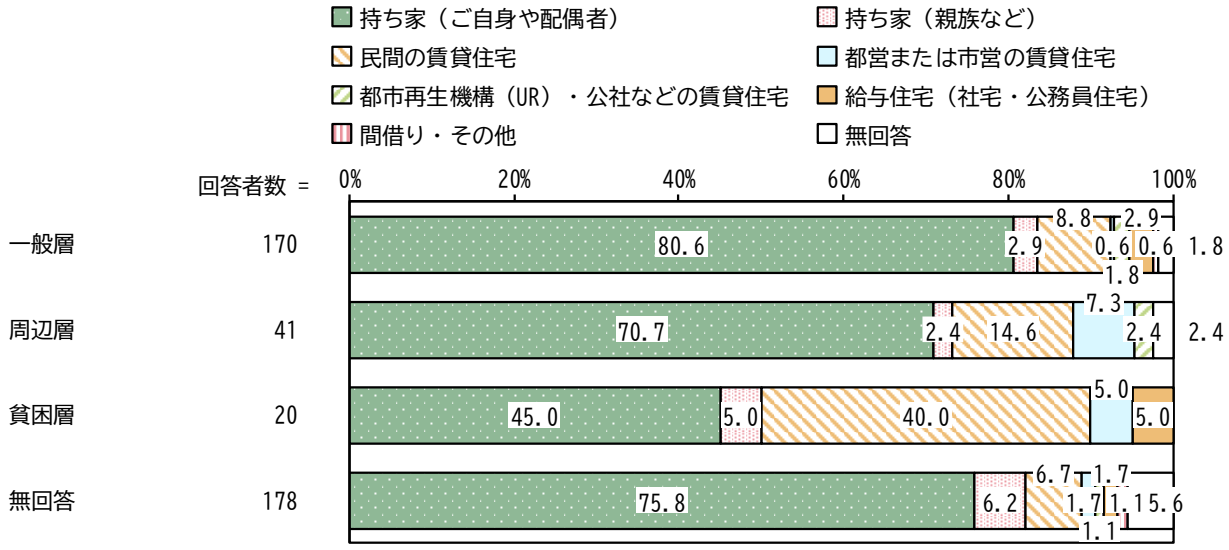
「持ち家（ご自身や配偶者）」の割合が 75.8%と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅」の割合が 10.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「民間の賃貸住宅」の割合が高く、「持ち家（ご自身や配偶者）」の割合が低くなっています。

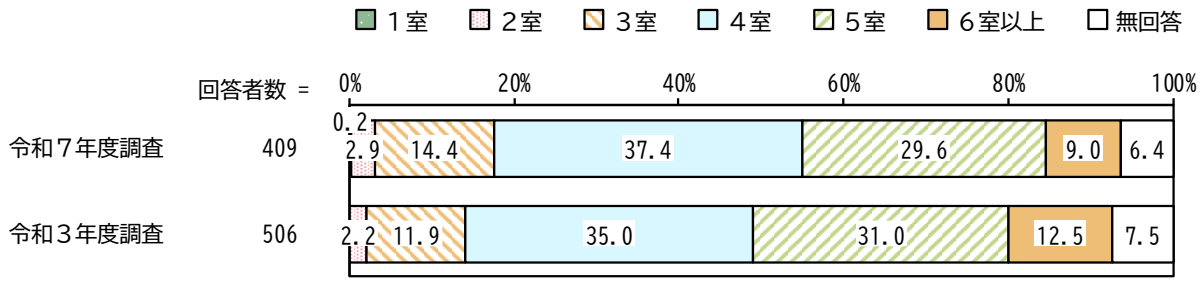


問 11　お住いの住居の室数について、居住用の部屋数（玄関や風呂等は含めない）を教えてください。また、それらの部屋の広さのおおよそ合計を教えてください。（枠内に数字で回答してください）

部屋数(室)

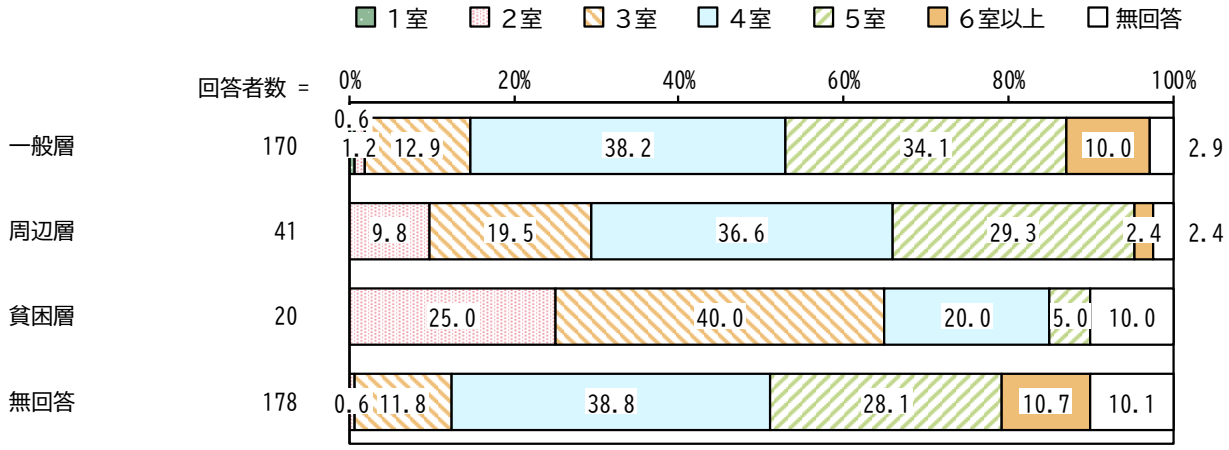
「４室」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「５室」の割合が 29.6%、「３室」の割合が 14.4%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

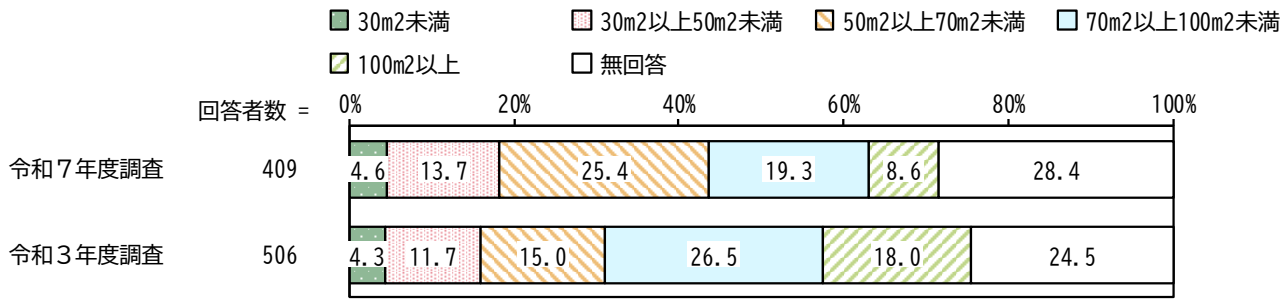
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「４室」「５室」「６室以上」の割合が高く、「２室」「３室」の割合が低くなっています。



部屋の広さの合計（平方メートル）

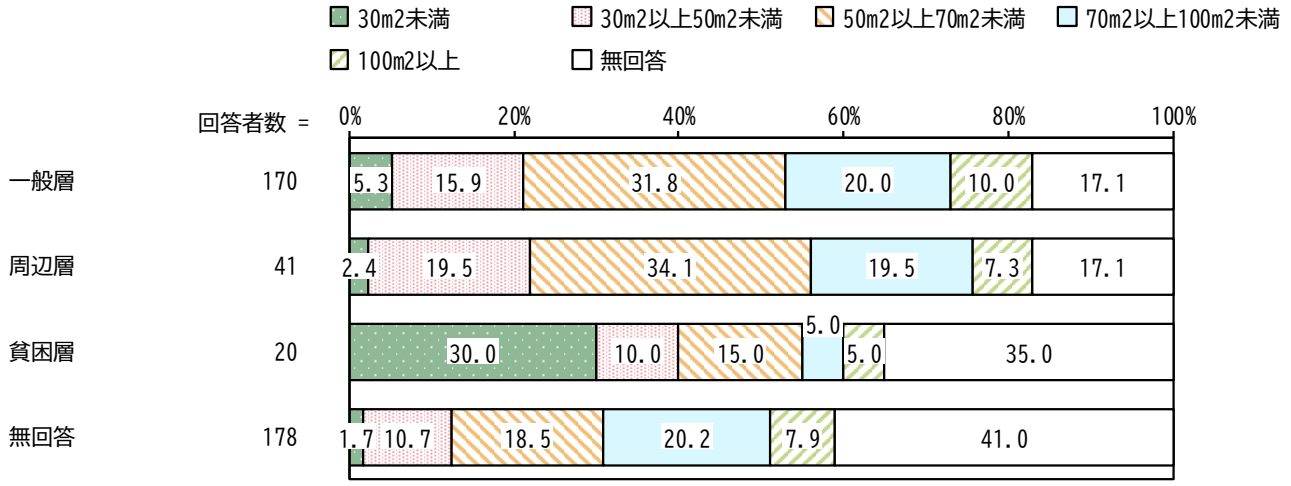
「50m2 以上 70m2 未満」の割合が 25.4%と最も高く、次いで「70m2 以上 100m2 未満」の割合が 19.3%、「30m2 以上 50m2 未満」の割合が 13.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「50m2 以上 70m2 未満」の割合が増加しています。一方、「70m2 以上 100m2 未満」「100m2 以上」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「70m2 以上 100m2 未満」「100m2 以上」の割合が高くなっています。また、貧困層で「50m2 以上 70m2 未満」の割合が低くなっています。

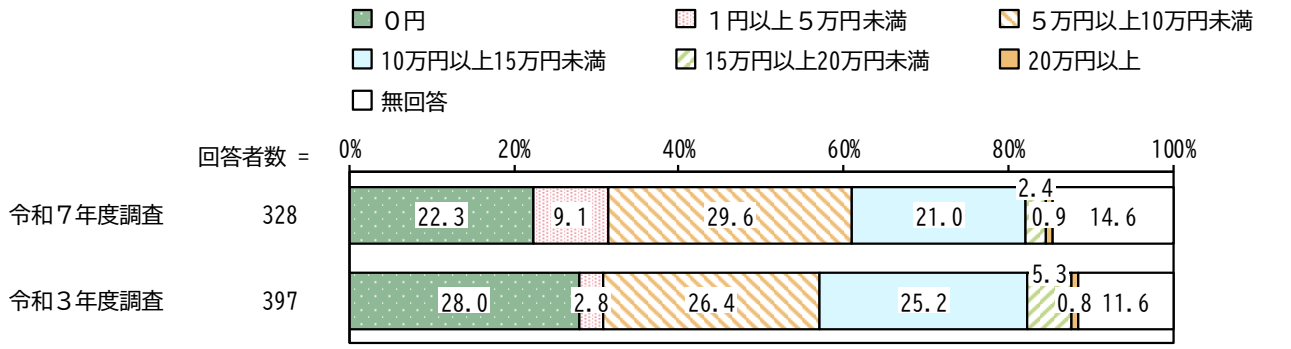


問 12　１か月あたりの住居費負担はいくらですか。持ち家の場合は住宅ローン返済額及び管理費・修繕積立費、賃貸の場合は、家賃又は間代及び共益費または管理費（共用部分の電気料・清掃費など）を教えてください。

A　持ち家【１か月あたりの住宅ローン返済額】（円）

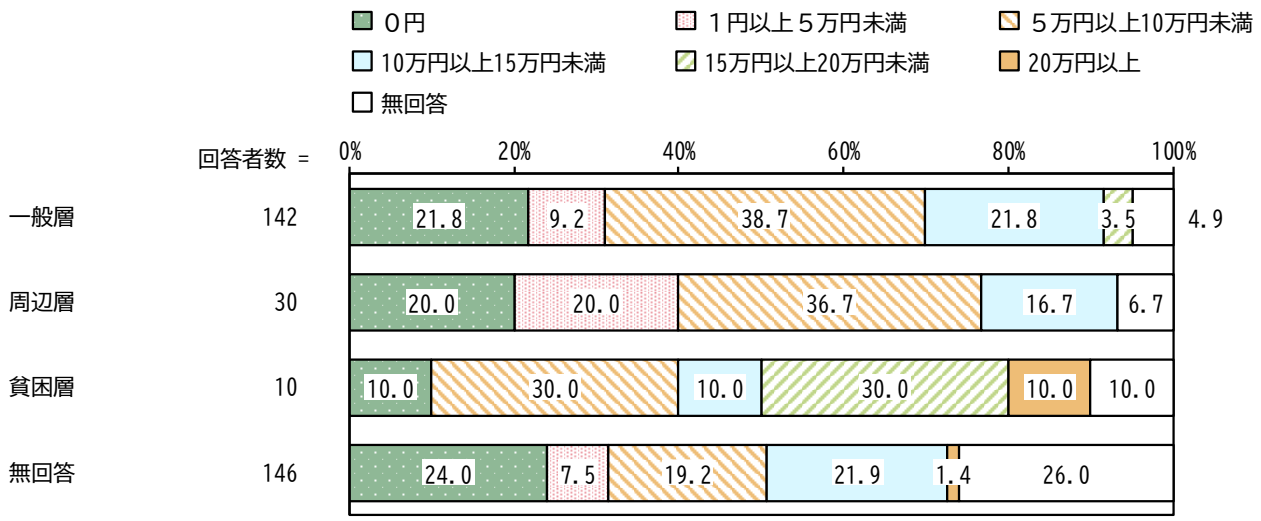
「５万円以上 10 万円未満」の割合が 29.6%と最も高く、次いで「０円」の割合が 22.3%、「10 万円以上 15 万円未満」の割合が 21.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「１円以上５万円未満」の割合が増加しています。一方、「０円」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

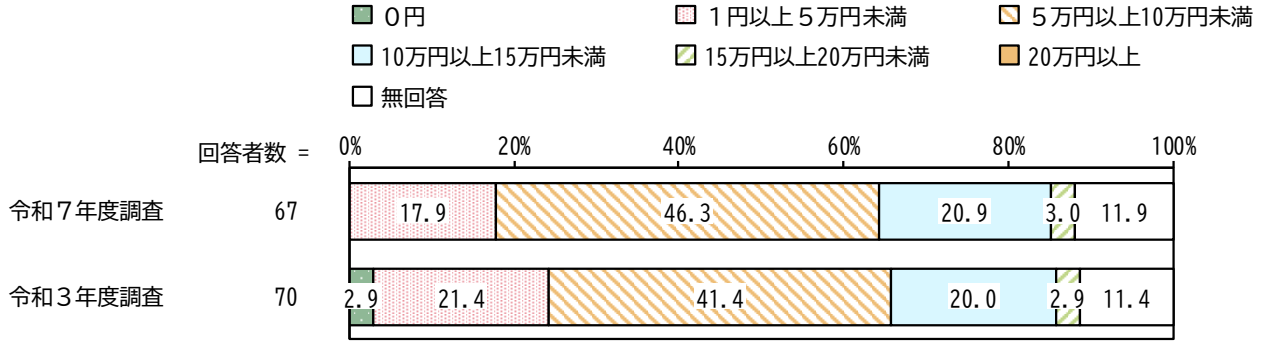
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「０円」「５万円以上 10 万円未満」「10 万円以上 15 万円未満」の割合が高くなっています。



B　賃貸住宅等【１か月あたりの家賃・間代】（円）

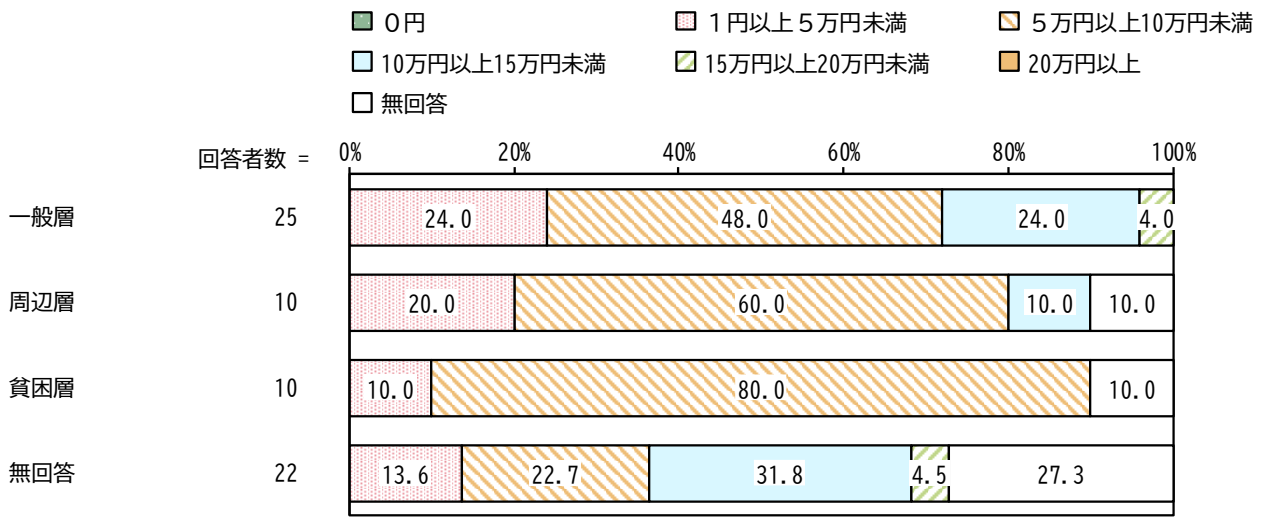
「５万円以上 10 万円未満」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「10 万円以上 15 万円未満」の割合が 20.9%、「１円以上５万円未満」の割合が 17.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

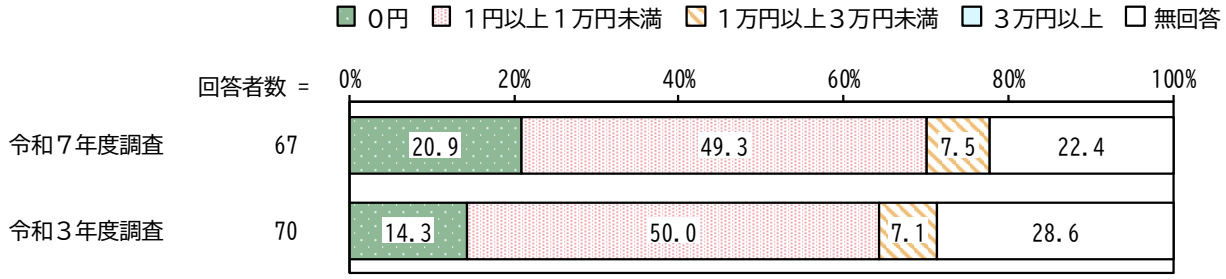
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「１円以上５万円未満」「10 万円以上 15 万円未満」の割合が高く、「５万円以上 10 万円未満」の割合が低くなっています。



B　賃貸住宅等【１か月あたりの共益費・管理費】（円）

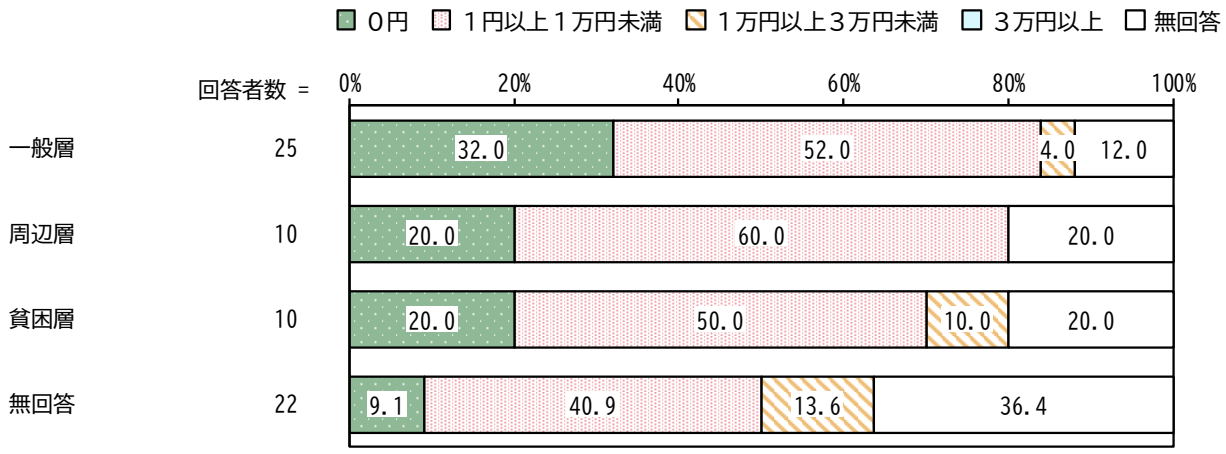
「１円以上１万円未満」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「０円」の割合が 20.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「０円」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、一般層で「０円」、周辺層で「１円以上１万円未満」の割合が高くなっています。



問 13　お子さんの母親の現在の職業は、次のどれに最も近いですか。（１つに○）

「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が 39.6%と最も高く、次いで「民間企業の正社員」の割合が 21.3%、「専業主婦」の割合が 13.7%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	会社役員	民間企業の正社員	公務員などの正職員	契約社員・派遣社員・嘱託社員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者を含む）	自由業	団体職員
全　体	409	2.4	21.3	5.4	6.1	39.6	2.9	1.2	1.5
令和７年度調査	409	2.4	21.3	5.4	6.1	39.6	2.9	1.2	1.5
令和３年度調査	506	1.0	17.2	4.7	8.9	39.1	2.8	0.4	1.6

区分	その他の働き方をしている	専業主婦	学生	引退（定年退職・早期退職）	その他の無職	わからない	母親はいない	無回答
全　体	0.2	13.7	0.0	0.0	1.0	0.7	1.2	2.7
令和７年度調査	0.2	13.7	0.0	0.0	1.0	0.7	1.2	2.7
令和３年度調査	1.0	13.6	0.0	0.2	2.0	0.0	－	7.5

※令和３年度調査では、「母親はいない」がありませんでした。

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「契約社員・派遣社員・嘱託社員」の割合が高く、「専業主婦」の割合が低くなっています。また、貧困層で「民間企業の正社員」、周辺層で「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が高くなっています。

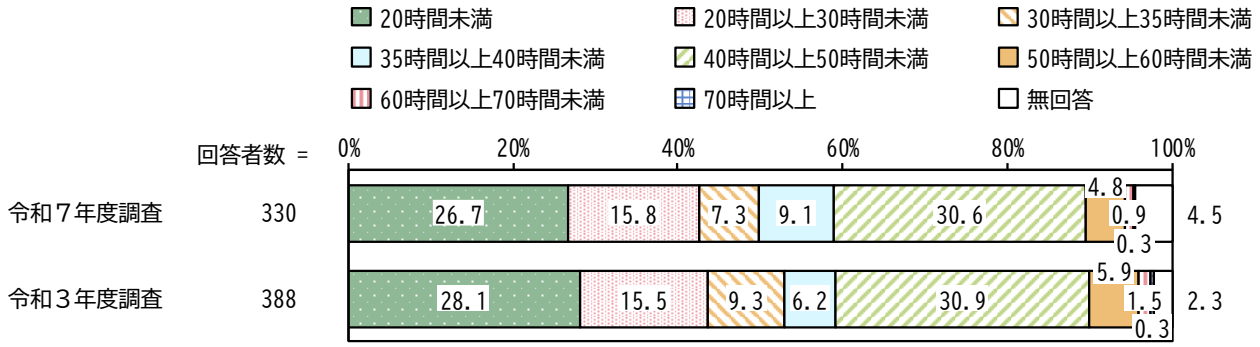
区分	回答者数（件）	会社役員	民間企業の正社員	公務員などの正職員	契約社員・派遣社員・嘱託社員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者を含む）	自由業	団体職員
全　体	409	2.4	21.3	5.4	6.1	39.6	2.9	1.2	1.5
一般層	170	3.5	25.3	8.8	5.3	34.1	3.5	2.4	1.2
周辺層	41	2.4	14.6	2.4	7.3	53.7	4.9	2.4	2.4
貧困層	20	0.0	55.0	0.0	10.0	25.0	0.0	0.0	5.0
無回答	178	1.7	15.2	3.4	6.2	43.3	2.2	0.0	1.1

区分	その他の働き方をしている	専業主婦	学生	引退（定年退職・早期退職）	その他の無職	わからない	母親はいない	無回答
全　体	0.2	13.7	0.0	0.0	1.0	0.7	1.2	2.7
一般層	0.0	12.9	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2	0.6
周辺層	0.0	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0
貧困層	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.6	16.9	0.0	0.0	1.1	1.7	1.1	5.6

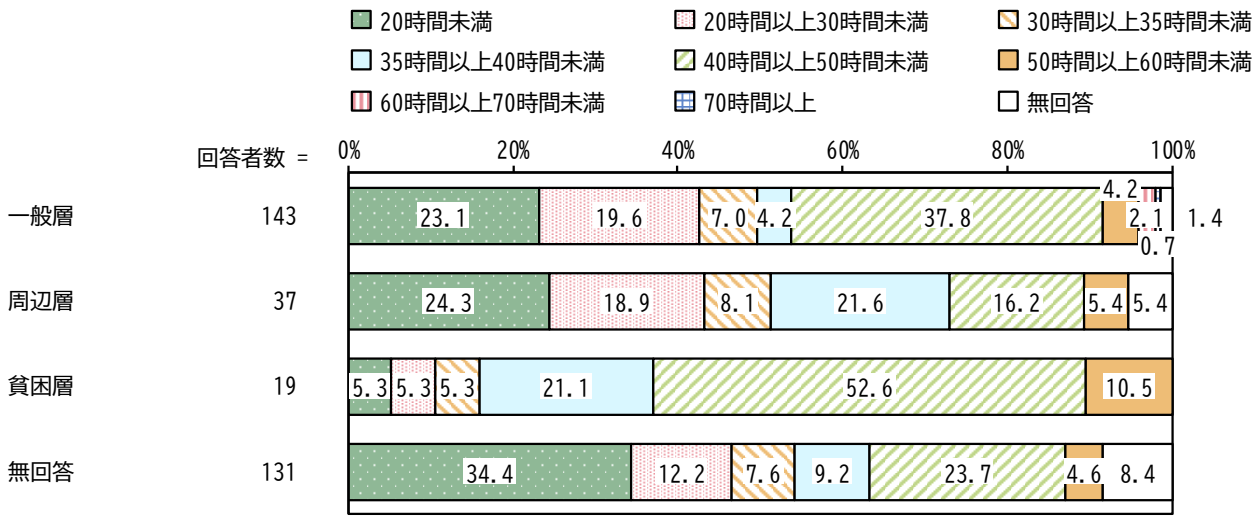
問 13 で母親の職業に「会社役員」～「その他の働き方をしている」を選んだ方にお聞きします。

問 13－１　お子さんの母親は、１週間に平均何時間、お仕事をされていますか。
（枠内に数字で回答してください）
※複数のお仕事を持っている場合は合算してください。

「40 時間以上 50 時間未満」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「20 時間未満」の割合が 26.7%、「20 時間以上 30 時間未満」の割合が 15.8%となっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



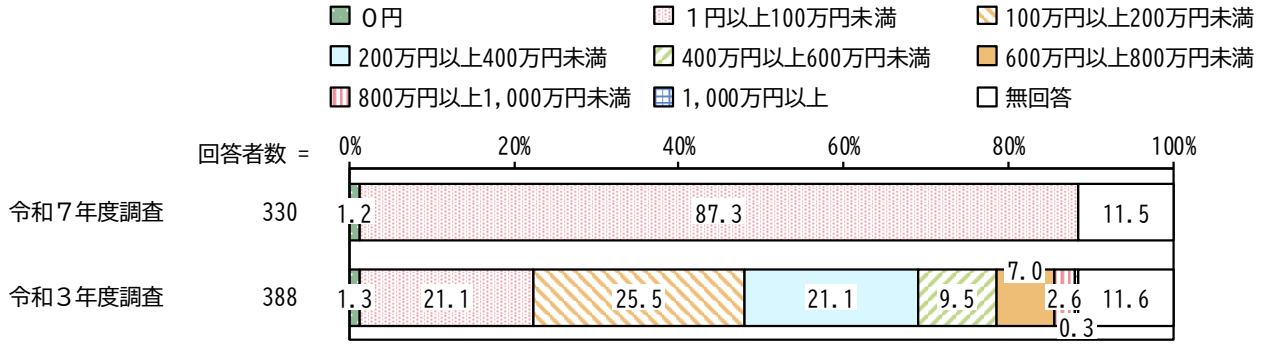
【生活困難度別】
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「50 時間以上 60 時間未満」の割合が高く、「20 時間以上 30 時間未満」の割合が低くなっています。



問 13－２　昨年１年間（2024 年１月～12 月）を合計した、お子さんの母親のお仕事からの収入（税込み）はおよそいくらですか。（枠内に数字で回答してください）
※総支給額（万円）をご記載ください

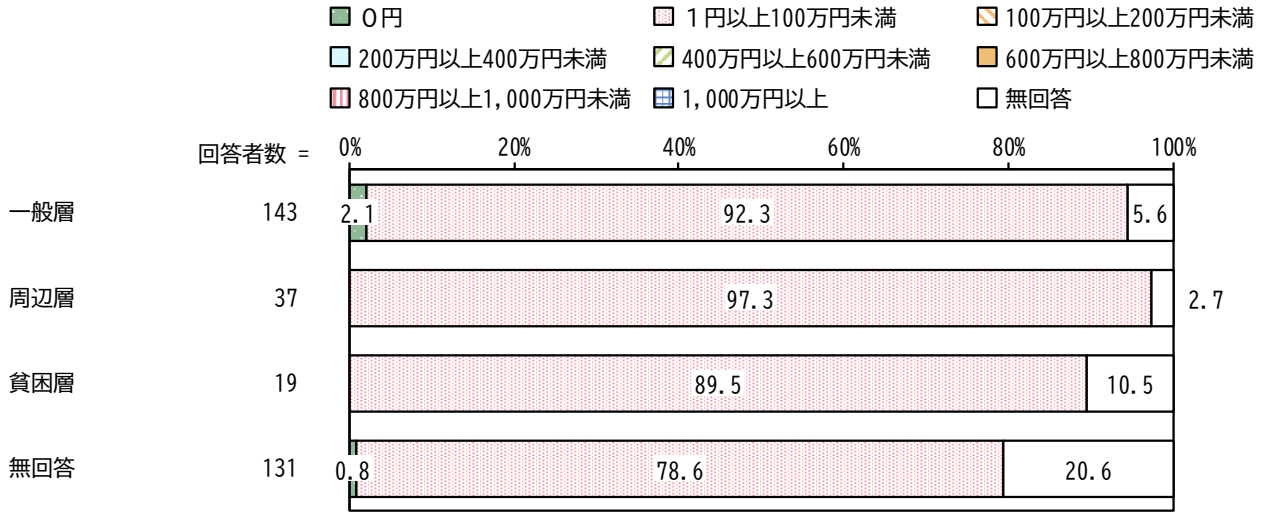
「１円以上 100 万円未満」の割合が 87.3%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、「１円以上 100 万円未満」の割合が増加しています。一方、「100 万円以上 200 万円未満」「200 万円以上 400 万円未満」「400 万円以上 600 万円未満」「600 万円以上 800 万円未満」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

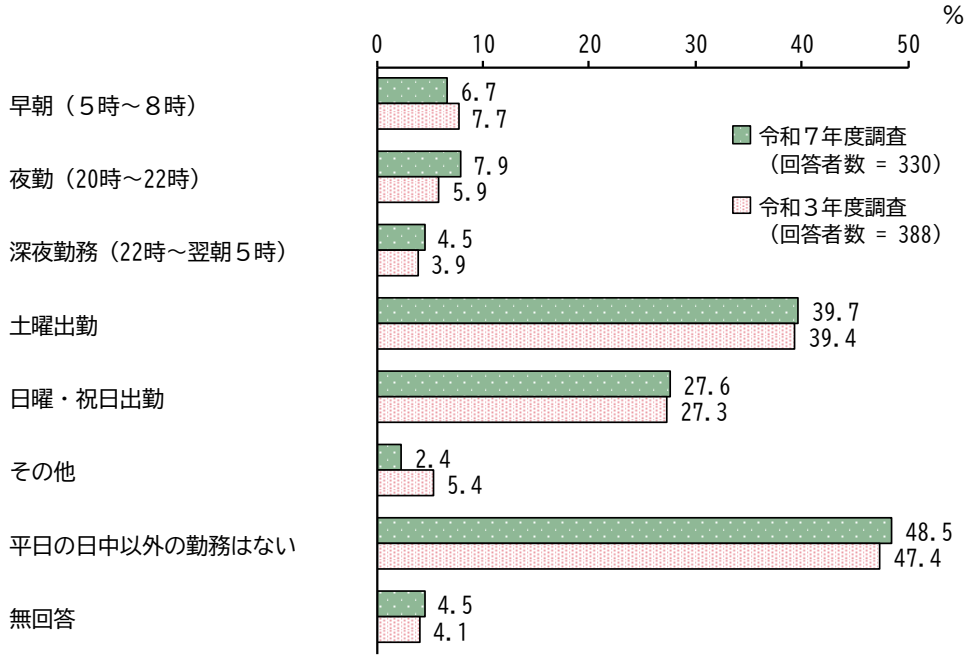
生活困難度別にみると、周辺層で「１円以上 100 万円未満」の割合が高くなっています。



問 13－３　母親は、平日の日中以外の勤務がありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「平日の日中以外の勤務はない」の割合が 48.5%と最も高く、次いで「土曜出勤」の割合が 39.7%、「日曜・祝日出勤」の割合が 27.6%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「平日の日中以外の勤務はない」の割合が高く、困難度が小さいほど「平日の日中以外の勤務はない」の割合が高くなっています。

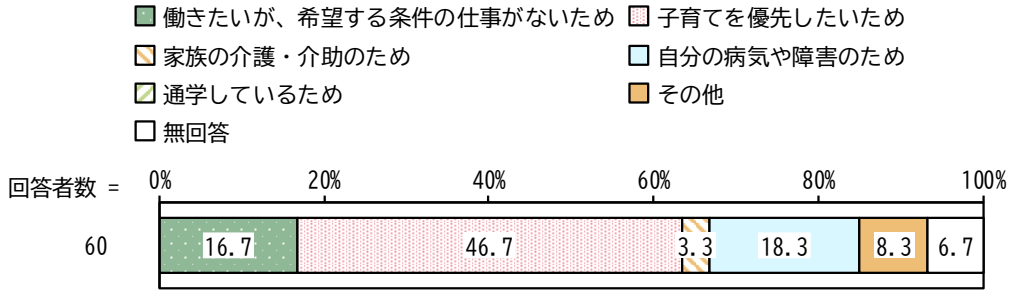
単位：%

区分	回答者数（件）	早朝（5時～8時）	夜勤（20時～22時）	深夜勤務（22時～翌朝5時）	土曜出勤	日曜・祝日出勤	その他	平日の日中以外の勤務はない	無回答
全　体	330	6.7	7.9	4.5	39.7	27.6	2.4	48.5	4.5
一般層	143	7.7	9.8	4.9	40.6	30.8	0.7	52.4	2.8
周辺層	37	2.7	5.4	2.7	35.1	29.7	2.7	48.6	5.4
貧困層	19	10.5	10.5	10.5	52.6	42.1	0.0	36.8	0.0
無回答	131	6.1	6.1	3.8	38.2	21.4	4.6	45.8	6.9

問 13 で母親の職業に「専業主婦」～「その他の無職」を選んだ方にお聞きします。

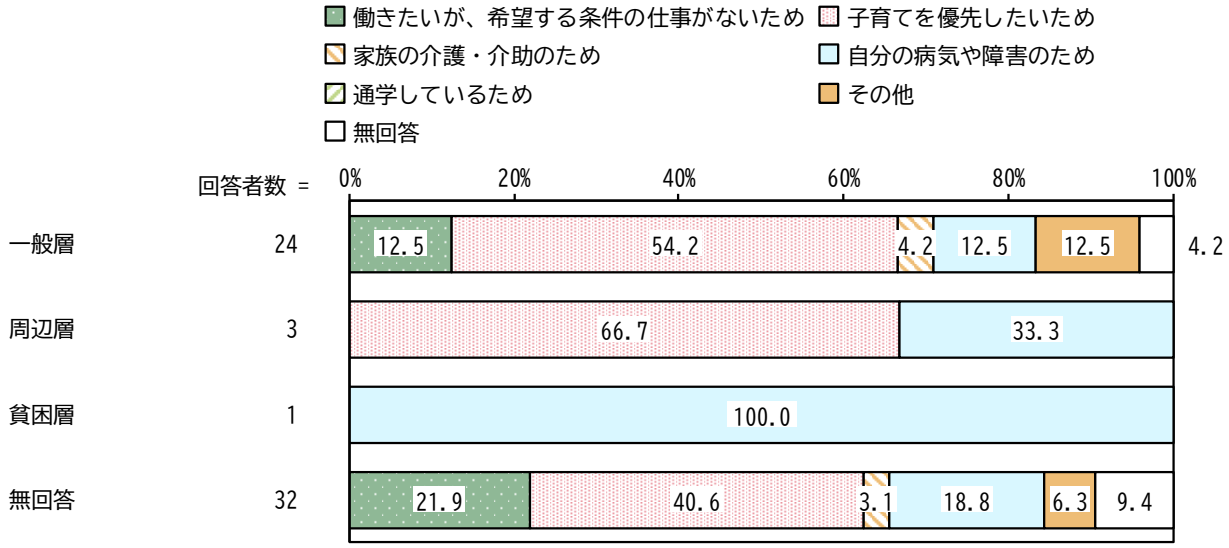
問 13－４　働いていない最も主な理由を教えてください。（１つに○）

「子育てを優先したいため」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「自分の病気や障害のため」の割合が 18.3%、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」の割合が 16.7%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「自分の病気や障害のため」の割合が高く、周辺層から貧困層まで困難度が小さいほど「子育てを優先したいため」の割合が高くなっています。



問 14　お子さんの父親の現在の職業は、次のどれに最も近いですか。（１つに○）

「民間企業の正社員」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「公務員などの正職員」の割合が 10.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	会社役員	民間企業の正社員	公務員などの正職員	契約社員・派遣社員・嘱託社員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者を含む）	自由業	団体職員
全　体	409	6.4	57.0	10.0	2.0	1.2	5.1	1.0	1.2
令和７年度調査	409	6.4	57.0	10.0	2.0	1.2	5.1	1.0	1.2
令和３年度調査	506	7.3	56.9	7.1	1.0	1.0	6.9	0.4	3.6

区分	その他の働き方をしている	専業主夫	学生	引退（定年退職・早期退職）	その他の無職	わからない	父親はいない	無回答
全　体	0.5	0.0	0.0	0.7	0.2	2.4	6.1	6.1
令和７年度調査	0.5	0.0	0.0	0.7	0.2	2.4	6.1	6.1
令和３年度調査	0.6	0.0	0.0	0.4	0.8	0.6	－	13.4

※令和３年度調査では、「父親はいない」がありませんでした。

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「民間企業の正社員」「公務員などの正職員」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	会社役員	民間企業の正社員	公務員などの正職員	契約社員・派遣社員・嘱託社員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者を含む）	自由業	団体職員
全　体	409	6.4	57.0	10.0	2.0	1.2	5.1	1.0	1.2
一般層	170	5.9	62.9	12.4	2.4	0.6	5.3	0.6	1.2
周辺層	41	4.9	51.2	4.9	2.4	4.9	2.4	0.0	0.0
貧困層	20	10.0	30.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
無回答	178	6.7	55.6	10.1	1.7	1.1	5.1	1.7	1.7

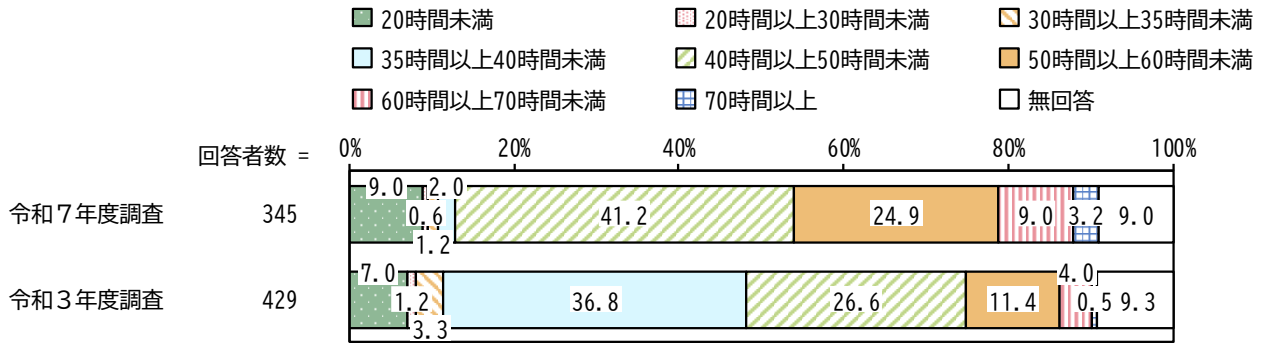
区分	その他の働き方をしている	専業主夫	学生	引退（定年退職・早期退職）	その他の無職	わからない	父親はいない	無回答
全　体	0.5	0.0	0.0	0.7	0.2	2.4	6.1	6.1
一般層	1.2	0.0	0.0	1.2	0.0	2.4	2.9	1.2
周辺層	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	7.3	14.6	4.9
貧困層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	35.0	10.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.1	3.9	10.7

問 14 で父親の職業に「会社役員」～「その他の働き方をしている」を選んだ方にお聞きします。

問 14－１　お子さんの父親は、１週間に平均何時間、お仕事をされていますか。
（枠内に数字で回答してください）
※複数のお仕事を持っている場合は合算してください。

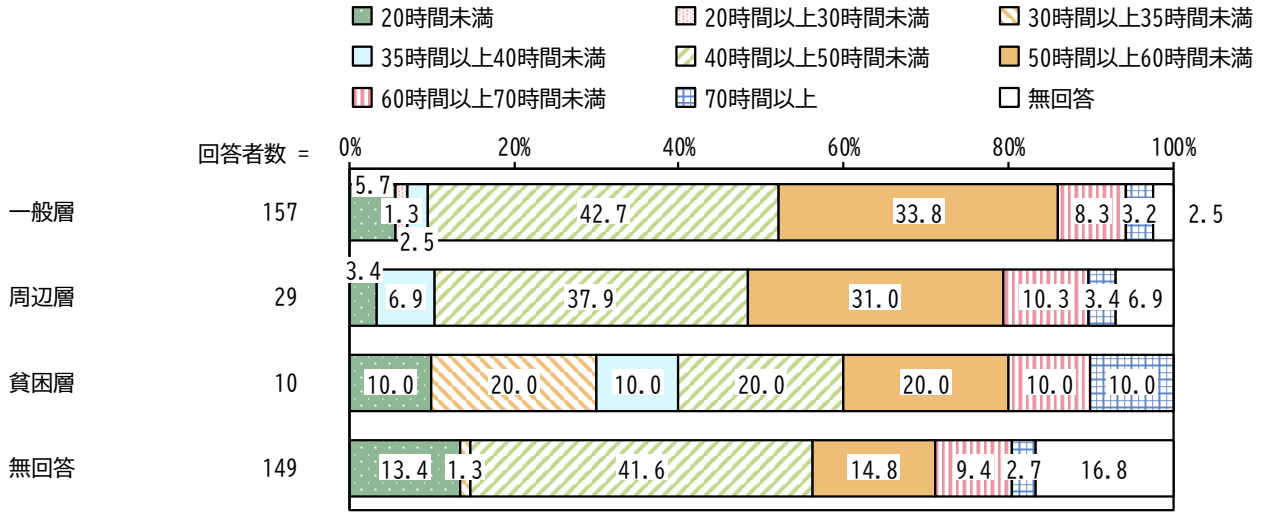
「40 時間以上 50 時間未満」の割合が 41.2%と最も高く、次いで「50 時間以上 60 時間未満」の割合が 24.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「40 時間以上 50 時間未満」「50 時間以上 60 時間未満」の割合が増加しています。一方、「35 時間以上 40 時間未満」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

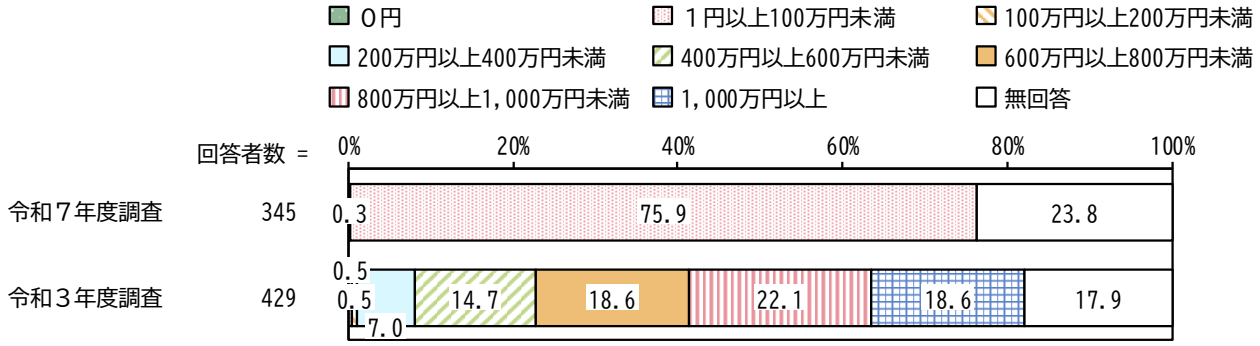
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「35 時間以上 40 時間未満」「70 時間以上」の割合が高く、「40 時間以上 50 時間未満」「50 時間以上 60 時間未満」の割合が低くなっています。



問 14－２　昨年１年間（2024 年１月～12 月）を合計した、お子さんの父親のお仕事からの収入（税込み）はおよそいくらですか。（枠内に数字で回答してください）
※総支給額（万円）をご記載ください

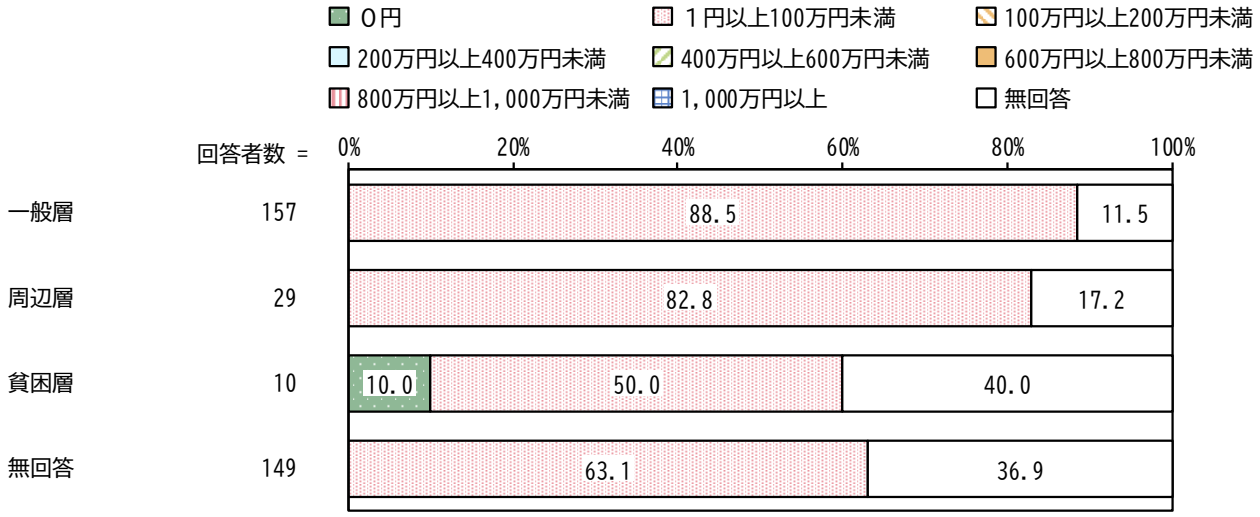
「１円以上 100 万円未満」の割合が 75.9%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、「１円以上 100 万円未満」の割合が増加しています。一方、「200 万円以上 400 万円未満」「400 万円以上 600 万円未満」「600 万円以上 800 万円未満」「800 万円以上 1,000 万円未満」「1,000 万円以上」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

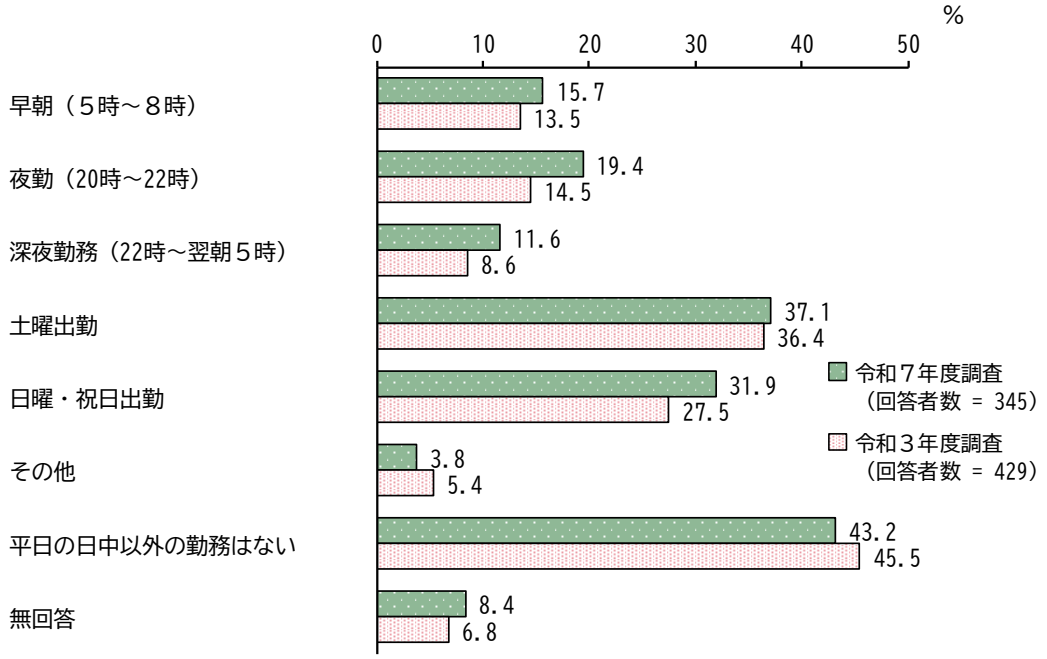
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「１円以上 100 万円未満」の割合が高くなっています。



問 14－３　父親は、平日の日中以外の勤務がありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「平日の日中以外の勤務はない」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「土曜出勤」の割合が 37.1%、「日曜・祝日出勤」の割合が 31.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「早朝（５時～８時）」「夜勤（20 時～22 時）」「深夜勤務（22 時～翌朝５時）」「土曜出勤」「日曜・祝日出勤」の割合が高くなっています。

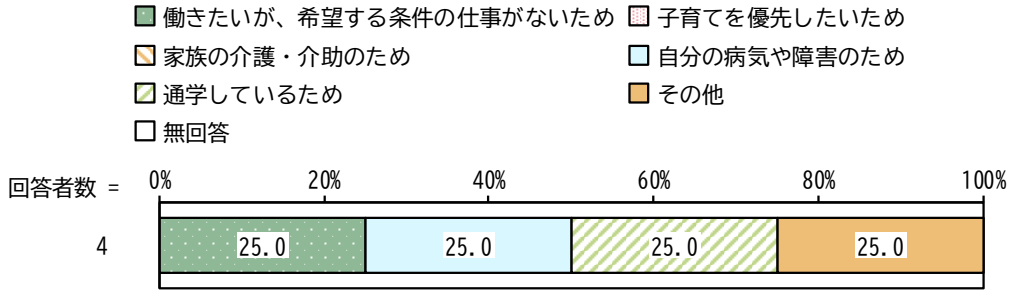
単位：%

区分	回答者数（件）	早朝（5時～8時）	夜勤（20時～22時）	深夜勤務（22時～翌朝5時）	土曜出勤	日曜・祝日出勤	その他	平日の日中以外の勤務はない	無回答
全　体	345	15.7	19.4	11.6	37.1	31.9	3.8	43.2	8.4
一般層	157	19.1	20.4	11.5	41.4	31.8	4.5	40.8	4.5
周辺層	29	10.3	13.8	10.3	37.9	31.0	3.4	41.4	10.3
貧困層	10	30.0	30.0	30.0	50.0	70.0	10.0	10.0	10.0
無回答	149	12.1	18.8	10.7	31.5	29.5	2.7	48.3	12.1

問 14 で父親の職業に「専業主夫」～「その他の無職」を選んだ方にお聞きします。

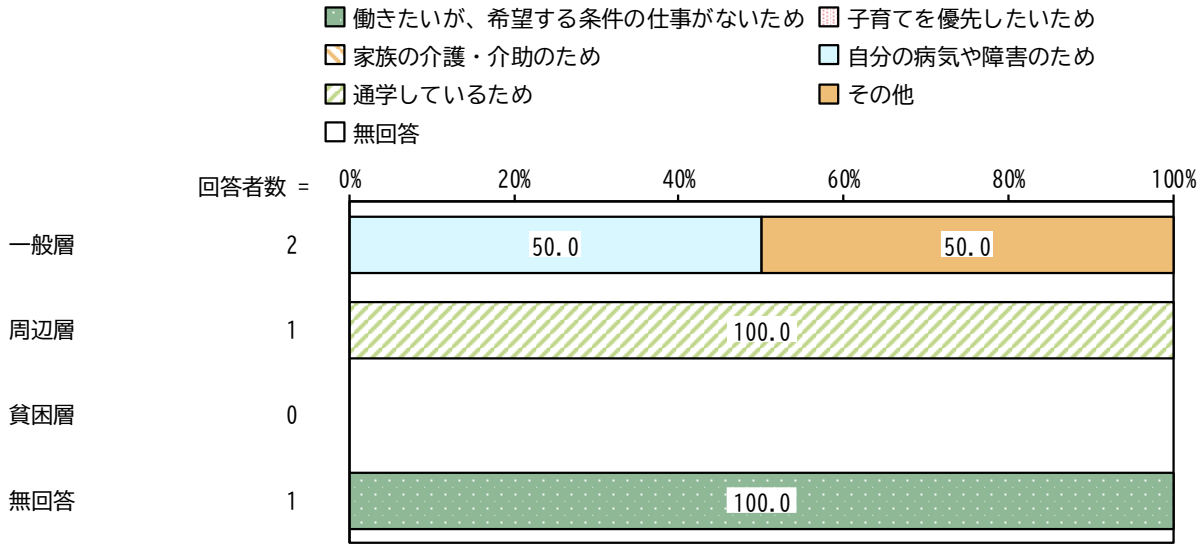
問 14－４　働いていない最も主な理由を教えてください。（１つに○）

「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」、「自分の病気や障害のため」、「通学しているため」が１件となっています。



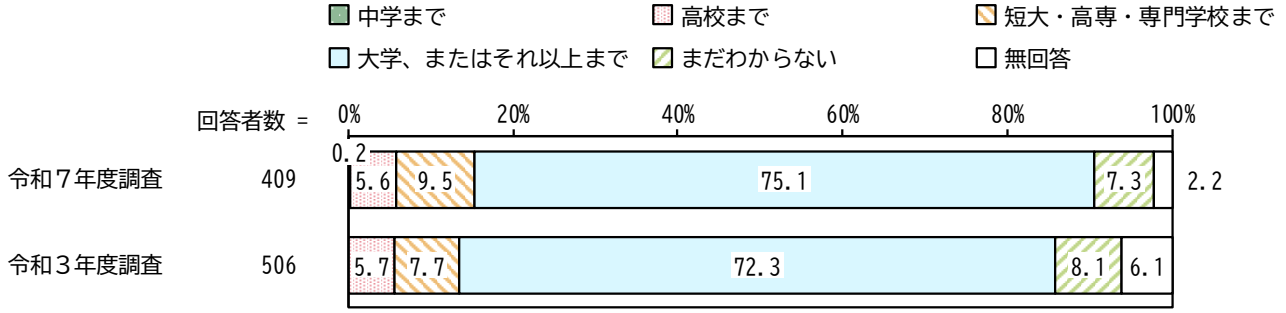
【生活困難度別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



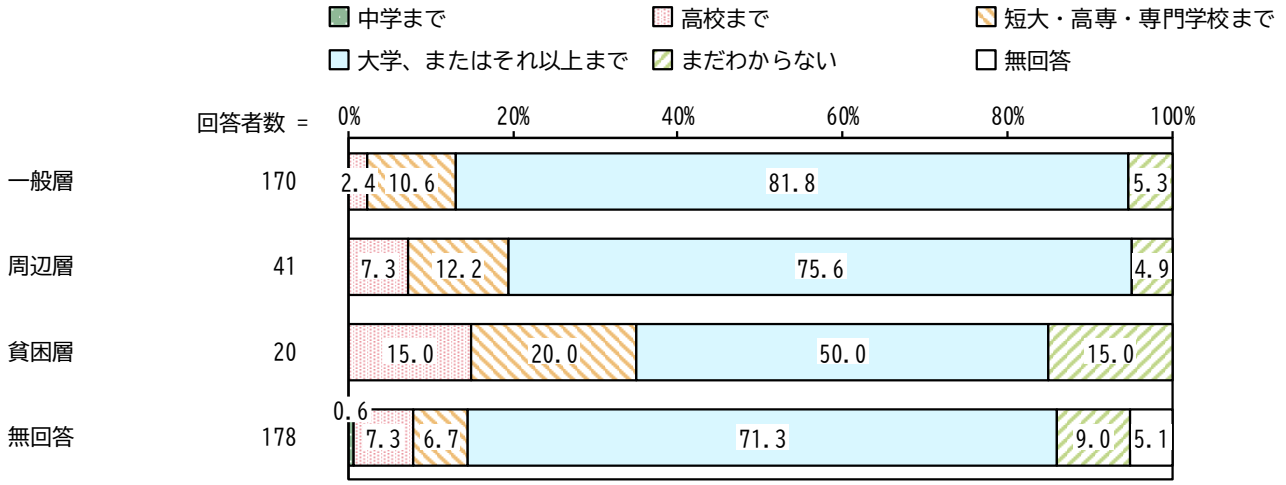
問 15　お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと思いますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。（１つに○）

「大学、またはそれ以上まで」の割合が 75.1%と最も高くなっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

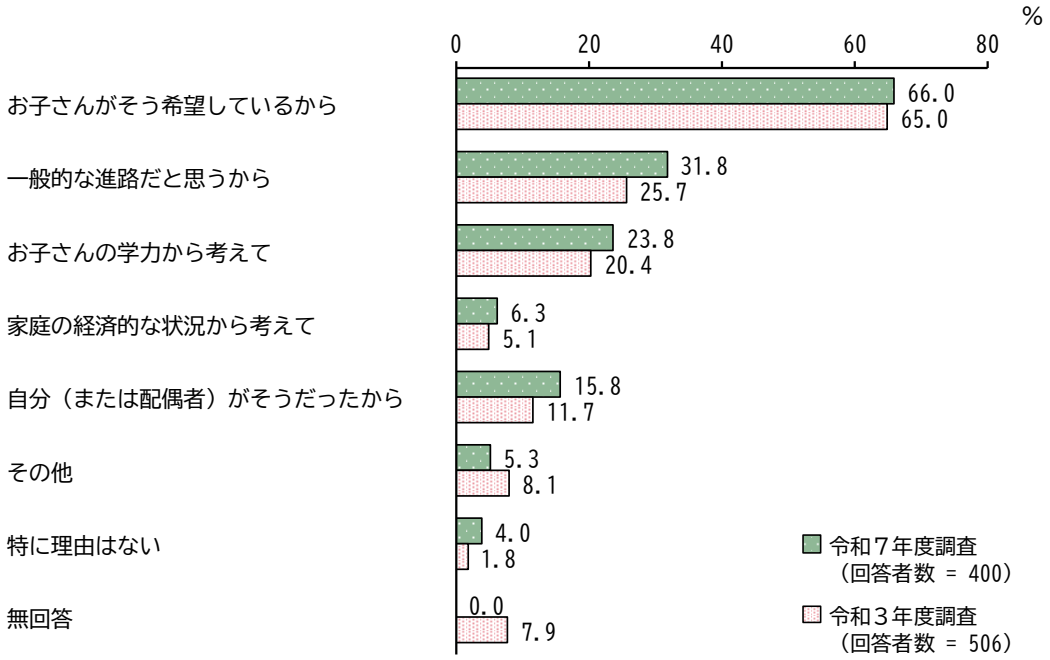
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「高校まで」「短大・高専・専門学校まで」の割合が高く、「大学、またはそれ以上まで」の割合が低くなっています。



問 16　問 15 で、なぜそれを選んだのか、その理由を答えてください。（あてはまる番号すべてに○）

「お子さんがそう希望しているから」の割合が 66.0%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」の割合が 31.8%、「お子さんの学力から考えて」の割合が 23.8%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「一般的な進路だと思うから」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

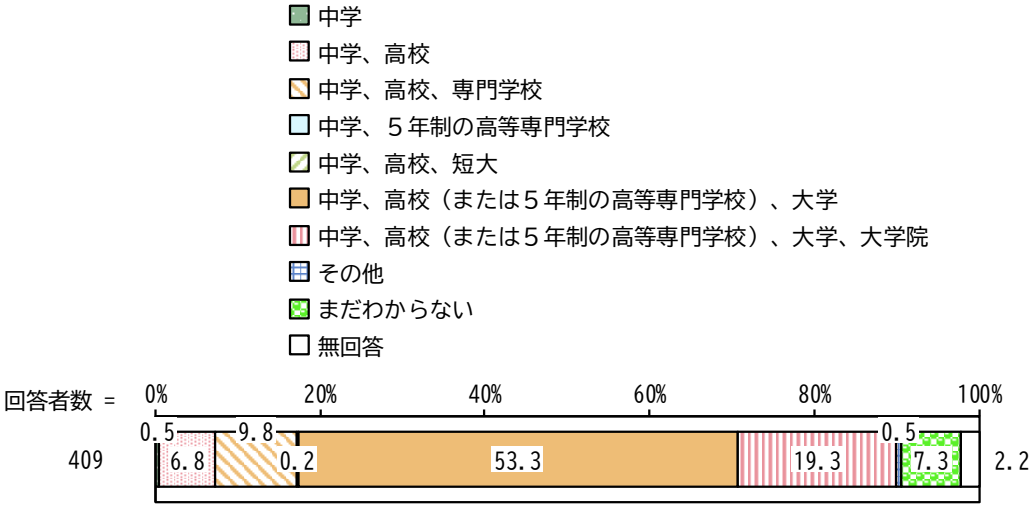
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「一般的な進路だと思うから」「お子さんの学力から考えて」「自分（または配偶者）がそうだったから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	お子さんがそう希望しているから	一般的な進路だと思うから	お子さんの学力から考えて	家庭の経済的な状況から考えて	自分（または配偶者）がそうだったから	その他	特に理由はない	無回答
全　体	400	66.0	31.8	23.8	6.3	15.8	5.3	4.0	0.0
一般層	170	65.9	38.2	21.2	7.6	19.4	6.5	3.5	0.0
周辺層	41	63.4	31.7	17.1	2.4	14.6	12.2	2.4	0.0
貧困層	20	70.0	15.0	15.0	20.0	5.0	10.0	0.0	0.0
無回答	169	66.3	27.2	29.0	4.1	13.6	1.8	5.3	0.0

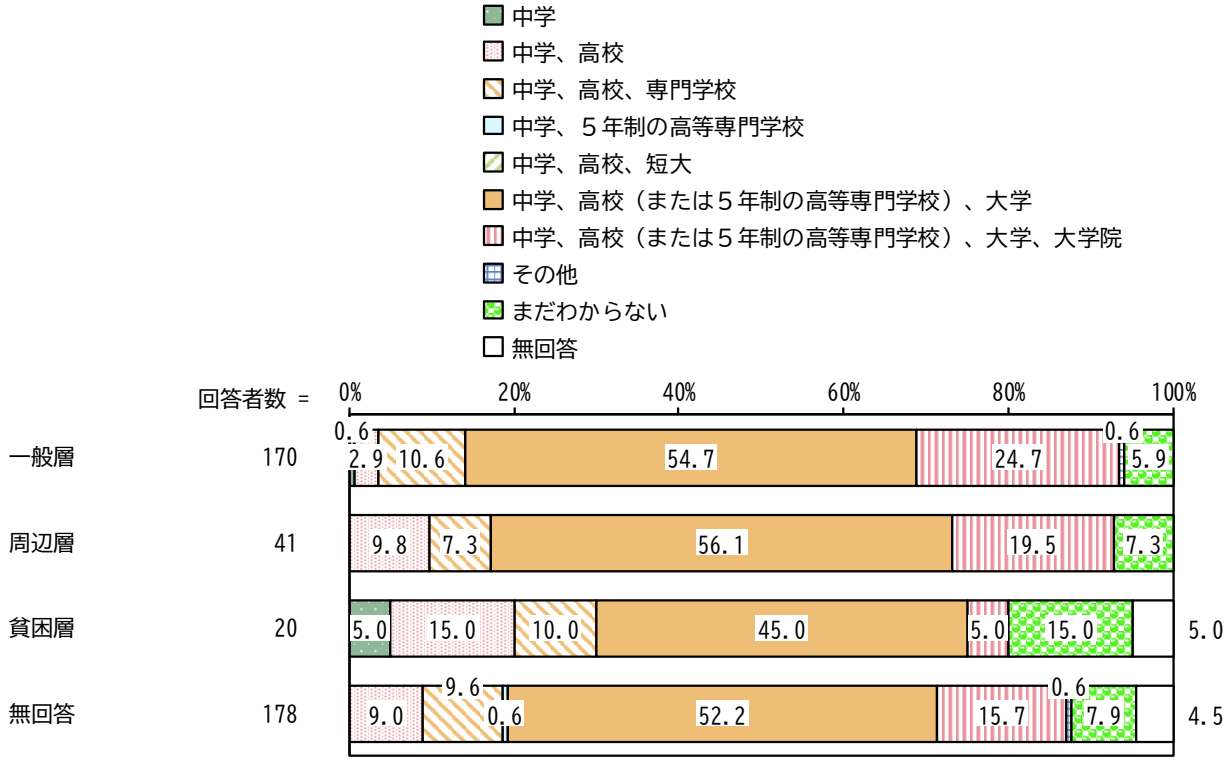
問 17　お子さんは将来、現実的に見てどの学校まで進学すると思いますか。（あてはまるもの ひとつに○）

「中学、高校（または５年制の高等専門学校）、大学」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「中学、高校（または５年制の高等専門学校）、大学、大学院」の割合が 19.3%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「中学、高校」、一般層で「中学、高校（または５年制の高等専門学校）、大学、大学院」の割合が高く、貧困層で「中学、高校（または５年制の高等専門学校）、大学」の割合が低くなっています。

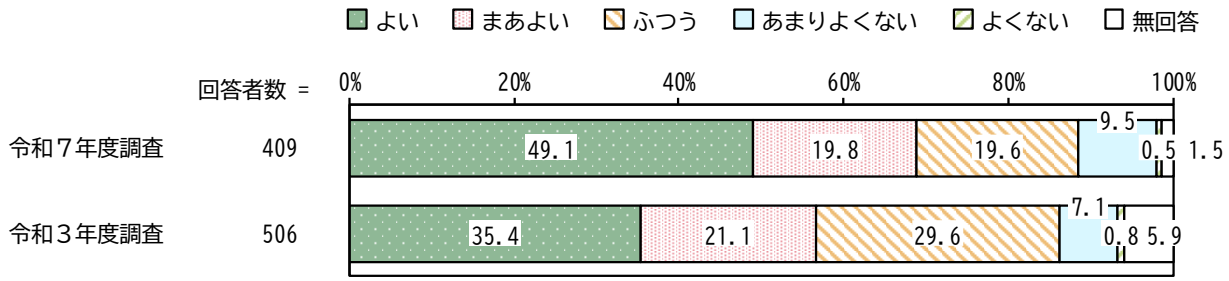


問 18　あなたとお子さんの健康状態についてお聞きします。それぞれ、最も近いものに○をつけてください。

問 18－１　あなた（回答者）（１つに○）

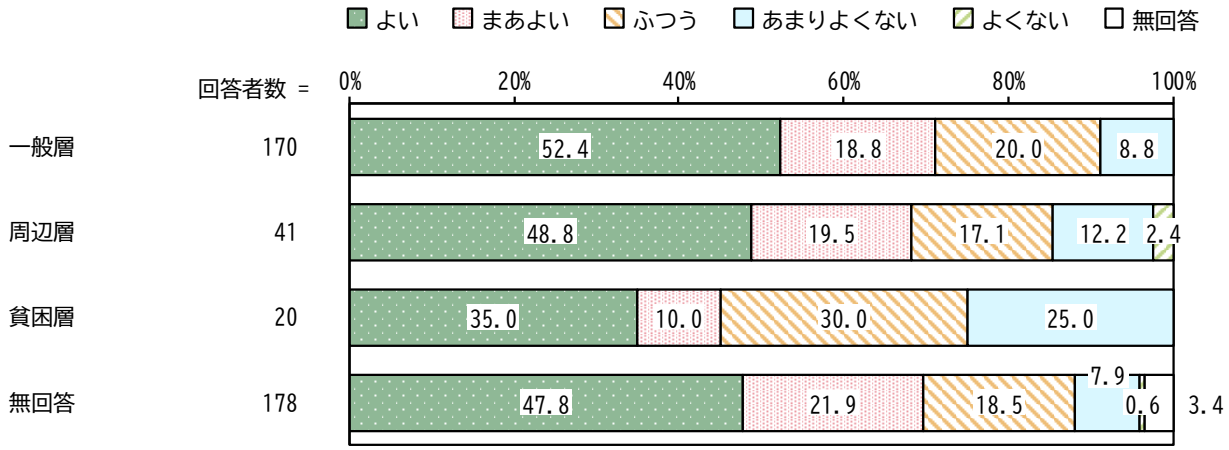
「よい」「まあよい」を合わせた“よい”の割合が 68.9%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”の割合が 10.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、“よい”の割合が増加しています。



【生活困難度別】

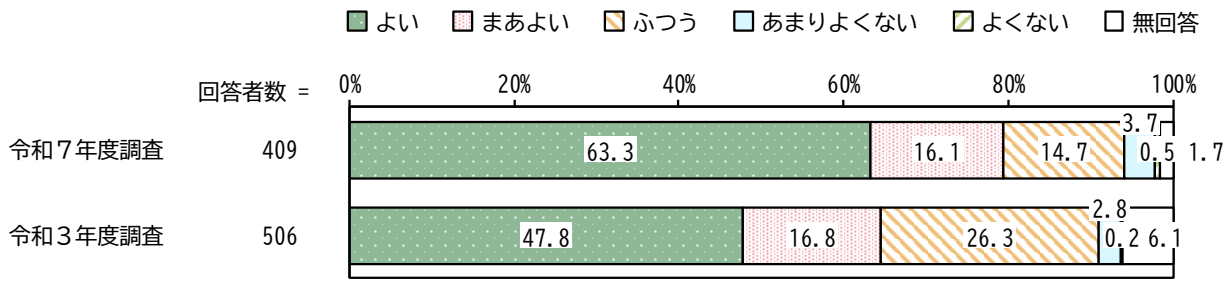
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど“よくない”の割合が高くなっています。また、貧困層で「よい」の割合が低くなっています。



問 18－２　お子さん（１つに○）

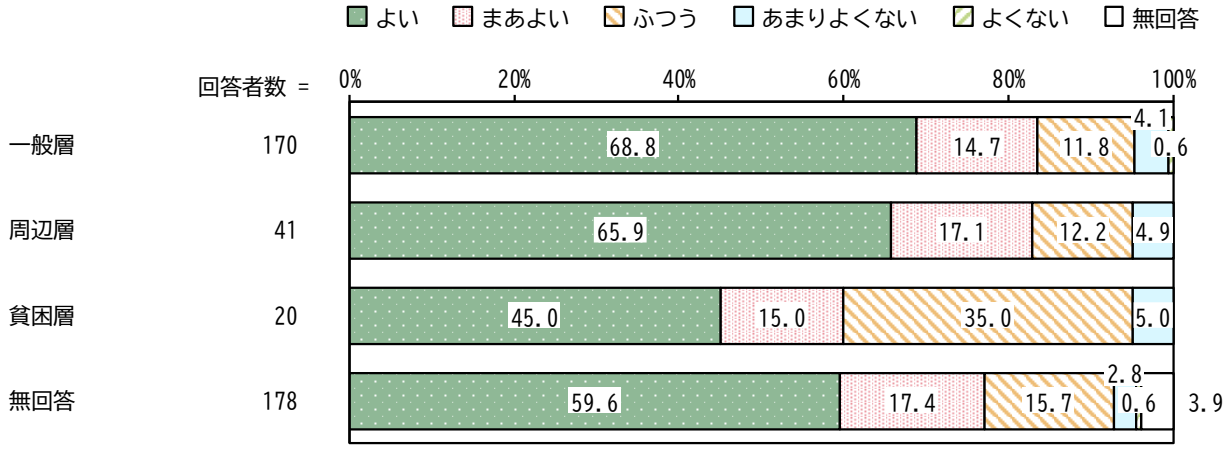
「よい」「まあよい」を合わせた“よい”の割合が 79.4%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”の割合が 4.2%となっています。

令和３年度調査と比較すると、“よい”の割合が増加しています。



【生活困難度別】

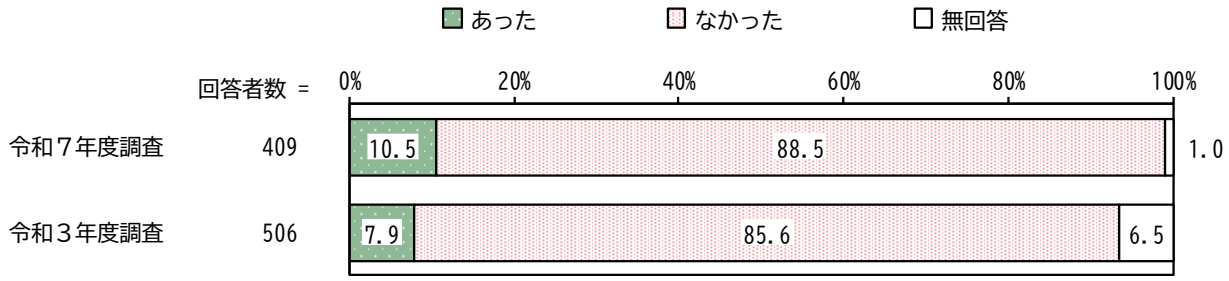
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど“よい”の割合が高くなっています。また、貧困層で「よい」の割合が低くなっています。



問 19　過去１年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。（１つに○）

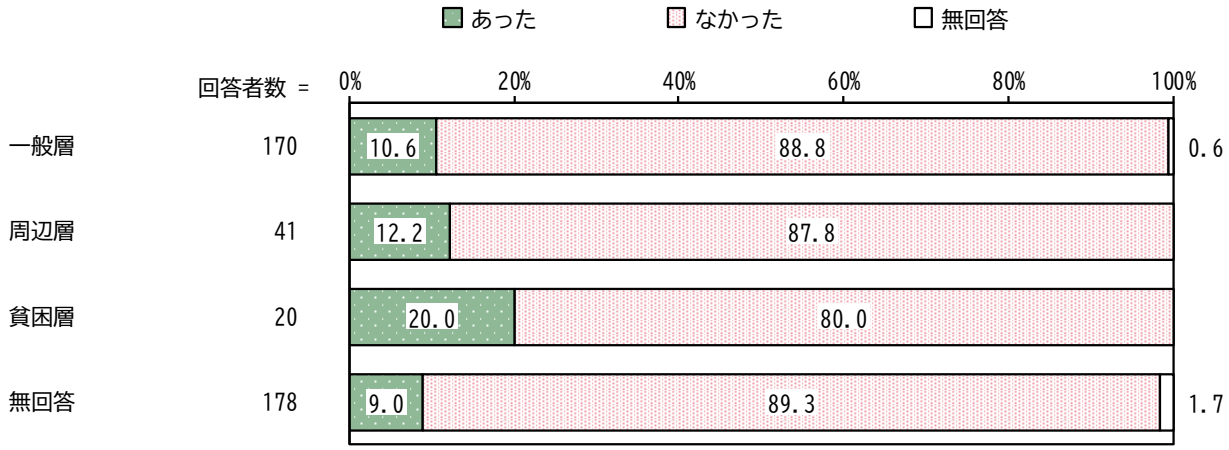
「あった」の割合が 10.5%、「なかった」の割合が 88.5%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「あった」の割合が高くなっています。

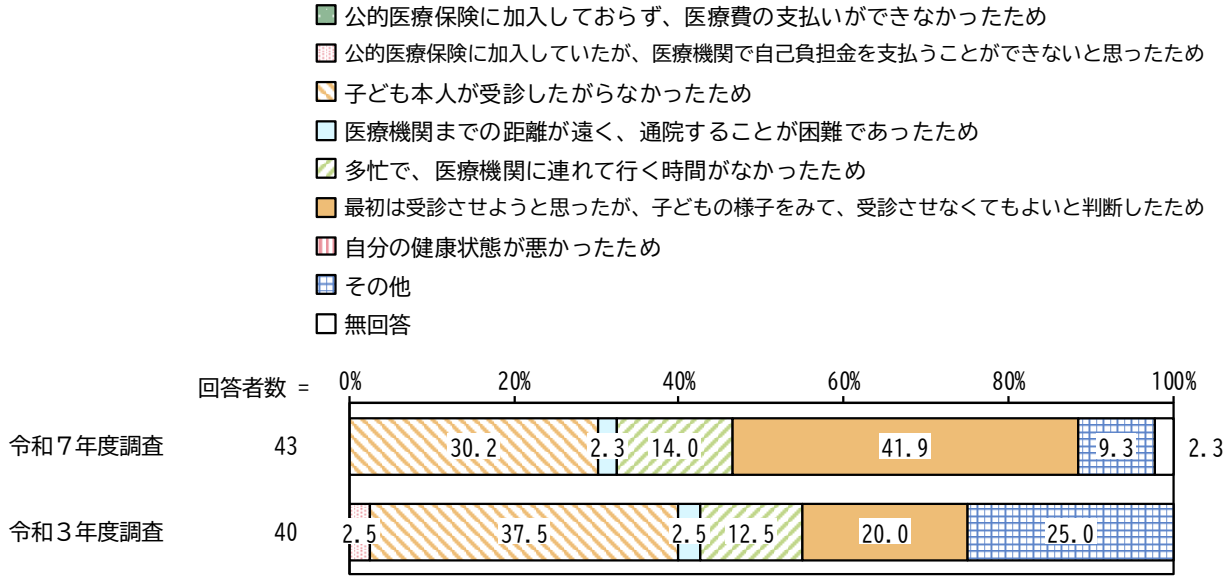


問 19 で「あった」を選んだ方にお聞きします。

問 19－１　その理由は、何ですか。最も近いものに○をつけてください。（１つに○）

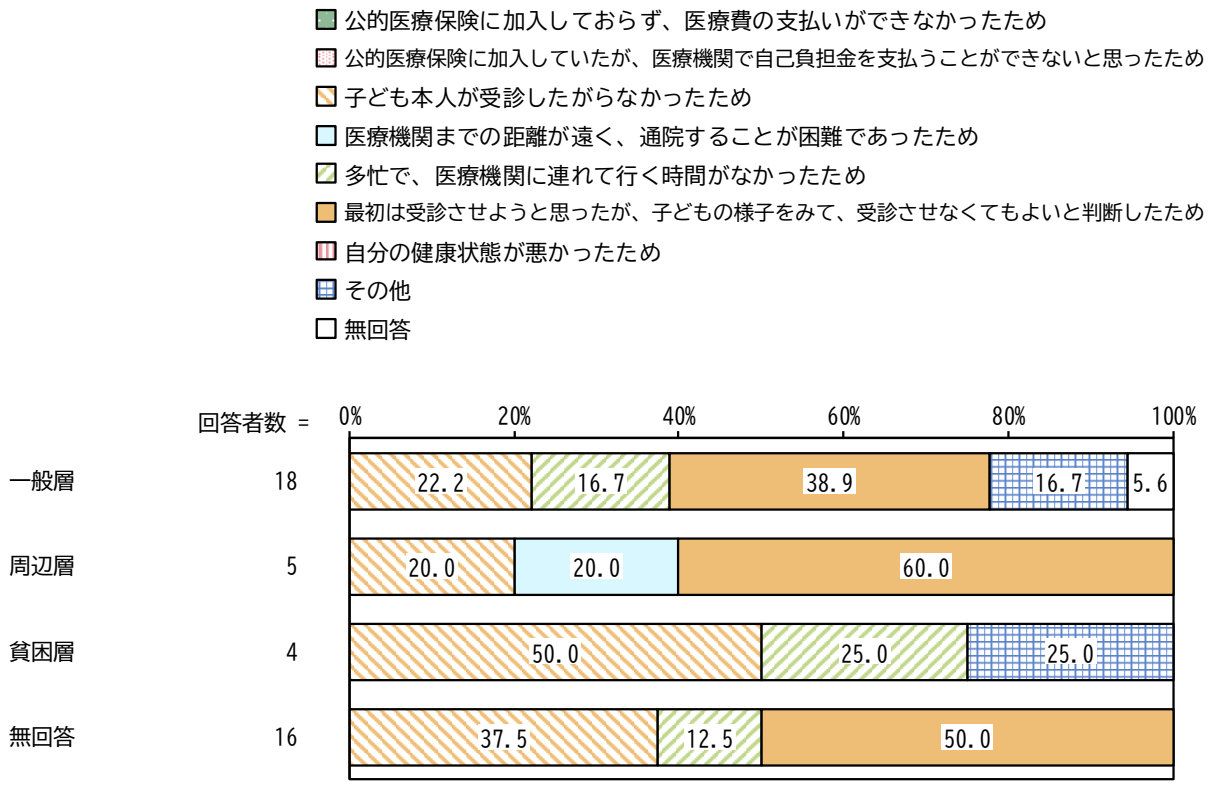
「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子をみて、受診させなくてもよいと判断したため」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「子ども本人が受診したがらなかったため」の割合が 30.2%、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」の割合が 14.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子をみて、受診させなくてもよいと判断したため」の割合が増加しています。一方、「子ども本人が受診したがらなかったため」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

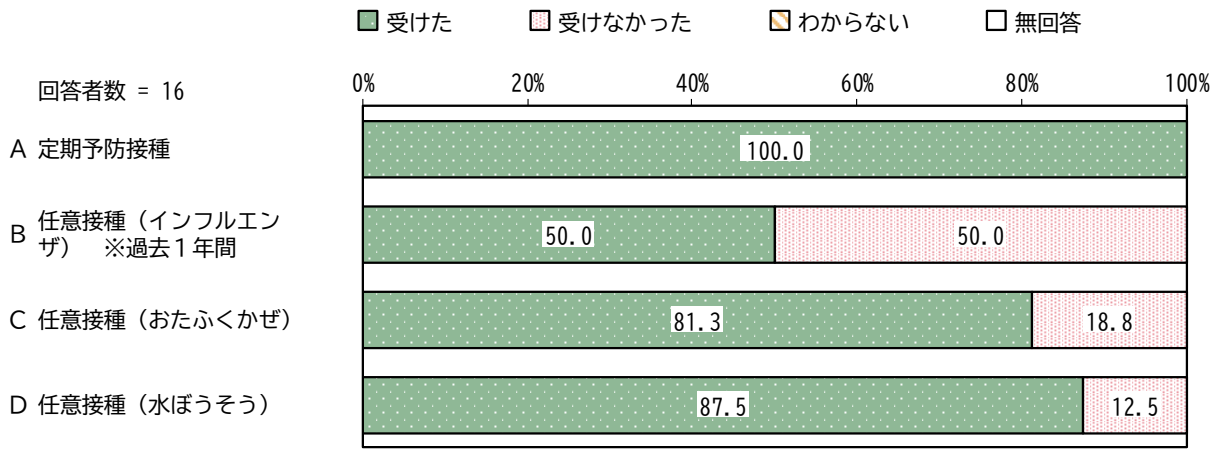
生活困難度別にみると、貧困層から周辺層まで困難度が大きいほど「子ども本人が受診したがらなかったため」「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」の割合が高く、「医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため」「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子をみて、受診させなくてもよいと判断したため」の割合が低くなっています。



問 20 はお子さんが小学生・中学生の方のみご回答ください。

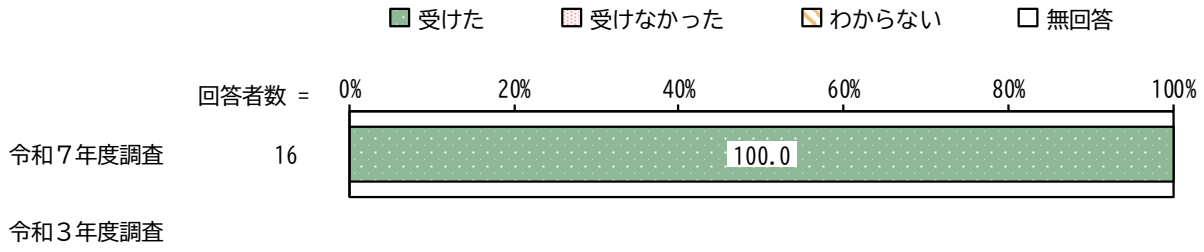
問 20　お子さんの予防接種の受診状況について、最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

『A　定期予防接種』で「受けた」が、『B　任意接種（インフルエンザ）　※過去１年間』で「受けなかった」が高くなっています。



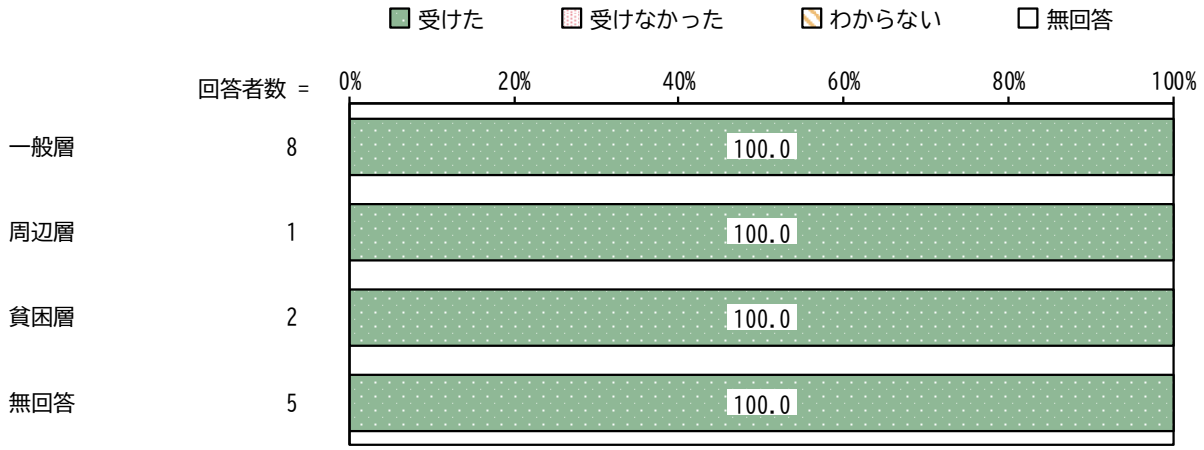
A　定期予防接種

【経年比較】



【生活困難度別】

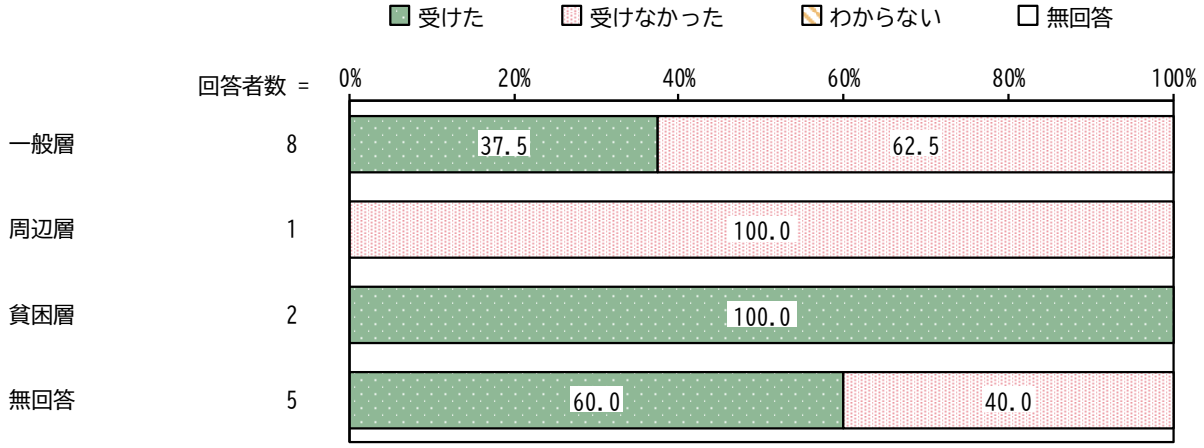
有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



B　任意接種（インフルエンザ）　※過去１年間

【生活困難度別】

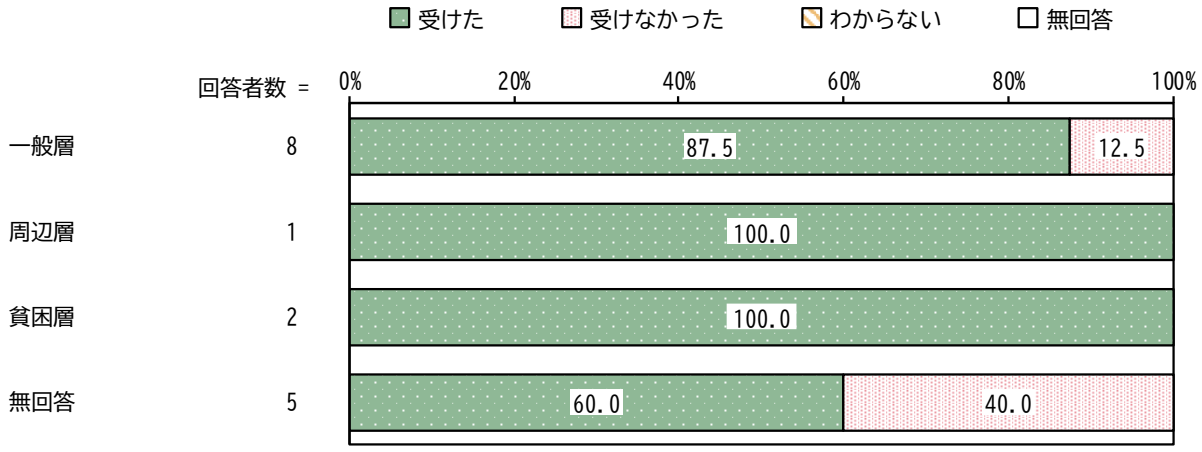
有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



C　任意接種（おたふくかぜ）

【生活困難度別】

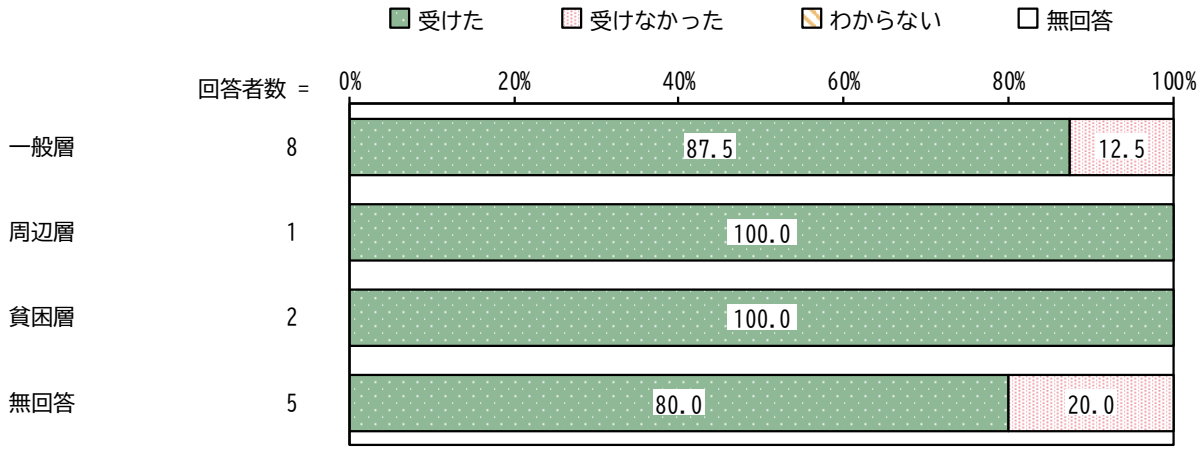
有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



D　任意接種（水ぼうそう）

【生活困難度別】

有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。



問 20 でＡ　定期予防接種について「受けなかった」を選んだ方にお聞きします。

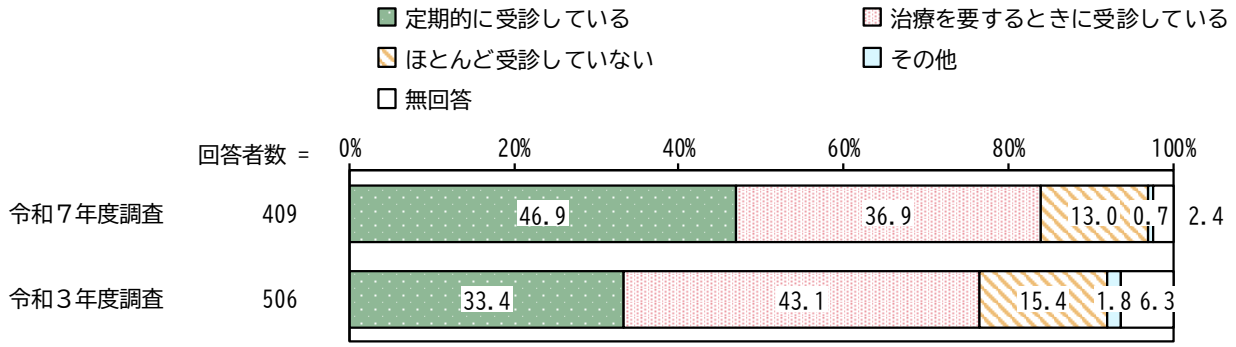
問 20－１　定期予防接種を受けなかったことがあったのはなぜですか。
（あてはまる番号すべてに○）

有効回答者がいませんでした。

問 21　お子さんは、定期的に歯科医を受診していますか。（１つに○）

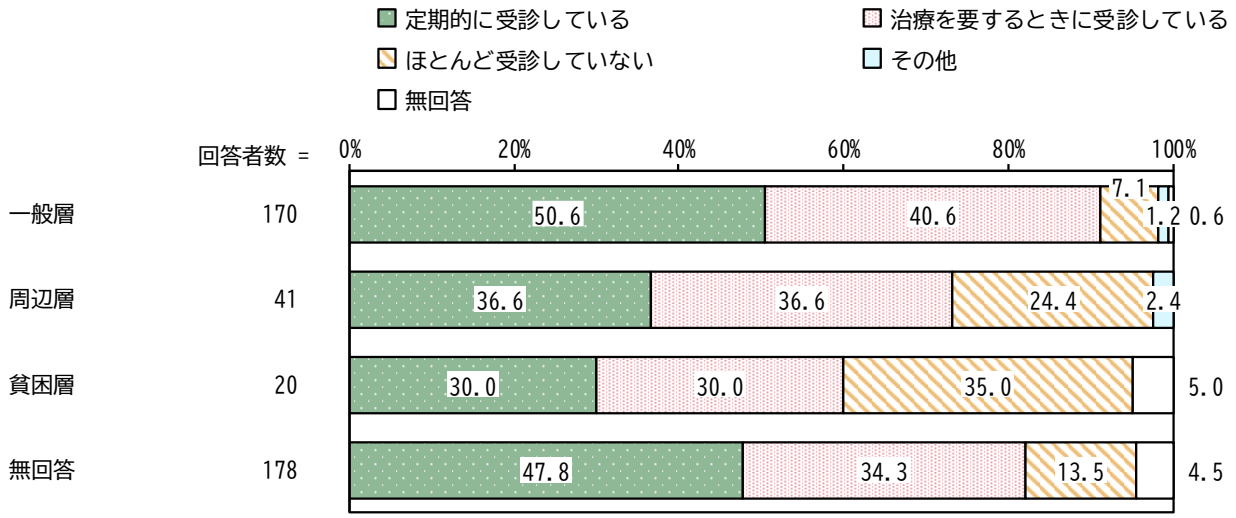
「定期的に受診している」の割合が 46.9%、「治療を要するときに受診している」の割合が 36.9%、「ほとんど受診していない」の割合が 13.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「定期的に受診している」の割合が増加しています。一方、「治療を要するときに受診している」の割合が減少しています。



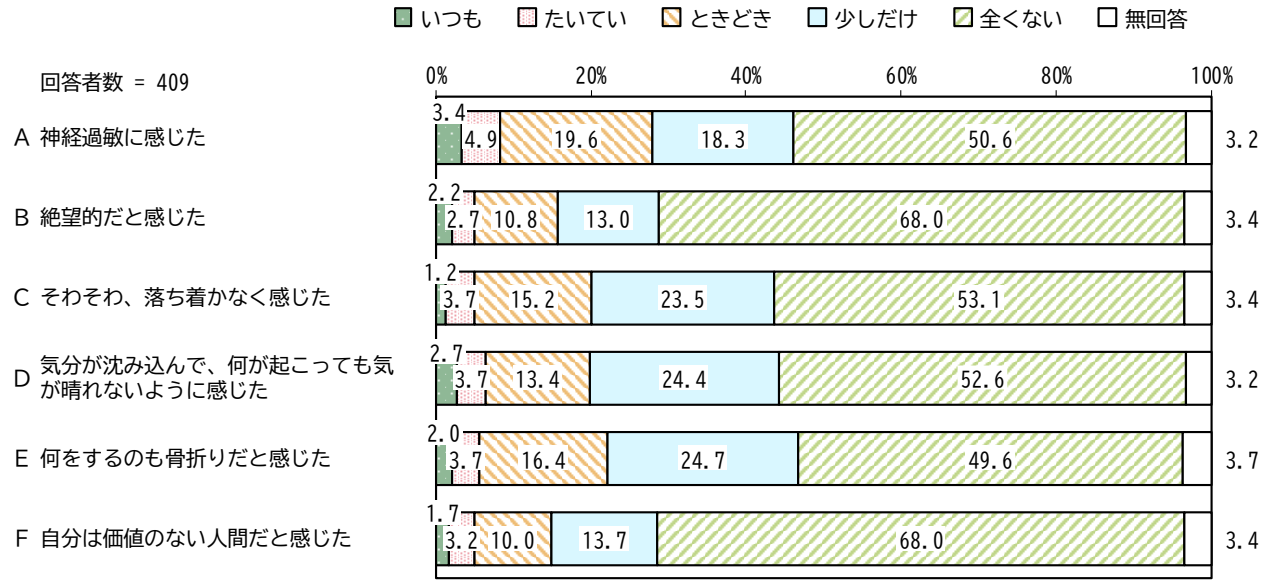
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「定期的に受診している」「治療を要するときに受診している」の割合が高く、「ほとんど受診していない」の割合が低くなっています。



問 22　次のＡ～Ｆの質問について、あなたは、ここ１か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

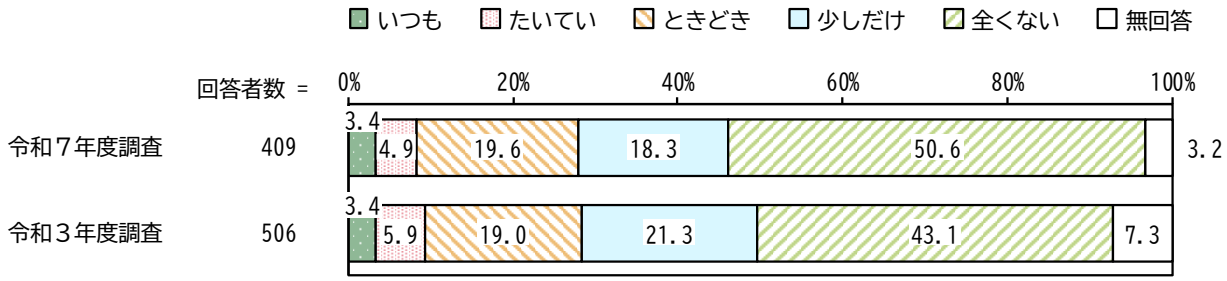
『Ａ　神経過敏に感じた』で「いつも」「たいてい」「ときどき」が、『Ｅ　何をするのも骨折りだと感じた』で「少しだけ」が、『Ｂ　絶望的だと感じた』『Ｆ　自分は価値のない人間だと感じた』で「全くない」が高くなっています。



Ａ　神経過敏に感じた

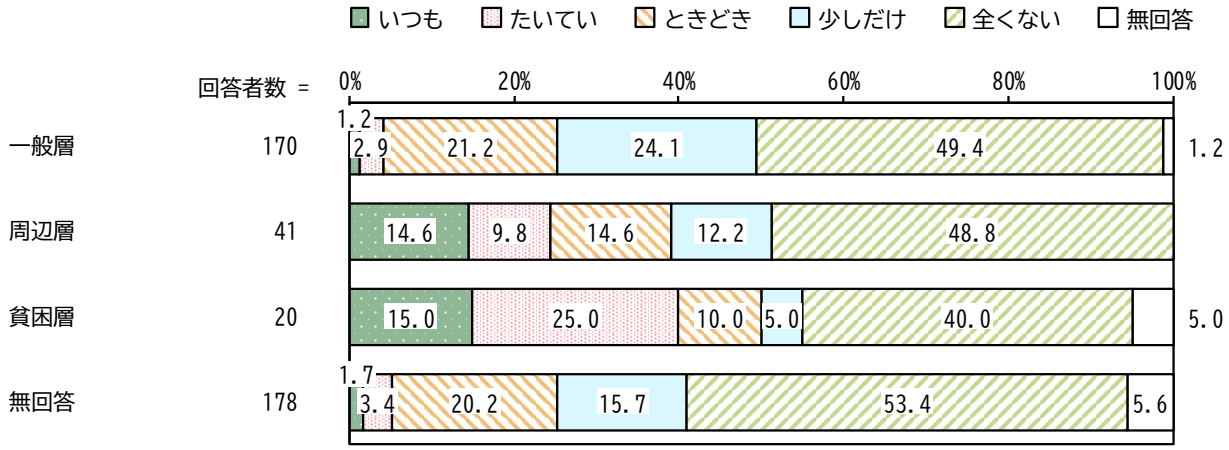
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「全くない」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

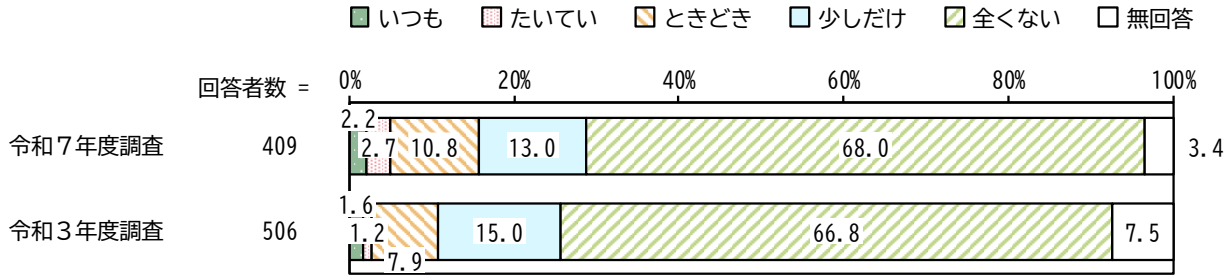
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「ときどき」「少しだけ」「全くない」の割合が高く、「いつも」「たいてい」の割合が低くなっています。



B　絶望的だと感じた

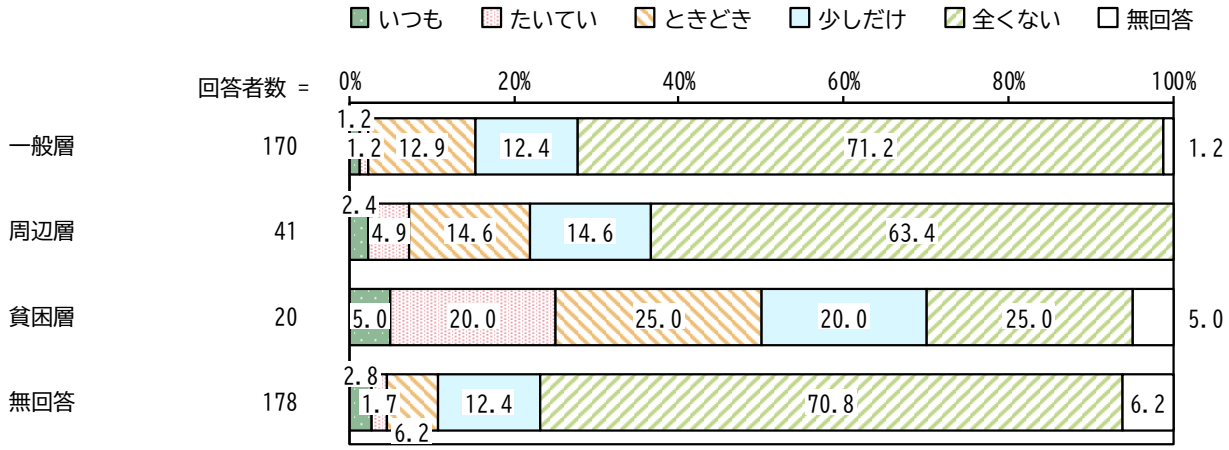
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

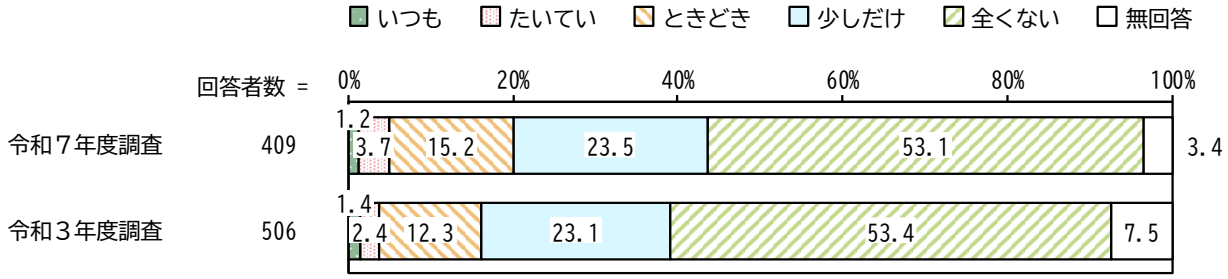
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「たいてい」「ときどき」「少しだけ」の割合が高く、「全くない」の割合が低くなっています。



C　そわそわ、落ち着かなく感じた

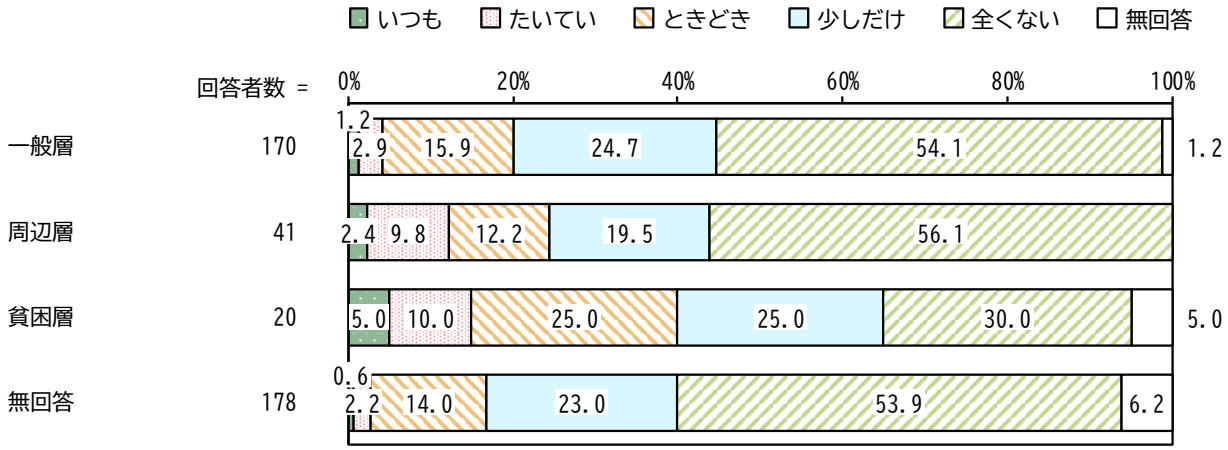
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

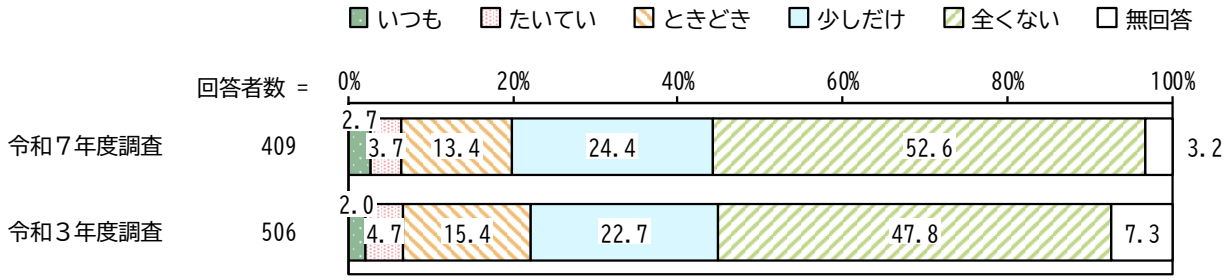
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「たいてい」の割合が高くなっています。また、貧困層で「全くない」の割合が低くなっています。



D　気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた

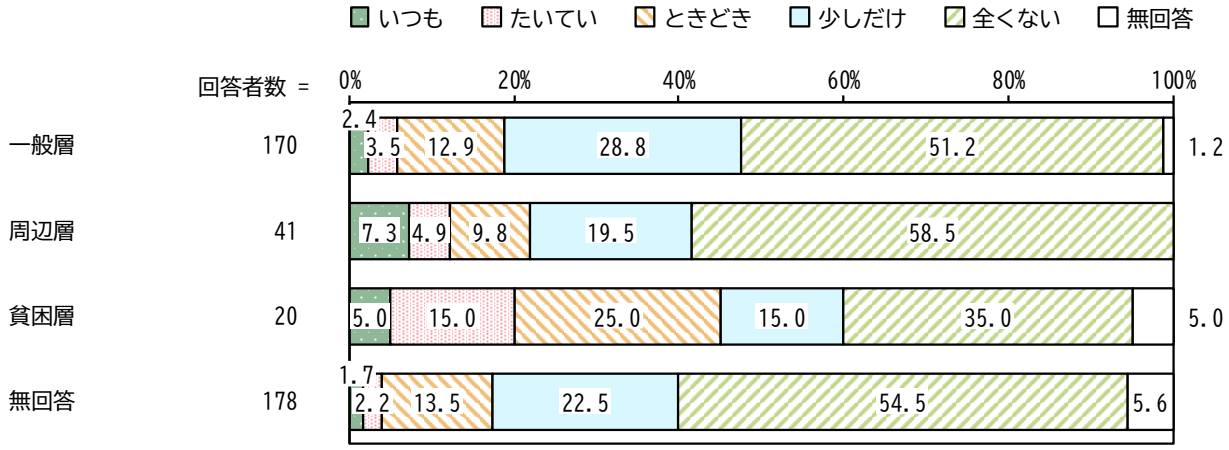
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

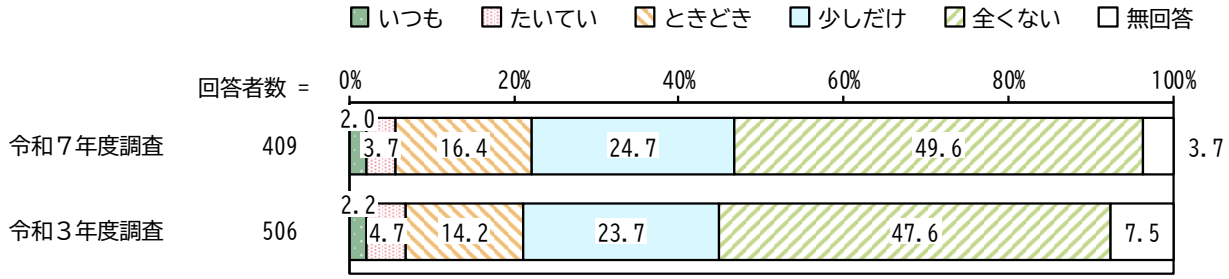
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「たいてい」の割合が高く、「少しだけ」の割合が低くなっています。また、貧困層で「ときどき」の割合が高く、「全くない」の割合が低くなっています。



E　何をするのも骨折りだと感じた

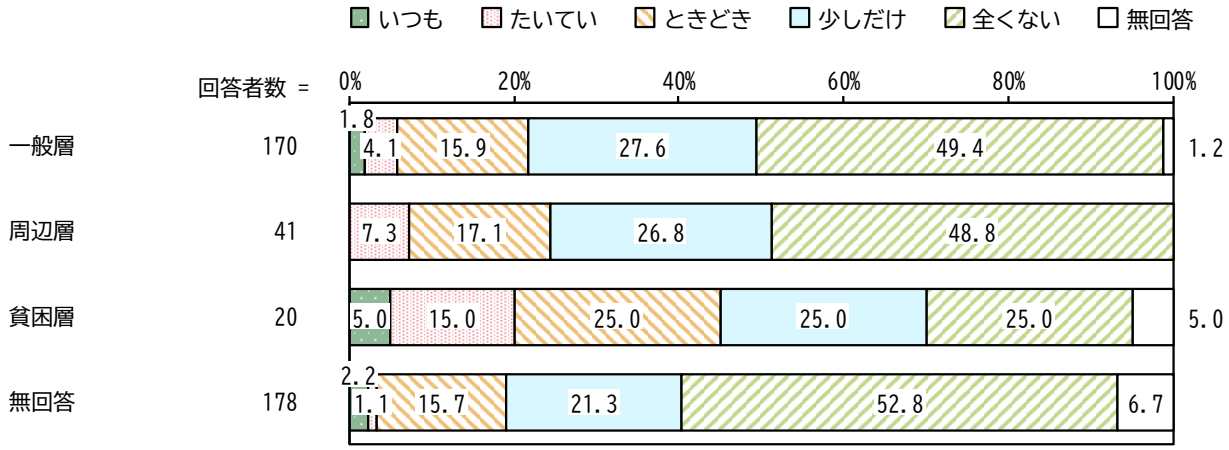
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

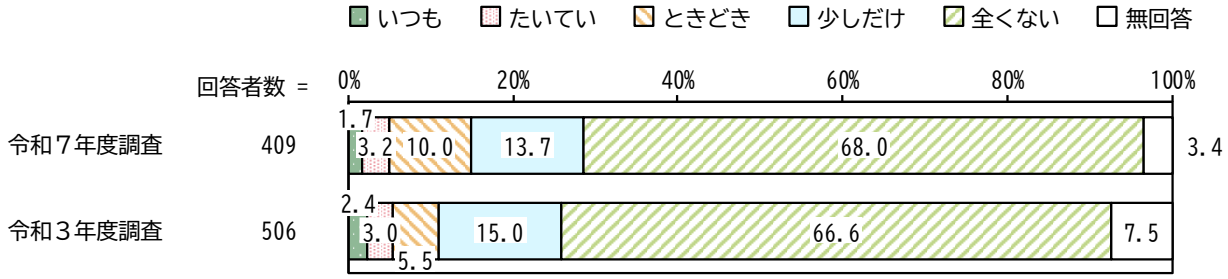
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「たいてい」「ときどき」の割合が高く、「全くない」の割合が低くなっています。



F　自分は価値のない人間だと感じた

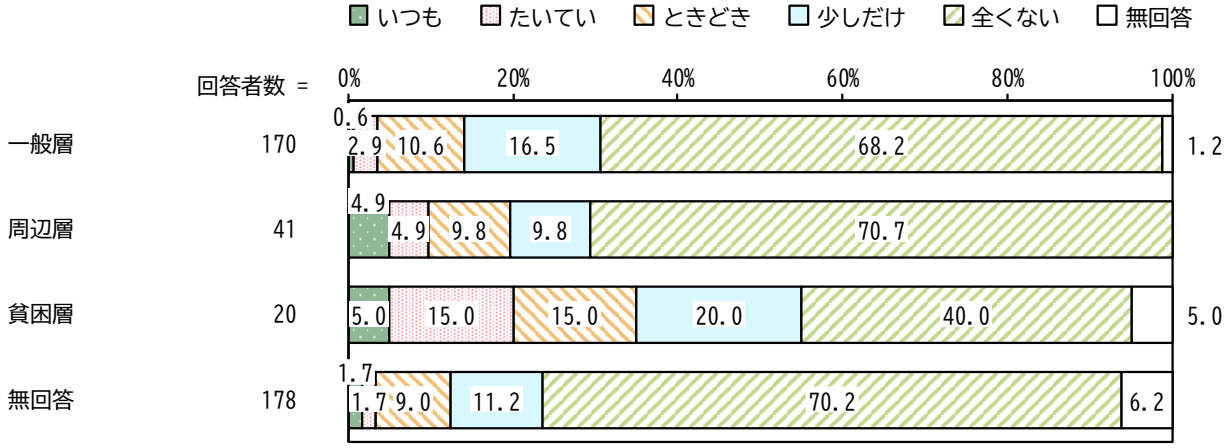
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



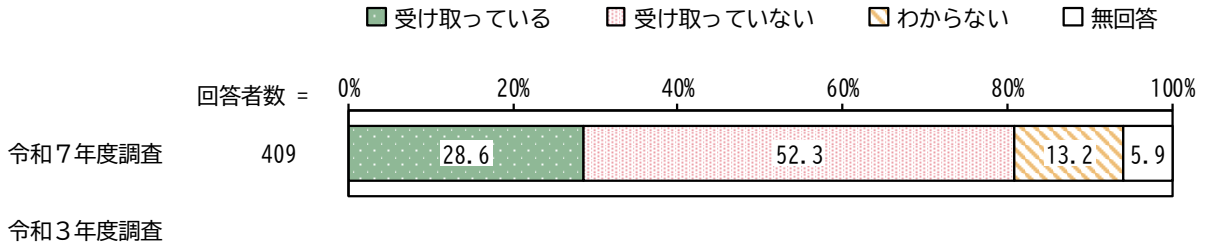
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「たいてい」「ときどき」「少しだけ」の割合が高くなっています。



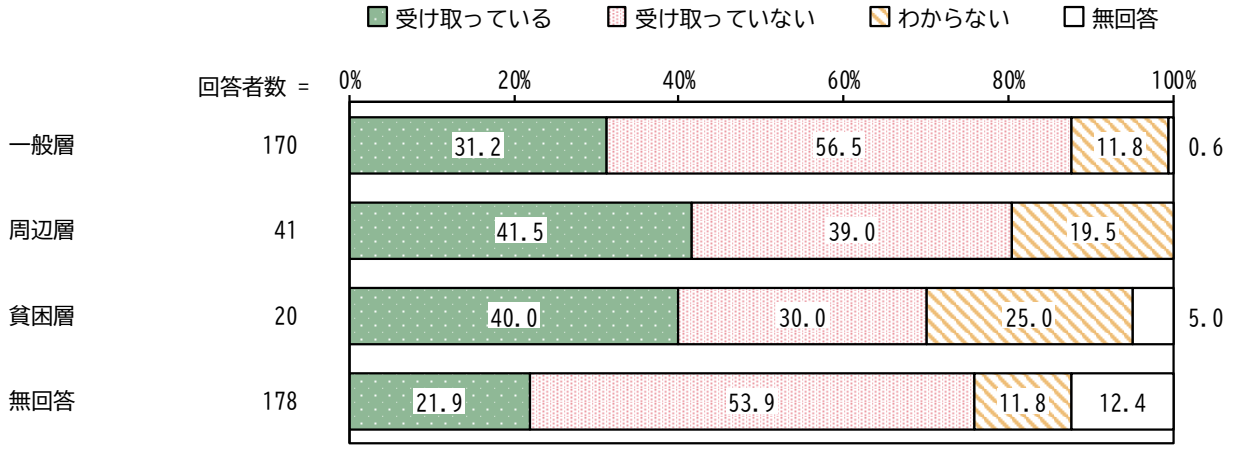
問 24　あなたのご家庭では、お子さんのために就学援助費を受け取っていますか。（１つに○）

「受け取っている」の割合が 28.6%、「受け取っていない」の割合が 52.3%となっています。



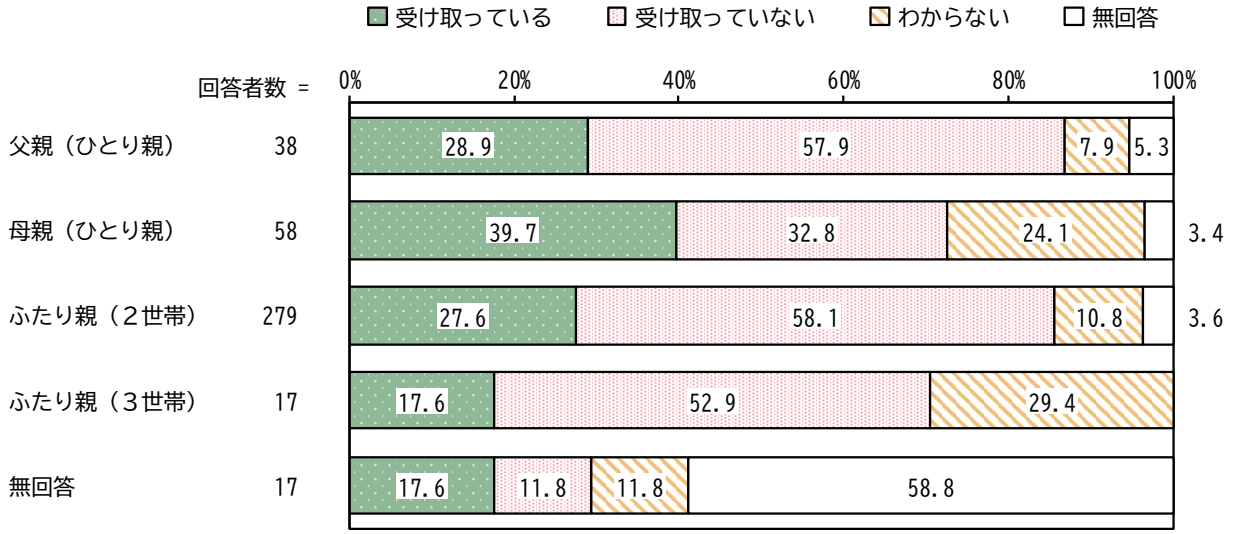
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「受け取っていない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「受け取っている」の割合が高くなっています。



問 24 で「受け取っている」を選んだ方にお聞きします。

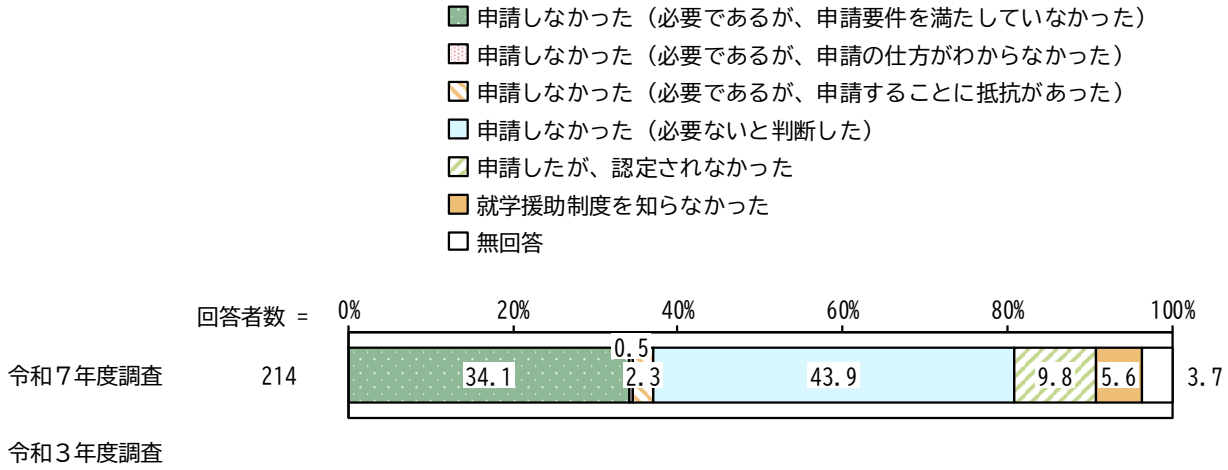
問 24－１　就学援助で支給されている額と実際にかかった額とで、その差が大きいものは何の経費ですか。

「特になし」や「不足はない」といった意見が一部で見受けられる一方で、具体的な負担を指摘する回答では「授業料」や「学費」に加えて、授業料以外の「設備費」や「施設費」、「入学金」といった学校に納める諸経費の負担が大きいという意見が多く、特に私立学校でその傾向が強いほか、「修学旅行費」や「交通費（通学費）」、「制服代」や「教科書・教材費」などの学用品、さらに「塾代」などにおいて実際の費用と支給額との間に大きな差があると感じている傾向となっています。

問 24 で「受け取っていない」を選んだ方にお聞きします。

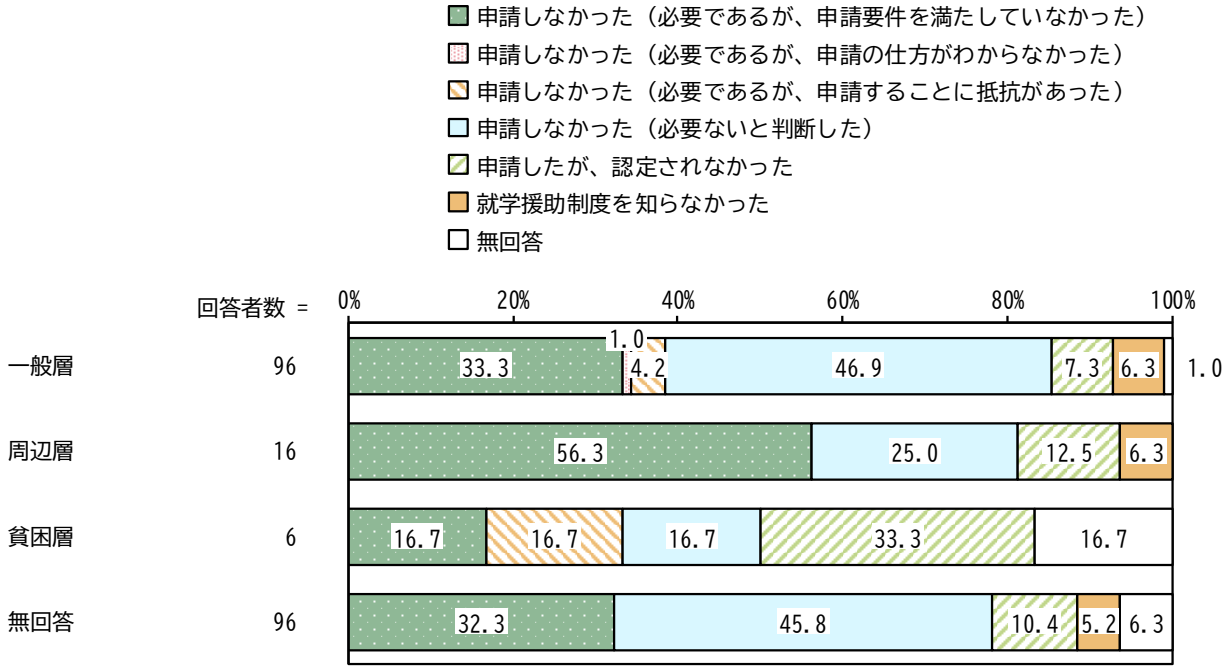
問 24－２　就学援助費を受け取っていない理由は、何ですか。次のうち最も近いものに○をつけてください。（１つに○）

「申請しなかった（必要ないと判断した）」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていなかった）」の割合が 34.1%となっています。



【生活困難度別】

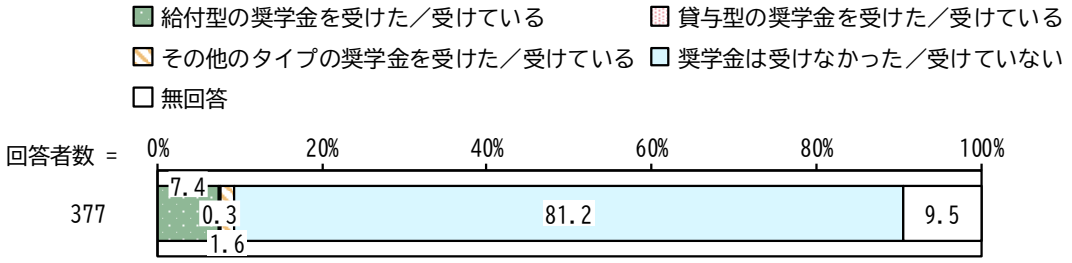
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「申請したが、認定されなかった」の割合が高く、「申請しなかった（必要ないと判断した）」の割合が低く、貧困層から周辺層まで困難度が大きいほど「申請しなかった（必要であるが、申請することに抵抗があった）」の割合が高く、「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていなかった）」の割合が低くなっています。また、一般層で「申請しなかった（必要ないと判断した）」の割合が高く、周辺層で「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていなかった）」「申請したが、認定されなかった」の割合が高くなっています。



問 24－３、問 24－４は、お子さんが高校生の方のみご回答ください。

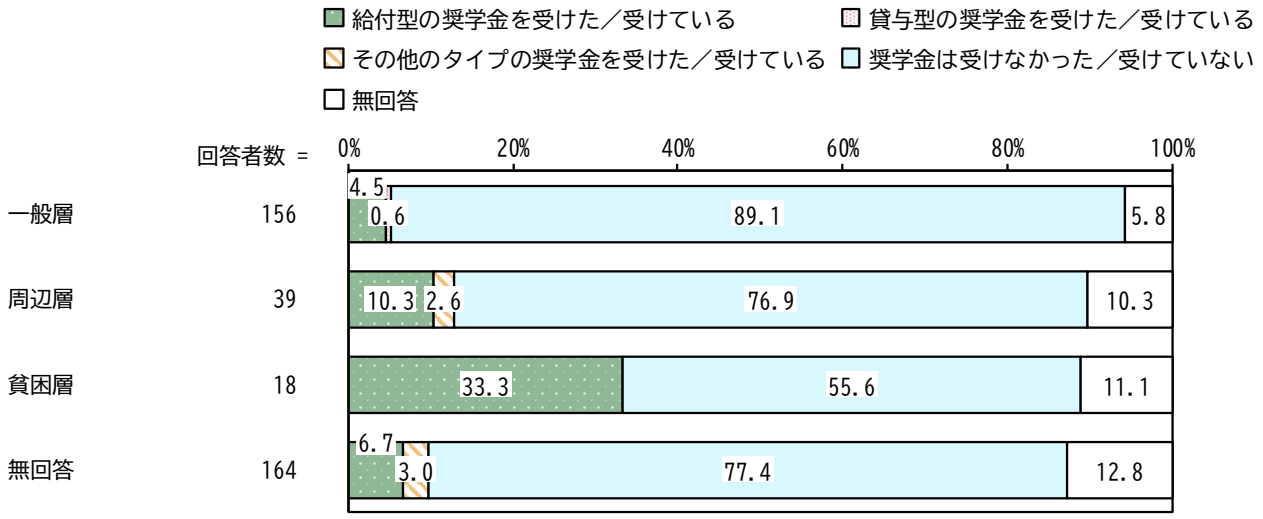
問 24－３　お子さんは、奨学金を受けましたか（受けていますか）。複数受けている場合は、直近のものについて教えてください。（１つに○）

「奨学金は受けなかった／受けていない」の割合が 81.2%と最も高くなっています。



【生活困難度別】

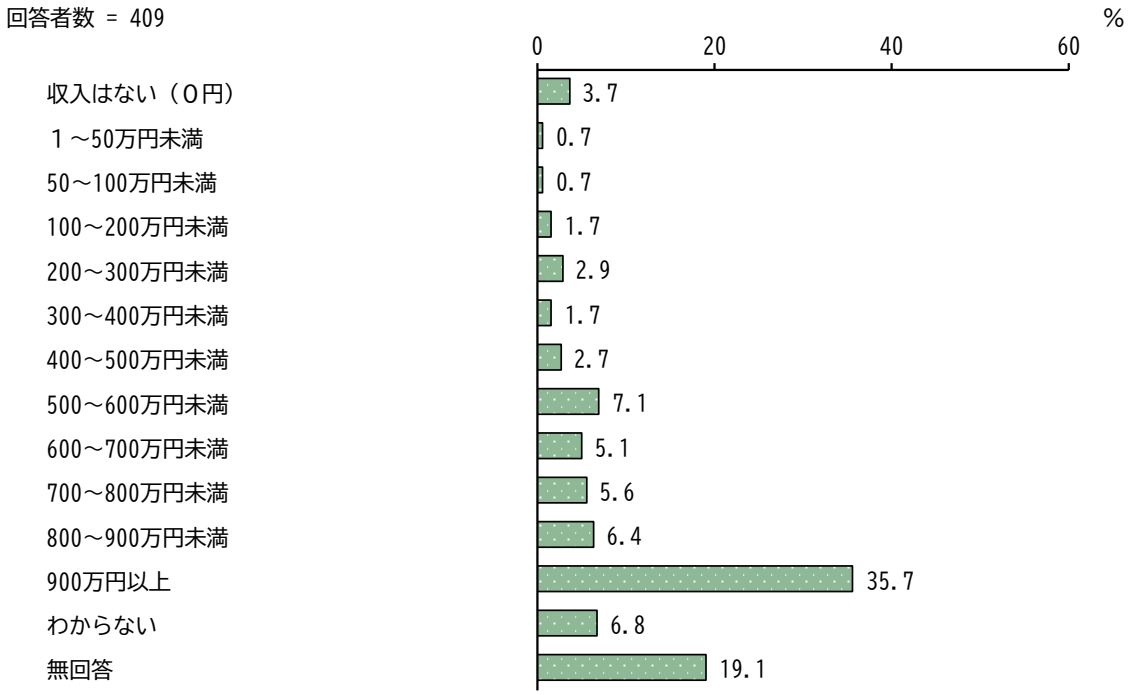
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「給付型の奨学金を受けた／受けている」の割合が高く、「奨学金は受けなかった／受けていない」の割合が低くなっています。



問 25 で回答いただいた、公的年金・手当等以外の収入についてお聞きします。

問 25－１　お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入（税込）はいくらですか。（１つに○）　※総支給額をお答えください

「900 万円以上」の割合が 35.7%と最も高くなっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「収入はない（０円）」「100～200 万円未満」「500～600 万円未満」、貧困層で「200～300 万円未満」、一般層で「900 万円以上」の割合が高くなっています。

単位：%

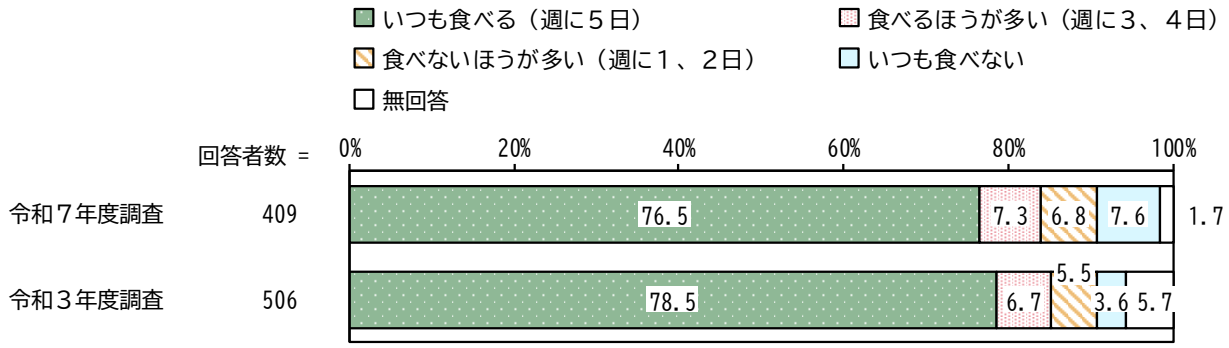
区分	回答者数（件）	収入はない（０円）	1～50 万円未満	50～100 万円未満	100～200 万円未満	200～300 万円未満	300～400 万円未満	400～500 万円未満	500～600 万円未満	600～700 万円未満	700～800 万円未満	800～900 万円未満	900 万円以上	わからない	無回答
全　体	409	3.7	0.7	0.7	1.7	2.9	1.7	2.7	7.1	5.1	5.6	6.4	35.7	6.8	19.1
一般層	170	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	1.2	4.1	7.1	5.3	10.0	9.4	54.7	6.5	0.0
周辺層	41	19.5	2.4	2.4	12.2	7.3	7.3	2.4	19.5	2.4	9.8	2.4	7.3	4.9	0.0
貧困層	20	10.0	5.0	0.0	0.0	20.0	10.0	5.0	10.0	10.0	0.0	10.0	5.0	15.0	0.0
無回答	178	2.8	0.6	1.1	1.1	1.1	0.0	1.1	3.9	5.1	1.1	3.9	27.5	6.7	43.8

問 26　あなたは平日の食事を週にどのくらいしていますか。（それぞれについて、あてはまる番号１つに○）

A　朝食

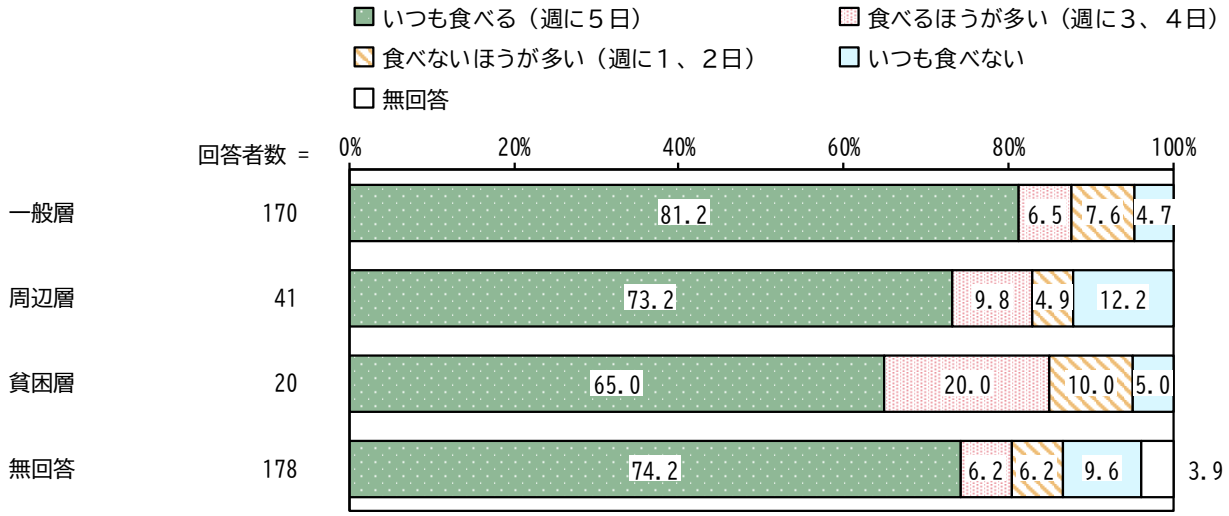
「いつも食べる（週に５日）」の割合が 76.5%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



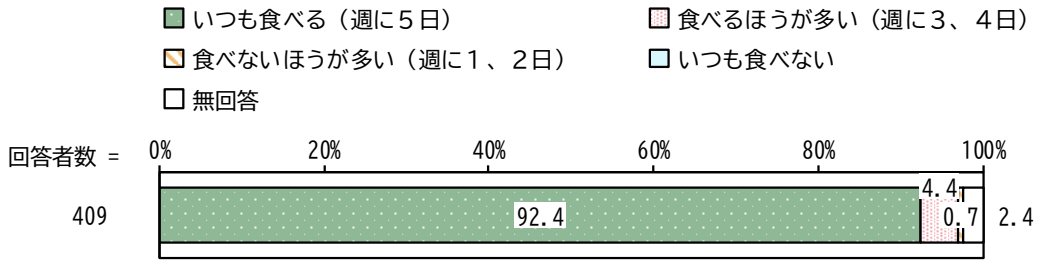
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「いつも食べる（週に５日）」の割合が高くなっています。



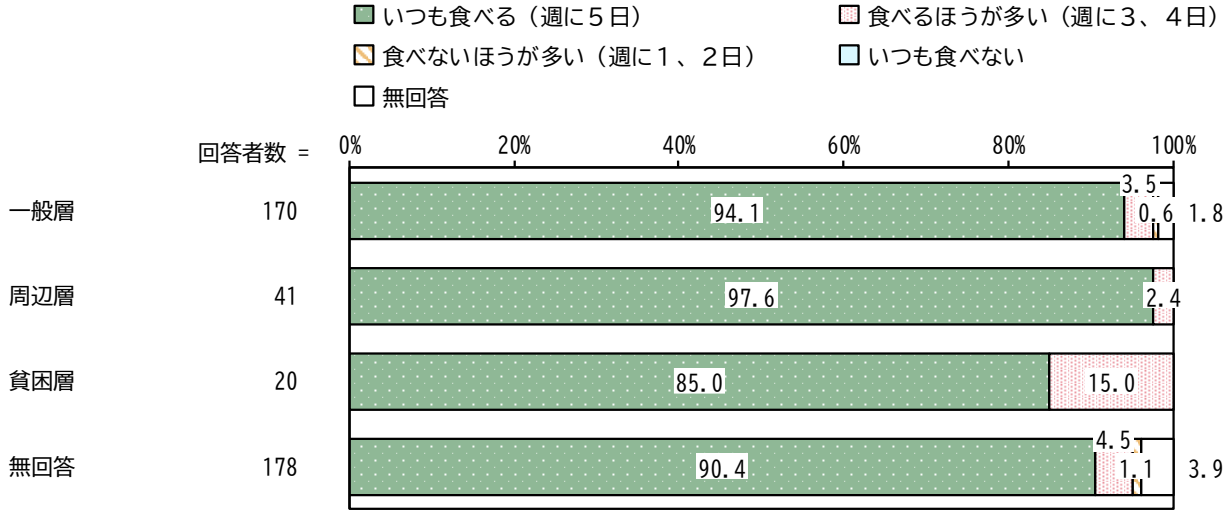
B　夕食

「いつも食べる（週に５日）」の割合が 92.4%と最も高くなっています。



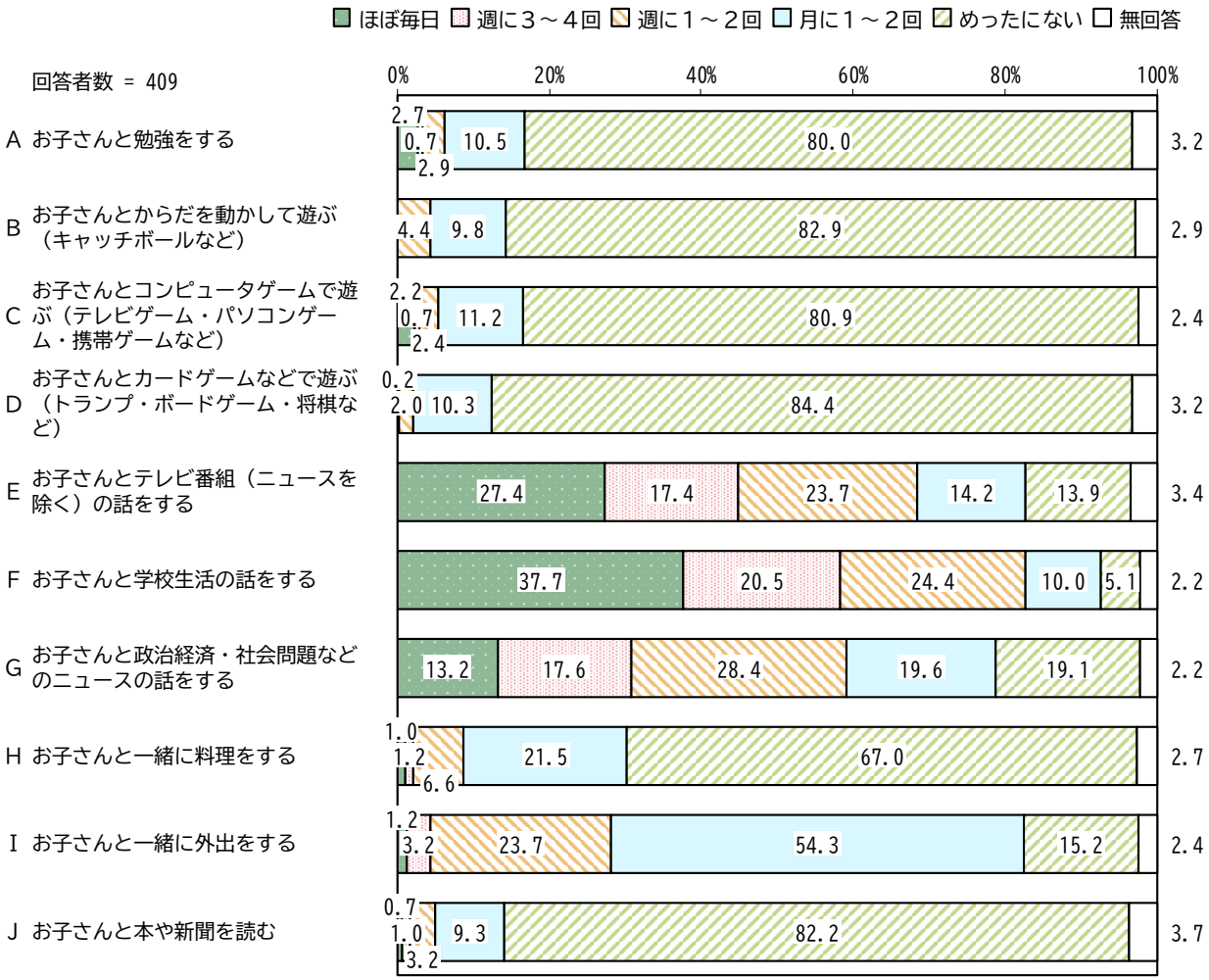
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「いつも食べる（週に５日）」の割合が高くなっています。



問 27　あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

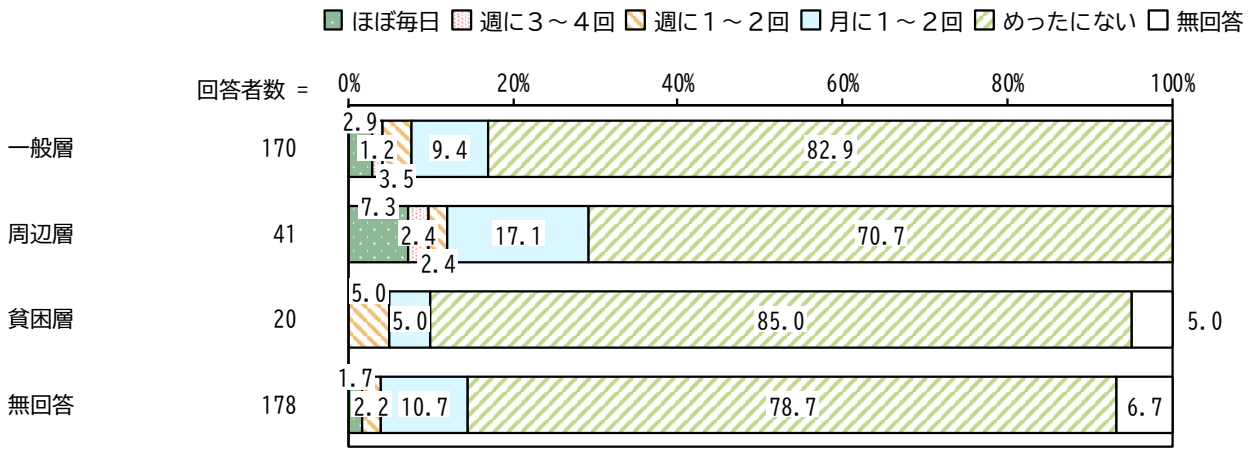
『Ｆ　お子さんと学校生活の話をする』で「ほぼ毎日」「週に３～４回」が、『Ｇ　お子さんと政治経済・社会問題などのニュースの話をする』で「週に１～２回」が、『Ｉ　お子さんと一緒に外出をする』で「月に１～２回」が、『Ｄ　お子さんとカードゲームなどで遊ぶ（トランプ・ボードゲーム・将棋など)』で「めったにない」が高くなっています。



A　お子さんと勉強をする

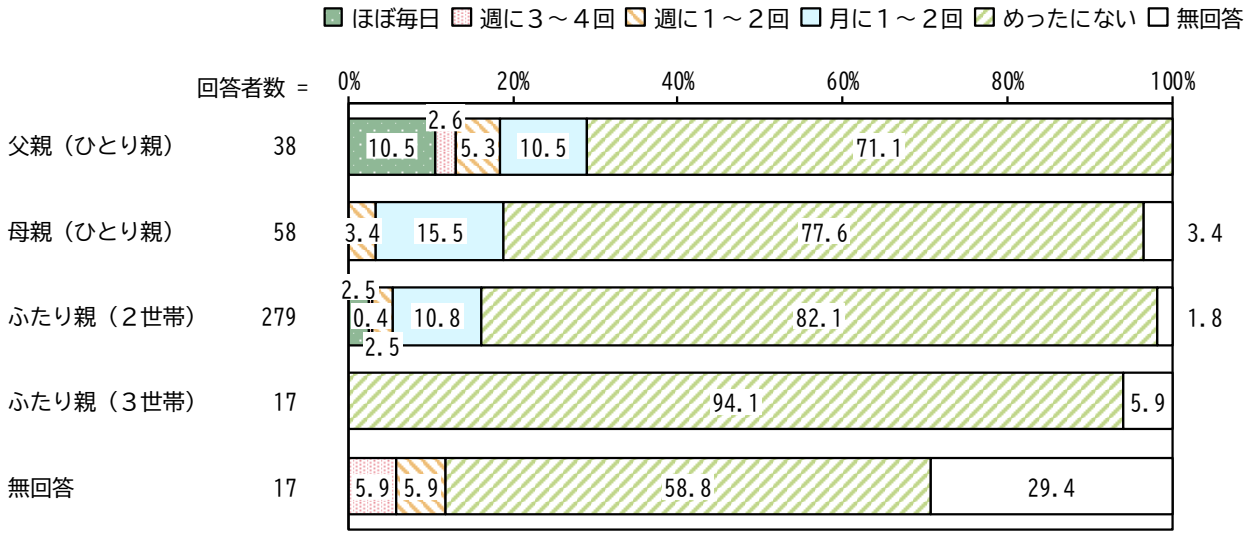
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「めったにない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

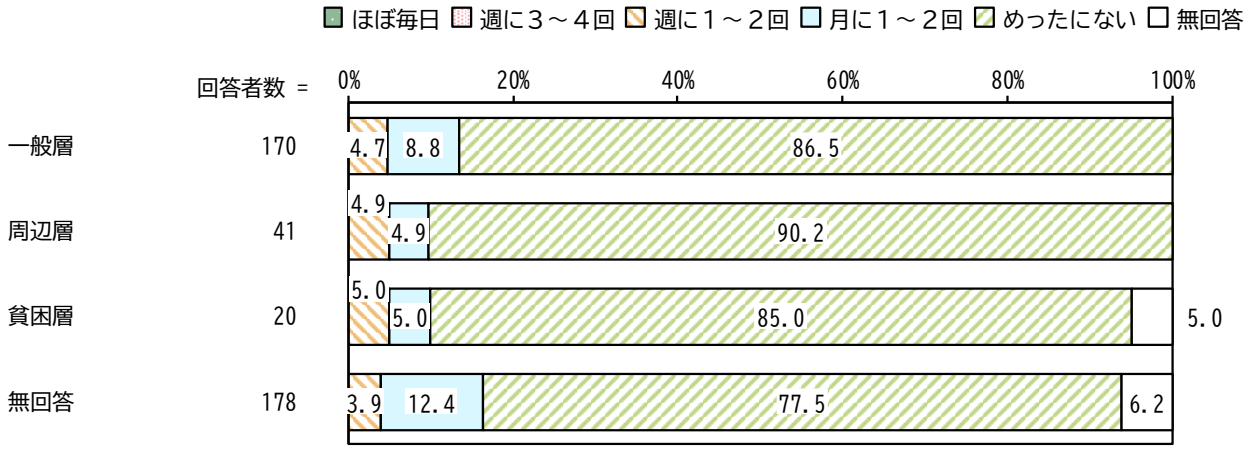
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「めったにない」の割合が高くなっています。



B　お子さんとからだを動かして遊ぶ（キャッチボールなど）

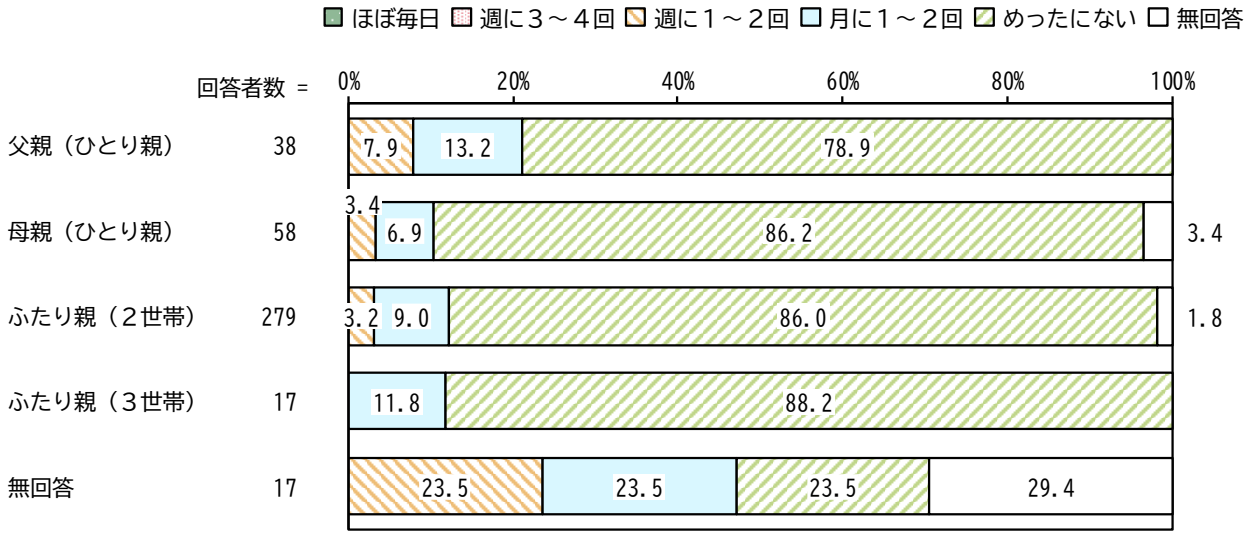
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「めったにない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

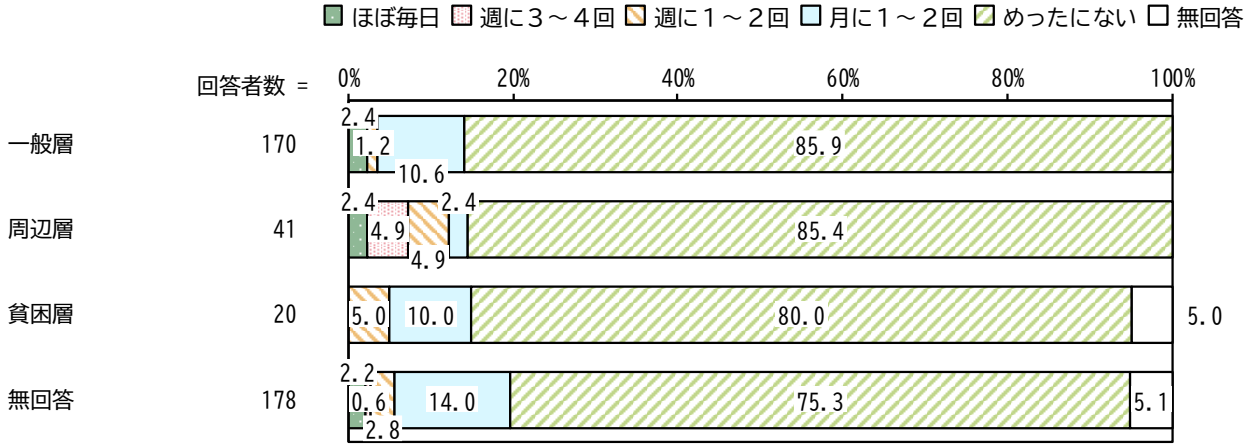
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「めったにない」の割合が高くなっています。



C　お子さんとコンピュータゲームで遊ぶ（テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲームなど）

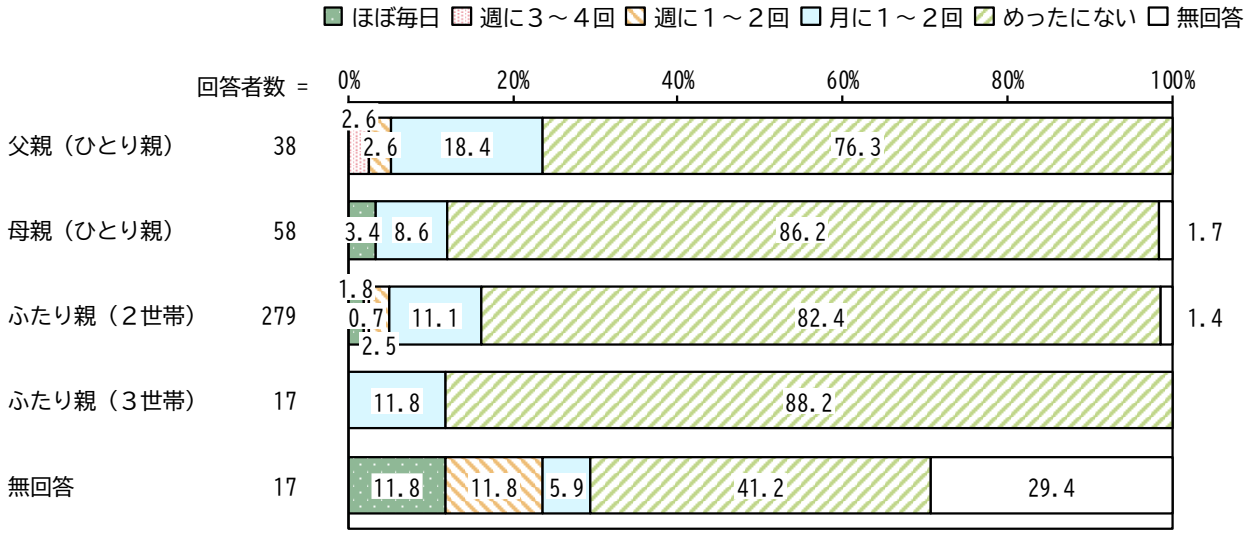
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「めったにない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

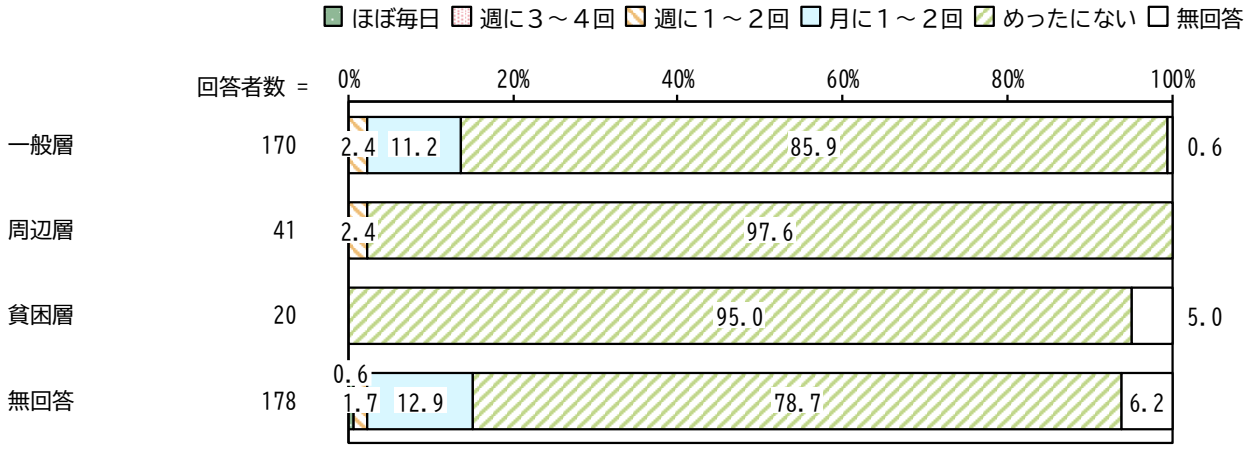
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）、ふたり親（３世帯）で「めったにない」の割合が高くなっています。



D　お子さんとカードゲームなどで遊ぶ（トランプ・ボードゲーム・将棋など）

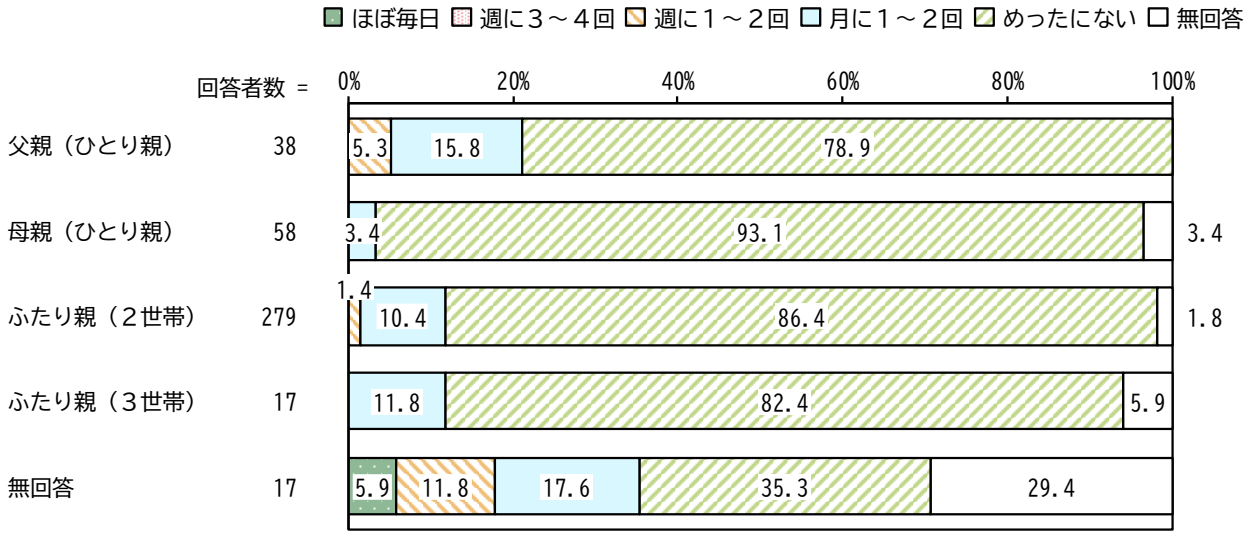
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層、貧困層で「めったにない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

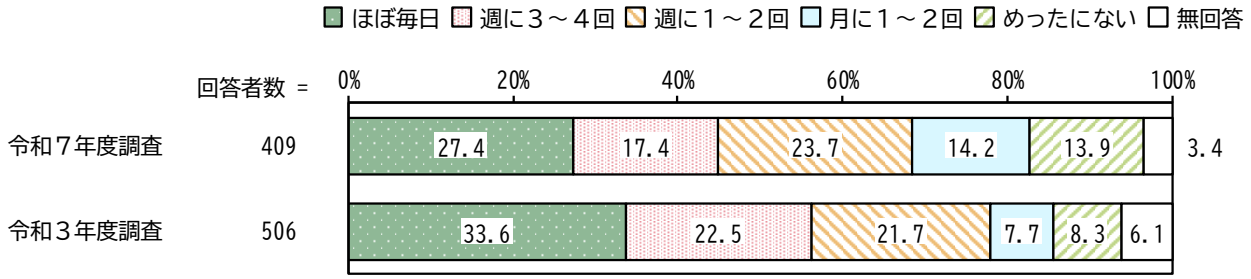
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「めったにない」の割合が高くなっています。



E　お子さんとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする

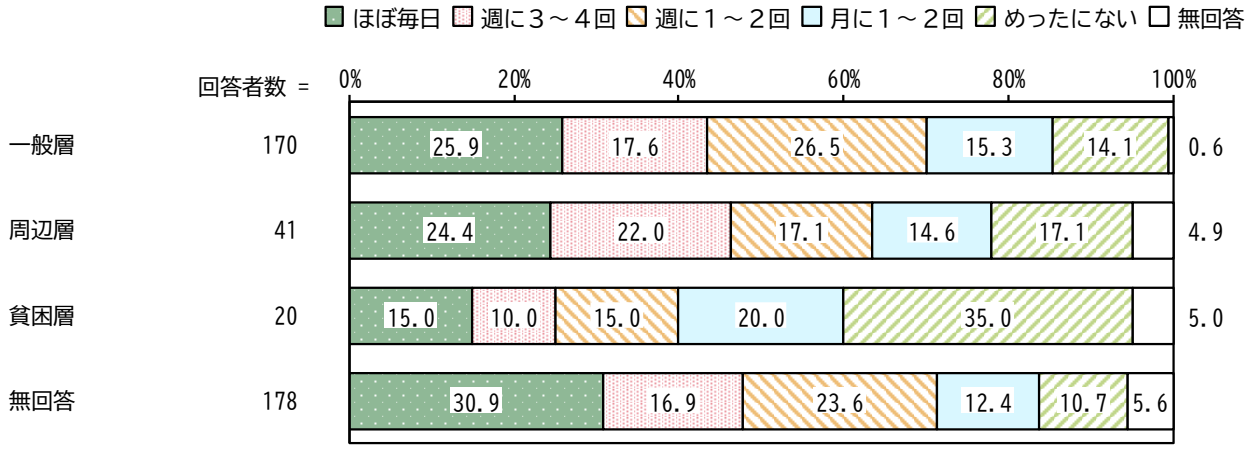
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「月に１～２回」「めったにない」の割合が増加しています。一方、「ほぼ毎日」「週に３～４回」の割合が減少しています。



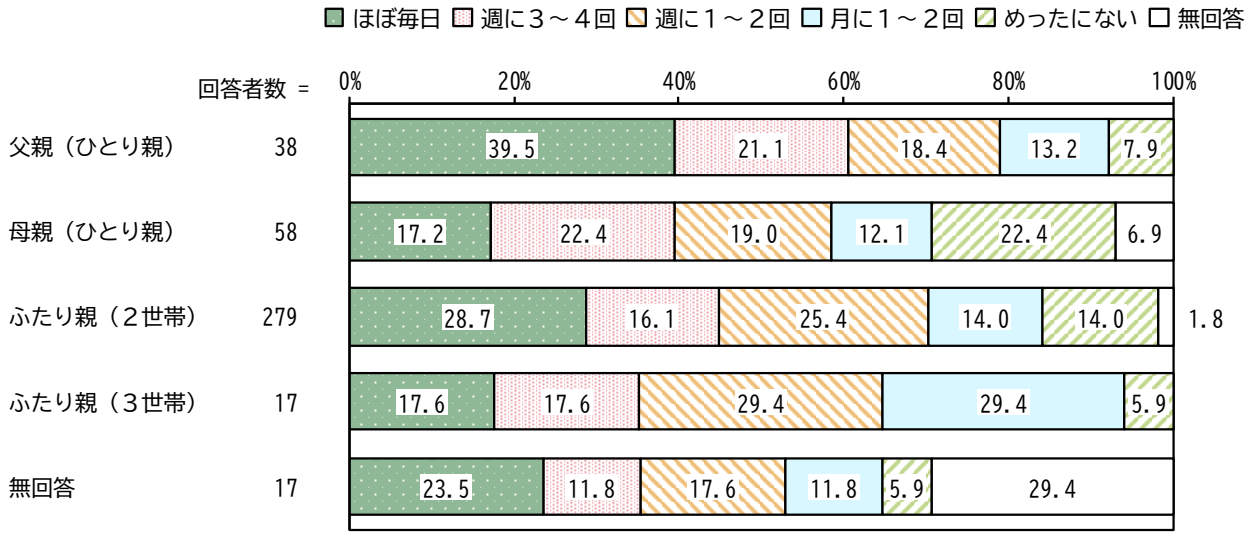
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「めったにない」の割合が高くなっています。また、貧困層で「ほぼ毎日」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

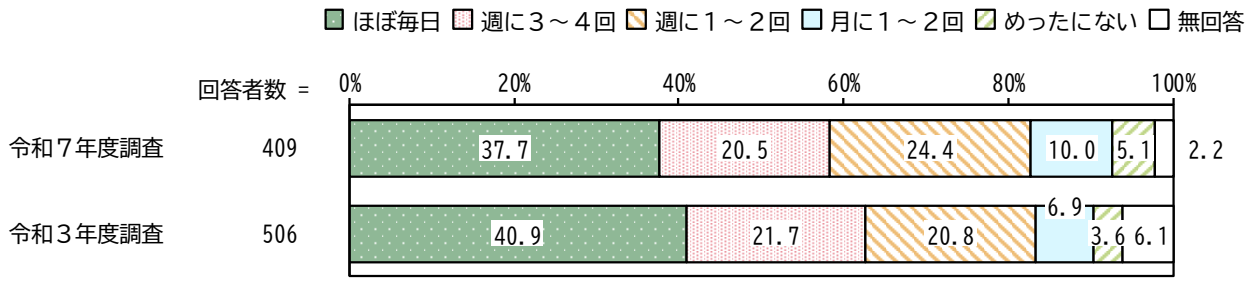
世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



F　お子さんと学校生活の話をする

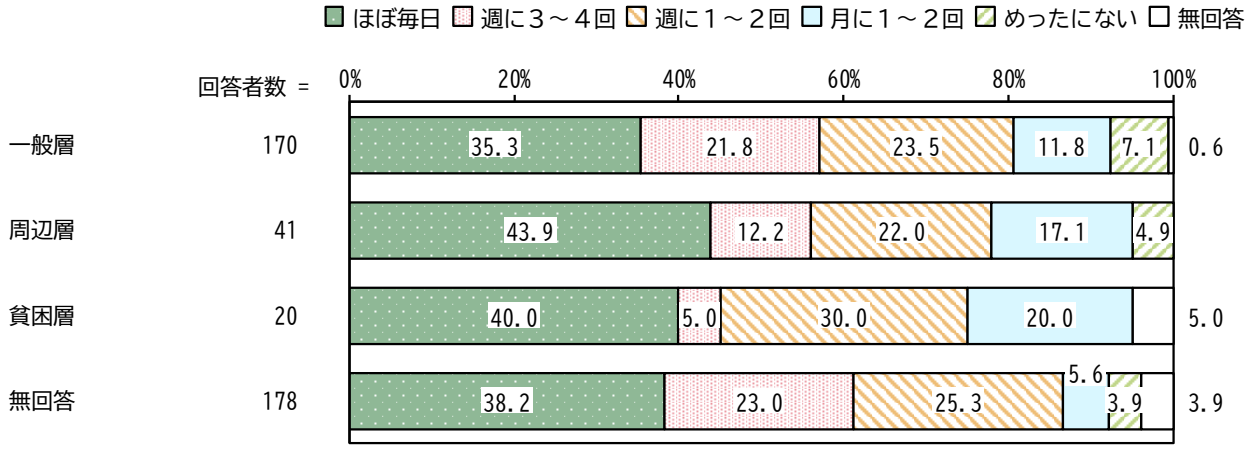
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



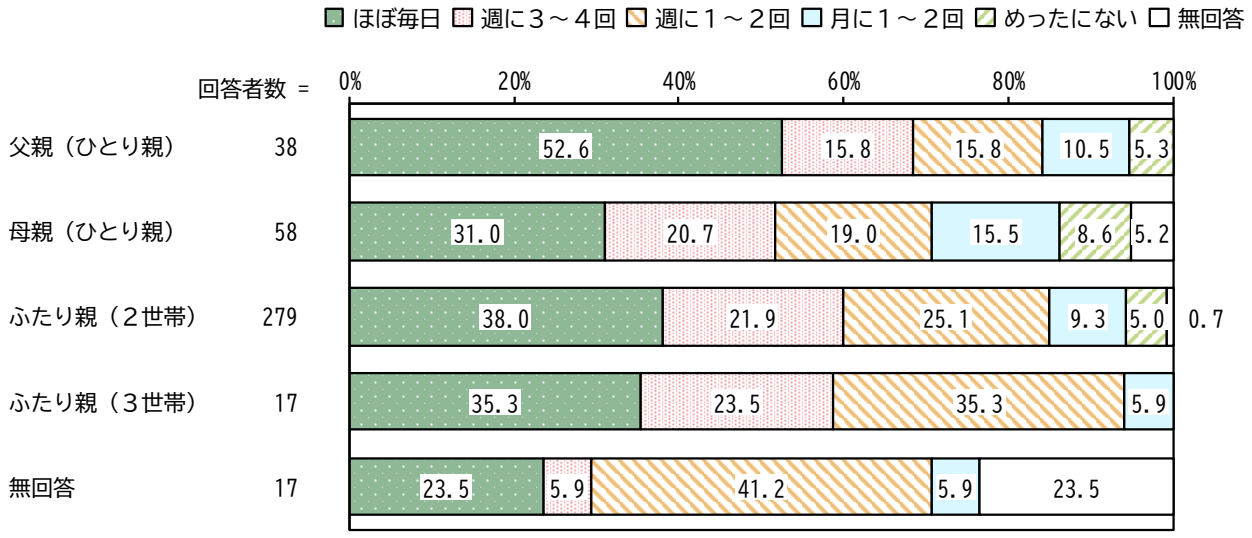
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「月に１～２回」の割合が高く、「週に３～４回」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

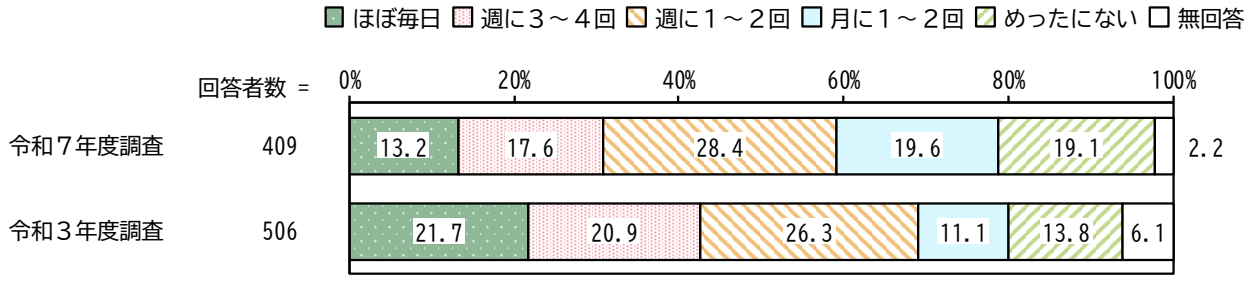
世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



G　お子さんと政治経済・社会問題などのニュースの話をする

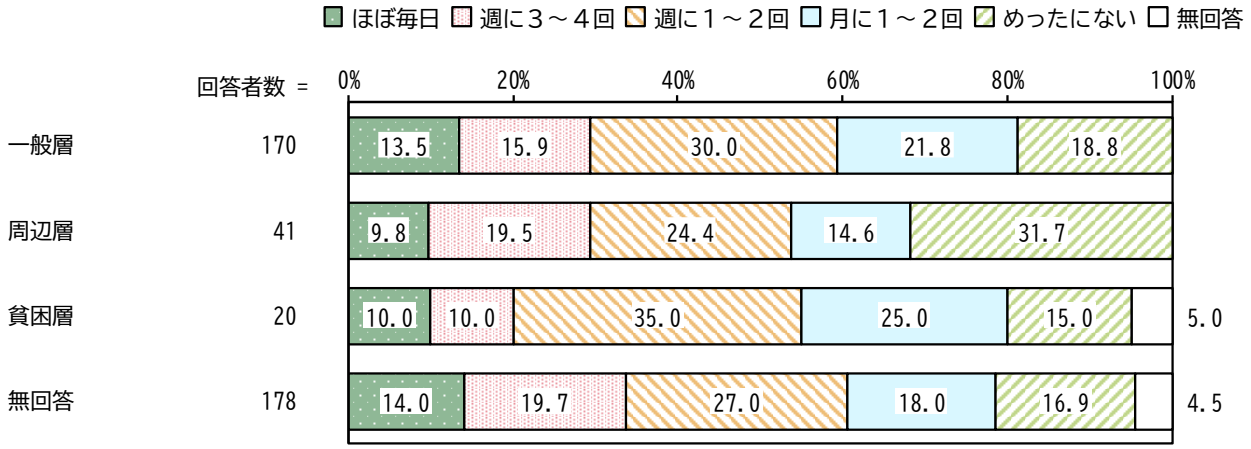
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「月に１～２回」「めったにない」の割合が増加しています。一方、「ほぼ毎日」の割合が減少しています。



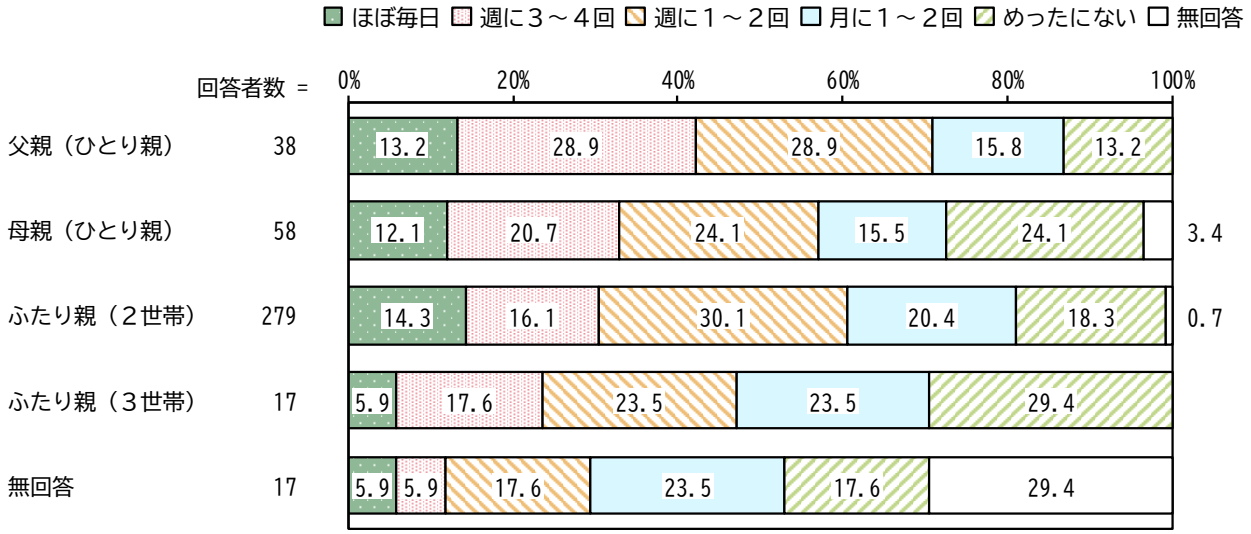
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「めったにない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

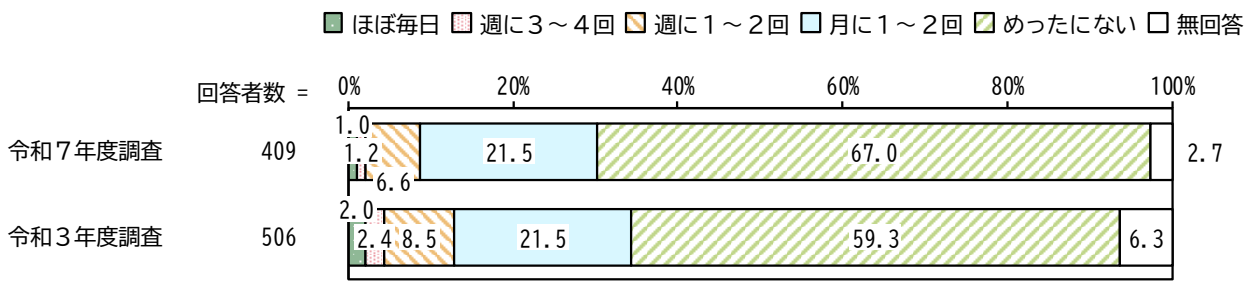
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「めったにない」の割合が高くなっています。



H　お子さんと一緒に料理をする

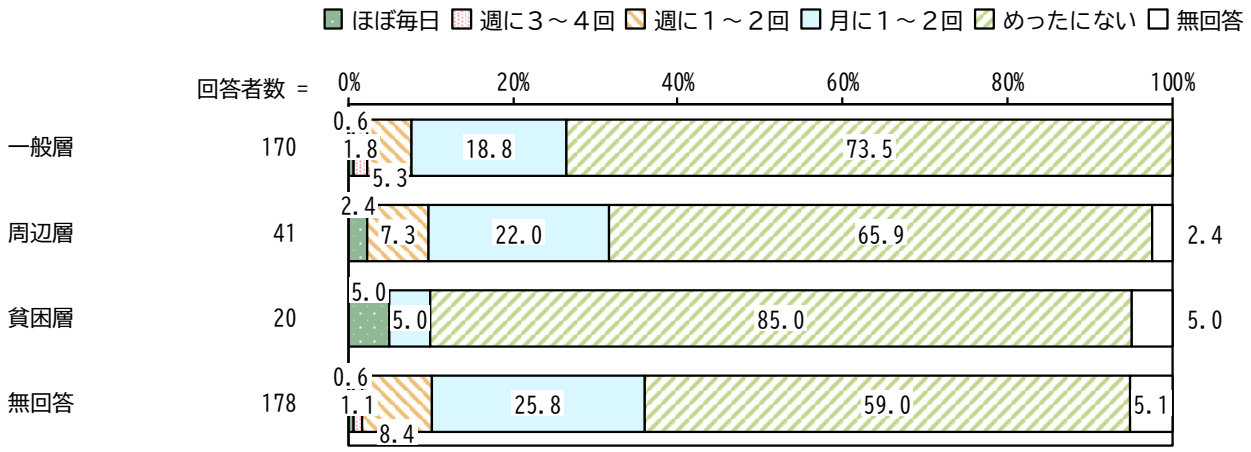
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「めったにない」の割合が増加しています。



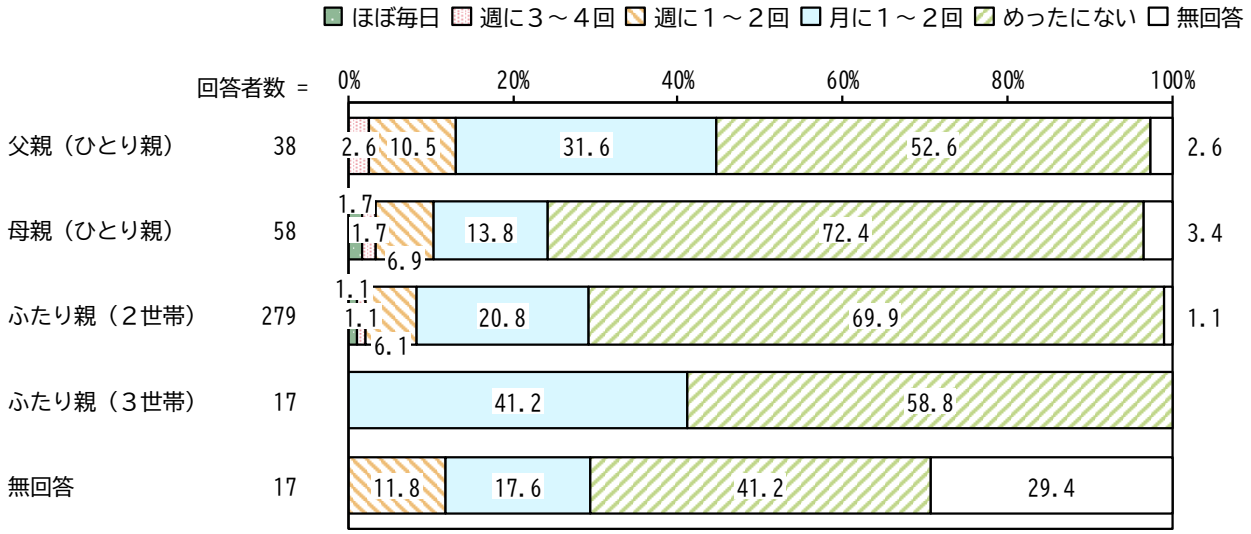
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「めったにない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

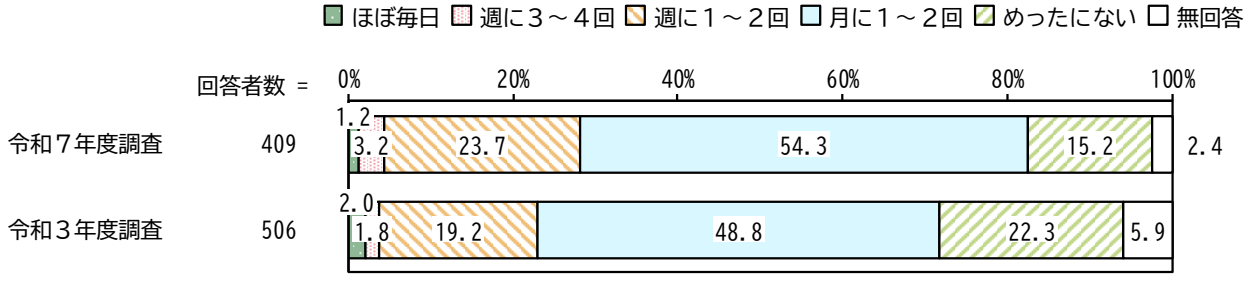
世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で「めったにない」の割合が低くなっています。



Ⅰ　お子さんと一緒に外出をする

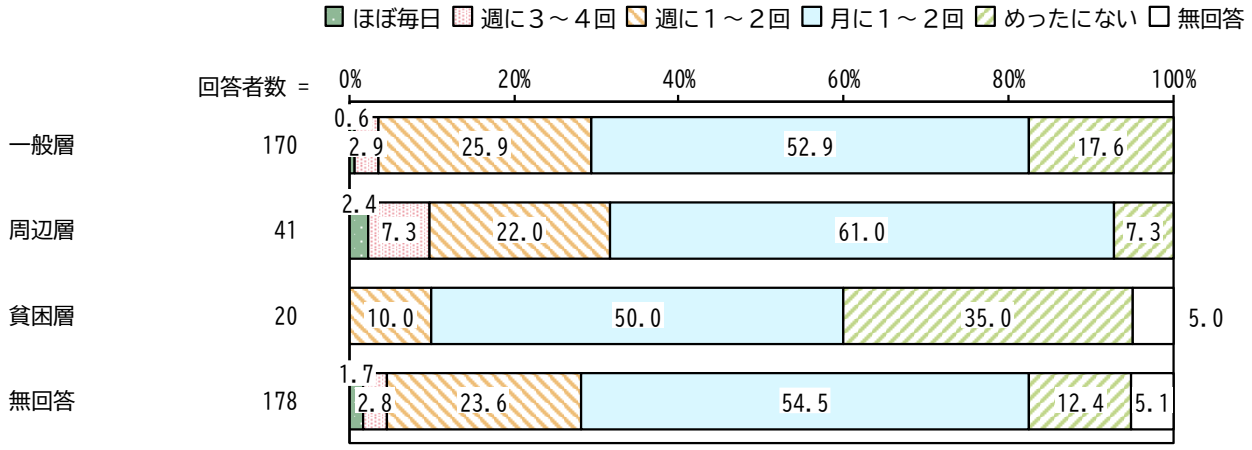
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「月に１～２回」の割合が増加しています。一方、「めったにない」の割合が減少しています。



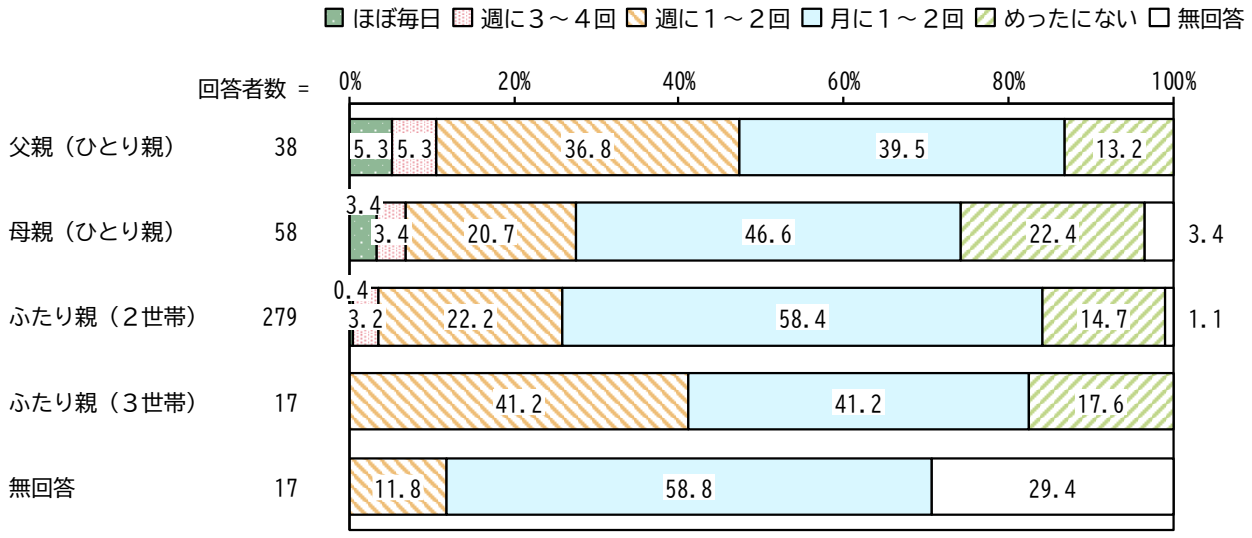
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「週に１～２回」の割合が高くなっています。また、貧困層で「めったにない」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

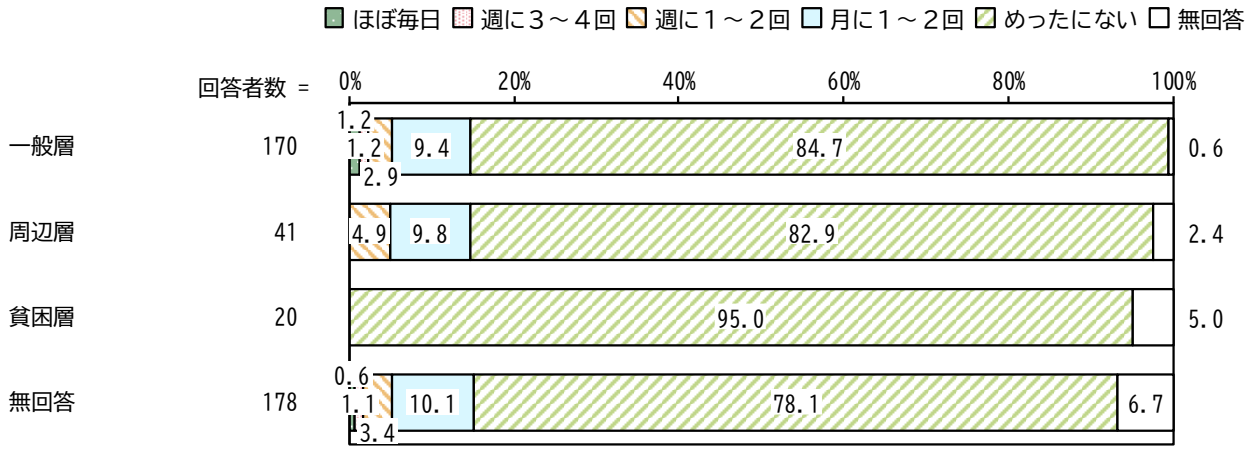
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で「めったにない」の割合が高くなっています。



J　お子さんと本や新聞を読む

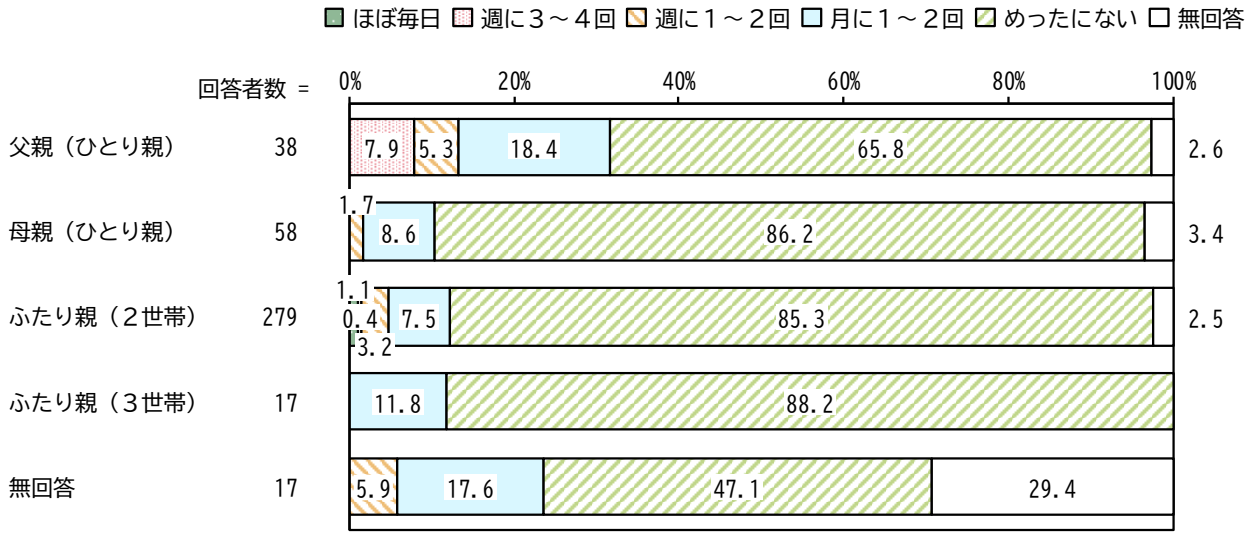
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、貧困層で「めったにない」の割合が高くなっています。



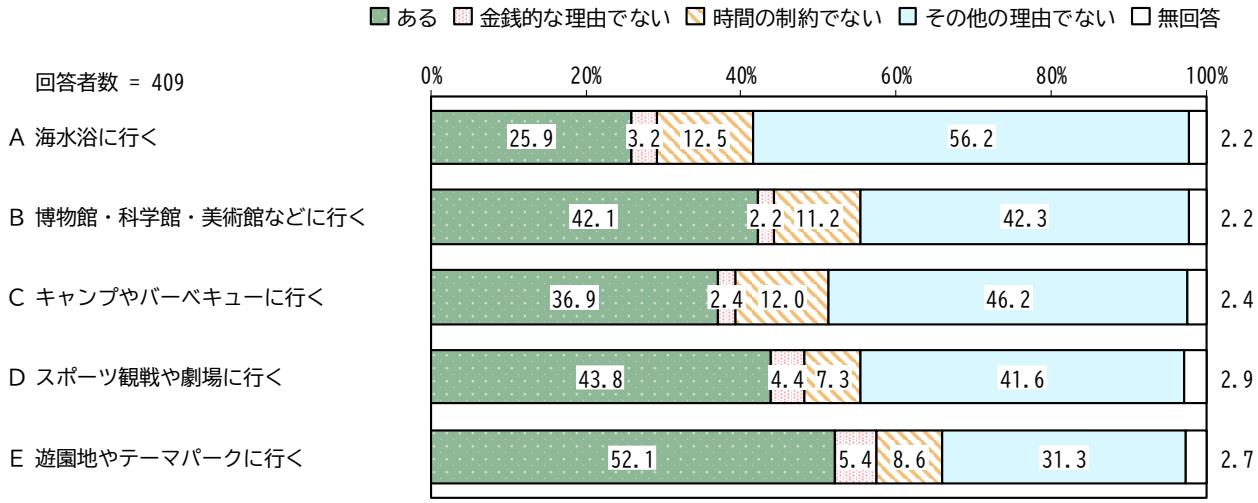
【世帯分類別】

世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で「めったにない」の割合が低くなっています。



問 28　過去２～３年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

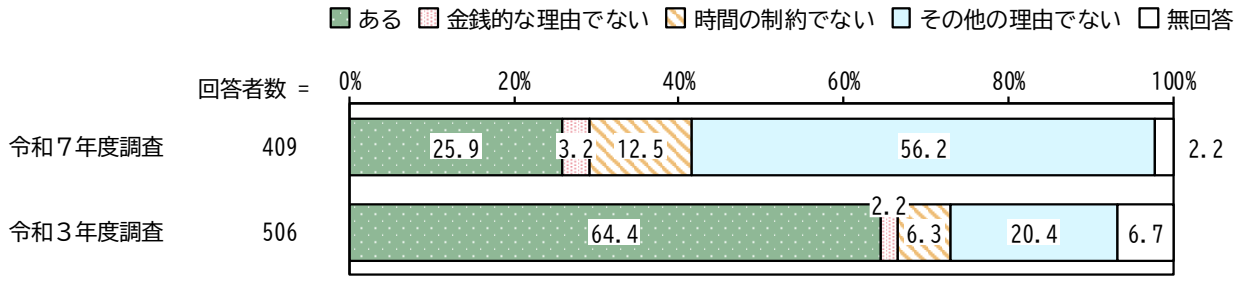
『Ｅ　遊園地やテーマパークに行く』で「ある」「金銭的な理由でない」が、『Ａ　海水浴に行く』で「時間の制約でない」「その他の理由でない」が高くなっています。



Ａ　海水浴に行く

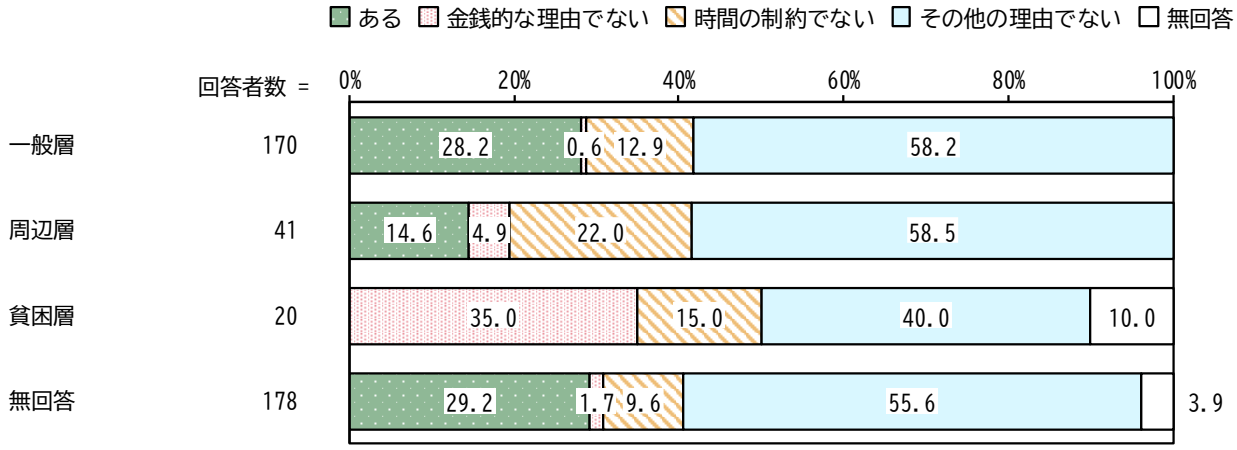
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「時間の制約でない」「その他の理由でない」の割合が増加しています。一方、「ある」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

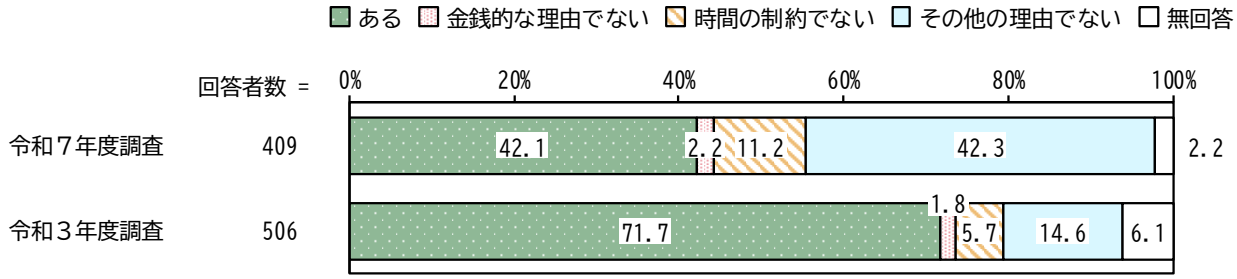
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「金銭的な理由でない」の割合が高く、「ある」の割合が低くなっています。また、貧困層で「その他の理由でない」の割合が低くなっています。



B　博物館・科学館・美術館などに行く

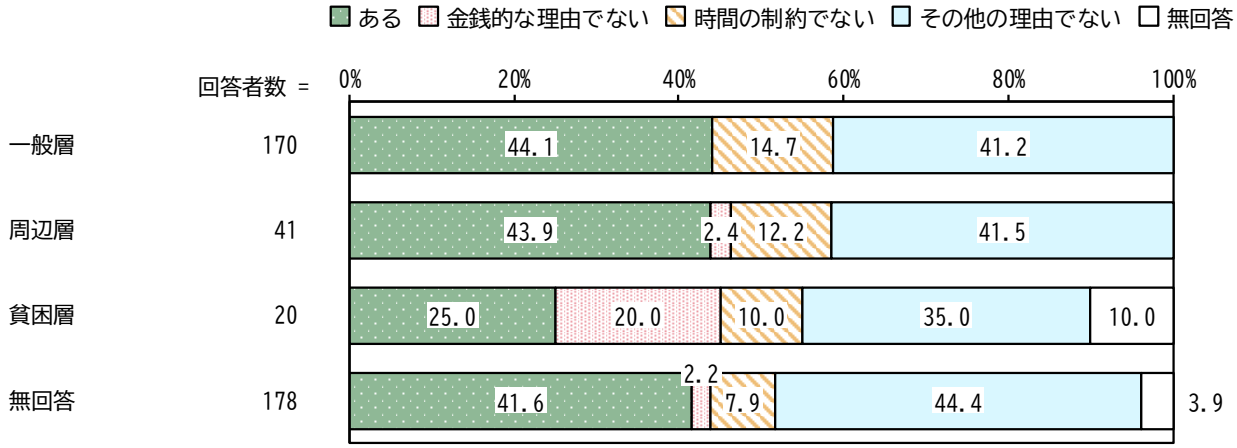
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「時間の制約でない」「その他の理由でない」の割合が増加しています。一方、「ある」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

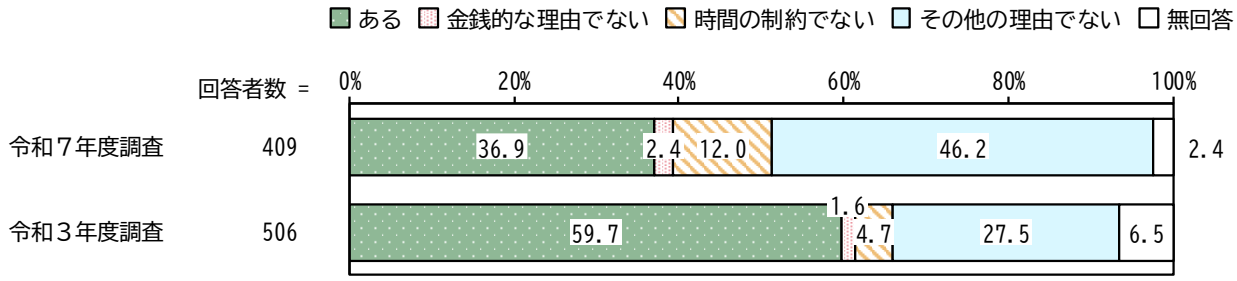
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「ある」「時間の制約でない」の割合が高く、「金銭的な理由でない」の割合が低くなっています。



C　キャンプやバーベキューに行く

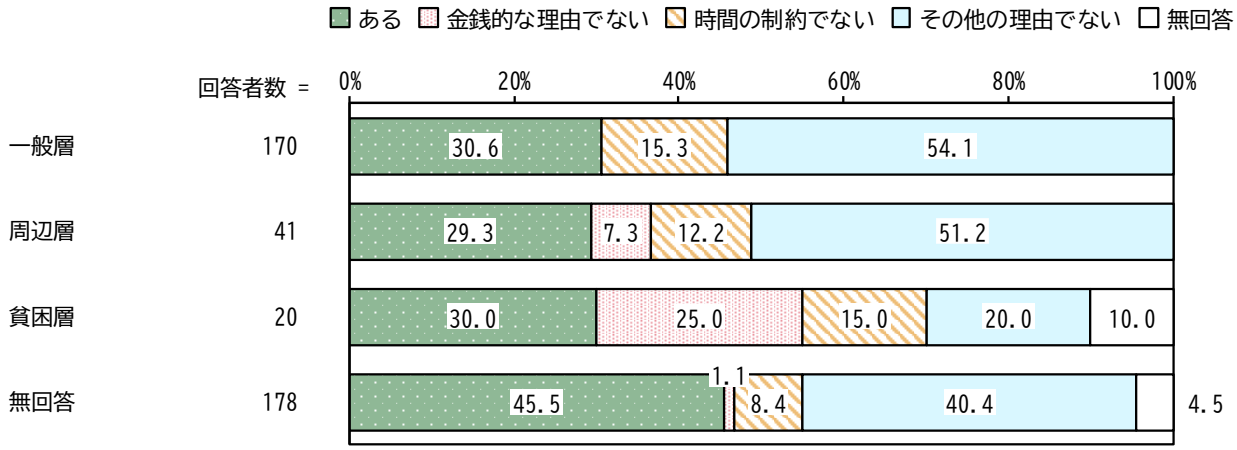
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「時間の制約でない」「その他の理由でない」の割合が増加しています。一方、「ある」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

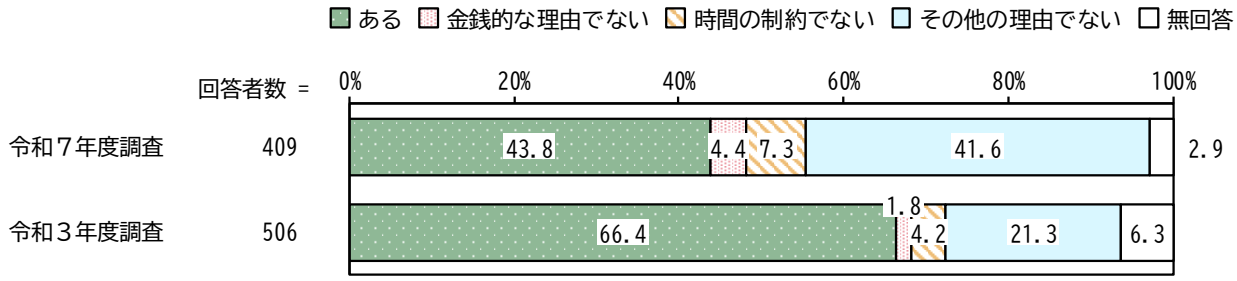
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「金銭的な理由でない」の割合が高く、「その他の理由でない」の割合が低くなっています。



D　スポーツ観戦や劇場に行く

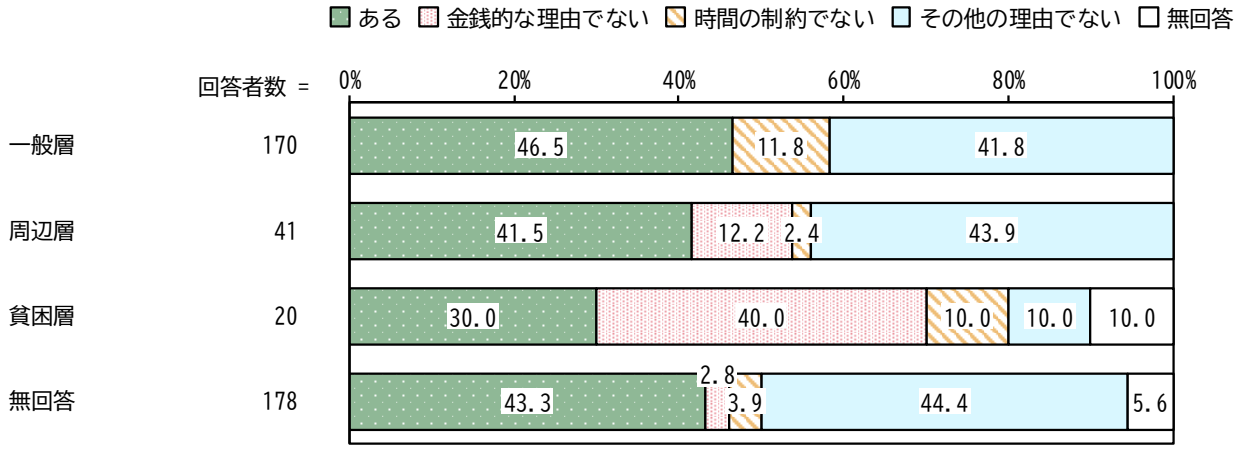
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「その他の理由でない」の割合が増加しています。一方、「ある」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

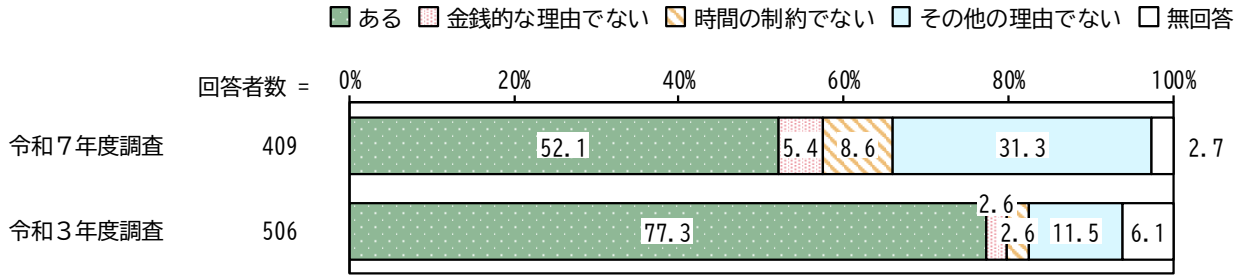
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「金銭的な理由でない」の割合が高く、「ある」の割合が低くなっています。また、貧困層で「その他の理由でない」の割合が低くなっています。



E　遊園地やテーマパークに行く

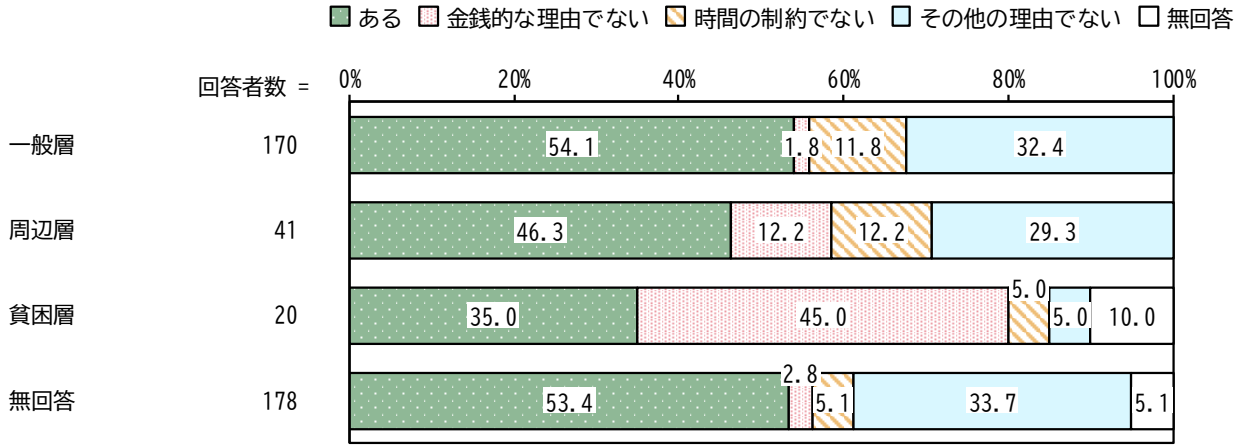
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「時間の制約でない」「その他の理由でない」の割合が増加しています。一方、「ある」の割合が減少しています。



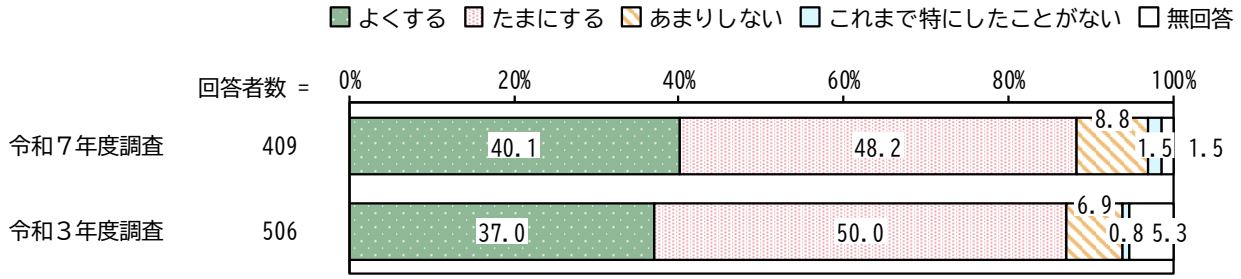
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「ある」「その他の理由でない」の割合が高く、「金銭的な理由でない」の割合が低くなっています。



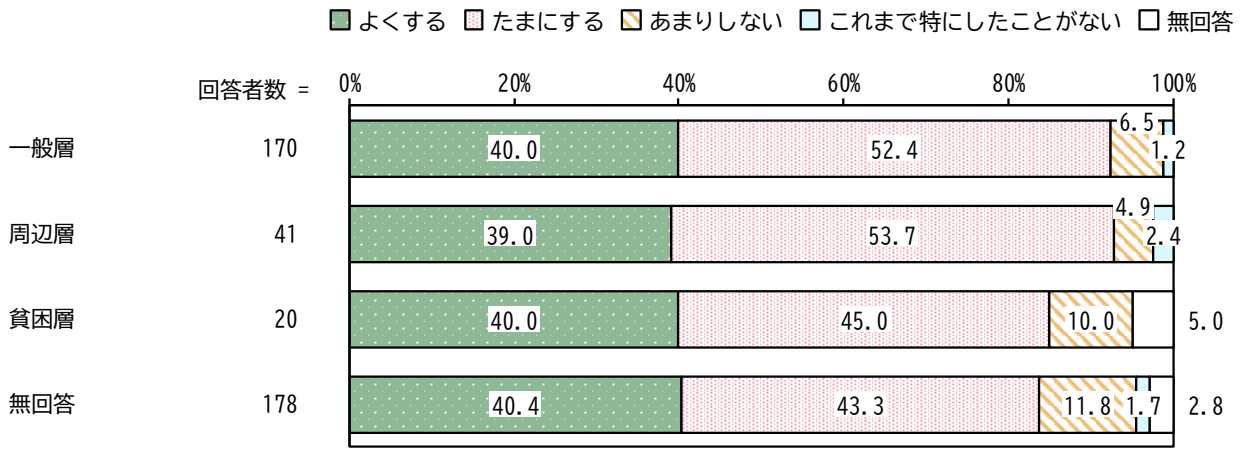
問 29　あなたは、お子さんの将来（夢・進路・職業等）について、お子さんと一緒に考えたり、話したりすることがありますか。（１つに○）

「たまにする」の割合が 48.2%と最も高く、次いで「よくする」の割合が 40.1%となっています。令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



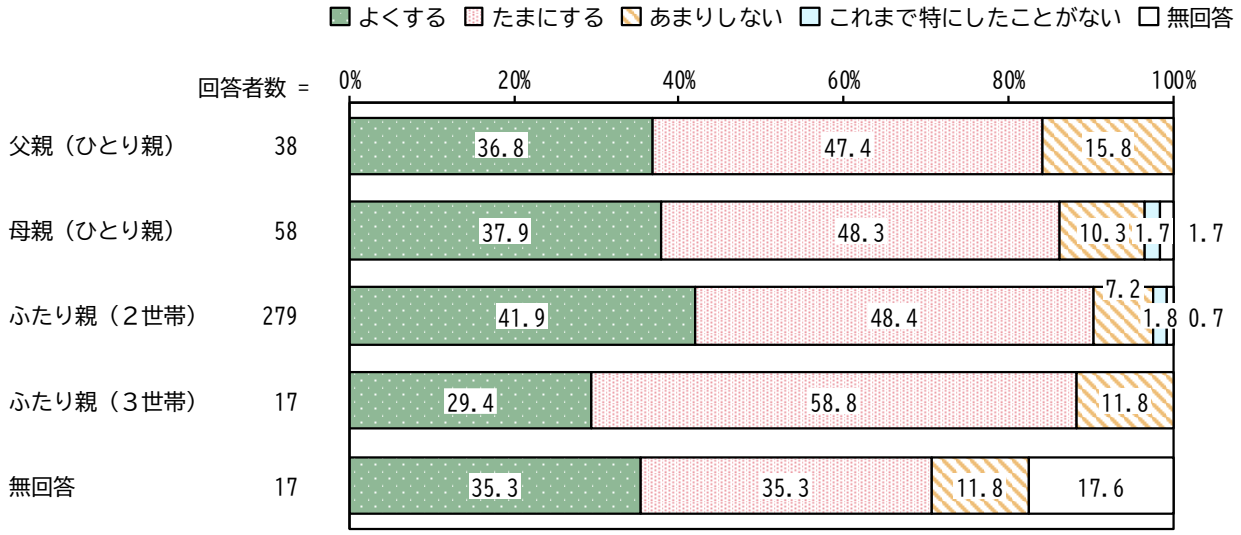
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、周辺層で「たまにする」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

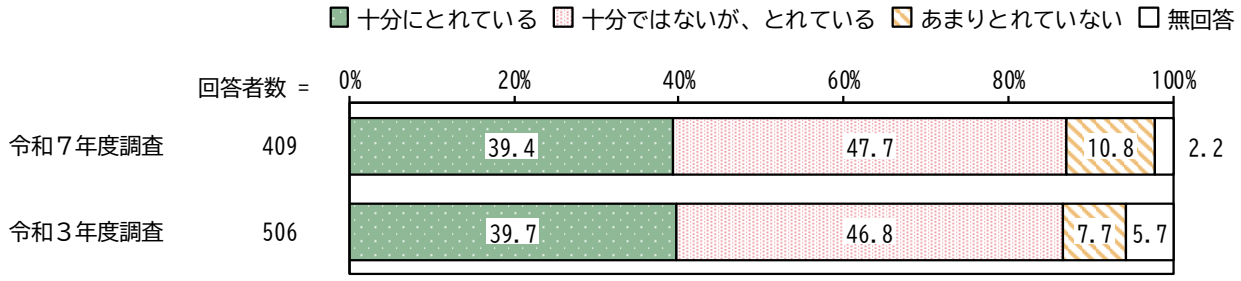
世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「たまにする」の割合が高く、「よくする」の割合が低くなっています。



問 30　お子さんと一緒に過ごす時間がとれていますか。（１つに○）

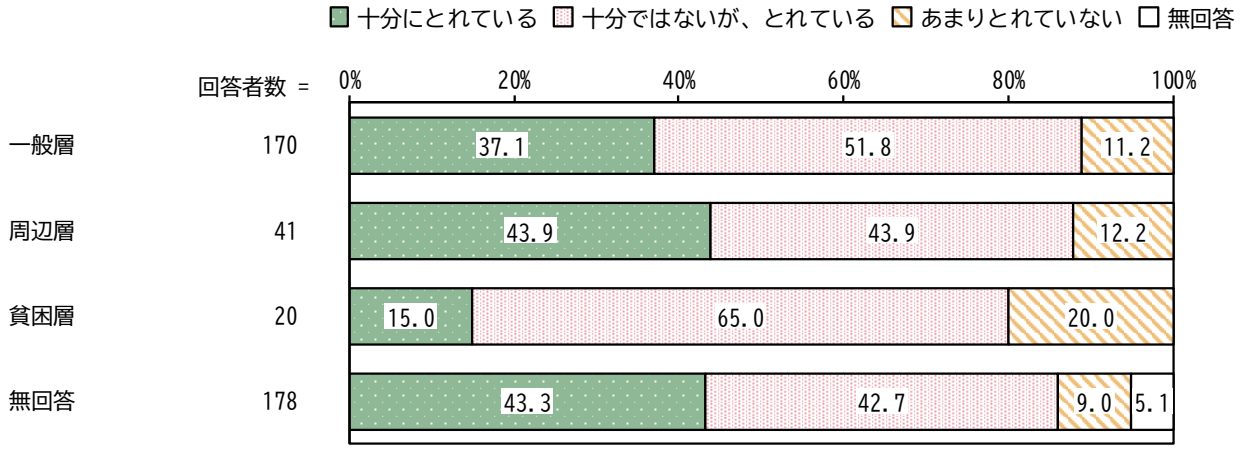
「十分にとれている」の割合が 39.4%、「十分ではないが、とれている」の割合が 47.7%、「あまりとれていない」の割合が 10.8%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



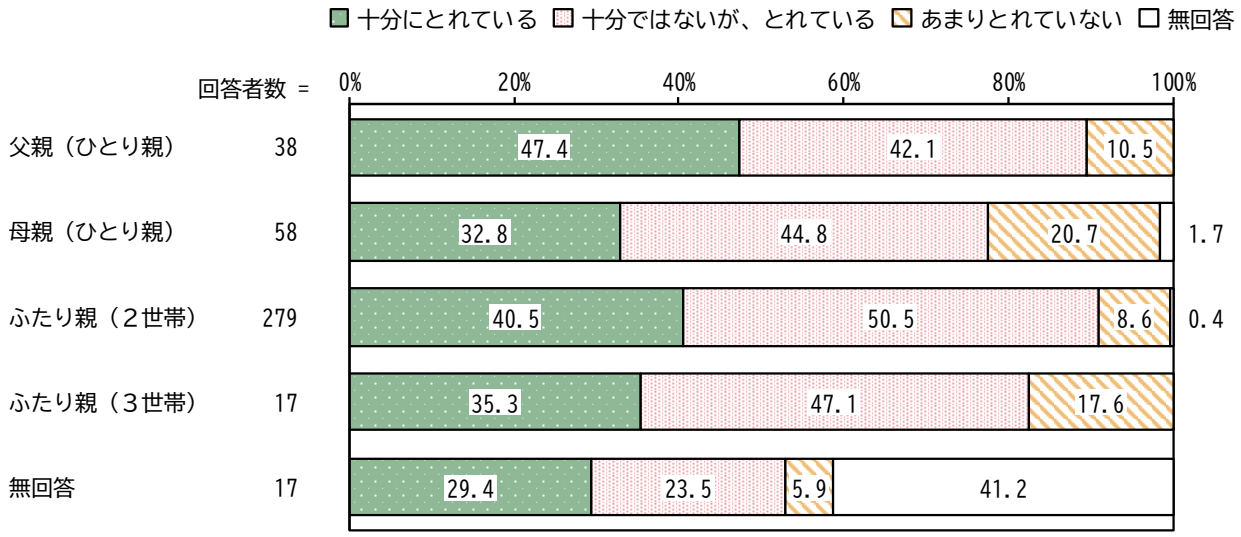
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「あまりとれていない」の割合が高くなっています。また、貧困層で「十分ではないが、とれている」の割合が高く、「十分にとれている」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で「十分にとれている」、母親（ひとり親）で「あまりとれていない」の割合が高くなっています。

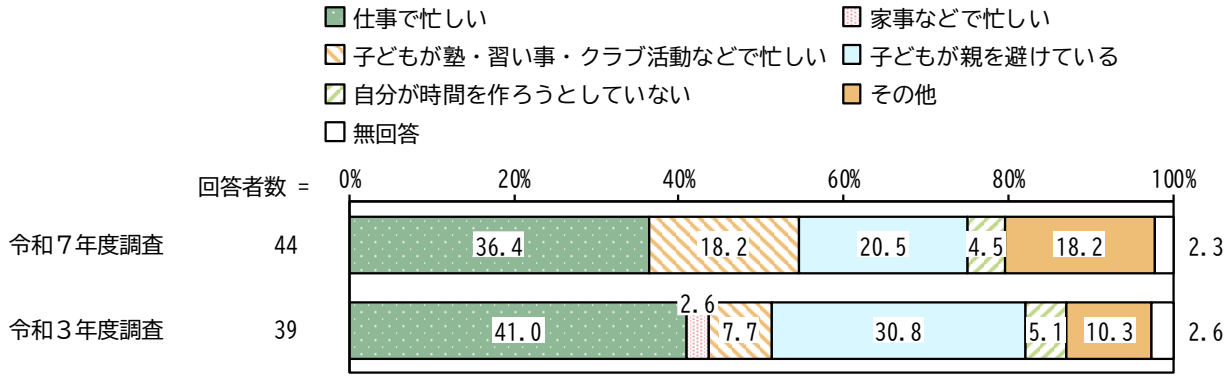


問 30 で「あまりとれていない」を選んだ方にお聞きします。

問 30－１　その主な理由は何ですか。（１つに○）

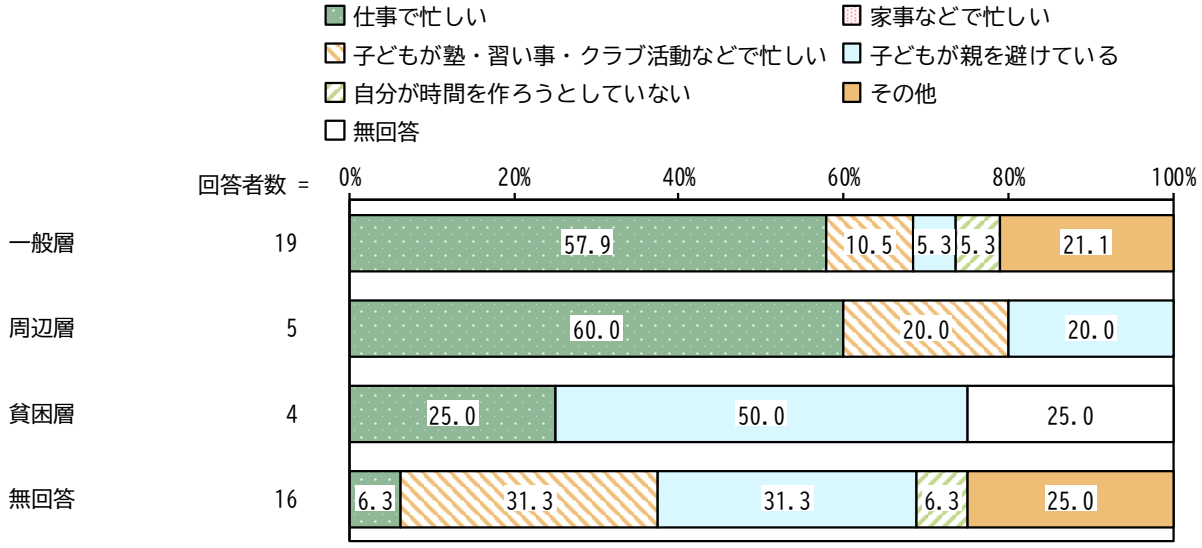
「仕事で忙しい」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「子どもが親を避けている」の割合が 20.5%、「子どもが塾・習い事・クラブ活動などで忙しい」の割合が 18.2%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「子どもが塾・習い事・クラブ活動などで忙しい」の割合が増加しています。一方、「子どもが親を避けている」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

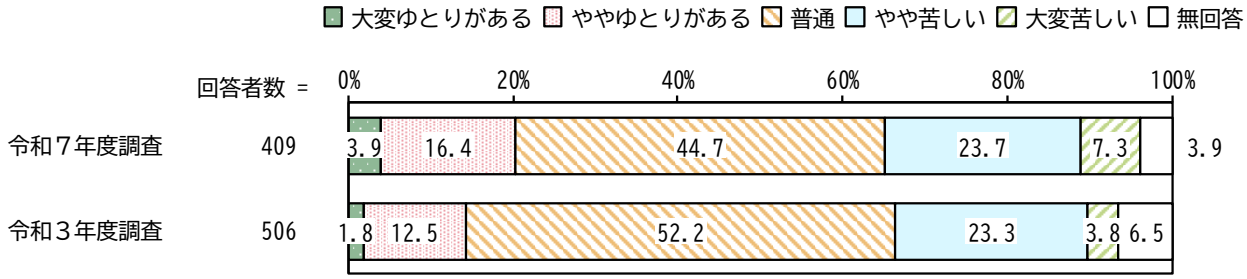
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「子どもが親を避けている」の割合が高く、周辺層から貧困層まで困難度が小さいほど「仕事で忙しい」「子どもが塾・習い事・クラブ活動などで忙しい」の割合が高くなっています。



問 31　あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（１つに○）

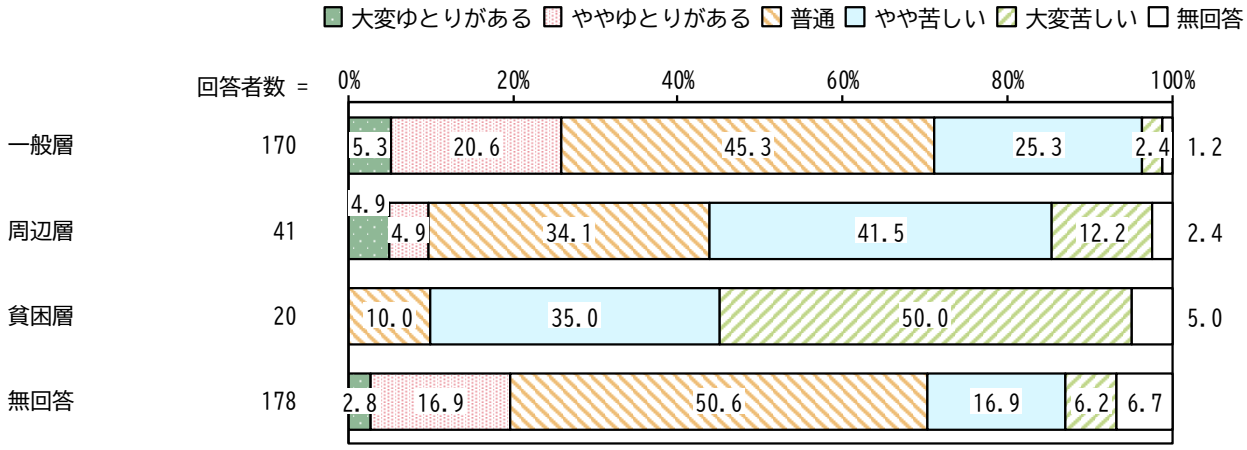
「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合が 20.3%、「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が 31.0%となっています。

令和３年度調査と比較すると、“ゆとりがある”の割合が増加しています。



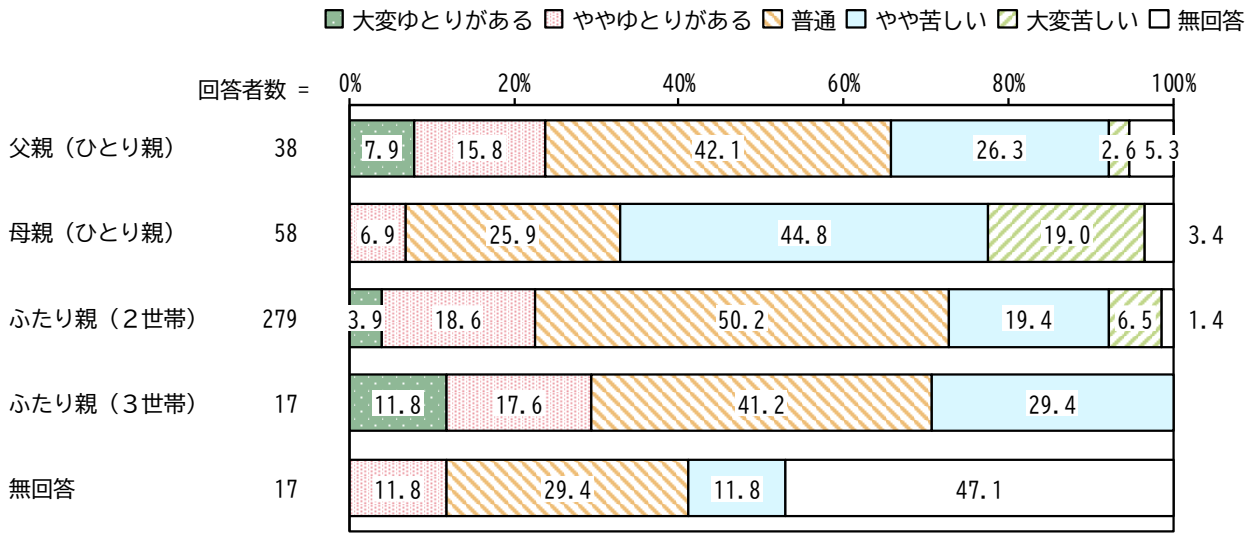
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど“苦しい”の割合が高くなっています。また、周辺層で「やや苦しい」の割合が高くなっています。



【世帯分類別】

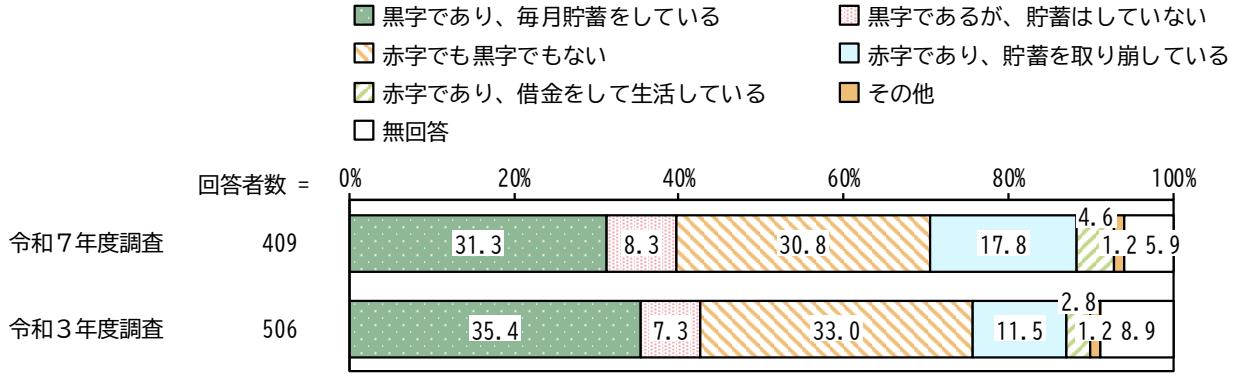
世帯分類別にみると、母親（ひとり親）で“苦しい”の割合が高くなっています。



問 32　あなたのご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。（１つに○）

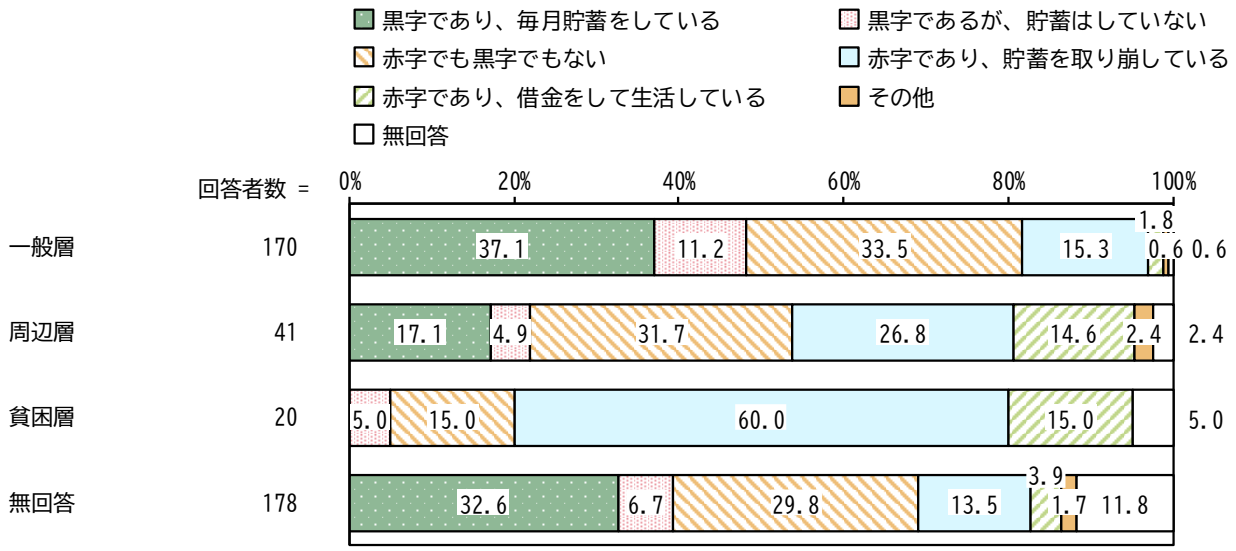
「黒字であり、毎月貯蓄をしている」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「赤字でも黒字でもない」の割合が 30.8%、「赤字であり、貯蓄を取り崩している」の割合が 17.8%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「赤字であり、貯蓄を取り崩している」の割合が増加しています。



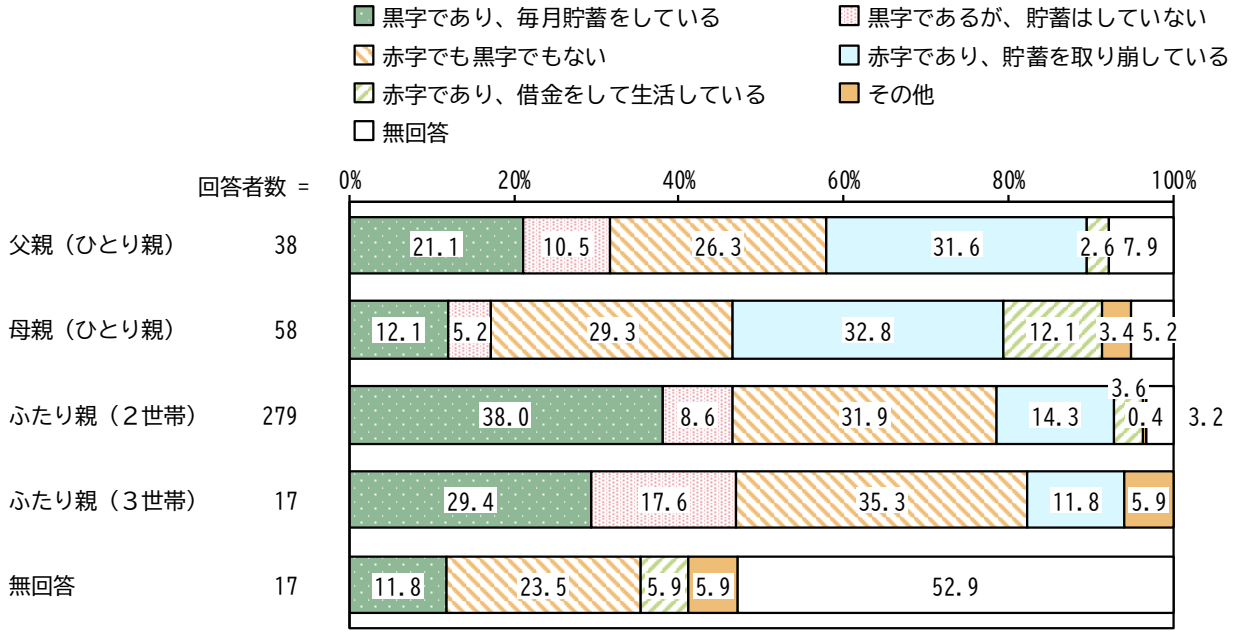
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「赤字であり、貯蓄を取り崩している」「赤字であり、借金をして生活している」の割合が高く、「黒字であり、毎月貯蓄をしている」「赤字でも黒字でもない」の割合が低くなっています。



【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（２世帯）で「黒字であり、毎月貯蓄をしている」、ふたり親（３世帯）で「黒字であるが、貯蓄はしていない」、父親（ひとり親）、母親（ひとり親）で「赤字であり、貯蓄を取り崩している」、母親（ひとり親）で「赤字であり、借金をして生活している」の割合が高くなっています。

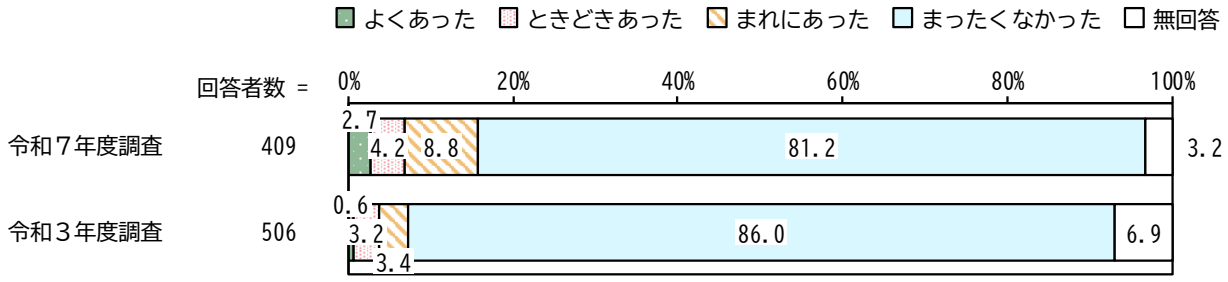


問 33　あなたのご家庭では、過去１年の間に、お金が足りなくて、次のものを買えないことがありましたか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

A　食料

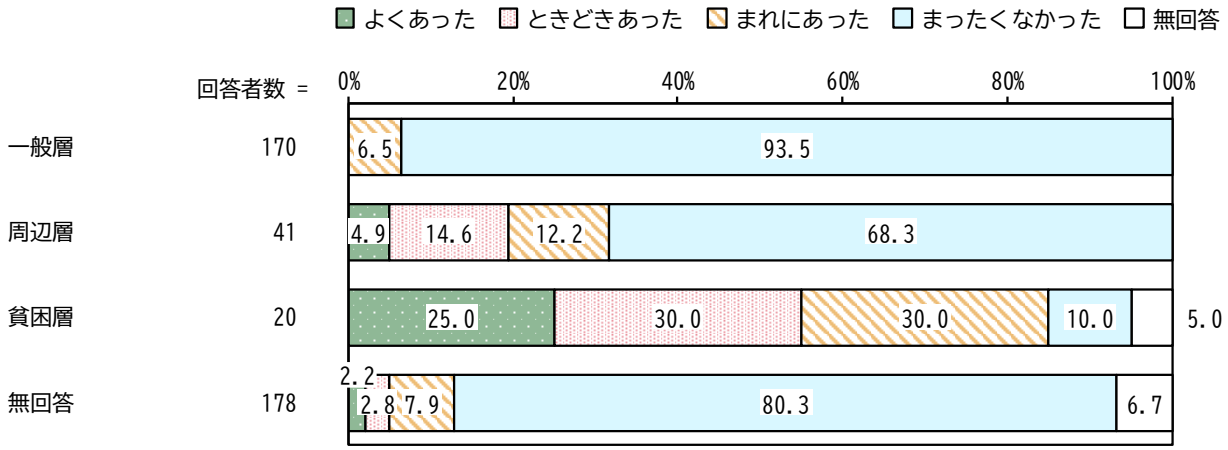
「まったくなかった」の割合が 81.2%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、「まれにあった」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

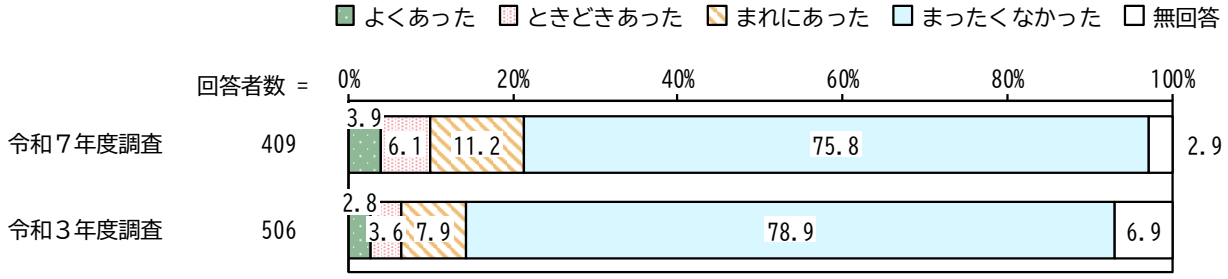
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の割合が高く、「まったくなかった」の割合が低くなっています。



B　衣料

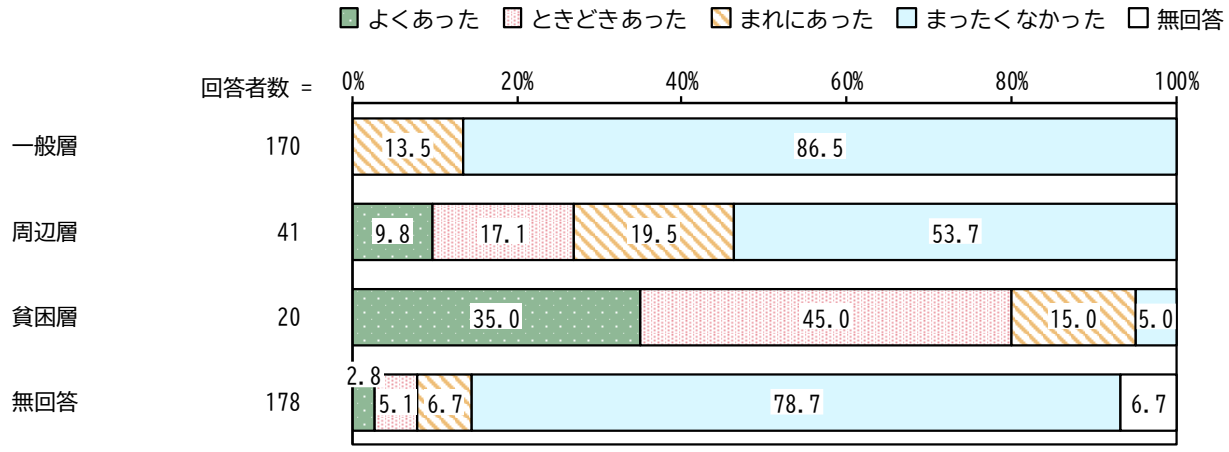
「まったくなかった」の割合が 75.8%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が 11.2%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



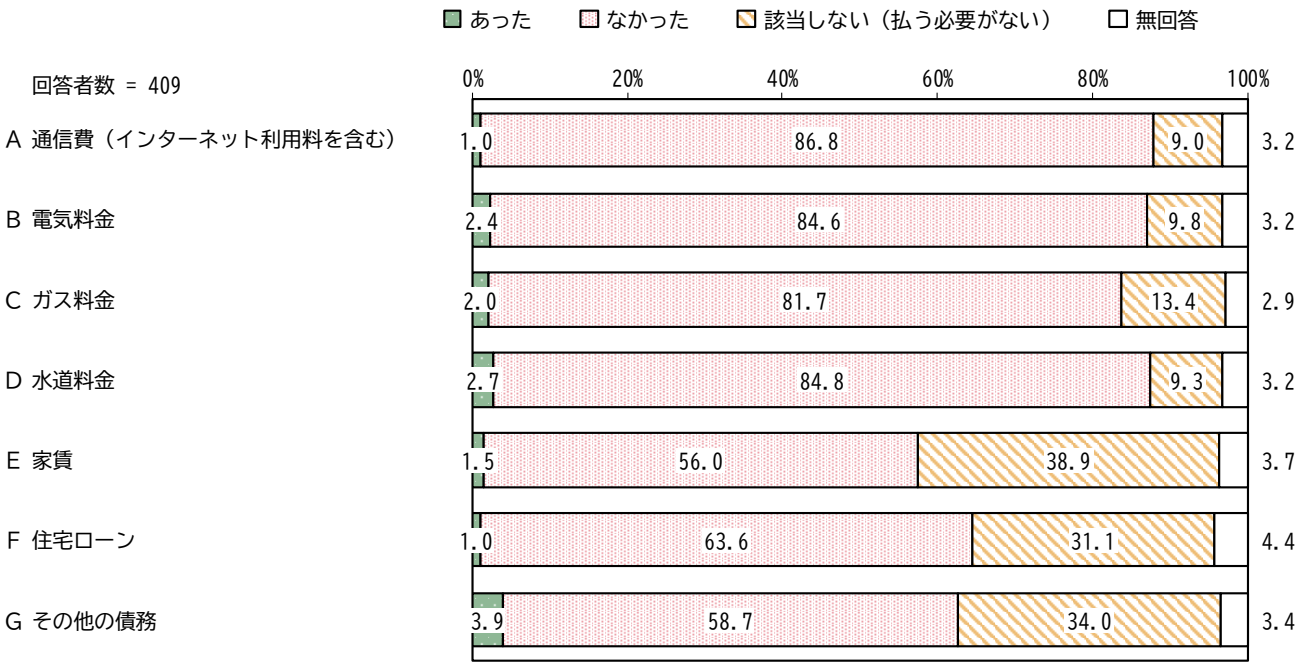
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「よくあった」「ときどきあった」の割合が高く、「まったくなかった」の割合が低くなっています。



問 34　あなたのご家庭では、過去１年の間に、経済的な理由で、以下のＡ～Ｇの料金について、支払えないことがありましたか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

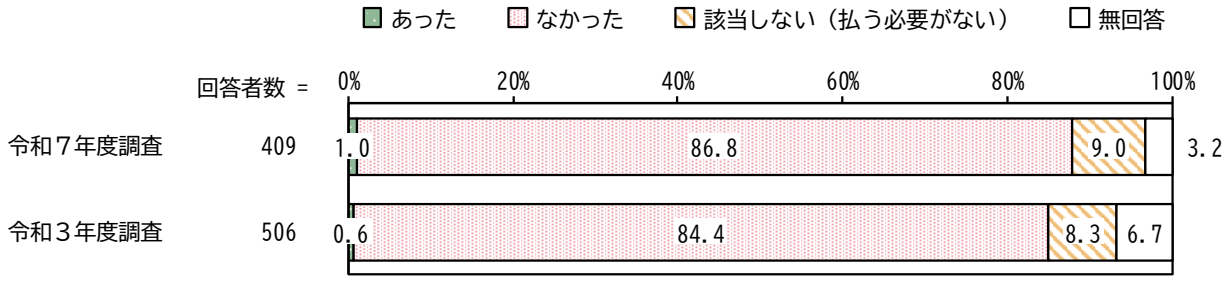
『Ｇ　その他の債務』で「あった」が、『Ａ　通信費（インターネット利用料を含む）』で「なかった」が、『Ｅ　家賃』で「該当しない（払う必要がない）」が高くなっています。



A　通信費（インターネット利用料を含む）

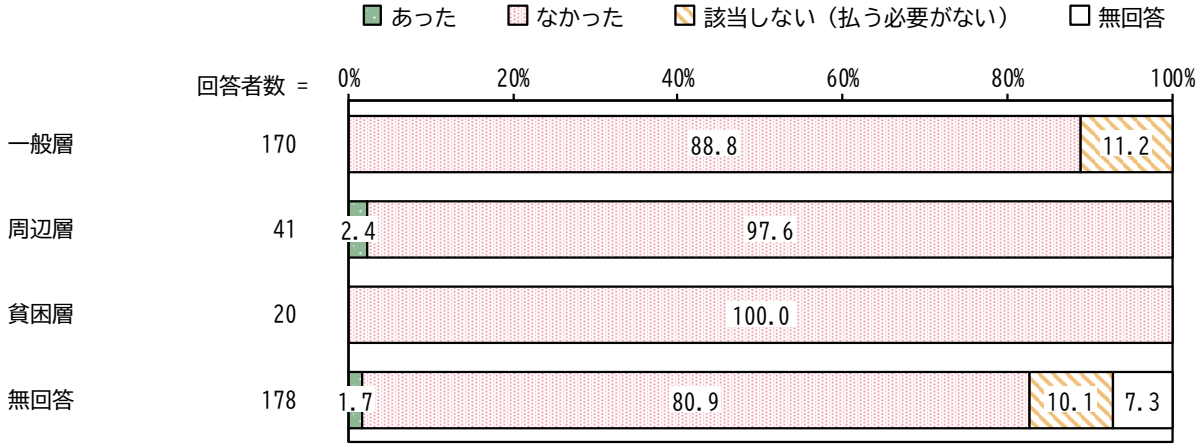
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

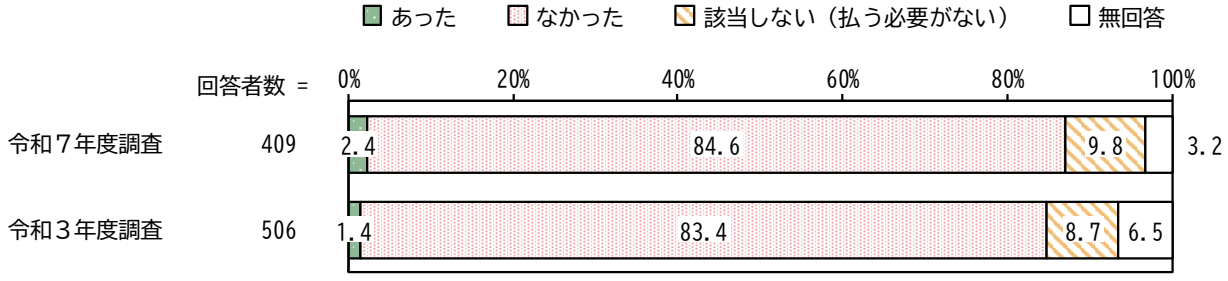
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「なかった」の割合が高くなっています。



B　電気料金

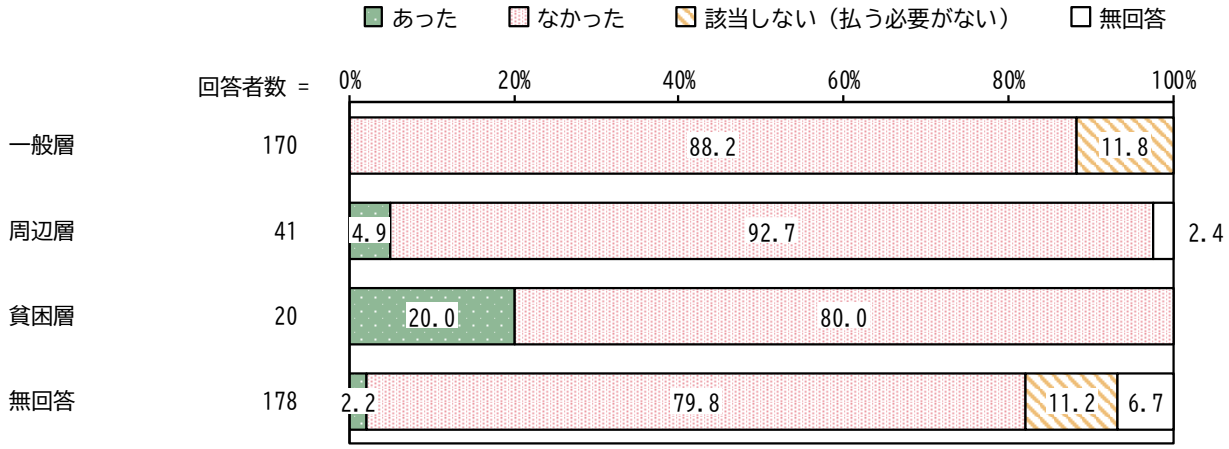
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

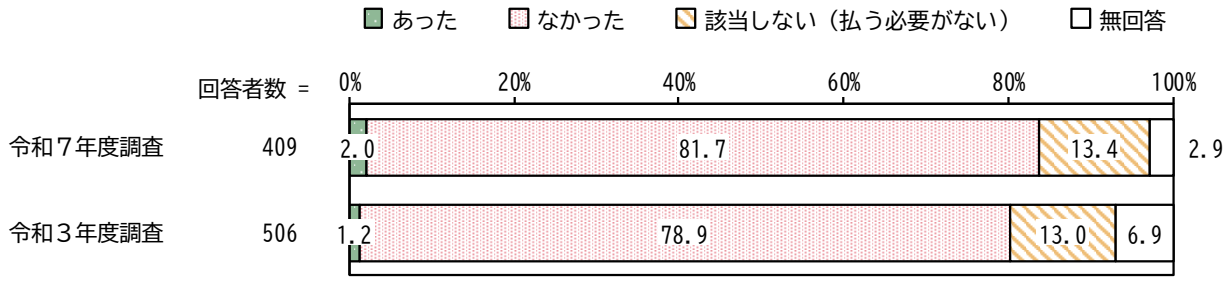
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「あった」の割合が高くなっています。



C　ガス料金

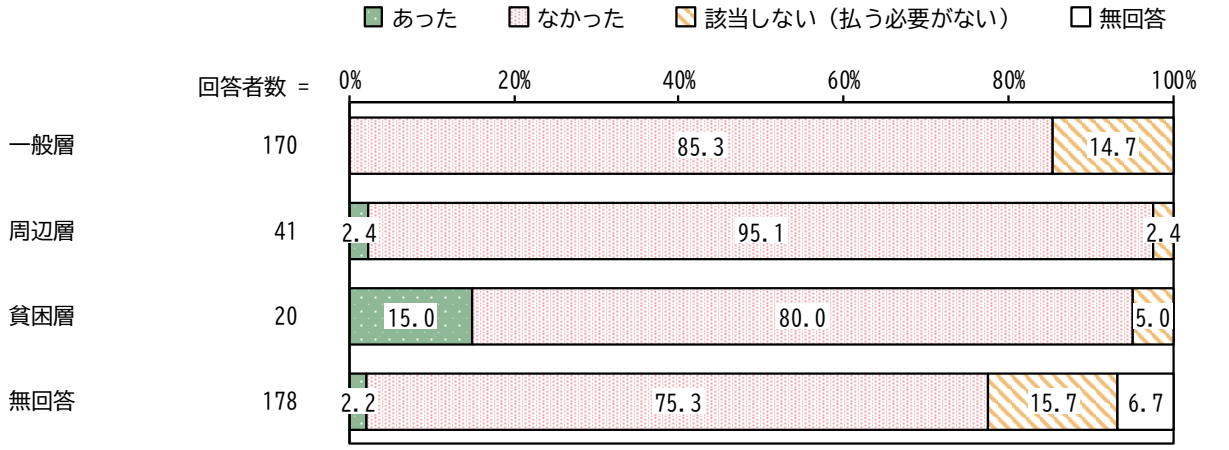
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

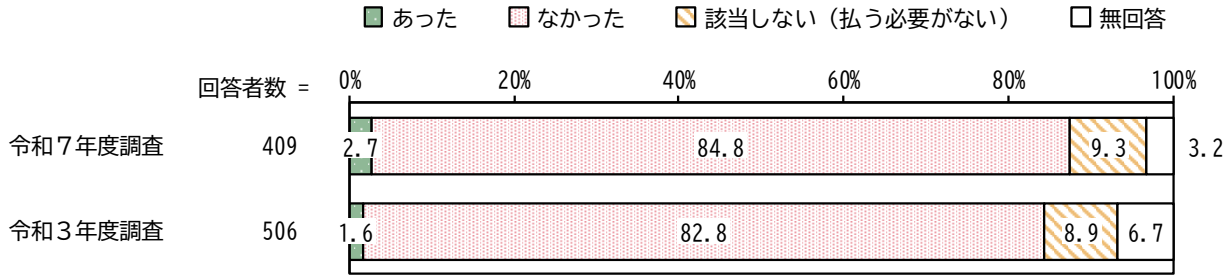
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「あった」の割合が高くなっています。



D　水道料金

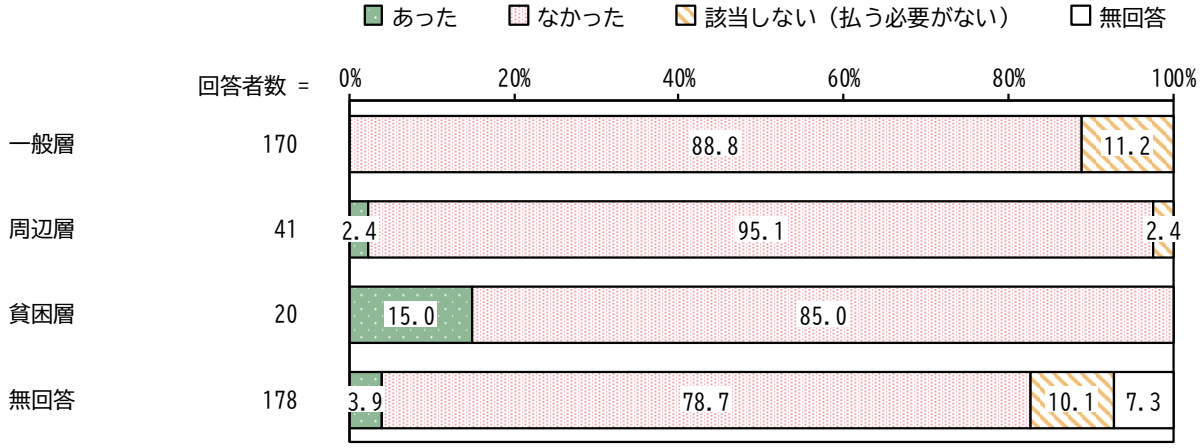
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

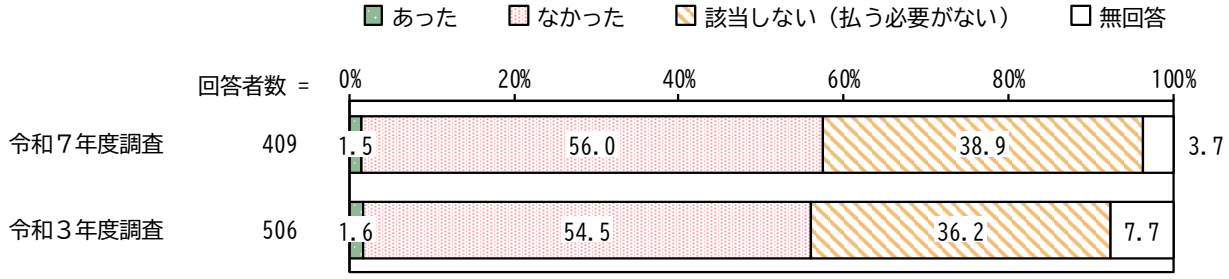
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「あった」の割合が高くなっています。



E　家賃

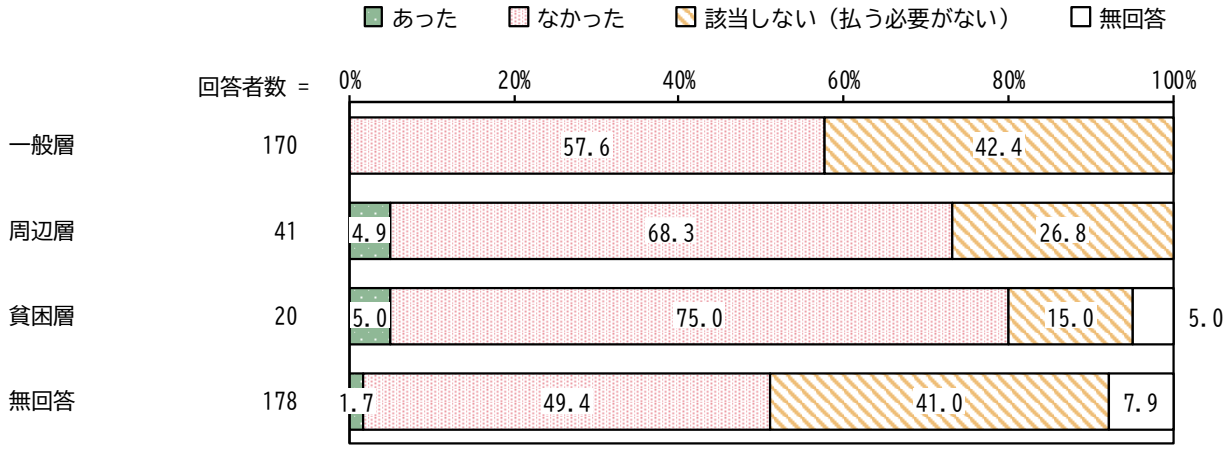
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

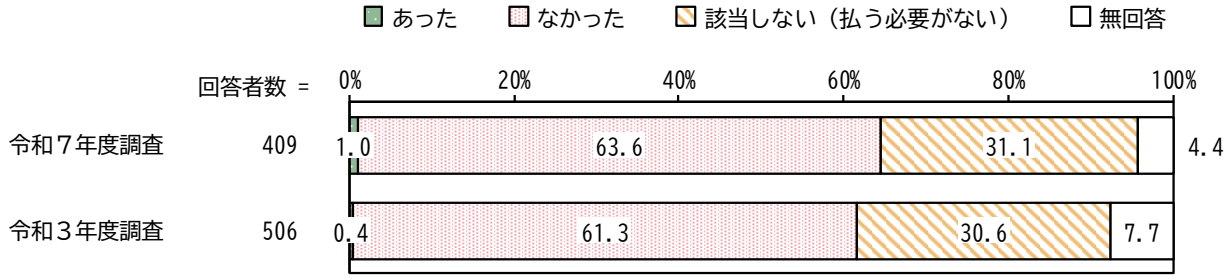
生活困難度別にみると、貧困層で「なかった」の割合が高くなっています。



F　住宅ローン

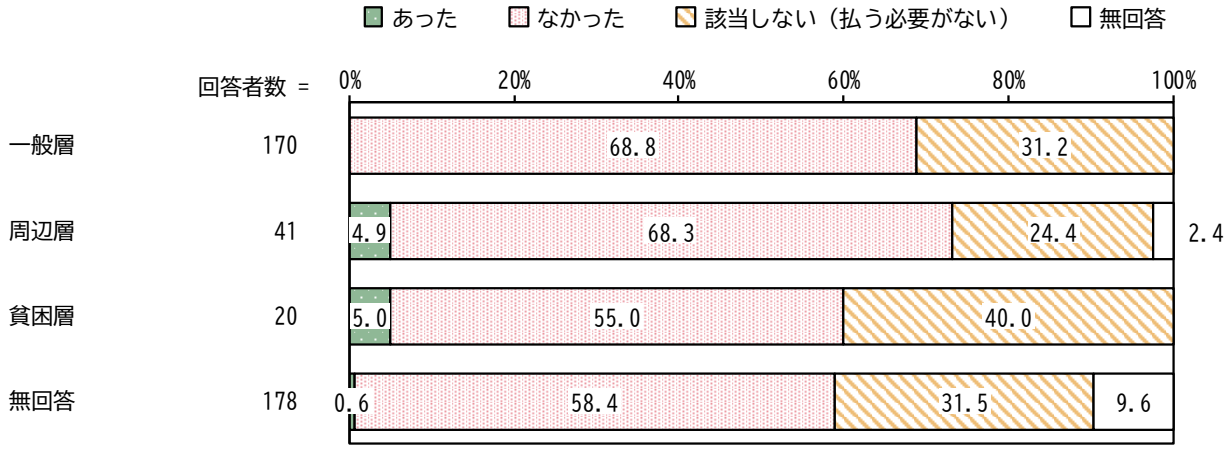
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

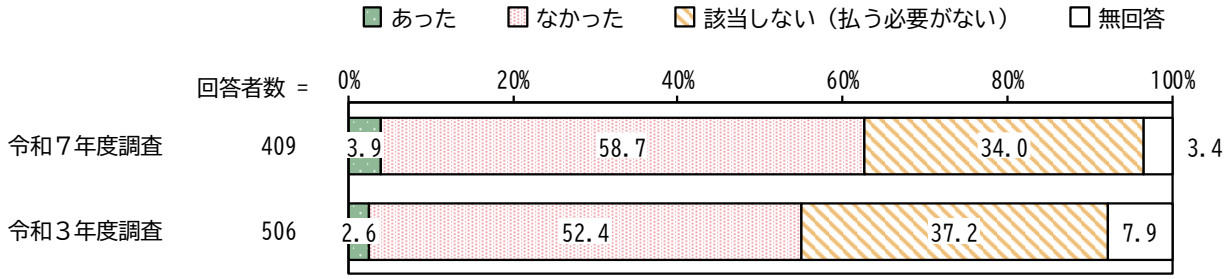
生活困難度別にみると、一般層で「なかった」の割合が高くなっています。



G　その他の債務

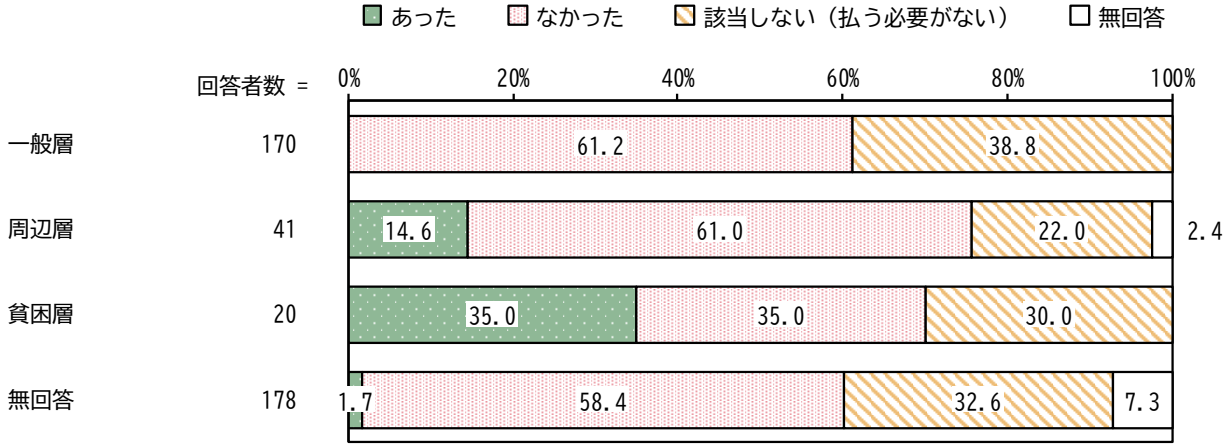
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「なかった」の割合が増加しています。



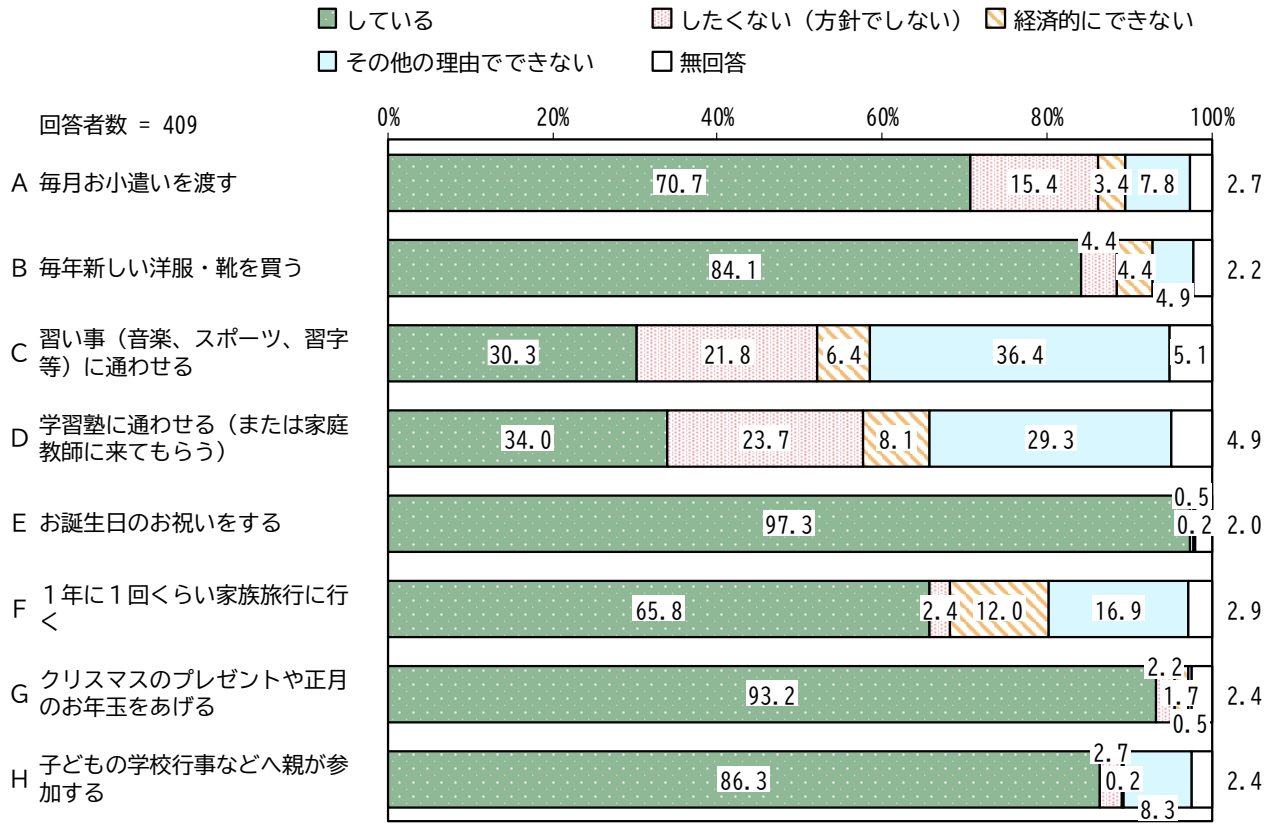
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「あった」の割合が高くなっています。



問 35　あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「している」「していない、したくない（方針でしない）」「していない、経済的にできない」「していない　その他の理由でできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

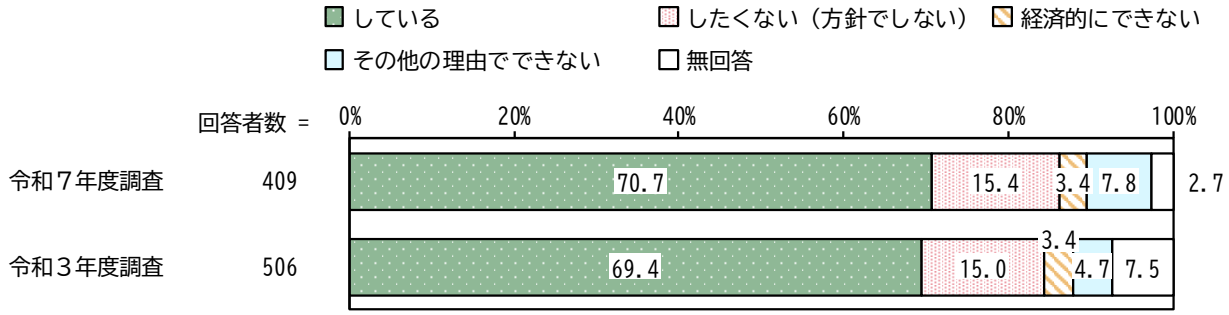
『E　お誕生日のお祝いをする』で「している」が、『D　学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）』で「したくない（方針でしない）」が、『F　１年に１回くらい家族旅行に行く』で「経済的にできない」が、『C　習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる』で「その他の理由でできない」が高くなっています。



A　毎月お小遣いを渡す

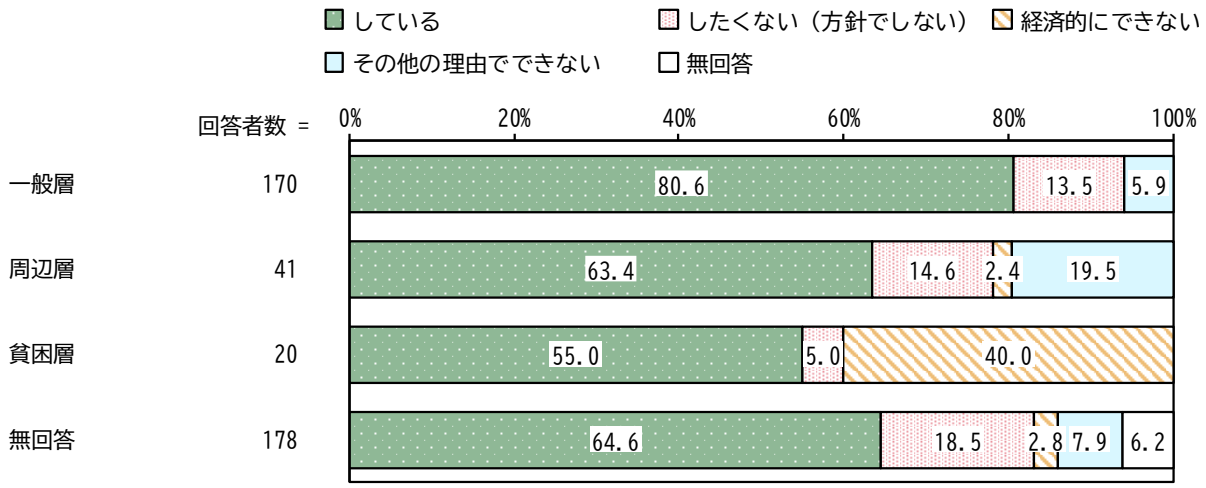
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

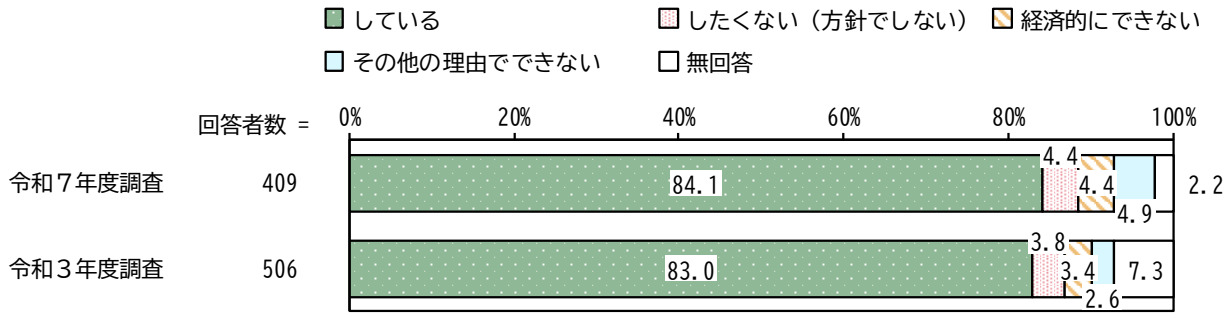
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「経済的にできない」の割合が高く、「している」の割合が低くなっています。また、貧困層で「したくない（方針でしない）」の割合が低くなっています。



B　毎年新しい洋服・靴を買う

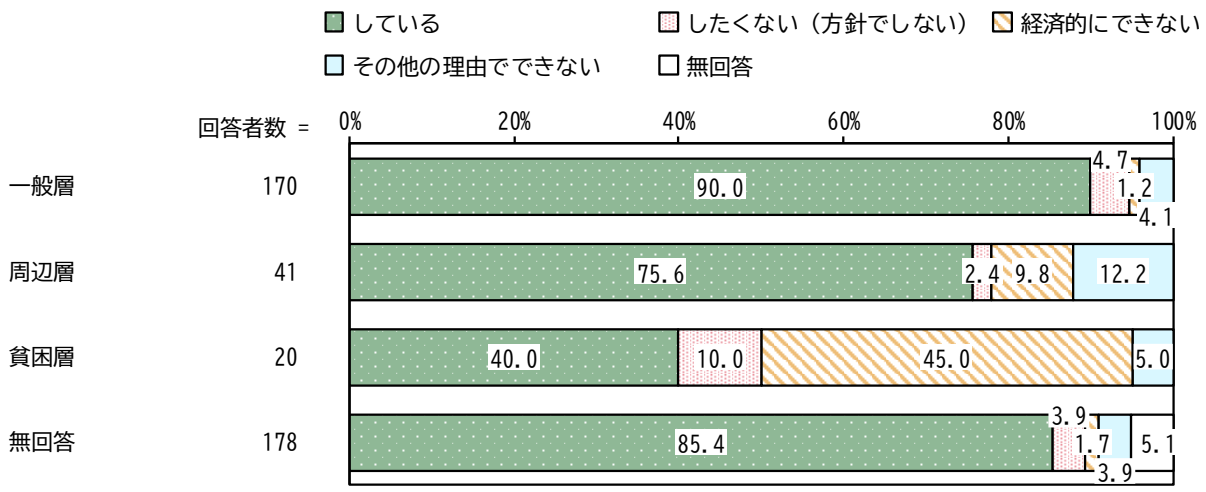
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

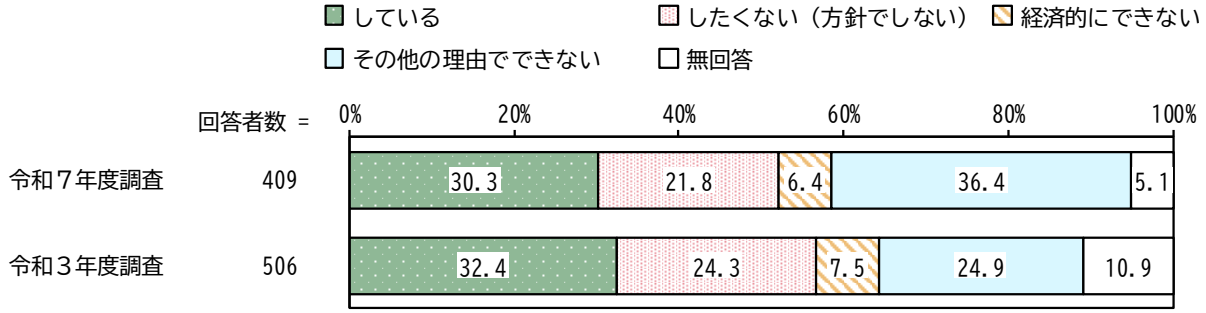
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「経済的にできない」の割合が高く、「している」の割合が低くなっています。



C　習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる

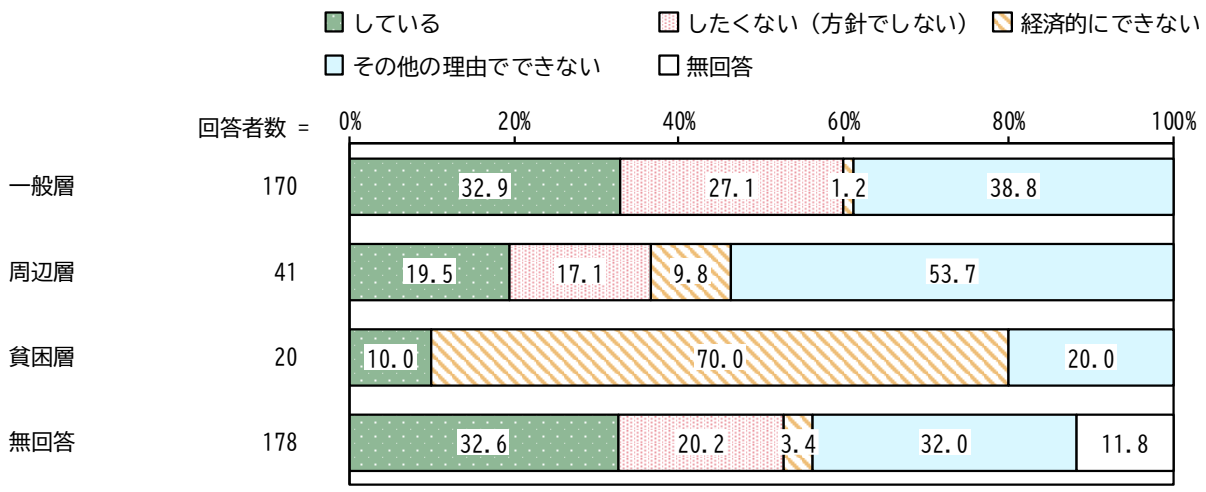
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

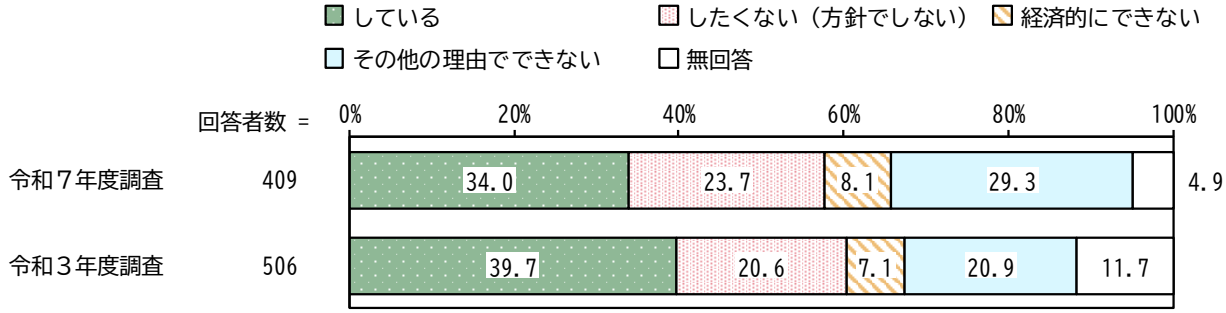
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「している」「したくない（方針でしない）」の割合が高く、「経済的にできない」の割合が低くなっています。



D　学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）

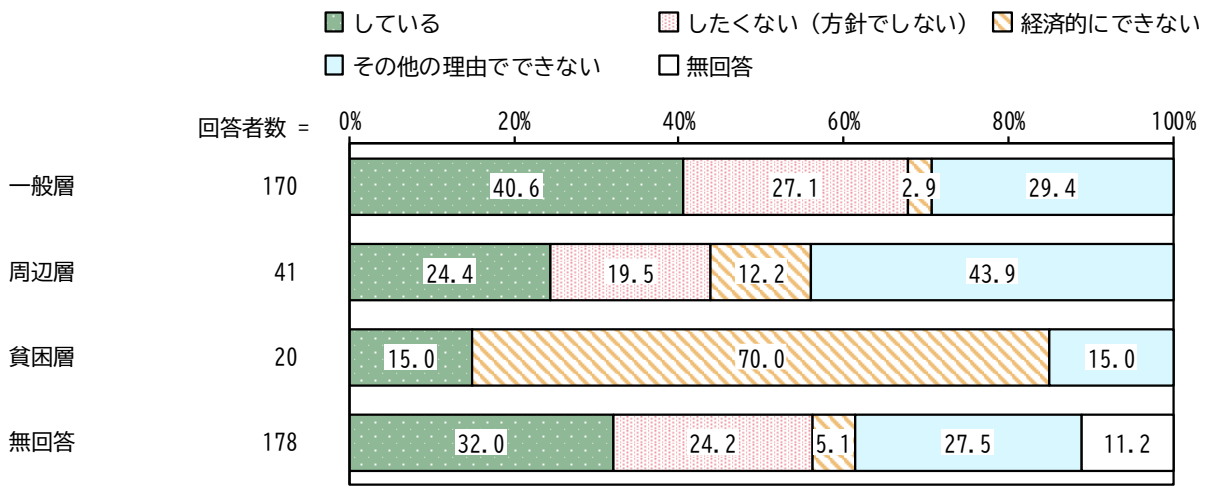
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「している」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

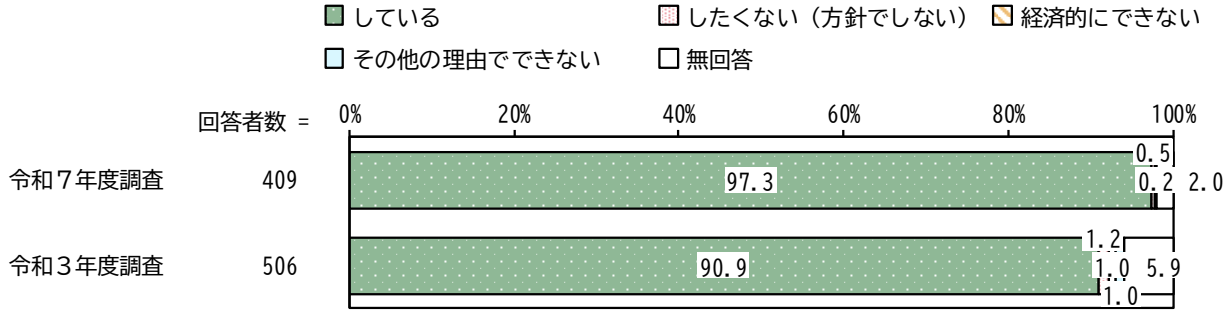
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「している」「したくない（方針でしない）」の割合が高く、「経済的にできない」の割合が低くなっています。



E　お誕生日のお祝いをする

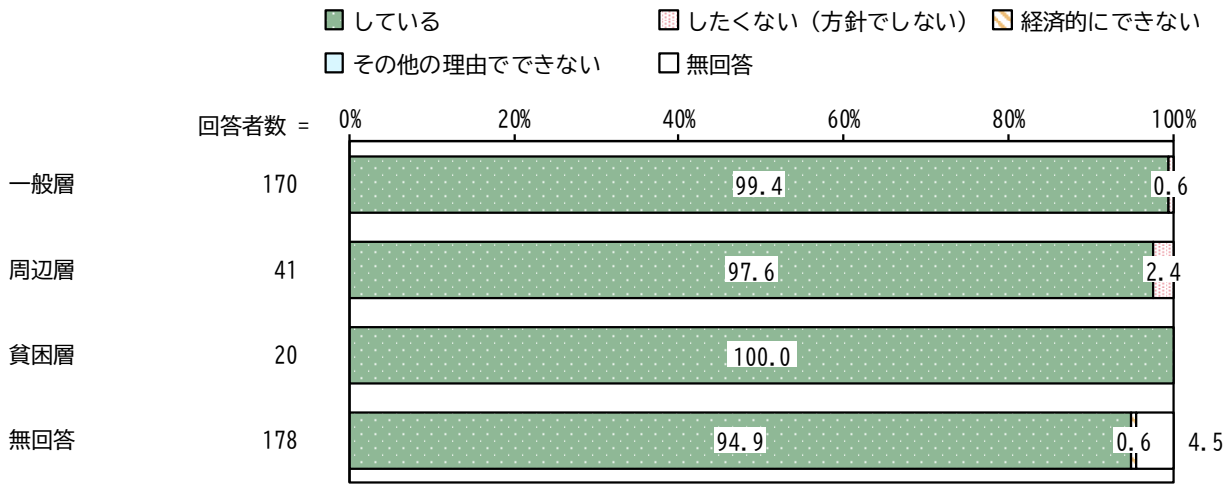
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「している」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

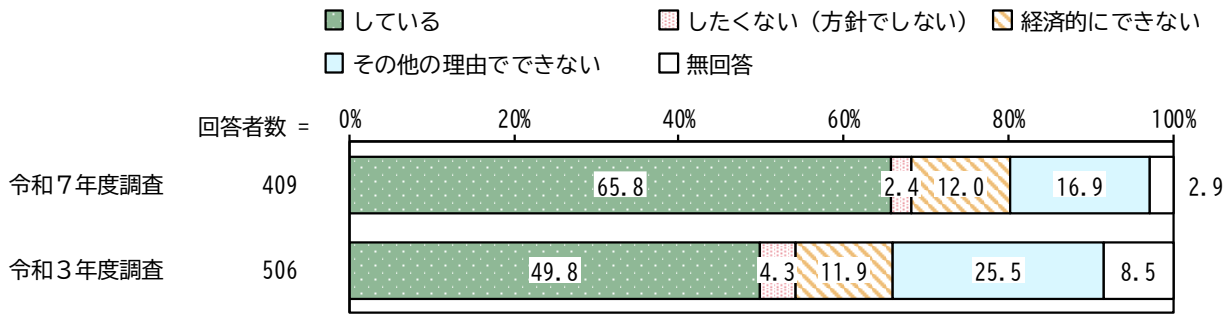
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



F　１年に１回くらい家族旅行に行く

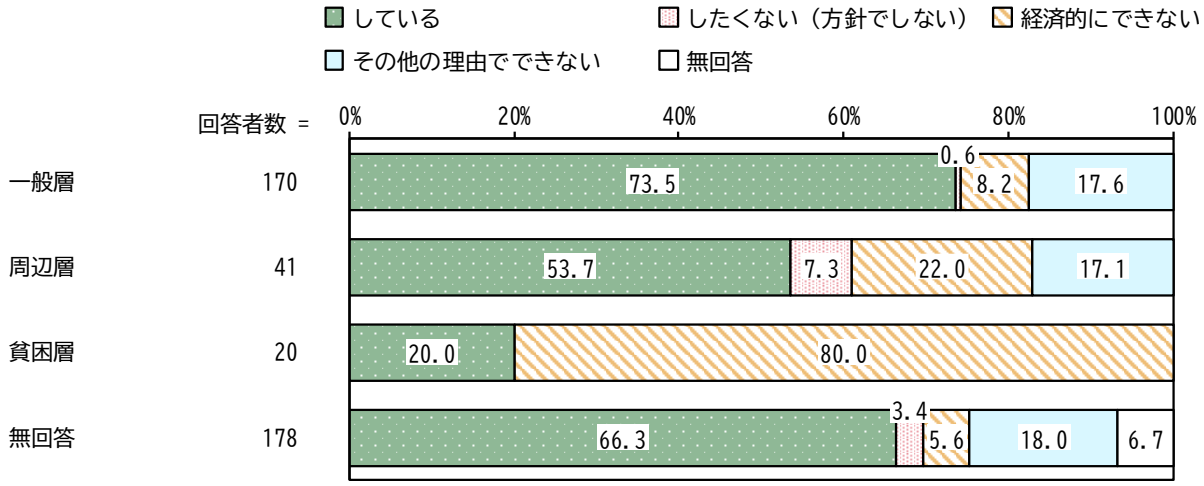
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「している」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

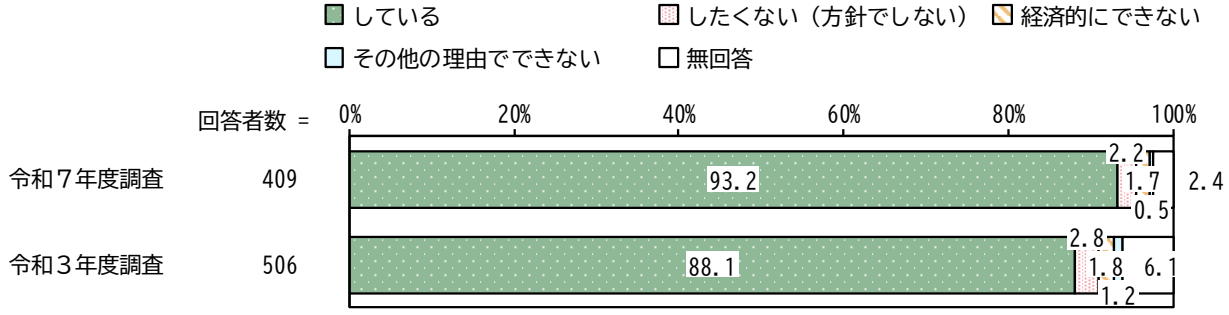
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「経済的にできない」の割合が高く、「している」の割合が低くなっています。



G　クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

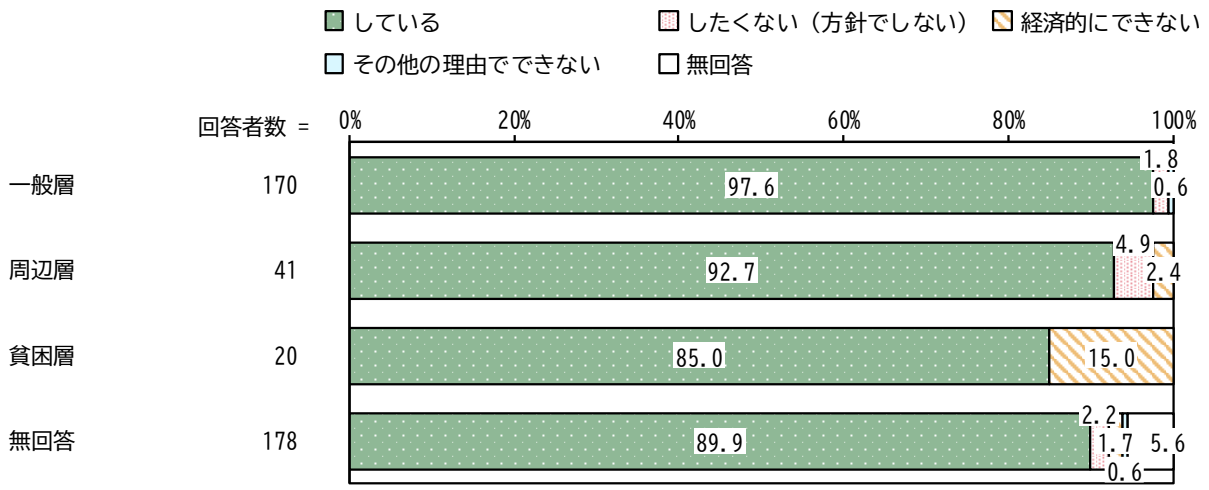
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「している」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

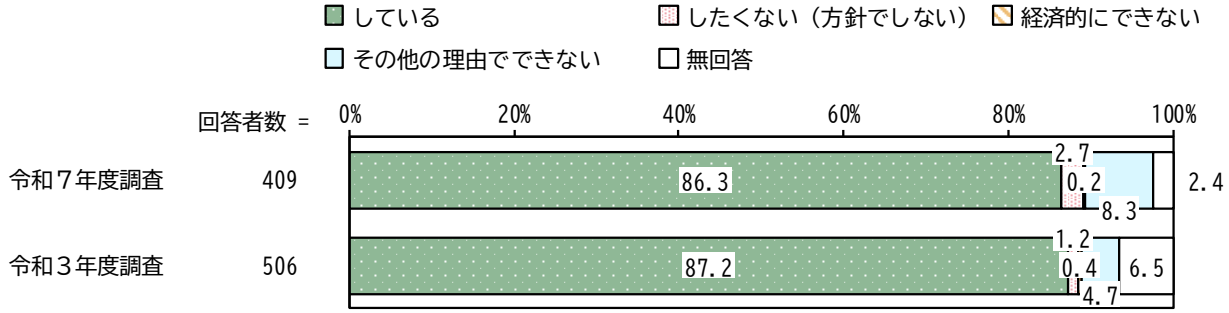
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「経済的にできない」の割合が高く、「している」の割合が低くなっています。



H　子どもの学校行事などへ親が参加する

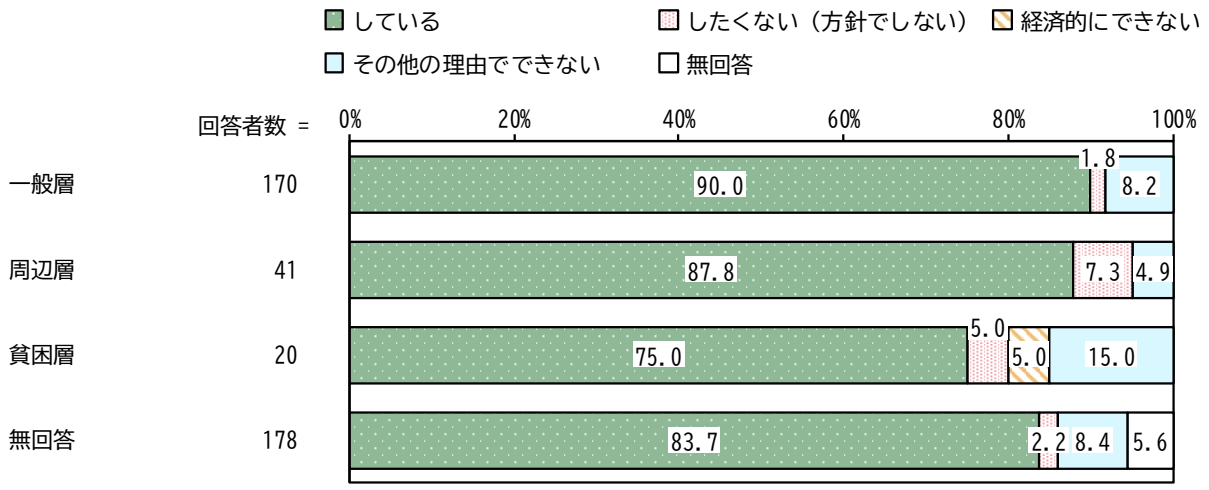
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



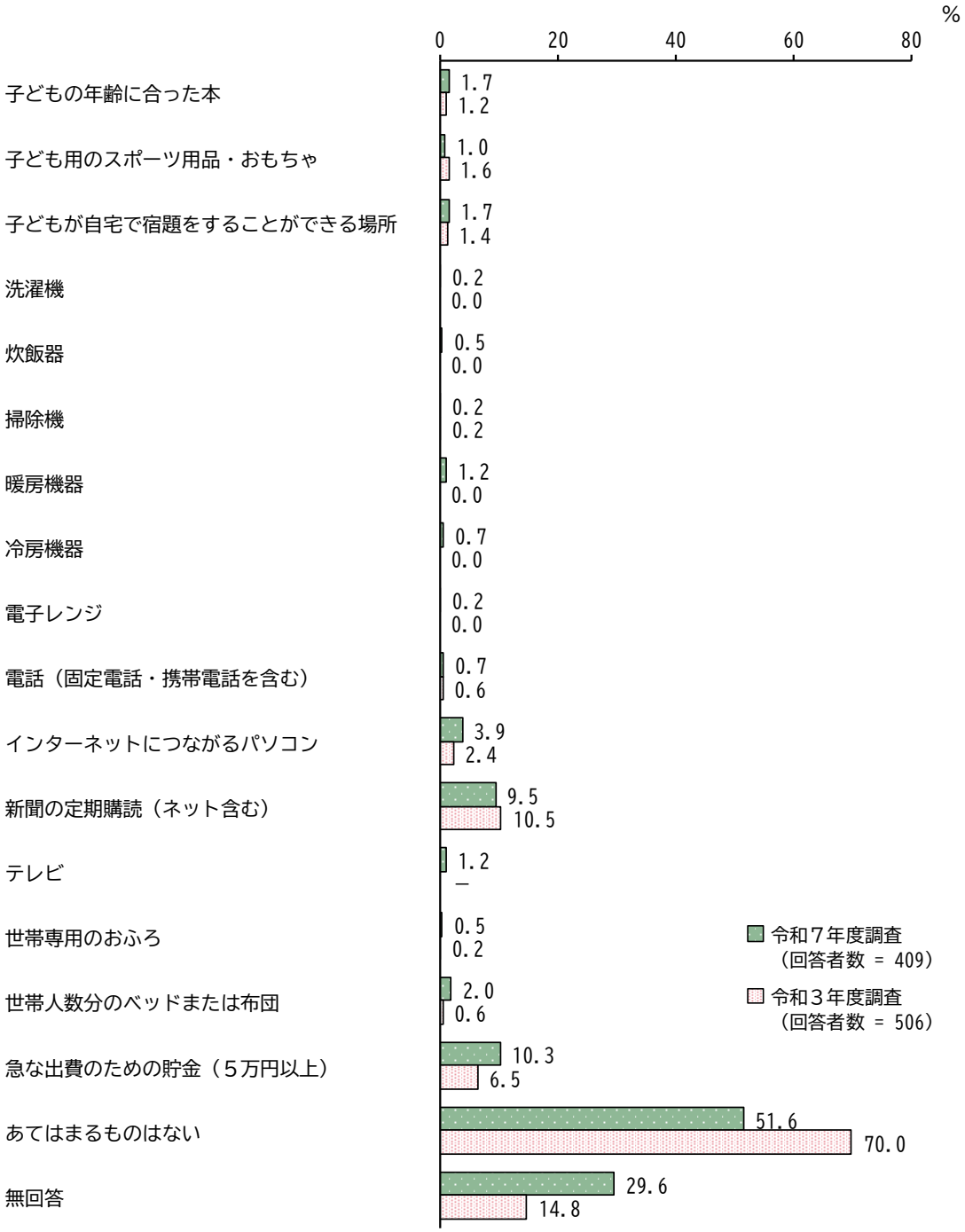
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「している」の割合が高くなっています。



問 36　次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。
（あてはまる番号すべてに○）
※特に必要がないために購入していないものについては、○を付けなくて結構です。

「急な出費のための貯金（５万円以上）」の割合が 10.3%と最も高くなっています。
令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和３年度調査では、「テレビ」がありませんでした。

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「子どもの年齢に合った本」「子どもが自宅で宿題をすることができる場所」「インターネットにつながるパソコン」「新聞の定期購読（ネット含む）」の割合が高くなっています。また、貧困層で「急な出費のための貯金（５万円以上）」の割合が高くなっています。

単位：％

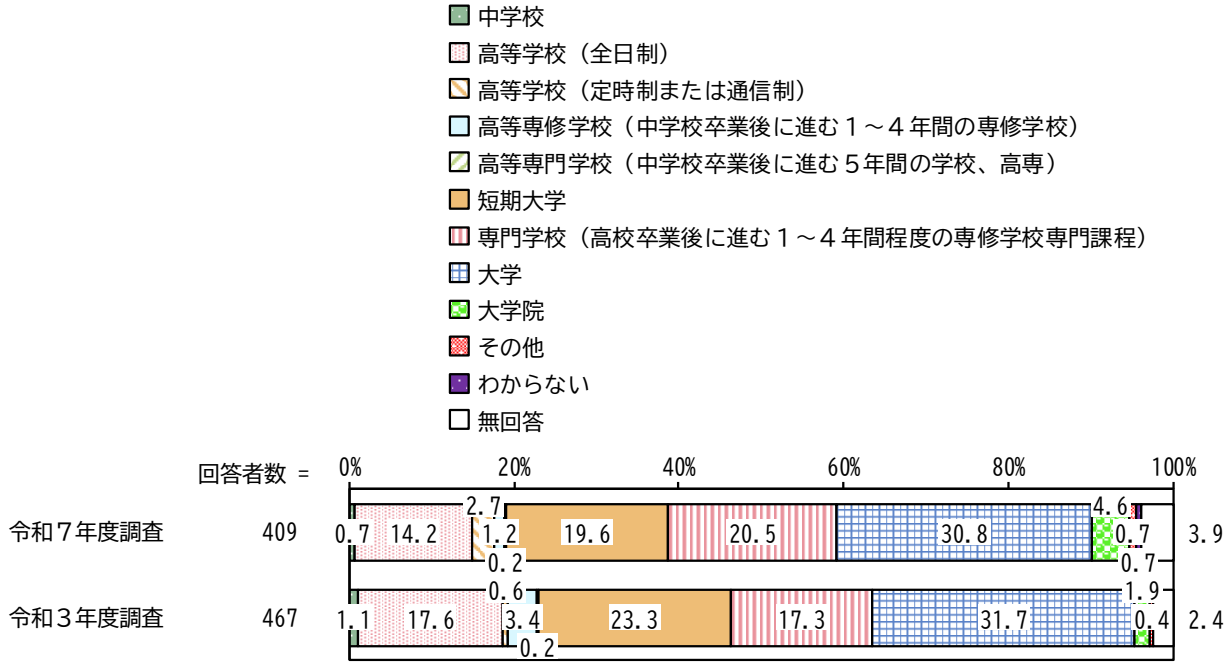
区分	回答者数（件）	子どもの年齢に合った本	子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	子どもが自宅で宿題をすることができる場所	洗濯機	炊飯器	掃除機	暖房機器	冷房機器	電子レンジ
全　体	409	1.7	1.0	1.7	0.2	0.5	0.2	1.2	0.7	0.2
一般層	170	0.0	0.6	0.6	0.6	1.2	0.6	0.6	0.6	0.6
周辺層	41	4.9	0.0	4.9	0.0	0.0	0.0	7.3	4.9	0.0
貧困層	20	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	178	1.7	0.6	1.1	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0

区分	電話（固定電話・携帯電話を含む）	インターネットにつながるパソコン	新聞の定期購読（ネット含む）	テレビ	世帯専用のおふろ	世帯人数分のベッドまたは布団	急な出費のための貯金（５万円以上）	あてはまるものはない	無回答
全　体	0.7	3.9	9.5	1.2	0.5	2.0	10.3	51.6	29.6
一般層	1.2	4.1	10.0	1.2	0.6	1.2	5.9	84.1	0.0
周辺層	0.0	9.8	22.0	4.9	0.0	2.4	19.5	56.1	2.4
貧困層	0.0	15.0	35.0	5.0	5.0	20.0	75.0	5.0	5.0
無回答	0.6	1.1	3.4	0.0	0.0	0.6	5.1	24.7	66.9

問 37　お子さんの母親が、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。（１つに○）

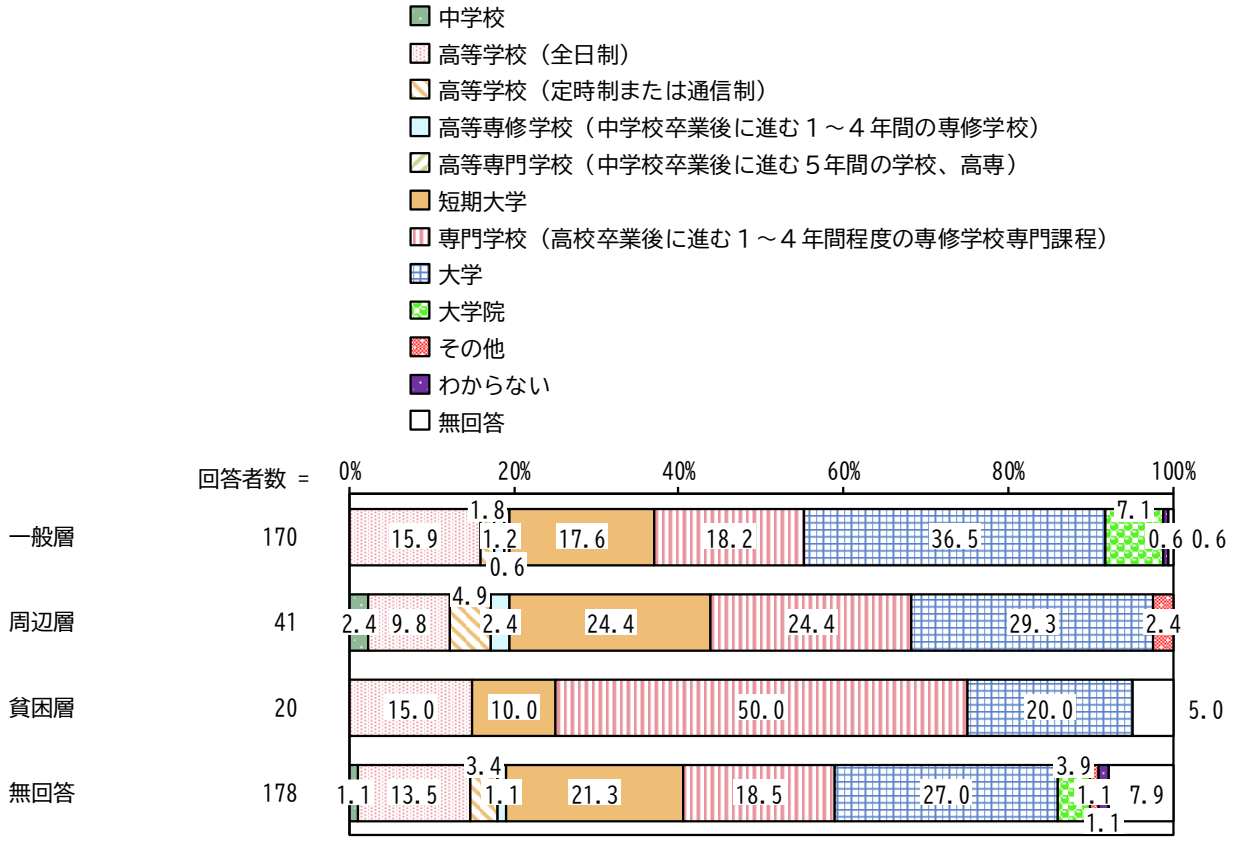
「大学」の割合が 30.8%と最も高く、次いで「専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）」の割合が 20.5%、「短期大学」の割合が 19.6%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）」の割合が高く、「大学」の割合が低くなっています。

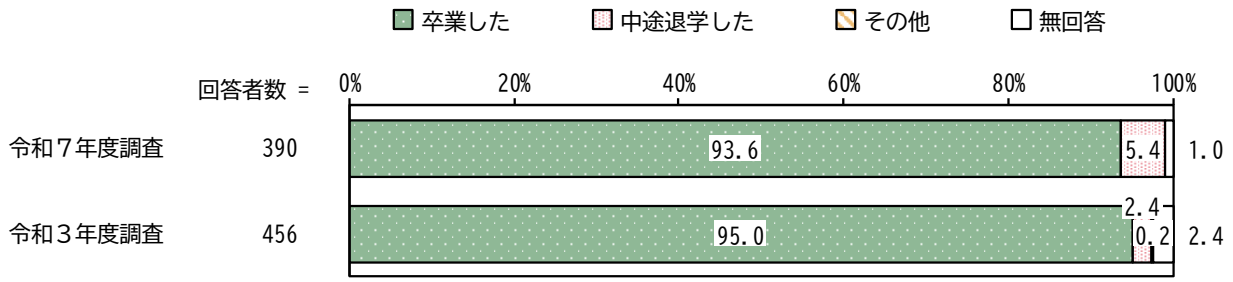


問 37 で「中学校」～「その他」を選んだ方にお聞きします。

問 37－１　お子さんの母親は、問 37 で答えた学校を卒業されましたか。（１つに○）

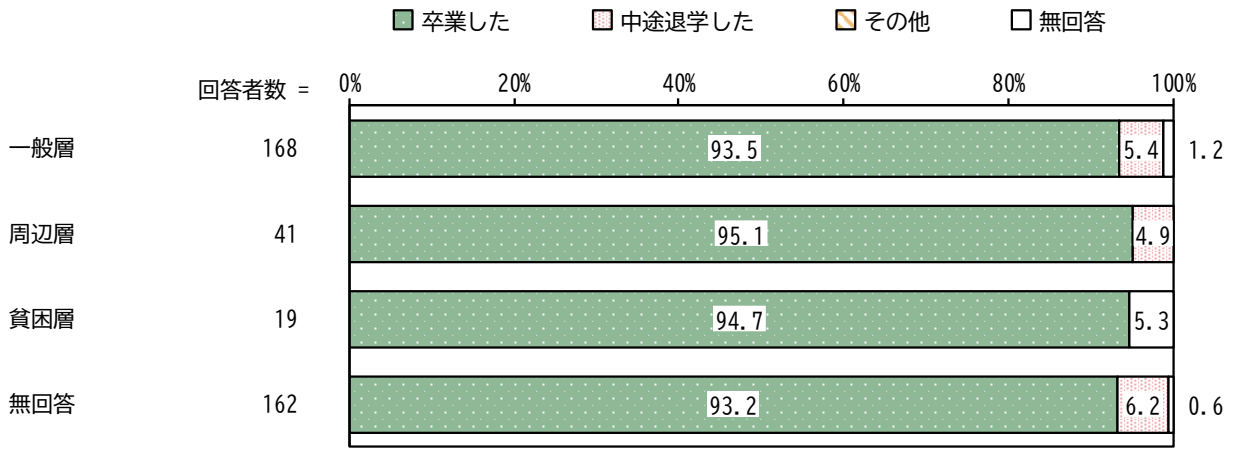
「卒業した」の割合が 93.6%、「中途退学した」の割合が 5.4%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

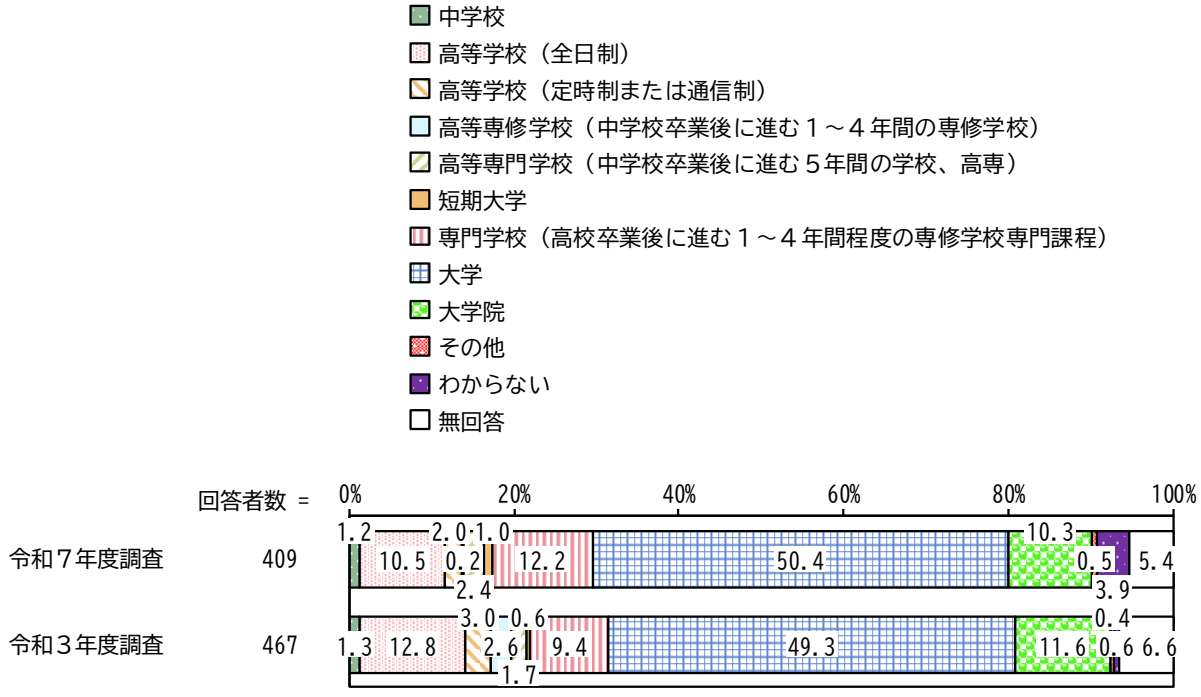
生活困難度別にみると、大きな差はみられません。



問 38　お子さんの父親が、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。（１つに○）

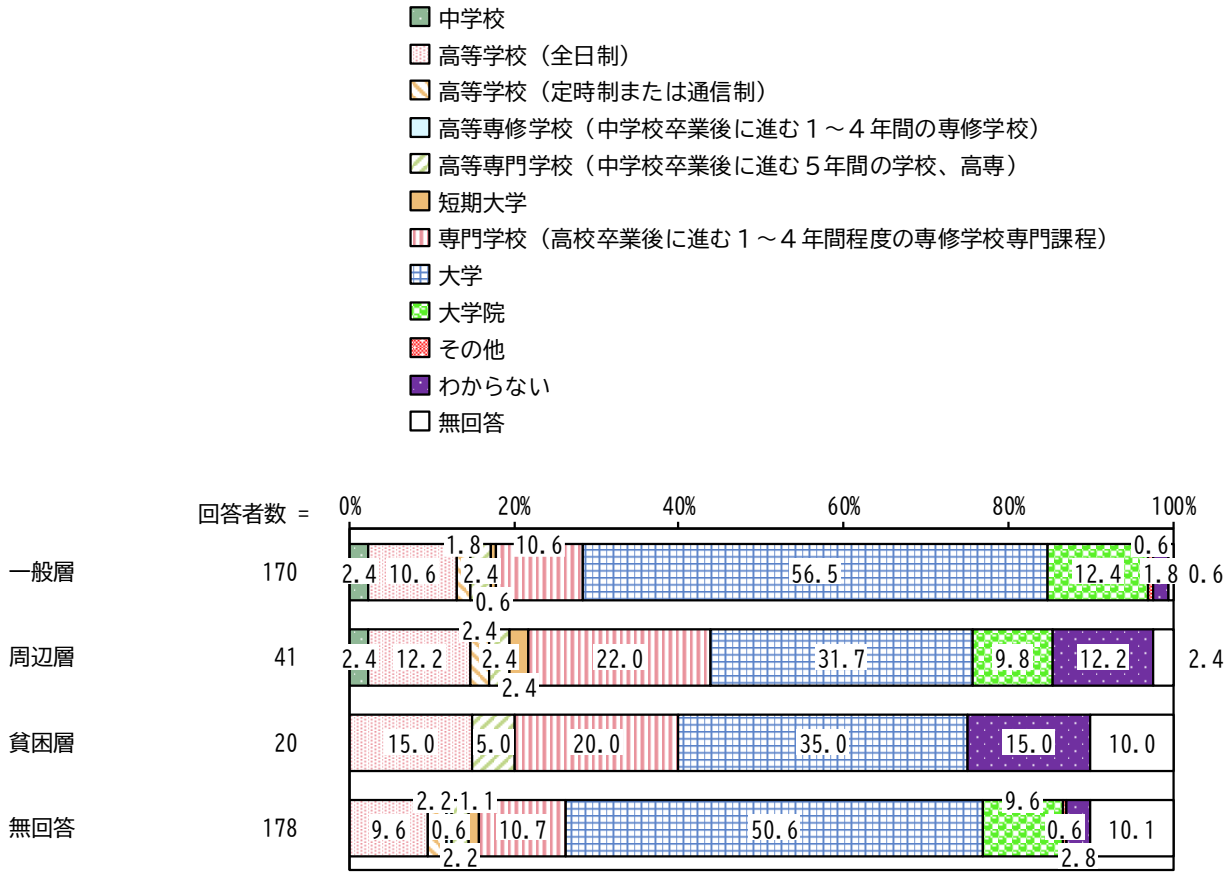
「大学」の割合が 50.4%と最も高く、次いで「専門学校（高校卒業後に進む１～４年間程度の専修学校専門課程）」の割合が 12.2%、「高等学校（全日制）」の割合が 10.5%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「高等学校（全日制）」の割合が高く、「大学院」の割合が低くなっています。また、周辺層で「大学」の割合が低くなっています。

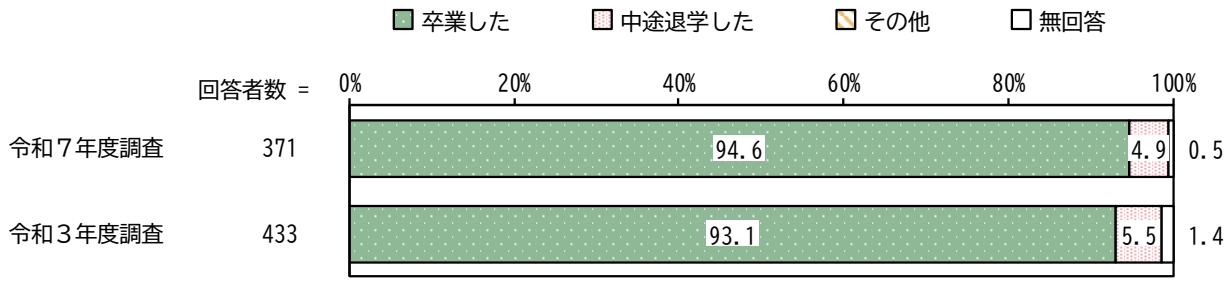


問 38 で「中学校」～「その他」を選んだ方にお聞きします。

問 38－１　お子さんの父親は、問 38 で答えた学校を卒業されましたか。（１つに○）

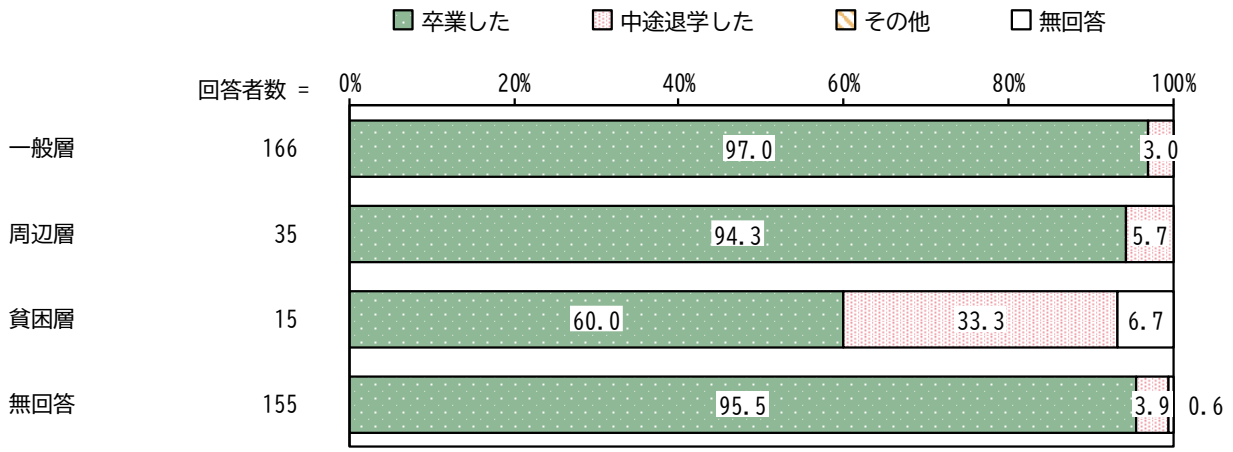
「卒業した」の割合が 94.6%、「中途退学した」の割合が 4.9%となっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

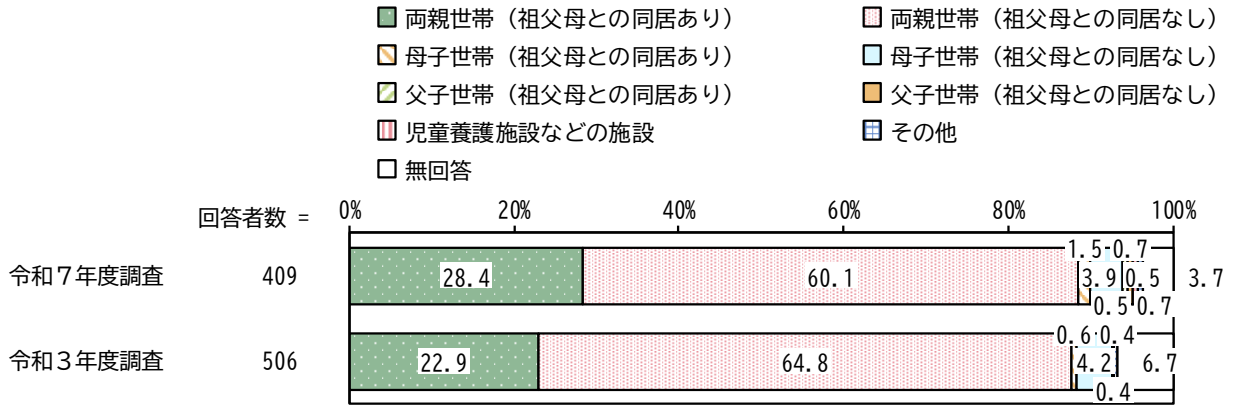
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「中途退学した」の割合が高くなっています。



問 39　あなたが 15 歳の頃のご家庭の様子に最も近いものに○をつけてください。（１つに○）

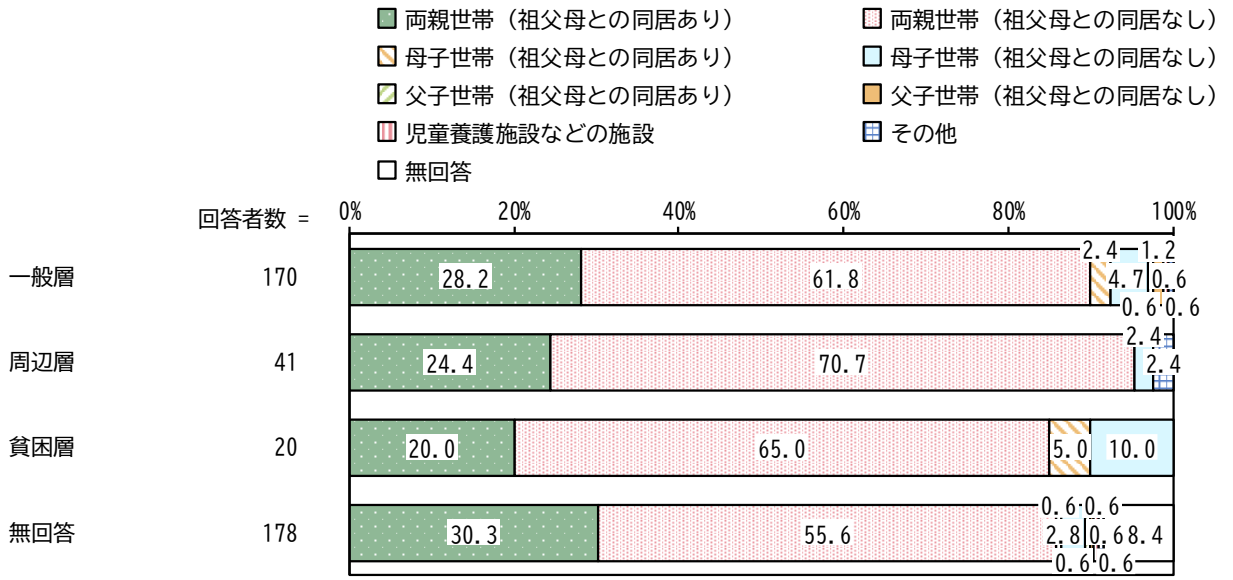
「両親世帯（祖父母との同居なし）」の割合が 60.1%と最も高く、次いで「両親世帯（祖父母との同居あり）」の割合が 28.4%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「両親世帯（祖父母との同居あり）」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

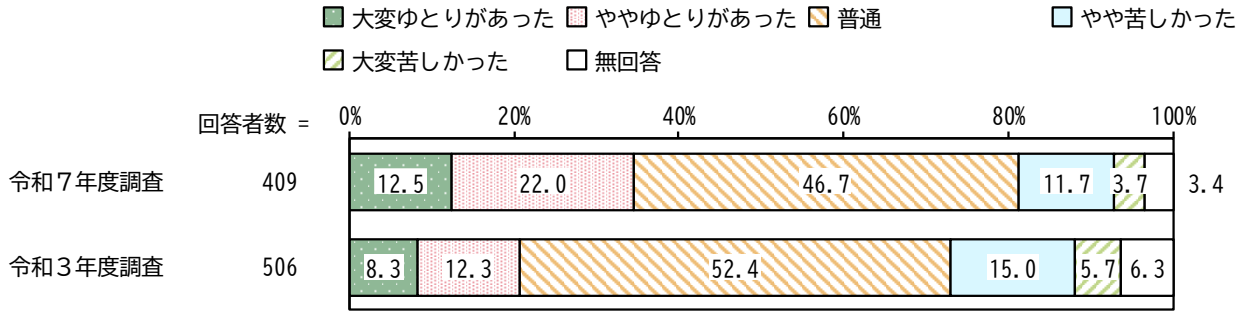
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「両親世帯（祖父母との同居あり）」の割合が高くなっています。また、周辺層で「両親世帯（祖父母との同居なし）」の割合が高くなっています。



問 40　あなたが 15 歳の頃の、あなたのご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。（１つに○）

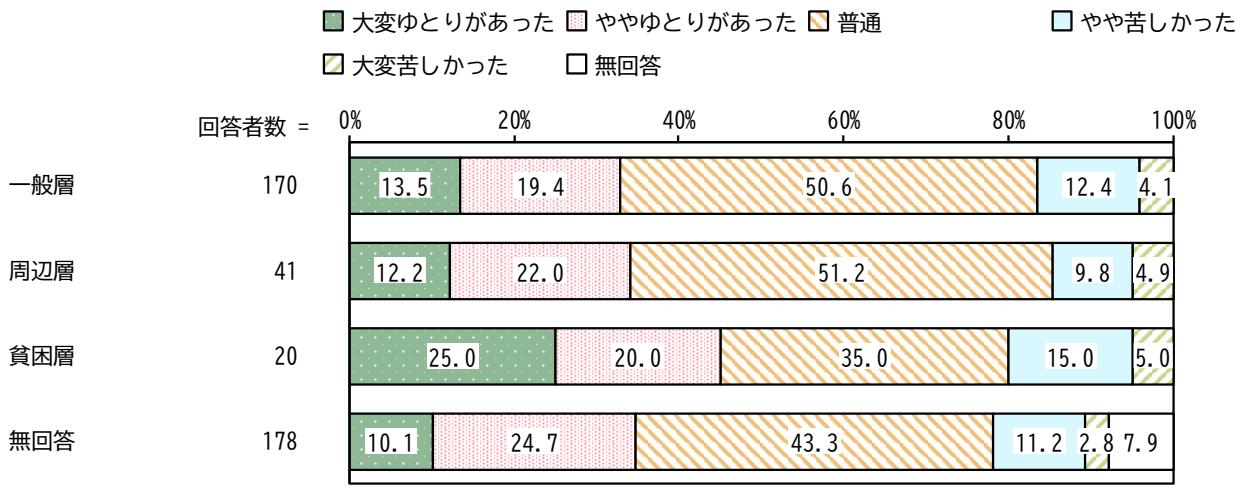
「大変ゆとりがあった」「ややゆとりがあった」を合わせた“ゆとりがあった”の割合が 34.5%、「やや苦しかった」「大変苦しかった」を合わせた“苦しかった”の割合が 15.4%となっています。

令和３年度調査と比較すると、“ゆとりがあった”の割合が増加しています。



【生活困難度別】

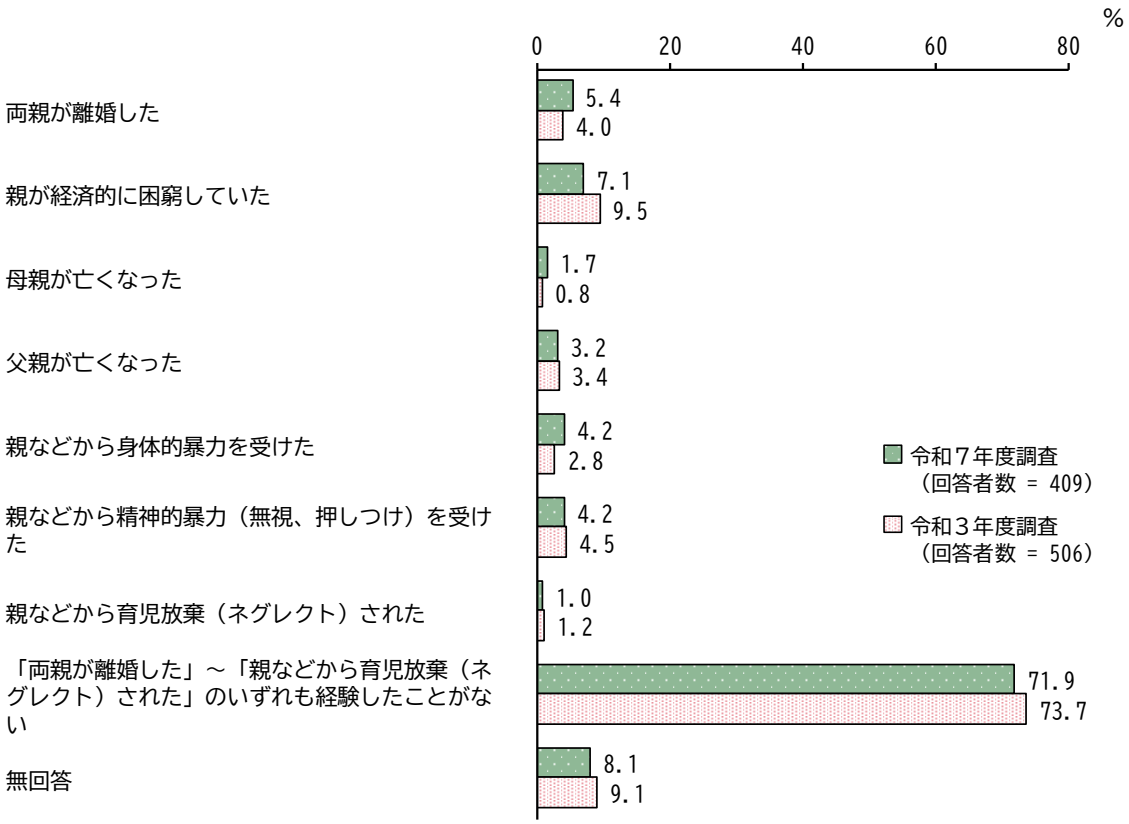
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど“ゆとりがあった”の割合が高くなっています。また、貧困層で「大変ゆとりがあった」の割合が高くなっています。



問 41　あなたは、成人する前に以下のような体験をしたことがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「「両親が離婚した」～「親などから育児放棄（ネグレクト）された」のいずれも経験したことがない」の割合が 71.9%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「両親が離婚した」「親が経済的に困窮していた」「親などから身体的暴力を受けた」「親などから精神的暴力（無視、押しつけ）を受けた」の割合が高く、「「両親が離婚した」～「親などから育児放棄（ネグレクト）された」のいずれも経験したことがない」の割合が低くなっています。

単位：%

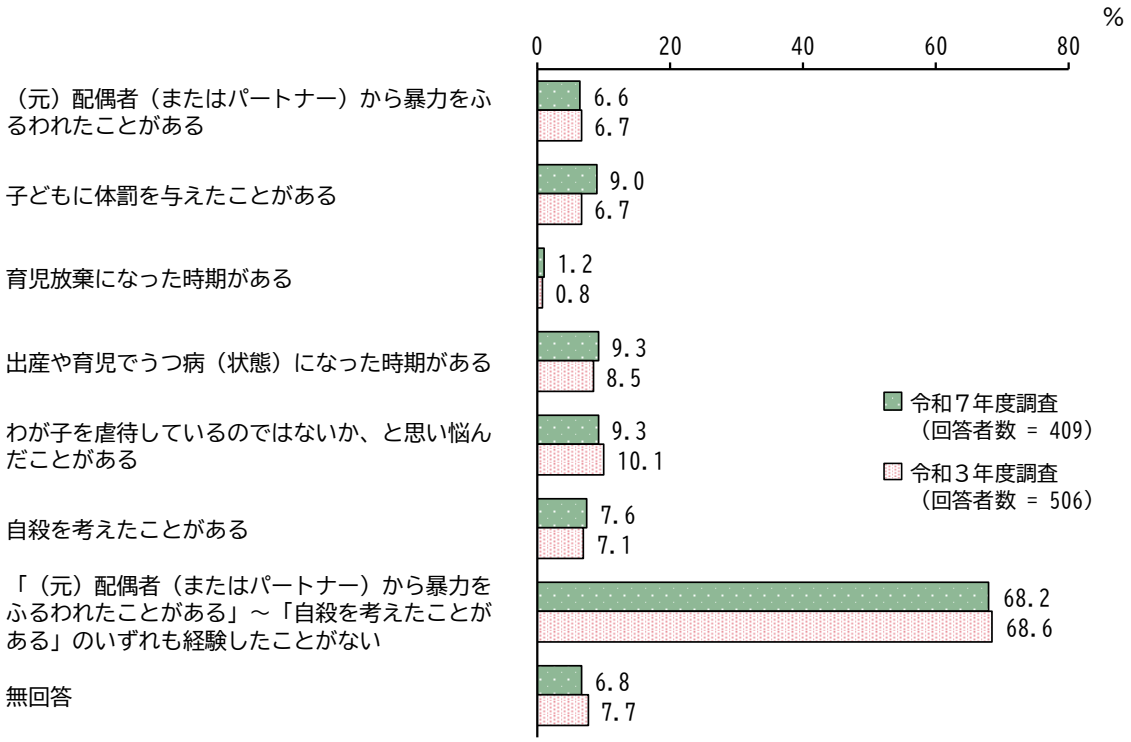
区分	回答者数（件）	両親が離婚した	親が経済的に困窮していた	母親が亡くなった	父親が亡くなった
全　体	409	5.4	7.1	1.7	3.2
一般層	170	5.3	5.9	2.9	4.1
周辺層	41	7.3	9.8	0.0	4.9
貧困層	20	10.0	10.0	0.0	0.0
無回答	178	4.5	7.3	1.1	2.2

区分	親などから身体的暴力を受けた	親などから精神的暴力（無視、押しつけ）を受けた	親などから育児放棄（ネグレクト）された	「両親が離婚した」～「親などから育児放棄（ネグレクト）された」のいずれも経験したことがない	無回答
全　体	4.2	4.2	1.0	71.9	8.1
一般層	2.9	2.9	0.0	77.6	3.5
周辺層	4.9	7.3	2.4	73.2	2.4
貧困層	10.0	10.0	0.0	70.0	0.0
無回答	4.5	3.9	1.7	66.3	14.6

問 42　あなたはお子さんを育てるようになってから、以下のような経験をしたことがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「「(元) 配偶者（またはパートナー）から暴力をふるわれたことがある」～「自殺を考えたことがある」のいずれも経験したことがない」の割合が 68.2%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「(元) 配偶者 (またはパートナー) から暴力をふるわれたことがある」「子どもに体罰を与えたことがある」「自殺を考えたことがある」の割合が高く、「「(元) 配偶者 (またはパートナー) から暴力をふるわれたことがある」～「自殺を考えたことがある」のいずれも経験したことがない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	(元) 配偶者 (またはパートナー) から暴力をふるわれたことがある	子どもに体罰を与えたことがある	育児放棄になった時期がある	出産や育児でうつ病 (状態) になった時期がある
全　体	409	6.6	9.0	1.2	9.3
一般層	170	4.1	8.2	1.2	9.4
周辺層	41	14.6	9.8	2.4	7.3
貧困層	20	30.0	15.0	5.0	30.0
無回答	178	4.5	9.0	0.6	7.3

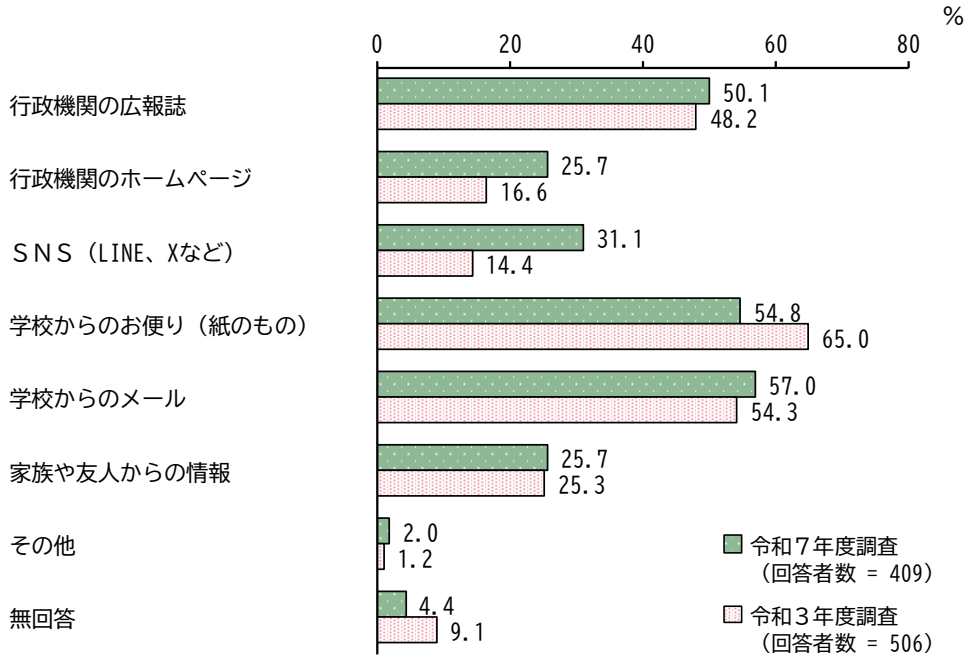
区分	わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある	自殺を考えたことがある	「(元) 配偶者 (またはパートナー) から暴力をふるわれたことがある」～「自殺を考えたことがある」のいずれも経験したことがない	無回答
全　体	9.3	7.6	68.2	6.8
一般層	8.2	7.1	77.1	1.2
周辺層	4.9	14.6	61.0	2.4
貧困層	40.0	30.0	25.0	0.0
無回答	7.9	3.9	66.3	14.0

問 43　（A）あなたは、子どもに関する施策等の情報をどういう方法で受け取っていますか。（B）また、今後、どのような方法で受け取りたいと思いますか。
（それぞれ、あてはまる番号すべてに○）

（A）あなたは、子どもに関する施策等の情報をどういう方法で受け取っていますか。

「学校からのメール」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「学校からのお便り（紙のもの）」の割合が 54.8%、「行政機関の広報誌」の割合が 50.1%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「行政機関のホームページ」「ＳＮＳ（LINE、X など）」の割合が増加しています。一方、「学校からのお便り（紙のもの）」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「行政機関の広報誌」の割合が高くなっています。また、貧困層で「行政機関のホームページ」「ＳＮＳ（LINE、X など）」、周辺層で「学校からのメール」の割合が高くなっています。

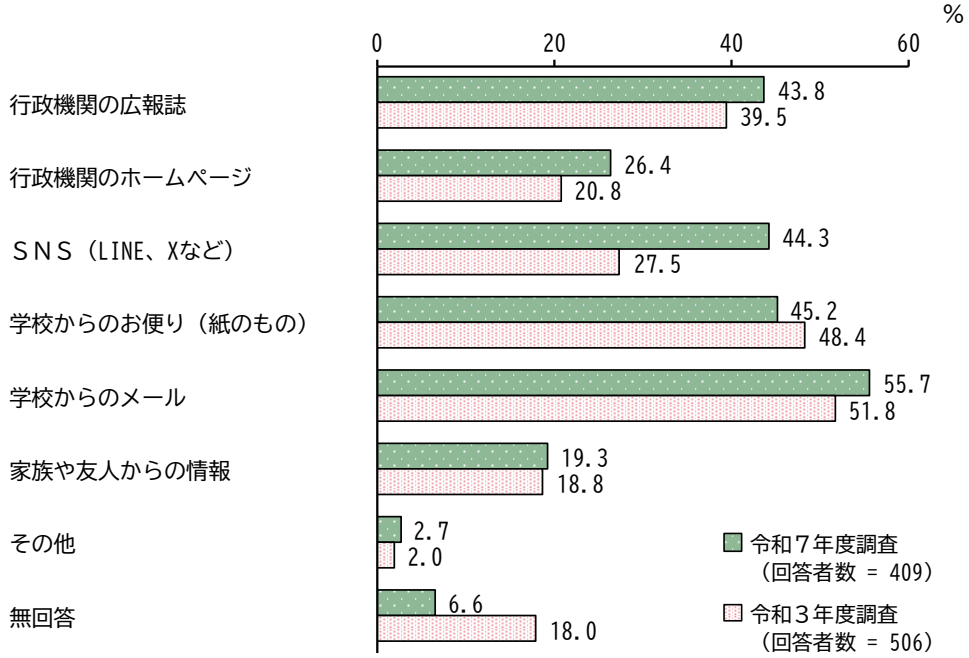
単位：%

区分	回答者数（件）	行政機関の広報誌	行政機関のホームページ	ＳＮＳ（LINE、Xなど）	学校からのお便り（紙のもの）	学校からのメール	家族や友人からの情報	その他	無回答
全　体	409	50.1	25.7	31.1	54.8	57.0	25.7	2.0	4.4
一般層	170	53.5	30.0	31.8	52.9	59.4	24.1	2.4	0.6
周辺層	41	51.2	24.4	29.3	61.0	68.3	29.3	0.0	2.4
貧困層	20	40.0	50.0	45.0	60.0	35.0	15.0	5.0	5.0
無回答	178	47.8	19.1	29.2	54.5	54.5	27.5	1.7	8.4

（B）また、今後、どのような方法で受け取りたいと思いますか。

「学校からのメール」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「学校からのお便り（紙のもの）」の割合が 45.2%、「ＳＮＳ（LINE、X など）」の割合が 44.3%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「行政機関のホームページ」「ＳＮＳ（LINE、X など）」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

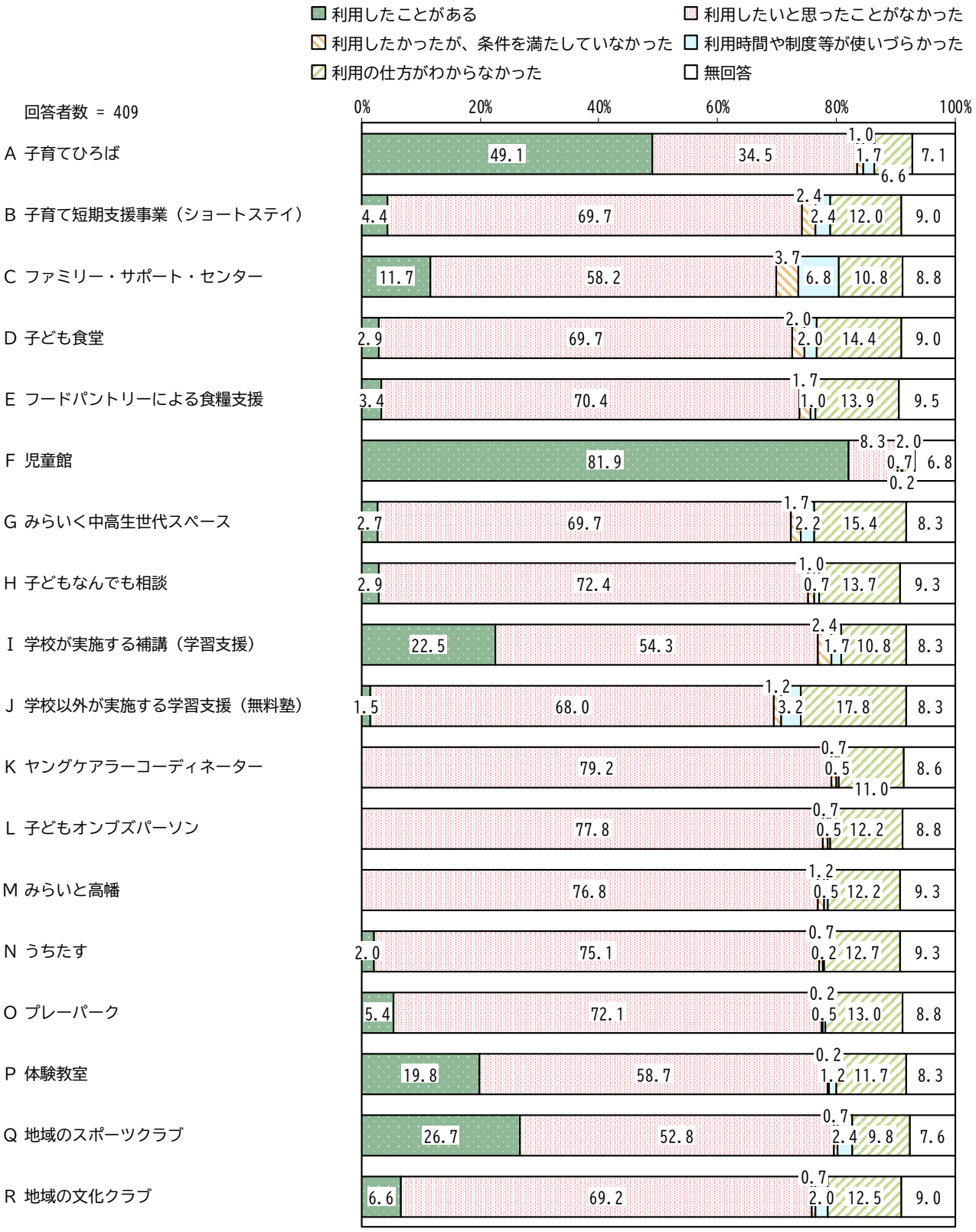
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「学校からのお便り（紙のもの）」の割合が高くなっています。また、貧困層で「ＳＮＳ（LINE、X など）」、周辺層で「学校からのメール」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	行政機関の広報誌	行政機関のホームページ	ＳＮＳ（LINE、Xなど）	学校からのお便り（紙のもの）	学校からのメール	家族や友人からの情報	その他	無回答
全　体	409	43.8	26.4	44.3	45.2	55.7	19.3	2.7	6.6
一般層	170	45.3	29.4	48.8	44.1	58.8	17.1	3.5	2.4
周辺層	41	51.2	31.7	43.9	41.5	65.9	24.4	0.0	2.4
貧困層	20	25.0	20.0	60.0	25.0	30.0	15.0	10.0	15.0
無回答	178	42.7	23.0	38.2	49.4	53.4	20.8	1.7	10.7

問 44　お子さんについて、以下のＡ～Ｒの支援制度やサービス、施設をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

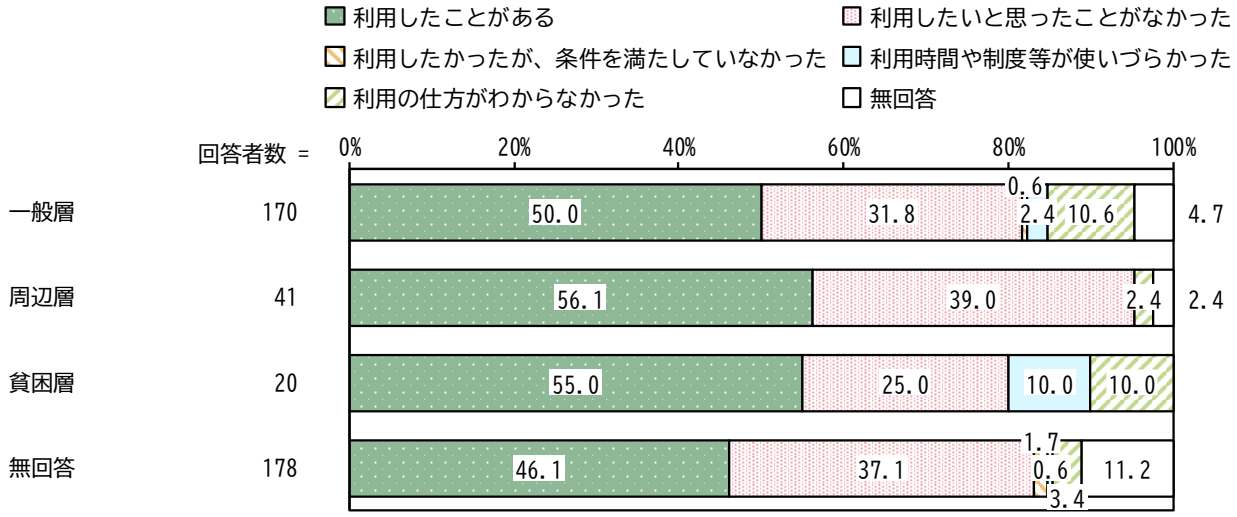
『Ｆ　児童館』で「利用したことがある」が、『Ｋ　ヤングケアラーコーディネーター』で「利用したいと思ったことがなかった」が、『Ｃ　ファミリー・サポート・センター』で「利用したかったが、条件を満たしていなかった」「利用時間や制度等が使いづらかった」が、『Ｊ　学校以外が実施する学習支援（無料塾）』で「利用の仕方がわからなかった」が高くなっています。



A　子育てひろば

【生活困難度別】

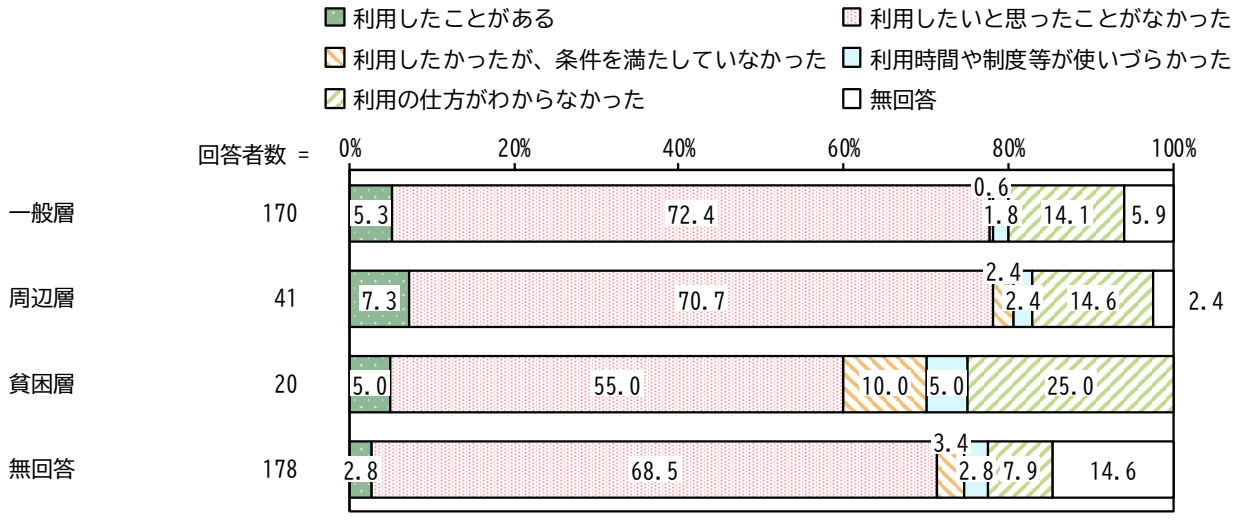
生活困難度別にみると、周辺層、貧困層で「利用したことがある」、貧困層で「利用時間や制度等が使いづらかった」の割合が高く、貧困層で「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



B　子育て短期支援事業（ショートステイ）

【生活困難度別】

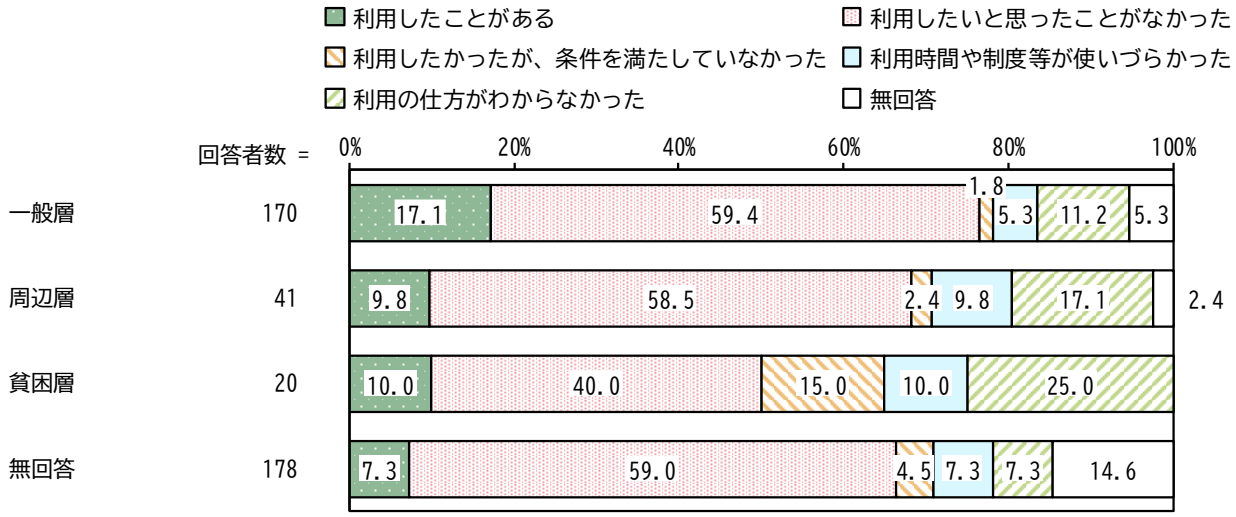
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したかったが、条件を満たしていなかった」「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



C　ファミリー・サポート・センター

【生活困難度別】

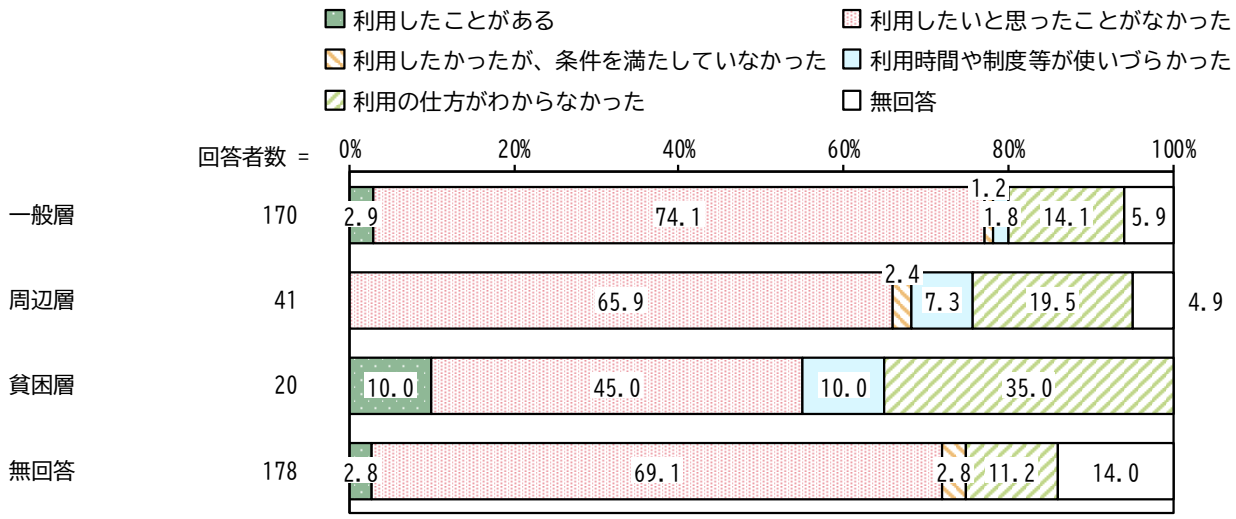
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したかったが、条件を満たしていなかった」「利用時間や制度等が使いづらかった」「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



D　子ども食堂

【生活困難度別】

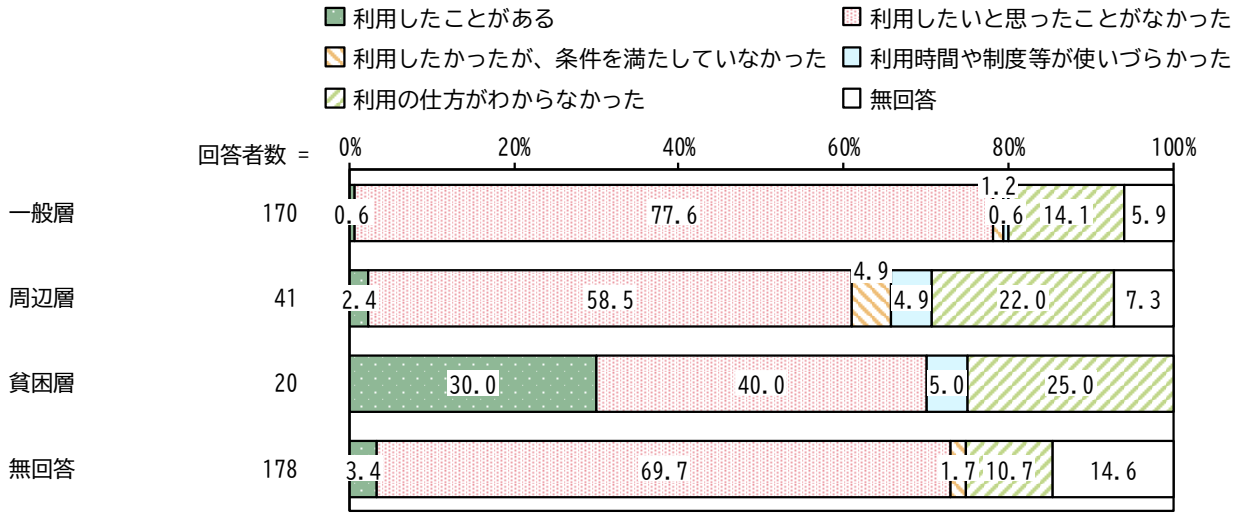
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用時間や制度等が使いづらかった」「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



E　フードパントリーによる食糧支援

【生活困難度別】

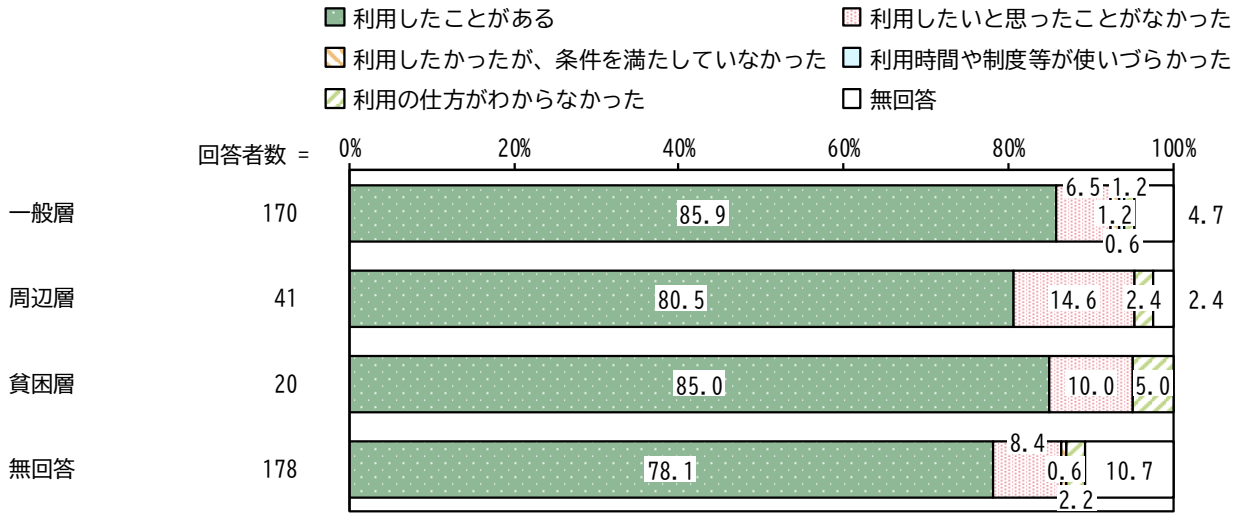
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したことがある」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。また、貧困層で「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。



F　児童館

【生活困難度別】

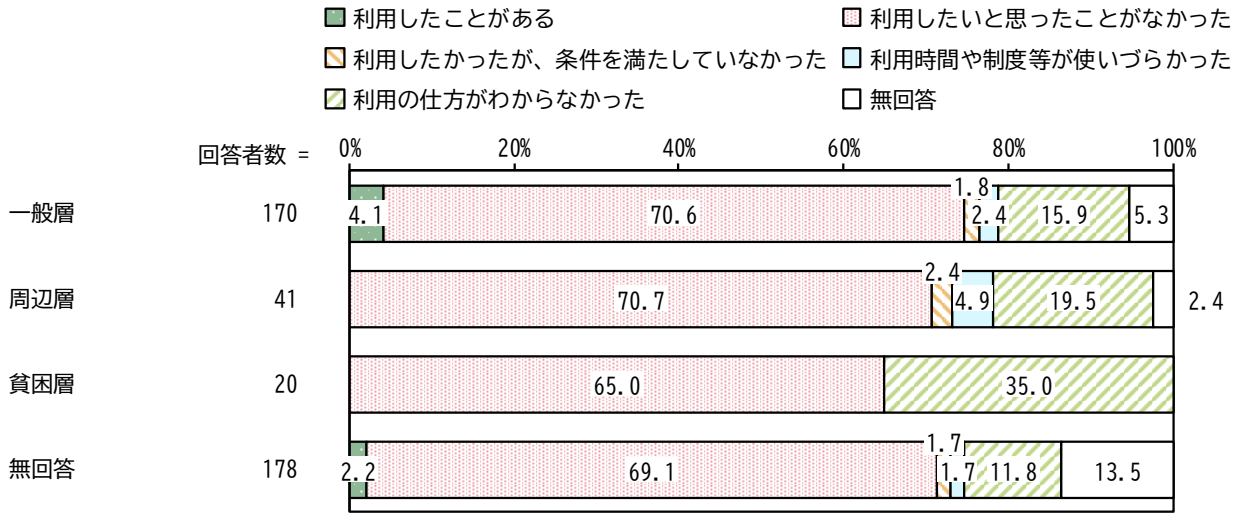
生活困難度別にみると、周辺層で「利用したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。



G　みらいく中高生世代スペース

【生活困難度別】

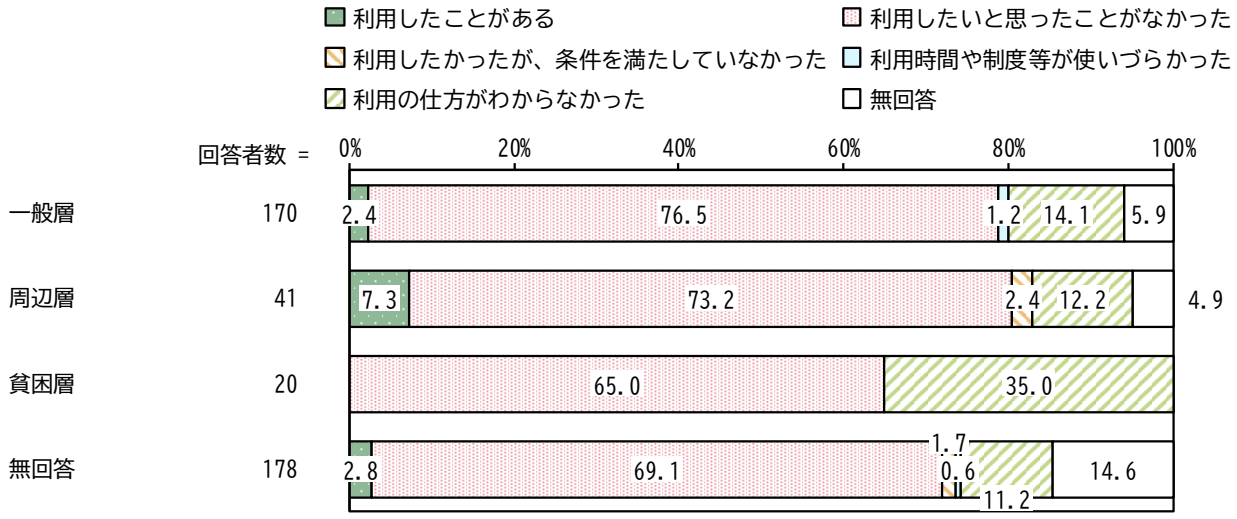
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。



H　子どもなんでも相談

【生活困難度別】

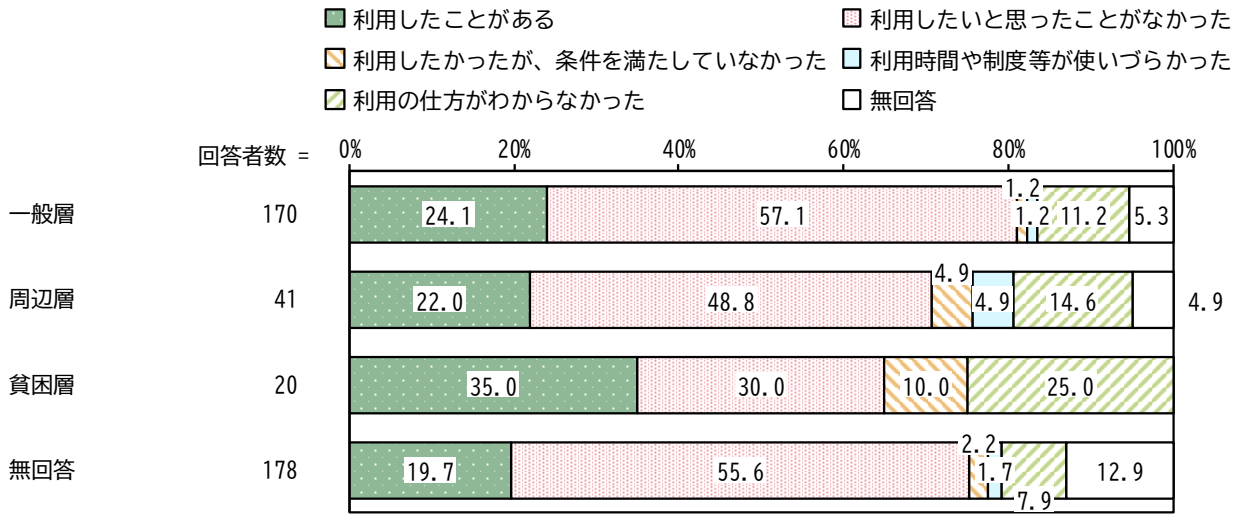
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「利用したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。また、貧困層で「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。



I　学校が実施する補講（学習支援）

【生活困難度別】

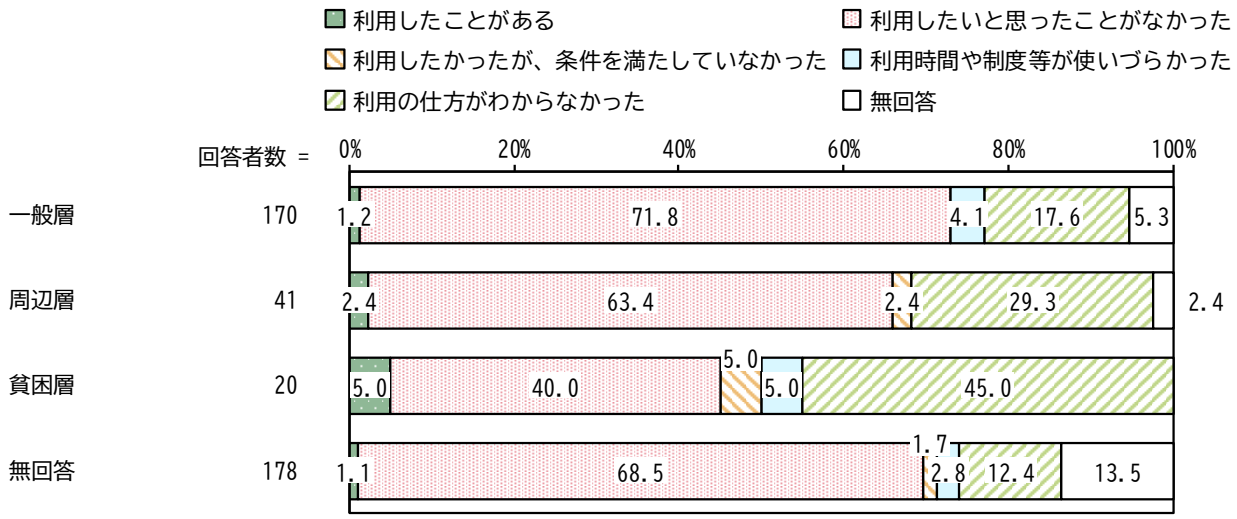
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したかったが、条件を満たしていなかった」「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。また、貧困層で「利用したことがある」の割合が高くなっています。



J　学校以外が実施する学習支援（無料塾）

【生活困難度別】

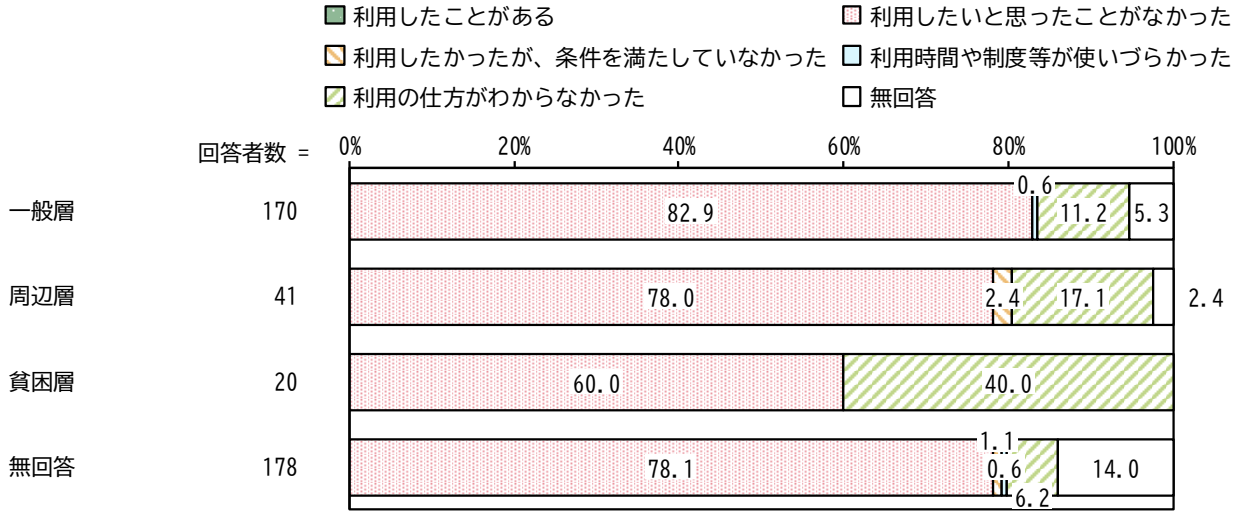
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「利用したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。また、貧困層で「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。



K　ヤングケアラーコーディネーター

【生活困難度別】

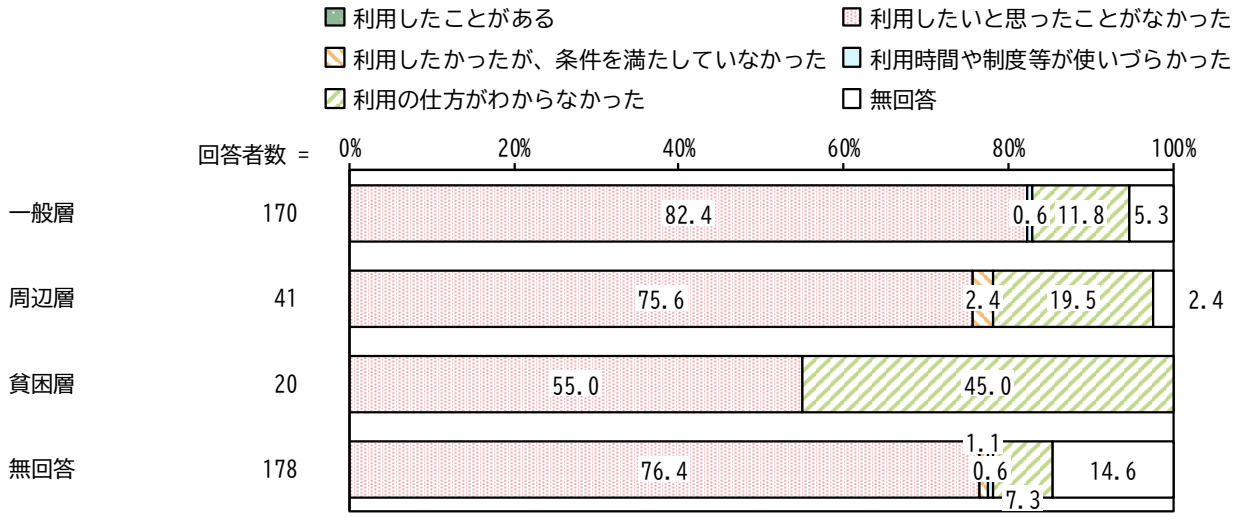
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



L　子どもオンブズパーソン

【生活困難度別】

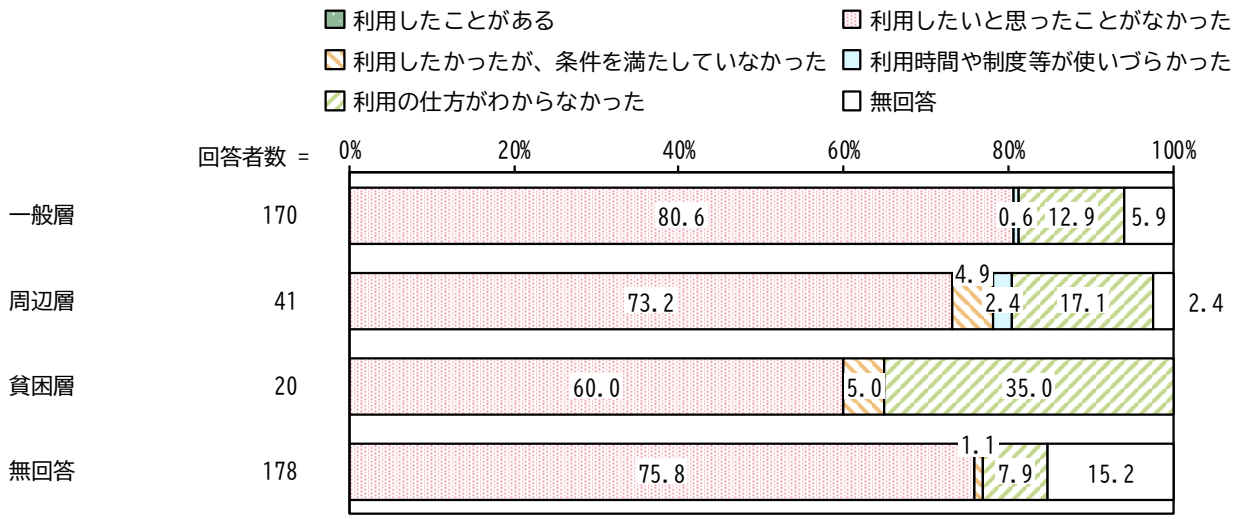
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



M　みらいと高幡

【生活困難度別】

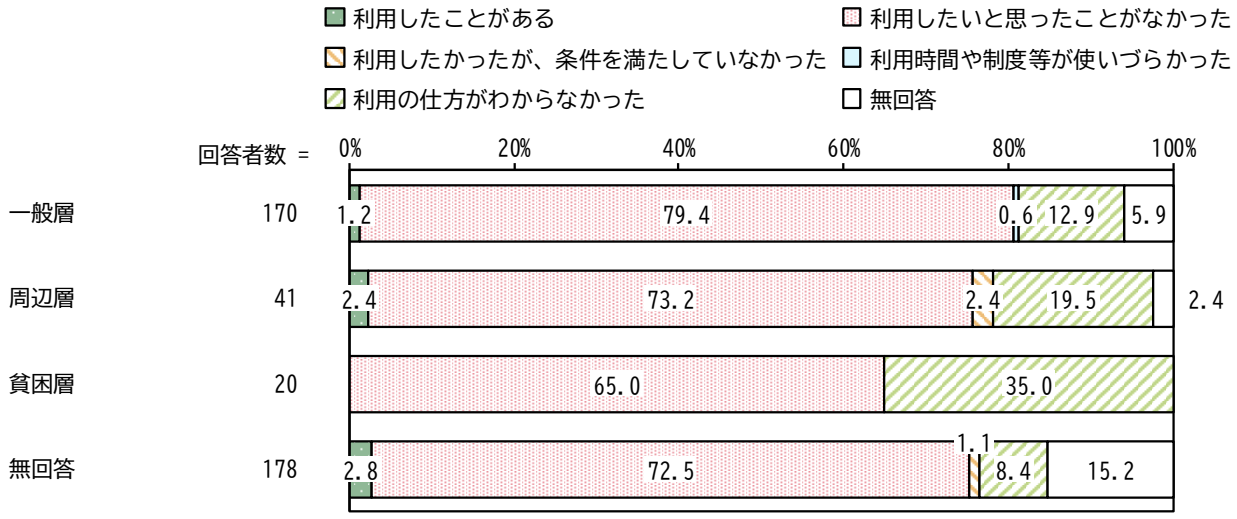
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「利用したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。また、貧困層で「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。



N　うちたす

【生活困難度別】

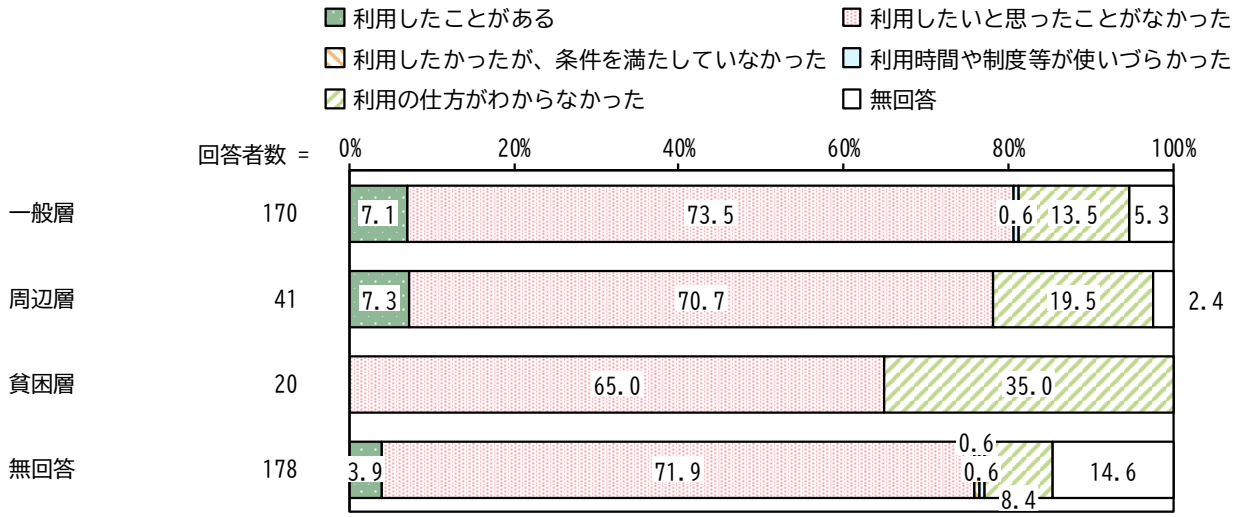
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



O　プレーパーク

【生活困難度別】

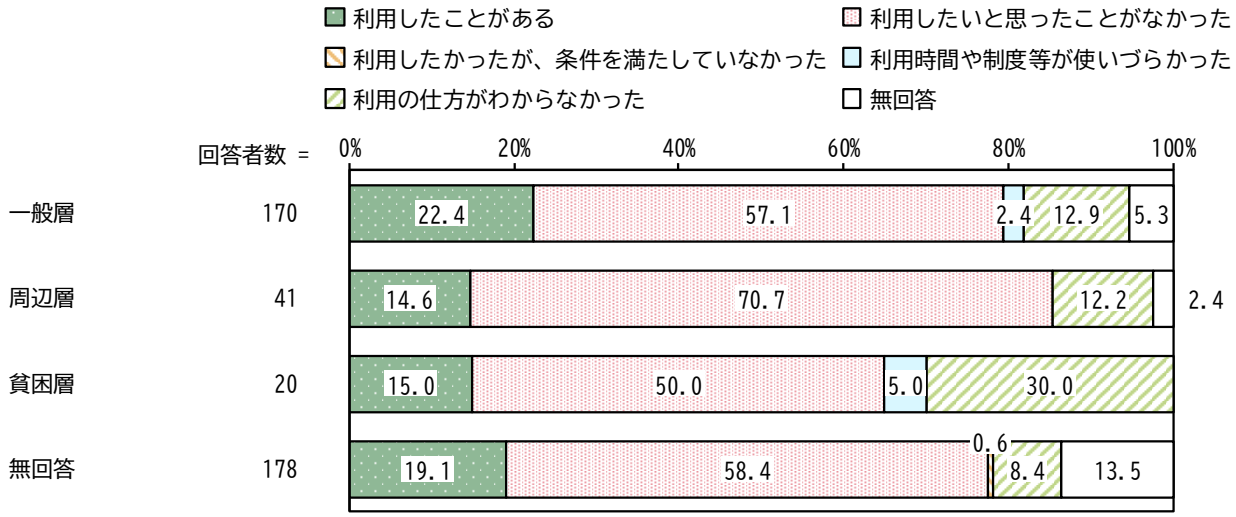
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



P　体験教室

【生活困難度別】

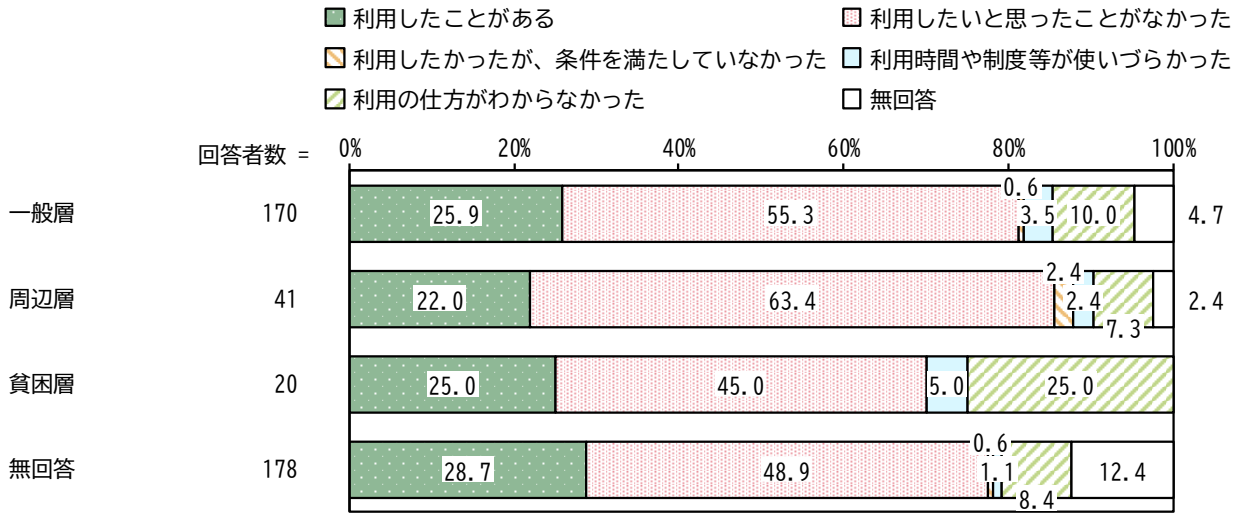
生活困難度別にみると、周辺層で「利用したいと思ったことがなかった」、貧困層で「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。



Q　地域のスポーツクラブ

【生活困難度別】

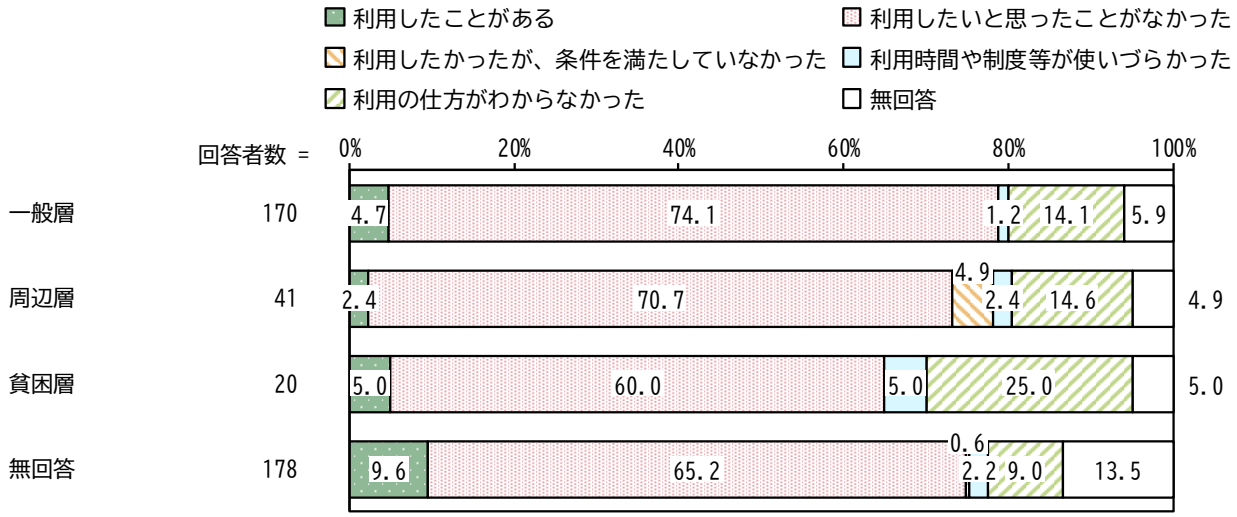
生活困難度別にみると、周辺層で「利用したいと思ったことがなかった」、貧困層で「利用の仕方がわからなかった」の割合が高くなっています。



R　地域の文化クラブ

【生活困難度別】

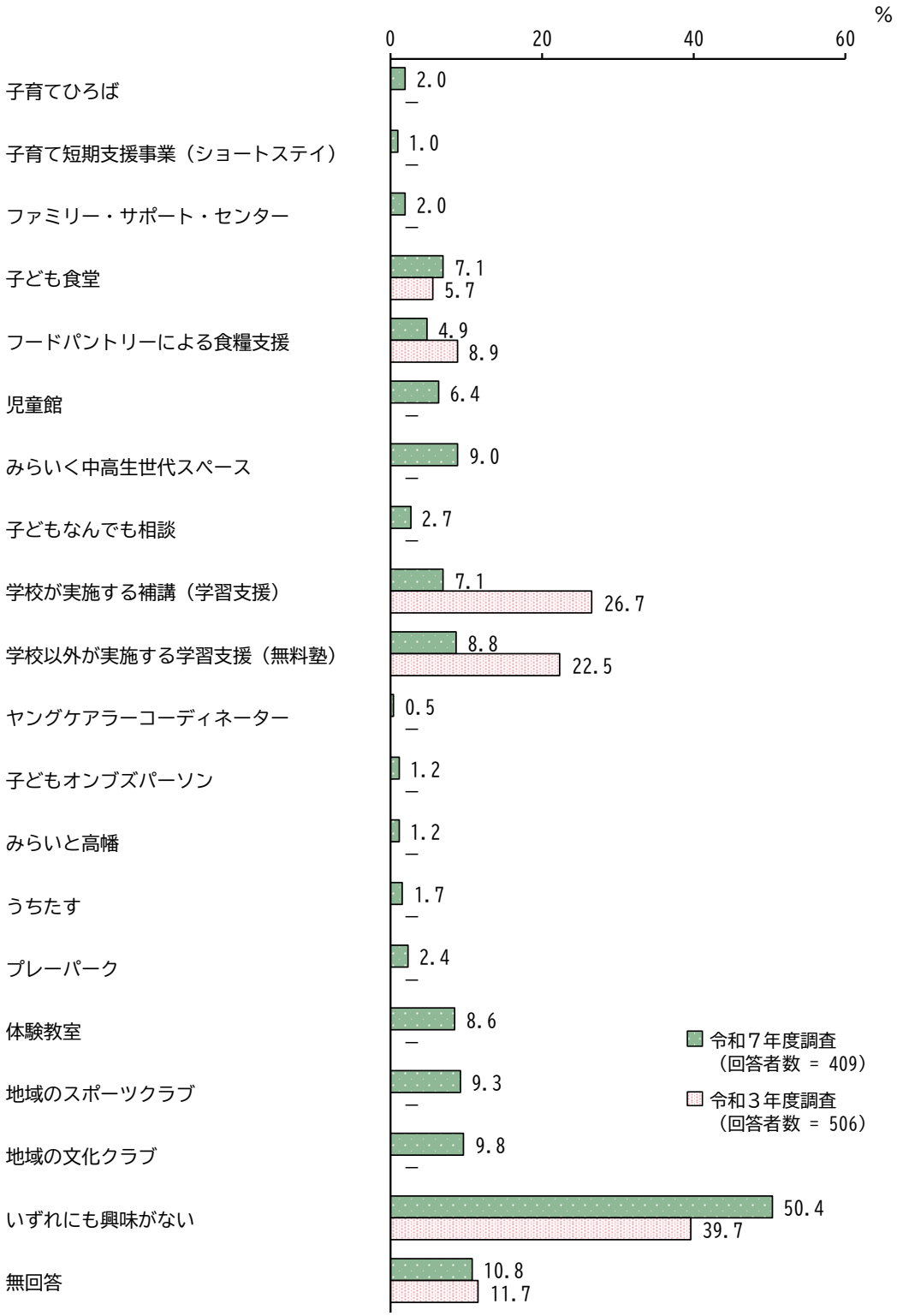
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



問 45　現在、以下の支援制度やサービス等を利用することに興味がありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「いずれにも興味がない」の割合が 50.4%と最も高くなっています。

令和３年度調査と比較すると、「いずれにも興味がない」の割合が増加しています。一方、「学校が実施する補講（学習支援）」「学校以外が実施する学習支援（無料塾）」の割合が減少しています。



※令和３年度調査では、「フードパントリーによる食糧支援」が「フードバンクによる支援」となっており、「子育てひろば」、「子育て短期支援事業（ショートステイ）」、「ファミリー・サポート・センター」、「児童館」、「みらいく中高生世代スペース」、「子どもなんでも相談」、「ヤングケアラーコーディネーター」、「子どもオンブズパーソン」、「みらいと高幡」、「うちたす」、「プレーパーク」、「体験教室」、「地域のスポーツクラブ」、「地域の文化クラブ」がありませんでした。

【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「子ども食堂」「学校が実施する補講（学習支援）」「地域の文化クラブ」の割合が高く、「みらいく中高生世代スペース」「いずれにも興味がない」の割合が低くなっています。

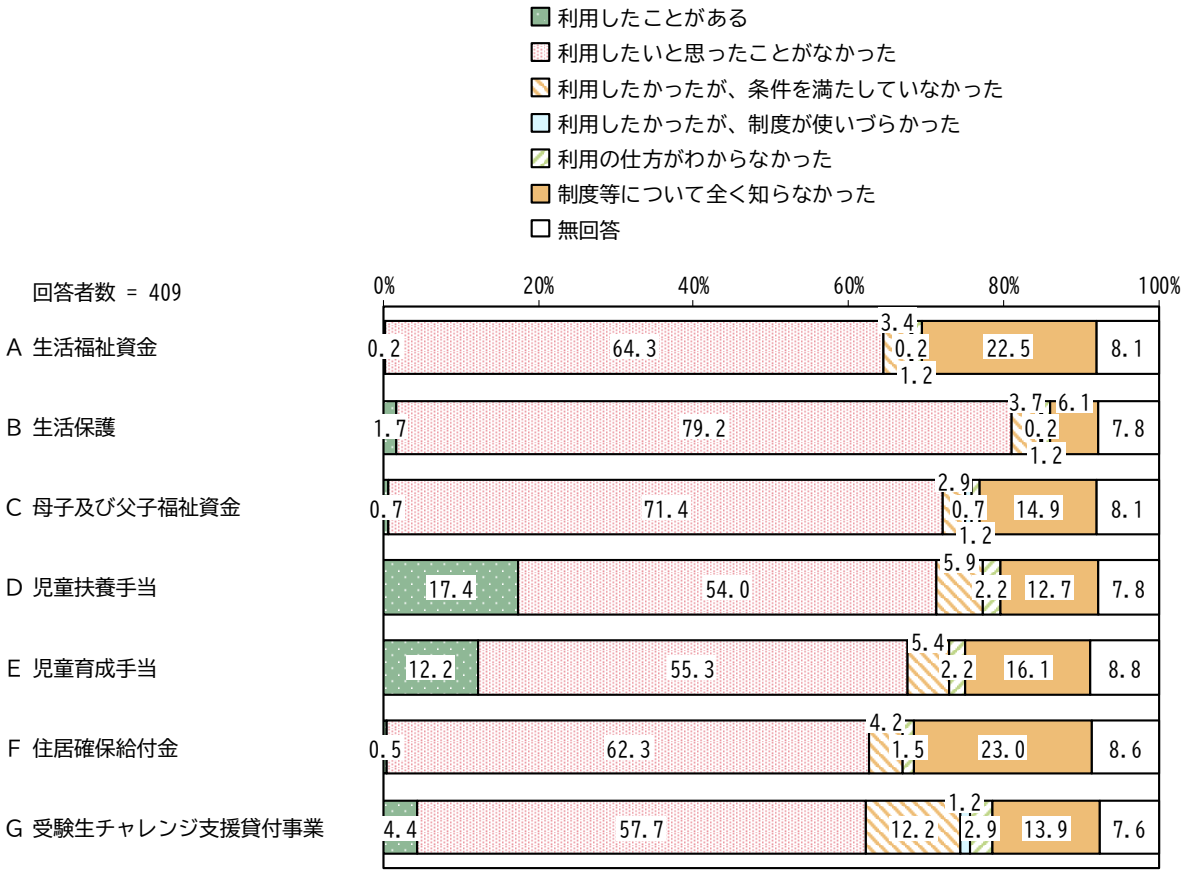
単位：％

区分	回答者数（件）	子育てひろば	子育て短期支援事業（ショートステイ）	ファミリー・サポート・センター	子ども食堂	フードパントリーによる食糧支援	児童館	みらいく中高生世代スペース	子どもなんでも相談	学校が実施する補講（学習支援）	学校以外が実施する学習支援（無料塾）
全　体	409	2.0	1.0	2.0	7.1	4.9	6.4	9.0	2.7	7.1	8.8
一般層	170	1.8	1.2	1.8	5.9	2.4	4.7	11.2	2.4	6.5	7.6
周辺層	41	0.0	0.0	0.0	7.3	12.2	4.9	9.8	0.0	7.3	4.9
貧困層	20	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	5.0	0.0	25.0	25.0
無回答	178	2.8	1.1	2.8	7.9	5.1	9.0	7.3	3.9	5.6	9.0

区分	ヤングケアラーコーディネーター	子どもオンブズパーソン	みらいと高幡	うちたす	プレーパーク	体験教室	地域のスポーツクラブ	地域の文化クラブ	いずれにも興味がない	無回答
全　体	0.5	1.2	1.2	1.7	2.4	8.6	9.3	9.8	50.4	10.8
一般層	0.0	1.2	1.8	2.4	4.1	10.0	7.6	5.9	58.2	5.3
周辺層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	14.6	7.3	51.2	9.8
貧困層	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	5.0	10.0	15.0	45.0	5.0
無回答	1.1	1.7	1.1	1.1	1.7	8.4	9.6	13.5	43.3	16.9

問 46　あなたのご家庭では、以下のＡ～Ｇの支援制度やサービス等は、これまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

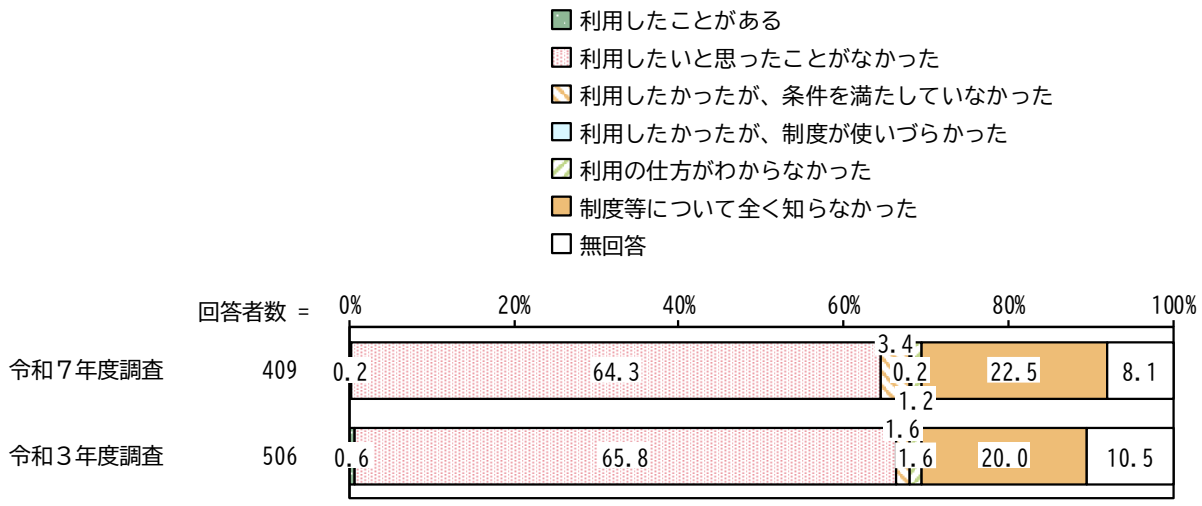
『Ｄ　児童扶養手当』で「利用したことがある」が、『Ｂ　生活保護』で「利用したいと思ったことがなかった」が、『Ｇ　受験生チャレンジ支援貸付事業』で「利用したかったが、条件を満たしていなかった」「利用したかったが、制度が使いづらかった」「利用の仕方がわからなかった」が、『Ｆ　住居確保給付金』で「制度等について全く知らなかった」が高くなっています。



A　生活福祉資金

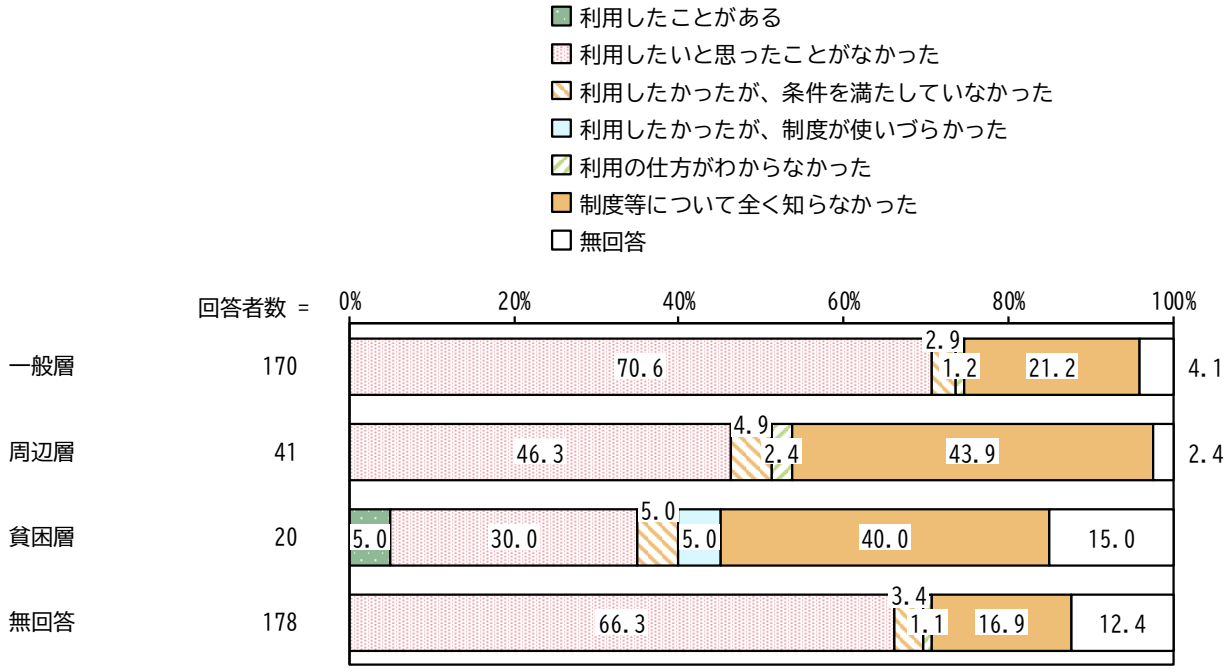
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

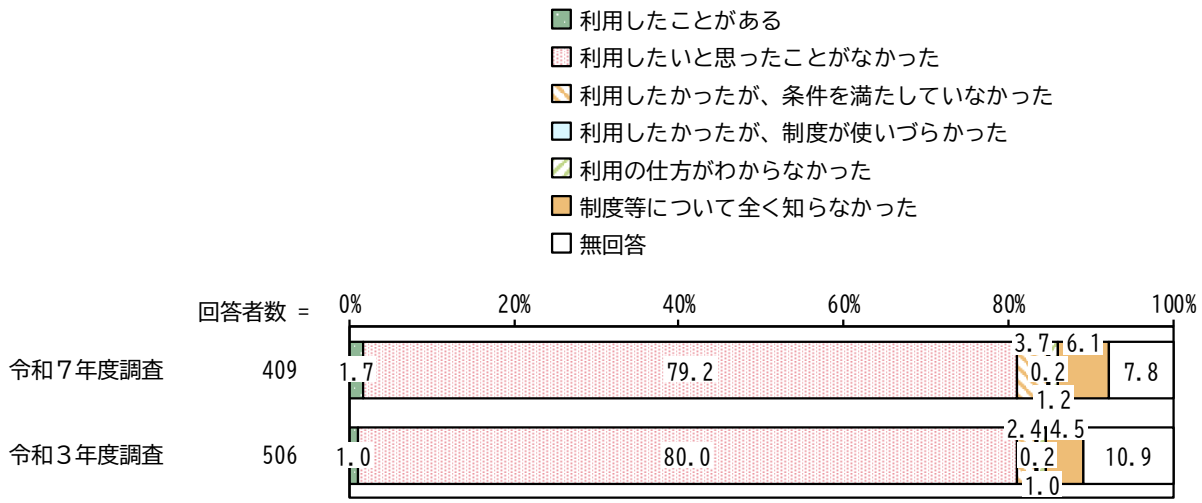
生活困難度別にみると、一般層で「利用したいと思ったことがなかった」、周辺層で「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。



B　生活保護

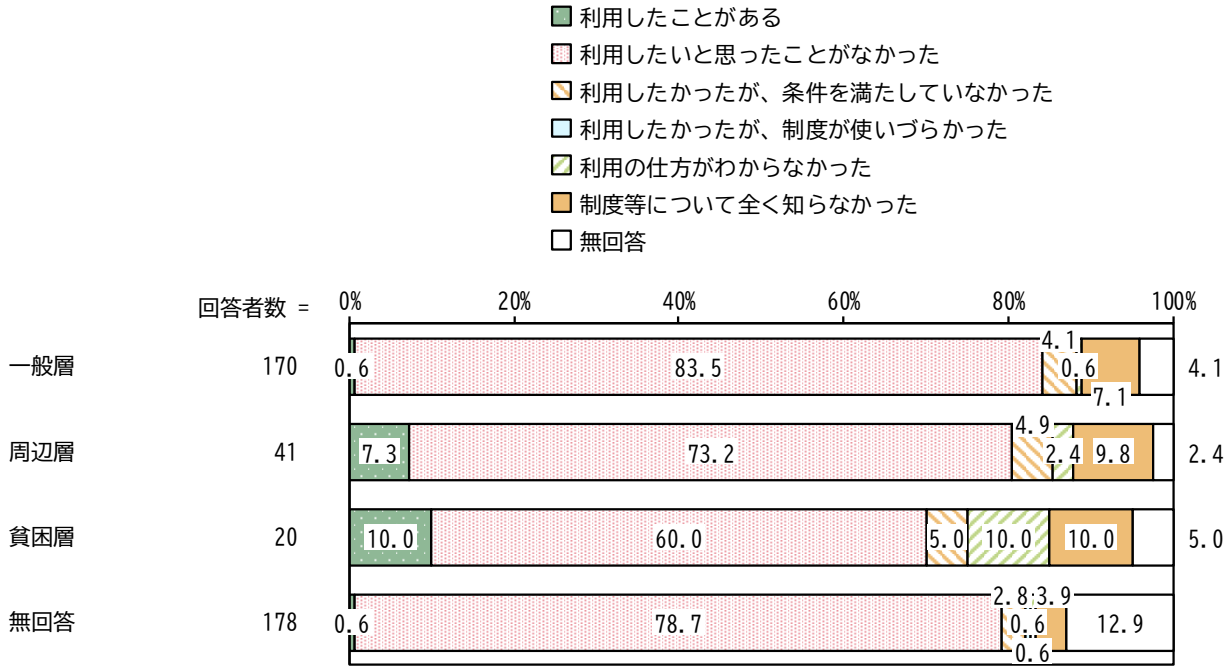
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

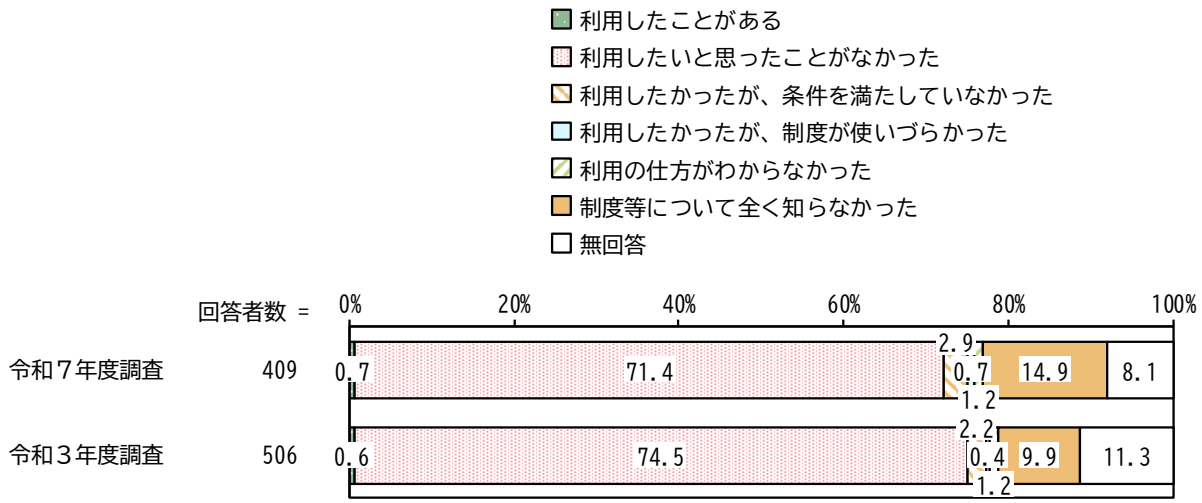
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したことがある」「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



C　母子及び父子福祉資金

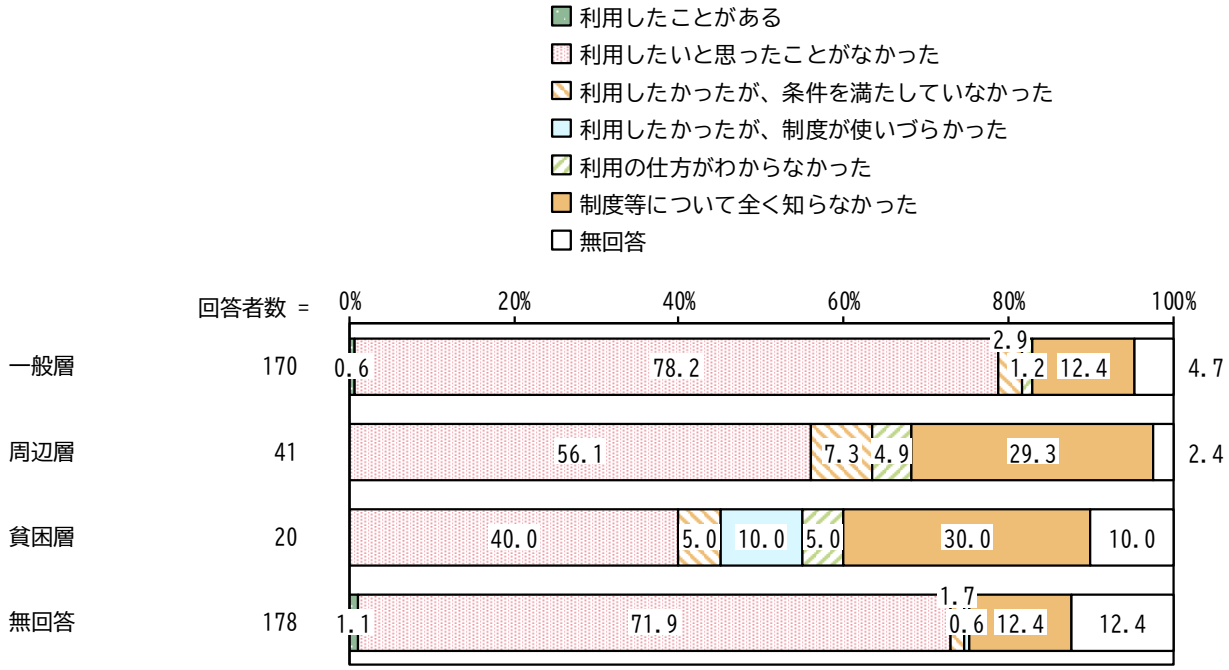
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

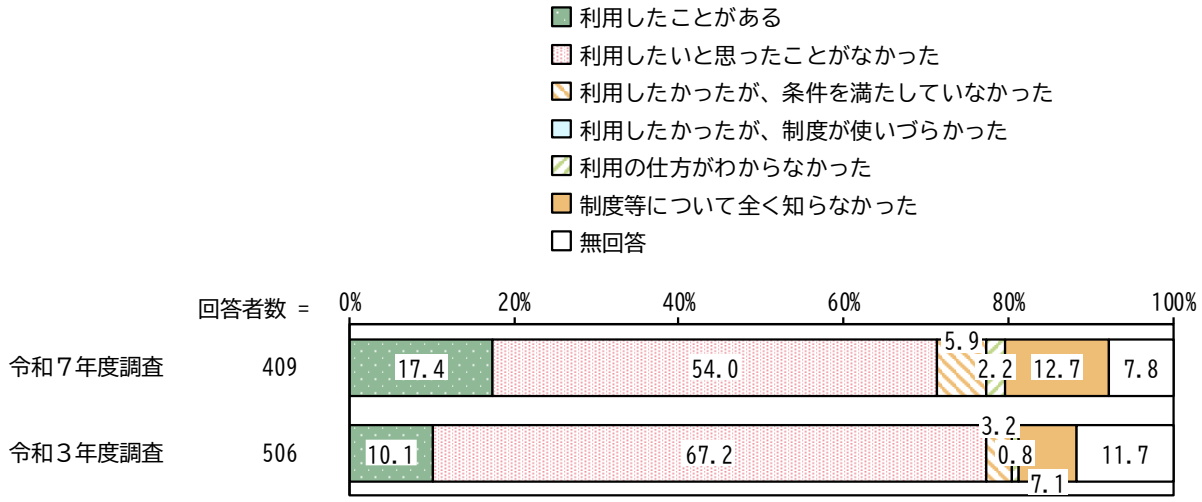
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「制度等について全く知らなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



D　児童扶養手当

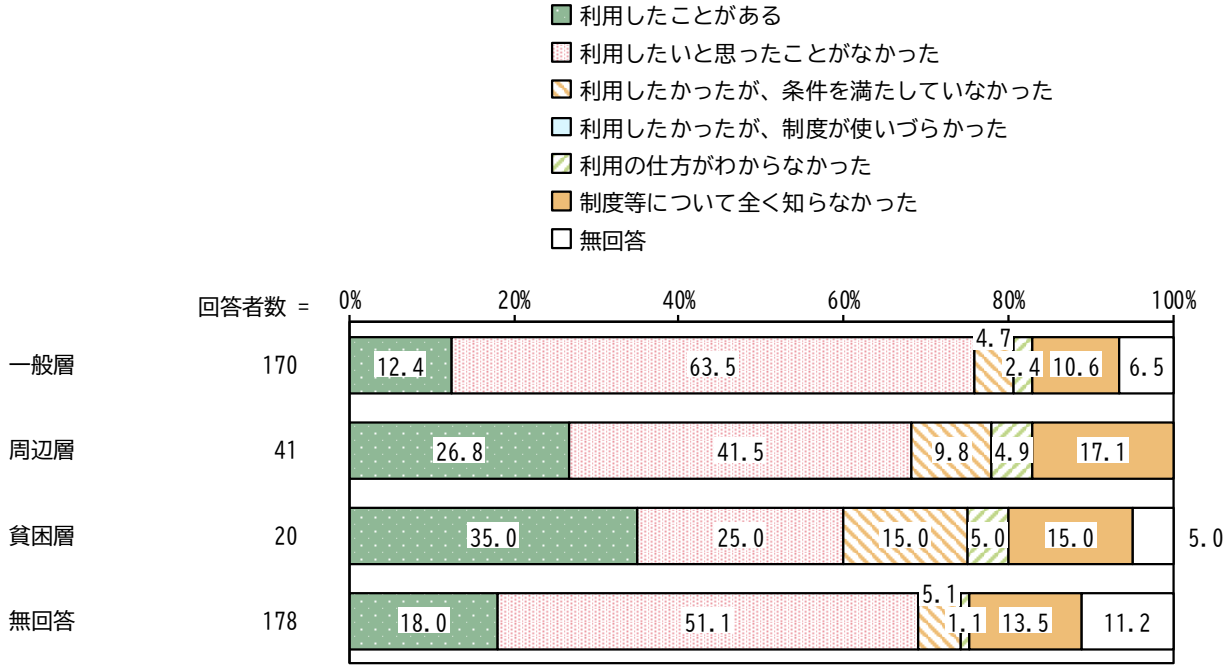
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「利用したことがある」「制度等について全く知らなかった」の割合が増加しています。一方、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

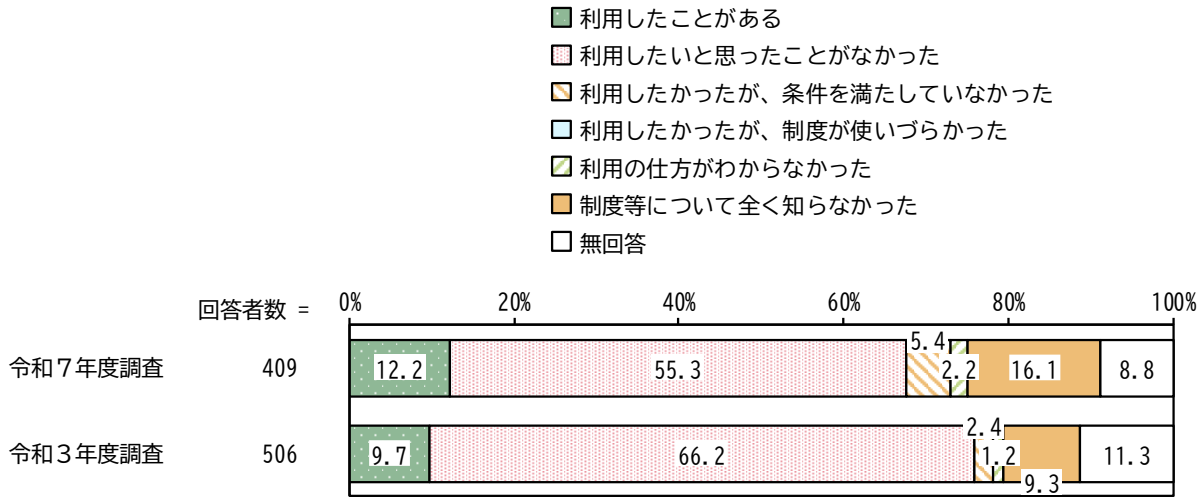
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したことがある」「利用したかったが、条件を満たしていなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



E　児童育成手当

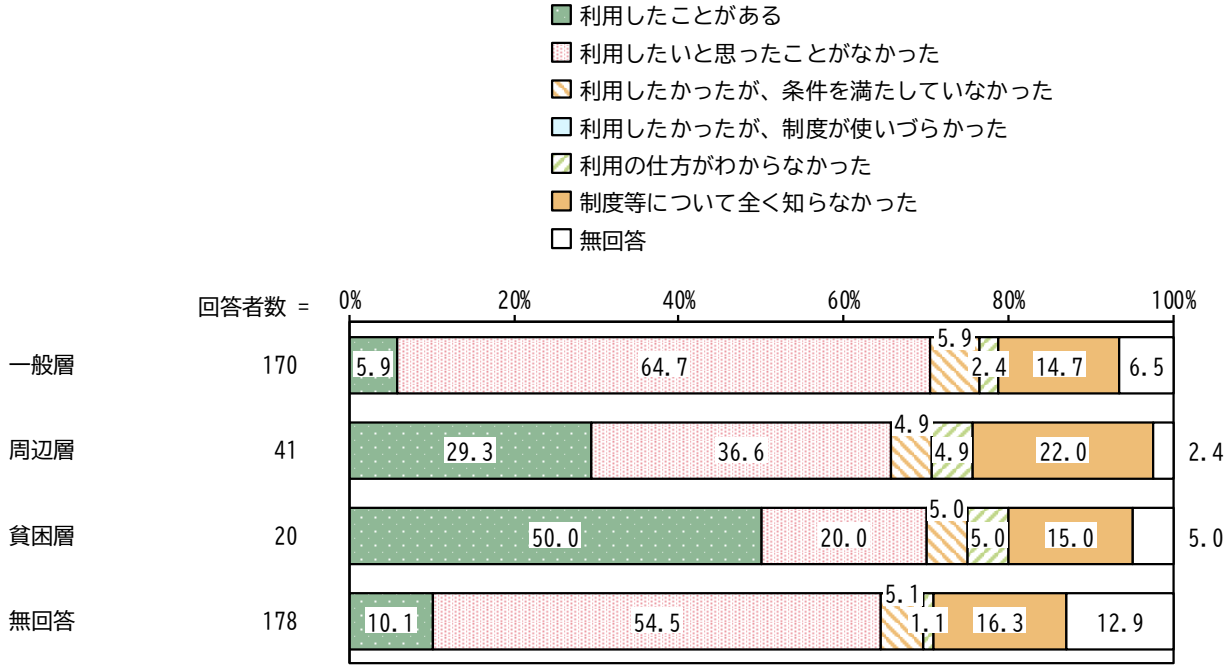
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、「制度等について全く知らなかった」の割合が増加しています。一方、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

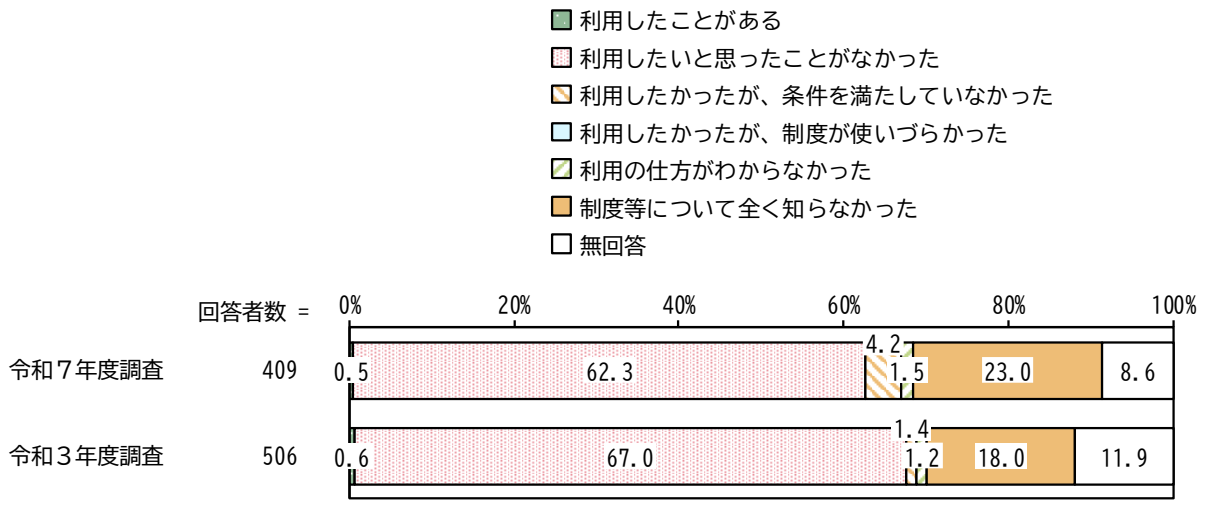
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したことがある」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



F　住居確保給付金

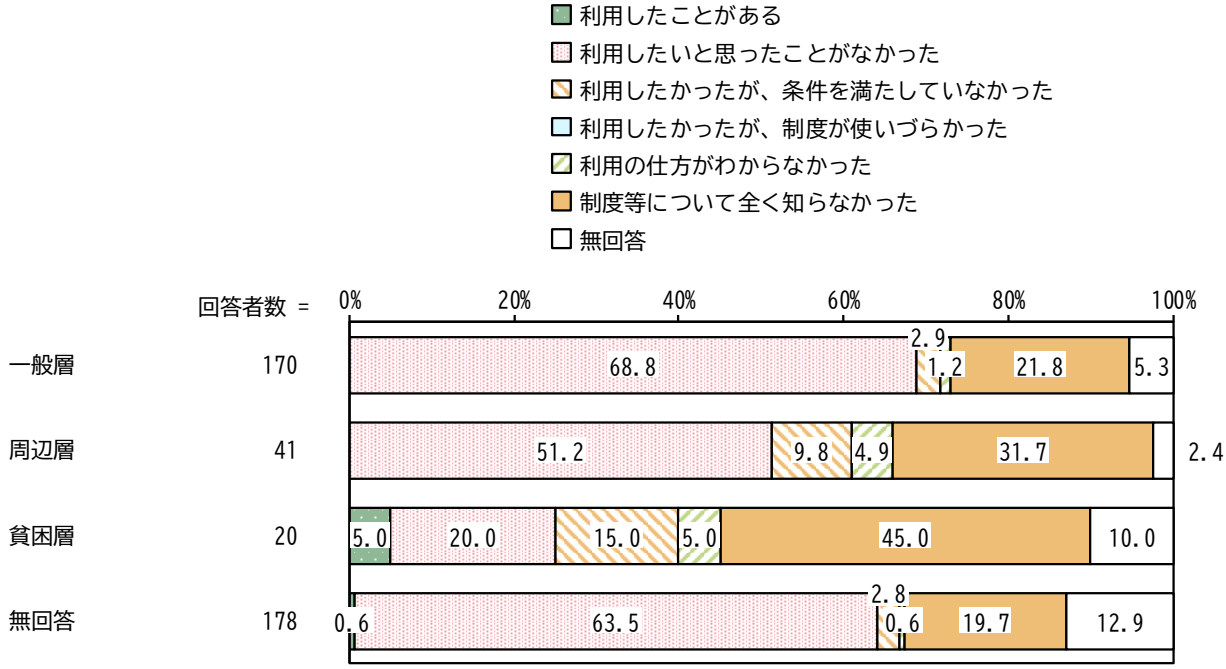
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

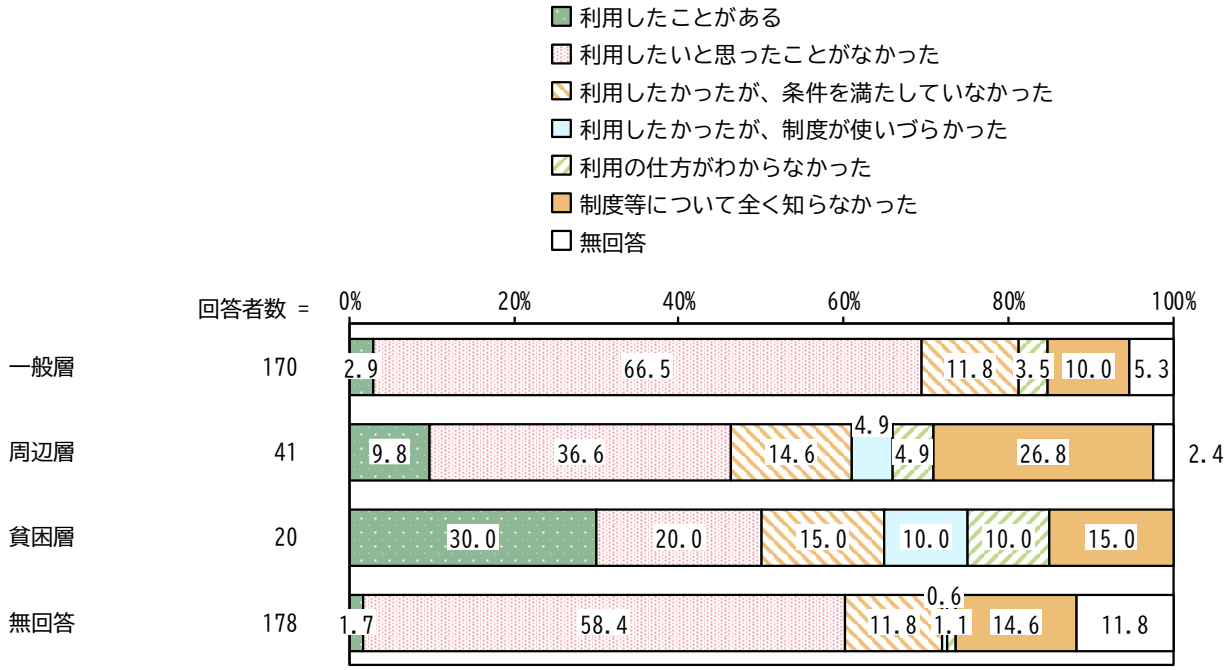
生活困難度別にみると、貧困層で「利用したかったが、条件を満たしていなかった」「制度等について全く知らなかった」の割合が高く、貧困層で「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



G　受験生チャレンジ支援貸付事業

【生活困難度別】

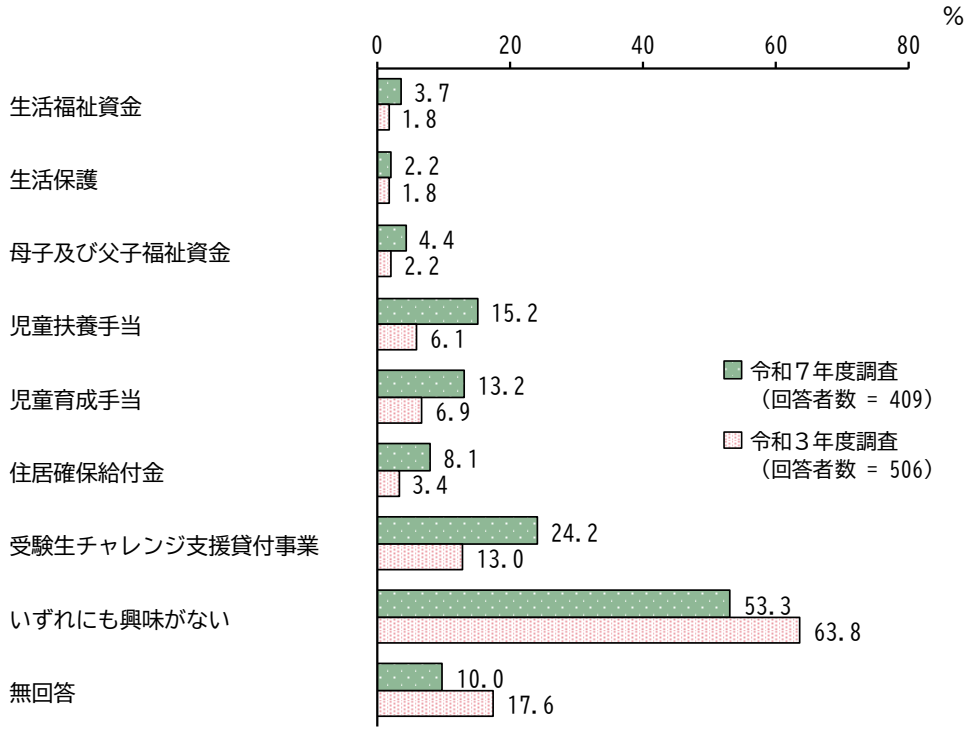
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「利用したことがある」「利用したかったが、制度が使いづらかった」「利用の仕方がわからなかった」の割合が高く、「利用したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。また、周辺層で「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。



問 47　あなたは、以下の支援制度等を利用することに興味がありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「いずれにも興味がない」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「受験生チャレンジ支援貸付事業」の割合が 24.2%、「児童扶養手当」の割合が 15.2%となっています。

令和３年度調査と比較すると、「児童扶養手当」「児童育成手当」「受験生チャレンジ支援貸付事業」の割合が増加しています。一方、「いずれにも興味がない」の割合が減少しています。



【生活困難度別】

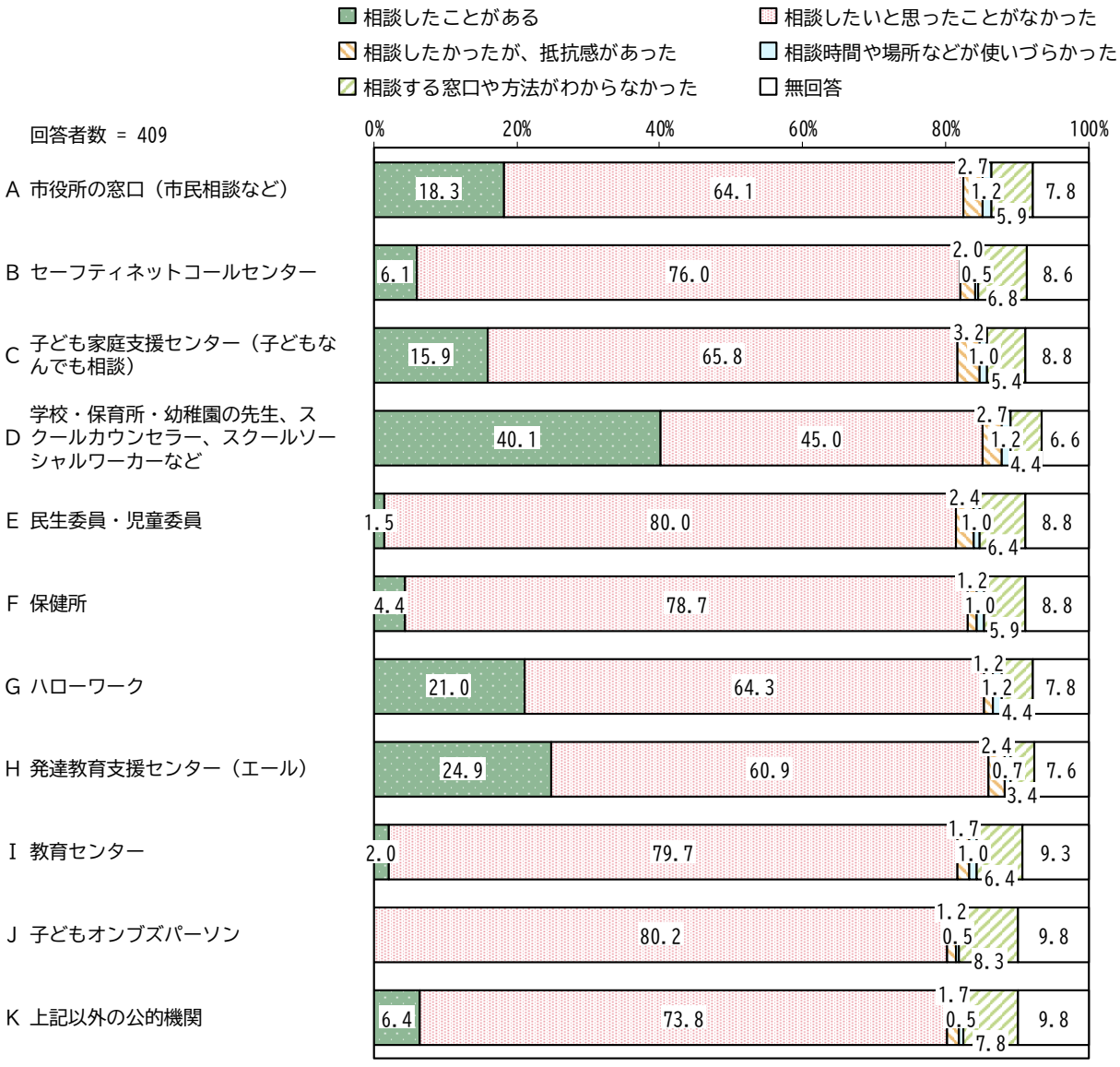
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「生活福祉資金」「母子及び父子福祉資金」「児童扶養手当」「住居確保給付金」「受験生チャレンジ支援貸付事業」の割合が高く、「いずれにも興味がない」の割合が低くなっています。また、周辺層で「児童育成手当」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	生活福祉資金	生活保護	母子及び父子福祉資金	児童扶養手当	児童育成手当	住居確保給付金	受験生チャレンジ支援貸付事業	いずれにも興味がない	無回答
全　体	409	3.7	2.2	4.4	15.2	13.2	8.1	24.2	53.3	10.0
一般層	170	1.8	1.8	1.2	10.0	9.4	5.9	22.4	64.1	5.3
周辺層	41	9.8	2.4	14.6	24.4	24.4	17.1	48.8	36.6	2.4
貧困層	20	10.0	0.0	15.0	35.0	20.0	25.0	55.0	25.0	0.0
無回答	178	3.4	2.8	3.9	15.7	13.5	6.2	16.9	50.0	17.4

問 48　あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

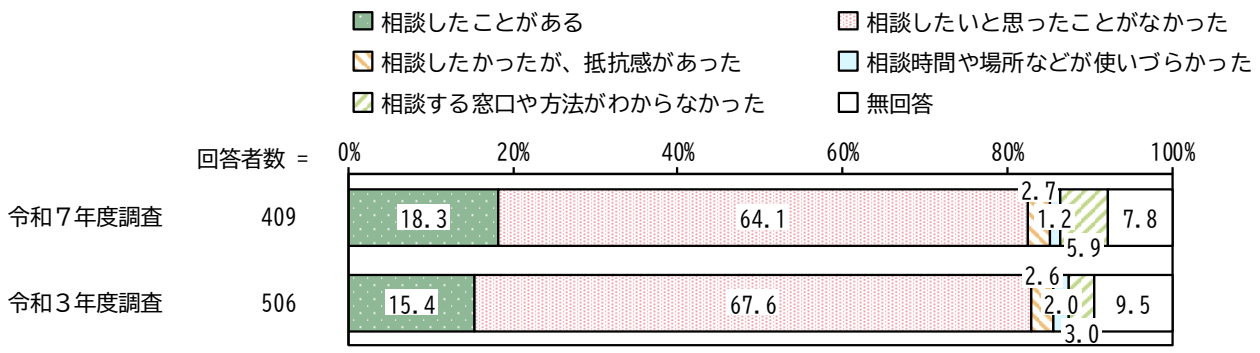
『D　学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど』で「相談したことがある」が、『J　子どもオンブズパーソン』で「相談したいと思ったことがなかった」「相談する窓口や方法がわからなかった」が、『C　子ども家庭支援センター（子どもなんでも相談）』で「相談したかったが、抵抗感があった」が、『A　市役所の窓口（市民相談など）』『D　学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど』『G　ハローワーク』で「相談時間や場所などが使いづらかった」が高くなっています。



A　市役所の窓口（市民相談など）

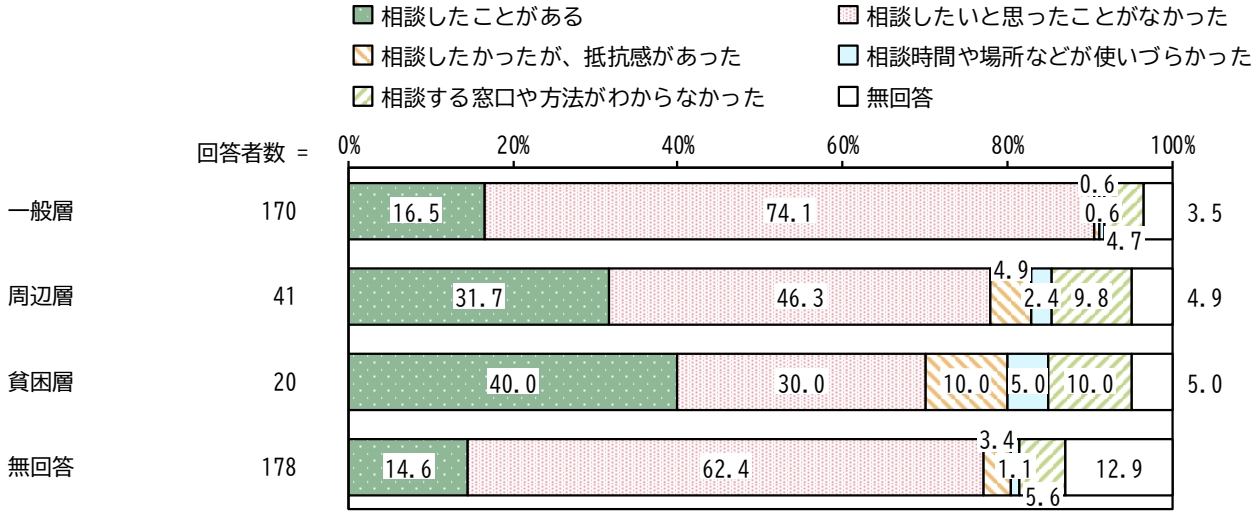
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

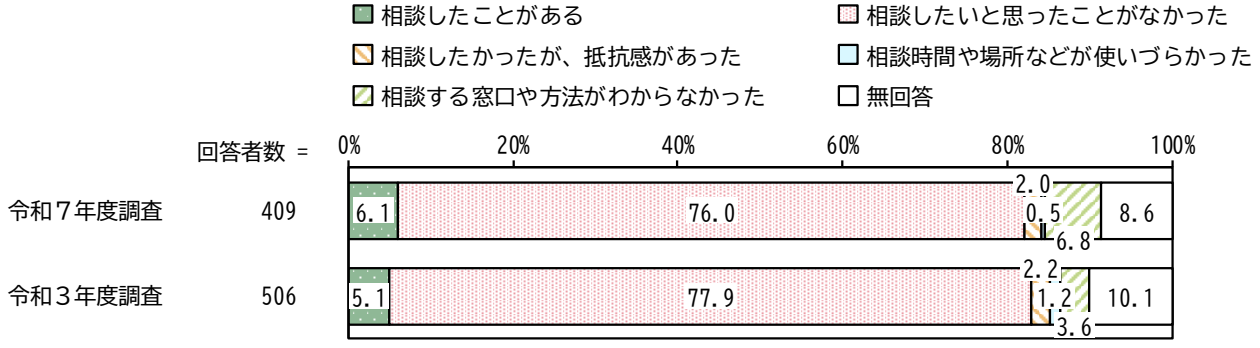
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談したことがある」「相談したかったが、抵抗感があった」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



B　セーフティネットコールセンター

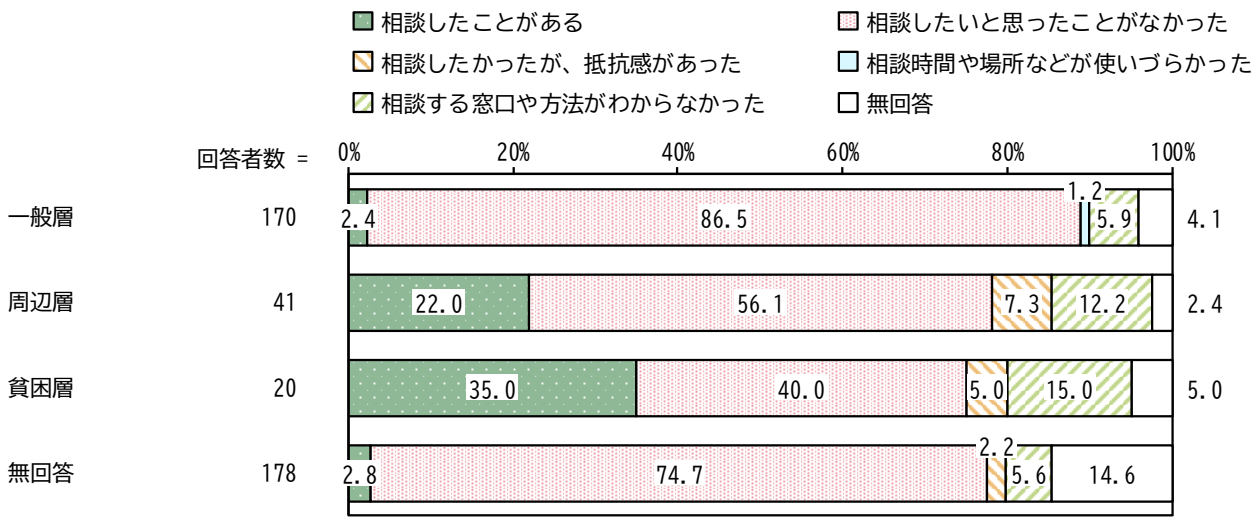
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

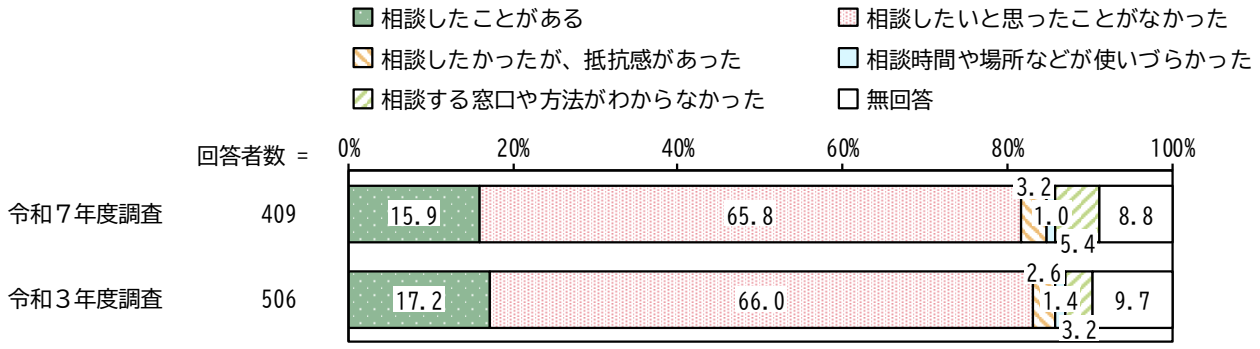
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談したことがある」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



C　子ども家庭支援センター（子どもなんでも相談）

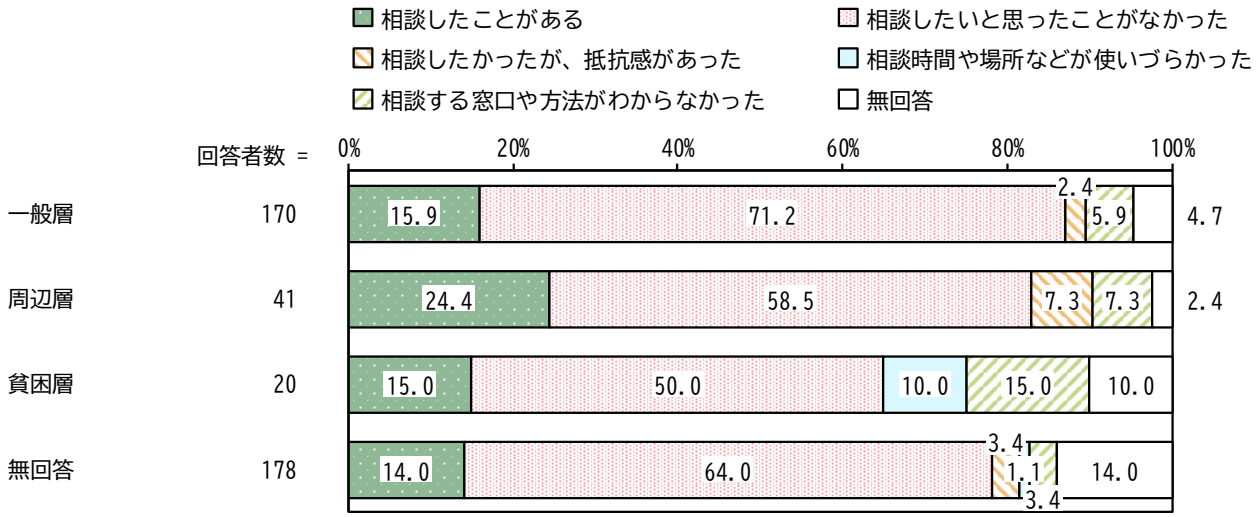
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

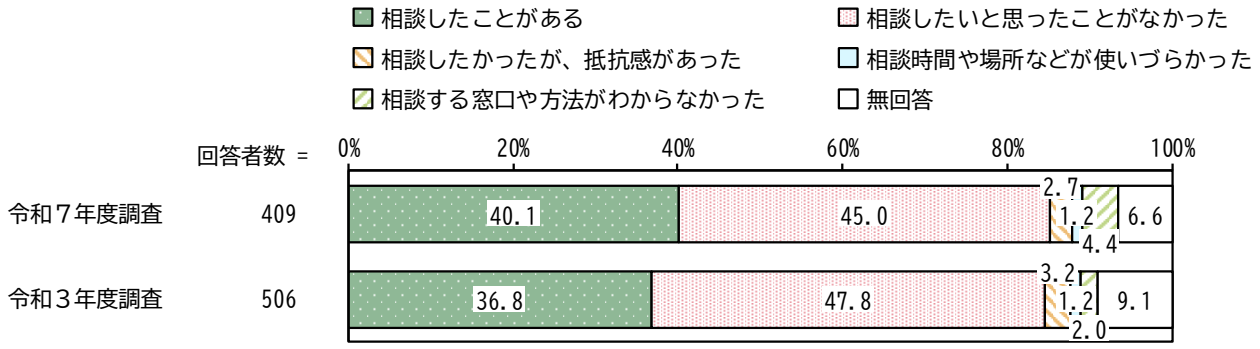
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



D　学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど

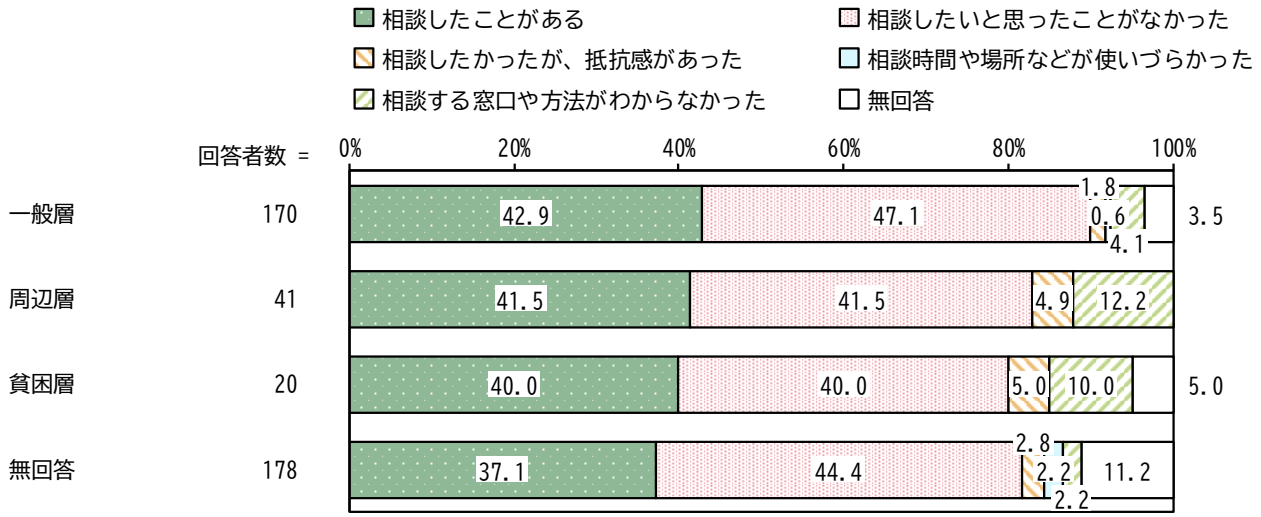
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

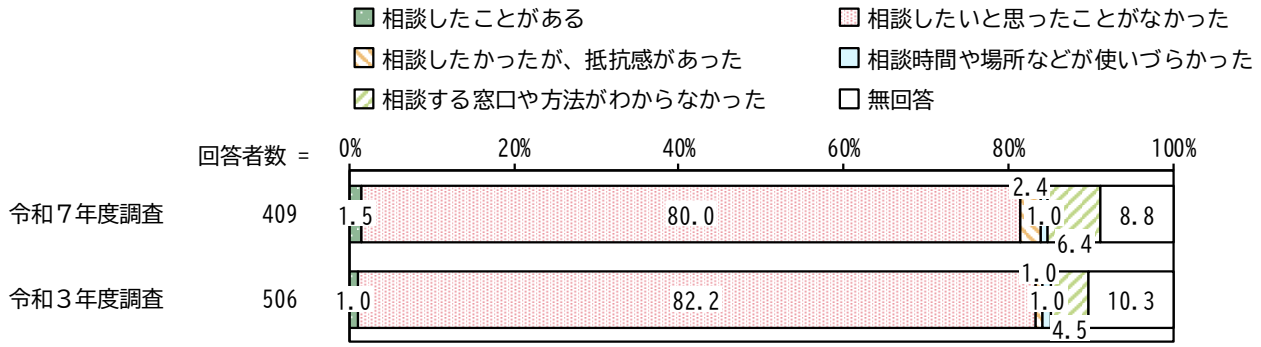
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「相談したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。



E　民生委員・児童委員

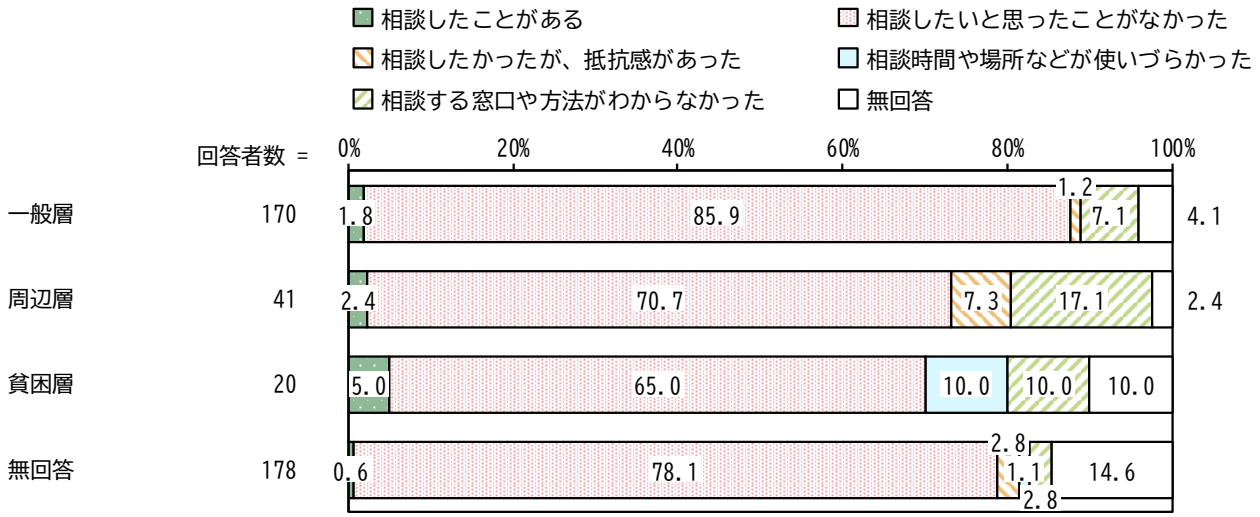
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

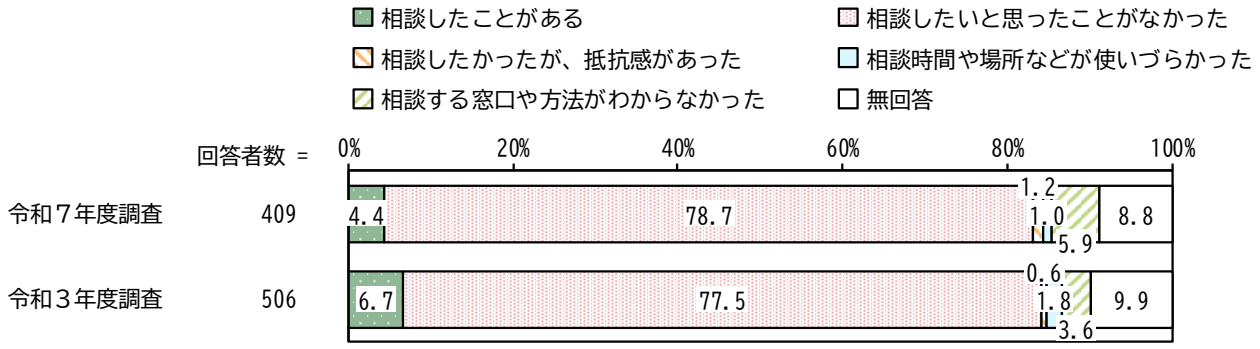
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「相談したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。



F　保健所

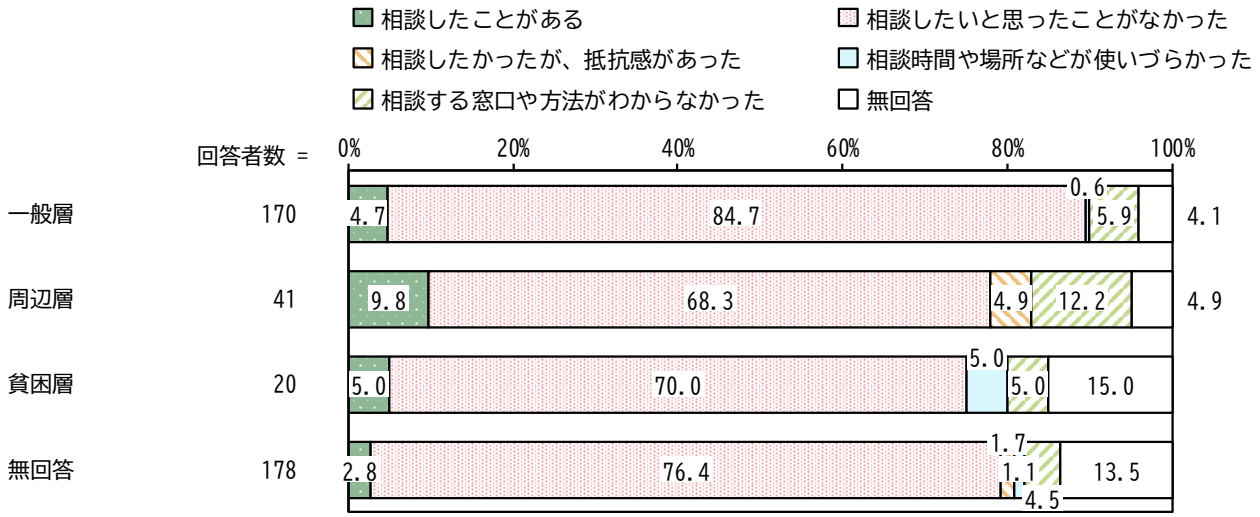
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

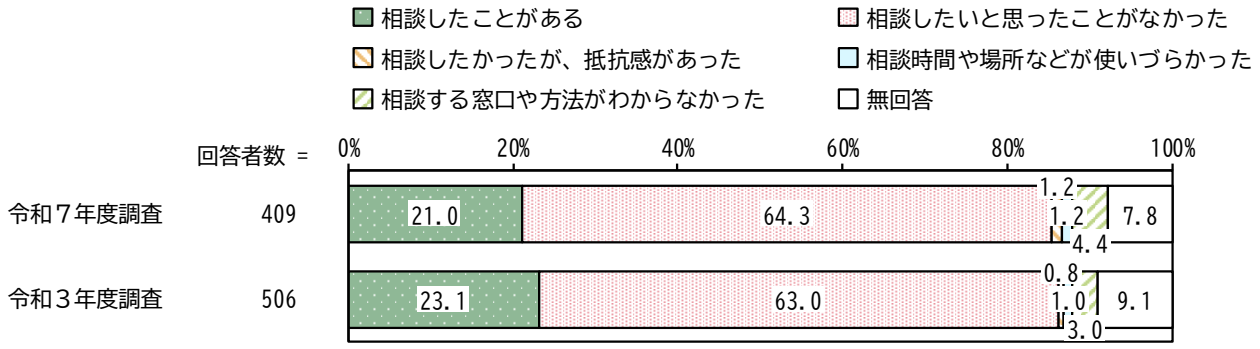
生活困難度別にみると、周辺層で「相談したことがある」「相談する窓口や方法がわからなかった」、一般層で「相談したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。



G　ハローワーク

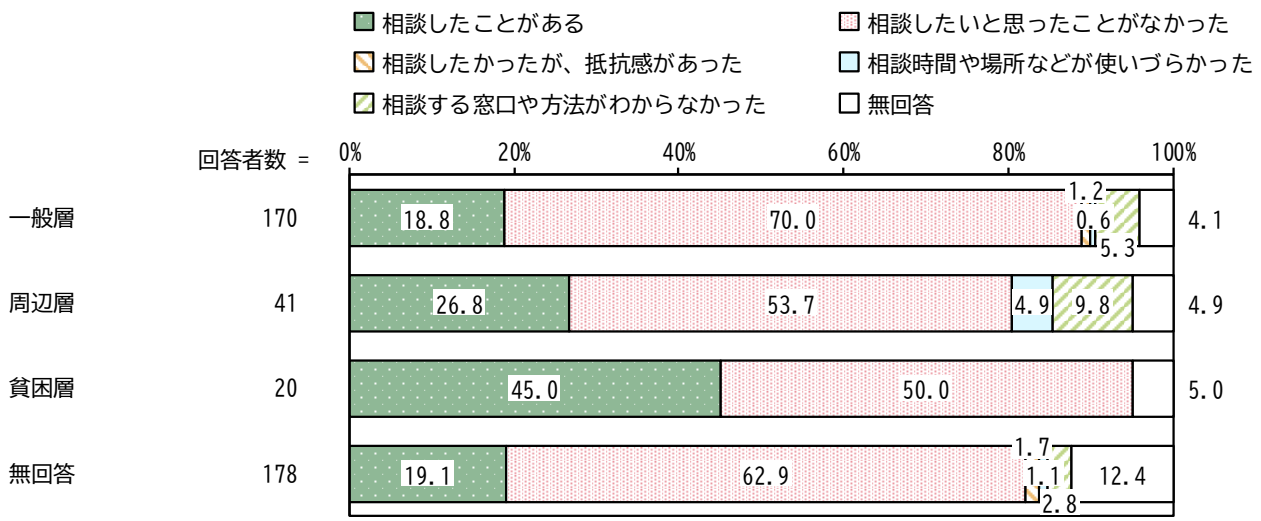
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活困難度別】

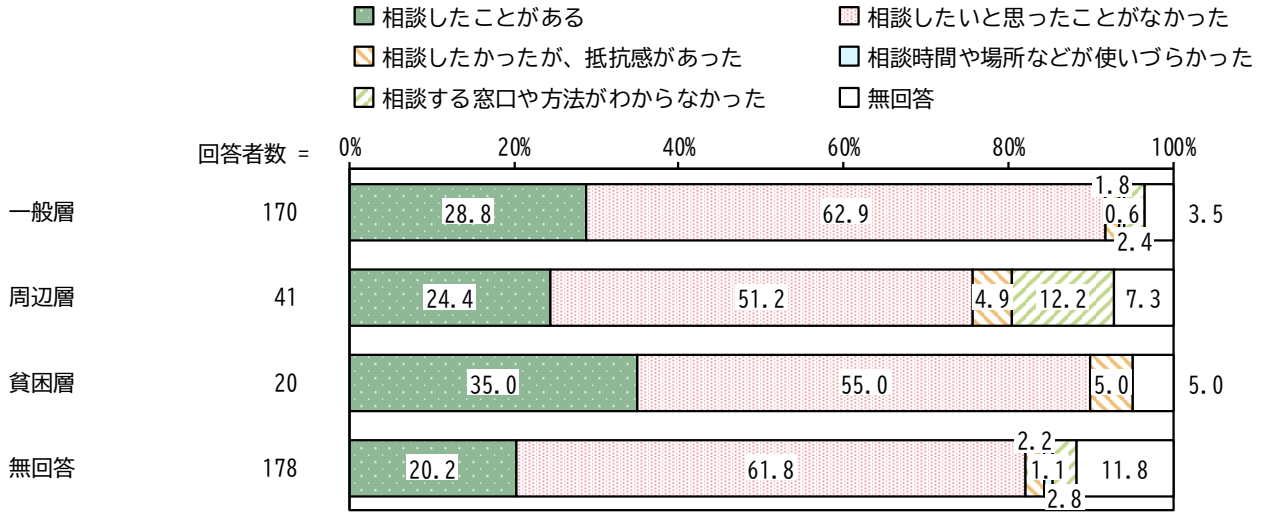
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談したことがある」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



H　発達教育支援センター（エール）

【生活困難度別】

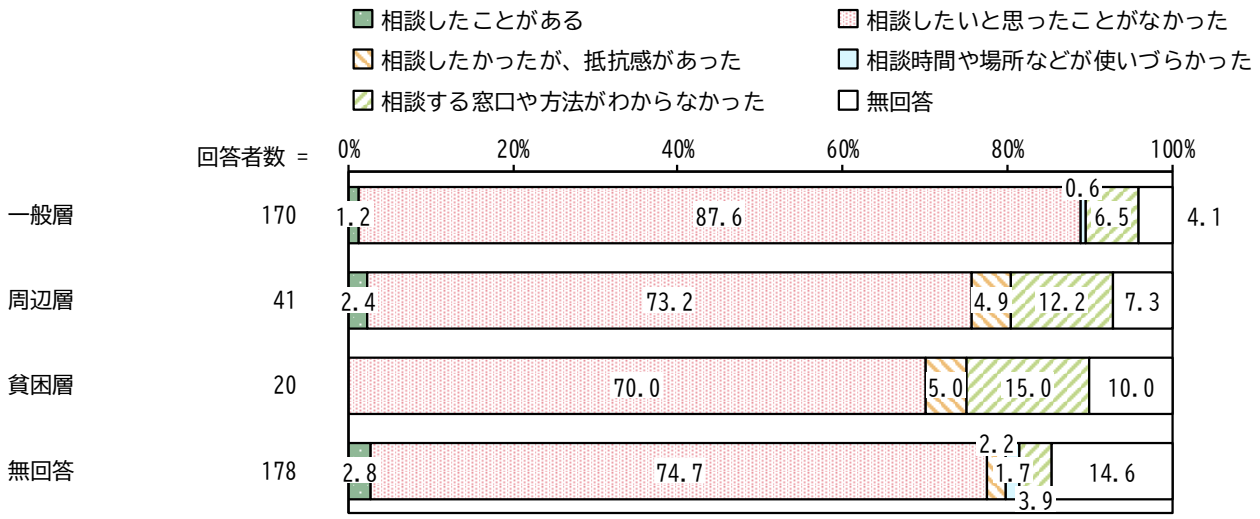
生活困難度別にみると、貧困層で「相談したことがある」、周辺層で「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が高くなっています。



Ⅰ　教育センター

【生活困難度別】

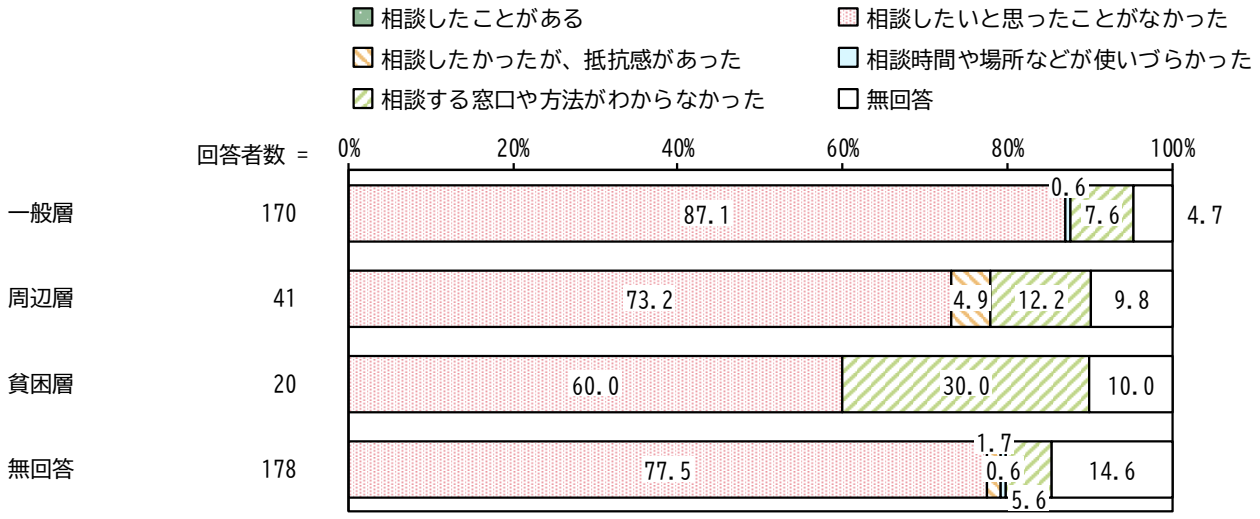
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「相談したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。



Ｊ　子どもオンブズパーソン

【生活困難度別】

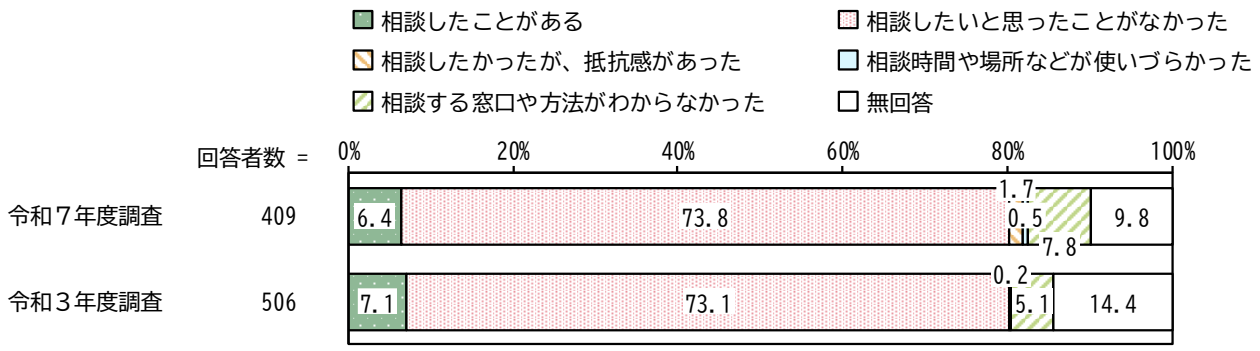
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が高く、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低くなっています。



K　上記以外の公的機関

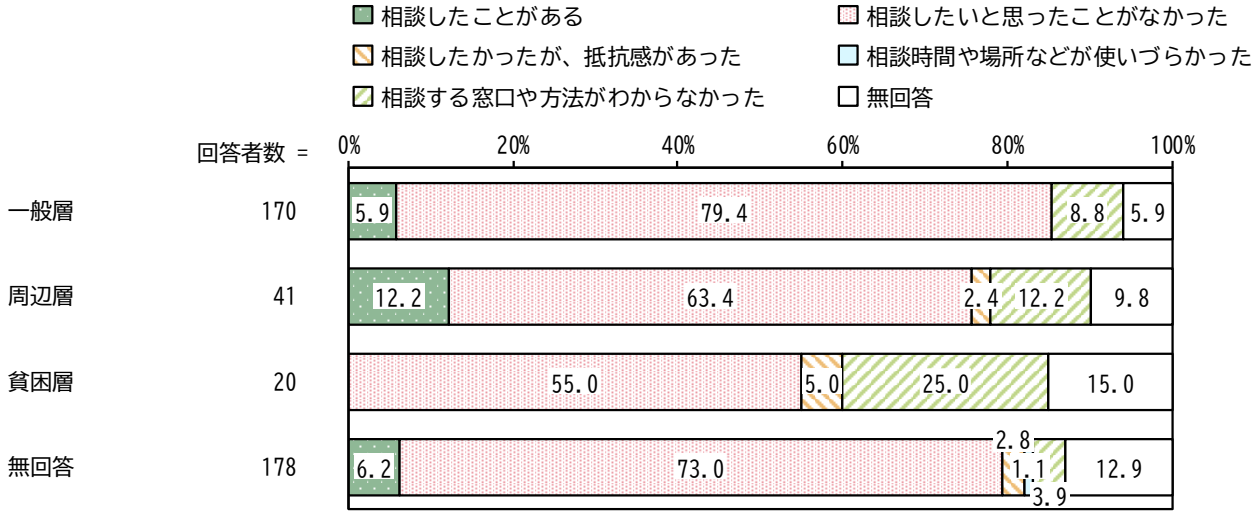
【経年比較】

令和３年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



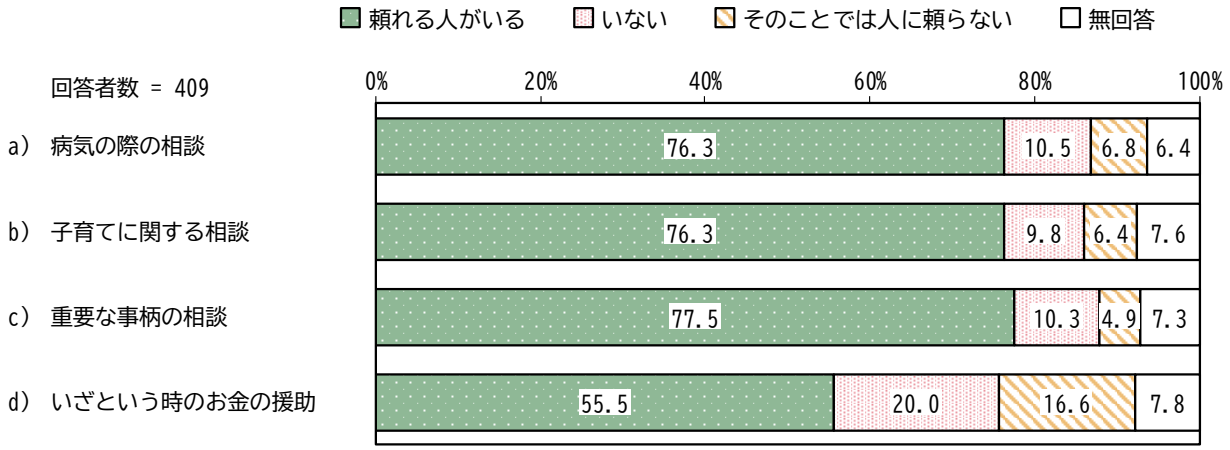
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「相談したいと思ったことがなかった」の割合が高くなっています。



問 49　あなたは次に挙げる事柄（ことがら）で頼れる人はいますか。（a～d それぞれについて、「頼れる人がいる」～「そのことでは人に頼らない」のあてはまる番号１つに○）

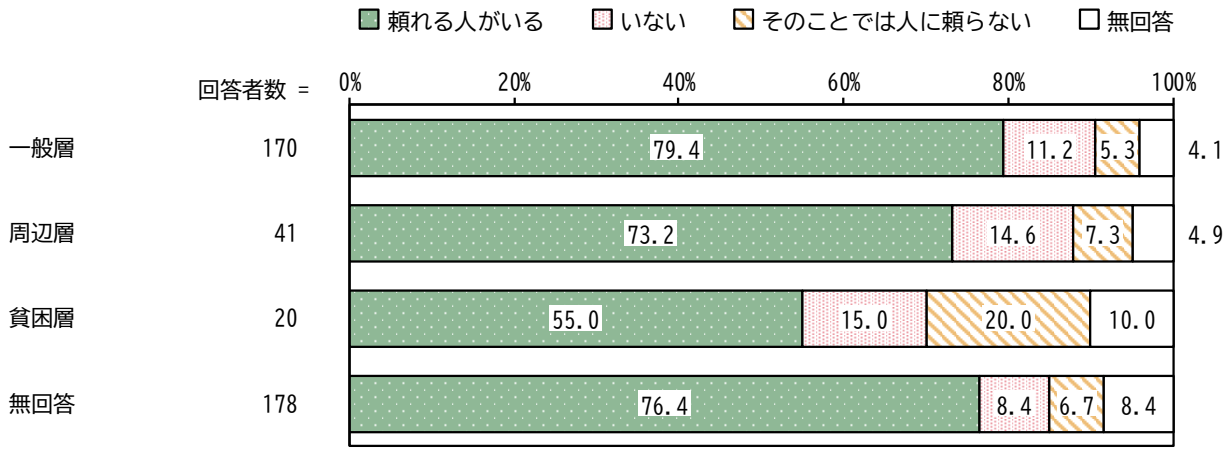
『c）重要な事柄の相談』で「頼れる人がいる」が、『d）いざという時のお金の援助』で「いない」「そのことでは人に頼らない」が高くなっています。



a）病気の際の相談

【生活困難度別】

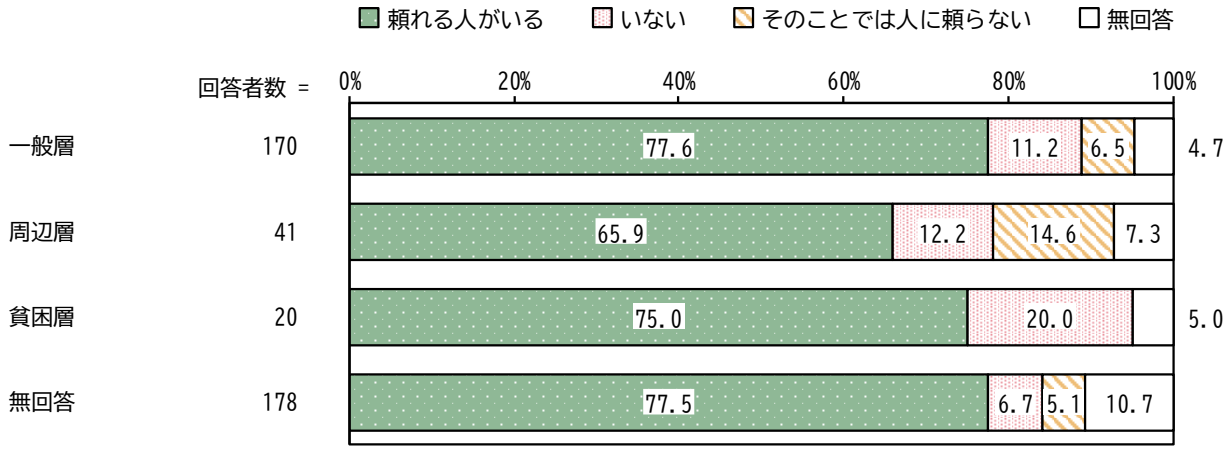
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「そのことでは人に頼らない」の割合が高く、「頼れる人がいる」の割合が低くなっています。



b）子育てに関する相談

【生活困難度別】

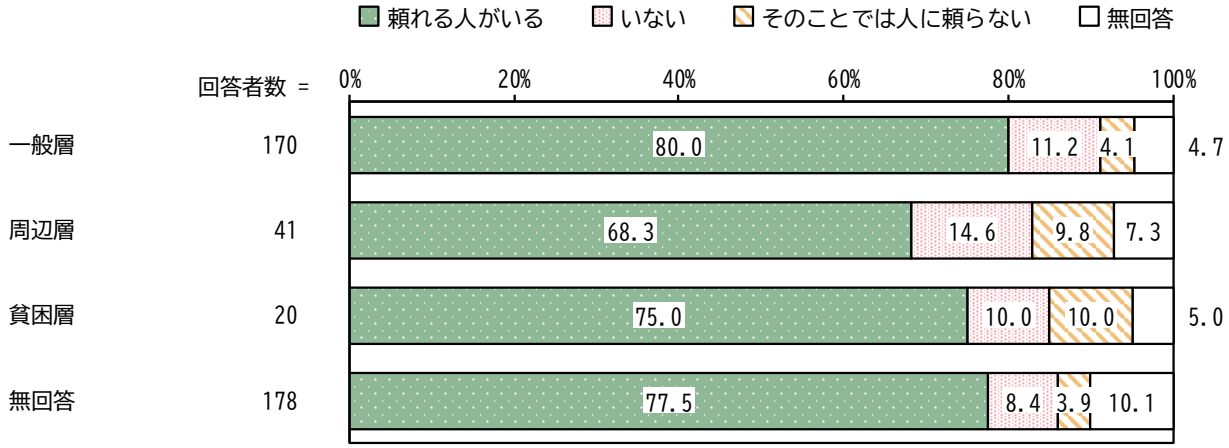
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「いない」の割合が高くなっています。また、周辺層で「頼れる人がいる」の割合が低くなっています。



c）重要な事柄の相談

【生活困難度別】

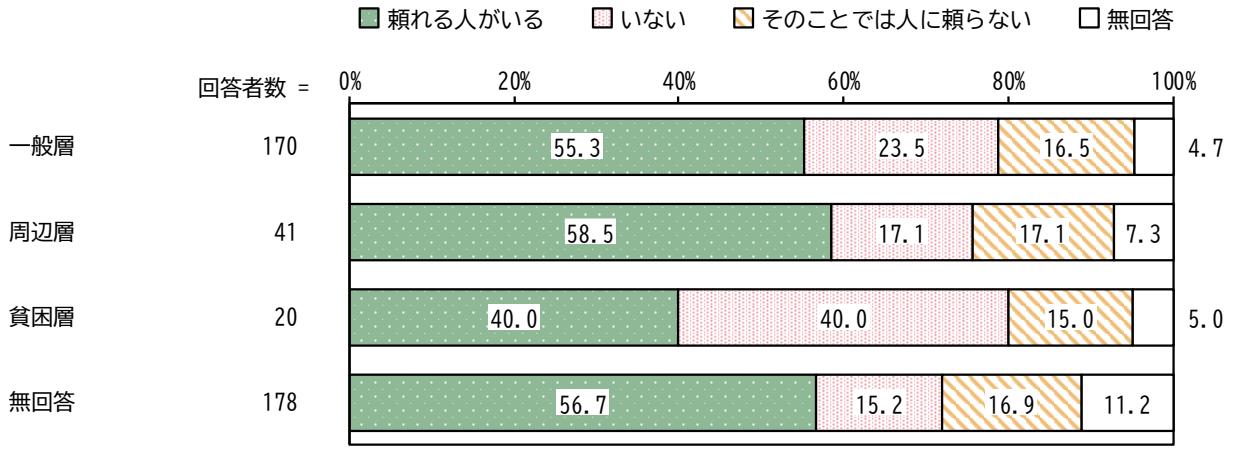
生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「そのことでは人に頼らない」の割合が高くなっています。



d）いざという時のお金の援助

【生活困難度別】

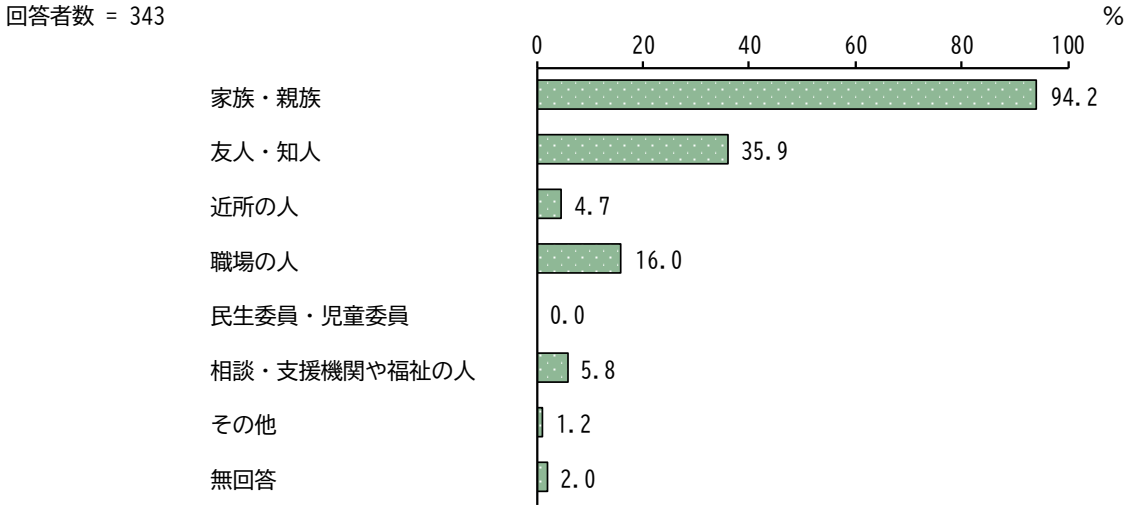
生活困難度別にみると、貧困層で「いない」の割合が高く、「頼れる人がいる」の割合が低くなっています。



問 49 で「頼れる人がいる」を選んだ方にお聞きします。

問 49－１　それはだれですか。（あてはまる番号すべてに○）

「家族・親族」の割合が 94.2%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 35.9%、「職場の人」の割合が 16.0%となっています。



【生活困難度別】

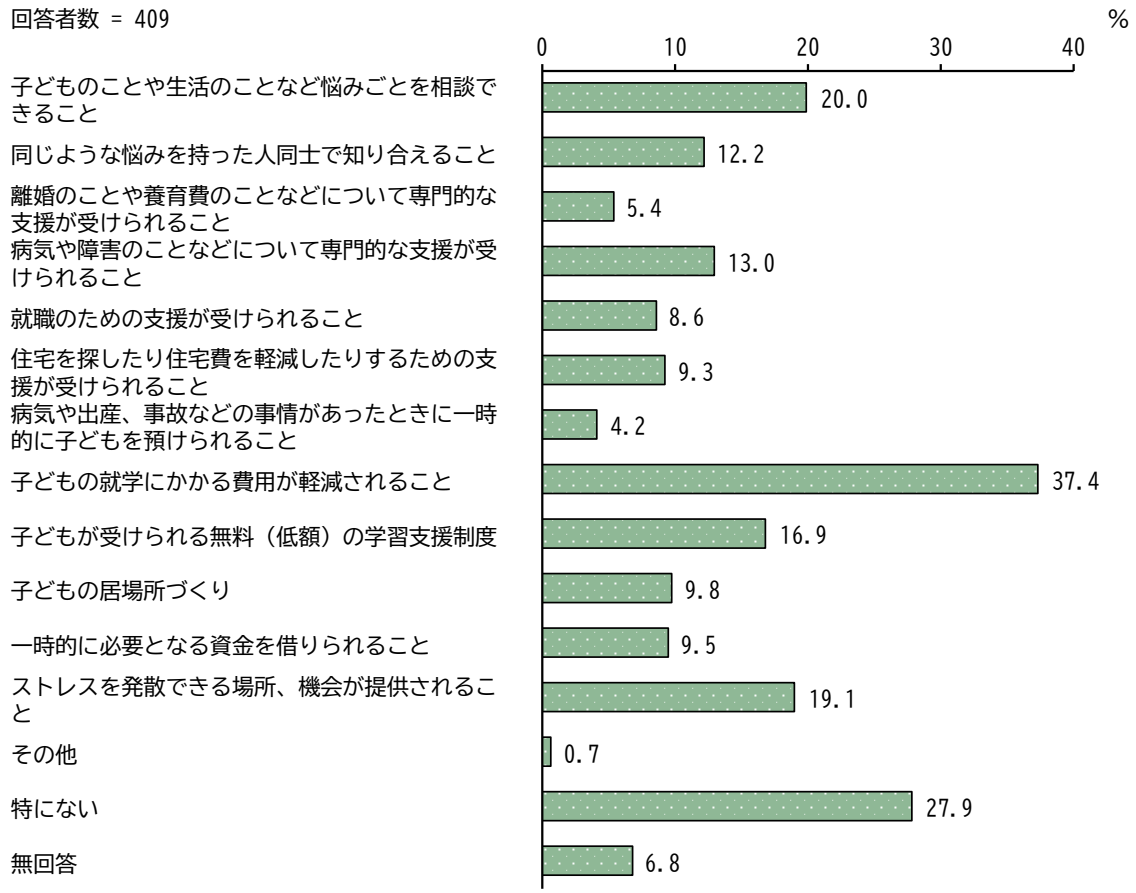
生活困難度別にみると、困難度が小さいほど「職場の人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
全　体	343	94.2	35.9	4.7	16.0	0.0	5.8	1.2	2.0
一般層	143	94.4	35.0	4.2	17.5	0.0	4.2	0.0	4.2
周辺層	33	97.0	24.2	6.1	12.1	0.0	3.0	3.0	0.0
貧困層	17	82.4	41.2	0.0	11.8	0.0	11.8	0.0	5.9
無回答	150	94.7	38.7	5.3	16.0	0.0	7.3	2.0	0.0

問 50　あなたが現在必要としていることで、重要だと思う支援等はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が 20.0%、「ストレスを発散できる場所、機会が提供されること」の割合が 19.1%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」「子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度」「一時的に必要となる資金を借りられること」の割合が高く、「子どもの居場所づくり」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
全　体	409	20.0	12.2	5.4	13.0	8.6	9.3	4.2
一般層	170	23.5	12.4	5.3	12.9	7.6	9.4	2.9
周辺層	41	7.3	7.3	4.9	12.2	7.3	12.2	4.9
貧困層	20	20.0	15.0	20.0	10.0	10.0	25.0	5.0
無回答	178	19.7	12.9	3.9	13.5	9.6	6.7	5.1

区分	子どもの就学にかかる費用が軽減されること	子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度	子どもの居場所づくり	一時的に必要となる資金を借りられること	ストレスを発散できる場所、機会が提供されること	その他	特にない	無回答
全　体	37.4	16.9	9.8	9.5	19.1	0.7	27.9	6.8
一般層	35.3	13.5	11.2	6.5	23.5	0.0	30.6	3.5
周辺層	51.2	17.1	7.3	14.6	14.6	0.0	22.0	4.9
貧困層	65.0	50.0	5.0	25.0	20.0	5.0	15.0	0.0
無回答	33.1	16.3	9.6	9.6	15.7	1.1	28.1	11.2

【世帯分類別】

世帯分類別にみると、ふたり親（３世帯）で「病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること」、母親（ひとり親）で「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」「子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度」、父親（ひとり親）で「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が高くなっています。

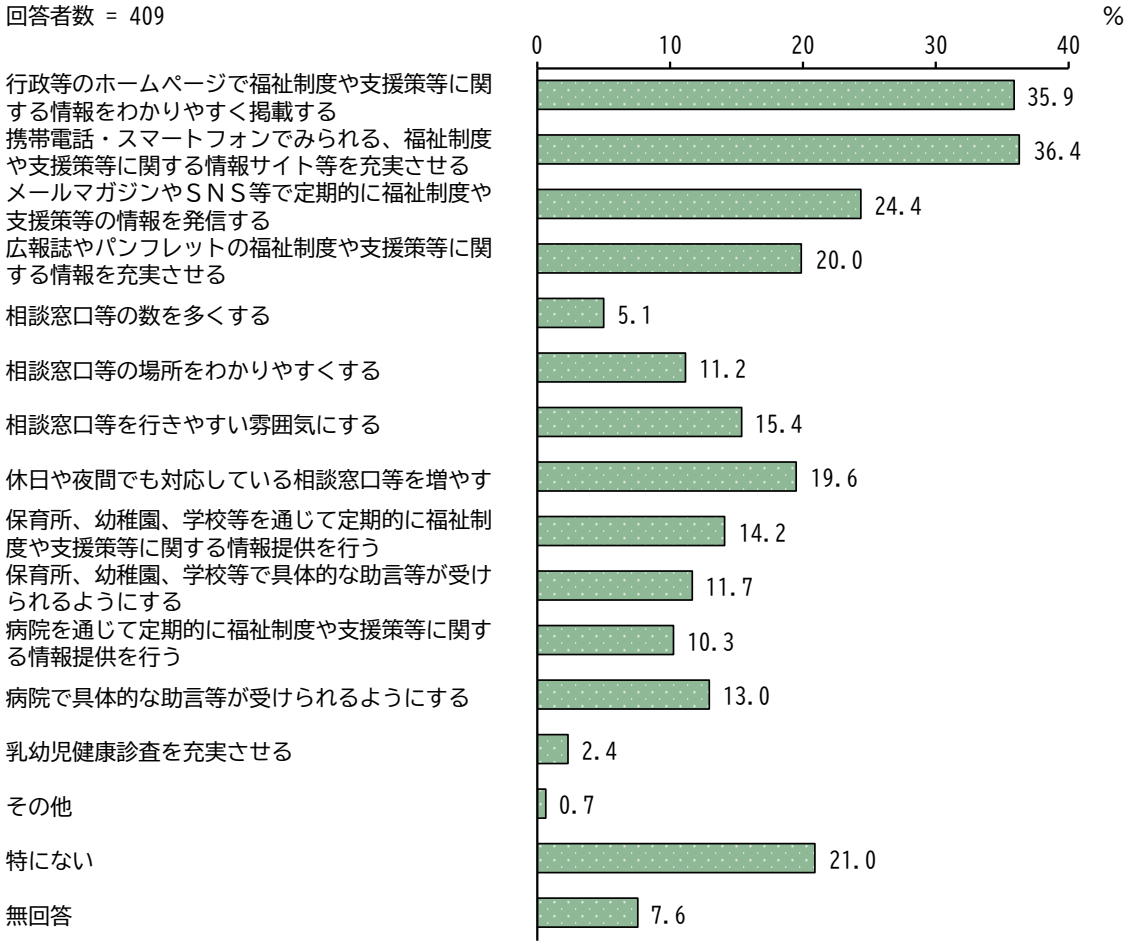
単位：％

区分	回答者数（件）	子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
全　体	409	20.0	12.2	5.4	13.0	8.6	9.3	4.2
父親（ひとり親）	38	28.9	15.8	5.3	7.9	15.8	13.2	10.5
母親（ひとり親）	58	12.1	10.3	10.3	10.3	5.2	24.1	3.4
ふたり親（２世帯）	279	20.8	12.5	4.7	13.6	8.6	6.5	3.9
ふたり親（３世帯）	17	29.4	17.6	5.9	23.5	5.9	0.0	0.0
無回答	17	5.9	0.0	0.0	11.8	5.9	5.9	0.0

区分	子どもの就学にかかる費用が軽減されること	子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度	子どもの居場所づくり	一時的に必要となる資金を借りられること	ストレスを発散できる場所、機会が提供されること	その他	特にない	無回答
全　体	37.4	16.9	9.8	9.5	19.1	0.7	27.9	6.8
父親（ひとり親）	47.4	26.3	18.4	0.0	13.2	2.6	31.6	0.0
母親（ひとり親）	46.6	27.6	12.1	13.8	20.7	0.0	27.6	6.9
ふたり親（２世帯）	36.6	14.3	8.2	10.0	20.1	0.4	28.3	5.0
ふたり親（３世帯）	17.6	5.9	5.9	11.8	23.5	0.0	17.6	11.8
無回答	17.6	11.8	11.8	5.9	5.9	5.9	23.5	47.1

問 51　あなたが必要な支援を受けるために重要だと思うことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する」の割合が 35.9%、「メールマガジンやＳＮＳ等で定期的に福祉制度や支援策等の情報を発信する」の割合が 24.4%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる」「休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす」「病院を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う」の割合が高く、「行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する」の割合が低くなっています。また、貧困層で「メールマガジンやＳＮＳ等で定期的に福祉制度や支援策等の情報を発信する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する	携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる	メールマガジンやＳＮＳ等で定期的に福祉制度や支援策等の情報を発信する	広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる	相談窓口等の数を多くする	相談窓口等の場所をわかりやすくする	相談窓口等を行きやすい雰囲気にする	休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす
全　体	409	35.9	36.4	24.4	20.0	5.1	11.2	15.4	19.6
一般層	170	34.7	34.7	27.1	21.8	5.3	11.8	12.4	17.6
周辺層	41	34.1	36.6	19.5	19.5	4.9	19.5	19.5	24.4
貧困層	20	30.0	60.0	45.0	20.0	0.0	10.0	10.0	25.0
無回答	178	38.2	35.4	20.8	18.5	5.6	9.0	18.0	19.7

区分	保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う	保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする	病院を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う	病院で具体的な助言等が受けられるようにする	乳幼児健康診査を充実させる	その他	特にない	無回答
全　体	14.2	11.7	10.3	13.0	2.4	0.7	21.0	7.6
一般層	13.5	13.5	8.8	14.7	3.5	0.6	25.9	5.9
周辺層	9.8	2.4	9.8	9.8	0.0	0.0	14.6	2.4
貧困層	20.0	10.0	15.0	20.0	0.0	5.0	15.0	0.0
無回答	15.2	12.4	11.2	11.2	2.2	0.6	18.5	11.2

【世帯分類別】

世帯分類別にみると、父親（ひとり親）で「行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する」「広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる」「病院を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う」「病院で具体的な助言等が受けられるようにする」、ふたり親（３世帯）で「メールマガジンやＳＮＳ等で定期的に福祉制度や支援策等の情報を発信する」「相談窓口等の場所をわかりやすくする」、母親（ひとり親）で「休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす」の割合が高くなっています。

単位：％

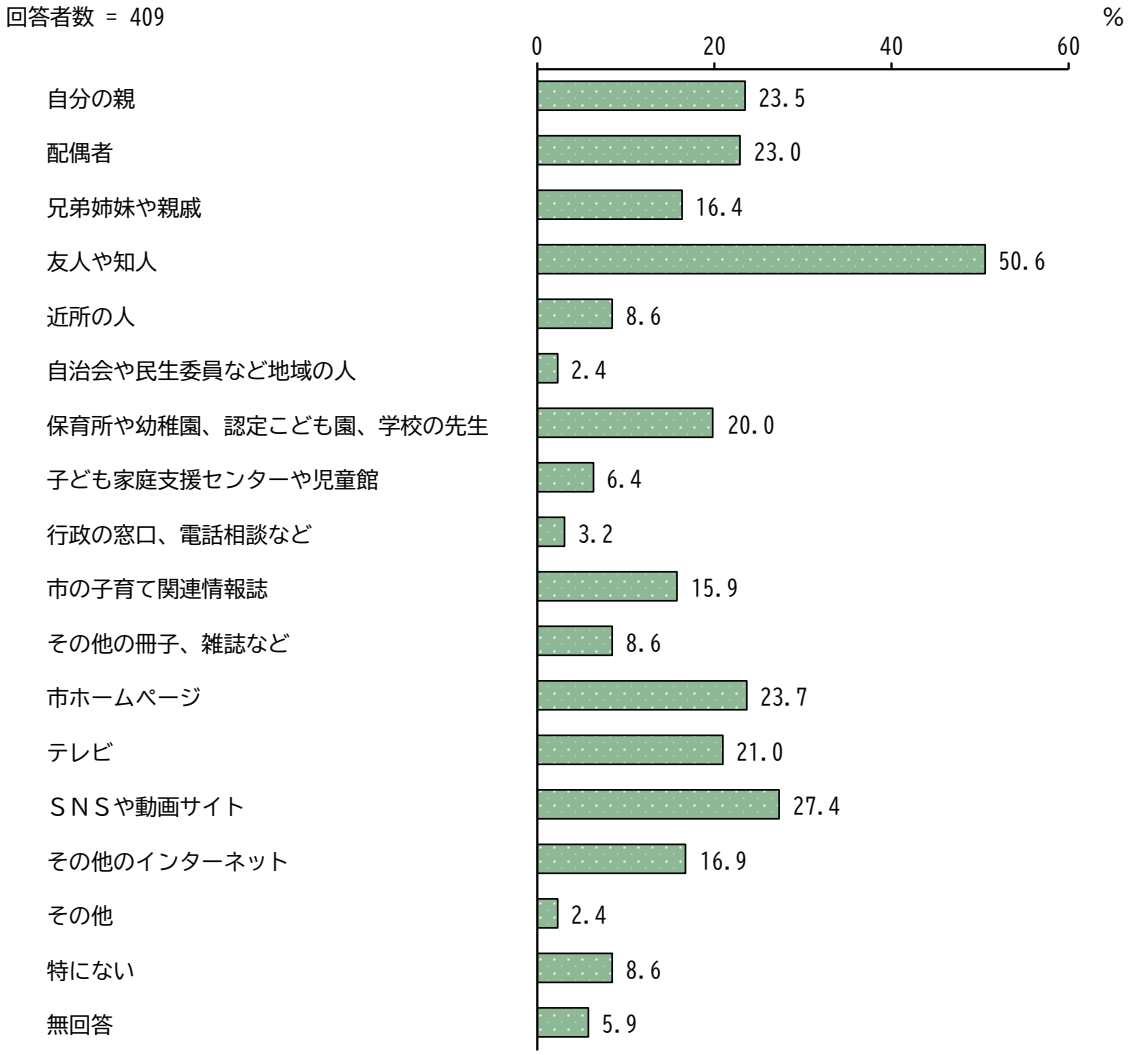
区分	回答者数（件）	行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する	携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる	メールマガジンやＳＮＳ等で定期的に福祉制度や支援策等の情報を発信する	広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる	相談窓口等の数を多くする
全　体	409	35.9	36.4	24.4	20.0	5.1
父親（ひとり親）	38	52.6	36.8	15.8	26.3	2.6
母親（ひとり親）	58	31.0	34.5	22.4	20.7	6.9
ふたり親（２世帯）	279	36.2	37.3	26.2	19.7	5.7
ふたり親（３世帯）	17	23.5	41.2	47.1	17.6	0.0
無回答	17	23.5	23.5	0.0	11.8	0.0

区分	相談窓口等の場所をわかりやすくする	相談窓口等を行きやすい雰囲気にする	休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす	保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う	保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする	病院を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う
全　体	11.2	15.4	19.6	14.2	11.7	10.3
父親（ひとり親）	13.2	18.4	15.8	7.9	15.8	18.4
母親（ひとり親）	10.3	10.3	29.3	13.8	3.4	8.6
ふたり親（２世帯）	11.5	16.8	19.0	15.1	12.9	9.3
ふたり親（３世帯）	17.6	11.8	17.6	17.6	11.8	11.8
無回答	0.0	5.9	5.9	11.8	11.8	11.8

区分	病院で具体的な助言等が受けられるようにする	乳幼児健康診査を充実させる	その他	特にない	無回答
全　体	13.0	2.4	0.7	21.0	7.6
父親（ひとり親）	18.4	2.6	0.0	15.8	0.0
母親（ひとり親）	6.9	1.7	0.0	22.4	6.9
ふたり親（２世帯）	13.3	2.9	1.1	20.8	7.2
ふたり親（３世帯）	17.6	0.0	0.0	29.4	0.0
無回答	11.8	0.0	0.0	23.5	41.2

問 52　あなたは、子育てに関する情報をどこから手に入れますか。
（あてはまるものすべてに○）

「友人や知人」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「ＳＮＳや動画サイト」の割合が 27.4%、「市ホームページ」の割合が 23.7%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「市ホームページ」「ＳＮＳや動画サイト」「その他のインターネット」の割合が高く、「市の子育て関連情報誌」の割合が低くなっています。

単位：％

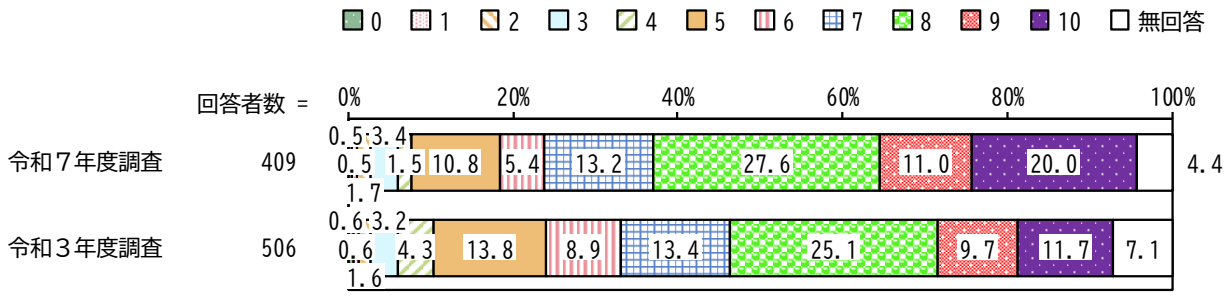
区分	回答者数（件）	自分の親	配偶者	兄弟姉妹や親戚	友人や知人	近所の人	自治会や民生委員など地域の人	保育所や幼稚園、認定こども園、学校の先生	子ども家庭支援センターや児童館	行政の窓口、電話相談など
全　体	409	23.5	23.0	16.4	50.6	8.6	2.4	20.0	6.4	3.2
一般層	170	24.7	24.7	16.5	48.2	5.3	1.8	24.7	7.1	2.9
周辺層	41	17.1	9.8	19.5	39.0	12.2	0.0	9.8	4.9	4.9
貧困層	20	25.0	10.0	20.0	45.0	5.0	5.0	15.0	0.0	0.0
無回答	178	23.6	25.8	15.2	56.2	11.2	3.4	18.5	6.7	3.4

区分	市の子育て関連情報誌	その他の冊子、雑誌など	市ホームページ	テレビ	ＳＮＳや動画サイト	その他のインターネット	その他	特にない	無回答
全　体	15.9	8.6	23.7	21.0	27.4	16.9	2.4	8.6	5.9
一般層	19.4	5.3	21.8	22.9	29.4	18.8	2.4	9.4	3.5
周辺層	12.2	12.2	29.3	24.4	34.1	19.5	2.4	12.2	2.4
貧困層	0.0	5.0	40.0	10.0	40.0	25.0	5.0	10.0	0.0
無回答	15.2	11.2	22.5	19.7	22.5	13.5	2.2	6.7	9.6

問 53　この１年を振り返って、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を０点とすると、何点くらいになると思いますか。０～10 の数字から１つだけ選んでください。（１つに○）

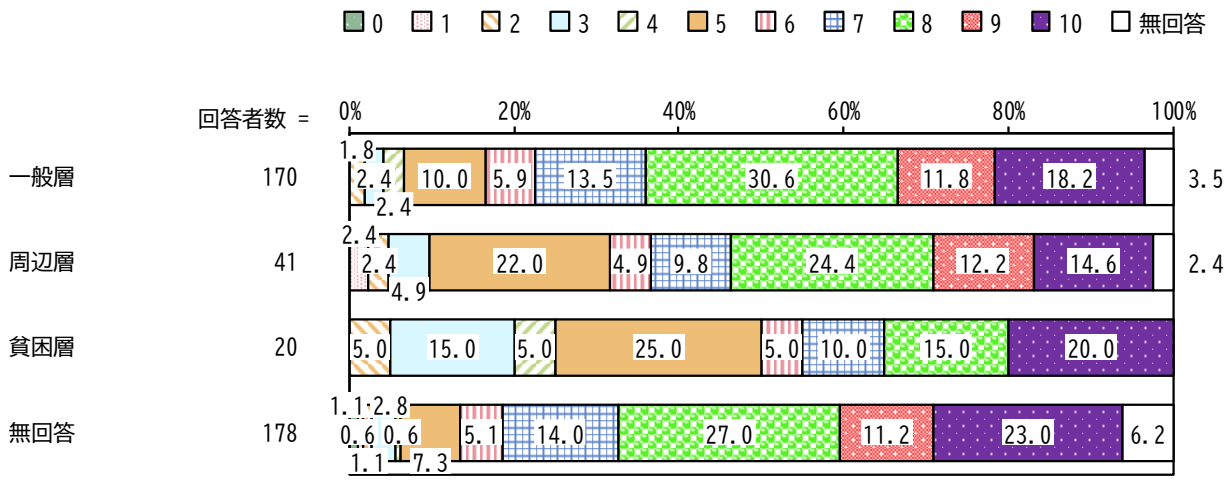
「8」の割合が 27.6％と最も高く、次いで「10」の割合が 20.0％、「7」の割合が 13.2％となっています。

令和３年度調査と比較すると、「10」の割合が増加しています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困難度が大きいほど「3」「5」の割合が高く、「8」の割合が低くなっています。



問 54　あなたが今、困っていることや悩みごとがありましたら、ご自由にお書きください。

※別冊　自由記述結果報告書